2021年度
ILAC科目/市ヶ谷基礎科目・総合科目
200・300番台
講義概要（シラバス）

法政大学

科目一覧［発行日：2021/5/1］最新版のシラバスは、法政大学 Web シラバス（https://syllabus.hosei.ac.jp/）で確認してください。

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（英語分野）【E1806】Intercultural Communication B ［石原　紀子］秋学期授業/Fall 1
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（英語分野）【E1807】Intercultural Communication A ［藤本　大士］秋学期授業/Fall 2
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（英語分野）【E1808】Intercultural Communication C ［石原　紀子］秋学期授業/Fall 4
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（英語分野）【E1809】Intercultural Communication D ［Noriko ISHIHARA］春学期授業/Spring 6
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（諸外国語分野）【E3602】Intercultural Communication E ［コリンヌ　ヴァリエンヌ］秋学期授業/Fall 7
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【E3603】Intercultural Communication F ［コルベイユ　スティーブ］春学期授業/Spring 8
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【E5337】中国語補講３Ⅰ ［沈　小南］春学期授業/Spring 9
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【E5338】中国語補講３Ⅱ ［沈　小南］秋学期授業/Fall 10
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【E5339】中国語補講３Ⅰ ［沈　小南］春学期授業/Spring 11
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【E5340】中国語補講３Ⅱ ［沈　小南］秋学期授業/Fall 12
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【E5341】中国語補講３Ⅰ ［王　安］春学期授業/Spring 13
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【E5342】中国語補講３Ⅱ ［王　安］秋学期授業/Fall 14
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【E5343】中国語補講３Ⅰ ［渋井　君也］春学期授業/Spring 15
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【E5344】中国語補講３Ⅱ ［渋井　君也］秋学期授業/Fall 16
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【E6135】スペイン語補講３Ⅰ ［若林　大我］春学期授業/Spring 17
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【E6136】スペイン語補講３Ⅱ ［若林　大我］秋学期授業/Fall 18
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（諸外国語分野）【E8062】Intercultural Communication G ［尾形　太郎］秋学期授業/Fall 19
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【E8063】Intercultural Communication H ［山本　そのこ］春学期授業/Spring 20
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【P0633】Career Development Skills ［中川　有紀子］春学期授業/Spring 21
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【P1303】Humanities A［URBANOVA Jana］春学期授業/Spring 22
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【P1305】Humanities B ［Richard.J.Burrows］春学期授業/Spring 23
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【P2304】Social Science A ［SCHIFANO ADRIEN］秋学期授業/Fall 24
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【P2305】Social Science B ［SCHIFANO ADRIEN］春学期授業/Spring 25
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群（自然分野）【P3605】Natural Science B［Naomi NISHIMURA］春学期授業/Spring 26
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_5 群（保健体育分野）【P5801】Health and Physical Education ［秋本　成晴］春学期授業/Spring 27
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0102】情報処理演習Ⅱ ［吉岡　卓］秋学期授業/Fall 28

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0104】情報処理演習Ⅱ ［吉岡　卓］秋学期授業/Fall 29
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0106】情報処理演習Ⅱ ［吉岡　卓］秋学期授業/Fall 30
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0108】情報処理演習Ⅱ ［吉岡　卓］秋学期授業/Fall 31
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0110】情報処理演習Ⅱ ［中村　文隆］秋学期授業/Fall 32
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0112】情報処理演習Ⅱ ［中村　文隆］秋学期授業/Fall 33
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0114】情報処理演習Ⅱ ［河内谷　幸子］秋学期授業/Fall 34
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0116】情報処理演習Ⅱ ［岡嶋　裕史］秋学期授業/Fall 35
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0118】情報処理演習Ⅱ ［岡嶋　裕史］秋学期授業/Fall 36
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0120】情報処理演習Ⅱ ［重定　如彦］秋学期授業/Fall 37
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0122】情報処理演習Ⅱ ［重定　如彦］秋学期授業/Fall 38
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0124】情報処理演習Ⅱ ［松田　裕幸］秋学期授業/Fall 39
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0126】情報処理演習Ⅱ ［松田　裕幸］秋学期授業/Fall 40
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0128】情報処理演習Ⅱ ［河内谷　幸子］秋学期授業/Fall 41
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0130】情報処理演習Ⅱ ［河内谷　幸子］秋学期授業/Fall 43
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0132】情報処理演習Ⅱ ［久東　義典］秋学期授業/Fall 44
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0134】情報処理演習Ⅱ ［久東　義典］秋学期授業/Fall 46
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0136】情報処理演習Ⅱ ［名児耶　厚］秋学期授業/Fall 48
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0138】情報処理演習Ⅱ ［名児耶　厚］秋学期授業/Fall 49
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0140】情報処理演習Ⅱ ［名児耶　厚］秋学期授業/Fall 49
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0142】情報処理演習Ⅱ ［名児耶　厚］秋学期授業/Fall 50
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0144】情報処理演習Ⅱ ［星　善光］秋学期授業/Fall 50
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0146】情報処理演習Ⅱ ［星　善光］秋学期授業/Fall 51
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0503】法政学の探究ＬＢ［古俣　達郎］春学期授業/Spring 52
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0504】法政学の探究ＬＡ［古俣　達郎、髙柳　俊男］秋学期授業/Fall 53
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_0 群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0622】リベラルアーツ特別実習［コーディネータ：小原 丈明、　講師（ゲストスピーカー）：イオン銀行　岩波 俊哉氏　他］スプリングセッション/Spring Session 55
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1301】日本文学と文化ＬＡ［本塚　亘］春学期授業/Spring 56
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1302】日本文学と文化ＬＢ［本塚　亘］秋学期授業/Fall 57
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1303】日本文学と文化ＬＣ［今泉　隆裕］春学期授業/Spring 58

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1304】日本文学と文化ＬＤ［今泉　隆裕］秋学期授業/Fall 60
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1307】日本文学と文化 LG［榎本　正樹］春学期授業/Spring 61
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1308】日本文学と文化 LH［榎本　正樹］秋学期授業/Fall 63
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1309】外国文学と文化ＬＡ［鈴木　正道］春学期授業/Spring 64
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1310】外国文学と文化ＬＢ［鈴木　正道］秋学期授業/Fall 66
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1311】外国文学と文化ＬＣ［日原　傳］春学期授業/Spring 67
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1312】外国文学と文化ＬＤ［日原　傳］秋学期授業/Fall 68
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1313】外国文学と文化ＬＥ［大﨑　さやの］春学期授業/Spring 69
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1314】外国文学と文化ＬＦ［大﨑　さやの］秋学期授業/Fall 70
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1315】文学と社会ＬＡ［佐藤陽］春学期授業/Spring 71
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1316】文学と社会ＬＢ［佐藤陽］秋学期授業/Fall 72
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1319】文学と社会ＬＣ［白戸満喜子］春学期授業/Spring 73
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1320】文学と社会ＬＤ［白戸満喜子］秋学期授業/Fall 74
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1321】文学と社会ＬＥ［中澤忠之］春学期授業/Spring 75
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1322】文学と社会ＬＦ［中澤忠之］秋学期授業/Fall 76
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1323】日本文学と文化 LG［榎本　正樹］春学期授業/Spring 77
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1324】日本文学と文化 LH［榎本　正樹］秋学期授業/Fall 79
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1362】音声学Ｌ［江村　裕文］秋学期授業/Fall 80
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1381】哲学ＬⅠ［大西　正人］春学期授業/Spring 81
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1382】哲学ＬⅡ［大西　正人］秋学期授業/Fall 82
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1383】哲学ＬⅠ［白根　裕里枝］春学期授業/Spring 83
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1384】哲学ＬⅡ［白根　裕里枝］秋学期授業/Fall 84
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1391】倫理学ＬⅠ［森村　修］春学期授業/Spring 85
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1392】倫理学ＬⅡ［森村　修］秋学期授業/Fall 87
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1393】倫理学ＬⅠ［佐藤　英明］春学期授業/Spring 88
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1394】倫理学ＬⅡ［佐藤　英明］秋学期授業/Fall 89
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1395】倫理学ＬⅠ［杉本　隆久］春学期授業/Spring 90
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1396】倫理学ＬⅡ［杉本　隆久］秋学期授業/Fall 91

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1397】倫理学ＬⅠ［伊藤　直樹］春学期授業/Spring 93
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1398】倫理学ＬⅡ［伊藤　直樹］秋学期授業/Fall 94
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1399】倫理学ＬⅠ［田島　樹里奈］春学期授業/Spring 95
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1400】倫理学ＬⅡ［田島　樹里奈］秋学期授業/Fall 96
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1401】倫理学ＬⅠ［吉永　明弘］春学期授業/Spring 97
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1402】倫理学ＬⅡ［吉永　明弘］秋学期授業/Fall 98
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1411】論理学ＬⅠ［佐々木護］春学期授業/Spring 99
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1412】論理学ＬⅡ［佐々木護］秋学期授業/Fall 100
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1421】東洋史ＬⅠ［岡安　勇］春学期授業/Spring 101
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1422】東洋史ＬⅡ［岡安　勇］秋学期授業/Fall 103
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1423】東洋史ＬⅠ［長谷部圭彦］春学期授業/Spring 104
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1424】東洋史ＬⅡ［長谷部圭彦］秋学期授業/Fall 105
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1435】西洋史ＬＡ［渡辺　知］春学期授業/Spring 106
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1436】西洋史ＬＢ［渡辺　知］秋学期授業/Fall 107
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1437】西洋史ＬＡ［渡辺　知］春学期授業/Spring 108
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1438】西洋史ＬＢ［渡辺　知］秋学期授業/Fall 109
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1441】日本史ＬⅠ［森　朋久］春学期授業/Spring 110
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1442】日本史ＬⅡ［森　朋久］秋学期授業/Fall 111
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1443】日本史ＬⅠ［仁平　義孝］春学期授業/Spring 112
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1444】日本史ＬⅡ［仁平　義孝］秋学期授業/Fall 113
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1445】日本史ＬⅠ［貫井　裕恵］春学期授業/Spring 114
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1446】日本史ＬⅡ［貫井　裕恵］秋学期授業/Fall 115
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1447】日本史ＬⅠ［鈴木　多聞］春学期授業/Spring 116
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1448】日本史ＬⅡ［鈴木　多聞］秋学期授業/Fall 117
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1451】宗教論ＬⅠ［須藤　孝也］春学期授業/Spring 118
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_1 群（人文分野）【Q1452】宗教論ＬⅡ［須藤　孝也］秋学期授業/Fall 119
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2321】経済学ＬＡ［中平　千彦］春学期授業/Spring 120
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2322】経済学ＬＢ［中平　千彦］秋学期授業/Fall 121

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2323】経済学ＬＡ［鈴木　誠］春学期授業/Spring 122
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2324】経済学ＬＢ［鈴木　誠］秋学期授業/Fall 123
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2325】経済学ＬＡ［陳　文挙］春学期授業/Spring 124
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2326】経済学ＬＢ［陳　文挙］秋学期授業/Fall 125
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2341】心理学ＬＡ［海部　紀行］春学期授業/Spring 126
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2342】心理学ＬＢ［海部　紀行］秋学期授業/Fall 129
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2343】心理学ＬＡ［海部　紀行］春学期授業/Spring 132
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2344】心理学ＬＢ［海部　紀行］秋学期授業/Fall 135
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2351】地理学ＬＡ［長沢　利明］春学期授業/Spring 138
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2352】地理学ＬＢ［長沢　利明］秋学期授業/Fall 139
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2353】地理学ＬＣ［片岡　義晴］春学期授業/Spring 140
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2354】地理学ＬＤ［片岡　義晴］秋学期授業/Fall 141
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2355】地理学ＬＣ［高木　正］春学期授業/Spring 142
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2356】地理学ＬＤ［高木　正］秋学期授業/Fall 143
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2357】地理学ＬＡ［長沢　利明］春学期授業/Spring 144
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2358】地理学ＬＢ［長沢　利明］秋学期授業/Fall 145
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2359】地理学ＬＣ［前川　明彦］春学期授業/Spring 146
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2360】地理学ＬＤ［前川　明彦］秋学期授業/Fall 148
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2361】社会学ＬＡ［松下　優一］春学期授業/Spring 149
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2362】社会学ＬＢ［松下　優一］秋学期授業/Fall 150
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2363】社会学ＬＣ［徐　玄九］春学期授業/Spring 150
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2364】社会学ＬＤ［徐　玄九］秋学期授業/Fall 151
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2371】政治学ＬＡ［木村　正俊］春学期授業/Spring 152
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2372】政治学ＬＢ［木村　正俊］秋学期授業/Fall 153
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2382】文化人類学Ｌ［ベル裕紀］秋学期授業/Fall 154
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2384】文化人類学Ｌ［四條真也］秋学期授業/Fall 155
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2386】文化人類学Ｌ［梅村絢美］秋学期授業/Fall 156
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2388】文化人類学Ｌ［長沢利明］秋学期授業/Fall 158

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2390】文化人類学Ｌ［ベル裕紀］秋学期授業/Fall 159
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2392】文化人類学Ｌ［梅村絢美］秋学期授業/Fall 160
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2394】文化人類学Ｌ［阿部朋恒］秋学期授業/Fall 161
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2396】文化人類学Ｌ［阿部朋恒］秋学期授業/Fall 163
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2398】文化人類学Ｌ［四條真也］秋学期授業/Fall 164
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2400】文化人類学Ｌ［石森大知］秋学期授業/Fall 165
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2401】社会思想ＬＡ［洪　貴義］春学期授業/Spring 166
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2402】社会思想ＬＢ［洪　貴義］秋学期授業/Fall 167
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2403】社会思想ＬＡ［洪　貴義］春学期授業/Spring 168
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_2 群（社会分野）【Q2404】社会思想ＬＢ［洪　貴義］秋学期授業/Fall 169
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群（自然分野）【Q3211】発展数学ＬⅠ［池田宏一郎］春学期授業/Spring 170
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群（自然分野）【Q3212】発展数学ＬⅡ［池田宏一郎］秋学期授業/Fall 171
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群（自然分野）【Q3213】発展数学ＬⅠ［倉田俊彦］春学期授業/Spring 172
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群（自然分野）【Q3214】発展数学ＬⅡ［倉田俊彦］秋学期授業/Fall 173
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群（自然分野）【Q3221】教養物理学 LA［石川壮一］春学期授業/Spring 174
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群（自然分野）【Q3222】教養物理学 LA［石川壮一］秋学期授業/Fall 175
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群（自然分野）【Q3223】教養物理学 LB［吉田智］春学期授業/Spring 176
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群（自然分野）【Q3224】教養物理学 LB［吉田智］秋学期授業/Fall 177
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群（自然分野）【Q3231】教養生物学ＬＡ［沼田治］春学期授業/Spring 178
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群（自然分野）【Q3232】教養生物学ＬＢ［沼田治］秋学期授業/Fall 180
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群（自然分野）【Q3233】教養生物学Ｌ A［沼田治］春学期授業/Spring 181
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群（自然分野）【Q3234】教養生物学ＬＢ［沼田治］秋学期授業/Fall 183
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群（自然分野）【Q3241】教養生物学ＬＣ［町田郁子］春学期授業/Spring 184
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群（自然分野）【Q3242】教養生物学Ｌ D［町田郁子］秋学期授業/Fall 185
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群（自然分野）【Q3243】教養生物学ＬＣ［町田郁子］春学期授業/Spring 187
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群（自然分野）【Q3244】教養生物学Ｌ D［町田郁子］秋学期授業/Fall 188
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群（自然分野）【Q3261】教養化学ＬＡ［向井知大］春学期授業/Spring 189
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群（自然分野）【Q3262】教養化学ＬＡ［中島弘一］秋学期授業/Fall 190

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群（自然分野）【Q3263】教養化学ＬＢ［中島弘一］春学期授業/Spring 191
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群（自然分野）【Q3264】教養化学ＬＢ［西村直美］秋学期授業/Fall 192
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群（自然分野）【Q3266】教養化学ＬＡ［中田和秀］春学期授業/Spring 193
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群（自然分野）【Q3267】教養化学Ｌ C ［中田和秀］春学期授業/Spring 194
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群（自然分野）【Q3268】教養化学Ｌ D ［中田和秀］秋学期授業/Fall 195
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_3 群（自然分野）【Q3269】教養化学Ｌ E ［向井知大］秋学期授業/Fall 196
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_5 群（保健体育分野）【Q5451】健康の科学ＬＡ［藤平　杏子］春学期授業/Spring 197
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_5 群（保健体育分野）【Q5452】健康の科学ＬＢ［阿部　巧］秋学期授業/Fall 198
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_5 群（保健体育分野）【Q5453】健康の科学ＬＡ［谷本　都栄］春学期授業/Spring 199
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_5 群（保健体育分野）【Q5454】健康の科学ＬＢ［谷本　都栄］秋学期授業/Fall 200
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R0801】入門英語(SSI) Ⅰ［山崎　暁子］春学期授業/Spring 201
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R0802】入門英語(SSI) Ⅱ［山崎　暁子］秋学期授業/Fall 202
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R0803】入門英語(SSI) Ⅰ［前川　裕］春学期授業/Spring 203
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R0804】入門英語(SSI) Ⅱ［前川　裕］秋学期授業/Fall 204
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R0805】入門英語(SSI) Ⅰ［須藤　祐二］春学期授業/Spring 205
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R0806】入門英語(SSI) Ⅱ［須藤　祐二］秋学期授業/Fall 206
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R0831】入門英語(SSI) Ⅰ［鈴木　理枝］春学期授業/Spring 207
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R0832】入門英語(SSI) Ⅱ［鈴木　理枝］秋学期授業/Fall 208
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2001】English3 Ⅰ［佐藤　陽子］春学期授業/Spring 209
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2002】English3 Ⅱ［佐藤　陽子］秋学期授業/Fall 211
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2003】English3 Ⅰ［ジェイソン　ポール　スミス］春学期授業/Spring 212
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2004】English3 Ⅱ［ジェイソン　ポール　スミス］秋学期授業/Fall 214
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2005】English3 Ⅰ［岩坪　友子］春学期授業/Spring 215
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2006】English3 Ⅱ［岩坪　友子］秋学期授業/Fall 217
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2007】English3 Ⅰ［宇野　毅］春学期授業/Spring 218
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2008】English3 Ⅱ［宇野　毅］秋学期授業/Fall 219
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2009】English3 Ⅰ［高井　美紀子］春学期授業/Spring 220
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2010】English3 Ⅱ［高井　美紀子］秋学期授業/Fall 222

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2011】English3 Ⅰ［前川　裕］春学期授業/Spring 223
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2012】English3 Ⅱ［前川　裕］秋学期授業/Fall 224
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2013】English3 Ⅰ［ジェイソン　ポール　スミス］春学期授業/Spring 225
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2014】English3 Ⅱ［ジェイソン　ポール　スミス］秋学期授業/Fall 227
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2015】English3 Ⅰ［佐藤　陽子］春学期授業/Spring 228
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2016】English3 Ⅱ［佐藤　陽子］秋学期授業/Fall 230
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2017】English3 Ⅰ［高井　美紀子］春学期授業/Spring 231
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2018】English3 Ⅱ［高井　美紀子］秋学期授業/Fall 233
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2019】English3 Ⅰ［前川　裕］春学期授業/Spring 234
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2020】English3 Ⅱ［前川　裕］秋学期授業/Fall 235
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2021】English3 Ⅰ［TAMARA P ELDRIDGE］春学期授業/Spring 236
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2022】English3 Ⅱ［TAMARA P ELDRIDGE］秋学期授業/Fall 237
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2023】English3 Ⅰ［コートランド・デイビッド・スミス］春学期授業/Spring 238
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2024】English3 Ⅱ［コートランド・デイビッド・スミス］秋学期授業/Fall 240
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2025】English3 Ⅰ［ジョナサン・エイブル］春学期授業/Spring 241
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2026】English3 Ⅱ［ジョナサン・エイブル］秋学期授業/Fall 242
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2027】English3 Ⅰ［吉川　直澄］春学期授業/Spring 243
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2028】English3 Ⅱ［吉川　直澄］秋学期授業/Fall 245
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2029】English3 Ⅰ［大曲　陽子］春学期授業/Spring 246
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2030】English3 Ⅱ［大曲　陽子］秋学期授業/Fall 248
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2031】English3 Ⅰ［URBANOVA　Jana］春学期授業/Spring 249
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2032】English3 Ⅱ［URBANOVA　Jana］秋学期授業/Fall 251
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2033】English3 Ⅰ［宇治谷　義英］春学期授業/Spring 252
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2034】English3 Ⅱ［宇治谷　義英］秋学期授業/Fall 254
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2035】English3 Ⅰ［吉江　秀和］春学期授業/Spring 255
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2036】English3 Ⅱ［吉江　秀和］秋学期授業/Fall 257
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2037】English3 Ⅰ［吉川　太惠子］春学期授業/Spring 258
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2038】English3 Ⅱ［吉川　太惠子］秋学期授業/Fall 259

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2039】English3 Ⅰ［吉田　季実子］春学期授業/Spring 260
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2040】English3 Ⅱ［吉田　季実子］秋学期授業/Fall 261
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2041】English3 Ⅰ［TAMARA P ELDRIDGE］春学期授業/Spring 262
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2042】English3 Ⅱ［TAMARA P ELDRIDGE］秋学期授業/Fall 263
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2043】English3 Ⅰ［コートランド・デイビッド・スミス］春学期授業/Spring 264
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2044】English3 Ⅱ［コートランド・デイビッド・スミス］秋学期授業/Fall 266
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2045】English3 Ⅰ［吉川　直澄］春学期授業/Spring 267
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2046】English3 Ⅱ［吉川　直澄］秋学期授業/Fall 269
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2047】English3 Ⅰ［山崎　暁子］春学期授業/Spring 270
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2048】English3 Ⅱ［山崎　暁子］秋学期授業/Fall 271
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2049】English3 Ⅰ［URBANOVA　Jana］春学期授業/Spring 272
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2050】English3 Ⅱ［URBANOVA　Jana］秋学期授業/Fall 274
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2051】English3 Ⅰ［小屋　逸樹］春学期授業/Spring 275
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2052】English3 Ⅱ［小屋　逸樹］秋学期授業/Fall 276
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2053】English3 Ⅰ［吉江　秀和］春学期授業/Spring 277
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2054】English3 Ⅱ［吉江　秀和］秋学期授業/Fall 279
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2055】English3 Ⅰ［吉田　季実子］春学期授業/Spring 280
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2056】English3 Ⅱ［吉田　季実子］秋学期授業/Fall 281
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2057】English3 Ⅰ［大和久　悌一郎］春学期授業/Spring 282
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2058】English3 Ⅱ［大和久　悌一郎］秋学期授業/Fall 283
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2059】English3 Ⅰ［飛田　英伸］春学期授業/Spring 284
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2060】English3 Ⅱ［飛田　英伸］秋学期授業/Fall 285
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2061】English3 Ⅰ［猪俣　佳瑞美］春学期授業/Spring 286
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2062】English3 Ⅱ［猪俣　佳瑞美］秋学期授業/Fall 288
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2063】English3 Ⅰ［吉川　太惠子］春学期授業/Spring 289
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2064】English3 Ⅱ［吉川　太惠子］秋学期授業/Fall 290
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2065】English3 Ⅰ［猪俣　佳瑞美］春学期授業/Spring 291
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2066】English3 Ⅱ［猪俣　佳瑞美］秋学期授業/Fall 293

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2067】English3 Ⅰ［ALAN M NICHOLLS］春学期授業/Spring 294
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2068】English3 Ⅱ［ALAN M NICHOLLS］秋学期授業/Fall 296
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2069】English3 Ⅰ［ジョナサン・エイブル］春学期授業/Spring 297
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2070】English3 Ⅱ［石原　紀子］秋学期授業/Fall 298
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2071】English3 Ⅰ［Robert D.　Hinton］春学期授業/Spring 300
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2072】English3 Ⅱ［Robert D.　Hinton］秋学期授業/Fall 301
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2073】English3 Ⅰ［GENC BURCU］春学期授業/Spring 302
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2074】English3 Ⅱ［GENC BURCU］秋学期授業/Fall 303
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2075】English3 Ⅰ［Robert Durham］春学期授業/Spring 305
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2076】English3 Ⅱ［Robert Durham］秋学期授業/Fall 306
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2077】English3 Ⅰ［榊原　益子］春学期授業/Spring 308
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2078】English3 Ⅱ［榊原　益子］秋学期授業/Fall 310
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2079】English3 Ⅰ［RICHARD WILCOX］春学期授業/Spring 312
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2080】English3 Ⅱ［RICHARD WILCOX］秋学期授業/Fall 313
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2081】English3 Ⅰ［MICHAEL F.MURPHY］春学期授業/Spring 315
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2082】English3 Ⅱ［MICHAEL F.MURPHY］秋学期授業/Fall 316
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2083】English3 Ⅰ［小田井　勝彦］春学期授業/Spring 318
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2084】English3 Ⅱ［小田井　勝彦］秋学期授業/Fall 319
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2085】English3 Ⅰ［佐藤　陽子］春学期授業/Spring 320
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2086】English3 Ⅱ［佐藤　陽子］秋学期授業/Fall 321
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2087】English3 Ⅰ［今井　澄子］春学期授業/Spring 322
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2088】English3 Ⅱ［今井　澄子］秋学期授業/Fall 324
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2089】English3 Ⅰ［佐々木　一惠］春学期授業/Spring 325
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2090】English3 Ⅱ［佐々木　一惠］秋学期授業/Fall 326
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2091】English3 Ⅰ［TOBY TRAUB］春学期授業/Spring 327
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2092】English3 Ⅱ［TOBY TRAUB］秋学期授業/Fall 329
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2093】English3 Ⅰ［川野　芽生］春学期授業/Spring 331
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2094】English3 Ⅱ［川野　芽生］秋学期授業/Fall 332

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2095】English3 Ⅰ［猪俣　佳瑞美］春学期授業/Spring 333
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2096】English3 Ⅱ［猪俣　佳瑞美］秋学期授業/Fall 335
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2097】English3 Ⅰ［宮本　三恵子］春学期授業/Spring 336
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2098】English3 Ⅱ［宮本　三恵子］秋学期授業/Fall 337
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2099】English3 Ⅰ［萩原　眞一］春学期授業/Spring 338
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2100】English3 Ⅱ［萩原　眞一］秋学期授業/Fall 340
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2101】English3 Ⅰ［青山　恵子］春学期授業/Spring 341
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2102】English3 Ⅱ［青山　恵子］秋学期授業/Fall 342
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2103】English3 Ⅰ［MICHAEL F.MURPHY］春学期授業/Spring 343
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2104】English3 Ⅱ［MICHAEL F.MURPHY］秋学期授業/Fall 345
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2105】English3 Ⅰ［RICHARD WILCOX］春学期授業/Spring 346
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2106】English3 Ⅱ［RICHARD WILCOX］秋学期授業/Fall 347
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2107】English3 Ⅰ［井上　紗央里］春学期授業/Spring 349
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2108】English3 Ⅱ［井上　紗央里］秋学期授業/Fall 350
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2109】English3 Ⅰ［戸嶋　まゆみ］春学期授業/Spring 351
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2110】English3 Ⅱ［戸嶋　まゆみ］秋学期授業/Fall 352
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2111】English3 Ⅰ［佐藤　陽子］春学期授業/Spring 353
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2112】English3 Ⅱ［佐藤　陽子］秋学期授業/Fall 354
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2113】English3 Ⅰ［磯部　芳恵］春学期授業/Spring 355
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2114】English3 Ⅱ［磯部　芳恵］秋学期授業/Fall 356
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2115】English3 Ⅰ［今井　澄子］春学期授業/Spring 357
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2116】English3 Ⅱ［今井　澄子］秋学期授業/Fall 359
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2117】English3 Ⅰ［永井　大輔］春学期授業/Spring 360
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2118】English3 Ⅱ［永井　大輔］秋学期授業/Fall 362
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2119】English3 Ⅰ［青山　恵子］春学期授業/Spring 363
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2120】English3 Ⅱ［青山　恵子］秋学期授業/Fall 364
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2121】English3 Ⅰ［ALAN M NICHOLLS］春学期授業/Spring 365
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2122】English3 Ⅱ［ALAN M NICHOLLS］秋学期授業/Fall 367

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2123】English3 Ⅰ［Robert D. Hinton］春学期授業/Spring 368
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2124】English3 Ⅱ［Robert D. Hinton］秋学期授業/Fall 369
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2125】English3 Ⅰ［Kregg Johnston］春学期授業/Spring 370
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2126】English3 Ⅱ［Kregg Johnston］秋学期授業/Fall 372
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2127】English3 Ⅰ［Robert Durham］春学期授業/Spring 373
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2128】English3 Ⅱ［Robert Durham］秋学期授業/Fall 374
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2129】English3 Ⅰ［宇治谷　義英］春学期授業/Spring 376
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2130】English3 Ⅱ［宇治谷　義英］秋学期授業/Fall 378
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2131】English3 Ⅰ［Robert D. Hinton］春学期授業/Spring 379
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2132】English3 Ⅱ［Robert D. Hinton］秋学期授業/Fall 380
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2133】English3 Ⅰ［Robert Durham］春学期授業/Spring 381
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2134】English3 Ⅱ［Robert Durham］秋学期授業/Fall 383
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2135】English3 Ⅰ［宇治谷　義英］春学期授業/Spring 385
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2136】English3 Ⅱ［宇治谷　義英］秋学期授業/Fall 386
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2137】English3 Ⅰ［川澄　亜岐子］春学期授業/Spring 388
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2138】English3 Ⅱ［川澄　亜岐子］秋学期授業/Fall 389
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2139】English3 Ⅰ［大野　ロベルト］春学期授業/Spring 390
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2140】English3 Ⅱ［藤本　大士］秋学期授業/Fall 391
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2141】English3 Ⅰ［ウォルター・カズマー］春学期授業/Spring 392
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2142】English3 Ⅱ［ウォルター・カズマー］秋学期授業/Fall 393
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2143】English3 Ⅰ［CHIA-WEI KANG］春学期授業/Spring 394
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2144】English3 Ⅱ［CHIA-WEI KANG］秋学期授業/Fall 396
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2145】English3 Ⅰ［本間　章郎］春学期授業/Spring 397
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2146】English3 Ⅱ［本間　章郎］秋学期授業/Fall 398
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2147】English3 Ⅰ［GENC BURCU］春学期授業/Spring 399
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2148】English3 Ⅱ［GENC BURCU］秋学期授業/Fall 401
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2149】English3 Ⅰ［ジョナサン・エイブル］春学期授業/Spring 402
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2150】English3 Ⅱ［ジョナサン・エイブル］秋学期授業/Fall 403

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2151】English3 Ⅰ［余田　剛］春学期授業/Spring 404
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2152】English3 Ⅱ［余田　剛］秋学期授業/Fall 405
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2153】English3 Ⅰ［金谷　優子］春学期授業/Spring 406
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2154】English3 Ⅱ［金谷　優子］秋学期授業/Fall 408
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2155】English3 Ⅰ［川澄　亜岐子］春学期授業/Spring 410
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2156】English3 Ⅱ［川澄　亜岐子］秋学期授業/Fall 411
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2157】English3 Ⅰ［須藤　祐二］春学期授業/Spring 412
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2158】English3 Ⅱ［須藤　祐二］秋学期授業/Fall 413
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2159】English3 Ⅰ［萩原　眞一］春学期授業/Spring 415
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2160】English3 Ⅱ［萩原　眞一］秋学期授業/Fall 416
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2161】English3 Ⅰ［渡辺　英依美］春学期授業/Spring 418
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2162】English3 Ⅱ［渡辺　英依美］秋学期授業/Fall 419
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2163】English3 Ⅰ［TOBY TRAUB］春学期授業/Spring 420
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2164】English3 Ⅱ［TOBY TRAUB］秋学期授業/Fall 422
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2165】English3 Ⅰ［GENC BURCU］春学期授業/Spring 424
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2166】English3 Ⅱ［GENC BURCU］秋学期授業/Fall 425
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2167】English3 Ⅰ［ジョナサン・エイブル］春学期授業/Spring 427
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2168】English3 Ⅱ［ジョナサン・エイブル］秋学期授業/Fall 428
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2169】English3 Ⅰ［余田　剛］春学期授業/Spring 429
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2170】English3 Ⅱ［余田　剛］秋学期授業/Fall 430
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2171】English3 Ⅰ［金谷　優子］春学期授業/Spring 431
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2172】English3 Ⅱ［金谷　優子］秋学期授業/Fall 433
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2173】English3 Ⅰ［田口　清一］春学期授業/Spring 434
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2174】English3 Ⅱ［田口　清一］秋学期授業/Fall 435
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2175】English3 Ⅰ［須藤　祐二］春学期授業/Spring 436
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2176】English3 Ⅱ［須藤　祐二］秋学期授業/Fall 438
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2177】English3 Ⅰ［渡辺　英依美］春学期授業/Spring 439
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2178】English3 Ⅱ［渡辺　英依美］秋学期授業/Fall 440

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2179】English3 Ⅰ［岩崎　博］春学期授業/Spring 441
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2180】English3 Ⅱ［岩崎　博］秋学期授業/Fall 443
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2181】English3 Ⅰ［本間　章郎］春学期授業/Spring 444
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2182】English3 Ⅱ［本間　章郎］秋学期授業/Fall 445
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2183】English3 Ⅰ［猪俣　佳瑞美］春学期授業/Spring 446
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2184】English3 Ⅱ［猪俣　佳瑞美］秋学期授業/Fall 448
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2185】English3 Ⅰ［猪俣　佳瑞美］春学期授業/Spring 449
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2186】English3 Ⅱ［猪俣　佳瑞美］秋学期授業/Fall 451
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2187】English3 Ⅰ［本間　章郎］春学期授業/Spring 452
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2188】English3 Ⅱ［本間　章郎］秋学期授業/Fall 453
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2201】英語７［竹内　晶子］春学期授業/Spring 454
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2202】英語７［須藤　祐二］春学期授業/Spring 455
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2203】英語７［中和　彩子］春学期授業/Spring 456
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2204】英語７［鹿子嶋由佳］春学期授業/Spring 457
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2205】英語７［衣笠　正晃］春学期授業/Spring 459
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2206】英語７［前川裕］春学期授業/Spring 460
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2207】英語７［田中　邦佳］春学期授業/Spring 461
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2208】英語８［ROBIN F WEICHERT］春学期授業/Spring 462
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2209】英語８［MARK E FIELD］春学期授業/Spring 463
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2210】英語８［MARK D BURNS］春学期授業/Spring 464
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2211】英語８［前川裕］春学期授業/Spring 465
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2212】英語８［MARK D BURNS］春学期授業/Spring 466
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2213】英語８［ROBIN F WEICHERT］春学期授業/Spring 467
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（英語）【R2214】英語８［MARK E FIELD］春学期授業/Spring 468
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2301】英語オーラル・コミュニケーションⅠ［ALAN M NICHOLLS］春学期授業/Spring 469
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2302】英語オーラル・コミュニケーションⅡ［ALAN M NICHOLLS］秋学期授業/Fall 470
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2303】英語オーラル・コミュニケーションⅠ［栩木　玲子］春学期授業/Spring 472
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2304】英語オーラル・コミュニケーションⅡ［栩木　玲子］秋学期授業/Fall 473

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2305】英語オーラル・コミュニケーションⅠ ［LASSEGARD JAMES］春学期授業/Spring 474
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2306】英語オーラル・コミュニケーションⅡ ［LASSEGARD JAMES］秋学期授業/Fall 475
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2351】ビジネス・イングリッシュⅠ ［JOHN REILLY］春学期授業/Spring 476
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2352】ビジネス・イングリッシュⅡ ［JOHN REILLY］秋学期授業/Fall 477
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2381】English Reading and Vocabulary Ⅰ ［ウォルター・カズマー］春学期授業/Spring 478
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2382】English Reading and Vocabulary Ⅱ ［ウォルター・カズマー］秋学期授業/Fall 479
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2383】English Reading and Vocabulary Ⅰ ［ERIC J RITTER］春学期授業/Spring 480
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2384】English Reading and Vocabulary Ⅱ ［ERIC J RITTER］秋学期授業/Fall 481
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2391】English Academic Writing Ⅰ ［DYLAN O SCUDDER］春学期授業/Spring 482
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2392】English Academic Writing Ⅱ ［DYLAN O SCUDDER］秋学期授業/Fall 484
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2393】English Academic Writing Ⅰ ［MARK D BURNS］春学期授業/Spring 486
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2394】English Academic Writing Ⅱ ［MARK D BURNS］秋学期授業/Fall 487
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2395】English Academic Writing Ⅰ ［ALAN M NICHOLLS］春学期授業/Spring 488
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2396】English Academic Writing Ⅱ ［ALAN M NICHOLLS］秋学期授業/Fall 489
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2401】英語で学ぶ社会と文化Ⅰ ［田中　邦佳］春学期授業/Spring 490
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2402】英語で学ぶ社会と文化Ⅱ ［田中　邦佳］秋学期授業/Fall 491
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2403】英語で学ぶ社会と文化Ⅰ ［岩坪　友子］春学期授業/Spring 492
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2404】英語で学ぶ社会と文化Ⅱ ［岩坪　友子］秋学期授業/Fall 493
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2405】英語で学ぶ社会と文化Ⅰ ［永井　大輔］春学期授業/Spring 495
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2406】英語で学ぶ社会と文化Ⅱ ［永井　大輔］秋学期授業/Fall 497
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2407】英語で学ぶ社会と文化Ⅰ ［余田　剛］春学期授業/Spring 499
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2408】英語で学ぶ社会と文化Ⅱ ［余田　剛］秋学期授業/Fall 500
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2409】英語で学ぶ社会と文化Ⅰ ［金谷　優子］春学期授業/Spring 502
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2410】英語で学ぶ社会と文化Ⅱ ［金谷　優子］秋学期授業/Fall 504
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2411】英語で学ぶ社会と文化Ⅰ ［大曲　陽子］春学期授業/Spring 505
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2412】英語で学ぶ社会と文化Ⅱ ［大曲　陽子］秋学期授業/Fall 507
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2441】English Presentation Ⅰ ［NADER　Jamelea］春学期授業/Spring 508
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2442】English Presentation Ⅱ ［NADER　Jamelea］秋学期授業/Fall 510

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2443】English Presentation Ⅰ ［JOHN REILLY］春学期授業/Spring 511
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2444】English Presentation Ⅱ ［JOHN REILLY］秋学期授業/Fall 512
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2445】English Presentation Ⅰ ［コートランド・デイビッド・スミス］春学期授業/Spring 513
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2446】English Presentation Ⅱ ［コートランド・デイビッド・スミス］秋学期授業/Fall 515
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2447】English Presentation Ⅰ ［MARK D BURNS］春学期授業/Spring 516
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2448】English Presentation Ⅱ ［MARK D BURNS］秋学期授業/Fall 517
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2451】英語アカデミック・リーディングⅠ ［岩崎　博］春学期授業/Spring 518
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2452】英語アカデミック・リーディングⅡ ［岩崎　博］秋学期授業/Fall 520
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2481】英語検定試験対策Ⅰ ［久慈　美貴］春学期授業/Spring 522
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2482】英語検定試験対策Ⅱ ［久慈　美貴］秋学期授業/Fall 524
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2483】英語検定試験対策Ⅰ ［飛田　英伸］春学期授業/Spring 525
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2484】英語検定試験対策Ⅱ ［飛田　英伸］秋学期授業/Fall 526
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2485】英語検定試験対策Ⅰ ［鈴木　理枝］春学期授業/Spring 527
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2486】英語検定試験対策Ⅱ ［鈴木　理枝］秋学期授業/Fall 528
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2487】英語検定試験対策Ⅰ ［高橋　佳江］春学期授業/Spring 529
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2488】英語検定試験対策Ⅱ ［鈴木　理枝］秋学期授業/Fall 530
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2601】Oral Communication Ⅰ ［板橋　美也］春学期授業/Spring 531
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2602】Oral Communication Ⅱ ［板橋　美也］秋学期授業/Fall 532
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2603】Oral Communication Ⅰ ［Ｒ．Ｇ．ジェイムズ］春学期授業/Spring 533
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2604】Oral Communication Ⅱ ［Ｒ．Ｇ．ジェイムズ］秋学期授業/Fall 534
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2611】English through Movies and Drama Ⅰ ［平野井　ちえ子］春学期授業/Spring 535
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2612】English through Movies and Drama Ⅱ ［平野井　ちえ子］秋学期授業/Fall 536
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2613】English through Movies and Drama Ⅰ ［舟橋　美香］春学期授業/Spring 537
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2614】English through Movies and Drama Ⅱ ［舟橋　美香］秋学期授業/Fall 538
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2621】TOEIC ® Ⅰ ［平野井　ちえ子］春学期授業/Spring 539
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2622】TOEIC ® Ⅱ ［平野井　ちえ子］秋学期授業/Fall 540
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2623】TOEIC ® Ⅰ ［板橋　美也］春学期授業/Spring 541
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2624】TOEIC ® Ⅱ ［板橋　美也］秋学期授業/Fall 542

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2631】英語検定試験対策Ⅰ ［青山　恵子］春学期授業/Spring 543
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2632】英語検定試験対策Ⅱ ［青山　恵子］秋学期授業/Fall 544
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2641】Business Communication Ⅰ ［今井　澄子］春学期授業/Spring 545
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2642】Business Communication Ⅱ ［今井　澄子］秋学期授業/Fall 546
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2651】ニュース英語Ⅰ ［塩谷　幸子］春学期授業/Spring 548
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2652】ニュース英語Ⅱ ［塩谷　幸子］秋学期授業/Fall 549
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2701】Practical English（オーラル・コミュニケーション）A －Ⅰ ［RICHARD SHEEHAN］春学期授業/Spring 551
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2702】Practical English（オーラル・コミュニケーション）A －Ⅱ ［RICHARD SHEEHAN］秋学期授業/Fall 552
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2711】Practical English（オーラル・コミュニケーション）B －Ⅰ ［RICHARD SHEEHAN］春学期授業/Spring 553
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2712】Practical English（オーラル・コミュニケーション）B －Ⅱ ［RICHARD SHEEHAN］秋学期授業/Fall 554
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2721】English for Study Abroad Ⅰ ［高井　美紀子］春学期授業/Spring 555
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2723】English for Study Abroad Ⅱ ［北　文美子］春学期授業/Spring 556
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2731】Practical English（ビジネス・コミュニケーション）A －Ⅰ ［戸嶋　まゆみ］春学期授業/Spring 557
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2732】Practical English（ビジネス・コミュニケーション）A －Ⅱ ［戸嶋　まゆみ］秋学期授業/Fall 558
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2741】Practical English（ビジネス・コミュニケーション）B －Ⅰ ［Kregg　Johnston］春学期授業/Spring 559
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2742】Practical English（ビジネス・コミュニケーション）B －Ⅱ ［Kregg　Johnston］秋学期授業/Fall 561
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2751】Practical English（英語検定試験対策）A －Ⅰ ［大和久　悌一郎］春学期授業/Spring 562
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2752】Practical English（英語検定試験対策）A －Ⅱ ［大和久　悌一郎］秋学期授業/Fall 563
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2761】Practical English（英語検定試験対策）B －Ⅰ ［光野　昭雄］春学期授業/Spring 564
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R2762】Practical English（英語検定試験対策）B －Ⅱ ［光野　昭雄］秋学期授業/Fall 565
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R3503】日本語１Ⅰ ［板井　美佐］春学期授業/Spring 565
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R3504】日本語１Ⅱ ［板井　美佐］秋学期授業/Fall 566
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R3601】日本語３Ⅰ ［尾形　太郎］春学期授業/Spring 567
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R3602】日本語３Ⅱ ［尾形　太郎］秋学期授業/Fall 568
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R3603】日本語３Ⅰ ［戸村　佳代］春学期授業/Spring 569
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R3604】日本語３Ⅱ ［戸村　佳代］秋学期授業/Fall 571
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R3605】日本語３Ⅰ ［尾形　太郎］春学期授業/Spring 572
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R3606】日本語３Ⅱ ［尾形　太郎］秋学期授業/Fall 573

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R3611】日本語４Ⅰ［中沢　佐企子］春学期授業/Spring 574
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R3612】日本語４Ⅱ［中沢　佐企子］秋学期授業/Fall 575
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R3613】日本語４Ⅰ［新谷　あゆり］春学期授業/Spring 576
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R3614】日本語４Ⅱ［新谷　あゆり］秋学期授業/Fall 577
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R3615】日本語４Ⅰ［江村　裕文］春学期授業/Spring 578
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R3616】日本語４Ⅱ［江村　裕文］秋学期授業/Fall 579
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（諸外国語分野）【R3621】日本語の世界 LA［尾形　太郎］春学期授業/Spring 580
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（諸外国語分野）【R3622】日本語の世界 LB［尾形　太郎］秋学期授業/Fall 581
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（諸外国語分野）【R3623】日本の文化と社会 LA［尾形　太郎］春学期授業/Spring 583
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（諸外国語分野）【R3624】日本の文化と社会 LB［尾形　太郎］秋学期授業/Fall 584
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4201】ドイツ語３Ⅰ［JENS OSTWALD］春学期授業/Spring 586
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4202】ドイツ語３Ⅱ［JENS OSTWALD］秋学期授業/Fall 587
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4203】ドイツ語３Ⅰ［浦田　智］春学期授業/Spring 588
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4204】ドイツ語３Ⅱ［浦田　智］秋学期授業/Fall 589
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4205】ドイツ語３Ⅰ［長倉　誠一］春学期授業/Spring 590
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4206】ドイツ語３Ⅱ［長倉　誠一］秋学期授業/Fall 591
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4207】ドイツ語３Ⅰ［小野間　亮子］春学期授業/Spring 592
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4208】ドイツ語３Ⅱ［小野間　亮子］秋学期授業/Fall 593
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4211】ドイツ語３Ⅰ［梶谷　雄二］春学期授業/Spring 594
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4212】ドイツ語３Ⅱ［梶谷　雄二］秋学期授業/Fall 595
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4215】ドイツ語３Ⅰ［岡本　雅克］春学期授業/Spring 596
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4216】ドイツ語３Ⅱ［岡本　雅克］秋学期授業/Fall 597
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4217】ドイツ語３Ⅰ［遠藤　浩介］春学期授業/Spring 598
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4218】ドイツ語３Ⅱ［遠藤　浩介］秋学期授業/Fall 599
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4221】ドイツ語３Ⅰ［日中　鎮朗］春学期授業/Spring 600
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4222】ドイツ語３Ⅱ［日中　鎮朗］秋学期授業/Fall 601
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4223】ドイツ語３Ⅰ［柳橋　大輔］春学期授業/Spring 602
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4224】ドイツ語３Ⅱ［柳橋　大輔］秋学期授業/Fall 603

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4225】ドイツ語３Ⅰ ［JENS OSTWALD］春学期授業/Spring 604
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4226】ドイツ語３Ⅱ ［JENS OSTWALD］秋学期授業/Fall 605
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4227】ドイツ語３Ⅰ ［笠原　賢介］春学期授業/Spring 606
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4228】ドイツ語３Ⅱ ［笠原　賢介］秋学期授業/Fall 607
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4229】ドイツ語３Ⅰ ［長倉　誠一］春学期授業/Spring 608
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4230】ドイツ語３Ⅱ ［長倉　誠一］秋学期授業/Fall 609
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R4241】ドイツ語４Ⅰ ［日中　鎮朗］春学期授業/Spring 610
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R4242】ドイツ語４Ⅱ ［日中　鎮朗］秋学期授業/Fall 611
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R4243】ドイツ語４Ⅰ ［外山　知子］春学期授業/Spring 613
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R4244】ドイツ語４Ⅱ ［外山　知子］秋学期授業/Fall 614
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R4245】ドイツ語４Ⅰ ［林　志津江］春学期授業/Spring 615
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R4246】ドイツ語４Ⅱ ［林　志津江］秋学期授業/Fall 616
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4251】ドイツ語（３）Ⅰ ［上田　知夫］春学期授業/Spring 617
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4252】ドイツ語（３）Ⅱ ［上田　知夫］秋学期授業/Fall 618
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4261】ドイツ語７［林　志津江］春学期授業/Spring 619
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4262】ドイツ語８［熊田　泰章］春学期授業/Spring 620
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4271】ドイツ語３-Ⅰ ［平松　英人］春学期授業/Spring 621
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4272】ドイツ語３-Ⅱ ［平松　英人］秋学期授業/Fall 622
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4273】ドイツ語３-Ⅰ ［辻　英史］春学期授業/Spring 623
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R4274】ドイツ語３-Ⅱ ［辻　英史］秋学期授業/Fall 624
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R4281】ドイツ語コミュニケーションⅠ ［JENS OSTWALD］春学期授業/Spring 625
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R4282】ドイツ語コミュニケーションⅡ ［JENS OSTWALD］秋学期授業/Fall 626
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R4283】ドイツ語表現法Ⅰ ［Schmidt　Ute］春学期授業/Spring 627
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R4284】ドイツ語表現法Ⅱ ［Schmidt　Ute］秋学期授業/Fall 628
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R4285】ドイツ語視聴覚Ⅰ ［DIETMAR HEIDENREICH］春学期授業/Spring 629
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R4286】ドイツ語視聴覚Ⅱ ［DIETMAR HEIDENREICH］秋学期授業/Fall 630
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R4287】時事ドイツ語Ⅰ ［日中　鎮朗］春学期授業/Spring 631
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R4288】時事ドイツ語Ⅱ ［日中　鎮朗］秋学期授業/Fall 633

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R4289】検定ドイツ語Ⅰ［上田　知夫］春学期授業/Spring 634
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R4290】検定ドイツ語Ⅱ［上田　知夫］秋学期授業/Fall 635
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R4291】入門ドイツ語 (SSI) Ⅰ［浦田　智］春学期授業/Spring 636
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R4292】入門ドイツ語 (SSI) Ⅱ［浦田　智］秋学期授業/Fall 637
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R4293】入門ドイツ語 (SSI) Ⅰ［梶谷　雄二］春学期授業/Spring 638
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R4294】入門ドイツ語 (SSI) Ⅱ［梶谷　雄二］秋学期授業/Fall 639
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（諸外国語分野）【R4295】ドイツ語の世界ＬＡ［Schmidt　Ute］春学期授業/Spring 640
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（諸外国語分野）【R4296】ドイツ語の世界ＬＢ［Schmidt　Ute］秋学期授業/Fall 641
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（諸外国語分野）【R4297】ドイツの文化と社会ＬＡ［上田　知夫］春学期授業/Spring 642
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（諸外国語分野）【R4298】ドイツの文化と社会ＬＢ［上田　知夫］秋学期授業/Fall 643
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R5201】フランス語３Ⅰ［近江屋志穂］春学期授業/Spring 644
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R5202】フランス語３Ⅱ［近江屋志穂］秋学期授業/Fall 645
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R5203】フランス語３Ⅰ［柴田　恵美］春学期授業/Spring 646
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R5204】フランス語３Ⅱ［柴田　恵美］秋学期授業/Fall 647
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R5205】フランス語３Ⅰ［竹本　研史］春学期授業/Spring 648
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R5206】フランス語３Ⅱ［竹本　研史］秋学期授業/Fall 649
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R5207】フランス語３Ⅰ［柴崎　秀穂］春学期授業/Spring 650
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R5208】フランス語３Ⅱ［柴崎　秀穂］秋学期授業/Fall 651
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R5209】フランス語３Ⅰ［柴田　恵美］春学期授業/Spring 652
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R5210】フランス語３Ⅱ［柴田　恵美］秋学期授業/Fall 653
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R5211】フランス語３Ⅰ［西川　純子］春学期授業/Spring 654
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R5212】フランス語３Ⅱ［西川　純子］秋学期授業/Fall 655
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R5213】フランス語３Ⅰ［JULIEN AGAESSE］春学期授業/Spring 656
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R5214】フランス語３Ⅱ［JULIEN AGAESSE］秋学期授業/Fall 657
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R5215】フランス語３Ⅰ［山口　雅敏］春学期授業/Spring 658
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R5216】フランス語３Ⅱ［山口　雅敏］秋学期授業/Fall 659
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R5219】フランス語３Ⅰ［瀬戸　和子］春学期授業/Spring 660
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R5220】フランス語３Ⅱ［瀬戸　和子］秋学期授業/Fall 661

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R5221】フランス語３Ⅰ［佐藤　正和］春学期授業/Spring 662
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R5222】フランス語３Ⅱ［佐藤　正和］秋学期授業/Fall 663
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R5223】フランス語３Ⅰ（インテンシブ）［近江屋　志穂］春学期授業/Spring 664
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R5224】フランス語３Ⅱ（インテンシブ）［近江屋　志穂］秋学期授業/Fall 665
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R5241】フランス語４Ⅰ［岡村　民夫］春学期授業/Spring 666
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R5242】フランス語４Ⅱ［岡村　民夫］秋学期授業/Fall 667
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R5243】フランス語４Ⅰ［稲垣　正久］春学期授業/Spring 668
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R5244】フランス語４Ⅱ［稲垣　正久］秋学期授業/Fall 669
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R5245】フランス語５Ⅰ［村松　マリ=エマニュエル］春学期授業/Spring 670
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R5246】フランス語５Ⅱ［村松　マリ=エマニュエル］秋学期授業/Fall 671
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R5247】フランス語４Ⅰ［中村　美緒］春学期授業/Spring 672
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R5248】フランス語４Ⅱ［中村　美緒］秋学期授業/Fall 673
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R5249】フランス語４Ⅰ［鈴木　正道］春学期授業/Spring 674
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R5250】フランス語４Ⅱ［鈴木　正道］秋学期授業/Fall 675
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R5251】フランス語（３）Ⅰ［瀬戸和子］春学期授業/Spring 676
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R5252】フランス語（３）Ⅱ［瀬戸和子］秋学期授業/Fall 677
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R5257】フランス語７［近江屋　志穂］春学期授業/Spring 678
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R5258】フランス語８［PHILIPPE JORDY］春学期授業/Spring 679
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R5261】フランス語３-Ⅰ［竹本研史］春学期授業/Spring 680
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R5262】フランス語３-Ⅱ［竹本研史］秋学期授業/Fall 681
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R5263】フランス語３-Ⅰ［柴崎秀穂］春学期授業/Spring 682
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R5264】フランス語３-Ⅱ［柴崎秀穂］秋学期授業/Fall 683
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（諸外国語分野）【R5271】フランス語の世界ＬＡ［コルベイユ　スティーブ］春学期授業/Spring 684
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（諸外国語分野）【R5272】フランス語の世界ＬＢ［コルベイユ　スティーブ］秋学期授業/Fall 686
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R5273】フランス語コミュニケーション (初級) Ⅰ［ニコラ　ガイヤール］春学期授業/Spring 687
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R5274】フランス語コミュニケーション (初級) Ⅱ［ニコラ　ガイヤール］秋学期授業/Fall 688
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R5279】時事フランス語Ⅰ［大中　一彌］春学期授業/Spring 689
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R5280】時事フランス語Ⅱ［大中　一彌］秋学期授業/Fall 691

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（諸外国語分野）【R5291】フランスの文化と社会ＬＡ［鈴木　正道］春学期授業/Spring 693
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（諸外国語分野）【R5292】フランスの文化と社会ＬＢ［鈴木　正道］秋学期授業/Fall 695
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（諸外国語分野）【R5293】フランス生活文化論ＬＡ［河村　英和］サマーセッション/Summer Session 696
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（諸外国語分野）【R5294】フランス生活文化論ＬＢ［河村　英和］秋学期授業/Fall 697
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（諸外国語分野）【R5295】フランス生活文化論ＬＡ［梶谷　彩子］春学期授業/Spring 698
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（諸外国語分野）【R5296】フランス生活文化論ＬＢ［梶谷　彩子］秋学期授業/Fall 699
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R6201】ロシア語３Ⅰ［木部　敬］春学期授業/Spring 700
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R6202】ロシア語３Ⅱ［木部　敬］秋学期授業/Fall 701
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R6203】ロシア語３Ⅰ［上野　理恵］春学期授業/Spring 702
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R6204】ロシア語３Ⅱ［上野　理恵］秋学期授業/Fall 703
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R6205】ロシア語３Ⅰ［小西　昌隆］春学期授業/Spring 704
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R6206】ロシア語３Ⅱ［小西　昌隆］秋学期授業/Fall 705
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R6211】ロシア語４Ⅰ［木部　敬］春学期授業/Spring 706
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R6212】ロシア語４Ⅱ［木部　敬］秋学期授業/Fall 707
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R6213】ロシア語４Ⅰ［上野　理恵］春学期授業/Spring 708
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R6214】ロシア語４Ⅱ［上野　理恵］秋学期授業/Fall 709
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R6215】ロシア語５Ⅰ［エレーナ　三神］春学期授業/Spring 710
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R6216】ロシア語５Ⅱ［エレーナ　三神］秋学期授業/Fall 711
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R6221】ロシア語７［佐藤　千登勢］春学期授業/Spring 712
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R6222】ロシア語８［上野　理恵］春学期授業/Spring 713
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R6231】ロシア語３－Ⅰ［木部　敬］春学期授業/Spring 714
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R6232】ロシア語３－Ⅱ［木部　敬］秋学期授業/Fall 715
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（諸外国語分野）【R6241】ロシア語の世界ＬＡ［木部　敬］春学期授業/Spring 716
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（諸外国語分野）【R6242】ロシア語の世界ＬＢ［木部　敬］秋学期授業/Fall 717
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（諸外国語分野）【R6243】ロシアの文化と社会ＬＡ［佐藤　千登勢］春学期授業/Spring 718
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（諸外国語分野）【R6244】ロシアの文化と社会ＬＢ［佐藤　千登勢］秋学期授業/Fall 720
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7301】中国語３Ⅰ［王　翠莉］春学期授業/Spring 721
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7302】中国語３Ⅱ［王　翠莉］秋学期授業/Fall 722

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7303】中国語３Ⅰ［祝　振媛］春学期授業/Spring 724
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7304】中国語３Ⅱ［祝　振媛］秋学期授業/Fall 725
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7305】中国語３Ⅰ［劉　渇氷］春学期授業/Spring 726
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7306】中国語３Ⅱ［劉　渇氷］秋学期授業/Fall 727
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7307】中国語３Ⅰ［木村　佳代子］春学期授業/Spring 728
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7308】中国語３Ⅱ［木村　佳代子］秋学期授業/Fall 729
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7309】中国語３Ⅰ［黄　海萍］春学期授業/Spring 730
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7310】中国語３Ⅱ［黄　海萍］秋学期授業/Fall 731
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7311】中国語３Ⅰ［耿　函］春学期授業/Spring 733
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7312】中国語３Ⅱ［耿　函］秋学期授業/Fall 734
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7313】中国語３Ⅰ［余　瀾］春学期授業/Spring 735
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7314】中国語３Ⅱ［余　瀾］秋学期授業/Fall 736
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7315】中国語３Ⅰ［黄　海萍］春学期授業/Spring 737
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7316】中国語３Ⅱ［黄　海萍］秋学期授業/Fall 738
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7317】中国語３Ⅰ［耿　函］春学期授業/Spring 740
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7318】中国語３Ⅱ［耿　函］秋学期授業/Fall 741
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7319】中国語３Ⅰ［木村　佳代子］春学期授業/Spring 742
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7320】中国語３Ⅱ［木村　佳代子］秋学期授業/Fall 743
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7321】中国語３Ⅰ［王　安］春学期授業/Spring 744
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7322】中国語３Ⅱ［王　安］秋学期授業/Fall 745
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7323】中国語３Ⅰ［柯　明］春学期授業/Spring 746
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7324】中国語３Ⅱ［柯　明］秋学期授業/Fall 747
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7325】中国語３Ⅰ［ショウ　イクテイ］春学期授業/Spring 748
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7326】中国語３Ⅱ［ショウ　イクテイ］秋学期授業/Fall 749
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7327】中国語３Ⅰ［王　翠莉］春学期授業/Spring 750
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7328】中国語３Ⅱ［王　翠莉］秋学期授業/Fall 751
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7329】中国語３Ⅰ［周　重雷］春学期授業/Spring 753
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7330】中国語３Ⅱ［周　重雷］秋学期授業/Fall 754

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7331】中国語３Ⅰ［李　維涛］春学期授業/Spring 755
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7332】中国語３Ⅱ［李　維涛］秋学期授業/Fall 756
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7333】中国語３Ⅰ［三田村　圭子］春学期授業/Spring 758
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7334】中国語３Ⅱ［三田村　圭子］秋学期授業/Fall 759
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7335】中国語３Ⅰ［薄　宏］春学期授業/Spring 760
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7336】中国語３Ⅱ［薄　宏］秋学期授業/Fall 761
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7337】中国語３Ⅰ［王　翠莉］春学期授業/Spring 762
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7338】中国語３Ⅱ［王　翠莉］秋学期授業/Fall 763
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7339】中国語３Ⅰ［康　鴻音］春学期授業/Spring 765
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7340】中国語３Ⅱ［康　鴻音］秋学期授業/Fall 766
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7341】中国語３Ⅰ［王　安］春学期授業/Spring 767
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7342】中国語３Ⅱ［王　安］秋学期授業/Fall 768
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7343】中国語３Ⅰ［王　翠莉］春学期授業/Spring 769
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7344】中国語３Ⅱ［王　翠莉］秋学期授業/Fall 770
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7345】中国語３Ⅰ［李　維涛］春学期授業/Spring 772
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7346】中国語３Ⅱ［李　維涛］秋学期授業/Fall 773
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7347】中国語３Ⅰ［後藤　淳一］春学期授業/Spring 775
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7348】中国語３Ⅱ［後藤　淳一］秋学期授業/Fall 776
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7349】中国語３Ⅰ［劉　渇氷］春学期授業/Spring 777
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7350】中国語３Ⅱ［劉　渇氷］秋学期授業/Fall 778
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7351】中国語３Ⅰ［耿　函］春学期授業/Spring 779
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7352】中国語３Ⅱ［耿　函］秋学期授業/Fall 780
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R7371】中国語４Ⅰ［三田村　圭子］春学期授業/Spring 781
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R7372】中国語４Ⅱ［三田村　圭子］秋学期授業/Fall 782
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R7373】中国語４Ⅰ［薬　会］春学期授業/Spring 783
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R7374】中国語４Ⅱ［薬　会］秋学期授業/Fall 784
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R7375】中国語４Ⅰ［渋井　君也］春学期授業/Spring 785
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R7376】中国語４Ⅱ［渋井　君也］秋学期授業/Fall 786

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R7377】中国語４Ⅰ［余　瀾］春学期授業/Spring 787
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R7378】中国語４Ⅱ［余　瀾］秋学期授業/Fall 788
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R7379】中国語４Ⅰ［ショウ　イクテイ］春学期授業/Spring 789
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R7380】中国語４Ⅱ［ショウ　イクテイ］秋学期授業/Fall 790
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R7381】中国語４Ⅰ［祝　振媛］春学期授業/Spring 791
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R7382】中国語４Ⅱ［祝　振媛］秋学期授業/Fall 792
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R7383】中国語４Ⅰ［渋井　君也］春学期授業/Spring 793
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R7384】中国語４Ⅱ［渋井　君也］秋学期授業/Fall 794
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7385】中国語（３）Ⅰ［薬　進］春学期授業/Spring 795
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7386】中国語（３）Ⅱ［薬　進］秋学期授業/Fall 796
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7387】中国語（３）Ⅰ［渡部　れい子］春学期授業/Spring 797
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7388】中国語（３）Ⅱ［渡部　れい子］秋学期授業/Fall 798
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7391】中国語７［曽　士才］春学期授業/Spring 799
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7392】中国語８［鈴木　靖］春学期授業/Spring 800
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7401】中国語３－Ⅰ［日原　傳］春学期授業/Spring 801
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7402】中国語３－Ⅱ［日原　傳］秋学期授業/Fall 802
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7403】中国語３－Ⅰ［王　翠莉］春学期授業/Spring 803
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7404】中国語３－Ⅱ［王　翠莉］秋学期授業/Fall 804
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7405】中国語３－Ⅰ［三田村　圭子］春学期授業/Spring 806
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7406】中国語３－Ⅱ［三田村　圭子］秋学期授業/Fall 807
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7407】中国語３－Ⅰ［薬　進］春学期授業/Spring 808
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R7408】中国語３－Ⅱ［薬　進］秋学期授業/Fall 809
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R7413】中国語コミュニケーション初級Ⅰ［周　重雷］春学期授業/Spring 810
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R7414】中国語コミュニケーション初級Ⅱ［周　重雷］秋学期授業/Fall 811
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R7431】中国語作文初級Ⅰ［康　鴻音］春学期授業/Spring 812
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R7432】中国語作文初級Ⅱ［康　鴻音］秋学期授業/Fall 813
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R7433】中国語視聴覚初級Ⅰ［劉　渇氷］春学期授業/Spring 814
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R7434】中国語視聴覚初級Ⅱ［劉　渇氷］秋学期授業/Fall 815

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R7437】資格中国語初級Ⅰ ［青木　正子］春学期授業/Spring 816
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R7438】資格中国語初級Ⅱ ［青木　正子］秋学期授業/Fall 817
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（諸外国語分野）【R7445】中国語の世界ＬＡ［渡辺　大］春学期授業/Spring 818
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（諸外国語分野）【R7446】中国語の世界ＬＢ［渡辺　大］秋学期授業/Fall 819
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（諸外国語分野）【R7447】中国の文化と社会ＬＡ［山本　律］春学期授業/Spring 820
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（諸外国語分野）【R7448】中国の文化と社会ＬＢ［山本　律］秋学期授業/Fall 821
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8201】スペイン語３Ⅰ ［若林　大我］春学期授業/Spring 822
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8202】スペイン語３Ⅱ ［若林　大我］秋学期授業/Fall 823
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8203】スペイン語３Ⅰ ［杉下　由紀子］春学期授業/Spring 824
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8204】スペイン語３Ⅱ ［杉下　由紀子］秋学期授業/Fall 825
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8205】スペイン語３Ⅰ ［コルメナロメロ　ロベルト］春学期授業/Spring 826
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8206】スペイン語３Ⅱ ［コルメナロメロ　ロベルト］秋学期授業/Fall 827
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8207】スペイン語３Ⅰ ［塩﨑　公靖］春学期授業/Spring 828
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8208】スペイン語３Ⅱ ［塩﨑　公靖］秋学期授業/Fall 829
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8209】スペイン語３Ⅰ ［OSNO I DE SASAKUBO H］春学期授業/Spring 830
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8210】スペイン語３Ⅱ ［OSNO I DE SASAKUBO H］秋学期授業/Fall 831
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8211】スペイン語３Ⅰ ［コルメナロメロ　ロベルト］春学期授業/Spring 832
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8212】スペイン語３Ⅱ ［コルメナロメロ　ロベルト］秋学期授業/Fall 833
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8213】スペイン語３Ⅰ ［杉下　由紀子］春学期授業/Spring 834
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8214】スペイン語３Ⅱ ［杉下　由紀子］秋学期授業/Fall 835
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8215】スペイン語３Ⅰ ［塩﨑　公靖］春学期授業/Spring 836
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8216】スペイン語３Ⅱ ［塩﨑　公靖］秋学期授業/Fall 837
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8217】スペイン語３Ⅰ ［大貫　良史］春学期授業/Spring 838
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8218】スペイン語３Ⅱ ［大貫　良史］秋学期授業/Fall 839
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8219】スペイン語３Ⅰ ［コルメナロメロ　ロベルト］春学期授業/Spring 840
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8220】スペイン語３Ⅱ ［コルメナロメロ　ロベルト］秋学期授業/Fall 841
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8221】スペイン語３Ⅰ ［BARRIENTOS R J DAVID］春学期授業/Spring 842
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8222】スペイン語３Ⅱ ［BARRIENTOS R J DAVID］秋学期授業/Fall 843

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8223】スペイン語３Ⅰ［日高　憲三］春学期授業/Spring 844
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8224】スペイン語３Ⅱ［日高　憲三］秋学期授業/Fall 845
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8225】スペイン語３Ⅰ［日高　憲三］春学期授業/Spring 846
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8226】スペイン語３Ⅱ［日高　憲三］秋学期授業/Fall 847
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8227】スペイン語３Ⅰ［コルメナロメロ　ロベルト］春学期授業/Spring 848
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8228】スペイン語３Ⅱ［コルメナロメロ　ロベルト］秋学期授業/Fall 849
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8231】スペイン語３Ⅰ［OSNO I DE SASAKUBO H］春学期授業/Spring 850
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8232】スペイン語３Ⅱ［OSNO I DE SASAKUBO H］秋学期授業/Fall 851
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R8261】スペイン語４Ⅰ［OSNO I DE SASAKUBO H］春学期授業/Spring 852
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R8262】スペイン語４Ⅱ［OSNO I DE SASAKUBO H］秋学期授業/Fall 853
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R8263】スペイン語４Ⅰ［OSNO I DE SASAKUBO H］春学期授業/Spring 854
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R8264】スペイン語４Ⅱ［OSNO I DE SASAKUBO H］秋学期授業/Fall 855
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R8265】スペイン語４Ⅰ［宮田　絵津子］春学期授業/Spring 856
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R8266】スペイン語４Ⅱ［宮田　絵津子］秋学期授業/Fall 857
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8271】スペイン語(３)Ⅰ［宮田　絵津子］春学期授業/Spring 858
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8272】スペイン語(３)Ⅱ［宮田　絵津子］秋学期授業/Fall 859
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8273】スペイン語(３)Ⅰ［塩﨑　公靖］春学期授業/Spring 860
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8274】スペイン語(３)Ⅱ［塩﨑　公靖］秋学期授業/Fall 861
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8281】スペイン語７［大西　亮］春学期授業/Spring 862
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8282】スペイン語８［久木　正雄］春学期授業/Spring 863
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8291】スペイン語３-Ⅰ［日高　憲三］春学期授業/Spring 864
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8292】スペイン語３-Ⅱ［日高　憲三］秋学期授業/Fall 865
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8293】スペイン語３-Ⅰ［宮田　絵津子］春学期授業/Spring 866
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R8294】スペイン語３-Ⅱ［宮田　絵津子］秋学期授業/Fall 867
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R8301】スペイン語コミュニケーションⅠ［瓜谷　アウロラ］春学期授業/Spring 868
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R8302】スペイン語コミュニケーションⅡ［瓜谷　アウロラ］秋学期授業/Fall 869
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R8303】現代のスペイン語Ⅰ［大西　亮］春学期授業/Spring 870
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R8304】現代のスペイン語Ⅱ［久木　正雄］秋学期授業/Fall 871

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（諸外国語分野）【R8305】スペイン語の世界
ＬＡ［塩﨑　公靖］春学期授業/Spring 872
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（諸外国語分野）【R8306】スペイン語の世界
ＬＢ［塩﨑　公靖］秋学期授業/Fall 873
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R9201】朝鮮語３ A
Ⅰ［内山　政春］春学期授業/Spring 874
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R9202】朝鮮語３ A
Ⅱ［内山　政春］秋学期授業/Fall 875
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R9203】朝鮮語３ A
Ⅰ［内山　政春］春学期授業/Spring 876
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R9204】朝鮮語３ A
Ⅱ［内山　政春］秋学期授業/Fall 877
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R9205】朝鮮語３ A
Ⅰ［内山　政春］春学期授業/Spring 878
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R9206】朝鮮語３ A
Ⅱ［内山　政春］秋学期授業/Fall 879
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R9221】朝鮮語３ B
Ⅰ［梁　禮先］春学期授業/Spring 880
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R9222】朝鮮語３ B
Ⅱ［梁　禮先］秋学期授業/Fall 881
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R9223】朝鮮語３ B
Ⅰ［新谷　あゆり］春学期授業/Spring 882
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R9224】朝鮮語３ B
Ⅱ［新谷　あゆり］秋学期授業/Fall 883
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R9225】朝鮮語３ B
Ⅰ［吉良　佳奈江］春学期授業/Spring 884
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R9226】朝鮮語３ B
Ⅱ［吉良　佳奈江］秋学期授業/Fall 885
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R9227】朝鮮語３ B
Ⅰ［富所　明秀］春学期授業/Spring 886
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R9228】朝鮮語３ B
Ⅱ［富所　明秀］秋学期授業/Fall 887
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R9229】朝鮮語３ B
Ⅰ［吉良　佳奈江］春学期授業/Spring 888
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R9230】朝鮮語３ B
Ⅱ［吉良　佳奈江］秋学期授業/Fall 889
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R9231】朝鮮語３ B
Ⅰ［富所　明秀］春学期授業/Spring 890
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R9232】朝鮮語３ B
Ⅱ［富所　明秀］秋学期授業/Fall 891
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R9233】朝鮮語３ B
Ⅰ［新谷　あゆり］春学期授業/Spring 892
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R9234】朝鮮語３ B
Ⅱ［新谷　あゆり］秋学期授業/Fall 893
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R9241】朝鮮語４ A
Ⅰ［梁　禮先、内山　政春］春学期授業/Spring 894
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R9242】朝鮮語４ A
Ⅱ［梁　禮先、内山　政春］秋学期授業/Fall 895
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R9243】朝鮮語４ A
Ⅰ［梁　禮先、内山　政春］春学期授業/Spring 896
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R9244】朝鮮語４ A
Ⅱ［梁　禮先、内山　政春］秋学期授業/Fall 897
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R9245】朝鮮語４ A
Ⅰ［梁　禮先、内山　政春］春学期授業/Spring 898
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R9246】朝鮮語４ A
Ⅱ［梁　禮先、内山　政春］秋学期授業/Fall 899

2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R9251】朝鮮語 (３) Ⅰ ［李　英美］春学期授業/Spring 900
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R9252】朝鮮語 (３) Ⅱ ［李　英美］秋学期授業/Fall 901
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R9261】朝鮮語７［内山　政春］春学期授業/Spring 902
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R9262】朝鮮語８［髙柳　俊男、内山　政春］春学期授業/Spring 903
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R9271】朝鮮語３-Ⅰ ［新谷　あゆり］春学期授業/Spring 904
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［必修］諸外国語【R9272】朝鮮語３-Ⅱ ［新谷　あゆり］秋学期授業/Fall 905
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R9281】朝鮮語 3C Ⅰ（コミュニケーション）［富所　明秀］春学期授業/Spring 906
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R9282】朝鮮語 3C Ⅱ（コミュニケーション）［富所　明秀］秋学期授業/Fall 907
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R9283】朝鮮語４ B Ⅰ（視聴覚）［新谷　あゆり］春学期授業/Spring 908
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択必修］外国語（諸外国語）【R9284】朝鮮語４ B Ⅱ（視聴覚）［新谷　あゆり］秋学期授業/Fall 909
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R9285】朝鮮語５ A Ⅰ（講読）［吉良　佳奈江］春学期授業/Spring 910
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R9286】朝鮮語５ A Ⅱ（講読）［吉良　佳奈江］秋学期授業/Fall 911
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R9287】朝鮮語５ B Ⅰ（表現法）［神谷　丹路］春学期授業/Spring 912
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 外国語科目_4 群［選択］外国語（英語・諸外国語）【R9288】朝鮮語５ B Ⅱ（表現法）［神谷　丹路］秋学期授業/Fall 913
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（諸外国語分野）【R9289】朝鮮の文化と社会 ＬＡ［李　英美］春学期授業/Spring 914
2017 年度以降入学者_ILAC 科目_200 番台 リベラルアーツ科目_4 群（諸外国語分野）【R9290】朝鮮の文化と社会 ＬＢ［李　英美］秋学期授業/Fall 915

LIN200LA

Intercultural Communication B

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

石原　紀子

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**2 単位**
GBP/SCOPE/IGESS 1〜4 **年※定員制**

他学部公開：　グローバル：○　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
In today's globalization, we are increasingly required to interact internationally across linguistic and cultural borders. Misunderstandings and conflicts are bound to occur, which calls for constructive dialogues and creative solutions. In this course, we will focus primarily on "invisible culture" to deepen your understanding of diversity in cultural orientations, values, behavior, and language uses. You will also reflect on your intercultural experiences and explore your multicultural identities while studying dynamic cultural dimensions.

【到達目標】
In this course, you will 1) cultivate your understanding of the relationships between culture and identity, 2) be able to analyze examples of and reasons for intercultural clashes and relate to others respectfully to come up with constructive solutions to intercultural issues and confusions, 3) be able to use concepts such as stereotypes, generalizations, othering, and marginalization in your analysis, 4) reflect on your intercultural experiences and multicultural identities.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
This is a hybrid class. Depending on the pandemic situation, we may meet most of the weeks on Zoom but if the situation allows, we may meet some weeks in person. Please see Hoppii for details and refer to the instructions there on how to connect to Zoom to attend the first class online.
Before class you are required to work on reading and complete assignments. In class we study relevant material, complete application tasks in small groups, and share your discussion with the whole class. You are encouraged to actively participate in this problem-based learning (PBL). Feedback will be given orally in interaction throughout the course. Written feedback will be provided for your written papers within a week of submission.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction	Self-introduction, course information, ice-breaking activity
2	What is culture?	Visible/invisible culture, 3Ps in understanding culture
3	3Ps of culture, Characteristics of culture	Perspectives of culture
4	Stereotypes and generalizations	Definitions and examples
5	Essentialization	The language of generalization
6	Othering and marginalization	Case study discussion
7	Cultural diversity in academia and the workplace	Understanding diversity as an asset
8	Similarities and differences in cultural orientations-1	Analysis of cultural orientations (#1-3)
9	Similarities and differences in cultural orientations-2	Analysis of cultural orientations (#4-6)
10	Cultural case studies – 1	Analysis of use of time and group dynamics
11	Cultural case studies – 2	Application of Hofstede's Cultural Dimensions and other frameworks
12	Student-led discussions - 1	Intercultural case studies (group presentations)
13	Student-led discussions - 2	Intercultural case studies (group presentations)
14	Student-led discussions - 3, reflection	Intercultural case studies (group presentations), Wrap-up discussion

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
You should complete assigned reading and/or writing before coming to class. Come ready to discuss the material with your classmates coming from different (sub)cultures.
University guidelines suggest the preparation and review time of around two hours a week for a two-credit course like this one.
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Weekly readings will be made accessible through the course website (Google Classroom). Become familiar with this online resource to download readings and post your assignments. You are also expected to check your university email account daily to keep up with course announcements.

【参考書】
Handouts and resources related to the course content will be distributed in class or made available in Google Classroom.

【成績評価の方法と基準】
You will receive a formal evaluation of your work at the end of the term. The grade on a late assignment will be lowered. You will be graded on:
1) Participation (20%)
2) Reading assignments and quizzes (50%)
3) Cultural case study discussion (10%)
4) Final paper (20%) (tentative percentages)
Regular attendance is essential in order to benefit from the interactive nature of this course. You will not be able to pass this course if you miss more than three class periods a semester except in extreme circumstances.

【学生の意見等からの気づき】
Because this course is to be conducted in English, students must be competent speakers/writers of English (e.g., native or proficient with TOEFL ® iBT 61 or above). International and Japanese students of any majors are welcome as long as they are interested in diverse world cultures. Students should view each other's cultural experiences as an asset to this course and create a friendly and respectful learning community.

【学生が準備すべき機器他】
Be prepared to use Hoppii, Google Classroom, and Zoom with your university account and check your university email daily. You will need to use a headset with a microphone if you are attending class on campus.

【その他の重要事項】
Depending on the pandemic situation and your preferences, course delivery method may be changed. Please check the announcement to be made on Hoppii before the start of the course.

【Outline and objectives】
In today's globalization, we are increasingly required to interact internationally across linguistic and cultural borders. Misunderstandings and conflicts are bound to occur, which calls for constructive dialogues and creative solutions. In this course, we will focus primarily on "invisible culture" to deepen your understanding of diversity in cultural orientations, values, behavior, and language uses. You will also reflect on your intercultural experiences and explore your multicultural identities while studying dynamic cultural dimensions.

HIS200LA

Intercultural Communication A　2017 年度以降入学者

サブタイトル：Globalizing Japan from the Mid-Nineteenth Century to the Pres

藤本　大士

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**2 単位**
GBP/SCOPE/IGESS 2〜4 **年**　**※定員制**
他学部公開：　グローバル：○　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
From the middle of the nineteenth century, more and more Japanese people traveled abroad hoping to learn new knowledge from foreign countries. On the other hand, some people came to Japan from Europe, North America, and Asia with various purposes, such as business, diplomacy, evangelism, and education. Why and how did these people decide to travel from/to Japan? What did they learn from foreign cultures? What did they bring back to their home countries? This course offers students an opportunity to discuss these questions and explore the struggles and achievements of pioneering historical figures who crossed the borders and received rich experiences in foreign countries.

【到達目標】
Students will be familiarized with the nature and methods of history.
Students will gain basic knowledge on modern and contemporary Japanese history from a global perspective.
Students will develop their skills for reading, presenting, and writing through historical documents.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
Based on the assigned readings and the instructor's lectures, students will discuss various topics on modern and contemporary Japanese history from a global perspective.
Students are expected to read the assigned materials before a class and to actively contribute to the class discussion. Students are also expected to give one presentation and to write one essay on a historical figure whom students choose.
All the assigned documents are written in English, and discussion, presentation, and writing are conducted in English. Knowledge of Japanese history and the Japanese language will be helpful, but it is not required.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction	Course overview
2	Overview	Lecture on Japanese history from a global perspective
3	Overseas Students 1:	Reading and discussion of the topic; short student presentations
4	Overseas Students 2	Reading and discussion of the topic; short student presentations

5	Educators 1	Reading and discussion of the topic; short student presentations
6	Educators 2	Reading and discussion of the topic; short student presentations
7	Film screening	Film screening on a relevant topic
8	Businessmen 1	Reading and discussion of the topic; short student presentations
9	Businessmen 2	Reading and discussion of the topic; short student presentations
10	Evangelists 1	Reading and discussion of the topic; short student presentations
11	Evangelists 2	Reading and discussion of the topic; short student presentations
12	Student Presentations 1	Presentations about a historical figure whom students choose for the final essay
13	Student Presentations 2	Presentations about historical figures whom students choose for the final essay
14	Wrap-Up	Reflection on the class; advice for the final essay

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
University guidelines suggest preparation and review should be around two hours a week for a two-credit course.

【テキスト（教科書）】
The reading assignments will be made available online through the course management system.

【参考書】
The references will be made available online through the course management system.

【成績評価の方法と基準】
Class participation 50%; Presentations 25%; Final essay 25%
Class participation:
Students are expected to read the assigned materials and contribute to class discussions. Simply showing up for class is not enough. Students may miss class only if it qualifies as an excused absence (e.g., illness or grievance). Please clear your absences with the instructor beforehand. Three or more unexcused absences can result in failure.
Presentations:
Students are expected to give two presentations; one is about the assigned readings, and the other is about a historical figure whom students choose for the final essay.
Final essay:
Using the assigned readings as a starting point, students are expected to prepare a 5 to 10-page paper on a historical figure whom students choose.

【学生の意見等からの気づき】
N/A

【Outline and objectives】
From the middle of the nineteenth century, more and more Japanese people traveled abroad hoping to learn new knowledge from foreign countries. On the other hand, some people came to Japan from Europe, North America, and Asia with various purposes, such as business, diplomacy, evangelism, and education. Why and how did these people decide to travel from/to Japan? What did they learn from foreign cultures? What did they bring back to their home countries? This course offers students an opportunity to discuss these questions and explore the struggles and achievements of pioneering historical figures who crossed the borders and received rich experiences in foreign countries.
Students will receive feedback individually or during sessions to improve their future assignments.

POL200LA

Intercultural Communication C

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Language and Culture in Sync: Communication Strategies across Languages

石原　紀子

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**木** 1/Thu.1
単位数：**2 単位**
GBP/SCOPE/IGESS 1〜4 **年※定員制**

他学部公開：　グローバル：○　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Without cultural knowledge, language users may not fully understand the meaning of a message. Even with perfect grammar, we could completely offend our conversational partners without using language in a culturally suitable manner. In this course, we will take a close look at the face-saving strategies used in world languages. We will also consider and discuss diverse cultural values and orientations that are closely connected to verbal and non-verbal behavior. Enhanced linguistic and cultural awareness will help you become a more tactful and respectful user of your first and second languages and prepare you for effective intercultural communication.

【到達目標】
In this course, you will become able to 1) cultivate your understanding of the relationship between language form, meaning, and context, 2) become familiar with the notions of face and politeness, 3) collect and analyze authentic language samples, 3) understand cultural values and orientations behind language use in world languages. The course will also provide an opportunity for you to reflect on intercultural misunderstandings and respectful communication strategies with which to relate to others.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
This is a hybrid class. Depending on the pandemic situation, we may meet most of the weeks on Zoom but if the situation allows, we may meet some weeks in person. Please see Hoppii for details and refer to the instructions there on how to connect to Zoom to attend the first class online.
Before class you are required to work on reading and complete assignments. In class we study relevant material, complete tasks in small groups, and share the discussion with the whole class. You are encouraged to actively participate in this problem-based learning (PBL). Feedback will be given orally in interaction throughout the course. Written feedback will be provided for your written papers within a week of submission.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction	Self-introduction, course information, ice-breaking activity
2	Greetings	Analysis of authentic language data
3	Face and politeness	Positive and negative politeness
4	Giving and responding to compliments - 1	Linguistic aspects of compliments/responses
5	Language data collection	Designing DCTs and role-plays
6	Giving and responding to compliments - 2	Cultural aspects of compliments/responses
7	Refusals - 1	Language of refusals, data collection, signing up for the final project
8	Refusals - 2	Cultural similarities/ differences in refusals
9	Language analysis discussion, peace linguistics	Analysis of spoken or written language
10	Apologies	Student presentations, language analysis of apologies
11	Thanks	Student presentations, language analysis of thanks
12	Invitations	Student presentations, language analysis of invitations
13	Requests	Student presentations, language analysis of requests
14	Complaints, wrap-up	Student presentations, language analysis of complaints, and final reflection

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
You should complete assigned reading and/or writing before coming to class. Come ready to discuss the material with your classmates coming from different (sub)cultures. University guidelines suggest the preparation and review time of around two hours a week for a two-credit course like this one. 本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Readings will be made accessible through the course website (Google Classroom). Become familiar with this online resource to read and complete your assignments before class. You are also expected to check your university email account daily to keep up with course announcements.

【参考書】
Handouts and resources related to the course content are to be distributed in class or made accessible in Google Classroom.

【成績評価の方法と基準】
You will receive a formal evaluation of your work at the end of the term. The grade on a late assignment will be lowered. You will be graded on:
1) Participation (20%)
2) Language analysis quizzes (25%)
3) Language analysis assignments (15%)
4) Final presentation and materials (40%) (tentative percentages)
Regular attendance is essential in order to benefit from the interactive nature of this course. You will not be able to pass this course if you miss more than three class periods a semester except in extreme circumstances.

【学生の意見等からの気づき】
Because this course is to be conducted in English, students must be competent speakers/writers of English (e.g., native or proficient with TOEFL ® iBT 61 or above). International and Japanese students of any majors are welcome as long as they are interested in world languages. Students should view each other's languages and cultural experiences as an asset to this course and create a friendly and respectful learning community.

【学生が準備すべき機器他】
Be prepared to use Hoppii, Google Classroom, and Zoom with your university account and check your university email daily. You will need to use a headset with a microphone if you are attending class on campus.

【その他の重要事項】
Depending on the pandemic situation and your preferences, course delivery method may be changed. Please check the announcement to be made on Hoppii before the start of the course.

【Outline and objectives】
Without cultural knowledge, language users may not fully understand the meaning of a message. Even with perfect grammar, we could completely offend our conversational partners without using language in a culturally appropriate manner. In this course, we will take a close look at the face-saving strategies used in world languages. We will also consider and discuss diverse cultural values and orientations that are closely connected to verbal and non-verbal behavior in world cultures. This enhanced linguistic and cultural awareness will help you become a more tactful and respectful user of your first and second languages and prepare you for effective intercultural communication.

LIN200LA

Intercultural Communication D

2016 年度以前入学者

サブタイトル：Art-Based Education: Learning language and social activism

Noriko ISHIHARA

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**2 単位**
GBP/SCOPE/IGESS 1〜4 **年※定員制**

他学部公開：　グローバル：○　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Have you learned an additional language through music, film, poetry, stories, novels, or any other forms of art? What was your experience like? In this course, we start by discussing why art facilitates learning, especially second language acquisition. You will then experience various forms of art incorporated into language learning and teaching through the modeling by the instructor as well as through peer teaching. We are also going to discuss social activism expressed through artwork and research activism in the world.

【到達目標】
In this course, you will: 1) understand and appreciate artistic forms of language education, 2) understand social activism behind artistic expression, 3) be able to analyze the relevance of the social issues to the present-day world of globalization, and 3) participate in an art-based approach to language learning/teaching using your creativity. You will also reflect on your own reactions to an artistic approach to language education and social justice and consider how this learning may influence your values, identities and worldview.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
This is an online, real-time delivery course; every class will be taught on Zoom. Please refer to the instructions on Hoppii on how to connect to Zoom to attend the first class online, in which more detail will be explained.
Before class you are required to work on some reading assignments. In class we study new material, complete relevant tasks in pairs or small groups, and share your discussion with the class. You are encouraged to actively participate in this problem-based learning (PBL). Feedback will be given orally in interaction throughout the course. Written feedback will be provided for your written papers within a week of submission.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction	Course information, getting to know each other
2	Learning language from/with art	Learning language from poetry, Marshall Rosenberg
3	Poetry - 1, social activism	Developing identities through poetry, Mother Teresa
4	Poetry - 2, social activism	Participate in poetry writing, Mahatoma & Katurabai Gandhi
5	Film, social activism	Film for art and social justice, Nelson Mandela
6	Stories/Story-telling, social activism	Learning language through narratives, Mairead Corrigan McGuire & Betty Williams
7	Artistic creativity in peace linguistics, social activism	Language learning and peace, H. H. The Dalai Lama
8	Music - 1, social activism	Learning language through music, social activist (TBA)
9	Music - 2, social activism	Social activism through music, Peter Benenson
10	Children's literature,	Art and social justice in picture books, Sister Chan Khong
11	Folk tales	Peace education via kamishibai theater, Cesar Chavez
12	Novels	Learning language and social issues through literature, Meena Keshwar Kamal
13	Speeches	Learning language and social issues through a speech, social activist (TBA)
14	Wrap-up	Reflection and your artistic expression

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
You should complete assigned reading and/or assignments ahead of time and come to class ready for discussion. Review your lesson thoroughly after class.
For your presentations, develop an art-based language lesson (peer teaching) and creative multi-media talk on a social activist.
University guidelines suggest the preparation and review time of around two hours a week for a two-credit course like this one. 本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Censor, Meera. (2011). Humanitarians for justice, nonviolence, and peace. San Bernadino, California.

【参考書】
Other readings will be distributed through the course website, Google Classroom. Handouts and resources related to the course content are to be provided in class or made available in Google Classroom.

【成績評価の方法と基準】
a. Participation (20%)
b. Micro-teaching using an art-based approach (25%)
c. Mini-research presentation on an social activist (25%)
d. Reflective writing (30%)
You will not be able to pass this course if you miss more than three class periods a semester except in extreme circumstances.

【学生の意見等からの気づき】
Message to the course participants:
This is a relatively new course that opened in the spring of 2019. We had fascinating discussion and both students and I learned a great deal! This course is conducted in English. Students must be competent speakers of English (native or proficient with TOEFL ® iBT 61+ or equivalent). If your scores are TOEFL ® iBT 61 - 100, you can take this course but be ready to make a little more thorough preparation each week.
If you are interested in current issues, you're an excellent fit for this class. If you are more of a learner who likes the fun of language and art, you are also welcome. I expect international and Japanese students of all majors to work collaboratively despite their different cultural and linguistic backgrounds. Come with an open mind and learn from each other!

【学生が準備すべき機器他】
Please be prepared to use Hoppii, Google Classroom, and Zoom with your university account and check your university email daily. You will need to use a headset with a microphone if you are attending class on campus.

【Outline and objectives】
Have you learned an additional language through music, film, poetry, stories, novels, or any other forms of art? What was your experience like? In this course, we start by discussing why art facilitates learning, especially second language acquisition. You will then experience various forms of art incorporated into language learning and teaching through the modeling by the instructor as well as through peer teaching. We are also going to discuss social activism expressed through artwork and research activism in the world.

ARSa200LA

Intercultural Communication E

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

コリンヌ　ヴァリエンヌ

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 1/Fri.1
単位数：**2 単位**
GBP/SCOPE/IGESS 1〜4 **年※定員制**

他学部公開：　グローバル：○　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
このクラスでは、ファッションと料理にフランス文化を発見するでしょう。
In this class you will discover French culture in fashion and gastronomy.Intercultural part is also important and you will improve your knowledge about French culture.

【到達目標】
ファッションと料理の語彙や表現を発見. 学生は、ファッションと料理のテーマについての会話を作ることができるようになります
you will be able to describe a fashion show and talk about stylists as well as to recognize regional dishes and chef.You will improve your knowledge about French culture.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
フランスのファッションとグルメの文化についてのテキストとビデオを制作します。
We will study documents about French fashion and French Gastronomy. For example, you will discover famous French city, Chefs and Stylists. Intercultural part is very important in this class and you will have to think about your own habits and compare with your own culture.You'll have some reports (4 or 5)during the semester and a Final report.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	Presentation	program of the semester
第 2 回	French region	Lyon 1 - All about the beginning of French "cinema"
第 3 回	gastronomy	Lyon 2 - the specificity of Lyon cuisine
第 4 回	Culture	Lyon 3 - what about the cultural aspects of Lyon
第 5 回	Fashion	Coco Chanel -
第 6 回	Gastronomy	Do you know "Champagne" ? how to make champagne and the symbol of this famous drink
第 7 回	Gastronomy	Champagne 2 - What is the Champagne gastronomy ? Champagne is not only a drink, it is a famous region of France too.
第 8 回	Culture	What can you visit in Champagne ?
第 9 回	Gastronomy	Joël Robuchon, one of the famous French chef.
第 10 回	Culture	Paris 1 - Paris's secrets - Museum and places you don't know in Paris
第 11 回	Gastronomy	Paris 2 -What do Parisien eat ? Speciality of Paris
第 12 回	Gastronomy and culture	The art of eating from Middle age to XIXe century
第 13 回	Revision	Fashion and gastronomy revisions
第 14 回	Exam	Exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
文献を事前に読む、テキスト・演習問題の予習・復習、授業内で示される課題（レポート、演習問題）対応など、準備学習・復習・宿題等の内容を具体的に記述します。 Preparatory study and review time for this class are 2 hours each.Preparatory study and review time for this class are 2 hours each. 本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4
hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
dictionary - 辞書

【参考書】
辞書- a dictionary will help you to understand some French sentences or expressions

【成績評価の方法と基準】
出席と参加 - CLASSROOM PRESENCE AND PARTICIPATION : 50%.
最終試験 - FINAL EXAM : 50 %

【学生の意見等からの気づき】
直近の授業改善アンケートを踏まえた授業改善のための取り組みや工夫の内容を示します。

【学生が準備すべき機器他】
For online or On demand classes, it is important to have a computer and internet connexion.

【Outline and objectives】
you will be able to describe and recognize a style looking at fashion show and talk about stylists as well as to recognize regional dishes and chef, etc.

ARSa200LA

Intercultural Communication F

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

コルベイユ　スティーブ

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**2 単位**
GBP/SCOPE/IGESS 1〜4 **年※定員制**

他学部公開：　グローバル：○　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
The goal of this class is to learn about the history and culture of French speakers living in the Canadian province of Quebec. Students will look at the very diverse cultural production of Quebec writers, intellectuals, and filmmakers from the 1960s to the present day. The class will focus on one important keyword in order to understand Quebec society and culture: the concept of sovereignty.
*** This class will be conducted online.

【到達目標】
Students will learn the basic theories surrounding the political concept of sovereignty. Then, they will apply these theories in order to better understand Quebec literature and films. They will be able to develop a critical approach to literary and film analysis that takes into account the cultural specificity of Quebec as well as its place in wider debates concerning political independence, minority language and intercultural communication.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
This is a lecture class, but students will have to ask questions during class and give their opinion on many aspects of the lecture. After every class they will have to write comment papers.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction to Quebec society from the 1960s	This class will be a survey of Quebec history from the Quiet Revolution to the present day.
2	Introduction to the concept of sovereignty	Students will learn about the concept of sovereignty through analysis of canonical texts.
3	Criticism regarding the concept of sovereignty and nationalism	We will look at the main criticism against sovereignty and nationalism as well as their impact on Quebec nationalist movement.
4	The importance of French language as the foundation of Quebec identity	We will try to understand why French is the cornerstone of Quebec identity.
5	Hockey, French language, and religion	We will watch and analyze a short film based on a novella by Roch Carrier: The Hockey Sweater
6	Personal sovereignty and political sovereignty	We will read and analyze excerpts from a novel by Hubert Aquin: Next Episode
7	Referendum and independence	We will look at the cultural production surrounding the first (1980) and second (1995) Quebec Referendum.
8	Post-referendum identity crisis	We will read and analyze songs and poems, as well as essays about the Referendum.
9	Immigration, identity, and interculturalism	We will look at the different steps taken by the Quebec government to create an inclusive society, and how it conflicts to a certain extent with the idea of sovereignty.
10	Current debates surrounding immigration and interculturalism	We will look at essays and opinion pieces written about immigration in Quebec.
11	Feminism in Quebec	Students will learn about the history of the feminist movement in Quebec.
12	Literature and migration	We will read a text by Kim Thuy and look a the situation of refugees in Quebec.
13	Literature and Quebec migration	We will read a text by Marco Micone.
14	Quebec and cinema	We will watch and analyze a film by Pierre Falardeau.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students will be asked to read a series of texts by French writers and intellectuals in English translation. They will have to write short commentaries about the texts. Also, they will have to watch short films produced in Quebec. Preparatory study and review time for this class are 2 hours each.

【テキスト（教科書）】
There is no textbook for this class.

【参考書】
Jacques Derrida, The Beast and the Sovereign, Volume I (The Seminars of Jacques Derrida), University Of Chicago Press, 2011.
Jacques Derrida, The Death Penalty, Volume I (The Seminars of Jacques Derrida),University Of Chicago Press, 2013.
Hubert Aquin, Next Episode, New Canadian Library, 2010.
Roch Carrier, The Hockey Sweater, Tundra Books, 1985.
Gerard Bouchard, Interculturalism: A View from Quebec,University of Toronto Press, 2015.
Gerard Bouchard, National Myths: Constructed Pasts, Contested Presents, Routledge, 2013.

【成績評価の方法と基準】
Final exam (40%)
Short essays (40%)
Class participation (20%)

【学生の意見等からの気づき】
There has not been negative feedback for this class. I intend to put more emphasis on active learning this year.

【学生が準備すべき機器他】
None

【Outline and objectives】
The goal of this class is to learn about the history and culture of French speakers living in the Canadian province of Quebec. Students will look at the very diverse cultural production of Quebec writers, intellectuals, and filmmakers from the 1960s to the present day. The class will focus on one important keyword in order to understand Quebec society and culture: the concept of sovereignty.

LANc200LA

中国語補講３Ⅰ

2017 年度以降入学者

沈　小南

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**木** 4/Thu.4
単位数：**1 単位**
法文営環 3 年（再履修のみ）※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理解力の増進。

【到達目標】
文章を通じて、読解、聴解を伸ばす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
1 年次で習得した知識の基本固めをしながら、多様な話題について、平易な中国語を話し、書き、聞くことができるように段階を追って、練習を積み重ねていく。単語力を増やし、易しい文型を繰り返し発音、暗記することが求められる。
課題等へのフィードバックは授業時間または学習支援システムを通じて行う。
「大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。」

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回目	導入	導入
2 回目	招く	動作の進行形
3 回目	婉曲に断る	１、連用修飾語としての期間を表す名詞　２、動態助詞【了】
4 回目	お詫び	１、結果補語としての形容詞【好】２、副詞【就】、【才】など
5 回目	残念	１、兼語文　２、【是不是】を用いる反復疑問文
6 回目	称賛	１、文型【又～又～】２、複文【要是～就～】
7 回目	祝賀	１、結果補語としての【開】、【下】２、可能補語としての【了】
8 回目	忠告	存現文など
9 回目	比較	１、比較文２、数量補語
10 回目	趣味	時量補語（１）など
11 回目	言葉	時量補語（２）など
12 回目	復習	総復習
13 回目	試験 1	発音試験、春学期のまとめ
14 回目	試験 2	筆記試験、春学期のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
1 年生の教科書をはじめ、過去の教科書をよく復習すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『中国語会話３０１文』（下）語文研究社、1365 円。

【参考書】
『中国語学習ハンドブック』大修館書店

【成績評価の方法と基準】
筆記試験（40 %）、発音試験（30 %）、平常点（30 %）、の三つを合わせて、総合評価を出す。

【学生の意見等からの気づき】
もっと中国文化を紹介し、日中友好と相互理解を深めたい。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for students who have failed Chinese 3 before. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語補講３Ⅱ

2017 年度以降入学者

沈　小南

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**木** 4/Thu.4
単位数：**1 単位**
法文営環 3 年（再履修のみ）※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理解力の増進。

【到達目標】
文章を通じて、読解、聴解を伸ばす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
1 年次で習得した知識の基本固めをしながら、多様な話題について、平易な中国語を話し、書き、聞くことができるように段階を追って、練習を積み重ねていく。単語力を増やし、易しい文型を繰り返し発音、暗記することが求められる。
課題等へのフィードバックは授業時間または学習支援システムを通じて行う。
「大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。」

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回目	復習	復習
2 回目	旅行（1）	１、方向補語（３）２、反語文
3 回目	旅行（2）	１、動作の持続　２、結果補語としての【見】
4 回目	旅行（3）	１、形容詞の重ね型　２、可能補語（２）
5 回目	診察を受ける	１、【把】文（１）２、【一～就～】
6 回目	見舞い	受動文
7 回目	お別れの挨拶	１、時量補語（３）２、【有的～、有的～】
8 回目	送別会	１、複文【雖然～但是～】２、【把】文（２）
9 回目	託送	１、複文【不但～而且～】２、可能補語としての【動】
10 回目	送別（1）	１、動作の持続と進行２、【不如】を用いる比較文
11 回目	送別（2）	１、【把】文（３）２、慣用句【～了～就～】
12 回目	復習	総復習
13 回目	試験 1	発音試験、秋学期のまとめ
14 回目	試験 2	筆記試験、秋学期のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
1 年生の教科書をはじめ、過去の教科書をよく復習すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『中国語会話３０１文』（下）語文研究社、1365 円。

【参考書】
『中国語学習ハンドブック』大修館書店

【成績評価の方法と基準】
筆記試験（40 %）、発音試験（30 %）、平常点（30 %）、の三つを合わせて、総合評価を出す。

【学生の意見等からの気づき】
もっと中国文化を紹介し、日中友好と相互理解を深めたい。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for students who have failed Chinese 3 before. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語補講３Ｉ

2017 年度以降入学者

沈　小南

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**木** 5/Thu.5
単位数：**1 単位**
法文営環 3 年（再履修のみ）※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理解力の増進。

【到達目標】
文章を通じて、読解、聴解を伸ばす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
1 年次で習得した知識の基本固めをしながら、多様な話題について、平易な中国語を話し、書き、聞くことができるように段階を追って、練習を積み重ねていく。単語力を増やし、易しい文型を繰り返し発音、暗記することが求められる。
課題等へのフィードバックは授業時間または学習支援システムを通じて行う。
「大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。」

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回目	導入	導入
2 回目	招く	動作の進行形
3 回目	婉曲に断る	１、連用修飾語としての期間を表す名詞　２、動態助詞【了】
4 回目	お詫び	１、結果補語としての形容詞【好】２、副詞【就】、【才】など
5 回目	残念	１、兼語文　２、【是不是】を用いる反復疑問文
6 回目	称賛	１、文型【又～又～】２、複文【要是～就～】
7 回目	祝賀	１、結果補語としての【開】、【下】２、可能補語としての【了】
8 回目	忠告	存現文など
9 回目	比較	１、比較文２、数量補語
10 回目	趣味	時量補語（１）など
11 回目	言葉	時量補語（２）など
12 回目	復習	総復習
13 回目	試験 1	発音試験、春学期のまとめ
14 回目	試験 2	筆記試験、春学期のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
1 年生の教科書をはじめ、過去の教科書をよく復習すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『中国語会話３０１文』（下）語文研究社、1365 円。

【参考書】
『中国語学習ハンドブック』大修館書店

【成績評価の方法と基準】
筆記試験（40 %）、発音試験（30 %）、平常点（30 %）、の三つを合わせて、総合評価を出す。

【学生の意見等からの気づき】
もっと中国文化を紹介し、日中友好と相互理解を深めたい。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for students who have failed Chinese 3 before. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語補講３Ⅱ

2017 年度以降入学者

沈　小南

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**木** 5/Thu.5
単位数：**1 単位**
法文営環 3 年（再履修のみ）※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
理解力の増進。

【到達目標】
文章を通じて、読解、聴解を伸ばす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
1 年次で習得した知識の基本固めをしながら、多様な話題について、平易な中国語を話し、書き、聞くことができるように段階を追って、練習を積み重ねていく。単語力を増やし、易しい文型を繰り返し発音、暗記することが求められる。
課題等へのフィードバックは授業時間または学習支援システムを通じて行う。
「大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。」

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回目	復習	復習
2 回目	旅行（1）	１、方向補語（３）２、反語文
3 回目	旅行（2）	１、動作の持続　２、結果補語としての【見】
4 回目	旅行（3）	１、形容詞の重ね型　２、可能補語（２）
5 回目	診察を受ける	１、【把】文（１）２、【一～就～】
6 回目	見舞い	受動文
7 回目	お別れの挨拶	１、時量補語（３）２、【有的～、有的～】
8 回目	送別会	１、複文【雖然～但是～】２、【把】文（２）
9 回目	託送	１、複文【不但～而且～】２、可能補語としての【動】
10 回目	送別（1）	１、動作の持続と進行２、【不如】を用いる比較文
11 回目	送別（2）	１、【把】文（３）２、慣用句【～了～就～】
12 回目	復習	総復習
13 回目	試験 1	発音試験、秋学期のまとめ
14 回目	試験 2	筆記試験、秋学期のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
1 年生の教科書をはじめ、過去の教科書をよく復習すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『中国語会話３０１文』（下）語文研究社、1365 円。

【参考書】
『中国語学習ハンドブック』大修館書店

【成績評価の方法と基準】
筆記試験（40 %）、発音試験（30 %）、平常点（30 %）、の三つを合わせて、総合評価を出す。

【学生の意見等からの気づき】
もっと中国文化を紹介し、日中友好と相互理解を深めたい。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for students who have failed Chinese 3 before. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語補講３Ⅰ

2017 年度以降入学者

王　安

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**金** 1/Fri.1
単位数：**1 単位**
法文営環 3 年（再履修のみ）※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
中国語初級～中級レベルに必要な語彙・文法・表現を総合的に習得し，中国の文化・習慣における基本知識を理解する。授業では、各課の内容を巡って、グループで会話をしたり、重要文法項目について作文をしたり、様々な練習問題をしたりすることによって、学んだ知識を確実に身につけていく。

【到達目標】
初級中国語を終えた学習者を対象に、初級中国語の内容を実際に運用できるように練習し、中級中国語の語彙、文法、構文を身に着けることを目標とする。読解力のみならず、「話す」「聞く」「書く」などの能力もバランスよく訓練し、中国語総合能力の向上を目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
授業では先生と一緒に単語と本文を音読し、中国語の正しい発音を覚えていく。また、重要単語の意味と用法、文法項目及び関連知識を学習し、作文練習や補足練習を通して確実に身に着ける。さらに、各課のトピックに合わせて、グループで会話練習を行う。このように、授業は中国語の総合能力の向上を意識して進めていく。
課題などに対するフィードバックは随時授業内で行います。
なお、基本的にオンデマンド形式で授業を行う予定ですが、コロナ感染の状況によって、授業形態を変える可能性もあります。詳しい授業形態については、4 月の新学期に Hoppii の「お知らせ」をご確認ください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	ガイダンス	発音の復習、中国語初級文法、構文などの復習
2 回	第 1 課　自我介⊠	①自己紹介に関する重要表現、言い方を学習する。 ②重要文法項目：前置詞 “在、跟” などの用法、動詞の重ね型。
3 回	第 1 課　自我介⊠	実践練習： 自己紹介の仕方 (自分の名前、故郷、家族構成、専攻、など)
4 回	第 2 課　李⊠有很多⊠好	①趣味を紹介する際に使う重要表現、言い方を学習する。 ②重要文法項目：前置詞 “对”“从” の用法、助動詞 “打算” の用法。
5 回	第 2 課 李⊠有很多⊠好	実践練習：様々な趣味の中国語の言い方を身に着け、自分や友人の趣味を人に紹介する。
6 回	第 3 課 ⊠大⊠的一天	①一日の行動を述べる際の構文、表現を学ぶ。 ②重要文法項目： 連動文、様態補語、時間副詞の用法。
7 回	第 3 課 ⊠大⊠的一天	実践練習： 連動文や時間副詞を用いて、自分の一日の行動を中国語で表現する。
8 回	第 4 課 ⊠芳的⊠⊠	①人の性格、特徴や仕事に関する言い方、表現を学習する。 ②重要文法項目：助動詞 “能” の用法、方向補語、中国語の感情動詞など。
9 回	第 4 課 ⊠芳的⊠⊠	実践練習：中国語で自分の友人の性格、特徴などを紹介する。
10 回	第 5 課 我⊠是去年⊠⊠的	①過去の出来事を述べる際に使用する表現、構文などを学ぶ。 ②重要文法項目：“是…的” 構文、因果関係の複文、中国語の離合動詞。
11 回	第 5 課 我⊠是去年⊠⊠的	実践練習： 中国語の “是…的” 構文の機能、使い方を正しく理解し、“是…的” 構文を使えるように練習する。
12 回	第 6 課 你知道 “⊠⊠⊠” ⊠？	①情報や知識を人に伝える際に使う表現、構文を学ぶ ②重要文法項目： 前置詞、逆接接続詞の使い方、“快要…了” の使い方、助動詞 “要” の用法
13 回	第 6 課 你知道 “⊠⊠⊠” ⊠？	実践練習： 中国語である情報やニュースまたは知識を人に紹介する。
14 回	期末試験	筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
１、事前に教科書を音読し，「warming up」を予習してください。
２、授業で補足された内容を必ずメモし，授業後整理してください。
３、授業後，復習を通してその日の語彙と構文を知識として定着させる。
本授業の準備学習・復習時間は各３時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『標準中国語読解力 UP 編』王安・楊川・王欣・孫樹林　朝日出版
2200 円＋税
ISBN978-4-255-45215-9C1087

【参考書】
『WHY？ にこたえるはじめての中国語の文法書』相原茂・石田知子・戸沼市子著　2,500 円（同学社）
その他の資料は授業で随時紹介する。

【成績評価の方法と基準】
平常点（課題 45 %）＋総合まとめ課題（55 %/2 回）＝１００点で評価します。
注意点：①課題の未提出は８点減点/一回
②課題提出の遅れは４点減点/一回
（提出が締め切りより遅れた場合、期間は締め切り日から一週間以内
と限定します。一週間過ぎてからの提出は成績評価しません）

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】
・音声教材を日常的に聴くことができる機器が必要です。
・オンライン授業を受講するため通信環境・PC 等の準備をしてください。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語補講３Ⅱ

2017 年度以降入学者

王　安

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 1/Fri.1
単位数：**1 単位**
法文営環 3 年（再履修のみ）※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
前期に引き続き、中国語中級レベルに必要な語彙・文法・表現を総合的に習得し，中国の文化・習慣への理解を深める。授業では、各課の内容を巡って、グループで会話をしたり、重要文法項目について作文をしたり、様々な練習問題をしたりすることによって、学んだ知識を確実に身につけていく。

【到達目標】
初級～中級中国語を終えた学習者を対象に、これまで学んできた内容を実際に運用できるように練習し、中級中国語の語彙、文法、構文を身に着けることを目標とする。読解力のみならず、「話す」「聞く」「書く」などの能力もバランスよく訓練し、中国語総合能力の向上を目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
　授業では先生と一緒に単語と本文を音読し、中国語の正しい発音を覚えていく。また、重要単語の意味と用法、文法項目及び関連知識を学習し、作文練習や補足練習を通して確実に身に着ける。さらに、各課のトピックに合わせて、グループで会話練習を行う。このように、授業は中国語の総合能力の向上を意識して進めていく。
　課題などに対するフィードバックは随時授業内で行います。
なお、基本的にオンデマンド形式で授業を行う予定ですが、コロナ感染の状況によって、授業形態を変える可能性もあります。詳しい授業形態については、4 月の新学期に Hoppii の「お知らせ」をご確認ください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	第７課	①前期復習 ②中国語の外来語 ③重要表現、文法の説明
2 回	第７課	実践練習： 中国語の外来語や日中両言語の表記体系、外来語の相違を紹介する。
3 回	第８課	①中国の大学や大学生の生活に関する表現を学ぶ。 ②重要文法項目の説明
4 回	第８課	実践練習： 中国語で自分の大学や大学生活を紹介する。
5 回	第９課	①中国の若者文化、若者の生活に関する中国語表現を学ぶ。 ②重要文法項目の説明。
6 回	第９課	実践練習： 中国の若者言葉を紹介し、日本語や日本の文化が中国の若者に与えた影響を紹介する。
7 回	第１０課	①日本の “動漫” に関する中国語表現を学ぶ ②重要文法項目の説明。
8 回	第１０課	実践練習： 日本の “動漫” が中国に与えた影響を紹介し、映画やアニメに関する中国語表現を紹介する。
9 回	第１１課	①北京に関する知識、北京生活に関する表現を学ぶ。 ②重要文法項目の説明。
10 回	第１１課	実践練習： 北京の言葉、生活、文化などに関連する中国語表現を練習する。
11 回	第１２課	①中国の飲食文化を紹介し、それに関連する表現を学ぶ。 ②重要文法項目の説明。
12 回	第１２課 第１３課	①飲食に関する中国語表現を用いて練習する。 ②中国の民族に関連する知識を紹介する
13 回	第１４課	①中国の旧正月に関する知識、表現を学ぶ。 ②重要文法項目の説明。 ③まとめ
14 回	期末試験	筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
１、事前に教科書を音読し，「warming up」を予習してください。
２、授業で補足された内容を必ずメモし，授業後整理してください。
３、授業後，復習を通してその日の語彙と構文を知識として定着させる。
本授業の準備学習・復習時間は各４ 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『標準中国語読解力 UP 編』王安・楊川・王欣・孫樹林　朝日出版
2200 円＋税
ISBN978-4-255-45215-9C1087

【参考書】
『WHY？ にこたえるはじめての中国語の文法書』相原茂・石田知子・戸沼市子著　2,500 円（同学社）
その他の資料は授業で随時紹介する。

【成績評価の方法と基準】
平常点（課題 45 %）＋総合まとめ課題（55 %/2 回）＝１００点で評価します。
注意点：①課題の未提出は８点減点/一回
　　②課題提出の遅れは４点減点/一回
　　（提出が締め切りより遅れた場合、期間は締め切り日から一週間以内
　　と限定します。一週間過ぎてからの提出は成績評価しません）

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】
・音声教材を聴くことができる機器が必要です。
・オンライン授業を受講するため通信環境・PC 等の準備をしてください。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語補講３Ⅰ

2017 年度以降入学者

渋井　君也

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
法文営環 3 年（再履修のみ）※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
一年生で学んだ中国語から一歩進んで、教科書に沿って重要なポイントをくり返し練習しながら、自分のことや日本のことを中国語で伝えられるようになるための訓練をします。教科書の内容を通して、中国、台湾、香港等の中華圏とそこに住む人たちの生活や文化等についても学習します。
※コロナウイルス感染の拡大に鑑み、対面授業を基本としつつも、オンライン授業を併用する場合があります。
※第１週目は、Zoom によるオンライン授業を実施します。

【到達目標】
準中級から中級レベルの中国語能力を身につけることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
毎回の授業で中国語による文法表現を反復練習し、テキストの日本語訳や中国語の文法・語彙について、全員に発言を求めます。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	第１課	新出単語とポイント（「一…就～」など６項目）の説明
2	第１課	「大学生的周末」本文の解説と練習問題
3	第２課	新出単語とポイント（「每…都～」など６項目）の説明
4	第２課	「☒食☒☒」本文の解説と練習問題
5	第３課	新出単語とポイント（「“多/少” + 動詞」など６項目）の説明
6	第３課	「北京的交通」本文の解説と練習問題
7	中間試験	第１課～第３課の内容の定着度チェック
8	第４課	新出単語とポイント（「兼語 “有”」など６項目）の説明
9	第４課	「☒数字的喜好」本文の解説と練習問題
10	第５課	新出単語とポイント（「疑問詞の不定用法」など６項目）の説明
11	第５課	「大学生的打工☒状」本文の解説と練習問題
12	第６課	新出単語とポイント（「无☒…都/也～」など６項目）の説明
13	第６課	「集体生活的好☒」本文の解説と練習問題
14	期末試験	前期の内容の定着度チェック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

【テキスト（教科書）】
吉田泰謙・相原里美・葛婧『知っておきたい中国事情（改訂版・CD 付）』、白水社

【参考書】
教場で指示します。

【成績評価の方法と基準】
平常点（授業中の態度や小テスト等）30 %、中間試験 30 %、期末試験 40 %

【学生の意見等からの気づき】
特になし。

【Outline and objectives】
Outline and objectives

LANc200LA

中国語補講３Ⅱ

2017 年度以降入学者

渋井　君也

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
法文営環 3 年（再履修のみ）※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
一年生で学んだ中国語から一歩進んで、教科書に沿って重要なポイントをくり返し練習しながら、自分のことや日本のことを中国語で伝えられるようになるための訓練をします。教科書の内容を通して、中国、台湾、香港等の中華圏とそこに住む人たちの生活や文化等についても学習します。

【到達目標】
準中級から中級レベルの中国語能力を身につけることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
毎回の授業で中国語による文法表現を反復練習し、テキストの日本語訳や中国語の文法・語彙について、全員に発言を求めます。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	第７課	新出単語とポイント（「只要…就～」など６項目）の説明
2	第７課	「⊠价⊠价」本文の解説と練習問題
3	第８課	新出単語とポイント（「疑問詞の連用」など６項目）の説明
4	第８課	「送礼的⊠究」本文の解説と練習問題
5	第９課	新出単語とポイント（「⊠…了」など６項目）の説明
6	第９課	「中国式⊠婚」本文の解説と練習問題
7	中間試験	第７課～第９課の内容の定着度チェック
8	第１０課	新出単語とポイント（「好在」など６項目）の説明
9	第１０課	「双⊠工家庭」本文の解説と練習問題
10	第１１課	新出単語とポイント（「不是…而是～」など６項目）の説明
11	第１１課	「中国人的称呼」本文の解説と練習問題
12	第１２課	新出単語とポイント（「随着～」など６項目）の説明
13	第１２課	「理想⊠⊠」本文の解説と練習問題
14	期末試験	後期の内容の定着度チェック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

【テキスト（教科書）】
吉田泰謙・相原里美・葛婧『知っておきたい中国事情（改訂版・CD付）』、白水社

【参考書】
教場で指示します。

【成績評価の方法と基準】
平常点（授業中の態度や小テスト等）30 %、中間試験 30 %、期末試験 40 %

【学生の意見等からの気づき】
特になし。

【Outline and objectives】
Outline and objectives

LANs200LA

スペイン語補講３Ｉ

2017 年度以降入学者

若林　大我

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**1 単位**
法文営環キ 3 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、1 年次の学習内容を踏まえ、中級のスペイン語文法を学んでいく。

【到達目標】
履修生は今学期終了時までに、スペイン語の直説法点過去形、線過去形、および過去完了形の文を理解し、また作文できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
受講生各自による復習と予習を踏まえ、所定のテキストに基づいて、毎週の講義で少しずつスペイン語の文法構造を学んでいく。講義のあと、学んだことの確認、および会話の練習のため、口頭での質疑応答も行なう。授業はできる限りゆっくり、かつ丁寧に進行するよう心がけるが、効果的な学習のためには各自の予習と復習、特に後者が必須である。このため学期の途中で一度、理解度の確認のための中間テストを行う。ただし初回の授業は予習の必要はない。受講にあたっては、下記のテキストの他、西和辞典も持参すること。
課題が出題された場合は、学習支援システムを通じて提出するものとする。課題に対するフィードバックも、学習支援システムを通じて行う。
感染拡大予防措置を講じながら教室内での対面授業を行うことが困難であることから、本授業の形態は Zoom を通じたリアルタイムでのオンライン形式とする。授業形態の詳細や注意点は、学期開始に先立って学習支援システム上で公開するので、初回授業の前に必ず目を通しておくこと。
ただし以下の点は特に重要であるため、予め留意すること。
【下記の「授業計画」のうち、8 回目に予定している中間試験、及び 14 回目に予定している期末試験については、感染拡大予防措置を十分に講じること（マスクまたはフェイスシールドの着用徹底、教室内での会話の禁止等）を前提として、教室内での筆記試験を実施する。従って 8 回目及び 14 回目のみ、教室に来て受験することを必須とし、他の形での受験は認めない。】

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス 直説法現在形規則動詞	授業の形態、進め方、評価方法の説明 直説法現在形規則活用の復習 （テキスト: 第 1 課）
2	直説法現在形不規則動詞	直説法現在形不規則活用の復習 （テキスト: 第 1 課、第 2 課）
3	目的格代名詞	目的格代名詞の復習 （テキスト: 第 3 課）
4	gustar 型動詞 関係代名詞 que	gustar 型動詞の復習 関係代名詞 que の用法 （テキスト: 第 3 課）
5	直説法点過去形規則動詞 直説法点過去形不規則動詞 (1)	直説法点過去形の活用の復習 （テキスト: 第 4 課）
6	再帰動詞 se の受け身	再帰動詞の基本用法 再帰動詞を用いた受け身表現 （テキスト: 第 4 課）
7	直説法点過去形不規則動詞 (2)	直説法点過去形不規則活用の復習 （テキスト: 第 5 課）
8	中間試験 過去分詞 直説法現在完了形	中間試験 過去分詞の作り方と用法 直説法現在完了形の復習 （テキスト: 第 5 課）
9	直説法線過去形	直説法線過去形の復習 点過去形と線過去形の使い分け （テキスト: 第 6 課）
10	無人称文 感嘆文	再帰動詞および 3 人称複数形を用いた無人称文の作り方 感嘆文の作り方 （テキスト: 第 6 課）
11	直説法過去完了形	直説法過去完了形の意味と用法 （テキスト: 第 7 課）
12	ser 受動態	動詞 ser を用いた受け身表現 （テキスト: 第 7 課）
13	春学期の復習	期末試験に備えた春学期の学習内容の振り返り
14	授業内期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
語学学習の性質上、自宅での予習や復習が必要となる。特に授業で言及した単語については、辞書を用いて各自反復学習すること。
また時間の都合上、授業中に教科書内の全ての練習問題に取り組むことはできない。このため、授業の進行に合わせて各自が自主的に問題に取り組み、理解度を把握することが必須となる。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
西川喬『基礎から学ぼう！ スペイン語 中級（Aprendamos los fundamentos del idioma español: Curso intermedio）』（朝日出版）、2,300 円+税

【参考書】
外国語学習にあたっては、辞書が不可欠の要素である。本授業では特定の西和辞典の購入を義務付けないが、単語の正確な理解のためには『西和中辞典』（小学館）をお勧めする。真剣にスペイン語を身に付けたい受講生は、和西辞典も併用すると効果的である。また単語をスピーディに検索するには電子辞書も有用である。
上記以外の西和辞典は、下記のウェブサイトでも探すことができる。
http://gaikoku.info/spanish/dictionary.htm

【成績評価の方法と基準】
平常点 30 %、中間テスト 30 %、期末テスト 40 %として総合的に評価する。
ただし新型コロナウィルスの感染状況の推移によっては、中間試験及び期末試験を教室内での筆記形式で実施することが不可能となる場合も考えられるため、成績評価方法も変更の可能性がある。変更の場合は学習支援システムで速やかに通知するので、こまめに確認すること。

【学生の意見等からの気づき】
履修生諸君の理解度に合わせ、上記の授業計画は多少変更される可能性がある。

【学生が準備すべき機器他】
本授業はリアルタイムでのオンライン形式で実施するので、パソコンおよびインターネット環境を必須とする。

【Outline and objectives】
Intermediate grammar of Spanish.

LANs200LA

スペイン語補講３Ⅱ

2017 年度以降入学者

若林　大我

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**1 単位**
法文営環キ 3 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、1 年次の学習内容を踏まえ、中級のスペイン語文法を学んでいく。

【到達目標】
履修生は今学期終了時までに、スペイン語の接続法現在形および過去形の文を理解し、また作文できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
受講生各自による復習と予習を踏まえ、所定のテキストに基づいて、毎週の講義で少しずつスペイン語の文法構造を学んでいく。講義のあと、学んだことの確認、および会話の練習のため、口頭での質疑応答も行なう。授業はできる限りゆっくり、かつ丁寧に進行するよう心がけるが、効果的な学習のためには各自の予習と復習、特に後者が必須である。このため学期の途中で一度、理解度の確認のための中間テストを行う。ただし初回の授業は予習の必要はない。受講にあたっては、下記のテキストの他、西和辞典も持参すること。
課題が出題された場合は、学習支援システムを通じて提出するものとする。課題に対するフィードバックも、学習支援システムを通じて行う。
感染拡大予防措置を講じながら教室内での対面授業を行うことが困難であることから、本授業の形態は Zoom を通じたリアルタイムでのオンライン形式とする。授業形態の詳細や注意点は、学期開始に先立って学習支援システム上で公開するので、初回授業の前に必ず目を通しておくこと。
ただし以下の点は特に重要であるため、予め留意すること。
【下記の「授業計画」のうち、8 回目に予定している中間試験、及び 14 回目に予定している期末試験については、感染拡大予防措置を十分に講じること（マスクまたはフェイスシールドの着用徹底、教室内での会話の禁止等）を前提として、教室内での筆記試験を実施する。従って 8 回目及び 14 回目のみ、教室に来て受験することを必須とし、他の形での受験は認めない。】

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス 直説法未来形 直説法過去未来形	授業の形態、進め方、評価方法の説明 直説法未来形の意味と用法 直説法過去未来形の意味と用法 （テキスト: 第 2 課、第 8 課）
2	不定詞 + 目的格代名詞	不定詞と目的格代名詞および再帰代名詞の連接 （テキスト: 第 8 課）
3	進行形	現在進行形、過去進行形、未来進行形の文の作り方 （テキスト: 第 9 課）
4	命令法	命令文の作り方 （テキスト: 第 9 課）
5	接続法現在形規則動詞 接続法現在形語幹母音変化動詞	接続法の概念 接続法現在形の規則活用と語幹母音変化動詞 （テキスト: 第 10 課）
6	接続法現在形の命令用法	命令文で用いられる接続法現在形 （テキスト: 第 10 課）
7	接続法現在形不規則動詞	接続法現在形のその他の不規則活用 （テキスト: 第 11 課）
8	中間試験 接続法現在形の用法①	中間試験 接続法現在形の名詞節での用法 （テキスト: 第 12 課）
9	接続法現在形の用法②	接続法現在形の形容詞節での用法 （テキスト: 第 13 課）
10	現在分詞構文	現在分詞構文の意味と用法 （テキスト: 第 13 課）
11	接続法現在形の用法③	接続法現在形の副詞節での用法 （テキスト: 第 14 課）
12	接続法過去形	接続法過去形の活用と用法 （テキスト: 第 14 課）
13	秋学期の復習	期末試験に備えた秋学期の学習内容の振り返り
14	授業内期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
語学学習の性質上、自宅での予習や復習が必要となる。特に授業で言及した単語については、辞書を用いて各自反復学習すること。
また時間の都合上、授業中に教科書内の全ての練習問題に取り組むことはできない。このため、授業の進行に合わせて各自が自主的に問題に取り組み、理解度を把握することが必須となる。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
西川喬『基礎から学ぼう！ スペイン語 中級（Aprendamos los fundamentos del idioma español: Curso intermedio）』（朝日出版）、2,300 円+税

【参考書】
外国語学習にあたっては、辞書が不可欠の要素である。本授業では特定の西和辞典の購入を義務付けないが、単語の正確な理解のためには『西和中辞典』（小学館）をお勧めする。真剣にスペイン語を身に付けたい受講生は、和西辞典も併用すると効果的である。また単語をスピーディに検索するには電子辞書も有用である。
上記以外の西和辞典は、下記のウェブサイトでも探すことができる。
http://gaikoku.info/spanish/dictionary.htm

【成績評価の方法と基準】
平常点 30 %、中間テスト 30 %、期末テスト 40 %として総合的に評価する。
ただし新型コロナウィルスの感染状況の推移によっては、中間試験及び期末試験を教室内での筆記形式で実施することが不可能となる場合も考えられるため、成績評価方法も変更の可能性がある。変更の場合は学習支援システムで速やかに通知するので、こまめに確認すること。

【学生の意見等からの気づき】
履修生諸君の理解度に合わせ、上記の授業計画は多少変更される可能性がある。

【学生が準備すべき機器他】
本授業はリアルタイムでのオンライン形式で実施するので、パソコンおよびインターネット環境を必須とする。

【Outline and objectives】
Intermediate grammar of Spanish.

ARSe200LA

Intercultural Communication G

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

尾形　太郎

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 2/Wed.2
単位数：**2 単位**
GBP/SCOPE/IGESS 1〜4 **年※定員制**

他学部公開：　グローバル：○　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
The purpose of the course is to provide students with opportunities to broaden their knowledge of Japan, especially in the areas of geography, history,education,family,gender, culture and so on.

【到達目標】
Through the course, students will deepen their knowledge of Japan, which may support communication with Japanese people inside and outside of the campus.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
Materials of each class will be available from Hoppi.
Every class includes quizzes or/and assignments.
Students are required to answer quizzes after the class.
Feedbacks on each task will be given through Hoppi.
There is a possibility that the schedule may be modified.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
Week 1	Orientation	Class orientation
Week 2	Geography	Introduction to geographical variations in Japan
Week 3	Social systems	Politics, Education etc.
Week 4	Demography	Demographic crisis
Week 5	Ethnicity and language	Ethnicity and minorities/Culture and Politics of language in modern Japan
Week 6	Family system	Concept of ie（家）, marriage, birth, gender roles.
Week 7	Gender	Introduction to gender stratification in Japan today
Week 8	Religion 1	Religions in modern Japan:an overview
Week 9	Religion 2	Shinto and shrine
Week 10	Culture 1	Traditional arts: an overview
Week 11	Culture 2	Introduction to Japanese garden
Week 12	Culture 3	Pop cultures
Week 13	Culture 4	Cuisine and identity
Week 14	Conclusion	Conclusion

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
2 hours a week.

【テキスト（教科書）】
Original handouts

【参考書】
Lyon,V., Bestor, T.C. with Yamagata, A.(ed.),Routledge Handbook of Japanese culture and society, Routledge, 2011.
Sugimoto, Y., An Itroduction to Japanese society 4th ed., Cambridge University Press, 2014.

【成績評価の方法と基準】
quizzes and assignments 50%
Report or/and Presentation 50%

【学生の意見等からの気づき】
Nothing special

【その他の重要事項】
There is a possibility that the schedule may be modified.

【Outline and objectives】
The purpose of the course is to provide students with opportunities to broaden their knowledge of Japan, especially in the areas of geography, history,education,family,gender, culture and so on.

ARSe200LA

Intercultural Communication H

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Japanese Culture

山本　そのこ

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**2 単位**
GBP/SCOPE/IGESS 1～4 年※**定員制**

他学部公開：　グローバル：○　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
The objective of this course is to provide students with a brief survey of Japanese culture, covering both traditional and modern aspects. It also aims to raise students' awareness of the Japanese culture as well as their own, which will promote a better intercultural communication with local people.Classes will consist of lectures and various activities, including discussions, reaction paper writing, and student presentations.

【到達目標】
At the end of this course, the students are expected to have a clearer and deeper understanding of Japanese culture and people, which eventually facilitates intercultural communication with Japanese people.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
This course will consist of primarily lectures, discussions and presentations. Students are expected to actively participate in class-／ group discussions and oral presentations.
The basic language used in class will be English, however, occasionally Japanese will be also used because of the nature of our topics.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Week 1	Class Orientation and Self-Introduction	[A selection process may occur.] ・class-orientation ・self-introduction ・greetings(as a part of culture)
W 2	Stereotypes	・What is a stereotype? ・Image of Japan: Collectivism, homogeneity and vertically structured society.
W 3	Geography	・Outline of Japanese geography.
W 4	Seasonal Events ①	・Seasonal events from April to September.
W 5	Seasonal Events ②	・Seasonal events from October to March.
W 6	Rituals	・Common rituals in Japanese life.
W 7	Beliefs	・Religions. ・Taboos, superstitions, ghosts and the supernatural.
W 8	Foods	・Japanese traditional foods and drinks, including home-cooking, bento, Kaiseki and Teas.
W 9	Theater	Noh, Kabuki, Bunraku
W 10	Communication ①	・Characteristics of verbal communication.
W 11	Communication ②	・Characteristics of non-verbal communication.
W 12	Architecture and Urban Planning	・Housing ・Brief history and characteristics of Edo/Tokyo. ・Natural disasters and their infulence on architecture.
W 13	People	・History & varieties. ・'Minorities' ・Political correctness issues.
W 14	Final Exam	Review Check of the whole course.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・Reading of assigned materials
・Preparation for allotted presentation.
・University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course.

【テキスト（教科書）】
Handouts

【参考書】
・日鉄住金総研『日本　その姿と心』NIPPON JAPAN THE LAND AND ITS PEOPLE
学生社（2014）　＜ DVD ＞
・松本美江『英語で日本紹介ハンドブック』アルク（2014）
（MATSUMOTO Mie,　An Introductory Handbook to Japan and Its People,　ALC）
・E.Meyer "The Culture Map:Breaking Through the Invisible Boundaries of Global Business" Public Affairs, 2014
・Nisbett Ph.D., Richard "The Geography of Thought: How Asians and Westerners Think Differently...and Why" Free Press, 2004
*Additional relevant literature will be introduced in class as necessary.

【成績評価の方法と基準】
Class participation 30%
Presentation 30 %
Reaction paper writhing 10%
Final examination 30%

【学生の意見等からの気づき】
If the conditions permit, the students will have more discussions with their classmates who have various cultural backgrounds, concerning not only Japanese culture but also the cultures of their own.

【学生が準備すべき機器他】
Device to access Google Classroom and ZOOM.

【その他の重要事項】
★ The class starts on the 9th April.
★ Be sure to join Google Classroom.
★ Check Hoppii and your Hosei account mail!
・Do not miss the first class as the detailed syllabus will be handed out and a selection process may occur.
・The schedule may be subject to change based on class size and other factors.

【Outline and objectives】
ditto

CAR200LA

Career Development Skills

2016 年度以前入学者

サブタイトル：

中川　有紀子

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**2 単位**
GBP/SCOPE/IGESS 1～4 年※**定員制**

他学部公開：　グローバル：○　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
These lectures aim to strengthen students' basic understanding of career development and human resource management from both theoretical and practical perspectives.

【到達目標】
The goal is to be able to consider and evaluate problems to career development. It is hoped that students will hone their ability to grasp the crux of these problems to deal with any situation.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
These lectures will focus primarily on knowledge provision. Online copies of the materials on which the lectures will be based will be distributed by online. Students will be given the chance to ask questions and interact with each other. Additionally, group discussions will be held at least five times. Depending on the situation, the lecture plan may be altered or adjusted. Quiz(on the paper) will be held in the class and the feedback of them will be held in the same class.
"If the university's action policy level is set to 2, this class will be taught online as a rule. Details will be announced via the Learning Management System."

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
No.1	Orientation, Introduction to Human Resource Management	The outline of the lecture and plan will be presented. I will provide an overview of the topic and details of the class.
No.2	Hiring Employees	I will discuss recruitment management and trends in recruitment. Students will learn how to make themselves more employable.
No.3	Performance Management	I will discuss the Performance management and provide examples. Student will gain an insight into the in-company Performance management .
No.4	Compensation and Benefits	I will discuss Compensation and Benefits provide examples. Students will learn how your compensation is determined.
No.5	Career Development Planning & Employee Development	I will discuss the Career Development Planning & Employee Development.
No.6	Talent Management	I will discuss Talent Management. Students will learn about the Corporate Value and Talent Management Initiatives.
No.7	Compliance and Risk Management	I will discuss Compliance and Risk Management. Students will learn Case Study.
No.8	Employees and Industrial Relations	I will discuss case study. Students will learn about "Employees and Industrial Relations."
No.9	Expatriation	I will discuss Expatriation. Students will learn about Expatriation.
No.10	The Activities of the HR Department Within the Global Headquaters.	I will discuss case study.
No.11	Sample Conversation 1,2	Hiring a New HR Manager to Strengthen HR Functions. Talking with Headquater.
No.12	Sample Conversation 3,4	How to Effectively Communicate Feedback. Revision the Compensation System.
No.13	Sample Conversation 5,6	Career Planning, Talent Review Committee.
No.14	Sample Conversation 7	A Potential Case of Harassment.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
University guidelines suggest preparation and review are around 4hours a week.

【テキスト（教科書）】
Shiraki, M., and Sherman, B.(2020)"Practical HRM for Global Professionals, English and Japaneses", Bunjindo Publishing.

【参考書】
Sato, H., Fujimura, H., Yashiro, A. (2019) New Human Resource Management, 6th edition.Tokyo: Yuhikaku Publishing.

【成績評価の方法と基準】
Term examination(20 %), Quiz(20 %), Class participation(60 %)

【学生の意見等からの気づき】
The content of the lectures is designed in the following ratio: 50% basic knowledge and 50% application.

【Outline and objectives】
These lectures aim to strengthen students' basic understanding of career development and human resource management from both theoretical and practical perspectives.

ART200LA

Humanities A

2016 年度以前入学者

サブタイトル：Japanese Literature II.

URBANOVA　Jana

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**水** 1/Wed.1
単位数：**2 単位**
GBP/SCOPE/IGESS 1〜4 **年※定員制**

他学部公開：　グローバル：○　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This course focuses on the major literary figures and their representative works of early modern, modern and contemporary Japanese literature. The works will be discussed with regard to the circumstances and background that shaped the authors' way of thinking. The course will also include a lesson introducing two significant works of medieval literature to shed light on one of the crucial concepts in Japanese culture - transience. There will also be a lesson introducing two major women poets of Okinawa.

【到達目標】
Goals:
1. to learn about the major literary figures of pre-modern, modern and contemporary Japanese literature
2. to gain an appreciation of the depth and atmosphere of their literary works as well as the beauty of the English translations

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
This course is based on lectures by the instructor featuring the use of written and audio-visual materials. In addition, every student will be required to deliver a class presentation on a given topic and to submit a short written summary of the presentation and essay at the end of the semester. The topics and the study materials for the presentation will be distributed at the beginning of the course.
Comments and explanation about assignments and answers to questions from students are given at the end of each class.
This is an online class, and all weeks will be taught on Zoom.
Please see HOPPII for further instructions about how to join our Zoom sessions.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1.	Introduction	Introduction to course; brief self-introduction; scheduling of presentations
2.	Transience in Japanese poetry	The concept of transience as portrayed in the *waka* anthology *A Hundred Poems by a Hundred Poets* (*Hyakunin Isshu*, compiled by *Fujiwara no Teika*)
3.	*Haikai* poetry	Transition from comic *haikai* poetry to the mastering of *haiku; Matsuo Bashō*; Hints for appreciating and writing *haiku*
4.	Poetry of Okinawa	Two women poets of Okinawa: *Yoshiya Tsuru* and *Onna Nabe* and their *ryūka* poems
5.	Literature of the floating world	The rising merchant society during the *Edo* period; stories of the floating world (*ukiyo zōshi*); *Ihara Saikaku: The Life of an Amorous Man (Kōshoku Ichidai Otoko)* and *Five Women who Loved Love (Kōshoku Gonin Onna)*
6.	Tales of the supernatural in pre-modern literature	*Ueda Akinari* and his *Tales of Moonlight and Rain (Ugetsu Monogatari)*
7.	Tales of the supernatural in modern literature	*Akutagawa Ryūnosuke* and the influence of *Japanese Tales from Times Past (Konjaku Monogatari Shū);* short stories *In a Grove (Yabu no Naka)* and *Rashōmon*
8.	The world of fantasy and reality of *Miyazawa Kenji*	*Miyazawa Kenji*: fantasy novel *Milky Way Railroad (Ginga Tetsudō no Yoru)*, poem *Be not Defeated by the Rain (Ame ni mo makezu)*
9.	Modern novelists, Part 1	*Natsume Sōseki*: his life and literary works, particularly the novel *I Am a Cat (Wagahai wa Neko de aru)*
10.	Modern novelists, Part 2	*Mishima Yukio (Confessions of a Mask; Kamen no Kokuhaku)*
11.	Modern novelists, Part 3	*Tanizaki Junichirō* and his works *The Key (Kagi)*and *In Praise of Shadows (Inei Raisan)*
12.	Modern novelists, Part 4	Nobel Prize winner *Kawabata Yasunari* and his masterpiece *Snow Country (Yukiguni)*
13.	Contemporary literature	*Yoshimoto Banana* and *Haruki Murakami* and their representative works
14.	Course wrap up	Submit short summary of presentation and essay; final written exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Please prepare a short self-introduction for the first class. In addition, each student will be asked to deliver an oral presentation on a designated topic and to submit a short written summary of the presentation and essay at the end of the semester. Students are also expected to actively engage in class discussions and to revise all of the readings done in class, as they will form the basis for the questions on the final exam. Preparatory study and review time for this class are 2 hours each.

【テキスト（教科書）】
No textbooks will be used. Handouts and reading materials on each lesson's topic together with the specified sources will be distributed by the lecturer at the beginning of each lesson.

【参考書】
Selected references:
Katō, Shūichi. *A History of Japanese Literature (Vol.3) – The Modern Years.* Tokyo, New York & San Francisco: Kodansha International, Ltd., 1983.
Keene, Donald. *Appreciations of Japanese Culture.* Tokyo, New York & London: Kodansha International, Ltd., 1971. First paperback edition, 1981.
Keene, Donald. *World Within Walls – Japanese Literature of the Pre-Modern Era, 1600-1867.* New York: Holt, Rinehart and Winston, 1976.
Petersen, Gwen Boardman. *The Moon in the Water – Understanding Tanizaki, Kawabata and Mishima.* Honolulu: The University Press of Hawaii, 1979.
Further references related to the topic of each class will be provided by the lecturer.

【成績評価の方法と基準】
Class attendance and oral participation are expected; failure to participate in class will result in the subtraction of marks from the total. Grading criteria: oral presentation and written summary (50%); final examination and essay (50%).

【学生の意見等からの気づき】
There are no student comments that would require major changes to the course.

【学生が準備すべき機器他】
● This class will be taught on Zoom, so students who attend the Zoom session on campus need to prepare a headset.
● We will use online applications, such as Google Classroom, Zoom and HOPPII. Please check HOPPII regularly for further instructions about how to join our Zoom sessions, Google Classroom, etc.

【Outline and objectives】
This course focuses on the major literary figures and their representative works of early modern, modern and contemporary Japanese literature. The works will be discussed with regard to the circumstances and background that shaped the authors' way of thinking. The course will also include a lesson introducing two significant works of medieval literature to shed light on one of the crucial concepts in Japanese culture - transience. There will also be a lesson introducing two major women poets of Okinawa.

ARSc200LA

Humanities B

2016 年度以前入学者

サブタイトル：America in the 20th Century

Richard.J.Burrows

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 3/Wed.3
単位数：**2 単位**
GBP/SCOPE/IGESS 1～4 **年※定員制**

他学部公開：　グローバル：○　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Despite the rise of powers in Asia such as China & India, the US remains the pre-eminent global power and a key to understanding its prominence lies in an understanding of its rise as a superpower during the 20th century. Therefore, this course will focus on key political, economic & cultural developments during the latter half of that period, how they contributed to the rise of American power and continue to influence nations around the world, especially in Asia. Regular reading assignments will be set, analyzed & discussed during the lessons, allowing students to reflect on how the US continues to influence their nations as we enter a new century.

【到達目標】
Through a variety of media, this course seeks to firstly, give students a thorough understanding of key events in the US from the end of World War I to the close of the century. In addition, students will be able to comprehend how those events impacted not only on the course of modern US history, but their wider effect throughout the world, especially in the Asia-Pacific region.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
Regular reading assignments will be set, analyzed & discussed during the lessons, allowing students to reflect on how the US continues to influence their nations as we enter the 21st century. Furthermore, an audio-visual element will allow students to sharpen their listening skills and engage in comprehension activities.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Week 1	Explanation	Course Introduction
Week 2	Course Assignments	Presentation Skills
Week 3	Innovation	The Wright Brothers
Week 4	The Pacific Conflict	US in World War II
Week 5	Post-War Settlement	Bombing of Hiroshima
Week 6	Technology	Breaking the Sound Barrier
Week 7	The Fight Against Communism	The Vietnam War
Week 8	The Civil Rights Movement	Martin Luther King
Week 9	A Divided Nation	The Anti-War Movement
Week 10	Political Violence	The Assassination of JFK
Week 11	Watergate	End of Nixon
Week 12	The Space Race	The Apollo Landings
Week 13	A New Conservatism	Reagan & the Religious Right
Week 14	Course Review	The 20th Century Influence on the Present Day

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students will be expected to make a presentation and submit a report on a relevant theme during the semester. In addition, regular reading assignments will be set with comprehension & vocabulary questions.No more than 3 absences will be permitted. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
None, but students are required to bring an A4/B4 binder to store the photocopies that will be distributed by the teacher at each lesson

【参考書】
An electronic dictionary or smart phone English dictionary is required at every class

【成績評価の方法と基準】
Classowrk & Participation 30%
Homework 30%
Presentation 20%
Report 20%

【学生の意見等からの気づき】
Giving at least a minimum of 1 weeks notice for all homework assignments, 1/2 month's notice for the report & presentation, depending on the presentation schedule

【学生が準備すべき機器他】
Students need to have access to a pc (& printer) in order to prepare their presentation & report

【その他の重要事項】
Please join this class if you have an interest in this topic, a desire to improve your English skills, and are willing to attend classes on a regular basis and submit all homework & other assignments on time.

【None】
None

【None】
None

【None】
None

【None】
None

【None】
None

【Outline and objectives】
This course, rather than simply leading students through key dates & events during the 20th century, seeks to analyze important developments & trends in US,such as war, technological innovation & foreign policy, which caused repercussions both domestically & internationally during the 20th century & beyond.

POL200LA

Social Science A

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Global and Regional Governance

SCHIFANO ADRIEN

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**2 単位**
GBP/SCOPE/IGESS **1〜4 年※定員制**
他学部公開：　グローバル：○　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
By what process are policies coordinated and actions concerted with regard to global issues? How and by whom are these processes organized and structured? Treating global governance as a process, this course examines how global governance functions at both international and regional levels through cases of Europe and East Asia. Henceforth, the course considers how these different levels of governance interact with regard to three different global issues and the policies built in response thereto in the two areas studied.

【到達目標】
By the end of the course, students are expected to have acquired:
1. a good understanding of the structures and processes of global governance at both international and regional levels
2. a firm grasp of the diversity of actors involved in the global governance process
3. comprehension of the specific characters of global governance and corresponding issues and challenges

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
Classes consist in discussion, documents study, and lecture.
Students will be required to apply analytical frameworks they learned during class by conducting a research on an organization of their choice that will result in a presentation during the second half of the semester (starting week 9) and a written report to be submitted at the end of the semester. This will be performed collectively or individually depending on the number of students attending the course. Feedback by peers and the instructor will be given in class.
Course contents will vary depending on number of students presentations to be performed in class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1.	Introduction	Definitions, history, actors and institutions; methodology.
2.	Global governance I	Agenda and policy making.
3.	Global governance II	Decision-making processes.
4.	Global governance III	Follow-up mechanisms.
5.	Global governance IV	Prevention and settlement of conflicts.
6.	Regional governance I	Europe (1): historical background, institutional landscape, and challenges.
7.	Regional governance II	Europe (2): agenda and policies.
8.	Regional governance III	East Asia (1): historical background, institutional landscape, and challenges.
9.	Regional governance IV	East Asia (2): agenda and policies.
10.	Processes of global governance I	Promoting and protecting human rights and fundamental freedoms
11.	Processes of global governance II	Managing marine resources
12.	Processes of global governance III	Liberalizing trades
13.	Issues affecting global governance	Consistency, effectiveness, legitimacy Democratic deficit
14.	Conclusion	Towards a world government?

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
In addition to the research project to be presented in class, students will be required to prepare the class by familiarizing themselves with the documents handed out for this purpose.University guidelines suggest preparation and review are around 4hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
None.

【参考書】
Thomas G. WEISS and Rorden WILKINSON (editors), International Organization and Global Governance (2014) Routledge (ISBN 978-0-415-62760-3)
Thomas G. WEISS, Global Governance, Why? What? Whither? (2013) Polity (ISBN 978-0745660462)
Colin I. BRADFORD and Johannes F. LINN (editors), Global Governance Reform, Breaking the Stalemate (2007) Brookings Institution Press (ISBN 978-0-8157-1363-0)
Michael BARNETT and Raymond DUVALL, Power in Global Governance (2005) Cambridge University Press (ISBN 978-0521840248)

【成績評価の方法と基準】
Participation in class (including homework and discussions): 50%; research project: 50% (presentation in class: 30%; written report: 20%).

【学生の意見等からの気づき】
Course material has been reviewed. Visuals have been improved.

【学生が準備すべき機器他】
A pen and some paper are a must.

【Outline and objectives】
By what process are policies coordinated and actions concerted with regard to global issues? How and by whom are these processes organized and structured? Treating global governance as a process, this course examines how global governance functions at both international and regional levels through cases of Europe and East Asia. Henceforth, the course considers how these different levels of governance interact with regard to three different global issues and the policies built in response thereto in the two areas studied.

POL200LA

Social Science B

2016 年度以前入学者

サブタイトル：International Organizations

SCHIFANO ADRIEN

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**2 単位**
GBP/SCOPE/IGESS **1～4 年※定員制**

他学部公開：　グローバル：○　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This course aims at providing students with an overview of the phenomenon, great in both scale and scope, styled 'international organizations' in its diversity and unity.
The course starts by focusing on the concept of international organization proper, and examines how these are inherently political societies wherein power happens and is organized according to certain structures. The course then moves on modalities for international organizations interacting with both each other and States, with a particular attention given to functions organizations perform amid the international society.

【到達目標】
By the end of the course, it is expected that students:
1. acquire a good understanding of the nature of international organizations
2. have a grasp of the common principles according to which international organizations operate
3. have a concrete knowledge of several international organizations
4. acquire a critical understanding of the roles and functions that international organizations perform amid the global society, as well as issues and challenges pertaining thereto

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
Classes consist in discussion, documents study, and lecture.
Students will be required to apply analytical frameworks they learned during class by conducting a research on an organization of their choice that will result in a presentation during the second half of the semester (starting week 9) and a written report to be submitted at the end of the semester. This will be performed collectively or individually depending on the number of students attending the course. Feedback by peers and the instructor will be given in class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1.	Introduction	Historical and theoretical background.
2.	Proper operation I	Nature of international organizations: Definition(s), classifications, functions.
3.	Proper operation II	Creation of international organizations: Constitutive elements, creators, modalities, outcome.
4.	Proper operation III	Organizations as social groups (1) - Anatomy: Persons, elites, organs, agents, officials.
5.	Proper operation IV	Organizations as social groups (2) - Autonomy: Self-governance?, solidarity of the members, norms, degree of fiction in autonomy.
6.	Proper operation V	Organizations as social groups (3) - Leadership: Distribution of power, social functions, structural design.
7.	External relations I	Diplomatist function: participation, statuses, rights and obligations, privileges.
8.	External relations II	External Powers: functional aspects, dual role, other functions.
9.	Functions performed by organizations amid the international society I	Legislative function: direct or indirect, policy coordination, decision making
10.	Functions performed by organizations amid the international society II	Executive function: compliance, control/monitoring, inspection, reporting, service providing, enforcement, use of force
11.	Functions performed by organizations amid the international society III	Judicial function: prevention of disputes, settlement of disputes, sorts, modalities
12.	Coordination among organizations I	Cooperation: ad hoc coordination, permanent coordination, institutionalized coordination, modalities and technique
13.	Coordination among organizations II	Hierarchical model: universal and regional, systems of organizations
14.	Conclusion: current issues surrounding international organizations	Proliferation of international organizations, lack in framing their powers, fragmentation, redundancy, competition, forum-shopping, uncertainty, coordination

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
In addition to the research project to be presented in class, students will be required to prepare the class by familiarizing themselves with the documents handed out for this purpose. Preparatory study and review time for this class are 2 hours each.

【テキスト（教科書）】
None.

【参考書】
Volker RITTBERGER, Bernhard ZANGL, and Andreas KRUCK, International Organization (2012, 2nd ed.) Palgrave Macmillan (ISBN 978-0230291881);
Jan KLABBERS, An Introduction to International Organizations Law (2015, 3rd ed.) Cambridge University Press (ISBN 978-1107439719);
Michael BARNETT and Martha FINNEMORE, Rules for the World, International Organizations in Global Politics (2004) Cornell University Press (ISBN 978-0-8014-8823-8);
Jacob KATZ COGAN, Ian HURD, and Ian JOHNSTONE (editors), The Oxford Handbook of International Organizations (2017) Oxford University Press (ISBN 9780199672202);

【成績評価の方法と基準】
Participation in class (including homework and discussions): 50%; research project: 50% (presentation in class: 30%; written report: 20%).

【学生の意見等からの気づき】
Contents and slides updated.

【学生が準備すべき機器他】
A pen and some paper.

【Outline and objectives】
This course aims at providing students with an overview of the phenomenon, great in both scale and scope, styled 'international organizations' in its diversity and unity.
The course starts by focusing on the concept of international organization proper, and examines how these are inherently political societies wherein power happens and is organized according to certain structures. The course then moves on modalities for international organizations interacting with both each other and States, with a particular attention given to functions organizations perform amid the international society.

BSC200LA

Natural Science B

2016 年度以前入学者

サブタイトル：

Naomi NISHIMURA

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：2 **単位**
GBP/SCOPE/IGESS 1～4 **年※定員制**

他学部公開：　グローバル：○　**成績優秀：　実務教員：**

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
One of the most pressing issues the Earth is facing is environmental problems. Such environmental problems are universal issues, so all the people on the earth should cooperate to solve these problems. At the beginning of this course, each environmental problem will be focused from the chemical viewpoint. Then, the students with different backgrounds will delve into the matters. The ultimate goal of this course is that we think about these problems deeply by sharing possible solutions with each other.

【到達目標】
The goal of this course is for students to lean environmental problems through chemistry. The objective 1) entirely environmental problems in the world; 2) to learn them you understand basic chemistry; 3) they think about solving the imminent problems by themselves.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
Students will be tested on their knowledge of chemistry at the beginning of the course, and the contents for the first three weeks of the course will be decided, based on the test results. After that, many different environmental problems are explained each week.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction	Overview of the course and explanation of some terminology. Test your chemistry level.
2	Basic chemistry 1	Learning the chemical skills to study this course.
3	Basic chemistry 2	Learning the chemical skills to study this course.
4	Mini test-1	Review learning.
5	Environmental problems overview	Small topics of environmental problems.
6	Ozone holes	Stratospheric air chemistry.
7	Air pollution	Tropospheric air chemistry and effect of air pollution on our health.
8	Greenhouse effect	Climates change
9	Greenhouse effect-DVD	Climates change
10	Mini test-2	Review learning
11	Solid, toxic, and hazardous wastes	What do we do with the wastes?
12	Water pollution and water shortage	The basic chemistry of natural water.
13	Energy and fuels	Current energy system and alternative energy sources.
14	Final test	Overall review

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Write short essays. 本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
None. Reading materials will be distributed as needed.

【参考書】
None.

【成績評価の方法と基準】
Reaction Paper (30%), Mini tests (30%), Final test (40%)

【学生の意見等からの気づき】
none

【学生が準備すべき機器他】
none

【none】
none

【Outline and objectives】
One of the most pressing issues the Earth is facing is environmental problems. Such environmental problems are universal issues, so all the people on the earth should cooperate to solve these problems. At the beginning of this course, each environmental problem will be focused from the chemical viewpoint. Then, the students with different backgrounds will delve into the matters. The ultimate goal of this course is that we think about these problems deeply by sharing possible solutions with each other.

HSS200LA

Health and Physical Education　2016 年度以前入学者

サブタイトル：

秋本　成晴

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**月** 1/Mon.1
単位数：**2 単位**
GBP/SCOPE/IGESS 1〜4 年※**定員制**

他学部公開：　グローバル：○　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Understanding the various physical activities and their effect on daily health and/or fitness level. Learning teamwork and personal role within a group through various exercises that require technique and/or tactical knowledge.

【到達目標】
1. Learning about various ways of exercising.
2. Understanding the basics of a healthy lifestyle.
3. Learning about basic self control and its importance.
4. Exercising simple decision making, leadership, communication in a dependent and co-dependent environment.
5. Creating a demand for future self-education and self-development.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
This class is comprised of 8 lectures and 6 practical lessons; however, this may be changed due to the situation of COVID-19 and the university guidelines. Currently this class is planned to be held offline (face to face), therefore, please follow the university guidelines carefully when you participate in classes (e.g. sanitizing your hands prior to participation). If you have any difficulty to participate due to the situation of COVID-19, please inform the teacher as soon as possible in order to participate online.
Also, Due to the coronavirus pandemic, if there are too many students registered for this class, we may have to choose students via random selection in order to avoid a large group gathering. Further details of this will be announced through Hoppii before the first lesson starts.
When reaction papers are submitted by students, the teacher will comment or give feedback on those reaction papers at the beginning of the next session.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Guidance (Lecture)	Introduction of the course.
2	Walking & Stretching (Lecture & Practical Lesson)	Learning how to stretch and the importance of walking in everyday life.
3	Diet and Nutrition (Lecture)	Learning about basic nutrition and healthy lifestyle.
4	Principles of Training (Lecture)	Learning the basic principles of training.
5	Sport and Injury (Lecture)	Learning about various risk of injuries in sport and their prevention and recovery.
6	Table Tennis (Lecture & Practical Lesson)	Learning the outline of table tennis.
7	Sound Table Tennis (Lecture & Practical Lesson)	Learning about game based table tennis as well as its adaptation for people with visual impairments.
8	The Olympics and Paralympics (Lecture)	Learning about the Olympic and Paralympic Games.
9	Sport and Society (Lecture)	Learning about the role of sport in society.
10	Disability Sport (Lecture)	Learning the outline of disability sports.
11	Football & Boccia (Lecture & Practical Lesson)	Learning the outline of Football and Boccia.
12	Volleyball & Sitting Volleyball (Lecture & Practical Lesson)	Learning the outline of Volleyball and Sitting Volleyball.
13	Adaptation in Sport (Lecture)	Learning about adaptation in Sports.
14	Summarizing the Course (Lecture)	Overview of the course and summarizing what students have learned through group discussions.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Each student is required to prepare themselves to have a good physical and mental condition in order to participate safely in the lesson. Also, each student is required to study for 2 hours before and after each lesson accordingly.

【テキスト（教科書）】
No textbook will be used.

【参考書】
Reference books may be introduced as and if necessary.

【成績評価の方法と基準】
Attitude and Active Participation in Discussions and Practical Lesson: 60%
Understanding of the contents, Reports & Reaction Paper: 40%
*The grading criteria above is the basic grading principle, however, other criteria can be applied for those with difficulties of participation especially for practical lessons due to various reasons.

【学生の意見等からの気づき】
1) The target of each lesson will be introduced at the begging of each lecture in order for students to understand the importance of each lesson.
2) The contents of each lesson may be modified and adapted to more familiar ones for students to encourage their better understanding.
3) The contents of next lesson will be introduced in order for students to prepare and be ready.

【その他の重要事項】
・Each student is required to bring their own proper sports wear and indoor shoes for practical lessons.
・The order and content of each class can be changed/modified due to the number of participants and available facilities as well as the situation of COVID-19 and university guidelines.
・If students do not feel well or have (possible) injuries before or after the class, students must inform their condition to the teacher for safety.

【Outline and objectives】
Understanding the various physical activities and their effect on daily health and/or fitness level. Learning teamwork and personal role within a group through various exercises that require technique and/or tactical knowledge.

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

吉岡　卓

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**月** 1/Mon.1
単位数：**2 単位**
法文営 1〜2 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業のねらいは，自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことです．また，将来的に新種のソフトが普及しても積極的に取り組む姿勢を身につけることも目標とします．

【到達目標】
本科目では，主に Excel2010（表計算ソフト）と PowerPoint2010（プレゼンテーションソフト）の操作方法を学びます．基本的な操作方法は情報処理演習 I で学んだ Word と同様なので，特に本授業では，表の作成と簡単な計算・オートフィル・関数の利用・最適化問題を解く・プレゼンテーション資料の作成・発表方法などが身に付きます．
授業では Excel と PowerPoint を使用する際のテクニカルな面を講義しますが，本科目の目標はあくまでも「計算式を書く」事と「自らの主張をプレゼンテーションにつなげる」事です．なお，前者では，数学的な思考はあまり必要ありません．数式を解くのではなく，数式を立てるほうを重要視しますので，論理的な思考が身に付きます．後者では，プレゼンテーション資料を作る際の様々なルール（一般的な文字数や図表の規則など）が身に付きます．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1

【授業の進め方と方法】
本科目は 1 時限目に開講されます．通勤ラッシュを避けるため，開始時間を繰り下げる可能性があります（最初の 30 分は事前に資料配布で予習してきてもらい，残り 70 分は対面で実施等.）また，対面とオンラインを併用する事も検討します．初回授業にて説明するため，必ず 1 回目の授業には出席してください．
対面授業に関しては，毎回 1 人 1 台コンピュータを使って実習を行います．表計算ソフト，プレゼンテーションソフト，その他の応用ソフトの使い方などを実習します．また，ホームページ作成の初歩，情報倫理や情報理論についての考え方を深めます．
課題のフィードバックは授業中に行います．
大学の行動方針レベルが 2 となった場合，この授業は対面とオンラインの併用を予定しています．詳細は学習支援システムで伝達します．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 01 回	Excel 導入	セルの挿入・結合・装飾などを通して，Microsoft Excel の利用方法を学習する
第 02 回	関数の利用	Microsoft Excel の自動計算機能を用いる
第 03 回	関数の応用	Microsoft Excel の様々な関数を利用する
第 04 回	詳細な表示形式の変更	Microsoft Excel の条件付き書式を利用する
第 05 回	非線形な問題を解く	Microsoft Excel のソルバーやゴールシーク機能を用いて非線形な問題を解く
第 06 回	条件分岐に関する関数を用いる	Microsoft Excel の IF 関数などを用いる事で，論理的思考をやしなう
第 07 回	Power Point 導入	Microsoft PowerPoint の基本操作や箇条書き・スライド装飾について学習する
第 08 回	図表の挿入・アニメーション設定	Microsoft PowerPoint の図表利用やアニメーションの設定により，視覚的効果の得られるスライド作成を目標とする
第 09 回	動画の挿入・拡張子	Microsoft PowerPoint に動画を挿入する場合の注意や，Windows における拡張子の扱いについて学習する
第 10 回	マイテンプレート	Microsoft PowerPoint で，自分なりのテンプレートを作成し，特色あるスライド作成を目標とする
第 11 回	スライドの作成	Microsoft PowerPoint を用いて個別にスライドを作成し，情報発信能力の向上を目標とする
第 12 回	スライドの発表	第 11 回で作成したスライドを発表する．自らの主張を効果的に伝える手法を学習する
第 13 回	スライド発表時の諸注意と応用	第 11 回で作成したスライドをもとに，プレゼンテーションの注意点やスライド作成の応用事例を概観する
第 14 回	ネットワークの基礎	サーバ・クライアントの関係を概観し，コンピュータネットワークに関する理解を深める

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
第 1 回の授業の前に，ログイン ID とパスワードを確認しておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
実習　情報リテラシ [第 3 版]，重定如彦・河内谷幸子　共著，サイエンス社，1980 円

【参考書】
適時指示．なお，講義で使用したスライドは授業支援システムにアップします．

【成績評価の方法と基準】
平常点（20%），レポート課題（80%）を総合して評価します．特に課題が出た時は必ず指定の方法で提出し，期限を守る事．3〜4 回ほどを予定．

【学生の意見等からの気づき】
パソコンに慣れている人と慣れていない人が混在するため，出来るだけどちらにも興味をもってもらえるよう，授業スピードや内容に心がけるつもりです．

【学生が準備すべき機器他】
授業支援システムを利用します．履修決定後，参照できることを各自確認してください．

【その他の重要事項】
「情報処理演習 I」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします．
上記【授業の進め方と方法】を良く読み，初回授業は必ず出席すること．
出席が不可能な場合は，授業支援システムから連絡すること．

【Outline and objectives】
This is an introductory Information Processing course.
It covers key productivity software Excel and Powerpoint with Microsoft Office 2013.
In this course, I will show you what we need to use Excel is not to solve mathematical expressions, but to make mathematical expressions.
That is, you will able to acquire logical thinking.
And also, with PowerPoint, you can easily create slideshow.
Basic keyboarding skills are strongly recommended.

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

吉岡　卓

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**2 単位**
法文営 1〜2 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業のねらいは，自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことです．また，将来的に新種のソフトが普及しても積極的に取り組む姿勢を身につけることも目標とします．

【到達目標】
本科目では，主に Excel2010（表計算ソフト）と PowerPoint2010（プレゼンテーションソフト）の操作方法を学びます．基本的な操作方法は情報処理演習 I で学んだ Word と同様なので，特に本授業では，表の作成と簡単な計算・オートフィル・関数の利用・最適化問題を解く・プレゼンテーション資料の作成・発表方法などが身に付きます．
授業では Excel と PowerPoint を使用する際のテクニカルな面を講義しますが，本科目の目標はあくまでも「計算式を書く」事と「自らの主張をプレゼンテーションにつなげる」事です．なお，前者では，数学的な思考はあまり必要ありません．数式を解くのではなく，数式を立てるほうを重要視しますので，論理的な思考が身に付きます．後者では，プレゼンテーション資料を作る際の様々なルール（一般的な文字数や図表の規則など）が身に付きます．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1

【授業の進め方と方法】
対面とオンラインを併用する事も検討します．初回授業にて説明するため，必ず 1 回目の授業には出席してください．
対面授業に関しては，毎回 1 人 1 台コンピュータを使って実習を行います．表計算ソフト，プレゼンテーションソフト，その他の応用ソフトの使い方などを実習します．また，ホームページ作成の初歩，情報倫理や情報理論についての考え方を深めます．
課題のフィードバックは授業中に行います．
大学の行動方針レベルが 2 となった場合，この授業は対面とオンラインの併用を予定しています．詳細は学習支援システムで伝達します．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 01 回	Excel 導入	セルの挿入・結合・装飾などを通して，Microsoft Excel の利用方法を学習する
第 02 回	関数の利用	Microsoft Excel の自動計算機能を用いる
第 03 回	関数の応用	Microsoft Excel の様々な関数を利用する
第 04 回	詳細な表示形式の変更	Microsoft Excel の条件付き書式を利用する
第 05 回	非線形な問題を解く	Microsoft Excel のソルバーやゴールシーク機能を用いて非線形な問題を解く
第 06 回	条件分岐に関する関数を用いる	Microsoft Excel の IF 関数などを用いる事で，論理的思考をやしなう
第 07 回	Power Point 導入	Microsoft PowerPoint の基本操作や箇条書き・スライド装飾について学習する
第 08 回	図表の挿入・アニメーション設定	Microsoft PowerPoint の図表利用やアニメーションの設定により，視覚的効果の得られるスライド作成を目標とする
第 09 回	動画の挿入・拡張子	Microsoft PowerPoint に動画を挿入する場合の注意や，Windows における拡張子の扱いについて学習する
第 10 回	マイテンプレート	Microsoft PowerPoint で，自分なりのテンプレートを作成し，特色あるスライド作成を目標とする
第 11 回	スライドの作成	Microsoft PowerPoint を用いて個別にスライドを作成し，情報発信能力の向上を目標とする
第 12 回	スライドの発表	第 11 回で作成したスライドを発表する．自らの主張を効果的に伝える手法を学習する
第 13 回	スライド発表時の諸注意と応用	第 11 回で作成したスライドをもとに，プレゼンテーションの注意点やスライド作成の応用事例を概観する
第 14 回	ネットワークの基礎	サーバ・クライアントの関係を概観し，コンピュータネットワークに関する理解を深める

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
第 1 回の授業の前に，ログイン ID とパスワードを確認しておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
実習　情報リテラシ [第 3 版]，重定如彦・河内谷幸子　共著，サイエンス社，1980 円

【参考書】
適時指示．なお，講義で使用したスライドは授業支援システムにアップします．

【成績評価の方法と基準】
平常点（20%），レポート課題（80%）を総合して評価します．特に課題が出た時は必ず指定の方法で提出し，期限を守る事．3〜4 回ほどを予定．

【学生の意見等からの気づき】
パソコンに慣れている人と慣れていない人が混在するため，出来るだけどちらにも興味をもってもらえるよう，授業スピードや内容に心がけるつもりです．

【学生が準備すべき機器他】
授業支援システムを利用します．履修決定後，参照できることを各自確認してください．

【その他の重要事項】
「情報処理演習 I」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします．
上記【授業の進め方と方法】を良く読み，初回授業は必ず出席すること．
出席が不可能な場合は，授業支援システムから連絡すること．

【Outline and objectives】
This is an introductory Information Processing course.
It covers key productivity software Excel and Powerpoint with Microsoft Office 2013.
In this course, I will show you what we need to use Excel is not to solve mathematical expressions, but to make mathematical expressions.
That is, you will able to acquire logical thinking.
And also, with PowerPoint, you can easily create slideshow.
Basic keyboarding skills are strongly recommended.

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

吉岡　卓

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**2 単位**
法文営 1〜2 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業のねらいは，自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことです．また，将来的に新種のソフトが普及しても積極的に取り組む姿勢を身につけることも目標とします．

【到達目標】
本科目では，主に Excel2010（表計算ソフト）と PowerPoint2010（プレゼンテーションソフト）の操作方法を学びます．基本的な操作方法は情報処理演習Ⅰで学んだ Word と同様なので，特に本授業では，表の作成と簡単な計算・オートフィル・関数の利用・最適化問題を解く・プレゼンテーション資料の作成・発表方法などが身に付きます．
授業では Excel と PowerPoint を使用する際のテクニカルな面を講義しますが，本科目の目標はあくまでも「計算式を書く」事と「自らの主張をプレゼンテーションにつなげる」事です．なお，前者では，数学的な思考はあまり必要ありません．数式を解くのではなく，数式を立てるほうを重要視しますので，論理的な思考が身に付きます．後者では，プレゼンテーション資料を作る際の様々なルール（一般的な文字数や図表の規則など）が身に付きます．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1

【授業の進め方と方法】
対面とオンラインを併用する事も検討します．初回授業にて説明するため，必ず 1 回目の授業には出席してください．
対面授業に関しては，毎回 1 人 1 台コンピュータを使って実習を行います．表計算ソフト，プレゼンテーションソフト，その他の応用ソフトの使い方などを実習します．また，ホームページ作成の初歩，情報倫理や情報理論についての考え方を深めます．
課題のフィードバックは授業中に行います．
大学の行動方針レベルが 2 となった場合，この授業は対面とオンラインの併用を予定しています．詳細は学習支援システムで伝達します．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 01 回	Excel 導入	セルの挿入・結合・装飾などを通して，Microsoft Excel の利用方法を学習する
第 02 回	関数の利用	Microsoft Excel の自動計算機能を用いる
第 03 回	関数の応用	Microsoft Excel の様々な関数を利用する
第 04 回	詳細な表示形式の変更	Microsoft Excel の条件付き書式を利用する
第 05 回	非線形な問題を解く	Microsoft Excel のソルバーやゴールシーク機能を用いて非線形な問題を解く
第 06 回	条件分岐に関する関数を用いる	Microsoft Excel の IF 関数などを用いる事で，論理的思考をやしなう
第 07 回	Power Point 導入	Microsoft PowerPoint の基本操作や箇条書き・スライド装飾について学習する
第 08 回	図表の挿入・アニメーション設定	Microsoft PowerPoint の図表利用やアニメーションの設定により，視覚的効果の得られるスライド作成を目標とする
第 09 回	動画の挿入・拡張子	Microsoft PowerPoint に動画を挿入する場合の注意や，Windows における拡張子の扱いについて学習する
第 10 回	マイテンプレート	Microsoft PowerPoint で，自分なりのテンプレートを作成し，特色あるスライド作成を目標とする
第 11 回	スライドの作成	Microsoft PowerPoint を用いて個別にスライドを作成し，情報発信能力の向上を目標とする
第 12 回	スライドの発表	第 11 回で作成したスライドを発表する．自らの主張を効果的に伝える手法を学習する
第 13 回	スライド発表時の諸注意と応用	第 11 回で作成したスライドをもとに，プレゼンテーションの注意点やスライド作成の応用事例を概観する
第 14 回	ネットワークの基礎	サーバ・クライアントの関係を概観し，コンピュータネットワークに関する理解を深める

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
第 1 回の授業の前に，ログイン ID とパスワードを確認しておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
実習　情報リテラシ [第 3 版]，重定如彦・河内谷幸子　共著，サイエンス社，1980 円

【参考書】
適時指示．なお，講義で使用したスライドは授業支援システムにアップします．

【成績評価の方法と基準】
平常点（20%），レポート課題（80%）を総合して評価します．特に課題が出た時は必ず指定の方法で提出し，期限を守る事．3〜4 回ほどを予定．

【学生の意見等からの気づき】
パソコンに慣れている人と慣れていない人が混在するため，出来るだけどちらにも興味をもってもらえるよう，授業スピードや内容に心がけるつもりです．

【学生が準備すべき機器他】
授業支援システムを利用します．履修決定後，参照できることを各自確認してください．

【その他の重要事項】
「情報処理演習 I」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします．
上記【授業の進め方と方法】を良く読み，初回授業は必ず出席すること．
出席が不可能な場合は，授業支援システムから連絡すること．

【Outline and objectives】
This is an introductory Information Processing course.
It covers key productivity software Excel and Powerpoint with Microsoft Office 2013.
In this course, I will show you what we need to use Excel is not to solve mathematical expressions, but to make mathematical expressions.
That is, you will able to acquire logical thinking.
And also, with PowerPoint, you can easily create slideshow.
Basic keyboarding skills are strongly recommended.

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

吉岡　卓

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**2 単位**
法文営 1〜2 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業のねらいは，自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことです．また，将来的に新種のソフトが普及しても積極的に取り組む姿勢を身につけることも目標とします．

【到達目標】
本科目では，主に Excel2010（表計算ソフト）と PowerPoint2010（プレゼンテーションソフト）の操作方法を学びます．基本的な操作方法は情報処理演習 I で学んだ Word と同様なので，特に本授業では，表の作成と簡単な計算・オートフィル・関数の利用・最適化問題を解く・プレゼンテーション資料の作成・発表方法などが身に付きます．
授業では Excel と PowerPoint を使用する際のテクニカルな面を講義しますが，本科目の目標はあくまでも「計算式を書く」事と「自らの主張をプレゼンテーションにつなげる」事です．なお，前者では，数学的な思考はあまり必要ありません．数式を解くのではなく，数式を立てるほうを重要視しますので，論理的な思考が身に付きます．後者では，プレゼンテーション資料を作る際の様々なルール（一般的な文字数や図表の規則など）が身に付きます．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1

【授業の進め方と方法】
対面とオンラインを併用する事も検討します．初回授業にて説明するため，必ず 1 回目の授業には出席してください．
対面授業に関しては，毎回 1 人 1 台コンピュータを使って実習を行います．表計算ソフト，プレゼンテーションソフト，その他の応用ソフトの使い方などを実習します．また，ホームページ作成の初歩，情報倫理や情報理論についての考え方を深めます．
課題のフィードバックは授業中に行います．
大学の行動方針レベルが 2 となった場合，この授業は対面とオンラインの併用を予定しています．詳細は学習支援システムで伝達します．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 01 回	Excel 導入	セルの挿入・結合・装飾などを通して，Microsoft Excel の利用方法を学習する
第 02 回	関数の利用	Microsoft Excel の自動計算機能を用いる
第 03 回	関数の応用	Microsoft Excel の様々な関数を利用する
第 04 回	詳細な表示形式の変更	Microsoft Excel の条件付き書式を利用する
第 05 回	非線形な問題を解く	Microsoft Excel のソルバーやゴールシーク機能を用いて非線形な問題を解く
第 06 回	条件分岐に関する関数を用いる	Microsoft Excel の IF 関数などを用いる事で，論理的思考をやしなう
第 07 回	Power Point 導入	Microsoft PowerPoint の基本操作や箇条書き・スライド装飾について学習する
第 08 回	図表の挿入・アニメーション設定	Microsoft PowerPoint の図表利用やアニメーションの設定により，視覚的効果の得られるスライド作成を目標とする
第 09 回	動画の挿入・拡張子	Microsoft PowerPoint に動画を挿入する場合の注意や，Windows における拡張子の扱いについて学習する
第 10 回	マイテンプレート	Microsoft PowerPoint で，自分なりのテンプレートを作成し，特色あるスライド作成を目標とする
第 11 回	スライドの作成	Microsoft PowerPoint を用いて個別にスライドを作成し，情報発信能力の向上を目標とする
第 12 回	スライドの発表	第 11 回で作成したスライドを発表する．自らの主張を効果的に伝える手法を学習する
第 13 回	スライド発表時の諸注意と応用	第 11 回で作成したスライドをもとに，プレゼンテーションの注意点やスライド作成の応用事例を概観する
第 14 回	ネットワークの基礎	サーバ・クライアントの関係を概観し，コンピュータネットワークに関する理解を深める

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
第 1 回の授業の前に，ログイン ID とパスワードを確認しておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
実習　情報リテラシ [第 3 版]，重定如彦・河内谷幸子　共著，サイエンス社，1980 円

【参考書】
適時指示．なお，講義で使用したスライドは授業支援システムにアップします．

【成績評価の方法と基準】
平常点（20%），レポート課題（80%）を総合して評価します．特に課題が出た時は必ず指定の方法で提出し，期限を守る事．3〜4 回ほどを予定．

【学生の意見等からの気づき】
パソコンに慣れている人と慣れていない人が混在するため，出来るだけどちらにも興味をもってもらえるよう，授業スピードや内容に心がけるつもりです．

【学生が準備すべき機器他】
授業支援システムを利用します．履修決定後，参照できることを各自確認してください．

【その他の重要事項】
「情報処理演習 I」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします．
上記【授業の進め方と方法】を良く読み，初回授業は必ず出席すること．
出席が不可能な場合は，授業支援システムから連絡すること．

【Outline and objectives】
This is an introductory Information Processing course.
It covers key productivity software Excel and Powerpoint with Microsoft Office 2013.
In this course, I will show you what we need to use Excel is not to solve mathematical expressions, but to make mathematical expressions.
That is, you will able to acquire logical thinking.
And also, with PowerPoint, you can easily create slideshow.
Basic keyboarding skills are strongly recommended.

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

中村　文隆

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 2/Wed.2
単位数：2 **単位**
法文営 1〜2 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業のテーマは、様々な情報の中から自分に必要な情報を取得し、自分なりの表現へと加工して発信する力を身につけることです。また、高校の科目「情報」の取り組みが学校によって異なるため、不足分を補充し、さらに情報科学の理論へと導いていきます。
　秋学期の情報処理演習 II では、情報処理演習 I で学んだ内容を元に文書作成、表計算ソフト、プレゼンテーションといった内容を学びます。

【到達目標】
情報のタイプに応じて様々な情報の表現形式（情報メディア）が存在する事を理解する。また、その上で文書作成、表計算、プレゼンテーションを用いた複合的な情報の受信、発信技術を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1

【授業の進め方と方法】
本年度は対面授業の実施可否が見通せないため、当面は Google Classroom を用いたオンデマンドの動画配信を主体とし、課題を提出してもらうことを予定しています。なお、初回については Zoom を用いたリアルタイムの授業を予定しています。Google Classroom や Zoom へのアクセス方法については、学習支援システムを通じてお知らせしますので、大学からの資料を参照し、初回の授業までに自己登録を済ませておいてください。
課題のフィードバックは授業中に行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ワードプロセッサーその 1	テキストエディタとワードプロセッサの基本について学ぶ ワープロと、HTML による文章の構造化について学ぶ
第 2 回	ワードプロセッサーその 2	段落、タブ、ルーラー、文章の検索、置換、校正について学ぶ
第 3 回	ワードプロセッサーその 3	表紙、ヘッダーとフッター、表の挿入と編集について学ぶ
第 4 回	ワードプロセッサーその 4	図形、描画キャンバスの挿入と編集について学ぶ
第 5 回	ワードプロセッサーその 5	画像、SmartArt、スクリーンショットの挿入と編集について学ぶ レポートを作成する上で必要となる機能（目次、参考文献、脚注の挿入など）について学ぶ
第 6 回	表計算ソフトその 1	表計算ソフトウェアの概念、データの入力、セルの操作、データの種類と式、セルの修飾について学ぶ
第 7 回	表計算ソフトその 2	セルの表示形式、カットアンドペースト、オートフィルなどによるデータのコピー、式によるデータの計算、時系列データについて学ぶ
第 8 回	表計算ソフトその 3	式のコピーと相対参照、絶対参照、セルに名前を付ける方法、関数の基礎について学ぶ
第 9 回	表計算ソフトその 4	条件分岐について学び、条件分岐を使った応用例として実用的な表の作成方法について学ぶ
第 10 回	表計算ソフトその 5	グラフについて学ぶ
第 11 回	表計算ソフトその 6	データベース機能（並べ替え、検索、フィルター）、串刺し集計、Word への表やグラフの貼り付け、エラー表記について学ぶ
第 12 回	プレゼンテーション 1	プレゼンテーションとは何か、プレゼンテーションソフトの概念、スライド作成について学ぶ
第 13 回	プレゼンテーション 2	図形、画像、グラフなどの利用方法、画面切り替え効果について学ぶ
第 14 回	プレゼンテーション 3	アニメーション、スライドショー、発表練習、質疑応答について学ぶ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
各自授業の前後に教科書を使って予習、復習を行うこと。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
授業中に指示します。

【参考書】
「キーワードで理解する最新情報リテラシー　第 2 版」久野、辰巳、佐藤　監修　日経 BP ソフトプレス
「実習 Word」　入戸野、重定、児玉、河内谷　著　サイエンス社

【成績評価の方法と基準】
授業中の提出物 (80%) と平常点 (20%) で評価します。

【学生の意見等からの気づき】
一人一人の進度に応じたフォローを心がけています

【学生が準備すべき機器他】
オンライン授業を中心として進める予定であり、インターネットにアクセス可能なパーソナルコンピュータを準備してください

【その他の重要事項】
情報処理演習Ⅱは春学期の情報処理演習Ⅰとセットになる科目です。情報処理演習Ⅱを受講する方は必ず春学期の情報処理演習Ⅰを受講して下さい。

【Outline and objectives】
Objectives of this class are to acquire the ability to collect necessary information from various inforamation, and to process the collected information to original form, an to process them to other people. In Autumn, themes of this class are, word processing, spreadsheet, and presentation.

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

中村　文隆

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**火** 2/Tue.2
単位数：2 **単位**
法文営 1〜2 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業のテーマは、様々な情報の中から自分に必要な情報を取得し、自分なりの表現へと加工して発信する力を身につけることです。また、高校の科目「情報」の取り組みが学校によって異なるため、不足分を補充し、さらに情報科学の理論へと導いていきます。
　秋学期の情報処理演習 II では、情報処理演習 I で学んだ内容を元に文書作成、表計算ソフト、プレゼンテーションといった内容を学びます。

【到達目標】
情報のタイプに応じて様々な情報の表現形式（情報メディア）が存在する事を理解する。また、その上で文書作成、表計算、プレゼンテーションを用いた複合的な情報の受信、発信技術を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1

【授業の進め方と方法】
本年度は対面授業の実施可否が見通せないため、当面は Google Classroom を用いたオンデマンドの動画配信を主体とし、課題を提出してもらうことを予定しています。なお、初回については Zoom を用いたリアルタイムの授業を予定しています。Google Classroom や Zoom へのアクセス方法については、学習支援システムを通じてお知らせしますので、大学からの資料を参照し、初回の授業までに自己登録を済ませておいてください。
課題のフィードバックは授業中に行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ワードプロセッサーその 1	テキストエディタとワードプロセッサの基本について学ぶ ワープロと、HTML による文章の構造化について学ぶ
第 2 回	ワードプロセッサーその 2	段落、タブ、ルーラー、文章の検索、置換、校正について学ぶ
第 3 回	ワードプロセッサーその 3	表紙、ヘッダーとフッター、表の挿入と編集について学ぶ
第 4 回	ワードプロセッサーその 4	図形、描画キャンバスの挿入と編集について学ぶ
第 5 回	ワードプロセッサーその 5	画像、SmartArt、スクリーンショットの挿入と編集について学ぶ レポートを作成する上で必要となる機能（目次、参考文献、脚注の挿入など）について学ぶ
第 6 回	表計算ソフトその 1	表計算ソフトウェアの概念、データの入力、セルの操作、データの種類と式、セルの修飾について学ぶ
第 7 回	表計算ソフトその 2	セルの表示形式、カットアンドペースト、オートフィルなどによるデータのコピー、式によるデータの計算、時系列データについて学ぶ
第 8 回	表計算ソフトその 3	式のコピーと相対参照、絶対参照、セルに名前を付ける方法、関数の基礎について学ぶ
第 9 回	表計算ソフトその 4	条件分岐について学び、条件分岐を使った応用例として実用的な表の作成方法について学ぶ
第 10 回	表計算ソフトその 5	グラフについて学ぶ
第 11 回	表計算ソフトその 6	データベース機能（並べ替え、検索、フィルター）、串刺し集計、Word への表やグラフの貼り付け、エラー表記について学ぶ
第 12 回	プレゼンテーション 1	プレゼンテーションとは何か、プレゼンテーションソフトの概念、スライド作成について学ぶ
第 13 回	プレゼンテーション 2	図形、画像、グラフなどの利用方法、画面切り替え効果について学ぶ
第 14 回	プレゼンテーション 3	アニメーション、スライドショー、発表練習、質疑応答について学ぶ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
各自授業の前後に教科書を使って予習、復習を行うこと。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
授業中に指示します。

【参考書】
「キーワードで理解する最新情報リテラシー　第 2 版」久野、辰巳、佐藤　監修　日経 BP ソフトプレス
「実習 Word」　入戸野、重定、児玉、河内谷　著　サイエンス社

【成績評価の方法と基準】
授業中の提出物 (80%) と平常点 (20%) で評価します。

【学生の意見等からの気づき】
一人一人の進度に応じたフォローを心がけています

【学生が準備すべき機器他】
オンライン授業を中心として進める予定であり、インターネットにアクセス可能なパーソナルコンピュータを準備してください

【その他の重要事項】
情報処理演習Ⅱは春学期の情報処理演習Ⅰとセットになる科目です。情報処理演習Ⅱを受講する方は必ず春学期の情報処理演習Ⅰを受講して下さい。

【Outline and objectives】
Objectives of this class are to acquire the ability to collect necessary information from various inforamation, and to process the collected information to original form, an to process them to other people. In Autumn, themes of this class are, word processing, spreadsheet, and presentation.

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

河内谷　幸子

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**火** 3/Tue.3
単位数：**2 単位**
法文営 1〜2 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
「情報処理演習 I」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことです。また、将来的に新種のソフトが普及しても積極的に取り組む姿勢を身につけることも目標とします。
Word，Excel，PowerPoint，パソコンの仕組みを学びます。
初心者でも Word や Excel の資格試験合格レベルまで上達できます。
当科目は、専門科目の情報科目と両方履修できます。両方履修すると相乗効果で上達が期待できます。

【到達目標】
他科目のレポート作成、ゼミの資料や卒論作成、社会に出てからの書類作成、などに役立つ実践的な内容の習得が到達目標です。
文書作成ソフト Word において、レポートや卒業論文の作成に必要な技術として、表紙付与、目次、脚注、引用文献、索引などの機能を習得します。また、共同作業に必要な技術として、履歴・コメント・パスワード付与などの機能を習得します。
表計算ソフト Excel において、条件処理、アンケート集計に便利なピボットテーブル、連続する操作を登録するマクロ機能などを習得します。
データベースソフト ACCESS の使い方を体験します。
プレゼンテーションソフト PowerPoint を利用して発表ができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1

【授業の進め方と方法】
この授業は秋学期科目ですが、履修するためには情報処理演習 I(春学期科目) と同じタイミングで 4 月上旬（春学期の授業開始前）の抽選に当選する必要があります。大学 HP の授業関連の項目を参照して抽選に申し込んで下さい。
基本的には対面授業ですが、数回 Zoom オンライン授業の日があります。学習支援システムに登録し、毎週授業の前日には必ず学習支援システムの「お知らせ」を読んで、対面かどうかを確認して下さい。特に初回授業の前日には学習支援システムの「お知らせ」が重要です。
対面授業では、ボアソナードタワー内にあるパソコン実習室で、毎回 1 人 1 台コンピュータを使って実習を行います。表計算ソフト、プレゼンテーションソフト、その他の応用ソフトの使い方などを実習します。また、コンピュータの知識や情報倫理や情報科学の理論についての考え方を深めます。
課題のフィードバックは学習支援システムに掲示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	春学期の復習 秋学期ガイダンス 情報倫理	春学期に学んだ文書作成と表計算の内容を復習する実習を行う。
2	文書作成 1	文書作成ソフト Word を使って、文字スタイル、高度な検索・置換、クイックパーツ、段組み、透かしなどの機能の実習を行う。
3	文書作成 2	文書作成ソフト Word を使って、表紙付与、目次、脚注、引用文献、索引、差し込み印刷などの機能の実習を行う。
4	文書作成 3	文書作成ソフト Word を使って、文章校正、変更履歴、コメント、テンプレート、ユーザの編集制限、パスワード付与、図番の付与、画像編集などの機能の実習を行う。
5	文書作成 4	文書作成に関するこれまでのまとめ演習を行う。
6	データベースソフト	データベースソフト Access を使って、リレーショナルデータベースについて理論を学び、実習する。
7	コンピュータのしくみ IT 時事問題	コンピュータの基礎知識を学ぶ。また、ＩＴ時事問題を紹介し、それについて考え、まとめる。
8	表計算 1	表計算ソフト Excel を利用して、条件処理を学ぶ。関数 IF、SUMIF、AVERAGEIF、COUNTIF などを使った実習を行う。また条件付き書式の実習を行う。
9	表計算 2	アンケート処理を目的として、表計算ソフト Excel のピボットテーブル機能について実習する。また、効果的なグラフを書くことを目的として、Excel のグラフテンプレートについて実習する。
10	表計算 3	EXCEL のマクロを入門体験する。
11	表計算 4	表計算に関するこれまでのまとめ演習を行う。
12	文書作成と表計算の連携	Word の差し込み印刷機能と、Excel で作成した住所録を利用して、ラベル作成およびハガキ作成を実習する。
13	プレゼンテーションソフト 1	プレゼンテーションソフト PowerPoint の入力、デザイン、アニメーション、スライドショーなどについて実習する。
14	プレゼンテーションソフト 2	PowerPoint を使って発表資料を作成する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業中の指示に従って前回の授業の復習を行います。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
授業中に指示します。

【参考書】
実習 情報リテラシ [第３版]
著者：重定如彦・河内谷幸子 共著
出版：サイエンス社

【成績評価の方法と基準】
授業中の提出物 (80%) と平常点 (20%) で評価します。

【学生の意見等からの気づき】
一人一人の席をまわって個別にわからない点を指導する点に高い評価をいただきましたので、今年度も丁寧に個別指導をしていきたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】
オンライン授業の備えて、Word・Excel・PowerPoint・Zoom が使用できるパソコンを自宅に準備する。

【その他の重要事項】
コンピュータが苦手でも履修可能です。

この授業は秋学期科目ですが、履修するためには情報処理演習 I(春学期科目) と同じタイミングで４月上旬（春学期の授業開始前）の抽選に当選する必要があります。大学 HP の授業関連の項目を参照して抽選に申し込んで下さい。

【Outline and objectives】
This course targets students who completed the "Information Processing Exercise I" course or has equivalent basic skills. This course teaches various techniques to express your information better and helps you acquire the attitude to proactively study future new-type software. Advanced lectures of Word, Excel, PowerPoint, and PC internals are included in this course.

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

岡嶋　裕史

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**火** 4/Tue.4
単位数：**2 単位**
法文営 1〜2 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
「情報処理演習 I」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことと、社会に出た際に利用するであろう主要アプリケーションの操作技能、応用技能を習得することです。また、将来的に新種の技術やアプリケーションが普及しても柔軟に対応できるリテラシを身につけることも目標とします。

【到達目標】
大学の講義を受講するに際して、あるいは社会人として職務に就くときに困らない程度のアプリケーション操作技能習得を目標としています。Excel の応用レベルを修了し、実務で困らない運用ができる水準に到達します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1

【授業の進め方と方法】
1 人 1 台コンピュータを使って実習を行います。表計算ソフト、その他の応用ソフトの使い方などを実習します。また、コンピュータの知識や情報倫理、情報科学についての考え方を深めます。
課題のフィードバックは授業中に行います。
なお、大学の行動方針レベルが 2 となった場合、この授業は原則としてオンラインで行います。詳細は学習支援システムで伝達します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	表計算ソフト応用 1	ブックの活用
2	表計算ソフト応用 2	高度な関数
3	表計算ソフト応用 3	シートの分析と入力規則
4	表計算ソフト応用 4	グラフの応用
5	表計算ソフト応用 5	データベース機能の活用
6	表計算ソフト応用 6	ピボットテーブル
7	表計算ソフト応用 7	マクロによる作業の自動化
8	プレゼンテーションソフト 1	スライドの基本操作
9	プレゼンテーションソフト 2	プレゼンテーションの編集
10	プレゼンテーションソフト 3	整列した図の作成
11	プレゼンテーションソフト 4	オブジェクトの挿入
12	プレゼンテーションソフト 5	スライドショーと特殊効果の追加
13	プログラミング初歩、もしくはデータベース（受講者のスキルによって決定します）	足し算ゲームなどの簡単なプログラミング、もしくはデータベースソフトの操作
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
テキストを読んで、当日実施する実技内容の手順を確認してください。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
複数の教科書を使いますので、初回授業で詳しく指示します。

【参考書】
実習情報リテラシ（サイエンス社）
Microsoft Excel 応用 セミナーテキスト（日経 BP 社）など

【成績評価の方法と基準】
平常点 30%、期末試験 70%をあわせた成績により評価します。
平常点は授業内課題への取り組み、提出物によって判定を行います。
すべての講義への出席が前提です。
期末試験は主要アプリケーションの操作技能を中心にした実技試験を行い、到達度を判定します。

【学生の意見等からの気づき】
Ⅰ・Ⅱがセットになっている講義ですが、Ⅱ期で急に難しくなったと感じる方が多いようです。主に Excel の関数を扱うのが原因です。対策として、この時期は問題演習の時間を多く取るなどいたしますが、受講生の方も是非復習をしてください。

【その他の重要事項】
教員に連絡が必要な場合は、以下のメールアドレスをご利用ください。
okajima@tamacc.chuo-u.ac.jp
http://researchers.chuo-u.ac.jp/Profiles/4/0000383/profile.html
教員は総合研究所での勤務経験を活かし、実務に即した技術を中心にお話しします。

【Outline and objectives】
The aim of this lesson is to learn how to express your own information. To master the operation skills and applied skills of the main application that you will use when you get a job.

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

岡嶋　裕史

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**火** 5/Tue.5
単位数：**2 単位**
法文営 1〜2 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
「情報処理演習 I」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことと、社会に出た際に利用するであろう主要アプリケーションの操作技能、応用技能を習得することです。また、将来的に新種の技術やアプリケーションが普及しても柔軟に対応できるリテラシを身につけることも目標とします。

【到達目標】
大学の講義を受講するに際して、あるいは社会人として職務に就くときに困らない程度のアプリケーション操作技能習得を目標としています。Excel の応用レベルを修了し、実務で困らない運用ができる水準に到達します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1

【授業の進め方と方法】
1 人 1 台コンピュータを使って実習を行います。表計算ソフト、その他の応用ソフトの使い方などを実習します。また、コンピュータの知識や情報倫理、情報科学についての考え方を深めます。
課題のフィードバックは授業中に行います。
なお、大学の行動方針レベルが 2 となった場合、この授業は原則としてオンラインで行います。詳細は学習支援システムで伝達します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	表計算ソフト応用 1	ブックの活用
2	表計算ソフト応用 2	高度な関数
3	表計算ソフト応用 3	シートの分析と入力規則
4	表計算ソフト応用 4	グラフの応用
5	表計算ソフト応用 5	データベース機能の活用
6	表計算ソフト応用 6	ピボットテーブル
7	表計算ソフト応用 7	マクロによる作業の自動化
8	プレゼンテーションソフト 1	スライドの基本操作
9	プレゼンテーションソフト 2	プレゼンテーションの編集
10	プレゼンテーションソフト 3	整列した図の作成
11	プレゼンテーションソフト 4	オブジェクトの挿入
12	プレゼンテーションソフト 5	スライドショーと特殊効果の追加
13	プログラミング初歩、もしくはデータベース（受講者のスキルによって決定します）	足し算ゲームなどの簡単なプログラミング、もしくはデータベースソフトの操作
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
テキストを読んで、当日実施する実技内容の手順を確認してください。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
複数の教科書を使いますので、初回授業で詳しく指示します。

【参考書】
実習情報リテラシ（サイエンス社）
Microsoft Excel 応用 セミナーテキスト（日経 BP 社）など

【成績評価の方法と基準】
平常点 30%、期末試験 70%をあわせた成績により評価します。
平常点は授業内課題への取り組み、提出物によって判定を行います。
すべての講義への出席が前提です。
期末試験は主要アプリケーションの操作技能を中心にした実技試験を行い、到達度を判定します。

【学生の意見等からの気づき】
Ⅰ・Ⅱがセットになっている講義ですが、Ⅱ期で急に難しくなったと感じる方が多いようです。主に Excel の関数を扱うのが原因です。対策として、この時期は問題演習の時間を多く取るなどいたしますが、受講生の方も是非復習をしてください。

【その他の重要事項】
教員に連絡が必要な場合は、以下のメールアドレスをご利用ください。
okajima@tamacc.chuo-u.ac.jp
http://researchers.chuo-u.ac.jp/Profiles/4/0000383/profile.html
教員は総合研究所での勤務経験を活かし、実務に即した技術を中心にお話しします。

【Outline and objectives】
The aim of this lesson is to learn how to express your own information. To master the operation skills and applied skills of the main application that you will use when you get a job.

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

重定　如彦

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 3/Wed.3
単位数：**2 単位**
法文営 1〜2 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業のテーマは、様々な情報の中から自分に必要な情報を取得し、自分なりの表現へと加工して発信する力を身につけることです。また、高校の科目「情報」の取り組みが学校によって異なるため、不足分を補充し、さらに情報科学の理論へと導いていきます。
　秋学期の情報処理演習 II では、情報処理演習Ⅰで学んだ内容を元に文書作成、表計算ソフト、プレゼンテーションといった内容を学びます。

【到達目標】
情報のタイプに応じて様々な情報の表現形式（情報メディア）が存在する事を理解する。また、その上で文書作成、表計算、プレゼンテーションを用いた複合的な情報の受信、発信技術を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1

【授業の進め方と方法】
基本的に毎回の授業の前半に講義を行い、後半に一人一台のコンピュータを使った演習を行います。コンピュータを学ぶ上で、実際に手を動かすことは非常に重要です。授業では後半の演習の時間に様々な実習課題をこなすことで実践を通じて学びます。
授業は後述のテキストを使って行います。また、課題もテキストから出しますので、必ず購入して授業に持参して下さい。
資料の配布、アンケート、課題の提出などは学習支援システムやｅポートフォリオを使って行います。各回の授業の冒頭で、必要に応じてアンケートの中からいくつかを取り上げてコメントを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ワードプロセッサーその 1	テキストエディタとワードプロセッサの基本について学ぶ ワープロと、HTML による文章の構造化について学ぶ
第 2 回	ワードプロセッサーその 2	段落、タブ、ルーラー、文章の検索、置換、校正について学ぶ
第 3 回	ワードプロセッサーその 3	表紙、ヘッダーとフッター、表の挿入と編集について学ぶ
第 4 回	ワードプロセッサーその 4	図形、描画キャンバスの挿入と編集について学ぶ
第 5 回	ワードプロセッサーその 5	画像、SmartArt、スクリーンショットの挿入と編集について学ぶ レポートを作成する上で必要となる機能（目次、参考文献、脚注の挿入など）について学ぶ
第 6 回	表計算ソフトその 1	表計算ソフトウェアの概念、データの入力、セルの操作、データの種類と式、セルの修飾について学ぶ

第 7 回	表計算ソフトその 2	セルの表示形式、カットアンドペースト、オートフィルなどによるデータのコピー、式によるデータの計算、時系列データについて学ぶ
第 8 回	表計算ソフトその 3	式のコピーと相対参照、絶対参照、セルに名前を付ける方法、関数の基礎について学ぶ
第 9 回	表計算ソフトその 4	条件分岐について学び、条件分岐を使った応用例として実用的な表の作成方法について学ぶ
第 10 回	表計算ソフトその 5	グラフについて学ぶ
第 11 回	表計算ソフトその 6	データベース機能（並べ替え、検索、フィルター）、串刺し集計、Word への表やグラフの貼り付け、エラー表記について学ぶ
第 12 回	プレゼンテーション 1	プレゼンテーションとは何か、プレゼンテーションソフトの概念、スライド作成について学ぶ
第 13 回	プレゼンテーション 2	図形、画像、グラフなどの利用方法、画面切り替え効果について学ぶ
第 14 回	プレゼンテーション 3	アニメーション、スライドショー、発表練習、質疑応答について学ぶ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
各自授業の前後に教科書を使って予習、復習を行うこと。
また、課題が出されている場合は、締め切りに間に合うように課題を行い、学習支援システムに指示に従って提出すること。
なお、教科書にある、課題としなかった練習問題や章末問題も、余裕があれば行うことが望ましい。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
「実習情報リテラシ　第 3 版」　重定、河内谷　著　サイエンス社
第 2 版の「実習情報リテラシ」は内容が古く、大学のパソコンにインストールされている Windows 10 や Microsoft Office に対応していないので、間違えてそちらを購入しないように注意すること。

【参考書】
「キーワードで理解する最新情報リテラシー　第 2 版」久野、辰巳、佐藤　監修　日経 BP ソフトプレス
「実習 Word」　入戸野、重定、児玉、河内谷　著　サイエンス社

【成績評価の方法と基準】
「配分」
平常点 10 %、レポート 70 %、タッチタイピングのテスト 20 %
「評価基準」
平常点は授業の参加態度で評価します。また、4 回以上欠席した場合は成績の上限を B とします。6 回以上欠席した場合は成績を E とします。
レポートは内容および表現の適切さを評価します。
タッチタイピングのテストは入力する文字の量と正確さを評価します。

【学生の意見等からの気づき】
講義の時間が長く、実習の時間を増やしてほしいとの要望があったので、実習の時間をなるべく多くとるようにしたい。

【学生が準備すべき機器他】
情報実習室で各自 1 台のコンピュータを用いて授業を行う。

【その他の重要事項】
情報処理演習Ⅱは春学期の情報処理演習Ⅰとセットになる科目です。情報処理演習Ⅱを受講する方は必ず春学期の情報処理演習Ⅰを受講して下さい。

【Outline and objectives】
Objectives of this class are to acquire the ability to collect necessary information from various inforamation, and to process the collected information to original form, an to process them to other people. In Autumn, themes of this class are, word processing, spreadsheet, and presentation.

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

重定　如彦

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**2 単位**
法文営 1〜2 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業のテーマは、様々な情報の中から自分に必要な情報を取得し、自分なりの表現へと加工して発信する力を身につけることです。また、高校の科目「情報」の取り組みが学校によって異なるため、不足分を補充し、さらに情報科学の理論へと導いていきます。
　秋学期の情報処理演習 II では、情報処理演習 I で学んだ内容を元に文書作成、表計算ソフト、プレゼンテーションといった内容を学びます。

【到達目標】
情報のタイプに応じて様々な情報の表現形式（情報メディア）が存在する事を理解する。また、その上で文書作成、表計算、プレゼンテーションを用いた複合的な情報の受信、発信技術を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1

【授業の進め方と方法】
基本的に毎回の授業の前半に講義を行い、後半に一人一台のコンピュータを使った演習を行います。コンピュータを学ぶ上で、実際に手を動かすことは非常に重要です。授業では後半の演習の時間に様々な実習課題をこなすことで実践を通じて学びます。
授業は後述のテキストを使って行います。また、課題もテキストから出しますので、必ず購入して授業に持参して下さい。
資料の配布、アンケート、課題の提出などは学習支援システムや e ポートフォリオを使って行います。各回の授業の冒頭で、必要に応じてアンケートの中からいくつかを取り上げてコメントを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ワードプロセッサーその 1	テキストエディタとワードプロセッサの基本について学ぶ ワープロと、HTML による文章の構造化について学ぶ
第 2 回	ワードプロセッサーその 2	段落、タブ、ルーラー、文章の検索、置換、校正について学ぶ
第 3 回	ワードプロセッサーその 3	表紙、ヘッダーとフッター、表の挿入と編集について学ぶ
第 4 回	ワードプロセッサーその 4	図形、描画キャンバスの挿入と編集について学ぶ
第 5 回	ワードプロセッサーその 5	画像、SmartArt、スクリーンショットの挿入と編集について学ぶ レポートを作成する上で必要となる機能（目次、参考文献、脚注の挿入など）について学ぶ
第 6 回	表計算ソフトその 1	表計算ソフトウェアの概念、データの入力、セルの操作、データの種類と式、セルの修飾について学ぶ

第 7 回	表計算ソフトその 2	セルの表示形式、カットアンドペースト、オートフィルなどによるデータのコピー、式によるデータの計算、時系列データについて学ぶ
第 8 回	表計算ソフトその 3	式のコピーと相対参照、絶対参照、セルに名前を付ける方法、関数の基礎について学ぶ
第 9 回	表計算ソフトその 4	条件分岐について学び、条件分岐を使った応用例として実用的な表の作成方法について学ぶ
第 10 回	表計算ソフトその 5	グラフについて学ぶ
第 11 回	表計算ソフトその 6	データベース機能（並べ替え、検索、フィルター）、串刺し集計、Word への表やグラフの貼り付け、エラー表記について学ぶ
第 12 回	プレゼンテーション 1	プレゼンテーションとは何か、プレゼンテーションソフトの概念、スライド作成について学ぶ
第 13 回	プレゼンテーション 2	図形、画像、グラフなどの利用方法、画面切り替え効果について学ぶ
第 14 回	プレゼンテーション 3	アニメーション、スライドショー、発表練習、質疑応答について学ぶ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
各自授業の前後に教科書を使って予習、復習を行うこと。
また、課題が出されている場合は、締め切りに間に合うように課題を行い、学習支援システムに指示に従って提出すること。
なお、教科書にある、課題としなかった練習問題や章末問題も、余裕があれば行うことが望ましい。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
「実習情報リテラシ　第 3 版」　重定、河内谷　著　サイエンス社
第 2 版の「実習情報リテラシ」は内容が古く、大学のパソコンにインストールされている Windows 10 や Microsoft Office に対応していないので、間違えてそちらを購入しないように注意すること。

【参考書】
「キーワードで理解する最新情報リテラシー　第 2 版」久野、辰巳、佐藤　監修　日経 BP ソフトプレス
「実習 Word」　入戸野、重定、児玉、河内谷　著　サイエンス社

【成績評価の方法と基準】
「配分」
平常点 10 %、レポート 70 %、タッチタイピングのテスト 20 %
「評価基準」
平常点は授業の参加態度で評価します。また、4 回以上欠席した場合は成績の上限を B とします。6 回以上欠席した場合は成績を E とします。
レポートは内容および表現の適切さを評価します。
タッチタイピングのテストは入力する文字の量と正確さを評価します。

【学生の意見等からの気づき】
講義の時間が長く、実習の時間を増やしてほしいとの要望があったので、実習の時間をなるべく多くとるようにしたい。

【学生が準備すべき機器他】
情報実習室で各自 1 台のコンピュータを用いて授業を行う。

【その他の重要事項】
情報処理演習Ⅱは春学期の情報処理演習Ⅰとセットになる科目です。情報処理演習Ⅱを受講する方は必ず春学期の情報処理演習Ⅰを受講して下さい。

【Outline and objectives】
Objectives of this class are to acquire the ability to collect necessary information from various inforamation, and to process the collected information to original form, an to process them to other people. In Autumn, themes of this class are, word processing, spreadsheet, and presentation.

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

松田　裕幸

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**木** 1/Thu.1
単位数：**2 単位**
法文営 1〜2 年※定員制
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
プログラミング構造の基本を学び、自力でプログラミングが出来るまでを体験する。

【到達目標】
プログラムの基本構造は代入、条件判定、繰り返しの３つのみである。これら３つの操作をデータ構造（定数、配列）と組み合わせることでプログラミングの基本を理解する。最終的には、コンピュータと対戦するオセロゲーム作りを体験する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義と演習を併用して進めます。演習にはプログラミング言語 Python をクラウド環境 Google Colaboratory 上で使用して行います。
課題のフィードバックは授業中に行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	変数の概念	変数の概念
2	プログラムの基本構造 ー代入、条件分岐、繰り返し	代入、条件分岐、繰り返し。
3	配列 ー表操作	配列。
4	双六ゲーム ー内部表現	内部表現と表面 GUI と分離。
5	双六ゲーム ー GUI 設計	GUI 設計。
6	オセロゲーム ー 基本設計	問題の定義 [仕様]
7	オセロゲーム ー 配置問題	アルゴリズム。
8	オセロゲーム ー 置き換えアルゴリズム (1)	アルゴリズム。
9	オセロゲーム ー 置き換えアルゴリズム (2)	アルゴリズム。
10	オセロゲーム ー 勝敗決定アルゴリズム	アルゴリズム。
11	オセロゲーム ー コンピュータと対戦 アプローチ 1	対戦アルゴリズム。
12	オセロゲーム ー コンピュータと対戦 アプローチ 2	対戦アルゴリズム。
13	オセロゲーム ー コンピュータと対戦 アプローチ 3	対戦アルゴリズム。
14	プログラム評価	プログラム評価。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回の課題を通して、プログラム構造とプログラミング技術を復習する。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
なし。

【参考書】
すべてのテキストは授業支援のページに置かれる。

【成績評価の方法と基準】
14 個の短い課題の総合評価： 40%
最終課題の評価： 60%
全評価点を 100 点として、60 点以上を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】
無し。

【学生が準備すべき機器他】
無し。

【その他の重要事項】
講師は、自動プログラミング、コンピュータに人間の知識、特に自然言語を教える研究および仕事に従事している。

【Outline and objectives】
You will learn the basic structure of programs and write programs by yourself.

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

松田　裕幸

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：**2 単位**
法文営 1〜2 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
プログラミング構造の基本を学び、自力でプログラミングが出来るまでを体験する。

【到達目標】
プログラムの基本構造は代入、条件判定、繰り返しの３つのみである。これら３つの操作をデータ構造（定数、配列）と組み合わせることでプログラミングの基本を理解する。最終的には、コンピュータと対戦するオセロゲーム作りを体験する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義と演習を併用して進めます。演習にはプログラミング言語 Python をクラウド環境 Google Colaboratory 上で使用して行います。
課題のフィードバックは授業中に行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	変数の概念	変数の概念
2	プログラムの基本構造 ー代入、条件分岐、繰り返し	代入、条件分岐、繰り返し。
3	配列 ー表操作	配列。
4	双六ゲーム ー内部表現	内部表現と表面 GUI と分離。
5	双六ゲーム ー GUI 設計	GUI 設計。
6	オセロゲーム ー 基本設計	問題の定義 [仕様]
7	オセロゲーム ー 配置問題	アルゴリズム。
8	オセロゲーム ー 置き換えアルゴリズム (1)	アルゴリズム。
9	オセロゲーム ー 置き換えアルゴリズム (2)	アルゴリズム。
10	オセロゲーム ー 勝敗決定アルゴリズム	アルゴリズム。
11	オセロゲーム ー コンピュータと対戦 アプローチ 1	対戦アルゴリズム。
12	オセロゲーム ー コンピュータと対戦 アプローチ 2	対戦アルゴリズム。
13	オセロゲーム ー コンピュータと対戦 アプローチ 3	対戦アルゴリズム。
14	プログラム評価	プログラム評価。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回の課題を通して、プログラム構造とプログラミング技術を復習する。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
なし。

【参考書】
すべてのテキストは授業支援のページに置かれる。

【成績評価の方法と基準】
14 個の短い課題の総合評価： 40%
最終課題の評価： 60%
全評価点を 100 点として、60 点以上を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】
無し。

【学生が準備すべき機器他】
無し。

【その他の重要事項】
講師は、自動プログラミング、コンピュータに人間の知識、特に自然言語を教える研究および仕事に従事している。

【Outline and objectives】
You will learn the basic structure of programs and write programs by yourself.

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

河内谷　幸子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**2 単位**
法文営 1〜2 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
「情報処理演習 I」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことです。また、将来的に新種のソフトが普及しても積極的に取り組む姿勢を身につけることも目標とします。
Word，Excel，PowerPoint，パソコンの仕組みを学びます。
初心者でも Word や Excel の資格試験合格レベルまで上達できます。
当科目は、専門科目の情報科目と両方履修できます。両方履修すると相乗効果で上達が期待できます。

【到達目標】
他科目のレポート作成、ゼミの資料や卒論作成、社会に出てからの書類作成、などに役立つ実践的な内容の習得が到達目標です。
文書作成ソフト Word において、レポートや卒業論文の作成に必要な技術として、表紙付与、目次、脚注、引用文献、索引などの機能を習得します。また、共同作業に必要な技術として、履歴・コメント・パスワード付与などの機能を習得します。
表計算ソフト Excel において、条件処理、アンケート集計に便利なピボットテーブル、連続する操作を登録するマクロ機能などを習得します。
データベースソフト ACCESS の使い方を体験します。
プレゼンテーションソフト PowerPoint を利用して発表ができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1

【授業の進め方と方法】
この授業は秋学期科目ですが、履修するためには情報処理演習 I(春学期科目) と同じタイミングで 4 月上旬（春学期の授業開始前）の抽選に当選する必要があります。大学 HP の授業関連の項目を参照して抽選に申し込んで下さい。
基本的には対面授業ですが、数回 Zoom オンライン授業の日があります。学習支援システムに登録し、毎週授業の前日には必ず学習支援システムの「お知らせ」を読んで、対面かどうかを確認して下さい。特に初回授業の前日には学習支援システムの「お知らせ」が重要です。
対面授業では、ボアソナードタワー内にあるパソコン実習室で、毎回 1 人 1 台コンピュータを使って実習を行います。表計算ソフト、プレゼンテーションソフト、その他の応用ソフトの使い方などを実習します。また、コンピュータの知識や情報倫理や情報科学の理論についての考え方を深めます。
課題のフィードバックは学習支援システムに掲示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	春学期の復習 秋学期ガイダンス 情報倫理	春学期に学んだ文書作成と表計算の内容を復習する実習を行う。
2	文書作成 1	文書作成ソフト Word を使って、文字スタイル、高度な検索・置換、クイックパーツ、段組み、透かしなどの機能の実習を行う。

3	文書作成２	文書作成ソフト Word を使って、表紙付与、目次、脚注、引用文献、索引、差し込み印刷などの機能の実習を行う。
4	文書作成３	文書作成ソフト Word を使って、文章校正、変更履歴、コメント、テンプレート、ユーザの編集制限、パスワード付与、図番の付与、画像編集などの機能の実習を行う。
5	文書作成４	文書作成に関するこれまでのまとめ演習を行う。
6	データベースソフト	データベースソフト Access を使って、リレーショナルデータベースについて理論を学び、実習する。
7	コンピュータのしくみ IT 時事問題	コンピュータの基礎知識を学ぶ。また、ＩＴ時事問題を紹介し、それについて考え、まとめる。
8	表計算１	表計算ソフト Excel を利用して、条件処理を学ぶ。関数 IF、SUMIF、AVERAGEIF、COUNTIF などを使った実習を行う。また条件付き書式の実習を行う。
9	表計算２	アンケート処理を目的として、表計算ソフト Excel のピボットテーブル機能について実習する。また、効果的なグラフを書くことを目的として、Excel のグラフテンプレートについて実習する。
10	表計算３	EXCEL のマクロを入門体験する。
11	表計算４	表計算に関するこれまでのまとめ演習を行う。
12	文書作成と表計算の連携	Word の差し込み印刷機能と、Excel で作成した住所録を利用して、ラベル作成およびハガキ作成を実習する。
13	プレゼンテーションソフト 1	プレゼンテーションソフト PowerPoint の入力、デザイン、アニメーション、スライドショーなどについて実習する。
14	プレゼンテーションソフト 2	PowerPoint を使って発表資料を作成する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業中の指示に従って前回の授業の復習を行います。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
授業中に指示します。

【参考書】
実習 情報リテラシ [第３版]
著者：重定如彦・河内谷幸子 共著
出版：サイエンス社

【成績評価の方法と基準】
授業中の提出物 (80%) と平常点 (20%) で評価します。

【学生の意見等からの気づき】
一人一人の席をまわって個別にわからない点を指導する点に高い評価をいただきましたので、今年度も丁寧に個別指導をしていきたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】
オンライン授業の備えて、Word・Excel・PowerPoint・Zoom が使用できるパソコンを自宅に準備する。

【その他の重要事項】
コンピュータが苦手でも履修可能です。

この授業は秋学期科目ですが、履修するためには情報処理演習 I(春学期科目) と同じタイミングで４月上旬（春学期の授業開始前）の抽選に当選する必要があります。大学 HP の授業関連の項目を参照して抽選に申し込んで下さい。

【Outline and objectives】
This course targets students who completed the "Information Processing Exercise I" course or has equivalent basic skills. This course teaches various techniques to express your information better and helps you acquire the attitude to proactively study future new-type software. Advanced lectures of Word, Excel, PowerPoint, and PC internals are included in this course.

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

河内谷　幸子

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**木** 4/Thu.4
単位数：**2 単位**
法文営 1〜2 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
「情報処理演習 I」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことです。また、将来的に新種のソフトが普及しても積極的に取り組む姿勢を身につけることも目標とします。
Word，Excel，PowerPoint，パソコンの仕組みを学びます。
初心者でも Word や Excel の資格試験合格レベルまで上達できます。
当科目は、専門科目の情報科目と両方履修できます。両方履修すると相乗効果で上達が期待できます。

【到達目標】
他科目のレポート作成、ゼミの資料や卒論作成、社会に出てからの書類作成、などに役立つ実践的な内容の習得が到達目標です。
文書作成ソフト Word において、レポートや卒業論文の作成に必要な技術として、表紙付与、目次、脚注、引用文献、索引などの機能を習得します。また、共同作業に必要な技術として、履歴・コメント・パスワード付与などの機能を習得します。
表計算ソフト Excel において、条件処理、アンケート集計に便利なピボットテーブル、連続する操作を登録するマクロ機能などを習得します。
データベースソフト ACCESS の使い方を体験します。
プレゼンテーションソフト PowerPoint を利用して発表ができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1

【授業の進め方と方法】
この授業は秋学期科目ですが、履修するためには情報処理演習 I(春学期科目) と同じタイミングで 4 月上旬（春学期の授業開始前）の抽選に当選する必要があります。大学 HP の授業関連の項目を参照して抽選に申し込んで下さい。
基本的には対面授業ですが、数回 Zoom オンライン授業の日があります。学習支援システムに登録し、毎週授業の前日には必ず学習支援システムの「お知らせ」を読んで、対面かどうかを確認して下さい。特に初回授業の前日には学習支援システムの「お知らせ」が重要です。
対面授業では、ボアソナードタワー内にあるパソコン実習室で、毎回 1 人 1 台コンピュータを使って実習を行います。表計算ソフト、プレゼンテーションソフト、その他の応用ソフトの使い方などを実習します。また、コンピュータの知識や情報倫理や情報科学の理論についての考え方を深めます。
課題のフィードバックは学習支援システムに掲示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	春学期の復習 秋学期ガイダンス 情報倫理	春学期に学んだ文書作成と表計算の内容を復習する実習を行う。
2	文書作成 1	文書作成ソフト Word を使って、文字スタイル、高度な検索・置換、クイックパーツ、段組み、透かしなどの機能の実習を行う。
3	文書作成 2	文書作成ソフト Word を使って、表紙付与、目次、脚注、引用文献、索引、差し込み印刷などの機能の実習を行う。
4	文書作成 3	文書作成ソフト Word を使って、文章校正、変更履歴、コメント、テンプレート、ユーザの編集制限、パスワード付与、図番の付与、画像編集などの機能の実習を行う。
5	文書作成 4	文書作成に関するこれまでのまとめ演習を行う。
6	データベースソフト	データベースソフト Access を使って、リレーショナルデータベースについて理論を学び、実習する。
7	コンピュータのしくみ IT 時事問題	コンピュータの基礎知識を学ぶ。また、ＩＴ時事問題を紹介し、それについて考え、まとめる。
8	表計算 1	表計算ソフト Excel を利用して、条件処理を学ぶ。関数 IF、SUMIF、AVERAGEIF、COUNTIF などを使った実習を行う。また条件付き書式の実習を行う。
9	表計算 2	アンケート処理を目的として、表計算ソフト Excel のピボットテーブル機能について実習する。また、効果的なグラフを書くことを目的として、Excel のグラフテンプレートについて実習する。
10	表計算 3	EXCEL のマクロを入門体験する。
11	表計算 4	表計算に関するこれまでのまとめ演習を行う。
12	文書作成と表計算の連携	Word の差し込み印刷機能と、Excel で作成した住所録を利用して、ラベル作成およびハガキ作成を実習する。
13	プレゼンテーションソフト 1	プレゼンテーションソフト PowerPoint の入力、デザイン、アニメーション、スライドショーなどについて実習する。
14	プレゼンテーションソフト 2	PowerPoint を使って発表資料を作成する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業中の指示に従って前回の授業の復習を行います。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
授業中に指示します。

【参考書】
実習 情報リテラシ [第３版]
著者：重定如彦・河内谷幸子 共著
出版：サイエンス社

【成績評価の方法と基準】
授業中の提出物 (80%) と平常点 (20%) で評価します。

【学生の意見等からの気づき】
一人一人の席をまわって個別にわからない点を指導する点に高い評価をいただきましたので、今年度も丁寧に個別指導をしていきたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】
オンライン授業の備えて、Word・Excel・PowerPoint・Zoom が使用できるパソコンを自宅に準備する。

【その他の重要事項】
コンピュータが苦手でも履修可能です。

この授業は秋学期科目ですが、履修するためには情報処理演習 I(春学期科目) と同じタイミングで４月上旬（春学期の授業開始前）の抽選に当選する必要があります。大学 HP の授業関連の項目を参照して抽選に申し込んで下さい。

【Outline and objectives】
This course targets students who completed the "Information Processing Exercise I" course or has equivalent basic skills. This course teaches various techniques to express your information better and helps you acquire the attitude to proactively study future new-type software. Advanced lectures of Word, Excel, PowerPoint, and PC internals are included in this course.

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

久東　義典

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：**2 単位**
法文営 1〜2 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
現代社会はコンピュータ機能をもった機器がいたるところに存在している．このような機器をきちんと扱えることが生活する上でとても大事である．コンピュータ機能をもった機器の情報処理技術について，その考え方，基礎的な知識，利用事例，最新動向を解説する．主に Office 系のソフト（Word、Excel、PowerPoint）を利用するが，データベースや Web 関連の最新知識についても説明する．
この授業は、実践的な情報処理の知識と技術をマスターすることを目的にする．

【到達目標】
現代社会にかかわる情報技術に関する知識を，基本から実践まで体系的に身につけることができる．
Office365 と Google 系の office アプリを実践的に利用できる．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1

【授業の進め方と方法】
基本の知識については講義と演習で進め，必要に応じてコンピュータを用いた実習を行う．課題のフィードバックは授業中に行う．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業を進めるにあたって，諸注意をします． （1）ルールとマナーの理解 （2）ツールとメールの利用の理解 （3）デジタル資料作成（Excel・Word・PowerPoint の基本操作とファイル保存）の理解
2	集計表の入ったデジタル資料作成	いろいろなデータを使って，「集計する」ことを学習します．以下の項目について理解します． （1）Excel の基本操作（前回の復習） （2）集計表の作法の理解 （3）データと式 （4）合計関数と相対参照 （5）相対参照と絶対参照 （6）Word の基本操作（前回の復習） （7）Excel の表のコピー （8）Word で作表 （9）行間・列間調整 （１０）表をオブジェクトとして扱う （１１）PowerPoint の基本操作（前回の復習） （１２）PowerPoint で作表 （１３）それぞれのソフトウェアの作表しやすさを比較

3	データの集約	「目的をもって，分かり易く集約する」ことを学習します．以下の項目について理解します． （1）Excel の基本操作（前回の復習） （2）シートとブック （3）平均，標準偏差，度数分布関数 （4）ピボット
4	Excel・Word・PowerPoint を使ったグラフの展開	「目的をもって，分かり易く表現する」ことを学習します．以下の項目について理解します．
5	Excel のデータベース機能	「たくさんのデータを分類・整理する方法」を学習します．以下の項目について理解します． （1）実体とデータ （2）並べ替えとフィルタ （3）データベース関数 （4）いろいろな形式のファイル保存
6	サイコロの模擬	Excel を使って，1から6の目をもつサイコロをシミュレート（模擬）し，無作為なこと（サイコロで言えば 1 から 6 まで同じ確率で目がでること）について学習します．テレビゲームの原理を学ぶことにもなります．余裕のある学生は，じゃんけんゲームを作ってみましょう． （1）無作為な数の表示（乱数の発生） （2）サイコロ関数の作成（ユーザー定義関数） （3）サイコロ・シミュレーション作ったサイコロを 6 回，60 回，600 回ふった時の出る目の回数を表にする．参考までに作ったサイコロを 10 回，100 回，1000 回ふった時の出る目の回数を表にする． （4）サイコロ評価 確率（1/6）とかけ離れていないか評価する（第2回から第5回まで学習内容の復習）．
7	データの分布	Excel を使って，無作為なデータから分布のある（正規分布）データを作る過程を視覚的に理解します． （1）体重を表している無作為なデータを作り，表やグラフにする． （2）そのデータを 10 個ずつ平均して，その平均値を表やグラフにする． （3）平均値からの範囲を指定するとその範囲に何個のデータが入るか調べる． （4）このデータから範囲を指定すると起こる得る可能性を割合で計算できることを理解する．
8	アンケート調査	授業内でアンケート調査を実施して統計処理（仮説を検定）するまでの過程を学習します． （1）出る目にかたよりがない正しいサイコロか否かを判定する．（第6回と第7回の復習） （2）上記の考え方を受けて，性別による飲み物の嗜好の違いをアンケート調査し，集計した結果をもとに嗜好の違いがあるかないかを判定する．
9	インターネットを利用した情報収集と資料作成	インターネットを利用して，情報を収集しデジタル資料を作成することを学習します． （1）青空文庫と著作権についてデータ収集する． （2）数字でみる日本と題してデータを収集する． （3）Word や Excel を使って収集した画像データや表データを整理する．
10	発表資料（レジメ）の作成	Word を使って，発表資料を作成します． （1）発表資料（レジメ）の作法を理解する． （2）段組を理解する． （3）ページ区切りを理解する． （4）図や表の挿入を理解する． （5）レイアウトを理解する． （6）参考文献等の書き方を理解する． （7）特殊な式や記号の書き方（挿入の仕方）を理解する．
11	コンピュータを使った発表1 題目「データベースとは」	PowerPoint を使ったスライド作成を学習します． 次の内容をよく理解して，各自で「データベース」を説明するスライドを作成します． （1）データベースシステムの例を理解する． （2）データベースシステムには，データの独立性，データの完全性，データの安全性の特性があることを理解する． （3）データベースのデータを表す単位（レコード）を理解する． （4）レコード間の関係を表す代表的な表現，階層的表現，網的表現，関係的表現を理解する． （5）関係的表現の操作，合併，共通部分，差，直積を理解する．
12	コンピュータを使った発表2 題目「データベース記述」	PowerPoint を使ったスライドに動きを付けることを学習します． 次の内容をよく理解して，各自で「データベース記述」を説明するスライドを作成します． （1）SQL を理解する． （2）SQL の基本構文を理解する． （3）条件検索を理解する． （4）並べ替えを理解する． （5）結合を理解する．
13	コンピュータを使った発表3 題目「データベースと正規化」	発表に関する PowerPoin の便利な機能を学習します． 次の内容をよく理解して，各自で「データベースと正規化」を説明するスライドを作成します． （1）ふだんよく見る領収書やレシートは複雑な構造をした表であることを理解する． （2）複雑な構造の表を単純な構造の表にする過程を第一正規形，第二正規形，第三正規形を使って理解する．
14	まとめ オフィス系ソフトの連携	インターネットを使ってオフィス系ソフトの連携を「まとめ」として学修します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします．

以下に紹介するホームページをよく読んで，話題になったソフトウェアの使い方を復習しておく課題が出されます．授業時間内で完了できない場合は，次の授業開始前に指示に従って課題提出することになります．
< 授業で紹介するホームページの URL >
情報技術の基礎（知識定着ための教材）
lect-ip.cocolog-nifty.com
情報処理の実践（Excel・Word・PowerPoint を使った課題提出のための教材）
pract-ip.cocolog-nifty.com

【テキスト（教科書）】
実習　情報リテラシ [第３版]』重定　如彦・河内谷　幸子（共著）
サイエンス社 ISBN:978-4-7819-1469-5
情報処理演習Ⅰと情報処理演習Ⅱは、同じテキスト（教科書）を使用.

【参考書】
講義中に紹介するホームページなど使って指示します.

【成績評価の方法と基準】
平常点（受講態度ならびに授業内提出課題の成果）５０％
レポート課題３０％
小テスト２０％

【学生の意見等からの気づき】
授業中に指示されたホームページをよく読んで，授業外で行う学習活動を必ず遂行してください.

【学生が準備すべき機器他】
Windows10 が利用できる PC を準備してください.
Zoom を利用します.

【その他の重要事項】
授業に関する質問は、授業終了時に必ず声をかけてください.
内容（例えばインストール等）によっては、少人数でグループ授業を別枠で実施することもあります.

【Outline and objectives】
The purpose of this course is to help students master the advance information and Communication Technology. It starts with the twin themes of internet society, public and private, then students learn and understand how to practically use all of the mandatory applications while the problem solving. Upon successfully completion of the course, students should be able to understand the practical methods and concepts of information science.

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

久東　義典

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**2 単位**
法文営 1〜2 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
現代社会はコンピュータ機能をもった機器がいたるところに存在している．このような機器をきちんと扱えることが生活する上でとても大事である．コンピュータ機能をもった機器の情報処理技術について，その考え方，基礎的な知識，利用事例，最新動向を解説する．主に Office 系のソフト（Word、Excel、PowerPoint）を利用するが，データベースや Web 関連の最新知識についても説明する．
この授業は、実践的な情報処理の知識と技術をマスターすることを目的にする.

【到達目標】
現代社会にかかわる情報技術に関する知識を，基本から実践まで体系的に身につけることができる.
Windows10 と，Office365 と Google 系の office アプリを実践的に利用できる.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1

【授業の進め方と方法】
基本の知識については講義と演習で進め，必要に応じてコンピュータを用いた実習を行う．課題のフィードバックは授業中に行う.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業を進めるにあたって，諸注意をします. （1）ルールとマナーの理解 （2）ツールとメールの利用の理解 （3）デジタル資料作成（Excel・Word・PowerPoint の基本操作とファイル保存）の理解

2	集計表の入ったデジタル資料作成	いろいろなデータを使って，「集計する」ことを学習します．以下の項目について理解します． （1）Excel の基本操作（前回の復習） （2）集計表の作法の理解 （3）データと式 （4）合計関数と相対参照 （5）相対参照と絶対参照 （6）Word の基本操作（前回の復習） （7）Excel の表のコピー （8）Word で作表 （9）行間・列間調整 （１０）表をオブジェクトとして扱う （１１）PowerPoint の基本操作（前回の復習） （１２）PowerPoint で作表 （１３）それぞれのソフトウェアの作表しやすさを比較
3	データの集約	「目的をもって，分かり易く集約する」ことを学習します．以下の項目について理解します． （1）Excel の基本操作（前回の復習） （2）シートとブック （3）平均，標準偏差，度数分布関数 （4）ピボット
4	Excel・Word・PowerPoint を使ったグラフの展開	「目的をもって，分かり易く表現する」ことを学習します．以下の項目について理解します．
5	Excel のデータベース機能	「たくさんのデータを分類・整理する方法」を学習します．以下の項目について理解します． （1）実体とデータ （2）並べ替えとフィルタ （3）データベース関数 （4）いろいろな形式のファイル保存
6	サイコロの模擬	Excel を使って，１から６の目をもつサイコロをシミュレート（模擬）し，無作為なこと（サイコロで言えば 1 から 6 まで同じ確率で目がでること）について学習します．テレビゲームの原理を学ぶことにもなります．余裕のある学生は，じゃんけんゲームを作ってみましょう． （1）無作為な数の表示（乱数の発生） （2）サイコロ関数の作成（ユーザー定義関数） （3）サイコロ・シミュレーション作ったサイコロを 6 回，60 回，600 回ふった時の出る目の回数を表にする．参考までに作ったサイコロを 10 回，100 回，1000 回ふった時の出る目の回数を表にする． （4）サイコロ評価 確率（1/6）とかけ離れていないか評価する（第２回から第５回まで学習内容の復習）．
7	データの分布	Excel を使って，無作為なデータから分布のある（正規分布）データを作る過程を視覚的に理解します． （1）体重を表している無作為なデータを作り，表やグラフにする． （2）そのデータを 10 個ずつ平均して，その平均値を表やグラフにする． （3）平均値からの範囲を指定するとその範囲に何個のデータが入るか調べる． （4）このデータから範囲を指定すると起こる得る可能性を割合で計算できることを理解する．
8	アンケート調査	授業内でアンケート調査を実施して統計処理（仮説を検定）するまでの過程を学習します． （1）出る目にかたよりがない正しいサイコロか否かを判定する．（第６回と第７回の復習） （2）上記の考え方を受けて，性別による飲み物の嗜好の違いをアンケート調査し，集計した結果をもとに嗜好の違いがあるかないかを判定する．
9	インターネットを利用した情報収集と資料作成	インターネットを利用して，情報を収集しデジタル資料を作成することを学習します． （1）青空文庫と著作権についてデータ収集する． （2）数字でみる日本と題してデータを収集する． （3）Word や Excel を使って収集した画像データや表データを整理する．
10	発表資料（レジメ）の作成	Word を使って，発表資料を作成します． （1）発表資料（レジメ）の作法を理解する． （2）段組を理解する． （3）ページ区切りを理解する． （4）図や表の挿入を理解する． （5）レイアウトを理解する． （6）参考文献等の書き方を理解する． （7）特殊な式や記号の書き方（挿入の仕方）を理解する．
11	コンピュータを使った発表１ 題目「データベースとは」	PowerPoint を使ったスライド作成を学習します． 次の内容をよく理解して，各自で「データベース」を説明するスライドを作成します． （1）データベースシステムの例を理解する． （2）データベースシステムには，データの独立性，データの完全性，データの安全性の特性があることを理解する． （3）データベースのデータを表す単位（レコード）を理解する． （4）レコード間の関係を表す代表的な表現，階層的表現，網的表現，関係的表現を理解する． （5）関係的表現の操作，合併，共通部分，差，直積を理解する．

12	コンピュータを使った発表２ 題目「データベース記述」	PowerPoint を使ったスライドに動きを付けることを学習します. 次の内容をよく理解して，各自で「データベース記述」を説明するスライドを作成します. （１）SQL を理解する. （２）SQL の基本構文を理解する. （３）条件検索を理解する. （４）並べ替えを理解する. （５）結合を理解する.
13	コンピュータを使った発表３ 題目「データベースと正規化」	発表に関する PowerPoin の便利な機能を学習します. 次の内容をよく理解して，各自で「データベースと正規化」を説明するスライドを作成します. （１）ふだんよく見る領収書やレシートは複雑な構造をした表であることを理解する. （２）複雑な構造の表を単純な構造の表にする過程を第一正規形，第二正規形，第三正規形を使って理解する.
14	まとめ オフィス系ソフトの連携	インターネットを使ってオフィス系ソフトの連携を「まとめ」として学修します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします.
以下に紹介するホームページをよく読んで，話題になったソフトウェアの使い方を復習しておく課題が出されます．授業時間内で完了できない場合は，次の授業開始前に指示に従って課題提出することになります.
< 授業で紹介するホームページの URL >
情報技術の基礎（知識定着ための教材）
lect-ip.cocolog-nifty.com
情報処理の実践（Excel・Word・PowerPoint を使った課題提出のための教材）
pract-ip.cocolog-nifty.com

【テキスト（教科書）】
実習　情報リテラシ [第３版]』重定　如彦・河内谷　幸子（共著）
サイエンス社 ISBN:978-4-7819-1469-5
情報処理演習Ｉと情報処理演習Ⅱは、同じテキスト（教科書）を使用.

【参考書】
講義中に紹介するホームページなど使って指示します.

【成績評価の方法と基準】
平常点（受講態度ならびに授業内提出課題の成果）５０％
レポート課題３０％
小テスト２０％

【学生の意見等からの気づき】
授業中に指示されたホームページをよく読んで，授業外で行う学習活動を必ず遂行してください.

【学生が準備すべき機器他】
Windows10 が利用できる PC を準備してください.
Zoom を利用します.

【その他の重要事項】
授業に関する質問は、授業終了時に必ず声をかけてください.
内容（例えばインストール等）によっては、少人数でグループ授業を別枠で実施することもあります.

【Outline and objectives】
The purpose of this course is to help students master the advance information and Communication Technology. It starts with the twin themes of internet society, public and private, then students learn and understand how to practically use all of the mandatory applications while the problem solving. Upon successfully completion of the course, students should be able to understand the practical methods and concepts of information science.

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

名児耶　厚

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 1/Fri.1
単位数：**2 単位**
法文営 1〜2 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
大学での学習や社会の様々な分野で必要とされる情報利活用のため、現代社会にて必要となる ICT 関連や情報リテラシーのより広いスキル・知識の習得を目指します。演習を中心に、情報リテラシーやその活用、集計・データ処理について習得していきます。

【到達目標】
事務作業などを想定した一般的な情報系知識・スキルを習得し、活用できる。応用的な文書作成・調査・集計・管理などにて必要となる基盤的な技術を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1

【授業の進め方と方法】
演習を中心に講義・関連説明を交えて進め、結果や成果物を提出していく形式となります。授業内の演習も提出物に含め、授業への参加自体も提出物にもつながるようにします。提出や解答例の解説等のフィードバックは学習支援システムを通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	説明と確認	授業の説明、準備、機材の確認
第 2 回	確認と復習	これまでの確認と復習
第 3 回	表計算の応用例	一利用例としての統計分析
第 4 回	書類の構成・構造	総合的な書類作成・応用
第 5 回	グラフや図表の利用	表計算の利用例、集計資料作成
第 6 回	Web ページ作成基礎	Web の基本と作成実習
第 7 回	文書作成総合	書式に従った文書の作成
第 8 回	Web ページ応用知識	Web サイト作成と情報発信
第 9 回	検索とデータ取込	表からの検索、外部データ利用
第 10 回	複雑な文書の作成	集計・計算等を含む文書の作成
第 11 回	条件分岐と判定	条件判断、結果の更新と変更
第 12 回	情報の蓄積と管理	データベースの基礎と体験
第 13 回	情報処理と文書管理	情報や文書の逐次・自動処理
第 14 回	まとめ・総合演習	これまでの知識に基づく総合演習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
学習内容の多くが連続しているため、過去の内容を把握・理解しておくことが必要です。授業内演習と共に課題も行い、授業時に不十分と感じた項目の復習をしてください。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
実習 情報リテラシ [第 3 版]、重定 如彦・河内谷 幸子、サイエンス社、￥1,950＋税。
実習室の環境と合わせるため、詳細は初回授業で説明します。

【参考書】
基礎的な情報リテラシー系の書籍や同類授業での教科書が広く該当します。

【成績評価の方法と基準】
各回・単元ごとに設定する課題（40%）、授業内演習と平常点（60%）。提出物が授業内での演習と課題を兼ねる形となり、内容を元に到達目標への達成状況を判断します。

【学生の意見等からの気づき】
皆に理解してもらえるように丁寧な説明を心がけつつ、環境の違いや進捗が合わないと感じる人に気づけるように機会を設けます。

【学生が準備すべき機器他】
情報実習室で行う授業です。情報機器（PC）を使用し、配布・提出に学習支援システムを使います。

【その他の重要事項】
この科目は春学期・秋学期を通じて履修することを勧めます。

【Outline and objectives】
In the recent years, ICT and related technologies have become essential to our life. The objective is to improve skills and knowledge of ICT. This lesson will focus on practical training.

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

名児耶　厚

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：2 **単位**
法文営 1〜2 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
大学での学習や社会の様々な分野で必要とされる情報利活用のため、現代社会にて必要となる ICT 関連や情報リテラシーのより広いスキル・知識の習得を目指します。演習を中心に、情報リテラシーやその活用、集計・データ処理について習得していきます。

【到達目標】
事務作業などを想定した一般的な情報系知識・スキルを習得し、活用できる。応用的な文書作成・調査・集計・管理などにて必要となる基盤的な技術を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1

【授業の進め方と方法】
演習を中心に講義・関連説明を交えて進め、結果や成果物を提出していく形式となります。授業内の演習も提出物に含め、授業への参加自体も提出物にもつながるようにします。提出や解答例の解説等のフィードバックは学習支援システムを通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	説明と確認	授業の説明、準備、機材の確認
第 2 回	確認と復習	これまでの確認と復習
第 3 回	表計算の応用例	一利用例としての統計分析
第 4 回	書類の構成・構造	総合的な書類作成・応用
第 5 回	グラフや図表の利用	表計算の利用例、集計資料作成
第 6 回	Web ページ作成基礎	Web の基本と作成実習
第 7 回	文書作成総合	書式に従った文書の作成
第 8 回	Web ページ応用知識	Web サイト作成と情報発信
第 9 回	検索とデータ取込	表からの検索、外部データ利用
第 10 回	複雑な文書の作成	集計・計算等を含む文書の作成
第 11 回	条件分岐と判定	条件判断、結果の更新と変更
第 12 回	情報の蓄積と管理	データベースの基礎と体験
第 13 回	情報処理と文書管理	情報や文書の逐次・自動処理
第 14 回	まとめ・総合演習	これまでの知識に基づく総合演習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
学習内容の多くが連続しているため、過去の内容を把握・理解しておくことが必要です。授業内演習と共に課題も行い、授業時に不十分と感じた項目の復習をしてください。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
実習 情報リテラシ [第 3 版]、重定 如彦・河内谷 幸子、サイエンス社、￥1,950 ＋税。
実習室の環境と合わせるため、詳細は初回授業で説明します。

【参考書】
基礎的な情報リテラシー系の書籍や同類授業での教科書が広く該当します。

【成績評価の方法と基準】
各回・単元ごとに設定する課題（40%）、授業内演習と平常点（60%）。提出物が授業内での演習と課題を兼ねる形となり、内容を元に到達目標への達成状況を判断します。

【学生の意見等からの気づき】
皆に理解してもらえるように丁寧な説明を心がけつつ、環境の違いや進捗が合わないと感じる人に気づけるように機会を設けます。

【学生が準備すべき機器他】
情報実習室で行う授業です。情報機器（PC）を使用し、配布・提出に学習支援システムを使います。

【その他の重要事項】
この科目は春学期・秋学期を通じて履修することを勧めます。

【Outline and objectives】
In the recent years, ICT and related technologies have become essential to our life. The objective is to improve skills and knowledge of ICT. This lesson will focus on practical training.

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

名児耶　厚

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：2 **単位**
法文営 1〜2 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
大学での学習や社会の様々な分野で必要とされる情報利活用のため、現代社会にて必要となる ICT 関連や情報リテラシーのより広いスキル・知識の習得を目指します。演習を中心に、情報リテラシーやその活用、集計・データ処理について習得していきます。

【到達目標】
事務作業などを想定した一般的な情報系知識・スキルを習得し、活用できる。応用的な文書作成・調査・集計・管理などにて必要となる基盤的な技術を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1

【授業の進め方と方法】
演習を中心に講義・関連説明を交えて進め、結果や成果物を提出していく形式となります。授業内の演習も提出物に含め、授業への参加自体も提出物にもつながるようにします。提出や解答例の解説等のフィードバックは学習支援システムを通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	説明と確認	授業の説明、準備、機材の確認
第 2 回	確認と復習	これまでの確認と復習
第 3 回	表計算の応用例	一利用例としての統計分析
第 4 回	書類の構成・構造	総合的な書類作成・応用
第 5 回	グラフや図表の利用	表計算の利用例、集計資料作成
第 6 回	Web ページ作成基礎	Web の基本と作成実習
第 7 回	文書作成総合	書式に従った文書の作成
第 8 回	Web ページ応用知識	Web サイト作成と情報発信
第 9 回	検索とデータ取込	表からの検索、外部データ利用
第 10 回	複雑な文書の作成	集計・計算等を含む文書の作成
第 11 回	条件分岐と判定	条件判断、結果の更新と変更
第 12 回	情報の蓄積と管理	データベースの基礎と体験
第 13 回	情報処理と文書管理	情報や文書の逐次・自動処理
第 14 回	まとめ・総合演習	これまでの知識に基づく総合演習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
学習内容の多くが連続しているため、過去の内容を把握・理解しておくことが必要です。授業内演習と共に課題も行い、授業時に不十分と感じた項目の復習をしてください。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
実習 情報リテラシ [第 3 版]、重定 如彦・河内谷 幸子、サイエンス社、￥1,950 ＋税。
実習室の環境と合わせるため、詳細は初回授業で説明します。

【参考書】
基礎的な情報リテラシー系の書籍や同類授業での教科書が広く該当します。

【成績評価の方法と基準】
各回・単元ごとに設定する課題（40%）、授業内演習と平常点（60%）。提出物が授業内での演習と課題を兼ねる形となり、内容を元に到達目標への達成状況を判断します。

【学生の意見等からの気づき】
皆に理解してもらえるように丁寧な説明を心がけつつ、環境の違いや進捗が合わないと感じる人に気づけるように機会を設けます。

【学生が準備すべき機器他】
情報実習室で行う授業です。情報機器（PC）を使用し、配布・提出に学習支援システムを使います。

【その他の重要事項】
この科目は春学期・秋学期を通じて履修することを勧めます。

【Outline and objectives】
In the recent years, ICT and related technologies have become essential to our life. The objective is to improve skills and knowledge of ICT. This lesson will focus on practical training.

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

名児耶　厚

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**2 単位**
法文営 1〜2 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
大学での学習や社会の様々な分野で必要とされる情報利活用のため、現代社会にて必要となる ICT 関連や情報リテラシーのより広いスキル・知識の習得を目指します。演習を中心に、情報リテラシーやその活用、集計・データ処理について習得していきます。

【到達目標】
事務作業などを想定した一般的な情報系知識・スキルを習得し、活用できる。応用的な文書作成・調査・集計・管理などにて必要となる基盤的な技術を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1

【授業の進め方と方法】
演習を中心に講義・関連説明を交えて進め、結果や成果物を提出していく形式となります。授業内の演習も提出物に含め、授業への参加自体も提出物にもつながるようにします。提出や解答例の解説等のフィードバックは学習支援システムを通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	説明と確認	授業の説明、準備、機材の確認
第 2 回	確認と復習	これまでの確認と復習
第 3 回	表計算の応用例	一利用例としての統計分析
第 4 回	書類の構成・構造	総合的な書類作成・応用
第 5 回	グラフや図表の利用	表計算の利用例、集計資料作成
第 6 回	Web ページ作成基礎	Web の基本と作成実習
第 7 回	文書作成総合	書式に従った文書の作成
第 8 回	Web ページ応用知識	Web サイト作成と情報発信
第 9 回	検索とデータ取込	表からの検索、外部データ利用
第 10 回	複雑な文書の作成	集計・計算等を含む文書の作成
第 11 回	条件分岐と判定	条件判断、結果の更新と変更
第 12 回	情報の蓄積と管理	データベースの基礎と体験
第 13 回	情報処理と文書管理	情報や文書の逐次・自動処理
第 14 回	まとめ・総合演習	これまでの知識に基づく総合演習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
学習内容の多くが連続しているため、過去の内容を把握・理解しておくことが必要です。授業内演習と共に課題も行い、授業時に不十分と感じた項目の復習をしてください。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
実習 情報リテラシ [第 3 版]、重定 如彦・河内谷 幸子、サイエンス社、￥1,950 ＋税。
実習室の環境と合わせるため、詳細は初回授業で説明します。

【参考書】
基礎的な情報リテラシー系の書籍や同類授業での教科書が広く該当します。

【成績評価の方法と基準】
各回・単元ごとに設定する課題（40%）、授業内演習と平常点（60%）。提出物が授業内での演習と課題を兼ねる形となり、内容を元に到達目標への達成状況を判断します。

【学生の意見等からの気づき】
皆に理解してもらえるように丁寧な説明を心がけつつ、環境の違いや進捗が合わないと感じる人に気づけるように機会を設けます。

【学生が準備すべき機器他】
情報実習室で行う授業です。情報機器（PC）を使用し、配布・提出に学習支援システムを使います。

【その他の重要事項】
この科目は春学期・秋学期を通じて履修することを勧めます。

【Outline and objectives】
In the recent years, ICT and related technologies have become essential to our life. The objective is to improve skills and knowledge of ICT. This lesson will focus on practical training.

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

星　善光

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**2 単位**
法文営 1〜2 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
情報処理演習Ⅰに引き続き、様々なソフトウェアや情報機器を効果的に利用できるように、身の回りに溢れる「情報」を取り扱うために必要な基礎力を習得することを目的とする。

【到達目標】
一般的な表計算ソフトウェアである Microsoft Excel を使うことができる。HTML、PHP、HTML5 を用いた Web ページを作成することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1

【授業の進め方と方法】
情報処理演習Ⅰと同様に、授業と実習の組み合わせで進めていきます。パソコンを使用した実習を行います。表計算や様々なアプリケーションソフトウェアを利用します。また、ホームページの作成、簡単なプログラム作成も行います。課題のフィードバックは授業中に行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	Microsoft Excel の基礎	Microsoft Excel の基礎について学ぶ。
第 2 回	計算式・関数・書式	Microsoft Excel の計算式や関数、書式等について学ぶ。
第 3 回	ページレイアウト・データツール	Microsoft Excel のページレイアウトやデータツールについて学ぶ。
第 4 回	課題発表会	情報処理演習Ⅰで作成したプレゼンテーション資料を用いて発表する。
第 5 回	グラフ	Microsoft Excel のグラフ作成機能を学ぶ。
第 6 回	外部データの処理	Microsoft Excel を用いて外部データの処理を行う方法を学ぶ。
第 7 回	課題④	Microsoft Excel を活用する課題に取り組む。
第 8 回	アプリケーションソフトウェア②	パソコンで利用する様々なアプリケーションソフトウェアについて学ぶ。
第 9 回	コンピュータネットワークの基礎	コンピュータネットワークに関する基礎知識を学ぶ。
第 10 回	コンピュータセキュリティの基礎	コンピュータセキュリティに関する基礎知識を学ぶ。
第 11 回	HTML の基礎	HTML を用いたホームページ作成の基礎を学ぶ。
第 12 回	PHP の基礎	HTML 自動生成に役立つ PHP 言語についての基礎を学ぶ。
第 13 回	HTML5	HTML5 を用いたホームページ作成方法の基礎を学ぶ。

第 14 回　まとめ	講義内容をまとめる。コンピュータの将来展望や問題について学ぶ。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
第１回の授業の前に、ログインＩＤとパスワードを確認しておくこと。宿題を出すことがあります。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
教科書は使用しません。

【参考書】
適時指示します。必要に応じてプリントを配布します。また、ホームページでパワーポイント資料を閲覧できます。
（参考情報 http://hoshilab.net/ ）

【成績評価の方法と基準】
課題（80%）、平常点（20%）として評価します。課題に積極的に取り組み、提出して下さい。

【学生の意見等からの気づき】
可能な限り多くの基礎的な課題を用意し、楽しみながら授業を進められるようにしていきます。

【学生が準備すべき機器他】
演習室のパソコンを利用します。

【Outline and objectives】
You learn how to use various application software including Microsoft Excel, various information devices effectively.You learn about web development related languages such as HTML, HTML5, PHP and laern about network structure too.

PRI200LA

情報処理演習Ⅱ

2017 年度以降入学者

星　善光

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**2 単位**
法文営 1〜2 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
情報処理演習Ｉに引き続き、様々なソフトウェアや情報機器を効果的に利用できるように、身の回りに溢れる「情報」を取り扱うために必要な基礎力を習得することを目的とする。

【到達目標】
一般的な表計算ソフトウェアである Microsoft Excel を使うことができる。HTML、PHP、HTML5 を用いた Web ページを作成することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1

【授業の進め方と方法】
情報処理演習Ｉと同様に、授業と実習の組み合わせで進めていきます。パソコンを使用した実習を行います。表計算や様々なアプリケーションソフトウェアを利用します。また、ホームページの作成、簡単なプログラム作成も行います。課題のフィードバックは授業中に行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	Microsoft Excel の基礎	Microsoft Excel の基礎について学ぶ。
第 2 回	計算式・関数・書式	Microsoft Excel の計算式や関数、書式等について学ぶ。
第 3 回	ページレイアウト・データツール	Microsoft Excel のページレイアウトやデータツールについて学ぶ。
第 4 回	課題発表会	情報処理演習Ｉで作成したプレゼンテーション資料を用いて発表する。
第 5 回	グラフ	Microsoft Excel のグラフ作成機能を学ぶ。
第 6 回	外部データの処理	Microsoft Excel を用いて外部データの処理を行う方法を学ぶ。
第 7 回	課題④	Microsoft Excel を活用する課題に取り組む。
第 8 回	アプリケーションソフトウェア②	パソコンで利用する様々なアプリケーションソフトウェアについて学ぶ。
第 9 回	コンピュータネットワークの基礎	コンピュータネットワークに関する基礎知識を学ぶ。
第 10 回	コンピュータセキュリティの基礎	コンピュータセキュリティに関する基礎知識を学ぶ。
第 11 回	HTML の基礎	HTML を用いたホームページ作成の基礎を学ぶ。
第 12 回	PHP の基礎	HTML 自動生成に役立つ PHP 言語についての基礎を学ぶ。
第 13 回	HTML5	HTML5 を用いたホームページ作成方法の基礎を学ぶ。

第 14 回　まとめ	講義内容をまとめる。コンピュータの将来展望や問題について学ぶ。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
第１回の授業の前に、ログインＩＤとパスワードを確認しておくこと。宿題を出すことがあります。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
教科書は使用しません。

【参考書】
適時指示します。必要に応じてプリントを配布します。また、ホームページでパワーポイント資料を閲覧できます。
（参考情報 http://hoshilab.net/ ）

【成績評価の方法と基準】
課題（80%）、平常点（20%）として評価します。課題に積極的に取り組み、提出して下さい。

【学生の意見等からの気づき】
可能な限り多くの基礎的な課題を用意し、楽しみながら授業を進められるようにしていきます。

【学生が準備すべき機器他】
演習室のパソコンを利用します。

【Outline and objectives】
You learn how to use various application software including Microsoft Excel, various information devices effectively.You learn about web development related languages such as HTML, HTML5, PHP and laern about network structure too.

IDN200LA

法政学の探究ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

古俣　達郎

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**火 4**/Tue.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キＧ 1 年～
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では、「学生（法政大学の学生＝法大生）」の歴史と文化に焦点をあてます。法政大学で学生生活を過ごすなか、ふと疑問に思ったことや関心を抱いたことを日本近現代史、大学史などの学問的な観点から検証します。具体的なテーマとして、体育会・文化系団体・サークルの由来、自主法政祭の歴史、留学生の変遷、法政大学におけるジェンダー、そして、外濠・神楽坂を中心とした周辺地域の特徴などを挙げることができます。法政大学の歴史を通して、日本の近現代や日本の大学のあり方を捉え直す機会となるでしょう。
また、2020 年度に開設された HOSEI ミュージアムの展示コンテンツやデジタルアーカイブをはじめ、映像資料なども活用し、様々な資料から「法政学」を探究します。

【到達目標】
1. 法政大学の歴史はもちろんのこと、日本近現代史や大学の歴史に関する基礎的な知識を得ることができます。
2. 身近なテーマを学問的な「問い」へと発展させる視野を養います。
3. 調査研究の前提となるテーマ設定の具体化や各種資料の調査方法・読解方法について学ぶことができます。
4. 演習形式が中心となるため、各学部の専門ゼミ履修への準備になります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業計画に則り、講義形式と演習形式を組み合わせて進行します。第 4 回では HOSEI ミュージアムで見学調査を行い、第 7・14 回では上映された映像について議論を行います。なお、受講生は授業内で報告（1 回）を行う必要があります。報告（発表）や質問、リアクションペーパー等に対するフィードバックは授業中に行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	導入	本授業の目標、スケジュール等を説明します。
第 2 回	法政大学の歴史－東京法学社創立から大学昇格まで－	法律学校時代の法政大学の歴史を主に「学生」の観点から振り返ります。
第 3 回	法政大学の歴史－大学昇格から現在まで－	大学昇格後の法政大学の歴史を主に「学生」の観点から振り返ります。
第 4 回	HOSEI ミュージアムでの学び	HOSEI ミュージアムを訪問し、展示内容から法政大学に関わる様々なテーマについて知見を得ます。
第 5 回	デジタルアーカイブの使い方	HOSEI ミュージアムデジタルアーカイブをはじめ、各種デジタルアーカイブ、データベースの使用方法を学びます。

第 6 回	テーマ設定方法と報告の基礎を学ぶ	「問い」の立て方、テーマ設定の方法をはじめ、レジュメの作成やプレゼンテーション方法など、報告の基礎を学びます。
第 7 回	映像から学ぶ法政大学	法政大学を舞台にした映画『横道世之介』を鑑賞し、そこで描かれた学生像について議論します。
第 8 回	体育会・文化系団体・サークルに関するテーマ設定と資料紹介	体育会・文化系団体・サークルに関するテーマ設定を科目担当者とともに行います。
第 9 回	その他、学生活動や学生の歴史に関するテーマ設定と資料紹介	上記（体育会・文化系団体・サークル）以外の学生活動や学生の歴史に関するテーマ設定を科目担当者とともに行います。
第 10 回	地域などに関するテーマ設定と資料紹介	主に外濠・神楽坂など法政大学の周辺地域に関するテーマ設定を科目担当者とともに行います。
第 11 回	体育会・文化系団体・サークルをテーマとした報告	体育会・文化系団体・サークルをテーマとした受講生の報告を行います。
第 12 回	その他、学生活動や学生の歴史をテーマとした報告	上記（体育会・文化系団体・サークル）以外の学生活動や学生の歴史をテーマとした受講生の報告を行います。
第 13 回	地域などをテーマとした報告	主に地域などをテーマとした受講生の報告を行います。
第 14 回	映像上映と総括	法政大学創立百周年記念映画『オレンジのその情熱と…』を鑑賞し、科目担当者による総括を行います。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

事前学習では、HOSEI ミュージアムに展示されているコンテンツ、同デジタルアーカイブの調査や授業内で紹介された文献の読解を行います。復習では、毎回科目担当者が配布した資料と授業支援システムにアップロードされた資料を読み直します。

なお、本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

テキストは使用せず、毎回、科目担当者が資料を配布します。

【参考書】

『法政大学八十年史』（1961 年）、『法政大学百年史』（1980 年）、『法政大学と戦後五〇年』（2004 年）、『法律学の夜明けと法政大学』（1992 年）、唐澤富太郎『学生の歴史－学生生活の社会史的考察』（1955 年）

【成績評価の方法と基準】

平常点と授業内の報告（各 50 %）にて判断します。

【学生の意見等からの気づき】

学部を超えた交流の機会となるよう、受講者が自由に発言できる「場」を形成したいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

報告用の PC などの機器は科目担当者が用意します。

【その他の重要事項】

関連科目「大学を知ろう　＜法政学＞への招待」で学んだ内容を前提としますので、同科目の既修者か、それと同等の前提知識を得てから受講してください。後者の場合、大学公式 HP に掲載されている「HOSEI MUSEUM」が参考になります。

【Outline and objectives】

This course explores the history and culture of Hosei students. We examine questions and interests in student life from an academic perspective. Students will learn the modern and contemporary history of Japan, the history of Universities through the history of Hosei University.

IDN200LA

法政学の探究ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

古俣　達郎、髙柳　俊男

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**2 単位**
法文営国環キＧ１年～

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、「大学を知ろう ＜法政学＞への招待」（旧科目名「法政学への招待」）をすでに受講し、法政大学が経てきた 140 年の歴史と現状について一通りの理解をもつ学生を主対象にして、本学ゆかりの特定の人物を媒介に、法政大学についてより深く考える場を提供する発展科目として設定しました。

「大学を知ろう ＜法政学＞への招待」における学習を前提に、本授業では、法政大学で教えた教員や、学んだ学生を具体的に取り上げます。教員の場合なら、その人物が法政大学でどういう教育研究に携わったのか、そのことで本学や社会の発展にいかに貢献したか、などを追います。卒業生の場合なら、本学で何を学んだのか、あるいは学んだことをその後の本人の人生や、社会に向けてどう役立てたかなどについて、探究することになるでしょう。

法政大学ゆかりの特定の人物を詳しく追うことで、「自由と進歩」の理念や、時代のフロントランナー養成を掲げる本学の歴史と現在が、より具体性を帯びて理解できるようになるはずです。

【到達目標】

本学の経てきた道を、具体的な人物に即して、実証的・実感的に把握できることを目指します。時代の大きな流れの中で、本学ゆかりのその人物が何に興味をもち、どんな活動をし、何を目指し、何に悩んだかなど、時代の潮流や雰囲気を受講生個々人の知性と感性で感じられるようにします。それを、自分の学生生活や将来像へとつなげて考える契機を得るよう努めます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】

科目責任者の教員が毎回同席し、授業をコーディネートします。講義は、毎回のテーマに最適な本学内外の講師陣（科目責任者含む）が、分担して担当します。

授業の最後に毎回、リアクションペーパーを書いていただきます。受講生の声を反映した参加型・双方向型授業になるよう努めます。なお、質問やリアクションペーパーに対するフィードバックは授業中に行います。

＊各回のオンラインでの実施形式・実施方法は学習支援システムを通じて、事前にお伝えします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	導入	この授業の狙いや、全体の構成について説明する。 あわせて、本学の経てきた歴史の概略を復習する。（科目責任者=髙柳俊男、古俣達郎）

2	世界を知りつくした本学の祖 箕作麟祥	本学の前身である和仏法律学校の初代校長の箕作麟祥は、明治期の有数の啓蒙家であった。彼は、洋学を学んで、西洋の法律や歴史を日本に紹介し、日本の「民権」のために活躍した。彼の仕事を振り返って、そこから学ぶものを探りたい。（南塚信吾）
3	本学草創期を支えた日本近代法の父 ボアソナード	フランス人法学者のボアソナード（1825-1910 年）は、明治政府顧問として来日し、近代法典の整備と法学教育に尽力した。ボアソナードの事績と薫陶を受けた教え子たちの活動を紹介し、その歴史的意義を考える。（村松玄太）
4	「民法の父」・和仏法律学校初代総理 梅謙次郎	日本民法典起草者の一人であり、帝国大学法学部教授、法政大学の初代総理（総長）であった梅謙次郎について、韓国（大韓帝国、1897-1910 年）政府の法律顧問として活動していた頃の足跡を辿る。（李英美）
5	能楽研究の開拓者である野上豊一郎	法政大学は古典芸能の「能楽」と深い結び付きがあるが、その縁は、戦後間もなく総長を務めた野上豊一郎が創出したものである。本回は、野上と能楽との出会いから、彼が残した功績を概観する。（伊海孝充）
6	夏目漱石門下生たちに学んで作家になった椋鳩十	伊那谷出身の椋鳩十（本名：久保田彦穂）は、とくに動物物語の作者として広く知られる。初の詩集を出し、学生結婚もした法政大学時代をはじめ、戦前戦後にわたる椋の歩みを時代の中で振り返る。（髙柳俊男）
7	「法政スピル（法政精神）」を体現した中野勝義	中野勝義は本学の卒業生で、ANA の創業者である。随筆家内田百閒の愛弟子であった中野の生涯は法政と航空に捧げられたといっても過言ではない。中野の生涯を、郷里の北海道、法政大学、民間航空を軸に振り返る。（古俣達郎）
8	作家井本健作とその日記	野上豊一郎の推挙で本学教員になり、戦前・戦後にかけて、予科長、第二中学校長（初代）、図書館長を歴任するなど大学運営にも深くかかわった作家・俳人の井本健作。井本が長年にわたり書き残した日記（「自省録」）を紐解き、知られざる戦前期法政大学の歴史を明らかにする。（北口由望）
9	城戸幡太郎、波多野完治、宮原誠一、乾孝～生涯学習の時代を切り拓いた人々	戦前の法政大学高等師範部教授の城戸幡太郎、波多野完治、宮原誠一らは、本学を舞台に教育科学研究会や保育問題研究会を組織したが、そのねらいは現場の教員と研究者とが共同して教育実践を研究することにあった。キャリアデザイン学部へと引き継がれるこの伝統を明らかにしたい。（笹川孝一）
10	「不安の時代」を代表する思想家	西田幾多郎を中心とする「京都学派」随一の俊才とされ、昭和前期のアカデミズムとジャーナリズムの双方で幅広く活躍しながら、第 2 次大戦直後に悲劇的な獄死をとげた哲学者・三木清の生涯と思想を紹介・検討する。（衣笠正晃）
11	戦争の中を生きた学友たち～久納好孚を例に	終戦直前のわずか 10 ヶ月足らずの間に 5,845 名もの戦死者を出した「特攻」。その第一号となったのが、本学に学んだ学友の一人・久納好孚であった。彼はなぜ「特攻」を志願したのか。その短い生涯を辿りながら、戦前戦中の本学の歴史と学友たちの生きざまを追体験してみたい。（鈴木靖）
12	近代スキー発展の礎を築いた福岡孝行	白馬スキー場を切り拓いた法政大学教授の福岡孝行。近代日本のスキー文化を形作った先駆者であり、法政スポーツの発展に尽力したその功績を振り返る。（福岡孝純）
13	戦後法政大学の歴史と人物	『法政大学百年史』（1980 年）、『法政大学と戦後五〇年年』（2004 年）など、長年にわたり法政大学の歴史の編纂に携わられている飯田泰三法政大学名誉教授をお招きし、戦後の法政大学の歴史を形作った様々な人物についてお話いただく。（飯田泰三）
14	学生の目と教員の目から見る法政大学	学生として本学で学び、のちに本学で教えるに至った方を授業にお招きし、2 つの立場から見た法政大学について体験的に語っていただき、授業全体のまとめとする。(小倉淳一、明田川融、古俣達郎）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回の講師が授業内で言及した文献は、積極的に参照してください。また、開館したばかりの HOSEI ミュージアムの展示および同ミュージアムデジタルアーカイブ (https://museum.hosei.ac.jp/archives/Users/Top) には、授業で取り上げた人物や事象に関するコンテンツが豊富に含まれていますので、準備学習・復習に活用してください。その他、授業に関連する特別展示などが学内外で開催される場合には、随時お知らせしますので、極力足を運んでみてください。

なお、本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストはありません。講義担当者がプリントを適宜配付します。

【参考書】

各担当教員が、その都度お知らせします。

本学の歴史を通史的にまとめた書籍には、『法政大学 1880-2000：そのあゆみと展望』のほか、『法政大学参拾年史』『法政大学八十年史』 『法政大学百年史』『法政大学と戦後五〇年』などがあります。図書館などで適宜参照してください。

【成績評価の方法と基準】

毎回のリアクションペーパーに反映された授業に取り組む姿勢 40 %、学期末のレポート 60 %を基準にして、総合的に評価します。受講者数によっては若干の変更があるかもしれませんが、その場合は授業の場（もしくは学習支援システム）でお知らせします。この成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標の 60%以上を達成した者を合格とします。

なお、レポートの作成に際しては、必ず文献に当たるよう心がけてください。

【学生の意見等からの気づき】

学術的でありながら、同時に自らの生き方の参考になるような授業を目指します。

【学生が準備すべき機器他】

とくにありません。学習支援システムを積極的に活用します。

【その他の重要事項】

上述のように、「大学を知ろう ＜法政学＞への招待」で学んだ内容を前提に進めますので、原則として同科目の既修者か、それと同程度の前提知識がある方が受講対象者になります。

「大学を知ろう ＜法政学＞への招待」とこの「法政学の探究 LA」を履修し、さらに学びを深めたい方には、より演習に近い少人数の科目として、「法政学の探究 LB」（春学期）も用意されています。

【Outline and objectives】
This intermediate class aims to explore the history and the spirit of Hosei University, by following the achievements and personality of several specific individuals.

ECN200LA

リベラルアーツ特別実習

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**金融グローバルインターンシップ**

コーディネータ：小原 丈明、　講師（ゲストスピーカー）：イオン銀行　岩波 俊哉氏　他

開講時期：**スプリングセッション/Spring Session** ｜ 曜日・時限：**集中・その他/intensive・other courses**
単位数：**2 単位**
法文営国環キＧ 1〜3 年

他学部公開：○　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
イオングループが事業展開する小売をはじめ、金融、サービス事業等について、グループ各社の仕事を学ぶことを通して、それぞれの地域文化・風土の理解、グローバル思考の醸成、企業としての社会的役割などを学んでいただくことが本授業の目的です。
本科目の履修に際しては、「リベラルアーツ特別講座」を履修済みであることが望ましいですが、本科目を履修するうえでの必須条件ではありません。

【到達目標】
学生は、グローバル社会や国際的な倫理観に関する情報、知識を自ら収集し、分析するスキルを身につけ、国際的な環境の中で活動するための実践的なコミュニケーション能力や他者を巻き込みながらプロジェクトを遂行するために必要な指導力の重要性を理解することができるようになる。
学生は、この授業を通じて、自らの体験をそれぞれが専攻する学問の体系と関係づけ、将来に専門的職業人として活動するために必要な知識や能力について考察を深め、自らのキャリアの展望について考察を深めることができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
2 月中下旬から、国内 5 日間・国外 5 日間、計 10 日間 (休日を除く) 程度の国内外インターンシップを行います（10 日間のインターンシップとは別に事前・事後指導の講義有り）。
最終授業で、授業内容の全体のまとめや復習だけでなく、授業内で行った課題に対する講評や解説も行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	検討中	検討中
2	検討中	検討中
3	検討中	検討中
4	検討中	検討中
5	検討中	検討中
6	検討中	検討中
7	検討中	検討中
8	検討中	検討中
9	検討中	検討中
10	検討中	検討中
11	検討中	検討中
12	検討中	検討中
13	検討中	検討中
14	検討中	検討中

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
業界分析、企業分析、自己分析、振り返り、成果報告会プレゼンテーション準備などを授業外学習として課す。

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
テキストは使用しない。

【参考書】
資料については開講時に指示する。

【成績評価の方法と基準】
検討中

【学生の意見等からの気づき】
2021 年度より開講のため、なし。

【Outline and objectives】
The purpose of this course is to learn about the work of each Group company in the retail, financial, and service businesses in which the AEON Group operates,as well as its understanding of local culture and climates,fostering a global orientation, and its social role as a global company.

LIT200LA

日本文学と文化ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

本塚　亘

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 4/Thu.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、日本古典音楽に関する様々な文学作品などを鑑賞し、文学と密接にかかわる音楽文化の様相を概観します。春学期は、史書や説話、楽書などに現れる雅楽を中心とした音楽文化について理解を深めながら、政治と音楽の関係、および音楽伝承のあり方などについて学習していきます。

【到達目標】
・さまざまな古典文学作品に表れる音楽描写について理解を深めます。
・政治と音楽の関係、および音楽伝承のあり方についての理解を深めます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
オンデマンド授業（資料型）とします。毎週、授業時間までに hoppii 経由で資料を公開します。受講生は、毎時設定される締切までに、小テストおよび質問事項等の入力を hoppii 上で行います。授業連絡、および質問事項等に対するフィードバックは hoppii を利用して行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	導入	授業の進め方、評価方法等の確認を行う。
第 2 回	神話と音楽	記紀神話の中で、音楽や楽器がどのように描かれているか、学習する。
第 3 回	政治と音楽①	政治と音楽の関係について、当時の音楽制度や六国史の記事などから学ぶ。
第 4 回	政治と音楽②	六国史の音楽記事に表れる内容と、実際との相違点について理解を深める。
第 5 回	和歌と音楽①	和歌がどのようにして発声されていたのか、『万葉集』の和歌、題詞などを元に考える。
第 6 回	和歌と音楽②	和歌を「ライブ」として考えた場合の、各種のレトリックの機能について学ぶ。
第 7 回	音楽の伝授と説話①	蝉丸に関する説話を中心に、音楽伝承に関する考え方や時代による変化を学習する。
第 8 回	音楽の伝授と説話②	貞保親王、源博雅ら、古楽譜の撰進にかかわった人物について理解を深める。
第 9 回	音楽の伝授と説話③	源博雅に関する説話を中心に、音楽伝承に関する考え方や後の時代への影響を学ぶ。

第 10 回	音楽の伝授と説話④	遣唐使として音楽を日本に伝えた藤原貞敏や、彼に音楽を伝授したという廉承武に関するいくつかの説話を比較する。
第 11 回	音楽の伝授と説話⑤	二つの舞楽曲の相伝にかかわる殺人事件の顛末について学び、楽家を中心とした音楽伝承のありかたについて理解を深める。
第 12 回	音楽の伝授と説話⑥	管絃と郢曲を極め、日本の音楽史に大きな影響を与えた藤原師長について理解を深める。
第 13 回	音楽の伝授と説話⑦	鴨長明の音楽思想について、いわゆる「秘曲尽くし」事件を中心に学ぶ。
第 14 回	春学期総括・レポート課題の出題	これまでの授業と学生のリアクションなどをふまえ総括。レポート課題を出題する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎時、hoppii 上での小テスト回答、および質問事項等の入力が必須となります。質問については、まず自分自身で調べてみて、その上で行ってください。なお、準備学習・復習については 4 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
なし。hoppii を経由して資料を公開します。

【参考書】
磯水絵『今日は一日、方丈記』（新典社、2013）
磯水絵『説話と横笛』（勉誠出版、2016）
その他、授業時に適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】
【到達目標】に照らして以下の 2 項目を評価の対象とします。
・毎時小テスト、および質問事項　60%
・期末レポート　40%

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】
hoppii にアクセスできるＰＣ、インターネット環境を用意してください。

【その他の重要事項】
新型コロナウイルスに関する大学の方針変更等の事由により、上記の授業内容を変更する可能性があります。変更があった場合は、hoppii にて連絡いたします。

【Outline and objectives】
In this class, we will appreciate various classical literary works related to Japanese classical music to learn an overview of the music culture that are closely related to literature. In the spring semester, we will study the relationship between politics and music, and the way to inherite of music tradition, while learning about *gagaku* and other musical cultures described in historical books, tales, and music books.

LIT200LA

日本文学と文化ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

本塚　亘

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**木** 4/Thu.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、日本古典音楽に関する様々な文学作品などを鑑賞し、文学と密接にかかわる音楽文化の様相を概観します。秋学期は、王朝文学（仮名日記、物語）や軍記物語などにおける音楽描写を鑑賞しながら、音楽と文学との相互の関係によって生じる、豊かな表現について学習していきます。

【到達目標】
・さまざまな古典文学作品に表れる音楽描写について理解を深めます。
・音楽と文学との相互の関係によって生じる豊かな表現についての理解を深めます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
オンデマンド授業（資料型）とします。毎週、授業時間までに hoppii 経由で資料を公開します。受講生は、毎時設定される締切までに、小テストおよび質問事項等の入力を hoppii 上で行います。授業連絡、および質問事項等に対するフィードバックは hoppii を利用して行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	導入	授業の進め方、評価方法等の確認を行う。
第 2 回	王朝文学と音楽①	『伊勢物語』と『古今和歌集』などとの比較を通じて、『伊勢物語』に**現れない**音楽について考察する。
第 3 回	王朝文学と音楽②	『うつほ物語』の鑑賞を通じて、作品の中心となっている琴（七絃琴）の伝承についての理解を深める。
第 4 回	王朝文学と音楽③	『枕草子』に現れる様々な音楽に関する記述を読み、女房目線からの音楽に対する実感を探る。
第 5 回	王朝文学と音楽④	『源氏物語』に描かれる音楽とその時代設定、作者と音楽の関係について学習する。
第 6 回	王朝文学と音楽⑤	『源氏物語』に描かれる楽器や楽曲について、それぞれの物語上の機能について考察する。
第 7 回	王朝文学と音楽⑥	『源氏物語』に描かれる様々な音楽論について学習し、当時の音楽に関する考え方についての理解を深める。
第 8 回	王朝文学と音楽⑦	『源氏物語』に頻出する宮廷歌謡「催馬楽」についての基礎を学ぶ。
第 9 回	王朝文学と音楽⑧	『源氏物語』における、催馬楽の物語上の機能について学習する。

第 10 回	軍記物語と音楽①	『平家物語』を語る「平家語り」についての基礎を学ぶ。
第 11 回	軍記物語と音楽②	『平家物語』巻第六「小督」における音楽表現について学習する。
第 12 回	軍記物語と音楽③	『平家物語』巻第七「経正都落」における音楽表現について学習する。
第 13 回	軍記物語と音楽④	『平家物語』巻第十「千手前」における音楽表現について学習する。
第 14 回	秋学期総括・レポート課題の出題	これまでの授業と学生のリアクションなどをふまえ総括。レポート課題を出題する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎時、hoppii 上での小テスト回答、および質問事項等の入力が必須となります。質問については、まず自分自身で調べてみて、その上で行ってください。なお、準備学習・復習については 4 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
なし。hoppii を経由して資料を公開します。

【参考書】
磯水絵『「源氏物語」時代の音楽研究』(風間書院、2008）
その他、授業時に適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】
【到達目標】に照らして以下の 2 項目を評価の対象とします。
・毎時小テスト、および質問事項　60%
・期末レポート　40%

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】
hoppii にアクセスできるＰＣ、インターネット環境を用意してください。

【その他の重要事項】
新型コロナウイルスに関する大学の方針変更等の事由により、上記の授業内容を変更する可能性があります。変更があった場合は、hoppii にて連絡いたします。

【Outline and objectives】
In this class, we will appreciate various classical literary works related to Japanese classical music to learn an overview of the music culture that are closely related to literature. In the fall semester, we will study the richness of expression that emerges from the interrelationship between music and literature by appreciating musical depictions in dynastic literature and war stories.

LIT200LA

日本文学と文化ＬＣ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**能と仏教**

今泉　隆裕

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本講義では能（謡曲）とその周辺事項について、とくに日本仏教とのかかわりについて考える。
俳句や短歌が固定した形式をもつゆえに、かえって人々の想像力を刺激するように、能もいくつかの決まった形式をもっている。この形式（話の枠）には、この芸能が胎動した当時の時代状況や、人々の期待が反映されている。どのような状況下で、どのようなことが、この芸能に要請されたのか。どのような歴史や、社会状況に影響を受けたためにそれらの形式が確立され、その形式からどのような想像力が新たに促がされたのか。
本講義では、とくに能と宗教文化（おもに日本仏教）との関連を紹介しながら、その一端を垣間見たいと考える。とはいえ、能に関する知識はそれほど一般的ではない。はじめの数回、能楽に関する入門的内容をふまえることになる。また時間に余裕があれば、近代における能楽の動向を紹介しつつ、文化がいかに歴史社会とのかかわりの中で存続するのか（あるいは消滅するのか）を考える機会も持ちたい。
そののち勧進興行と能という視点から、一般的に「夢幻能」といわれるもの、なかでも幽霊を主人公（シテ）とする曲を主に扱う。また離ればなれになった親子の再開を描く、いわゆる「親子物狂能」を取り上げ、その周辺的な事柄を紹介する。
※夢幻能に関する講義が「日本文学と文化ＬＣ」（旧「文学Ⅰ」）、おもに親子物狂能に関する講義が「日本文学と文化ＬＤ」（旧「文学Ⅱ」）となる予定である。ただし、講義内容はその都度変更する場合がある。

【到達目標】
能楽に関する基本的な知識を身につけることを目指す。
と同時に、文芸作品が歴史社会とのかかわりのなかで、いかに規制されるのか、また、その規制された視点がどのような想像を促し、どのような表現を創造するのか、その一端を垣間見る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
コロナウィルスの状況から講義ができない期間は課題提出とします。ただし課題を提出させる方法について、担当者が不慣れなため、発信日程は 4 月 24 日から 5 月 1 日までの 1 週間以内とさせてください。
また、状況が改善され次第、授業形態は、講義形式とします。
課題やリアクションペーパーに記入された内容、および質問など全体でも共有したほうが良いものについては講義内で適時フィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	能楽入門①	能楽入門 基本的な用語などについて解説する（5 回程度）。DVD 映像を参照して説明していく。
2	能楽入門②	上記、能楽入門つづき 能舞台解説・能の歴史（1）
3	能楽入門③	上記、能楽入門つづき 能舞台解説・能の歴史（2）
4	能楽入門④	上記、能楽入門つづき 能舞台解説・能の歴史（3） 基本用語解説（1）
5	能楽入門⑤	上記、能楽入門つづき 基本用語解説（2）
6	夢幻能について① （幽霊能について）	夢幻能のなかでも幽霊を主人公（シテ）とするものを取り上げ、その特徴について論じる（9 回程度）。 ・本講義の概要について
7	夢幻能について② （幽霊能について）	上記、夢幻能について（つづき） 〈求塚〉鑑賞① 作品概要・及び鑑賞
8	夢幻能について③ （幽霊能について）	上記、夢幻能について（つづき） 〈求塚〉鑑賞② 〈求塚〉にみるシテ（幽霊）とワキ（僧ワキ）との関係
9	夢幻能について④ （幽霊能について）	上記、夢幻能について（つづき） 〈求塚〉鑑賞③ ・宗教学からみた能〈求塚〉の幽霊の特殊性／僧ワキの機能について
10	夢幻能について⑤ （幽霊能について）	上記、夢幻能について（つづき） 〈船橋〉〈鵜飼〉ほか幽霊能の鑑賞① 作品概要・及び鑑賞
11	夢幻能について⑥ （幽霊能について）	上記、夢幻能について（つづき） 〈船橋〉〈鵜飼〉② 〈鵜飼〉にみるシテ（幽霊）とワキ（僧ワキ）との関係
12	夢幻能について⑦ （幽霊能について）	上記、夢幻能について（つづき） 〈船橋〉〈鵜飼〉③ ・宗教学からみた能〈求塚〉の幽霊の特殊性／僧ワキの機能について
13	夢幻能について⑧ （幽霊能について）	上記、夢幻能について（つづき） 前期まとめ 1
14	夢幻能について⑨ （幽霊能について）	上記、夢幻能について（つづき） 前期まとめ 2、および試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業内で指示した課題にしっかり取り組む。
本講義ではいくつかの曲を取り上げる予定である。
その際には【参考書】『謡曲集』『謡曲百番』等で本文を事前に確認することが望ましい。
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
特に指定しない。必要な際は授業内で指示する。

【参考書】
本文
『謡曲集』上・下（表章日本古典文学大系、岩波書店）
『謡曲百番』（新日本古典文学大系、岩波書店）
『謡曲集』一・二（日本古典文学全集、小学館）など
入門書
西野春雄『能・狂言・風姿花伝』（新潮社、1992 年）など
ほかは授業内で指示する。

【成績評価の方法と基準】
出席状況と、学期末の授業内レポートを持って評価する。目安としてはレポート 80 %、平常 20 %とする。平常点は出席のみではなく、リアクションペーパーの記入状況などで判断する。
また、レポートを提出しないものは評価できないと考えて下さい。講義内容の曲解や、また講義内容に言及しないレポートの評価は低くなることは言うまでもありません。到達目標を参照し、それを加味したレポートを作成して下さい。

【学生の意見等からの気づき】
試験解答をみていると、そもそも質問の意味を了解していないものが散見される。能に関する知識は、あまり一般的ではないので、図書館等を積極的に活用し、理解を深めてほしい。

【学生が準備すべき機器他】
特にありません。

【その他の重要事項】
※取り上げるテーマは進度等、都合により変更されることがあります。

【Outline and objectives】
In this lecture, we will think about Noh (Kayo) and its surroundings, especially concerning Japanese Buddhism.
Haiku and Tanka have a fixed form, so they stimulate the imagination of people. It is needless to say that this form (the framework of the story) reflects the circumstances and expectations of people when this entertainment is created. Under such circumstances, what was expected for this entertainment? what kind of historical society did affect the establishment of the form? What kind of imagination from that form was newly promoted?

LIT200LA

日本文学と文化ＬＤ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**能と仏教**

今泉　隆裕

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1～4 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本講義では能（謡曲）とその周辺事項について、とくに日本仏教とのかかわりについて考える。
俳句や短歌が固定した形式をもつゆえに、かえって人々の想像力を刺激するように、能もいくつかの決まった形式をもっている。この形式（話の枠）には、この芸能が胎動した当時の時代状況や、人々の期待が反映されている。どのような状況下で、どのようなことがこの芸能に要請されたのか。どのような歴史や、社会状況に影響を受けたためにそれらの形式が確立され、その形式からどのような想像力が新たに促がされたのか。
本講義では、とくに能と宗教文化（おもに日本仏教）との関連を紹介しながら、その一端を垣間見たいと考える。とはいえ、能に関する知識はそれほど一般的ではない。はじめの数回、能楽に関する入門的内容をふまえることになる。また時間に余裕があれば、近代における能楽の動向を紹介しつつ、文化がいかに歴史社会とのかかわりの中で存続するのか（あるいは消滅するのか）を考える機会も持ちたい。
そののち勧進興行と能という視点から、一般的に「夢幻能」といわれるもの、なかでも幽霊を主人公（シテ）とする曲を主に扱う。また、離ればなれになった親子の再開を描く、いわゆる「親子物狂能」を取り上げ、その周辺的な事柄を紹介する。
※夢幻能に関する講義が「日本文学と文化ＬＣ」（旧「文学Ⅰ」）、おもに親子物狂能に関する講義が「日本文学と文化ＬＤ」（旧「文学Ⅱ」）となる予定である。ただし、講義内容はその都度変更する場合がある。

【到達目標】
能楽に関する基本的な知識を身につけることを目指す。と同時に、文芸作品が歴史社会とのかかわりのなかで、いかに規制されるのか、また、その規制された視点がどのような想像を促し、どのような表現を創造するのか、その一端を垣間見る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業形態は、講義形式とする。
課題やリアクションペーパーに記入された内容、および質問など全体でも共有したほうが良いものについては講義内で適時フィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	能楽入門（補足①）	入門的事項の補足説明と「日本文学と文化（前期）」（旧「文学Ⅰ」）の内容をおさらいする（2 回程度）。ただし、連続して講義を受けていない学生が多い場合は、内容を変更して対応したい。
2	能楽入門（補足②）	上記、能楽入門つづき
3	夢幻能について①（神能について）	夢幻能のなかでも神を主人公（シテ）とするものを取り上げ、その特徴について論じる（4 回程度）。ここでは以下のような項目を取り上げる予定である。 ・鑑賞 ・本説（典拠）と能との比較検討 ・夢幻能（神能）の特徴とその機能について ・シテ（神）とワキ（大臣ワキ）との関係 ・宗教学からみた能の神の特殊性 ・大臣ワキの機能について など
4	夢幻能について②（神能について）	上記、夢幻能、とくに神能について（つづき）〈高砂〉鑑賞①／作品解説
5	夢幻能について③（神能について）	上記、夢幻能、とくに神能について（つづき）〈高砂〉鑑賞②／本説（典拠）と能との比較検討 ・シテ（神）とワキ（大臣ワキ）との関係
6	夢幻能について④（神能について）	上記、夢幻能、とくに神能について（つづき）〈高砂〉鑑賞③／宗教学からみた能の神の特殊性 ・大臣ワキの機能について など
7	親子物狂能について①	春学期でみた勧進興行との関連で寺社の霊験譚として、離ればなれになった親子の再開を描く親子物狂能とその特色などについて論じる（6 回程度）。 ここでは以下のような項目を取り上げる予定である。 ・講義概要
8	親子物狂能について②	上記、親子物狂能について（つづき） 〈隅田川〉鑑賞①／鑑賞
9	親子物狂能について③	上記、親子物狂能について（つづき） 〈隅田川〉鑑賞②／本説（典拠）と能との比較検討
10	親子物狂能について④	上記、親子物狂能について（つづき） 〈隅田川〉鑑賞③／〈弱法師〉と俊徳丸説話、さらにその淵源
11	親子物狂能について⑤	上記、親子物狂能について（つづき） そのほかの親子物狂能　鑑賞①／本説（典拠）と能との比較検討
12	親子物狂能について⑥	上記、親子物狂能について（つづき） そのほかの親子物狂能　鑑賞②／親子物狂能と仏教との関係（まとめ）
13	能楽の近代について①	近代化の中で一時期廃れていた能楽がいかに復活したかについて論じ、文化がいかに歴史社会とのかかわりの中で存続するのか（あるいは消滅するのか）を考える（2 回程度）。
14	能楽の近代について②	上記、能楽の近代について（つづき） 後期まとめ、および試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業内で指示した課題にしっかり取り組む。
本講義ではいくつかの曲を取り上げる予定である。
その際には【参考書】『謡曲集』『謡曲百番』等で本文を事前に確認することが望ましい。
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
特に指定しない。必要な際は授業内で指示する。

【参考書】
本文
『謡曲集』上・下（表章日本古典文学大系、岩波書店）
『謡曲百番』（新日本古典文学大系、岩波書店）
『謡曲集』一・二（日本古典文学全集、小学館）など
入門書
西野春雄『能・狂言・風姿花伝』（新潮社、1992 年）など
ほかは授業内で指示する。

【成績評価の方法と基準】
出席状況と、学期末の授業内レポートを持って評価する。目安としてはレポート 80 %、平常 20 %とする。平常点は出席のみではなく、リアクションペーパーの記入状況などで判断する。
また、レポートを提出しないものは評価できないと考えて下さい。講義内容の曲解や、また講義内容に言及しないレポートの評価は低くなることは言うまでもありません。到達目標を参照し、それを加味したレポートを作成して下さい。

【学生の意見等からの気づき】
試験解答をみていると、そもそも質問の意味を了解していないものが散見される。能に関する知識は、あまり一般的ではないので、図書館等を積極的に活用し、理解を深めてほしい。

【学生が準備すべき機器他】
特にありません。

【その他の重要事項】
※取り上げるテーマは進度等、都合により変更されることがあります。

【Outline and objectives】
In this lecture, we will think about Noh (Kayo) and its surroundings, especially concerning Japanese Buddhism.
Haiku and Tanka have a fixed form, so they stimulate the imagination of people. It is needless to say that this form (the framework of the story) reflects the circumstances and expectations of people when this entertainment is created. Under such circumstances, what was expected for this entertainment? what kind of historical society did affect the establishment of the form? What kind of imagination from that form was newly promoted?

LIT200LA

日本文学と文化 LG

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**現代日本文学と映像表現**

榎本　正樹

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**集中・その他**/intensive・other courses
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
現代日本文学を原作として映画化された作品の一部を観賞した上で、原作の小説を講読します。2020 年に劇場公開された以下の 6 作品を取りあげる予定です（作品の配列は劇場公開日順です）。
同一の物語内容を含んだ文学表現と映像表現を比較対照し、分析することで、言葉と映像それぞれのメディア固有の表現や技法について考えを深めるとともに、「文学固有の表現とは何か？」という視点から小説を読む力の獲得を目指します。
【授業で取りあげる作品】
野中ともそ『宇宙でいちばんあかるい屋根』（藤井道人監督）
今村夏子『星の子』（大森立嗣監督）
辻村深月『朝が来る』（河瀬直美監督）
塩田武士『罪の声』（土井裕泰監督）
若竹千佐子『おらおらでひとりいぐも』（沖田修一監督）
田辺聖子『ジョゼと虎と魚たち』（タムラコータロー監督）
＊劇場公開順。作品は変更の可能性があります。

【到達目標】
現代日本文学の多様なジャンルの小説を深く読むことで、複雑な言語構成体としてのテクストから様々な要素を抽出し、整理し、分析することができるようになります。さらに、個人の生き方や社会システム、性、生、死、ジェンダー、家族、事件、歴史などの諸問題について思考する力を養います。言語表現と映像表現を比較対照することで、メディア固有の表現やメディア間の相互接続性についても理解を深めます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義形式をとります。映画の一部を観賞した後、原作小説を精読し、作品分析を行っていきます。映像メディアである映画と言語メディアである小説を比較検討することによって、情報提示の仕方、叙述の方法、人物設定、物語構成の違いなど、表現上の相違点を明らかにしていきます。
履修者には、現代日本文学の多様な表現世界や作品固有の表現に触れ、作品について深く思考し、考えをまとめ、批評的な言葉でアウトプットする力が求められます。小説を事前に読んでいなくても理解できる形で授業を進めていきますが、取りあげる作品については、事前に読んで授業に臨むのがベストです。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
(1)	イントロダクション	ガイダンス授業
(2)	野中ともそ『宇宙でいちばんあかるい屋根』を読む	小説の講読＆分析＆考察

(3)	藤井道人監督『宇宙でいちばんあかるい屋根』を観る	原作の映画解読
(4)	今村夏子『星の子』を読む	小説の講読＆分析＆考察
(5)	大森立嗣監督『星の子』を観る	原作の映画解読
(6)	辻村深月『朝が来る』を読む	小説の講読＆分析＆考察
(7)	河瀬直美監督『朝が来る』を観る	原作の映画解読
(8)	塩田武士『罪の声』を読む	小説の講読＆分析＆考察
(9)	土井裕泰監督『罪の声』を観る	原作の映画解読
(10)	若竹千佐子『おらおらでひとりいぐも』を読む	小説の講読＆分析＆考察
(11)	沖田修一監督『おらおらでひとりいぐも』を観る	原作の映画解読
(12)	田辺聖子『ジョゼと虎と魚たち』を読む	小説の講読＆分析＆考察
(13)	タムラコータロー監督『ジョゼと虎と魚たち』を観る	原作の映画解読
(14)	レポート提出	授業内レポート提出

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。
事前に原作小説を読んでいなくても理解できる形で授業を進めていきますが、物語内容や人物関係を把握する上でも、小説を読んで授業に臨むのがベストです。授業で取りあげた小説や映像作品は、授業外の環境で、もう一度読み直し観賞し直し、作品の理解を深めるよう努めてください。
最終授業時に提出するレポート執筆の事前準備として、対象作品を精読し、その中で得た「気づき」をメモにとったり、疑問点や重要なポイントと思われる箇所についてまとめる作業を随時行ってください。

【テキスト（教科書）】
授業で扱う小説の文庫本。

【参考書】
参考書・参考文献は、教室で指示します。
必要な資料はプリントで配付します。

【成績評価の方法と基準】
レポートで評価します（100 %）。
試験や小テストはありません。
レポートは春学期最終授業時間に提出します。レポート内容は、「授業でとりあげた作品の中から一作品を選び、作品論を展開する」というものです。授業内容を踏まえ、自分が選んだ作品について、自分で設定したテーマに基づき、自分の言葉で「論」を展開してください。
分析の鋭さ、論考の深さ、文章の正確さ、構成の巧みさなどを見て採点します。詳細は、初回のガイダンス授業時に説明します。

【学生の意見等からの気づき】
映画を観る時間を増やしてほしいとの意見が多くあるので、可能な限り鑑賞時間を増やす努力をします。
専門科目ではないので、現代日本文学になじみのない学生にも分かりやすい言葉で、分析と解説を行うよう心がけます。

【その他の重要事項】
現代日本文学のみならず、映像メディアに関心をもつ学生の履修を歓迎します。
榎本のプロフィールや研究・評論活動は、サイト（http://enmt.jp）で確認できます。ツイッター（@enmt）での情報発信も行っていますので、履修時の参考にしてください。

【Outline and objectives】
We read the original novel after having watched movie work that filmized as "Contemporary Japanese literature". I select from the following 6 works in 2020.

We compare movie expression with the literature expression including the same story contents, we are analyzing peculiar expressin words and movies.

LIT200LA

日本文学と文化 LH

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**新海誠の文学世界**

榎本　正樹

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**集中・その他**/intensive・other courses
単位数：2 **単位**
法文営国環キ 1〜4 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
新海誠監督のアニメーション映画『君の名は。』は、アニメーション界や映画界を超えた近年の日本映画最大のヒット作品として、多くの観客の支持と共感を得ました。国内観客動員数 1,900 万人を突破、興行収入 250 億円を超える大ヒットとなり、邦画興行収入歴代 2 位を記録、アジア圏では 7 冠達成を記録し、日本のみならず世界各国の記録を塗り替えることになりました。2019 年には最新作『天気の子』が封切られ、前作同様の評価を得ました。アニメーションというジャンルの枠を越えた同時代の重要な表現者として、新海誠という存在をとらえ直す必要があります。
新海誠というクリエーターの名前を、『君の名は。』で初めて知った人が多いかもしれませんが、新海監督のキャリアは 2000 年代初頭にまで遡ることができます。新海作品の根底にあるのは「言葉」に重きを置いた世界造形、言い換えれば「文学」への強い視線です。人と人の間の繊細なコミュニケーションを、精緻な言葉と独自の映像美学によって表現するその姿勢は、「アニメーションという表現手段を用いた文学」と形容可能なものです。
新海誠は「アニメーション監督」であるとともに「小説家」でもあります。新海は自身の手で代表作をノベライズ（小説化）を手がけていますが、それらは単に映像作品を言葉に置き換えたものではなく、小説作品として自立しています。同一の作者による映画版と小説版を比較検討することで、映像表現と小説表現の違いを検証することが可能です。
本講義では、新海誠の初期作品から最新作まで入手可能な映像作品を参観しつつ、「新海誠の文学世界」を紐解いていきます。同時代の先端的な表現者である新海誠の主要作品を「網羅的」に観賞し、かつ「分析的」に解読する経験を通して、作品批評のための技術を獲得します。

【到達目標】
映像作品であるアニメーションを分析的に解読する技術を身につけ、表現や仕掛けや物語構造などについて、自分の言葉で論述できるレベルを目指します。関連資料を参照し、さまざまな他人の意見やコメントに目を通し、作品のモデルとなった場所に実際に赴くことで、作品の背景にある文化的、歴史的、地理的背景について深く学び、作品を客観的に論じる力を得ます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業は講義とプレゼンテーションを合わせた形で行います。新海誠作品を初期から最新作まで（場合によっては作品の一部を）を観賞し、各シーンについて解説と分析を加えていきます。アニメーションで重要なのはシーンを構成するカットです。カットにはクリエーターの「世界そのものへの純粋な視線」が投影されています。
もう一つ重要なのは、言葉（ナレーションや科白や対話）です。本授業では新海作品の言葉に特に注目し、物語の中で言葉がどのように作用しあい、コミュニケーションの主題を提示していくのかを細かく探っていきます。
新海監督自身の言葉、関連資料の紹介や他の論者の考察など、作品をめぐる多様な言説を紹介する機会も設けます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
(1)	イントロダクション	新海誠、その人と作品について
(2)	『遠い世界』『彼女と彼女の猫』	最初期作品を概観する
(3)	『ほしのこえ』	物理的な「距離」と精神的な「距離」
(4)	『雲のむこう、約束の場所』	SF の趣向を通して表現された世界
(5)	『秒速５センチメートル』	人物と風景、あるいは速度をめぐる物語
(6)	『星を追う子ども』	異界に移動し帰還する子どもたち
(7)	『言の葉の庭』	独自の映像美学を支える文学性
(8)	『小説 言の葉の庭』	ノベライゼーションの方法
(9)	短編作品＆ CM 作品	新海誠のアザーワークス
(10)	『君の名は。』前半	すれ違いと入れ替わりの趣向をめぐって
(11)	『君の名は。』後半	共苦する魂のゆくえ
(12)	『天気の子』前半	作品で描かれた 2021 年
(13)	『天気の子』後半	人身御供譚としての読みとり
(14)	レポート提出	授業内レポート提出

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。
アニメーションを観たり小説を読む際に受動的に観賞するのではなく、作品の細部について自分の言葉で客観的に書いたり話したりする習慣をつけましょう。授業で取りあげる映像作品や小説を繰り返し観たり読んだりして、その中で得た「気づき」をメモにとったり、疑問点や重要なポイントと思われる箇所についてまとめる作業を随時行ってください。
また機会があれば、作品の中に登場する場所に赴く「聖地巡礼」に挑戦してみてください。実在する場所が物語のシーンでどのような意味を与えられているのか、体験的に学習してください。

【テキスト（教科書）】
榎本による新海誠についての評論本が、2021 年夏頃までに刊行される予定です。秋学期の授業開始には間に合うと思われますので、刊行が正式にアナウンス可能な時期になった段階で、使用教科書として告知します。

【参考書】
授業で扱う新海誠のノベライゼーション作品は参考書とします。必要に応じて、個人で入手してください。『小説 秒速５センチメートル』『小説 言の葉の庭』『小説 君の名は。』『小説 天気の子』とも、角川文庫で入手可能です（電子書籍版もあります）。
http://www.kadokawa.co.jp/product/321510000146/
http://www.kadokawa.co.jp/product/321510000145/
http://www.kadokawa.co.jp/product/321603000121/
https://www.kadokawa.co.jp/product/321903000333/
その他の参考書・参考文献や参考サイトは膨大にあるので、教室で示します。
必要な資料はプリントで配付します。

【成績評価の方法と基準】
レポートで評価します（100 %）。
試験や小テストはありません。
レポートは秋学期最終授業時間に提出です。レポート内容は、「新海誠監督作品の中から、一作品または複数の作品を選び、作品論を展開する」というものです。授業内容を踏まえ、自分が選んだ作品について、自分で設定したテーマに基づき、自分の言葉で論を展開してください。
分析の鋭さ、論考の深さ、文章の正確さ、構成の巧みさなどを中心に採点します。詳細は、初回のガイダンス授業時に説明します。

【学生の意見等からの気づき】
専門用語など難易度が高いタームの使用を控え、初級者にも理解しやすい授業を心がけます。
可能な限り映像作品を観る機会を増やします。

【その他の重要事項】
アニメーションや現代日本文学に関心をもつ学生の履修を歓迎します。
榎本のプロフィールや研究・評論活動は、サイト（http://enmt.jp）で確認できます。ツイッター（@enmt）での情報発信も行っていますので、履修時の参考にしてください。

【Outline and objectives】
Shinkai Makoto is Japanese animation director. His animation film is highly acclaimed not only in Japan but also overseas. Last summer, his latest work " Weathering With You" was released. I decode Shinkai's all animation works from various viewpoints.

LIT200LA

外国文学と文化ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**西洋文学と音楽**

鈴木　正道

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**集中・その他**/intensive・other courses
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業は、西洋の文学、特に音楽とかかわりの深い作品を扱います。音声や文字という記号の表現である文学と、直接感性に訴える音の連なりである音楽は、元来切っても切れない関係にあります。「詩」は「うたふ」ものであり、かつて物語は韻律をともない楽器にのせて語られました。
春学期では、ミュージカルの名作として愛され続けている『レ・ミゼラブル』を原作を参照しつつ分析します。さらに最も人気の高いオペラの一つである『椿姫』を扱います。次にシェークスピアの名高い『ロミオとジュリエット』を取り上げます。この作品は様々な作曲家により音楽化されています。さらにこの現代への翻案として創られたミュージカル『ウエストサイド物語』を扱います。

【到達目標】
芸術作品を観賞しつつ、批評、分析し、それを表現する手法を学びます。
「文学」のようなものは「実用性がない」ように言われがちですが、「衣食足りて」「モノ」から「コト」へと消費が移ってきた現在において、さまざまな知識を身に着けることで、今後の職業生活で必要な「ネタ」を蓄え、さらには自ら探り当てる習慣を身に着けることは大切でしょう。
この授業を履修することで、出版、メディア、教育などの分野で働くうえで必要な基礎的な知識と表現力を身につけることができます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
教室での授業ができない見込みですので、on demand 方式を採ることになりそうです。学習支援システムでその方法をおしらせします。教材や資料は同じく学習支援システムに載せます。皆さんは資料の情報を参考にしながら作品（のさわりとなる部分）を鑑賞し、教材に示された問題点、着眼点などについて考えてください。それぞれの作品ごとに課題として 600 字ほどの書き物を学習支援システムを通して出すことになります。私は同じく学習支援システムを通してお返しします。
まずはヴィクトル・ユゴーによる『レ・ミゼラブル』の原作を概観したうえで、ミュージカルを鑑賞し、分析します。次にほぼ同時期に書かれた小説かつ戯曲をもとに創られたオペラ『椿姫』を扱います。さらに『ロミオとジュリエット』を概観し、鍵となる場面を詳しく検討します。そのうえで音楽家によるさまざまな作品を鑑賞し、分析します。さらに『ロミオとジュリエット』の現代への翻案として創られた『ウエストサイド物語』を、元ネタとのかかわりを含めて鑑賞し、分析します。時代も背景も異なる状況で書かれた物語にも、シェイクスピアの名高い作品の影が映っていることを見ます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	授業の説明、 『レ・ミゼラブル』1 そもそもこれはどのような作品か	ヴィクトル・ユーゴー：ロマン主義運動の総帥 小説『レ・ミゼラブル』
2	『レ・ミゼラブル』2 ぶつかる二人の主要人物	ミュージカル： ジャン・ヴァルジャン とジャヴェール
3	『レ・ミゼラブル』3 ハッピーエンドのカップルともう一人	コゼットとマリウス エポニヌという存在
4	『レ・ミゼラブル』4 様々な作品	英語によるミュージカルということ 他の英語による映画、フランス語によるドラマなど
5	『椿姫』1 そもそもどのような作品か。「椿」の「お姫様」とは？	アレクサンドル・デュマ（息子）の小説と戯曲『椿姫』
6	『椿姫』２ 誰もが知っているあのメロディー	ジュゼッペ・ヴェルディのオペラ『椿姫』 序曲と冒頭 「乾杯の歌」
7	『椿姫』３ 父と息子、息子の妻	アルフレードの父とヴィオレッタ
8	『椿姫』４ 原作とオペラでなぜ最後が異なるのか	最終場面 小説と戯曲とオペラの比較
9	『ロミオとジュリエット』1 誰もが聞いたことはあるあの作家、あの作品、 誰もが見たことのあるあの場面	ウィリアム・シェイクスピアの戯曲：元ネタと著作権という考え方 映画版：ゼフィレッリ監督 1968 年 冒頭とバルコニーの場面
10	『ロミオとジュリエット』2 どう描くか、演出による違い	決闘の場面 最終場面 ゼフィレッリ版とルールマン版（1966 年）
11	『ロミオとジュリエット』3 バレエ：セリフがないシェイクスピア演劇	セルゲイ・プロコフィエフのバレエ音楽 冒頭 「騎士たちの踊り」 （シンセサイザーなどによる ELP 版） バルコニーの場面
12	『ロミオとジュリエット』4 原作と最後が大きく違うオペラ	シャルル・グノーのオペラ： 冒頭とバルコニーの場面 決闘の場面 最終場面
13	『ウエストサイド物語』1 誰もが見たことのあるあの振り付け	現代への翻案 ジャズ的表現：裏拍； 悪魔の？ 魅惑の？ 減 5 度 『ロミオとジュリエット』との比較： 登場人物と設定の共通点と違い 冒頭場面 Tonight America（The Nice による編曲）
14	『ウエストサイド物語』2 どこが、そしてなぜ「原作」と異なるのか	決闘場面 Cool 最終場面 永遠のテーマ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

扱われる作品の原作をあらかじめ読んでおいて下さい。さらに AV ライブラリなどで借りて映像作品をみておくといいかと思います。ただし現在の状況ではそれもなかなか難しいことだと考えられます。インターネットで視聴できるものは私のほうからも紹介しますが、皆さんも独自にいろいろ探してみてください。

1-4:原作の小説を読む。主要登場人物についてまとめる。映画版やドラマ版を選んでを視聴する。
5-8 ：原作の小説（できたら演劇も）を読む。オペラ版を選んで視聴する。
9-12 ：原作の演劇を読む。映画版やバレエ版を選んで視聴する。
13-14 ：映画版を視聴する。舞台版を選んで視聴する。
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

決まった教科書はありません。資料、教材を学習支援システムでお配りします。

【参考書】

【参考書 / References】
『大学生のためのレポート・論文術』小笠原喜康、講談社現代新書 1603.
『論文レポートの文章作法』古郡廷治、有斐閣新書 C164
『著作権とは何か』、福井建策、集英社新書 0924A
他にも随時紹介します。

【成績評価の方法と基準】

各作品の鑑賞と分析が一区切りついた時点で、600 字ほどの書き物を学習支援システムの「課題」を通して出していただき、その評価の合計で成績を出します（100 %）。春学期は 4 作品扱うので 4 回出していただくことになる予定です。

【学生の意見等からの気づき】

昨年度は、課題を出していただくのが頻繁過ぎたこともあり、私のほうでもなかなかお返しすることができませんでした。今年度は絞り込んだうえでなるべく早く見たいと思います。

【Outline and objectives】

This course deals with occidental literature, especially works adapted for music. Literature, which expresses its objects by signs, and music, which appeals to sentiments by sequences of sounds, are closely related to each other. Stories were once sung accompanied by musical instruments.
The works dealt with during the spring term will be:
"Les Misérables" (musical), "La Traviata"(opera), "Romeo and Juliet" (movie, ballet, opera), "West Side Story" (musical).

LIT200LA

外国文学と文化ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**西洋文学と音楽**

鈴木　正道

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**集中・その他**/intensive・other courses
単位数：2 **単位**
法文営国環キ 1〜4 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期に引き続いて、西洋の文学、特に音楽とかかわりの深い作品を扱います。モーツァルトとサリエリのライヴァル関係を描いた演劇および映画『アマデウス』を軸に、モーツァルトの『フィガロの結婚』、『ドン・ジオヴァンニ』、サリエリの『タラール』といったオペラ、モリエールの『ドン・ジュアン』、ボーマルシェの『フィガロの結婚』などの戯曲を分析します。その次に、ミュージカルとして人気を博しているルルー原作の『オペラ座の怪人』を扱います。

【到達目標】
芸術作品を観賞しつつ、批評、分析し、それを表現する手法を学びます。
「文学」のようなものは「実用性がない」ように言われがちですが、「衣食足りて」「モノ」から「コト」へと消費が移ってきた現在において、さまざまな知識を身に着けることで、今後の職業生活で必要な「ネタ」を蓄え、さらには自ら探り当てる習慣を身に着けることは大切でしょう。
この授業を履修することで、出版、メディア、教育などの分野で働くうえで必要な基礎的な知識と表現力を身につけることができます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
教室での授業ができない見込みですので、on demand 方式を採ることになりそうです。学習支援システムでその方法をおしらせします。教材や資料は同じく学習支援システムに載せます。皆さんは資料の情報を参考にしながら作品（のさわりとなる部分）を鑑賞し、教材に示された問題点、着眼点などについて考えてください。それぞれの作品ごとに課題として 600 字ほどの書き物を学習支援システムを通して出すことになります。私は同じく学習支援システムを通してお返しします。
秋学期には、イギリスの劇作家ピーター・シェファーの『アマデウス』を軸に、その中に登場するヨーロッパの 17 世紀から 18 世紀の文学作品、またそれにちなむ音楽作品を扱います。『アマデウス』は作者自身が脚色して映画化されて多くの人々に評価されたので、知っている方も多いことでしょう。まず、この作品の概要を見渡し、それからこの作品の中に登場する音楽、その原作となった文学作品を概観し、分析します。分析の方法論も学びます。
『オペラ座の怪人』は 20 世紀の初めにフランスのミステリー作家ガストン・ルルーによって発表された作品ですが、英語によるミュージカルで今では人気を博しています。美と醜、歴史的な建物に潜む謎など、ある意味では定番の数々のテーマを分析します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	授業の説明、 『アマデウス』とは	演劇と映画;「神に愛されたる者」の物語
2	『アマデウス』 衝撃の出会い	モーツァルトとサリエリのライヴァル関係 戯曲と映画
3	『フィガロの結婚』1 原作者はどんな人か オペラへの翻案	ボーマルシェの戯曲：政治的な意味合い ダ・ポンテの台本とモーツァルトのオペラ： 序曲と冒頭
4	『フィガロの結婚』2 ケルビーノというトリックスター	「自分で自分がわからない」 「もう飛ぶまいぞこの蝶々」 映画『アマデウス』におけるサリエリの行進曲の変奏
5	『フィガロの結婚』3 『アマデウス』で見せられる場面と実際の譜面の違い	第 2 幕の最終場面の 7 重唱 結婚式の場面 第 4 幕のどんでん返し 最終場面
6	『タラール』とはどんな作品か	ボーマルシェ自身が台本を書いたサリエリのオペラは当時のお手本オペラ
7	ドン・ファン伝説 モリエールの『ドン・ジュアン』1 唯物論者にして快楽主義者？	女たらしの伝説 無神論の誘惑者？ モリエールの演劇：フランス古典主義の時代 冒頭 貧者との対話の場面
8	『ドン・ジュアン』2 父親という法、掟	騎士隊長の像 亡霊 晩餐 最終場面
9	オペラ『ドン・ジオヴァンニ』1 グロテスク：おぞましくも滑稽	ダ・ポンテの台本とモーツァルトのオペラ：序曲、 女のリスト
10	『ドン・ジオヴァンニ』2 超自然をどう演出するか	村の娘の誘惑 騎士隊長の像
11	『ドン・ジオヴァンニ』3 再び『アマデウス』 歴史上の謎をどう演出するか	晩餐 最終場面のさまざまな演出： 映画『アマデウス』版 ロゼー版 精神分析：科学か 20 世紀の骨相学か 『アマデウス』の最終場面
12	『オペラ座の怪人』1 これはオペラではない、オペラ劇場を扱った作品。	原作者のガストン・ルルーとは？ 小説『オペラ座の怪人』 2004 年の映画版ミュージカル
13	『オペラ座の怪人』2 読み手／観客を惹きつける設定	ミュージカル： 人気スターと新進の歌い手、 謎と恐怖
14	『オペラ座の怪人』3 捕り物という定番クライマックスと余韻を残す最終場面	ミュージカル： 表の二枚目と裏のヒーロー

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
扱われる作品の原作をあらかじめ読んでおいて下さい。さらに AV ライブラリなどで借りて映像作品をみておくといいかと思います。ただし現在の状況ではそれもなかなか難しいことだと考えられます。インターネットで視聴できるものは私のほうからも紹介しますが、皆さんも独自にいろいろ探してみてください。
1-2 ：原作の演劇を読む。
3-5 ：原作の演劇を読む。オペラ版を選んで視聴する。
6 ：サリエリについて調べる。
7-10 ：ドン・ファンの伝説について調べる。オペラ『ドン・ジョヴァンニ』を選んで視聴する。
11 ：モーツァルトの晩年について調べる。
12-14 ：原作の小説を読む。映画版、ミュージカル版を選んで視聴する。
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
指定した教科書はありません。学習支援システムの「教材」を通して資料などを配ります。

【参考書】
『大学生のためのレポート・論文術』小笠原喜康、講談社現代新書 1603.
『論文レポートの文章作法』古郡廷治、有斐閣新書 C164
『著作権とは何か』、福井建策、集英社新書 0924A
他にも随時紹介します。

【成績評価の方法と基準】
各作品の鑑賞と分析が一区切りついた時点で、600 字ほどの書き物を学習支援システムの「課題」を通して出していただき、その評価の合計で成績を出します（100 %）。秋学期も 4 回ほど出していただく予定です。

【学生の意見等からの気づき】
昨年度は、課題を出していただくのが頻繁過ぎたこともあり、私のほうでもなかなかお返しすることができませんでした。今年度は絞り込んだうえでなるべく早く見たいと思います。

【Outline and objectives】
As in the spring semester, this course deals with occidental literature, especially works adapted for music. The works dealt with during the fall term will be:
"The Marriage of Figaro", "Tarare", "Don Giovanni" (opera works presented in Peter Shaffer's "Amadeus", which will be also treated in this course); "Le Fantôme de l'opéra", one of the most popular musicals, originally written by Gaston Leroux.

LIT200LA

外国文学と文化ＬＣ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**漢詩を作る**

日原　傳

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
初心者に漢詩の実作を指導する授業です。最初に漢詩の中でも最も厳格な規則に基づく「近体詩」の作り方について解説します。その上で漢詩（七言絶句）の実作に挑み、「近体詩」の規則についての理解を深めます。実作の参考になるように、実作と並行して春夏秋冬の風物を詠じた漢詩（歳時詩）を季節に沿って鑑賞してゆきます。春学期の授業では主に春から夏にかけての風物を詠じた漢詩を鑑賞します。

【到達目標】
・漢詩の読解・創作に必要な基本的知識の習得を目指す。
・近体詩の規則を理解し、それに従って漢詩の実作をする。
・日本の古典文学の世界で大きな位置を占める「漢文学」の存在を再認識する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
開講時から３回ほどを使って、漢詩の歴史、さまざまな詩形、近体詩の規則について説明する。その後は漢詩の実作指導を中心に据える。実作の参考になるように、一回ごとに異なるテーマを設け、毎回数首の漢詩を鑑賞する。日本人の作った漢詩もできるだけ紹介したい。日本の先人が中国に起源をもつ「漢詩」という定型詩と取り組み、各自の思いを表現していったことを知ってほしい。
※対面授業を基本にし、状況によってオンライン授業を組み合わせる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。
※課題等へのフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行なう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	歳時詩について、近体詩の規則①／梅の詩鑑賞	漢詩の歴史、さまざまな詩形、古体詩と近体詩の説明。「歳時詩」「二十四節気」「七十二候」の説明。正岡子規「聞子規」を例に作詩法を解説。／林逋「山園小梅」などを鑑賞。
第 2 回	近体詩の規則②／桜の詩鑑賞	平仄図式・押韻の説明。二四不同二六対、反法・粘法の説明。／藤井竹外「芳野」などを鑑賞。
第 3 回	近体詩の格律③／春遊の詩鑑賞	いくつかの禁忌（下三連、孤平、冒韻、同字の重複）について。／杜牧「江南春」、永井荷風「墨上春遊」などを鑑賞。／実作（七言一句を作る）
第 4 回	晩春の詩鑑賞／実作指導	白居易「三月三十日題慈恩寺」、呉錫麒「送春」などを鑑賞。／実作

第 5 回	ほととぎすの詩鑑賞／実作指導	杜甫「子規」、蠣崎波響「聞鵑」などを鑑賞。／実作
第 6 回	牡丹の詩鑑賞／実作指導	皮日休「牡丹」、石川丈山「白牡丹」などを鑑賞。／実作
第 7 回	薔薇・石榴の詩鑑賞／実作指導	高駢「山亭夏日」、柏木如亭「石榴」などを鑑賞。／実作
第 8 回	山行の詩鑑賞／実作指導	王安石「鍾山」、広瀬淡窓「彦山」などを鑑賞。／実作
第 9 回	梅雨の詩鑑賞／実作指導	趙師秀「約客」、篠崎小竹「梅雨」などを鑑賞。／実作
第 10 回	蓮の花の詩鑑賞／実作指導	白居易「池上」、菅茶山「夏日雑詩」などを鑑賞。／実作
第 11 回	螢・蟬・蠅・蚊の詩鑑賞／実作指導	杜甫「螢火」、北條霞亭「観螢」、蘇軾「渓陰堂」、韓愈「雑詩」などを鑑賞。／実作
第 12 回	苦熱・避暑・昼寝の詩鑑賞／実作指導	柳宗元「夏昼偶作」、袁枚「銷夏」、野田笛浦「昌平橋納涼」などを鑑賞。／実作
第 13 回	夕立の詩鑑賞／実作指導	蘇軾「六月二十七日、望湖楼酔書」、大窪詩仏「急雨」などを鑑賞。／実作
第 14 回	夏の江村・舟行・滝の詩鑑賞／実作指導	杜甫「江村」、李白「望廬山瀑布」などを鑑賞。／実作

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
参考書に挙げたような漢詩関連の書籍を読み、漢詩に親しむ。
本授業の準備・復習時間は、各２時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
担当者作成の資料を配布する。

【参考書】
石川忠久『漢詩を作る』（大修館書店）
石川忠久『漢詩の稽古』（大修館書店）
鷲野正明『初めての漢詩創作』（白帝社）
鈴木健一編『漢文のルール』（笠間書院）
前野直彬『唐詩選』全三冊（岩波文庫）
村上哲見『三体詩』全四冊（朝日文庫）
目加田誠『唐詩三百首』全三冊（平凡社）
山田勝美『中国名詩鑑賞辞典』（角川書店）
猪口篤志『日本漢詩鑑賞辞典』（角川書店）
石川忠久『漢詩をよむ　春の詩 100 選』『漢詩をよむ　夏の詩 100 選』『漢詩をよむ　秋の詩 100 選』『漢詩をよむ　冬の詩 100 選』（以上、NHK 出版）

【成績評価の方法と基準】
平常点（授業中の取り組み姿勢・授業中に作って提出する漢詩の実作）50 %
期末試験またはそれに代わる最終レポート 50 %

【学生の意見等からの気づき】
実作指導の時間を多くとれるように工夫する。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to help students acquire the necessary skills and knowledge needed to write Chinese poems.

LIT200LA

外国文学と文化ＬＤ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**漢詩を作る**

日原　傳

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
初心者に漢詩の実作を指導する授業です。最初に漢詩の中でも最も厳格な規則に基づく「近体詩」の作り方について解説します。その上で漢詩（七言絶句）の実作に挑み、「近体詩」の規則についての理解を深めます。実作の参考になるように、実作と並行して春夏秋冬の風物を詠じた漢詩（歳時詩）を季節に沿って鑑賞してゆきます。秋学期の授業では主に秋から冬にかけての風物を詠じた漢詩を鑑賞します。

【到達目標】
・漢詩の読解・創作に必要な基本的知識の習得を目指す。
・近体詩の規則を理解し、それに従って漢詩の実作をする。
・日本の古典文学の世界で大きな位置を占める「漢文学」の存在を再認識する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
開講時から３回ほどを使って、漢詩の歴史、さまざまな詩形、近体詩の規則について説明する。その後は漢詩の実作指導を中心に据える。実作の参考になるように、一回ごとに異なるテーマを設け、毎回数首の漢詩を鑑賞する。日本人の作った漢詩をできるだけ紹介したい。日本の先人が中国に起源をもつ「漢詩」という定型詩と取り組み、各自の思いを表現していったことを知ってほしい。
※対面授業を基本にし、状況によってオンライン授業を組み合わせる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。
※課題等へのフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行なう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	歳時詩について、近体詩の規則①／初秋の詩鑑賞	漢詩の歴史、古体詩と近体詩の説明。「歳時詩」「二十四節気」「七十二候」の説明。平仄図式・押韻の説明。／劉禹錫「秋風引」などを鑑賞。
第 2 回	近体詩の規則②／七夕の詩鑑賞	二四不同二六対、反法・粘法の説明。／杜牧「秋夕」、直江兼続「織女惜別」などを鑑賞。
第 3 回	近体詩の規則③／月の詩鑑賞	いくつかの禁忌（下三連、孤平、冒韻、同字の重複）の説明／白居易「八月十五日夜禁中独直対月憶元九」などを鑑賞。／実作（七言一句を作る）
第 4 回	重陽・菊の詩鑑賞／実作指導	王維「九月九日憶山東兄弟」、毛沢東「采桑子」などを鑑賞。／実作
第 5 回	十三夜の詩鑑賞／実作指導	上杉謙信「九月十三夜」、荻生徂徠「還舘作」などを鑑賞。／実作

第 6 回	紅葉の詩鑑賞／実作指導	杜牧「山行」、頼山陽「通天橋」などを鑑賞。／実作
第 7 回	雁の詩鑑賞／実作指導	庾信「秋夜望単飛雁」、韋応物「聞雁」などを鑑賞。／実作
第 8 回	冬の生活の詩鑑賞／実作指導	蘇東坡「贈劉景文」、楊万里「寒雀」、六如「霜暁」などを鑑賞。／実作
第 9 回	つばき・さざんかの詩鑑賞／実作指導	蘇東坡「山茶」、惲格「歳寒図」などを鑑賞。／実作
第 10 回	雪の詩鑑賞／実作指導	柳宗元「江雪」、菅茶山「冬夜読書」、溝口桂巌「長命晴雪」などを鑑賞。／実作
第 11 回	氷・霜の詩鑑賞／実作指導	藤井竹外「冬夜下澱江」、温庭筠「商山早行」などを鑑賞。／実作
第 12 回	冬至の詩鑑賞／実作指導	白居易「邯鄲冬至夜思家」、山田方谷「戊申至日宴集分韻」などを鑑賞。／実作
第 13 回	歳末の詩鑑賞／実作指導	高適「除夜作」、柏木如亭「除夜」などを鑑賞。／実作
第 14 回	新年の詩鑑賞／実作指導	張説「幽州新歳作」、菊池五山「新年雑述」などを鑑賞。／実作

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
参考書に挙げたような漢詩関連の書籍を読み、漢詩に親しむ。
本授業の準備・復習時間は、各２時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
担当者作成の資料を配布する。

【参考書】
石川忠久『漢詩を作る』（大修館書店）
石川忠久『漢詩の稽古』（大修館書店）
鷲野正明『初めての漢詩創作』（白帝社）
鈴木健一編『漢文のルール』（笠間書院）
前野直彬『唐詩選』全三冊（岩波文庫）
村上哲見『三体詩』全四冊（朝日文庫）
目加田誠『唐詩三百首』全三冊（平凡社）
山田勝美『中国名詩鑑賞辞典』（角川書店）
猪口篤志『日本漢詩鑑賞辞典』（角川書店）
石川忠久『漢詩をよむ　春の詩 100 選』『漢詩をよむ　夏の詩 100 選』『漢詩をよむ　秋の詩 100 選』『漢詩をよむ　冬の詩 100 選』（以上、NHK 出版）

【成績評価の方法と基準】
平常点（授業中の取り組み姿勢・授業中に作って提出する漢詩の実作）50 %
期末試験またはそれに代わる最終レポート　50 %

【学生の意見等からの気づき】
実作指導の時間を多くとれるように工夫する。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to help students acquire the necessary skills and knowledge needed to write Chinese poems.

LIT200LA

外国文学と文化ＬＥ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

大﨑　さやの

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**月 2**/Mon.2
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
オペラは１６世紀末にイタリアで生まれた舞台芸術形式です。本講義では、イタリア・オペラの代表的な作品をとりあげ、さまざまな演出により上演された舞台を映像で鑑賞、オペラという舞台芸術の歴史を学びつつ、現代におけるあり方を考えます。日本では比較的馴染みが薄いオペラですが、特にイタリア・オペラはありふれた内容のものが多く、肩肘張って見るような難しいものでは決してありません。楽しみながらヨーロッパ文化の神髄であるオペラに親しんでいきましょう。

【到達目標】
イタリアの文化と社会について理解を深めることにより、ヨーロッパの文化や社会全般に関する教養を身につけることが本講義の目標です。さまざまな興味を持つみなさんの参加を期待しています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
オペラの誕生したルネサンスから１８世紀までのオペラを講義形式で扱います。プリント（オンラインの場合 PDF）の他、視聴覚教材を用います。また適宜、課題を提出してもらいます。フィードバックは授業内で行います。
授業は対面とオンラインを組み合わせたハイブリッド方式で行う予定ですが、大学の行動方針レベルが２となった場合は原則としてすべてオンラインで行います。オンライン授業は GoogleClassroom 上で行います。GoogleClassroom のコードは授業支援システム（Hoppii）でお知らせします。なお、映像を多用するため、対面授業の場合のオンライン中継は行いません。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
①	イントロダクション ルネサンスの舞台芸術（1）	授業紹介 ルネサンスと宮廷音楽劇
②	ルネサンスの舞台芸術（2）	コンメディア・デッラルテとマドリガル・コメディー
③	オペラの誕生（1）	カメラータ・フィオレンティーナとオペラの誕生、モンテヴェルディの生涯
④	オペラの誕生（2）	モンテヴェルディ作曲のオペラ
⑤	バロック・オペラ（1）	ヴェネツィア・オペラとカストラートの隆盛
⑥	バロック・オペラ（2）	ヘンデルの生涯と作品
⑦	バロック・オペラ（3）	ヘンデル作曲のオペラ
⑧	オペラ・セーリアとオペラ改革（1）	グルック作曲の生涯と作品

⑨	オペラ・セーリアとオペラ改革（２）	グルック作曲のオペラ
⑩	オペラ・ブッファについて	ガルッピ、ハイドン作曲のオペラほか
⑪	古典派オペラ（１）	モーツァルト作曲のオペラ（１）生涯と作品
⑫	古典派オペラ（２）	モーツァルト作曲のオペラ（２）作品の前半部の鑑賞
⑬	古典派オペラ（３）	モーツァルト作曲のオペラ（３）作品の後半部の鑑賞
⑭	授業のまとめ	期末試験または期末課題。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業内、または GoogleClassroom で指示します。GoogleClassroom のコードは、授業支援システム (Hoppii) で指示します。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
GoogleClassroom で資料を配布します。教科書は使用しません。

【参考書】
授業内、または GoogleClassroom で紹介します。

【成績評価の方法と基準】
平常点（期限内に提出された課題含む）と期末試験（新型コロナウイルス蔓延の状況によっては期末課題）により評価します。

【学生の意見等からの気づき】
わかりやすい授業をこころがけます。

【学生が準備すべき機器他】
パソコン、タブレット、スマートフォンのいずれか、インターネットに接続できる機器
【重要】対面授業のみの場合と異なり、課題のレポートを作成し、オンラインで提出するにあたり、ワード等のワープロ機能（大学の Office 365 に入っています）を使用します。また、授業では映像を多用しますので、オンライン授業受講の際は通信容量が多く必要となります。

【Outline and objectives】
Opera is a performing art form born in Italy at the end of the sixteenth century. In this class, I will take up representative works of Italian opera and give a lecture on its history.

LIT200LA

外国文学と文化ＬＦ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

大﨑　さやの

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
オペラは１６世紀末にイタリアで生まれた舞台芸術形式です。本講義では、イタリア・オペラの代表的な作品をとりあげ、さまざまな演出により上演された舞台を映像で鑑賞、オペラという舞台芸術の歴史を学びつつ、現代におけるあり方を考えます。外国文学と文化Ｆでは、春学期の外国文学と文化Ｅに引き続き、１９世紀から２０世紀にかけての爛熟期のイタリア・オペラを扱います。

【到達目標】
イタリアの文化と社会について理解を深めることにより、ヨーロッパの文化や社会全般に関する教養を身につけることが本講義の目標です。さまざまな興味を持つみなさんの参加を期待しています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業では 18 世紀から 20 世紀にかけてのイタリア・オペラを扱います。プリント（オンラインの場合 PDF）の他、視聴覚教材を用います。また適宜、課題を提出してもらいます。フィードバックは授業内で行います。授業は対面とオンラインを組み合わせたハイブリッド方式で行う予定ですが、大学の行動方針レベルが２となった場合は原則としてすべてオンラインで行います。オンライン授業は GoogleClassroom 上で行います。GoogleClassroom のコードは授業支援システム（Hoppii）でお知らせします。なお、映像を多用するため、対面授業の場合のオンライン中継は行いません。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
①	オペラ・セーリアとオペラ・ブッファ	オペラ・ブッファについて
②	古典派オペラ（1）	モーツァルト作曲のオペラ（1）生涯と作品　作品解説
③	古典派オペラ（2）	モーツァルト作曲のオペラ（2）作品鑑賞
④	古典派オペラ（3）	モーツァルト作曲のオペラ（3）作品解説
⑤	古典派オペラ（4）	モーツァルト作曲のオペラ（4）作品鑑賞
⑥	ロマン派オペラ（3）	ロッシーニ作曲のオペラ（１）生涯と作品　作品解説
⑦	ロマン派オペラ（4）	ロッシーニ作曲のオペラ（2）作品鑑賞
⑧	ロマン派オペラ（5）	ドニゼッティ作曲のオペラ（1）生涯と作品　作品解説
⑨	ロマン派オペラ（6）	ドニゼッティ作曲のオペラ（2）作品鑑賞
⑩	ロマン派オペラ（7）	ヴェルディ作曲のオペラ（1）生涯と作品　作品解説

⑪	ロマン派オペラ（8）	ヴェルディ作曲のオペラ（2）作品鑑賞
⑫	ロマン派オペラ（9）	ヴェルディ作曲のオペラ（3）作品解説
⑬	世紀末から２０世紀にかけてのオペラ（２）	ヴェルディ作曲のオペラ（4）作品鑑賞
⑭	授業のまとめ	18 世紀から 19 世紀のイタリア・オペラ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業内、または GoogleClassroom で指示します。GoogleClassroom のコードは、授業支援システム (Hoppii) で指示します。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
GoogleClassroom で資料を配布します。教科書は使用しません。

【参考書】
授業内、または GoogleClassroom で紹介します。

【成績評価の方法と基準】
平常点（期限内に提出された課題含む）と期末試験（新型コロナウイルス蔓延の状況によっては期末課題）により評価します。

【学生の意見等からの気づき】
分り易い授業を心がけます。

【学生が準備すべき機器他】
パソコン、タブレット、スマートフォンのいずれか、インターネットに接続できる機器
【重要】対面授業のみの場合と異なり、課題のレポートを作成し、オンラインで提出するにあたり、ワード等のワープロ機能（大学の Office 365 に入っています）を使用します。また、授業では映像を多用しますので、オンライン授業受講の際は通信容量が多く必要となります。

【Outline and objectives】
Opera is a performing art form born in Italy at the end of the sixteenth century. In this class, I will take up representative works of Italian opera and give a lecture on its history.

LIT200LA

文学と社会ＬＡ

2017 年度以降入学者

佐藤　陽

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
日本文学と芸能を発生させた重要な機会として祭祀があります。この授業では祭に訪れる神、折口信夫の言うところの「まれびと」に焦点を当て、民俗学的な知見を踏まえつつ日本文学及び芸能の発生について考察します。

【到達目標】
・日本における祭祀の基本的な構造を理解することができる。
・日本文学や芸能の考察を通じて、個性や時代性を越えた集団的な心性についての知識を得る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
通常の講義形式で授業を進めます。講義の最後にはリアクションペーパーの提出を求めます。書いてもらったリアクションペーパーの内容は次の授業時などで共有していきたいと思います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	導入	芸能と文学を胚胎させる場としての祭式について
第 2 回	祭式に発する文学・芸能伝承	古橋信孝の提唱した巡行叙事と生産叙事について
第 3 回	折口信夫「まれびと」論（1）	折口信夫の唱えた「よりしろ」という概念についての概観
第 4 回	折口信夫「まれびと」論（2）	同じく折口の見出した「まれびと」と、近年ユネスコ無形文化遺産に登録された「来訪神」について
第 5 回	折口信夫「まれびと」論（3）	民俗事例としての硫黄島のメンドン、悪石島のボゼなどについて
第 6 回	古典文学に見る「まれびと」	上代文献に見る「まれびと」や新室祭、大殿祭などについて
第 7 回	上代文献と民俗事例に見る「ほかひびと」	『万葉集』の「乞食者詠」や『古事記』の蟹の歌などを紹介し、民俗事例に及ぶ
第 8 回	踏歌（1）	古代から平安時代宮廷踏歌について
第 9 回	農耕予祝の民俗行事	第 10・11 回の内容のための予備的考察
第 10 回	踏歌（2）	熱田神宮の踏歌頌文について　農耕予祝の側面を中心に
第 11 回	踏歌（3）	石清水の踏歌と「宝数え」の民俗・芸能について
第 12 回	古典文学と民俗事例にみる鬼	第 13 回の内容のための予備的考察
第 13 回	踏歌（4）	宇佐八幡の踏歌と追儺について
第 14 回	授業内試験	内容は前週に説明

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
それぞれの授業には連関があるので復習を重点的に行うことを勧めます。
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
不要。授業内で適宜プリントを配布します。

【参考書】
折口信夫『古代研究Ｖ 国文学篇１』（角川ソフィア文庫）２０１７
折口信夫『死者の書』（角川ソフィア文庫）２０１７
保坂達雄ほか『来訪神 仮面・仮装の神々』（岩田書院）２０１８
古橋信孝『古代和歌の発生』（東京大学出版会）１９８８
臼田甚五郎「日本に於ける踏歌の展開」『臼田甚五郎著作集第二巻 和歌文学研究』（おうふう）１９９５

【成績評価の方法と基準】
期末試験８５％。授業への取り組み（リアクションペーパーなど）１５％

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【学生が準備すべき機器他】
特になし

【その他の重要事項】
特になし

【Outline and objectives】
There is a ritual as an important opportunity to generate Japanese literature and performing arts. In this class, we will focus on what Shinobu Orikuchi, the god who visits the festival, calls "まれびと," and consider the emergence of Japanese literature and performing arts based on folklore knowledge.

LIT200LA

文学と社会ＬＢ

2017 年度以降入学者

佐藤　陽

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
古典文学を民俗学的に読み解き、そこに見られる普遍的な心性を考察していきます。学期の前半では日本の古典文学に見られる「常世」をキーワードとして、他界観念の種々相を学んでいきます。また、後半では恋の文学の類型的な発想の根源にある人と神との婚姻ということについて考えます。

【到達目標】
・日本における祭祀の基本的な構造を理解することができる。
・日本文学や芸能の考察を通じて、個性や時代性を越えた集団的な心性についての知識を得る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
通常の講義形式で授業を進めます。講義の最後にはリアクションペーパーの提出を求めます。書いてもらったリアクションペーパーの内容は次の授業時などで共有していきたいと思います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	常世（1）	折口信夫説とそれに対する批判について
第 2 回	常世（2）	沖縄のニライカナイとオボツカグラのことなど
第 3 回	常世（3）	『古事記』『日本書紀』のタヂマモリの伝承を中心に
第 4 回	常世（4）	『万葉集』に見る「常世」について
第 5 回	常世（5）	浦島伝承の展開について
第 6 回	常世（6）	中世に行われた補陀落渡海の信仰について
第 7 回	古代における恋愛とその起源（1）	神と神を迎える巫女について。古典文学と民俗事例から
第 8 回	古代における恋愛とその起源（2）	古典文学と民俗伝承に見る兄妹婚と創世説話について
第 9 回	古代における恋愛とその起源（3）	古典文学と民俗伝承に見る神婚譚について
第 10 回	古代における恋愛とその起源（4）	古典文学と民俗伝承に見る異類婚姻譚について
第 11 回	古代における恋愛とその起源（5）	恋情と神を感じる心の共通性について　『万葉集』の「ほに出づ」という表現を中心に
第 12 回	古代における恋愛とその起源（6）	「風流」の語義の変遷と反秩序としての恋について　第 12 回の内容のための予備的考察
第 13 回	古代における恋愛とその起源（7）	まれびとを翻弄する女性。『万葉集』巻十六・三八〇七歌を中心に
第 14 回	授業内試験	内容は前週に説明

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
それぞれの内容は連関しているので、復習をしっかりしておくことが望ましい。

本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
特になし。授業に臨んで適宜配布する。

【参考書】
折口信夫『古代研究Ｉ 民俗学篇１』（角川ソフィア文庫）２０１６
谷川健一『常世論　日本人の魂のゆくえ』（講談社学術文庫）１９８９
森朝男『恋と禁忌の古代文芸史』（若草書房）２００２

【成績評価の方法と基準】
期末試験８５％。授業への取り組み（リアクションペーパーなど）１５％

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【学生が準備すべき機器他】
特になし

【その他の重要事項】
春学期の授業を受講しておくのが望ましい。

【Outline and objectives】
We will read classical literature folklore and consider the universal spirit found in it. In the first half of the semester, we will study various aspects of other-world ideas with the keyword "常世" found in Japanese classical literature. In the second half, we will consider the marriage between a person and God, which is the root of the typological idea of love literature.

LIT200LA

文学と社会ＬＣ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**江戸の印刷・出版物**

白戸　満喜子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 3/Wed.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では江戸時代の文学作品『御存商売物』を通読します。作品を通して江戸の出版文化の多様性に触れていきます。江戸という地域・時代に暮らした人々が手にしていた、読んでいた、眼にしていた、時には聴いていたさまざまなメディアを、実際に読んだり聴いたりすることで江戸を体感します。

【到達目標】
江戸時代の特徴的な文化や慣習・感覚をテキスト『御存商売物』を通じて理解することが目標。
くずし字（変体仮名）で書かれた簡単な出版・印刷物を判読できるようになることがもう一つの目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンラインで資料配布方式により実施します。また、第１回目の授業 (２０２１年４月７日水曜３限) はオンラインでオリエンテーションを行います。詳細は学習支援システム（Hoppii）で伝達しますので、そちらを確認してください。
授業は『御存商売物』という江戸時代の印刷・出版物を人物になぞらえた作品を通読しながら講義を行います。あわせて作品の中に登場人物として描かれている印刷・出版物を読解する演習形式を取り入れます。意匠絵本（デザイン集）・暦など、簡単な読み物の翻字（くずし字を現代仮名遣いにすること）のノウハウを解説します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	・江戸時代の文学について ・テキスト『御存商売物』について ・外国人から見た江戸
2	テキスト『御存商売物』の解説	・日本の書物 ・江戸後期の文学作品 ・江戸の出版
3	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・江戸の紋様 ・大坂と江戸
4	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・江戸の人気小説 ・江戸の食べ物
5	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・江戸の絵画 ・江戸時代までの紙 ・江戸の流行歌
6	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・「見立（みたて）」という表現 ・小道具と物語の関係 ・絵と文の関係を読み取る

7	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・江戸の慣習 ・江戸の街並み
8	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・江戸の繁華街「吉原」 ・浮世絵と鑑賞の基礎知識
9	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・現在と異なる暦 ・江戸の教養を支えた書物
10	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・江戸の土産物 ・江戸時代の夫婦喧嘩
11	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・江戸の占い ・江戸のおまじない
12	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・江戸の学問書 ・江戸時代の情報伝達
13	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・江戸時代の流行り廃り ・江戸の刑罰
14	授業のまとめ	・江戸時代の豊かな出版文化

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業中に随時、レポートに関する情報を話しますので、その情報を参考にしながら江戸に関する知識を広げて下さい。
くずし字の読解に必要な資料（配布プリント）は毎回持参し、授業前には一読しておくこと。くずし字読解の準備として 2 時間、復習に 2 時間、計 4 時間を必要とします。

【テキスト（教科書）】
授業中にプリントを配布します

【参考書】
くずし字読解のための参考文献は以下の 2 冊ですが、読解に必要なプリントは別途授業中に配布します。
・笠間影印叢刊刊行会『字典かな』笠間書院
・松尾聡編『変体平仮名演習』笠間書院

【成績評価の方法と基準】
レポート 40 %　筆記試験（最後の授業時に一回）40 %　平常点（授業への取り組み・発言）20 %　として評価します。
詳細は開講時にお知らせします。

【学生の意見等からの気づき】
「高校までは学んでこなかった、非常に興味深い内容だった」という感想が寄せられています。古典文学でもなく、現在の小説とも異なる、江戸の大人の娯楽と教養を『御存商売物』という作品を通じて楽しんで下さい。

【Outline and objectives】
In this class, we read through the literary work "Gozonji-no-shobaimono" in the Edo Period. Through the work we can touch on the diversity of Edo's publishing culture. You will experience Edo by actually reading and listening to various media that people were living in in the region & the era of Edo. Sometimes you can listen the audible media.

LIT200LA

文学と社会ＬＤ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**江戸の絵本で読む百人一首**

白戸　満喜子

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 3/Wed.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
浮世絵が添えられた絵本『錦百人一首あづま織』（国立国会図書館所蔵）https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2533227 を受講生全員で分担し、読解・解釈をします。最近では競技としての知名度が上がってきた百人一首が、いつ、どのようにして成立し、また現在まで人々に愛されてきたのか。江戸時代の人々が楽しんだ百人一首を読み解き、和歌の解釈と描かれた歌人について学んでいきます。

【到達目標】
くずし字で書かれた和歌（ひらかなの部分とその字母）を判読し、解釈することが各受講生の目標です。
各自の担当する和歌について、１：字母を確認しながら翻字をする、２：解釈（意味や技法）する、という 2 点から考察・発表をし、『錦百人一首あづま織』という絵本の成立を理解し、和歌の知識を深めます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
はじめは百人一首と『錦百人一首あづま織』について講義を行います。その後は受講生がそれぞれ分担する和歌についての読解・解釈を順番に発表します。発表者以外はそれぞれの読解・解釈を準備しておき、発表内容に対して授業内掲示板で意見交換をします。
なお、大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンラインで資料配布方式にて実施します。詳細は学習支援システム（Hoppii）で伝達しますので、そちらを確認してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション 百人一首とは何か くずし字読解の方法と解釈	テキスト『錦百人一首あづま織』の発表順番決定
2	テキスト『錦百人一首あづま織』の構成について解説	テキストに関する講義
3	テキスト『錦百人一首あづま織』の読解方法	テキストの翻字・解釈の具体的な方法・内容
4	勅撰和歌集に関する講義１および受講者による発表１回目	・勅撰和歌集とは何か：八代集 ・担当者による発表
5	勅撰和歌集に関する講義２および受講者による発表２回目	・勅撰和歌集にまつわる逸話 ・担当者による発表
6	歌合に関する講義１および受講者による発表３回目	・歌合とは何か ・担当者による発表

7	歌合に関する講義２および受講者による発表４回目	・歌合に賭けた歌人たち ・担当者による発表
8	歌道に関する講義および受講者による発表５回目	・歌道とは何か―和歌の変化 ・担当者による発表
9	百人一首の中世写本に関する講義および受講者による発表６回目	・中世における百人一首 ・担当者による発表
10	百人一首の近世写本に関する講義および受講者による発表７回目	・手で書き写された百人一首：近世の写本 ・担当者による発表
11	百人一首版本に関する講義１および受講者による発表８回目	・印刷された百人一首 ・担当者による発表
12	百人一首版本に関する講義２および受講者による発表９回目	・浮世絵と百人一首 ・担当者による発表
13	百人一首版本に関する講義３および受講者による発表１０	・百人一首とかるた ・担当者による発表
14	テキスト『錦百人一首あづま織』のまとめ	教員による全体の解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
履修者にはこちらから発表分担となる和歌を指定します。受講生は各自が分担する和歌の翻字と読解・解釈を第３回目の授業までに提出してください。分担以外の和歌については、それぞれ読解しておいてください。各自の読解に基づいて発表内容に対する意見交換をします。
くずし字の読解に必要な資料（配布プリント）は毎回持参し、授業前には一読しておくこと。テキストのくずし字読解として 2 時間、授業で扱った和歌の字母確認・復習に 2 時間を毎回必要とします。

【テキスト（教科書）】
『錦百人一首あづま織』(国立国会図書館所蔵) https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2533227

【参考書】
くずし字を読むための参考文献は以下の 2 冊ですが、読解用のプリントは教材にアップロードします。文学と社会ＬＣ既習者は同じプリントになります。
・笠間影印叢刊刊行会『字典かな』笠間書院
・松尾聡編『変体平仮名演習』笠間書院

【成績評価の方法と基準】
分担発表の内容 30 ％　平常点（授業内での意見内容）30 ％　期末レポート 40 ％　として評価します。

【学生の意見等からの気づき】
「江戸時代の文字を翻字すること、内容を読み解くこと、どちらも謎解きのようで楽しかった」という感想が寄せられています。くずし字の読解は、昔の日本人たちと時空を越えたコミュニケーションをするようなもの。
語学習得に似ているものの、ひと味異なる独特の達成感を味わって下さい。

【その他の重要事項】
関連部分があるので文学と社会ＬＣを履修していることが望ましいものの、前向きな性格・柔軟な思考・気合などのどれかがあれば秋学期のみの履修も可能。

【Outline and objectives】
In this class, we read the original book of "Nishiki Hyakunin Isshu Azuma Ori" https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2533227 with ukiyo-e. Hyakunin Isshu has been loved by people, and recently it has gained recognition as a sport. We will read Hyakunin Isshu which was made in the Edo period, and learn about the interpretation of waka and the singer drawn.

LIT200LA

文学と社会ＬＥ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

中澤　忠之

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**集中・その他**/intensive・other courses
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
小説を読むとき、私たちはどんなところを重視するでしょう。たとえば、泣けるかどうかとか、感情移入できるかどうか、とかいったところでしょうか。実際、これまで中学校や高校の現国の授業では、主人公の心情を素直に読み取るトレーニングを受けてきたはずです。しかし、小説の書き方・読み方は一様ではありません。この講義は、小説の書き方・読み方には多様性があることを知り（夏目漱石とライトノベルを優劣関係ではなく多様性の一つとして捉えること）、それを身に付ける土台作りとなるでしょう。そのためにはまず、小説の成り立ちをおさらいすることからはじめます。そして文学史にしたがって、小説の書き方・読み方が変化し、新たな書き方・読み方の発見が文学史を豊かに形成してきたことを確認します。戦前の文学史がメインですが、最近の文学史にも積極的にふれます。マンガや映画、美術など、文学に隣接するジャンルにもしばしば言及したい。

【到達目標】
創作物を単に主観的に受容するのではなく、対象化して評価する技術と教養を身に付け、作品受容の許容範囲が広がることを目指します。文学に関心がある学生はもちろん、ポップカルチャーやサブカルチャーのジャンルに関心がある学生も歓迎します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
毎週配信するオンデマンドのラジオ講義と資料配布によって進めていきます。
課題の提出は、学習支援システム（HOPPII）の「課題」から行います（詳細は最初の講義で解説します）。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	講義の概要説明および導入。
第 2 回	現在の文学が置かれた状況	最近の文学事情を、他のジャンルとの関係から明らかにする。
第 3 回	文学作品の読み方	文学の仕組みを解説して、高校時代までの読み方を相対化する。
第 4 回	近代文学の誕生①	言文一致（いわゆる近代日本語）を中心に、近代文学が形になったプロセスを解説。 言文一致形成の全体像を確認する。
第 5 回	近代文学の誕生②	言文一致形成の初期（明治 10 から 20 年代）の状況を作品を参照しながら確認する。
第 6 回	近代文学の誕生③	言文一致形成の後期（明治 30 から 40 年代）の状況を作品を参照しながら確認する。

第 7 回	文学史第 1 期（明治 20～40 年の文学）	リアリズム（写実主義）は近代に確立した表現法だが、そのリアリズムが確立した時代の表現パターンを解説。
第 8 回	文学史第 2 期（大正時代の文学）	私小説がはやった時代の表現パターンを解説。文学における自己表現を問題にしたい。
第 9 回	文学史第 3 期（1920 年代）①	社会が大衆化したモダニズムの時代の表現パターンを解説。
第 10 回	文学史第 3 期（1920 年代）②	具体的な文学作品を参照する。
第 11 回	文学史第 4 期（1930 年代）①	文学表現が成熟した時代の表現パターンを解説。現代の表現とも関係させる。
第 12 回	文学史第 4 期（1930 年代）②	具体的な文学作品を参照する。
第 13 回	現在の文学との接点	過去の文学を参照することで現代文学の読み書きにいかに応用できるのかを考察する。
第 14 回	まとめ	これまでの講義の総括。今後の現代文学の読み方についても触れる。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
少しでも文学作品に触れてください。しかし闇雲に読むのではなく、ジャンルを意識しながら読むことをおすすめします。ジャンルが分からなければ、大きめの本屋に行って書棚がどういう配置になっているのか、どういう本が収まっているのかを確認してみるのもよいです。たとえば、映画をよく観る人は TSUTAYA の棚陳列がどういうジャンル区分に従っているのかよくわかっているはずです。AKB48 のファンは、素人目には同じように見える顔が、それぞれ個性を持ち、ジャンル分けできることを知っているはずです。文学も同じです。小説を全く読まない人は、まず『ノルウェイの森』（村上春樹）と『時をかける少女』（筒井康隆）と『涼宮ハルヒの憂鬱』（谷川流）の 3 冊を読み比べてみてください。
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
随時プリントを配布します。

【参考書】
なし。

【成績評価の方法と基準】
最後に提出してもらうレポートが評価の主要な対象となります。各回ごとの課題（400 字程度）も評価したい。評価の割合は最後のレポートが 70 %、課題を 30 %とします。

【学生の意見等からの気づき】
基本的に口述と板書が多いので、「授業の概要を示すプリントがあればよい」という意見がありました。重要なポイントとなるところではプリントで示すことも考慮に入れようと思います。

【Outline and objectives】
This lecture aims to give techniques and cultures to read novels, using the work of modern Japanese literature.
How to write and read novels is not single. In this lecture, you can learn that diversity exists in how to write and read novels. Let's begin by reviewing the origins of the novel. And according to the history of literature, We confirm that the way of writing and reading the novel has changed.

LIT200LA

文学と社会ＬＦ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

中澤　忠之

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**集中・その他**/intensive・other courses
単位数：2 **単位**
法文営国環キ 1～4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
普段何気なく読んでいる小説が、きわめて政治的で社会的なものであるということを考えたことがあるでしょうか。文学作品は、人畜無害な単なるフィクションではありません。ときに世の中の差別や偏見を生み出し助長するものであり、特定の個人や集団を傷つけるものでもあります。あるいはまた、社会秩序を乱すとして批判される過激な暴力や性表現も無視できないでしょう。もちろんその一方で、社会の差別や偏見と戦ってきた歴史も、文学にはあります。文学作品における、こういった政治的かつ社会的な側面を、本講義では取り上げます。素材は性表現と差別表現がメインです。
メディア環境が激変している昨今の事情に対応させて、取り上げる表現は文学のみならず、映画やマンガなど多岐にわたる予定です。現在進行形の話題も積極的に扱います。

【到達目標】
これまでなんとなくイメージしてきた表現の自由や表現の暴力性といった概念を、法規制や表現史を通して具体的に捉えられる教養の獲得を到達目標とします。文学に関心がある学生のみならず、法律等社会の制度設計に関心のある学生も歓迎します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
毎週配信するオンデマンドのラジオ講義と資料配布によって進めていきます。
課題の提出は、学習支援システム（HOPPII）の「課題」から行います（詳細は最初の講義で解説します）。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	講義の概要説明および導入。
第 2 回	文学が置かれた社会状況	表現規制の最近の動向を解説。
第 3 回	性表現・暴力表現と規制①	性・暴力表現とその規制の歴史を振り返る。
第 4 回	性表現・暴力表現と規制②	「わいせつ罪」を中心に、現代社会における性・暴力表現を考える。
第 5 回	性表現・暴力表現と規制③	「青少年保護」を中心に、現代社会における性・暴力表現を考える。
第 6 回	性表現・暴力表現と規制④	「児童ポルノ」を中心に、現代社会における性・暴力表現を考える。
第 7 回	性表現・暴力表現と規制⑤	ネット社会における性・暴力表現について解説する。
第 8 回	差別表現と規制①	差別表現とその規制の概要を解説する。
第 9 回	差別表現と規制②	差別の仕組みを知るために、具体的な作品を参照する。

第 10 回	差別表現と規制③	戦後の日本における差別の歴史を振り返る。
第 11 回	差別表現と規制④	差別には複数のパターンがあるので、それらを分節化して解説する。
第 12 回	差別表現と規制⑤	差別表現とその規制の現在。特にネット社会における差別表現（Metoo 運動など）を考える。
第 13 回	差別表現と規制⑥	最近話題になる嫌韓・嫌中的な「ヘイトスピーチ」について考察する。
第 14 回	まとめ	これまでの講義の総括。表現の自由とその規制の社会的バランスを考える。 また、補足として、著作権やプライバシーの問題から表現の社会性をにも言及したい。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
まず何より活字や映像作品に触れてください。そして、表現規制の話題は常時ニュースになるので、そのつど気にかけて、新聞やウェブでの議論に触れてほしい。たとえば、昨今話題になっている性表現なり差別表現に対する規制強化の動き、あるいはネット上で盛んに行われている著作物の無断コピーや二次創作等について考えてみるのもよいでしょう。
ここ数年は、美術家の性的な表現物がわいせつ罪に問われたり、また差別的なヘイトスピーチがメディアで盛んに取り扱われています。文学作品にとらわれず、こういった表現にかかわる社会的問題に注目してください。
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
随時プリントを配布します。

【参考書】
なし。

【成績評価の方法と基準】
最後に提出してもらうレポートが評価の主要な対象となります。各回ごとの課題（400 字程度）も評価したい。評価の割合は最後のレポートが 70 %、課題を 30 %とします。

【学生の意見等からの気づき】
基本的に口述と板書が多いので、「授業の概要を示すプリントがあればよい」という意見がありました。重要なポイントとなるところではプリントで示すことも考慮に入れようと思います。
映像を積極的に導入し、時事的な話題も取り入れました。

【Outline and objectives】
The novel has a very political and social part. Literary works are not mere fiction. They sometimes produce discrimination and prejudice of the world, and they also hurt certain individuals and groups.Or you can not ignore radical violence or sexual expression that is criticized as disturbing the social order.
On the other hand, literature also has a history of fighting social discrimination and prejudice. This lecture will cover these political and social aspects of literary works. Sexual expression and discrimination are the main material.

LIT200LA

日本文学と文化 LG

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**現代日本文学と映像表現**

榎本　正樹

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**集中・その他**/intensive・other courses
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
現代日本文学を原作として映画化された作品の一部を観賞した上で、原作の小説を講読します。2020 年に劇場公開された以下の 6 作品を取りあげる予定です（作品の配列は劇場公開日順です）。
同一の物語内容を含んだ文学表現と映像表現を比較対照し、分析することで、言葉と映像それぞれのメディア固有の表現や技法について考えを深めるとともに、「文学固有の表現とは何か？」という視点から小説を読む力の獲得を目指します。
【授業で取りあげる作品】
野中ともそ『宇宙でいちばんあかるい屋根』（藤井道人監督）
今村夏子『星の子』（大森立嗣監督）
辻村深月『朝が来る』（河瀬直美監督）
塩田武士『罪の声』（土井裕泰監督）
若竹千佐子『おらおらでひとりいぐも』（沖田修一監督）
田辺聖子『ジョゼと虎と魚たち』（タムラコータロー監督）
＊劇場公開順。作品は変更の可能性があります。

【到達目標】
現代日本文学の多様なジャンルの小説を深く読むことで、複雑な言語構成体としてのテクストから様々な要素を抽出し、整理し、分析することができるようになります。さらに、個人の生き方や社会システム、性、生、死、ジェンダー、家族、事件、歴史などの諸問題について思考する力を養います。言語表現と映像表現を比較対照することで、メディア固有の表現やメディア間の相互接続性についても理解を深めます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義形式をとります。映画の一部を観賞した後、原作小説を精読し、作品分析を行っていきます。映像メディアである映画と言語メディアである小説を比較検討することによって、情報提示の仕方、叙述の方法、人物設定、物語構成の違いなど、表現上の相違点を明らかにしていきます。
履修者には、現代日本文学の多様な表現世界や作品固有の表現に触れ、作品について深く思考し、考えをまとめ、批評的な言葉でアウトプットする力が求められます。小説を事前に読んでいなくても理解できる形で授業を進めていきますが、取りあげる作品については、事前に読んで授業に臨むのがベストです。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
(1)	イントロダクション	ガイダンス授業
(2)	野中ともそ『宇宙でいちばんあかるい屋根』を読む	小説の講読＆分析＆考察

(3)	藤井道人監督『宇宙でいちばんあかるい屋根』を観る	原作の映画解読
(4)	今村夏子『星の子』を読む	小説の講読＆分析＆考察
(5)	大森立嗣監督『星の子』を観る	原作の映画解読
(6)	辻村深月『朝が来る』を読む	小説の講読＆分析＆考察
(7)	河瀬直美監督『朝が来る』を観る	原作の映画解読
(8)	塩田武士『罪の声』を読む	小説の講読＆分析＆考察
(9)	土井裕泰監督『罪の声』を観る	原作の映画解読
(10)	若竹千佐子『おらおらでひとりいぐも』を読む	小説の講読＆分析＆考察
(11)	沖田修一監督『おらおらでひとりいぐも』を観る	原作の映画解読
(12)	田辺聖子『ジョゼと虎と魚たち』を読む	小説の講読＆分析＆考察
(13)	タムラコータロー監督『ジョゼと虎と魚たち』を観る	原作の映画解読
(14)	レポート提出	授業内レポート提出

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。
事前に原作小説を読んでいなくても理解できる形で授業を進めていきますが、物語内容や人物関係を把握する上でも、小説を読んで授業に臨むのがベストです。授業で取りあげた小説や映像作品は、授業外の環境で、もう一度読み直し観賞し直し、作品の理解を深めるよう努めてください。
最終授業時に提出するレポート執筆の事前準備として、対象作品を精読し、その中で得た「気づき」をメモにとったり、疑問点や重要なポイントと思われる箇所についてまとめる作業を随時行ってください。

【テキスト（教科書）】
授業で扱う小説の文庫本。

【参考書】
参考書・参考文献は、教室で指示します。
必要な資料はプリントで配付します。

【成績評価の方法と基準】
レポートで評価します（100 %）。
試験や小テストはありません。
レポートは春学期最終授業時間に提出します。レポート内容は、「授業でとりあげた作品の中から一作品を選び、作品論を展開する」というものです。授業内容を踏まえ、自分が選んだ作品について、自分で設定したテーマに基づき、自分の言葉で「論」を展開してください。
分析の鋭さ、論考の深さ、文章の正確さ、構成の巧みさなどを見て採点します。詳細は、初回のガイダンス授業時に説明します。

【学生の意見等からの気づき】
映画を観る時間を増やしてほしいとの意見が多くあるので、可能な限り鑑賞時間を増やす努力をします。
専門科目ではないので、現代日本文学になじみのない学生にも分かりやすい言葉で、分析と解説を行うよう心がけます。

【その他の重要事項】
現代日本文学のみならず、映像メディアに関心をもつ学生の履修を歓迎します。
榎本のプロフィールや研究・評論活動は、サイト（http://enmt.jp）で確認できます。ツイッター（@enmt）での情報発信も行っていますので、履修時の参考にしてください。

【Outline and objectives】
We read the original novel after having watched movie work that filmized as "Contemporary Japanese literature". I select from the following 6 works in 2020.

We compare movie expression with the literature expression including the same story contents, we are analyzing peculiar expressin words and movies.

LIT200LA

日本文学と文化 LH

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

榎本　正樹

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**集中・その他**/intensive・other courses
単位数：2 **単位**
法文営国環キ 1〜4 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
新海誠監督のアニメーション映画『君の名は。』は、アニメーション界や映画界を超えた近年の日本映画最大のヒット作品として、多くの観客の支持と共感を得ました。国内観客動員数 1,900 万人を突破、興行収入 250 億円を超える大ヒットとなり、邦画興行収入歴代 2 位を記録、アジア圏では 7 冠達成を記録し、日本のみならず世界各国の記録を塗り替えることになりました。2019 年には最新作『天気の子』が封切られ、前作同様の評価を得ました。アニメーションというジャンルの枠を越えた同時代の重要な表現者として、新海誠という存在をとらえ直す必要があります。
新海誠というクリエーターの名前を、『君の名は。』で初めて知った人が多いかもしれませんが、新海監督のキャリアは 2000 年代初頭にまで遡ることができます。新海作品の根底にあるのは「言葉」に重きを置いた世界造形、言い換えれば「文学」への強い視線です。人と人の間の繊細なコミュニケーションを、精緻な言葉と独自の映像美学によって表現するその姿勢は、「アニメーションという表現手段を用いた文学」と形容可能なものです。
新海誠は「アニメーション監督」であるとともに「小説家」でもあります。新海は自身の手で代表作をノベライズ（小説化）を手がけていますが、それらは単に映像作品を言葉に置き換えたものではなく、小説作品として自立しています。同一の作者による映画版と小説版を比較検討することで、映像表現と小説表現の違いを検証することが可能です。
本講義では、新海誠の初期作品から最新作まで入手可能な映像作品を参観しつつ、「新海誠の文学世界」を紐解いていきます。同時代の先端的な表現者である新海誠の主要作品を「網羅的」に観賞し、かつ「分析的」に解読する経験を通して、作品批評のための技術を獲得します。

【到達目標】
映像作品であるアニメーションを分析的に解読する技術を身につけ、表現や仕掛けや物語構造などについて、自分の言葉で論述できるレベルを目指します。関連資料を参照し、さまざまな他人の意見やコメントに目を通し、作品のモデルとなった場所に実際に赴くことで、作品の背景にある文化的、歴史的、地理的背景について深く学び、作品を客観的に論じる力を得ます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業は講義とプレゼンテーションを合わせた形で行います。新海誠作品を初期から最新作まで（場合によっては作品の一部を）を観賞し、各シーンについて解説と分析を加えていきます。アニメーションで重要なのはシーンを構成するカットです。カットにはクリエーターの「世界そのものへの純粋な視線」が投影されています。
もう一つ重要なのは、言葉（ナレーションや科白や対話）です。本授業では新海作品の言葉に特に注目し、物語の中で言葉がどのように作用しあい、コミュニケーションの主題を提示していくのかを細かく探っていきます。
新海監督自身の言葉、関連資料の紹介や他の論者の考察など、作品をめぐる多様な言説を紹介する機会も設けます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
(1)	イントロダクション	新海誠、その人と作品について
(2)	『遠い世界』『彼女と彼女の猫』	最初期作品を概観する
(3)	『ほしのこえ』	物理的な「距離」と精神的な「距離」
(4)	『雲のむこう、約束の場所』	SF の趣向を通して表現された世界
(5)	『秒速５センチメートル』	人物と風景、あるいは速度をめぐる物語
(6)	『星を追う子ども』	異界に移動し帰還する子どもたち
(7)	『言の葉の庭』	独自の映像美学を支える文学性
(8)	『小説 言の葉の庭』	ノベライゼーションの方法
(9)	短編作品＆ CM 作品	新海誠のアザーワークス
(10)	『君の名は。』前半	すれ違いと入れ替わりの趣向をめぐって
(11)	『君の名は。』後半	共苦する魂のゆくえ
(12)	『天気の子』前半	作品で描かれた 2021 年
(13)	『天気の子』後半	人身御供譚としての読みとり
(14)	レポート提出	授業内レポート提出

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。
アニメーションを観たり小説を読む際に受動的に観賞するのではなく、作品の細部について自分の言葉で客観的に書いたり話したりする習慣をつけましょう。授業で取りあげる映像作品や小説を繰り返し観たり読んだりして、その中で得た「気づき」をメモにとったり、疑問点や重要なポイントと思われる箇所についてまとめる作業を随時行ってください。
また機会があれば、作品の中に登場する場所に赴く「聖地巡礼」に挑戦してみてください。実在する場所が物語のシーンでどのような意味を与えられているのか、体験的に学習してください。

【テキスト（教科書）】
榎本による新海誠についての評論本が、2021 年夏頃までに刊行される予定です。秋学期の授業開始には間に合うと思われますので、刊行が正式にアナウンス可能な時期になった段階で、使用教科書として告知します。

【参考書】
授業で扱う新海誠のノベライゼーション作品は参考書とします。必要に応じて、個人で入手してください。『小説 秒速５センチメートル』『小説 言の葉の庭』『小説 君の名は。』『小説 天気の子』とも、角川文庫で入手可能です（電子書籍版もあります）。
http://www.kadokawa.co.jp/product/321510000146/
http://www.kadokawa.co.jp/product/321510000145/
http://www.kadokawa.co.jp/product/321603000121/
https://www.kadokawa.co.jp/product/321903000333/
その他の参考書・参考文献や参考サイトは膨大にあるので、教室で示します。
必要な資料はプリントで配付します。

【成績評価の方法と基準】
レポートで評価します（100 %）。
試験や小テストはありません。
レポートは秋学期最終授業時間に提出です。レポート内容は、「新海誠監督作品の中から、一作品または複数の作品を選び、作品論を展開する」というものです。授業内容を踏まえ、自分が選んだ作品について、自分で設定したテーマに基づき、自分の言葉で論を展開してください。
分析の鋭さ、論考の深さ、文章の正確さ、構成の巧みさなどを中心に採点します。詳細は、初回のガイダンス授業時に説明します。

【学生の意見等からの気づき】
専門用語など難易度が高いタームの使用を控え、初級者にも理解しやすい授業を心がけます。
可能な限り映像作品を観る機会を増やします。

【その他の重要事項】
アニメーションや現代日本文学に関心をもつ学生の履修を歓迎します。
榎本のプロフィールや研究・評論活動は、サイト（http://enmt.jp）で確認できます。ツイッター（@enmt）での情報発信も行っていますので、履修時の参考にしてください。

【Outline and objectives】
Shinkai Makoto is Japanese animation director. His animation film is highly acclaimed not only in Japan but also overseas. Last summer, his latest work " Weathering With You" was released. I decode Shinkai's all animation works from various viewpoints.

LIN200LA

音声学 L

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

江村　裕文

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**火** 2/Tue.2
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年※定員制
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
「言語」は、音声の形式という表現面と意味の形式という内容面が結びついた言語記号が単位であるようなシステムであり、このシステムの解明を対象とする学問分野のことを「言語学」と称します。
この「言語」の表現面の「音声」を扱う分野を「音韻論」と称します。「音韻論」は言語の音声の形式面を対象とします。これのに対して、言語の音声の実質面を扱うのが「音声学」です。つまり「音声学」は、この言語の表現面である音声の実質を対象とする経験科学です。
この授業では、言語音（「単音」）の記述方法および記述された記号の実現化（再現つまり実際に発音できるようになること）を授業内容とします。

【到達目標】
この授業では、「音声学」の記述方法であるＩＰＡの方法論的な考え方を身につけ、ＩＰＡを音声化したり、実際の音声をＩＰＡによって記述するための基礎的な技能を訓練することを目的とします。
補足として、音声の形式面である「音韻論」（「音素論」）にも触れます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
まず「言語学」は言語をどういうものとして見ているかを概説し、表現面の形式である「音韻」が実質である「音声」によって実現されているという発想に慣れ、実践的な訓練に入ります。具体的には、人間の発声器官の呼称を確認し、個々の単音について母音と子音に分けて調音の方法および聞き取り、記述について詳述しながら発音指導を行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	導入　1	教材の配布 言語とは
2	導入　2	音声とは
3	調音（発音器官）	どこでどのように発音するか
4	発音記号（音声記号）	音声記述の方法
5	母音 ダニエル・ジョーンズの基本母音を中心に 閉鎖音・鼻濁音	聞き取ってみる 調音してみる
6	子音 閉鎖音（破裂音） 摩擦音　1	聞き取ってみる 調音してみる
7	子音 摩擦音　2	聞き取ってみる 調音してみる

8	子音 その他 子音のまとめ	聞き取ってみる 調音してみる
9	韻律的問題	アクセント イントネーション （プロソディー）
10	「音声学」試験	「音声学」の概念に関する理解
11	「音韻論（音素論）」	音素とは何か 対立について
12	日本語の形態音韻変化１	「転音」について
13	日本語の形態音韻変化２	「連濁」について
14	最終試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
音声学はスポーツと同じです。いくら水泳の仕方や自転車の乗り方を詳しく教わって、浮力や水流、足の漕ぎ方やバランスのとり方等を頭で理解したとしても、泳げるわけもないし自転車に乗れるわけでもありません。
できない発音があっても、訓練すればだれでもできるようになります。できないのはやる気がないからだけです。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
決まったテキストを使う予定はありません。発音器官の図とＩＰＡの表は、最初の授業時間に配布します。

【参考書】
聞いて発音してみる授業ですが、読んで理解したい学生のためにふさわしい参考書は紹介・指示します。

【成績評価の方法と基準】
平常点４０点、（理論）試験の得点３０点、（実施）試験の得点３０点、合計１００点で評価します。
ただし、必要に応じてレポートを課すことがあります。その場合はそのレポートも評価に反映します。

【学生の意見等からの気づき】
２０１８年度に受講した学生は、ドイツ語・フランス語・スペイン語・ロシア語・朝鮮語・中国語・沖縄方言等の履修をしていたが、異口同音に「発音」について理解が深まったと感想を述べています。「（一般）音声学」をマスターすれば、世界のあらゆる言語の音声について自信が持てるようになります。

【Outline and objectives】
There are two aspects in language. The first is a aspect of "form", the essence of language. The second is a aspect of "substance". The aspect of "substance" is the sound use for language, human voice for language. The field treats human voice for language is "Phonetics".
The title of this class is "Phonetisc". The purpose of this class is to master what is IPA, and how use the this symbol.

PHL200LA

哲学ＬＩ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

大西　正人

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火** 5/Tue.5
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
哲学の基本的性格と歴史と基本問題を概観します。この概観によって、教養知の原理を理解し、現代人が直面する諸問題を、広くて新しい視野から考え、解決すること目的とします。
特にこのＩの講義は、人間とは何か、その本質に迫ろうとする哲学的人間論です。新技術の開発などによってこれまで考えられもしなかった人間の新しいあり方について選択と決断を迫られる現代においてこそ、人間らしさとは何かが切実に問われます。なお、日本の哲学や 20 世紀以降の思想にも焦点を当てます。

【到達目標】
基本的性格と歴史と基本問題の探究を通して教養知の原理としての哲学を理解できるようにします。到達目標は、受講生が実際に名著の思想世界に触れてみる体験をし、またその体験を表現できるようにすることです。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義形式により進めます。一人の思想家ごとに、その作品を二三週間に分けて集中的に読みます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	哲学とは？
2	プラトン (1)	「イデアの萌芽」としての人間存在
3	プラトン (2)	『饗宴』アリストファネスの話
4	プラトン (3)	『饗宴』ソクラテスの話
5	西田幾多郎 (1)	『善の研究』-『知即愛』の命題
6	西田幾多郎 (2)	「主客合一」としての人間存在
7	和辻哲郎 (1)	『倫理学』-「間柄」としての人間存在
8	和辻哲郎 (2)	「矛盾的統一」としての人間存在
9	和辻哲郎 (3)	『風土』-「風土」のうちに己を見出す人間存在
10	和辻哲郎 (4)	主体としての風土
11	ブーバー (1)	『我と汝』
12	ブーバー (2)	「汝」としての世界
13	ブーバー (3)	「本質行為」としての人間
14	まとめ	ふりかえりと試験対策

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
講義で取り上げられ、その一部が教材プリントとして授業内でも配布される下記の文献は、すべて岩波文庫で入手できるので、学生は、授業計画に合わせてこれらの文献を読むことが推奨される。
プラトン『饗宴』、西田幾多郎『善の研究』、和辻哲郎『倫理学』(一)、和辻哲郎『風土』、マルティン・ブーバー『我と汝・対話』
復習として、講義の内容をノートで整理すること。
本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
こちらでプリントを用意します。

【参考書】
授業中に指示します。

【成績評価の方法と基準】
原則、試験 100 %で評価。

【学生の意見等からの気づき】
期末の参照可テストに備えて、板書の仕方を工夫したい。

【学生が準備すべき機器他】
なし

【その他の重要事項】
ノートをとることが大切です。

【Outline and objectives】
This lecture is a philosophical human theory trying to think about human nature. In modern times where we are forced to make choices and decisions about the new way of human beings that we have never considered before,such as through the development of new technologies,something is being deeply questioned about humanness. We will also focus on Japanese philosophy and ideas after the 20th century.

PHL200LA

哲学ＬⅡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

大西　正人

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**火** 5/Tue.5
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
古代から現代に到る哲学の根本問題を、古代から現代の主要学説を手がかりにしながらできるだけ平明に解説します。哲学が古い常識を批判し、新しい常識をクリエートすることであることをテーマとします。西洋哲学は、万物の根源を人間の理性の力で探り、そうして捉えられた全体としての世界の中に自分を位置づけたいという人間的欲求とともに始まりました。講義では、こうした「形而上学的」な欲求が、世界を全体として非常に生き生きとした自己形成的なものと見る自己形成的世界観として、現代にいたるまでの様々な知的探求の背景になっている様子をみます。

【到達目標】
主要な哲学説の根本問題を学習することを通して常識批判としての哲学を理解することを到達目標とします。受講生が実際に名著の思想世界に触れてみる体験をし、またその体験を表現できるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義形式により進めます。一人の思想家ごとに、その作品を二三週間に分けて集中的に読みます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	哲学への導入
2	今西錦司	生命的自然観－自己形成的存在論の前哨として
3	その 2	今西錦司『生物の世界』を読む
4	アリストテレス	自己形成的存在論としての形而上学
5	その 2	アリストテレス『形而上学』を読む
6	自己形成的存在論の展開としての近代哲学	近代化の原理としての主観客観二元論
7	デカルトの近代的世界観	近代的主客二元論とは?
8	デカルト (2)	『省察』を読む
9	デカルト (3)	デカルトの機械論的自然観-「近代的分裂」の予告としての近代的主客二元論
10	「近代的分裂」の予告としての近代的主客二元論	近代哲学の分裂－合理論と経験論
11	カントとヘーゲル	カントによる近代哲学の分裂克服の試み
12	カントとヘーゲル (2)	カントのアンチノミー論
13	カントとヘーゲル (3)	ヘーゲルの弁証法的世界観
14	カントとヘーゲル (4)	ヘーゲルの弁証法的世界観その 2

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
講義で扱われる下記の文献などは事前に読むことが推奨される。
今西錦司『生物の世界』、アリストテレス『形而上学』、デカルト『省察』
復習として、講義の内容をノートで整理すること。
本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
こちらでプリントを用意します。

【参考書】
授業中に指示します。

【成績評価の方法と基準】
原則、試験 100 %で評価。

【学生の意見等からの気づき】
期末の参照可テストに備えて、板書の仕方を工夫したい。

【その他の重要事項】
ノートをとることが大切です。

【Outline and objectives】
Western philosophy began with human desire to explore the root of all things with the power of human reason and to position himself in the whole world captured as such. In the lecture, we see how these metaphysical needs are behind various intellectual explorations up to the present age, becoming a self-organizing-world-view that the world as a whole is very vivid and self-organizing.

PHL200LA

哲学ＬⅠ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

白根　裕里枝

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
哲学というと難しいという印象があるかもしれないが，何も特別のことではない。私たちは生きてゆく上で、常に様々な行為を選んで、様々な幸せを目指しているが、善く生きて幸福になるためには、よりよく、正しく考えること、つまり哲学が必要なのである。人間の尊厳は考えるということにある。誰もが、正しく考えるために、哲学を学ぶことが必要なのである。
哲学はあらゆる学問の基礎である。学生は、何を学ぶにしても、哲学がその根本に関わることを知るだろう。さらには他の学問、とりわけ、今日、絶大なる信頼を持ってその地位の確立されている近代科学のあり方を振り返ることで、哲学の重要性も再確認できるだろう。その上で、哲学を学ぶことで、私たちが幸せによく生きるためにはどうしたらよいかを考えてみたい。哲学とは、本来、学ぶものではなく、自分で考えるものなのだから。

【到達目標】
この授業では西洋の哲学の基礎を学ぶ。哲学は古代ギリシアに誕生した。どのような考えのもとで、哲学が生まれたのか、その後、どのような変遷を辿ったのか、そもそも哲学が問題としたことは何であるのか、古代ギリシアの源流から探りたい。
哲学（Ⅰ）では、哲学の源である古代ギリシア哲学に遡って、哲学とは何か、その根本的な特徴を捉えた上で、哲学はその他の学問や科学とはどう異なるのか、また、なぜ哲学が必要とされるのかなどを探ってみたい。
学生は、まずはオーソドックスな哲学の基礎を学ぶことで、哲学のそもそもの誕生の現場を知ることができる。それは学問の誕生の場でもあるから、すべての学問を学ぶ上での基本的な見取り図を手に入れることができるだろう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業は基本的にプリントを用いた講義形式である。哲学者たちの生き方をめぐるエピソードなども交えながら、オーソドックスな哲学の考え方をわかりやすく講義してゆく。補助資料によって著名な哲学者たちの言葉に直接に触れることで、理解を深めてゆきたい。できるだけ、わかりやすい授業を目指す。毎回の課題の提出を重視する。課題のコメントの提出によって、自分の考えを確認する機会にもなるだろう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	序論	足の裏に影はあるか？
2	哲学の基本的性格 1	「哲学」とは何か？
3	哲学の基本的性格 2	ギリシアにおける「哲学」の誕生
4	哲学の歴史 1 （哲学の出発点１）	無知の自覚と愛知
5	哲学の歴史 2 （哲学の出発点２）	ソクラテスの無知の自覚

6	哲学の歴史 3 （哲学の出発点３）	懐疑、驚き、絶望…（デカルト～ヤスパース）
7	哲学の歴史 4 （哲学の究極）	愛についての考察・イデア論とプラトニックラブ
8	哲学の歴史 5 （哲学とは何か・まとめ）	愛の３つの対象と知への愛
9	哲学の基本問題 1 （哲学と科学１）	知についての考察――哲学と学問知
10	哲学の基本問題 2 （哲学と科学２）	対象の違い――部分と全体、本質と現象
11	哲学の基本問題 3 （哲学と科学３）	方法の違い――仮説と真理、分析と反省
12	哲学の基本問題 4 （哲学と科学４）	事実と価値・目的と手段
13	哲学の基本問題 5 （哲学と科学５）	主体知と客体知・相補性
14	哲学Ⅰ　まとめと学期末試験	授業内試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業で取り上げた著作を、実際に手に取って読んでみること。本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
受講者は、下記を必ず読むこと。
『哲学のすすめ』岩崎武雄、講談社現代新書、1966 年、￥ 814

【参考書】
『西洋哲学史 古代・中世編―フィロソフィアの源流と伝統』内山 勝利、中川 純男、ミネルヴァ書房
『哲学の歴史』１～５、中央公論新社
『はじめて学ぶ哲学』渡辺二郎、ちくま学芸文庫

【成績評価の方法と基準】
毎回の課題の提出などの平常点（40 %）と、学期末試験（レポート）（60 %）によって評価する。試験のレポートは、授業で扱った内容について自分の考えを書くという論述形式である。

【学生の意見等からの気づき】
難しそうという印象の哲学だったが、授業は分かりやすく、楽しく哲学を学ぶことができたということなので、引き続き、哲学の面白さ、素晴しさをじっくり伝えてゆきたい。生きて行く上で、哲学をますます身近なものとしてもらいたい。対面授業の場合、授業中の私語には厳しく対処し、板書の写メ、スマホも禁止してゆく。オンラインの場合、酷似したレポートはどちらも減点の対象とする。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to help students understand how important philosophy is, by studying the philosophical thoughts in ancient Greece and their relation to science.

PHL200LA

哲学ＬⅡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

白根　裕里枝

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1～4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
哲学 (Ⅱ) では、「Ⅲ. 哲学と宗教」、「Ⅳ. 哲学と幸福」について考察する。宗教というと嫌いだとか怖いと思う人もいるかも知れないが、ユダヤ教､イスラム教、キリスト教はどれも同じ神を信じながら、今日、様々な問題を引き起こしているのも事実である。まずは、その思想と歴史的事実をよりよく知ることが重要である。宗教の成立過程を見ることで、宗教の思索の持つ素晴しい面や意義を知ることができ、また逆に、その問題点や危険性を知ることもできるだろう。哲学の観点から、今日における宗教の問題を考え、哲学の意義を再考してみたい。
他方で、哲学は人間の真の幸福を探求する。幸福、つまり、善き生とは何か。われわれは誰もが幸福になりたいと願っているが、たとえば、科学だけで、あるいは、宗教によって、幸福になれるのだろうか？ 幸福になるには何よりも哲学が必要である。幸福になるための条件とは何であり、そもそも幸福とは何なのだろうか。哲学の観点から幸福について考えてみたい。

【到達目標】
西洋の文化や思想、芸術に大きな影響を与えてきたキリスト教だが、その教義の形成にはギリシア哲学が大きな影響を与えてきた。学生は、哲学との対比を通して、キリスト教やその他の宗教について、付かず離れずに見る視点を確保することができるだろう。偉大な宗教は、人間の弱さ、惨めさをとことん見つめようとする。哲学は、人間の知の可能性を可能な限り追求する。「信じる」ことと「知る」こととの緊張関係において、哲学と宗教の接点を考えてみたい。
また、幸福とは何か？ どうしたらわれわれは幸福な生を送ることができるのか？ 古代ギリシア・ローマの幸福論をみることで、私たちの幸福について考え直してみたい。幸福になるには、よく知るということがいかに大事か、真の幸福の鍵が哲学にあることが理解されるだろう。愚かさこそが、私たちの不幸の原因なのだから。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業は基本的にプリント配信を用いた講義形式で進める。まずは、哲学と宗教の根本的相違点である知と信の問題に触れる。その上で、ユダヤ教、キリスト教、ギリシア哲学者たちの神観などについて、補助プリントなども用いて概要を把握した上で、哲学と宗教との関わりについて考えたい。また、補助資料によって、哲学者たちの生き方をめぐるユニークなエピソードなども交えながら、著名な哲学者たちの言葉に直接に触れることで、オーソドックスな哲学の考え方をわかりやすく講義して理解を深めてゆきたい。できるだけ、分かりやすい授業を目指す。毎回の課題の提出やコメントを重視する。課題やコメントの提出によって、自分の考えを確認する機会にもなるだろう。なるべく哲学Ⅰから取るようにして下さい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	序論	哲学とは何か?哲学と科学と宗教

2	哲学の基本的性格１	哲学と宗教の相違点———知の立場と信の立場
3	哲学の基本的性格２（宗教の予備学習１）	ユダヤ教とキリスト教
4	哲学の基本的性格３（宗教の予備学習２）	キリスト教——愛の宗教
5	哲学の根本問題について１（哲学と宗教１）	知と信の葛藤——ギリシア哲学とキリスト教
6	哲学の根本問題について２（哲学と宗教２）	現代における宗教の存在理由——理性の偉大さとその限界
7	哲学の根本問題について３（哲学と宗教３）	宗教心の源泉——パスカル『パンセ』より
8	哲学の根本問題について４（哲学と宗教４）	自由意志と悪の問題——パスカルとアウグスティヌス
9	哲学の根本問題について５（哲学と宗教５）	自力と他力——人間の強さと弱さについて
10	現代日本と哲学について（哲学と幸福１）	幸福論——哲学とよき生について
11	現代日本と哲学について（哲学と幸福２）	意志の弱さと選択の問題
12	現代世界と哲学について（哲学と幸福３）	正義と幸福——ソクラテスの場合
13	現代世界と哲学について（幸福論の系譜）	ソクラテスの後継者たち——禁欲主義と快楽主義
14	哲学Ⅱ　まとめ	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業で触れて、興味を持った哲学者の著作を、自分で手に取って読んでみて下さい。本授業の準備・復習時間は、各々２時間程度を標準とします。

【テキスト（教科書）】
受講者は、下記を必ず読むこと。
『哲学のすすめ』岩崎武雄、講談社現代新書、1966 年、￥ 814

【参考書】
『西洋哲学史 古代・中世編―フィロソフィアの源流と伝統』
　内山 勝利、中川 純男著、ミネルヴァ書房
『哲学の歴史』１～５、中央公論新社
『はじめて学ぶ哲学』渡辺二郎、ちくま学芸文庫

【成績評価の方法と基準】
毎回の課題の提出などの平常点（40 %）と、学期末試験（レポート）（60 %）によって評価する。毎回の課題を提出済みであること。学期末試験のレポートは、授業で扱った内容について自分の考えを書くという論述形式である。

【学生の意見等からの気づき】
　難しそうという印象の哲学だったが、授業は分かりやすく、じっくり楽しく哲学を学ぶことができたということなので、引き続き、哲学の面白さ、素晴しさを伝えてゆきたい。生きて行く上で、哲学をますます身近なものとしてもらいたい。対面授業の場合、授業中の私語には厳しく対処し、板書の写メ、スマホも禁止してゆく。オンラインの場合、酷似したレポートはどちらも減点の対象とする。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to help students understand how important philosophy is, by studying the philosophical thoughts in ancient Greece and their relation to religion. And also this course introduces the philosophical theory of eudaemonics (happiness) to students taking this course.

PHL200LA

倫理学ＬⅠ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**ケアの倫理学**

森村　修

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1～4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
《授業の概要》
　2020 年から 2021 年にかけて、新型コロナウィルス感染の爆発的流行（パンデミック pandemic）に、全世界が巻き込まれた。2021 年になっても収束する決定的な要因を見出せず、世界では感染は増え続けている。それに対して、各国の医療は感染者の治療に間に合っているとはいえない状況にある。
　生死を分ける「トリアージ（どの患者から治療するかという優先順位づけ）」が日常的に行われ、「生命の線引き」が後を絶たない。また、若年層には重篤化する傾向が少なく、感染しても無症状の可能性が高いのに対して、中高年層や持病を持った患者は死に至るケースが多い。これらのことから、年齢差別的な事態も引き起こされかねない。
　コロナウィルスのパンデミックによって、私たちの社会の「道徳性」の弱さが露呈し、個人主義的というよりも利己主義的な個人の倫理観や社会道徳の意味などが問われているように思われる。自己中心的な価値観に基づくあまり、誰もが自分以外の他者に対して〈優しくない〉雰囲気を醸し出しているといえよう。
　本授業では、「ケアの倫理」という立場から、「自己をケアすること」・「他者をケアすること」から出発し、いかに社会や国家だけでなく、世界や地球全体を守り、ケアするかという大きな問いにまで視野を広げていく。
　そこで本授業では、自分の個人的な行為が、見ず知らずの多数の人に影響を与えかねない現代社会の倫理性の問題を、「ケア」という角度から哲学的・倫理学的に分析する。
《授業の目的》
　本科目は、1980 年代に始まった比較的新しい「ケアの倫理」を学んでいく科目である。「ケアの倫理」では、「ケアとは何か」、「誰が誰をケアするのか」、「グローバル・エシックスにおけるケアとは何か」などの様々な問いを検討することを通じて、「ケア」という概念が私たちが生きている現場で必要不可欠な概念であることを明らかにする。また、「他者をケアすることの意味」や「自己へのケアの必要性」を考察することの重要性を学んでいく。
　さらに「グローバル社会におけるケアの意味」、「正義の倫理」と「ケアの倫理」との対比を考察しながら、「愛とケア」に重点を置く、新しい「愛とケアのグローバル倫理」を構築することが、本授業の最終的なテーマである。

【到達目標】
(1)「倫理学」という学問について、近隣諸学（哲学、法学、宗教学、政治学など）との違いを説明することができる。
(2)「応用倫理学」のなかで、「生命倫理学」と「ケアの倫理学」との異同について比較することができる。
(3)「正義の倫理」と「ケアの倫理」についての歴史的経緯について、具体的に述べることができる。
(4)「ケア」概念を包括的に理解し、学際的な立場から、科学と倫理学の学問性の違いについて説明することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
【授業の方法】

基本的に、授業は「講義形式」で行う。場合によっては、リアクションペーパーを用いて、受講生の皆さんと討論することも考えている。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	・履修上の注意 ・「ケアの倫理」についての概要説明
2	第 1 章　生きることの倫理①	・生きることの質（QOL）
3	第 1 章　生きることの倫理②	・健康であることの意味
4	第 1 章　生きることの倫理③	・死ぬことの意味
5	第 1 章　生きることの倫理④	・死に立ち会うこと
6	第 1 章　生きることの倫理⑤	・ペットロス
7	第 1 章　生きることの倫理⑥	・死への準備教育（Death Education）
8	第 2 章　「ケア」の倫理①	・「ケア」の思想①——メイヤロフ『ケアの本質』
9	第 2 章　「ケア」の倫理②	・「ケア」の思想②——義理ガン『もう一つの声』
10	第 2 章　「ケア」の倫理③	・〈心〉が傷ついた人のケア
11	第 2 章　「ケア」の倫理④	・スピリチュアルケア（spiritual care）——〈いたみ〉を分かち合うこと
12	第 3 章　支え合うことの倫理	・ケア意識の発達
13	第 3 章　支え合うことの倫理	・ケアする人を支えるために
14	まとめ	・「自己へのケア」から「他者へのケア」へ、そして「支え合いとしてのケア」へ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業内で触れたことについて、様々な書籍、雑誌、新聞やインターネットで確認し、自分の知識を増やすように心がけること。倫理学は、生き方に関わる学問である。座学では何も身につかない。積極的に、倫理的な問題を考え、自ら主体的に学ぶように日頃から気をつける必要がある。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
・森村修『ケアの倫理』（大修館書店、2000 年）
・森村修『ケアの形而上学』（大修館書店、2020 年）
・Virginia Held, *THe Ethics of Care: Personal, Political, and Global*, Oxford University Press, 2006.

【参考書】
竹田純郎・伊坂青司・森秀樹編『生と死の現在——家庭・学校・地域のなかのデス・エデュケーション』（ナカニシヤ出版、2002 年）

【成績評価の方法と基準】
毎回のリアクションペーパーや授業内で行う小テストなど（70 %）と期末試験（30 %）によって、総合的に評価する。
〈**要注意**〉
・リアルタイム・オンライン授業の場合には、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業内や学習支援システムで提示する。
初回授業日に、その時点での成績評価の方針について、「学習支援システム」で受講者に通知する。

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【学生が準備すべき機器他】
ビデオ、DVD など AV 機器を用いる場合がある。

【その他の重要事項】
「ケアの倫理」は、単に授業ですわっていれば自然と身につくものではない。自らの主体的な実践を伴わない「ケア」や「〈癒しと救い〉」は、単なる「絵に描いた餅」でしかなく、生きるためには何の役にも立たない。受講生各自が、自らの日々の生活のなかで、「ケアとは何か」「何をケアするのか」「ケアするためには何が必要なのか」「ケアとは何をしなければならないことなのか」などという問いを自らに問いかけ、それに答える努力を欠かさないようにしてもらいたい。

【Outline and objectives】
In this course, we examine the question "What is care?" from the perspective of "Global Ethics of Care and Justice". At that time, in this subject, we will consider the problem of care labor by examining the specific question of "who cares who". In addition, we will ask the contemporary significance of the previously controversial issue of the conflict between care and justice. From there, As described above, we will examine the question of "What is care ethics in global ethics" in the 21st century from various angles.

PHL200LA

倫理学ＬⅡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**ケアの形而上学**

森村　修

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
《授業の概要》

2020 年から 2021 年にかけて、新型コロナウィルス感染の爆発的流行（パンデミック pandemic）に、全世界が巻き込まれた。2021 年になっても収束する決定的な要因を見出せず、世界では感染は増え続けている。それに対して、各国の医療は感染者の治療に間に合っているとはいえない状況にある。

生死を分ける「トリアージ（どの患者から治療するかという優先順位づけ）」が日常的に行われ、「生命の線引き」が後を絶たない。また、若年層には重篤化する傾向が少なく、感染しても無症状の可能性が高いのに対して、中高年層や持病を持った患者は死に至るケースが多い。これらのことから、年齢差別的な事態も引き起こされかねない。

コロナウィルスのパンデミックによって、私たちの社会の「道徳性」の弱さが露呈し、個人主義的というよりも利己主義的な個人の倫理観や社会道徳の意味などが問われているように思われる。自己中心的な価値観に基づくあまり、誰もが自分以外の他者に対して〈優しくない〉雰囲気を醸し出しているといえよう。

本授業では、「ケアの倫理」という立場から、「自己をケアすること」・「他者をケアすること」から出発し、いかに社会や国家だけでなく、世界や地球全体を守り、ケアするかという大きな問いにまで視野を広げていく。

そこで本授業では、自分の個人的な行為が、見ず知らずの多数の人に影響を与えかねない現代社会の倫理性の問題を、「ケア」という角度から哲学的・倫理学的に分析する。

《授業の目的》

本科目は、1980 年代に始まった比較的新しい「ケアの倫理」を学んでいく科目である。「ケアの倫理」では、「ケアとは何か」、「誰が誰をケアするのか」、「グローバル・エシックスにおけるケアとは何か」などの様々な問いを検討することを通じて、「ケア」という概念が私たちが生きている現場で必要不可欠な概念であることを明らかにする。また、「他者をケアすることの意味」や「自己へのケアの必要性」を考察することの重要性を学んでいく。

さらに「グローバル社会におけるケアの意味」、「正義の倫理」と「ケアの倫理」との対比を考察しながら、「愛とケア」に重点を置く、新しい「愛とケアのグローバル倫理」を構築することが、本授業の最終的なテーマである。

【到達目標】
(1)「倫理学」という学問について、近隣諸学（哲学、法学、宗教学、政治学など）との違いを説明することができる。
(2)「応用倫理学」のなかで、「生命倫理学」と「ケアの倫理学」との異同について比較することができる。
(3)「正義の倫理」と「ケアの倫理」についての歴史的経緯について、具体的に述べることができる。
(4)「ケア」概念を包括的に理解し、学際的な立場から、科学と倫理学の学問性の違いについて説明することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
【授業の方法】

基本的に、授業は「講義形式」で行う。場合によっては、リアクションペーパーを用いて、受講生の皆さんと討論することも考えている。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	・受講上の注意 ・「ケアの倫理」入門
2	第 1 章　暴力被害者のケア①	・〈生き残ること〉と〈生き延びること〉 ・「こども虐待」という〈社会・政治的暴力〉
3	第 1 章　暴力被害者のケア②	・「新たなる傷つきし者」の出現——「社会・政治的トラウマ」の問題 ・〈情動を抱える生〉の〈ケアの倫理〉
4	第 2 章　「生き延びる者」へのケア——長寿高齢社会の現実①	・哲学的課題としての「認知症」 ・「認知症」が問いかけるもの
5	第 2 章　「生き延びる者」へのケア——長寿高齢社会の現実②	・「社会的疾患」としての「認知症」 ・「認知症」における〈こころ〉と脳
6	第 2 章　「生き延びる者」へのケア——長寿高齢社会の現実③	・認知症ケアの倫理
7	第 3 章　〈社会的孤立者〉へのケア——「孤独死」社会における倫理①	・「孤独死」の現在 ・「ひとりで死ぬこと」の意味
8	第 3 章　〈社会的孤立者〉へのケア——「孤独死」社会における倫理②	・「何も共有していない者たちの共同体」の倫理 ・〈他者としての死者〉を抱えて〈生き延びる〉こと
9	第 3 章　〈社会的孤立者〉へのケア——「孤独死」社会における倫理③	・アポリアの経験 ・喪の倫理
10	第 4 章　〈からだ〉と〈ことば〉のケア倫理①	・〈からだ〉という問題圏 ・東洋的心身論の試み
11	第 4 章　〈からだ〉と〈ことば〉のケア倫理②	・富士谷御杖の思想 ・〈身〉と〈言〉 ・〈身〉と〈こころ〉 ・「言霊」の〈力〉
12	第 5 章　「生存の美学」としてのケア①	・アウトサイダーとアーと・セラピー ・ヘンリー・ダーガーの世界
13	第 5 章　「生存の美学」としてのケア②	・他者への配慮 ・レベッカ・ブラウンの「贈与」
14	第 5 章　「生存の美学」としてのケア③	・デヴィッド・グレーバーの価値論について ・贈与としてのケア

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
森村修『ケアの形而上学』、大修館書店、2020 年

【参考書】
森村修『ケアの倫理』、大修館書店、2000 年

【成績評価の方法と基準】
毎回のリアクションペーパーや小テスト（70 %）と期末試験（あるいはレポート）（30 %）によって、総合的に評価する。
※ リアルタイム・オンライン授業の場合は、変更の可能性がある。

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【学生が準備すべき機器他】
オンライン授業の場合には、インターネットなどの必要な設備が必要である。

【Outline and objectives】
In this course, we examine the question "What is care?" from the perspective of "Global Ethics of Care and Justice". At that time, in this subject, we will consider the problem of care labor by examining the specific question of "who cares who". In addition, we will ask the contemporary significance of the previously controversial issue of the conflict between care and justice. From there, As described above, we will examine the question of "What is care ethics in global ethics" in the 21st century from various angles.

PHL200LA

倫理学ＬⅠ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

佐藤　英明

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この講義では、おもに人の生命誕生に関わる生命倫理問題に目を向けながら、倫理学の基本的な概念を学ぶ。

【到達目標】
いま何が問われ、それに対してどのような倫理学上の立場が存在するのかを学ぶことを通して、倫理学の基本的な知識を身につけるとともに、具体的な生命倫理問題を通じて自ら思索を深めることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義を中心に進めるが、授業中にとりあげた問題に対して受講者自身の意見を求めることもある。原則として毎回リアクションペーパー（課題）の提出を求める。授業の初めに、前回の授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。
大学の行動方針レベルが１の場合は、オンライン授業と対面授業を併用する。レベルが２となった場合は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	倫理学の基本概念	倫理学とはどのようなことを研究対象とする学問なのか、倫理学全般に関して説明する。
第 2 回	規範倫理学・記述倫理学・メタ倫理学	倫理学の 3 つのレベルについて、その概要を説明する。
第 3 回	バイオエシックスの誕生	1970 年代に米国においてバイオエシックスが誕生した背景を解説する。
第 4 回	バイオエシックスの諸問題	バイオエシックスにおいて取り扱われるテーマを解説する。
第 5 回	倫理的価値としての生命	生命や健康は価値あるものとされているが、それはいかなる理由からかを考える。
第 6 回	生命の誕生と人工妊娠中絶の問題	生殖に関する生命倫理問題を考察する。
第 7 回	人口抑制と環境問題	生殖に関する生命倫理問題と人口問題や環境問題との関係を考察する。
第 8 回	「自然」とは何か	倫理問題を考えるうえで「自然」という概念がいかなる意味を持つのかを解説する。
第 9 回	優生思想	優秀な子孫を残し劣った子孫の出生を防止するという「優生思想」に関する問題を解説する。

第 10 回	社会ダーウィニズムと人種主義	優生思想と社会ダーウィニズムとの関係を解説し、ナチズムにおける位置づけを考察する。
第 11 回	人工授精と体外受精	具体的な生殖医療における生命倫理問題を概観する。
第 12 回	ウォーノック報告と自由主義	英国のウォーノック報告の基本的考え方を解説し、生命倫理学における自由主義について考察する。
第 13 回	凍結保存の倫理的意味	配偶子や受精卵の凍結保存の持つ意味とそれによってもたらされる倫理的問題を考察する。
第 14 回	まとめ ※別途定期試験を実施する	これまでの授業全体を振り返り、理解を深める。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
次回の授業内容に関するテキストの該当箇所を一読しておくこと。またプリントやノートを用いて授業内容について復習し、自分自身の思索を深めること。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】
テキストとして今井道夫『生命倫理学入門［第４版］』（産業図書）を使用し、他に資料を配付する。

【参考書】
授業内で提示する。

【成績評価の方法と基準】
授業内小テスト（50 %）定期試験（50 %）

【学生の意見等からの気づき】
受講生からの意見を授業に反映させるために、さらにリアクションペーパーの活用を工夫すること。

【Outline and objectives】
In this lecture, we will focus on bioethical issues concerning the birth of people and learn the basic concepts of ethics.

PHL200LA

倫理学ＬⅡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

佐藤　英明

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この講義では、おもに人の死に関わる生命倫理問題に目を向けながら、倫理学の基本的な概念を学ぶ。

【到達目標】
いま何が問われ、それに対してどのような倫理学上の立場が存在するのかを学ぶことを通して、倫理学の基本的な知識を身につけるとともに、具体的な生命倫理問題を通じて自らの思索を深めることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義を中心に進めるが、授業中にとりあげた問題に対して受講者自身の意見を求めることもある。原則として毎回リアクションペーパー（課題）の提出を求める。授業の初めに、前回の授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	倫理的観点から見た「人の死」	人の死とはどのようなことかをあらためて生命倫理学の視点から考察する。
第 2 回	脳死に関する倫理的諸問題	脳死とはどのような状態かを確認し、生命倫理学においてどのような問題を孕んでいるのかを概観する。
第 3 回	臓器移植と功利主義	臓器移植という医療が、功利主義的な考え方によってどのように正当化されるかを具体的に考察する。
第 4 回	功利主義の問題	功利主義とはどのような考え方かを確認し、その問題点を明らかにする。
第 5 回	義務論と目的論	功利主義を義務論と対比し、義務論的な考え方について概観する。
第 6 回	幸福加算の可能性	「最大多数の最大幸福」を原則とする功利主義が前提とする幸福計算の可能性について考察する。
第 7 回	社会的コンセンサスの倫理的意味	合意形成の可能性について倫理学的視点から考察する。
第 8 回	安楽死・尊厳死・自然死	安楽死とはどのようなことかを解説し、安楽死に関する生命倫理問題を概観する。
第 9 回	生命の質	安楽死容認の根拠とされる考え方を考察する。

第 10 回	パターナリズム	自律原理に基づく医療とは対置されるパターナリズムの内容とその問題点を明らかにする。
第 11 回	自己決定の問題	安楽死の根拠とされる自律原理に関わる問題を明らかにする。
第 12 回	「判断能力」の有無	自己決定権行使の前提となる「判断能力」について、その内容を考察するとともに、問題とされる具体的事例を考察する。
第 13 回	「人格」概念	人間とはいかなる存在かをパーソン論の観点から考察する。
第 14 回	まとめ ※別途定期試験を実施する	これまでの授業全体を振り返り、理解を深める。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
次回の授業内容に関するテキストの該当箇所を一読しておくこと。また授業内容について復習し、自分自身の思索を深めること。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】
テキストとして今井道夫『生命倫理学入門［第４版］』（産業図書）を使用し、他に資料を配付する。

【参考書】
授業内で提示する。

【成績評価の方法と基準】
授業内小テスト（50 %）定期試験（50 %）

【学生の意見等からの気づき】
受講生からの意見を授業に反映させるために、さらにリアクションペーパーの活用を工夫すること。

【Outline and objectives】
In this lecture, we will focus on bioethical issues concerning human death and learn basic concepts of ethics.

PHL200LA

倫理学ＬⅠ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**情報社会の倫理**

杉本　隆久

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
情報社会の倫理は、現代の情報社会の中で起こる具体的な倫理的問題に対して、理論的な知をさらに深め、応用していくための倫理学です。そのため、この授業では、グローバルな情報社会において生じている具体的な倫理的問題をいくつも取り上げながら、その問題に対して倫理学的にどのように対応していくべきかを各学生がそれぞれの立場で考察できるようにします。
倫理学ＬⅠでは、情報社会における倫理的問題の中でも、特に「ネットにおけるコミュニケーション」、「メディア・リテラシー」、「情報技術とセキュリティ」、「インターネットと犯罪」「個人情報と知的財産」、「SNS と情報モラル」などインターネット社会を生きるための情報倫理に関連する諸問題を取り上げます。

【到達目標】
この授業では、現代に生きる私たちが、グローバルな情報社会の中で、一個の人間としてどのように生きるべきかを倫理学的に考察することを目指します。その中で、様々な倫理的問題を解決する実践的・応用的な知を獲得することを目標とします。また、様々な倫理的問題と対峙した際に必要となる思考力と判断力を養うことを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
この授業は、講義形式の「ハイブリッド型授業」（対面授業と Zoom でのリアルタイム型オンライン授業の組み合わせ）です。当授業では、対面授業の回とオンライン授業の回を組み合わせて実施します。ただし、他の授業との関係で受講者が対面授業やオンライン授業に出席できない場合のことを考えて、オンデマンド授業（対面欠席者対象）と Zoom での授業を録画した映像授業も併せて実施します。
授業は講義形式で進めますが、授業内でディスカッションを行ったり、受講生から意見を述べてもらうなど、積極的に授業に参加してもらうように配慮するつもりです。また、リアクションペーパーを提出してもらうなどして、受講生の考えを授業に反映させていきたいと考えています。
なお授業の変更及び伝達事項等のお知らせに関しては、Hoppii（学習支援システム）より通知します。課題や期末レポートは、学習支援システム上で提出してもらうことを考えています。毎回の授業の資料に関しても、授業開始までに学習支援システムで配信する予定です。
なお大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンラインで Zoom でのリアルタイム型オンライン授業を行います。詳細は学習支援システムで伝達します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	情報と情報社会と情報倫理	授業ガイダンスを行う。また、情報と情報社会と情報倫理についての概説も行います。

第 2 回	情報通信社会とインターネット	情報通信社会とインターネットの進化と変遷を概観し、その中で生じてきた倫理的問題について検討します。
第 3 回	ネット時代のコミュニケーション	ネットにおけるコミュニケーションとマナーについて倫理学的に検討します。
第 4 回	メディアの変遷とメディア・リテラシー	メディアの変遷とメディア・リテラシーについて倫理学的に検討します。
第 5 回	情報技術とセキュリティ	情報セキュリティとネット被害の問題を倫理学的に検討します。
第 6 回	インターネットと犯罪	ネット社会におけるトラブルと犯罪について倫理学的に検討します。
第 7 回	個人情報とプライバシー	個人情報の流出と保護の問題について倫理学的に検討します。
第 8 回	知的所有権とコンテンツ	知的財産の問題と知的財産権について倫理学的に検討します。
第 9 回	企業と情報倫理	企業の社会的責任や企業倫理について倫理学的に検討します。
第 10 回	科学技術と倫理	科学技術と倫理の問題や技術者倫理について検討します。
第 11 回	デジタルデバイドとユニバーサルデザイン	デジタルデバイドの問題とユニバーサルデザインについて倫理学的に検討します。
第 12 回	SNS と情報モラル	ソーシャルネットワークサービス（SNS）と情報モラルについて倫理学的に検討します。
第 13 回	情報社会とリテラシー	情報社会を生き抜くリテラシーについて倫理学的に検討します。
第 14 回	まとめ	まとめを行います。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
事前に配布した資料を読み、分からなかった部分についてはノートに抜き書きするなどして、問題意識を持った上で授業に臨んでください。
受講後は、不明点を理解できたかどうか復習してください。
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
基本的にテキストは使用しません。授業のテーマに関係するプリントを配付します。

【参考書】
・高橋慈子他著『情報倫理―ネット時代のソーシャル・リテラシー』（技術評論社）
・情報教育学研究会『インターネット社会を生きるための情報倫理（改訂版）』（実務出版）
・勢力尚雅編著『科学技術時代の倫理学』（梓出版社）
・大黒岳彦『情報社会の〈哲学〉―グーグル・ビッグデータ・人工知能』（勁草書房）

【成績評価の方法と基準】
毎回の授業後に、課題としてリアクションペーパーを提出してもらいます（Hoppii を利用することを考えています）。また期末にレポートを提出してもらいます。以上の 2 点を総合して評価します。
評価の比率は、課題 60%、期末レポート 40%とします。

【学生の意見等からの気づき】
一方的な講義ではなく、ディスカッションを行ったり、受講生から意見を述べてもらうようにしていきます。またリアクションペーパーを活用することで、受講生からの意見を授業に反映させるようにします。

【その他の重要事項】
積極的・意欲的な態度で授業に臨んでもらいたいです。
倫理学 L Ⅱも併せて受講していただくことが望ましいです。

【Outline and objectives】
Ethics of information society is ethics to deepen and apply theoretical knowledge to specific ethical problems occurring in modern information society. From this reason, in this class, we will take up a variety of ethical issues arising from global information society, and consider a ethical reaction to those.

PHL200LA

倫理学 L Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**情報社会の倫理**

杉本　隆久

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
情報社会の倫理は、現代の情報社会の中で起こる具体的な倫理的問題に対して、理論的な知をさらに深め、応用していくための倫理学です。そのため、この授業では、グローバルな情報社会において生じている具体的な倫理的問題をいくつも取り上げながら、その問題に対して倫理学的にどのように対応していくべきかを各学生がそれぞれの立場で考察できるようにします。
倫理学 L Ⅱでは、＜身体＞というパースペクティヴから、特に「人工知能（AI）」、「ロボット、アンドロイド、サイボーグ」という問題を中心に、他にも「技術的特異点（テクノロジカル・シンギュラリティ）」、「2045 年問題」、「Google」、「ビッグデータ」、「SNS」、「ウェアラブル」など現代を生きるための情報社会に関連する様々な倫理的問題を取り上げます。

【到達目標】
この授業では、現代に生きる私たちが、グローバルな情報社会の中で、一個の人間としてどのように生きるべきかを倫理学的に考察することを目指します。その中で、様々な倫理的問題を解決する実践的・応用的な知を獲得することを目標とします。また、様々な倫理的問題と対峙した際に必要となる思考力と判断力を養うことを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
この授業は、講義形式の「ハイブリッド型授業」（対面授業と Zoom でのリアルタイム型オンライン授業の組み合わせ）です。当授業では、対面授業の回とオンライン授業の回を組み合わせて実施します。ただし、他の授業との関係で受講者が対面授業やオンライン授業に出席できない場合のことを考えて、オンデマンド授業（対面欠席者対象）と Zoom での授業を録画した映像授業も併せて実施する予定です。授業は講義形式で進めますが、授業内でディスカッションを行ったり、受講生から意見を述べてもらうなど、積極的に授業に参加してもらうように配慮するつもりです。また、リアクションペーパーを提出してもらうなどして、受講生の考えを授業に反映させていきたいと考えています。
なお授業の変更及び伝達事項等のお知らせに関しては、Hoppii（学習支援システム）より通知します。課題や期末レポートは、学習支援システム上で提出してもらうことを考えています。毎回の授業の資料に関しても、授業開始までに学習支援システムで配信する予定です。
なお大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンラインで Zoom でのリアルタイム型オンライン授業を行います。詳細は学習支援システムで伝達します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	情報社会と 2045 年問題	授業ガイダンスを行う。また、情報社会と技術的特異点の問題についての概説も行います。
第 2 回	技術的特異点という倫理学的問題（1）―切迫的状況と指数関数的な爆発	技術的特異点という倫理学的問題について検討します。
第 3 回	技術的特異点という倫理学的問題（2）―来るべき未来と終末論	技術的特異点という倫理学的問題について検討します。
第 4 回	マスメディアの終焉とメディア史観	マスメディアの終焉とメディア史観について倫理学的に検討します。
第 5 回	グーグルによる「汎知」の企図と哲学の終焉	「汎知」の思想史を概観しながら、「グーグル」という問題について倫理学的に検討します。
第 6 回	ビッグデータの社会哲学的位相	ビッグデータをめぐる倫理的問題について検討します。
第 7 回	SNS によるコミュニケーションの変様と社会システム論	SNS によるコミュニケーションの変様について、社会システム論的見地を踏まえ、倫理学的に検討します。
第 8 回	ロボットから倫理を考える	ロボットをめぐる倫理的問題について検討します。
第 9 回	人間をつくり変える？	クローン、サイボーグ、アンドロイドをめぐる倫理的問題について検討します。
第 10 回	人工知能とロボットの新次元	人工知能とロボットの展開（未来）について、「身体」というパースペクティヴから倫理学的に検討します。
第 11 回	情報社会において倫理は可能か？	情報社会において倫理は可能かどうかを、「身体」というパースペクティヴから倫理学的に検討します。
第 12 回	メルロ＝ポンティと身体の哲学	メルロ＝ポンティと身体の哲学について倫理学的に検討します。
第 13 回	ニヒリズムと人間の終焉とポスト・ヒューマンの倫理学	ニヒリズムと人間の終焉とポスト・ヒューマンの倫理学について検討します。
第 14 回	まとめ、そして『公審判と第二の受肉―再び受肉する意味について、或いは天国に生きる永続ゾンビについて』	まとめを行います。そして、今後の問題としてキリスト教（特に正教会およびカトリック教会）における私審判と公審判の問題について「身体」というパースペクティヴから倫理学的に検討します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
事前に配布した資料を読み、分からなかった部分についてはノートに抜き書きするなどして、問題意識を持った上で授業に臨んでください。
受講後は、不明点を理解できたかどうか復習してください。
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
基本的にテキストは使用しません。授業のテーマに関係するプリントを配付します。

【参考書】
・ニック・ボストロム著『スーパーインテリジェンス 超絶 AI と人類の命運』（日本経済新聞出版社）
・レイ・カーツワイル著『ポスト・ヒューマン誕生 コンピュータが人類の知性を超えるとき』（NHK 出版）
・大黒岳彦著『情報社会の〈哲学〉―グーグル・ビッグデータ・人工知能』（勁草書房）
・ジャン＝ガブリエル・ガナシア著『そろそろ、人工知能の真実を話そう』（早川書房）
・三宅陽一郎著『人工知能のための哲学塾』（BNN 新社）
・久木田水生他著『ロボットからの倫理学入門』（名古屋大学出版会）
・岡本裕一郎著『12 歳からの現代思想』（ちくま新書）
・松田卓也著『2045 年問題　コンピュータが人類を超える日』（廣済堂新書）
・松尾豊著『人工知能は人間を超えるか　ディープラーニングの先にあるもの』（角川 EPUB 選書）
・弥永真生他編『ロボット・AI と法』（有斐閣）
・岡本裕一郎著『人工知能に哲学を教えたら』（SB 新書）

【成績評価の方法と基準】
毎回の授業後に、課題としてリアクションペーパーを提出してもらいます（Hoppii を利用することを考えています）。また期末にレポートを提出してもらいます。以上の 2 点を総合して評価します。
評価の比率は、課題 60%、期末レポート 40%とします。

【学生の意見等からの気づき】
一方的な講義ではなく、ディスカッションを行ったり、受講生から意見を述べてもらうようにしていきます。またリアクションペーパーを活用することで、受講生からの意見を授業に反映させるようにします。

【その他の重要事項】
積極的・意欲的な態度で授業に臨んでもらいたいです。
倫理学ＬＩも併せて受講していただくことが望ましいです。

【Outline and objectives】
Ethics of information society is ethics to deepen and apply theoretical knowledge to specific ethical problems occurring in modern information society. From this reason, in this class, we will take up a variety of ethical issues arising from global information society, and consider a ethical reaction to those.

PHL200LA

倫理学ＬＩ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

伊藤　直樹

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本講義では、倫理の基底である自己と他者との関わりを学んでゆく。とくに他者とはなにかということを問題とし、他者と自己との関わりを考察してゆくことになる。
私はたった一人で生きているのではなく、私の前や隣には人がいて、その私以外の他人とともに生きているという、このあたりまえのことに、あらためて気づくためである。

【到達目標】
講義を終えた後、受講生が、上記の諸問題について自分なりに考えてゆくことができるようになることが、到達目標である。具体的には、学期末のレポートにおいて、それを行なってもらう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
まず、他者論の問題設定の発生を明らかにして、そのうえで、デカルト、フッサール、シェーラー、ハイデガーなどが、その問題をどのように考えているかを見てゆく。
基本的に講義形式を取るが、いずれかのタイミングで「哲学対話」を取り入れたい。また、受講者からの質問、コメントをもとに、それに答えるかたちで講義内容を補足してゆく。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	単位取得方法、および講義の概要についての説明
第 2 回	他者と自己をめぐる基本問題	問題設定の意義について
第 3 回	デカルトの他者論（その１）	デカルト哲学の紹介
第 4 回	デカルトの他者論（その２）	デカルトの他者論（コギト、神の存在証明）
第 5 回	フッサールの他者論（その 1）	フッサール哲学の紹介
第 6 回	フッサールの他者論（その 2）	フッサールの他者論へ　間主観性・共現前という問題
第 7 回	フッサールの他者論（その 3）	フッサールの他者論の問題点と可能性（自己移入論、超越論的間主観性という立論）
第 8 回	シェーラーの他者論（その 1）	シェーラー哲学の紹介、シェーラーの類推説・自己移入論批判
第 9 回	シェーラーの他者論（その 2）	「体験流」からの出発、共同感情について
第 10 回	ディルタイの他者論（その１）	ディルタイ哲学の紹介
第 11 回	ディルタイの他者論（その２）	抵抗経験、追体験
第 12 回	ハイデガーの他者論（その１）	ハイデガー哲学の紹介
第 13 回	ハイデガーの他者論（その２）	顧慮的気遣い、本来的な他者
第 14 回	まとめ	あらためて「他者」とはなにかということを考えます

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
前回の講義内容に関して、自分なりの理解をまとめておくこと

【テキスト（教科書）】
内容が多岐にわたるため、特定のテキストは用いない。授業毎に、資料を配付する。

【参考書】
参考文献等は、そのつどの講義で紹介する。

【成績評価の方法と基準】
学期末にレポートを提出してもらう。
成績評価の基準は次のようにする。
平常点３５％；レポート６５％

【学生の意見等からの気づき】
昨年度は Zoom での授業だったため、若干ニュアンスが異なるが、次のようなコメントがありました。
「倫理学を今まで学んだことがありませんでしたが、今回初めてこの授業を受講し、デカルトやフッサール、シェーラーの思想について知ることができ、非常に興味深かったです。それぞれ内容が複雑で、先生に何度か質問をさせていただき、何とか全体像をつかむことができたように思えます。内容は難しかったですが、先生のご説明やよもやま話、zoom のグループ分けでの授業など、全体がとても面白く最後まで楽しく授業をうけることができました。」（法・三年）
「春学期を通してとても難しい内容だったが、授業は落語の映像やシンクロニシティなど例えがとてもわかりやすくおもしろかった。」（文・一年）
これらの方々の感想から解るように、「難しく、楽しく、分かる」という路線を狙っています。

【Outline and objectives】
In this lecture, we will study the relationship between the self and others, which is the basis of ethics. In particular, we will consider the question of what others are, and the relationship between others and the self.
The purpose of this lecture is to remind students of the obvious fact that I do not live alone, but that there are other people in front of me and next to me, and that I live with other people.

PHL200LA

倫理学ＬⅡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

伊藤　直樹

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1～4 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講義では、倫理の基底である自己と他者との関わりを学んでゆく。とくに他者、なかでも「あなた」とはなにかということを問題とし、他者と自己との関わりを考察してゆくことになる。

私はたった一人で生きているのではなく、私の前や隣には人がいて、その私以外の他人とともに生きているという、このあたりまえのことに、あらためて気づくためである。

【到達目標】

講義を終えた後、受講生が、上記の諸問題について自分なりに考えてゆくことができるようになることが、到達目標である。具体的には、学期末のレポートにおいて、それを行なってもらう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】

まず、他者論の問題設定の発生を明らかにして、そのうえで、サルトル、和辻哲郎、ブーバー、レヴィナスなどが、その問題をどのように考えているかを見てゆく。

基本的に講義形式を取るが、いずれかのタイミングで「哲学対話」を取り入れたい。また、受講者からの質問、コメントをもとに、それに答えるかたちで講義内容を補足してゆく。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	はじめに	単位取得方法、および講義の概要についての説明
第 2 回	問題設定の確認	他者という問題設定（デカルト、フッサールなど）の確認
第 3 回	サルトルの他者論（その 1）	サルトル哲学の紹介
第 4 回	サルトルの他者論（その 2）	サルトルの対他存在
第 5 回	和辻哲郎の倫理学（その 1）	和辻哲郎という人物、「面とペルソナ」について
第 6 回	和辻哲郎の倫理学（その 2）	和辻倫理学の主要論点（個と全体、二人共同体）
第 7 回	和辻哲郎の倫理学（その 3）	和辻倫理学の問題点
第 8 回	M・ブーバーの思想（その 1）	ブーバーという人物、「わたし-きみ」「わたし-それ」
第 9 回	M・ブーバーの思想（その２）	ブーバーの人間観
第 10 回	M・ブーバーの思想（その３）	ブーバーの思想の問題点、Ｅ・レヴィナスによる批判
第 11 回	Ｅ・レヴィナスの他者論（その１）	レヴィナス哲学の紹介
第 12 回	Ｅ・レヴィナスの他者論（その２）	Ｅ・レヴィナスの他者論（その２）レヴィナスの他者論（顔）
第 13 回	Ｅ・レヴィナスの他者論（その３）	レヴィナスの他者論（他者）
第 14 回	他者論のまとめ	これまでの議論を総括し、問題点を析出する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

前回の講義内容に関して、自分なりの理解をまとめておくこと

【テキスト（教科書）】

内容が多岐にわたるため、特定のテキストは用いない。授業毎に、資料を配付する。

【参考書】

参考文献等は、そのつどの講義で紹介する。

【成績評価の方法と基準】

学期末にレポートを提出してもらう。
成績評価の基準は次のようにする。
平常点３５％；レポート６５％

【学生の意見等からの気づき】

昨年度の授業では、次のような感想いただいております。

「哲学者たちの考えを自分と照らし合わせることで新しい価値観が芽生えてきたり、他者を認識するプロセスを追ってみたりすることができた。ブーバーの応答関係で出てきた例などを考え意識してみると、どの考え方も自分が思っていたよりも日常のなかで見つけることができた。

また哲学対話の回は印象的だった。初めての体験だったが、それまで以上に他人とのコミュニケーションの機会が少ない中、自分以外の価値観に触れるのが久しぶりだったので刺激があったし、心の運動をした気分になった。」

哲学対話を導入したので、上記の感想の後半はそのことについてふれている。次の感想もそうである。

「今学期を通し、私が一番印象に残ったのは哲学対話の回です。今年は他の生徒とほとんど関わらない環境であったので、他者の意見を聴き、議論することの面白味を感じました。また、授業内容としても「他者」にフォーカスをあてた話であったり、「この主張は○○だ」→「批判として□□という意見がある」というような、主張のみにとどまらず、現代の視点から批判などが取り上げられたのも印象的でした。」

【Outline and objectives】

In this lecture, we will study the relationship between the self and others, which is the basis of ethics. In particular, we will consider the question of what others are, and the relationship between others and the self.

The purpose of this lecture is to remind students of the obvious fact that I do not live alone, but that there are other people in front of me and next to me, and that I live with other people.

PHL200LA

倫理学ＬＩ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**生きることと死ぬことを考える**

田島　樹里奈

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 2/Wed.2
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、生命倫理学という応用倫理学の一分野を通じて、人間にとって生（生命、人生、生活）（life）とは何であるかを中心に、生きること・死ぬことについて考察することを目的とする。とりわけ本授業では、「幸福とは何か」を出発点としながら、人間の生／死、人格、医療（技術）に焦点を当てながら、私たち人間とはどのような存在であるかをじっくり倫理学的な視点から考え直していきたい。
かつて人間の生命は、「神のみが知る」ものであった。現代では、自然界に生まれた生命に人間の科学技術が介入することは当たり前であるが、人工授精・体外受精、デザイナーベイビー、新型出生前診断、人工妊娠中絶、臓器移植、延命治療など、現代社会でよく耳にするこれらの人工的な生命操作は、自然の摂理という観点から見れば反自然的な行為と言いうる。だからと言って、簡単に善悪の判断を下すことはできない。私たちの日常生活においては、こうした論理や合理性だけでは解決し難い問題がたくさんある。
コロナ禍社会において露呈されたように、医療技術の進歩によって多くの命が救われながらも、ある状況下においては命の選別を迫られることもある。またコロナ禍においては、望まない妊娠や性被害の相談が急増したというデータもある。これら「いのち」の問題は、私たちが生きていく中で、いずれどこかで関わる身近な問題であり、避けては通ることのできない重要な問題である。本授業では、具体的な事例や現代的な問題を取り上げながら、命（生と死）・医療・科学技術などについて、今一度考え直すきっかけを提供していきたい。

【到達目標】
① 生命、死、存在、医療、看護、QOL などの言葉を、自分の頭の中で相互に関連づけながら思考する力を身につける。
② 医療現場、患者および患者家族側、生命倫理学の多様な価値観を学ぶことで、様々な立場の考え方を多角的に把握する力を身につける。
③ 学問的な理論の構築法を学ぶことで、各自の問題意識を学問的に分析する力を身につける。
本授業では、生命倫理学について、たんなる知識を身につけるだけに終わらせることなく、複雑な現代を生きる一人の人間として、より広い視野を培い、深い思考力を持てることを最終的な目標としている。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
基本的には講義形式で行なう。場合によっては、グループディスカッションをしたり、学生の皆さんに質問を投げかけたり、リアクションペーパーなどを用いながら、受講者が主体的に考えられるような授業にしたい。
◆ 本授業では、多角的な視野でじっくりと物事を考える力を身につけて貰いたいと考えているため、以下のように授業を進める。
＊ 講義
＊ 毎回、授業後に簡単なコメントシートを提出。
＊ 適宜、授業内で学生からのコメントを紹介。
→　これらの繰り返しをすることで、同じ講義内容を聞いていても、自分とは異なる様々な意見があることを知り、少しずつ多角的な視野を得られるようになると考えている。また講義形式であっても、教員からの一方的な教えではなく、双方向性を生み出し、お互いに刺激し合い、学び合えるような授業にしていきたいと考えている。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業内容の説明 生命と倫理／生命倫理とは？ 自然界の生命に医学（医療）が介入すること
第 2 回	倫理学の基礎理論①——幸福とは何か	「幸福」はどのように決まるか？ 善く生きるの「善い」とは？
第 3 回	バイオエシックスの成立	医療と倫理 バイオエシックス／生命倫理はどのような背景から出てきたか
第 4 回	倫理学の基礎理論②——功利主義	「最大多数の最大幸福」 平等原理は存在するか？
第 5 回	人間の生命と人格①	生物学的生命と人格的生命 人格とは何か？
第 6 回	人間の生命と人格②	人格と責任能力 胎児に人格はあるか？ 自己意識と生存の権利
第 7 回	人間の生命と人格③	パーソン論とは 人工妊娠中絶は殺人か？
第 8 回	生存の義務と死ぬ権利	私たちは死ぬ権利をもつことができるか 自己決定権と生命 医療と人体実験
第 9 回	伝える義務と知る権利	医療とインフォームド・コンセント 情報開示と自己決定権
第 10 回	医療と倫理と法	医療とパターナリズム 患者の権利と医師の義務——生命の維持と自己決定権
第 11 回	誰が死を決定するのか①	看護業務と医療事故 様々な医療事故の裁判例
第 12 回	誰が死を決定するのか①	患者の自己決定権 宗教・信条と生命
第 13 回	生きる意味とは何か？	医療技術の進歩と医療現場 医療事故と医療過誤
第 14 回	まとめ	生きることと死ぬことの倫理

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回の授業の復習をよくすること。とくに授業内で気付いたことや疑問に思ったことは各自で調べたり掘り下げて考えてみること。

【テキスト（教科書）】
特になし

【参考書】
H・T・エンゲルハート『バイオエシックス の基礎』東海大学出版会、1988/2005。
曽我英彦、棚橋實、長島隆編『生命倫理のキーワード』理想社、1999 年。

【成績評価の方法と基準】
毎授業ごとのリアクションペーパー（30 %）、期末試験またはレポート（70 %）

【学生の意見等からの気づき】
基礎から学ぶので、倫理学を受けたことのない人でも関心を持って受講することで、少しずつ理解でき、視野が広がってくると思います。

【その他の重要事項】
リアクションペーパー（コメントシート）の提出をもって出席としますが、内容を重視しています。
たんに単位を取得したいだけの人にはお勧めしません。

【Outline and objectives】
This course is an introduction and survey course in Bioethics. The purpose of this course is introduce students to bioethics through critical thinking contemporary issues. Through this course, students will be given not only the knowledge and comprehension of relationship between biotechnology and ethics, but also the opportunity to focus on their life and death.

Students will first be introduced the history of ethics, foundational theories in bioethics, and the basic concepts and theoretical framework of bioethics.
Topics will include: what is happiness, health-care, responsibility, system of value, informed consent, death and dying, and the issue of beginning of life(on abortion, designer baby, prenatal testing etc.).
Through this course, students will be able to think carefully and to express their own views more clearly through their own positions on bioethical/ medical issues.

PHL200LA

倫理学ＬⅡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**「いのち」を多角的に考える**

田島　樹里奈

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 2/Wed.2
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、生命倫理学という応用倫理学の一分野を通じて、人間にとって生（生命、人生、生活）（life）とは何であるかを中心に、生きること・死ぬことについて考察することを目的とする。とりわけ本授業の後半では、宗教の視点から生命倫理を考察することにより、様々な宗教的思想を背景にした死生観と生命倫理観を学んでいく。そもそも宗教は生死と密接に関わり、それぞれの仕方で「あの世／この世」「現世／来世」を語ってきた。本授業ではこれら全てを網羅することはできないが、私たちが今・ここで生きることの意義や、死や死後を考察するための手掛かりとして、それぞれの宗教的思想の意義を検討していきたい。
倫理学という学問領域は、私たちの日常生活や生きること・死ぬことに直接関わる部分を含んでいる。それゆえ、本授業を通じて、受講生各自が関心を持ったテーマに対して、積極的にアプローチをすることで、それぞれの興味・関心を深めていきながら、死生観や生命観を構築し、さらに倫理的な問題意識を持って学問的に掘り下げてもらいたい。
　以上の観点を持って、受講生各自が本授業を通して、私たち人間とはどのような存在であるか、生きるとは、死ぬとはどういうことなのかをじっくり倫理学的な視点から考え直していくきっかけを提供していきたい。

【到達目標】
① 生命、死、人格、医学、宗教などの言葉を、自分の頭の中で相互に関連づけながら思考する力を身につける。② 多様な生命の在り方や、宗教的思想を背景とした多様な価値観を学ぶことで、様々な立場から生命倫理を考える力を身につける。③ 学問的な理論の構築法を学ぶことで、各自の問題意識を学問的に分析する力を身につける。
本授業では、生命倫理学について、たんなる知識を身につけるだけに終わらせることなく、複雑な現代を生きる一人の人間として、より広い視野を培い、深い思考力を持てることを最終的な目標としている。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
基本的には講義形式で行なう。場合によっては、グループディスカッションをしたり、学生の皆さんに質問を投げかけたりしながら、受講者が主体的に考えられるような授業にしたい。
◆ 本授業では、多角的な視野でじっくりと物事を考える力を身につけて貰いたいと考えているため、以下のように授業を進める。
＊ 講義
＊ 毎回、授業後に簡単なコメントシートを提出。
＊ 適宜、授業内で学生からのコメントを紹介。
→　これらの繰り返しをすることで、同じ講義内容を聞いていても、自分とは異なる様々な意見があることを知り、少しずつ多角的な視野を得られるようになると考えている。また講義形式であっても、教員からの一方的な教えではなく、双方向性を生み出し、お互いに刺激し合い、学び合えるような授業にしていきたいと考えている。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	生命倫理学とは何か？
第 2 回	生命の誕生と倫理①	生殖医療の倫理――生殖技術の発展と拡大 人工授精の歴史と現状
第 3 回	生命の誕生と倫理②	生殖医療の倫理――体外受精と卵子の老化
第 4 回	生命の誕生と倫理③	生殖技術の倫理ーー精子バンク、代理母問題
第 5 回	生命と医学①	再生医療とクローン技術
第 6 回	生命と医学②	遺伝子技術と生命倫理 デザイナーベイビーとは
第 7 回	生命と医学③	遺伝子とゲノム ゲノム解析とは
第 8 回	人格と同一性	性転換手術と医療倫理 自然界の性転換と人工的性転換、LBGT
第 9 回	宗教と生命倫理①	宗教とは何か？ 宗教的価値観と倫理的判断
第 10 回	宗教と生命倫理②	神道における死後観と人間観
第 11 回	宗教と生命倫理③	ヒンドゥー教の死生観
第 12 回	宗教と生命倫理④	イスラームにおける生命観
第 13 回	宗教と生命倫理⑤	キリスト教と生命倫理
第 14 回	まとめ	宗教／非宗教から生命倫理を考える

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回の授業の復習をよくすること。とくに授業内で気付いたことや疑問に思ったことは各自で調べたり掘り下げて考えてみること。

【テキスト（教科書）】
特になし

【参考書】
曽我英彦、棚橋實、長島隆編『生命倫理のキーワード』理想社、1999 年。
小松美彦、土井健司編『宗教と生命倫理』ナカニシヤ出版、2005 年。

【成績評価の方法と基準】
毎授業ごとのリアクションペーパー（30 %）、期末試験またはレポート（70 %）

【学生の意見等からの気づき】
基礎から学ぶので、倫理学を受けたことのない人でも関心を持って受講することで、少しずつ理解でき、視野が広がってくると思います。

【その他の重要事項】
倫理学 L 1から継続して受講すると理解しやすいです。
リアクションペーパー（コメントシート）の提出をもって出席としますが、内容を重視しています。
※たんに単位を取得したいだけの人にはお勧めしません。

【Outline and objectives】
This course is intended to develop student's understanding of ethical issues of bioethics and medical care. Especially, this course will focus upon major bioethical issues which related to artificial insemination, genetic testing and human right. In addition, the second half of this course, we will explore various ethical problems within several religious traditions. Through comparison of bioethical perspectives on selected themes, students will be able to recognize the interconnections between bioethical issues and religious system. This course will help students to develop the ability to analyze diverse perspective and to recognize the importance of ethical considerations.

PHL200LA

倫理学ＬⅠ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**応用倫理学概論**

吉永　明弘

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
倫理学の基礎知識を学び、応用倫理学の内容に親しむとともに、具体的な倫理問題について議論する。

【到達目標】
倫理学の基本的な考え方や主要な理論（功利主義、義務論、徳倫理学、社会契約論、正義論）および応用倫理学の内容を把握し、それをもとに具体的な倫理問題について議論することができることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
対面で講義を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	倫理学を学ぶ意味	なぜ倫理学を学ぶ必要があるのかについて説明する
2	倫理学の三大理論（1） 功利主義	ミルの自由論を基軸に功利主義について説明する
3	倫理学の三大理論（2） 徳倫理学と義務論	アリストテレスとカントの倫理学の概要を紹介する
4	倫理学と政治哲学（1） 社会契約論	ホッブズ、ロック、ルソーらの社会契約論を概説する
5	倫理学と政治哲学（2） 正義論	ロールズ、ノージック、サンデルらの正義論を紹介する
6	倫理学と公共哲学	公共性について倫理学の視点から論じる
7	応用倫理学（1）生命倫理学	脳死と臓器移植、医師・患者関係フォームドコンセントを中心に説明する
8	応用倫理学（2）情報倫理学	情報化社会の倫理問題について紹介する。特に内部告発をとりあげる
9	応用倫理学（3）環境倫理学	環境問題への倫理学からのアプローチについて、土地倫理と世代間倫理を中心に紹介する
10	応用倫理学（4）食農倫理学	最近の応用倫理学の話題として、食と農に関する倫理学を紹介する
11	対話型講義（1）市民の力	社会に対する市民の力について議論する
12	対話型講義（2）観光のあり方について	コロナ下での観光のあり方について議論する

13	対話型講義（3）21世紀の労働倫理	IT・AI の時代がもたらす新たな労働倫理について議論する
14	対話型講義（4）21世紀の教育	IT・AI の時代の教育のあり方について議論する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
教科書をよく読んでおくこと。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
吉永明弘・寺本剛編『環境倫理学』昭和堂、2020 年
（第 1 章～第 4 章、第 7 章、第 9 章、第 12 章、第 14 章の内容を扱う）

【参考書】
加藤尚武『現代倫理学入門』講談社学術文庫、1997 年
新田孝彦『入門講義　倫理学の視座』世界思想社、2000 年
宇都宮芳明『倫理学入門』ちくま学芸文庫、2019 年
川本隆史『現代倫理学の冒険』創文社、1994 年
國分功一郎『近代政治哲学』ちくま新書、2015 年
児玉聡『功利と直観』勁草書房、2010 年
梅津光弘『ビジネスの倫理学』丸善、2002 年

【成績評価の方法と基準】
内容理解レポート（50 %）と書評レポート（50 %）。

【学生の意見等からの気づき】
ディスカッションの時間を設けることにしました。

【Outline and objectives】
You can understand ethical theory and applied ethics.

PHL200LA

倫理学ＬⅡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**環境倫理学入門**

吉永　明弘

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1～4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
環境倫理学の基本的な議論を紹介する。このなかから各自の興味のあるテーマについて、文献を読み、レポートを書いてもらう。

【到達目標】
環境倫理学の基本的文献の内容を把握し、それをもとに現実の環境問題に対する自分なりの構えをもつことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義形式で行う。適宜、ディスカッションを取り入れる。レポートを添削し、必要があれば個別に面談を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	この授業の進め方を説明する
2	環境倫理学の位置づけ	環境倫理学の位置づけを確認する
3	欧米の環境倫理	欧米の環境倫理の基本的な議論を紹介する
4	グローバルな環境倫理	グローバルな環境倫理に関する基本的な議論を紹介する
5	リスク論と倫理	リスク論と倫理に関する議論を紹介する
6	気候変動と倫理	気候変動と倫理に関する議論を紹介する
7	自然保護から生物多様性保全へ	自然保護・生物多様性保全に関する議論を紹介する
8	公害と環境正義	公害と環境正義に関する議論を紹介する
9	ローカルな環境倫理	ローカルな環境倫理に関する基本的な議論を紹介する
10	環境問題と社会科学	社会科学の視点から環境問題を論じた文献を紹介する
11	地域環境保全と市民の力	地域環境や市民運動に関する文献を紹介する
12	場所論と風土論	場所論と風土論に関する議論を紹介する
13	景観保全と都市環境	景観保全と都市環境に関する議論を紹介する
14	都市の環境倫理をめざして	都市の環境倫理の構想を紹介する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
教科書を読んでおくこと。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
吉永明弘・寺本剛編『環境倫理学』昭和堂、2020 年
（第 4 章～第 11 章、第 13 章の内容を扱う）

【参考書】
吉永明弘『都市の環境倫理』勁草書房、2014 年
吉永明弘『ブックガイド　環境倫理』勁草書房、2017 年
吉永明弘・福永真弓編『未来の環境倫理学』勁草書房、2018 年

【成績評価の方法と基準】
内容理解レポート（50 %）と書評レポート（50 %）。

【学生の意見等からの気づき】
ディスカッションの時間を設けることにしました。

【Outline and objectives】
You can understand Environmental Ethics by Environmental Reading and Writing.

PHL200LA

論理学ＬⅠ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**論理的読解のトレーニング**

佐々木　護

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
論点が明確で、筋の通った議論や文章は「論理的」だと言われます。この授業では、分野を問わず多様な文章を論理的に把握し、それを吟味検討したうえで、自分の見解を論理的に表現する訓練を行います。論理的読解力や論述力を身につけることは、みなさんが今後研究活動や社会生活を送る上で大いに役立つはずです。

【到達目標】
本授業の到達目標は以下の２点です。
（１）新聞記事や新書レベルの文章を読み、そこから論証構造を抽出し、内容をよく理解した上で、的確な要約を行うことができる。
（２）上記の文章を吟味検討し、自分の見解を論理的に展開することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
原則として、学習支援システムを利用した、資料配信型のオンデマンド授業となります。
毎回学習支援システムの「教材」から PDF 資料が配信されます。資料に目を通し、内容を理解したうえで、練習問題で知識の定着を図ります。
その後、各回のテーマに関連した課題（文章要約や見解論述など）に取り組みます。課題の解説は、次回配信されます。
授業後の感想や質問は、「テスト／アンケート」から受け付けます。必要に応じてフィードバックがあります。
対面授業実施の場合は、学習支援システムで事前に告知します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス／論理学とは	論理学には分析論と弁証術の 2 つの流れがあることを理解する。
第 2 回	論理的説明と論証	トゥールミン・モデルなどを参照しつつ、論理的な説明には、根拠の提示が不可欠であることを理解する。
第 3 回	論理的読解と論証	論理的読解には、文章全体を論証と捉え、結論とそれを支える根拠を見きわめることが有効であることを理解する。
第 4 回	論証の構造	論証図の作成を通じて、論証構造を的確に把握する仕方を身につける。
第 5 回	要約の技法	文章から論証構造を取り出し、それを軸に要約する技法を身につける。

第 6 回	隠れた前提	論証を論理的に理解するには、隠れた前提を自覚的に取り出すことが必要な場合があることを理解する。
第 7 回	論証の評価（1）	論証の適切さや妥当性を評価するにあたって着目すべきポイントを理解する。
第 8 回	論証の評価（2）	論証を検討する仕方を実践的に身につける。
第 9 回	誤った論証	論証の誤りの代表的なパターンを理解する。
第 10 回	論証への反論（1）	現代の社会問題に関連した論証に対する反論を作成する。
第 11 回	論証への反論（2）	前回作成答案を基にして、発展的検討を行う。
第 12 回	文章読解と見解論述（1）	現代の社会問題に関連した文章を読み、それに対する見解論述を作成する。
第 13 回	文章読解と見解論述（2）	前回作成答案を基にして、発展的検討を行う。
第 14 回	試験日	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。
毎回、講義内容に関連した課題が課されます。
毎回配信する資料にはよく目を通しておいてください。

【テキスト（教科書）】
教科書は使用しません。

【参考書】
苅谷剛彦『知的複眼思考法』（講談社プラスアルファ文庫、2002 年）
野矢茂樹『新版・論理トレーニング』（産業図書、2006 年）

【成績評価の方法と基準】
通常回の課題成績（50 %）および最終回の試験もしくは課題の成績（50 %）で評価します。
通常回の課題の評価基準は、返却時の解説資料でお知らせします。

【学生の意見等からの気づき】
「他の学生の答案を見て、意見や表現方法を学ぶことができたのが良かった」「文章を読むときにどういうところに気をつければよいかが分かってきた」「授業を通して、少しずつ自分の文章力がついてきたと実感した」などの感想がありました。
今まで文章を書く機会の少なかった受講者の場合、最初は小論文作成に時間がかかり、難しく感じることもあるようです。しかし、書き続けるうちに徐々に慣れていきますので、その点についてあまり心配する必要はありません。

【Outline and objectives】
We call a reasonable argument as "logical". In this course, we will practice to logically read various texts regardless of the field, examine them, and express your own view logically. If you acquire the ability of logical reading and argumentation, it will be useful for your future academic activities and social life.

PHL200LA

論理学ＬⅡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**批判的思考のトレーニング**

佐々木　護

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
批判的思考（クリティカル・シンキング）教育の一環として、複数の視点から仮説を立てたり、対立する意見も視野に入れつつ望ましい問題解決策を見出す訓練を行います。自分が自明とする考えからいったん距離を置き、異なる他者の考えにも目を向ける態度を身につけることは、みなさんが今後研究活動や社会生活を送る上でも大いに役立つはずです。

【到達目標】
本授業の到達目標は以下の２点です。
（1）統計資料などを手がかりに仮説を立て、それに基づく解決策を提示することができる。
（2）与えられたテーマに関して、対立する意見も視野に入れつつ、説得力ある見解論述を展開することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
原則として、学習支援システムを利用した、資料配信型のオンデマンド授業となります。
毎回学習支援システムの「教材」から PDF 資料が配信されます。資料に目を通し、内容を理解したうえで、練習問題で知識の定着を図ります。
その後、各回のテーマに関連した課題（資料分析や見解論述など）に取り組みます。課題の解説は、次回配信されます。
授業後の感想や質問は、「テスト／アンケート」から受け付けます。必要に応じてフィードバックがあります。
対面授業実施の場合は、学習支援システムで事前に告知します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス／推論の分類	演繹、帰納、仮説推量という推論の３つのタイプを概観する。
第 2 回	演繹と仮説推量	演繹と仮説推量の関連性と相違点を理解したうえで、新たな発想やアイデアを導く上で仮説推量が果たす意義を押さえる。
第 3 回	統計資料の分析と仮説推量	統計資料の分析の基本を理解し、資料からどのような仮説を立てることができるかを考える。
第 4 回	相関関係と因果関係	２つの現象の間に何らかの関係が認められる場合に、どんな仮説が立てられるのかを理解する。
第 5 回	原因分析と対策提言	ある仮説に基づくならば、どのような対策が必要かを考える。仮説が異なれば、必要な対策も大きく異なることを理解する。

第 6 回	価値前提	それぞれの論証がどのような価値判断や価値基準を前提としているかに注目することで、議論の争点を整理する仕方を身につける。
第 7 回	対策提言の評価（1）	現代の社会問題に関連した論証に対する検討を行う。
第 8 回	対策提言の評価（2）	前回作成答案を基に、発展的検討を行う。
第 9 回	立論・批判・異論（1）	対立する意見を視野に入れつつ、それに対する批判や異論を展開する仕方を身につける。
第 10 回	立論・批判・異論（2）	批判と異論の違いを見きわめる。
第 11 回	立論・批判・異論（3）	あるテーマに対し、立論・批判・異論から構成される小論文を作成する。
第 12 回	立論・批判・異論（4）	前回作成答案を基に、発展的検討を行う。
第 13 回	誤った二分法	二分法が陥りがちな罠を理解する。
第 14 回	試験日	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。
配信された資料にはよく目を通しておいてください。
また、日頃から政治や経済、社会等のニュースに関心を持ち、批判的にチェックする習慣を身につけていきましょう。

【テキスト（教科書）】
教科書は使用しません。

【参考書】
苅谷剛彦『知的複眼思考法』（講談社プラスアルファ文庫、2002 年）
野矢茂樹『新版・論理トレーニング』（産業図書、2006 年）

【成績評価の方法と基準】
通常回の課題成績（50 %）および最終回の試験もしくは課題の成績（50 %）で評価します。
通常回の課題の評価基準は、返却時の解説資料でお知らせします。

【学生の意見等からの気づき】
「文章の書き方などを学べたことはもちろん、毎回の授業や課題においてテーマとなる社会問題について考え文章にすることが、自分の意見を持つ大変いい機会となった」「ただ論理の立て方を学ぶだけではなく時事を用いて学ぶことができて大変勉強になった」などの感想がありました。
テーマに関連したアウトプットを繰り返す授業形式を通して、考えて書く力がアップしたと感じる受講者が多かったようです。

【Outline and objectives】
As part of the critical thinking education, we will make hypotheses from multiple perspectives, and practice to find solutions while taking into account the opposite opinion. If you learn how to think critically, you will be of great help in your future academic activities and social life.

HIS200LA

東洋史ＬⅠ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

岡安　勇

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火 1**/Tue.1
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
中国古代の国家構造については皇帝を頂点とする一元的支配（＝個別人身的支配）という概念で理解されている。
しかし皇帝権力の絶対性の側面を強調すると、その絶対的権力を打倒して新王朝が出現する王朝交替のメカニズムを解明する糸口が見失われてしまう。
また「例外において本質が顕現する」（C. シュミット）と言われるように、皇帝支配における例外的措置としてこれまであまり顧みられることのなかった王朝の「賓・客」（旧王朝の子孫）の存在とその待遇問題について注目して新たに中国古代の国家構造を明らかにしてみたい。
つまり、本授業では中国古代の国家構造を「二王の後（旧王朝の子孫）」の視点から解明する。
漢文講読の経験の有無にかかわらず、中国に興味関心のある学生が本授業を受講することによって、これまでにない中国古代の国家構造を理解することができる。

【到達目標】
中国古代（おもに堯・舜・禹の伝説時代から殷・周〜秦・漢・三国時代）の社会・思想のうち興味深い事柄が理解できる。また、そのような社会や思想を理解した上で、一般に知られていない中国古代の「二王の後」の存在も明らかになる。「二王の後」の視点から中国古代の王朝交替のメカニズムが明確に理解できるようになる。
なお、授業では現代に溶け込んでいる中国古代の故事なども取り上げるので、これまでとは違う知識が得られる。また、授業で漢文を読むことになるが、初心者でも次第に漢文の読み方が上達すると考えられる。
試験では授業で扱った漢文史料を引用して自分自身で中国古代の王朝交替のメカニズムをこれまでにない視点から説明することが出来るようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義で講読する史料や参考資料はプロジェクターを使用してスクリーンに映しだして説明を加えるので、黒板に書くチョークの文字よりも見やすいと思われる。また、黒板に書く作業が省略される分時間の短縮に繋がり、教師と学生が常に対面できるという利点もある。
講義形式 (漢文初心者にも理解できるように説明し、丁寧な解説を加える）で行う。授業計画にも示してあるが、講義では、中国古代史上における興味ある話題について参考資料などを示して紹介するつもりである。
なお、授業の概要、重要事項などを確認するリアクションペーパーの提出を義務づけているが、その中で提出された質問のうち共有化すべきものについては、次回の授業で回答する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	二王の後とはなにか	授業内容:春学期授業のガイダンスと中国古代の国家構造について
第 2 回	伝説上の王朝について	堯・舜・禹の伝説上の帝王間の政権交替についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介
第 3 回	実在する最古の王朝について	夏王朝から殷王朝への王朝交替と「二王の後」についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介
第 4 回	殷王朝から周王朝へ	殷王朝から周王朝への王朝交替と「二王の後」についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介
第 5 回	周王朝から秦王朝へ	周王朝から秦王朝への王朝交替と「二王の後」についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介
第 6 回	秦王朝から漢王朝へ	秦王朝から漢王朝への王朝交替についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介
第 7 回	漢王朝初期	漢王朝初期の二王の後についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介
第 8 回	漢の武帝の初期	漢の武帝初期の二王の後礼遇の再建についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介
第 9 回	漢の武帝期②	漢の武帝期の二王の後についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介
第 10 回	漢の宣帝・元帝期	漢の宣帝・元帝期の二王の後についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介
第 11 回	漢の成帝期	漢の成帝期の二王の後についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介
第 12 回	王莽時代	王莽時代の二王の後についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介
第 13 回	後漢・三国時代 まとめ	後漢・三国時代の二王の後についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介 春学期講義のまとめおよび結論。
第 14 回	試験・まとめ	試験についての説明を行った後、試験実施　　まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備・復習時間は、各２時間を標準とする。参考図書などについてはテキストに記載してあるが、それ以外のものについては、授業中に紹介するので、それらの参考図書を授業前後に読み、取り扱うテーマとその歴史的背景を理解すること。
なお、中国に関する展覧会などにも積極的に出掛けて、中国への関心と理解を高めることに心がけてもらうとよい。

【テキスト（教科書）】
岡安勇『中国古代の国家構造』　生協扱い。
必要に応じてプリントを配布する。

【参考書】
なし。ただし、参考図書などについてはテキストに紹介してある。

【成績評価の方法と基準】
期末試験： 70 %
平常点： 30 %（毎時間、授業の理解度確認のためのリアクションペーパー提出）
合計： 100 %
成績は毎時間に提出するリアクションペーパーによる平常点と期末試験で評価する。リアクションペーパーを一定枚数以上提出した者が成績の評価対象となる。期末試験では講義で使用するテキストやプリントとその説明のためにとったノートがなければ解答できないと思われる。すなわち出席を重視するゆえんである。なお、試験問題は授業の個々の内容から出題する。
上記の予定が 2021 年度春学期に実行できず、春学期がオンラインでの開講となった場合には、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
今後も知的好奇心を刺激する授業を展開するよう心がける。また、専門的な分野を理解できるように、これからも工夫を加えていきたい。

【その他の重要事項】
春学期の「二王の後」という視点、秋学期の「中国古代の席次」という視点の両面から中国古代の国家構造というテーマを解明していくので、両者の視点によってより明確にテーマを理解できると思われる。そのため、履修者には通年での履修を勧める。

【Outline and objectives】
「This program is designed to lecture on "descendants of the previous two dynasties" in ancient China.

HIS200LA

東洋史ＬⅡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

岡安　勇

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**火** 1/Tue.1
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期では、王朝の「賓・客」（旧王朝の子孫）の存在とその待遇問題に注目して中国古代の国家構造の解明を行ったが、秋学期ではこれとは反対に禅譲されて新王朝を樹立した者の、旧王朝末期における君臣関係というこれまであまり扱われることのなかった例外的措置について取り上げ、中国古代の新旧両王朝一体となった国家構造を明らかにしてみたい。
そこで本授業では中国古代の国家構造を席次という序列関係を手掛かりにして解明を試みる。
なお、この解明には君臣間、賓主間という性質の異なる席次の序列関係も重要な手掛かりとなるが、人口に膾炙した『史記』の有名な「鴻門の会」はその代表例として取り上げることになるので、親しみやすいと思われる。対象学生は春学期と同じ。

【到達目標】
中国古代に行われていた席次（席に座る順序）を用いるというこれまで考えられなかった視点から王朝交替のメカニズムを解明する糸口を見いだすことが出来る。
一般にもよく知られている鴻門の会での項羽と劉邦の席がどのようにして決まったのか興味のある問題であるが、この点についてはビデオを用いることによって、視覚的に理解ができる。
中国古代の席次が理解できれば、皇帝が西面することがいかに異例のことだったのかが分かり、するとこれまで考えても見なかった王朝交替のメカニズムが判明することにもつながる。
なお、秋学期でも春学期と同じように、授業では現代に溶け込んでいる中国古代の故事なども取り上げるので、これまでとは違う知識が得られる。また、授業で漢文を読むことになるが、初心者でも次第に漢語への理解や漢文の読み方が上達すると考えられる。
試験では授業で扱った漢文史料を引用して自分自身で中国古代の王朝交替のメカニズムをこれまでにない視点から説明することが出来るようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義で講読する史料や参考資料はプロジェクターを使用してスクリーンに映しだして説明を加えるので、黒板に書くチョークの文字よりも見やすいと思われる。また、黒板に書く作業が省略される分時間の短縮に繋がり、教師と学生が常に対面できるという利点もある。
講義形式 (漢文初心者にも理解できるように説明し、丁寧な解説を加える）で行う。授業計画にも示してあるが、講義では、中国古代史上における興味ある話題について参考資料などを示して紹介するつもりである。
なお、授業の概要、重要事項などを確認するリアクションペーパーの提出を義務づけているが、その中で提出された質問のうち共有化すべきものについては、次回の授業で回答する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	授業内容:秋学期授業のガイダンスと中国古代の国家構造について	授業内容ガイダンスと君臣間の席次についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介
第 2 回	君臣間の席次	君臣間の席次についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介
第 3 回	階層化する君臣間の席次	階層化する君臣間の席次についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介
第 4 回	賓主間の席次	賓主間の席次のうち基本的なものについてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介
第 5 回	君臣間の席次と賓主間の席次の相違点	君臣間の席次と賓主間の席次の相違点の確認と理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介
第 6 回	賓主間から君臣間の席次への移行	賓主間から君臣間への席次の移行の意味についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介
第 7 回	複雑な賓主間の席次	複雑な賓主間の席次についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介
第 8 回	複雑な賓主間の席次の上下関係	複雑な賓主間の席次の上下関係についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介
第 9 回	私的場面で賓主間の席次に着く皇帝	私的場面で賓主間の席次に着く皇帝の存在についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介
第 10 回	公的場面で賓主間の席次に着く皇帝	公的場面で賓主間の席次に着く皇帝の存在についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介
第 11 回	臣下に対して賓主間の席次に着く皇帝	臣下に対して賓主間の席次に着く皇帝の意味についてとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介
第 12 回	賓客の席を与えられた臣下の変化	臣下が賓客の席に着くことにより皇帝との関係が主客関係に変化していくこととその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介
第 13 回	席次から見た王朝交替まとめ	賓主間の席次に着く皇帝の意味から王朝交替のメカニズムを明らかにすることとその理解のための史料講読および関連する時代の社会・文化紹介 秋学期講義のまとめおよび結論
第 14 回	試験・まとめ	試験についての説明を行った後、試験実施　　まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備・復習時間は、各２時間を標準とする。参考図書などについてはテキストに記載してあるが、それ以外のものについては、授業中に紹介するので、それらの参考図書を授業前後に読み、取り扱うテーマとその歴史的背景を理解すること。
なお、中国に関する展覧会などにも積極的に出掛けて、中国への関心と理解を高めることに心がけてもらうとよい。

【テキスト（教科書）】
岡安勇『中国古代の国家構造』　生協扱い
必要に応じてプリントを配布する。

【参考書】
なし。ただし、参考図書などについてはテキストに紹介してある。

【成績評価の方法と基準】
期末試験： 70 %
平常点： 30 %（毎時間、授業の理解度確認のためのリアクションペーパー提出）
合計： 100 %
成績は毎時間に提出するリアクションペーパーによる平常点と期末試験で評価する。リアクションペーパーを一定枚数以上提出した者が成績の評価対象となる。期末試験では講義で使用するテキストやプリントとその説明のためにとったノートがなければ解答できないと思われる。すなわち出席を重視するゆえんである。なお、試験問題は授業の個々の内容から出題する。
上記の予定が 2021 年度秋学期に実行できず、秋学期がオンラインでの開講となる場合には、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
今後も知的好奇心を刺激する授業を展開するよう心がける。また、専門的な分野を理解できるように、これからも工夫を加えていきたい。

【その他の重要事項】
春学期の「二王の後」という視点、秋学期の「中国古代の席次」という視点の両面から中国古代の国家構造というテーマを解明していくので、両者の視点によってより明確にテーマを理解できると思われる。そのため、履修者には通年での履修を勧める。

【Outline and objectives】
Solution on the National Structure in Ancient China with Reference to the Precedence between Soverign and Subject, Guest and Host.

HIS200LA

東洋史ＬⅠ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

長谷部　圭彦

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：2 **単位**
法文営国環キ 1〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本科目では、イスラームが誕生した 7 世紀から、オスマン帝国がビザンツ帝国を滅ぼす 15 世紀までの「中東・イスラーム地域」の歴史を概観する。また、イスラームの教義や戒律、そして世界秩序観などについても解説する。受講者が、当該地域への理解を深めつつ、他の地域との比較や連関ができるようになることを目的とする。

【到達目標】
本科目の目標は、受講者が、15 世紀までの「中東・イスラーム地域」の歴史と、イスラームの教義に関する基礎的な知識を習得し、それを論理的に表現できるようになることである。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
本学の方針に基づき、対面授業の回とオンライン授業の回を組み合わせる「ハイブリッド型授業」とする。
課題等に対するフィードバックは、対面授業の際は教室で、オンライン授業の際は学習支援システムで、それぞれ行う。
大学の行動方針レベルが 2 となった場合、本授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	現代の中東・イスラーム地域	2000 年以降の中東・イスラーム地域について概観する。
第 2 回	イスラーム生誕	イスラーム、ムハンマド、コーランについて概観する。
第 3 回	スンナ派とシーア派	正統カリフ、スンナ派、シーア派、ウマイヤ朝、アッバース朝について概観する。
第 4 回	イスラーム的世界秩序と法	イスラーム的世界秩序、シャリーア、フィクフ、法源について概観する。
第 5 回	法の担い手とその養成	スンナ派四法学派、シーア派一法学派、ウラマー、マドラサ、ワクフについて概観する。
第 6 回	マムルークとイクター制	マムルーク、カリフの鼎立、イクター制について概観する。
第 7 回	スーフィーと聖者	スーフィズム、聖者、タリーカについて概観する。
第 8 回	スンナ派の時代	セルジューク朝、ムラービト朝、ムワッヒド朝、アイユーブ朝について概観する。
第 9 回	モンゴルの時代	フレグ・ウルス、ジョチ・ウルスについて概観する。
第 10 回	モンゴル後の世界 1 ―マムルーク朝	マムルーク朝について概観する。

第 11 回	モンゴル後の世界 2 —オスマン朝	15 世紀までのオスマン朝について概観する。
第 12 回	モンゴル後の世界 3 —ティムール朝	ティムール朝について概観する。
第 13 回	イスラームの普及 1 —アフリカ・インド	アフリカとインドへのイスラームの普及について概観する。
第 14 回	イスラームの普及 2 —東南アジア・中国	東南アジアと中国へのイスラームの普及について概観する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とする。
準備学習：レジュメに記載されている参考文献を読むこと。
復習：講義内容を、自身の専門と比較したり関連付けたりすること。

【テキスト（教科書）】
教科書は使用しない。レジュメおよび資料を配付する。

【参考書】
大塚和夫他編『岩波イスラーム辞典』岩波書店、2002 年。
東長靖『イスラームのとらえ方』山川出版社、1996 年。
屋形禎亮・佐藤次高『西アジア』上巻、朝日新聞社、1993 年。

【成績評価の方法と基準】
70%: 期末レポート
30%: 授業への参加度
期末レポートは、turnitin を用いて、不正の有無を確認する。悪質な剽窃行為の場合、本科目は E 評価となり、停学（3 カ月未満）となる。

【学生の意見等からの気づき】
前年度の受講生から、「レジュメは動画の概要だけでなく、それだけ見ても分かるように作ってほしかった」との意見があったが、それでは動画を閲覧しない（対面授業の場合は授業に出席しない）受講生が出てくる可能性があるので、簡潔なレジュメのままとする。

【学生が準備すべき機器他】
オンライン授業に備えておくこと。

【その他の重要事項】
秋学期に開講される「東洋史 LII（イスラーム史 2）」も受講することが望ましい。

【Outline and objectives】
We survey a history of Islamic area from 7th to 15th century and review the Islamic technical terms. We aim to understand the area and to compare and connect it with another.

HIS200LA

東洋史ＬⅡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

長谷部　圭彦

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：2 **単位**
法文営国環キ 1〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本科目では、オスマン・サファヴィー・ムガルの三王朝が並び立った 16 世紀から現代までの「中東・イスラーム地域」の歴史を概観する。とくに、この地域の大部分を支配したオスマン帝国（1300 頃〜1922）に焦点をあてる。受講者が、オスマン帝国への理解を深めつつ、他の政治体との比較や連関ができるようになることを目的とする。

【到達目標】
本科目の目標は、受講者が、オスマン帝国の歴史に関する基礎的な知識を習得し、それを論理的に表現できるようになることである。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
本学の方針に基づき、対面授業の回とオンライン授業の回を組み合わせる「ハイブリッド型授業」とする。
課題等に対するフィードバックは、対面授業の際は教室で、オンライン授業の際は学習支援システムで、それぞれ行う。
大学の行動方針レベルが 2 となった場合、本授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	15 世紀までの中東・イスラーム地域	7 世紀から 15 世紀までの中東・イスラーム地域について概観する。
第 2 回	オスマン集団の登場	14 世紀のオスマン帝国について概観する。
第 3 回	コンスタンティノープルの征服	15 世紀前半のオスマン帝国について概観する。
第 4 回	「世界帝国」への道	15 世紀後半から 16 世紀初頭にかけてのオスマン帝国について概観する。
第 5 回	スレイマンの時代	スレイマン大帝期（1520-66）のオスマン帝国について概観する。
第 6 回	古典的支配体制の成立	スレイマンの頃に成立した支配体制について概観する。
第 7 回	ティマール制から徴税請負制へ	16 世紀後半から 17 世紀前半にかけてのオスマン帝国について概観する。
第 8 回	回復と喪失	17 世紀後半のオスマン帝国について概観する。
第 9 回	分権化の時代	18 世紀のオスマン帝国について概観する。
第 10 回	オスマン帝国が迎えた「近代」	19 世紀初頭のオスマン帝国について概観する。
第 11 回	オスマン帝国の「洋務」	タンズィマート期（1839-76）のオスマン帝国について概観する。

第 12 回	専制と立憲制	19 世紀末のオスマン帝国について概観する。
第 13 回	帝国の終焉	20 世紀初頭のオスマン帝国について概観する。
第 14 回	オスマン帝国崩壊後の中東・イスラーム地域	20 世紀の中東・イスラーム地域について概観する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とする。
準備学習：配布資料や動画を閲覧すること。
復習：講義内容を、自身の専門と比較したり関連付けたりすること。

【テキスト（教科書）】
教科書は使用しない。PDF 資料と動画を配信する。

【参考書】
新井政美『トルコ近現代史』みすず書房、2001 年。
大塚和夫他編『岩波イスラーム辞典』岩波書店、2002 年。
小笠原弘幸『オスマン帝国』中央公論新社、2018 年。
鈴木董『オスマン帝国』講談社、1992 年。
鈴木董『オスマン帝国の解体』筑摩書房、2000 年。
永田雄三・羽田正『成熟のイスラーム社会』中央公論社、1998 年。
林佳世子『オスマン帝国の時代』山川出版社、1997 年。
林佳世子『オスマン帝国 500 年の平和』講談社、2008 年。

【成績評価の方法と基準】
70%: 期末レポート
30%: 授業への参加度
期末レポートは、turnitin を用いて、不正の有無を確認する。悪質な剽窃行為の場合、本科目は E 評価となり、停学（3 カ月未満）となる。

【学生の意見等からの気づき】
前年度の受講生から、「レジュメは動画の概要だけでなく、それだけ見ても分かるように作ってほしかった」との意見があったが、それでは動画を閲覧しない（対面授業の場合は授業に出席しない）受講生が出てくる可能性があるので、簡潔なレジュメのままとする。

【学生が準備すべき機器他】
オンライン授業に備えておくこと。

【その他の重要事項】
春学期に開講される「東洋史 LI（イスラーム史 1）」も受講することが望ましい。

【Outline and objectives】
We survey a history of the Ottoman Empire. We aim to understand it and to compare and connect it with another political body.

HIS200LA

西洋史ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

渡辺　知

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 1/Thu.1
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
16 世紀以降、イギリス人は積極的に海外に進出し、一大帝国を築くに至ります。近年のイギリス史研究では帝国の存在がイギリスの歴史を強く規定してきたことを強調する傾向にあります。また、イギリス帝国への関心はその経済的側面に留まらず、文化や社会のあり方にまで広がっています。この授業では、こうしたイギリス帝国の多様なあり方を見ていくこととします。

【到達目標】
ただ、過去の事実の確認にとどまらず、それがなぜ起きたのか、また、過去の出来事が現在のイギリスの社会といかに関係するのか、あるいは、イギリスの動向が世界のその他の地域の動向といかに密接に結びついているのかといった点に力点を置きつつ、歴史学における多様なものの捉え方をあわせて提示できればと希望します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義を行います。リアクションペーパ等でのコメント、質問は随時授業内で紹介し、さらなる議論に活かします。
大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンラインで行います。詳細は学習支援システムで伝達します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	授業内容の紹介	16 世紀から 19 世紀にかけてのイギリスの歴史の流れを概観します。
第 2 回	16 世紀のイギリス１	バラ戦争や宗教改革、ウェールズとの合同を通じて国家統合が進む過程を説明します。
第 3 回	16 世紀のイギリス２	16 世紀のイギリス経済が停滞していたこと、それに伴って浮浪者問題など社会が混乱していたことを説明します。
第 4 回	イギリス帝国の形成１	15 世紀末からの初期の海外進出から 17 世紀初頭の海外進出が軌道に乗るまでの過程を説明します。
第 5 回	イギリス帝国の形成２	17 世紀へゲモニー国家として繁栄したオランダと対立する中、航海法体制を確立する過程を説明します。
第 6 回	イギリス帝国の形成３	17 世紀末からのフランスとの対立の中 18 世紀中頃に第一帝国を完成させる過程を説明します。

第 7 回	イギリス商業革命１	イギリス帝国の形成がイギリスの経済にどのような影響を与えたのか貿易面に焦点をあて説明します。
第 8 回	イギリス商業革命２	イギリス帝国の形成が貿易に留まらず、経済全般に影響を与え、結果、産業革命をもたらした過程を説明します。
第 9 回	イギリス生活革命	イギリス帝国の形成がイギリスの生活文化に与えた影響について説明します。
第 10 回	砂糖と西インド諸島	イギリス商業革命、イギリス生活革命で重要な役割を果たしたのが砂糖ですが、その生産を行っていた西インド諸島がその結果低開発の道を進むことになったことを説明します。
第 11 回	大西洋黒人奴隷貿易	イギリスは植民地経営に必要な労働力を獲得する手段として大西洋黒人奴隷貿易を盛んに行いました。この貿易がイギリス帝国およびアフリカに与えた影響について説明します。
第 12 回	13 植民地の独立	13 植民地の独立の過程と独立がイギリスに与えた影響について説明します。
第 13 回	産業革命と帝国	産業革命の展開と帝国が果たした役割について説明します。
第 14 回	試験・まとめと解説	第一イギリス帝国の形成がイギリスの内外に与えた影響について総括します

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
講義の前に前回のノートを読み返して下さい。
また、紹介する参考文献を積極的に読むようにして下さい。
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
特に使用しません。

【参考書】
授業中に適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】
授業の区切りにリアクションペーパー等を書いて頂き、この提出をもって平常点とします。これら平常点と学期末の試験の総合評価とします（平常点 20 %、学期末の試験 80 %）。

【学生の意見等からの気づき】
視覚教材を積極的に活用したいと思います。

【Outline and objectives】
British History from the 16th century to the 19th century
In this lecture, the formation of the British Empire and the influence of the empire on Britain and her dependencies will be discussed.

HIS200LA

西洋史ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

渡辺　知

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 1/Thu.1
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
19 世紀〜 20 世紀にかけてのイギリスの歴史を階級、ジェンダー、人種・民族、地域、帝国を切り口に概観し、近代イギリスの特徴を考えていくこととします。

【到達目標】
ただ、過去の事実の確認にとどまらず、それがなぜ起きたのか、また、過去の出来事が現在のイギリスの社会といかに関係するのか、あるいは、イギリスの動向が世界のその他の地域の動向といかに密接に結びついているのかといった点に力点を置きつつ、歴史学における多様なものの捉え方をあわせて提示できればと希望します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義形式で行います。リアクションペーパ等でのコメント、質問は随時授業内で紹介し、さらなる議論に活かします

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	授業内容の紹介	19 世紀〜 20 世紀にかけてののイギリスのあゆみを概観します。
第 2 回	二重革命の時代１	産業革命の特徴とそれがイギリスの政治、経済、社会に与えた影響を検討します。
第 3 回	二重革命の時代２	フランス革命がイギリスにどのような影響を与えたか検討します。
第 4 回	二重革命の時代３	フランス革命がイギリスにどのような栄光を与えたか、引き続き検討します。
第 5 回	帝国の再編	二重革命の時代は、イギリスの帝国が第一帝国から第二帝国へと再編された時期でもありました。その再編の過程を説明します。
第 6 回	ミドル・クラス	二重革命の影響で、イギリスではミドル・クラスが台頭してきます。このミドル・クラスの特徴を「リスペクタビリティー」という言葉をキーワードに検討します。
第 7 回	ミドル・クラスのジェントルマン化	台頭してきたミドル・クラス層が従来の支配者層であるジェントルマンと融合していく過程を検討します。
第 8 回	労働者階級	ジェントルマンとミドル・クラスが 19 世紀のイギリスの繁栄の恩恵を受けたのに対し、労働者階級の大多数はその恩恵から排除されていました。労働者階級を取り巻く状況を説明します。

第 9 回	アイルランド移民	労働者階級の中でも最下層を形成したのがアイルランドからの移民でした。アイルランド移民を切り口にアイルランド、スコットランド、イングランドの地域の問題を検討します。
第 10 回	怠惰な女性と善良な女性 1	19 世紀のイギリスにおいて女性たちがどのようなことを求められていたのか「怠惰な女性」と「善良な女性」をキーワードに検討します。
第 11 回	怠惰な女性と善良な女性 2	19 世紀のイギリスにおいて女性たちがどのようなことを求められていたのか「怠惰な女性」と「善良な女性」をキーワードに、引き続き、検討します。
第 12 回	帝国主義の時代	1870 年代以降のイギリスの経済、社会について概観します。
第 13 回	社会帝国主義	イギリスの国内問題の解決の場として帝国の果たす役割がこの時期大きくなったことを検討します。
第 14 回	試験・まとめと解説	19 世紀のイギリスがどのような特徴を持つ社会であったのか総括します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
講義の前に前回のノートを読み返して下さい。
また、紹介する参考文献を積極的に読むようにして下さい。
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
特に定めません。

【参考書】
授業中に適宜、紹介します。

【成績評価の方法と基準】
授業の区切りにリアクションペーパー等を書いて頂き、この提出をもって平常点とします。これら平常点と学期末の試験の総合評価とします（平常点 20 %、学期末の試験 80 %）。

【学生の意見等からの気づき】
視覚教材を積極的に活用したいと思います。

【Outline and objectives】
Britain in the 19th Century
In this lecture we analyse British society in the 19th century through class, gender, ethnicity and the British Empire.

HIS200LA

西洋史ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

渡辺　知

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
16 世紀以降、イギリス人は積極的に海外に進出し、一大帝国を築くに至ります。近年のイギリス史研究では帝国の存在がイギリスの歴史を強く規定してきたことを強調する傾向にあります。また、イギリス帝国への関心はその経済的側面に留まらず、文化や社会のあり方にまで広がっています。この授業では、こうしたイギリス帝国の多様なあり方を見ていくこととします。

【到達目標】
ただ、過去の事実の確認にとどまらず、それがなぜ起きたのか、また、過去の出来事が現在のイギリスの社会といかに関係するのか、あるいは、イギリスの動向が世界のその他の地域の動向といかに密接に結びついているのかといった点に力点を置きつつ、歴史学における多様なものの捉え方をあわせて提示できればと希望します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義を行います。リアクションペーパ等でのコメント、質問は随時授業内で紹介し、さらなる議論に活かします。
大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンラインで行います。詳細は学習支援システムで伝達します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	授業内容の紹介	16 世紀から 19 世紀にかけてのイギリスの歴史の流れを概観します。
第 2 回	16 世紀のイギリス 1	バラ戦争や宗教改革、ウェールズとの合同を通じて国家統合が進む過程を説明します。
第 3 回	16 世紀のイギリス 2	16 世紀のイギリス経済が停滞していたこと、それに伴って浮浪者問題など社会が混乱していたことを説明します。
第 4 回	イギリス帝国の形成 1	15 世紀末からの初期の海外進出から 17 世紀初頭の海外進出が軌道に乗るまでの過程を説明します。
第 5 回	イギリス帝国の形成 2	17 世紀へゲモニー国家として繁栄したオランダと対立する中、航海法体制を確立する過程を説明します。
第 6 回	イギリス帝国の形成 3	17 世紀末からのフランスとの対立の中 18 世紀中頃に第一帝国を完成させる過程を説明します。

第 7 回	イギリス商業革命１	イギリス帝国の形成がイギリスの経済にどのような影響を与えたのか貿易面に焦点をあて説明します。
第 8 回	イギリス商業革命２	イギリス帝国の形成が貿易に留まらず、経済全般に影響を与え、結果、産業革命をもたらした過程を説明します。
第 9 回	イギリス生活革命	イギリス帝国の形成がイギリスの生活文化に与えた影響について説明します。
第 10 回	砂糖と西インド諸島	イギリス商業革命、イギリス生活革命で重要な役割を果たしたのが砂糖ですが、その生産を行っていた西インド諸島がその結果低開発の道を進むことになったことを説明します。
第 11 回	大西洋黒人奴隷貿易	イギリスは植民地経営に必要な労働力を獲得する手段として大西洋黒人奴隷貿易を盛んに行いました。この貿易がイギリス帝国およびアフリカに与えた影響について説明します。
第 12 回	13 植民地の独立	13 植民地の独立の過程と独立がイギリスに与えた影響について説明します。
第 13 回	産業革命と帝国	産業革命の展開と帝国が果たした役割について説明します。
第 14 回	試験・まとめと解説	第一イギリス帝国の形成がイギリスの内外に与えた影響について総括します

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
講義の前に前回のノートを読み返して下さい。
また、紹介する参考文献を積極的に読むようにして下さい。
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
特に使用しません。

【参考書】
授業中に適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】
授業の区切りにリアクションペーパー等を書いて頂き、この提出をもって平常点とします。これら平常点と学期末の試験の総合評価とします（平常点 20 %、学期末の試験 80 %）。

【学生の意見等からの気づき】
視覚教材を積極的に活用したいと思います。

【Outline and objectives】
British History from the 16th century to the 19th century
In this lecture, the formation of the British Empire and the influence of the empire on Britain and her dependencies will be discussed.

HIS200LA

西洋史ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

渡辺　知

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
19 世紀〜 20 世紀にかけてのイギリスの歴史を階級、ジェンダー、人種・民族、地域、帝国を切り口に概観し、近代イギリスの特徴を考えていくこととします。

【到達目標】
ただ、過去の事実の確認にとどまらず、それがなぜ起きたのか、また、過去の出来事が現在のイギリスの社会といかに関係するのか、あるいは、イギリスの動向が世界のその他の地域の動向といかに密接に結びついているのかといった点に力点を置きつつ、歴史学における多様なものの捉え方をあわせて提示できればと希望します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義形式で行います。リアクションペーパ等でのコメント、質問は随時授業内で紹介し、さらなる議論に活かします

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	授業内容の紹介	19 世紀〜 20 世紀にかけてののイギリスのあゆみを概観します。
第 2 回	二重革命の時代１	産業革命の特徴とそれがイギリスの政治、経済、社会に与えた影響を検討します。
第 3 回	二重革命の時代２	フランス革命がイギリスにどのような影響を与えたか検討します。
第 4 回	二重革命の時代３	フランス革命がイギリスにどのような栄光を与えたか、引き続き検討します。
第 5 回	帝国の再編	二重革命の時代は、イギリスの帝国が第一帝国から第二帝国へと再編された時期でもありました。その再編の過程を説明します。
第 6 回	ミドル・クラス	二重革命の影響で、イギリスではミドル・クラスが台頭してきます。このミドル・クラスの特徴を「リスペクタビリティー」という言葉をキーワードに検討します。
第 7 回	ミドル・クラスのジェントルマン化	台頭してきたミドル・クラス層が従来の支配者層であるジェントルマンと融合していく過程を検討します。
第 8 回	労働者階級	ジェントルマンとミドル・クラスが 19 世紀のイギリスの繁栄の恩恵を受けたのに対し、労働者階級の大多数はその恩恵から排除されていました。労働者階級を取り巻く状況を説明します。

第 9 回	アイルランド移民	労働者階級の中でも最下層を形成したのがアイルランドからの移民でした。アイルランド移民を切り口にアイルランド、スコットランド、イングランドの地域の問題を検討します。
第 10 回	怠惰な女性と善良な女性 1	19 世紀のイギリスにおいて女性たちがどのようなことを求められていたのか「怠惰な女性」と「善良な女性」をキーワードに検討します。
第 11 回	怠惰な女性と善良な女性 2	19 世紀のイギリスにおいて女性たちがどのようなことを求められていたのか「怠惰な女性」と「善良な女性」をキーワードに、引き続き、検討します。
第 12 回	帝国主義の時代	1870 年代以降のイギリスの経済、社会について概観します。
第 13 回	社会帝国主義	イギリスの国内問題の解決の場として帝国の果たす役割がこの時期大きくなったことを検討します。
第 14 回	試験・まとめと解説	19 世紀のイギリスがどのような特徴を持つ社会であったのか総括します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
講義の前に前回のノートを読み返して下さい。
また、紹介する参考文献を積極的に読むようにして下さい。
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
特に定めません。

【参考書】
授業中に適宜、紹介します。

【成績評価の方法と基準】
授業の区切りにリアクションペーパー等を書いて頂き、この提出をもって平常点とします。これら平常点と学期末の試験の総合評価とします（平常点 20 %、学期末の試験 80 %）。

【学生の意見等からの気づき】
視覚教材を積極的に活用したいと思います。

【Outline and objectives】
Britain in the 19th Century
In this lecture we analyse British society in the 19th century through class, gender, ethnicity and the British Empire.

HIS200LA

日本史ＬⅠ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

森　朋久

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火** 5/Tue.5
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
テーマ：日本の耕地と集落（村）の史的展開
日本の歴史のうち，日本の原風景、伝統的な景観であり，主に耕地と集落で成り立つ，村（ムラ）の歴史について，各時代の政治と経済を背景としながら，通史的に明らかにする。特に，現在の市町村の基盤となる村が成立する，近世・近代に重点を置く。耕地と集落は，棚田に代表されるように，人間と自然との共同作品である，文化的景観として近年注目されている。世界的に優良なその景観は，世界遺産の選定項目となり、日本でも優良な景観は，文化財保護法，農林水産業の重要文化的景観に選定されており、文化財としての意義がある。授業では前提として，日本史研究の基礎資料である歴史資料（古文書）を紹介するとともに，耕地や集落が文化財としてどのような意義があるのかを明らかにする。（学問分野：日本史，日本地域史，日本村落史，環境歴史学，文化財学）

【到達目標】
日本史研究の基礎資料である歴史資料（古文書）や耕地と集落の文化財的な意義を踏まえ，日本の農林水産業の地域基礎単位である村（ムラ）に関する通史的な学習を通し，教科書的な理解を越え日本史に対する新たな歴史観と問題意識を形成することを到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業は，対面授業とオンライン授業の組み合わせにより講義形式で行う。なお，変更が生じた場合は，速やかに対面授業および学習支援システムの「お知らせ」機能を用いて連絡する。各回の授業は主として適宜配信または配布した資料により，シラバス通りに進める。授業内レポート提出後の授業，または学習支援システムにおいて、提出された課題からいくつかポイントを取り上げ，全体に対してフィードバックを行う。
大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	日本史における耕地と集落の意義　日本史研究の基礎
第 2 回	日本史学入門	歴史資料の提示，解説，歴史資料の内容解読，背景
第 3 回	文化財保護法と耕地と集落	文化財・重要文化的景観からみた村（耕地と集落）
第 4 回	弥生・古墳時代の村	縄文・弥生移行期，弥生・古墳時代の耕地と集落
第 5 回	古代の政治と経済	古代の村と領主支配との関係
第 6 回	古代の村	古代の開発，条里と村，荘園と村，初期武士団の村
第 7 回	中世の政治と経済	中世の村と領主支配との関係

第 8 回	中世の村	村の景観，惣村と在家，開発と経営，近世の村との関係
第 9 回	近世の村の景観	村の基本構成要素，様々な村のかたち
第 10 回	近世の村の機能	村で作成される様々な文書，ムラの運営
第 11 回	幕藩領主の農政と近世の村（1）	近世中期までの領主財政と年貢収奪
第 12 回	幕藩領主の農政と近世の村（2）	吉宗政権の年貢増徴策と新田開発，土地政策
第 13 回	近現代の村	地租改正，戸長制，大区小区制，地方三新法，地方改良運動と村，農地改革，昭和の市町村合併と村，高度成長下の耕地と集落
第 14 回	試験と解説	まとめとして，日本における耕地と集落（村）とは何かを，総体的に考えていきます。そのうえで，試験に対応してもらいます。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
〈1〉準備学習：あらかじめ配信または配布した資料を一読，一覧しておくこと。各授業の時代背景を、日本史年表で調べておくことが望ましい。
〈2〉復習：日本各地の地名が出てくるので、馴染みがない地名は地名辞典などで調べておくこと。授業内レポートに備えて、授業の内容を各回まとめておくこと。
〈3〉本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】
特に定めない。適宜配信・配布した資料に沿って授業を行う。

【参考書】
〈1〉『村の語る日本の歴史　古代・中世編』，『村の語る日本の歴史　近世編①』，『村の語る日本の歴史　近世編②』木村礎著（1983 年そしえて）
〈2〉『日本の農業１５０年　１８５０～２０００年』暉峻衆三編著（2003 年　有斐閣）

【成績評価の方法と基準】
平常点（授業内小レポート　20 %）と期末試験（80 %）で，評価を決める。
授業内レポートは授業内容の理解度に応じて、また期末試験は課題に対する豊富な内容に応じて評価する。

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【Outline and objectives】
Historical explores the features of the Japanese village society from the perspective of people's life and an abundant historical and geographic image.

HIS200LA

日本史ＬⅡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

森　朋久

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**火** 5/Tue.5
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1～4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
テーマ：江戸時代転換期における政治・経済・社会
日本の江戸時代の歴史のうち，おもに転換期となる享保改革期から田沼政治期の政治・経済・社会（農村・都市）について，地域環境の変化に留意しながら考察する。具体的には，最近の成果を取り入れながら，一般的に知られているこの時期の諸事象と諸政策が歴史上どのような意義をもつのか明らかにすることを学習・教育目標とする。また，江戸時代における地域の諸相や地域基礎単位であり，町人や武家の生業生活の場である「都市」および農民の生産生活の場である「村」に注目する。（学問分野：日本近世史，日本地域史，日本都市史、日本都市近郊農村史）

【到達目標】
江戸時代研究の重要な情報資源である近世文書や江戸時代の政治（幕政・藩政）・経済・社会（都市江戸および江戸近郊・周辺農村）に関する学習などを通し，教科書的な理解を越え当該期に対する新たな歴史観と問題意識を形成することを到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業は，対面授業とオンライン授業の組み合わせにより講義形式で行う。なお，変更が生じた場合は，速やかに対面授業および学習支援システムの「お知らせ」機能を用いて連絡する。各回の授業は，主として資料の配信または配付によりシラバス通りに進める。授業内レポート提出後の授業，または学習支援システムにおいて、提出された課題からいくつかポイントを取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業の内容と進め方についての説明
第 2 回	吉宗政権の成立	家康～吉宗の時代推移と地域　吉宗政権の性格
第 3 回	行政機構の改革と法令の整備	老中制度及び勘定所機構の整備　法令集の編さん
第 4 回	享保改革期の農政	農政の特徴
第 5 回	都市政策の前提	都市江戸の成立と河川　武家屋敷の展開
第 6 回	都市政策の展開	江戸の防火政策　経済政策　風俗・出版統制
第 7 回	田沼政権の成立	家重政権時代の意次　意次権力の拡大
第 8 回	通貨制度の改革	江戸時代の通貨の特徴　田沼政権発行の貨幣
第 9 回	間接税の導入	百姓一揆と財政窮乏策　株仲間の役割
第 10 回	幕政と藩政（1）	幕府の銅貿易と秋田藩の産銅政策

第 11 回　幕政と藩政（2）	幕府の通貨政策と秋田藩の銭鋳造
第 12 回　江戸近郊の地域史	江戸の青物市場　江戸近郊農村における蔬菜生産と下肥流通
第 13 回　江戸周辺の地域史	利根川の歴史と流域住民の共生
第 14 回　試験と解説	まとめとして，享保改革・田沼政権期はなぜ転換期と呼ばれるのか，江戸と近郊・周辺地域との関係は如何なるものなのかを，総体的に考えていきます。そのうえで，試験に対応してもらいます。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
常にノートを整理し，配信または配布した資料などを改めて読みなおすなど，次回に備えるようにしてもらいたい。なお，本授業の準備・復習時間は，各 2 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】
テキストは指定しない。適宜資料を配信・配布する。

【参考書】
〈1〉『幕藩体制の展開と動揺　上（日本歴史大系 10）』井上光貞ほか著（山川出版社）
〈2〉『大江戸歴史の風景』加藤貴編著（山川出版社）
その他、参考となる文献は、講義の中で適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】
平常点（授業内小レポート　20 %）と期末試験（80 %）で，評価を決める。授業内レポートは授業内容の理解度に応じて，また期末試験は課題に対する豊富な内容に応じて評価する。

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません

【Outline and objectives】
Historical explores the administration, the economy and the society of Japan in the early modern period including the social system of Edo and its surrounding areas.

HIS200LA

日本史ＬⅠ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

仁平　義孝

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火 4**/Tue.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
鎌倉時代の幕府政治史を概観する。数多くある論点のなかから、和田合戦や霜月騒動など幕府内部で繰り返された内紛と、幕府政治機構の中枢である評定・引付・寄合について、関連する史料を読みながら検討し、その意義を考えていきたい。

【到達目標】
鎌倉幕府政治史の流れを理解し、史料に基づく検証方法を学ぶことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
対面授業と Zoom を使用したオンライン授業を組み合わせて実施する。初回は Zoom によるオンライン授業で行い、その後については学習支援システムを通じて連絡する。
なお、大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則として Zoom を使用したオンライン授業で実施する。詳細は学習支援システムで連絡する。
授業は講義形式で行う。講義資料を学習支援システムにて配信するので、受講生は各自でプリントアウトして用意してもらいたい。
学期内（2 回の予定）と学期末にリポートを提出してもらう。リポートはすべて提出することを必須とする。学期内に課すリポートについては、最終授業で解説する。
質問は授業終了後や、学習支援システムの掲示板などで受け付ける。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業概要の説明。
2	源頼朝執政期の幕府政治 (1)	寿永 2 年 10 月宣旨、文治勅許などの検討。
3	源頼朝執政期の幕府政治 (2)	頼朝上洛、建久 7 年の政変などの検討。
4	将軍源頼家・実朝、北条政子期の幕府政治 (1)	13 人の合議制、比企氏事件などの検討。
5	将軍源頼家・実朝、北条政子期の幕府政治 (2)	和田合戦、承久の乱などの検討。
6	執権北条泰時期の幕府政治 (1)	伊賀氏事件、連署制などの検討。
7	執権北条泰時期の幕府政治 (2)	評定、御成敗式目などの検討。
8	執権北条経時期の幕府政治	経時の訴訟制度改革などの検討。
9	執権北条時頼・長時期の幕府政治 (1)	寛元の政変、宝治合戦などの検討。
10	執権北条時頼・長時期の幕府政治 (2)	引付、得宗時頼などの検討。

11	得宗北条時宗期の幕府政治	引付廃止・再設置、寄合、二月騒動などの検討。
12	得宗北条貞時・高時期の幕府政治 (1)	霜月騒動、平禅門の乱などの検討。
13	得宗北条貞時・高時期の幕府政治 (2)	貞時の訴訟制度改革、評定・寄合などの検討。
14	まとめ	授業内容のまとめと学期内リポートの解説。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
参考書や授業時に紹介する文献を読む。
本授業の準備・復習時間は各 2 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】
なし。講義資料を学習支援システムにて配信する。

【参考書】
本郷恵子『京・鎌倉　ふたつの王権』（小学館、2008 年）
川合　康『源平の内乱と公武政権』（吉川弘文館、2009 年）
小林一岳『元寇と南北朝の動乱』（吉川弘文館、2009 年）
近藤成一『鎌倉幕府と朝廷』（岩波新書、2016 年）
その他、授業時に紹介する。

【成績評価の方法と基準】
学期内・学期末のリポートで総合評価する（100 %）。

【学生の意見等からの気づき】
講義資料のわかりにくい表現を改める。

【学生が準備すべき機器他】
Zoom にて受講できる環境を整える。

【Outline and objectives】
The purpose of this course is to study political history of the Kamakura Shogunate.

HIS200LA

日本史ＬⅡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

仁平　義孝

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**火** 4/Tue.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
鎌倉幕府の基本法である御成敗式目を読む。その内容は多岐にわたるが、ここでは犯罪や訴訟手続きに関する条文を読み、鎌倉幕府法の特質を考えていきたい。

【到達目標】
鎌倉幕府法の特質を理解し、史料に基づく検証方法を学ぶことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
対面授業と Zoom を使用したオンライン授業を組み合わせて実施する。初回は対面授業を予定しているが、その後については学習支援システムを通じて連絡する。
授業は講義形式で行う。講義資料を学習支援システムにて配信するので、受講生は各自でプリントアウトして用意してもらいたい。
学期内（２回の予定）と学期末にリポートを提出してもらう。リポートはすべて提出することを必須とする。学期内に課すリポートについては、最終授業で解説する。
質問は授業終了後や、学習支援システムの掲示板などで受け付ける。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	御成敗式目について (1)	御成敗式目制定の目的などの解説。
2	御成敗式目について (2)	御成敗式目の条文構成などの解説。
3	御成敗式目第 9 条を読む	謀叛の罪について考える。
4	御成敗式目第 10 条を読む	殺害・刃傷の罪について考える。
5	御成敗式目第 11 条を読む	第 9・10 条の関連規定について考える。
6	御成敗式目第 32 条を読む	第 9・10 条の関連規定について考える。
7	御成敗式目第 33 条を読む	強盗・窃盗の罪について考える。
8	御成敗式目第 34 条を読む	密懐の罪について考える。
9	御成敗式目第 12 条を読む	悪口の罪について考える。
10	御成敗式目第 13・14 条を読む	殴人の罪および９〜13 条の関連規定について考える。
11	御成敗式目第 15 条を読む	謀書の罪について考える。
12	御成敗式目第 51 条を読む	訴訟手続きについて考える。

13	御成敗式目第 35 条を読む	召文違背の罪について考える。
14	まとめ	授業内容のまとめと学期内リポートの解説。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
参考書や授業時に紹介する文献を読む。
本授業の準備・復習時間は各 2 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】
なし。講義資料を学習支援システムにて配信する。

【参考書】
『中世政治社会思想　上』（日本思想大系 21、岩波書店、1972 年）
笠松宏至編『中世を考える　法と訴訟』（吉川弘文館、1992 年）
水林彪・大津透・新田一郎・大藤修編『法社会史』（新体系日本史２、山川出版社、2001 年）
その他、授業時に紹介する。

【成績評価の方法と基準】
学期内・学期末のリポートで総合評価する（100 %）。

【学生の意見等からの気づき】
講義資料のわかりにくい表現を改める。

【学生が準備すべき機器他】
Zoom にて受講できる環境を整える。

【Outline and objectives】
The purpose of this course is to study low of the Kamakura Shogunate by reading the Goseibai shikimoku.

HIS200LA

日本史ＬⅠ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**日本中世社会を理解するために**

貫井　裕恵

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ユネスコ世界記憶遺産に採択された国宝「東寺百合文書」をおもな題材として、歴史を学ぶための基本的な考え方を習得し、史料読解の方法を身につけます。「東寺百合文書」は寺院社会のみならず、朝廷・公家・武家・民衆といったあらゆる階層の人々のすがたをいまに伝える貴重な文書群です。「東寺百合文書」を通じて日本中世社会への理解を深めましょう。＊日本史ＬⅡもあわせて受講することを推奨します。

【到達目標】
・「東寺百合文書」を通じて日本の中世社会への理解を深める。
・歴史研究における論理展開の発想と、文献に基づく議論構築の手法を学ぶ。
・文化財のもつ多様な価値と多様な見方を学ぶ。
・くずし字に親しみ、解読できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
基本的に対面授業で実施しますが、大学の方針に従い、適宜柔軟に対応します。学習支援システムを通じてお知らせします。
毎回の講義ごとに、レビューシート（リアクションペーパー）の提出を求めます。次の授業で、レビューシートに寄せられた疑問や質問、気づきに応答するかたちで復習を行います。
授業期間内に、任意の美術館・博物館へ見学に行っていただき、感想の提出を求めます（オンラインミュージアムや文化財データベースでの代替も可）。上記のレビューシート同様に、授業内で共有します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	本授業の目的と課題、評価方法などの説明
2	歴史学の流れと日本中世史	日本における歴史学の発達史と、そのなかでの日本中世史研究の大きな流れを学ぶ
3	中世社会と東寺	日本中世社会の構造と、そのなかでの東寺の位置づけなど、本授業のおおまかな流れや前提となる知識を学ぶ
4	東寺百合文書について	東寺百合文書の特質とユネスコ記憶遺産について学ぶ
5	寺院組織	東寺をはじめとする中世寺院の組織と構造を学ぶ
6	文書管理（アーカイブズ）	中世寺院における文書管理のありかたを学ぶ
7	芸能	能・狂言の淵源となった、中世寺院周辺で行われた様々な芸能を学ぶ

8	喫茶文化	中世寺院における僧侶や民間における喫茶文化を学ぶ
9	寺誌・縁起	寺院における歴史叙述のありかたを学ぶ
10	絵巻	『弘法大師行状絵巻』など寺院における絵巻作成の背景や利用方法などを学ぶ
11	荘園の構造・荘園絵図の世界	荘園制について学び、現存する荘園絵図から中世社会の諸問題を学ぶ
12	文化財を守り伝える	文化財が守り伝えられる意義と方法を学ぶ
13	現代社会と歴史学研究	現代社会において歴史学を学ぶ意義を学び、受講者と討論する
14	まとめ	受講者の質疑応答とレポート内容の報告会および講評、本講義のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
適宜配布します。

【参考書】
・佐藤進一『新版　古文書学入門』法政大学出版局、2003 年
・京都府立総合資料館編『東寺百合文書にみる日本の中世』京都新聞出版センター、1998 年

【成績評価の方法と基準】
レポート 60 %、平常点 40 %で評価する。ただし、平常点には、毎回提出を求めるレビューシートでの意見・感想の内容を含む。

【学生の意見等からの気づき】
毎回提出を求めているレビューシートに基づき、次回の授業の冒頭でレビューシートの内容を紹介しながら復習を行い、授業内容のフォローアップを実施する。

【学生が準備すべき機器他】
特になし

【その他の重要事項】
日本史ＬⅡもあわせて受講することを推奨します。
日本の古代・中世に関心のある方はもちろん、日本の文化、美術館や博物館、文化財に興味を抱く学生の履修をとくにお待ちしております。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to help students acquire the necessary skills and knowledge needed to understand the medieval history of Japan.

HIS200LA

日本史ＬⅡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**日本中世社会と寺院**

貫井　裕恵

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ユネスコ世界記憶遺産に採択された国宝「東寺百合文書」をおもな題材として、歴史を学ぶための基本的な考え方を習得し、史料読解の方法を身につけます。「東寺百合文書」は寺院社会のみならず、朝廷・公家・武家・民衆といったあらゆる階層の人々のすがたをいまに伝える貴重な文書群です。「東寺百合文書」を通じて日本中世社会への理解を深めましょう。＊日本史ＬⅠもあわせて受講することを推奨します。同授業の発展的内容になります。

【到達目標】
・「東寺百合文書」を通じて日本の中世社会への理解を深める。
・歴史研究における論理展開の発想と、文献に基づく議論構築の手法を学ぶ。
・文化財のもつ多様な価値と多様な見方を学ぶ。
・くずし字に親しみ、解読できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
基本的に対面授業で実施しますが、大学の方針に従い、適宜柔軟に対応します。学習支援システムを通じてお知らせします。
毎回の講義ごとに、レビューシート（リアクションペーパー）の提出を求めます。次の授業で、レビューシートに寄せられた疑問や質問、気づきに応答するかたちで復習を行います。
授業期間内に、任意の美術館・博物館へ見学に行っていただき、感想の提出を求めます（オンラインミュージアムや文化財データベースでの代替も可）。上記のレビューシート同様に、授業内で共有します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	本授業の概要や評価方法を知る
2	歴史学と日本中世史	日本における歴史学の流れと、中世史の歩みを学ぶ
3	寺院史料論	中世寺院における史料とその社会について学ぶ
4	寺院史料と東寺百合文書	中世史料として伝存する寺院史料を概観し、東寺百合文書の特質を探る
5	中世寺院・東寺の誕生	古代から鎌倉初期に至る東寺の歴史を学ぶ
6	鎌倉幕府と東寺	建久年間の文覚上人による東寺復興事業から蒙古襲来までの歴史を学ぶ
7	本末相論	鎌倉中〜末期における東大寺・醍醐寺の本末相論との関わりに焦点をあてながら、同時期の東寺の宗教環境を学ぶ

8	文書の管理と利用	中世寺院における文書・聖教の管理のありかたを学ぶ
9	東寺領荘園の展開	鎌倉末期から南北朝期にかけて拡充した東寺領荘園とその展開を学ぶ
10	東寺の伽藍修造事業	東寺大勧進職が推進した室町期修造事業について学ぶ
11	弘法大師信仰の展開	東寺御影堂を中心に展開した弘法大師信仰とその社会的意義を学ぶ
12	寺院の芸能	室町期に発達した寺院における芸能を学ぶ
13	応仁・文明の乱	応仁・文明の乱という大乱に人びとがどのように対応したのかを学ぶ
14	まとめ	現代社会において歴史学研究の果たす役割を学ぶ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・使用テキストは事前に予習しておく。（各回 2 時間程度。予習の仕方については教場で説明します。）
・プリントやノートを用いた復習を行う。（各回 2 時間程度。復習の仕方については教場で説明します。）
・本授業の最終にレポートをまとめて提出する。（テーマや執筆方法については、教場でお伝えします。）

【テキスト（教科書）】
適宜配布します。

【参考書】
・佐藤進一『新版　古文書学入門』法政大学出版局、2003 年
・京都府立総合資料館編『東寺百合文書にみる日本の中世』京都新聞出版センター、1998 年
このほか、授業の進行状況に応じてお伝えします。

【成績評価の方法と基準】
レポート 60 %、平常点 40 %で評価する。ただし、平常点には、毎回提出を求めるレビューシートでの意見・感想の内容を含む。

【学生の意見等からの気づき】
毎回提出を求めているレビューシートに基づき、次回の授業の冒頭でレビューシートの内容を紹介しながら復習を行い、授業内容のフォローアップを実施する。

【学生が準備すべき機器他】
特になし

【その他の重要事項】
日本史ＬⅠもあわせて受講することを推奨します。
日本の古代・中世に関心のある方はもちろん、日本の文化、美術館や博物館、文化財に興味を抱く学生の履修をとくにお待ちしております。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to help students acquire the necessary skills and knowledge needed to understand the medieval history of Japan.

HIS200LA

日本史ＬⅠ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

鈴木　多聞

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1～4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本講義は日本近代史（政治史、社会史）に関する知識を身につけるとともに、歴史学、政治学の基礎的概念を理解することを目的としています。史料やデーターを正確に解釈し、全体像をバランスよく把握する能力は、現代社会を生きていく上でも重要です。

【到達目標】
日本近代史に関する基礎的な知識を習得し、簡単な文章を書けるようになることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
オンライン、対面授業等などの実施予定にともなう、各回の授業計画の変更につ
いては、本講義の開始日に説明する。また、講義においては、双方的なやりとりを重視する。課題の中で優秀な小レポートについては、その都度、授業内において取り上げ、講評を行う。また、授業の最後に寄せられたコメントについても、次週の授業において取り上げる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	日本近代史を考える	日本近代史の見方や解釈について、先行研究の論点を整理し、考察を深める。
2	日本近代史の中の病気	「流感」やその他の病気が、日本近代史に与えた社会的影響について考える。
3	昭和史の人物と病気	昭和史の人物の病歴がどのように考えられていたのかを考える。
4	明治憲法と戦前の日本	いわゆる明治憲法体制の形成と崩壊について考える。
5	皇族と戦前の日本	皇族たちの近代史について考える。
6	日露戦争と鈴木貫太郎	近年の研究動向をふまえ、日露戦争のインパクトについて考える。
7	第一次世界大戦と日本	ヨーロッパを舞台とした第一次世界大戦が日本に与えた影響について考える。
8	満州事変と日本外交	「満洲事変」が日本の国内政治をどのように変容させたのかについて考える。
9	五・一五事件とその影響	五・一五事件とその後の影響について考える。
10	二・二六事件と陸軍	二・二六事件とその思想的背景について考える。
11	昭和天皇と天皇機関説事件	いわゆる「天皇機関説」について、当時の史料を読みながら、この問題について考察を深める。

12	「アジア・太平洋戦争」の時代	戦前の朝鮮・台湾・アジアとの関係について考える。
13	空襲と国民	空襲の残した爪痕について「戦後」も含めて考察する。
14	原爆投下について考える	原爆投下についての論争などについて整理し「戦後」の問題も考える。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
開講時に指示する。

【参考書】
開講時に指示する。

【成績評価の方法と基準】
平常点（各回のコメント）30%
簡単な小レポート（複数回、70%)

【学生の意見等からの気づき】
特になし。

【Outline and objectives】
This course will help students understand modern Japanese history, especially political and social history. Students will also gain a general understanding of the disciplines of history and political science. The ability to analyze historical materials and data to obtain a balanced view of a topic is a critical skill for modern life.

HIS200LA

日本史ＬⅡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

鈴木　多聞

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本講義は日本現代史（政治史）に関する知識を身につけるとともに、歴史学、政治学の基礎的概念を理解することを目的としています。史料やデーターを正確に解釈し、全体像をバランスよく把握する能力は、現代社会を生きていく上でも重要です。

【到達目標】
日本現代史に関する基礎的な知識を習得し、簡単な文章を書けるようになることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義形式。毎回、パワーポイントを使用します。対面の場合は、レジュメと史料のコピーを配布します。課題の中で優秀な小レポートについては、その都度、授業内において取り上げ、講評を行う。また、授業の最後に寄せられたコメントについても、次週の授業において取り上げる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	日本現代史について考える	「戦前」と「戦後」について考えます。
2	政治とシンボル	「国家」「陸軍」「海軍」は見えなくても、シンボルは目に見えます。国旗、軍旗、軍艦、日本刀、石碑、いろいろなものについて考えてみたいと思います。
3	ソ連の参戦と日本の降伏	ソ連の参戦の情報やリスクについて、日本がどのように対応したのかについて考察します。
4	東条英機と「東京裁判」	国際政治の文脈から「東京裁判」を考えます。
5	新憲法の制定過程	日本国憲法の制定過程について概観します。
6	占領と改革　米ソの冷戦の開始	米ソの対立が日本にどのような影響を与えたのかを考えます。
7	占領政策の転換と吉田茂	吉田茂とその政治グループの位置づけについて考えます。
8	55 年体制の成立と岸信介	岸信介とその政治グループの位置づけについて考えます。
9	シベリア抑留と日ソ関係	近衛文隆や宇野宗佑、三波春夫など、多くの人が抑留されました。抑留中に歌われた音楽やナヴォイ劇場にまつわる言説についても取り上げます。

10	風化する戦争体験と「五感」	五感を歴史学の文脈で語ることは難しいです。空襲警報の音や、戦争における「匂い」などについて考えます。
11	ニュース映画・ラジオ・新聞	メディアの発達が社会に与えた影響についても考えます。
12	日中国交正常化と高度成長	戦後の日中・日台関係について概観します。
13	冷戦の終結と日米関係	日米関係を長期的視点から考察します。
14	21 世紀の日本外交 相互理解にむけて	日本の内政と外交がどのような関連性を持っているのかを理解します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
開講時に指示する。

【参考書】
開講時に指示する。

【成績評価の方法と基準】
平常点（各回のコメント）30%
小レポート（複数回）　70 %

【学生の意見等からの気づき】
特になし。

【Outline and objectives】
This course will help students understand modern Japanese history, especially political and social history. Students will also gain a general understanding of the disciplines of history and political science. The ability to analyze historical materials and data to obtain a balanced view of a topic is a critical skill for modern life.

PHL200LA

宗教論ＬⅠ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**宗教論の歴史**

須藤　孝也

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火** 5/Tue.5
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
宗教論 LII では現代の宗教論について学ぶが、LI では、その前提として近代までの宗教論の歴史について学ぶ。

【到達目標】
①主要な宗教論について説明することができる。
②学術書を批判的に読むことができる。
③批判的に議論することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
各回１人（時に２人）ずつ思想家をとりあげ、その宗教論について説明する。講義形式を予定している。
フィードバック方法：メールで対応します。
※大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の目的や進め方、宗教論の概要について説明する。
2	ソクラテス、プラトン	ソクラテスとプラトンの宗教論について解説する。
3	アリストテレス	アリストテレスの宗教論について解説する。
4	トマス・アクィナス	トマス・アクィナスの宗教論について解説する。
5	エックハルト	エックハルトの宗教論について解説する。
6	ホッブズ、スピノザ	ホッブズとスピノザの宗教論について解説する。
7	ジョン・ロック	ジョン・ロックの宗教論について解説する。
8	カント	カントの宗教論について解説する。
9	ヘーゲル	ヘーゲルの宗教論について解説する。
10	フォイエルバッハ	フォイエルバッハの宗教論について解説する。
11	キルケゴール（1）	の宗教論について解説する。
12	キルケゴール（2）	キルケゴールの宗教論について解説する。
13	シモーヌ・ヴェイユ	シモーヌ・ヴェイユの宗教論について解説する。
14	補足と総括	全体を振り返る。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業中に挙げる文献リストから 1 冊を選んで読んでもらいます。
本授業の準備・復習時間は、各 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
特にありません。

【参考書】
適宜、授業中に挙げます。

【成績評価の方法と基準】
各回の授業態度 40%と小論文（3000 字程度）60%で評価します。
授業態度は積極的に議論に参加している者を評価します。
小論文は、説得的に立論しているものを評価します。

【学生の意見等からの気づき】
できるかぎり学生にも話す機会を与えようと思っています。

【その他の重要事項】
履修者数等、状況に応じて、授業の進め方は柔軟に変更します。
質問があればご遠慮なくお問い合わせください。
takaya.suto.87〔アット〕hosei.ac.jp

【Outline and objectives】
We learn the history of theories of religion until modern times in this class. This is to be the precondition for LII.

PHL200LA

宗教論ＬⅡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**マクガイアの宗教論**

須藤　孝也

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**火** 5/Tue.5
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
M.B. マクガイアの宗教論について学ぶ。
当該書は宗教論の重要な点を網羅しており、教科書として最適であるため。

【到達目標】
①マクガイアの『宗教社会学：宗教と社会のダイナミックス』の内容を理解することができる。
②要約を作り、発表することができる。
③批判的に考察し、議論することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
『宗教社会学：宗教と社会のダイナミックス』を毎回 1 章ずつ読み進む。
担当者には要約を作ってきてもらう。
授業の中で 30 分程度で発表してもらう。
参加者も読んでくること。
意味がよくとれなかったところを質問してもらう。
それに関して議論を深める。
理解が不正確なところについては解説する。
フィードバック方法：メールで対応します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の目的や進め方、宗教論の概要について説明する。
2	第 1 章	宗教への社会学的視点
3	第 2 章	意味と帰属の供給
4	第 3 章	個人における宗教
5	第 4 章	公認宗教と非公認宗教
6	前半の振り返り	補足説明をする
7	第 5 章	宗教的集合体のダイナミックス
8	第 6 章	宗教、社会的結束、対立
9	第 7 章	社会変動に対する宗教の影響力
10	第 8 章	現代世界の宗教
11	総括	全体を振り返る
12	現代の諸研究（1）	宗教論、宗教社会学に関する最近の学術論文を読む。
13	現代の諸研究（2）	宗教論、宗教社会学に関する最近の学術論文を読む。
14	小論文の合評	学生の提出した小論文について議論する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習は、各 2 時間を標準とします。次回に扱うところを読んできてください。担当者は要約を作ってきてください。

【テキスト（教科書）】
メレディス・B・マクガイア『宗教社会学：宗教と社会のダイナミックス』、明石書店、2008 年.

【参考書】
ありません。

【成績評価の方法と基準】
各回の授業態度 40%と小論文（3000 字程度）60%で評価します。
授業態度は積極的に議論に参加している者を評価します。
小論文は、説得的に立論しているものを評価します。

【学生の意見等からの気づき】
学術文献を正確に読む力に乏しい学生が少なくないため、精読するトレーニングが必要だと認識しました。

【その他の重要事項】
履修者数等、状況に応じて、授業の進め方は柔軟に変更します。
質問があればご遠慮なくお問い合わせください。
takaya.suto.87〔アット〕hosei.ac.jp

【Outline and objectives】
We learn Meredith B. McGuire's theory of religion.
This book covers the important points of religious study and is best as a textbook.

ECN200LA

経済学ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**ミクロ (マイクロ) 経済学とマクロ経済学の基礎**

中平　千彦

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
＊第 1 回 (4 月 9 日) 講義の参加は、学習支援システム https://hoppii.hosei.ac.jp/portal にログインして『経済学 LA』(担当:中平) 内にある「お知らせ」で指示された方法によって行ってください。
　この講義は、春学期開講『経済学 LA』(担当:中平) です。この講義で学んだ内容は、秋学期開講『経済学 LB』(担当:中平) に接続されます。
　受講生の皆さんは、「経済学」に対してどのような印象を持っているでしょうか？　経済学は、我々の形成する社会で観察される、経済主体の活動や相互依存関係によって導かれた多様な経済問題を分析し、その中に存在する経済法則を究明することによって、望ましい社会的経済厚生を研究する学問です。あるいは、希少性を有する財・サービスの最適な選択と配分を、相互に競合する目的を考慮しながら決定し、また、その決定を行うための方法を研究する学問です。
　春学期開講『経済学 LA』では、「ミクロ (マイクロ) 経済学」と「マクロ経済学」の基礎をコンパクトに解説し、受講生にそれらを速習してもらうことを目指します。

【到達目標】
・ミクロ (マイクロ) 経済学とマクロ経済学の理論的基礎を説明できるようになる。
・ミクロ (マイクロ) 経済学とマクロ経済学に関する基本的問題を、社会科学的に思考・表現することができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
　経済理論を大別すると、「ミクロ (マイクロ) 経済学」と「マクロ経済学」に分類できます。「ミクロ (マイクロ) 経済学」は、個々の経済主体における最適化された行動を前提に、市場における経済主体間の相互関係、資源配分と所得分配の決定における市場機構の役割などを分析する、あるいは、いくつかの代表的な公理に依拠した最適化行動に基づき、個から市場、そして経済全体へとアプローチする研究分野です。一方、「マクロ経済学」は、消費者部門における消費、企業部門における投資と生産物供給、政府部門における財政支出と貨幣供給、貿易バランス、そして、それらの相互連関によって決定される国民所得、インフレーションと失業、景気変動などに着目し、経済全体についての集計変数における均衡水準と決定経路を分析する研究分野です。これらの 2 分野は相互補完的な関係にあります。例えば、「ミクロ (マイクロ) 経済学」において、個々の経済主体の最適な行動がマクロ経済にいかなる影響を与えるかを分析するには、「マクロ経済学」の理論が必要となります。また、「現代マクロ経済学」にとって「マクロ経済学のミクロ (マイクロ) 的基礎」は不可欠な要素となっています。
　この講義では「ミクロ (マイクロ) 経済学」と「マクロ経済学」の基礎理論を学びますが、講義時間に余裕があれば、「ミクロ (マイクロ) 経済学」の理論と現実との関係、また、マクロ経済学や公共政策学のミクロ (マイクロ) 的基礎などのトピックも採り入れるよう努力します。
　我々には、講義回数 14 回という厳しい時間制約が課されていますが、担当教員は、受講生諸氏が要領よくミクロ (マイクロ) 経済学とマクロ経済学の基礎項目を学ぶことができるよう努力し、また、この講義が、受講生各位における将来の発展的学習・研究に役立つものとなることを願っています。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 01 回	経済学の基本問題と経済システム	経済学の基本問題と市場の仕組み、経済システム
第 02 回	消費者と生産者の行動 (Ⅰ)	選好と効用関数、需要関数
第 03 回	消費者と生産者の行動 (Ⅱ)	生産技術と費用関数 (1)
第 04 回	消費者と生産者の行動 (Ⅲ)	生産技術と費用関数 (2)、供給関数
第 05 回	市場均衡 (Ⅰ)	完全競争市場と調整過程、余剰と比較静学

第 06 回	市場均衡 (Ⅱ)	部分均衡と一般均衡、独占市場と独占的競争市場
第 07 回	経済厚生	市場の失敗、パレート効率性、厚生経済学の基本定理
第 08 回	国民所得分析の基礎	SNA、マクロ経済指標
第 09 回	消費関数	消費と消費関数
第 10 回	投資関数	投資と投資関数
第 11 回	有効需要と乗数理論	有効需要の原理、乗数効果
第 12 回	IS・LM 曲線と総需要曲線・総供給曲線	IS 曲線・LM 曲線および総需要曲線・総供給曲線による経済分析
第 13 回	インフレ需要曲線	インフレ需要曲線による経済分析
第 14 回	インフレ供給曲線	インフレ供給曲線による経済分析

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。
・受講後にテキストやノートによって講義内容を復習してください。また、必要に応じて予習を行ってください。

【テキスト（教科書）】
・塩澤修平 (著)『基礎コース 経済学 (第 2 版)』新世社，2011 年.

【参考書】
・浅田統一郎 (著)『マクロ経済学基礎講義 (第 3 版)』中央経済社，2016 年.
・浅田統一郎 (著)『ミクロ経済学の基礎 (第 2 版)』中央経済社，2017 年.
・井原哲夫／桜本光／辻村和佑／牧厚志 (著)『経済学入門－現実の経済を理解するために (第 2 版)』日本評論社，2008 年.
・スティグリッツ，ジョセフ・E．/ウォルシュ，カール・E．(著), 薮下史郎/秋山太郎/蟻川靖浩/大阿久博/木立力/宮田亮/清野一治 (訳)『スティグリッツ入門経済学 (第 4 版)』東洋経済新報社，2012 年.
・福岡正夫 (著)『ゼミナール経済学入門 (第 4 版)』日本経済新聞出版社，2008 年.
・マンキュー，N．グレゴリー (著), 足立英之/石川城太/小川英治/地主敏樹/中馬宏之/柳川隆 (訳)『マンキュー入門経済学 (第 3 版)』東洋経済新報社，2019 年.
・Bade, Robin and Michael Parkin, *Essential Foundation of Economics*(8th ed.)(pap.), Pearson, 2017.
・Hirshleifer, Jack, Amihai Glazer and David Hirshleifer, *Price Theory and Applications: Decisions, Markets, and Information*(7th ed.)(pap.), Cambridge Univ. Press, 2005.
・Hubbard, R. Glenn and Anthony Patrick O'Brien, *Essentials of Economics*(6th ed.), Pearson, 2018.
・Hubbard, R. Glenn and Anthony Patrick O'Brien, *Economics*(7th ed.), Pearson, 2018.
・Krugman, Paul and Robin Wells, *Essentials of Economics*(5th ed.), Worth Publishers, 2019.

【成績評価の方法と基準】
・ [定期試験点 (90 %) ＋平常点 (10 %) ＝総合点 (100 %)] の評点配分で成績が決定されます。
・単位認定には規定数以上の出席が必要です。
・各種行事の出席や疾病などによる止むを得ない欠席は、出席扱いとすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】
・受講生による講義アンケートの結果は、講義内容を改善するための参考資料とします。

【学生が準備すべき機器他】
・特別な指定はありません。

【その他の重要事項】
・出席確認を行いますので注意してください。
・テキストは購入し、参考文献の購入は、必要性に応じて判断してください。
・本講義の趣旨は、アカデミックな経済学の基礎理論を平易に解説することですが、公務員、国税専門官、公認会計士、不動産鑑定士、中小企業診断士、ファイナンシャル・プランナーなどの、各種資格・就職試験で経済学を受験科目として選択する受講生にも配慮した解説を行います。

【オフィス・アワー】
・講義終了後 (14:50～15:00)、または相談により設定。

【関連科目】
・秋学期のリベラルアーツ科目『経済学 LB』(担当：中平) 、また、リベラルアーツ科目、あるいは各学部で開講されている科目で、経済学、統計学に関わるもの。

【Outline and objectives】
This course is designed to provide the student with an opportunity to understand the basic theory of microeconomics and macroeconomics. Generally, economic theory broadly divided into two parts - microeconomics and macroeconomics. Microeconomics focuses on decision making at the individual level, while macroeconomics studies the economy as a whole.
This course is a comprehensive guide on how to get started with microeconomics and macroeconomics.

ECN200LA

経済学ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**観光経済学の基礎**

中平　千彦

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1～4 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本講義では、応用経済学の一分野としての「観光経済学」を学びます。
観光経済学のトピックの中で、特に基本的フレームワークを形成する主要な項目を、ミクロ (マイクロ) 経済学とマクロ経済学の理論に立脚して理解することを目指します。

【到達目標】
・観光経済学の基礎的事項を説明できるようになる。
・観光経済学に関する基本的問題をミクロ (マイクロ)・マクロ経済学理論に基づいて思考・表現することができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
観光経済学は、経済学理論に基づき、また、経済学の関連領域に属する学問を包含し、広義の観光活動を分析する、応用経済学の一種と位置付けられるものです。さらに、現代における広義の観光経済学は、観光客の支出決定、観光市場の構造、観光行動における意思決定、観光企業間の連携、観光による外貨発生の効果と範囲、観光資源の貢献可能性、観光政策などを包括的に研究する分野となっています。
本講義では、観光の現状と課題、観光統計、投資理論、消費理論、消費者行動と観光、観光需要、観光サービス供給、観光市場の機能、観光市場の失敗、経済成長と観光、世界遺産と観光、我が国の観光と課題などの項目を学びます。なお、必要に応じて、公共経済学などの知識を補充し、学習内容の拡充を試みます。
我々には、講義回数 14 回という厳しい時間制約が課されていますが、担当教員は、受講生諸氏が要領よく観光経済学の基礎項目を学ぶことができるよう努力し、また、この講義が、受講生各位における将来の発展的学習・研究に役立つものとなることを願っています。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 01 回	観光の現状と課題、SNA と観光統計 (1)	観光のもたらす課題、SNA の概念と観光統計
第 02 回	SNA と観光統計 (2)	SNA の基本構造、サテライト勘定の意義と分類
第 03 回	観光市場の機能	市場需要曲線と市場供給曲線、市場均衡と市場調整、観光財・サービスの価格決定メカニズム
第 04 回	消費理論と観光 (1)	消費と消費関数、消費関数における短期と長期
第 05 回	消費理論と観光 (2)	消費決定の仮説、観光消費の性質
第 06 回	投資理論と観光 (1)	投資と投資の決定要因、限界効率と投資判断
第 07 回	投資理論と観光 (2)	投資の限界効率表と投資量の決定
第 08 回	消費者行動と観光 (1)	消費者行動と需要曲線、観光サービスの対象と選択
第 09 回	消費者行動と観光 (2), 観光需要	観光需要と弾力性、観光需要の実際
第 10 回	観光サービス供給	観光サービス供給、観光市場の構造
第 11 回	観光市場の失敗	市場の失敗と観光分析
第 12 回	公共財とコモンプール財	公共財、コモンプール財と資源の過剰利用
第 13 回	観光成長と観光	インバウンド市場とアウトバウンド市場、観光発展の将来
第 14 回	世界遺産とエコツーリズム, 観光の課題と将来	世界遺産の基礎知識、エコツーリズムの事例と課題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。
・受講後にテキストやノートによって講義内容を復習してください。また、必要に応じて予習を行ってください。

【テキスト（教科書）】
・中平千彦／薮田雅弘 (編著)『観光経済学の基礎講義』九州大学出版会，2017 年.

【参考書】
・M.T. シンクレア／ M. スタブラー (著), 小沢健市 (監訳)『観光の経済学』学文社，2001 年.
・ジェームズ・マック (著), 瀧口／藤井 (監訳)『観光経済学入門』日本評論社，2005 年.
・中崎茂 (著)『観光の経済学入門− 観光・環境・交通と経済の関わり』古今書院，2002 年.
・スティーブン・J. ページ (著), 木谷／松下／図師 (訳)『交通と観光の経済学』日本経済評論社，2001 年.
・A. ブル (著), 諸江／吉岡／菊池／小沢／原田／池田／和久井 (訳)『旅行・観光の経済学』文化書房博文社，1998 年.
・Bull, Adrian(1995), *The Economics of Travel and Tourism*(2nd revised ed.), Longman.
・Dwyer, Larry, Forsyth, Peter, and Wayne Dwyer(2020), *Tourism Economics and Policy*(2nd ed.), Channel View Books.
・Hall, C. Michael and Allan M. Williams(2008), *Tourism and Innovation*, Routledge.
・Stabler, Mike J., Papatheodorou, Andreas., and M. Thea Sinclair(2009), *The Economics of Tourism*(2nd ed.), Routledge.
・Sullivan, Charlotte(ed.)(2016), *Leisure and Tourism Economics*, Willford Press.
・Tribe, John(2020), *The Economics of Recreation, Leisure and Tourism*(6th ed.), Routledge.
・Vanhove, Norbert(2017), *The Economics of Tourism Destinations*(3rd ed.), Routledge.

【成績評価の方法と基準】
・ [定期試験点 (90 %) ＋平常点 (10 %) ＝総合点 (100 %)] の評点配分で成績が決定されます。
・単位認定には規定数以上の出席が必要です。
・各種行事の出席や疾病などによる止むを得ない欠席は、出席扱いとすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】
・受講生による講義アンケートの結果は、講義内容を改善するための参考資料とします。

【学生が準備すべき機器他】
・特別な指定はありません。

【その他の重要事項】
・出席確認を行いますので注意してください。
・テキストは購入し、参考文献の購入は、必要性に応じて判断してください。

【オフィス・アワー】
・講義終了後 (14:50〜15:00)、または相談により設定。

【関連科目】
・春学期のリベラルアーツ科目『経済学 LA』(担当：中平) 、また、リベラルアーツ科目、あるいは各学部で開講されている科目で、経済学、統計学に関わるもの。

【Outline and objectives】
The aim of the course is to provide students with an oppotunity to gain and enhance the knowledge of economics of tourism. Namely, this course is designed to provide a basic understanding of the scientific approaches to economics of tourism, particularly in the field of economic theory. In this course, you will learn how the microeconomics and macroeconomis are applied to the analysis of tourism.

ECN200LA

経済学ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**金融に触れよう**

鈴木　誠

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**集中・その他**/intensive・other courses
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は金融をこれまで学んだことのない学生向けに、経済学における金融に焦点を当てた授業を行う。大学生として、卒業後の社会人として、金融に触れずに過ごすことは困難である。春学期の授業では、経済学における金融の意味と金融で利用される言葉やその意味、さらに計算方法などを身に着け、生活の上で、金融のリテラシーを身に着けることを目指す。

【到達目標】
この授業では、金融リテラシーを身に着けるために、1、歴史的な金融の発展、2．身近な金融活動の発見、3．金融の意義と意味、4．自ら金融取引を確認する、ことを学ぶ。金融の知識は不要と考える人もいるだろう、しかし、卒業後、家を購入する、保険に入る、ローンを組む、年金資産運用するなど、金融知識がすぐにでも必要となってくる。必要な時に備えて、今、これらの知識を準備する。春学期の目標は、一般の新聞に書かれている経済面の金融に関する記事が読んで、理解できる水準への到達である。
ただし、金融は奥が深く、春学期の授業はその入り口に立ったに過ぎない、さらに、一歩踏み出した議論は、秋学期に行いたいと考えているので、履修する学生には春と秋の履修を勧めたい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
オンライン（オンデマンド）で実施する。したがって、履修生の皆さんには資料を配信し、各自で理解を深めてもらう形で授業を進める。ただし、こうした形態だと理解を深めることなく先に進んでしまう場合もあるため、皆さんには出席に代えた「クイズ」を出して、重要な点の理解を図るようにしたい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	授業内容の紹介、歴史的な経済活動の発展	本授業の進め方、評価についての解説、人類の経済活動の発展と経済行動における工夫や発明
2	身近にみる金融商品や金融活動	日ごろの生活で利用される金融商品や金融活動について詳しく学ぶ
3	金融取引と必要な知識	銀行における取引について考える、また、その際に必要とされる知識について学ぶ
4	評価する、価値を測る	金融活動において、将来の価値や現在の価値を測ることが重要となる。その方法を学ぶ
5	企業における金融取引、債券と株式の発行と投資	企業が発行する債券と株式について学ぶ。特にその違いについて理解を深める。
6	債券の評価	債券の価格をどのように求めるか、その方法を学ぶ

7	債券の運用マネジメント	債券を運用する際の基礎となるデュレーションについて意味と計算方法を学ぶ。
8	中間試験	Hoppi 上でこれまで学習した範囲の試験を行う
9	株式の評価（概要説明）	株価の算出方法について概要を学び、さまざまなアプローチ方法を紹介する。
10	テクニカル分析とファンダメンタル分析	時系列データによる分析と財務データによる分析方法について紹介する。
11	投資理論①	モダン投資理論の基礎となる統計量について解説する
12	投資理論②	２つ以上の株式により構成されるポートフォリオの性質について説明する。
13	投資理論③	合理的な投資を行う場合、どのような選択が行われるかを考えよう。
14	期末試験	Hoppi 上でこれまで学習した範囲の試験を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。
特に力を入れてほしいのは、復習と日ごろの生活での習慣である。復習はしっかりと自分の頭で考えたり、計算をしてほしい。目で見て理解しただけでは利用することはできない。日々の生活では、ニュースを見る、新聞を読む、30 分でも日々の生活で経済事象を知ることは、授業を受ける上で大きなきっかけとなる。

【テキスト（教科書）】
手嶋宜之著「基本から本格的に学ぶ人のためのファイナンス入門」ダイヤモンド社
ISBN:978-4-478-01630-5

【参考書】
必要に応じて授業内で紹介する。

【成績評価の方法と基準】
成績評価は次の３つの項目に基づいて行う。１、各回の授業に付随するクイズ（20 %）、２、第 8 回に実施する中間テスト（40 %）、３．第 15 回に実施する期末テスト（40 %）である。
中間試験と期末試験は Hoppi 上で行う。また、各回のクイズも Hoppi 上で提示される。なお、クイズは毎回実施するとは限らない。
成績評価は以下の通りである。S:特に優れた成績である者、概ね 90 %以上、A:優れた成績であるもの、概ね 80 %以上、B:秀でた成績である者、概ね 70 %以上、C:平均的な水準である者、概ね 60 %以上、D:基準に満たない者。

【学生の意見等からの気づき】
資料配布だけでは関心が希薄となりがちであるので、必要に応じてオンデマンド映像を作成して、要点を理解できるようにしたい。

【学生が準備すべき機器他】
関数電卓があるとよい。ない場合にはスマートフォンに付帯されている計算機能（関数電卓）を利用するとよい。

【その他の重要事項】
新聞やニュースを通して、日々、経済や金融の情報に触れることが望ましい。

【Outline and objectives】
This class focuses on finance in economics for students who have never studied finance before. As a university student and a member of society after graduation, it is difficult to spend time without touching finance. In the spring semester class, students will learn the meaning of finance in economics, the words used in finance, their meanings, and calculation methods, and aim to acquire financial literacy in their daily lives.

ECN200LA

経済学ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**金融を知ろう**

鈴木　誠

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**集中・その他**/intensive・other courses
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1～4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は金融をこれまで学んだことのない学生向けに、経済学における金融に焦点を当てた授業を行う。大学生として、卒業後の社会人として、金融に触れずに過ごすことは困難である。春学期の授業では、経済学における金融の意味と金融で利用される言葉やその意味、さらに計算方法などを身に着け、生活の上で、金融のリテラシーを身に着けることを目指す。

【到達目標】
この授業では、金融リテラシーを身に着けるために、1、歴史的な金融の発展、２．身近な金融活動の発見、3．金融の意義と意味、４．自ら金融取引を確認する、ことを学ぶ。金融の知識は不要と考える人もいるだろう、しかし、卒業後、家を購入する、保険に入る、ローンを組む、年金資産運用するなど、金融知識がすぐにでも必要となってくる。必要な時に備えて、今、これらの知識を準備する。秋学期の目標は、経済専門の新聞に書かれている経済面の金融に関する記事が読んで、記事の内容が概ね理解できることを目標としたい。経済専門紙の記事をすべて理解できる水準は金融業界に身を置かない限り、困難である。ここでは、エキスパートレベルではなく、初心者レベルとして理解することを目標に掲げたい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
オンライン（オンデマンド）で実施する。したがって、履修生の皆さんには資料を配信し、各自で理解を深めてもらう形で授業を進める。ただし、こうした形態だと理解を深めることなく先に進んでしまう場合もあるため、皆さんには出席に代えた「クイズ」を出して、重要な点の理解を図るようにしたい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	春学期の復習①	今学期からの履修者と春学期の履修者のギャップを埋める目的でレビューを行う。対象は中間試験前までの内容とする。
2	春学期の復習②	今学期からの履修者と春学期の履修者のギャップを埋める目的でレビューを行う。対象は中間試験後の内容とする。
3	利子率について、複利利回りについて	単利と複利、現在価値・将来価値を計算する、複利利回りの種類を知る
4	債券投資①債券の基本的な仕組みと用語について	債券市場、債券の分類、最終利回り、債券投資のリスクについて学ぶ

5	債券分析の基礎	金利の変動要因、金利感応度の導出、デュレーションとイミュニゼーション、
6	債券投資と債券の格付け	イールドカーブ、イールドカーブの分析、債券投資方法、債券格付けについて学ぶ
7	中間テスト	これまで学習した範囲についてHoppi 上で行う
8	株式入門	株式の仕組み、発行市場、流通市場、株価の決定モデルについて学ぶ
9	株価評価	株式評価のための指標、株式価値の評価方法、株式投資方法について学ぶ
10	デリバティブズ	デリバティブズとは、先物・先渡し、オプション、スワップの違い、オプション取引の概要
11	オプション入門	コールオプション、プットオプションの損益を考える、オプション価値を計算する、
12	オプション取引の仕組み	オプション市場、オプション取引、オプションを用いた投資戦略の説明
13	効率的市場仮説	効率的市場仮説とは何か、３つの効率性の説明とアノマリーの説明
14	期末試験	学習した範囲の試験を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。
春学期より少しだけレベルが上がった内容となるので、授業の資料を読む前に関連する該当箇所を読んでおくと、理解の助けとなる。さらに、授業後に、もう一度同じ個所を読み直すと理解が深まる。また、必要な計算は必ず手を動かしてやってほしい。資料やテキストを読んでいても、自分の力にはならない。また、日常的に新聞やニュースに触れて、金融に関する言葉を利用する場面を知ってほしい。

【テキスト（教科書）】
岸本直樹、池田正幸「入門・証券投資論」有斐閣ブックス、ISBN: 978-4-641-18447-3

【参考書】
必要に応じて授業にて紹介する。

【成績評価の方法と基準】
成績評価は次の３つの項目に基づいて行う。１、各回の授業に付随するクイズ（20 %）、２、第 8 回に実施する中間テスト（40 %）、３．第 15 回に実施する期末テスト（40 %）である。中間試験と期末試験は Hoppi 上で行う。また、各回のクイズも Hoppi 上で提示される。なお、クイズは毎回実施するとは限らない。成績評価は以下の通りである。S:特に優れた成績である者、概ね 90 %以上、A:優れた成績であるもの、概ね 80 %以上、B:秀でた成績である者、概ね 70 %以上、C:平均的な水準である者、概ね 60 %以上、D:基準に満たない者。

【学生の意見等からの気づき】
資料配布だけでは関心が希薄となりがちであるので、必要に応じてオンデマンド映像を作成して、要点を理解できるようにしたい。

【学生が準備すべき機器他】
関数電卓があるとよい。ない場合にはスマートフォンに付帯されている計算機能（関数電卓）を利用するとよい。

【その他の重要事項】
新聞やニュースを通して、日々、経済や金融の情報に触れることが望ましい。

【Outline and objectives】
This class focuses on finance in economics for students who have never studied finance before. As a university student and a member of society after graduation, it is difficult to spend time without touching finance. In the spring semester class, students will learn the meaning of finance in economics, the words used in finance, their meanings, and calculation methods, and aim to acquire financial literacy in their daily lives.

ECN200LA

経済学ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**東アジア経済入門**

陳　文挙

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 3/Wed.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
２１世紀はアジアの時代であり、中国やアジア新興国の台頭によって東アジア地域の存在感は増している。東アジア経済の動向は世界政治経済、安全保障、資源エネルギー等に大きな影響を与えている。本講義は東アジア経済の発展に焦点を合わせ、経済発展の歴史、過程、経験と教訓等について経済学の基礎原理やリベラルアーツの視点から研究する。また、新型肺炎感染拡大によって東アジア地域経済、そして世界経済が一変しており、with コロナ、after コロナの東アジア経済を分析することを通じて学生諸君の地域問題に対する分析力を向上させる。

【到達目標】
現在、国際関係における一国主義やアンチグローバル的な考え方が強まる中、東アジア地域の多様性、複雑性、可能性について立体的な視点から考察する力が必要になる。当該授業を聴講して、学生諸君の考察力、思考力、分析力を高めることができる。また、中国で発生した新型肺炎による東アジア地域の経済社会の混乱に対してどう対応すればよいかを考える機会も提供し、危機対応型思考力を鍛えることもできる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
大学の授業計画によって春学期の最初はオンラインでの開講（Zoom 方式）となる。学習支援システムで講義内容や課題等をその都度提示する。具体的なオンライン授業の方法などは Zoom 講義の時や学習支援システムで提示し、それに沿って学習を進める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	授業紹介	東アジア経済論の基礎、研究概要、成績評価等
2	現代経済社会の仕組み	家計、企業、政府；資本、労働、技術進歩；市場の原理；経済成長と経済発展
3	東アジア近代経済史１	商業の発達、シルクロード、国際貿易の歴史、アヘン戦争、アジアの植民地問題
4	東アジア近代経済史２	改革開放の歴史比較研究：明治維新の成功と日本の近代化、太平天国、「戊戌変法」と中国の凋落
5	戦後農業の発展：緑の革命	伝統農業から近代農業へ：食糧問題は如何に解決されたのか
6	農業の発展と労働移動	工業化、賃金格差、過剰都市化とスラム現象
7	中間進捗状況確認	前半復習、東アジア経済発展の初期条件をまとめる
8	工業の発展１：比較優位性仮説	発展戦略研究（貿易立国）：輸入代替か輸出振興か

9	工業の発展２：産業移転	ペティ・クラークの法則、雁行形態、中国の「世界工場」、日本の産業空洞化問題
10	東アジア地域のの経済格差問題	経済発展と格差問題、クズネッツ「逆 U 字仮説」、エレファントカーブ
11	東アジアの人口問題	機会費用：人口爆発、少子高齢化問題の本質
12	東アジアの諸問題	経済発展と環境問題、新型肺炎の発生、感染拡大とその影響
13	東アジア地域経済連携と中国の「一帯一路」国家戦略	FTA、RCEP、TPP、ASEAN+3 と中国の影響力
14	まとめ	復習と期末レポート作成要領

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
指定参考書、配布資料等を参考し、予習復習を行う。
講義内容に応じて宿題として課題レポートを完成する。
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
なし。

【参考書】
『現代東アジア経済論』、三重野文晴・深川由起子（編集)、ミネルヴァ書房。
『開発経済学―諸国民の貧困と富』、速水佑次郎（著)、創文社。
『東アジアの論理―日中韓の歴史から読み解く』、岡本隆司（著)、中公新書。
『アジア経済とは何か―躍進のダイナミズムと日本の活路』、後藤健太（著)、中公新書。

【成績評価の方法と基準】
ハイブリッド型（対面可）の開講に伴い、成績評価を行う。具体的な方法や基準は、初回の授業時に確認し、学習支援システムで掲示する。

【学生の意見等からの気づき】
１、学生皆さんの関心事、質問等についてよく聞く、確認すること。
２、課題やレポートに対してできるだけ早くフィードバックする。

【学生が準備すべき機器他】
オンライン（Zoom 方式）授業の聴講、Hoppii 上の課題、レポート、メール等のやり取りに必要な通信機器（スマホによる聴講ができるものの、画面が小さく視聴効果が良くないので、進めません）

【その他の重要事項】
秋期『経済学 LB ：中国経済入門』の継続履修をお勧め。

【Outline and objectives】
The 21st century is said to be the age of Asia. The rapid growth of China and some other developing countries of Asia has increased the presence of the East-Asia in the world. The economy of East-Asia has been greatly affecting the world's politics and economy, security, and resources energy for these years. This lecture focuses on the development of East-Asia economy, aims at studying the history, process, experiences and teachings of the economic development in this region from the viewpoints of basic theory of economics and Liberal Arts. The regional economy of East-Asia and the world economy has changed drastically because of the Covid-19. This lecture will help to improve students' ability of analyzing regional economy under the new normal.

ECN200LA

経済学ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**中国経済入門**

陳　文挙

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 3/Wed.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
中国の経済規模は 2010 年に日本に追い付き、追い越し、アメリカに次ぐ世界第 2 位に上り詰めた。2019 年に中国の GDP は日本の 2.8 倍、アメリカの 4 分の 3 まで拡大した。本講義では前期授業で学習した東アジア経済発展の基礎を元に、計画経済期から市場経済移行期まで中国経済の発展を研究し、失敗の教訓と成功の要因を明らかにする。その上、「新常態」（ニューノーマル）にある現在の中国経済について事例研究等を通じて考察し、中国経済発展の未来像について考える。

【到達目標】
現在、国際関係における一国主義やアンチグローバル的な考え方が強まる中、東アジア地域の多様性、複雑性、可能性について、特に世界第２位の経済規模を持つ中国の経済動向について立体的な視点から考察することによって学生諸君の考察力、思考力、分析力を高めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
新型コロナウイルスの影響により、基本的にオンライン（Zoom 方式）授業を実施する。また、学習支援システム（Hoppii）上で教材を配布し、授業後に課題やリアクションペーパーの提出を求める。教材以外に、動画の視聴や新聞、雑誌等の最新資料の配布もあり、授業内容に対する理解を深め、予習・復習に活用する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	授業紹介	中国経済発展入門講義の紹介、最新中国経済情報、成績評価等
2	中華人民共和国建国	社会主義革命とは？ 中国共産党の土地革命から政権奪取、社会主義建国への道程
3	社会主義改造と経済建設	私有制の社会主義改造、計画経済とは？「人民公社」、「大躍進」という社会主義経済大実験
4	計画経済とその失敗	共産党内の政治闘争、「文化大革命」運動、毛沢東の死と鄧小平時代の到来
5	改革開放の始まり	計画経済の行き詰まりと市場メカニズムの導入：生きていくか死ぬかそれが問題だ！
6	農業発展と農村工業化	郷鎮企業の発展、起業家精神：「世界の工場」の礎
7	労働の移動	人口ボーナス、世界の工場・都市化の原動力
8	工業の発展	日本より厳しい市場メカニズムの導入：国有企業改革、ルークイスト

9	企業改革の事例研究	ハイアール、吉利汽車の事例：企業家精神の重み
10	外資導入	外資の役割：日本企業と中国の経済成長、日系企業事例研究
11	経済成長の高度化	日本より先行したデジタル化社会、「新経済」と経済のサービス化
12	新経済とニュービジネス	大衆消費社会：ネット通販、キャッシュレス化、シェアリングエコノミー、無人運転、ブロックチェーン技術・・・
13	社会主義市場経済の行方	米中貿易紛争と新冷戦、新型コロナウイルス、環境エネルギー問題、少子高齢化問題など
14	まとめ	復習と期末レポート作成要領

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
指定参考書、配布資料等を参考し、予習復習を行う。
講義内容に応じて課題、宿題もあり、期末にはレポートの提出がある。
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
なし

【参考書】
『現代中国経済』、丸川知雄、有斐閣アルマ。
『幸福な監視国家・中国』、梶谷懐・高口康太、NHK 出版新書。
『中国 S 級 B 級論 ―発展途上と最先端が混在する国』、高口康太・伊藤亜聖他著、さくら舎。

【成績評価の方法と基準】
授業に対する理解、課題および期末レポートの完成状況（50 %）
授業態度、リアクションペーパーなどの平常点（50 %）

【学生の意見等からの気づき】
１、学生皆さんの関心事、意見などをよく聞く、確認すること。
２、オンライン授業において基礎操作や通信環境等様々な問題を柔軟に対応する。

【学生が準備すべき機器他】
オンライン（Zoom 方式）授業の聴講、Hoppii 上の課題、レポート、メール等のやり取りに必要な通信機器（スマホによる聴講ができるものの、画面が小さく視聴効果が良くないので、進めません）

【その他の重要事項】
前期の『経済学 LA ：東アジア経済入門』の履修が望ましい。

【Outline and objectives】
Chinese economy caught up with and even surpassed Japan standing in the second place following America in 2010. China's GDP has increased by 2.8 times of Japan and has been three-quarters of America in 2019. This lecture aims at clearing up the success factors and lessons of failure by studying the development of Chinese economy of the period transforming from the planned economy to the market economy, based on the basic knowledge about the development of the East-Asia economy, which students learned in the first semester. Furthermore, this lecture will examine the current China economy, so-called new-normal economy through case-study and consider the future image of China economy.

PSY200LA

心理学ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

海部　紀行

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**集中・その他**/intensive・other courses
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
「心理学Ⅰ/Ⅱ」など，アカデミックな心理学〔行動心理学，認知心理学，発達心理学，パーソナリティ心理学 etc.〕の基礎・基盤（ベーシック）履修を前提とし，より発展・応用的な心理学〔社会心理学+臨床心理学 ⇒ 臨床社会心理学〕を学びます。

【到達目標】
行動や出来事の原因の探り方，そのとき起きる錯誤，自己注目と抑うつなどを考えることが目標です。
見えていなくても (見たいように) 見てしまう，見えているのに見(え) ない。(いやでも) 見る・気づく・気にする・考える (しかない) 側から，(見たいものしか) 見ない・気づかない・気にしない・考えない (で済む) 側まで，「こころ」は我が儘です。「こころ」は，どこに・なぜ・どのようにあるか，「いのち」は，いつ始まり，終わるのか，「人権」とは何か。
「私は私」・「オレはオレ」というアイデンティティは，自生 (天然) が成り立ちません。他者がいて自己になる。他者と相見 (まみ) え初めて自己が立ち現れます。思春期・青年期の「第 2 の誕生」によって，自分が自分の「こころ・いのち (・人権)」を産み出します。あなたは誰ですか。よりよく自分自身を生きたいですか…。
「こころ・いのち (・人権)」について，感じ思い考える能力を身につけます。知識とともに潜在的な可能性 (ポテンシャル) を磨き，決めつけや思い込みにとらわれず，新鮮で柔軟な態度をとれる選択肢 (キャパシティ) を増やします。主体的・批判的に検討し，的確な意見を論じることができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
オンライン・オンデマンド (資料型) です。いろいろな事情や背景があるので，リアルタイム中継は実施しません。いつでもアクセス可能です。参照：【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】【成績評価の方法と基準】【学生の意見等からの気づき】
指定テキスト (教科書) の独学独習が要件です。「授業計画」として示す「(仮想) 日程」を目安に，それぞれのペースで読み進めます。合わせて，Hoppii(学習支援システム) の「お知らせ・アナウンス」および「授業内掲示板」に目を通し，投稿 (コメント)・議論することが基本です。受け身でいたら，面白くも愉しくもなく，訳が分からないままになりかねません。
「お知らせ・アナウンス」：おおむね週 1 回 (水曜を予定) 配信。登録アドレス宛てメールでも届けます (真夜中や未明・早朝の際に備え，通知音オフ推奨)。テキストの解説や補助教材の案内もしますが，(参考書代わりに？) 折々のモノ・コトを紹介し，コメントへのリプライ・フィードバック，SNS の引用，記事や資料，動画 (へのリンク) を伝えます。
「授業内掲示板」：テキストの内容に限らず，アナウンスや他の学生の投稿・コメントその他に関して，質問や感想・意見・主張を書き込むことが，「授業」参加になります。匿名 (いつ誰が何を書いたか・読んだか，教員のみが知り分かるという少しディストピア的な) 設定です。「返信」を用いて，学生どうし多彩な意見交換を試みてください。日々の鬱憤や悩みの相談・雑談，オススメまで，自由な対話を通し，互いに見解 (意見と理解) を深めていきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	テキストや「お知らせ・アナウンス」,「授業内掲示板」その他について
2	社会心理学とは？	臨床社会心理学〔テキスト序章①〕
3	臨床心理学とは？	臨床社会心理学〔テキスト序章②〕
4	臨床社会心理学とは？	臨床社会心理学〔テキスト序章③〕
5	「なぜ？」を読み解く	対応推論・共変モデル・因果スキーマ〔テキスト第 1 章①〕
6	帰属のバイアス	原因推測の誤りと偏り〔テキスト第 1 章②〕
7	なぜ憂うつになる？	誤帰属や帰属スタイルの傾向〔テキスト第 2 章①〕
8	帰属療法／原因想起	成長期・対人関係／多様性と選択合理性〔テキスト第 2 章②〕
9	勉強ができない…／原因の考え方	期待-価値モデルと統制の位置／感情の帰属モデル〔テキスト第 3 章①〕
10	学習性無力感／知能は変わる？	努力しても成功しない？　試験前は遊ぼう？〔テキスト第 3 章②〕
11	見る自己と見られる自己	自己意識と自己注目〔テキスト第 4 章①〕
12	自己を意識すると…／自己注目の研究	客体的自覚理論と制御理論／「適切さの基準」〔テキスト第 4 章②〕
13	落ち込みと自己注目	気分一致効果／自己確証／自己没入〔テキスト第 5 章①〕
14	抑うつの予防／おまけ	注意の向け方・気晴らし〔テキスト第 5 章②〕／掲示板への投稿締切

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
1 回あたりの準備学習・復習時間は，それぞれ 2 時間 (計 4 時間) を標準〔文部科学省の大学設置基準によるデフォルト (初期) 設定〕とします。
といっても (オンライン・オンデマンドゆえ)，いつも「授業時間外の学習」？　心身の調子を整え，うまく各自の都合で時間配分しつつ，テキストや「お知らせ・アナウンス」,「授業内掲示板」その他を読み解き，投稿を進めます。“何を覚えるか” ではなく，自分が・自分で考えることのトレーニングを重視します。

【テキスト（教科書）】
坂本真士・佐藤健二（編）　2004　はじめての臨床社会心理学―自己と対人関係から読み解く臨床心理学　有斐閣
http://www.yuhikaku.co.jp/books/detail/4641076812
必ず用意してください。版元品切れになりがちです。大学生協の通信販売も活用し，早めに入手してください。

【参考書】
「お知らせ・アナウンス」や「授業内掲示板」その他，随時あれこれを参考にします。「臨床心理学」と「社会心理学」を結ぶ専門書については，テキスト各章末の「文献案内」が充実しています。「臨床心理学」は，下記の書籍で概観できます。
下山晴彦（編）　2009　よくわかる臨床心理学［改訂新版］　ミネルヴァ書房
http://www.minervashobo.co.jp/book/b49970.html

【成績評価の方法と基準】
平常点 (100 %) ：「授業内掲示板」での動向を通して，何を・いつ・なぜ・どのように感じ思い考えてきたか拝察します。
テキストのみならず,「お知らせ・アナウンス」や「授業内掲示板」,各々が見出した文献，Web サイト，動画，マンガやアニメ，ゲーム，ラノベを含む文芸，アート，音楽，映画などを味わい，それらと日常とを結びつけた感想や意見・主張，問題提起を任意に，しかし数回くらいは投稿・コメントしてください。レポートのようになっても構いません。ファイル添付も可能です。短文の連打も歓迎します。そこに表 (さ) れる内容から，テキストその他の読み込み具合，味わい方，取り組む姿勢・態度を推し測ります。
裏付けとなる根拠が明らかな論述はもちろん，奔放な相談や雑談，対話にさえも，主体的・批判的に学び調べ，何を理解し，どのように「こころ・いのち (・人権)」について感じ思い考えてきたか，相当程度，くっきりと示されますから，労力と時間は膨大にかかりますが，存分に評定できます (します)。

【学生の意見等からの気づき】
初めて本格的な (?) オンライン・オンデマンドとなった 2020 年度秋学期「心理学Ⅱ」・「心理学 LB」の「授業改善アンケート」(匿名) と「授業内掲示板」に寄せられた記述の幾つか (意味を変えない範囲で文体など差し替えました) を「気づき」とします。
まず 6 点，もっともな不信・不審や疑念に対する言い訳です。いずれも用心していきます。
(1) 春学期，掲示板で匿名がはがれたことがあった。これは絶対に避けなければいけないことだ。
(2) 先生自身も学生に成りすまして自問自答のようなことをしていたがどういう意図なのか？
〈言い訳 1〉 掲示板は,「投稿者を表示する」というデフォルト (初期) 設定を改変し，匿名にしています。ところが春学期，投稿締切 (掲示板の閉鎖) 時に，(閉鎖後のアクセスを予定しない) デフォルトに戻ってしまい，匿名設定が解除されるエラーが生じました。急いで再び匿名設定にしたものの，反映まで時間がかかったようです。済みませんでした。その後は，支障なかったはずです。
〈言い訳 2〉 この「匿名がはがれた」時間帯,「学生に成りすまして自問自答」しているようなケースが見えたかもしれません。「授業内掲示板」は科目別で，当該科目に登録した学生しか読み書きできず，海部担当の 5 科目で共有する仕組みがないため，春学期の初め，共有したい投稿を海部が「コピペ」していました。たとえば学生 (匿名) の質問に海部 (は名乗ります) が回答したとき，その投稿を海部が「コピペ」すると，当該科目以外では「海部が (匿名で) 質問し，海部が回答する」形になります。ほかにも，オススメの投稿などを「コピペ」していました。「匿名がはがれた」ときにアクセスしたら,「成りすまして自問自答」していると映るでしょう。怪しく不可解に感じて当然です。申し訳ありません。
(3-1) お知らせが見づらい。
(3-2) 毎回共通アナウンスというお知らせがあるが，文章が複雑で何を伝えたいのか考えてもいまいちわからなかった。
〈言い訳 3〉 率直に指摘くださり，深謝します。「お知らせ・アナウンス」は細切れの引用やリンクが多くて，掲示板も合わせ，継続する流れが分かりづらく，独り善がりが目立ったと思います。個別に意見や批判をいただいたときなど，次の回でのリプライ・フィードバックを試みてはいたのですが，不行き届きをお許しください。
(4) 成績評価が曖昧だという印象をぬぐい切れなかった。
〈言い訳 4〉 成績評価は，俗に言う「量よりも質」で，数値・数量化した基準を示すことができず，ご不満を招く覚悟でいます。プロセスは次のとおりです。春学期は合計 7000 件ほど，(例年，履修登録が減る) 秋学期も 5000 件近い投稿その他を頂戴しました。リアルタイムで (誰の投稿であるかは不明ながら転送メールにて内容のみ) その都度，拝読した後,「いつ誰が何を書いたか・読んだか，教員のみが知り分かる」設定の掲示板で再読・再々読を繰り返し,「既読としてマーク」の状況も確認して，特定の例は，まとめて読み直します。そのうえで学期末に，それぞれの投稿 (「返信」や直接いただいたメールを含む) その他を，改めて個々別々に (個人別に) 整理し,「いつ誰が何を書いたか・読んだか」すべてを精査します。おのずと浮き彫りになる生成・変化・展開の様相も踏まえて採点し，(S～E の)12 段階で評価します。
(5-1) Zoom 等は使用しないにしろ各週での課題を提示してくれたほうが取り組みやすかった。
(5-2) 提出必須の課題を出してほしかった。

〈言い訳 5〉 Zoom 等は得手不得手に加え，通信環境の事情・背景もあり，使用しません。また，恐縮ですが，「各週での課題」は嫌悪・苦痛しかないという声が圧倒的だと認識しています。それでも，ときどき，各々のペースでレポートや小論文を提出くだされば受け取る旨は案内し，実際に掲示板への投稿 (もしくは直接のメール) にファイル添付された方が少なくありませんでした。海部は，一方的に「教える」のでなく，設問形式の課題も提示しません。何かを紹介し，意見交換や議論を通じて，ともに学び合うことを重視します。まして，「正解」や「最適解」を 1 つに絞れず，見つけることすら難しい「こころ・いのち (・人権)」については，じっくりと各自で試行 (思考) 錯誤してくださるよう望みます。

(6-1) リアルタイム授業を何回か開いてほしかった。

(6-2) せめて動画授業をするなど，先生が顔と声を出して対面してほしかった。大学の授業において，最後までどんな先生が授業をしているのか分からないのはおかしいと感じた。残念。

〈言い訳 6〉 そうですよね。もしリクエストがあるなら，顔と声がどんなふうであるかくらいは知らせるようにしますか。けれども海部は，表情や視線，口調，身振り素振り，動作，姿勢・態度，距離感，関心の向き，構え，といった何らかがないと，率直で親密な対話・コミュニケーションを組み立てられないので，オンライン併用の「リアルタイム授業」や対面同様の「動画授業」は困難です。そもそも「業 (わざ) を授 (さず) ける」器量がなく，「対面」でも「義 (条理) を講じる (説明する)」講義しかできません。「面談」は好きですが…。

以下は，ひきつづき大切にしたい観点です。

※いろいろ考え悩んでるのが自分 1 人じゃないんだなって思うだけでかなり気持ちが楽になった。

※匿名でなかったら言えないことも言える。同じような意見や考えの人がいることに気づけて，自分だけではなかったんだと思えた。

※匿名だからこそ言える，他の人が普段考えてる事だったり不安に思ってる事だったりを聞けて，同じような悩みを持ってる人は自分だけじゃないんだと知れた。匿名で様々な意見を交換できるというオンラインの良さを活用した授業，とても楽しかった。

※オンラインならではの方式で，新鮮だった。匿名の環境下，他の受講者とコミュニケーションをとるのが楽しかった。

※たくさんの学生が意見交流していて，オンラインの利点を生かせているなあと思う。

※ふだんなら相談しないことや考えないことを書き込めて楽しかった。

※普段の生活における疑問，意見の吐口となってくれた。匿名だからこそ，話せること，聞けることが沢山あった。

※自分の考えを躊躇することなく伝えることができて良かった。

※日常の愚痴などもたくさん見て，共感できたし新鮮だった。

※みんなの本音が知れて面白かった。

※他の生徒がどのように感じているのかを読むことが出来たのでとてもいい工夫がされていたのではないか。

※多くの受講生のほとんど正直な意見を見ることができ，意見交換できたことが良かった。

※教科書に対する意見やプライベートな話を読んで，顔は見えていなくてもその時だけは，同じ空間で繋がれているような気がした。

※人との繋がりを感じることが出来たことや，同じように悩む人がいると分かったことは，今年大学 1 年生で友達がいない自分にとって大きな心の支えになった。

※孤独や不安を感じることも多かった状況の中でコミュニケーションを取ることのできる大切な場になっていた。コメントで会話したり，様々な意見を読んだりすることがとても楽しかった。

※異例の事態で，生徒間，先生- 生徒間の交流が失われた中，この掲示板を見ている時は皆との距離が縮まったように感じられた。

※書き込むことで皆さんとつながっている気持ちになり，大学生になったことを唯一実感できる場だった。

※慣れないことばかりで肉体的にも精神的にも辛い期間を，時には自分の思いや弱音を吐き出し，時には誰かの思想に触れ，時には共感しながら過ごせる大切な場所だった。

※課題に追われず，自分の興味関心と精神状態に合わせて無理なく学ぶことができた。

※時間に縛られることなく，参加できたのはよかった。

※のびのびと参加することができて良かった。

※自分のペースで学習がしやすく，掲示板もしっかり活用できてとても充実した。

※いつでも，またどんなことでも掲示板に書き込めるため縛られている感じがしなくてよかった。

※自分に合った方法で参加することができ，掲示板が上手く利用されていた。自由性が高く，匿名で他の人の投稿に意見できたり，逆にアドバイスをもらうことができたりしてとても楽しかったし，ステイホーム期間の心の支えになってくれた。

※自分とは何なのか，感情・行動とは何なのかを 1 人でじっくり考える機会を作ることが出来た。

※自分について考える時間が増えた。教科書に書いてあることに自分を重ねたり，自分の内面に意識を向けたりしながら読み進めたからだと思う。これまで時間を取って自分についてじっくり考える，ということをしてこなかったので，改めて自分について客観的に考えることができて良かった。

※常に新しい発見ができ，テキストを読み進めるにつれて自分で考える力を養うことができた。

※テキストを読み，意見交換することで色々な認識が変わった。これからも自分とは何か，心とは何か考え続けていきたい。

※他人との交流や違った視点の意見を聞くことの大切さを改めて実感した。たくさんの視点からのコメントに触れることで理解が深まった。

※さまざまな方々の意見に触れることで，普段は知り得ないような意見をたくさん知ることができた。

※様々な考え方に触れることができて楽しかった。また，考えさせられる機会を得ることができ，良い経験であった。

※他の生徒の意見などを見ることが出来たのが私にとってすごく新鮮で，こういう考えもあるんだなと，そういった面でも学ぶことが出来た。

※先生や他学生との議論で自身の考えを発信し，異なる意見を聞くなどして理解を深めることができた。

※さまざまな方とコミュニケーションをとるのがとても楽しかったし、みなさんの鋭い視点に毎日驚かされ新鮮な日々だった。

※見ず知らずの人が私が書き込んだことに反応してくれて嬉しかった。人の心や脳は難しく，けど面白いと思った。

※匿名だからこそ自由に，素直な気持ちを述べることができた。様々な人の様々な意見を知ることができた。年が同じまたは近い人の意見とは思えないような達観した鋭い指摘がたくさんあり，視野を広げることができる良い機会となった。

※匿名だからこそ話すことのできる主張を学生が出来る場で，自分とは異なる様々な意見に触れることが出来た。

※自分の心を見つめ直すきっかけに繋がった。自分がぼんやりと感じていたことを，何が原因でどういう仕組みでそう感じたのか知るのは，自分の心を分析していくようでとても面白かった。

※自分と向き合う機会が得られたことで，自分自身の知らなかった部分を知ることができた。

※自分のネガティブな面について詳しく知れて良かった。

※様々な考えや知識をインプットするだけでなく，自分の学びをアウトプットすることによって，普段は気にすることのない自分の考え方・ものの見方などに気づくことができた。

※思ったことをためらわずに書き込める。自分の心で思っていることを文章にすることはとても難しい。そのもやもやを言葉としての形にする訓練ができる場であった。

※考え方の多様性を実感し，また自分自身も改めて自分の考えを深め言語化することができ，勉強になった。

※教科書の内容である知識はもちろんのこと，紹介された様々な問題に触れることによって人の数だけ考え方が存在し，それを理解できなくとも認め合うことの大切さを感じた。

※日常生活の様々な場面で「こころ」に目を向けることができるようになったと実感している。

※以前より自分の視野が広がり，人の気持ちについて考える機会が多くなった。

※投稿や題材には考えさせられ，とても良い刺激と学習になった。

※タイムリーな話題や重要な事柄を毎週まとめて知らせてくれるのが良かった。

※毎週のアナウンスと掲示板のコメントを読んで，色んな問題やそれに対する意見・価値観を知ることが出来た。

※現代の社会問題や時事問題を取り上げていて，週 1 のメッセージだけでも多くのことをまなぶことができる有意義な時間だった。

※社会の色々な問題や現実を知り，それに対する皆さんの意見や考えを知ることができたので新しい見方や価値観を学ぶことができた。

※毎週のお知らせが結構救いになったり，考えさせられたりした。色々な気付きを得ることができた。

※お知らせがとても分かりやすく，また考えさせられるものだった。

※示された記事や社会問題などを通じて色々なことを考える機会が沢山あり，自分の考えや思っていることを改めて再認識することが出来た。
※時事的な内容と心理学が結び付けられていて，ニュースでは考えられない考えを得ることが出来た。
※様々な話を読む中で，自分の経験や知識がとても狭いものだということにも気付かされた。心理学ということで，はじめは他者の心理を理解していくつもりで履修していたが，1 年間で自分自身の内面も見つめ直す良い機会になった。オンラインでも人との関わりがあることを確認できた。
※様々な社会問題や性差別問題などに対して，自身の意見を持っている人がこんなにも多いのかと驚いた。
※自分が考えたこともないような悩みを抱えている人がいることを知った。もっと世間のことに目を向けるべきであると感じた。
※特に差別のことについて考えさせられた。当たり前に思っていたことがよく考えてみると変だったり過程を知ると気持ち悪かったり，多くのことを学べた。
※いろいろな意見を読んで，批判すること・指摘することは大事だと分かった。批判しても何も変わらない，損しかしないと思っていた。しかし，批判することも必要。そして，自分では考えられないような・知らなかったような立場の人の意見は，耳が痛くなることもあるけど，目を背けずに，発してくれた人に感謝する。意見は，世の中の生きづらい人を失くしていくための材料であると分かった。
※とても良い仕組みだと感じた。固定観念や一般常識にとらわれないものの見方を学ぶことが出来た。
※前は“ふつう”だと思っていたことに，少しずつだが，“これって実はおかしいんじゃない？ ”と気付けるようになった。
※社会問題について考える時間が増えたなと思った。今までなら素通りしていたニュースや疑問，おかしいなと思う気持ちをしっかりと自分の中で考える時間を作ることができた。匿名ということもあって様々な意見に触れることができたり，同じ考えを持つ人から返信をいただくことができたりと，対面でないからこその学びを得ることができ楽しかった。
※悩みや社会の情勢についての意見などを多くの人と共有できる形がとても良かった。自分の意見にコメントをもらえたり共感してもらえるととても嬉しいと感じた。顔が見えなかったり発信者がわからないことによって，より深くまで関わることができたのではないか。心理学ならではの形態がとても良かった。

【その他の重要事項】
(1) 心理学 LA(春学期) と心理学 LB(秋学期) は連動するため，続けての履修を期待します。
(2) 年度や受講生によって講義のスタイルを変えます。“裏シラバス”や“クチコミ”を当てにしないでください。
(3) 臨床心理士として，生きづらく悩み困っている and/or 悩ませ困らせている方々と接してきました。「心の痛み」や「心の傷」，「心の病気」，「心の性」，「心神喪失・耗弱 (こうじゃく)」，「責任能力」の検証も必要でした。責任 (responsibility) とは，反応する (response) 能力 (ability) です。性別を問わず，家庭・家族事情，少年院や刑務所，半グレやヤクザ，加害・被害，不登校，ひきこもり，派遣切り，就労苦，生活困窮，ホームレス，あるいはガールズバーやキャバクラ，援交・パパ活，ホストクラブ，風俗，売買春など，さまざまの体験があり，心身不穏や自傷，虚無・空白やトラウマ・トラブル，自家中毒・矛盾・煩悶 (はんもん) を抱えた制御困難な誰もが，「自己責任」で片付けられては堪 (たま) らない方ばかりです。「みんなちがって，みんないい」は絵空事？ 「おかしい」と呼ばれやすい人々の「こころ・いのち (・人権)」が脅かされるのは，むしろ何かと「おかしい」世の中の「問題」ではないのか。そんなこんなを感じ思い考え続けています。
(4) オフィスアワー (お喋りタイム？) は，原則として木曜の 4 時限ないし 5 時限に設ける見込みです。同予約ほか，なんでもリクエスト・問い合わせは，「授業内掲示板」または kikoh.kaihu.65@hosei.ac.jp へ。

【Outline and objectives】
We survey advanced applied psychology on the basis of academic psychology such as behavioral psychology, cognitive psychology, developmental psychology, and personality psychology.
We study clinical social psychology.

PSY200LA

心理学ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

海部　紀行

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**集中・その他**/intensive・other courses
単位数：2 **単位**
法文営国環キ 1〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
「心理学Ⅰ/Ⅱ」など，アカデミックな心理学〔行動心理学，認知心理学，発達心理学，パーソナリティ心理学 etc.〕の基礎・基盤（ベーシック）履修を前提とし，より発展・応用的な心理学〔社会心理学+臨床心理学 ⇒ 臨床社会心理学〕を学びます。

【到達目標】
他者と自己とが織りなす対人関係，そこから生じる葛藤やストレスへの対処などを考えることが目標です。
見えていなくても (見たいように) 見てしまう，見えているのに見 (え) ない。(いやでも) 見る・気づく・気にする・考える (しかない) 側から，(見たいものしか) 見ない・気づかない・気にしない・考えない (で済む) 側まで，「こころ」は我が儘です。「こころ」は，どこに・なぜ・どのようにあるか，「いのち」は，いつ始まり，終わるのか，「人権」とは何か。
「私は私」・「オレはオレ」というアイデンティティは，自生 (天然) が成り立ちません。他者がいて自己になる。他者と相見 (まみ) え初めて自己が立ち現れます。思春期・青年期の「第 2 の誕生」によって，自分が自分の「こころ・いのち (・人権)」を産み出します。あなたは誰ですか。よりよく自分自身を生きたいですか…。
「こころ・いのち (・人権)」について，感じ思い考える能力を身につけます。知識とともに潜在的な可能性 (ポテンシャル) を磨き，決めつけや思い込みにとらわれず，新鮮で柔軟な態度をとれる選択肢 (キャパシティ) を増やします。主体的・批判的に検討し，的確な意見を論じることができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
オンライン・オンデマンド (資料型) です。いろいろな事情や背景があるので，リアルタイム中継は実施しません。いつでもアクセス可能です。参照：【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】【成績評価の方法と基準】【学生の意見等からの気づき】
指定テキスト (教科書) の独学独習が要件です。「授業計画」として示す「(仮想) 日程」を目安に，それぞれのペースで読み進めます。合わせて，Hoppii(学習支援システム) の「お知らせ・アナウンス」および「授業内掲示板」に目を通し，投稿 (コメント)・議論することが基本です。受け身でいたら，面白くも愉しくもなく，訳が分からないままになりかねません。
「お知らせ・アナウンス」：おおむね週 1 回 (水曜を予定) 配信。登録アドレス宛てメールでも届けます (真夜中や未明・早朝の際に備え，通知音オフ推奨)。テキストの解説や補助教材の案内もしますが，(参考書代わりに？) 折々のモノ・コトを紹介し，コメントへのリプライ・フィードバック，SNS の引用，記事や資料，動画 (へのリンク) を伝えます。
「授業内掲示板」：テキストの内容に限らず，アナウンスや他の学生の投稿・コメントその他に関して，質問や感想・意見・主張を書き込むことが，「授業」参加になります。匿名 (いつ誰が何を書いたか・読んだか，教員のみが知り分かるという少しディストピア的な) 設定です。「返信」を用いて，学生どうし多彩な意見交換を試みてください。日々の鬱憤や悩みの相談・雑談，オススメまで，自由な対話を通し，互いに見解 (意見と理解) を深めていきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	テキストや「お知らせ・アナウンス」,「授業内掲示板」その他について
2	「自分」が脅かされる…	私への関心と恐怖感〔テキスト第 6 章①〕
3	妄想・自我障害の原因／どう克服するか	帰属のパラドクス／認知療法・自閉療法〔テキスト第 6 章②〕
4	本当の自分？	自分のことを打ち明ける：自己開示〔テキスト第 7 章①〕
5	仮面の自分？	自分をよく見せる：自己呈示〔テキスト第 7 章②〕
6	自己開示と健康	メンタル＆フィジカル〔テキスト第 8 章①〕
7	トラウマの開示は…	認知的再評価あるいは否定的影響〔テキスト第 8 章②〕
8	不安と対人恐怖	社会不安障害？〔テキスト第 9 章①〕
9	よく見せたいが自信がない…／認知モデル	自己呈示の欲求と効力感／認知行動療法〔テキスト第 9 章②〕
10	援助行動と対人関係	助けること・助けられること〔テキスト第 10 章①〕
11	ソーシャル・サポート	人が人を支える〔テキスト第 10 章②〕
12	攻撃行動	何が「攻撃」？　その目標・機能は？〔テキスト第 11 章①〕
13	怒り	怒りとは？　なぜ「攻撃」する？〔テキスト第 11 章②〕
14	なぜ援助を求めない？／おまけ	症状認知・情報不足・偏見・コミュニティ〔テキスト終章〕／掲示板への投稿締切

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
1 回あたりの準備学習・復習時間は，それぞれ 2 時間 (計 4 時間) を標準〔文部科学省の大学設置基準によるデフォルト (初期) 設定〕とします。
といっても (オンライン・オンデマンドゆえ)，いつも「授業時間外の学習」？　心身の調子を整え，うまく各自の都合で時間配分しつつ，テキストや「お知らせ・アナウンス」,「授業内掲示板」その他を読み解き，投稿を進めます。“何を覚えるか” ではなく，自分が・自分で考えることのトレーニングを重視します。

【テキスト（教科書）】
坂本真士・佐藤健二（編）　2004　はじめての臨床社会心理学―自己と対人関係から読み解く臨床心理学　有斐閣
http://www.yuhikaku.co.jp/books/detail/4641076812
必ず用意してください。版元品切れになりがちです。大学生協の通信販売も活用し，早めに入手してください。

【参考書】
「お知らせ・アナウンス」や「授業内掲示板」その他，随時あれこれを参考にします。「臨床心理学」と「社会心理学」を結ぶ専門書については，テキスト各章末の「文献案内」が充実しています。「臨床心理学」は，下記の書籍で概観できます。
下山晴彦（編）　2009　よくわかる臨床心理学［改訂新版］　ミネルヴァ書房
http://www.minervashobo.co.jp/book/b49970.html

【成績評価の方法と基準】
平常点 (100 %) ：「授業内掲示板」での動向を通して，何を・いつ・なぜ・どのように感じ思い考えてきたか拝察します。
テキストのみならず,「お知らせ・アナウンス」や「授業内掲示板」,各々が見出した文献，Web サイト，動画，マンガやアニメ，ゲーム，ラノベを含む文芸，アート，音楽，映画などを味わい，それらと日常とを結びつけた感想や意見・主張，問題提起を任意に，しかし数回くらいは投稿・コメントしてください。レポートのようになっても構いません。ファイル添付も可能です。短文の連打も歓迎します。そこに表 (さ) れる内容から，テキストその他の読み込み具合，味わい方，取り組む姿勢・態度を推し測ります。
裏付けとなる根拠が明らかな論述はもちろん，奔放な相談や雑談，対話にさえも，主体的・批判的に学び調べ，何を理解し，どのように「こころ・いのち (・人権)」について感じ思い考えてきたか，相当程度，くっきりと示されますから，労力と時間は膨大にかかりますが，存分に評定できます (します)。

【学生の意見等からの気づき】
初めて本格的な (?) オンライン・オンデマンドとなった 2020 年度秋学期「心理学Ⅱ」・「心理学 LB」の「授業改善アンケート」(匿名) と「授業内掲示板」に寄せられた記述の幾つか (意味を変えない範囲で文体など差し替えました) を「気づき」とします。
まず 6 点，もっともな不信・不審や疑念に対する言い訳です。いずれも用心していきます。
(1) 春学期，掲示板で匿名がはがれたことがあった。これは絶対に避けなければいけないことだ。
(2) 先生自身も学生に成りすまして自問自答のようなことをしていたがどういう意図なのか？
〈言い訳 1〉 掲示板は,「投稿者を表示する」というデフォルト (初期) 設定を改変し，匿名にしています。ところが春学期，投稿締切 (掲示板の閉鎖) 時に，(閉鎖後のアクセスを予定しない) デフォルトに戻ってしまい，匿名設定が解除されるエラーが生じました。急いで再び匿名設定にしたものの，反映まで時間がかかったようです。済みませんでした。その後は，支障なかったはずです。
〈言い訳 2〉 この「匿名がはがれた」時間帯,「学生に成りすまして自問自答」しているようなケースが見えたかもしれません。「授業内掲示板」は科目別で，当該科目に登録した学生しか読み書きできず，海部担当の 5 科目で共有する仕組みがないため，春学期の初め，共有したい投稿を海部が「コピペ」していました。たとえば学生 (匿名) の質問に海部 (は名乗ります) が回答したとき，その投稿を海部が「コピペ」すると，当該科目以外では「海部が (匿名で) 質問し，海部が回答する」形になります。ほかにも，オススメの投稿などを「コピペ」していました。「匿名がはがれた」ときにアクセスしたら,「成りすまして自問自答」していると映るでしょう。怪しく不可解に感じて当然です。申し訳ありません。
(3-1) お知らせが見づらい。
(3-2) 毎回共通アナウンスというお知らせがあるが，文章が複雑で何を伝えたいのか考えてもいまいちわからなかった。
〈言い訳 3〉 率直に指摘くださり，深謝します。「お知らせ・アナウンス」は細切れの引用やリンクが多くて，掲示板も合わせ，継続する流れが分かりづらく，独り善がりが目立ったと思います。個別に意見や批判をいただいたときなど，次の回でのリプライ・フィードバックを試みてはいたのですが，不行き届きをお許しください。
(4) 成績評価が曖昧だという印象をぬぐい切れなかった。
〈言い訳 4〉 成績評価は，俗に言う「量よりも質」で，数値・数量化した基準を示すことができず，ご不満を招く覚悟でいます。プロセスは次のとおりです。春学期は合計 7000 件ほど，(例年，履修登録が減る) 秋学期も 5000 件近い投稿その他を頂戴しました。リアルタイムで (誰の投稿であるかは不明ながら転送メールにて内容のみ) その都度，拝読した後,「いつ誰が何を書いたか・読んだか，教員のみが知り分かる」設定の掲示板で再読・再々読を繰り返し,「既読としてマーク」の状況も確認して，特定の例は，まとめて読み直します。そのうえで学期末に，それぞれの投稿 (「返信」や直接いただいたメールを含む) その他を，改めて個々別々に (個人別に) 整理し,「いつ誰が何を書いたか・読んだか」すべてを精査します。おのずと浮き彫りになる生成・変化・展開の様相も踏まえて採点し，(S ～E の)12 段階で評価します。
(5-1) Zoom 等は使用しないにしろ各週での課題を提示してくれたほうが取り組みやすかった。
(5-2) 提出必須の課題を出してほしかった。

〈言い訳 5〉 Zoom 等は得手不得手に加え，通信環境の事情・背景もあり，使用しません。また，恐縮ですが，「各週での課題」は嫌悪・苦痛しかないという声が圧倒的だと認識しています。それでも，ときどき，各々のペースでレポートや小論文を提出くだされば受け取る旨は案内し，実際に掲示板への投稿 (もしくは直接のメール) にファイル添付された方が少なくありませんでした。海部は，一方的に「教える」のでなく，設問形式の課題も提示しません。何かを紹介し，意見交換や議論を通じて，ともに学び合うことを重視します。まして，「正解」や「最適解」を 1 つに絞れず，見つけることすら難しい「こころ・いのち (・人権)」については，じっくりと各自で試行 (思考) 錯誤してくださるよう望みます。

(6-1) リアルタイム授業を何回か開いてほしかった。

(6-2) せめて動画授業をするなど，先生が顔と声を出して対面してほしかった。大学の授業において，最後までどんな先生が授業をしているのか分からないのはおかしいと感じた。残念。

〈言い訳 6〉 そうですよね。もしリクエストがあるなら，顔と声がどんなふうであるかくらいは知らせるようにしますか。けれども海部は，表情や視線，口調，身振り素振り，動作，姿勢・態度，距離感，関心の向き，構え，といった何らかがないと，率直で親密な対話・コミュニケーションを組み立てられないので，オンライン併用の「リアルタイム授業」や対面同様の「動画授業」は困難です。そもそも「業 (わざ) を授 (さず) ける」器量がなく，「対面」でも「義 (条理) を講じる (説明する)」講義しかできません。「面談」は好きですが…。

以下は，ひきつづき大切にしたい観点です。

※いろいろ考え悩んでるのが自分 1 人じゃないんだなって思うだけでかなり気持ちが楽になった。

※匿名でなかったら言えないことも言える。同じような意見や考えの人がいることに気づけて，自分だけではなかったんだと思えた。

※匿名だからこそ言える，他の人が普段考えてる事だったり不安に思ってる事だったりを聞けて，同じような悩みを持ってる人は自分だけじゃないんだと知れた。匿名で様々な意見を交換できるというオンラインの良さを活用した授業，とても楽しかった。

※オンラインならではの方式で，新鮮だった。匿名の環境下，他の受講者とコミュニケーションをとるのが楽しかった。

※たくさんの学生が意見交流していて，オンラインの利点を生かせているなあと思う。

※ふだんなら相談しないことや考えないことを書き込めて楽しかった。

※普段の生活における疑問，意見の吐口となってくれた。匿名だからこそ，話せること，聞けることが沢山あった。

※自分の考えを躊躇することなく伝えることができて良かった。

※日常の愚痴などもたくさん見て，共感できたし新鮮だった。

※みんなの本音が知れて面白かった。

※他の生徒がどのように感じているのかを読むことが出来たのでとてもいい工夫がされていたのではないか。

※多くの受講生のほとんど正直な意見を見ることができ，意見交換できたことが良かった。

※教科書に対する意見やプライベートな話を読んで，顔は見えていなくてもその時だけは，同じ空間で繋がれているような気がした。

※人との繋がりを感じることが出来たことや，同じように悩む人がいると分かったことは，今年大学 1 年生で友達がいない自分にとって大きな心の支えになった。

※孤独や不安を感じることも多かった状況の中でコミュニケーションを取ることのできる大切な場になっていた。コメントで会話したり，様々な意見を読んだりすることがとても楽しかった。

※異例の事態で，生徒間，先生- 生徒間の交流が失われた中，この掲示板を見ている時は皆との距離が縮まったように感じられた。

※書き込むことで皆さんとつながっている気持ちになり，大学生になったことを唯一実感できる場だった。

※慣れないことばかりで肉体的にも精神的にも辛い期間を，時には自分の思いや弱音を吐き出し，時には誰かの思想に触れ，時には共感しながら過ごせる大切な場所だった。

※課題に追われず，自分の興味関心と精神状態に合わせて無理なく学ぶことができた。

※時間に縛られることなく，参加できたのはよかった。

※のびのびと参加することができて良かった。

※自分のペースで学習がしやすく，掲示板もしっかり活用できてとても充実した。

※いつでも，またどんなことでも掲示板に書き込めるため縛られている感じがしなくてよかった。

※自分に合った方法で参加することができ，掲示板が上手く利用されていた。自由性が高く，匿名で他の人の投稿に意見できたり，逆にアドバイスをもらうことができたりしてとても楽しかったし，ステイホーム期間の心の支えになってくれた。

※自分とは何なのか，感情・行動とは何なのかを 1 人でじっくり考える機会を作ることが出来た。

※自分について考える時間が増えた。教科書に書いてあることに自分を重ねたり，自分の内面に意識を向けたりしながら読み進めたからだと思う。これまで時間を取って自分についてじっくり考える，ということをしてこなかったので，改めて自分について客観的に考えることができて良かった。

※常に新しい発見ができ，テキストを読み進めるにつれて自分で考える力を養うことができた。

※テキストを読み，意見交換することで色々な認識が変わった。これからも自分とは何か，心とは何か考え続けていきたい。

※他人との交流や違った視点の意見を聞くことの大切さを改めて実感した。たくさんの視点からのコメントに触れることで理解が深まった。

※さまざまな方々の意見に触れることで，普段は知り得ないような意見をたくさん知ることができた。

※様々な考え方に触れることができて楽しかった。また，考えさせられる機会を得ることができ，良い経験であった。

※他の生徒の意見などを見ることが出来たのが私にとってすごく新鮮で，こういう考えもあるんだなと，そういった面でも学ぶことが出来た。

※先生や他学生との議論で自身の考えを発信し，異なる意見を聞くなどして理解を深めることができた。

※さまざまな方とコミュニケーションをとるのがとても楽しかったし、みなさんの鋭い視点に毎日驚かされ新鮮な日々だった。

※見ず知らずの人が私が書き込んだことに反応してくれて嬉しかった。人の心や脳は難しく，けど面白いと思った。

※匿名だからこそ自由に，素直な気持ちを述べることができた。様々な人の様々な意見を知ることができた。年が同じまたは近い人の意見とは思えないような達観した鋭い指摘がたくさんあり，視野を広げることができる良い機会となった。

※匿名だからこそ話すことのできる主張を学生が出来る場で，自分とは異なる様々な意見に触れることが出来た。

※自分の心を見つめ直すきっかけに繋がった。自分がぼんやりと感じていたことを，何が原因でどういう仕組みでそう感じたのか知るのは，自分の心を分析していくようでとても面白かった。

※自分と向き合う機会が得られたことで，自分自身の知らなかった部分を知ることができた。

※自分のネガティブな面について詳しく知れて良かった。

※様々な考えや知識をインプットするだけでなく，自分の学びをアウトプットすることによって，普段は気にすることのない自分の考え方・ものの見方などに気づくことができた。

※思ったことをためらわずに書き込める。自分の心で思っていることを文章にすることはとても難しい。そのもやもやを言葉としての形にする訓練ができる場であった。

※考え方の多様性を実感し，また自分自身も改めて自分の考えを深め言語化することができ，勉強になった。

※教科書の内容である知識はもちろんのこと，紹介された様々な問題に触れることによって人の数だけ考え方が存在し，それを理解できなくとも認め合うことの大切さを感じた。

※日常生活の様々な場面で「こころ」に目を向けることができるようになったと実感している。

※以前より自分の視野が広がり，人の気持ちについて考える機会が多くなった。

※投稿や題材には考えさせられ，とても良い刺激と学習になった。

※タイムリーな話題や重要な事柄を毎週まとめて知らせてくれるのが良かった。

※毎週のアナウンスと掲示板のコメントを読んで，色んな問題やそれに対する意見・価値観を知ることが出来た。

※現代の社会問題や時事問題を取り上げていて，週 1 のメッセージだけでも多くのことをまなぶことができる有意義な時間だった。

※社会の色々な問題や現実を知り，それに対する皆さんの意見や考えを知ることができたので新しい見方や価値観を学ぶことができた。

※毎週のお知らせが結構救いになったり，考えさせられたりした。色々な気付きを得ることができた。

※お知らせがとても分かりやすく，また考えさせられるものだった。

※示された記事や社会問題などを通じて色々なことを考える機会が沢山あり，自分の考えや思っていることを改めて再認識することが出来た。
※時事的な内容と心理学が結び付けられていて，ニュースでは考えられない考えを得ることが出来た。
※様々な話を読む中で，自分の経験や知識がとても狭いものだということにも気付かされた。心理学ということで，はじめは他者の心理を理解していくつもりで履修していたが，1 年間で自分自身の内面も見つめ直す良い機会になった。オンラインでも人との関わりがあることを確認できた。
※様々な社会問題や性差別問題などに対して，自身の意見を持っている人がこんなにも多いのかと驚いた。
※自分が考えたこともないような悩みを抱えている人がいることを知った。もっと世間のことに目を向けるべきであると感じた。
※特に差別のことについて考えさせられた。当たり前に思っていたことがよく考えてみると変だったり過程を知ると気持ち悪かったり，多くのことを学べた。
※いろいろな意見を読んで，批判すること・指摘することは大事だと分かった。批判しても何も変わらない，損しかしないと思っていた。しかし，批判することも必要。そして，自分では考えられないような・知らなかったような立場の人の意見は，耳が痛くなることもあるけど，目を背けずに，発してくれた人に感謝する。意見は，世の中の生きづらい人を失くしていくための材料であると分かった。
※とても良い仕組みだと感じた。固定観念や一般常識にとらわれないものの見方を学ぶことが出来た。
※前は“ふつう”だと思っていたことに，少しずつだが，“これって実はおかしいんじゃない？ ”と気付けるようになった。
※社会問題について考える時間が増えたなと思った。今までなら素通りしていたニュースや疑問，おかしいなと思う気持ちをしっかりと自分の中で考える時間を作ることができた。匿名ということもあって様々な意見に触れることができたり，同じ考えを持つ人から返信をいただくことができたりと，対面でないからこその学びを得ることができ楽しかった。
※悩みや社会の情勢についての意見などを多くの人と共有できる形がとても良かった。自分の意見にコメントをもらえたり共感してもらえるととても嬉しいと感じた。顔が見えなかったり発信者がわからないことによって，より深くまで関わることができたのではないか。心理学ならではの形態がとても良かった。

【その他の重要事項】
(1) 心理学 LA(春学期) と心理学 LB(秋学期) は連動するため，続けての履修を期待します。
(2) 年度や受講生によって講義のスタイルを変えます。“裏シラバス”や“クチコミ”を当てにしないでください。
(3) 臨床心理士として，生きづらく悩み困っている and/or 悩ませ困らせている方々と接してきました。「心の痛み」や「心の傷」，「心の病気」，「心の性」，「心神喪失・耗弱 (こうじゃく)」，「責任能力」の検証も必要でした。責任 (responsibility) とは，反応する (response) 能力 (ability) です。性別を問わず，家庭・家族事情，少年院や刑務所，半グレやヤクザ，加害・被害，不登校，ひきこもり，派遣切り，就労苦，生活困窮，ホームレス，あるいはガールズバーやキャバクラ，援交・パパ活，ホストクラブ，風俗，売買春など，さまざまの体験があり，心身不穏や自傷，虚無・空白やトラウマ・トラブル，自家中毒・矛盾・煩悶 (はんもん) を抱えた制御困難な誰もが，「自己責任」で片付けられては堪 (たま) らない方ばかりです。「みんなちがって，みんないい」は絵空事？ 「おかしい」と呼ばれやすい人々の「こころ・いのち (・人権)」が脅かされるのは，むしろ何かと「おかしい」世の中の「問題」ではないのか。そんなこんなを感じ思い考え続けています。
(4) オフィスアワー (お喋りタイム？) は，原則として木曜の 4 時限ないし 5 時限に設ける見込みです。同予約ほか，なんでもリクエスト・問い合わせは，「授業内掲示板」または kikoh.kaihu.65@hosei.ac.jp へ。

【Outline and objectives】
We survey advanced applied psychology on the basis of academic psychology such as behavioral psychology, cognitive psychology, developmental psychology, and personality psychology.
We study clinical social psychology.

PSY200LA

心理学ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

海部　紀行

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**集中・その他**/intensive・other courses
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
「心理学Ⅰ/Ⅱ」など，アカデミックな心理学〔行動心理学，認知心理学，発達心理学，パーソナリティ心理学 etc.〕の基礎・基盤（ベーシック）履修を前提とし，より発展・応用的な心理学〔社会心理学+臨床心理学 ⇒ 臨床社会心理学〕を学びます。

【到達目標】
行動や出来事の原因の探り方，そのとき起きる錯誤，自己注目と抑うつなどを考えることが目標です。
見えていなくても (見たいように) 見てしまう，見えているのに見 (え) ない。(いやでも) 見る・気づく・気にする・考える (しかない) 側から，(見たいものしか) 見ない・気づかない・気にしない・考えない (で済む) 側まで，「こころ」は我が儘です。「こころ」は，どこに・なぜ・どのようにあるか，「いのち」は，いつ始まり，終わるのか，「人権」とは何か。
「私は私」・「オレはオレ」というアイデンティティは，自生 (天然) が成り立ちません。他者がいて自己になる。他者と相見 (まみ) え初めて自己が立ち現れます。思春期・青年期の「第 2 の誕生」によって，自分が自分の「こころ・いのち (・人権)」を産み出します。あなたは誰ですか。よりよく自分自身を生きたいですか…。
「こころ・いのち (・人権)」について，感じ思い考える能力を身につけます。知識とともに潜在的な可能性 (ポテンシャル) を磨き，決めつけや思い込みにとらわれず，新鮮で柔軟な態度をとれる選択肢 (キャパシティ) を増やします。主体的・批判的に検討し，的確な意見を論じることができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
オンライン・オンデマンド (資料型) です。いろいろな事情や背景があるので，リアルタイム中継は実施しません。いつでもアクセス可能です。参照：【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】【成績評価の方法と基準】【学生の意見等からの気づき】
指定テキスト (教科書) の独学独習が要件です。「授業計画」として示す「(仮想) 日程」を目安に，それぞれのペースで読み進めます。合わせて，Hoppii(学習支援システム) の「お知らせ・アナウンス」および「授業内掲示板」に目を通し，投稿 (コメント)・議論することが基本です。受け身でいたら，面白くも愉しくもなく，訳が分からないままになりかねません。
「お知らせ・アナウンス」：おおむね週 1 回 (水曜を予定) 配信。登録アドレス宛てメールでも届けます (真夜中や未明・早朝の際に備え，通知音オフ推奨)。テキストの解説や補助教材の案内もしますが，(参考書代わりに？) 折々のモノ・コトを紹介し，コメントへのリプライ・フィードバック，SNS の引用，記事や資料，動画 (へのリンク) を伝えます。
「授業内掲示板」：テキストの内容に限らず，アナウンスや他の学生の投稿・コメントその他に関して，質問や感想・意見・主張を書き込むことが，「授業」参加になります。匿名 (いつ誰が何を書いたか・読んだか，教員のみが知り分かるという少しディストピア的な) 設定です。「返信」を用いて，学生どうし多彩な意見交換を試みてください。日々の鬱憤や悩みの相談・雑談，オススメまで，自由な対話を通し，互いに見解 (意見と理解) を深めていきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	テキストや「お知らせ・アナウンス」,「授業内掲示板」その他について
2	社会心理学とは？	臨床社会心理学〔テキスト序章①〕
3	臨床心理学とは？	臨床社会心理学〔テキスト序章②〕
4	臨床社会心理学とは？	臨床社会心理学〔テキスト序章③〕
5	「なぜ？」を読み解く	対応推論・共変モデル・因果スキーマ〔テキスト第 1 章①〕
6	帰属のバイアス	原因推測の誤りと偏り〔テキスト第 1 章②〕
7	なぜ憂うつになる？	誤帰属や帰属スタイルの傾向〔テキスト第 2 章①〕
8	帰属療法／原因想起	成長期・対人関係／多様性と選択合理性〔テキスト第 2 章②〕
9	勉強ができない…／原因の考え方	期待-価値モデルと統制の位置／感情の帰属モデル〔テキスト第 3 章①〕
10	学習性無力感／知能は変わる？	努力しても成功しない？　試験前は遊ぼう？〔テキスト第 3 章②〕
11	見る自己と見られる自己	自己意識と自己注目〔テキスト第 4 章①〕
12	自己を意識すると…／自己注目の研究	客体的自覚理論と制御理論／「適切さの基準」〔テキスト第 4 章②〕
13	落ち込みと自己注目	気分一致効果／自己確証／自己没入〔テキスト第 5 章①〕
14	抑うつの予防／おまけ	注意の向け方・気晴らし〔テキスト第 5 章②〕／掲示板への投稿締切

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
1 回あたりの準備学習・復習時間は，それぞれ 2 時間 (計 4 時間) を標準〔文部科学省の大学設置基準によるデフォルト (初期) 設定〕とします。
といっても (オンライン・オンデマンドゆえ)，いつも「授業時間外の学習」？　心身の調子を整え，うまく各自の都合で時間配分しつつ，テキストや「お知らせ・アナウンス」,「授業内掲示板」その他を読み解き，投稿を進めます。“何を覚えるか” ではなく，自分が・自分で考えることのトレーニングを重視します。

【テキスト（教科書）】
坂本真士・佐藤健二（編）　2004　はじめての臨床社会心理学―自己と対人関係から読み解く臨床心理学　有斐閣
http://www.yuhikaku.co.jp/books/detail/4641076812
必ず用意してください。版元品切れになりがちです。大学生協の通信販売も活用し，早めに入手してください。

【参考書】
「お知らせ・アナウンス」や「授業内掲示板」その他，随時あれこれを参考にします。「臨床心理学」と「社会心理学」を結ぶ専門書については，テキスト各章末の「文献案内」が充実しています。「臨床心理学」は，下記の書籍で概観できます。
下山晴彦（編）　2009　よくわかる臨床心理学［改訂新版］　ミネルヴァ書房
http://www.minervashobo.co.jp/book/b49970.html

【成績評価の方法と基準】
平常点 (100 %) ：「授業内掲示板」での動向を通して，何を・いつ・なぜ・どのように感じ思い考えてきたか拝察します。
テキストのみならず,「お知らせ・アナウンス」や「授業内掲示板」,各々が見出した文献，Web サイト，動画，マンガやアニメ，ゲーム，ラノベを含む文芸，アート，音楽，映画などを味わい，それらと日常とを結びつけた感想や意見・主張，問題提起を任意に，しかし数回くらいは投稿・コメントしてください。レポートのようになっても構いません。ファイル添付も可能です。短文の連打も歓迎します。そこに表 (さ) れる内容から，テキストその他の読み込み具合，味わい方，取り組む姿勢・態度を推し測ります。
裏付けとなる根拠が明らかな論述はもちろん，奔放な相談や雑談，対話にさえも，主体的・批判的に学び調べ，何を理解し，どのように「こころ・いのち (・人権)」について感じ思い考えてきたか，相当程度，くっきりと示されますから，労力と時間は膨大にかかりますが，存分に評定できます (します)。

【学生の意見等からの気づき】
初めて本格的な (?) オンライン・オンデマンドとなった 2020 年度秋学期「心理学Ⅱ」・「心理学 LB」の「授業改善アンケート」(匿名) と「授業内掲示板」に寄せられた記述の幾つか (意味を変えない範囲で文体など差し替えました) を「気づき」とします。
まず 6 点，もっともな不信・不審や疑念に対する言い訳です。いずれも用心していきます。
(1) 春学期，掲示板で匿名がはがれたことがあった。これは絶対に避けなければいけないことだ。
(2) 先生自身も学生に成りすまして自問自答のようなことをしていたがどういう意図なのか？
〈言い訳 1〉 掲示板は,「投稿者を表示する」というデフォルト (初期) 設定を改変し，匿名にしています。ところが春学期，投稿締切 (掲示板の閉鎖) 時に，(閉鎖後のアクセスを予定しない) デフォルトに戻ってしまい，匿名設定が解除されるエラーが生じました。急いで再び匿名設定にしたものの，反映まで時間がかかったようです。済みませんでした。その後は，支障なかったはずです。
〈言い訳 2〉 この「匿名がはがれた」時間帯,「学生に成りすまして自問自答」しているようなケースが見えたかもしれません。「授業内掲示板」は科目別で，当該科目に登録した学生しか読み書きできず，海部担当の 5 科目で共有する仕組みがないため，春学期の初め，共有したい投稿を海部が「コピペ」していました。たとえば学生 (匿名) の質問に海部 (は名乗ります) が回答したとき，その投稿を海部が「コピペ」すると，当該科目以外では「海部が (匿名で) 質問し，海部が回答する」形になります。ほかにも，オススメの投稿などを「コピペ」していました。「匿名がはがれた」ときにアクセスしたら,「成りすまして自問自答」していると映るでしょう。怪しく不可解に感じて当然です。申し訳ありません。
(3-1) お知らせが見づらい。
(3-2) 毎回共通アナウンスというお知らせがあるが，文章が複雑で何を伝えたいのか考えてもいまいちわからなかった。
〈言い訳 3〉 率直に指摘くださり，深謝します。「お知らせ・アナウンス」は細切れの引用やリンクが多くて，掲示板も合わせ，継続する流れが分かりづらく，独り善がりが目立ったと思います。個別に意見や批判をいただいたときなど，次の回でのリプライ・フィードバックを試みてはいたのですが，不行き届きをお許しください。
(4) 成績評価が曖昧だという印象をぬぐい切れなかった。
〈言い訳 4〉 成績評価は，俗に言う「量よりも質」で，数値・数量化した基準を示すことができず，ご不満を招く覚悟でいます。プロセスは次のとおりです。春学期は合計 7000 件ほど，(例年，履修登録が減る) 秋学期も 5000 件近い投稿その他を頂戴しました。リアルタイムで (誰の投稿であるかは不明ながら転送メールにて内容のみ) その都度，拝読した後,「いつ誰が何を書いたか・読んだか，教員のみが知り分かる」設定の掲示板で再読・再々読を繰り返し,「既読としてマーク」の状況も確認して，特定の例は，まとめて読み直します。そのうえで学期末に，それぞれの投稿 (「返信」や直接いただいたメールを含む) その他を，改めて個々別々に (個人別に) 整理し,「いつ誰が何を書いたか・読んだか」すべてを精査します。おのずと浮き彫りになる生成・変化・展開の様相も踏まえて採点し，(S～E の)12 段階で評価します。
(5-1) Zoom 等は使用しないにしろ各週での課題を提示してくれたほうが取り組みやすかった。
(5-2) 提出必須の課題を出してほしかった。

〈言い訳 5〉 Zoom 等は得手不得手に加え，通信環境の事情・背景もあり，使用しません。また，恐縮ですが，「各週での課題」は嫌悪・苦痛しかないという声が圧倒的だと認識しています。それでも，ときどき，各々のペースでレポートや小論文を提出くだされば受け取る旨は案内し，実際に掲示板への投稿 (もしくは直接のメール) にファイル添付された方が少なくありませんでした。海部は，一方的に「教える」のでなく，設問形式の課題も提示しません。何かを紹介し，意見交換や議論を通じて，ともに学び合うことを重視します。まして，「正解」や「最適解」を 1 つに絞れず，見つけることすら難しい「こころ・いのち (・人権)」については，じっくりと各自で試行 (思考) 錯誤してくださるよう望みます。

(6-1) リアルタイム授業を何回か開いてほしかった。

(6-2) せめて動画授業をするなど，先生が顔と声を出して対面してほしかった。大学の授業において，最後までどんな先生が授業をしているのか分からないのはおかしいと感じた。残念。

〈言い訳 6〉 そうですよね。もしリクエストがあるなら，顔と声がどんなふうであるかくらいは知らせるようにしますか。けれども海部は，表情や視線，口調，身振り素振り，動作，姿勢・態度，距離感，関心の向き，構え，といった何らかがないと，率直で親密な対話・コミュニケーションを組み立てられないので，オンライン併用の「リアルタイム授業」や対面同様の「動画授業」は困難です。そもそも「業 (わざ) を授 (さず) ける」器量がなく，「対面」でも「義 (条理) を講じる (説明する)」講義しかできません。「面談」は好きですが…。

以下は，ひきつづき大切にしたい観点です。

※いろいろ考え悩んでるのが自分 1 人じゃないんだなって思うだけでかなり気持ちが楽になった。

※匿名でなかったら言えないことも言える。同じような意見や考えの人がいることに気づけて，自分だけではなかったんだと思えた。

※匿名だからこそ言える，他の人が普段考えてる事だったり不安に思ってる事だったりを聞けて，同じような悩みを持ってる人は自分だけじゃないんだと知れた。匿名で様々な意見を交換できるというオンラインの良さを活用した授業，とても楽しかった。

※オンラインならではの方式で，新鮮だった。匿名の環境下，他の受講者とコミュニケーションをとるのが楽しかった。

※たくさんの学生が意見交流していて，オンラインの利点を生かせているなあと思う。

※ふだんなら相談しないことや考えないことを書き込めて楽しかった。

※普段の生活における疑問，意見の吐口となってくれた。匿名だからこそ，話せること，聞けることが沢山あった。

※自分の考えを躊躇することなく伝えることができて良かった。

※日常の愚痴などもたくさん見て，共感できたし新鮮だった。

※みんなの本音が知れて面白かった。

※他の生徒がどのように感じているのかを読むことが出来たのでとてもいい工夫がされていたのではないか。

※多くの受講生のほとんど正直な意見を見ることができ，意見交換できたことが良かった。

※教科書に対する意見やプライベートな話を読んで，顔は見えていなくてもその時だけは，同じ空間で繋がれているような気がした。

※人との繋がりを感じることが出来たことや，同じように悩む人がいると分かったことは，今年大学 1 年生で友達がいない自分にとって大きな心の支えになった。

※孤独や不安を感じることも多かった状況の中でコミュニケーションを取ることのできる大切な場になっていた。コメントで会話したり，様々な意見を読んだりすることがとても楽しかった。

※異例の事態で，生徒間，先生- 生徒間の交流が失われた中，この掲示板を見ている時は皆との距離が縮まったように感じられた。

※書き込むことで皆さんとつながっている気持ちになり，大学生になったことを唯一実感できる場だった。

※慣れないことばかりで肉体的にも精神的にも辛い期間を，時には自分の思いや弱音を吐き出し，時には誰かの思想に触れ，時には共感しながら過ごせる大切な場所だった。

※課題に追われず，自分の興味関心と精神状態に合わせて無理なく学ぶことができた。

※時間に縛られることなく，参加できたのはよかった。

※のびのびと参加することができて良かった。

※自分のペースで学習がしやすく，掲示板もしっかり活用できてとても充実した。

※いつでも，またどんなことでも掲示板に書き込めるため縛られている感じがしなくてよかった。

※自分に合った方法で参加することができ，掲示板が上手く利用されていた。自由性が高く，匿名で他の人の投稿に意見できたり，逆にアドバイスをもらうことができたりしてとても楽しかったし，ステイホーム期間の心の支えになってくれた。

※自分とは何なのか，感情・行動とは何なのかを 1 人でじっくり考える機会を作ることが出来た。

※自分について考える時間が増えた。教科書に書いてあることに自分を重ねたり，自分の内面に意識を向けたりしながら読み進めたからだと思う。これまで時間を取って自分についてじっくり考える，ということをしてこなかったので，改めて自分について客観的に考えることができて良かった。

※常に新しい発見ができ，テキストを読み進めるにつれて自分で考える力を養うことができた。

※テキストを読み，意見交換することで色々な認識が変わった。これからも自分とは何か，心とは何か考え続けていきたい。

※他人との交流や違った視点の意見を聞くことの大切さを改めて実感した。たくさんの視点からのコメントに触れることで理解が深まった。

※さまざまな方々の意見に触れることで，普段は知り得ないような意見をたくさん知ることができた。

※様々な考え方に触れることができて楽しかった。また，考えさせられる機会を得ることができ，良い経験であった。

※他の生徒の意見などを見ることが出来たのが私にとってすごく新鮮で，こういう考えもあるんだなと，そういった面でも学ぶことが出来た。

※先生や他学生との議論で自身の考えを発信し，異なる意見を聞くなどして理解を深めることができた。

※さまざまな方とコミュニケーションをとるのがとても楽しかったし、みなさんの鋭い視点に毎日驚かされ新鮮な日々だった。

※見ず知らずの人が私が書き込んだことに反応してくれて嬉しかった。人の心や脳は難しく，けど面白いと思った。

※匿名だからこそ自由に，素直な気持ちを述べることができた。様々な人の様々な意見を知ることができた。年が同じまたは近い人の意見とは思えないような達観した鋭い指摘がたくさんあり，視野を広げることができる良い機会となった。

※匿名だからこそ話すことのできる主張を学生が出来る場で，自分とは異なる様々な意見に触れることが出来た。

※自分の心を見つめ直すきっかけに繋がった。自分がぼんやりと感じていたことを，何が原因でどういう仕組みでそう感じたのか知るのは，自分の心を分析していくようでとても面白かった。

※自分と向き合う機会が得られたことで，自分自身の知らなかった部分を知ることができた。

※自分のネガティブな面について詳しく知れて良かった。

※様々な考えや知識をインプットするだけでなく，自分の学びをアウトプットすることによって，普段は気にすることのない自分の考え方・ものの見方などに気づくことができた。

※思ったことをためらわずに書き込める。自分の心で思っていることを文章にすることはとても難しい。そのもやもやを言葉としての形にする訓練ができる場であった。

※考え方の多様性を実感し，また自分自身も改めて自分の考えを深め言語化することができ，勉強になった。

※教科書の内容である知識はもちろんのこと，紹介された様々な問題に触れることによって人の数だけ考え方が存在し，それを理解できなくとも認め合うことの大切さを感じた。

※日常生活の様々な場面で「こころ」に目を向けることができるようになったと実感している。

※以前より自分の視野が広がり，人の気持ちについて考える機会が多くなった。

※投稿や題材には考えさせられ，とても良い刺激と学習になった。

※タイムリーな話題や重要な事柄を毎週まとめて知らせてくれるのが良かった。

※毎週のアナウンスと掲示板のコメントを読んで，色んな問題やそれに対する意見・価値観を知ることが出来た。

※現代の社会問題や時事問題を取り上げていて，週 1 のメッセージだけでも多くのことをまなぶことができる有意義な時間だった。

※社会の色々な問題や現実を知り，それに対する皆さんの意見や考えを知ることができたので新しい見方や価値観を学ぶことができた。

※毎週のお知らせが結構救いになったり，考えさせられたりした。色々な気付きを得ることができた。

※お知らせがとても分かりやすく，また考えさせられるものだった。

※示された記事や社会問題などを通じて色々なことを考える機会が沢山あり，自分の考えや思っていることを改めて再認識することが出来た。
※時事的な内容と心理学が結び付けられていて，ニュースでは考えられない考えを得ることが出来た。
※様々な話を読む中で，自分の経験や知識がとても狭いものだということにも気付かされた。心理学ということで，はじめは他者の心理を理解していくつもりで履修していたが，1 年間で自分自身の内面も見つめ直す良い機会になった。オンラインでも人との関わりがあることを確認できた。
※様々な社会問題や性差別問題などに対して，自身の意見を持っている人がこんなにも多いのかと驚いた。
※自分が考えたこともないような悩みを抱えている人がいることを知った。もっと世間のことに目を向けるべきであると感じた。
※特に差別のことについて考えさせられた。当たり前に思っていたことがよく考えてみると変だったり過程を知ると気持ち悪かったり，多くのことを学べた。
※いろいろな意見を読んで，批判すること・指摘することは大事だと分かった。批判しても何も変わらない，損しかしないと思っていた。しかし，批判することも必要。そして，自分では考えられないような・知らなかったような立場の人の意見は，耳が痛くなることもあるけど，目を背けずに，発してくれた人に感謝する。意見は，世の中の生きづらい人を失くしていくための材料であると分かった。
※とても良い仕組みだと感じた。固定観念や一般常識にとらわれないものの見方を学ぶことが出来た。
※前は“ふつう”だと思っていたことに，少しずつだが，“これって実はおかしいんじゃない？ ”と気付けるようになった。
※社会問題について考える時間が増えたなと思った。今までなら素通りしていたニュースや疑問，おかしいなと思う気持ちをしっかりと自分の中で考える時間を作ることができた。匿名ということもあって様々な意見に触れることができたり，同じ考えを持つ人から返信をいただくことができたりと，対面でないからこその学びを得ることができ楽しかった。
※悩みや社会の情勢についての意見などを多くの人と共有できる形がとても良かった。自分の意見にコメントをもらえたり共感してもらえるととても嬉しいと感じた。顔が見えなかったり発信者がわからないことによって，より深くまで関わることができたのではないか。心理学ならではの形態がとても良かった。

【その他の重要事項】
(1) 心理学 LA(春学期) と心理学 LB(秋学期) は連動するため，続けての履修を期待します。
(2) 年度や受講生によって講義のスタイルを変えます。“裏シラバス”や“クチコミ”を当てにしないでください。
(3) 臨床心理士として，生きづらく悩み困っている and/or 悩ませ困らせている方々と接してきました。「心の痛み」や「心の傷」，「心の病気」，「心の性」，「心神喪失・耗弱 (こうじゃく)」，「責任能力」の検証も必要でした。責任 (responsibility) とは，反応する (response) 能力 (ability) です。性別を問わず，家庭・家族事情，少年院や刑務所，半グレやヤクザ，加害・被害，不登校，ひきこもり，派遣切り，就労苦，生活困窮，ホームレス，あるいはガールズバーやキャバクラ，援交・パパ活，ホストクラブ，風俗，売買春など，さまざまの体験があり，心身不穏や自傷，虚無・空白やトラウマ・トラブル，自家中毒・矛盾・煩悶 (はんもん) を抱えた制御困難な誰もが，「自己責任」で片付けられては堪 (たま) らない方ばかりです。「みんなちがって，みんないい」は絵空事？ 「おかしい」と呼ばれやすい人々の「こころ・いのち (・人権)」が脅かされるのは，むしろ何かと「おかしい」世の中の「問題」ではないのか。そんなこんなを感じ思い考え続けています。
(4) オフィスアワー (お喋りタイム？) は，原則として木曜の 4 時限ないし 5 時限に設ける見込みです。同予約ほか，なんでもリクエスト・問い合わせは，「授業内掲示板」または kikoh.kaihu.65@hosei.ac.jp へ。

【Outline and objectives】
We survey advanced applied psychology on the basis of academic psychology such as behavioral psychology, cognitive psychology, developmental psychology, and personality psychology.
We study clinical social psychology.

PSY200LA

心理学ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

海部　紀行

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**集中・その他**/intensive・other courses
単位数：2 **単位**
法文営国環キ 1〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
「心理学Ⅰ/Ⅱ」など，アカデミックな心理学〔行動心理学，認知心理学，発達心理学，パーソナリティ心理学 etc.〕の基礎・基盤（ベーシック）履修を前提とし，より発展・応用的な心理学〔社会心理学+臨床心理学 ⇒ 臨床社会心理学〕を学びます。

【到達目標】
他者と自己とが織りなす対人関係，そこから生じる葛藤やストレスへの対処などを考えることが目標です。
見えていなくても (見たいように) 見てしまう，見えているのに見 (え) ない。(いやでも) 見る・気づく・気にする・考える (しかない) 側から，(見たいものしか) 見ない・気づかない・気にしない・考えない (で済む) 側まで，「こころ」は我が儘です。「こころ」は，どこに・なぜ・どのようにあるか，「いのち」は，いつ始まり，終わるのか，「人権」とは何か。
「私は私」・「オレはオレ」というアイデンティティは，自生 (天然) が成り立ちません。他者がいて自己になる。他者と相見 (まみ) え初めて自己が立ち現れます。思春期・青年期の「第 2 の誕生」によって，自分が自分の「こころ・いのち (・人権)」を産み出します。あなたは誰ですか。よりよく自分自身を生きたいですか…。
「こころ・いのち (・人権)」について，感じ思い考える能力を身につけます。知識とともに潜在的な可能性 (ポテンシャル) を磨き，決めつけや思い込みにとらわれず，新鮮で柔軟な態度をとれる選択肢 (キャパシティ) を増やします。主体的・批判的に検討し，的確な意見を論じることができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
オンライン・オンデマンド (資料型) です。いろいろな事情や背景があるので，リアルタイム中継は実施しません。いつでもアクセス可能です。参照：【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】【成績評価の方法と基準】【学生の意見等からの気づき】
指定テキスト (教科書) の独学独習が要件です。「授業計画」として示す「(仮想) 日程」を目安に，それぞれのペースで読み進めます。合わせて，Hoppii(学習支援システム) の「お知らせ・アナウンス」および「授業内掲示板」に目を通し，投稿 (コメント)・議論することが基本です。受け身でいたら，面白くも愉しくもなく，訳が分からないままになりかねません。
「お知らせ・アナウンス」：おおむね週 1 回 (水曜を予定) 配信。登録アドレス宛てメールでも届けます (真夜中や未明・早朝の際に備え，通知音オフ推奨)。テキストの解説や補助教材の案内もしますが，(参考書代わりに？) 折々のモノ・コトを紹介し，コメントへのリプライ・フィードバック，SNS の引用，記事や資料，動画 (へのリンク) を伝えます。
「授業内掲示板」：テキストの内容に限らず，アナウンスや他の学生の投稿・コメントその他に関して，質問や感想・意見・主張を書き込むことが，「授業」参加になります。匿名 (いつ誰が何を書いたか・読んだか，教員のみが知り分かるという少しディストピア的な) 設定です。「返信」を用いて，学生どうし多彩な意見交換を試みてください。日々の鬱憤や悩みの相談・雑談，オススメまで，自由な対話を通し，互いに見解 (意見と理解) を深めていきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	テキストや「お知らせ・アナウンス」,「授業内掲示板」その他について
2	「自分」が脅かされる…	私への関心と恐怖感〔テキスト第 6 章①〕
3	妄想・自我障害の原因／どう克服するか	帰属のパラドクス／認知療法・自閉療法〔テキスト第 6 章②〕
4	本当の自分？	自分のことを打ち明ける：自己開示〔テキスト第 7 章①〕
5	仮面の自分？	自分をよく見せる：自己呈示〔テキスト第 7 章②〕
6	自己開示と健康	メンタル＆フィジカル〔テキスト第 8 章①〕
7	トラウマの開示は…	認知的再評価あるいは否定的影響〔テキスト第 8 章②〕
8	不安と対人恐怖	社会不安障害？〔テキスト第 9 章①〕
9	よく見せたいが自信がない…／認知モデル	自己呈示の欲求と効力感／認知行動療法〔テキスト第 9 章②〕
10	援助行動と対人関係	助けること・助けられること〔テキスト第 10 章①〕
11	ソーシャル・サポート	人が人を支える〔テキスト第 10 章②〕
12	攻撃行動	何が「攻撃」？　その目標・機能は？〔テキスト第 11 章①〕
13	怒り	怒りとは？　なぜ「攻撃」する？〔テキスト第 11 章②〕
14	なぜ援助を求めない？／おまけ	症状認知・情報不足・偏見・コミュニティ〔テキスト終章〕／掲示板への投稿締切

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
1 回あたりの準備学習・復習時間は，それぞれ 2 時間 (計 4 時間) を標準〔文部科学省の大学設置基準によるデフォルト (初期) 設定〕とします。
といっても (オンライン・オンデマンドゆえ)，いつも「授業時間外の学習」？　心身の調子を整え，うまく各自の都合で時間配分しつつ，テキストや「お知らせ・アナウンス」,「授業内掲示板」その他を読み解き，投稿を進めます。“何を覚えるか” ではなく，自分が・自分で考えることのトレーニングを重視します。

【テキスト（教科書）】
坂本真士・佐藤健二（編）　2004　はじめての臨床社会心理学―自己と対人関係から読み解く臨床心理学　有斐閣
http://www.yuhikaku.co.jp/books/detail/4641076812
必ず用意してください。版元品切れになりがちです。大学生協の通信販売も活用し，早めに入手してください。

【参考書】
「お知らせ・アナウンス」や「授業内掲示板」その他，随時あれこれを参考にします。「臨床心理学」と「社会心理学」を結ぶ専門書については，テキスト各章末の「文献案内」が充実しています。「臨床心理学」は，下記の書籍で概観できます。
下山晴彦（編）　2009　よくわかる臨床心理学［改訂新版］　ミネルヴァ書房
http://www.minervashobo.co.jp/book/b49970.html

【成績評価の方法と基準】
平常点 (100 %) ：「授業内掲示板」での動向を通して，何を・いつ・なぜ・どのように感じ思い考えてきたか拝察します。
テキストのみならず,「お知らせ・アナウンス」や「授業内掲示板」,各々が見出した文献，Web サイト，動画，マンガやアニメ，ゲーム，ラノベを含む文芸，アート，音楽，映画などを味わい，それらと日常とを結びつけた感想や意見・主張，問題提起を任意に，しかし数回くらいは投稿・コメントしてください。レポートのようになっても構いません。ファイル添付も可能です。短文の連打も歓迎します。そこに表 (さ) れる内容から，テキストその他の読み込み具合，味わい方，取り組む姿勢・態度を推し測ります。
裏付けとなる根拠が明らかな論述はもちろん，奔放な相談や雑談，対話にさえも，主体的・批判的に学び調べ，何を理解し，どのように「こころ・いのち (・人権)」について感じ思い考えてきたか，相当程度，くっきりと示されますから，労力と時間は膨大にかかりますが，存分に評定できます (します)。

【学生の意見等からの気づき】
初めて本格的な (?) オンライン・オンデマンドとなった 2020 年度秋学期「心理学Ⅱ」・「心理学 LB」の「授業改善アンケート」(匿名) と「授業内掲示板」に寄せられた記述の幾つか (意味を変えない範囲で文体など差し替えました) を「気づき」とします。
まず 6 点，もっともな不信・不審や疑念に対する言い訳です。いずれも用心していきます。
(1) 春学期，掲示板で匿名がはがれたことがあった。これは絶対に避けなければいけないことだ。
(2) 先生自身も学生に成りすまして自問自答のようなことをしていたがどういう意図なのか？
〈言い訳 1〉 掲示板は,「投稿者を表示する」というデフォルト (初期) 設定を改変し，匿名にしています。ところが春学期，投稿締切 (掲示板の閉鎖) 時に，(閉鎖後のアクセスを予定しない) デフォルトに戻ってしまい，匿名設定が解除されるエラーが生じました。急いで再び匿名設定にしたものの，反映まで時間がかかったようです。済みませんでした。その後は，支障なかったはずです。
〈言い訳 2〉 この「匿名がはがれた」時間帯,「学生に成りすまして自問自答」しているようなケースが見えたかもしれません。「授業内掲示板」は科目別で，当該科目に登録した学生しか読み書きできず，海部担当の 5 科目で共有する仕組みがないため，春学期の初め，共有したい投稿を海部が「コピペ」していました。たとえば学生 (匿名) の質問に海部 (は名乗ります) が回答したとき，その投稿を海部が「コピペ」すると，当該科目以外では「海部が (匿名で) 質問し，海部が回答する」形になります。ほかにも，オススメの投稿などを「コピペ」していました。「匿名がはがれた」ときにアクセスしたら,「成りすまして自問自答」していると映るでしょう。怪しく不可解に感じて当然です。申し訳ありません。
(3-1) お知らせが見づらい。
(3-2) 毎回共通アナウンスというお知らせがあるが，文章が複雑で何を伝えたいのか考えてもいまいちわからなかった。
〈言い訳 3〉 率直に指摘くださり，深謝します。「お知らせ・アナウンス」は細切れの引用やリンクが多くて，掲示板も合わせ，継続する流れが分かりづらく，独り善がりが目立ったと思います。個別に意見や批判をいただいたときなど，次の回でのリプライ・フィードバックを試みてはいたのですが，不行き届きをお許しください。
(4) 成績評価が曖昧だという印象をぬぐい切れなかった。
〈言い訳 4〉 成績評価は，俗に言う「量よりも質」で，数値・数量化した基準を示すことができず，ご不満を招く覚悟でいます。プロセスは次のとおりです。春学期は合計 7000 件ほど，(例年，履修登録が減る) 秋学期も 5000 件近い投稿その他を頂戴しました。リアルタイムで (誰の投稿であるかは不明ながら転送メールにて内容のみ) その都度，拝読した後,「いつ誰が何を書いたか・読んだか，教員のみが知り分かる」設定の掲示板で再読・再々読を繰り返し,「既読としてマーク」の状況も確認して，特定の例は，まとめて読み直します。そのうえで学期末に，それぞれの投稿 (「返信」や直接いただいたメールを含む) その他を，改めて個々別々に (個人別に) 整理し,「いつ誰が何を書いたか・読んだか」すべてを精査します。おのずと浮き彫りになる生成・変化・展開の様相も踏まえて採点し，(S ～E の)12 段階で評価します。
(5-1) Zoom 等は使用しないにしろ各週での課題を提示してくれたほうが取り組みやすかった。
(5-2) 提出必須の課題を出してほしかった。

〈言い訳 5〉 Zoom 等は得手不得手に加え，通信環境の事情・背景もあり，使用しません。また，恐縮ですが，「各週での課題」は嫌悪・苦痛しかないという声が圧倒的だと認識しています。それでも，ときどき，各々のペースでレポートや小論文を提出くだされば受け取る旨は案内し，実際に掲示板への投稿 (もしくは直接のメール) にファイル添付された方が少なくありませんでした。海部は，一方的に「教える」のでなく，設問形式の課題も提示しません。何かを紹介し，意見交換や議論を通じて，ともに学び合うことを重視します。まして，「正解」や「最適解」を 1 つに絞れず，見つけることすら難しい「こころ・いのち (・人権)」については，じっくりと各自で試行 (思考) 錯誤してくださるよう望みます。

(6-1) リアルタイム授業を何回か開いてほしかった。

(6-2) せめて動画授業をするなど，先生が顔と声を出して対面してほしかった。大学の授業において，最後までどんな先生が授業をしているのか分からないのはおかしいと感じた。残念。

〈言い訳 6〉 そうですよね。もしリクエストがあるなら，顔と声がどんなふうであるかくらいは知らせるようにしますか。けれども海部は，表情や視線，口調，身振り素振り，動作，姿勢・態度，距離感，関心の向き，構え，といった何らかがないと，率直で親密な対話・コミュニケーションを組み立てられないので，オンライン併用の「リアルタイム授業」や対面同様の「動画授業」は困難です。そもそも「業 (わざ) を授 (さず) ける」器量がなく，「対面」でも「義 (条理) を講じる (説明する)」講義しかできません。「面談」は好きですが…。

以下は，ひきつづき大切にしたい観点です。

※いろいろ考え悩んでるのが自分 1 人じゃないんだなって思うだけでかなり気持ちが楽になった。

※匿名でなかったら言えないことも言える。同じような意見や考えの人がいることに気づけて，自分だけではなかったんだと思えた。

※匿名だからこそ言える，他の人が普段考えてる事だったり不安に思ってる事だったりを聞けて，同じような悩みを持ってる人は自分だけじゃないんだと知れた。匿名で様々な意見を交換できるというオンラインの良さを活用した授業，とても楽しかった。

※オンラインならではの方式で，新鮮だった。匿名の環境下，他の受講者とコミュニケーションをとるのが楽しかった。

※たくさんの学生が意見交流していて，オンラインの利点を生かせているなあと思う。

※ふだんなら相談しないことや考えないことを書き込めて楽しかった。

※普段の生活における疑問，意見の吐口となってくれた。匿名だからこそ，話せること，聞けることが沢山あった。

※自分の考えを躊躇することなく伝えることができて良かった。

※日常の愚痴などもたくさん見て，共感できたし新鮮だった。

※みんなの本音が知れて面白かった。

※他の生徒がどのように感じているのかを読むことが出来たのでとてもいい工夫がされていたのではないか。

※多くの受講生のほとんど正直な意見を見ることができ，意見交換できたことが良かった。

※教科書に対する意見やプライベートな話を読んで，顔は見えていなくてもその時だけは，同じ空間で繋がれているような気がした。

※人との繋がりを感じることが出来たことや，同じように悩む人がいると分かったことは，今年大学 1 年生で友達がいない自分にとって大きな心の支えになった。

※孤独や不安を感じることも多かった状況の中でコミュニケーションを取ることのできる大切な場になっていた。コメントで会話したり，様々な意見を読んだりすることがとても楽しかった。

※異例の事態で，生徒間，先生- 生徒間の交流が失われた中，この掲示板を見ている時は皆との距離が縮まったように感じられた。

※書き込むことで皆さんとつながっている気持ちになり，大学生になったことを唯一実感できる場だった。

※慣れないことばかりで肉体的にも精神的にも辛い期間を，時には自分の思いや弱音を吐き出し，時には誰かの思想に触れ，時には共感しながら過ごせる大切な場所だった。

※課題に追われず，自分の興味関心と精神状態に合わせて無理なく学ぶことができた。

※時間に縛られることなく，参加できたのはよかった。

※のびのびと参加することができて良かった。

※自分のペースで学習がしやすく，掲示板もしっかり活用できてとても充実した。

※いつでも，またどんなことでも掲示板に書き込めるため縛られている感じがしなくてよかった。

※自分に合った方法で参加することができ，掲示板が上手く利用されていた。自由性が高く，匿名で他の人の投稿に意見できたり，逆にアドバイスをもらうことができたりしてとても楽しかったし，ステイホーム期間の心の支えになってくれた。

※自分とは何なのか，感情・行動とは何なのかを 1 人でじっくり考える機会を作ることが出来た。

※自分について考える時間が増えた。教科書に書いてあることに自分を重ねたり，自分の内面に意識を向けたりしながら読み進めたからだと思う。これまで時間を取って自分についてじっくり考える，ということをしてこなかったので，改めて自分について客観的に考えることができて良かった。

※常に新しい発見ができ，テキストを読み進めるにつれて自分で考える力を養うことができた。

※テキストを読み，意見交換することで色々な認識が変わった。これからも自分とは何か，心とは何か考え続けていきたい。

※他人との交流や違った視点の意見を聞くことの大切さを改めて実感した。たくさんの視点からのコメントに触れることで理解が深まった。

※さまざまな方々の意見に触れることで，普段は知り得ないような意見をたくさん知ることができた。

※様々な考え方に触れることができて楽しかった。また，考えさせられる機会を得ることができ，良い経験であった。

※他の生徒の意見などを見ることが出来たのが私にとってすごく新鮮で，こういう考えもあるんだなと，そういった面でも学ぶことが出来た。

※先生や他学生との議論で自身の考えを発信し，異なる意見を聞くなどして理解を深めることができた。

※さまざまな方とコミュニケーションをとるのがとても楽しかったし、みなさんの鋭い視点に毎日驚かされ新鮮な日々だった。

※見ず知らずの人が私が書き込んだことに反応してくれて嬉しかった。人の心や脳は難しく，けど面白いと思った。

※匿名だからこそ自由に，素直な気持ちを述べることができた。様々な人の様々な意見を知ることができた。年が同じまたは近い人の意見とは思えないような達観した鋭い指摘がたくさんあり，視野を広げることができる良い機会となった。

※匿名だからこそ話すことのできる主張を学生が出来る場で，自分とは異なる様々な意見に触れることが出来た。

※自分の心を見つめ直すきっかけに繋がった。自分がぼんやりと感じていたことを，何が原因でどういう仕組みでそう感じたのか知るのは，自分の心を分析していくようでとても面白かった。

※自分と向き合う機会が得られたことで，自分自身の知らなかった部分を知ることができた。

※自分のネガティブな面について詳しく知れて良かった。

※様々な考えや知識をインプットするだけでなく，自分の学びをアウトプットすることによって，普段は気にすることのない自分の考え方・ものの見方などに気づくことができた。

※思ったことをためらわずに書き込める。自分の心で思っていることを文章にすることはとても難しい。そのもやもやを言葉としての形にする訓練ができる場であった。

※考え方の多様性を実感し，また自分自身も改めて自分の考えを深め言語化することができ，勉強になった。

※教科書の内容である知識はもちろんのこと，紹介された様々な問題に触れることによって人の数だけ考え方が存在し，それを理解できなくとも認め合うことの大切さを感じた。

※日常生活の様々な場面で「こころ」に目を向けることができるようになったと実感している。

※以前より自分の視野が広がり，人の気持ちについて考える機会が多くなった。

※投稿や題材には考えさせられ，とても良い刺激と学習になった。

※タイムリーな話題や重要な事柄を毎週まとめて知らせてくれるのが良かった。

※毎週のアナウンスと掲示板のコメントを読んで，色んな問題やそれに対する意見・価値観を知ることが出来た。

※現代の社会問題や時事問題を取り上げていて，週 1 のメッセージだけでも多くのことをまなぶことができる有意義な時間だった。

※社会の色々な問題や現実を知り，それに対する皆さんの意見や考えを知ることができたので新しい見方や価値観を学ぶことができた。

※毎週のお知らせが結構救いになったり，考えさせられたりした。色々な気付きを得ることができた。

※お知らせがとても分かりやすく，また考えさせられるものだった。

※示された記事や社会問題などを通じて色々なことを考える機会が沢山あり，自分の考えや思っていることを改めて再認識することが出来た。
※時事的な内容と心理学が結び付けられていて，ニュースでは考えられない考えを得ることが出来た。
※様々な話を読む中で，自分の経験や知識がとても狭いものだということにも気付かされた。心理学ということで，はじめは他者の心理を理解していくつもりで履修していたが，1 年間で自分自身の内面も見つめ直す良い機会になった。オンラインでも人との関わりがあることを確認できた。
※様々な社会問題や性差別問題などに対して，自身の意見を持っている人がこんなにも多いのかと驚いた。
※自分が考えたこともないような悩みを抱えている人がいることを知った。もっと世間のことに目を向けるべきであると感じた。
※特に差別のことについて考えさせられた。当たり前に思っていたことがよく考えてみると変だったり過程を知ると気持ち悪かったり，多くのことを学べた。
※いろいろな意見を読んで，批判すること・指摘することは大事だと分かった。批判しても何も変わらない，損しかしないと思っていた。しかし，批判することも必要。そして，自分では考えられないような・知らなかったような立場の人の意見は，耳が痛くなることもあるけど，目を背けずに，発してくれた人に感謝する。意見は，世の中の生きづらい人を失くしていくための材料であると分かった。
※とても良い仕組みだと感じた。固定観念や一般常識にとらわれないものの見方を学ぶことが出来た。
※前は“ふつう”だと思っていたことに，少しずつだが，“これって実はおかしいんじゃない？ ”と気付けるようになった。
※社会問題について考える時間が増えたなと思った。今までなら素通りしていたニュースや疑問，おかしいなと思う気持ちをしっかりと自分の中で考える時間を作ることができた。匿名ということもあって様々な意見に触れることができたり，同じ考えを持つ人から返信をいただくことができたりと，対面でないからこその学びを得ることができ楽しかった。
※悩みや社会の情勢についての意見などを多くの人と共有できる形がとても良かった。自分の意見にコメントをもらえたり共感してもらえるととても嬉しいと感じた。顔が見えなかったり発信者がわからないことによって，より深くまで関わることができたのではないか。心理学ならではの形態がとても良かった。

【その他の重要事項】
(1) 心理学 LA(春学期) と心理学 LB(秋学期) は連動するため，続けての履修を期待します。
(2) 年度や受講生によって講義のスタイルを変えます。“裏シラバス”や“クチコミ”を当てにしないでください。
(3) 臨床心理士として，生きづらく悩み困っている and/or 悩ませ困らせている方々と接してきました。「心の痛み」や「心の傷」,「心の病気」,「心の性」,「心神喪失・耗弱 (こうじゃく)」,「責任能力」の検証も必要でした。責任 (responsibility) とは，反応する (response) 能力 (ability) です。性別を問わず，家庭・家族事情，少年院や刑務所，半グレやヤクザ，加害・被害，不登校，ひきこもり，派遣切り，就労苦，生活困窮，ホームレス，あるいはガールズバーやキャバクラ，援交・パパ活，ホストクラブ，風俗，売買春など，さまざまの体験があり，心身不穏や自傷，虚無・空白やトラウマ・トラブル，自家中毒・矛盾・煩悶 (はんもん) を抱えた制御困難な誰もが，「自己責任」で片付けられては堪 (たま) らない方ばかりです。「みんなちがって，みんないい」は絵空事？ 「おかしい」と呼ばれやすい人々の「こころ・いのち (・人権)」が脅かされるのは，むしろ何かと「おかしい」世の中の「問題」ではないのか。そんなこんなを感じ思い考え続けています。
(4) オフィスアワー (お喋りタイム？) は，原則として木曜の 4 時限ないし 5 時限に設ける見込みです。同予約ほか，なんでもリクエスト・問い合わせは，「授業内掲示板」または kikoh.kaihu.65@hosei.ac.jp へ。

【Outline and objectives】
We survey advanced applied psychology on the basis of academic psychology such as behavioral psychology, cognitive psychology, developmental psychology, and personality psychology.
We study clinical social psychology.

GEO200LA

地理学ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

長沢　利明

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**集中・その他**/intensive・other courses
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
地理学の基本的な研究方法、考え方、方法論などについて学ぶ。さまざまなテーマを取り上げてそれを考えていく。特に環境問題に重点を置いて、授業を進めていく。

【到達目標】
さまざまなテーマと話題を取り上げながら、地理学の方法論や考え方を学び、身につけることを到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
本授業では、毎回プリントを配布して講義をおこなう。
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	プロローグ	授業内容の説明、成績評価の方法などを解説する。
2	文化・生態・環境	地理学と生態・環境問題との関係について解説する。
3	都市の生態環境①	都市の生態環境の特色について解説する。
4	都市の生態環境②	都市の生態環境の特色について解説する。
5	都市の生態環境③	都市の生態環境の特色について解説する。
6	日本の野生動物相①	日本の野生動物相の特色について解説する。
7	日本の野生動物相②	日本の野生動物相の特色について解説する。
8	日本の植生①	日本の植生の特色について解説する。
9	日本の植生②	日本の植生の特色について解説する。
10	生業条件と生態環境	生業経済と生態環境との関係について解説する。
11	森林問題①	都市の森林問題、里山林の問題などについて解説する。
12	森林問題②	都市の森林問題について解説する。
13	調査とレポート	フィールドワークの方法について解説する。
14	全体的な補足	全体的な補足をおこなう。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
準備学習および復習を自宅でおこなうことがのぞましい。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
特にありません。授業内で必要に応じてプリントを配布します。

【参考書】
随時、授業内で紹介します。

【成績評価の方法と基準】
授業内試験 (100%) で評価します。

【学生の意見等からの気づき】
アンケート調査結果などを参照し、授業内容の改善につとめる。

【学生が準備すべき機器他】
特になし。

【Outline and objectives】
You can study on this program about general theory of cultural geography.

GEO200LA

地理学ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

長沢　利明

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**集中・その他**/intensive・other courses
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
地理学の基本的な考え方、研究方法などを学ぶために、さまざまな話題を取り上げ、解説をおこなう。特に環境問題に重点を置いて講義をおこなう。

【到達目標】
地理学的な物の見方とは、どういうことをいっているのか、あるいはその視点・立脚点とはどのようなものか、などなどを身につけることが到達目標である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
毎回異なったテーマを取り上げる。プリントを配布し、それをテキストとして用いながら授業を進めていく。
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	プロローグ	授業の進め方や注意事項などについて解説する。
2	文化・生態・環境	授業を構成する文化・生態・環境の三つのキーワードについて解説する。
3	焼畑農業	焼畑農業の持つ諸課題について解説する。
4	農業の起源と赤米①	日本における農業の起源と赤米の問題について解説する。
5	農業の起源と赤米②	日本における農業の起源と赤米の問題について解説する。
6	海辺の環境①	海辺の環境の特色について解説する。
7	海辺の環境②	海辺の環境の特色について解説する。
8	海辺の環境③	海辺の環境の特色について解説する。
9	海辺の環境④	海辺の環境の特色について解説する。
10	海辺の環境⑤	海辺の環境と漁業問題について解説する。
11	森林問題	森林問題、里山林の環境的特性などについて解説する。
12	調査とレポート	フィールドワークの方法などについて解説する。
13	まとめ	全体的なまとめをおこない、総括する。

14	補足	補足的なテーマを適宜選んで取り上げる。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
自宅での予習・復習をおこなうことがのぞましい。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
特に指定はありません。必要に応じて、授業内でプリントを配布します。

【参考書】
授業内で適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】
授業内試験 (100%) で評価します。

【学生の意見等からの気づき】
地理学の基本から学びますので、高校時代に地理を選択していなかった学生も遠慮なく履修してください。

【Outline and objectives】
You can study on this program about general theory of cultural geography.

GEO200LA

地理学ＬＣ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

片岡　義晴

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木 4**/Thu.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
現代世界の地域・社会問題を学んでいきます。

【到達目標】
食料、人口、貧困問題などを手がかりにして、現代世界の地域・社会問題を学んでいきます。それら問題が相互に関連し、問題を如何に複雑化させているのか、その構造を学んでいきます。それらの結果、現代社会の地域・社会問題のとらえ方を理解できるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
【授業の進め方】
「発展」から取り残されている地域・国を事例にして、現代世界の地域・社会問題を考えていきます。主としてアジア諸地域を例に挙げて、「発展」の仕組みを、その「裏側」から考えていくつもりです。取り扱うテーマは世界の食料、人口、貧困にかかわる諸問題です。それらの出来事は個別に存在するわけではなく、相互に関連し、問題を複雑化させています。したがって結論や解決策を単純に見いだすことはできません。現実の「構造」を知ることができるようにしていきたいと思います。
【課題等に対するフィードバック方法】
授業の初めに、前回までの授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行います。
【授業の方法】
講義形式で授業していきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	世界の食糧問題 (1)	先進国と途上国の食料自給率
第 2 回	世界の食糧問題 (2)	食糧輸出国と輸入国
第 3 回	世界の食糧問題 (3)	農業生産性の向上－「緑の革命」－
第 4 回	世界の人口 (1) －人口の趨勢－	人口爆発とその後－ 70 億人突破－
第 5 回	世界の人口 (2) －二つの人口論－	マルサスとマルクス
第 6 回	世界の人口 (3) －死亡率・出生率変化の検討－	死亡率の急減と出生率低下の緩慢さ
第 7 回	世界の人口 (4)	人口問題と人権
第 8 回	貧困と援助・協力 (1)	世界の貧困－先進国、途上国それぞれに貧困－
第 9 回	貧困と援助・協力 (2)	衛生問題－乳児死亡率の地域差と女性の権利－
第 10 回	貧困と援助協力 (3)	教育の不平等－教育と識字率－
第 11 回	貧困と援助協力 (4)	難民問題の拡大と日本
第 12 回	貧困と援助協力 (5)	ODA と日本、世界の児童労働

第 13 回　まとめ	まとめ
第 14 回　まとめ	まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
「食料」「人口」「貧困」に関わる報道に目を向けて下さい。それら問題は「なぜ」生じているか、さらにそれら問題が私たちと如何に関連しているのか、それを考えようとして下さい。時間をとって机に向かうことも重要ですが、それら問題を普段から意識することがより重要です。
　なお、本授業の準備学習・復習時間は各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
　テキストは使用しません。資料プリントを配布します。場合によっては PowerPoint を使用します。

【参考書】
　西川 潤（2008）『データブック 食料』、同『データブック 人口』、同『データブック 貧困』いずれも岩波ブックレット。その他は授業時に適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】
　学期末試験 100 %で成績評価します。

【学生の意見等からの気づき】
　プリントの多さに対する意見もありますが、必要ならば配布せざるを得ません。また使用データの古さも指摘されました。しかし途上国のデータは信頼性に欠ける場合もあり、新しいから正確というわけでもないのです。日本の労働に関する、特に近年の統計の杜撰さ、隠蔽・歪曲体質を思い出せば、それは容易に想像できるはずです。データは読みこなさなければなりません。

【学生が準備すべき機器他】
　特にありません。

【その他の重要事項】
　2020 年度春学期授業は 4 月 23 日（木）から開始します。

【Outline and objectives】
Rigional Problems in underdeveloped countries under the World Systems.

GEO200LA

地理学ＬＤ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

片岡　義晴

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**木** 4/Thu.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
　日本の地域問題・社会問題について学んでいきます。

【到達目標】
　日本の地域性、地域格差、地域開発、公害問題を手がかりにして、日本の地域問題・社会問題に迫っていきます。それを通して日本の地域問題の一端を理解できるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
【授業の進め方】
　国籍の如何に関わらず、日本居住者は日本のことを「知っている」と思い込んでいます。しかし現代日本の地域・社会問題を「知っている」「理解している」人がどれくらい居るでしょうか。地域居住者の「権利」を侵害するような問題は、いつの時代も、どの地域でも発生していますし、発生するように「仕組まれ」ているといわなければなりません。具体例を挙げ、日本の「裏側」から日本の地域・社会問題に迫っていこうと思います。
【課題等に対するフィードバック方法】
　授業の初めに、前回までの授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行います。
【授業の方法】
　講義形式で授業していきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	日本の地域性 (1)	「裏日本」の形成
第 2 回	日本の地域性 (2)	「裏日本」の役割
第 3 回	明治期の産業の始動と地域	「途上国」日本の産業化と地域
第 4 回	地域格差とその指標 (1)	格差の指標
第 5 回	地域格差とその指標 (2)	経済格差と指標
第 6 回	SDGs と日本の地域格差	様々な地域格差－女性、高齢者、若者、外国人－
第 7 回	日本の地域開発 (1)	全国総合開発計画（全総、新全総）
第 8 回	日本の地域開発 (2)	全国総合開発計画（三全総、四全総、グランドデザイン）
第 9 回	地域経済の実態	経済の地域間相互依存
第 10 回	公害と地域 (1)	イタイイタイ病と神岡鉱山
第 11 回	公害と地域 (2)	イタイイタイ病訴訟
第 12 回	公害と地域 (3)	水俣病の「発見」とチッソ
第 13 回	公害と地域 (4)	水俣病訴訟
第 14 回	まとめ	「公害問題」と「環境問題」

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
日本の「地域問題」「社会問題」に関わる報道に目を向けて下さい。それら問題は「なぜ」生じているか、それら問題が私たちと如何に関連しているのか、それを考えて下さい。それら問題は「身近」に存在しています。それら問題について普段から関心を持って下さい。
なお、本授業の準備学習・復習時間は各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
テキストは使用しません。授業時に資料プリントを配布します。

【参考書】
政野淳子（2013）『四大公害病』中公新書
その他は授業時に適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】
学期末試験 100 %で成績評価します。

【学生の意見等からの気づき】
プリントの多さに対する意見もありますが、必要ならば配布せざるを得ません。また使用データの古さも指摘されました。しかし途上国のデータは信頼性に欠ける場合もあり、新しいから正確というわけでもないのです。「先進国」と思われている日本において、日本の労働に関する、特に近年の統計の杜撰さ、隠蔽・歪曲体質を思い出せば、それは容易に想像できるはずです。データを作る、操るのは、あくまでも権力の側なのです。データは読みこなさなければなりません。

【Outline and objectives】
Regional Problems and Pollution Dieases in Japan.

GEO200LA

地理学ＬＣ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

高木　正

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：2 **単位**
法文営国環キ 1〜4 **年**
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
地理学そのものを学ぶというよりも、地理学を通じて現代世界の理解を深めるといったスタイルで勉強していきます。高校時代に地理科目を履修した経験がなくても構いません。ここでは世界情勢を大きく把握することを目的とします。

【到達目標】
現在、学生の皆さんが持っている歴史観・地域観・世界観をより確かなものにしていきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義形式で行います。配布したプリントで進めていきます。
学習支援システムで授業を開始するのは、５月１１日からとします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Ⅰ	はじめに－地理学の学問的性格	高校時代とは異なる地理学本来の特徴を押さえる。
Ⅱ－１	単線的発展史観	ロストウの単線的発展史観を紹介する。
Ⅱ－２	両極的発展史観	A・G・フランクの両極的発展史観を紹介します。
Ⅲ－３	世界システム	現代世界を世界システムとして捉える視点を紹介します。
Ⅲ－１	ヨーロッパ世界経済の成立	大航海時代に始まるヨーロッパ世界経済を捉えなおします。
Ⅲ－２	産業資本主義段階と植民地支配	ヨーロッパの工業化、植民地支配、パックス・ブリタニカ
Ⅲ－３	社会主義諸国の形成	ロシア革命から 20 世紀における社会主義諸国の形成をみます。
Ⅲ－４	第２次世界大戦後の先進国	パックス・アメリカーナの形成を解説します。
Ⅲ－５	ヨーロッパの統合	EU の成立と拡大、通貨統合をみます。
Ⅲ－６	植民地の独立と発展戦略	発展途上国の成立過程をみます。
Ⅲ－７	発展途上国の多様化	いわゆる南南問題を理解します。
Ⅲ－８	冷戦の終結	社会主義諸国の変容と冷戦の終結をみます。
Ⅲ－９	地域紛争	現在の地域紛争を概観します。
Ⅳ	まとめ	復習と試験に向けての諸注意。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
準備は特に必要としませんが、前の授業に配布したプリントは持参してください。配布するプリントは予備がないので後で渡すことはできません。なお少なくとも 1 時間は復習時間に充ててください。
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
特に使いません。

【参考書】
室井義雄『南北・南南問題』世界史リブレット 56（山川出版社）

【成績評価の方法と基準】
試験で評価します。試験の方法は最初の授業で説明します。成績の要素配分は試験 80 %、平常点 20 %とします。

【学生の意見等からの気づき】
滑舌をよくします。

【Outline and objectives】
Main subjects ： Regional or geographical issues in the modern world.

GEO200LA

地理学ＬＤ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

高木　正

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
地理学 LD では、できるだけ多くの地域を取り上げて、その社会経済的な実態を地理的な視点からみていきます。

【到達目標】
アフリカと西アジアの現状を理解することで世界の多様性を認識します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義形式で行います。教材は配布するプリントを使います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Ⅰ－１	アフリカの概観と辺境化	アフリカの概要理解と歴史的背景を理解します。
Ⅰ－２	モノカルチャー経済の実態－①	コートジボアールのカカオ豆を扱います。
Ⅰ－３	モノカルチャー経済の実態－②	マリの綿花を扱います。
Ⅰ－４	南アフリカ共和国の現状－①	アパルトヘイト政策を振り返ります。
Ⅰ－５	南アフリカ共和国の現状－②	アパルトヘイト以上の経緯をみます。
Ⅱ－１	南アフリカ共和国の現状－③	南アの現状をみます。
Ⅱ－２	パレスチナ問題－①	歴史的経緯をみます。
Ⅱ－３	パレスチナ問題－②	中東戦争、レバノン戦争をみます。
Ⅱ－４	パレスチナ問題－③	オスロ合意から現在までの流れをみます。
Ⅱ－５	西アジアの石油資源	石油資源の開発みます。
Ⅱ－６	資源ナショナリズム	産油国とメジャーの対立、OPEC と石油ショックを理解します。
Ⅱ－７	石油開発の主導権の移りかわり	OPEC の弱体化、湾岸戦争、価格決定権の変化などをみます。
Ⅱ－８	近年の西アジア・北アフリカ情勢	「アラブの春」以降を概観します。
Ⅲ	まとめ	授業内容の復習。試験に向けての諸注意。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
準備は特に必要としませんが、前の授業に配布したプリントは持参してください。配布するプリントは予備がないので、後で渡すことはできません。なお少なくとも 1 時間は復習時間に充ててください。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
特に使いません。

【参考書】
松本仁一『アフリカ・レポート』岩波新書 1146、ダニエル・ヤーギン『石油の世紀』(日本放送出版会)

【成績評価の方法と基準】
試験を行います。試験方法は最初の授業で説明します。成績の要素配分は、試験 80 %、平常点 20 %とします。

【学生の意見等からの気づき】
滑舌をよくします。

【Outline and objectives】
Main subjects ： Regional or geographical issues in the modern world.

GEO200LA

地理学ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

長沢　利明

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**集中・その他**/intensive・other courses
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
さまざまなテーマを毎回ひとつずつ取り上げ、解説していく。全体を通して地理学的な物の見方や考え方を学ぶ。

【到達目標】
授業を通し、地理学的な物の見方と考え方をつかんでいくことがのぞましい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
毎回、プリントを配布して授業を進めていくことにする。
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	プロローグ	授業の進め方、おおまかな計画について解説する。
2	文化・生態・環境	授業の基本的なテーマである三つのキーワードについて解説する。
3	都市の生態環境（1）	都市の生態環境の特色をとらえるため、タンポポの生態について注目してみる。
4	都市の生態環境（2）	都市の生態環境の特色をとらえるため、河川環境について考えてみる。
5	都市の生態環境（3）	都市の生態環境の特色をとらえるため、河川環境について考えてみる。
6	日本の野生動物相（1）	日本の野生動物の特色について解説する。
7	日本の野生動物（2）	日本の野生動物、とくにオオカミについて注目してみる。
8	日本の植生（1）	日本の植生のうち、特に落葉広葉樹林帯について解説する。
9	日本の植生（2）	日本の植生のうち、特に照葉樹林帯について解説する。
10	補足（1）	全体的な補足をおこなう。
11	補足（2）	全体 t 歴な補足をおこなう。
12	調査とレポート	地理学的な調査方法と成果のまとめ方について解説する。
13	まとめ（1）	全体のまとめと総括をおこなう。
14	まとめ（2）	全体のまとめと総括をおこなう。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
自宅での予習と復習をおこなうことがのぞましい。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
特になし。

【参考書】
授業時間内に適宜、紹介する。

【成績評価の方法と基準】
試験の成績 (100%) によって評価をおこなう。

【学生の意見等からの気づき】
学生からの要望を極力取り入れて授業内容の改善につとめる。

【学生が準備すべき機器他】
特になし。

【その他の重要事項】
特になし。

【Outline and objectives】
You can study on this program about general theory of cultural geography.

GEO200LA

地理学ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

長沢　利明

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**集中・その他**/intensive・other courses
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
授業では毎回ひとつずつ異なったテーマを取り上げて解説する。

【到達目標】
全体を通して地理学的な物の見方と考え方を学んでいく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業では、毎回、プリントを配布して解説をおこなう。
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	プロローグ	授業の進め方や注意事項などを解説する。
2	文化・生態・環境	授業の基本テーマであるこの三つのキーワードについて解説する。
3	日本の焼畑農業	日本の農業問題、特に焼畑農業について解説する。
4	稲作農業と赤米（1）	日本の稲作農業、特に赤米をめぐる諸問題を解説する。
5	稲作農業と赤米（2）	日本の稲作農業、特に赤米をめぐる諸問題解説する。
6	生業条件と資源	生業条件と資源環境の問題について注目する。
7	海岸の環境（1）	海をめぐる環境問題について解説する。
8	海岸の環境（2）	海をめぐる環境問題について解説する。
9	海岸の環境（3）	海をめぐる環境問題について解説する。
10	海岸の環境（4）	海をめぐる環境問題について解説する。
11	里山の環境	里山環境と人間生活の歴史について解説する。
12	補足	全体の補足をおこなう。
13	調査とレポート	地理学的な調査方法とそのまとめ方について解説する。
14	まとめ・試験	全体的なまとめと試験をおこなう。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
自宅での予習と復習をおこなうことがのぞましい。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
特になし。

【参考書】
授業時間内に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】
試験 (50%) およびレポート (50%) によって成績評価をおこなう。

【学生の意見等からの気づき】
学生からの要望は極力取り入れ、授業内容の改善につとめる。

【学生が準備すべき機器他】
特になし。

【その他の重要事項】
特になし。

【Outline and objectives】
You can study on this program about general theory of cultural geography.

GEO200LA

地理学ＬＣ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**身近な社会を地理学で考える**

前川　明彦

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**集中・その他**/intensive・other courses
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業はアフターコロナ前後の世界や日本における課題を身近な視点で地理学を軸に課題発見や問題意識の醸成などを目ざすことを目的にしている。そして、LD でそうした課題の解決方法の一端を共に考えるという方向を考えている。具体的にはコロナで顕在化した世界や日本の課題を格差、情報化など社会的課題を中心に身近なところから一緒に考えます。これは、学生自身が課題や問題意識を考え、多様なものの考え方ができるることを目的としています。

【到達目標】
アフターコロナ以降は世界はどうなるでしょうか。グローバリゼーションの影響もあり、コロナ下で、人や地域社会が格差・分断、また不寛容になりつつあります。また、日本が世界から様々な視点で遅れたり、異なっていたこともあらためて理解されたかもしれません。今後のアフターコロナ下の AI 時代において皆さんはどうすべきでしょうか。問題の解決には知識だけでなく自分の目でみつめ、考えるという必要性が突きつけられている気がします。皆さんが、身近なことから論理的に課題をみつけ、その背景や要因などを自ら多様性の中で考え、解決の方向性に応用できることを地理学中心にに考えていきたい。そして、1 つの答えだけでなく柔軟に多様性を意識して考えることを最初の到達目標の 1 つにしたい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
本講義は基本的に曜日、時限を配置しないオンデマンド授業の予定である。しかし、知識だけにとらわれることなく題解決型の方向性の一歩を目指していきたい。オンデマンド授業となり、これまで行ってきた知識からの応用である AL やフィルドワークはなかなか無理かもしれないが、可能な段階など試みたい。なお、様々なものを前もって支援システムなどで指示しますので、注意してください。なお、毎回レポートは考えてません。場合により、支援システム以外で Googleclassroom を併用する可能性があります
グローバリゼーションのもとで、日本や世界の格差や不平等、AI も含めた変化の中で、複雑に絡み合った地域の諸問題を地理学的視点から考えていく。この授業が自分のプラスになるかは自分次第かもしれません。なお、授業形式のために十分な AL やフィールドワークはできない可能性もあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	地域とは、グローバルとは 何かを身近なことから考える
2	アフターコロナに向けて	コロナ下での日本 将来の日本、ガラパゴス現象の再来かも・・

3	日本の課題 1	周回遅れの日本　AI　ビックデータ　リスクマネージメント災害比較
4	日本の課題 2	格差・分断される地域社会を日本から考える・・⁇ブラックバイト、就活それでも労働力不足
5	日本の課題 3	先進国か　日本の若者や高齢者の格差を就職や貧困の連鎖から再考する　なぜ、給与が上がらない
6	日本の課題 4	女性の貧困と格差社会を再考する　子ども食堂ほか
7	グローバリゼーションと地域社会 1	市場という考え方と地域 大量生産から多品種少量生産、サプライチェーン
8	グローバリゼーションと地域社会	グローバルと若者の就職・雇用と今後の変化
9	グローバリゼーションの課題 1	AI/第 4 次産業革命と格差社会‥立地や仕事が変わる
10	グローバリゼーションの課題 2	ＡＩ／ＩｏＴ／ Big　Data 社会とこれまで
11	グローバリゼーションの課題 3	人口ボーナスと労働力不足、何が課題か
12	グローバリゼーションの課題 4	ローカライゼーションと地域、コミュニティ
13	グローバリゼーションの課題 5	多様化社会の必要性と孤独感、外国人との共生で考える
14	グローバリゼーションと日本の課題	持続可能性の地域をどう考えるか

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

アフターコロナ以降は世界は大きく変わる可能性があります。普段から何事にも興味・関心を持ち、最初の一歩を踏み出してください。参考資料、支援システムなどを積極的に活用してもらいたい。内外のことを新聞、TV, ネットなどで調べ知識化し、自ら問題を考え応用できるようにしたい。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

基本的になし

【参考書】

授業時や支援システム等に指示

【成績評価の方法と基準】

春学期はオンデマンド授業での開講となります。このため、これまでの成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、状況次第で授業開始日以降説明および学習支援システムで提示したいと考えています。

原則的には、複数レポートによる評価の可能性があります。なお、昨年は複数レポート（80 %）、平常点、アクションペーパーなど（20 %）

オンデマンド授業の場合、変更点があるとは思いますが、お知らせなどに注意してください。また、ZOOM などによるオフィスアワーなども予定している。

【学生の意見等からの気づき】

他授業でのオンデマンド授業の学生の皆さんの場合の苦労は、授業動画等を見るのをためてしまい、試験やレポートで大変だったとかと聞いています。また、ずっとあると思っていたら消えていたということも聞いています。本来は ZOOM なども月 1 回程度できるとよいのです。状況次第のような気がしますがいろいろ互いに工夫してみようと考えています。

オンデマンドはいつでも見れますが単調になりがちで、なかなかうまくできない可能性もありますが、２回目以降　動画配信ということを考えています。このため、支援システムだけでなく場合によっては Googleclassroom を利用する可能性があります。

【学生が準備すべき機器他】

授業支援システム等や映像を多用するため、これらや事前、事後に関連性のある情報、資料等を各自調べるなど活用してもらいたい。ほかの科目もで予想されるが、WEB 授業等に係るものは用意されたほうが・・・

【その他の重要事項】

秋学期の地理学 LD と合わせて受講することを勧める。通年でなくとも構わないが、先に春学期の LC での問題意識や問題の発見を基礎や理論を理解し、秋学期の LD で知識の応用を目指し、課題解決型講義の方向をともに目指したい。何かある場合は、基本的には支援システムが中心だが、学生の授業アシスタントや対面授業の地理学Ｉで水曜日に大学に行くため相談などは事前に連絡を。
支援システムの掲示板などをみんなで使いましょう。人数次第で一部 ZOOM による授業や Googleclassroom を開設する場合もあります。

シラバス添付ファイルを見てください、なお支援システムにも同じものを

【Outline and objectives】

This lesson is basically a direction of considering challenges in globalization by LC as geography and considering part of its solution method mainly on LD. I think about the problems of the world and Japan together from familiar tasks centering on a declining birthrate, aging population, disparities, employment, etc. This is aimed at allowing students themselves to think about tasks and problem consciousness and to think about various things.

GEO200LA

地理学ＬＤ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**身近な社会を地理学で考える２**

前川　明彦

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**集中・その他**/intensive・other courses
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

授業では、地域社会の課題解決の方向性を考えます。具体的には、グローバリゼーションなどで衰退する日本の地域社会を地域再生論やコミュニティデザイン、などを地理学の視点を中心に考えます。解決策モデル等を紹介しながら、その糸口や方法論を地理学ロジックで学びます。そこから学生自身が多様性のある社会の実現を模索、検討できることを目的としています。この授業はインプット型の学ぶではなく、むしろ地理学を材料に、一緒に考えることを目指します。今後、以下の各回のテーマやフィールドワークなども変更する可能性がありますが曜日、時限を配置しないオンデマンド授業の予定ですので、注意してください。

【到達目標】

秋学期には春学期の問題意識や地域的課題を解決方向へと踏み出したい。このため、街づくり、地域再生を主なテーマとし、学生が、地域社会に関連するコミュニティデザインやソーシャルビジネスなどから多様性のある様々な問題解決の方向性を示せることを到達目標としたい。そして、自らの考えをもち行動し、将来的には世界の地域社会を解決する一員になってほしい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】

授業は、曜日、時限を配置しないオンデマンド授業の予定です。PPT などの資料は基本的に支援システムを利用しますが、お知らせ機能、教材、課題なども注意し、常識的なルールには従ってください。なお、毎回のレポートではありません。

地域再生を軸とした解決方法のモデル的紹介も含めて、講義形式となる可能性がありますが、多様な意見や価値観の認識、コミュニケーションスキル等のために皆さんと考えていきたいと思います。初めての受講でも心配ありません。なお、AL やフィールドワークは状況次第の可能性と今は考えています。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	アフターコロナをみんなで考えよう
2	日本の課題再考	遅れた日本 なぜ、世界から・・・
3	日本の地域社会 1	AI の判断する 2050 の日本・・TOKYO か地方 東京から脱出・・テレワークは地方再生のの救世主になるのか
4	日本の地域社会 2	新しい産業はどこに インバウンドの失敗学
5	日本の地域社会３	関係人口と地域文化の情報発信から考える 工夫をする地域社会
6	都市再生 1	コロナ以降の世界と共生社会 スーパーシティ/ コンパクトシティはどうなるか、
7	都市再生 2	ネットワーク社会なのに　彼氏・彼女はいらない
8	都市再生 3	AKIBA の魅力と場の重要性（コミュニティデザインを考える RESAS　GIS　）
9	地域再生 1	AI 戦略、ホスピタリチィと観光戦略の失敗からのデザイン
10	地域再生 2	地域戦略をビックデータ、GIS 等で考える
11	地域再生 3	ソーシャルビジネスで地域を救う
12	地域再生 4	コロナ以降の日本 コミュニティ再考
13	地域再生 5	震災から 10 年　復興ができたのか
14	再考　まとめに	地域とは

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

ネットやニュースなどから多様な考え方を学んでください。問題をどう解決するかは、さまざまな方法があり、必ずしも 1 つの方法が正解ではありません。日本はどんどん世界から遅れ始めていることに気が付いていますか。将来の自分が想像できますか、自ら考え、行動する意欲を常に持ち、失敗を恐れずむしろ失敗から学び、前向きになる自分を想像してください。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

基本的にはないが使用する場合は、授業時に指示

【参考書】

授業時に指示

【成績評価の方法と基準】

複数レポート（両方で 80 %）、平常点、コメントシート等で 20 % で総合的に評価する予定でいる。変更の場合なども含め秋学期の授業等で話します。

、

【学生の意見等からの気づき】

オンデマンド型の欠点で学生の孤独感や孤立感、ストレス等からコミュニケーションの重要性が問われた気がします。また、ZOOM による GD で就職の練習になったという意見もありました。こうしたコミュニケーションを授業をコミュニティとして活かせる場はないかとも考えています。

これまでの地理学は分析は得意だが解決方法は示さないといわれてきました。課題を社会をどう解決するかを新しい地理学という世界が見えるかもしれませんから、何でもポジティブに考えてみましょう

【学生が準備すべき機器他】

通信環境と、スマホよりはパソコン使用を。このため、この授業以外のためにも大学からの貸し出しなどは積極的に申し込んでください。授業支援システム等をかなり利用するので仕様の仕方等に習熟してほしい。

【その他の重要事項】

できれば地理学 LC と合わせて受講することを勧める。通年でなくとも構わない。楽かどうかは皆さん次第ですが、アフターコロナで生き残るためには、知識だけではなく自ら考え行動することが必要な気がします。現時点では対面授業ではない可能性ですが、前向きに考えましょう。人数次第では ZOOM 使用や Googleclassroom を使用する可能性もあります。みんなで問題解決を共に考えてみましょう。なお、学生アシスタント等の協力で大学の情報なども充実させていきたい。今年こそ AKIBA のフィールドワークができることを祈ります。

【Outline and objectives】

In this lesson, I will consider the direction of problem solving in the local community. Specifically, we consider geography from a viewpoint of regional revitalization theory, community design, etc. in a community where globalization has a lot of influence. Learn clues and methodology of solution method with geography logic while introducing solution models etc. related to foreigners, etc., and even symbiosis with people. From that point on, students themselves aim to be able to explore and consider solutions with the direction of society of diversity.

SOC200LA

社会学ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**文化の社会学**

松下　優一

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火** 1/Tue.1
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 2〜4 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では、文化社会学、特に表象文化を対象とする社会学について扱う。文化を社会学的に研究するためには、まず文化という対象を把え記述するための概念・視角（文化理論）が不可欠である。国内外の文化社会学や文化研究の古典的重要文献を紹介しつつ、文化を社会学するための視座・着眼点の獲得を目指す。

【到達目標】
・文化テクストや文化現象の具体的特徴を捉え、考察することができる。
・文化を社会学的に考察するための基本的な着眼点や問題設定について理解し、具体的な文化的事象に即して応用できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
基本的にレジュメを用いた講義形式で進める。受講生には各回のテーマに関連した作業課題に取り組んでもらう。課題のフィードバックは、次回授業の冒頭にいくつかピックアップする形で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	「文化と社会意識」という社会学の領域について
第 2 回	遊戯	井上俊『遊びの社会学』を中心に。
第 3 回	欲望	作田啓一『個人主義の運命』を中心に。
第 4 回	記号	R・バルト「神話作用」を中心に。
第 5 回	表象とイデオロギー	マルクス主義的アプローチの系譜
第 6 回	文化テクストの分析（1）	新海誠『君の名は。』にみる二項対立と境界侵犯
第 7 回	文化テクストの分析（2）	岩井俊二『スワロウテイル』と 1990 年代東京
第 8 回	文化テクストの分析（3）	『ナビィの恋』と南島イメージ
第 9 回	文化テクストの分析（4）	『ゴジラ』と『シン・ゴジラ』を比較分析する。
第 10 回	メディア文化	ベンヤミン『複製技術時代の芸術作品』ほか
第 11 回	文化と卓越化	ブルデュー『ディスタンクシオン』『芸術の規則』ほか
第 12 回	受容と流用	カルチュラルスタディーズの展開
第 13 回	アダプテーション	2.5 次元文化を中心に
第 14 回	まとめ	授業の振り返りと補足、および課題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。授業で紹介するテキストや作品を熟読・鑑賞し、自分なりに理解を深めること。

【テキスト（教科書）】
特に指定しない。

【参考書】
・井上俊／長谷正人編『文化社会学入門』（ミネルヴァ書房、2010 年）
・粟谷佳司／太田健二編『表現文化の社会学入門』（ミネルヴァ書房、2019 年）

【成績評価の方法と基準】
授業内課題（50 %）と期末レポート（50 %）により評価する。

【学生の意見等からの気づき】
2020 年度はオンデマンド型（資料）での実施となったが、受講生の反応を見る限り概ね好評であったように思う。さらに質量ともに充実した資料作成を心がけたい。

【Outline and objectives】
This course introduces students to the key concepts in sociology of culture and to the ways of thinking about culture in the contemporary world.

SOC200LA

社会学ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**現代社会論**

松下　優一

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**火** 1/Tue.1
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 2〜4 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では、様々な現代社会論について学びます。現代社会に生起する諸々の現象・問題について、歴史的・構造的な視点をもって、分析・記述・考察するための社会学的視野の獲得を目指します。

【到達目標】
・基本的な現代社会の理論について理解し、具体的な事象に応用できる。
・現代社会において生起する具体的な社会現象を、様々な社会変動の絡まりあいのなかで捉え、記述・考察することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
基本的にレジュメを用いた講義形式で進めます。毎回、提出課題（小レポート）を課し、具体的な事例についてまとめてもらうなどします。課題についてのフィードバックは、原則として次回の授業冒頭にて、いくつかの答案をピックアップする形で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業の概要説明、初回アンケートほか
第 2 回	再帰的近代化論	ギデンズ『近代とはいかなる時代か』を中心に
第 3 回	リスク社会論	〈リスク〉から考える現代社会の諸相
第 4 回	消費社会論	〈消費〉から考える現代社会
第 5 回	格差社会論	〈格差〉から考える現代社会
第 6 回	監視社会論	〈管理／監視〉から考える現代社会
第 7 回	心理主義化社会論	感情管理、自己啓発、ハイパー・メリトクラシー化など
第 8 回	ここまでのまとめと補足	近代化とグローバル化の現在
第 9 回	情報ネットワーク社会論	コミュニケーション資本主義論を中心に
第 10 回	ポスト・トゥルース	情動と政治
第 11 回	排除型社会	J・ヤングの著作を中心に
第 12 回	コンプライアンス社会	フラット化する文化と社会
第 13 回	アフター・コロナ	「コロナ禍」から考える現代日本社会
第 14 回	まとめ	授業の振り返りと補足

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。各回のテーマに沿った具体的事例の収集、考察、まとめを行う。

【テキスト（教科書）】
特に使用しない。

【参考書】
・長谷川公一ほか『社会学［新版］』（有斐閣、2019 年）
・本田由紀編『現代社会論―社会学で探る私たちの生き方』（有斐閣、2015 年）

【成績評価の方法と基準】
授業内課題（50 %）および期末レポート（50 %）で評価します。

【学生の意見等からの気づき】
2020 年度はオンデマンド型（資料）での実施となったが、受講生のコメントを見る限り概ね好評であったように思われる。引き続き、質量の充実した資料作成を心がけたい。

【Outline and objectives】
This course introduces students to the key concepts of contemporary sociological theory and to the ways of thinking about current social changes.

SOC200LA

社会学ＬＣ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**労働倫理と消費美学**

徐　玄九

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**月** 1/Mon.1
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業の目的は、社会的連帯やアイデンティティの観点から「労働と消費」に関する社会学の成果を学ぶことである。ほとんどの人が自らの人生の中で最も活動的な時期を労働時間にその相当の部分を費やし、そこで得た貨幣の相当の部分を基本的な欲求や必要をはるかに超えた「モノ」を手に入れることに費やしている。しかも「マジメ」にである。このような「常識/当たり前」も長い歴史からすればつい最近のことである。この「常識/当たり前」のもとにそれだけの時間と貨幣を費やす人間の活動（労働と消費）が、どのような「意味」をもち、どのように「説明」されてきたかを歴史的・思想的に辿りながら、現代社会の構成原理についての理解を高める。

【到達目標】
（1）労働観の変遷と宗教との関係が理解できる。
（2）消費社会論の登場を歴史的な文脈で理解できる。
（3）自らの「労働と消費」に関する考え方を相対化できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業は対面実施を基本とするが、数回オンライン授業［ Zoom 等のリアルタイム型／オンデマンド型］の組み合わせで行う。数回、予習・復習の課題（リアクションペーパー課題）課す予定であり、課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である。具体的な進め方は初回（ガイダンス）で発表する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の趣旨、全体内容の概略的な説明
2	神からの「罰」としての労働	ヨーロッパにおける古代の労働観を宗教との関連で学ぶ
3	神との「契約/義務」としての労働	ヨーロッパにおける初期キリスト教時代から中世カトリック時代までの労働観を学ぶ
4	「天職」としての労働	M・ウェーバーの『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』に即して M・ルターの「天職」概念を学ぶ
5	自己開発型人間の誕生	M・ウェーバーの『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』に即して「二重予定説」と労働の性格の変化を学ぶ
6	近代理性啓蒙主義時代の労働観	J・ロック、A・スミスの労働観について学ぶ
7	K・マルクスの労働観	K・マルクスの労働観について学ぶ
8	近代における労働信仰	自己実現と労働

9	消費社会の歴史	フォードと GM の戦略とその結果を事例に消費社会の登場とその後の歴史を概観的に学ぶ
10	「顕示的消費」	T・ヴェブレン『有閑階級の論理』の一部講読
11	「アウラの消滅」	W・ベンヤミン『複製技術時代の芸術作品』の一部講読
12	「記号価値」と「差異への欲求」	J・ボードリヤール『消費社会の神話と構造』の一部講読
13	労働倫理から消費美学へ	Z・バウマン『新しい貧困』の一部講読
14	試験	まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
教科書は使用せず、配布資料を用いります。

【参考書】
必要に応じて追加で配布または提示しますが、さしあたっては以下を参照してください（●は必読）。
今村仁司（1998）『近代の労働観』岩波文庫。
●見田宗介（1996）『現代社会の理論』岩波新書。
ジャン・ボードリヤール（2015）今村仁司他訳『消費社会の神話と構造（新装版）』紀伊國屋書店。
マックス・ウェーバー（1989）大塚久雄訳『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』岩波文庫。
ジグムント・バウマン（2008）伊藤茂訳『新しい貧困』青土社。
ジグムント・バウマン（2016）奥井智之訳『社会学の考え方〔第 2 版〕』ちくま学芸文庫。

【成績評価の方法と基準】
平常点（40%）と期末試験（60%）で評価します。平常点は、質疑応答、ミニテスト形式のリアクションペーパー、予習・復習の課題などで評価します。期末試験は、対面もしくは Zoom 等のリアルタイム型で実施予定です。「授業の到達目標」に応じて、かつ講義内容をふまえながら論理的に書き述べているかを基準に評価します。

【学生の意見等からの気づき】
①提出した課題に対してコメントを付けて返す。
②より多くの質疑応答の時間を設けて受講生との疎通を図ります。

【学生が準備すべき機器他】
授業支援システムを利用しての課題提出や告知がありますので、必ず頻繁に使用するメールアドレスを登録してください。

【Outline and objectives】
What is the meaning of labor and consumption in sociology? How have interpretations of labor and consumption changed historically? The purpose of this course is to learn basic theories about labor and consumption.

SOC200LA

社会学ＬＤ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**支配と服従**

徐　玄九

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 1/Mon.1
単位数：2 **単位**
法文営国環キ 1〜4 **年**

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業の目的は支配と服従の観点から近代における国家に関する社会学の見解を学ぶことである。具体的には、社会契約論が提示する「主権的政治共同体」をはじめ、M・ウェーバーによって定義された支配と服従、国家などの概念と共に「市民」、「自由主義」、「民主主義」、「ナショナリズム」などに関する理論を学ぶ。これをとおして現代における国家の本質、機能、市民の役割などについて学び、受講者自らの「国家」に対する考え方の相対化を試みる。

【到達目標】
（1）近代における国家論の変遷を歴史的な文脈で理解できる
（2）国家に対して見解を異にする立場の理解を高める。
（3）最終的には、社会や時代の問題に気づき、その意味を理解し、その解決に向けて考える力を付ける（＝教養を身に付ける）。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業は対面実施を基本とするが、数回オンライン授業［ Zoom 等のリアルタイム型／オンデマンド型］の組み合わせで行う。数回、予習・復習の課題（リアクションペーパー課題）課す予定であり、課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である。具体的な進め方は初回（ガイダンス）で発表する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の趣旨、全体内容の概略的な説明
2	国家の基本性格（正当な暴力の独占）	M・ウェーバー『職業としての政治』を参照しながら国家やこれに関連する基礎的な概念を学ぶ
3	社会契約論①	T・ホッブズの近代的国家主権の基礎づけを学ぶ
4	社会契約論②	J・ロック『統治二論』を参照しながら法治国家に関する基本的な理論を学ぶ
5	社会契約論③	「政治的共同体」に関する J・J ルソーと T・ホッブズと J・ロックの議論の比較
6	公共財の供給者としての国家	A・スミス『国富論』を参照しながら、いわゆる自由主義の立場からの国家観を学ぶ
7	市民的不服従	ソローやガンディーの思想を例に国家主義や自由主義の国家観と市民の自由の関係を考える
8	階級支配の道具としての国家	K・マルクスの国家論について学ぶ

9	ナショナリズムの二つの顔	J・G・フィヒテと E.・ルナンのナショナリズムに関する立場を確認する
10	ナショナリズムのパラドックス	B・アンダーソン『想像の共同体』の一部講読
11	誰が統治者になるべきか	K・ポパー『開かれた社会とその敵』の一部講読
12	政治家の倫理基準（「心情倫理」と「責任倫理」）	M・ウェーバー『職業としての政治』の一部講読
13	個人と国家の道徳的理想の分裂	R・ニーバー『道徳的人間と非道徳的社会』の一部講読
14	試験	まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
教科書は使用せず、配布資料を用いります。

【参考書】
必要に応じて追加で配布または提示しますが、さしあたっては以下を参照してください（●は必読）。
大澤真幸編（2002）『ナショナリズム論の名著５０』平凡社。
佐藤成基（2014）『国家の社会学』青弓社
ベネディクト アンダーソン（2007）白石隆他訳『定本 想像の共同体』書籍工房早山。
●マックス・ウェーバー（1980）脇圭平訳『職業としての政治』岩波文庫。

【成績評価の方法と基準】
平常点（40%）と期末試験（60%）で評価します。平常点は、質疑応答、ミニテスト形式のリアクションペーパー、予習・復習の課題などで評価します。期末試験は、対面もしくは Zoom 等のリアルタイム型で実施予定です。「授業の到達目標」に応じて、かつ講義内容をふまえながら論理的に書き述べているかを基準に評価します。

【学生の意見等からの気づき】
①より多くの質疑応答の時間を設けて受講生との疎通を図ります。
②提出した課題に対してコメントを付けて返す。

【学生が準備すべき機器他】
授業支援システムを利用しての課題提出や告知がありますので、必ず頻繁に使用するメールアドレスを登録してください。

【Outline and objectives】
The purpose of this course is to understand the basic theories of sociology about the nature and function of nation-states and the role of citizens in modern society.

POL200LA

政治学ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**音楽と政治**

木村　正俊

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水 4**/Wed.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
テーマ：「黄金の時代」における政治と音楽
「黄金の時代」における政治とボブ・ディランの交錯を考察することによって現代政治に関する見方を養うことを目指します。

【到達目標】
20 世紀後半の US の社会と政治について知識を得ること。
時代・社会・政治の変遷とボブ・ディランの変容について理解すること。
US のフォークの政治との関係、およびビート・ジェネレーションの次世代に対する影響について理解すること。
ジョン・レノンの音楽と政治との関係について理解すること。
ボブ・ディランを中心にしながら 20 世紀のポピュラー・ミュージックに関する基礎知識を得ること。
以上を踏まえて、政治について考察を深めること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
対面授業とオンライン授業のハイブリッドで行います。
対面授業実施に関しては、受講生の皆さんと話し合いで行うかどうかを決めます。
課題等に対するフィードバック方法
授業の時に、前回の授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行います。
「大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する」とします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
＃ 1	Intro.	講義の概要とやり方について
＃ 2	ボブ・ディランの歩みと US の政治・経済・社会	ボブ・ディランの音楽的背景と US の 40 年代〜50 年代について
#3	大衆消費社会における政治	テーマについての講義：「黄金の時代」特徴と「抑制によるデモクラシー」について
＃ 4	日本における「黄金の時代」の政治	「黄金の時代」における US の政治と日本の比較
＃ 5	US の社会運動とフォーク・ミュージック	US におけるフォーク・ミュージック歴史と政治との関係について
＃ 6	ビートとは何か	ビート・ジェネレーションの特徴と誕生の背景背景について
＃ 7	冷戦と核	抑止論を中心に核兵器に関する基本的な知識とキューバ危機について

#8	60 年代の US とボブ・ディラン（1）：公民権運動と「風に吹かれて」	プロテスト・シンガーとしてのボブ・ディラン誕生の政治的・社会的背景について
＃ 9	60 年代の US とボブ・ディラン（2）：「激しい雨が降る」	核戦争の恐怖と終末論について
#10	How Does It Feel?	ロックの誕生とボブ・ディランのフォークからロックへの移行について
#11	ベトナム反戦運動と音楽 (1)：サイケデリック・ロック	Grateful Dead を中心にしながら、カウンター・カルチャーについて
＃ 12	ベトナム反戦運動と音楽 (2)：ジョン・レノン	ジョン・レノンの音楽活動、反戦運動とアメリカの政治
＃ 13	アナーキストとしてのボブ・ディランと	ボブ・ディランの政治に対する見方
＃ 14	Outro.	春学期の講義のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業前に、指定された映像を YouTube で視聴すること。授業後に、講義内容を振り返りながら映像を視聴して楽曲の内容を自ら考えること。事前学習・復習の時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
湯浅学『ボブ･ディラン　ロックの精霊』(岩波新書､2013 年) ￥760 +税

【参考書】
必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】
テキストの内容に関するレポート　30 %
授業で学んだ知識と自分の意見を論理的に展開する能力を確認するためのレポート　70 %

【学生の意見等からの気づき】
ポピュラーミュージックやロックについての授業ではないことに注意してください。
しかしながら、洋楽やボブ・ディランについての知識がない学生に配慮して授業を行います。

【その他の重要事項】
ボブ・ディランや「洋楽」についての知識がなくても受講可能です。政治や音楽に関する基本的知識は学生によって差があるので、すべてを授業で提供できません。そこでわからないことや知らないことは教員に尋ねる、あるいは、自分で文献やネットで調べるようにしてください。
授業時間外の質問はメールや ZOOM によるミーティングで対応します。
大学における講義、シラバスの内容、予習・復習に 2 時間を要することなどに関して興味のある人は、佐藤郁哉『大学改革の迷走』（ちくま新書、2019 年）を参照してください。

【Outline and objectives】
Theme:Politics and Popular Music in the Golden Age
This course deals with the interaction between Bob Dylan and politics in the Golden Age.
The fundamental aim of this course to acquire lens through which contemporary politics can be viewed by considering interaction Bob Dylan and politics.

POL200LA

政治学ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**音楽と政治**

木村　正俊

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
テーマ：「黄金の時代」の終焉後の時代の政治と音楽
US における福音派の影響力の拡大とボブ・ディランの改宗の意味と「黄金の時代」の終焉時代の政治について考える。
パレスチナ問題について考える。

【到達目標】
現在、US の政治に大きな影響力を持つ福音派についての理解すること。
ボブ・ディランにとっての信仰を考察することによって、ユダヤ教とキリスト教についての基本的な知識と、宗教と政治の関係について理解すること。
パレスチナ問題について理解すること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
対面授業とオンライン授業のハイブリッドで行います。
対面授業実施に関しては、受講生の皆さんと話し合いで行うかどうかを決めます。
課題等に対するフィードバック方法
授業の時に、前回の授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行います。
「大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する」とします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
＃ 1	Intro.	講義の概要とやり方について
＃ 2	ユダヤ人としてのボブ・ディラン	US におけるユダヤ系移民の歴史
＃ 3	ボブ・ディランと聖書	旧新約聖書が US 文化に与えた影響について
＃ 4	ボブ・ディランの改宗	福音派と政治の関係について
＃ 5	福音派の歴史的展開	近代化・世俗化に対する一つの対応の形として福音派の歴史的展開の考察
＃ 6	終末論	ユダヤ教とキリスト教の終末論について
#7	ボブ・ディランと終末論	終末論がボブ・ディランに与えた影響について
＃ 8	パレスチナ問題	パレスチナ問題の歴史展開と現状について
＃ 9	ボブ・ディランとイスラエル	ボブ・ディランのイスラエル国家に対する姿勢
#10	BDS とミュージシャン	BDS 運動に対するミュージシャンの対応
#11	モリッシーと BDS	モリッシーの BDS への対応

＃ 12	頭脳警察／ PANTA とパレスチナ問題（1）	頭脳警察／ PANTA の歴史と現在
＃ 13	頭脳警察／ PANTA とパレスチナ問題（2）	『ライラのバラード』～日本とパレスチナの関係について
#14	Outro.	秋学期の講義のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業前に、指定された映像を YouTube で視聴すること。授業後に、講義内容を振り返りながら映像を視聴して楽曲の内容を自ら考えること。事前学習・復習の時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
湯浅学『ボブ・ディラン　ロックの精霊』（岩波新書、2013 年、760 円＋税

【参考書】
必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】
テキストの内容に関するレポート　30 %
授業で学んだ知識と自分の意見を論理的に展開する能力を確認するためのレポート　70 %

【学生の意見等からの気づき】
ポピュラー・ミュージックやロックについての授業ではないことに注意してください。
洋楽についての知識がなくてもかまいませんが、興味・関心を持っていることは必要です。

【その他の重要事項】
ボブ・ディランや「洋楽」についての知識がなくても受講可能です。政治や音楽に関する基本的知識は学生によって差があるので、すべてを授業で提供できません。そこでわからないことや知らないことは教員に尋ねる、あるいは、自分で文献やネットで調べるようにしてください。
授業時間外の質問はメールや ZOOM によるミーティングで対応します。
大学における講義、シラバスの内容、予習・復習に 2 時間を要することなどに関して興味のある人は、佐藤郁哉『大学改革の迷走』（ちくま新書、2019 年）を参照してください。

【Outline and objectives】
Theme: Politics and Popular Music after the end of the Golden Age
This course deals with the interaction between Bob Dylan and politics after the end of the Golden Age.
The fundamental aim of this course to acquire lens through which contemporary politics can be viewed by considering interaction Bob Dylan and politics.

CUA200LA

文化人類学 L

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**政治人類学への招待**

ベル　裕紀

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 3/Wed.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1～4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
政治人類学は、文化人類学の中でも権力や秩序といった問題を中心に扱ってきた領域である。学生は、政治人類学的な研究を体系的に学習し、国家、グローバル化、移民、マイノリティ、アイデンティティ、多文化主義といった、現代の問題に関する理解を深める。

【到達目標】
学生は、国家と統治に関する理解を深めるとともに、政治人類学が培ってきた、社会の動態的な把握という視点を身に付け、安易な本質主義に陥らない社会の認識を身に付ける。それを通じて、政治的な過程としての「本質化」に敏感になり、またなぜそれが行われているのかを深く考察する視点を養うことを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義形式を取り、随時映像などの資料を用いる。また、授業の初めに、前回の授業の課題に対する回答をいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第一回	政治人類学の関心	政治人類学の初期における基本的な関心から出発し、エヴァンス・プリチャード以降の政治人類学の議論の大きな流れを紹介する。これが本講義のイントロダクションとなる。
第二回	国家なき統治	政治人類学における「未開社会」の研究、特に政治体系の研究を紹介する。
第三回	法と政治と人類学と	法人類学における法の捉え方、諸研究を概観し、とりわけ規範と制裁をめぐる議論に焦点を当てる。
第四回	暴力の人類学	暴力や戦争を扱った人類学的な研究を取りあげ、集団の境界や関係について、考察を深めていく。
第五回	言語と政治	言語および発話行為と政治に着目した人類学的な研究の展開を概観し、理解を深める。
第六回	国民国家とナショナリズム	A. ゲルナーや B. アンダーソンなど、国民国家をめぐる代表的な議論を学習する。
第七回	人種と民族	政治人類学の重要な概念である、人種と民族の定義を踏まえ、それらが政治的なアイデンティティ、あるいはアイデンティティの本質化とどのように関係するのかという問題を事例を交えて紹介する。

第八回	ジェンダーとセクシャリティ	ジェンダーやセクシャリティといった視点からされてきた人類学の諸研究を概観し、権力やまなざしについての関係論的な理解を深める。
第九回	社会運動論と人類学	人類学における社会運動研究を概観し、集合的アイデンティティの形成、生活と運動との乖離、「歴史性」といったトピックを学習する。
第十回	人権と人類学	1945 年以降の人類学における人権の捉え方を通時的に把握した上で、近年の人権に関する議論について学習する。
第十一回	ポストコロニアリズム	サイードの『オリエンタリズム』を中心に植民地主義における「他者」表象、ポストコロニアリズム批判を理解する。
第十二回	難民の人類学	難民という存在を H. アーレントを手がかりに、国民国家を基本とした国際秩序の枠組みの中で捉えた上で、人類学的な難民研究を紹介する。
第十三回	移住労働の人類学	第十回に引き続き、移住をテーマに学習する。東アジアでは、移民がホスト社会に定着し、永住につながるような受け入れ方ではなく、在留期間と活動に制限を加え、定着しないような形での労働力移入政策を取ることが一般的である。この講義ではその特徴と、それの下での移住労働者たちの活動について紹介する。
第十四回	文化と権利	文化と権利という視点から、グローバル化、多文化主義、アイデンティティ、人権といった、これまで授業で取り扱ってきた問題を捉え直す。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
課題を通じた復習と、翌週の授業の準備に概ね 2 時間程度の時間をかけるものとする。また、それに加えて授業内で紹介する参考文献を、各自の関心に応じて読みこみ、理解と思考を深めることが望ましい。

【テキスト（教科書）】
なし。毎回の授業で講義レジュメを配布する。

【参考書】
授業時間内に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】
授業ごとの課題 60%、レポート 40 %で評価する。ただし、レポートの提出は必須とする。

【学生の意見等からの気づき】
毎回の授業の内容に関する課題を出す。毎回の授業の冒頭に前回の学生回答の紹介および応答を行うことで、学生の理解を深めていく。

【学生が準備すべき機器他】
提出物は学習支援システムを通じて提出してもらうつもりである。また、学習支援システムを通じ、授業のレジュメや参考となる文書を事前に学生に配布する（レジュメに関しては授業当日にプリントしたものを配布する）。

【Outline and objectives】
This class aims basic understanding of political anthropology / anthropology of politics that has been mainly dealing with topics related to the order and power. Students should study traditional topics as well as contemporary issues such as nation-states, human rights, social movements, global migration, essentialism and so on.

CUA200LA

文化人類学 L

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**マイノリティの人類学**

四條　真也

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 3/Wed.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では、文化人類学の基本的な概念を踏まえ、現代社会（特に現代のアメリカ社会やハワイ社会が中心）における先住民社会やマイノリティ社会の動向について学びます。なお、本講義では文化人類学の基礎概念を応用しながら、諸事例を検討します。履修に先駆けて、可能であれば文化人類学に関する基盤科目（e.g.「文化人類学」など）を履修しておくことをお勧めします。

【到達目標】
この授業では、マイノリティ社会の成立の背景と現在抱える諸問題について、文化人類学的な概念を応用しながら分析や考察、およびディスカッションができるようになることを目標としています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業は講義形式で行います。授業の冒頭では、提出されたミニレポート／課題の回答のうち興味深い例を紹介し、前回授業の振り返りを行います。
また履修人数によっては、授業内でグループディスカッションやミニディスカッションなども予定しています。
なお授業形式は、履修人数や開講時の社会状況などにより変更することがあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業の進め方について、詳細を説明します。
第 2 回	世界の先住民①	先住民社会のこれまでについて概観します。
第 3 回	世界の先住民②	日本と世界の先住民社会について考えます。
第 4 回	世界の先住民③	日本と世界の先住民社会について考えます。
第 5 回	米国のプライド運動①	アフリカ系運動の 2 つの流れ―アフリカ中心主義とアメリカ主義とは？
第 6 回	米国のプライド運動②	アジア系とラテン系移民のプライド運動について学びます。
第 7 回	米国のプライド運動③	アメリカ先住民のプライド運動について学びます。
第 8 回	米国のプライド運動④	マイノリティ社会の今について考えます。
第 9 回	ジェンダー①	「性」の多様性について学びます。
第 10 回	ジェンダー②	アナタの「性」は誰のもの？
第 11 回	先住ハワイ社会①	伝統的なハワイの世界観について学びます。
第 12 回	先住ハワイ社会②	ハワイの西洋化について歴史を振り返りながら考えます。

第 13 回　先住ハワイ社会③	先住ハワイ人のプライド運動を通して、現代のハワイ社会について考えます。
第 14 回　日本文化の形	日本文化の形を再考します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。
【予習課題】：毎回のテーマに関連するリーディングとその要約を、指定した方法で提出します。
【復習課題】：毎回のテーマに関連するトピックについてセルフディベートなどを行い、ミニレポートとして指定された方法で提出します。

【テキスト（教科書）】
特定のテキストは使用しません。

【参考書】
毎回のテーマに関する参考文献は授業内で紹介します。

【成績評価の方法と基準】
毎回のミニレポートと課題　：40 %
期末試験（もしくはレポート）：60 %

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【その他の重要事項】
本授業では、英語メディア教材（リーディング課題や参照動画）を併用します。履修生は英語学習を習慣化し（英語ラジオや英語動画の視聴など）、英語理解力の向上を心がけましょう。

【Outline and objectives】
This class will allow students to explore the various "minority" and indigenous societies, particularly in the States including the Native Hawaiian society, standing on students' introductory anthropological backgrounds and knowledges.

CUA200LA

文化人類学 L

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**南アジアと身体**

梅村　絢美

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本講義は、主にインドとスリランカにおける伝統的な身体観やヘルスケア実戦、現代医療の諸相について紹介しながら、南アジアにおける身体を取り巻く諸事象について総合的に学習します。これを通じて、南アジア特有の身体のありようについての知識を蓄積するのみならず、受講生自身の実体験と関連付けながら理解することを最終的な目標とします。「遠い世界に住む自分と関係ない人たちのこと」として聞き流すのではなく、主体的に思考しながら受講してください。

【到達目標】
本授業は、以下の到達目標のもと進めていきます。
（1）文化人類学の思考の枠組みを理解し実生活のなかで実践できる。
（2）自身のもつヘルスケアに対する考え方や衛生観、身体観を相対化し、様々な社会におけるヘルスケア実践をその文脈に即して理解することができる。
（3）文化人類学の思考の枠組みを用いて自身の経験や身の回りの出来事を理解し、それを他者に向けて発信することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
この授業は、以下の授業計画に基づきオンデマンド動画配信型で行ないます。
各回の授業開始時刻までに「学習支援システム」の「授業内掲示板」から授業動画の URL をお知らせしますので、授業日から一週間以内を目安に受講し、適宜小レポートを「学習支援システム」の「課題」から提出してください。授業実施に関する詳細は、初回授業開始日の一週間前までに「学習支援システム」よりお知らせします。
授業の初めに、前回の授業で提出された小レポートからいくつか取り上げ全体に対してフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	文化としての病気と健康	病気や健康といった価値は、それをそうまなざす社会に固有のものであるとする人類学的な「ものの見方」について考えます。
2	南アジア社会における身体とヘルスケア	南アジア社会の地理的環境や歴史、社会、ヘルスケア実践について触れながら概要を紹介します。
3	手で診る、手で癒す：スリランカ伝承医療の実践	私（担当教員）が調査研究をしているスリランカの伝承医療の治療家による「手」という身体部位を用いた診療について紹介します。
4	アーユルヴェーダの身体観①宇宙と連動する身体	宇宙や自然環境と相互作用しながら調和が保たれた状態＝健康とするアーユルヴェーダに特有の身体観について紹介します。

5	アーユルヴェーダの身体観②薬草の力、身体の健康	アーユルヴェーダの薬草を用いた治療法について、薬草の持つ効力と身体内のバランスに注目しながら解説します。
6	ヨーガの身体観①宇宙を取り込み循環させる	ヨーガの成り立ちについて解説した上で、人体を小宇宙として捉えるヨーガ特有の身体観について紹介します。
7	ヨーガの身体観②瞑想からヘルスケアへ	瞑想法としてのヨーガがヘルスケア実践として意味が大きく変容していった過程について紹介した上で、ヨーガチキッサー（ヨガ療法）とも称されるアシュタンガヨガの身体の浄化を志向して組織された連続するアーサナ（ポーズ）について検討します。
8	活かすための武術：カラリパヤットとマルマ療法	南インドの伝統武術カラリパヤットの実践について、その目的と武術の中に取り入れられたマルマ療法に注目しながら解説します。
9	身体の熱と冷	儀礼や家庭生活において見られる熱と冷のレトリックについて、初潮儀礼と家庭でのヘルスケア実践に注目しながら考えます。
10	癒しと呪術	スリランカにおける悪魔祓いをはじめとした呪術的な癒しについて、私（担当教員）がフィールドで見てきた事例について映像を交えて紹介します。
11	罪と不浄：南アジアのヴェジタリアニズム	輪廻転生を基本とする南アジアの諸宗教に特徴的な菜食主義について、不殺生と不浄観に注目しながら考えます。
12	ナショナリズムと健康：ガーンディーのヘルスケア実践	インド独立の父として知られるM.K. ガーンディーの独立思想は、自身の心身を自身で律するという意味でのヘルスケアの実践でもありました。本回はガーンディーの遺したヘルスケア指南書を紐解きながら、スワラージ（自治）としての健康というガーンディー独自のヘルスケアについて考えます。
13	医療とツーリズム	グローバルに展開する南アジアのヘルスケアについて、伝統医療と生物医療（いわゆる西洋医療）をめぐるツーリズムに注目しながら検討します。
14	消費される身体	インドにおける生殖医療ツーリズムについて、主に代理母出産に注目しながら考えます。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
購入が必要なテキストの指定はありません。

【参考書】
田辺明生ほか編著『南アジア社会を学ぶ人のために』、2010 年、世界思想社。

【成績評価の方法と基準】
学期末レポート (60%) およびリ各回の小レポートの内容 (4 0%) にもとづき総合的に評価します。いずれも、「到達目標」の達成具合を基準に評価します。
出席は授業参加の前提条件であって成績評価の基準とはなりません。また、小レポートの提出は、そこに記述された内容から 授業の理解度を確認するためのものであり、出席確認を目的としたものではありません。

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【Outline and objectives】
This lecture will comprehensively study various phenomena surrounding the body in South Asia, while mainly introducing the traditional view of the body in India and Sri Lanka, practical health care, and various aspects of modern medicine. Through this, the ultimate goal is not only to accumulate knowledge about the physical condition peculiar to South Asia, but also to understand it in relation to the students' own actual experiences.

CUA200LA

文化人類学 L

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

長沢　利明

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
文化人類学の基礎について学ぶ。人間と文化との関係の構造的な理解をめざし、さまざまなテーマからそれを見ていく。

【到達目標】
文化人類学のもっとも基本的な研究課題としての「人間と文化との関係」を、さまざまな具体的テーマを提示しながら、考えていく。特に、文化の変容面・動態的側面に注目しつつ、生態環境・生活空間・儀礼構造・民間信仰・民族問題などの諸側面から、この問題を検討していってみることとする。この作業を通じて、文化人類学的な物の考え方や研究方法、分析視角などを学んでいくことにし、極力わかりやすい形で、それを講義していってみたい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
毎回ひとつずつ基本テーマを取り上げ、それに関する詳細情報やデータ類を提示しつつ、解説と検討をおこなう。
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
①	プロローグ	受講にあたっての注意事項、授業の全体計画などについて解説。
②	焼畑と植生Ⅰ	焼畑農業と環境条件との関係について学ぶ。
③	焼畑と植生Ⅱ	〃
④	住居と生活空間	住居と居住空間の多様性について学ぶ。
⑤	年中行事の構造	日本の年中行事の構造分析について学ぶ。
⑥	民間信仰と文化変容	宗教人類学および日本の民間信仰の特性について学ぶ。
⑦	台湾の社会と民族問題	多民族社会の実情と問題点について学ぶ。
⑧	アミ族の社会変化	母系制社会の変容の実態について学ぶ。
⑨	ブヌン族の社会変化	夫系制社会の変容の実態について学ぶ。
⑩	アイヌ問題	日本の少数民族問題の実情について学ぶ。
⑪	沖縄文化の特色	沖縄の固有文化の特色について学ぶ。
⑫	冬季フィールドワーク解説	冬休みのフィールドワークとレポート作成について解説。
⑬	補足説明	全体の補足解説をおこなう。
⑭	秋学期授業のまとめ	秋学期授業の全体的な総括をおこなう。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
自宅での復習をおこない、配布されたプリント資料などを通読し、整理しておくこと。教員への質問事項なども用意しておくことがのぞましい。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
教科書は特に使用せず、そのかわりに毎回、教室でプリント資料を配布する。それが、いわばテキストがわりとなる。

【参考書】
必要な文献資料や読んでおくべき参考書類は、授業時間内に適宜紹介していく。

【成績評価の方法と基準】
学期末試験およびレポート提出によって、成績評価をおこなう。特にレポートの内容の評価に重点を置くので、すぐれたレポートを作成することがのぞましい。

【学生の意見等からの気づき】
授業改善アンケート結果を尊重し、極力受講者からの要望を取り入れ、つねに授業内容の改善につとめていく。

【学生が準備すべき機器他】
特になし。

【その他の重要事項】
特になし。

【Outline and objectives】
You can study on this program about general theory of cultural anthropology.

CUA200LA

文化人類学 L

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**政治人類学への招待**

ベル　裕紀

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
政治人類学は、文化人類学の中でも権力や秩序といった問題を中心に扱ってきた領域である。学生は、政治人類学的な研究を体系的に学習し、国家、グローバル化、移民、マイノリティ、アイデンティティ、多文化主義といった、現代の問題に関する理解を深める。

【到達目標】
学生は、国家と統治に関する理解を深めるとともに、政治人類学が培ってきた、社会の動態的な把握という視点を身に付け、安易な本質主義に陥らない社会の認識を身に付ける。それを通じて、政治的な過程としての「本質化」に敏感になり、またなぜそれが行われているのかを深く考察する視点を養うことを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義形式を取り、随時映像などの資料を用いる。また、授業の初めに、前回の授業の課題に対する回答をいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第一回	政治人類学の関心	政治人類学の初期における基本的な関心から出発し、エヴァンス・プリチャード以降の政治人類学の議論の大きな流れを紹介する。これが本講義のイントロダクションとなる。
第二回	国家なき統治	政治人類学における「未開社会」の研究、特に政治体系の研究を紹介する。
第三回	法と政治と人類学と	法人類学における法の捉え方、諸研究を概観し、とりわけ規範と制裁をめぐる議論に焦点を当てる。
第四回	暴力の人類学	暴力や戦争を扱った人類学的な研究を取りあげ、集団の境界や関係について、考察を深めていく。
第五回	言語と政治	言語および発話行為と政治に着目した人類学的な研究の展開を概観し、理解を深める。
第六回	国民国家とナショナリズム	A. ゲルナーや B. アンダーソンなど、国民国家をめぐる代表的な議論を学習する。
第七回	人種と民族	政治人類学の重要な概念である、人種と民族の定義を踏まえ、それらが政治的なアイデンティティ、あるいはアイデンティティの本質化とどのように関係するのかという問題を事例を交えて紹介する。
第八回	ジェンダーとセクシャリティ	ジェンダーやセクシャリティといった視点からされてきた人類学の諸研究を概観し、権力やまなざしについての関係論的な理解を深める。
第九回	社会運動論と人類学	人類学における社会運動研究を概観し、集合的アイデンティティの形成、生活と運動との乖離、「歴史性」といったトピックを学習する。
第十回	人権と人類学	1945 年以降の人類学における人権の捉え方を通時的に把握した上で、近年の人権に関する議論について学習する。
第十一回	ポストコロニアリズム	サイードの『オリエンタリズム』を中心に植民地主義における「他者」表象、ポストコロニアリズム批判を理解する。
第十二回	難民の人類学	難民という存在を H. アーレントを手がかりに、国民国家を基本とした国際秩序の枠組みの中で捉えた上で、人類学的な難民研究を紹介する。
第十三回	移住労働の人類学	第十回に引き続き、移住をテーマに学習する。東アジアでは、移民がホスト社会に定着し、永住につながるような受け入れ方ではなく、在留期間と活動に制限を加え、定着しないような形での労働力移入政策を取ることが一般的である。この講義ではその特徴と、それの下での移住労働者たちの活動について紹介する。
第十四回	文化と権利	文化と権利という視点から、グローバル化、多文化主義、アイデンティティ、人権といった、これまで授業で取り扱ってきた問題を捉え直す。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
課題を通じた復習と、翌週の授業の準備に概ね 2 時間程度の時間をかけるものとする。また、それに加えて授業内で紹介する参考文献を、各自の関心に応じて読みこみ、理解と思考を深めることが望ましい。

【テキスト（教科書）】
なし。毎回の授業で講義レジュメを配布する。

【参考書】
授業時間内に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】
授業ごとの課題 60%、レポート 40 %で評価する。ただし、レポートの提出は必須とする。

【学生の意見等からの気づき】
毎回の授業の内容に関する課題を出す。毎回の授業の冒頭に前回の学生回答の紹介および応答を行うことで、学生の理解を深めていく。

【学生が準備すべき機器他】
提出物は学習支援システムを通じて提出してもらうつもりである。また、学習支援システムを通じ、授業のレジュメや参考となる文書を事前に学生に配布する（レジュメに関しては授業当日にプリントしたものを配布する）。

【Outline and objectives】
This class aims basic understanding of political anthropology / anthropology of politics that has been mainly dealing with topics related to the order and power. Students should study traditional topics as well as contemporary issues such as nation-states, human rights, social movements, global migration, essentialism and so on.

CUA200LA

文化人類学 L

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**南アジアと身体**

梅村　絢美

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本講義は、主にインドとスリランカにおける伝統的な身体観やヘルスケア実戦、現代医療の諸相について紹介しながら、南アジアにおける身体を取り巻く諸事象について総合的に学習します。これを通じて、南アジア特有の身体のありようについての知識を蓄積するのみならず、受講生自身の実体験と関連付けながら理解することを最終的な目標とします。「遠い世界に住む自分と関係ない人たちのこと」として聞き流すのではなく、主体的に思考しながら受講してください。

【到達目標】
本授業は、以下の到達目標のもと進めていきます。
（1）文化人類学の思考の枠組みを理解し実生活のなかで実践できる。
（2）自身のもつヘルスケアに対する考え方や衛生観、身体観を相対化し、様々な社会におけるヘルスケア実践をその文脈に即して理解することができる。
（3）文化人類学の思考の枠組みを用いて自身の経験や身の回りの出来事を理解し、それを他者に向けて発信することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
この授業は、以下の授業計画に基づきオンデマンド動画配信型で行ないます。
各回の授業開始時刻までに「学習支援システム」の「授業内掲示板」から授業動画の URL をお知らせしますので、授業日から一週間以内を目安に受講し、適宜小レポートを「学習支援システム」の「課題」から提出してください。授業実施に関する詳細は、初回授業開始日の一週間前までに「学習支援システム」よりお知らせします。
授業の初めに、前回の授業で提出された小レポートからいくつか取り上げ全体に対してフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	文化としての病気と健康	病気や健康といった価値は、それをそうまなざす社会に固有のものであるとする人類学的な「ものの見方」について考えます。
2	南アジア社会における身体とヘルスケア	南アジア社会の地理的環境や歴史、社会、ヘルスケア実践について触れながら概要を紹介します。
3	手で診る、手で癒す：スリランカ伝承医療の実践	私（担当教員）が調査研究をしているスリランカの伝承医療の治療家による「手」という身体部位を用いた診療について紹介します。
4	アーユルヴェーダの身体観①宇宙と連動する身体	宇宙や自然環境と相互作用しながら調和が保たれた状態＝健康とするアーユルヴェーダに特有の身体観について紹介します。
5	アーユルヴェーダの身体観②薬草の力、身体の健康	アーユルヴェーダの薬草を用いた治療法について、薬草の持つ効力と身体内のバランスに注目しながら解説します。
6	ヨーガの身体観①宇宙を取り込み循環させる	ヨーガの成り立ちについて解説した上で、人体を小宇宙として捉えるヨーガ特有の身体観について紹介します。
7	ヨーガの身体観②瞑想からヘルスケアへ	瞑想法としてのヨーガがヘルスケア実践として意味が大きく変容していった過程について紹介した上で、ヨーガチキッサー（ヨガ療法）とも称されるアシュタンガヨガの身体の浄化を志向して組織された連続するアーサナ（ポーズ）について検討します。
8	活かすための武術：カラリパヤットとマルマ療法	南インドの伝統武術カラリパヤットの実践について、その目的と武術の中に取り入れられたマルマ療法に注目しながら解説します。
9	身体の熱と冷	儀礼や家庭生活において見られる熱と冷のレトリックについて、初潮儀礼と家庭でのヘルスケア実践に注目しながら考えます。
10	癒しと呪術	スリランカにおける悪魔祓いをはじめとした呪術的な癒しについて、私（担当教員）がフィールドで見てきた事例について映像を交えて紹介します。
11	罪と不浄：南アジアのヴェジタリアニズム	輪廻転生を基本とする南アジアの諸宗教に特徴的な菜食主義について、不殺生と不浄観に注目しながら考えます。
12	ナショナリズムと健康：ガーンディーのヘルスケア実践	インド独立の父として知られる M.K. ガーンディーの独立思想は、自身の心身を自身で律するという意味でのヘルスケアの実践でもありました。本回はガーンディーの遺したヘルスケア指南書を紐解きながら、スワラージ（自治）としての健康というガーンディー独自のヘルスケアについて考えます。
13	医療とツーリズム	グローバルに展開する南アジアのヘルスケアについて、伝統医療と生物医療（いわゆる西洋医療）をめぐるツーリズムに注目しながら検討します。
14	消費される身体	インドにおける生殖医療ツーリズムについて、主に代理母出産に注目しながら考えます。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
購入が必要なテキストの指定はありません。

【参考書】
田辺明生ほか編著『南アジア社会を学ぶ人のために』、2010 年、世界思想社。

【成績評価の方法と基準】
学期末レポート (60%) およびリ各回の小レポートの内容 (4 0%) にもとづき総合的に評価します。いずれも、「到達目標」の達成具合を基準に評価します。
出席は授業参加の前提条件であって成績評価の基準とはなりません。また、小レポートの提出は、そこに記述された内容から 授業の理解度を確認するためのものであり、出席確認を目的としたものではありません。

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【Outline and objectives】
This lecture will comprehensively study various phenomena surrounding the body in South Asia, while mainly introducing the traditional view of the body in India and Sri Lanka, practical health care, and various aspects of modern medicine. Through this, the ultimate goal is not only to accumulate knowledge about the physical condition peculiar to South Asia, but also to understand it in relation to the students' own actual experiences.

CUA200LA

文化人類学 L

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**今日の人類学**

阿部　朋恒

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**集中・その他**/intensive・other courses
単位数：2 **単位**
法文営国環キ 1〜4 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
文化人類学は他者理解のための方法であると同時に、自らが拠って立つ場所を見つめ直し、その未来を見通すために役立つ道具でもある。この授業では、開発や観光化、情報通信技術の発達、移動の増大といった今日の世界に共通してみられる現象に焦点を当て、そうした変化の過程が同時代にありながら多様であることを学ぶ。さらに、世界各地で生起する出来事を具体的かつ深く知ることで、環境変動や政治的リスクの変動、感染症の流行などわれわれが直面する大きな課題に対する思考の幅を広げることを目指す。

【到達目標】
テーマごとに文化人類学の基礎的な考え方を知り、併せてフィールドワークにもとづく良質な民族誌に触れることで、異文化を深く理解するための方法を学ぶ。また、身の回りで生じる出来事やメディアを通じて知る世界各地の記事について、その背景へと一歩踏み込んで理解するための粘り強い思考を身に付けることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
2021 年度の授業は Google Classroom を利用してのオンデマンド資料配信方式で実施する。受講生にはオンライン上で公開される授業動画を各自視聴したうえで簡単なコメントを返却していただき、これをもって出席確認を行う。また隔週で Zoom を利用してオンライン相談窓口を開設し、メールと併せて質問や要望を受け付ける。
各回授業は、パワーポイントおよびレジュメ資料にもとづく講義形式で実施する。各回授業ごとにテーマを設定し、必要に応じて映像資料なども交えながら関連する方法論と事例を解説していく。
各回授業内容についての質問はリアクションペーパーを通じて受け付け、次回授業の冒頭でいくつかを取り上げてフィードバックを行う。また隔週でオンライン相談窓口（オフィスアワーに相当）を開設し、個別の質問にも対応する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業のねらいと進め方、成績評価の方法について説明する。
第 2 回	文化人類学の成り立ち	学説史の概略を知り、文化人類学が時代ごとに切り拓いてきた知的領域の広がりを学ぶ。
第 3 回	文化人類学の課題	今日の文化人類学が直面する課題と、これを乗り越えるための試みを学ぶ。
第 4 回	フィールドワークの再検討	文化人類学におけるフィールドワークの魅力と、その誕生以来一世紀のあいだに生じた方法と実践の変化を学ぶ。

第 5 回	移動と人類学①	旅とフィールドワークの類似と相違を知り、人類学的研究の奥行きを学ぶ。
第 6 回	移動と人類学②	人間の移動のみならずモノや情報、技術、概念、さらには動植物やウィルスなどのモビリティが高まる世界における文化人類学の意義を学ぶ。
第 7 回	開発と人類学①	人類学者はこれまで開発の現場で何をしてきたのか、開発援助に携わる人たちとどのように関わってきたのかを学ぶ。
第 8 回	開発と人類学②	「貧困」「援助」「復興」などさまざまな言説がせめぎあいながら構成される現象として開発を捉える方法を学び、今日の世界を多角的に理解する視点を身につける。
第 9 回	環境と人類学①	人類学者はこれまで環境変動の現場で何をしてきたのか、環境保護にたずさわる人たちとどのようにかかわってきたのかを学ぶ。
第 10 回	環境と人類学②	「地球温暖化」「持続可能性」「保全」「汚染」などさまざまな言説がせめぎあいながら構成される現象として環境変動を捉える方法を学び、今日の世界を多角的に理解する視点を身につける。
第 11 回	観光と人類学	観光化によって創られる文化のダイナミズムを理解するための視座を学ぶ。
第 12 回	食と人類学	食をめぐる実践の多様性を学び、われわれをとりまく食と健康に関連するさまざまな知識を反省的に検討する。
第 13 回	映像資料鑑賞	第 12 回までの授業内容に関連する映像資料を鑑賞する。
第 14 回	まとめ	授業内容の総括および期末試験についての説明を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
新聞や雑誌のニュースに関心を払い、遠くの国や地域で生じた出来事であっても少しの時間を割いて考えてみること。また、身の回りで生じるさまざまな出来事について、異なる立場にある人の見方を想像してみること。その際、文化人類学の考え方を応用するとどのような発見があるのかを意識してほしい。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
テキストは特に指定しない。ただし、毎回の授業で関連する文献について紹介するので、各自の関心に合わせて読み進めてほしい。

【参考書】
『グローバリゼーションのなかの文化人類学案内』中島成久（編）明石書店、2003 年。
上記の他にも、毎回の授業で関連する基礎文献を紹介する。

【成績評価の方法と基準】
授業への出席率およびリアクションペーパーによる平常点（40 %）、筆記形式の期末試験（60 %）により評価する。なお、期末試験は紙媒体の資料のみ持ち込み可とする。状況に応じて、期末試験はオンライン上での実施も検討する。また、大学教室での試験を行う場合でも、期末試験への実地参加が難しい受講生にはオンラインで受験が可能な代替試験を用意する。

【学生の意見等からの気づき】
オンデマンド方式の動画配信について、公開時期や要望への対応の遅れが生じたほか、音声の強弱のむらや動画が冗長になるなどの課題が多々浮かび上がった。このほかにも、対面できないため伝えられない要望もあったかと思う。これらを踏まえ、今学期は機器の取り扱いに習熟する、授業時間外に寄せられる連絡にも柔軟に対応する、各回授業には過剰な内容を詰め込みすぎないよう配慮するなど、オンライン環境に適した授業づくりに努めたい。
また、オンライン化に伴って例年になく課題に追われるなど困難な状況に置かれた受講生も少なくないようだった。課題要求についても過大にならないよう配慮したい。

【学生が準備すべき機器他】
Google Classroom の利用を予定しているため、インターネット環境を整えたうえで受講の望んでほしい。

【その他の重要事項】
学生の理解度に応じて、授業計画の内容や順序を変更する場合がある。

【Outline and objectives】
By studying perspectives that look extensively at present world, we aim to develop the ability to link this learning to practical tasks. Based on this, students will acquire viewpoint to understand multicultural and overheated world. Specifically, students will learn about field works, mechanisms to create various discourses about “development” or “environment”. After that, students will think independently how to create a future that accepts diverse cultures.

CUA200LA

文化人類学 L

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**今日の文化人類学**

阿部　朋恒

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
文化人類学は他者理解のための方法であると同時に、自らが拠って立つ場所を見つめ直し、その未来を見通すために役立つ道具でもある。この授業では、開発や観光化、情報通信技術の発達、移動の増大といった今日の世界に共通してみられる現象に焦点を当て、そうした変化の過程が同時代にありながら多様であることを学ぶ。さらに、世界各地で生起する出来事を具体的かつ深く知ることで、環境変動や政治的リスクの変動、感染症の流行などわれわれが直面する大きな課題に対する思考の幅を広げることを目指す。

【到達目標】
テーマごとに文化人類学の基礎的な考え方を知り、併せてフィールドワークにもとづく良質な民族誌に触れることで、異文化を深く理解するための方法を学ぶ。また、身の回りで生じる出来事やメディアを通じて知る世界各地の記事について、その背景へと一歩踏み込んで理解するための粘り強い思考を身に付けることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
この授業は対面方式での実施を予定している。各回授業は、パワーポイントおよびレジュメ資料にもとづく講義形式で実施する。各回授業ごとにテーマを設定し、必要に応じて映像資料なども交えながら関連する方法論と事例を解説していく。
各回授業内容についての質問はリアクションペーパーを通じて受け付け、次回授業の冒頭でいくつかを取り上げてフィードバックを行う。また隔週でオンライン相談窓口（オフィスアワーに相当）を開設し、個別の質問にも対応する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業のねらいと進め方、成績評価の方法について説明する。
第 2 回	文化人類学の成り立ち	学説史の概略を知り、文化人類学が時代ごとに切り拓いてきた知的領域の広がりを学ぶ。
第 3 回	文化人類学の課題	今日の文化人類学が直面する課題と、これを乗り越えるための試みを学ぶ。
第 4 回	フィールドワークの再検討	文化人類学におけるフィールドワークの魅力と、その誕生以来一世紀のあいだに生じた方法と実践の変化を学ぶ。
第 5 回	移動と人類学①	旅とフィールドワークの類似と相違を知り、人類学的研究の奥行きを学ぶ。
第 6 回	移動と人類学②	人間の移動のみならずモノや情報、技術、概念、さらには動植物やウィルスなどのモビリティが高まる世界における文化人類学の意義を学ぶ。
第 7 回	開発と人類学①	人類学者はこれまで開発の現場で何をしてきたのか、開発援助に携わる人たちとどのように関わってきたのかを学ぶ。
第 8 回	開発と人類学②	「貧困」「援助」「復興」などさまざまな言説がせめぎあいながら構成される現象として開発を捉える方法を学び、今日の世界を多角的に理解する視点を身につける。
第 9 回	環境と人類学①	人類学者はこれまで環境変動の現場で何をしてきたのか、環境保護にたずさわる人たちとどのようにかかわってきたのかを学ぶ。
第 10 回	環境と人類学②	「地球温暖化」「持続可能性」「保全」「汚染」などさまざまな言説がせめぎあいながら構成される現象として環境変動を捉える方法を学び、今日の世界を多角的に理解する視点を身につける。
第 11 回	観光と人類学	観光化によって創られる文化のダイナミズムを理解するための視座を学ぶ。
第 12 回	食と人類学	食をめぐる実践の多様性を学び、われわれをとりまく食と健康に関連するさまざまな知識を反省的に検討する。
第 13 回	映像資料鑑賞	第 12 回までの授業内容に関連する映像資料を鑑賞する。
第 14 回	まとめ	授業内容の総括および期末試験についての説明を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
新聞や雑誌のニュースに関心を払い、遠くの国や地域で生じた出来事であっても少しの時間を割いて考えてみること。また、身の回りで生じるさまざまな出来事について、異なる立場にある人の見方を想像してみること。その際、文化人類学の考え方を応用するとどのような発見があるのかを意識してほしい。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
テキストは特に指定しない。ただし、毎回の授業で関連する文献について紹介するので、各自の関心に合わせて読み進めてほしい。

【参考書】
『グローバリゼーションのなかの文化人類学案内』中島成久（編）明石書店、2003 年。
上記の他にも、毎回の授業で関連する基礎文献を紹介する。

【成績評価の方法と基準】
授業への出席率およびリアクションペーパーによる平常点（40 %）、筆記形式の期末試験（60 %）により評価する。なお、期末試験は紙媒体の資料のみ持ち込み可とする。状況に応じて、期末試験はオンライン上での実施も検討する。また、大学教室での試験を行う場合でも、期末試験への実地参加が難しい受講生にはオンラインで受験が可能な代替試験を用意する。

【学生の意見等からの気づき】
2020 年度はオンデマンド配信方式で授業を実施したため、オンライン化に付随するさまざまな課題が浮かび上がった。ただし、本講義は対面授業を予定しているため、かならずしも全面的に改善策を反映できるわけではない。このため、以下に昨年度と一昨年度授業を踏まえた改善策を記載しておく。
【2020 年度授業を踏まえた改善策】

オンデマンド方式の動画配信について、公開時期や要望への対応の遅れが生じたほか、音声の強弱のむらや動画が冗長になるなどの課題が多々浮かび上がった。このほかにも、対面できないため伝えられない要望もあったかと思う。これらを踏まえ、今学期は機器の取り扱いに習熟する、授業時間外に寄せられる連絡にも柔軟に対応する、各回授業には過剰な内容を詰め込みすぎないよう配慮するなど、オンライン環境に適した授業づくりに努めたい。
また、オンライン化に伴って例年になく課題に追われるなど困難な状況に置かれた受講生も少なくないようだった。課題要求についても過大にならないよう配慮したい。
【2019 年度授業を踏まえた改善策】
授業進度がやや早く、とくに難解な概念や用語についての理解が追い付かないことがあったとの意見が複数あったため、難易度に応じて緩急をつけたきめ細やかな解説を行いたい。また、教室内の気温や騒音など授業を受ける環境について改善を求める意見も受けている。学生がその場で気兼ねなく要望を伝えられるような雰囲気づくりを心掛け、空調設備や音響機器の調整にも気を配っていきたい。また、周囲の受講生の私語が気になるとの指摘もあり、教室内の静粛性保持にもより一層配慮したい。

【学生が準備すべき機器他】
Google Classroom の利用を予定しているため、インターネット環境を整えたうえで受講の望んでほしい。

【その他の重要事項】
学生の理解度に応じて、授業計画の内容や順序を変更する場合がある。

【Outline and objectives】
By studying perspectives that look extensively at present world, we aim to develop the ability to link this learning to practical tasks. Based on this, students will acquire viewpoint to understand multicultural and overheated world. Specifically, students will learn about field works, mechanisms to create various discourses about “development” or “environment”. After that, students will think independently how to create a future that accepts diverse cultures.

CUA200LA

文化人類学 L

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**マイノリティの人類学**

四條　真也

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では、文化人類学の基本的な概念を踏まえ、現代社会（特に現代のアメリカ社会やハワイ社会が中心）における先住民社会やマイノリティ社会の動向について学びます。なお、本講義では文化人類学の基礎概念を応用しながら、諸事例を検討します。履修に先駆けて、可能であれば文化人類学に関する基盤科目（e.g.「文化人類学」など）を履修しておくことをお勧めします。

【到達目標】
この授業では、マイノリティ社会の成立の背景と現在抱える諸問題について、文化人類学的な概念を応用しながら分析や考察、およびディスカッションができるようになることを目標としています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業は講義形式で行います。授業の冒頭では、提出されたミニレポート／課題の回答のうち興味深い例を紹介し、前回授業の振り返りを行います。
また履修人数によっては、授業内でグループディスカッションやミニディスカッションなども予定しています。
なお授業形式は、履修人数や開講時の社会状況などにより変更することがあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業の進め方について、詳細を説明します。
第 2 回	世界の先住民①	先住民社会のこれまでについて概観します。
第 3 回	世界の先住民②	日本と世界の先住民社会について考えます。
第 4 回	世界の先住民③	日本と世界の先住民社会について考えます。
第 5 回	米国のプライド運動①	アフリカ系運動の 2 つの流れ―アフリカ中心主義とアメリカ主義とは？
第 6 回	米国のプライド運動②	アジア系とラテン系移民のプライド運動について学びます。
第 7 回	米国のプライド運動③	アメリカ先住民のプライド運動について学びます。
第 8 回	米国のプライド運動④	マイノリティ社会の今について考えます。
第 9 回	ジェンダー①	「性」の多様性について学びます。
第 10 回	ジェンダー②	アナタの「性」は誰のもの？
第 11 回	先住ハワイ社会①	伝統的なハワイの世界観について学びます。
第 12 回	先住ハワイ社会②	ハワイの西洋化について歴史を振り返りながら考えます。

第 13 回	先住ハワイ社会③	先住ハワイ人のプライド運動を通して、現代のハワイ社会について考えます。
第 14 回	日本文化の形	日本文化の形を再考します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。
【予習課題】：毎回のテーマに関連するリーディングとその要約を、指定した方法で提出します。
【復習課題】：毎回のテーマに関連するトピックについてセルフディベートなどを行い、ミニレポートとして指定された方法で提出します。

【テキスト（教科書）】
特定のテキストは使用しません。

【参考書】
毎回のテーマに関する参考文献は授業内で紹介します。

【成績評価の方法と基準】
毎回のミニレポートと課題　：40 %
期末試験（もしくはレポート）：60 %

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【その他の重要事項】
本授業では、英語メディア教材（リーディング課題や参照動画）を併用します。履修生は英語学習を習慣化し（英語ラジオや英語動画の視聴など）、英語理解力の向上を心がけましょう。

【Outline and objectives】
This class will allow students to explore the various "minority" and indigenous societies, particularly in the States including the Native Hawaiian society, standing on students' introductory anthropological backgrounds and knowledges.

CUA200LA

文化人類学 L

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**開発と文化の人類学**

石森　大知

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、開発人類学、すなわち開発援助および国際協力のテーマを文化人類学の視点から取り上げる。現在、世界の各地で、2015 年に国連で定められた「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に向けたさまざまな取り組みが実施され、その有効性に関する調査・研究も進んでいる。21 世紀において人類に課せられた課題は数多くあるが、貧困撲滅、健康向上（国際保健）、環境問題などへの対処は重要である。本授業では、これらの同時代的なグローバル・イシューを通して、開発とローカルな社会・文化・環境の持続的共存関係について考察する。

【到達目標】
・文化人類学、とくに開発人類学の専門的な概念や理論を習得する。
・ものごとを相対的に捉えることによって得られる他者理解の洞察力を身に付ける。
・同時代的なグローバル・イシューを理解するとともに、開発とローカルな社会・文化・環境の持続的共存関係について自らの視点から考察・検討する視点を得る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
・本授業は【オンデマンド型】で行う予定です（変更の場合は学習支援システムを通して事前に連絡します）。
・授業の理解度や平常の取り組みを評価するため、随時、授業コメントや質問・疑問を求めるリアクションペーパーを課します。
・リアクションペーパー等における興味深いコメントや質問等を授業内で取り上げ、全体に対してフィードバックを行うとともに、さらなる議論に活かします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業の概要、成績評価方法の説明
第 2 回	開発概念と関連理論①	開発の誕生
第 3 回	開発概念と関連理論②	社会開発への転換
第 4 回	開発援助と ODA, そして人類学者	開発援助とのかかわり方
第 5 回	貧困撲滅の取り組み①	貧しい／豊かとは何か
第 6 回	貧困撲滅の取り組み②	マイクロファイナンス
第 7 回	健康な生活①	プライマリヘルスケア
第 8 回	健康な生活②	感染症対策と DOTS
第 9 回	森林開発と環境問題①	近代化と環境破壊
第 10 回	森林開発と環境問題②	ソロモン諸島の植林事業
第 11 回	温暖化と環境言説①	ツバルの「海面上昇」
第 12 回	温暖化と環境言説②	ツバルの浸水被害と海岸浸食
第 13 回	観光開発と自然	ボルネオ島のエコツーリズム
第 14 回	総括	授業のまとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・授業内で紹介する文化人類学や開発人類学の関連文献を読み、授業の理解を深める。
・図書館などで関連文献を調べ、自らの興味関心を広げる。
・本授業の準備学修・復習時間は各２時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】
教科書はとくに指定せず、必要に応じて関連資料を配布する。

【参考書】
授業中に適宜紹介するが、以下のものを挙げておく。
信田敏宏ほか編『グローバル支援の人類学―変貌する NGO・市民活動の現場から』昭和堂、2017 年。
佐藤寛・藤掛洋子編『開発援助と人類学―冷戦・蜜月・パートナーシップ』明石書店、2011 年。
佐藤寛『開発援助の社会学』世界思想社、2005 年。
青柳まちこ編『開発の文化人類学』古今書院、2000 年。
関根久雄『開発と向き合う人びと』東洋出版、1997 年。

【成績評価の方法と基準】
レポート:40%、平常点（リアクションペーパー、出席状況等）:60%として総合的に評価する。この成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標の 60%以上を達成した者を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】
文字や音声などの情報だけではなく、できるだけ多くの写真や映像資料を用いることで授業内容の理解を促すようにする。

【学生が準備すべき機器他】
資料配布・課題提出等のために学習支援システムを利用します。

【その他の重要事項】
学期中にシラバスや授業計画の変更が余儀なくされた場合は学習支援システムで周知します。

【Outline and objectives】
This course covers the basics of development anthropology, which seeks to the application of anthropological perspectives to the multidisciplinary branch of development studies. The goals of this course are to obtain basic knowledge about the development anthropology, and understand the impacts of development on the local culture, environment and society.

SOS200LA

社会思想ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

洪　貴義

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 2〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では在日朝鮮人の歴史と文化を学びます。日本と朝鮮半島（南北）の近現代史の諸関係から生み出され、この 3 ヶ国のはざまにあって日本で存在しているコリアンが在日朝鮮人という存在です。この授業では 3 ヶ国の近現代史をふまえながら、在日朝鮮人のアイデンティティーのありかた、その詩や文学、映画や音楽、芸能などの作品世界を学びます。

【到達目標】
テキストや講義を通して日本や朝鮮半島の近現代史を理解することができる
テキストや講義を通して在日朝鮮人に対する正確な理解を持つことができる
テキストや講義を通して考えたことをコメントやレポートに表現することができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
2021 年度春学期はコロナ対応のためオンラインで授業を行い、4 月 12 日に学習支援システムを通して授業を開始します。その際初回ガイダンスを行いますので、詳細は提示するガイダンスのファイルを確認するようにしてください。提出された課題に対しては授業の中でフィードバックしていきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の目的、学ぶ内容、学ぶ方法、成績評価の方法などについてガイダンスを行います
2	導入	在日朝鮮人という存在
3	発生	日本の近代と在日朝鮮人の発生
4	定着化	定着化と二世の誕生
5	運動	さまざまな運動
6	コミュニティ	朝鮮人コミュニティの変容
7	強制動員	戦時下の在日朝鮮人
8	戦後	占領政策
9	帰国	帰国運動
10	二世（1）	二世たちの挑戦
11	二世（2）	転換期の思想と文化
12	グローバル化（1）	多民族化する日本社会
13	グローバル化（2）	国民の論理を超えて
14	まとめ	在日朝鮮人と日本の進む道

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
各回ごとに指定するテキスト数十ページを事前に読んでおくと授業の理解の助けになります。本授業の準備学習・復習時間は、各 1 〜 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
授業中に説明します。

【参考書】
授業中に説明します。

【成績評価の方法と基準】
各回の授業後に提出する 13 回分の小レポート課題を平常点として成績評価を行います。
各レポートの評価基準としては、各回の授業ごとに、主題を理解し、その内容を自らの言葉によって解釈し、表現していることとします。１回分の配分を 10 %とし、10 回のレポートによって合計 100 %として成績評価を行います。

【学生の意見等からの気づき】
授業の中で出席者のコメントを紹介することによって刺激になり、他の受講者の理解が進むことが多いようです。

【Outline and objectives】
This course introduces the history and cultures of the Korean residents in Japan to students taking this course.They are also called Korean minority in Japan or ZAINICHI in Japanese.The aim of this course is to guide students acquire an understanding of the modern history of ZAINICHI Koreans and a variety of their identities ,poetry,literature,movies,music,and some other cultural works.

SOS200LA

社会思想ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

洪　貴義

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 2〜4 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では在日朝鮮人の歴史と文化を学びます。日本と朝鮮半島（南北）の近現代史の諸関係から生み出され、この 3 ヶ国のはざまにあって日本で存在しているコリアンが在日朝鮮人という存在です。この授業では 3 ヶ国の近現代史をふまえながら、在日朝鮮人のアイデンティティーのありかた、その詩や文学、映画や音楽、芸能などの作品世界を学びます。

【到達目標】
テキストや講義を通して日本や朝鮮半島の近現代史を理解することができる
テキストや講義を通して在日朝鮮人に対する正確な理解を持つことができる
テキストや講義を通して考えたことをコメントやレポートに表現することができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
2021 年度秋学期はコロナ対応のため、オンライン授業を行う予定です。
詳細については初回ガイダンスで説明します。提出された課題に対しては授業の中でフィードバックしていきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	講義の内容、授業の進め方、受講の仕方、成績評価の方法などについての説明
2	導入	在日朝鮮人という存在
3	事件	歴史的背景
4	1960 年代（1）	民族の問題
5	1960 年代（2）	民族責任
6	小松川事件（1）	李珍宇の犯罪
7	小松川事件（2）	李珍宇の手紙
8	金嬉老事件（1）	事件の発生
9	金嬉老事件（2）	事件の意味
10	詩と文学（1）	金時鐘と金石範
11	詩と文学（2）	鷺沢萌・柳美里・崔実
12	映画（1）	崔洋一と大島渚
13	映画（2）	浦山桐郎と井筒和幸
14	音楽	在日音楽の百年

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
各授業ごとに指定されたテキストの数十ページを読んでおくと授業の理解が進みます。本授業の準備学習・復習時間は、各 1 〜 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
授業中に説明します。

【参考書】
授業中に説明します。

【成績評価の方法と基準】
各回の授業後に提出する 13 回分の小レポート課題を平常点として成績評価を行います。
各レポートの評価基準としては、各回の授業ごとに、主題を理解し、その内容を自らの言葉によって解釈し、表現していることとします。１回分の配分を 10 %とし、10 回のレポートによって合計 100 %として成績評価を行います。

【学生の意見等からの気づき】
授業中に受講者のコメントを紹介することで他の受講者の理解が進むようです。

【Outline and objectives】
This course introduces the history and cultures of the Korean residents in Japan to students taking this course.They are also called Korean minority in Japan or ZAINICHI in Japanese.The aim of this course is to guide students acquire an understanding of the modern history of ZAINICHI Koreans and a variety of their identities ,poetry,literature,movies,music,and some other cultural works.

SOS200LA

社会思想ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

洪　貴義

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 3/Wed.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 2〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業ではヨーロッパの近代社会思想史を学びます。
16 世紀から 19 世紀初頭の思想家たち、例えばホッブズ、ルソー、カント、ヘーゲルらが生きた西洋の歴史を背景として、その上で各思想家の思考方法、政治社会の構成、個人と社会の関係や経済社会の構造などについての考えかたを学ぶことを目的とします。

【到達目標】
近代の骨格を作る思想家たちのものの見方、考え方を身につけることができる。
歴史的思考について学び、思想家たちの目を通して、現在わたしたちが生きている現代社会の政治、経済、社会のあり方を根本原理として考えることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
2021 年度春学期はオンラインで授業を行い、4 月 7 日に学習支援システムを通して授業を開始します。その際初回ガイダンスを行いますので、詳細は提示するガイダンスのファイルを確認するようにしてください。提出された課題に対しては授業の中でフィードバックしていきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	講義のねらい、進め方、成績評価の方法等
第 2 回	導入（1）	ヨーロッパ、歴史、近代、社会、思想、言語などの基礎概念（1）
第 3 回	導入（2）	ヨーロッパ、歴史、近代、社会、思想、言語などの基礎概念（2）
第 4 回	ホッブズ（1）	リヴァイアサン（1）
第 5 回	ホッブズ（2）	リヴァイアサン（2）
第 6 回	ルソー（1）	人間不平等起源論
第 7 回	ルソー（2）	社会契約論
第 8 回	カント（1）	純粋理性批判
第 9 回	カント（2）	実践理性批判
第 10 回	カント（3）	永遠平和のために
第 11 回	ヘーゲル（1）	精神現象学（1）
第十 12 回	ヘーゲル（2）	精神現象学（2）
第十 13 回	ヘーゲル（3）	法の哲学
第 14 回	ヘーゲル（4）	ヘーゲル左派

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
講義をうけるにあたって文献を自ら進んで読み、問題意識を持って授業に臨むことが求められます。本授業の準備学習・復習時間は、各 1 〜 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
ガイダンス時に説明します。

【参考書】
授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】
各回の授業後に提出する 13 回分の小レポート課題を平常点として成績評価を行います。
各レポートの評価基準としては、各回の授業ごとに、主題を理解し、その内容を自らの言葉によって解釈し、表現していることとします。１回分の配分を 10 %とし、10 回のレポートによって合計 100 %として成績評価を行います。

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【Outline and objectives】
This course introduces the history of ideas of modern western philosophers.
From 16's century to 19's century philosophers thought about a fundamental principle of modern society.
The aim of this course is to guide students acquire an understanding of ideas of modern philosopher Thomas Hobbes,Jean-Jacques Rousseau,Immanuel Kant,and Georg Wilhelm Friedrich Hegel.

SOS200LA

社会思想ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

洪　貴義

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 3/Wed.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 2〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業ではヨーロッパにおける世紀転換期の思想史を学びます。西洋の 19 世紀末から 20 世紀初頭という転換期の歴史を踏まえて、マルクス、キルケゴール、ニーチェ、ウェーバー、フロイト、ベンヤミンらが根源から考察した人間、社会、歴史、芸術、政治についての思想史を学ぶことがこの授業の目的です。

【到達目標】
各思想家たちのものの見方、考え方を身につけることができる。
世紀転換期の歴史を理解し、もう一つの転換期である現代社会を思想家の目を通して自ら考えることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
2021 年度秋学期はコロナ対応のため、オンライン授業の予定です。詳細については初回ガイダンス時に説明します。提出された課題に対しては授業の中でフィードバックしていきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	講義のねらい、進め方、成績評価の方法等の説明
第 2 回	導入（1）	現代という時代の思想経験（1）
第 3 回	導入（2）	現代という時代の思想経験（2）
第 4 回	マルクス（1）	初期マルクス（1）
第 5 回	マルクス（2）	初期マルクス（2）
第 6 回	マルクス（3）	資本論の世界
第 7 回	ニーチェ（1）	ニヒリズム
第 8 回	ニーチェ（2）	力への意志
第 9 回	ウェーバー（1）	プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神
第 10 回	ウェーバー（2）	職業としての政治・職業としての学問
第 11 回	フロイト（1）	精神分析の誕生
第 12 回	フロイト（2）	認められたいの正体
第 13 回	ベンヤミン（1）	１９世紀の首都ーパリ
第 14 回	ベンヤミン（2）	歴史哲学テーゼ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
講義をうけるにあたって、文献を自ら進んで読み、問題意識を持って授業に臨むことが求められます。
本授業の準備学習・復習時間は、各 1 〜 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
ガイダンス時に説明します。

【参考書】
講義の中で説明します。

【成績評価の方法と基準】
各回の授業後に提出する 13 回分の小レポート課題を平常点として成績評価を行います。
各レポートの評価基準としては、各回の授業ごとに、主題を理解し、その内容を自らの言葉によって解釈し、表現していることとします。１回分の配分を 10 %とし、10 回のレポートによって合計 100 %として成績評価を行います。

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【Outline and objectives】
This course introduces the history of modern western ideas of the turn of the century from 19's to 20's. There was a fundamental transformation of ideas between the end of 19'century and the beginning of 20's century.
The aim of this course is to guide students acquire an understanding of the history of ideas of some philosophers, Karl Marx, Friedrich Nietzsches,
Max Weber,Sigmund Freud and Walter Benjamin.

MAT200LA

発展数学ＬⅠ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

池田　宏一郎

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 4/Thu.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 2〜4 **年**
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　**実務教員：**

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

〜 社会科学に必要不可欠な数学（１変数関数の微積分）〜

さまざまな社会現象が１変数関数で表現され、それらをより深く分析する手段が微分と積分である。微積分は、数理的解析を行うための基本的かつ重要な道具であり、応用も極めて広い。

【到達目標】
いろいろな微分法を用いて、導関数を求めることができる。さらに微分を用いて、関数のさまざまな性質（グラフの形など）を調べることができる。積分の定義を理解し、不定積分や定積分の計算ができる。さらに積分を用いて、面積・体積・長さを求めることができる。また、２変数関数の微分を扱う秋学期科目「発展数学 II」を履修する際に必要となる手法を身につけることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
例題を解くことを交えながら内容の説明を進める。授業中も説明を聞いたり板書を写したりするだけでなく、自ら問題を解いてみることが求められる。フィードバックは、学習支援システム等を通じて行う。なお，状況によりオンライン授業を併用する可能性もある。その際は，具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	導入	授業概要の説明
第 2 回	微分１	微分の定義と基本性質
第 3 回	微分２	積の微分，商の微分，合成関数の微分
第 4 回	微分３	陰関数の微分
第 5 回	微分４	曲線の傾きと極値
第 6 回	微分の応用１	曲線の凹凸と変曲点
第 7 回	微分の応用２	テイラー展開
第 8 回	微分の応用３	マクローリン展開
第 9 回	微分の応用４	近似計算
第 10 回	積分１	定積分と不定積分
第 11 回	積分２	リーマン積分
第 12 回	積分３	微分積分法の基本定理
第 13 回	積分の応用１	図形の面積
第 14 回	積分の応用２	立体の体積

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
演習問題を充分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
特に指定しない。例題などは印刷したものを授業中に配布する。

【参考書】
「基礎数学 I・II」の教科書である、藤田岳彦ほか『Primary 大学ノート よくわかる微分積分』実教出版 (2011) は参考になる。さらに学習する際は、微積分学を主題とした書物であれば参考となる。

【成績評価の方法と基準】
到達目標に関する問題の解決能力を期末試験（80 %）において、また、演習問題への取り組み具合を課題提出（20 %）において評価する。なお，状況によってはオンライン授業の併用の可能性もある。その場合は，成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は，授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
双方向の授業になるよう心がける。

【その他の重要事項】
この科目を履修するためには、「基礎数学 I・II」で取り扱う内容について、おおよそ理解していることが必要である。

【Outline and objectives】
This course deals with basic concepts and tools of mathematics, especially differentiation and integration of functions of one variable.

MAT200LA

発展数学ＬⅡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

池田　宏一郎

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**木** 4/Thu.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 2〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

〜 社会科学に必要不可欠な数学（２変数関数の微分）〜

社会現象を解析するために、複数の量の変化を調べる必要がでてくる。その際の基本的な道具が多変数関数であり、多変数関数の性質をより深く知るための手段が偏微分である。ここでは特に２変数関数を扱うが、この授業で学んだ内容は、多くの社会現象を網羅するはずである。

【到達目標】
与えられた２変数関数に対して、そのグラフの概形を理解できる。偏導関数の基本的な計算ができる。さらに、偏微分を用いて、グラフの正確な形を把握し、極値を求めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
例題を解くことを交えながら内容の説明を進める。授業中も説明を聞いたり板書を写したりするだけでなく、自ら問題を解いてみることが求められる。フィードバックは、学習支援システム等を通じて行う。なお，状況によりオンライン授業を併用する可能性もある。その際は，具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	導入	授業概要の説明
第 2 回	２変数関数１	多変数関数とは
第 3 回	２変数関数２	平面のグラフ
第 4 回	２変数関数３	曲面のグラフ
第 5 回	偏微分１	偏微分とは
第 6 回	偏微分２	極限値
第 7 回	偏微分３	偏導関数の計算
第 8 回	偏微分４	合成関数の微分
第 9 回	偏微分５	全微分と接平面
第 10 回	偏微分の応用１	極値問題
第 11 回	偏微分の応用２	陰関数の微分法
第 12 回	偏微分の応用３	条件付極値問題
第 13 回	重積分１	重積分とは
第 14 回	重積分２	体積

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
演習問題を充分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】
特に指定しない。例題などは印刷したものを学習支援システムで配布する。

【参考書】
「基礎数学 I・II」の教科書である、藤田岳彦ほか『Primary 大学ノート よくわかる微分積分』実教出版 (2011) は参考になる。さらに学習する際は、微積分学を主題とした書物であれば参考となる。

【成績評価の方法と基準】
到達目標に関する問題の解決能力を期末試験（80 %）において、また、演習問題への取り組み具合を課題提出（20 %）において評価する。なお，状況によってはオンライン授業の併用の可能性もある。その場合は，成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は，授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
双方向の授業になるよう心がける。

【その他の重要事項】
この科目を履修するためには、「発展数学 LI」で取り扱う内容について、おおよそ理解していることが必要である。

【Outline and objectives】
This course deals with basic concepts and tools of mathematics, especially differentiation and integration of functions of more than one variable.

MAT200LA

発展数学ＬＩ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

倉田　俊彦

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 2〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

〜 社会科学に必要不可欠な数学（１変数関数の微積分）〜

さまざまな社会現象が１変数関数で表現され、それらをより深く分析する手段が微分と積分である。微積分は、数理的解析を行うための基本的かつ重要な道具であり、応用も極めて広い。

【到達目標】
いろいろな微分法を用いて、導関数を求めることができる。さらに微分を用いて、関数のさまざまな性質（グラフの形など）を調べることができる。積分の定義を理解し、不定積分や定積分の計算ができる。さらに積分を用いて、面積・体積・長さを求めることができる。また、２変数関数の微分を扱う秋学期科目「発展数学Ｌ II」を履修する際に必要となる手法を身につけることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
例題を解くことを交えながら内容の説明を進める。授業中も説明を聞くだけでなく、自ら問題を解いてみることが求められる。課題等の提出・フィードバックは学習支援システムを通じて行う予定である。対面とオンラインのどちらの形式でも取り組めるようにする予定であるが，詳細は学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 01 回	導入	授業概要の説明
第 02 回	微分の導入１	導関数と曲線の傾き
第 03 回	微分の導入２	直線によるグラフの近似
第 04 回	微分の導入３	ニュートン法
第 05 回	関数の形式と微分１	合成関数の微分
第 06 回	関数の形式と微分２	陰関数と微分
第 07 回	関数の形式と微分３	媒介変数表示と微分
第 08 回	高階導関数１	２階導関数と曲線のしなり
第 09 回	高階導関数２	放物線によるグラフの近似
第 10 回	高階導関数３	マクローリン展開
第 11 回	高階導関数４	社会科学への応用例
第 12 回	積分１	積分と微分の関係
第 13 回	積分２	積分と面積の関係
第 14 回	試験	要点の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
練習問題を充分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。（計算などが上手くいかないときは、悲観的に考える必要は全くなく、むしろ自力を高める良い機会だと思いますので気軽に相談頂けたらと思います。）本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
指定しない。印刷した資料を授業で配布する。（資料配付等は授業支援システムからも入手できるようにします。）

【参考書】
微積分学を主題とした書物は参考となる。数多くの書籍が出版されているので、説明が自分に合っていると思うものを利用するとよい。

【成績評価の方法と基準】
到達目標に関する問題の解決能力を期末試験（30%）において、また、平常点 (10%) と共に演習問題への取り組み具合を課題提出（60%）において評価する。

【学生の意見等からの気づき】
紹介した応用例は専門科目の中でも扱われる機会がある様子ですので、履修者にとって、その後の学習で得ができるような内容を充実させていきたいと思います。

【その他の重要事項】
この科目を履修するためには、「基礎数学 I・II」で取り扱う内容について、おおよそ理解していることが必要である。

【Outline and objectives】
This course deals with basic concepts and tools of mathematics, especially differentiation and integration of functions of one variable.

MAT200LA

発展数学ＬⅡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

倉田　俊彦

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 2〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

〜 社会科学に必要不可欠な数学（２変数関数の微分）〜

社会現象を解析するために、複数の量の変化を調べる必要がでてくる。その際の基本的な道具が多変数関数であり、多変数関数の性質をより深く知るための手段が偏微分である。ここでは特に２変数関数を扱うが、この授業で学んだ内容は、多くの社会現象を網羅するはずである。

【到達目標】
与えられた２変数関数に対して、そのグラフの概形を理解できる。偏導関数の基本的な計算ができる。さらに、偏微分を用いて、グラフの正確な形を把握し、極値を求めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
例題を解くことを交えながら内容の説明を進める。授業中も説明を聞くだけでなく、自ら問題を解いてみることが求められる。課題等の提出・フィードバックは学習支援システムを通じて行う予定である。対面とオンラインのどちらの形式でも取り組めるようにする予定であるが，詳細は学習支援システムで提示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 01 回	導入	授業概要の説明
第 02 回	空間の数学１	空間ベクトルの基礎
第 03 回	空間の数学２	２変数の１次式と平面
第 04 回	空間の数学３	２変数の多項式と曲面
第 05 回	偏微分１	偏微分とその意味
第 06 回	偏微分２	偏導関数の計算
第 07 回	偏微分３	全微分と接平面
第 08 回	偏微分４	２変数関数と最適化
第 09 回	偏微分５	社会科学への応用
第 10 回	偏微分と極値１	２階偏導関数の計算
第 11 回	偏微分と極値２	２変数関数の極値の計算
第 12 回	偏微分と極値３	公務員試験での出題事例
第 13 回	偏微分と極値４	制約条件付きの極値の計算
第 14 回	試験	要点の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
練習問題を充分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。（計算などが上手くいかないときは、悲観的に考える必要は全くなく、むしろ自力を高める良い機会だと思いますので気軽に相談頂けたらと思います。）本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
指定しない。印刷した資料を授業で配布する。（資料配付等は授業支援システムからも入手できるようにします。）

【参考書】
微積分学を主題とした書物は参考となる。数多くの書籍が出版されているので、説明が自分に合っていると思うものを利用するとよい。

【成績評価の方法と基準】
到達目標に関する問題の解決能力を期末試験（30%）において、また、平常点 (10%) と共に演習問題への取り組み具合を課題提出（60%）において評価する。

【学生の意見等からの気づき】
紹介した応用例は専門科目の中でも扱われる機会がある様子ですので、履修者にとって、その後の学習で得ができるような内容を充実させていきたいと思います。

【その他の重要事項】
この科目を履修するためには、「基礎数学 I・II」で取り扱う内容について、おおよそ理解していることが必要である。

【Outline and objectives】
This course deals with basic concepts and tools of mathematics, especially differentiation and integration of functions of more than one variable.

PHY200LA

教養物理学 LA

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**宇宙と地球**

石川　壮一

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 2〜4 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
サブタイトルを「宇宙と地球」とする。
我々が住んでいる地球という惑星がどのような存在であるのか、地球を含む宇宙に関する理解がどのように進んでいるのか、地球と宇宙との関りがどのようになっているのか、というようなテーマについて、物理学の視点から理解を深める。

【到達目標】
・最近の観測により得られた宇宙や地球に関する知見への理解を深める。
・自然現象を基本法則から理解する態度を身につけ、基礎法則の応用力を養う。
・宇宙の中における地球の位置付けについて理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
・学習支援システムで配布する資料を用いて講義を行う。
・適時、理解度を確認するための課題を出題する。
・課題等の提出・フィードバックは学習支援システムを通じて行う。
・大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	はじめに	各回の講義概要
第 2 回	世界観の変遷	我々の住む世界（宇宙）に関する理解の歴史
第 3 回	我々の住む地球 (1)	地球の形と大きさ、表面（大気圏、海）の概要
第 4 回	我々の住む地球 (2)	地球の内部構造を調べる方法とその結果わかったこと
第 5 回	我々の住む地球 (3)	大気圏外、オーロラ、地球に対する太陽の影響
第 6 回	色々な天体	地上から観測できる天体の種類とその階層性について
第 7 回	天体の光	天体の光の観測から何がわかるか
第 8 回	宇宙観の広がり	宇宙はどこまで広がっているか
第 9 回	星の一生と元素合成 (1)	恒星の誕生、星の中で行われている元素合成
第 10 回	星の一生と元素合成 (2)	恒星の死、超新星爆発、中性子星、パルサー、ブラックホール
第 11 回	太陽系 (1)	太陽系のあらまし
第 12 回	太陽系 (2)	太陽系の誕生（太陽、地球の誕生）、太陽系外惑星の探査
第 13 回	太陽系 (3)	誕生後の地球で起こったこと
第 14 回	宇宙の謎	現代の宇宙の謎である暗黒物質、暗黒エネルギー

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回、学習支援システムで提示する講義資料を用いて講義内容の予習と復習をしておくこと。

【テキスト（教科書）】
テキストは特に設けないが、講義資料は学習支援システムを用いて提示する。

【参考書】
・「物理学入門」大西直毅著（東京大学出版会、1996）
・「物理学への招待」大槻義彦著（培風館、1989）
・シップマン・自然科学入門「新物理学」（増補改訂版）J. T. Shipman 著、勝守寛監訳（学術図書出版社、2002）
（その他、必要に応じて授業中に紹介する。）

【成績評価の方法と基準】
期末試験、平常点（演習問題を含む）を総合して評価する。
配分は、期末試験の結果を６割程度とする

【学生の意見等からの気づき】
予習・復習のための参考資料や課題をもう少し充実させたい。

【学生が準備すべき機器他】
資料配布のために学習支援システムを利用する。

【Outline and objectives】
This class introduces physics point of view to understand various phenomena about the earth and the universe.

PHY200LA

教養物理学 LA

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

石川　壮一

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 2〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
サブタイトルを「宇宙と地球」とする。
我々が住んでいる地球という惑星がどのような存在であるのか、地球を含む宇宙に関する理解がどのように進んでいるのか、地球と宇宙との関りがどのようになっているのか、というようなテーマについて、物理学の視点から理解を深める。

【到達目標】
・最近の観測により得られた宇宙や地球に関する知見への理解を深める。
・自然現象を基本法則から理解する態度を身につけ、基礎法則の応用力を養う。
・宇宙の中における地球の位置付けについて理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
・学習支援システムで配布する資料を用いて講義を行う。
・適時、理解度を確認するための課題を出題する。
・課題等の提出・フィードバックは学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	はじめに	各回の講義概要
第 2 回	世界観の変遷	我々の住む世界（宇宙）に関する理解の歴史
第 3 回	我々の住む地球 (1)	地球の形と大きさ、表面（大気圏、海）の概要
第 4 回	我々の住む地球 (2)	地球の内部構造を調べる方法とその結果わかったこと
第 5 回	我々の住む地球 (3)	大気圏外、オーロラ、地球に対する太陽の影響
第 6 回	色々な天体	地上から観測できる天体の種類とその階層性について
第 7 回	天体の光	天体の光の観測から何がわかるか
第 8 回	宇宙観の広がり	宇宙はどこまで広がっているか
第 9 回	星の一生と元素合成 (1)	恒星の誕生、星の中で行われている元素合成
第 10 回	星の一生と元素合成 (2)	恒星の死、超新星爆発、中性子星、パルサー、ブラックホール
第 11 回	太陽系 (1)	太陽系のあらまし
第 12 回	太陽系 (2)	太陽系の誕生（太陽、地球の誕生）、太陽系外惑星の探査
第 13 回	太陽系 (3)	誕生後の地球で起こったこと
第 14 回	宇宙の謎	現代の宇宙の謎である暗黒物質、暗黒エネルギー

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回、学習支援システムで提示する講義資料を用いて講義内容の予習と復習をしておくこと。

【テキスト（教科書）】
テキストは特に設けないが、講義資料は学習支援システムを用いて提示する。

【参考書】
・「物理学入門」大西直毅著（東京大学出版会、1996）
・「物理学への招待」大槻義彦著（培風館、1989）
・シップマン・自然科学入門「新物理学」（増補改訂版）J. T. Shipman 著、勝守寛監訳（学術図書出版社、2002）
（その他、必要に応じて授業中に紹介する。）

【成績評価の方法と基準】
期末試験、平常点（演習問題を含む）を総合して評価する。
配分は、期末試験の結果を６割程度とする

【学生の意見等からの気づき】
予習・復習のための参考資料や課題をもう少し充実させたい。

【学生が準備すべき機器他】
資料配布のために学習支援システムを利用する。

【Outline and objectives】
This class introduces physics point of view to understand various phenomena about the earth and the universe.

PHY200LA

教養物理学 LB

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

吉田　智

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火** 2/Tue.2
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 2〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
様々な物理学的な発見はどのようにしてなされてきたのか。物理学上の幾つかの事柄について、歴史的な経緯を踏まえつつ紹介する。また、内容の理解を深めると共に、他の分野に与えた影響についても紹介したい。最新の研究も合わせて紹介する予定である。

【到達目標】
単に結果のみでなく、そこに至るプロセスや社会への影響等を学ぶことによって、様々な現象に対して自分自身で判断する能力を身に付けることができるようにすることを目標としている。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
スライドと共に、資料を配付する講義形式で行います。難しい数式はできるだけ避け、時にはビデオ・実験装置を使用する予定です。随時最新の話題を取り入れながら、物理の基礎知識がなくても理解してもらえるように進めていきます。適宜、授業内での課題や質問に対する解説も行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	はじめに	講義全体について紹介する。
第 2 回	万有引力：ガリレオ研究	17 世紀のガリレオの研究について紹介する。
第 3 回	万有引力：ケプラーの研究	17 世紀のケプラーの研究について紹介する。
第 4 回	万有引力：万有引力の法則	万有引力の法則、それに付随してキャベンディシュの研究についても紹介する。
第 5 回	万有引力：万有引力の証明	ハレー彗星や惑星の運動について紹介する。
第 6 回	宇宙：太陽系	第 4 回に関連して地球について、更に太陽系の天体について紹介する。
第 7 回	宇宙：アポロ計画	1960 年代のアポロ計画を中心に、宇宙開発について紹介する。
第 8 回	宇宙：スペースシャトル計画	1980 年代のスペースシャトル計画を中心とした宇宙開発について紹介する。
第 9 回	宇宙：冥王星探査・小惑星探査計画	地球上の生命はどこから来たのか。2000 年代の冥王星探査・小惑星探査等について紹介する。
第 10 回	ラジウム：原子核	原子核について紹介する。
第 11 回	ラジウム：マリ・キュリー	マリ・キュリーの研究について紹介する。
第 12 回	ラジウム：ラジウム狂詩曲	ラジウム発見による当時の騒動について紹介する。

第 13 回	ラジウム：原子核の応用について	マリ・キュリーが目指した応用等について紹介する。
第 14 回	まとめ	全体のまとめを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
次回以降の講義内容の理解を助けるためにも、内容を復習しておくことが必要です。本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
教科書は使用せず、資料を配布します。

【参考書】
授業内で適宜紹介する予定です。

【成績評価の方法と基準】
「学習支援システム」からの課題 70%と期末試験の成績 30%で評価します。

【学生の意見等からの気づき】
改善アンケートの記載は特にありませんでしたが、授業内容の質問には授業内や「学習支援システム」を使用して対応したいと思います。

【Outline and objectives】
This course teaches some subjects of physics based on historical episode.

PHY200LA

教養物理学 LB

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

吉田　智

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**火** 5/Tue.5
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 2〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
様々な物理学的な発見はどのようにしてなされてきたのか。物理学上の幾つかの事柄について、歴史的な経緯を踏まえつつ紹介する。また、内容の理解を深めると共に、他の分野に与えた影響についても紹介したい。最新の研究も合わせて紹介する予定である。

【到達目標】
単に結果のみでなく、そこに至るプロセスや社会への影響等を学ぶことによって、様々な現象に対して自分自身で判断する能力を身に付けることができるようにすることを目標としている。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
スライドと共に、資料を配付する講義形式で行います。難しい数式はできるだけ避け、時にはビデオ・実験装置を使用する予定です。随時最新の話題を取り入れながら、物理の基礎知識がなくても理解してもらえるように進めていきます。適宜、授業内での課題や質問に対する解説も行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	はじめに	講義全体について紹介する。
第 2 回	万有引力：ガリレオ研究	17 世紀のガリレオの研究について紹介する。
第 3 回	万有引力：ケプラーの研究	17 世紀のケプラーの研究について紹介する。
第 4 回	万有引力：万有引力の法則	万有引力の法則、それに付随してキャベンディシュの研究についても紹介する。
第 5 回	万有引力：万有引力の証明	ハレー彗星や惑星の運動について紹介する。
第 6 回	宇宙：太陽系	第 4 回に関連して地球について、更に太陽系の天体について紹介する。
第 7 回	宇宙：アポロ計画	1960 年代のアポロ計画を中心に、宇宙開発について紹介する。
第 8 回	宇宙：スペースシャトル計画	1980 年代のスペースシャトル計画を中心とした宇宙開発について紹介する。
第 9 回	宇宙：冥王星探査・小惑星探査計画	地球上の生命はどこから来たのか。2000 年代の冥王星探査・小惑星探査等について紹介する。
第 10 回	ラジウム：原子核	原子核について紹介する。
第 11 回	ラジウム：マリ・キュリー	マリ・キュリーの研究について紹介する。
第 12 回	ラジウム：ラジウム狂詩曲	ラジウム発見による当時の騒動について紹介する。

第 13 回	ラジウム：原子核の応用について	マリ・キュリーが目指した応用等について紹介する。
第 14 回	まとめ	全体のまとめを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
次回以降の講義内容の理解を助けるためにも、内容を復習しておくことが必要です。本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
教科書は使用せず、資料を配布します。

【参考書】
授業内で適宜紹介する予定です。

【成績評価の方法と基準】
「学習支援システム」からの課題 70%と期末試験の成績 30%で評価します。

【学生の意見等からの気づき】
改善アンケートの記載は特にありませんでしたが、授業内容の質問には授業内や「学習支援システム」を使用して対応したいと思います。

【Outline and objectives】
This course teaches some subjects of physics based on historical episode.

BIO200LA

教養生物学ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**私たちの体を作る細胞の構造と働き**

沼田　治

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：2 **単位**
法文営国環キ 1〜4 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
我々の体は、37 兆 2 千億個の細胞から構成されていると言われている。この授業では、我々の体を構成する細胞について理解することを目的とする。学生諸君が自分の体を構成する基本単位である細胞の実態を理解できる授業を展開する。学生諸君が生活の中で毎日経験している活動、外界からの情報を感じて行動するしくみ、食事からエネルギーを獲得し、エネルギーを利用して運動することなどを、細胞レベルから理解することを目指す。自分の体を構成する細胞について学ぶことで、命の本質を理解してもらいたい。

【到達目標】
私たちの体を構成している細胞がどのような構造をしているのか、細胞がどのような働きをしているのかを学び、細胞が活動するエネルギーがどのように作られるのか、細胞がどのように動くのか、細胞がどのように増えるのか、細胞がどのように組織や器官を形成するのかを理解する。生命の最小単位である細胞についての最新の知見をベースとして、我々が生きているということ、生命の本質について、理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義を主に授業は進める。随時、質問等質疑応答を行い、学生諸君が積極的に授業に参加できるように授業を進める。また、3 回目、6 回目、9 回目、12 回目の授業の後にレポート課題を出し、授業内容理解の向上を目指す。レポートと同時に授業改善を目的とする簡単なアンケートを実施する。
リアクションペーパー提出やレポート課題、授業改善アンケート等に対するフィードバックは次回以降の授業で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	細胞膜が細胞を外界から区切っている	細胞膜の構造と働きについて理解する。細胞膜を介しての外界との物質のやり取りと、神経の興奮の伝播を例にして、解説する。
2 回	遺伝子は染色体の中に収納され、核の中に保存されている	遺伝子を保存している核の構造について理解する。遺伝子を収納している染色体の構造と、その働きについて解説する。
3 回	ミトコンドリアはエネルギーを産生し、葉緑体は炭水化物を合成する	我々に不可欠なエネルギーを生産するミトコンドリアと、光と二酸化炭素から炭水化物を生産する葉緑体の働きを理解する。
4 回	細胞骨格とは何か？	細胞の形態維持や、細胞の運動に関わる、細胞の骨格を構成する成分について説明する。特に筋肉を例にして理解を深める。

5 回	細胞骨格を動かす細胞内モーター	細胞の中にもモーターがあり、それらの働きで我々は動くことができる。細胞内モーターの実態について、筋肉と精子を例にして解説する。
6 回	細胞が運動するしくみとその働き	細胞骨格と細胞内モーターの働きで、細胞は運動する。その具体的な仕組みに関して、筋収縮と細胞のアメーバ運動を例に挙げて解説する。
7 回	細胞質でタンパク質が作られる	遺伝子に蓄えられた遺伝情報はタンパク質を作る情報である。タンパク質がどのように作られるかを解説する。
8 回	作られたタンパク質は働く場所に運ばれる	タンパク質は働くべき場所が決まっている。どのようにタンパク質が働く場所に運ばれるかを解説する。
9 回	細胞は分泌し、細胞は取り込む	細胞がホルモンや消化酵素を分泌するしくみと、細胞が糖や脂肪を取り込む仕組みについて解説する。
10 回	細胞はシグナルをやり取りしている	細胞は外からシグナルを受け取り、そのシグナルを細胞内に伝達する。細胞間シグナル伝達と細胞内シグナル伝達について解説する。
11 回	細胞はどのように増殖するか？	細胞は細胞分裂を行って増殖する。細胞分裂は、核が分裂したのちに細胞質が分裂して完了する。核分裂と細胞質分裂のしくみを解説する。
12 回	細胞は遺伝子を複製した後に分裂する	細胞は遺伝子の複製と分裂を繰り返している。これを細胞周期と呼ぶ。細胞周期を調節するしくみについて説明する。
13 回	私たちの体と細胞	私たちの体を構成する上皮組織、結合組織、筋組織、神経組織とそれらを構成する細胞について説明する。
14 回	私たちは感じて行動する	私たちの行動と細胞の関係を、神経細胞の興奮伝達と筋肉の運動を例に挙げ、分子レベルで解説する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習のためにテキストを事前に読むこと、復習のためにテキストの演習問題を行うことが望ましい。

【テキスト（教科書）】
教科書名：「細胞生物学」
著者：　沼田治編著、千葉智樹、中野賢太郎、中田和人著
出版社：　化学同人
出版年：　2012 年第 1 版発行
価格：　3,000 円

【参考書】
参考書は指定しません。

【成績評価の方法と基準】
3 回目、6 回目、9 回目、12 回目の授業の後にレポート課題を出す。4 回のレポートの評価点と期末試験の点で成績評価を行う。4 回のレポートの評価点を 50 %、期末試験の成績を 50 %として、合計 100 %として、成績評価を行う。

【学生の意見等からの気づき】
毎回、授業に関する質問や意見をリアクションペーパーに記載してもらい、授業改善に役立てる。
3 回目、6 回目、9 回目、12 回目の授業の後に、レポート課題を出す。その時に授業改善アンケートを実施し、その結果を授業の改善に役立てる。
リアクションペーパー提出やレポート課題、授業改善アンケート等に対するフィードバックは次回以降の授業で行います。

【学生が準備すべき機器他】
特になし

【その他の重要事項】
オフィスアワー:月曜日の 4 時限終了後、16 ： 40 から 18 ： 00 まで

【Outline and objectives】
Our body is said to be composed of 37.2 trillion cells. The purpose of this lesson is to understand the cells that make up our body. We develop classes that allow students to understand the actual conditions of cells, which are basic units that make up their bodies. A class that allows students to understand the activities they are experiencing everyday in their lives, how they feel and act from the outside world, acquire energy from diet, exercise using energy, etc. . I would like you to understand the essence of life by learning about the cells that make up your body.

BIO200LA

教養生物学ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**不思議な生物テトラヒメナが教えてくれたこと**

沼田　治

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
テトラヒメナはノーベル賞に輝いたリボザイムとテロメアの発見に導いた研究材料である。現在でも、テトラヒメナを研究材料として、ヒストンの化学修飾によるエピジェネティック調節や低分子 RNA による遺伝子再編成などの発見がなされている。本講義では、テトラヒメナを用いて明らかにされた素晴らしい研究成果を紹介し、学生諸君が現代生物学の最先端を理解することを目的とする。さらに、学生諸君は研究者がテトラヒメナを利用して、いかに生物学の大発見に到達したかを学び、生物学の面白さとテトラヒメナの不思議を理解してもらいたい。

【到達目標】
テトラヒメナを研究材料として明らかにされた生物学上の大発見について学ぶ。リボザイムの発見が生命誕生のなぞの解明につながったこと、テロメアの発見が我々の老化のしくみの理解に貢献していること、エピジェネティック調節が個体の発生分化を調節していること、エピジェネティック調節がガン化にも関係していることなどを学ぶ。水たまりにいる単細胞生物、テトラヒメナが現代生物学の進歩に如何に貢献したかを理解し、研究材料の重要さと研究者の熱意が大発見につながること、その発見が我々の人生にも影響していることを理解してもらいたい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義を主に授業は進める。随時、質問等質疑応答を行い、学生諸君が積極的に授業に参加できるように授業を進める。また、3 回目、6 回目、9 回目、12 回目の授業の後にレポート課題を出し、授業内容理解の向上を目指す。レポートと同時に授業改善を目的とする簡単なアンケートを実施する。
リアクションペーパー提出やレポート課題、授業改善アンケート等に対するフィードバックは次回以降の授業で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	不思議な生物テトラヒメナ	テトラヒメナの不思議な性質を紹介する。具体的には、2 種類の核を持つこと、7 つの性を持つこと、細胞口と細胞肛門と収縮胞を持つことなど。
2 回	テトラヒメナの小核（生殖核）と大核（栄養核）の働き	テトラヒメナが持つ 2 種類の核、生殖核と栄養核の働きを、我々の体を構成する生殖細胞と体細胞と比較しながら説明する。
3 回	テトラヒメナは 7 つの性を持つ。生物の性とは何か？	テトラヒメナは 7 つの性を持つが、ほとんどの生物は 2 つの性しか持たない。生物の性とは何か、性を決めるしくみは何かを学ぶ。
4 回	テトラヒメナの繊毛を動かすモータータンパク質	精子の鞭毛運動や、テトラヒメナの繊毛運動を引きおこすモータータンパク質、ダイニンの発見と、ダイニンの性状について紹介する。
5 回	染色体末端構造テロメアの発見	染色体の末端問題と染色体末端構造であるテロメアの発見、テロメアを合成するテロメラーゼの発見について紹介する。
6 回	テロメアは生物の寿命を決めるか？	生物の寿命とは何か？ 生殖細胞、体細胞、そして不死化したガン細胞のテロメアから生物の寿命について考察する。
7 回	酵素活性を持つ RNA, リボザイムの発見	テトラヒメナの RNA が酵素活性を持つことが発見された。リボザイムの発見である。その発見の経緯と、リボザイムの働きを解説する。
8 回	リボザイムはセントラルドグマを覆すか？	セントラルドグマでは遺伝情報は「DNA→mRNA→ タンパク質」の順に伝達される。生命誕生は DNA からか？ タンパク質からか？ それが問題だ。リボザイムの発見はこの問題に解答を出した。
9 回	大核分化で生じる DNA 再編成	接合過程で、小核から大核が分化する時、DNA の大規模な再編成が起きる。我々の体の中で起きる DNA の組み換えと比較して、テトラヒメナの DNA 再編成について解説する。
10 回	大核の DNA 再編成を指揮する scnRNA	大核の大規模な DNA 再編成をコントロールしている scnRNA の発見と scnRNA の働きについて解説する。
11 回	遺伝子の発現を調節するヒストンの化学修飾	大核は盛んに遺伝子発現し、小核は全く遺伝子発現しない。この違いの原因は何と DNA が巻き付いているヒストンの化学修飾であった。ヒストンの化学修飾が遺伝子発現を調節するしくみを解説する。
12 回	ヒストンの化学修飾による遺伝子発現調節はすべての生物で起きている。	ヒストンの化学修飾による遺伝子発現調節はエピジェネティック調節と呼ばれている。エピジェネティック調節による発生分化の調節について解説する。
13 回	テトラヒメナの 7 つの性を司る DNA 再編成	テトラヒメナが持つ 7 つの性が、どのような遺伝子によって調節されているか、どのように個体の性が決まるかが明らかになった。大核の DNA 再編成によって，7 つの性のから一つが選択されるしくみを説明する。
14 回	テトラヒメナが教えてくれたこと	45 年間テトラヒメナを研究材料として、研究してきた沼田治にテトラヒメナが教えてくれたこと。研究者と研究材料の間の交流、交感について話す。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習のためにテキストを事前に読むことが望ましい。

【テキスト（教科書）】
教科書名：ノーベル賞に二度も輝いた不思議な生物　テトラヒメナの魅力
著者：　沼田治
出版社：　慶応義塾大学出版会
出版年：　2018 年 10 月 12 日
価格：　1,800 円

【参考書】
参考書は指定しません。

【成績評価の方法と基準】
3 回目、6 回目、9 回目、12 回目の授業の後にレポート課題を出す。4 回のレポートの評価点と期末試験の点で成績評価を行う。4 回のレポートの評価点を 50 %、期末試験の成績を 50 %として、合計 100 %として、成績評価を行う。

【学生の意見等からの気づき】
毎回、授業に関する質問や意見をリアクションペーパーに記載してもらい、授業改善に役立てる。
3 回目、6 回目、9 回目、12 回目の授業の後に、レポート課題を出す。その時に授業改善アンケートを実施し、その結果を授業の改善に役立てる。
リアクションペーパー提出やレポート課題、授業改善アンケート等に対するフィードバックは次回以降の授業で行います。

【学生が準備すべき機器他】
特になし

【その他の重要事項】
オフィスアワー:月曜日の 4 時限終了後、16 ： 40 から 18 ： 00 まで

【Outline and objectives】
Tetrahymena is a research material that led to the discovery of ribozymes and the telomere, which won the Nobel Prize. Even now, discoveries such as epigenetic regulation by chemically modifying histones and genetic reediting by low-molecular RNA have been made using Tetrahymena as a research material. In this lecture, we introduce wonderful research results revealed using Tetrahymena, with the aim of students to understand the cutting edge of modern biology. In addition, students want to learn how researchers have reached a major discovery of biology by using Tetrahymena and understand the interest of biology and the wonders of Tetrahymena.

BIO200LA

教養生物学ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**私たちの体を作る細胞の構造と働き**

沼田　治

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
我々の体は、37 兆 2 千億個の細胞から構成されていると言われている。この授業では、我々の体を構成する細胞について理解することを目的とする。学生諸君が自分の体を構成する基本単位である細胞の実態を理解できる授業を展開する。学生諸君が生活の中で毎日経験している活動、外界からの情報を感じて行動するしくみ、食事からエネルギーを獲得し、エネルギーを利用して運動することなどを、細胞レベルから理解することを目指す。自分の体を構成する細胞について学ぶことで、命の本質を理解してもらいたい。

【到達目標】
私たちの体を構成している細胞がどのような構造をしているのか、細胞がどのような働きをしているのかを学び、細胞が活動するエネルギーがどのように作られるのか、細胞がどのように動くのか、細胞がどのように増えるのか、細胞がどのように組織や器官を形成するのかを理解する。生命の最小単位である細胞についての最新の知見をベースとして、我々が生きているということ、生命の本質について、理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義を主に授業は進める。随時、質問等質疑応答を行い、学生諸君が積極的に授業に参加できるように授業を進める。また、3 回目、6 回目、9 回目、12 回目の授業の後にレポート課題を出し、授業内容理解の向上を目指す。レポートと同時に授業改善を目的とする簡単なアンケートを実施する。
リアクションペーパー提出やレポート課題、授業改善アンケート等に対するフィードバックは次回以降の授業で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	細胞膜が細胞を外界から区切っている	細胞膜の構造と働きについて理解する。細胞膜を介しての外界との物質のやり取りと、神経の興奮の伝播を例にして、解説する。
2 回	遺伝子は染色体の中に収納され、核の中に保存されている	遺伝子を保存している核の構造について理解する。遺伝子を収納している染色体の構造と、その働きについて解説する。
3 回	ミトコンドリアはエネルギーを産生し、葉緑体は炭水化物を合成する	我々に不可欠なエネルギーを生産するミトコンドリアと、光と二酸化炭素から炭水化物を生産する葉緑体の働きを理解する。
4 回	細胞骨格とは何か？	細胞の形態維持や、細胞の運動に関わる、細胞の骨格を構成する成分について説明する。特に筋肉を例にして理解を深める。

5 回	細胞骨格を動かす細胞内モーター	細胞の中にもモーターがあり、それらの働きで我々は動くことができる。細胞内モーターの実態について、筋肉と精子を例にして解説する。
6 回	細胞が運動するしくみとその働き	細胞骨格と細胞内モーターの働きで、細胞は運動する。その具体的な仕組みに関して、筋収縮と細胞のアメーバ運動を例に挙げて解説する。
7 回	細胞質でタンパク質が作られる	遺伝子に蓄えられた遺伝情報はタンパク質を作る情報である。タンパク質がどのように作られるかを解説する。
8 回	作られたタンパク質は働く場所に運ばれる	タンパク質は働くべき場所が決まっている。どのようにタンパク質が働く場所に運ばれるかを解説する。
9 回	細胞は分泌し、細胞は取り込む	細胞がホルモンや消化酵素を分泌するしくみと、細胞が糖や脂肪を取り込む仕組みについて解説する。
10 回	細胞はシグナルをやり取りしている	細胞は外からシグナルを受け取り、そのシグナルを細胞内に伝達する。細胞間シグナル伝達と細胞内シグナル伝達について解説する。
11 回	細胞はどのように増殖するか？	細胞は細胞分裂を行って増殖する。細胞分裂は、核が分裂したのちに細胞質が分裂して完了する。核分裂と細胞質分裂のしくみを解説する。
12 回	細胞は遺伝子を複製した後に分裂する	細胞は遺伝子の複製と分裂を繰り返している。これを細胞周期と呼ぶ。細胞周期を調節するしくみについて説明する。
13 回	私たちの体と細胞	私たちの体を構成する上皮組織、結合組織、筋組織、神経組織とそれらを構成する細胞について説明する。
14 回	私たちは感じて行動する	私たちの行動と細胞の関係を、神経細胞の興奮伝達と筋肉の運動を例に挙げ、分子レベルで解説する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。予習のためにテキストを事前に読むこと、復習のためにテキストの演習問題を行うことが望ましい。

【テキスト（教科書）】
教科書名：「細胞生物学」
著者：　沼田治編著、千葉智樹、中野賢太郎、中田和人著
出版社：　化学同人
出版年：　2012 年第 1 版発行
価格：　3,000 円

【参考書】
参考書は指定しません。

【成績評価の方法と基準】
3 回目、6 回目、9 回目、12 回目の授業の後にレポート課題を出す。4 回のレポートの評価点と期末試験の点で成績評価を行う。4 回のレポートの評価点を 50 %、期末試験の成績を 50 %として、合計 100 %として、成績評価を行う。

【学生の意見等からの気づき】
毎回、授業に関する質問や意見をリアクションペーパーに記載してもらい、授業改善に役立てる。
3 回目、6 回目、9 回目、12 回目の授業の後に、レポート課題を出す。その時に授業改善アンケートを実施し、その結果を授業の改善に役立てる。
リアクションペーパー提出やレポート課題、授業改善アンケート等に対するフィードバックは次回以降の授業で行います。

【学生が準備すべき機器他】
特になし

【その他の重要事項】
オフィスアワー:月曜日の 4 時限終了後、16 ： 40 から 18 ： 00 まで

【Outline and objectives】
Our body is said to be composed of 37.2 trillion cells. The purpose of this lesson is to understand the cells that make up our body. We develop classes that allow students to understand the actual conditions of cells, which are basic units that make up their bodies. A class that allows students to understand the activities they are experiencing everyday in their lives, how they feel and act from the outside world, acquire energy from diet, exercise using energy, etc. . I would like you to understand the essence of life by learning about the cells that make up your body.

BIO200LA

教養生物学ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**不思議な生物テトラヒメナが教えてくれたこと**

沼田　治

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
テトラヒメナはノーベル賞に輝いたリボザイムとテロメアの発見に導いた研究材料である。現在でも、テトラヒメナを研究材料として、ヒストンの化学修飾によるエピジェネティック調節や低分子 RNA による DNA 再編成などの発見がなされている。本講義では、テトラヒメナを用いて明らかにされた素晴らしい研究成果を紹介し、学生諸君が現代生物学の最先端を理解することを目的とする。さらに、学生諸君は研究者がテトラヒメナを利用して、いかに生物学の大発見に到達したかを学び、生物学の面白さとテトラヒメナの不思議を理解してもらいたい。

【到達目標】
テトラヒメナを研究材料として明らかにされた生物学上の大発見について学ぶ。リボザイムの発見が生命誕生のなぞの解明につながったこと、テロメアの発見が我々の老化のしくみの理解に貢献していること、エピジェネティック調節が個体の発生分化を調節していること、エピジェネティック調節がガン化にも関係していることなどを学ぶ。水たまりにいる単細胞生物、テトラヒメナが現代生物学の進歩に如何に貢献したかを理解し、研究材料の重要さと研究者の熱意が大発見につながること、その発見が我々の人生にも影響していることを理解してもらいたい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義を主に授業は進める。随時、質問等質疑応答を行い、学生諸君が積極的に授業に参加できるように授業を進める。また、3 回目、6 回目、9 回目、12 回目の授業の後にレポート課題を出し、授業内容理解の向上を目指す。レポートと同時に授業改善を目的とする簡単なアンケートを実施する。
リアクションペーパー提出やレポート課題、授業改善アンケート等に対するフィードバックは次回以降の授業で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	不思議な生物テトラヒメナ	テトラヒメナの不思議な性質を紹介する。具体的には、2 種類の核を持つこと、7 つの性を持つこと、細胞口と細胞肛門と収縮胞を持つことなど。
2 回	テトラヒメナの小核（生殖核）と大核（栄養核）の働き	テトラヒメナが持つ 2 種類の核、生殖核と栄養核の働きを、我々の体を構成する生殖細胞と体細胞と比較しながら説明する。
3 回	テトラヒメナは 7 つの性を持つ。生物の性とは何か？	テトラヒメナは 7 つの性を持つが、ほとんどの生物は 2 つの性しか持たない。生物の性とは何か、性を決めるしくみは何かを学ぶ。
4 回	テトラヒメナの繊毛を動かすモータータンパク質	精子の鞭毛運動や、テトラヒメナの繊毛運動を引きおこすモータータンパク質、ダイニンの発見と、ダイニンの性状について紹介する。
5 回	染色体末端構造テロメアの発見	染色体の末端問題と染色体末端構造であるテロメアの発見、テロメアを合成するテロメラーゼの発見について紹介する。
6 回	テロメアは生物の寿命を決めるか？	生物の寿命とは何か？ 生殖細胞、体細胞、そして不死化したガン細胞のテロメアから生物の寿命について考察する。
7 回	酵素活性を持つ RNA, リボザイムの発見	テトラヒメナの RNA が酵素活性を持つことが発見された。リボザイムの発見である。その発見の経緯と、リボザイムの働きを解説する。
8 回	リボザイムはセントラルドグマを覆すか？	セントラルドグマでは遺伝情報は「DNA→mRNA→ タンパク質」の順に伝達される。生命誕生は DNA からか？ タンパク質からか？ それが問題だ。リボザイムの発見はこの問題に解答を出した。
9 回	大核分化で生じる DNA 再編成	接合過程で、小核から大核が分化する時、DNA の大規模な再編成が起きる。我々の体の中で起きる DNA の組み換えと比較して、テトラヒメナの DNA 再編成について解説する。
10 回	大核の DNA 再編成を指揮する scnRNA	大核の大規模な DNA 再編成をコントロールしている scnRNA の発見と scnRNA の働きについて解説する。
11 回	遺伝子の発現を調節するヒストンの化学修飾	大核は盛んに遺伝子発現し、小核は全く遺伝子発現しない。この違いの原因は何と DNA が巻き付いているヒストンの化学修飾であった。ヒストンの化学修飾が遺伝子発現を調節するしくみを解説する。
12 回	ヒストンの化学修飾による遺伝子発現調節はすべての生物で起きている。	ヒストンの化学修飾による遺伝子発現調節はエピジェネティック調節と呼ばれている。エピジェネティック調節による発生分化の調節について解説する。
13 回	テトラヒメナの 7 つの性を司る DNA 再編成	テトラヒメナが持つ 7 つの性が、どのような遺伝子によって調節されているか、どのように個体の性が決まるかが明らかになった。大核の DNA 再編成によって，7 つの性のから一つが選択されるしくみを説明する。
14 回	テトラヒメナが教えてくれたこと	45 年間テトラヒメナを研究材料として、研究してきた沼田治にテトラヒメナが教えてくれたこと。研究者と研究材料の間の交流、交感について話す。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
テキストを事前に読むことと、授業の後にも復習のためテキストを読むことが望ましい。

【テキスト（教科書）】
教科書名：ノーベル賞に二度も輝いた不思議な生物　テトラヒメナの魅力
著者：　沼田治
出版社：　慶応義塾大学出版会
出版年：　2018 年 10 月 12 日
価格：　1,800 円

【参考書】
特に指定しない

【成績評価の方法と基準】
3 回目、6 回目、9 回目、12 回目の授業の後にレポート課題を出す。4 回のレポートの評価点と期末試験の点で成績評価を行う。4 回のレポートの評価点を 50 %、期末試験の成績を 50 %として、合計 100 %として、成績評価を行う。

【学生の意見等からの気づき】
毎回、授業に関する質問や意見をリアクションペーパーに記載してもらい、授業改善に役立てる。
3 回目、6 回目、9 回目、12 回目の授業の後に、レポート課題を出す。その時に授業改善アンケートを実施し、その結果を授業の改善に役立てる。
リアクションペーパー提出やレポート課題、授業改善アンケート等に対するフィードバックは次回以降の授業で行います。

【学生が準備すべき機器他】
特になし

【その他の重要事項】
オフィスアワー:月曜日の 4 時限終了後、16 ： 40 から 18 ： 00 まで

【Outline and objectives】
Tetrahymena is a research material that led to the discovery of ribozymes and the telomere, which won the Nobel Prize. Even now, discoveries such as epigenetic regulation by chemically modifying histones and genetic reediting by low-molecular RNA have been made using Tetrahymena as a research material. In this lecture, we introduce wonderful research results revealed using Tetrahymena, with the aim of students to understand the cutting edge of modern biology. In addition, students want to learn how researchers have reached a major discovery of biology by using Tetrahymena and understand the interest of biology and the wonders of Tetrahymena.

BIO200LA

教養生物学ＬＣ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

町田　郁子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業は、『命とはなにか？』という問いをテーマに掲げて、生物学の立場から生物に共通する生命機能に対する理解を深め、命について考えることを目的として展開します。地球上に存在する多種多様な生物は、すべて細胞から構成されており、生物の遺伝形質は細胞内に収納されている遺伝子によって決定されています。この、細胞・遺伝子について学ぶことによって、「生命はなにからできているのか？」、「命はどのようにしてこの世に誕生するのか？」、「なぜ病気になるのか？」などの問いに対する答えを見つけていきます。また、この非常に複雑で精巧な生命のしくみに手を加える技術が近年急速に発展していますが、再生医療等の分野へどのように応用されているのか、またどのような倫理的課題をもたらしているのかについても考えます。

【到達目標】
生命現象を理解する上で必要とされる知識を会得し、命のしくみについて理解を深めるとともに、命というものの存在意義について自分なりの考えを持てるようになることを目標とします。
また、頭の中で理解した事柄や自身の考えを、自分の言葉として発信して人に伝える力を高めることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業は、パワーポイント資料やビデオ映像等を用いた講義形式で行います。
授業は、生物学初心者でも理解できるように展開します。
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。
授業実施形態等の詳細につきましては「学習支援システム」を通じてお伝えします。
また、授業に関する種々の連絡事項は「学習支援システム」の『お知らせ』に掲示しますので、随時ご確認ください。
＊大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンラインで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の進め方についてのガイダンスおよび授業のテーマに関する導入。
第 2 回	命ある生物とは？	命ある生物とはどんな特徴をもつのか、そしてその生物を対象とする生物学とはどんな学問なのかについて概説します。
第 3 回	命の材料とは？	生物体はどんな物質からできているのか、そして生命の最小単位である細胞とはなにかについて概説します。

第 4 回	命の設計図とは？	生命活動を営むための情報をもつDNA とはどのような働きをしているのかについて、その構造および複製のしくみ、また遺伝情報に基づいてタンパク質が作られるしくみを概説します。
第 5 回	命をつくる細胞の一生とは？	細胞の分裂や分化のしくみ、また細胞死やがん化について概説します。
第 6 回	命の誕生とは？	命はどのようにして誕生するのかについて、ひとつの受精卵から個体が形成されるまでの過程を、細胞の分裂・分化に着目しながら概説します。
第 7 回	命の要、タンパク質とは？	生体内において様々な役割を担うタンパク質の構造や機能について概説します。
第 8 回	命を支える細胞膜の機能とは？	生命活動に欠かせない細胞の機能について、細胞膜に発現している種々のタンパク質の働きに着目して概説します。
第 9 回	命を守るしくみとは？	体内に侵入した異物に対する防御のシステムについて概説します。
第 10 回	命のしくみを利用した新しい医療とは？	細胞・遺伝子を扱う技術を用いた新たな治療法である再生医療について概説します。
第 11 回	命に手を加えるとは？	生命科学分野の技術発展がもたらす倫理的課題について、歴史的背景とともに、実験動物の扱いや、遺伝子・幹細胞に関する技術などを例にあげながら概説します。
第 12 回	命を操作する技術とは？	細胞・遺伝子を利用した研究の実情について概説します。
第 13 回	命とはなにか？	授業で扱った各回の内容を振り返り、個々の事柄の結びつきを考えながら整理し直すことによって、本授業のテーマに対する考察を深めます。
第 14 回	授業のまとめ・試験	最終回に授業のまとめをして、試験を実施します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。
授業は、基礎的な事項からスタートして土台を作り上げてゆくことにより、徐々に複雑な内容の理解が可能となるように構成されています。そのため、毎回の授業内容をしっかり復習して、不明点をなくした状態で翌週の授業に臨むようにしてください。また、新聞等で日々とりあげられる生物学に関する事柄をチェックすることにより、授業で学ぶ内容をより深く理解するように心がけてください。

【テキスト（教科書）】
テキストは使用しません。

【参考書】
必要に応じてお知らせします。

【成績評価の方法と基準】
授業時に提出する課題（５０％）および期末試験（５０％）。

【学生の意見等からの気づき】
生物学に関する事柄を、できるだけ身近に感じられるように、理解しやすく整理して教えるように努めます。

【Outline and objectives】
This course introduces the basis of biological science, focusing on the principle of life. The aim of this course is to help students acquire an understanding of the mechanism of life phenomenon.
Lectures will also discuss current technologies related to cells and genes.

BIO200LA

教養生物学ＬＤ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

町田　郁子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業は、『人間とはなにものか？』という問いをテーマに掲げて、地球上に存在する多種多様な生物の関係性について理解を深め、その中でのヒトの特徴について生物学の立場から考えることを目的として展開します。地球上に生息するすべての生物は、自らを取り巻く環境と相互作用することにより生命活動を営んでおり、私たちヒトも例外ではありません。自分自身を知るためにも、まずは自分がどのような環境でどのようなものに囲まれて生きているのかを知る必要があるでしょう。「どうして地球上にはたくさんの種類の生物がいるのか？」、「ヒトと他の動物にはどんな共通点・相違点があるのか？」などの問いに対する答えを探りながら、ヒト（皆さん自身）が地球環境の中で他の生物と共生していくとはどのようなことなのかについて様々な側面から考えます。

【到達目標】
ヒトを含めた地球上の多種多様な生物に関する知識を会得し、生物と周囲の環境との関係性について理解を深めるとともに、ヒト（自分自身）のあり方について自分なりの考えを持てるようになることを目標とします。
また、頭の中で理解した事柄や自身の考えを、自分の言葉として発信して人に伝える力を高めることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業は、パワーポイント資料やビデオ映像等を用いた講義形式で行います。
授業は、生物学初心者でも理解できるように展開します。
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。
授業実施形態等の詳細につきましては「学習支援システム」を通じてお伝えします。
また、授業に関する種々の連絡事項は「学習支援システム」の『お知らせ』に掲示しますので、随時ご確認ください。
＊大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンラインで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の進め方についてのガイダンスおよび授業のテーマに関する導入。
第 2 回	多種多様な生物とは？	地球上にはどれほどの種の生物が存在し、どのような特徴をもつのかについて、動物の分類方法を学びながら概説します。

第 3 回	生態系の中のヒトとは？	地球上の多くの生物がどのような関係性の上に存在しているのかについて、ヒトの関わりにふれながら概説します。
第 4 回	生物と地球環境のつながりとは？	ヒトを含めた全ての生物を構成している物質とは何なのか、またそれらの物質と地球環境とはどのような関わりをもつのかについて概説します。
第 5 回	生物、そしてヒトの起源とは？	地球上に生命が誕生した背景、そして生物の進化とヒトの誕生について概説します。
第 6 回	進化学とは？	ヒトはどのようにして生物の進化の謎をひも解いてきたのかについて、進化学分野の研究手法等を概説します。
第 7 回	行動の進化とは？	生物の行動と進化の関係について、また進化論が人々にどのような生物の行動と進化の関係について、また進化論がヒトの社会にどのような影響を及ぼしてきたかについて概説します。影響を及ぼしてきたかについて概説します。
第 8 回	生物の行動にみられる特徴とは？	ヒトを含めた生物の様々な行動が引き起こされるしくみや意味について概説します。
第 9 回	種の存続とは？	生物のオスとメスの特性、また種の存続に際しヒトを含む様々な生物の配偶者選びにはどのような特徴があるのかについて概説します。
第 10 回	ヒトによる動物の家畜化とは？	地球上に存在する動物の中で、ヒトの管理下で生きる家畜化された動物に着目し、ヒトと動物の関わりについて概説します。
第 11 回	ヒトの動物観とは？	ヒトは他の動物をどのように見てきたのか、そしてヒトと他の動物の共生とはどのようなことなのかについて概説します。
第 12 回	ヒトの食とは？	自然界にある「食う・食われる」という関係の中で、現代のヒトは他の生物をどのように食しているのか、命を食べるとはどのようなことなのかについて概説します。
第 13 回	人間とはなにものか？	授業で扱った各回の内容を振り返り、個々の事柄の結びつきを考えながら整理し直すことによって、本授業のテーマに対する考察を深めます。
第 14 回	授業のまとめ・試験	最終回に授業のまとめをして、試験を実施します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。
授業は、基礎的な事項からスタートして土台を作り上げてゆくことにより、徐々に複雑な内容の理解が可能となるように構成されています。そのため、毎回の授業内容をしっかり復習して、不明点をなくした状態で翌週の授業に臨むようにしてください。また、新聞等で日々とりあげられる生物学に関する事柄をチェックすることにより、授業で学ぶ内容をより深く理解するように心がけてください。

【テキスト（教科書）】
テキストは使用しません。

【参考書】
必要に応じてお知らせします。

【成績評価の方法と基準】
授業時に提出する課題（５０％）および期末試験（５０％）。

【学生の意見等からの気づき】
生物学に関する事柄を、できるだけ身近に感じられるように、理解しやすく整理して教えるように努めます。

【Outline and objectives】
This course introduces the basis of biological science, focusing on biodiversity. The aim of this course is to help students acquire an understanding of the characteristics of human beings compared to other living things.
Lectures will also discuss harmonious symbiosis of nature and humans from many points of view.

BIO200LA

教養生物学ＬＣ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

町田　郁子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業は、『命とはなにか？』という問いをテーマに掲げて、生物学の立場から生物に共通する生命機能に対する理解を深め、命について考えることを目的として展開します。地球上に存在する多種多様な生物は、すべて細胞から構成されており、生物の遺伝形質は細胞内に収納されている遺伝子によって決定されています。この、細胞・遺伝子について学ぶことによって、「生命はなにからできているのか？」、「命はどのようにしてこの世に誕生するのか？」、「なぜ病気になるのか？」などの問いに対する答えを見つけていきます。また、この非常に複雑で精巧な生命のしくみに手を加える技術が近年急速に発展していますが、再生医療等の分野へどのように応用されているのか、またどのような倫理的課題をもたらしているのかについても考えます。

【到達目標】
生命現象を理解する上で必要とされる知識を会得し、命のしくみについて理解を深めるとともに、命というものの存在意義について自分なりの考えを持てるようになることを目標とします。
また、頭の中で理解した事柄や自身の考えを、自分の言葉として発信して人に伝える力を高めることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業は、パワーポイント資料やビデオ映像等を用いた講義形式で行います。
授業は、生物学初心者でも理解できるように展開します。
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。
授業実施形態等の詳細につきましては「学習支援システム」を通じてお伝えします。
また、授業に関する種々の連絡事項は「学習支援システム」の『お知らせ』に掲示しますので、随時ご確認ください。
＊大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンラインで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の進め方についてのガイダンスおよび授業のテーマに関する導入。
第 2 回	命ある生物とは？	命ある生物とはどんな特徴をもつのか、そしてその生物を対象とする生物学とはどんな学問なのかについて概説します。
第 3 回	命の材料とは？	生物体はどんな物質からできているのか、そして生命の最小単位である細胞とはなにかについて概説します。
第 4 回	命の設計図とは？	生命活動を営むための情報をもつ DNA とはどのような働きをしているのかについて、その構造および複製のしくみ、また遺伝情報に基づいてタンパク質が作られるしくみを概説します。
第 5 回	命をつくる細胞の一生とは？	細胞の分裂や分化のしくみ、また細胞死やがん化について概説します。
第 6 回	命の誕生とは？	命はどのようにして誕生するのかについて、ひとつの受精卵から個体が形成されるまでの過程を、細胞の分裂・分化に着目しながら概説します。
第 7 回	命の要、タンパク質とは？	生体内において様々な役割を担うタンパク質の構造や機能について概説します。
第 8 回	命を支える細胞膜の機能とは？	生命活動に欠かせない細胞の機能について、細胞膜に発現している種々のタンパク質の働きに着目して概説します。
第 9 回	命を守るしくみとは？	体内に侵入した異物に対する防御のシステムについて概説します。
第 10 回	命のしくみを利用した新しい医療とは？	細胞・遺伝子を扱う技術を用いた新たな治療法である再生医療について概説します。
第 11 回	命に手を加えるとは？	生命科学分野の技術発展がもたらす倫理的課題について、歴史的背景とともに、実験動物の扱いや、遺伝子・幹細胞に関する技術などを例にあげながら概説します。
第 12 回	命を操作する技術とは？	細胞・遺伝子を利用した研究の実情について概説します。
第 13 回	命とはなにか？	授業で扱った各回の内容を振り返り、個々の事柄の結びつきを考えながら整理し直すことによって、本授業のテーマに対する考察を深めます。
第 14 回	授業のまとめ・試験	最終回に授業のまとめをして、試験を実施します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。
授業は、基礎的な事項からスタートして土台を作り上げてゆくことにより、徐々に複雑な内容の理解が可能となるように構成されています。そのため、毎回の授業内容をしっかり復習して、不明点をなくした状態で翌週の授業に臨むようにしてください。また、新聞等で日々とりあげられる生物学に関する事柄をチェックすることにより、授業で学ぶ内容をより深く理解するように心がけてください。

【テキスト（教科書）】
テキストは使用しません。

【参考書】
必要に応じてお知らせします。

【成績評価の方法と基準】
授業時に提出する課題（５０％）および期末試験（５０％）。

【学生の意見等からの気づき】
生物学に関する事柄を、できるだけ身近に感じられるように、理解しやすく整理して教えるように努めます。

【Outline and objectives】
This course introduces the basis of biological science, focusing on the principle of life. The aim of this course is to help students acquire an understanding of the mechanism of life phenomenon.
Lectures will also discuss current technologies related to cells and genes.

BIO200LA

教養生物学ＬＤ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

町田　郁子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業は、『人間とはなにものか？』という問いをテーマに掲げて、地球上に存在する多種多様な生物の関係性について理解を深め、その中でのヒトの特徴について生物学の立場から考えることを目的として展開します。地球上に生息するすべての生物は、自らを取り巻く環境と相互作用することにより生命活動を営んでおり、私たちヒトも例外ではありません。自分自身を知るためにも、まずは自分がどのような環境でどのようなものに囲まれて生きているのかを知る必要があるでしょう。「どうして地球上にはたくさんの種類の生物がいるのか？」、「ヒトと他の動物にはどんな共通点・相違点があるのか？」などの問いに対する答えを探りながら、ヒト（皆さん自身）が地球環境の中で他の生物と共生していくとはどのようなことなのかについて様々な側面から考えます。

【到達目標】
ヒトを含めた地球上の多種多様な生物に関する知識を会得し、生物と周囲の環境との関係性について理解を深めるとともに、ヒト（自分自身）のあり方について自分なりの考えを持てるようになることを目標とします。
また、頭の中で理解した事柄や自身の考えを、自分の言葉として発信して人に伝える力を高めることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業は、パワーポイント資料やビデオ映像等を用いた講義形式で行います。
授業は、生物学初心者でも理解できるように展開します。
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。
授業実施形態等の詳細につきましては「学習支援システム」を通じてお伝えします。
また、授業に関する種々の連絡事項は「学習支援システム」の『お知らせ』に掲示しますので、随時ご確認ください。
＊大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンラインで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の進め方についてのガイダンスおよび授業のテーマに関する導入。
第 2 回	多種多様な生物とは？	地球上にはどれほどの種の生物が存在し、どのような特徴をもつのかについて、動物の分類方法を学びながら概説します。
第 3 回	生態系の中のヒトとは？	地球上の多くの生物がどのような関係性の上に存在しているのかについて、ヒトの関わりにふれながら概説します。
第 4 回	生物と地球環境のつながりとは？	ヒトを含めた全ての生物を構成している物質とは何なのか、またそれらの物質と地球環境とはどのような関わりをもつのかについて概説します。
第 5 回	生物、そしてヒトの起源とは？	地球上に生命が誕生した背景、そして生物の進化とヒトの誕生について概説します。
第 6 回	進化学とは？	ヒトはどのようにして生物の進化の謎をひも解いてきたのかについて、進化学分野の研究手法等を概説します。
第 7 回	行動の進化とは？	生物の行動と進化の関係について、また進化論が人々にどのような生物の行動と進化の関係について、また進化論がヒトの社会にどのような影響を及ぼしてきたかについて概説します。影響を及ぼしてきたかについて概説します。
第 8 回	生物の行動にみられる特徴とは？	ヒトを含めた生物の様々な行動が引き起こされるしくみや意味について概説します。
第 9 回	種の存続とは？	生物のオスとメスの特性、また種の存続に際しヒトを含む様々な生物の配偶者選びにはどのような特徴があるのかについて概説します。
第 10 回	ヒトによる動物の家畜化とは？	地球上に存在する動物の中で、ヒトの管理下で生きる家畜化された動物に着目し、ヒトと動物の関わりについて概説します。
第 11 回	ヒトの動物観とは？	ヒトは他の動物をどのように見てきたのか、そしてヒトと他の動物の共生とはどのようなことなのかについて概説します。
第 12 回	ヒトの食とは？	自然界にある「食う・食われる」という関係の中で、現代のヒトは他の生物をどのように食しているのか、命を食べるとはどのようなことなのかについて概説します。
第 13 回	人間とはなにものか？	授業で扱った各回の内容を振り返り、個々の事柄の結びつきを考えながら整理し直すことによって、本授業のテーマに対する考察を深めます。
第 14 回	授業のまとめ・試験	最終回に授業のまとめをして、試験を実施します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。
授業は、基礎的な事項からスタートして土台を作り上げてゆくことにより、徐々に複雑な内容の理解が可能となるように構成されています。そのため、毎回の授業内容をしっかり復習して、不明点をなくした状態で翌週の授業に臨むようにしてください。また、新聞等で日々とりあげられる生物学に関する事柄をチェックすることにより、授業で学ぶ内容をより深く理解するように心がけてください。

【テキスト（教科書）】
テキストは使用しません。

【参考書】
必要に応じてお知らせします。

【成績評価の方法と基準】
授業時に提出する課題（５０％）および期末試験（５０％）。

【学生の意見等からの気づき】
生物学に関する事柄を、できるだけ身近に感じられるように、理解しやすく整理して教えるように努めます。

【Outline and objectives】
This course introduces the basis of biological science, focusing on biodiversity. The aim of this course is to help students acquire an understanding of the characteristics of human beings compared to other living things.
Lectures will also discuss harmonious symbiosis of nature and humans from many points of view.

CHM200LA

教養化学ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**エネルギーの科学**

向井　知大

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**集中・その他**/intensive・other courses
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
物質の変化には、エネルギーの出入りが伴います。社会や生命はこれらを上手に利用することで活動しています。エネルギーを題材にして身の回りの現象や物質について理解を深め、現在の我々の生活を支えている技術に対する興味を持って下さい。

【到達目標】
エネルギーについて原子核や電子の振る舞いをもとに理解し、科学的な思考で物事を説明する能力を高めることを目標とします。エネルギー問題に関する近年の話題について、自分なりの考察ができるようになることを目標にして下さい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
資料をプロジェクタで投影して解説していきます。投影する資料と簡単な解説文を授業支援システムにアップロードする予定です。高校などにおける理系科目の履修の有無にかかわらず理解できるように進めます。
授業毎に出題する正誤問題や質問について、次回授業冒頭で解説をします。
本科目は抽選科目です。授業開始前に抽選に参加する必要があります。
抽選の結果当選した学生のみ、履修をすることができます。
抽選エントリー日時： 4 月 15 日（水）午前 10 ： 00〜4 月 20 日（月）午前 9 ： 00
詳細は、以下に掲載の「2020 年度 ILAC 科目/市ヶ谷基礎科目大人数授業　抽選ガイド」
(https://hosei-rinji.com/ilac/rishuguide2020/) を確認してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	講義計画と概要についての説明
第 2 回	エネルギーの基礎	エネルギーの定義やエネルギー変換についての概説
第 3 回	原子の構造	原子を構成する成分とそれらの性質について
第 4 回	電子と電気	電磁誘導と発電機の仕組みについて
第 5 回	放射性同位体	原子核の壊変について
第 6 回	原子力発電	核分裂連鎖反応について
第 7 回	原子爆弾と核融合	ウラン濃縮や臨界量について
第 8 回	電磁波のエネルギー	電磁波の性質と光量子仮説について
第 9 回	化学結合のエネルギー	化学結合が形成されるしくみについて
第 10 回	有機化合物	炭素原子を含む化学物質の構造

第 11 回	砂糖のエネルギー	分子の立体構造と、糖類の代謝について
第 12 回	エネルギー物質	爆薬や危険物の特徴について
第 13 回	蓄電池と燃料電池	化学電池の原理と変遷について
第 14 回	まとめ	これまでの内容の復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
講義の内容に関連すると考えられる現象や用語について、各自が興味を持って書籍や Web 検索などで調査してみて下さい。本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
使用しません。毎時間プリントを配布します。

【参考書】
使用しません。

【成績評価の方法と基準】
学習支援システムに毎回５問程度の正誤問題を出題します。この成績を平常点とします (配分 40%)。期末試験の結果 (配分 60%) と平常点をあわせて成績評価します。授業形態によっては、期末試験が課題になる場合があります。

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【Outline and objectives】
This course introduces fundamental principles of familiar natural phenomena. The aim of the course is to improve students' science literacy.

CHM200LA

教養化学ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**エネルギーと化学**

中島　弘一

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：2 **単位**
法文営国環キ 1〜4 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業ではエネルギーと環境をテーマに、エネルギーを作り出す仕組みとそれに伴う環境問題について取り上げます。
原子の構造から放射能や原子力を学び、化学結合からなぜ燃えると熱が発生するのか、太陽電池や燃料電池も原子や分子の中の電子の動きで理解することができます。
原子力は事故があったときの放射能漏れだけが問題なのではありません。温室効果ガスと地球温暖化の関係も理屈を知っておく必要があります。太陽電池や燃料電池もそのメリット、デメリットを知っておく必要があります。社会の一員として今後のエネルギー利用を、問題点を理解したうえで、自らが適切に判断できる理解力を養います。

【到達目標】
原子力エネルギーとは何か、利用に際してどういう問題があるのかという知識が身につく。石油や石炭を燃やしてどのように電気に変換されるのか？ 温暖化とどうリンクしているのかを理解できる。自然エネルギーが抱える問題点は何か？ 水素を利用した燃料電池の特徴に関する知識が得られる。また、個々のエネルギー源が現状抱えている課題を知識として得ることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
エネルギーに関して化学の基礎から講義形式で解説し、あわせて社会的な問題も考察したいと考えています。原則として教室での対面授業とし、必要に応じてリアルタイムでの Zoom 配信も行う予定です。ただし、大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業はオンラインで行います。詳細は学習支援システムで伝達します。
なお、毎回、理解度を確認する目的で簡単な課題を出します。課題の解説は翌週の講義の中で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	化学の基礎（1）	原子の構造と電子配置について振り返ります。
第 2 回	化学の基礎（2）	原子量と質量数、モルの考え方を理解します。
第 3 回	原子力エネルギーとその源は何か	質量がエネルギーに変換されること、どういう核変化がエネルギーを生み出すのかを学びます。
第 4 回	放射能とは何か	どういう物質が放射能を持つのか、放射能の特質と核分裂反応との関係を学びます。
第 5 回	放射能の人体に与える影響について	過去に日本や海外で起こった原子力関連の事故を振り返り、人体への影響を学びます。
第 6 回	原子力発電の構造と種類	原子力発電の構造を理解し、その特徴を学びます。

第 7 回	原子力の問題点	プルトニウムやその他の放射性廃棄物の処理について考察します。
第 8 回	化石燃料の種類と分子構造の違い	石油、石炭、天然ガスの特徴を学びます。
第 9 回	燃焼による発熱の仕組み	共有結合の考え方、酸素との反応によるエネルギーの発生の仕組みを学びます。
第 10 回	化石燃料の問題点	化石燃料の利用に伴う問題点 (二酸化炭素による温暖化を含む）を考察します。
第 11 回	既存のエネルギーシステムの問題点	原子力、火力、水力発電のエネルギー変換効率の低さや電力の貯蔵が難しいなどその問題点を整理します。
第 12 回	自然エネルギーの利用と問題点	太陽光、風力、地熱発電などの自然エネルギーの特徴を学びます。
第 13 回	水素エネルギーと燃料電池	エネルギー源として水素の利用に伴う問題点を学びます。
第 14 回	まとめ	授業全体の振り返りを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。テーマや内容に記載のある項目について、中学校や高校の教科書の関連のあるところを復習してくるとともに、インターネットでの検索によって事前に学習する。

【テキスト（教科書）】
授業内で適宜プリントを配布します。

【参考書】
この分野は日々新しい技術が生まれていて、適当な書籍は見当たりません。授業内で配布する資料で不明なことは授業内での質問やメール等を通じていつでも問い合わせてください。

【成績評価の方法と基準】
課題の提出内容（30 %）と期末試験の成績（70 %）をもとに評価する。

【学生の意見等からの気づき】
2011 年３月の大震災のため特に興味を持って授業に臨む学生さんが多く、原子力に関しては今年もできるだけ詳しく解説したいと考えています。

【学生が準備すべき機器他】
使いません。

【その他の重要事項】
専門用語がいろいろ出てきます。もちろん、始めに説明をしますが、同じ説明は二度も行いません。従って、欠席や遅刻があれば、それ以降の内容が理解できなくなることが予想されます。

【Outline and objectives】
This course introduces the mechanism of producing energy from atomic energy and fossil fuels and also environmental issues related with them to students taking this course. It also deals with performance of new energy sources such as solar, wind, geothermal energies, and especially hydrogen energy.

CHM200LA

教養化学ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**環境化学**

中島　弘一

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
科学技術の発達によって、人類は着実に生命のなぞを解き明かしつつあります。そして不完全ながらもその知識をもとに、多種多様な薬品、食品添加物、などの製品化、あるいは技術が生み出され応用されて来ています。ホルモンの仕組みから筋肉増強剤や避妊薬の開発、遺伝子操作による害虫や農薬に強い作物への改良、倫理的な問題が不透明なまま利用されているものも少なくありません。この授業では、はじめに過去の公害事例についてその原因等を概説した後、日用品や食品など、身の回りの化学物質を取り上げながら、生命を構成する物質（糖質、脂質、たんぱく質、核酸）の働きなどとの関連を解説します。

【到達目標】
過去の公害問題の概要を理解する。
生命に関係する物質がどういう分子構造をもち、どのような働きを持って機能しているかを理解することができる。例えば、食事を取って、それがエネルギーに変換される、あるいは、身体そのものに変化する仕組みを理解できる。
体の中での物質の認識の仕組みを理解できる。例えば、免疫反応の仕組みや、でんぷんを消化できて、セルロースを消化できない理由を理解できる。
合成品が生命に与える影響を理解できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
原則として教室での対面による講義形式での授業とします。必要に応じてリアルタイムでの Zoom 配信も行う予定です。ただし、大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業はオンラインで行います。詳細は学習支援システムで伝達します。
なお、毎回、理解度を確認する目的で簡単な課題を出します。課題の解説は翌週の講義の中で行います。質問等は適宜授業内で受け付けますが、メールでの対応も可能です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	講義概要、授業の進め方など	この講義の概要と、これからの授業の進め方、注意点等について説明します。
第 2 回	日本の過去の公害事例（1）	明治に始まる鉱山、精錬からの環境問題について解説します。
第 3 回	日本の過去の公害事例（2）	昭和の高度成長期にあった工場廃液、排ガスによる環境問題について解説します。
第 4 回	有機化合物の基礎	有機化合物の結合と構造、反応性について解説します。
第 5 回	日本の過去の公害事例（3）	有機塩素系化合物による環境汚染について学びます。

第 6 回	糖質（1）	エネルギー源としての利用だけではない糖質の多様性を学びます。
第 7 回	糖質（2）	砂糖の歴史や合成甘味料などの食品添加物の紹介と味覚についての話題を紹介します。
第 8 回	脂質（1）	脂質の特徴と洗剤のしくみについて学びます.
第 9 回	脂質（2）	コレステロールや、ステロイドなどのドーピングの話題を紹介します。
第 10 回	窒素化合物の働きと代謝（1）	生命にとって重要な働きのあるアミノ酸とタンパク質の働きを学び、老化との関係について解説します。
第 11 回	窒素化合物の働きと代謝（2）	核酸と核酸塩基の多様な働き、呼吸によるエネルギーの獲得について学びます。
第 12 回	体内での物質認識	アレルギー、免疫反応の仕組みを学びます。
第 13 回	薬物汚染	大麻、覚せい剤、麻薬など、その危険性について学びます。
第 14 回	まとめ	全般的な振り返りを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。
テーマや内容に関係する項目について、中学校や高校の教科書の関連のあるところを復習するとともに、インターネットでの検索によって事前に学習する。

【テキスト（教科書）】
特に使いません、適宜プリントを配布します。

【参考書】
取り上げる項目が多岐にわたるため、適当な参考書が見当たりません。気になるキーワードを使用して図書館で検索してみてください。

【成績評価の方法と基準】
基本的には期末試験の成績（70 %）をもとにしますが、毎回科す課題の取り組み（30 %）も勘案します。

【学生の意見等からの気づき】
できるだけ身近な物質を例に挙げて説明をしていますが、網羅的になりすぎて、その関係の理解が難しいと感じる人が多いようです。ポイントをもっと明確にする必要があると考えています。

【その他の重要事項】
コロナの影響で、教室の収容定員に制限がでています。対面での教室授業を行うために、システムを利用した事前抽選を行う予定です。学習支援システム等、大学からの情報に見落としの無いよう、注意願います。

【Outline and objectives】
This course introduces the functions of chemical compounds related with life and also the risk of synthetic chemicals applied to foods, cosmetics or drugs to students taking this course. It also enhances the mechanism of material recognition in our body.

CHM200LA

教養化学ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**環境問題を考えるための化学**

西村　直美

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**集中・その他**/intensive・other courses
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
現在、地球が直面している環境問題は深刻です。環境問題を解決するためには、その問題点をメカニズムから理解することが大切です。そのためには基本的な化学の理解が必須であると私は思います。本講座は環境問題を考えることを最終目的としていますが、まずはこれに必須な化学の知識を身につけてもらうことを目的としています。

【到達目標】
環境問題の化学的メカニズムを理解してもらうことが最終目的ですが、そのために必要な化学的知識も併せて身に着けてもらうことを目的としています。知識を身に着けたうえで、自分はどう考えるかというところまで到達できることを期待しています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
今年度もこの授業はオンラインに決定しています。毎週私が作成した動画を視聴することで学習してください。Hoppii にアップロードした課題を Hoppii 経由で提出してください。これが出席点となります。課題は動画を視聴すれば誰でも答えられます。課題に自分で勉強したことや感想、質問を記入してもらって構いません。課題と共に記入されている質問や素晴らしい感想には Hoppii 経由で必ず回答を返します。もちろんメールで質問してもらっても構いません。こちらはメールで回答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
No.1	イントロダクション	本講座を理解するのに必要な基本的な化学法則、構造式、単位などをざっと説明。
No.2	化学基礎 1	これから講義で必要な化学の基礎を集中学習
No.3	化学基礎 2	これから講義で必要な化学の基礎を集中学習
No.4	世界の環境問題	大きなトピックとして話すほどではないが、これまで質問の多かった環境問題を取り上げる
No.5	オゾン層破壊	オゾン層破壊のメカニズムについて
No.6	酸性雨	酸性雨の原因と対策
No.7	大気汚染の健康への影響	大気汚染全般の原因と人体への影響
No.8	温室効果ガス 1	温室効果ガスとはなにか
No.9	温室効果ガス 2	温室効果ガスとはなにか
No.10	ゴミ問題から土壌汚染まで	なぜゴミの分別が必要なのか。環境を破壊するゴミ問題に関して
No.11	水質汚染	汚染水に含まれる化学物質
No.12	水質浄化	水質浄化のアイディア

No.13　現在のエネルギー　　現行の発電方法について
No.14　未来のエネルギー　　新エネルギーについて学習する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回のリアクションペーパーやレポート作成のため、学期中を通じで週約 30 時間の授業外学習を必要とします。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
なし。適宜プリントを配布します。講義で使うパワーポイントは Hoppii に事前にアップします。

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
テストは行いません。最終レポート (40 %)、毎回のリアクションペーパー (60 %) を総合的に評価します。レポートは最終授業終了後に課します。リアクションペーパーは毎回の授業ごとに提出してもらいます。
成績は、「きちんと考えているか」ということを重視しています。具体的には毎週の課題に「自分の意見」をきちんと記入してください。そして、最終レポートで、授業を通じて考えたことを表現してもらえば良い成績に繋がります。

【学生の意見等からの気づき】
「私たち文系なので、わかりやすく教えてください」とコメントいただくので、わかりやすく、急がずに授業を進めていきます。
また、昨年のオンラインの授業では、とてもよく勉強している人と、適当に課題を出している人とに完全に分かれました。当たり前ですが、授業の動画も見ずに、ネットで調べて課題を出すだけでは単位は取れない可能性があることを理解してください。

【学生が準備すべき機器他】
インターネットに接続できる環境。

【その他の重要事項】
必ずしも化学が好きである必要はありませんが、新しいことを知りたいという熱意があることが望ましいです。

【Outline and objectives】
One of the most pressing issues the Earth is facing is environmental problems. Such environmental problems are universal issues, so all the people on the earth should cooperate to solve these problems. At the beginning of this course, each environmental problem will be focused from the chemical viewpoint. Then, the students with different backgrounds will delve into the matters. The ultimate goal of this course is that we think about these problems deeply by sharing possible solutions with each other.

CHM200LA

教養化学ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**エネルギーの科学**

中田　和秀

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**集中・その他**/intensive・other courses
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
近年、現代文明の成長や持続性への関心から、各種エネルギー資源について注目が集まっています。それらの話題を理解するためには、科学的な考察が必要不可欠です。本授業では、現代文明が大きく依存している化石燃料について利用の実態を学習し、それらが枯渇の危機に瀕していることを理解します。また、新たなエネルギー社会構築の可能性について議論します。これらの話題を化学の視点から理解することが本授業の目的です。

【到達目標】
本授業では、化石燃料である石炭、石油、天然ガスについて、その構造、性質、燃焼反応、燃焼熱等について学習します。また、新しいエネルギー社会として提唱されている水素経済社会やメタノール経済社会について学習します。これらの話題を的確に理解するために必要な化学理論（化学結合論、熱力学、結合エネルギー等）を合わせて習得することが到達目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
本授業は、曜日時限を設定しないオンデマンド授業（資料型）の形態によって行われます。すなわち、毎週金曜日に、学習支援システム（HOPPII）にアップロードされる学習メモ、スライド資料、プリント教材、課題ファイルなどをダウンロードして各自で学習を行います。学習メモには、内容を解説した期間限定動画の URL が記載されていますので、そちらも視聴して学習を進めてください。質問等は、HOPPII の掲示板を通して受付けます。さらに、発展的な読書やインターネット上の資料調査を通してより深く学習し、課題を課題ファイルに作成します。完成した課題ファイルは、HOPPII を通して提出期限までに提出します。課題内容については、次回の講義にて解説などのフィードバックを行います。第 1 回授業の資料は、2021 年 4 月 9 日（金）に HOPPII にアップロードする予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業計画と学習の仕方について講義する。
第 2 回	物質とは？	物質の基本単位である分子について学習する。
第 3 回	化学反応	物質の変化、すなわち、化学反応について学習する。
第 4 回	反応熱・エネルギー	化学反応にともなって反応系から出入りする反応熱について学習する。また、その他のエネルギー形態についても解説する。
第 5 回	石炭	現代文明で大きな役割を演じている石炭の性質や用途について学習する。

第 6 回	石油（1）	現代文明で大きな役割を演じている石油の性質や精製について学習する。
第 7 回	石油（2）	現代文明で大きな役割を演じている石油の用途について学習する。
第 8 回	天然ガス	現代文明で大きな役割を演じている天然ガスの性質や用途について学習する。
第 9 回	その他の化石燃料	オイルサンドやオイルシェール等、その他の化石燃料について性質や用途を学習する。
第 10 回	水素経済社会（1）	将来のエネルギー資源の候補である水素について、性質や用途を学習する。
第 11 回	水素経済社会（2）	水素を利用する社会システム（水素経済社会）について、その長所と短所を学習する。
第 12 回	メタノール経済社会（1）	将来のエネルギ資源の候補であるメタノールおよびジメチルエーテルについて、性質や用途を学習する。
第 13 回	メタノール経済社会（2）	メタノールを利用する社会システム（メタノール経済社会）について学習する。
第 14 回	まとめ	本授業のまとめを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とします。できるだけ早い段階で、教科書を通読して学習に臨んでください。各回終了後は、発展的な読書を行うと共に、指示にしたがって課題作成を行ってください。

【テキスト（教科書）】
下記書籍を教科書として使用しますので、各自購入してください。教科書は、法政大学生協 Web サイトにて購入することができます。
.
書名：新版　エネルギーの科学（第２版）
著者名：安井伸郎
出版社：三共出版

【参考書】
授業中に適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】
成績は､学習支援システム（HOPPII）を通して提出される課題（100%）によって決定されます。課題の詳細については、授業内でお伝えします。

【学生の意見等からの気づき】
昨年度の授業内容について概ね好評であったので今年度も同様に授業を進めます。

【学生が準備すべき機器他】
PC やタブレット端末等、オンライン授業に必要な機器を準備しておく必要があります。

【その他の重要事項】
基盤科目（100 番台）の「入門化学Ａ・Ｂ」（１年生はクラス指定有り）、リベラルアーツ科目（200 番台）の「教養化学ＬＣ・ＬＤ」、総合科目（300 番台）の「物質の科学Ａ・Ｂ」および「教養ゼミⅠ・Ⅱ」も担当しております。合わせての履修をご検討いただければ幸いです。

【Outline and objectives】
In recent years, various kinds of energy resources are attracting attention in connection with the interest in the growth and sustainability of modern civilization. To understand such topics, natural sciences play crucial roles. In this lecture, the actual state of use of fossil fuels on which modern civilization largely depend will be discussed to understand that such the fuels are on the crisis of exhaustion. In addition, some ideas that may bring sustainable civilization will be presented. Understanding chemistry fundamental to such topics is the aim of this lecture.

CHM200LA

教養化学ＬＣ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**細菌の化学**

中田　和秀

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
中国で発生した新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）は、2020 年に入って急速に世界中に拡散し、世界各国で感染者数を増加させています。このウイルスの感染によって引き起こされる症状は深刻である一方、新規に発生したウイルスであるため感染予防に有効なワクチンはまだ十分に流通していません。そのため、我々の生活様式から企業の経済活動にいたるまで、現代社会は COVID-19 から大きな影響を受けはじめています。したがって、今、ウイルスや関連する事項について学習することは、将来の社会を担う学生にとって最も重要なテーマであるといえます。本授業では、まず、生体を構成する種々の有機化合物についてご紹介します。それらが集合して構成される生体の最小単位である細胞について学習し、細菌や細菌によって引き起こされる疾病について学びます。ウイルスが増殖する舞台である細胞について化学的に理解することが本授業の目的です。

【到達目標】
我々の生命活動の舞台である細胞、我々に病気をもたらす細菌やウイルスについて、種類、構造、性質、および、活動について化学的に理解することを目標とします。なお、これまで化学を学習したことが無い学生でも授業を理解することができるように配慮します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
本授業は、対面授業、および、オンライン授業（Zoom を使用する双方向型）を組み合わせたハイブリッド型授業です。オンラインで開催される第１回授業内で、対面授業を行う日程についてお知らせいたします。毎回の授業では、学習支援システム（HOPPII）にアップロードされた学習メモ、スライド資料、プリント教材、課題ファイルなどをダウンロードして各自で学習を行います。その後、対面授業、または、Zoom を使用する双方向型授業（木曜日３時限）に参加していただき、理解を深めます。質問等は、対面授業、Zoom 授業、および、HOPPII の掲示板を通して受付けます。さらに、発展的な読書やインターネット上の資料調査を通してより深く学習し、課題を課題ファイルに作成します。完成した課題ファイルは、HOPPII を通して提出期限までに提出します。課題内容については、次回の講義にて解説などのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	講義計画と学習の仕方について解説する。
第 2 回	原子	原子を構成する素粒子や原子が結合して生成する分子について解説し、原子に関する理解を深める。
第 3 回	化学結合論	原子がどのようなルールによって結合し分子を形成するかを学習する。

第 4 回	多重結合	化学結合論に基づいて形成される様々な化学結合の種類について学習する。
第 5 回	生体を構成する有機化合物	生体を構成するタンパク質、脂質、糖質、および、核酸について学習する。
第 6 回	分子の立体構造	種々の化学結合がなす角度と結合距離について学習し、分子の立体構造について理解を深める。
第 7 回	分子の立体構造と物質の性質（1）	物質の性質が分子の立体構造によって決まることを、いくつかの例を通して学習する。
第 8 回	分子の立体構造と物質の性質（2）	物質の性質が分子の立体構造によって決まることを、いくつかの例を通して学習する。
第 9 回	生体分子の立体構造（1）	タンパク質の立体構造について学習する。
第 10 回	生体分子の立体構造（2）	脂質や糖質の立体構造について学習する。
第 11 回	生体分子の立体構造（3）	核酸の立体構造について学習する。
第 12 回	細胞	生物とウイルスの違いや生体の基本単位である細胞について学習する。
第 13 回	細菌	細菌の種類や細菌によって引き起こされる疾病について学習する。
第 14 回	まとめ	本授業のまとめを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とします。できるだけ早い段階で、HOPPII からダウンロードした学習教材を通読して学習に臨んでください。対面授業、または、オンライン授業終了後は、発展的な読書やインターネットによる調査を行うと共に、指示にしたがって課題作成を行ってください。

【テキスト（教科書）】
使用しません。

【参考書】
授業中に適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】
成績は､学習支援システム（HOPPII）を通して提出される課題（100%）によって決定されます。各課題の詳細については、授業内でお伝えします。

【学生の意見等からの気づき】
今年度より開設される授業のため、コメントはありません。

【学生が準備すべき機器他】
PC やタブレット端末等、オンライン授業に必要な機器を準備しておく必要があります。

【その他の重要事項】
本授業は、最大履修者数 250 名で抽選が行われますので、履修を希望する方は、必ず事前の抽選に参加してください。
秋学期に開講される「教養化学ＬＤ」を合わせて受講することをお勧めします。

【Outline and objectives】
The new-type coronavirus (SARS-CoV-2) originated in China had rapidly spread worldwide last year to increase the number of infected patients in every country. While the symptoms generated from this virus are serious, an effective vaccine has not yet been distributed sufficiently. This situation will continuously cause severe influence to many things such as our lifestyles and economic activities of industries. Therefore, learning about virus and its related things is one of the most important subjects for university students who will lead the next generation. In this lecture, various organic compounds that comprise living organisms will be presented. Then, students will learn about the cell that is the minimum unit of the living organisms, and bacteria and its related diseases. The purpose of this lecture is to understand the properties and activities of cell that is the place of multiplication of virus from the viewpoint of chemistry.

CHM200LA

教養化学ＬＤ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**ウイルスの化学**

中田　和秀

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
中国で発生した新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）は、2020 年に入って急速に世界中に拡散し、世界各国で感染者数を増加させています。このウイルスの感染によって引き起こされる症状は深刻である一方、新規に発生したウイルスであるため感染予防に有効なワクチンはまだ十分に流通していません。そのため、我々の生活様式から企業の経済活動にいたるまで、現代社会は COVID-19 から大きな影響を受けはじめています。したがって、今、ウイルスや関連する事項について学習することは、将来の社会を担う学生にとって最も重要なテーマであるといえます。本授業では、まず、生体を構成する最小単位である細胞がどのような活動をおこなっているかを学習します。次に、ウイルスがその細胞に侵入して増殖するメカニズムなどを学習します。ウイルスの性質や活動について化学的に理解することが本授業の目的です。

【到達目標】
我々の生命活動の舞台である細胞、我々に病気をもたらす細菌やウイルスについて、種類、構造、性質、および、活動について化学的に理解することを目標とします。なお、これまで化学を学習したことが無い学生でも授業を理解することができるように配慮します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
本授業は、対面授業、および、オンライン授業（Zoom を使用する双方向型）を組み合わせたハイブリッド型授業です。オンラインで開催される第 1 回授業内で、対面授業を行う日程についてお知らせいたします。毎回の授業では、学習支援システム（HOPPII）にアップロードされた学習メモ、スライド資料、プリント教材、課題ファイルなどをダウンロードして各自で学習を行います。その後、対面授業、または、Zoom を使用する双方向型授業（木曜日３時限）に参加していただき、理解を深めます。質問等は、対面授業、Zoom 授業、および、HOPPII の掲示板を通して受付けます。さらに、発展的な読書やインターネット上の資料調査を通してより深く学習し、課題を課題ファイルに作成します。完成した課題ファイルは、HOPPII を通して提出期限までに提出します。課題内容については、次回の講義にて解説などのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	講義計画と学習の仕方について解説する。
第 2 回	化学結合論と分子の立体構造	化学結合論によって原子同士がつながって分子が生成すること、および、分子の立体構造によって物質の性質が決まることを学習する。

第 3 回	生体を構成する有機化合物	生体を構成する種々の有機化合物について学習し、それらの分子構造について理解を深める。
第 4 回	遺伝情報の発現（1）	生物の遺伝子 DNA を RNA に転写する過程について学習する。
第 5 回	遺伝情報の発現（2）	mRNA が持つ遺伝情報をタンパク質に翻訳する過程について学習する。
第 6 回	遺伝情報の発現（3）	細胞分裂の際に行われる遺伝子 DNA の複製について学習する。
第 7 回	生化学の研究手法	生化学を学習する際の研究手法について学習する。
第 8 回	ウイルスの構造	種々のウイルスについて基本的な構造を理解する。
第 9 回	λファージ	λファージの生活環について学習する。
第 10 回	HIV	ヒト免疫不全ウイルス（HIV）の生活環について学習する。
第 11 回	インフルエンザウイルス	インフルエンザウイルスの構造や増殖過程について学習する。
第 12 回	新型コロナウイルス	新型コロナウイルスについて最新の研究成果を学習する。
第 13 回	ウイルス治療薬	ウイルス治療薬開発の概要について学習する。
第 14 回	まとめ	本授業のまとめを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とします。できるだけ早い段階で、HOPPII からダウンロードした学習教材を通読して学習に臨んでください。対面授業、または、オンライン授業終了後は、発展的な読書やインターネットによる調査を行うと共に、指示にしたがって課題作成を行ってください。

【テキスト（教科書）】
使用しません。

【参考書】
授業中に適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】
成績は、学習支援システム（HOPPII）を通して提出される課題（100%）によって決定されます。各課題の詳細については、授業内でお伝えします。

【学生の意見等からの気づき】
今年度より開設される授業のため、コメントはありません。

【学生が準備すべき機器他】
PC やタブレット端末等、オンライン授業に必要な機器を準備しておく必要があります。

【その他の重要事項】
本授業は、最大履修者数 250 名で抽選が行われますので、履修を希望する方は、必ず事前の抽選に参加してください。
春学期に開講される「教養化学ＬＣ」を合わせて受講することをお勧めします。

【Outline and objectives】
The new-type coronavirus (SARS-CoV-2) originated in China had rapidly spread worldwide last year to increase the number of infected patients in every country. While the symptoms generated from this virus are serious, an effective vaccine has not yet been distributed sufficiently. This situation will continuously cause severe influence to many things such as our lifestyles and economic activities of industries. Therefore, learning about virus and its related things is one of the most important subjects for university students who will lead the next generation. In this lecture, students will learn the processes of expression and transmission of genetic information that is fundamental for living organisms, and then that of multiplication of viruses utilizing such the processes of the host cell. The purpose of this lecture is to understand the properties and activities of viruses from the viewpoint of chemistry.

CHM200LA

教養化学ＬＥ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**薬の科学**

向井　知大

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水 4**/Wed.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
薬の開発は人類の寿命を大きく伸ばし、医学の発展に大きく寄与してきました。この授業では、薬とはどのようなものか、人体にどのような働きをするのか、薬はどのように開発されるか、など、薬の原理について有機化学を用いて紹介していきます。

【到達目標】
薬の働きについての学習を通して、有機化合物の構造式を身近なものにし、有機化合物の性質を左右する構造的特徴について理解することを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP2、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
資料をプロジェクタで投影して解説していきます。投影する資料と簡単な解説文を授業支援システムにアップロードする予定です。高校などにおける自然科学系科目 (理系科目) の履修の有無にかかわらず理解できるように進めます。
授業毎に出題する正誤問題や質問について、次回授業冒頭で解説をします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	講義計画と概要について説明
第 2 回	薬の歴史	古代から現代までの薬、薬の働き方の概説
第 3 回	化学の基礎	原子と分子、化学結合について。
第 4 回	有機化合物	有機化合物の構造と表記。
第 5 回	タンパク質	アミノ酸の構造、皮膚、毛髪、爪について。
第 6 回	化学物質の分析	分子の化学構造や立体構造を調べる方法について。
第 7 回	糖とアルコール	代謝による物質変化について。
第 8 回	ビタミン C	壊血病の薬、還元剤としての働きについて。
第 9 回	抗炎症剤①	花粉症などのアレルギーの薬 (H1 ブロッカー) の設計と改良。
第 10 回	抗炎症剤②	胃潰瘍の薬 (H2 ブロッカー) の分子設計。
第 11 回	抗ウィルス薬	インフルエンザやエイズの薬について。
第 12 回	がんの薬	様々な抗がん剤、それぞれの標的物質について。
第 13 回	精神の薬	脳で働く分子について。
第 14 回	まとめ	これまでの内容の復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
講義の内容に関連すると考えられる現象や用語について、各自が興味を持って書籍や web 検索などで調査してみてください。
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
使用しません。授業で使用する資料を授業支援システムで配布します。

【参考書】
使用しません。

【成績評価の方法と基準】
学習支援システムに毎回５問程度の正誤問題を出題します。この成績を平常点とします (配分 40%)。期末試験の結果 (配分 60%) と平常点をあわせて成績評価します。授業形態によっては、期末試験がレポート課題になる場合があります。

【学生の意見等からの気づき】
今年度から開講する科目のため、理解度を確かめながら進めていく予定です。

【Outline and objectives】
Pharmaceutics has extended the human lifespan and has greatly contributed to the development of medical science. This course introduce the basic principles of medical supplies using organic chemistry. The purpose of this course is to help the students understand about organic compounds and improve their scientific literacy.

HSS200LA

健康の科学ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

藤平　杏子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年※定員制
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
「健康の科学 LA」では、「生涯にわたる健康づくり」を主要テーマとして学習する。本授業を通して、健康長寿に必要な食事・運動・休養・社会参加に関する基礎的な事項を理解できるようにする。

【到達目標】
1. 健康の維持・増進に興味を持ち、健康づくりに関する基礎的な知識を習得する。
2. 本授業で学習したことを自身や家族の健康づくりに役立てる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
スライドを用いた講義を中心に各テーマの学習を進める。毎回の授業終了時に、テーマに関する自身の考えや意見・質問などをまとめた小レポートの提出を求める。授業の初めに、前回の授業で提出された小レポートからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	本授業の内容や進め方についてオリエンテーションを行います。
2	日本の健康問題	日本の医療や健康に関わる背景、生活習慣病
3	肥満とメタボリックシンドローム	メタボリックシンドロームとは何か
4	高血圧	高血圧の診断、要因と予防法
5	糖尿病と脂質異常症	糖尿病、脂質異常症の診断、要因と予防法
6	骨や歯の病気	骨粗鬆症、要因と予防法 歯周病、歯の病気の予防
7	心の病気	ストレスの捉え方、鬱と対処法
8	生活習慣病の予防と体力	生活習慣病の予防、日本で行われているヘルスプロモーション
9	健康づくりのための食事	健康づくりに必要な食事方法
10	健康づくりのための運動	健康づくりに必要な運動方法、健康づくりのための身体活動基準
11	健康づくりのための休養	健康づくりに必要な休養方法、睡眠、ストレスへの対処
12	健康づくりのための社会参加	健康づくりに必要な人との関わり
13	生涯にわたる健康づくり	年代別の健康問題、予防法、 喫煙と飲酒が健康に及ぼす影響
14	まとめ	授業全体の総括と総復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
次の授業に向けての準備や授業後に行う課題や授業内容の復習等は、各 2 時間を標準とする。授業に向けた準備や復習内容は、授業中に提示する。

【テキスト（教科書）】
本授業では教科書を使用しない。授業で必要なスライドは適宜、配布もしくは配信する。

【参考書】
授業の中で参考になる図書等は紹介するが、購入が必須ではない。

【成績評価の方法と基準】
毎回の授業終了時に小レポートの提出を求める。小レポートの内容と提出状況で成績評価の５割、最終レポートの内容と提出状況が残りの５割とする。

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできていない。

【学生が準備すべき機器他】
課題提出のため、学習支援システムもしくはメールを使用する。

【その他の重要事項】
感染症などの流行状況を鑑み、上記の授業の進め方を変更する場合がある。

【Outline and objectives】
In this class, we will study "lifelong health promotion" as the main theme. Through this class, students will be able to understand the fundamentals of nutrition, exercise, rest and social participation necessary for a long and healthy life.

HSS200LA

健康の科学ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

阿部　巧

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年※定員制
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
「健康の科学 LB」では、「健康の科学 LA」で学習した内容に続いて、「高齢期の健康づくり」を主要テーマとして学習する。特に、現在の日本は世界でも類を見ない超高齢社会を迎えている。本授業を通して、日本が直面している少子・高齢化問題に対して、どのように貢献できるかについて考える。また、高齢期の健康問題には、若齢期の生活習慣が影響するものもあるため、ライフコースアプローチについて理解する。

【到達目標】
1. 高齢期に生じる健康問題とその基本的な予防・対処法について理解する。
2. 学習したことを自身や家族の健康づくりに役立てる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義を中心に各テーマの学習を進める。授業形態は対面の回とオンラインの回を組み合わせて実施する予定である。毎回の授業終了時に、テーマに関する自身の考えや意見・質問などをまとめたリアクションペーパーの提出を求める。各回の授業の初めに、前回の授業で提出されたリアクションペーパーに記載されていた内容や意見、質問を紹介・解説する形で全体にフィードバックをおこなう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の概要説明
第 2 回	本邦の高齢化の現状	高齢化の現状と要因・課題
第 3 回	高齢期の健康１	高齢期の生活機能と体力
第 4 回	高齢期の健康２	老年症候群（転倒、尿失禁、閉じこもり）の現状と予防
第 5 回	高齢期の健康３	老年症候群（低栄養）の現状と予防
第 6 回	高齢期の健康４	認知症の現状と予防
第 7 回	高齢期の健康５	フレイルの現状と予防
第 8 回	高齢期の健康６	ロコモティブシンドロームとサルコペニアの現状と予防
第 9 回	健康づくりの三本柱：運動、栄養、社会参加１	高齢期の運動
第 10 回	健康づくりの三本柱：運動、栄養、社会参加２	高齢期の食習慣と社会参加
第 11 回	地域・職域での健康づくり１	地域に介護予防の取り組みを広げる方法と実例の紹介
第 12 回	地域・職域での健康づくり２	地域での介護予防の実践プロセス
第 13 回	高齢期の健康行動	高齢者の行動特性

第 14 回　まとめ	今後の健康づくり・介護予防の方向性

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
次の授業に向けての準備や授業後におこなうべき課題や復習等は、教員からの指示に従って実践するものとし、各 2 時間を標準とする。また、日ごろから高齢者の健康に関連する話題に目を向けることも準備学習となりうる。

【テキスト（教科書）】
特に指定しない。授業テーマに合わせた資料を配布する。

【参考書】
適宜、関連する書籍などを授業内で紹介する。

【成績評価の方法と基準】
授業ごとのリアクションペーパー（授業への参加・取り組み・理解度： 50%）、レポート課題（50%）

【学生の意見等からの気づき】
講義だけではなく、健康づくりの課題について考える機会を設ける予定である。

【学生が準備すべき機器他】
特になし。

【その他の重要事項】
授業の進捗状況および授業実施方法（対面・オンライン）への対応によって、若干の変更があり得る。

【Outline and objectives】
The health science LB aims to learn about health promotion among older adults as a next step of the health science LA. Japan has been a super-aged society. This class provides the opportunity to understand public issues related to a declining birth rate and an aging population in Japan and a life course approach.

HSS200LA

健康の科学ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

谷本　都栄

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年※定員制
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
人生 100 年時代を迎え人々の生き方が多様化する中で、身体的な健康だけでなく、生きがいや人間の尊厳をも含めたホリスティック・ヘルス（包括的健康）の視点が重要になってきている。本講義では、バイオ・サイコ・ソーシャル・ヘルスに関わる様々なトピックスから個人の健康や社会の健康につい考え、ウェルネスの確立に向けて自ら実践に結びつけていくことを目指す。

【到達目標】
・健康の概念や健康観の変遷から、健康とは何かについて理解を深める。
・包括的健康の視点から、自己の生活の質や地域の課題について考える。
・個人及び社会におけるウェルネスの確立に向けて主体的に行動できるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
・オリジナルテキストや各種資料を用いて、身近な題材を交え分かり易く解説する。
・セルフチェックや時事的な問題を取り上げ、具体的に考えられるようにする。
・毎回のワークシートやリアクションペーパーにより、随時フィードバックしていく。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の概要、授業の進め方
第 2 回	健康観・健康概念の多様化	世界における健康観・健康概念がどのように多様化してきたかについて理解を深める。
第 3 回	日本における健康観の変遷	日本における健康観・健康概念の変遷について、時代背景を踏まえて理解を深める。
第 4 回	ホリスティック・ヘルスとは	ホリスティック・ヘルスの視点から現代人の心身の健康について考える。
第 5 回	心身の健康とストレス特性	自己の身体的・精神的・社会的ストレス度を測り、ストレス特性を知る。
第 6 回	ストレスマネジメント	自己のストレス特性に応じたストレス対処、セルフマネジメントについて学ぶ。
第 7 回	ストレスマネジメント実践編	日常生活で実践しやすいストレスマネジメントの方法を学ぶ。
第 8 回	日本人の生活と健康	我が国の健康政策から日本人の生活と健康課題について理解を深める。

第 9 回	0 次予防とは	0 次予防、健康のための環境づくりの考え方について学ぶ。
第 10 回	健康のための環境づくり	健康のための環境づくりの先進事例をとおして地域の課題について考える。
第 11 回	ライフサイクルと健康	ライフサイクル、各ライフステージにおける健康課題について理解を深める。
第 12 回	ライフスタイルと健康	ライフコース、ライフスタイルの多様化とワークライフバランスについて考える。
第 13 回	人生 100 年時代をどう生きるか	超高齢社会におけるウェルビーイングについて考える。
第 14 回	まとめ	全体の振り返りと総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・本授業の準備・復習時間は、関連する記事や文献を読む、学んだことを実践する等、各 2 時間を標準とする。
・レポート課題は、複数の文献を読み込み、授業で学んだ知識も含めて総合的に論じるための準備が必要である。

【テキスト（教科書）】
・毎回オリジナルプリントを使用する。

【参考書】
・適宜テーマに関連する文献等を紹介する。

【成績評価の方法と基準】
・平常点（ワークシート、リアクションペーパー）70 %
・期末レポート 30 %

【学生の意見等からの気づき】
・各種資料を用いるなどして具体的に把握できるようにする。
・ワークシートにより各自が考えながら取り組めるようにする。
・リアクションペーパーを活用し、インタラクティブな授業になるよう工夫する。

【Outline and objectives】
With the 100-Year Life, a life-course has become increasingly dynamic and diversified. Regarding the quality of individual lives, not only physical health but also perspective of holistic health including “ikigai” and human dignity is becoming an important concept.
Health Sciences for ways of living is based on the biopsychosocial model, which posits that biological, psychological and social well-being are interactively. The program has the following objectives.
1. Introduce students to the field of Health Sciences of body, mind, and spirit
2. Provide a basic understanding of the theory and specific issues of biopsychosocial health
3. Encourage students to practice for health promotion in their life and community

HSS200LA

健康の科学ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

谷本　都栄

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年※定員制
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
健康はいきいきと生きていくための資源であり、自ら健康をコントロールし、改善していくことは重要なライフスキルである。本講義では、ヘルスプロモーションの視点から、栄養・運動・休養に関わる基礎的知識、健康的な生活習慣や環境づくりについて学び、各自の生活における意識の向上、具体的な実践に結びつけていくことを目指す。

【到達目標】
・栄養・運動・休養に関わる基礎的知識を身に付け、自己の生活習慣を見直す。
・健康的なライフスタイルを意識して、学んだことを日々の生活に活かす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP1、国際文化学部： DP3、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
・オリジナルテキストや各種資料を用いて、身近な題材を交え分かり易く解説する。
・セルフチェックや時事的な問題を取り上げ、具体的に考えられるようにする。
・毎回のワークシートやリアクションペーパーにより、随時フィードバックしていく。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の概要、授業の進め方
第 2 回	生活習慣・健康度チェック	チェックシートにより自己の生活習慣や健康度を確認する。
第 3 回	健康的なウエイトコントロール	適正体重やボディイメージを知り、健康的なウエイトコントロールについて学ぶ。
第 4 回	エネルギー必要量と摂取量	エネルギー必要量と摂取量、食事内容をチェックし、改善点を認識する。
第 5 回	食と健康	スポーツ栄養、食の安全やサプリメント等のトピックから、食と健康について考える。
第 6 回	生活習慣病の予防	メタボリックシンドローム、生活習慣病とその予防について学ぶ。
第 7 回	運動・スポーツの意義と役割	現代社会における運動・スポーツの重要性について理解を深める。
第 8 回	運動・スポーツによるトレーニング効果	人間の身体の特徴、運動・スポーツによるトレーニング効果について学ぶ。
第 9 回	適切な運動量と運動内容	適切な運動量と運動内容を知り、運動習慣の改善点を認識する。
第 10 回	生体リズムと健康	生体リズムと健康の関係について理解を深める。

第 11 回　日本人の生活と健康	経済格差と健康、企業の健康経営など時事的なトピックから、日本人の生活と健康について考える。
第 12 回　ウェルエイジング	加齢による心身の変化を知り、老いをどう生きるかについて考える。
第 13 回　超高齢社会と健康	人生 100 年時代におけるウェルビーイングについて考える。
第 14 回　まとめ	全体の振り返りと総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・本授業の準備・復習時間は、関連する記事や文献を読む、学んだことを実践する等、各 2 時間を標準とする。
・レポート課題は、複数の文献を読み込み、授業で学んだ知識も含めて総合的に論じるための準備が必要である。

【テキスト（教科書）】
・毎回オリジナルプリントを使用する。

【参考書】
・適宜テーマに関連する文献等を紹介する。

【成績評価の方法と基準】
・平常点（ワークシート）70 %
・期末レポート 30 %

【学生の意見等からの気づき】
・各種資料を用いるなどして具体的に把握できるようにする。
・ワークシートにより各自が考えながら取り組めるようにする。
・リアクションペーパーを活用し、インタラクティブな授業になるよう工夫する。

【Outline and objectives】
Health promotion is the process of enabling people to increase control over, and to improve, their health. It moves beyond a focus on individual behaviour towards a wide range of social and environmental interventions. (WHO)
To maintain a healthy body and mind is an essential life skill improving a quality of life. Developing healthy habits are needed not only to keep your life long but enhance your happiness and vitality. The program has the following objectives.
1. Provide students the foundational knowledge and skills required for healthy lifestyle
2. Encourage students to practice for health promotion in their life

LANe100LA

入門英語 (SSI) Ⅰ

2017 年度以降入学者

山崎　暁子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 1 年～（SSI 生のみ）/レベル共通※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
英文法の基礎を復習しながら、会話や短い文章のリスニング、発音練習を行う。学んだ表現を応用して発話することで、日常的な英語表現を身につける。

【到達目標】
英語の音に慣れ、日本語の音との違いを意識することで、聴き取りと発音の能力を高める。英文の基本的な構造を理解して、簡単な英文を読み、書き、発話できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
基本的に 1 つのユニットを 2 回で扱う。1 週目はおもに文法の復習と練習、リスニングをする。2 週目はおもに内容理解、英文を書く練習、会話練習を行う。学んだ表現を覚えて使えるようになることをめざす。学習支援システムから出題するテスト・課題による学習が中心となる予定。週に一度、複数のテスト・課題を学習支援システムから出題し、フィードバックする。履修者の希望に応じて教室で授業をする回も設け、ペアワークを取り入れる。
履修希望者は学習支援システムに仮登録し、「お知らせ」の説明を読んだうえで、選抜アンケートに回答すること。説明とアンケートが掲載され次第、仮登録者にはメールで通知する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の進め方を説明し、選抜のためのアンケートをする。
2	Unit 1	現在時制
3	Unit 1	Travel
4	Unit 2	代名詞
5	Unit 2	Homestay English
6	Unit 3	前置詞（時・場所）
7	Unit 3	At a company
8	Unit 4	過去時制
9	Unit 4	Entertainment
10	Unit 5	可算・不可算名詞
11	Unit 5	Shopping
12	Unit 6	Wh 疑問文
13	Unit 6	Technology
14	まとめ	期末テストと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
①教科書の指定範囲の説明をよく読み、単語の意味を調べる。教科書の音声ファイルをダウンロードして、練習問題をすべて解く。
②学習した内容が定着するよう、テストの模範解答と課題フィードバックを参考にして復習する。

【テキスト（教科書）】
English Booster!　金星堂　2021 年　2000 円（税別）

【参考書】
課題学習の際、参照してよいのは教科書、教科書の音声ファイル、辞書のみとする。

【成績評価の方法と基準】
平常点 40 %、テスト・課題 40 %、試験 20 %。
第 1 回の授業で選抜のためのアンケートを実施する。履修希望者は必ず期限までに回答すること。
週に一度、複数のテストと課題を出題する。4 週分の課題を提出できなかった時点で単位修得の資格を失うので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】
教科書の英語を繰り返し聴き、その発音練習をして録音した音声ファイルを提出する課題が、リスニングと発音の向上に効果的だったので、このやり方を続ける。

【学生が準備すべき機器他】
毎週、連絡と出題に学習支援システムを使用する。

【その他の重要事項】
教科書は必ず買うこと。
学習支援システムに掲載する情報は、大学から付与されたメールアドレスに届くので、必ず毎日チェックすること。

【Outline and objectives】
Students will renew their memory of basic English grammar and learn to communicate in simple sentences. They will listen to and read conversations and short passages, which will help them write and speak their own sentences.

LANe100LA

入門英語 (SSI) Ⅱ

2017 年度以降入学者

山崎　暁子

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 1 年～（SSI 生のみ）/レベル共通※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
英文法の基礎を復習しながら、会話や短い文章のリスニング、発音練習を行う。学んだ表現を応用して発話することで、日常的な英語表現を身につける。

【到達目標】
英語の音に慣れ、日本語の音との違いを意識することで、聴き取りと発音の能力を高める。英文の基本的な構造を理解して、簡単な英文を読み、書き、発話できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
基本的に 1 つのユニットを 2 回で扱う。1 週目はおもに文法の復習と練習、リスニングをする。2 週目はおもに内容理解、英文を書く練習、会話練習を行う。学んだ表現を覚えて使えるようになることをめざす。学習支援システムから出題するテスト・課題による学習が中心となる予定。週に一度、複数のテスト・課題を学習支援システムから出題し、フィードバックする。履修者の希望に応じて教室で授業をする回も設け、ペアワークを取り入れる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	秋学期履修者および授業の進め方の確認
2	Unit 7	進行形
3	Unit 7	Daily life
4	Unit 8	助動詞
5	Unit 8	Environment
6	Unit 9	Will & Be going to
7	Unit 9	Employment
8	Unit 10	比較級＆最上級
9	Unit 10	Sales & Marketing
10	Unit 11	現在完了
11	Unit 11	Job interview
12	Unit 13	動名詞＆不定詞
13	Unit 13	Email
14	まとめ	期末テストと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
①教科書の指定範囲の説明をよく読み、単語の意味を調べる。教科書の音声ファイルをダウンロードして、練習問題をすべて解く。
②学習した内容が定着するよう、テストの模範解答と課題フィードバックを参考にして復習する。

【テキスト（教科書）】
English Booster!　金星堂　2021 年　2000 円（税別）

【参考書】
課題学習の際、参照してよいのは教科書、教科書の音声ファイル、辞書のみとする。

【成績評価の方法と基準】
平常点 40 %、テスト・課題 40 %、試験 20 %。
週に一度、複数のテストと課題を出題する。4 週分の課題を提出できなかった時点で単位修得の資格を失うので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】
教科書の英語を繰り返し聴き、その発音練習をして録音した音声ファイルを提出する課題が、リスニングと発音の向上に効果的だったので、このやり方を続ける。

【学生が準備すべき機器他】
毎週、連絡と出題に学習支援システムを使用する。

【その他の重要事項】
教科書は必ず買うこと。
学習支援システムに掲載する情報は、大学から付与されたメールアドレスに届くので、必ず毎日チェックすること。

【Outline and objectives】
Students will renew their memory of basic English grammar and learn to communicate in simple sentences. They will listen to and read conversations and short passages, which will help them write and speak their own sentences.

LANe100LA

入門英語 (SSI) Ⅰ

2017 年度以降入学者

前川　裕

開講時期：春学期授業/Spring ｜ 曜日・時限：水 2/Wed.2
単位数：1 単位
法文営国環キ 1 年～（SSI 生のみ）/レベル共通※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スポーツサイエンスインスティテュート所属学生のための英語であり、それ以外のものは受講できない。学生は基礎的な文法力および英会話力を身につけることを目的とする。

【到達目標】
スポーツ選手である学生が、海外等に出たときに、ある程度外国の競技者と英語で話ができるようになるために必要な英語基礎力の養成を目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
簡単な英文法のテキストを使って、演習形式で授業を進める。また、英語に慣れるため、毎回、英語の音楽を聴き、平易な書き取り演習も行う。課題のフィードバックは「学習支援システム」によって行う。状況によっては、「学習支援システム」によるオンライン授業になる可能性がある。その場合は、「学習支援システム」の「お知らせ」で授業の進め方を改め手指示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Unit1	be 動詞（現在形）の解説。
2	Unit2	一般動詞（現在形）の解説。
3	Unit3	be 動詞（過去形）の解説。
4	Unit4	一般動詞（過去形、規則変化）の解説
5	Unit5	一般動詞（過去形、不規則変化）の解説。
6	Unit6	進行形の解説。
7	Unit7	未来形の解説。
8	Unit8	助動詞（1）must や can の用法の解説。
9	Unit9	助動詞（2）should や may の用法の解説。
10	Unit10	名詞・冠詞の解説。
11	Unit11	代名詞の解説。
12	Unit12	前置詞の解説。
13	Unit13	形容詞の解説。
14	英語学習の方法	春学期授業内容の総まとめ。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
テキストを予習し、練習問題は教室に来る前にすべて解いてくること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Everyday English Grammar ーー大学生のためのコミュニケーション英文法（南雲堂）

【参考書】
特になし。

【成績評価の方法と基準】
（対面授業の場合）平常点（６０％）、授業内試験（４０％）各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。
（オンライン授業の場合）改めて、「学習支援システム」で提示する。

【学生の意見等からの気づき】
リスニングの強化重要性およびいかに英語に関心を持たせるかの重要性。

【学生が準備すべき機器他】
学生が用意すべき情報機器は特になし。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to provide the students with the basic knowledege of English which makes it possible for them to speak English in everyday conversation. The students are expected to review the basic English grammar and usage which they have ever learnt. This course is limited to S.S.I students.

LANe100LA

入門英語 (SSI) Ⅱ

2017 年度以降入学者

前川　裕

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 2/Wed.2
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 1 年～（SSI 生のみ）/レベル共通※定員制
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スポーツサイエンスインスティテュート所属学生のための英語であり、それ以外のものは受講できない。学生が基礎的な文法力および英会話力を身につけることを目的とする。

【到達目標】
スポーツ選手である学生が海外での競技生活が可能になる程度の英語力の養成を目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
簡単な英文法のテキストを使って、演習形式で授業を進める。また、英語に慣れるため、毎回、英語の音楽を聴き、平易な書き取り演習も行う。課題のフィードバックは「学習支援システム」によって行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Unit15	比較（1）比較級の用法の解説。
2	Unit16	比較（2）最上級の用法の解説。
3	Unit13	接続詞の解説。
4	Unit14	前置詞の解説
5	Unit15	受動態の解説。
6	Unit16	不定詞の解説。
7	Unit17	動名詞の解説。
8	Unit18	分詞の解説。
9	Unit19	現在完了の解説。
10	英語学習法	それまで学習した基本文法の総復習。
11	旅行英会話（1）	プリントを使い、簡単な旅行英会話の練習をする。
12	旅行英会話（2）	具体的な場面設定をして、学生諸君に英語を話してもらう。
13	英語スピーチの練習	自分のとり組んでいるスポーツについて、英語で説明する練習をしてもらう。
14	英語学習の方法	最終試験に備えて、もう一度授業内容を総復習する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
テキストを予習し、練習問題は教室に来る前にすべて解いてくること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Everyday English Grammar ーー大学生のためのコミュニケーション英文法（南雲堂）

【参考書】
特になし。

【成績評価の方法と基準】
平常点（６０％）、授業内試験（４０％）各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】
英語を楽しく学習することの重要性

【学生が準備すべき機器他】
学生が用意すべき情報機器は特になし。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to provide the students with the basic knowledge of English which makes it possible for them to speak English in everyday conversation. The students are expected to review the basic English grammar and usage which they have ever learnt. This course is limited to S.S.I students.

LANe100LA

入門英語 (SSI) Ⅰ

2017 年度以降入学者

須藤　祐二

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 1 年～（SSI 生のみ）/レベル共通※定員制
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
SSI の学生のなかで、英語を苦手とする学生が英語の基本文法や表現を習得することを目的とする。英語のレベルは基礎的なものから始めるが、徐々にさまざまな場面で使用可能な表現の解説に移る。

【到達目標】
受講生は、英語の基本的な構造を理解できるようにする。また、挨拶や自己紹介など、身の回りの日常会話のための表現を身につけるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
予習をして授業に参加すること。まずテキストの演習と解説を行う。その後、テキストのテーマの発展問題を行うこともある。さらに、口頭表現に養うための演習を行う。受講者には積極的に演習を行うことが求められる。
提出された課題のフィードバックは、授業中だけでなく、「学習支援システム」（Hoppii）を通じて行う。
この授業はハイブリッド型で行う。対面の週と Zoom の週がある。詳細は Hoppii で知らせるので、毎週、確認してください。大学の行動方針レベル２以上では Zoom で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	導入	春学期の授業の進め方を紹介する。必要であれば、受講者の選抜をする
第 2 回	Unit1	Unit1 を演習する
第 3 回	Unit2	Unit2 を演習する
第 4 回	Unit3-(1)	Unit3 の前半を演習する
第 5 回	Unit3-(2)	Unit3 の後半を演習する
第 6 回	Unit4	Unit4 を演習する
第 7 回	Unit5	Unit5 を演習する
第 8 回	Unit6-(1)	Unit6 の前半を演習する
第 9 回	Unit6-(2)	Unit6 の後半を演習する
第 10 回	Unit7-(1)	Unit7 の前半を演習する
第 11 回	Unit7-(2)	Unit7 の後半を演習する
第 12 回	Unit8-(1)	Unit8 の前半を演習する
第 13 回	Unit8-(2)	Unit8 の後半を演習する
第 14 回	春学期のまとめ	春学期に学んだ英語表現や文法の再確認をする

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
各回、予習をして授業に参加すること。課題が出された場合には、遅れることなく提出すること。本授業の準備・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
English Booster!（ストーリー＆必須文法で学ぶ大学生の英語基礎力スタートアップ）
Robert Hickling 著、金星堂

英和・和英辞書を必ず持参すること

【参考書】
特に指定しない。

【成績評価の方法と基準】
学期末試験 50 %、授業時の応答や参加度 50 %。
4 回以上欠席した者は、成績評価の対象から外れる。また、遅刻 2 回で欠席 1 回に換算するので、注意すること。
授業に出ていても、予習を行っていない、または、演習に積極的に参加しない受講生は出席と認めない。

【学生の意見等からの気づき】
ひきつづき、受講生の英語のレベルに合わせながら進度を調節する。

【学生が準備すべき機器他】
Zoom による授業を大学でうけるときには、自分用のマイク付きヘッドセットを用意すること。同じ授業を受けている学生が近くにいる状態でヘッドセットなしで授業を受けるとハウリングが起こり、授業に支障がでる。

【Outline and objectives】
In this course designed for SSI students, they will learn basic English grammar and vocabulary, starting off by learning the basics of English, including developing a knowledge of English phrases and vocabulary used on a daily basis.

LANe100LA

入門英語 (SSI) Ⅱ

2017 年度以降入学者

須藤　祐二

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 1 年～（SSI 生のみ）/レベル共通※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
SSI の学生のうち英語を苦手とする学生に、英語の基本から解説と演習を行う。春学期よりも多少難しい文法項目まで範囲に収め、基礎的な英語の運用能力の習得を目指す。

【到達目標】
受講生は、英語の基本的な構造を理解できるようにする。また、挨拶や自己紹介だけでなく、時制や適切な語句の選択等などを通じて、春学期よりも多少高い英語表現能力を身につけるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
予習をして授業に参加すること。まずテキストの演習と解説を行う。その後、テキストのテーマの発展問題を行うこともある。さらに、口頭表現に養うための演習を行う。受講者には積極的に演習を行うことが求められる。
提出された課題のフィードバックは、授業中だけでなく、「学習支援システム」（Hoppii）を通じて行う。
この授業はハイブリッド型で行う。対面の週と Zoom の週がある。詳細は Hoppii で知らせるので、毎週、確認してください。大学の行動方針レベル２以上では Zoom で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	春学期の振り返り	春学期に学んだ文法項目等の再確認を行う
第 2 回	Unit9-(1)	Unit9 の前半を演習する
第 3 回	Unit9-(2)	Unit9 の後半を演習する
第 4 回	Unit10-(1)	Unit10 の前半を演習する
第 5 回	Unit10-(2)	Unit10 の後半を演習する
第 6 回	Unit11-(1)	Unit11 の前半を演習する
第 7 回	Unit11-(2)	Unit11 の後半を演習する
第 8 回	Unit12-(1)	Unit12 の前半を演習する
第 9 回	Unit12-(2)	Unit12 の後半を演習する
第 10 回	Unit13-(1)	Unit13 の前半を演習する
第 11 回	Unit13-(2)	Unit13 の後半を演習する
第 12 回	Unit14	Unit14 を演習する
第 13 回	Unit15	Unit15 を演習する
第 14 回	秋学期のまとめ	秋学期に学んだ英語表現や文法の再確認をする

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
各回、予習をして授業に参加すること。課題が出された場合には、遅れることなく提出すること。本授業の準備・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
English Booster!（ストーリー＆必須文法で学ぶ大学生の英語基礎力スタートアップ）
Robert Hickling 著、金星堂
英和・和英辞書を必ず持参すること

【参考書】
特に指定しない。

【成績評価の方法と基準】
学期末試験 50 %、授業時の応答や参加度 50 %。
4 回以上欠席した者は、成績評価の対象から外れる。また、遅刻 2 回で欠席 1 回に換算するので、注意すること。
授業に出ていても、予習を行っていない、または、演習に積極的に参加しない受講生は出席と認めない。

【学生の意見等からの気づき】
ひきつづき、受講生の英語のレベルに合わせながら進度を調節する。

【学生が準備すべき機器他】
Zoom による授業を大学でうけるときには、自分用のマイク付きヘッドセットを用意すること。同じ授業を受けている学生が近くにいる状態でヘッドセットなしで授業を受けるとハウリングが起こり、授業に支障がでる。

【Outline and objectives】
In this course designed for SSI students, they will learn basic English grammar and vocabulary, starting off by learning the basics of English, including developing a knowledge of English phrases and vocabulary used on a daily basis.

LANe100LA

入門英語 (SSI) Ⅰ

2017 年度以降入学者

鈴木　理枝

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 1 年～（SSI 生のみ）※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では、英語の基礎力に自信のない学生を対象にしています。基礎文法力、語彙力、リスニング力を身につけ、社会で使用できる実践力を身につけていきます。

【到達目標】
総合的な英語基礎力を身につける。
（基礎文法力、基礎読解力、リスニング力、基礎日常会話力を身につける。）

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業形式は、テキストを中心に演習授業になります。ペアワーク中心に進めます。英語が苦手な学生が、英語をまず好きになってもらうように双方向の楽しい授業を心がけます。授業内での課題、発表に対して、口頭でフィードバックする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス 自己紹介ゲーム	授業内容、授業の進め方、成績のつけ方、出欠について説明する。 自己紹介ゲームをする。
2	Unit 1 ①人物の動作と状態	動詞と位置関係を表す語句を学習する。
3	Unit 1 ②表・用紙	注文確認書や旅行日程表等、すばやく情報を特定する力を身につける。
4	Unit 2 ①疑問詞を使った疑問文	疑問詞を使った疑問文の聞き取りができるよう、リスニング力を身につける。
5	Unit 2 ②広告	広告の内容を読み取る訓練をする。
6	Unit 3 ①日常場面での会話	日常会話で使用される英語表現を身につける。
7	Unit 3 ②品詞	語順に関する知識を身につける。
8	Unit 4 ①アナウンス・ツアー	スケジュールや注意事項を伝える流れを理解する。
9	Unit 4 ②時制・態	英文を読む際の基本となる時制と態を復習する。
10	Unit 5 ①物の状態と位置	物の状態と位置に関する表現力を身につける。
11	Unit 5 ②チャット	チャットで使用する表現を身につける
12	Unit 6 ①依頼・提案・勧誘・申し出・応答の決まり文句	基本構文を身につける。
13	Unit 6 ②手紙・E メール	概要をつかみ、目的を読み取る力を身につける。
14	期末試験	期末試験・正答解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
分からない語彙、訳があれば辞書を引き予習しておくこと。CD を聞き、発音を確認しておくこと。練習問題を予習しておくこと。

【テキスト（教科書）】
Mastery Drills for the TOEIC Test
Koji Hayakawa　桐原書店、2019
1,700 円+税

【参考書】
履修者に応じて、授業内で必要な場合は、参考書を指定する。

【成績評価の方法と基準】
期末試験： 60 %
平常点： 40 %（授業への参加度、発表、小テスト）
欠席 4 回以上で、単位取得不可。

【学生の意見等からの気づき】
本年度新規科目につきアンケートを実施していません。

【Outline and objectives】
This class is for students who are not confident in their basic English proficiency. Acquire basic grammar, vocabulary, and listening skills, and acquire practical skills that can be used in society.

LANe100LA

入門英語 (SSI) Ⅱ

2017 年度以降入学者

鈴木　理枝

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 1 年～（SSI 生のみ）※定員制
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では、基礎的な英語に自信のない学生を対象にしています。基礎文法力、語彙力、リスニング力を身につけ、社会で使用できる実践力を身につけます。

【到達目標】
総合的な英語基礎力を身につける。（基礎文法力、基礎読解力、基礎日常会話力の向上を目指す。）

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業形式は、テキストを中心に演習授業になります。各学生は予習をして授業に臨むことを原則とします。文法の解説、語彙力、リスニング力向上のための訓練を行い、実践力を身につけていきます。授業内での発表に対して、口頭でフィードバックする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス Unit 7 ①電話での会話	電話での会話を題材に、注文関連、予約関連、依頼や提案の仕方を習得する。
2	Unit 7 ②代名詞・関係代名詞	英文を読み取る訓練をする。
3	Unit 8 ①ラジオ放送・宣伝	特定の日時、場所の天気、道路状況、割引率などの数字や影響の範囲などの理解力を向上させる。
4	Unit 8 ②接続詞・前置詞	意味だけでなく、文法的使い方を身につける。
5	Unit 9 ① Yes/No 疑問文	どのようにポイントを聞き取ればいいか学習する。
6	Unit 9 ②ダブルパッセージ （2 つの文書）	2 つの文書の情報を合わせて理解する訓練をする。
7	Unit 10 ①オフィスでの会話	オフィスでの会話を身につける。
8	Unit 10 ②文法・語彙問題	文法・語彙力を身につける。
9	Unit 11 ①留守番電話	話の流れを理解する。
10	Unit 11 ②トリプルパッセージ （3 つの文書）	3 つの文書を関連させて意味を読み取る。
11	Unit 12 ①オフィスでの会話	発言内容と図表を関連させて解くグラフィック問題と発言の意図を理解する意図問題を理解する。
12	Unit 12 ②読解問題	情報の流れを理解しながら読む訓練をする。
13	Unit 13 通訳練習	クリスマスに関するスピーチの通訳練習をする。
14	期末試験	期末試験・正答解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
分からない語彙、訳があれば辞書を引き予習しておくこと。CD を聞き、発音を確認しておくこと。練習問題を予習しておくこと。

【テキスト（教科書）】
Mastery Drills for the TOEIC Test All in One Target 500
Koji Hayakawa 桐原書店　2019 1,700 円+税

【参考書】
学生のレベルや状況を鑑みて、授業内で指定する。

【成績評価の方法と基準】
期末試験：期末試験の結果（60 %）
平常点：　授業への参加度、発表（40 %）
欠席 4 回以上で単位取得不可。

【学生の意見等からの気づき】
本年度新規科目につきアンケートを実施していません。

【Outline and objectives】
This class is for students who are not confident in their basic English proficiency. Acquire basic grammar, vocabulary, and listening skills, and acquire practical skills that can be used in society.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Current Issues in the English-Speaking World

佐藤　陽子

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
法 2 年、文（史地心）2 年：上級／英語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

【到達目標】
1) Students will read and understand English texts and become familiar with relevant writing styles and vocabulary items.
2) Students will critically evaluate the reading and listening materials by paying attention to the style and conducting research.
3) Students will learn to express their own opinions in speech and in writing, including group discussions and presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Students participate in a variety of activities that involves the four skills of reading, writing, listening and speaking. Each class centres around pair and group work based on reading and/or listening homework on current affairs and/or cultural issues. The overall class atmosphere is friendly and informal. The lessons will be given in English and online via Zoom given the on-going Covid-19 crisis. Important information will be distributed via HOPPII, and the notifications will be sent to your *Hosei email address*. Students have opportunities to ask questions, give opinions, and voice concerns etc both in class and in a post-lesson questionnaire conducted after each lesson. Feedback on these will be typically given in the next lesson. Feedback on the homework and presentations will be given in class and/or via HOPPII.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction, getting to know each other	Communicative activities, plans for the semester
2	Unplanned speech 1, understanding Current Issue 1	Conversation, vocabulary quiz 1, comprehension check on reading HW on Topic 1,
3	Planned speech, discussing Current Issue 1 (1)	Show & Tell 1, group discussion (1) on Topic 1
4	Planned speech, Discussing Current Issue 1 (2)	Show & Tell 2, group discussion (2) on Topic 1

5	Unplanned speech, discussing Current Issue 1 (3),	Conversation, group discussion (2) on Topic 1
6	Unplanned speech preparing for Presentation 1	Conversation, preparation for the group presentation on Topic 1
7	Presenting on Current Issue 1	Group presentations on Topic 1
8	Feedback on Presentation 1, unplanned speech, understanding Current Issue 2	Conversation, peer- and teacher feedback on presentation 1, Vocabulary Quiz on reading HW on Topic 2, reading HW comprehension check
9	Planned speech, discussing Current Issue 2 (1)	Show & Tell 3, group discussion on Topic 2
10	Planned speech, discussing Current Issue 2 (2)	Show & Tell 4, group discussion on Topic 2
11	Unplanned speech, discussing Current Issue 2 (3)	Conversation, group discussion
12	Unplanned speech, preparing for Presentation 2	Conversation, preparation for the group presentation on Topic 2
13	Presenting on Current Issue 2	Group presentations on Topic 2
14	Feedback on Presentation 2, unplanned speech, recap of the semester & student feedback	Peer- and teacher feedback on presentation 2, recap of the semester, student feedback

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students are expected to complete homework assignments and prepare for regular vocabulary quizzes and presentations. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
No textbook is assigned. Materials and homework information will be distributed via HOPPII.

【参考書】
Good dictionaries that suit your level and need

【成績評価の方法と基準】
Students will be assessed based on the following criteria:
Class participation: 25%
Homework and quizzes: 40%
Presentations: 35%
Please note that any student who misses the equivalent of more than 3 classes will not pass this course except in extreme circumstances. Please also note that absence does not excuse students from doing homework. When absent, students are also responsible for obtaining information etc by contacting the teacher and/or other students and for coming back to class in the following week with all the preparation done.

【学生の意見等からの気づき】
Although conducted online, this course seems to have enabled students to enjoy "talking" to each other in English, make friends, and develop a sense of community through its many communicative activities. Students also felt discussion and presentation skills very useful, and the topics interesting.

【学生が準備すべき機器他】
A computer (preferable) or a mobile phone is necessary to attend our Zoom lessons. A headset is needed to avoid audio feedback if you take the lesson/s on campus. Students are also required to use slides (e.g. PowerPoint) for their presentations and to submit written assignments using word-processing software (e.g. Word).

【Outline and objectives】
English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Current issues in the English-speaking world

佐藤　陽子

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
法 2 年、文（史地心）2 年：上級／英語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This course builds upon the skills and knowledge gained from English 3 I, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

【到達目標】
1) Students will read and understand English texts and become familiar with relevant writing styles and vocabulary items.
2) Students will critically evaluate the reading and listening materials by paying attention to the style and conducting research.
3) Students will learn to express their own opinions in speech and in writing, including group discussions and presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Students participate in a variety of activities that involves the four skills of reading, writing, listening and speaking. Each class centres around pair and group work based on reading and/or listening homework on current affairs and/or cultural issues. The overall class atmosphere is friendly and informal. The lessons will be given in English and online via Zoom given the on-going Covid-19 crisis. Important information will be distributed via HOPPII, and the notifications will be sent to your *Hosei email address*. Students have opportunities to ask questions, give opinions, and voice concerns etc both in class and in a post-lesson questionnaire conducted after each lesson. Feedback on these will be typically given in the next lesson. Feedback on the homework and presentations will be given in class and/or via HOPPII.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Welcome back, plans for the semester	Communicative activities, plans for the semester
2	Unplanned speech 1, understanding Current Issue 1, basics of essay writing (1)	Conversation, vocabulary quiz 1, comprehension check on reading HW on Topic 1, basics of essay writing (1)
3	Planned speech, discussing Current Issue 1 (1), basics of essay writing (2)	Show & Tell 1, group discussion (1) on Topic 1, basics of essay writing (2)
4	Planned speech, discussing Current Issue 1 (2), basics of essay writing (3)	Show & Tell 2, group discussion (2) on Topic 1, basics of essay writing (3)
5	Unplanned speech, discussing Current Issue 1 (3), preparing for Presentation 1	Conversation, group discussion (2) on Topic 1, preparation for the group presentation on Topic 1
6	Presenting on Current Issue 1	Group presentations on Topic 1
7	Feedback on Presentation 1, unplanned speech, understanding Current Issue 2	Conversation, peer- and teacher feedback on presentation 1, Vocabulary Quiz on reading HW on Topic 2, reading HW comprehension check
8	Planned speech, discussing Current Issue 2 (1)	Show & Tell 3, group discussion on Topic 2
9	Planned speech, discussing Current Issue 2 (2)	Show & Tell 4, group discussion on Topic 2
10	Unplanned speech, discussing Current Issue 2 (3)	Conversation, group discussion
11	Unplanned speech, preparing for Presentation 2	Conversation, preparation for the group presentation on Topic 2
12	Presenting on Current Issue 2	Group presentations on Topic 2
13	Feedback on Presentation 2, sharing essay drafts	Peer- and teacher feedback on presentation 2, share & discuss essay drafts
14	Recap of the semester, student feedback, sharing essays	recap of the semester, student feedback, sharing & discussing essays

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students are expected to complete homework assignments and prepare for regular vocabulary quizzes and presentations. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
No textbook is assigned. Materials and homework information will be distributed via HOPPII.

【参考書】
Good dictionaries that suit your level and need

【成績評価の方法と基準】
Students will be assessed based on the following criteria:
Class participation: 25%
Homework and quizzes: 35%
Presentations & an essay: 40%
Please note that any student who misses the equivalent of more than 3 classes will not pass this course except in extreme circumstances. Please also note that absence does not excuse students from doing homework. When absent, students are also responsible for obtaining information etc by contacting the teacher and/or other students and for coming back to class in the following week with all the preparation done.

【学生の意見等からの気づき】
Although conducted online, this course seems to have enabled students to enjoy "talking" to each other in English, make friends, and develop a sense of community through its many communicative activities. Students also felt discussion, presentation, and essay writing skills very useful, and the topics interesting.

【学生が準備すべき機器他】
A computer (preferable) or a mobile phone is necessary to attend our Zoom lessons. A headset is needed to avoid audio feedback if you take the lesson/s on campus. Students are also required to use slides (e.g. PowerPoint) for their presentations and to submit written assignments using word-processing software (e.g. Word).

【Outline and objectives】
This course builds upon the skills and knowledge gained from English 3 I, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Japan in the Modern World

ジェイソン　ポール　スミス

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
法 2 年、文（史地心）2 年：上級／英語／世界の中の日本
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Through reading, listening and discussion, students will develop their English proficiency. They will practice effectively expressing their opinions, knowledge and experience both orally and in written form. Group work will require discussions and teamwork; group presentations will be made. The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary.

【到達目標】
The purpose English 3 is to further develop student's English proficiency in this course and to provide participants with an active approach to increasing their speaking, listening, reading and writing skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Students receive feedback as follows on each assignment they submit; the teacher evaluates their work with a letter grade as well as written comments on their work and suggestions for any improvements needed.
The classes will be conducted in-person, on campus.
Group work will be aimed at facilitating discussions; group presentations are required. The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	Class intro	go over syllabus, introductions, discuss what you did during your spring break
第 2 回	2020 Olympics	Hosting the Olympics in Japan Typed opinion paragraph due next week.
第 3 回	Peer editing	Peer editing of above paragraph and group discussion of same Make groups for presentations based on theme list provided by instructor.
第 4 回	Changes	Immigration Reform through authentic source such as TED or VOA. Group discussion. Start outline for group presentation
第 5 回	inside looking out	A.TED Talk,"Your Body Language May Shape Who You Are" (21:02) Q & A B.Work on presentations

第 6 回	Comparing Health Insurance	A.National Health Insurance in Japan compared to Canada, America and Norway. -Group discussions- Work on presentations. Group presentation outline due. Essay outline due.
第 7 回	Tradition against modernity	A. Japan's Endless Search for Modernity article https://www.theatlantic.com B. Group work on presentations
第 8 回	Peer editing	A. Peer editing on typed paragraphs B. Group work on presentations C. Japan and its neighbors
第 9 回	Discussion	Discussion on Japan and it's neighbors. Article: How Toyota Helped Create A Thriving Japanese Food Culture In Kentucky. Opinion paragraph on week 10
第 10 回	TED Talk	A.Tony Robbins TED Talk,"Why We Do What We Do" (21:45) Q & A Technological change in Japan compared to the world
第 11 回	Presentation Prep	Entire class utilized by solidifying group presentations. Topics will be covered in class. One page essay due.
第 12 回	Presentations	2～3 group presentations + Q & A
第 13 回	get ready	2～3 group presentations + Q & A
第 14 回	Active feedback	Voicing your opinion on what you would like to see added or omitted in this class.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

The typed paragraphs are to be completed before coming to class. Highlighting, vocabulary work along with opinion and or summaries of all the handouts provided in class are also required before coming to class. Late work without an official documented excuse will result in a lower grade.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

『元経済産業省英文校閲者が書いたビジネスによく効く英語の本』ジリアン・ヨーク/森下　均著、一般財団法人経済産業調査会（￥2,200）

【参考書】

As described throughout this syllabus

【成績評価の方法と基準】

Group work & participation = 30% Paragraphs and essay = 35% Presentations = 35%
There are no tests in this class. Without a train delay slip students will be counted absent if more than 15 minutes late. Maximum of 3 absences. Speaking in English will result in higher participation points. Any form of plagiarism is unacceptable. Elaboration on this will be provided in class.

【学生の意見等からの気づき】

None

【Outline and objectives】

Through reading, listening and discussion, students will develop their English proficiency. They will practice effectively expressing their opinions, knowledge and experience both orally and in written form. Group work will require discussions and teamwork; group presentations will be made. The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Japan in the Modern World

ジェイソン　ポール　スミス

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
法 2 年、文（史地心）2 年：上級／英語／世界の中の日本
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Through reading, listening and discussion, students will develop their English proficiency. They will practice effectively expressing their opinions, knowledge and experience both orally and in written form. Group work will require discussions and teamwork; group presentations will be made. The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary.

【到達目標】
The purpose of this class is to further develop student's English proficiency in this course and to provide participants with an active approach to increasing their speaking, listening, reading and writing skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Students receive feedback as follows on each assignment they submit; the teacher evaluates their work with a letter grade as well as written comments on their work and suggestions for any improvements needed.
The classes will be conducted in-person, on campus.
Group work will be aimed at facilitating discussions; group presentations are required. The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	Welcome back	Discuss what you did during your spring break. The Convenience of Living in Japan article Highlight etc. in class
第 2 回	Peer editing	Discussion on article from week 1. Peer editing of above paragraph and group discussion of same. Make groups for presentations based on theme list provided by instructor.
第 3 回	Your choice	A. Select a short article related to Japan and the world; you must be prepared (highlighting, vocab work and opinion) before class. Discuss in groups. Group presentation work
第 4 回	Differences/ commonalities	TED: What does it mean to be a citizen of the world? Hugh Evans (16:57) Group discussion Group presentation work
第 5 回	Inside looking out	Single women living in poverty article Usual highlighting and vocab work. Discuss in small groups
第 6 回	Outline	A. Outline due for one page essay. Essay due on week 11. B. In class work on essay.
第 7 回	discussion	A. Select a short article from VOA (Voice of America), highlight important points and discuss it in small groups, You must be prepared before class. B. Group work on presentations
第 8 回	Peer editing	A. Peer editing on typed paragraphs B. Group work on presentations
第 9 回	Short speeches	Short speeches based on topic list provided by the instructor.
第 10 回	Japan Times	Tokyo's internet cafe 'refugees' number 4,000, survey says Japan Times
第 11 回	Preparation	Entire class utilized by solidifying group presentations. Topics will be covered in class. One page essay due.
第 12 回	Presentations	2～3 group presentations + Q & A
第 13 回	Presentations	2～3 group presentations + Q & A
第 14 回	Sayonara	Fun conversation board game done in small groups.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
The typed paragraphs are to be completed before coming to class. Highlighting, vocabulary work along with opinion and or summaries of all the handouts provided in class are also required before coming to class. Late work without an official documented excuse will result in a lower grade.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
『元経済産業省英文校閲者が書いたビジネスによく効く英語の本』ジリアン・ヨーク/森下　均著、一般財団法人経済産業調査会（￥2,200）

【参考書】
As described throughout this syllabus

【成績評価の方法と基準】
Group work & participation = 30% Paragraphs and essay = 35% Presentations = 35%
There are no tests in this class. Without a train delay slip students will be counted absent if more than 15 minutes late. Maximum of 3 absences. Speaking in English will result in higher participation points. Any form of plagiarism is unacceptable. Elaboration on this will be provided in class.

【学生の意見等からの気づき】
None

【Outline and objectives】
Through reading, listening and discussion, students will develop their English proficiency. They will practice effectively expressing their opinions, knowledge and experience both orally and in written form. Group work will require discussions and teamwork; group presentations will be made. The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**社会と文化の諸相**

岩坪　友子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
法 2 年、文（史地心）2 年：上級／日本語／現代の諸相
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
１年次に習得した英語の４技能を融合・向上させながら、世界のさまざまな側面を取り上げて紹介・問題提起する英文と関連教材に取り組みます。教科書の実用的な各種問題および発信（要約・意見）の練習を通じて、クリティカル・シンキング力を鍛えながら、高レベルの語彙や幅広い問題意識と表現力を身につけて、総合的な英語コミュニケーション力をのばします。

【到達目標】
(1) 英語での発信・受信に使える、より高い語彙力がある
(2) 英語で書かれた／話されたことがらについて、内容・趣旨を把握できる
(3) 英語で書かれた／話されたことがらについて、日本語や英語で要約・コメントできる
(4) 自分の意見・知識などを、英語で聞き手に伝わりやすく口頭で表現し、他の人の意見に質問やコメントができる
(5) トピックについて、多面的・客観的に考察・情報収集・分析し、自分の見解や知識を、論理的なパラグラフ構成の英語で書くことができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
＜※この授業はハイブリッド型です。ただし、大学の行動方針レベルが２となった場合、原則としてオンラインのみでの実施となります。詳細は学習支援システムでお知らせします。＞
Zoom 授業（リアルタイム双方向）、学習支援システム（教材提示・課題提出）、（可能な場合）教室対面（受講生の発話を伴わない内容など）、を効果的に組み合わせて実施予定です。具体的にはその都度事前に学習支援システム（Hoppii）の「お知らせ」を通じて確認・連絡します。
予習を前提として、授業では基本的に教科書に沿って問題・内容確認・練習を行います。進捗状況に応じて、テーマに関連するビデオクリップや記事その他の副教材を活用します。理解と考察を促すために、適宜日本語や英語で発問します（話され／書かれたもの全体やパラグラフの要旨、語彙・指示語・構文、話者や筆者の立場、受講生の意見など）。日本語や英語で要約・説明したり、論理的に意見を述べる／書く練習を行います。リスニングとスピーキングに役立つ音読練習も行います。授業内で課題や質問等へのフィードバックやアドバイスを行います。学期を通じて身につけた力を、授業、課題、小テスト、プレゼンテーションで発揮する流れになります。
（下記授業計画は、状況に応じて変更の場合があります。）

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 (4/12)	イントロダクション。Unit 1 Multisensory Art 導入	授業の概要説明。アンケート。The Arts について、語彙と大意把握

2 (4/19)	Multisensory Art 詳細理解と考察	The Arts について、精読・要約・ディスカッション。リスニングなど練習問題
3 (4/26)	Unit 2 Personality and Inner Growth 導入	Identity について、語彙と大意把握
4 (5/10)	Personality and Inner Growth 詳細理解と考察	Identity について、精読・要約・ディスカッション。リスニングなど練習問題
5 (5/17)	Unit 3 The Subterranean World 導入	Nature and Humanity について、語彙と大意把握
6 (5/24)	The Subterranean World 詳細理解と考察	Nature and Humanity について、精読・要約・ディスカッション。リスニングなど練習問題
7 (5/31)	Unit 4 Elements of Genius 導入	Achievement について、語彙と大意把握
8 (6/7)	Elements of Genius 詳細理解と考察	Achievement について、精読・要約・ディスカッション。リスニングなど練習問題
9 (6/14)	Unit 5 Sports Medicine 導入	Careers について、語彙と大意把握
10 (6/21)	Sports Medicine 詳細理解と考察	Careers について、精読・要約・ディスカッション。リスニングなど練習問題
11 (6/28)	Unit 6 Cultural Awareness 導入	Culture について、語彙と大意把握
12 (7/5)	Cultural Awareness 詳細理解と考察	Culture について、精読・要約・ディスカッション。リスニングなど練習問題
13 (7/12)	プレゼンテーション・リハーサル	練習・アドバイス（全体と個別指導）
14 (7/19)	プレゼンテーション。まとめ	発表・意見交換・講評。学期の振り返り・今後の展望（アンケート）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

①予習： STEP 1 テキストの練習問題を解き、解答の根拠も言えるようにする。STEP 2 英文全体を読み、（英語およびそれ以外の）知識と想像力を総合して趣旨を把握する。未知の単語は文脈から類推した上で、かならず辞書で確認する。STEP 3 文章構成を意識して、各段落・文章全体の要約（各 1～2 文程度）を日本語と英語で練習する。STEP 4 付属の音声を聴き、音読練習する。（関連教材についてもほぼ同様。）※課題は指示に沿って期限内に提出する。
②復習： STEP 5 内容を確認しながらテキストを再読する。STEP 6 付属の音声を（テキストを見ながら／見ないで）聴く、リピート／シャドーイングする。STEP 7 テキストで使われているキーワードや表現を使って内容の要約を言って／書いてみる。STEP 8 題材に関連する出版物やウェブで情報収集、視野を広げ、考察し、自分の意見を言って／書いてみる。（関連教材についてもほぼ同様。）
③ プレゼン準備： STEP 9 授業内容とプレゼン用 PDF 教材（学習支援システム）を参考にして少しずつ学期末のプレゼンテーションを準備する。※プレゼン原稿は指示に沿って期限内に事前提出する。
※上達の度合いは、英語に触れた時間と相関関係があると考えられるため、①②③および英語で情報収集・好きなコンテンツを楽しむ・書く・話すなどを継続するほど、英語力の伸びが期待されます。

【テキスト（教科書）】
Andrew E. Bennett, *Reading Fusion 3* 南雲堂、本体 2,200 円＋税（※関連教材は、随時配布・指示します。）

【参考書】
英語マスメディアのウェブサイト例： BBC Learning English (http://www.bbc.co.uk/learningenglish/), VOA Learning English (https://learningenglish.voanews.com/), CNN 10 (http://edition.cnn.com/cnn10), TED: Ideas Worth Spreading (https://www.ted.com), NPR (https://www.npr.org/), ABC News video (http://abcnews.go.com/video), 攻略！ABC ニュース英語 (www6.nhk.or.jp), CBS 60 Minutes (https://www.cbsnews.com/60minutes/), The *New York Times* (http://www.nytimes.com/), The *Guardian* (http://www.theguardian.com/uk). 参考書：『CNN ® ENGLISH EXPRESS』、『CNN ニュース・リスニング　2020［秋冬］』（朝日出版社）、『「英語モード」でライティング』（講談社）、『コンピューター対応 TOEFL ® テストライティング完全制覇』、『英語で書く力。』、『英語で話す力。』（三修社）、『英語ライティングルールブック』、『映画英語のリスニング』(DHC)、『公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 1-7』、『公式 TOEIC Listening & Reading トレーニング リスニング編』、『同リーディング編』、『TOEIC Listening & Reading 公式ボキャブラリーブック』、『TOEIC ® テスト公式問題で学ぶボキャブラリー』、『TOEIC ® Speaking & Writing 公式テストの解説と練習問題』（一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会）ほか。国際文化学部 HP→ 関連リンク「英語リスニング・ハンドブック」、図書館、AV ライブラリー（BT3 階）など活用して自分のレベルやスタイルに合ったものを探しましょう。

【成績評価の方法と基準】
平常点（予習と授業への取り組み・課題・小テスト）85%、プレゼンテーション 15%の割合で、上記到達目標 (1)～(5) に照らして評価します。原則として欠席が 4 回以上になると単位取得の資格を失いますので注意してください。特別な理由がある場合は、早めに担当教員に相談・連絡してください。
次のような姿勢で取り組んでください： STEP ①予習して目標を持って出席／ STEP ②授業では理解を深め積極的に参加・練習／ STEP ③復習と自習で定着・苦手克服・実力アップ／ STEP ④授業・課題・小テスト・プレゼンテーションで成果を発揮

【学生の意見等からの気づき】
英語力や知識・思考力を広い視野で伸ばそうとするみなさん個々の継続的な取り組みと、意見交換などを通じて互いから刺激を受け学び合う姿勢が印象的でしたので、内容・手法の充実を図ります。

【学生が準備すべき機器他】
学習支援システムおよび Zoom を使用します。大学で Zoom 授業を受ける際には
マイク付きのヘッドセットが必要です。

【その他の重要事項】
授業で使えるように辞書を持参してください。

【Outline and objectives】
The aim of the course is to help students integrate and enhance their skills and knowledge acquired in English 1 and 2. Students will practice listening to, speaking, reading and writing about various aspects of cultures and societies today, while building vocabulary, learning about the topics and improving their critical thinking skills. Students will give a short oral presentation, developing their confidence and proficienty in English communication.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**社会と文化の諸相**

岩坪　友子

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
法 2 年、文（史地心）2 年：上級／日本語／現代の諸相
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
１年次および春学期に習得した英語の４技能を融合・向上させながら、世界のさまざまな側面を取り上げて紹介・問題提起する英文と関連教材に取り組みます。教科書の実用的な各種問題および発信（要約・意見）の練習を通じて、クリティカル・シンキング力を鍛えながら、高レベルの語彙や幅広い問題意識と表現力を身につけて、総合的な英語コミュニケーション力をのばします。

【到達目標】
(1) 英語での発信・受信に使える、より高い語彙力がある
(2) 英語で書かれた／話されたことがらについて、内容・趣旨を把握できる
(3) 英語で書かれた／話されたことがらについて、日本語や英語で要約・コメントできる
(4) 自分の意見・知識などを、英語で聞き手に伝わりやすく口頭で表現し、他の人の意見に質問やコメントができる
(5) トピックについて、多面的・客観的に考察・情報収集・分析し、自分の見解や知識を、論理的なパラグラフ構成の英語で書くことができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
＜※この授業はハイブリッド型です。ただし、大学の行動方針レベルが２となった場合、原則としてオンラインのみでの実施となります。詳細は学習支援システムでお知らせします。＞
Zoom 授業（リアルタイム双方向）、学習支援システム（教材提示・課題提出）、（可能な場合）教室対面（受講生の発話を伴わない内容など）、を効果的に組み合わせて実施予定です。具体的にはその都度事前に学習支援システム（Hoppii）の「お知らせ」を通じて確認・連絡します。
予習を前提として、授業では基本的に教科書に沿って問題・内容確認・練習を行います。進捗状況に応じて、テーマに関連するビデオクリップや記事その他の副教材を活用します。理解と考察を促すために、適宜日本語や英語で発問します（話され／書かれたもの全体やパラグラフの要旨、語彙・指示語・構文、話者や筆者の立場、受講生の意見など）。日本語や英語で要約・説明したり、論理的に意見を述べる／書く練習を行います。リスニングとスピーキングに役立つ音読練習も行います。授業内で課題や質問等へのフィードバックやアドバイスを行います。学期を通じて身につけた力を、授業、課題、小テスト、プレゼンテーションで発揮する流れになります。
（下記授業計画は、状況に応じて変更の場合があります。）

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 (9/20)	Unit 7 Living off the Grid 導入	Lifestyles について、語彙と大意把握
2 (9/27)	Living off the Grid 詳細理解と考察	Lifestyles について、精読・要約・ ディスカッション。リスニングなど練習問題
3 (10/4)	Unit 8 The Actor's Craft 導入	The Performing Arts について、語彙と大意把握
4 (10/11)	The Actor's Craft 詳細理解と考察	The Performing Arts について、精読・要約・ ディスカッション。リスニングなど練習問題
5 (10/18)	Unit 9 Eco-Packaging 導入	Conservation について、語彙と大意把握
6 (10/25)	Eco-packaging 詳細理解と考察	Conservation について、精読・要約・ ディスカッション。リスニングな ど練習問題
7 (11/1)	Unit 10 Pop-up Shops 導入	Business Trends について、語彙と大意把握
8 (11/8)	Pop-up Shops 詳細理解と考察	Business Trends について、精読・要約・ ディスカッション。リスニングなど練習問題
9 (11/15)	Unit 11 Screen Time 導入	Growing Up について、語彙と大意把握
10 (11/22)	Screen Time 詳細理解と考察	Growing Up について、精読・要約・ ディスカッション。リスニングなど練習問題
11 (11/29)	Unit 12 The World of the Super Rich 導入	Wealth and Giving について、語彙と大意把握
12 (12/6)	The World of the Super Rich 詳細理解と考察	Wealth and Giving について、精読・要約・ ディスカッション。リスニングなど練習問題
13 (12/13)	プレゼンテーション・リハーサル	練習・アドバイス（全体と個別指導）
14 (1/17)	プレゼンテーション。まとめ	発表・意見交換・講評。学期の振り返り・今後の展望（アンケート）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

①予習： STEP 1 テキストの練習問題を解き、解答の根拠も言えるようにする。STEP 2 英文全体を読み、（英語およびそれ以外の）知識と想像力を総合して趣旨を把握する。未知の単語は文脈から類推した上で、かならず辞書で確認する。STEP 3 文章構成を意識して、各段落・文章全体の要約（各 1～2 文程度）を日本語と英語で練習する。STEP 4 付属の音声を聴き、音読練習する。（関連教材についてもほぼ同様。）※課題は指示に沿って期限内に提出する。
②復習： STEP 5 内容を確認しながらテキストを再読する。STEP 6 付属の音声を（テキストを見ながら／見ないで）聴く、リピート／シャドーイングする。STEP 7 テキストで使われているキーワードや表現を使って内容の要約を言って／書いてみる。STEP 8 題材に関連する出版物やウェブで情報収集、視野を広げ、考察し、自分の意見を言って／書いてみる。（関連教材についてもほぼ同様。）
③ プレゼン準備： STEP 9 授業内容とプレゼン用 PDF 教材（学習支援システム）を参考にして少しずつ学期末のプレゼンテーションを準備する。※プレゼン原稿は指示に沿って期限内に事前提出する。
※上達の度合いは、英語に触れた時間と相関関係があると考えられるため、①②③および英語で情報収集・好きなコンテンツを楽しむ・書く・話すなどを継続するほど、英語力の伸びが期待されます。

【テキスト（教科書）】
Andrew E. Bennett, *Reading Fusion 3*　南雲堂、本体 2,200 円＋税（※関連教材は、随時配布・指示します。）

【参考書】
英語マスメディアのウェブサイト例： BBC Learning English (http://www.bbc.co.uk/learningenglish/), VOA Learning English (https://learningenglish.voanews.com/), CNN 10 (http://edition.cnn.com/cnn10), TED: Ideas Worth Spreading (https://www.ted.com), NPR (https://www.npr.org/), ABC News video (http://abcnews.go.com/video), 攻略！ABC ニュース英語 (www6.nhk.or.jp), CBS 60 Minutes (https://www.cbsnews.com/60minutes/), The *New York Times* (http://www.nytimes.com/), The *Guardian* (http://www.theguardian.com/uk). 参考書：『CNN ® ENGLISH EXPRESS』、『CNN ニュース・リスニング　2020［秋冬］』（朝日出版社）、『「英語モード」でライティング』（講談社）、『コンピューター対応 TOEFL ® テストライティング完全制覇』、『英語で書く力。』、『英語で話す力。』（三修社）、『英語ライティングルールブック』、『映画英語のリスニング』(DHC)、『公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 1-7』、『公式 TOEIC Listening & Reading トレーニング リスニング編』、『同リーディング編』、『TOEIC Listening & Reading 公式ボキャブラリーブック』、『TOEIC ® テスト公式問題で学ぶボキャブラリー』、『TOEIC ® Speaking & Writing 公式テストの解説と練習問題』（一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会）ほか。国際文化学部 HP→ 関連リンク「英語リスニング・ハンドブック」、図書館、AV ライブラリー（BT3 階）など活用して自分のレベルやスタイルに合ったものを探しましょう。

【成績評価の方法と基準】
平常点（予習と授業への取り組み・課題・小テスト）85%、プレゼンテーション 15%の割合で、上記到達目標 (1)～(5) に照らして評価します。原則として欠席が 4 回以上になると単位取得の資格を失いますので注意してください。特別な理由がある場合は、早めに担当教員に相談・連絡してください。
次のような姿勢で取り組んでください： STEP ①予習して目標を持って出席／ STEP ②授業では理解を深め積極的に参加・練習／ STEP ③復習と自習で定着・苦手克服・実力アップ／ STEP ④授業・課題・小テスト・プレゼンテーションで成果を発揮

【学生の意見等からの気づき】
英語力や知識・思考力を広い視野で伸ばそうとするみなさん個々の継続的な取り組みと、意見交換などを通じて互いから刺激を受け学び合う姿勢が印象的でしたので、内容・手法の充実を図ります。

【学生が準備すべき機器他】
学習支援システムおよび Zoom を使用します。大学で Zoom 授業を受ける際には
マイク付きのヘッドセットが必要です。

【その他の重要事項】
授業で使えるように辞書を持参してください。

【Outline and objectives】
The aim of the course is to help students integrate and enhance their skills and knowledge acquired in English 1, 2 and the spring semester. Students will practice listening to, speaking, reading and writing about various aspects of cultures and societies today, while building vocabulary, learning about the topics and improving their critical thinking skills. Students will give a short oral presentation, developing their confidence and proficienty in English communication.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：All About British Culture

宇野　毅

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
法 2 年、文（史地心）2 年：上級／日本語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
イギリス文化に関する英文を読んで、その背後にある文化や社会を考察しながら理解を進める。併せて、英語の 4 技能の向上に努める。

【到達目標】
ある程度の英文をそれなりのスピードできちんと正しく読みこなせるようになることが必要である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
辞書と予習は必須である。学生諸君は、自主的に発表することが求められている。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。授業内やリポート等で確認します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	Insulting the Neighbours ①	イギリスとヨーロッパの関係 ①
第 2 回	Insulting the Neighbours ②	イギリスとヨーロッパの関係 ②
第 3 回	The Memories of Empire ①	大英帝国の歴史 ①
第 4 回	The Memories of Empire ②	大英帝国の歴史 ②
第 5 回	Who Are the British? ①	イギリス人とは？ ①
第 6 回	Who Are the British? ②	イギリス人とは？ ②
第 7 回	British Business ①	イギリスのビジネス慣行 ①
第 8 回	British Business ②	イギリスのビジネス慣行 ②
第 9 回	The Salaryman ①	イギリスと日本のビジネスマン比較 ①
第 10 回	The Salaryman ②	イギリスと日本のビジネスマン比較 ②
第 11 回	The Worship of the Individual ①	イギリスの個人主義 ①
第 12 回	The Worship of the Individual ②	イギリスの個人主義 ②
第 13 回	The Battle for the Schools ①	イギリスの教育問題 ①
第 14 回	The Battle for the Schools ②	イギリスの教育問題 ② まとめ 定期試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
次回の範囲を予習することが、授業への出席には大切である。

【テキスト（教科書）】
THE VIEW FROM THE BRITS『生まれ変わるイギリス』(金星堂)

【参考書】
教場で指示する。

【成績評価の方法と基準】
平常点（50 %）やリポート・試験等（50 %）を基本として評価する予定である。
各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】
・特にない。

【学生が準備すべき機器他】
特にない。

【その他の重要事項】
特にない。

【Outline and objectives】
Even if you can read English well, you will not be able to understand it accurately without the background knowledge. We will in this class strive to understand British history and society (culture in a broad sense).

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：All About British Culture

宇野　毅

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
法 2 年、文（史地心）2 年：上級／日本語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
イギリス文化に関する英文を読んで、その背後にある文化や社会を考察しながらより理解を進める。併せて、英語の 4 技能の向上に努める。

【到達目標】
ある程度の英文をそれなりのスピードできちんと読みこなせるようになることが必要である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
辞書と予習は必須である。学生諸君は、自主的に発表することが求められている。授業内やリポート等で確認します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	Is British Politics Based on Cricket? ①	英国の政治①
第 2 回	Is British Politics Based on Cricket? ②	英国の政治②
第 3 回	Changing Fashions ①	流行の変遷 ①
第 4 回	Changing Fashions ②	流行の変遷 ②
第 5 回	The Changing Media ①	メディアの変化 ①
第 6 回	The Changing Media ②	メディアの変化 ②
第 7 回	The British Discover Food ①	イギリスの食事文化 ①
第 8 回	The British Discover Food ②	イギリスの食事文化 ②
第 9 回	Cars with Personality ①	個性のある車 ①
第 10 回	Cars with Personality ②	個性のある車 ②
第 11 回	The Love Affair with Gardens ①	ガーデニング ①
第 12 回	The Love Affair with Gardens ②	ガーデニング ②
第 13 回	The Battle for the Countryside ①	イギリスの田園 ①
第 14 回	The Battle for the Countryside ②	イギリスの田園 ② まとめ 定期試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
次回の範囲を予習することが、授業への出席には大切である。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
THE VIEW FROM THE BRITS『生まれ変わるイギリス』(金星堂)

【参考書】
教場で指示する。

【成績評価の方法と基準】
平常点（40 %）やリポート・試験等（60 %）を基本として評価する予定である。
各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】
・特にない。

【学生が準備すべき機器他】
特にない。

【その他の重要事項】
特にない。

【Outline and objectives】
Even if you can read English well, you will not be able to understand it accurately without the background knowledge. We will in this class strive to understand British history and society (culture in a broad sense).

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**フォークソングの視点からみた現代イギリス**

高井　美紀子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
法 2 年、文（史地心）2 年：上級／日本語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業は、古いイギリスの民謡から現代イギリス社会を見ながら英語を学ぶという講座です。授業では、現代イギリスの文化と社会について書かれた英文エッセイを読みます。イギリスであれどこの国であれ、現代の社会と文化はその背後の長い歴史の流れから切り離されて存在するものではありません。本授業では、現代社会の背景にある歴史を踏まえて、現在、グローバル世界の共通語となった英語という言語を相対化する視点を養うことを目的とします。各章の英文は比較的長く、専門性の高い内容となっています。このような骨のある英文を読みこなすためには、パラグラフリーディングの力が不可欠です。学生は、本授業を通じて、英文各パラグラフの骨子を読み取り要点をまとめる力を養います。リスニング学習には BBC News や BBC Learning English サイトを利用します。また、学期末には、学生によるプレゼンテーションを行い、英語で発信する力も養います。

【到達目標】
学生は、本授業を通して以下の力を身に着けます。
①パラグラフ・リーディングのスキルを身に着け、長さのある英文を読みこなす。
②英語の質問に英語で受け答えできる。
③英語特有のリズムや抑揚を体得し、高いリスニング力を身に着ける。
④英語の歴史、イギリスの歴史へ関心を持ち、英語や英語文化を相対化する。
⑤プレゼンテーションを通して英語で発信をする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
この授業はオンライン（リアルタイム配信型）です。すべての回を Zoom で実施します。
授業は演習形式で行います。
1 回の授業で 1 つの Chapter を進めていきます。
各 Chapter の英文エッセイを、センテンスごとに読んで要約し、発表をしてもらいます。時間があれば、各 Chapter 末の Exercises にも取り組みます。
学期末のプレゼンテーション前にはグループワークで発表準備に取り組みます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
4 月 12 日	オリエンテーション	授業の内容概略、進め方、評価方法などの説明
4 月 19 日	Chapter 1 -The Weaver and the Factory Maid: Industrialization-	産業革命と現代社会に関するエッセイのリーディング。BBC リスニング。
4 月 26 日	Chapter 2 -Susie Cleland: Mixed Marriage-	イギリスにおける国際結婚に関するエッセイのリーディング。BBC リスニング。

5 月 10 日	Chapter 3 -Jack Hall: The Death Penalty-	イギリスにおける死刑制度に関するエッセイのリーディング。BBC リスニング。
5 月 17 日	Chapter 4 -John Barleycorn: Going up the Pub-	イギリスのパブ文化に関するエッセイのリーディング。BBC リスニング。
5 月 24 日	Chapter 5 -Fighting for Strangers: A Military Career-	イギリスの軍隊勤務に関するエッセイのリーディング。BBC リスニング。
5 月 31 日	Chapter 6 -Parcel of Rogues: Not just England-	イギリスの民族と国名に関するエッセイのリーディング。BBC リスニング。
6 月 7 日	Chapter 7 -The Blackleg Miner: Class Struggle-	イギリスの労働者階級と階級問題に関するエッセイのリーディング。BBC リスニング。
6 月 14 日	プレゼンテーション準備①	プレゼンテーションのグループと発表内容を決める。
6 月 21 日	プレゼンテーション準備②	プレゼンテーション原稿、資料作成。
6 月 28 日	プレゼンテーション準備③	プレゼンテーション原稿、資料チェック。
7 月 5 日	プレゼンテーション①	プレゼンテーション（前半グループ）
7 月 12 日	プレゼンテーション②	プレゼンテーション（後半グループ）
7 月 19 日	春学期末筆記試験	春学期の学習到達度確認のための筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
準備学習として、授業前に各チャプターの題名、Pre-question、冒頭のフォークソングの歌詞に目を通して内容を予測しておく。フォークソングの歌詞の分からないい単語は辞書を引いて大体の意味を掴んでおく。
復習は特に指定しないが、授業中にできなかった Exercises を宿題として出す予定である。

【テキスト（教科書）】
教科書名： Britain Today: Approached through Folk Song（フォークソングの視点からみた現代イギリス）
著者名：サイモン・ロザーティ、近藤久雄（注解）
出版社：英宝社
出版年： 2012 年
価格： 1900 円（税別）

【参考書】
特に指定しない。

【成績評価の方法と基準】
平常点 30%、プレゼンテーション 30%、学期末試験 40%で評価します。
欠席が 4 回を超えると原則として単位取得不可となります。

【学生の意見等からの気づき】
プレゼンテーションは、これまでに経験があり慣れている人とそうでない人とで差が出やすい。そのため、プレゼンテーション準備にはグループワークを多めに取り入れて、学生同士で教えあい学びあえる機会を増やす。準備時間も多めに取り、学生同士でしっかりと打ち合わせできるようにする。

【学生が準備すべき機器他】
学習支援システムと Zoom を併用して授業を行います。
資料配布や課題提出のために学習支援システムを利用します。
Zoom 入室のためののパスワード等も、学習支援システムを通じて告知しますので、必ず学習支援システムを確認してください。
他のクラスの対面授業のために大学にいる学生は、割り当てられた大学の教室から Zoom 授業を受けることになります。その際には、マイク付きのヘッドセットが必要です。

【その他の重要事項】
大学の教室で授業を受ける学生は、間隔を開けた着席、教室内の換気を行う必要があります。

【Outline and objectives】
This course is intended to teach students English using the text book written about British Folk Song and British society. In this course, students will not only increase their English reading skills, they will also learn skills to express their own ideas or opinions in English. In order to achieve this goal, students in this course will do many exercises such as writing, discussion, and presentation, related to the knowledge learned from the textbook. Britain is a country which experienced the Industrial Revolution first in the world and laid the foundation of Today's global world. Knowing British society and culture historically will lead us to have better understanding of the roots of the world today which is going through unprecedented globalization. The aim of this course is to develop students' ability to use English as well as learn knowledge which is indispensable for us to live in the global society in the 21 century.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**フォークソングの視点からみた現代イギリス**

高井　美紀子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
法 2 年、文（史地心）2 年：上級／日本語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業は、古いイギリスの民謡から現代イギリス社会を見ながら英語を学ぶという講座です。授業では、現代イギリスの文化と社会について書かれた英文エッセイを読みます。イギリスであれどこの国であれ、現代の社会と文化はその背後の長い歴史の流れから切り離されて存在するものではありません。本授業では、現代社会の背景にある歴史を踏まえて、現在、グローバル世界の共通語となった英語という言語を相対化する視点を養うことを目的とします。各章の英文は比較的長く、専門性の高い内容となっています。このような骨のある英文を読みこなすためには、パラグラフリーディングの力が不可欠です。学生は、本授業を通じて、英文各パラグラフの骨子を読み取り要点をまとめる力を養います。リスニング学習には BBC News や BBC Learning English サイトを利用します。また、学期末には、学生によるプレゼンテーションを行い、英語で発信する力も養います。

【到達目標】
学生は、本授業を通して以下の力を身に着けます。
①パラグラフ・リーディングのスキルを身に着け、長さのある英文を読みこなす。
②英語の質問に英語で受け答えできる。
③英語特有のリズムや抑揚を体得し、高いリスニング力を身に着ける。
④英語の歴史、イギリスの歴史へ関心を持ち、英語や英語文化を相対化する。
⑤プレゼンテーションを通して英語で発信をする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
この授業はオンライン（リアルタイム配信型）です。すべての回を Zoom で実施します。
授業は演習形式で行います。
1 回の授業で 1 つの Chapter を進めていきます。
各 Chapter の英文エッセイを、センテンスごとに読んで要約し、発表をしてもらいます。時間があれば、各 Chapter 末の Exercises にも取り組みます。
学期末のプレゼンテーション前にはグループワークで発表準備に取り組みます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
9 月 27 日	Chapter 8 -The Cruel Brother: Cultural Differences-	文化の違いに関するエッセイのリーディング。BBC リスニング。
10 月 4 日	Chapter 9 -John Peel: Hunting, Fishing and Poaching-	現代生活における狩猟や釣りの意義に関するエッセイのリーディング。BBC リスニング。
10 月 11 日	Chapter 10 -Down in Yon Forest: The Search for Meaning-	現代社会における神秘性の問題についてのエッセイのリーディング。BBC リスニング。
10 月 18 日	Chapter 11 -The Plains of Waterloo: Attitudes to the French-	イギリスとフランスとの関係に関するエッセイのリーディング。BBC リスニング。
10 月 25 日	Chapter 12 -Hard Times of Old England: The World of Work-	現代イギリスの労働環境、雇用事情に関するエッセイのリーディング。BBC リスニング。
1 月 1 日	Chapter 13 -Hopping down in Kent: Modern Farming-	現代イギリスの農業に関するエッセイのリーディング。BBC リスニング。
11 月 8 日	Chapter 14 -The Cruel Mother: Motherhood-	母性に関するエッセイのリーディング。BBC リスニング。
11 月 15 日	Chapter 15 -The Raggle-Taggle Gypsy: Dreams of Escape-	イギリスにおける放浪への憧れに関するエッセイのリーディング。BBC リスニング。
11 月 22 日	プレゼンテーション準備①	プレゼンテーションのグループと発表内容を決める。
11 月 29 日	プレゼンテーション準備②	プレゼンテーション原稿、資料作成。
12 月 6 日	プレゼンテーション準備③	プレゼンテーション原稿、資料チェック。
12 月 13 日	プレゼンテーション①	グループプレゼンテーション（前半）
12 月 20 日	プレゼンテーション②	グループプレゼンテーション（後半）
1 月 17 日	秋学期末筆記試験	秋学期の学習到達度を確認するための筆記試験。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
準備学習として、授業前に各チャプターの題名、Pre-question、冒頭のフォークソングの歌詞に目を通して内容を予測しておく。フォークソングの歌詞の分からないい単語は辞書を引いて大体の意味を掴んでおく。
復習は特に指定しないが、授業中にできなかった Exercises を宿題として出す予定である。

【テキスト（教科書）】
教科書名： Britain Today: Approached through Folk Song（フォークソングの視点からみた現代イギリス）
著者名：サイモン・ロザーティ、近藤久雄（注解）
出版社：英宝社
出版年： 2012 年
価格： 1900 円（税別）

【参考書】
特に指定しない。

【成績評価の方法と基準】
平常点 30%、プレゼンテーション 30%、学期末試験 40%で評価します。
欠席が 4 回を超えると原則として単位取得不可となります。

【学生の意見等からの気づき】
プレゼンテーションは、これまでに経験があり慣れている人とそうでない人とで差が出やすい。そのため、プレゼンテーション準備にはグループワークを多めに取り入れて、学生同士で教えあい学びあえる機会を増やす。準備時間も多めに取り、学生同士でしっかりと打ち合わせできるようにする。

【学生が準備すべき機器他】
学習支援システムと Zoom を併用して授業を行います。
資料配布や課題提出のために学習支援システムを利用します。
Zoom 入室のためのパスワード等も、学習支援システムを通じて告知しますので、必ず学習支援システムを確認してください。

他のクラスの対面授業のために大学にいる学生は、割り当てられた大学の教室から Zoom 授業を受けることになります。その際には、マイク付きのヘッドセットが必要です。

【その他の重要事項】
大学の教室で授業を受ける学生は、間隔を開けた着席、教室内の換気を行う必要があります。

【Outline and objectives】
This course is intended to teach students English using the text book written about British Folk Song and British society. In this course, students will not only increase their English reading skills, they will also learn skills to express their own ideas or opinions in English. In order to achieve this goal, students in this course will do many exercises such as writing, discussion, and presentation, related to the knowledge learned from the textbook. Britain is a country which experienced the Industrial Revolution first in the world and laid the foundation of Today's global world. Knowing British society and culture historically will lead us to have better understanding of the roots of the world today which is going through unprecedented globalization. The aim of this course is to develop students' ability to use English as well as learn knowledge which is indispensable for us to live in the global society in the 21 century.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**世界に映る日本**

前川　裕

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
法 2 年、文（史地心）2 年：上級／日本語／世界の中の日本
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
学生が、英語の新聞・雑誌等の読解を通して、世界が日本の政治・社会・文化をどのように見ているかを理解し、英語の読解力を増すだけでなく、高度な異文化理解の能力を涵養することを目指す。また、Listening, Reading, Speaking, Writing の 4 技能を総合的に学習するために、学生が英文の内容を理解していることを確認する方法として、英問英答を導入して、ときに英文の大意を英語で要約する能力を身につける訓練をすることもある。さらに、学生が英語の表現と日本語の表現の違いを考察し、それが単に言語的差異であるだけでなく、文化的差異でもあることを認識し、比較文化的な意識を高めることも、授業の重要な目的である。

【到達目標】
学生が、英語で書かれた高度な新聞・雑誌記事を理解でき、それについて議論できること。また、そういう時事英語で使用される独特の英語表現に精通すること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
輪読による演習形式。学生はあらかじめ予習をし、UNIT ごとに付けられている練習問題を解いてこなければならない。最初に問題に対する答え合わせをしたあと、本文を精読する。課題のフィードバックは「学習支援システム」によって行う。
状況によっては、「学習支援システム」によるオンライン授業になる可能性がある。その場合は、「学習支援システム」の「お知らせ」で授業の進め方を改め手指示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
オリエンテーション	英語学習および授業の進め方に関するオリエンテーション	授業方針を示し、授業を生かして効果的な英語学習をするために、学生が取り組むべきことを話す。
UNIT 1	海外における日本の食文化	寿司専門学校の日本人学生が、海外で寿司職人として働こうとしていることに関する、The New York Times の記事を読む。
UNIT 2	日本の政治	日本の政治的リーダーシップを皮肉った The New York Times の記事を読む。
UNIT 3	日本の相撲	大相撲における野球賭博事件を取り上げている The New York Times の記事を読む。
UNIT 4	中国漁船衝突事件	尖閣列島近辺で起った漁船衝突事件を取り上げている The New York Times の記事を読む。
UNIT 5	日本の行方不明者	日本における高齢者の行方不明事件を取り上げている The New York Times の記事を読む。

UNIT 6	日本のアニメ	日本のアニメについて、宮崎駿を取り上げている The Independent の記事を読む。
UNIT 7	オスカーとイルカ	イルカの問題をテーマにした映画『ザ・コーブ』の日本における上映問題を取り扱った The Sydney Morning Herald の記事を読む。
UNIT 8	東日本巨大地震と原子力発電所の事故（前半）	日本の原発事故を扱った WalesOnline の記事を読む。
UNIT 9	東日本巨大地震と原子力発電所の事故（後半）	日本の原発事故を扱った WalesOnline の記事を読む。
UNIT 10	被爆国日本と平和	被爆国日本と平和の問題を扱った Kazakhstan Today の記事を読む。
UNIT 11	インドと日本	インドと日本の歴史的関係や現在の関係を説明する India PRwire の記事を読む。
UNIT 12	日本の看護師試験	日本の看護師試験に一人だけ合格したフィリピン人看護師に関する、Philippine Daily Inquirer の記事を読む。
授業内試験	復習とまとめ	授業内試験を実施し、試験終了後、問題の解説を行ない、これまでの英語学習を総括する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
学生はテキストを読み、問題すべてを解いて、出席しなければならない。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
The World Watches Japan ーー世界から見た日本（南雲堂）

【参考書】
参考書は指定しない。

【成績評価の方法と基準】
（対面授業の場合）授業内試験（８０％）、平常点（２０％）各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。
（オンライン授業の場合）改めて、「学習支援システム」で提示する。

【学生の意見等からの気づき】
予習が十分なされていれば、効果が倍増するような授業を心がけたい。授業中、学生に訳読してもらい、誤訳を丁寧に直すように心がけたい。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to help the students to understand how people in the world look at the Japanese politics, society, and culture through reading some English essays on Japan, and speaking and writing your opinions about them. The students are also expected to develop the ability to comprehend English passages and acquire a high level of understanding of cross-cultural problems.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**世界に映る日本**

前川　裕

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
法 2 年、文（史地心）2 年：上級／日本語／世界の中の日本
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
学生が、英語の新聞・雑誌等の読解を通して、世界が日本の政治・社会・文化をどのように見ているかを理解し、英語の読解力を増すだけでなく、高度な異文化理解の能力を涵養することを目指す。また、Listening, Reading, Speaking, Writing の 4 技能を総合的に学習するために、学生が英文の内容を理解していることを確認する方法として、英問英答を導入して、ときに英文の大意を英語で要約する能力を身につける訓練をすることもある。さらに、学生が英語の表現と日本語の表現の違いを考察し、それが単に言語的差異であるだけでなく、文化的差異でもあることを認識し、比較文化的な意識を高めることも、授業の重要な目的である。

【到達目標】
学生が、英語で書かれた高度な新聞・雑誌記事を理解でき、それについて議論できること。また、そういう時事英語で使用される独特の英語表現に精通すること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
輪読による演習形式。学生はあらかじめ予習をし、UNIT ごとに付けられている練習問題を解いてこなければならない。最初に問題に対する答え合わせをしたあと、本文を精読する。課題のフィードバックは「学習支援システム」によって行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
オリエンテーション	秋学期の授業の進め方の解説	テキストとプリントの併用とその意義を解説。
UNIT 13	日本の国債の格付け	アメリカの格付け会社が発表した日本経済の評価に関する、Daily News の記事を読む。
UNIT 14	マーケットとしての中東	日本のキャラクター「ハロー・キティー」が中東にも進出しようとしていることに関する ynetnews の記事を読む。
UNIT 15	日本の領土問題	日本の領土問題に関して、アルゼンチンの新聞 Buenos Aires Herald が報道している記事を読む。
UNITb 16	日本の茶道と南アフリカ	茶道を通して行なわれた日本と南アフリカの交流に関する、City Press の記事を読む。
Time 記事	Time を読む（1）	Time に掲載された日本文化論を読み、日本とアメリカの比較文化論を考察する。プリント授業。

Time 記事	Time を読む（２）	Time に掲載された cancel culture に関するエッセイを読み、日本とアメリカの比較文化論を考察する。プリント授業。
Time 記事	Time を読む（３）	アメリカの国内テロに関する、最新の記事を読み、アメリカの司法制度と日本の司法制度を比較する。プリント授業。
日本文学の英訳	芥川龍之介『地獄変』（１）	Norman による『地獄変』の英訳の一部抜粋を読む。プリント授業。
日本文学の英訳	芥川龍之介『地獄変』（２）	Norman による『地獄変』の英訳の一部抜粋を読む。プリント授業。
日本文学の英訳	芥川龍之介『地獄変』（３）	Norman による『地獄変』の英訳の一部抜粋を読む。プリント授業。
日本論	ラフカディオ・ハーン『見知らぬ日本の面影』（１）	ハーンのエッセイを読む。プリント授業。
日本論	ラフカディオ・ハーン『見知らぬ日本の面影』（２）	ハーンのエッセイを読む。
授業内試験	復習とまとめ	授業内試験を実施し、試験終了後、解説を行い、これまでの英語学習を総括する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
学生はテキストを読み、問題すべてを解いて、出席しなければならない。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて１時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
The World Watches Japan ーー世界から見た日本（南雲堂）
配布プリント

【参考書】
参考書は指定しない。

【成績評価の方法と基準】
授業内試験（８０％）、平常点（２０％）各学期欠席が４回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】
予習が十分なされていれば、効果が倍増するような授業を心がけたい。授業中、学生に訳読してもらい、誤訳を丁寧に直すように心がけたい。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to help the students understand how people in the world look at Japanese politics, society, and culture through reading some English essays on Japan, and speaking and writing your opinions about them. The atudents are also expected to develop the ability to comprehend English passages and acquire a high level of understanding of cross-cultural problems.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Japan in the Modern World

ジェイソン　ポール　スミス

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法 2 年：上級／英語／現代の諸相
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Through reading, listening and discussion, students will develop their English proficiency. They will practice effectively expressing their opinions, knowledge and experience both orally and in written form. Group work will require discussions and teamwork; group presentations will be made. The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary.

【到達目標】
The purpose of this class is to further develop student's English proficiency in this course and to provide participants with an active approach to increasing their speaking, listening, reading and writing skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Students receive feedback as follows on each assignment they submit; the teacher evaluates their work with a letter grade as well as written comments on their work and suggestions for any improvements needed.
Classes will be held in-person, on campus.
Group work will be aimed at facilitating discussions; group presentations are required. The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第１回	Class intro	go over syllabus, introductions, discuss what you did during your spring break
第２回	2020 Olympics	Hosting the Olympics in Japan Typed opinion paragraph due next week.
第３回	Peer editing	Peer editing of above paragraph and group discussion of same Make groups for presentations based on theme list provided by instructor.
第４回	Changes	Immigration Reform through authentic source such as TED or VOA. Group discussion. Start outline for group presentation
第５回	inside looking out	A.TED Talk,"Your Body Language May Shape Who You Are" (21:02) Q & A B.Work on presentations

第 6 回	Comparing Health Insurance	A.National Health Insurance in Japan compared to Canada, America and Norway. -Group discussions- Work on presentations. Group presentation outline due. Essay outline due.
第 7 回	Tradition against modernity	A. Japan's Endless Search for Modernity article https://www.theatlantic.com B. Group work on presentations
第 8 回	Peer editing	A. Peer editing on typed paragraphs B. Group work on presentations C. Japan and its neighbors
第 9 回	Discussion	Discussion on Japan and it's neighbors. Article: How Toyota Helped Create A Thriving Japanese Food Culture In Kentucky. Opinion paragraph on week 10
第 10 回	TED Talk	A.Tony Robbins TED Talk,"Why We Do What We Do" (21:45) Q & A Technological change in Japan compared to the world
第 11 回	Presentation Prep	Entire class utilized by solidifying group presentations. Topics will be covered in class. One page essay due.
第 12 回	Presentations	2～3 group presentations + Q & A
第 13 回	get ready	2～3 group presentations + Q & A
第 14 回	Active feedback	Voicing your opinion on what you would like to see added or omitted in this class.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

The typed paragraphs are to be completed before coming to class. Highlighting, vocabulary work along with opinion and or summaries of all the handouts provided in class are also required before coming to class. Late work without an official documented excuse will result in a lower grade.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

『元経済産業省英文校閲者が書いたビジネスによく効く英語の本』ジリアン・ヨーク/森下　均著、一般財団法人経済産業調査会（￥2,200）

【参考書】

As described throughout this syllabus

【成績評価の方法と基準】

Group work & participation = 30% Paragraphs and essay = 35% Presentations = 35%
There are no tests in this class. Without a train delay slip students will be counted absent if more than 15 minutes late. Maximum of 3 absences. Speaking in English will result in higher participation points. Any form of plagiarism is unacceptable. Elaboration on this will be provided in class.

【学生の意見等からの気づき】

None

【Outline and objectives】

Through reading, listening and discussion, students will develop their English proficiency. They will practice effectively expressing their opinions, knowledge and experience both orally and in written form. Group work will require discussions and teamwork; group presentations will be made. The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Japan in the Modern World

ジェイソン　ポール　スミス

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法 2 年：上級／英語／現代の諸相
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Through reading, listening and discussion, students will develop their English proficiency. They will practice effectively expressing their opinions, knowledge and experience both orally and in written form. Group work will require discussions and teamwork; group presentations will be made. The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary.

【到達目標】
The purpose of this class is to further develop student's English proficiency in this course and to provide participants with an active approach to increasing their speaking, listening, reading and writing skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Students receive feedback as follows on each assignment they submit; the teacher evaluates their work with a letter grade as well as written comments on their work and suggestions for any improvements needed.
Classes will be held in-person, on campus.
Group work will be aimed at facilitating discussions; group presentations are required. The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	Welcome back	Discuss what you did during your spring break. The Convenience of Living in Japan article Highlight etc. in class
第 2 回	Peer editing	Discussion on article from week 1. Peer editing of above paragraph and group discussion of same. Make groups for presentations based on theme list provided by instructor.
第 3 回	Your choice	A. Select a short article related to Japan and the world; you must be prepared (highlighting, vocab work and opinion) before class. Discuss in groups. Group presentation work
第 4 回	Differences/ commonalities	TED: What does it mean to be a citizen of the world? Hugh Evans (16:57) Group discussion Group presentation work
第 5 回	Inside looking out	Single women living in poverty article Usual highlighting and vocab work. Discuss in small groups
第 6 回	Outline	A. Outline due for one page essay. Essay due on week 11. B. In class work on essay.
第 7 回	discussion	A. Select a short article from VOA (Voice of America), highlight important points and discuss it in small groups, You must be prepared before class. B. Group work on presentations
第 8 回	Peer editing	A. Peer editing on typed paragraphs B. Group work on presentations
第 9 回	Short speeches	Short speeches based on topic list provided by the instructor.
第 10 回	Japan Times	Tokyo's internet cafe 'refugees' number 4,000, survey says Japan Times
第 11 回	Preparation	Entire class utilized by solidifying group presentations. Topics will be covered in class. One page essay due.
第 12 回	Presentations	2～3 group presentations + Q & A
第 13 回	Presentations	2～3 group presentations + Q & A
第 14 回	Sayonara	Fun conversation board game done in small groups.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
The typed paragraphs are to be completed before coming to class. Highlighting, vocabulary work along with opinion and or summaries of all the handouts provided in class are also required before coming to class. Late work without an official documented excuse will result in a lower grade.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
『元経済産業省英文校閲者が書いたビジネスによく効く英語の本』ジリアン・ヨーク/森下　均著、一般財団法人経済産業調査会（￥2,200）

【参考書】
As described throughout this syllabus

【成績評価の方法と基準】
Group work & participation = 30% Paragraphs and essay = 35% Presentations = 35%
There are no tests in this class. Without a train delay slip students will be counted absent if more than 15 minutes late. Maximum of 3 absences. Speaking in English will result in higher participation points. Any form of plagiarism is unacceptable. Elaboration on this will be provided in class.

【学生の意見等からの気づき】
None

【Outline and objectives】
Through reading, listening and discussion, students will develop their English proficiency. They will practice effectively expressing their opinions, knowledge and experience both orally and in written form. Group work will require discussions and teamwork; group presentations will be made. The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Current issues in the English-speaking world

佐藤　陽子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法 2 年：上級／英語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

【到達目標】
1) Students will read and understand English texts and become familiar with relevant writing styles and vocabulary items.
2) Students will critically evaluate the reading and listening materials by paying attention to the style and conducting research.
3) Students will learn to express their own opinions in speech and in writing, including group discussions and presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Students participate in a variety of activities that involves the four skills of reading, writing, listening and speaking. Each class centres around pair and group work based on reading and/or listening homework on current affairs and/or cultural issues. The overall class atmosphere is friendly and informal. The lessons will be given in English and online via Zoom given the on-going Covid-19 crisis. Important information will be distributed via HOPPII, and the notifications will be sent to your *Hosei email address*. Students have opportunities to ask questions, give opinions, and voice concerns etc both in class and in a post-lesson questionnaire conducted after each lesson. Feedback on these will be typically given in the next lesson. Feedback on the homework and presentations will be given in class and/or via HOPPII.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction, getting to know each other	Communicative activities, plans for the semester
2	Unplanned speech 1, understanding Current Issue 1	Conversation, vocabulary quiz 1, comprehension check on reading HW on Topic 1,
3	Planned speech, discussing Current Issue 1 (1)	Show & Tell 1, group discussion (1) on Topic 1
4	Planned speech, Discussing Current Issue 1 (2)	Show & Tell 2, group discussion (2) on Topic 1

5	Unplanned speech, discussing Current Issue 1 (3),	Conversation, group discussion (2) on Topic 1
6	Unplanned speech preparing for Presentation 1	Conversation, preparation for the group presentation on Topic 1
7	Presenting on Current Issue 1	Group presentations on Topic 1
8	Feedback on Presentation 1, unplanned speech, understanding Current Issue 2	Conversation, peer- and teacher feedback on presentation 1, Vocabulary Quiz on reading HW on Topic 2, reading HW comprehension check
9	Planned speech, discussing Current Issue 2 (1)	Show & Tell 3, group discussion on Topic 2
10	Planned speech, discussing Current Issue 2 (2)	Show & Tell 4, group discussion on Topic 2
11	Unplanned speech, discussing Current Issue 2 (3)	Conversation, group discussion
12	Unplanned speech, preparing for Presentation 2	Conversation, preparation for the group presentation on Topic 2
13	Presenting on Current Issue 2	Group presentations on Topic 2
14	Feedback on Presentation 2, unplanned speech, recap of the semester & student feedback	Peer- and teacher feedback on presentation 2, recap of the semester, student feedback

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students are expected to complete homework assignments and prepare for regular vocabulary quizzes and presentations. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
No textbook is assigned. Materials and homework information will be distributed via HOPPII.

【参考書】
Good dictionaries that suit your level and need

【成績評価の方法と基準】
Students will be assessed based on the following criteria:
Class participation: 25%
Homework and quizzes: 40%
Presentations: 35%
Please note that any student who misses the equivalent of more than 3 classes will not pass this course except in extreme circumstances. Please also note that absence does not excuse students from doing homework. When absent, students are also responsible for obtaining information etc by contacting the teacher and/or other students and for coming back to class in the following week with all the preparation done.

【学生の意見等からの気づき】
Although conducted online, this course seems to have enabled students to enjoy "talking" to each other in English, make friends, and develop a sense of community through its many communicative activities. Students also felt discussion and presentation skills very useful, and the topics interesting.

【学生が準備すべき機器他】
A computer (preferable) or a mobile phone is necessary to attend our Zoom lessons. A headset is needed to avoid audio feedback if you take the lesson/s on campus. Students are also required to use slides (e.g. PowerPoint) for their presentations and to submit written assignments using word-processing software (e.g. Word).

【Outline and objectives】
English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Current issues in the English-speaking world

佐藤　陽子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法 2 年：上級／英語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This course builds upon the skills and knowledge gained from English 3 I, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

【到達目標】
1) Students will read and understand English texts and become familiar with relevant writing styles and vocabulary items.
2) Students will critically evaluate the reading and listening materials by paying attention to the style and conducting research.
3) Students will learn to express their own opinions in speech and in writing, including group discussions and presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Students participate in a variety of activities that involves the four skills of reading, writing, listening and speaking. Each class centres around pair and group work based on reading and/or listening homework on current affairs and/or cultural issues. The overall class atmosphere is friendly and informal. The lessons will be given in English and online via Zoom given the on-going Covid-19 crisis. Important information will be distributed via HOPPII, and the notifications will be sent to your *Hosei email address*. Students have opportunities to ask questions, give opinions, and voice concerns etc both in class and in a post-lesson questionnaire conducted after each lesson. Feedback on these will be typically given in the next lesson. Feedback on the homework and presentations will be given in class and/or via HOPPII.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Welcome back, plans for the semester	Communicative activities, plans for the semester
2	Unplanned speech 1, understanding Current Issue 1, basics of essay writing (1)	Conversation, vocabulary quiz 1, comprehension check on reading HW on Topic 1, basics of essay writing (1)
3	Planned speech, discussing Current Issue 1 (1), basics of essay writing (2)	Show & Tell 1, group discussion (1) on Topic 1, basics of essay writing (2)
4	Planned speech, discussing Current Issue 1 (2), basics of essay writing (3)	Show & Tell 2, group discussion (2) on Topic 1, basics of essay writing (3)
5	Unplanned speech, discussing Current Issue 1 (3), preparing for Presentation 1	Conversation, group discussion (2) on Topic 1, preparation for the group presentation on Topic 1
6	Presenting on Current Issue 1	Group presentations on Topic 1
7	Feedback on Presentation 1, unplanned speech, understanding Current Issue 2	Conversation, peer- and teacher feedback on presentation 1, Vocabulary Quiz on reading HW on Topic 2, reading HW comprehension check
8	Planned speech, discussing Current Issue 2 (1)	Show & Tell 3, group discussion on Topic 2
9	Planned speech, discussing Current Issue 2 (2)	Show & Tell 4, group discussion on Topic 2
10	Unplanned speech, discussing Current Issue 2 (3)	Conversation, group discussion
11	Unplanned speech, preparing for Presentation 2	Conversation, preparation for the group presentation on Topic 2
12	Presenting on Current Issue 2	Group presentations on Topic 2
13	Feedback on Presentation 2, sharing essay drafts	Peer- and teacher feedback on presentation 2, share & discuss essay drafts
14	Recap of the semester, student feedback, sharing essays	recap of the semester, student feedback, sharing & discussing essays

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students are expected to complete homework assignments and prepare for regular vocabulary quizzes and presentations. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
No textbook is assigned. Materials and homework information will be distributed via HOPPII.

【参考書】
Good dictionaries that suit your level and need

【成績評価の方法と基準】
Students will be assessed based on the following criteria:
Class participation: 25%
Homework and quizzes: 35%
Presentations & an essay: 40%
Please note that any student who misses the equivalent of more than 3 classes will not pass this course except in extreme circumstances. Please also note that absence does not excuse students from doing homework. When absent, students are also responsible for obtaining information etc by contacting the teacher and/or other students and for coming back to class in the following week with all the preparation done.

【学生の意見等からの気づき】
Although conducted online, this course seems to have enabled students to enjoy "talking" to each other in English, make friends, and develop a sense of community through its many communicative activities. Students also felt discussion, presentation, and essay writing skills very useful, and the topics interesting.

【学生が準備すべき機器他】
A computer (preferable) or a mobile phone is necessary to attend our Zoom lessons. A headset is needed to avoid audio feedback if you take the lesson/s on campus. Students are also required to use slides (e.g. PowerPoint) for their presentations and to submit written assignments using word-processing software (e.g. Word).

【Outline and objectives】
This course builds upon the skills and knowledge gained from English 3 I, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**フォークソングの視点から見た現代イギリス**

高井　美紀子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法 2 年：上級／日本語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業は、古いイギリスの民謡から現代イギリス社会を見ながら英語を学ぶという講座です。授業では、現代イギリスの文化と社会について書かれた英文エッセイを読みます。イギリスであれどこの国であれ、現代の社会と文化はその背後の長い歴史の流れから切り離されて存在するものではありません。本授業では、現代社会の背景にある歴史を踏まえて、現在、グローバル世界の共通語となった英語という言語を相対化する視点を養うことを目的とします。各章の英文は比較的長く、専門性の高い内容となっています。このような骨のある英文を読みこなすためには、パラグラフリーディングの力が不可欠です。学生は、本授業を通じて、英文各パラグラフの骨子を読み取り要点をまとめる力を養います。リスニング学習には BBC News や BBC Learning English サイトを利用します。また、学期末には、学生によるプレゼンテーションを行い、英語で発信する力も養います。

【到達目標】
学生は、本授業を通して以下の力を身に着けます。
①パラグラフ・リーディングのスキルを身に着け、長さのある英文を読みこなす。
②英語の質問に英語で受け答えできる。
③英語特有のリズムや抑揚を体得し、高いリスニング力を身に着ける。
④英語の歴史、イギリスの歴史へ関心を持ち、英語や英語文化を相対化する。
⑤プレゼンテーションを通して英語で発信をする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
この授業はオンライン（リアルタイム配信型）です。すべての回を Zoom で実施します。
授業は演習形式で行います。
1 回の授業で 1 つの Chapter を進めていきます。
各 Chapter の英文エッセイを、センテンスごとに読んで要約し、発表をしてもらいます。時間があれば、各 Chapter 末の Exercises にも取り組みます。
学期末のプレゼンテーション前にはグループワークで発表準備に取り組みます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
4 月 12 日	オリエンテーション	授業の内容概略、進め方、評価方法などの説明
4 月 19 日	Chapter 1 -The Weaver and the Factory Maid: Industrialization-	産業革命と現代社会に関するエッセイのリーディング。BBC リスニング。
4 月 26 日	Chapter 2 -Susie Cleland: Mixed Marriage-	イギリスにおける国際結婚に関するエッセイのリーディング。BBC リスニング。

5 月 10 日	Chapter 3 -Jack Hall: The Death Penalty-	イギリスにおける死刑制度に関するエッセイのリーディング。BBC リスニング。
5 月 17 日	Chapter 4 -John Barleycorn: Going up the Pub-	イギリスのパブ文化に関するエッセイのリーディング。BBC リスニング。
5 月 24 日	Chapter 5 -Fighting for Strangers: A Military Career-	イギリスの軍隊勤務に関するエッセイのリーディング。BBC リスニング。
5 月 31 日	Chapter 6 -Parcel of Rogues: Not just England-	イギリスの民族と国名に関するエッセイのリーディング。BBC リスニング。
6 月 7 日	Chapter 7 -The Blackleg Miner: Class Struggle-	イギリスの労働者階級と階級問題に関するエッセイのリーディング。BBC リスニング。
6 月 14 日	プレゼンテーション準備①	プレゼンテーションのグループと発表内容を決める。
6 月 21 日	プレゼンテーション準備②	プレゼンテーション原稿、資料作成。
6 月 28 日	プレゼンテーション準備③	プレゼンテーション原稿、資料チェック。
7 月 5 日	プレゼンテーション①	プレゼンテーション（前半グループ）
7 月 12 日	プレゼンテーション②	プレゼンテーション（後半グループ）
7 月 19 日	春学期末筆記試験	春学期の学習到達度確認のための筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
準備学習として、授業前に各チャプターの題名、Pre-question、冒頭のフォークソングの歌詞に目を通して内容を予測しておく。フォークソングの歌詞の分からないい単語は辞書を引いて大体の意味を掴んでおく。
復習は特に指定しないが、授業中にできなかった Exercises を宿題として出す予定である。

【テキスト（教科書）】
教科書名： Britain Today: Approached through Folk Song（フォークソングの視点からみた現代イギリス）
著者名：サイモン・ロザーティ、近藤久雄（注解）
出版社：英宝社
出版年： 2012 年
価格： 1900 円（税別）

【参考書】
特に指定しない。

【成績評価の方法と基準】
平常点 30%、プレゼンテーション 30%、学期末試験 40%で評価します。
欠席が 4 回を超えると原則として単位取得不可となります。

【学生の意見等からの気づき】
プレゼンテーションは、これまでに経験があり慣れている人とそうでない人とで差が出やすい。そのため、プレゼンテーション準備にはグループワークを多めに取り入れて、学生同士で教えあい学びあえる機会を増やす。準備時間も多めに取り、学生同士でしっかりと打ち合わせできるようにする。

【学生が準備すべき機器他】
学習支援システムと Zoom を併用して授業を行います。
資料配布や課題提出のために学習支援システムを利用します。
Zoom 入室のためのパスワード等も、学習支援システムを通じて告知しますので、必ず学習支援システムを確認してください。
他のクラスの対面授業のために大学にいる学生は、割り当てられた大学の教室から Zoom 授業を受けることになります。その際には、マイク付きのヘッドセットが必要です。

【その他の重要事項】
大学の教室で授業を受ける学生は、間隔を開けた着席、教室内の換気を行う必要があります。

【Outline and objectives】
This course is intended to teach students English using the text book written about British Folk Song and British society. In this course, students will not only increase their English reading skills, they will also learn skills to express their own ideas or opinions in English. In order to achieve this goal, students in this course will do many exercises such as writing, discussion, and presentation, related to the knowledge learned from the textbook. Britain is a country which experienced the Industrial Revolution first in the world and laid the foundation of Today's global world. Knowing British society and culture historically will lead us to have better understanding of the roots of the world today which is going through unprecedented globalization. The aim of this course is to develop students' ability to use English as well as learn knowledge which is indispensable for us to live in the global society in the 21 century.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**フォークソングの視点から見た現代イギリス**

高井　美紀子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法 2 年：上級／日本語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業は、古いイギリスの民謡から現代イギリス社会を見ながら英語を学ぶという講座です。授業では、現代イギリスの文化と社会について書かれた英文エッセイを読みます。イギリスであれどこの国であれ、現代の社会と文化はその背後の長い歴史の流れから切り離されて存在するものではありません。本授業では、現代社会の背景にある歴史を踏まえて、現在、グローバル世界の共通語となった英語という言語を相対化する視点を養うことを目的とします。各章の英文は比較的長く、専門性の高い内容となっています。このような骨のある英文を読みこなすためには、パラグラフリーディングの力が不可欠です。学生は、本授業を通じて、英文各パラグラフの骨子を読み取り要点をまとめる力を養います。リスニング学習には BBC News や BBC Learning English サイトを利用します。また、学期末には、学生によるプレゼンテーションを行い、英語で発信する力も養

【到達目標】
学生は、本授業を通して以下の力を身に着けます。
①パラグラフ・リーディングのスキルを身に着け、長さのある英文を読みこなす。
②英語の質問に英語で受け答えできる。
③英語特有のリズムや抑揚を体得し、高いリスニング力を身に着ける。
④英語の歴史、イギリスの歴史へ関心を持ち、英語や英語文化を相対化する。
⑤プレゼンテーションを通して英語で発信をする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
この授業はオンライン（リアルタイム配信型）です。すべての回を Zoom で実施します。
授業は演習形式で行います。
1 回の授業で 1 つの Chapter を進めていきます。
各 Chapter の英文エッセイを、センテンスごとに読んで要約し、発表をしてもらいます。時間があれば、各 Chapter 末の Exercises にも取り組みます。
学期末のプレゼンテーション前にはグループワークで発表準備に取り組みます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
9 月 27 日	Chapter 8 -The Cruel Brother: Cultural Differences-	文化の違いに関するエッセイのリーディング。BBC リスニング。
10 月 4 日	Chapter 9 -John Peel: Hunting, Fishing and Poaching	現代生活における狩猟や釣りの意義に関するエッセイのリーディング。BBC リスニング。
10 月 11 日	Chapter 10 -Down in Yon Forest: The Search for Meaning-	現代社会における神秘性の問題についてのエッセイのリーディング。BBC リスニング。
10 月 18 日	Chapter 11 -The Plains of Waterloo: Attitudes to the French-	イギリスとフランスとの関係に関するエッセイのリーディング。BBC リスニング。
10 月 25 日	Chapter 12 -Hard Times of Old England: The World of Work-	現代イギリスの労働環境、雇用事情に関するエッセイのリーディング。BBC リスニング。
11 月 1 日	Chapter 13 -Hopping down in Kent: Modern Farming-	現代イギリスの農業に関するエッセイのリーディング。BBC リスニング。
11 月 8 日	Chapter 14 -The Cruel Mother: Motherhood-	母性に関するエッセイのリーディング。BBC リスニング。
11 月 15 日	Chapter 15 -The Raggle-Taggle Gypsy: Dreams of Escape-	イギリスにおける放浪への憧れに関するエッセイのリーディング。BBC リスニング。
11 月 22 日	プレゼンテーション準備①	プレゼンテーションのグループと発表内容を決める。
11 月 29 日	プレゼンテーション準備②	プレゼンテーション原稿、資料作成。
12 月 6 日	プレゼンテーション準備③	プレゼンテーション原稿、資料チェック。
12 月 13 日	プレゼンテーション①	グループプレゼンテーション（前半）
12 月 20 日	プレゼンテーション②	グループプレゼンテーション（後半）
1 月 17 日	秋学期末筆記試験	秋学期の学習到達度を確認するための筆記試験。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
準備学習として、授業前に各チャプターの題名、Pre-question、冒頭のフォークソングの歌詞に目を通して内容を予測しておく。フォークソングの歌詞の分からないい単語は辞書を引いて大体の意味を掴んでおく。
復習は特に指定しないが、授業中にできなかった Exercises を宿題として出す予定である。

【テキスト（教科書）】
教科書名： Britain Today: Approached through Folk Song（フォークソングの視点からみた現代イギリス）
著者名：サイモン・ロザーティ、近藤久雄（注解）
出版社：英宝社
出版年： 2012 年
価格： 1900 円（税別）

【参考書】
特に指定しない。

【成績評価の方法と基準】
平常点 30%、プレゼンテーション 30%、学期末試験 40%で評価します。
欠席が 4 回を超えると原則として単位取得不可となります。

【学生の意見等からの気づき】
プレゼンテーションは、これまでに経験があり慣れている人とそうでない人とで差が出やすい。そのため、プレゼンテーション準備にはグループワークを多めに取り入れて、学生同士で教えあい学びあえる機会を増やす。準備時間も多めに取り、学生同士でしっかりと打ち合わせできるようにする。

【学生が準備すべき機器他】
学習支援システムと Zoom を併用して授業を行います。
資料配布や課題提出のために学習支援システムを利用します。
Zoom 入室のためのパスワード等も、学習支援システムを通じて告知しますので、必ず学習支援システムを確認してください。

他のクラスの対面授業のために大学にいる学生は、割り当てられた大学の教室から Zoom 授業を受けることになります。その際には、マイク付きのヘッドセットが必要です。

【その他の重要事項】
大学の教室で授業を受ける学生は、間隔を開けた着席、教室内の換気を行う必要があります。

【Outline and objectives】
This course is intended to teach students English using the text book written about British Folk Song and British society. In this course, students will not only increase their English reading skills, they will also learn skills to express their own ideas or opinions in English. In order to achieve this goal, students in this course will do many exercises such as writing, discussion, and presentation, related to the knowledge learned from the textbook. Britain is a country which experienced the Industrial Revolution first in the world and laid the foundation of Today's global world. Knowing British society and culture historically will lead us to have better understanding of the roots of the world today which is going through unprecedented globalization. The aim of this course is to develop students' ability to use English as well as learn knowledge which is indispensable for us to live in the global society in the 21 century.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**世界に映る日本**

前川　裕

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法 2 年：上級／日本語／世界の中の日本
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
学生が、英語の新聞・雑誌等の読解を通して、世界が日本の政治・社会・文化をどのように見ているかを理解し、英語の読解力を増すだけでなく、高度な異文化理解の能力を涵養することを目指す。また、Listening, Reading, Speaking, Writing の 4 技能を総合的に学習するために、学生が英文の内容を理解していることを確認する方法として、英問英答を導入して、ときに英文の大意を英語で要約する能力を身につける訓練をすることもある。さらに、学生が英語の表現と日本語の表現の違いを考察し、それが単に言語的差異であるだけでなく、文化的差異でもあることを認識し、比較文化的な意識を高めることも、授業の重要な目的である。

【到達目標】
学生が、英語で書かれた高度な新聞・雑誌記事を理解でき、それについて議論できること。また、そういう時事英語で使用される独特の英語表現に精通すること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
輪読による演習形式。学生はあらかじめ予習をし、UNIT ごとに付けられている練習問題を解いてこなければならない。最初に問題に対する答え合わせをしたあと、本文を精読する。課題のフィードバックは「学習支援システム」によって行う。
状況によっては、「学習支援システム」によるオンライン授業になる可能性がある。その場合は、「学習支援システム」の「お知らせ」で授業の進め方を改め手指示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
オリエンテーション	英語学習および授業の進め方に関するオリエンテーション	授業方針を示し、授業を生かして効果的な英語学習をするために、学生が取り組むべきことを話す。
UNIT 1	歌舞伎を革新する松本幸四郎	日本の伝統文化である歌舞伎に関する英文記事を読み、それがどういう表現で伝えられているかを考える。文型研究。
UNIT 2	日本の知性　池上彰	日本の著名なジャーナリストを取りあげている英文を読み、時制について、研究する。
UNIT 3	傑物　田中角栄	日本の政治家田中角栄を取りあげている英文を読み、助動詞の有効な使用法を研究する。
UNIT 4	オバマヒロシマスピーチ	オバマ大統領が広島の原爆記念館で行なった演説に関する記事を読み、名詞・代名詞について研究する。
UNIT 5	多様化する IoT	日本のインターネットに関する英文を読み、形容詞について研究する。

UNIT 6	金融効率化 フィンテック	日本の新しい金融サービスに関する英文を読み、副詞について研究する。
UNIT 7	ガンの救世主オプシーボ	日本のガン治療の最先端しに関する英文を読み、英語の比較表現を研究する。
UNIT 8	生態系を解析　環境DNA	日本の生態系に関する英文を読み、受動態について研究する。
UNIT 9	北限のつばき	岩手県のつばきに関する英文を読み、英語の分詞について研究する。
UNIT 10	至上の米　金色の風	日本の米に関する英文を読み、動名詞について研究する。
UNIT 11	働き方改革のストレスチェック	日本の働き方改革に関する英文を読み、不定詞について研究する。
UNIT 12	リーズナブルなゲネリック医薬	日本のジェネリック医薬品に関する英文を読んで、、前置詞について研究する。
授業内試験	復習とまとめ	授業内試験を実施し、試験終了後、問題の解説を行ない、これまでの英語学習の総括を行なう。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
学生はテキストを読み、問題すべてを解いて、出席しなければならない。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Japan Evolution ーー進化する日本（南雲堂）

【参考書】
参考書は指定しない。

【成績評価の方法と基準】
（対面授業の場合）授業内試験（８０％）、平常点（２０％）各学期欠席が４回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。
（オンライン授業の場合）改めて、「学習支援システム」で提示する。

【学生の意見等からの気づき】
予習が十分なされていれば、効果が倍増するような授業を心がけたい。授業中、学生に訳読してもらい、誤訳を丁寧に直すように心がけたい。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to help the students understand how people in the world look at the Japanese politics, society, and culture through reading some English essays on Japan, and speaking and writing your opinions about them. The students are also expected to develop the ability to comprehend English passages and acquire a high level of understanding of cross-cultural problems.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**世界に映る日本**

前川　裕

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法 2 年：上級／日本語／世界の中の日本
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
学生が、英語の新聞・雑誌等の読解を通して、世界が日本の政治・社会・文化をどのように見ているかを理解し、英語の読解力を増すだけでなく、高度な異文化理解の能力を涵養することを目指す。また、Listening, Reading,Speaking, Writing の４技能を総合的に学習するために、学生が英文の内容を理解していることを確認する方法として、英問英答を導入し、ときに英文の大意を英語で要約する能力を身につける訓練をすることもある。学生が英語の表現と日本語の表現の違いを考察し、それが単に言語的差異であるだけでなく、文化的差異でもあることを認識し、比較文化的な意識を高めることも、授業の重要な目的である。

【到達目標】
学生が、英語で書かれた高度な新聞・雑誌記事を理解でき、それについて議論できること。また、そういう時事英語で使用される独特の英語表現に精通すること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
輪読による演習形式。学生はあらかじめ予習をし、UNIT ごとに付けられている練習問題を解いてこなければならない。最初に問題に対する答え合わせをしたあと、本文を精読する。課題のフィードバックは「学習支援システム」によって行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
オリエンテーション	秋学期の授業の進め方の解説	テキストとプリントの併用とその意義を解説。
UNIT 13	夢の自動運転車	日本の自動運転車に関する英文をを読み、英語の接続詞について研究する。
UNIT 14	無限の再生可能エネルギー	日本のエネルギー問題に関する英文を読み、仮定法について研究する。
UNIT 15	活躍する３ D プリンター	日本の３ D プリンターに関する英文を読んで、英語の関係詞について研究する。
UNITb 16	日本の貿易摩擦	過去に起こった日本とアメリカの貿易摩擦に関する、Time の記事を読む。プリント授業。
Time	Time を読む（１）	日本文化に関連するエッセイを読み、日本とアメリカの文化的差異について、考察する。プリント授業。
Time	Time を読む（２）	cancel cuture に関する記事を読み、アメリカ社会と日本社会の差異を考察する。プリント授業。

Time	Time を読む（３）	アメリカの国内テロに関する記事を読み、アメリカの司法制度と日本の司法制度の差異を考察する。プリント授業。
日本文学の英訳	芥川龍之介『地獄変』（１）	Norman による『地獄変』の英訳の一部抜粋を読む。プリント授業。
日本文学の英訳	芥川龍之介『地獄変』（２）	Norman による『地獄変』の英訳の一部抜粋を読む。プリント授業。
日本文学の英訳	芥川龍之介『地獄変』（３）	Norman による『地獄変』の英訳の一部抜粋を読む。プリント授業。
日本論	ラフカディオ・ハーン『見知らぬ日本の面影』（１）	ハーンのエッセイを読む。プリント授業。
日本論	ラフカディオ・ハーン『見知らぬ日本の面影』（２）	ハーンのエッセイを読む。
授業内試験	復習とまとめ	授業内試験を実施し、試験終了後、解説を行い、これまでの英語学習を総括する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
学生はテキストを読み、問題すべてを解いて、出席しなければならない。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて１時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Japan Evolution 進化する日本（南雲堂）
配布プリント

【参考書】
参考書は指定しない。

【成績評価の方法と基準】
授業内試験（８０％）、平常点（２０％）各学期欠席が４回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】
予習が十分なされていれば、効果が倍増するような授業を心がけたい。授業中、学生に訳読してもらい、誤訳を丁寧に直すように心がけたい。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to help the students to understand how people in the world look at the Japanese politics, society, and culture through reading some English essays on Japan, and speaking and writing your opinions about them. The students are also expected to develop the ability to comprehend English passages and acquire a high level of understanding of cross-cultural problems.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Current News 1

TAMARA P ELDRIDGE

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／英語／現代の諸相
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This course is designed to consolidate basic communication skills in English and to further foster critical thinking skills, learning to summarize ideas and generate arguments in English independently. Activities will be balanced across the 4 skills designed to improve both the receptive and productive skills in discussing course topics, centering around contemporary and current issues.

【到達目標】
The goal of this course is to focus on developing learners' four language skills of reading, writing, listening and speaking for general communication-the four foundational skills of language learning and will be a combination of both content-based as well as task-based activities, with a focus on specific information through communicative and cognitive processes. In addition, the course aims to improve learners' fluency with English; learners' ability to engage in meaningful communicative interaction, and also further learners' knowledge of the formal aspects of the English language, such as vocabulary, grammar and pronunciation. At the same time, learners will engage with a variety of content topics and themes, developing their ability to discuss issues and think critically.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
It will be discussion based and in-class activities will mostly have an emphasis on discussion and listening, with reading and writing being done at home prior to the following class. I will also be doing dictoglosses which is an intensive listening which will help to facilitate your listening, vocabulary, accuracy and discussion skills. I want to make this class as interactive as possible, so it is student centered.
Students are expected to be active participants in class discussion and activities. I expect that our class sessions will consist of active discussion, debate, critique, and exploration. For this format to be successful, it is critical that students read and think about the weekly readings before coming to class sessions. Follow-up discussions to each reading/research assigned will be done in the following class and students will receive feedback and comments on homework assignments and in class activities throughout the term.
This is an online class, and all weeks will be taught on ZOOM. Please see HOPPII, the university's Learning Management System for details.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Week 1	Class orientation/self-introductions(Getting to Know You-handout)/News and Views	Summer break catch up/News Headlines/discussion

Week 2	Conversation Strategies	Follow-up Questions
Week 3	Dictogloss	Travel/Culture(handout)
Week 4	News Article	Transparent Toilets in Tokyo
Week 5	Video Report	Squatter Cities
Week 6	News and Views	News headlines/presentations
Week 7	Mid-term project/presentations	Pre-assigned group presentations
Week 8	Conversation Strategies	Probability
Week 9	Dictogloss	Clean Plate Campaign
Week 10	News Article	Reversal of Ageing Process
Week 11	Video Report	How Much Sleep Do We Need
Week 12	News and Views	News headlines/presentations
Week 13	Review and Follow-up	Activities to review previous material
Week 14	Final project/presentations	Pre-assigned group presentations

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
"University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course"
Preparation, review and assignments are required. There will readings(news articles), reports and research for class class discussions. Students are expected to complete weekly reading assignments to be ready for class discussions. Approximately 1-2 hours a week will be needed for preparation, review and follow-up.

【テキスト（教科書）】
There will be no textbook for this class. I will be using news reports/articles/dictations-which will lead into class discussions.

【参考書】
None will be used

【成績評価の方法と基準】
Discussion, debates, participation, and attendance (60%)
Mid-term presentation (20%)
Final presentation (20%)
"In principle, no more than 3 absences per term are allowed."

【学生の意見等からの気づき】
Not applicable

【学生が準備すべき機器他】
English-English Dictionary
Computer with camera/mic
Headset
ZOOM

【Prerequisite】
None

【Outline and objectives】
This class will be discussion based. In-class activities will mostly have an emphasis on discussion and listening, with reading and writing being done at home prior to the following class. I will also be doing dictoglosses which is an intensive listening which will help to facilitate your listening, vocabulary, accuracy and discussion skills. I want to make this class as interactive as possible, so it will mostly be student-centered, but teacher-facilitated.
There will be presentations, news discussions, debates, dictations, topic-based video reports and dictoglosses. These activities will be done in pair and small-groups and based on the materials provided by the instructor or student generated. Homework assignments must be done before class begins. In order to succeed in the class, please prepare
well for class, do homework/research and actively participate.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Current News 2

TAMARA P ELDRIDGE

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／英語／現代の諸相
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This course is designed to consolidate basic communication skills in English and to further foster critical thinking skills, learning to summarize ideas and generate arguments in English independently. Activities will be balanced across the 4 skills designed to improve both the receptive and productive skills in discussing course topics, centering around contemporary and current issues.

【到達目標】
The goal of this course is to focus on developing learners' four language skills of reading, writing, listening and speaking for general communication-the four foundational skills of language learning and will be a combination of both content-based as well as task-based activities, with a focus on specific information through communicative and cognitive processes. In addition, the course aims to improve learners' fluency with English; learners' ability to engage in meaningful communicative interaction, and also further learners' knowledge of the formal aspects of the English language, such as vocabulary, grammar and pronunciation. At the same time, learners will engage with a variety of content topics and themes, developing their ability to discuss issues and think critically.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
It will be discussion based and in-class activities will mostly have an emphasis on discussion and listening, with reading and writing being done at home prior to the following class. I will also be doing dictoglosses which is an intensive listening which will help to facilitate your listening, vocabulary, accuracy and discussion skills. I want to make this class as interactive as possible, so it is student centered.
Students are expected to be active participants in class discussion and activities. I expect that our class sessions will consist of active discussion, debate, critique, and exploration. For this format to be successful, it is critical that students read and think about the weekly readings before coming to class sessions. Follow-up discussions to each reading/research assigned will be done in the following class and students will receive feedback and comments on homework assignments and in class activities throughout the term.
This is an online class, and all weeks will be taught on ZOOM. Please see HOPPII, the university's Learning Management System for details.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Week 1	Summer Break Discussions/News and Views	Summer break catch up/News Headlines/discussion
Week 2	Conversation Strategies	Solicitors

Week 3	Dictogloss	Stress Factor
Week 4	News Article	Correct Japanese English
Week 5	Video Report	How to Make Stress Your Friend
Week 6	News and Views	News headlines/presentations
Week 7	Mid-term project/presentations	Pre-assigned group presentations
Week 8	Conversation Strategies	Expressing Opinions
Week 9	Dictogloss	Stop Hate for Profit
Week 10	News Article	Ecocide an International Crime
Week 11	Video Report	Try Something New for 30 Days
Week 12	News and Views	News headlines/presentations
Week 13	Review and Follow-up	Exercises reviewing previous material
Week 14	Final project/presentations	Pre-assigned group presentations

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
"University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course"
Preparation, review and assignments are required. There will readings(news articles), reports and research for class class discussions. Students are expected to complete weekly reading assignments to be ready for class discussions. Approximately 1-2 hours a week will be needed for preparation, review and follow-up.

【テキスト（教科書）】
I will be using news reports/articles/dictations-which will lead into class discussions.

【参考書】
None required

【成績評価の方法と基準】
"In principle, no more than 3 absences per term are allowed."
Discussion, debates, participation, and attendance (60%)
Mid-term presentation (15%)
Final presentation (25%)

【学生の意見等からの気づき】
Not applicable

【学生が準備すべき機器他】
English-English Dictionary
Computer with camera/mic
Headset
ZOOM

【Prerequisite】
None

【Outline and objectives】
This class will be discussion based. In-class activities will mostly have an emphasis on discussion and listening, with reading and writing being done at home prior to the following class. I will also be doing dictoglosses which is an intensive listening which will help to facilitate your listening, vocabulary, accuracy and discussion skills. I want to make this class as interactive as possible, so it will mostly be student-centered, but teacher-facilitated.
There will be presentations, news discussions, debates, dictations, topic-based video reports and dictoglosses. These activities will be done in pair and small-groups and based on the materials provided by the instructor or student generated. Homework assignments must be done before class begins. In order to succeed in the class, please prepare well for class, do homework/research and actively participate.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Global Issues

コートランド・デイビッド・スミス

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／英語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Welcome to this class. This course will integrate all language skill areas; listening and reading will be used to familiarize students with the content of global issue topics, speaking and writing will be employed to enable students to organize content, their ideas and opinions and communicate these to other members of the class; providing the basis for discussion and debate during class sessions.

【到達目標】
The goal of this course is to enable students to learn about various social and cultural practices from around the world. Students should be able to contextualize their own culture within diverse cultural frameworks. Through the use of various authentic materials offered in English, students should learn how to think critically about the important issues that surround them today, and develop the ability to effectively express their own thoughts and opinions. Furthermore, this course should enable students to further develop their English proficiency by drawing on the skills they have learned in English 1&2. To achieve this goal, all four language skills of reading, writing, speaking and listening will be integrated into the curriculum.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Online class. All classes will be taught using zoom.
Weekly listening homework will be assigned. This involves listening to a recording, and completing a transcript of its content. In class, students will review the listening assignments, do a pair-work dictation exercise and briefly review vocabulary and grammatical structures contained therein, and ask and answer questions relating to the assignment. Grammatical accuracy, vocabulary expansion, improvement of fluency and pronunciation are the objectives of homework assignments.
Students will perform multimedia presentations individually or in groups on a variety of global issues topics. The content of these presentations will provide the basis for subsequent debate and discussion. The focus of these presentations will be finding solutions to the problems or conflicts presented. Students viewing presentations will be required to complete an information form, noting the key points included in each presentation. Selected members of the class will also evaluate the presentations, providing written feedback to presenters so they may improve their delivery technique. Assignments will be reviewed during class time or submitted to instructor by email for evaluation.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	1. Introductions HW/L1	Getting started
2	2. Tips on effective presentations HW/L2	Presentation DVD. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
3	3. Choose presentation topics HW/L3	Scheduling presentations. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
4	4. Japan's territorial disputes HW/L4	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
5	5. Nuclear power issue HW/L5	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
6	6. Climate change HW/L6	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
7	7. Women's rights HW/L7	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
8	8. Aging society HW/L8	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
9	9. Refugee problem HW/L9	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
10	10. Immigra-tion/migration HW/L10	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
11	11. Problems of EU HW/L11	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
12	12. Threats to world peace/N. Korea issue HW/L12	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
13	Final Presentations HW/None	Prepare and perform final presentations
14	Final presentations	End of term evaluation

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are required to do listening homework, which involves completing a transcription sheet. In addition, students will research a variety of topics and selected students will prepare and perform multimedia presentations on a similar topic each week. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

There is no textbook for this class. Instructor will distribute handouts for homework each week.

【参考書】

Students will use online information resources to research and prepare presentations. These include:
www.bbc.co.uk/learningenglish/ www.ted.com www.npr.com www.rt.com/documentary and English Wikipedia.

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on three criteria: Class participation, 25%; Presentations, 50%; Tests, quizzes, written work, 25%. Unexplained/unjustified absences exceeding three class sessions may disqualify students from obtaining credit for the course. Lateness exceeding 15 minutes without justification will count as one-third absence.

【学生の意見等からの気づき】

None.

【学生が準備すべき機器他】

Zoom and headset. Students may use assigned classroom for online classes.
Students should bring their presentation slides to class on a memory stick. They can also download these files from their email accounts or dropbox.

【その他の重要事項】

Contact Email: smith.courtland.sc@hosei.ac.jp

【Outline and objectives】

Most class activities will consist of reading and writing, grammar drills, delivering presentations and discussion.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Global Issues

コートランド・デイビッド・スミス

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／英語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Welcome to this class. This course will integrate all language skill areas; listening and reading will be used to familiarize students with the content of global issue topics, speaking and writing will be employed to enable students to organize content, their ideas and opinions and communicate these to other members of the class; providing the basis for discussion and debate during class sessions.

【到達目標】
The goal of this course is to enable students to learn about various social and cultural practices from around the world. Students should be able to contextualize their own culture within diverse cultural frameworks. Through the use of various authentic materials offered in English, students should learn how to think critically about the important issues that surround them today, and develop the ability to effectively express their own thoughts and opinions. Furthermore, this course should enable students to further develop their English proficiency by drawing on the skills they have learned in English 1&2. To achieve this goal, all four language skills of reading, writing, speaking and listening will be integrated into the curriculum.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Weekly listening homework will be assigned. This involves listening to a recording, and completing a transcript of its content. In class, students will review the listening assignments, do a pair-work dictation exercise and briefly review vocabulary and grammatical structures contained therein, and ask and answer questions relating to the assignment. Grammatical accuracy, vocabulary expansion, improvement of fluency and pronunciation are the objectives of homework assignments.
Students will perform multimedia presentations individually or in groups on a variety of global issues topics. The content of these presentations will provide the basis for subsequent debate and discussion. The focus of these presentations will be finding solutions to the problems or conflicts presented. Students viewing presentations will be required to complete an information form, noting the key points included in each presentation. Selected members of the class will also evaluate the presentations, providing written feedback to presenters so they may improve their delivery technique. Assignments will be reviewed during class time or submitted to the instructor for evaluation by email.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	1. Summer vacation/choose presentation topics HW/L13	Getting started. Students choose topics and schedule their presentations.
2	2. Japan/China relations HW/L14	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
3	3. Food safety/GMO foods HW/L15	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
4	4. US military in Japan HW/L16	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
5	5. Religious extremism HW/L17	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
6	6. Globalization/free trade HW/L18	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
7	7. Death penalty HW/L19	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
8	8. Japan economic problems/debt HW/L20	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
9	9. Illegal drugs/legalization HW/L21	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
10	10. Smartphones/social networking dangers-health and mental illness risk HW/L22	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
11	11. Globalization/social and economic inequality HW/L23	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
12	12. Cultural/linguistic uniformity vs diversity HW/none	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
13	13. Automa-tion/robotization and structural unemployment HW/none	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
14	14 Review/summary	Finish the term. Review and evaluation.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students are required to do listening homework, which involves completing a transcription sheet. In addition, students will research a variety of topics and selected students will prepare and perform multimedia presentations on a similar topic each week. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
There is no textbook for this class. Instructor will distribute handouts for listening homework each week.

【参考書】
Students will use online information resources to research and prepare presentations. These include:
www.bbc.co.uk/learningenglish/ www.ted.com www.npr.com www.rt.com/documentary and English Wikipedia.

【成績評価の方法と基準】
Grading will be based on three criteria: Class participation, 25%; Presentations, 50%; Tests, quizzes, written work, 25%. Unexplained/unjustified absences exceeding three class sessions may disqualify students from obtaining credit for the course. Lateness exceeding 15 minutes without justification will count as one-third absence.

【学生の意見等からの気づき】
None.

【その他の重要事項】
Contact Email: smith.courtland.sc@hosei.ac.jp

【Outline and objectives】
Most class activities will consist of reading and writing, grammar drills, delivering presentations and discussion.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Japan In The World

ジョナサン・エイブル

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／英語／世界の中の日本
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English.
Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.

【到達目標】
Students will read, write hear and speak about topics relevant to their lives, studies and futures. The main sources will be in British English, but cultures across the world - not only Anglophone - will be included in the sources used.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
This is a hybrid class, and we will meet some weeks in person and some weeks on Zoom.
Please see Hoppii for details.In each class reading and listening materials will be the starting point for discussion and information processing. In alternate weeks a writing exercise will be included with an emphasis on accurate self-expression. This work will be returned individually with corrections and comments.
There will also be a group presentation exercise which will focus on cooperative communication and public speaking.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction.	Class methods and familiarisation with types of material.
2	A Place in the World 1	Global Perspectives.
3	A Place in the World 2	How Japan is Viewed Abroad.
4	Tradition 1	How History Informs our Present.
5	Tradition 2	Tradition Across the English Speaking World.
6	Popular Culture 1	The Fast Pace of Fashion.
7	Popular Culture 2	How Japanese Popular Culture Influences Others
8	Presentation Preparation	Topics, Groups and Ideas.
9	Presentations	Group Presentations In Class.
10	Media 1	Where We Get our News.

11	Media 2	Advertising and Commercial Communication.
12	Media 3	Movies and TV. How Entertainment Works.
13	Hello and Goodbye.	How We Meet and Take Our Leave.
14	Final Examination.	Self-assessment and Interviews.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Text Previews and Preparation for Presentations in class will be expected. The task will be set each week.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit courseek as required.

【テキスト（教科書）】
Materials will be provided. See references.

【参考書】
NHK/NHK Educational
Japan Times
BBC News
British Council online resources (Word on the Street et al.)
Channel 4 News (UK)
CNN
Newspapers, Magazines and Periodicals as relevant.

【成績評価の方法と基準】
Writing 25%
Presentation 15%
Class Participation 30%
Final Interview Test 30%
In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】
N/A

【Outline and objectives】
English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English.
Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Japan In The World

ジョナサン・エイブル

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／英語／世界の中の日本
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English. In part II we will continue this journey through intercultural exploration.
Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.

【到達目標】
Students will read, write hear and speak about topics relevant to their lives, studies and futures. The main sources will be in British English, but cultures across the world - not only Anglophone - will be included in the sources used.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
This is a hybrid class, and we will meet some weeks in person and some weeks on Zoom.
Please see Hoppii for details.In each class reading and listening materials will be the starting point for discussion and information processing. In alternate weeks a writing exercise will be included with an emphasis on accurate self-expression. This work will be returned individually with corrections and comments.
There will also be a group presentation exercise which will focus on cooperative communication and public speaking.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction to Part II	Review and Look Forward.
2	Language.	How Languages Feed Each Other in a Globalising World.
3	Art.	Historical and Modern Views of Japanese Visual Art.
4	Performance.	How Japanese Performing Arts Influence the Worlds of Theatre and Dance.
5	Film.	Cross-cultural Storytelling.
6	Food 1.	What we Eat and Why.
7	Food 2.	Where and How we Eat.
8	Presentation Preparation.	Topics Groups and Planning.
9	Presentation.	Group Presentations in Class.
10	Travel.	From Commuters to Tourists.

11	Transport.	How Mobility Shapes Social Behaviour.
12	Soocial issues 1.	Ageing and Booming Populations
13	Social Issues 2.	Crime and Punishment.
14	Final Examination.	Self-assessment and Interview.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Text reading and review and presentation preparation will be required. Tasks will be set each week as appropriate.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course

【テキスト（教科書）】
Materials will be provided. See References.

【参考書】
NHK/NHK Educational.
Japan Times.
BBC News
British Council online resources (Word on the Street et al.)
Channel 4 News (UK)
CNN
Newspapers, Magazines and Periodicals as relevant.

【成績評価の方法と基準】
Writing 25%
Presentation 15%
Class Participation 30%
Final Interview Test 30%
In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】
N/A

【Outline and objectives】
English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English. In part II we will continue this journey through intercultural exploration.
Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**異文化コミュニケーション、Cultural bias**

吉川　直澄

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／日本語／現代の諸相
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English 1 と English 2 で身に着けた読む、書く、聞く、話すという四技能の英語運用能力を用いて、English 3 では、国際語としての英語を通じて、世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力や多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析した上で、英語で意見を発信する能力の涵養を学習目標とします。本授業では、こうした作業を行いながら、いくつかのキーワードを探求し、日本とイギリスの現代社会における文化的アイコンと政治・経済の関係について考えてみようと思います。教科書に加えて論文の抜粋を読み、イギリス映画や英語吹き替え版のアニメ映画を視聴し、それらに関する課題に取り組み、可能であれば質疑応答・ディスカッションを行うことで、上記の技能を向上させることを目指します。

【到達目標】
受講生は、英語の文章を、構文・語彙を理解して正確に読めるようになる。英語の文章をある程度の速度を持って読み、目的とする情報を読み取ることができるようになる。専門知識を要さない英米映画であれば、字幕なしでも重要な情報を聞き取り、それなりに楽しむことができるようになる。英語吹き替え版の日本製アニメを見ながら、異文化コミュニケーションにおいて、起こり得る問題への解決のヒントを学ぶことができる。英語のリスニングに慣れ、リスニング学習の習慣を身につけることができる。文法的に正確で、形式の整った英文パラグラフを書けるようになる。英語である程度まとまった自分の意見を表明できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
この授業は指示や課題を「学習支援システム」で配信するオンデマンド（資料型）です。授業では教科書を使用した課題演習を行います。また、英語文献・資料の抜粋を読む回とオンライン等で調べて論評してもらう回があります。学期末には、一つのテーマについての英文課題を提出してもらいます。なお、ネット上のコンテンツの状況により授業計画を変更せざるを得ない場合、「学習支援システム」を通じて提示します。課題の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行います。フィードバックは授業課題の提出レポートから実例や問題点をいくつか取り上げ、全体に対して行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス／課題の提示	授業テーマの確認と授業方法の説明を行い、第 1 回の課題を提示します。
第 2 回	Unit 1. A Fortunate Accident	前回のフィードバック・課題レポートの指示：コミュニケーションにおいてどんなことが「アイス・ブレーカー」となるのか学習します。

第 3 回	Unit 2. Britain's Best Ride	前回のフィードバック・課題レポートの指示：ロンドン名物の旧式ダブルデッカー「ルートマスター」について調べてみましょう。
第 4 回	Unit 3. The Meaning of Bond	前回のフィードバック・課題レポートの指示：文化的アイコンとしてのジェイムズ・ボンドの役割を考えます。
第 5 回	Unit 4. The Changing High Street	前回のフィードバック・課題レポートの指示：日英の商店街の盛衰を比較します。チャリティーショップについて調べてみましょう。
第 6 回	Unit 5. Mild and Cloudy with a Chance of Rain	前回のフィードバック・課題レポートの指示：イギリスの天気に関するステレオタイプを考察します。イギリス人のメンタリティと天気との相関関係について考えてみましょう。
第 7 回	マンガ・アニメの中のイギリス	前回のフィードバック・課題レポートの指示：英訳されたコンテンツ（『黒執事』・『憂国のモリアーティ』・『魔法使いの嫁』・『絢爛たるグランドセーヌ』）の中で描かれるイギリス像を考察します。但しネット上のコンテンツの状況により教材を変更せざるを得ない場合もあります。
第 8 回	Unit 6. Expressive Expressions	前回のフィードバック・課題レポートの指示：日英のイディオムを比較します。
第 9 回	Unit 7. A Woman of Some Importance	前回のフィードバック・課題レポートの指示：文化的アイコンとしてのエリザベス二世の役割を考えます。
第 10 回	Unit 8. Shakespeare Lives On	前回のフィードバック・課題レポートの指示：シェークスピアの生涯と作品について調べてみましょう。
第 11 回	マンガとマイノリティ	前回のフィードバック・課題レポートの指示：マイノリティの生活史を描いたマンガ『ゴールデンカムイ』を取り上げ、アイヌ工芸作家の貝沢徹氏の大英博物館「マンガ展」のためのこの作品の推薦文とドキュメンタリー映画『Future is MINE-アイヌ、私の声』(2020) と共に考察します。
第 12 回	アニメとシンパシーとエンパシー	前回のフィードバック・課題レポートの指示：英語吹き替え版のアニメーション映画『聲の形』(A Silent Voice) について考察します。但しネット上のコンテンツの状況により教材を変更する場合もあります。
第 13 回	復習課題と学期末レポート課題の説明	前回のフィードバック・復習課題の指示：復習のための課題を提示し、学期末レポート課題の説明を行います。
第 14 回	学期末レポート課題・まとめと解説	学期末レポート課題を提出してもらいます。春学期のまとめと解説をします。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習と復習。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。教科書を何度も音読すること。教科書と同様に英語のプリントもよく予習しておいてください。英語の専用ノートを作成し、表現や語彙を書き出し必ず例文も記入しておいてください。

【テキスト（教科書）】
Realise Britain,Colin Joyce, 金星堂, 2014 年, 1800 円,ISBN978-4-7647-3982-6.

【参考書】
Nicole Coolidge Rousmaiere,(2019)Manga マンガ,London: Thames & Hudson. ただし購入する必要はありません。

【成績評価の方法と基準】
全 13 回の課題レポート（65 %）、三段階評価する学期末レポート課題（35 %）を総合して評価します。毎回の課題レポートの提出期限は翌週の配信日までとし、課題レポートの点数配分の中には授業への積極的な参加・貢献も含みます。レポート課題の提出をもって授業出席確認とします。未提出課題が 5 回以上になった方は原則として単位習得の資格を失います。

【学生の意見等からの気づき】
学生の皆さんの期待に沿えるように努力します。

【学生が準備すべき機器他】
この授業は「学習支援システム」を使用します。

【Outline and objectives】
The aims of this course are:
1. To encourage students to further develop their English proficiency by drawing on what they have learned in English 1 and English 2.
2. To train students to learn how to think critically by examining closely various authentic materials offered in English, and thus to develop the ability to effectively express their own thoughts and opinions.
3. To introduce students to the connections between cultural icons and political economy, focusing on specific keywords like 'Manga' and 'Anime'.
4. To provide students with an opportunity to participate in discussion, improving their presentational skills on a group or individual basis.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**異文化コミュニケーション、Cultural bias**

吉川　直澄

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／日本語／現代の諸相
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English 1 と English 2 で身に着けた読む、書く、聞く、話すという四技能の英語運用能力を用いて、English 3 では、国際語としての英語を通じて、世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈のなかで相対化する能力や多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析した上で、英語で意見を発信する能力の涵養を学習目標とします。本授業では、こうした作業を行いながら、イギリスの EU 離脱を巡るいくつかのキーワードを探求し、日本とイギリスの現代社会における文化的アイコンと政治・経済の関係について考えてみようと思います。教科書に加えて論文の抜粋を読み、イギリス映画を視聴し、可能であれば質疑応答・ディスカッションを行うことで、上記の技能を向上させることを目指します。

【到達目標】
受講生は、英語の文章を、構文・語彙を理解して正確に読めるようになる。英語の文章をある程度の速度を持って読み、目的とする情報を読み取ることができるようになる。専門知識を要さない英米映画であれば、字幕なしでも重要な情報を聞き取り、それなりに楽しむことができるようになる。英語のリスニングに慣れ、リスニング学習の習慣を身につけることができる。文法的に正確で、形式の整った英文パラグラフを書けるようになる。英語である程度まとまった自分の意見を表明できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
この授業は指示や課題を「学習支援システム」で配信するオンデマンド（資料型）です。授業は教科書を使用した課題演習を行います。また、英語論文の抜粋を読む回とネット等で調べて論評してもらう回があります。学期末には、一つのテーマについての英文課題を提出してもらいます。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行い、フィードバックは提出された課題レポートから実例や問題点を取り上げ、全体に対して行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	学期末レポート課題のフィードバックと秋学期第 1 回課題レポートの指示	春学期末レポート課題の全体に対するフィードバックを行い、問題点があれば指摘し解説します。課題レポートを指示します。
第 2 回	Unit 9. British Food: Better Than Awful	前回のフィードバック・課題レポートの指示：現代のイギリスの食文化について学びます。日本の食文化と比較した時、何が見えてくるでしょうか。
第 3 回	Unit 10. A Complicated Country	前回のフィードバック・課題レポートの指示：イギリスの正式の国名や国歌について学びます。
第 4 回	Unit 11. The Quite Fab Four	前回のフィードバック・課題レポートの指示：ビートルズについて調べてみましょう。
第 5 回	Unit 12. A Vulgar Custom	前回のフィードバック・課題レポートの指示：現代イギリスの若者文化と入れ墨の普及について考えます。
第 6 回	The Establishment (1)	前回のフィードバック・課題レポートの指示：オーウェン・ジョーンズの『エスタブリッシュメント』の抜粋を読みます。成人のほぼ全員が選挙権を持つ民主制においてエスタブリッシュメントとは何であり、社会にとって必要な存在なのかについて考察します。
第 7 回	The Establishment (2)	前回のフィードバック・課題レポートの指示：引き続きオーウェン・ジョーンズの著作の抜粋を読み、炭鉱労働者ストライキを背景とするイギリス映画『リトル・ダンサー』（２０００）を鑑賞し、警察とエスタブリッシュメントの関係を考察します。
第 8 回	The Establishment (3)	前回のフィードバック・課題レポートの指示：引き続きオーウェン・ジョーンズの著作の抜粋を読みます。資料として公共サービス民営化やゼロ時間契約を描いたイギリス映画『家族を想うとき』（２０１９）を鑑賞します。
第 9 回	Unit 13. The "Invension" of Sport	前回のフィードバック・課題レポートの指示：イギリス発祥のスポーツについて調べてみましょう。
第 10 回	Unit 14 Changing Classes	前回のフィードバック・課題レポートの指示：階級制度について学びます。
第 11 回	Unit 15 The Little Plane That "Won" the War	前回のフィードバック・課題レポートの指示：第二次世界大戦で活躍したイギリスの戦闘機スピットファイアの神話と事実について考察します。イギリス映画『ウインストン・チャーチル　ヒトラーから世界を救った男』（２０１７）を鑑賞します。
第 12 回	Films as British cultural representations	前回のフィードバック・課題レポートの指示：教科書でこれまで議論されてきた様々な問題と本講義で取り上げたイギリス映画との関連性について考察します。
第 13 回	復習課題の提示と学期末レポート課題の説明	前回のフィードバック・課題レポートの指示：復習課題の提示と学期末レポート課題の説明を行います。
第 14 回	学期末レポート課題・まとめと解説	学期末レポート課題を提出してもらいます。秋学期のまとめと解説をします。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習と復習。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。教科書を何度も音読すること。教科書と同様に英語のプリントもよく予習しておいてください。英語の専用ノートを作成し、表現や語彙を書き出し必ず例文も記入しておいてください。

【テキスト（教科書）】
春学期のテキストを引き続き使用します。

【参考書】
Owen Jones.(2015)The Establishment.London:Penguin. ただし購入する必要はありません。

【成績評価の方法と基準】
全 13 回の課題レポート（65 %）、三段階評価する学期末レポート課題（35 %）を総合して評価します。各回の課題レポートの提出期限は翌週の配信日までとし、課題レポートの点数配分の中には授業への積極的な参加・貢献も含みます。レポート課題の提出をもって授業出席確認とします。未提出課題が 5 回以上ある場合は原則として単位習得の資格を失います。

【学生の意見等からの気づき】
学生の皆さんの期待に沿えるように努力します。

【学生が準備すべき機器他】
この授業は「学習支援システム」を使用します。

【Outline and objectives】
The aims of this course are:
1. To encourage students to further develop their English proficiency by drawing on what they have learned in English 1 and English 2.
2. To train students to learn how to think critically by examining closely various authentic materials offered in English, and thus to develop the ability to effectively express their own thoughts and opinions.
3. To introduce students to the connections between cultural icons and political economy, focusing on specific keywords like 'Brexit' and 'the Establishment'.
4. To help students to get access to interpretations of contemporary social and cultural issues and events through training their skills in linguistic and cultural competencies as well as stimulating the imagination.
5. To provide students with an opportunity to participate in discussion, improving their presentational skills on a group or individual basis.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**アメリカから見た世界**

大曲　陽子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／日本語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
CNN International シリーズ 2021 年版を教材として、経済不況や震災、コロナウィルスといった世界的な混迷の中にあっての世界情勢を、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの４技能を通してナマのニュース英語を理解していく。

【到達目標】
タイムリーなトピックを取り上げ、リスニング、リーディング、ライティング､スピーキング学習を通して、英語資格試験のためではなく、変化する社会情勢を的確に把握し、異なる意見を持つ人たちと対等に渡り合える英語力、批判的な視点の持ち方を身に着けていく。高い英語力だけでなく、社会的教養を身に着けることも目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
本授業は、全 14 回を全てオンライン（オンデマンド、資料配付型）授業とする。授業は、ほぼ 2 回で 1 つの Unit を学習する。毎回解答用の Answer Sheet を、LMS を通して配布するので、それを締め切り日までに LMS を通して提出する。Unit 1 つごとにある exercise, judgments to make の
T, F 問題の語彙を小テストに充てる。
課題等のフィードバック方法
毎回の授業で提出物があるので、それは次の授業回で採点返却される。後日正解が LMS を通して配布される。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	初回授業のおよそ 1 週間前に LMS を通して配布されるプリント教材課題を LMS を通して提出する。
2	Unit 1 米疾病対策センター所長が語った「コロナウィルスの未来」	Words and Phrases to Study, 解答と語彙の意味（採点する　2 点 ×10 問＝ 20 点） Examples 解答（採点しない） blanks to fill in、リスニングをして空欄に解答を書き、ニュースクリプトを完成させる。（採点しない）
3	Unit 1 米疾病対策センター所長が語った「コロナウィルスの未来」	Judgments to Make , T か F かを解答し、各文を和訳する。（採点する。記号 2 点、和訳 3 点、5 点 ×8 問＝ 40 点）

4	Unit 2 日本で新天皇即位「令和」に持ち越された皇位継承問題	Words and Phrases to Study, 解答と語彙の意味（採点する　2点 ×10 問＝ 20 点） Examples 解答（採点しない） blanks to fill in、リスニングをして空欄に解答を書き、ニュースクリプトを完成させる。（採点しない）
5	Unit 2 日本で新天皇即位「令和」に持ち越された皇位継承問題	Judgments to Make , T か F かを解答し、各文を和訳する。（採点する。記号 2 点、和訳 3 点、5 点 ×8 問＝ 40 点）
6	Unit 3 オリンピックを支える頼もしい味方日本が誇る羽田空港	Words and Phrases to Study, 解答と語彙の意味（採点する　2点 ×10 問＝ 20 点） Examples 解答（採点しない） blanks to fill in、リスニングをして空欄に解答を書き、ニュースクリプトを完成させる。（採点しない）
7	Unit 3 オリンピックを支える頼もしい味方日本が誇る羽田空港	Judgments to Make , T か F かを解答し、各文を和訳する。（採点する。記号 2 点、和訳 3 点、5 点 ×8 問＝ 40 点）
8	Unit 4 待ち時間ゼロ！？ ロンドン発、忙しい現代人の健康を救う AI 診療	Words and Phrases to Study, 解答と語彙の意味（採点する　2点 ×10 問＝ 20 点） Examples 解答（採点しない） blanks to fill in、リスニングをして空欄に解答を書き、ニュースクリプトを完成させる。（採点しない）
9	Unit 4 待ち時間ゼロ！？ ロンドン発、忙しい現代人の健康を救う AI 診療	Judgments to Make , T か F かを解答し、各文を和訳する。（採点する。記号 2 点、和訳 3 点、5 点 ×8 問＝ 40 点）
10	Unit 5 日本発！ VR 技術が可能にする高齢者の仮想世界旅行	Words and Phrases to Study, 解答と語彙の意味（採点する　2点 ×10 問＝ 20 点） Examples 解答（採点しない） blanks to fill in、リスニングをして空欄に解答を書き、ニュースクリプトを完成させる。（採点しない）
11	Unit 5 日本発！ VR 技術が可能にする高齢者の仮想世界旅行	Judgments to Make , T か F かを解答し、各文を和訳する。（採点する。記号 2 点、和訳 3 点、5 点 ×8 問＝ 40 点）
12	Unit 6 ハリー王子＆メーガン妃決意の英王室離脱表明の裏側	Words and Phrases to Study, 解答と語彙の意味（採点する　2点 ×10 問＝ 20 点） Examples 解答（採点しない） blanks to fill in、リスニングをして空欄に解答を書き、ニュースクリプトを完成させる。（採点しない）
13	Unit 6 ハリー王子＆メーガン妃決意の英王室離脱表明の裏側	Judgments to Make , T か F かを解答し、各文を和訳する。（採点する。記号 2 点、和訳 3 点、5 点 ×8 問＝ 40 点）
14	これまでのまとめと期末試験	これまでのまとめ 期末試験課題の提出

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
テキストの音声をダウンロードして聴く。
Words and Phrases , Examples を予習して語彙を徹底的に調べておく。

【テキスト（教科書）】
CNN ビデオで見る世界のニュース（22）
朝日出版社　1900 円　＋　税

【参考書】
特になし。
辞書必携

【成績評価の方法と基準】
授業課題の提出（Answer Sheet の空欄が全て解答されていること）　20%
小テスト 50 点 ×6 回分 300 点
30%
期末試験課題　50%
＊各学期、欠席 4 回以上で、原則として単位の修得は認められない。
＊毎回 Answer Sheet の回答欄が全て記載されていて（解答されていて）出席とする。（空欄の内容に全て解答すること）

【学生の意見等からの気づき】
Unit に関連したプリント教材を配布する。

【学生が準備すべき機器他】
パソコン、スマートフォン使用。
課題にリスニングが含まれるので、教科書の QR コードから音声をスマートフォンにダウンロードして聞くことになる。

【その他の重要事項】
欠席は 3 回までとする。
担当教員に質問などの連絡がある場合は、LMS の質問を利用するか、または以下のアドレスにメールで連絡をください。
yohko.ohmagari.3n@hosei.ac.jp

【Outline and objectives】
The aim of this course is help students acquire an understanding the international situation, an environmental problem, natural disasters, culture
and so on through CNN original English.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**アメリカから見た世界**

大曲　陽子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／日本語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
CNN International シリーズ 2021 年版を教材として、経済不況や震災、コロナウィルスといった世界的な混迷の中にあっての世界情勢を、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの４技能を通してナマのニュース英語を理解していく。

【到達目標】
タイムリーなトピックを取り上げ、リスニング、リーディング、ライティング､スピーキング学習を通して、英語資格試験のためではなく、変化する社会情勢を的確に把握し、異なる意見を持つ人たちと対等に渡り合える英語力、批判的な視点の持ち方を身に着けていく。高い英語力だけでなく、社会的教養を身に着けることも目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
本授業は、全 14 回を全てオンライン（オンデマンド、資料配付型）授業とする。授業は、ほぼ 2 回で 1 つの Unit を学習する。毎回解答用の Answer Sheet を、LMS を通して配布するので、それを締め切り日までに LMS を通して提出する。Unit 1 つごとにある exercise, judgments to make の
T, F 問題の語彙を小テストに充てる。
課題等のフィードバック方法
毎回の授業で提出物があるので､それは次の授業回で採点返却される。後日正解が LMS を通して配布される。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Warming Up	初回授業のおよそ 1 週間前に配布されるプリント教材課題を提出する。
2	Unit 7 燃え落つ 850 年の歴史 フランスの象徴ノートルダム大聖堂	Words and Phrases to Study, 解答と語彙の意味（採点する　2 点 ×10 問＝ 20 点） Examples 解答（採点しない） blanks to fill in、リスニングをして空欄に解答を書き、ニュースクリプトを完成させる。（採点しない）
3	Unit 7 燃え落つ 850 年の歴史 フランスの象徴ノートルダム大聖堂	Judgments to Make , T か F かを解答し、各文を和訳する。（採点する。記号 2 点、和訳 3 点、5 点 ×8 問＝ 40 点）
4	Unit 8 プラゴミ問題の救世主 南アフリカ発「食べられる食器」とは？	Words and Phrases to Study, 解答と語彙の意味（採点する　2 点 ×10 問＝ 20 点） Examples 解答（採点しない） blanks to fill in、リスニングをして空欄に解答を書き、ニュースクリプトを完成させる。（採点しない）
5	Unit 8 プラゴミ問題の救世主 南アフリカ発「食べられる食器」とは？	Judgments to Make , T か F かを解答し、各文を和訳する。（採点する。記号 2 点、和訳 3 点、5 点 ×8 問＝ 40 点）
6	Unit 9 歴史的勝訴！ 先祖の土地を森林破壊から守ったアマゾン先住民	Words and Phrases to Study, 解答と語彙の意味（採点する　2 点 ×10 問＝ 20 点） Examples 解答（採点しない） blanks to fill in、リスニングをして空欄に解答を書き、ニュースクリプトを完成させる。（採点しない）
7	Unit 9 歴史的勝訴！ 先祖の土地を森林破壊から守ったアマゾン先住民	Judgments to Make , T か F かを解答し、各文を和訳する。（採点する。記号 2 点、和訳 3 点、5 点 ×8 問＝ 40 点）
8	Unit 10 気候変動対策求め、英国の子供たちが「絶滅への反抗」デモ	Words and Phrases to Study, 解答と語彙の意味（採点する　2 点 ×10 問＝ 20 点） Examples 解答（採点しない） blanks to fill in、リスニングをして空欄に解答を書き、ニュースクリプトを完成させる。（採点しない）
9	Unit 10 気候変動対策求め、英国の子供たちが「絶滅への反抗」デモ	Judgments to Make , T か F かを解答し、各文を和訳する。（採点する。記号 2 点、和訳 3 点、5 点 ×8 問＝ 40 点）
10	Unit 11 中国からの SOS？ 受刑者が思いを託した１通の X マスカード	Words and Phrases to Study, 解答と語彙の意味（採点する　2 点 ×10 問＝ 20 点） Examples 解答（採点しない） blanks to fill in、リスニングをして空欄に解答を書き、ニュースクリプトを完成させる。（採点しない）
11	Unit 11 中国からの SOS？ 受刑者が思いを託した１通の X マスカード	Judgments to Make , T か F かを解答し、各文を和訳する。（採点する。記号 2 点、和訳 3 点、5 点 ×8 問＝ 40 点）
12	Unit 12 正気か狂気か トランプ大統領の「グリーンランド購入」発言	Words and Phrases to Study, 解答と語彙の意味（採点する　2 点 ×10 問＝ 20 点） Examples 解答（採点しない） blanks to fill in、リスニングをして空欄に解答を書き、ニュースクリプトを完成させる。（採点しない）
13	Unit 12 正気か狂気か トランプ大統領の「グリーンランド購入」発言	Judgments to Make , T か F かを解答し、各文を和訳する。（採点する。記号 2 点、和訳 3 点、5 点 ×8 問＝ 40 点）
14	これまでのまとめと期末試験	これまでのまとめ 期末試験課題の提出

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
テキストの音声をダウンロードして聴く。
Words and Phrases , Examples を予習して語彙を徹底的に調べておく。

【テキスト（教科書）】
CNN ビデオで見る世界のニュース（22）
朝日出版　1900 円　+　税

【参考書】
特になし。
辞書必携

【成績評価の方法と基準】
授業課題の提出（Answer Sheet の空欄が全て解答されていること）
　20%
小テスト 50 点 ×6 回分 300 点
30%
期末試験課題　　50%
＊各学期、欠席 4 回以上で、原則として単位の修得は認められない。
＊毎回 Answer Sheet の回答欄が全て記載されていて（解答されていて）出席とする。（空欄の内容に全て解答すること）

【学生の意見等からの気づき】
Unit に関連したプリント教材を配布する。

【学生が準備すべき機器他】
パソコン、スマートフォン使用。
課題にリスニングが含まれるので、教科書の QR コードから音声をスマートフォンにダウンロードして聞くことになる。

【その他の重要事項】
欠席は 3 回までとする。
担当教員に質問などの連絡がある場合は、LMS の質問を利用するか、または以下のアドレスにメールで連絡をください。
yohko.ohmagari.3n@hosei.ac.jp

【Outline and objectives】
The aim of this course is help students acquire an understanding the international situation, an environmental problem, natural disasters, culture
and so on through CNN original English.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Speaking English in the global world

URBANOVA　Jana

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／日本語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
今まで皆さんが学んできた英語の「聞く」「読む」「書く」「話す」という 4 技能の能力をレベルアップすることによって、国際環境における知識の獲得や、各自の意見を英語で述べることができる自信を身に付けることを目指します。

【到達目標】
1）様々なトピックに関するリーディング、リスニング、スピーキングやライティングの練習を通じて、自分の意見を英語で自在に表現できる
2）発表の練習を通じて、プレゼンテーションスキルや英語能力を身に付ける
3）ディスカッション、ペアワーク、グループワークなどで英語のコミュニケーション能力や自由考察を高める

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
1）ペアワーク、会話、グループワーク、グループディスカッション（スピーキング練習）
2）発表（プレゼンテーション練習）
3）リーディング、リスニング、ライティング、自由考察の練習
課題に対する説明やコメント等は授業の最後に行います。そこでは受講生からの質問も受け付けます。
この授業はオンライン（リアルタイム配信型）です。すべての回を Zoom で実施します。指示については HOPPII をご確認ください。
This is an online class, and all weeks will be taught on Zoom. Please see HOPPII for further instructions about how to join our Zoom sessions.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	Explanation of course requirements, tasks and goals; Getting to know each other
Week 2	Unit 1 Conservation	Listening and speaking exercise: talking about endangered animals; Grammar explanation and practice: present simple and present continuous
Week 3	Unit 1 Conservation	Watching video (TED Talks); Vocabulary in context; Homework: reading with comprehension
Week 4	Unit 2 Family connections	Listening and speaking exercise: talking about family; Grammar used when talking about future plans

Week 5	Unit 2 Family connections	Watching video (TED Talks); Vocabulary review; Reading exercise: A passion for genealogy
Week 6	Unit 3 Global stories	Explanation of presentation No. 1 (parroting); Speaking exercise: talking about books; Grammar: defining relative clauses
Week 7	Unit 3 Global stories	Watching video (TED Talks); Vocabulary in context; Writing exercise: writing a book review
Week 8	Presentation No. 1	Students' presentations No. 1: parroting; Explaining requirements for presentation No. 2 and watching model presentation
Week 9	Unit 4 Music	Listening and speaking: talking about music; Grammar explanation and practice: countable and uncountable nouns
Week 10	Unit 4 Music	Watching video (TED Talks); Key words review; Reading exercise: Music and the brain
Week 11	Unit 5 Good design	Listening and speaking: talking about design; Grammar explanation and practice: prepositions and adverbs of place
Week 12	Unit 5 Good design	Watching video (TED Talks); Vocabulary review; Reading with comprehension: Chicago's much loved flag
Week 13	Presentation No. 2	Students' presentations No. 2 on the chosen topic
Week 14	Course wrap up	Final test; Students' feedback; Let's enjoy a song

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Class preparation, vocabulary review, homework, preparation for presentations.
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
David Bohlke and Stephanie Parker: Keynote Pre-Intermediate, Cengage Learning, 2018. Student's Book ISBN: 978-1-337-27392-3

【参考書】
English to English dictionary:
https://dictionary.cambridge.org/
その他の参考書については授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】
積極的な授業への参加が期待される。また、発表、宿題、最終テストなどを勘案して成績を評価する。なお、4 回以上欠席した場合は、原則として単位の取得を認めない。
- Active participation in class: 20%
- Writing assignments, homework and tests: 40%
- Two presentations: 40%

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【学生が準備すべき機器他】
● 指定の教科書
● 授業内容を見返すためのノート
● 辞書／電子辞書
（英和・和英辞典の他に、English-English dictionary も必要。【参考書】に記載されたホームページをご参考ください。）
● この授業は Zoom で行うため、大学で Zoom 授業を受ける際にはマイク付きのヘッドセットが必要となります。
● この授業では学習支援システム（HOPPII）、Google Classroom、Zoom 等を使用します。Zoom や Google Classroom に参加する指示については HOPPII をご確認ください。

【その他の重要事項】
授業を登録した学生の英語レベルに応じて実際の授業内容はシラバスの内容と異なることもある。

【Outline and objectives】
Enhancing English language proficiency (four skills - listening, speaking, reading and writing) in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Speaking English in the global world

URBANOVA　Jana

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／日本語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
今まで皆さんが学んできた英語の「聞く」「読む」「書く」「話す」という 4 技能の能力をレベルアップすることによって、国際環境における知識の獲得や、各自の意見を英語で述べることができる自信を身に付けることを目指します。

【到達目標】
1）様々なトピックに関するリーディング、リスニング、スピーキングやライティングの練習を通じて、自分の意見を英語で自在に表現できる
2）発表の練習を通じて、プレゼンテーションスキルや英語能力を身に付ける
3）ディスカッション、ペアワーク、グループワークなどで英語のコミュニケーション能力や自由考察を高める

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
1）ペアワーク、会話、グループワーク、グループディスカッション（スピーキング練習）
2）発表（プレゼンテーション練習）
3）リーディング、リスニング、ライティング、自由考察の練習
課題に対する説明やコメント等は授業の最後に行います。そこでは受講生からの質問も受け付けます。
この授業はオンライン（リアルタイム配信型）です。すべての回を Zoom で実施します。指示については HOPPII をご確認ください。
This is an online class, and all weeks will be taught on Zoom. Please see HOPPII for further instructions about how to join our Zoom sessions.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	Explanation of course requirements, tasks and goals; Review of the main points studied in the spring semester
Week 2	Unit 6 Inspiring people	Speaking exercise: talking about an inspirational person; Grammar explanation and practice: reported speech
Week 3	Unit 6 Inspiring people	Watching video (TED Talks); Key words; Writing assignment: describing an inspiring person
Week 4	Unit 7 Ethical choices	Listening and speaking exercise: talking about ethical choices; Grammar: predictions
Week 5	Unit 7 Ethical choices	Watching video (TED Talks); Vocabulary in context; Presentation skills
Week 6	Unit 8 Better cities	Explanation of presentation No. 1 (parroting); Listening: Living abroad; Grammar: phrasal verbs
Week 7	Unit 8 Better cities	Watching video (TED Talks); Key vocabulary; Reading with comprehension: Having a say about your city
Week 8	Presentation No. 1	Students' presentations No. 1: parroting; Explaining requirements and introducing topics for presentation No. 2
Week 9	Unit 9 Giving	Listening and speaking: talking about good cuases; Grammar explanation and practice: *will* for offers and first conditionals
Week 10	Unit 9 Giving	Watching video (TED Talks); Key words review; Communication: choosing a charity
Week 11	Unit 10 Mind and machine	Vocabulary related to brain functions; Speaking: talking about a game; Grammar: adverbs and adverbial phrases
Week 12	Unit 10 Mind and machine	Watching video (TED Talks); Key words review; Reading with comprehension: The power of the mind
Week 13	Presentation No. 2	Students' presentations No. 2 on the chosen topic
Week 14	Course wrap up	Final test; Students' feedback; Let's enjoy a poem

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Class preparation, vocabulary review, homework, preparation for presentations.
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
David Bohlke and Stephanie Parker: Keynote Pre-Intermediate, Cengage Learning, 2018. Student's Book ISBN: 978-1-337-27392-3

【参考書】
English to English dictionary:
https://dictionary.cambridge.org/
その他の参考書については授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】
積極的な授業への参加が期待される。また、発表、宿題、最終テストなどを勘案して成績を評価する。なお、4 回以上欠席した場合は、原則として単位の取得を認めない。
Students are expected to actively participate in class, prepare short presentations, complete writing assignments and pass the final test.
- Active participation in class: 20%
(In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course)
- Writing assignments, homework and tests: 40%
- Two presentations: 40%

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【学生が準備すべき機器他】
● 指定の教科書
● 授業内容を見返すためのノート
● 辞書／電子辞書
（英和・和英辞典の他に、English-English dictionary も必要。【参考書】に記載されたホームページをご参考ください。）

● この授業は Zoom で行うため、大学で Zoom 授業を受ける際にはマイク付きのヘッドセットが必要となります。
● この授業では学習支援システム（HOPPII）、Google Classroom、Zoom 等を使用します。Zoom や Google Classroom に参加する指示については HOPPII をご確認ください。

【その他の重要事項】
授業を登録した学生の英語レベルに応じて実際の授業内容はシラバスの内容と異なることもある。

【Outline and objectives】
Enhancing English language proficiency (four skills - listening, speaking, reading and writing) in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**英米のニュースから見る英語圏の社会と文化**

宇治谷　義英

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／日本語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English 3 では、English1 と English2 で学んだ読む、書く、聞く、話すという英語の 4 技能の能力を更に深めます。またこれら 4 技能を総合的に駆使し、あるテーマについて英語で情報を得、その情報を批判的に考察し、さらに自分の意見を英語で発信していく能力を養成します。
本授業では，英米のニュース記事を読み，またニュース動画を見て聴くことを通して上記の力を伸ばしていきます.

【到達目標】
・複雑に見える英語の正確な読解ができること.
・英文記事全体の要旨を正確に把握できること.
・ニュースの英語が聞き取れるようになること.
・正確な英語で作文が出来るようになること.
・英語でニュース記事について発表そして質疑応答が出来るようになること.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
担当教員の選んだニュース記事の精読，ニュース記事についての発表，ニュース記事についての作文，ニュース英語のリスニング練習という内容で進めていきます.
（フィードバック方法について）リアクションペーパーに書かれた質問は全て次回の授業で取り上げて回答します．また，授業で扱った内容に対するコメントはクラス全体で共有できるようにします.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
① 04/12	イントロ	席決め，発表順決め，授業の説明，ウォームアップ.
② 04/19	"The Guardian view on the Easter lockdown: no time to drop our guard" (Guardian, 9/Apr/2020)（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング.
③ 04/26	"The Guardian view on the WHO and coronavirus: Trump's blame game" (Guardian, 15/Apr/2020)（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング.

④ 05/10	"The Guardian view on creatives in purdah: don't leave culture to Netflix" (Guardian, 22/Apr/2020)（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング．
⑤ 05/17	受講生による持ち寄り記事の発表	発表とディスカッション
⑥ 05/24	"The Guardian view on Italy's lockdown: no storybook endings" (Guardian, 4/May/2020)（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング．
⑦ 05/31	"The Guardian view on reopening schools: not so fast" (Guardian, 11/May/2020)（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング．
⑧ 06/07	"The Guardian view on UK theatre: on the brink" (Guardian, 20/May/2020)（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング．
⑨ 06/14	受講生による持ち寄り記事の発表	発表とディスカッション
⑩ 06/21	"The Guardian view on Hong Kong's future: China's doublespeak" (Guardian, 26/May/2020)（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング．
⑪ 06/28	"The racism that killed George Floyd was built in Britain" (Guardian, 3/Jun/2020)（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング．
⑫ 07/05	"The Guardian view on the Philippines and Maria Ressa: an attack on democracy" (Guardian, 18/Jun/2020)（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング．
⑬ 07/12	受講生による持ち寄り記事の発表	発表とディスカッション
⑭ 07/19	"The Guardian view on the Reading attacks: a grim reminder" (Guardian, 23/Jun/2020)（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング．

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
講読では，辞書とネットを駆使して不明な単語，表現を下調べして準備しておくこと．発表は，資料の準備，そして必ずリハーサルをしておくこと．課題作文では与えられたトピックについて英語でまとめて提出します．
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
扱う記事の入手方法（URL など）は前週までに指示します．

【参考書】
『リーダーズ英和辞典』（東京：研究社, 1999)，および専門用語についてはネットでの検索が役に立ちます．

【成績評価の方法と基準】
課題を含む平常点 (20%) と 2 回の試験 (80%) から総合的に評価します。あらかじめ割り当てられた発表の準備を怠った場合，正当な理由なく発表日に欠席するなどした場合は不合格となります．病気などのやむを得ない事情を除いて，原則として全授業出席する必要があります．
病欠も含めた欠席回数が 4 回を数えた時点で単位取得の資格を失います．未予習での出席は欠席扱いとし，授業中に雑談など受講の意志が見られない者もその場で退席を指示し，その日は欠席扱いとします．遅刻は授業開始の合図から 20 分以内に入室した者だけ認めますが，2 回の遅刻につき 1 回の欠席と見なします．

【学生の意見等からの気づき】
学生の発表についてフィードバックをおこないたいと思います．ニュース英語のリスニングを苦手とする学生が多いので内容と同時に聴き取りのコツを説明します．

【Outline and objectives】
In this course, students learn how the world is going through reading UK or US media, and try to express their opinions on various world issues in English.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**英米のニュースから見る英語圏の社会と文化**

宇治谷　義英

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／日本語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 では、English1 と English2 で学んだ読む、書く、聞く、話すという英語の 4 技能の能力を更に深めます。またこれら 4 技能を総合的に駆使し、あるテーマについて英語で情報を得、その情報を批判的に考察し、さらに自分の意見を英語で発信していく能力を養成します。

本授業では，春学期に引き続いて，英米のニュース記事を読み，またニュース動画を見て聴くことを通して上記の力を伸ばしていきます.

【到達目標】

・複雑に見える英語の正確な読解ができること.
・英文記事全体の要旨を正確に把握できること.
・ニュースの英語が聞き取れるようになること.
・正確な英語で作文が出来るようになること.
・英語でニュース記事について発表そして質疑応答が出来るようになること.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

担当教員の選んだニュース記事の精読，ニュース記事についての発表，ニュース記事についての作文，ニュース英語のリスニング練習という内容で進めていきます.
（フィードバック方法について）リアクションペーパーに書かれた質問は全て次回の授業で取り上げて回答します．また，授業で扱った内容に対するコメントはクラス全体で共有できるようにします.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
① 09/20	"The Guardian view on the Easter lockdown: no time to drop our guard" (Guardian, 9/Apr/2020)（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング.
② 09/27	"The Guardian view on the WHO and coronavirus: Trump's blame game" (Guardian, 15/Apr/2020)（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング.
③ 10/04	"The Guardian view on creatives in purdah: don't leave culture to Netflix" (Guardian, 22/Apr/2020)（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング.
④ 10/11	受講生による発表	発表とディスカッション
⑤ 10/18	"The Guardian view on Italy's lockdown: no storybook endings" (Guardian, 4/May/2020)（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング.
⑥ 10/25	"The Guardian view on reopening schools: not so fast" (Guardian, 11/May/2020)（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング.
⑦ 11/01	"The Guardian view on UK theatre: on the brink" (Guardian, 20/May/2020)（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング.
⑧ 11/08	受講生による発表	発表とディスカッション
⑨ 11/15	"The Guardian view on Hong Kong's future: China's doublespeak" (Guardian, 26/May/2020)（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング.
⑩ 11/22	グループの持ち寄り記事	記事の精読．ニュース英語のリスニング.
⑪ 11/29	"The racism that killed George Floyd was built in Britain" (Guardian, 3/Jun/2020)（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング.
⑫ 12/06	受講生による発表	発表とディスカッション
⑬ 12/13	"The Guardian view on the Philippines and Maria Ressa: an attack on democracy" (Guardian, 18/Jun/2020)（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング.
⑭ 01/17	"The Guardian view on the Reading attacks: a grim reminder" (Guardian, 23/Jun/2020)（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
講読では，辞書とネットを駆使して不明な単語，表現を下調べして準備しておくこと．発表は，資料の準備，そして必ずリハーサルをしておくこと．課題作文では与えられたトピックについて英語でまとめて提出します．本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
扱う記事の入手方法（URL など）は前週までに指示します.

【参考書】
『リーダーズ英和辞典』（東京：研究社, 1999)，および専門用語についてはネットでの検索が役に立ちます.

【成績評価の方法と基準】
課題を含む平常点 (20%) と 2 回の試験 (80%) から総合的に評価します。あらかじめ割り当てられた発表の準備を怠った場合，正当な理由なく発表日に欠席するなどした場合は不合格となります．病気などのやむを得ない事情を除いて，原則として全授業出席する必要があります.

病欠も含めた欠席回数が 4 回を数えた時点で単位取得の資格を失います．未予習での出席は欠席扱いとし，授業中に雑談など受講の意志が見られない者もその場で退席を指示し，その日は欠席扱いとします．遅刻は授業開始の合図から 20 分以内に入室した者だけ認めますが，2 回の遅刻につき 1 回の欠席と見なします.

【学生の意見等からの気づき】
学生の発表についてフィードバックをおこないたいと思います..ニュース英語のリスニングを苦手とする学生が多いので内容と同時に聴き取りのコツを説明します.

【Outline and objectives】
In this course, students learn how the world is going through reading UK or US media, and try to express their opinions on various world issues in English.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**外国の視点による日本文化の特徴**

吉江　秀和

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／日本語／世界の中の日本
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
アメリカ人と日本人それぞれの目線から日本の社会に関する様々な事象について言及した内容のテキスト『アメリカ人から見た日本人の不思議な行動パターン Eye on Japan』を中心とした英文の精読と、内容に関連する問題を解くことで、English 1 と English 2 で学んだ、「読む」「書く」「聞く」「話す」の 4 技能の能力を包括的に高めていきます。その際に、構文を意識したより正確な英文読解力を身につけていくことを軸とし、その読解で得た情報を批判的に考察し、テキストの問題を活用しながら自分の意見を英語で発信する土台を構築していきます。

【到達目標】
テキストなどの読解や問題を通じて以下のことを目標とする。
①英文を読む際に構文を意識して一文ずつ丁寧に読むことを身につける。
②英文を確実に理解するための語彙や表現を覚えて、文法事項の理解を深める。
③テキストなどの英文を繰り返し聞いたり音読したりすることにより、英語のリスニング力やスピーキング力を鍛えていく。
④テキストの問題を活用しながら、トピックに関する自分の意見を英語で書く力を鍛えていく。
⑤自分の意見を英語で他者に伝え、聞き手はその意見を聞き取る能力をつけていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
テキスト『アメリカ人から見た日本人の不思議な行動パターン Eye on Japan』を事前に精読し、その内容に関連するテキストの問題を解いてきてもらいます。その際に、文章理解の正確性を高めるために構文を意識してもらう作業をしてもらいます。授業では、構文や英文内容理解の確認とともに、テキストの問題の答え合わせを指名しながらおこないます。テキスト内容の解説・確認の終了後、説明した内容を中心に作成した確認テストをおこないます。また、14 回の授業の中で、授業内で扱ってきたトピックから選択し、テキストの問題を活用しながら自分の意見を英文でまとめたものでプレゼンテーションをおこないます。聞き手には、各発表者の発言の聞き取りをおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	予習のやり方や授業の進め方など、授業を受けるうえでの注意点の説明をします。
2	Chapter 1: Things Japanese Say	Unit 1: Change An American Viewpoint
3	Chapter 1: Things Japanese Say	Unit 1: Change A Japanese Viewpoint
4	Chapter 1: Things Japanese Say	Unit 2: Shouganai An American Viewpoint

5	Chapter 1: Things Japanese Say	Unit 2: Shouganai A Japanese Viewpoint
6	Chapter 1: Things Japanese Say	Unit 3: Tatemae and Honne An American Viewpoint
7	Chapter 1: Things Japanese Say	Unit 3 Tatemae and Honne A Japanese Viewpoint
8	Chapter 2: Things Japanese Do	Unit 4 Following the Crowd An American Viewpoint
9	Chapter 2: Things Japanese Do	Unit 4 Following the Crowd A Japanese Viewpoint
10	Chapter 2: Things Japanese Do	Unit 5 Vehicle Inspections An American Viewpoint
11	Chapter 2: Things Japanese Do	Unit 5 Vehicle Inspections A Japanese Viewpoint
12	Chapter 2: Things Japanese Do	Unit 6: Overkill An American Viewpoint A Japanese Viewpoint
13	期末試験・まとめ	今まで学習してきた内容を期末試験で確認します。試験・まとめと解説
14	プレゼンテーション	プレゼンテーション テキストの内容について自分の意見を述べ、その意見の聞き取りをおこないます

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

必ず予習をおこなってください。予習のやり方については最初の授業で説明します。英文を単に訳すのではなく構文の読み取りを意識しておこない、授業中に発問された際に、できる限りスムーズに答えられるように準備をしてきてください。また、授業内では単なる英語に関する発問だけでなく、テキスト内容に関する追加的な発問もおこないますので、内容に関連する用語や背景などを自分で調べてきてください。授業中におこなうプレゼンテーションのためにもテキストの英文のリスニングや音読を普段からおこなうことを心がけてください。

英文や言及していることについて予習の段階でわからないところがあるのは仕方ありませんが、それらも解決の糸口だけでも見つけられるように努力をしてください。その予習の状況も踏まえて平常点が付けられます。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Shawn M. Clankie、Kobayashi Toshihiro『アメリカ人から見た日本人の不思議な行動パターン Eye on Japan』2011 年、三修社、2,400 円+税

【参考書】

必要な際には授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】

確認テストや予習の状況などで判断する授業への取り組み（20%）とライティングおよび記述したものを基にしたプレゼンテーションとそのリスニング（40%）、そして期末試験 (40%) から総合的に評価。欠席が 4 回以上の場合は原則として単位取得資格を失うため、欠席回数に注意してください（欠席回数が 4 回に満たなくても欠席回数が多くなればその分、授業への取り組みの評価に影響します。また、予習が不十分であったり、授業への取り組みが芳しくなかったりする場合は、授業への出席とみなさない可能性があります）。また、期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失いますので注意願います。

【学生の意見等からの気づき】

構文や日本語訳などの確認についてはできる限り時間をかけておこなっていきます。

テキストの内容を理解するために、テキスト以外のものを参照する必要がある場合もあります。その際には、できる限りの情報を提示します。

【学生が準備すべき機器他】

辞書を必ず持参してください。

【その他の重要事項】

春学期と秋学期の両方を通年科目として履修することが望ましいです。

【Outline and objectives】

Through reading stories and doing exercises in the textbook “Eye on Japan” which consists of 18 topics about Japanese culture, we study how to read the sentences correctly, how to think about the topics critically and how to express our opinions. When we read the sentences, we try to analyse sentence structures as precisely as possible. After completing each unit, we have an achievement test on reading comprehension, English compositions and analysing the sentences in the unit. During the spring term, we will have a presentation on the topics in the textbook.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**外国の視点による日本文化の特徴**

吉江　秀和

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／日本語／世界の中の日本
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

アメリカ人と日本人それぞれの目線から日本の社会に関する様々な事象について言及した内容のテキスト『アメリカ人から見た日本人の不思議な行動パターン Eye on Japan』を中心とした英文の精読と、内容に関連する問題を解くことで、English 1 と English 2 で学んだ、「読む」「書く」「聞く」「話す」の 4 技能の能力を包括的に高めていきます。その際に、構文を意識したより正確な英文読解力を身につけていくことを軸とし、その読解で得た情報を批判的に考察し、テキストの問題を活用しながら自分の意見を英語で発信する土台を構築していきます。

【到達目標】

テキストなどの読解や問題を通じて以下のことを目標とする。
①英文を読む際に構文を意識して一文ずつ丁寧に読むことを身につける。
②英文を確実に理解するための語彙や表現を覚えて、文法事項の理解を深める。
③テキストなどの英文を繰り返し聞いたり音読したりすることにより、英語のリスニング力やスピーキング力を鍛えていく。
④テキストの問題を活用しながら、トピックに関する自分の意見を英語で書く力を鍛えていく。
⑤自分の意見を英語で他者に伝え、聞き手はその意見を聞き取る能力をつけていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

テキスト『アメリカ人から見た日本人の不思議な行動パターン Eye on Japan』を事前に精読し、その内容に関連するテキストの問題を解いてきてもらいます。その際に、文章理解の正確性を高めるために構文を意識してもらう作業をしてもらいます。授業では、構文や英文内容理解の確認とともに、テキストの問題の答え合わせを指名しながらおこないます。テキスト内容の解説・確認の終了後、説明した内容を中心に作成した確認テストをおこないます。また、14 回の授業の中で、授業内で扱ってきたトピックから選択し、テキストの問題を活用しながら自分の意見を英文でまとめたものでプレゼンテーションをおこないます。聞き手には、各発表者の発言の聞き取りをおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Chapter 3: Japanese Education	Unit 7: Sports Day
2	Chapter 3: Japanese Education	Unit 8: Striving to be Average
3	Chapter 3: Japanese Education	Unit 9: Pride in One's School
4	Chapter 4: Japanese Food Culture	Unit 10: Monster Fruit
5	Chapter 4: Japanese Food Culture	Unit 11: It's to Die For!
6	Chapter 4: Japanese Food Culture	Unit 12: No More Plastic Bags
7	Chapter 5: Japanese Fashion	Unit 13: Girlie Men
8	Chapter 5: Japanese Fashion	Unit 14: School Uniforms
9	Chapter 5: Japanese Fashion	Unit 15: Job Hunting
10	Chapter 6: Japanese and Time	Unit 16: Age is Just a Number
11	Chapter 6: Japanese and Time	Unit 17: Mandatory Retirement
12	Chapter 6: Japanese and Time	Unit 18: The Construction Scam
13	期末試験・まとめ	今まで学習してきた内容を期末試験で確認します。試験・まとめと解説
14	プレゼンテーション	プレゼンテーション テキストの内容について自分の意見を述べ、その意見の聞き取りをおこないます

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

必ず予習をおこなってください。予習のやり方については最初の授業で説明します。英文を単に訳すのではなく構文の読み取りを意識しておこない、授業中に発問された際に、できる限りスムーズに答えられるように準備をしてきてください。また、授業内では単なる英語に関する発問だけでなく、テキスト内容に関する追加的な発問もおこないますので、内容に関連する用語や背景などを自分で調べてきてください。授業中におこなうプレゼンテーションのためにもテキストの英文のリスニングや音読を普段からおこなうことを心がけてください。

英文や言及していることについて予習の段階でわからないところがあるのは仕方ありませんが、それらも解決の糸口だけでも見つけられるように努力をしてください。その予習の状況も踏まえて平常点が付けられます。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Shawn M. Clankie、Kobayashi Toshihiro『アメリカ人から見た日本人の不思議な行動パターン Eye on Japan』2011 年、三修社、2,400 円+税

【参考書】

必要な際には授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】

確認テストや予習の状況などで判断する授業への取り組み（20%）とライティングおよび記述したものを基にしたプレゼンテーションとそのリスニング（40%）、そして期末試験 (40%) から総合的に評価。欠席が 4 回以上の場合は原則として単位取得資格を失うため、欠席回数に注意してください（欠席回数が 4 回に満たなくても欠席回数が多くなればその分、授業への取り組みの評価に影響します。また、予習が不十分であったり、授業への取り組みが芳しくなかったりする場合は、授業への出席とみなさない可能性があります）。また、期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失いますので注意願います。

【学生の意見等からの気づき】

構文や日本語訳などの確認についてはできる限り時間をかけておこなっていきます。

テキストの内容を理解するために、テキスト以外のものを参照する必要がある場合もあります。その際には、できる限りの情報を提示します。

【学生が準備すべき機器他】

辞書を必ず持参してください。

【その他の重要事項】

春学期と秋学期の両方を通年科目として履修することが望ましいです。

【Outline and objectives】
Through reading stories and doing exercises in the textbook "Eye on Japan" which consists of 18 topics about Japanese culture, we study how to read the sentences correctly, how to think about the topics critically and how to express our opinions. When we read the sentences, we try to analyse sentence structures as precisely as possible. After completing each unit, we have an achievement test on reading comprehension, English compositions and analysing the sentences in the unit. During the autumn term, we will have a presentation on the topics in the textbook.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**日本の立ち位置は？ - アメリカ文化との比較を通して**

吉川　太恵子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／日本語／世界の中の日本
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English 3 では、English 1 と English 2 で学んだ「読む、書く、聞く、話す」という 4 技能力をさらに高めていきます。
日本の学生が国際的な視野を身につけるには、まずは海外で「普通」や「一般的」と思われていることを知る必要があります。この授業では、アメリカ文化の諸相を例として、日本人の視点とアメリカ人の視点の両方からさまざまなことを考察します。それは「海外の普通」を知ることで、「世界の中の日本」がどのように見られているかを知ることが可能になると考えるからです。異なる文化や考え方を知ることで、急速に世界で変化していく事象のとらえ方や常識についての知見を深めることを目指します。

【到達目標】
・日本語に訳すことにこだわらず、英語で書かれた文章を英語でそのまま理解することができる。
・英文の内容を正確に把握することが出来ると同時に、知らない単語があっても、前後の内容で推察することができる。
・リスニング力、スピーキング力を高める。
・自分の考えをある程度の長さの文章で表現できる。
・外国の文化を知ることで日本についての理解を深め、自らの考えを発信することができる。
・文化間の意識を高める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
各チャプターは 3 つのユニットで構成され、1 回の授業で 1 ユニットをカバーします。その次の回はユニットに関連したものや、時事問題記事をとりあげます。このため授業の流れが必ずしもスケジュール通りにはならないこともあります。学期中に何度か英語学習に関するビデオを授業中に観て、モチベーションを上げるよう指導します。授業には、テキストブック及び *TOEIC Test Reading 550* の予習を必須とします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	自己紹介、授業の進め方、テキストブックおよびサブ・テキストブックについて、出欠の扱い、その他の注意点について
2	Chapter 1:(1)	Unit 1: The GPA System
3	Chapter 1:(2)	Supplementary Readings, TOEIC
4	Chapter 1:(3)	Unit 2: Potluck Party
5	Chapter 1:(4)	Supplementary Readings, TOEIC
6	Chapter 1:(5)	Unit 3: Selling Textbooks After Exams
7	Chapter 1:(6)	Supplementary Readings, TOEIC
8	Chapter 2:(1)	Unit 4: The Rules Of Introductions
9	Chapter 2:(2)	Supplementary Readings, TOEIC

10	Chapter 2:(3)	Unit 5: Holding The Door For Other People
11	Chapter 2:(4)	Supplementary Readings, TOIEC
12	Chapter 2:(5)	Unit 6: Never Letting Anyone Cut In Line
13	Chapter 2:(6)	Supplementary Readings, TOEIC
14	期末試験	テキストブック、TOEIC、配布したプリントから出題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。ただしこれは最低限の勉強時間であり、テキストブックや TOEIC の予習には当然これより多くの時間が必要となります。特に Eng.3 以降に英語クラスを選択しない学生にとっては、まとまった時間を英語学習に割くラスト・チャンスであることを考えると真剣に英語学習と向き合って欲しいと考えます。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
1. *Eye on America: selected*、Toshihiko KOBAYASHI、三修社、2020 年、1800 円、ISBN: 978-4-384-33459-3
2. *A Shorter Course in TOEIC Test Reading 550*、Rieko KIMURA and Hiroko KATANODA、南雲堂、2017 年、700 円、ISBN: 978-4-523-17592-6

【参考書】
・総合英語 Evergreen、いいずな書店、2018 年、1520 円
・Japan Today https://japantoday.com/
・BBC Learning English
https://www.bbc.co.uk/learningenglish/english/
・VOA Learning English
https://learningenglish.voanews.com/
・Oxford Online English
https://www.youtube.com/user/oxfordonlineenglish
・日米会話学院 Hotwords
https://www.nichibei.ac.jp/hotwords/

【成績評価の方法と基準】
平常点 60%（授業態度、自主的な発表、毎回の予習状況、提出物や小テスト）を重要視し、学期末試験 (40%) と合わせて総合評価する。必修科目であることから、欠席は 4 回までとし、**4 回以上欠席した場合には試験を受けた場合でも、原則単位を与えません。** 授業開始時間から 15 分以上遅れた場合は、遅刻としてカウントし、2 回で欠席 1 回とみなします。30 分以上遅刻した場合は、出席しても欠席扱いとします。

【学生の意見等からの気づき】
時事問題への関心が高いことから、新聞や雑誌記事などを適宜授業に取り入れていて、毎年好評です。また、ディスカッションにおいて英語で自分の意見を相手にわかりやすく説明することを毎回積み重ねていくことで、英語での発表に自信がつき、そして違う意見を知る機会になったという感想を学生から得ています。

【学生が準備すべき機器他】
英語辞書または電子辞書

【その他の重要事項】
授業中に辞書替わりに携帯電話を使用することを禁止します。

【Outline and objectives】
The purpose of this class is to enhance students' skills in reading, writing, listening, and speaking. Each unit provides two perspectives based on the same topic written by the non-Japanese author and the Japanese author. By reading the textbook, students will learn what is "standard" for the people in western countries such as the United States. Thereby, it would help students learn how Japan or Japanese are viewed from non-Japanese people and what's going on in the world.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**日本の立ち位置は？ - アメリカ文化との比較を通して**

吉川　太恵子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／日本語／世界の中の日本
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
秋学期に引き続き、English 3 では、English 1 と English 2 で学んだ「読む、書く、聞く、話す」という 4 技能力をさらに高めていきます。日本の学生が国際的な視野を身につけるには、まずは海外で「普通」や「一般的」と思われていることを知る必要があります。この授業では、アメリカ文化の諸相を例として、日本人の視点とアメリカ人の視点の両方からさまざまなことを考察します。それは「海外の普通」を知ることで、「世界の中の日本」がどのように見られているかを知ることが可能になると考えるからです。異なる文化や考え方を知ることで、急速に世界で変化していく事象のとらえ方や常識についての知見を深めることを目指します。

【到達目標】
・日本語に訳すことにこだわらず、英語で書かれた文章を英語でそのまま理解することができる。
・英文の内容を正確に把握することが出来ると同時に、知らない単語があっても、前後の内容で推察することができる。
・リスニング力、スピーキング力を高める。
・自分の考えをある程度の長さの文章で表現できる。
・外国の文化を知ることで日本についての理解を深め、自らの考えを発信することができる。
・文化間の意識を高める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
春学期と同様、1 回の授業で 1 ユニットをカバーします。その次の回はユニットに関連したものや、時事問題記事をとりあげます。引き続き学期中に何度か英語学習に関するビデオを授業中に観て、モチベーションを上げるよう指導します。
春学期よりも少しスピードを上げて、全ユニットをカバーしたいと思いますが様子を見ながら実施することにします。このため授業の流れが必ずしもスケジュール通りにはならないこともあります。授業には、テキストブック及び *TOEIC Test Reading 550* の予習を必須とします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Chapter 3 (1)	Unit 7: Attitudes Toward Smoking
2	Chapter 3 (2)	Supplementary Readings, TOEIC
3	Chapter 3 (3)	Unit 8: Intolerance of Drunks; Unit 9: Scary Public Restrooms
4	Chapter 3 (4)	Supplementary Readings, TOEIC
5	Chapter 4 (1)	Unit 10: Impolite Store Clerks; Unit 11: The Troublesome Custom of Tipping
6	Chapter 4 (2)	Supplementary Readings, TOEIC
7	Chapter 4 (3) Chapter 5 (1)	Unit 12: Hotel Room Charges; Unit 13: Independent-Minded Children

8	Chapter 5 (2)	Supplementary Readings, TOEIC
9	Chapter 5 (3)	Unit 14: Husbands Controlling The Family Budget
10	Chapter 5 (4)	Supplementary Readings, TOEIC
11	Chapter 5 (5)	Unit 15: Protecting The Family With Guns
12	Chapter 5 (6)	Supplementary Readings, TOEIC
13	Review	Supplementary Readings, TOEIC
14	期末試験	テキストブック、TOEIC、配布したプリントから出題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。ただしこれは最低限の勉強時間であり、テキストブックや TOEIC の予習には当然これより多くの時間が必要となります。特に Eng.3 以降に英語クラスを選択しない学生にとっては、まとまった時間を英語学習に割くラスト・チャンスであることを考えると真剣に英語学習と向き合って欲しいと考えます。　/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
1. *Eye on America: selected*、Toshihiko KOBAYASHI、三修社、2020 年、1800 円、ISBN: 978-4-384-33459-3
2. *A Shorter Course in TOEIC Test Reading 550*、Rieko KIMURA and Hiroko KATANODA、南雲堂、2017 年、700 円、ISBN: 978-4-523-17592-6

【参考書】
・総合英語 *Evergreen*、いいずな書店、2018 年、1520 円
・Japan Today https://japantoday.com/
・BBC Learning English
https://www.bbc.co.uk/learningenglish/english/
・VOA Learning English
https://learningenglish.voanews.com/
・Oxford Online English
https://www.youtube.com/user/oxfordonlineenglish
・日米会話学院 Hotwords
https://www.nichibei.ac.jp/hotwords/

【成績評価の方法と基準】
平常点 20%（授業態度、毎回の予習状況、授業への参加度)、課題の提出 40%、学期末試験 40%として総合評価で 100%中 60%以上を合格とし単位を与えます。必修科目であることから、**欠席は 4 回までとし、4 回以上の欠席者は試験を受けた場合でも原則単位を与えません。**
授業開始から 30 分以上遅刻した場合は、出席した場合でも欠席扱いとなります。
また、15 分以上の遅刻 2 回は欠席 1 回とみなします。

【学生の意見等からの気づき】
時事問題への関心が高いことから、新聞や雑誌記事などを適宜授業に取り入れていて、毎年好評です。また、ディスカッションにおいて英語で自分の意見を相手にわかりやすく説明することを毎回積み重ねていくことで、英語での発表に自信がつき、そして違う意見を知る機会になったという感想を学生から得ています。

【学生が準備すべき機器他】
英語辞書または電子辞書

【その他の重要事項】
授業中に辞書替わりに携帯電話を使用することを禁止します。

【Outline and objectives】
Students are continuously encouraged to enhance their skills in reading, writing, listening, and speaking. Each unit provides two perspectives based on the same topic written by the non-Japanese author and the Japanese author. By reading the textbook, students will learn what is "standard" for the people in western countries such as the United States. Thereby, it would help students learn how Japan or Japanese are viewed from non-Japanese people and what's going on in the world.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**世界の中の日本**

吉田　季実子

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／日本語／世界の中の日本
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
身近な商品やサービスに関して、また企業がそれを世界にどのように発信しているかを通して英語技能（聞く、読む、話す、書く）の向上を目指す

【到達目標】
身近な事柄を扱ったテキストを用いることで、題材への興味を維持しつつ、
語彙力を高め、長文読解、英作文、リスニングやペアワークなどを通して
英語のスキルを総合的に向上させる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
テキストにそって、問題演習やリアクションペーパーの作成などを行う。
また少人数授業につき、適宜指名して発言する。
フィードバックはその場、あるいは次回とする
感染症の拡大を鑑みて、一部オンラインをとりいれたハイブリッド形式とする

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Lesson1	語彙の確認と長文読解
2	Lesson1	長文読解続きと問題演習
3	Lesson1,2	Lesson1 の小テストと 2 の語彙確認、読解
4	Lesson2	長文読解続きと問題演習
5	Lesson2,3	Lesson2 の小テストと 3 の語彙確認、読解
6	Lesson3	長文読解続きと問題演習
7	Lesson3,4	Lesson3 の小テストと 4 の語彙確認、読解
8	Lesson4	長文読解続きと問題演習
9	Lesson4,5	Lesson4 の小テストと 5 の語彙確認、読解
10	Lesson5	長文読解続きと問題演習
11	Lesson5,6	Lesson5 の小テストと 6 の語彙確認、読解
12	Lesson6	長文読解続きと問題演習
13	Lesson6,7	Lesson6 の小テストと 7 の語彙確認、読解
14	Lesson7	長文読解続きと問題演習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
次週学習範囲の予習（和訳、単語チェック)、わからないところなどを

事前に調べておくこと

【テキスト（教科書）】
Creative Ideas for Products & Services
神田範明、新原由希恵、竹内理、アレクサンダー・ファレル
松柏社　2021 年　2000 円＋税

【参考書】
特になし
テキスト内で言及されている企業 HP など

【成績評価の方法と基準】
小テスト 70%
平常点　15 %
提出課題　15 %
なお欠席 4 回以上の場合単位取得できませんのでご注意ください

【学生の意見等からの気づき】
なるべく身近なことがらを扱うことでより興味深く感じてもらえるように工夫する

【学生が準備すべき機器他】
特にないが、オンライン授業時には音声等を確認出来すようなデバイスが必要になります

【Outline and objectives】
In this class you can improve your skills through the text which takes up Japanese familiar companies.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**世界の中の日本**

吉田　季実子

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／日本語／世界の中の日本
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
身近な商品やサービスに関して、また企業がそれを世界にどのように発信しているかを通して英語技能（聞く、読む、話す、書く）の向上を目指す

【到達目標】
身近な事柄を扱ったテキストを用いることで、題材への興味を維持しつつ、
語彙力を高め、長文読解、英作文、リスニングやペアワークなどを通して
英語のスキルを総合的に向上させる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
テキストにそって、問題演習やリアクションペーパーの作成などを行う。
また少人数授業につき、適宜指名して発言する。
フィードバックはその場、あるいは次回とする

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Lesson7,8	Lesson7 の小テストと 8 の語彙確認、読解
2	Lesson8	長文読解続きと問題演習
3	Lesson8,9	Lesson8 の小テストと 9 の語彙確認、読解
4	Lesson9	長文読解続きと問題演習
5	Lesson9,10	Lesson9 の小テストと 10 の語彙確認、読解
6	Lesson10	長文読解続きと問題演習
7	Lesson10,11	Lesson10 の小テストと 11 の語彙確認、読解
8	Lesson11	長文読解続きと問題演習
9	Lesson11,12	Lesson4 の 11 テストと 12 の語彙確認、読解
10	Lesson12	長文読解続きと問題演習
11	Lesson12,13	Lesson12 の小テストと 13 の語彙確認、読解
12	Lesson13	長文読解続きと問題演習
13	Lesson13,14	Lesson13 の小テストと 14 の語彙確認、読解
14	Lesson14	長文読解続きと問題演習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
次週学習範囲の予習（和訳、単語チェック）、わからないところなどを
事前に調べておくこと

【テキスト（教科書）】
Creative Ideas for Products & Services
神田範明、新原由希恵、竹内理、アレクサンダー・ファレル
松柏社　2021 年　2000 円＋税

【参考書】
特になし
テキスト内で言及されている企業 HP など

【成績評価の方法と基準】
小テスト 70%
平常点　15 %
提出課題　15 %
なお欠席 4 回以上の場合単位取得できませんのでご注意ください

【学生の意見等からの気づき】
なるべく身近なことがらを扱うことでより興味深く感じてもらえるように工夫する

【学生が準備すべき機器他】
特にないが、オンライン授業時には音声等を確認出来すようなデバイスが必要になります

【Outline and objectives】
In this class you can improve your skills through the text which takes up Japanese familiar companies.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Current News 1

TAMARA P ELDRIDGE

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／英語／現代の諸相
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This course is designed to consolidate basic communication skills in English and to further foster critical thinking skills, learning to summarize ideas and generate arguments in English independently. Activities will be balanced across the 4 skills designed to improve both the receptive and productive skills in discussing course topics, centering around contemporary and current issues.

【到達目標】
The goal of this course is to focus on developing learners' four language skills of reading, writing, listening and speaking for general communication-the four foundational skills of language learning and will be a combination of both content-based as well as task-based activities, with a focus on specific information through communicative and cognitive processes. In addition, the course aims to improve learners' fluency with English; learners' ability to engage in meaningful communicative interaction, and also further learners' knowledge of the formal aspects of the English language, such as vocabulary, grammar and pronunciation. At the same time, learners will engage with a variety of content topics and themes, developing their ability to discuss issues and think critically.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
It will be discussion based and in-class activities will mostly have an emphasis on discussion and listening, with reading and writing being done at home prior to the following class. I will also be doing dictoglosses which is an intensive listening which will help to facilitate your listening, vocabulary, accuracy and discussion skills. I want to make this class as interactive as possible, so it is student centered.
Students are expected to be active participants in class discussion and activities. I expect that our class sessions will consist of active discussion, debate, critique, and exploration. For this format to be successful, it is critical that students read and think about the weekly readings before coming to class sessions. Follow-up discussions to each reading/research assigned will be done in the following class and students will receive feedback and comments on homework assignments and in class activities throughout the term.
This is an online class, and all weeks will be taught on ZOOM. Please see HOPPII, the university's Learning Management System for details.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Week 1	Class orientation/self-introductions(Getting to Know You-handout)/News and Views	Summer break catch up/News Headlines/discussion

Week 2	Conversation Strategies	Follow-up Questions
Week 3	Dictogloss	Travel/Culture(handout)
Week 4	News Article	Transparent Toilets in Tokyo
Week 5	Video Report	Squatter Cities
Week 6	News and Views	News headlines/presentations
Week 7	Mid-term project/presentations	Pre-assigned group presentations
Week 8	Conversation Strategies	Probability
Week 9	Dictogloss	Clean Plate Campaign
Week 10	News Article	Reversal of Aging Process
Week 11	Video Report	How Much Sleep Do We Need
Week 12	News and Views	News headlines/presentations
Week 13	Review and Follow-up	Exercises reviewing previous material covered.
Week 14	Final project/presentations	Pre-assigned group presentations

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
"University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course"
Preparation, review and assignments are required. There will readings(news articles), reports and research for class class discussions. Students are expected to complete weekly reading assignments to be ready for class discussions. Approximately 1-2 hours a week will be needed for preparation, review and follow-up.

【テキスト（教科書）】
There will be no textbook for this class. I will be using news reports/articles/dictations-which will lead into class discussions.

【参考書】
None

【成績評価の方法と基準】
"In principle, no more than 3 absences per term are allowed."
Discussion, debates,participation, and attendance (60%)
Mid-term presentation (15%)
Final presentation (25%)

【学生の意見等からの気づき】
Not applicable

【学生が準備すべき機器他】
English-English Dictionary
Computer with camera/mic
Headset
ZOOM

【Prerequisite】
None

【Outline and objectives】
This class will be discussion based. In-class activities will mostly have an emphasis on discussion and listening, with reading and writing being done at home prior to the following class. I will also be doing dictoglosses which is an intensive listening which will help to facilitate your listening, vocabulary, accuracy and discussion skills. I want to make this class as interactive as possible, so it will mostly be student-centered, but teacher-facilitated.
There will be presentations, news discussions, debates, dictations, topic-based video reports and dictoglosses. These activities will be done in pair and small-groups and based on the materials provided by the instructor or student generated. Homework assignments must be done before class begins. In order to succeed in the class, please prepare well for class, do homework/research and actively participate.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Current News 2

TAMARA P ELDRIDGE

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／英語／現代の諸相
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This course is designed to consolidate basic communication skills in English and to further foster critical thinking skills, learning to summarize ideas and generate arguments in English independently. Activities will be balanced across the 4 skills designed to improve both the receptive and productive skills in discussing course topics, centering around contemporary and current issues.

【到達目標】
The goal of this course is to focus on developing learners' four language skills of reading, writing, listening and speaking for general communication-the four foundational skills of language learning and will be a combination of both content-based as well as task-based activities, with a focus on specific information through communicative and cognitive processes. In addition, the course aims to improve learners' fluency with English; learners' ability to engage in meaningful communicative interaction, and also further learners' knowledge of the formal aspects of the English language, such as vocabulary, grammar and pronunciation. At the same time, learners will engage with a variety of content topics and themes, developing their ability to discuss issues and think critically.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
It will be discussion based and in-class activities will mostly have an emphasis on discussion and listening, with reading and writing being done at home prior to the following class. I will also be doing dictoglosses which is an intensive listening which will help to facilitate your listening, vocabulary, accuracy and discussion skills. I want to make this class as interactive as possible, so it is student-centered.
Students are expected to be active participants in class discussion and activities. I expect that our class sessions will consist of active discussion, debate, critique, and exploration. For this format to be successful, it is critical that students read and think about the weekly readings before coming to class sessions. Follow-up discussions to each reading/research assigned will be done in the following class and students will receive feedback and comments on homework assignments and in class activities throughout the term.
This is an online class, and all weeks will be taught on ZOOM. Please see HOPPII, the university's Learning Management System for details.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Week 1	Summer Break Discussions/News and Views	Summer break catch up/News Headlines/discussion
Week 2	Conversation Strategies	Solicitors

Week 3	Dictogloss	Stress Factor
Week 4	News Article	Correct Japanese English
Week 5	Video Report	How to Make Stress Your Friend
Week 6	News and Views	News headlines/presentations
Week 7	Mid-term project/presentations	Pre-assigned group presentations
Week 8	Conversation Strategies	Expressing Opinions
Week 9	Dictogloss	Stop Hate for Profit
Week 10	News Article	Ecocide an International Crime
Week 11	Video Report	Try Something New for 30 Days
Week 12	News and Views	News headlines/presentations
Week 13	Review and Follow-up	Activities to review previous material covered
Week 14	Final project/presentations	Pre-assigned group presentations

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
"University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course"
Preparation, review and assignments are required. There will readings(news articles), reports and research for class class discussions. Students are expected to complete weekly reading assignments to be ready for class discussions. Approximately 1-2 hours a week will be needed for preparation, review and follow-up.

【テキスト（教科書）】
I will be using news reports/articles/dictations-which will lead into class discussions.

【参考書】
None required

【成績評価の方法と基準】
Discussion, debates, participation, and attendance (60%)
Mid-term presentation (15%)
Final presentation (25%)
"In principle, no more than 3 absences per term are allowed."

【学生の意見等からの気づき】
Not applicable

【学生が準備すべき機器他】
English-English dictionary
Computer with camera/mic
Headset
ZOOM

【Prerequisite】
None

【Outline and objectives】
This class will be discussion based. In-class activities will mostly have an emphasis on discussion and listening, with reading and writing being done at home prior to the following class. I will also be doing dictoglosses which is an intensive listening which will help to facilitate your listening, vocabulary, accuracy and discussion skills. I want to make this class as interactive as possible, so it will mostly be student-centered, but teacher-facilitated.
There will be presentations, news discussions, debates, dictations, topic-based video reports and dictoglosses. These activities will be done in pair and small-groups and based on the materials provided by the instructor or student generated. Homework assignments must be done before class begins. In order to succeed in the class, please prepare well for class, do homework/research and actively participate.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Global Issues

コートランド・デイビッド・スミス

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／英語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Welcome to this class. This course will integrate all language skill areas; listening and reading will be used to familiarize students with the content of global issue topics, speaking and writing will be employed to enable students to organize content, their ideas and opinions and communicate these to other members of the class; providing the basis for discussion and debate during class sessions.

【到達目標】
The goal of this course is to enable students to learn about various social and cultural practices from around the world. Students should be able to contextualize their own culture within diverse cultural frameworks. Through the use of various authentic materials offered in English, students should learn how to think critically about the important issues that surround them today, and develop the ability to effectively express their own thoughts and opinions. Furthermore, this course should enable students to further develop their English proficiency by drawing on the skills they have learned in English 1&2. To achieve this goal, all four language skills of reading, writing, speaking and listening will be integrated into the curriculum.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Online class. All classes will be taught using zoom.
Weekly listening homework will be assigned. This involves listening to a recording, and completing a transcript of its content. In class, students will review the listening assignments, do a pair-work dictation exercise and briefly review vocabulary and grammatical structures contained therein, and ask and answer questions relating to the assignment. Grammatical accuracy, vocabulary expansion, improvement of fluency and pronunciation are the objectives of homework assignments.
Students will perform multimedia presentations individually or in groups on a variety of global issues topics. The content of these presentations will provide the basis for subsequent debate and discussion. The focus of these presentations will be finding solutions to the problems or conflicts presented. Students viewing presentations will be required to complete an information form, noting the key points included in each presentation. Selected members of the class will also evaluate the presentations, providing written feedback to presenters so they may improve their delivery technique. Assignments will be reviewed during class time or submitted to instructor by email for evaluation.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	1. Introductions HW/L1	Getting started
2	2. Tips on effective presentations HW/L2	Presentation DVD. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
3	3. Choose presentation topics HW/L3	Scheduling presentations. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
4	4. Japan's territorial disputes HW/L4	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
5	5. Nuclear power issue HW/L5	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
6	6. Climate change HW/L6	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
7	7. Women's rights HW/L7	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
8	8. Aging society HW/L8	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
9	9. Refugee problem HW/L9	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
10	10. Immigra-tion/migration HW/L10	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
11	11. Problems of EU HW/L11	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
12	12. Threats to world peace/N. Korea issue HW/L12	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
13	Final Presentations HW/None	Prepare and perform final presentations
14	Final presentations	End of term evaluation

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are required to do listening homework, which involves completing a transcription sheet. In addition, students will research a variety of topics and selected students will prepare and perform multimedia presentations on a similar topic each week. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

There is no textbook for this class. Instructor will distribute handouts for homework each week.

【参考書】

Students will use online information resources to research and prepare presentations. These include:
www.bbc.co.uk/learningenglish/ www.ted.com www.npr.com www.rt.com/documentary and English Wikipedia.

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on three criteria: Class participation, 25%; Presentations, 50%; Tests, quizzes, written work, 25%. Unexplained/unjustified absences exceeding three class sessions may disqualify students from obtaining credit for the course. Lateness exceeding 15 minutes without justification will count as one-third absence.

【学生の意見等からの気づき】

None.

【学生が準備すべき機器他】

Zoom and headset. Students may use assigned classroom for online classes.
Students should bring their presentation slides to class on a memory stick. They can also download these files from their email accounts or dropbox.

【その他の重要事項】

Contact Email: smith.courtland.sc@hosei.ac.jp

【Outline and objectives】

Most class activities will consist of reading and writing, grammar drills, delivering presentations and discussion.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Global Issues

コートランド・デイビッド・スミス

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／英語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Welcome to this class. This course will integrate all language skill areas; listening and reading will be used to familiarize students with the content of global issue topics, speaking and writing will be employed to enable students to organize content, their ideas and opinions and communicate these to other members of the class; providing the basis for discussion and debate during class sessions.

【到達目標】
The goal of this course is to enable students to learn about various social and cultural practices from around the world. Students should be able to contextualize their own culture within diverse cultural frameworks. Through the use of various authentic materials offered in English, students should learn how to think critically about the important issues that surround them today, and develop the ability to effectively express their own thoughts and opinions. Furthermore, this course should enable students to further develop their English proficiency by drawing on the skills they have learned in English 1&2. To achieve this goal, all four language skills of reading, writing, speaking and listening will be integrated into the curriculum.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Weekly listening homework will be assigned. This involves listening to a recording, and completing a transcript of its content. In class, students will review the listening assignments, do a pair-work dictation exercise and briefly review vocabulary and grammatical structures contained therein, and ask and answer questions relating to the assignment. Grammatical accuracy, vocabulary expansion, improvement of fluency and pronunciation are the objectives of homework assignments.
Students will perform multimedia presentations individually or in groups on a variety of global issues topics. The content of these presentations will provide the basis for subsequent debate and discussion. The focus of these presentations will be finding solutions to the problems or conflicts presented. Students viewing presentations will be required to complete an information form, noting the key points included in each presentation. Selected members of the class will also evaluate the presentations, providing written feedback to presenters so they may improve their delivery technique. Assignments will be reviewed during class time or submitted to the instructor for evaluation by email.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	1. Summer vacation/choose presentation topics HW/L13	Getting started. Students choose topics and schedule their presentations.
2	2. Japan/China relations HW/L14	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
3	3. Food safety/GMO foods HW/L15	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
4	4. US military in Japan HW/L16	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
5	5. Religious extremism HW/L17	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
6	6. Globalization/free trade HW/L18	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
7	7. Death penalty HW/L19	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
8	8. Japan economic problems/debt HW/L20	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
9	9. Illegal drugs/legalization HW/L21	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
10	10. Smartphones/social networking dangers-health and mental illness risk HW/L22	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
11	11. Globalization/social and economic inequality HW/L23	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
12	12. Cultural/linguistic uniformity vs diversity HW/none	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
13	13. Automa-tion/robotization and structural unemployment HW/none	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
14	14 Review/summary	Finish the term. Review and evaluation.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students are required to do listening homework, which involves completing a transcription sheet. In addition, students will research a variety of topics and selected students will prepare and perform multimedia presentations on a similar topic each week. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
There is no textbook for this class. Instructor will distribute handouts for listening homework each week.

【参考書】
Students will use online information resources to research and prepare presentations. These include:
www.bbc.co.uk/learningenglish/ www.ted.com www.npr.com www.rt.com/documentary and English Wikipedia.

【成績評価の方法と基準】
Grading will be based on three criteria: Class participation, 25%; Presentations, 50%; Tests, quizzes, written work, 25%. Unexplained/unjustified absences exceeding three class sessions may disqualify students from obtaining credit for the course. Lateness exceeding 15 minutes without justification will count as one-third absence.

【学生の意見等からの気づき】
None.

【その他の重要事項】
Contact Email: smith.courtland.sc@hosei.ac.jp

【Outline and objectives】
Most class activities will consist of reading and writing, grammar drills, delivering presentations and discussion.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**異文化コミュニケーション、Cultural bias**

吉川　直澄

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／日本語／現代の諸相
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English 1 と English 2 で身に着けた読む、書く、聞く、話すという四技能の英語運用能力を用いて、English 3 では、国際語としての英語を通じて、世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力や多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析した上で、英語で意見を発信する能力の涵養を学習目標とします。本授業では、こうした作業を行いながら、いくつかのキーワードを探求し、日本とイギリスの現代社会における文化的アイコンと政治・経済の関係について考えてみようと思います。教科書に加えて論文の抜粋を読み、イギリス映画や英語吹き替え版のアニメ映画を視聴し、それらに関する課題に取り組み、可能であれば質疑応答・ディスカッションを行うことで、上記の技能を向上させることを目指します。

【到達目標】
受講生は、英語の文章を、構文・語彙を理解して正確に読めるようになる。英語の文章をある程度の速度を持って読み、目的とする情報を読み取ることができるようになる。専門知識を要さない英米映画であれば、字幕なしでも重要な情報を聞き取り、それなりに楽しむことができるようになる。英語吹き替え版の日本製アニメを見ながら、異文化コミュニケーションにおいて、起こり得る問題への解決のヒントを学ぶことができる。英語のリスニングに慣れ、リスニング学習の習慣を身につけることができる。文法的に正確で、形式の整った英文パラグラフを書けるようになる。英語である程度まとまった自分の意見を表明できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
この授業は指示や課題を「学習支援システム」で配信するオンデマンド（資料型）です。授業では教科書を使用した課題演習を行います。また、英語文献・資料の抜粋を読む回とオンライン等で調べて論評してもらう回があります。学期末には、一つのテーマについての英文課題を提出してもらいます。なお、ネット上のコンテンツの状況により授業計画を変更せざるを得ない場合、「学習支援システム」を通じて提示します。課題の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行います。フィードバックは授業課題の提出レポートから実例や問題点をいくつか取り上げ、全体に対して行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス／課題の提示	授業テーマの確認と授業方法の説明を行い、第 1 回の課題を提示します。
第 2 回	Unit 1. A Fortunate Accident	前回のフィードバック・課題レポートの指示：コミュニケーションにおいてどんなことが「アイス・ブレーカー」となるのか学習します。

第 3 回	Unit 2. Britain's Best Ride	前回のフィードバック・課題レポートの指示：ロンドン名物の旧式ダブルデッカー「ルートマスター」について調べてみましょう。
第 4 回	Unit 3. The Meaning of Bond	前回のフィードバック・課題レポートの指示：文化的アイコンとしてのジェイムズ・ボンドの役割を考えます。
第 5 回	Unit 4. The Changing High Street	前回のフィードバック・課題レポートの指示：日英の商店街の盛衰を比較します。チャリティーショップについて調べてみましょう。
第 6 回	Unit 5. Mild and Cloudy with a Chance of Rain	前回のフィードバック・課題レポートの指示：イギリスの天気に関するステレオタイプを考察します。イギリス人のメンタリティと天気との相関関係について考えてみましょう。
第 7 回	マンガ・アニメの中のイギリス	前回のフィードバック・課題レポートの指示：英訳されたコンテンツ（『黒執事』・『憂国のモリアーティ』・『魔法使いの嫁』・『絢爛たるグランドセーヌ』）の中で描かれるイギリス像を考察します。但しネット上のコンテンツの状況により教材を変更せざるを得ない場合もあります。
第 8 回	Unit 6. Expressive Expressions	前回のフィードバック・課題レポートの指示：日英のイディオムを比較します。
第 9 回	Unit 7. A Woman of Some Importance	前回のフィードバック・課題レポートの指示：文化的アイコンとしてのエリザベス二世の役割を考えます。
第 10 回	Unit 8. Shakespeare Lives On	前回のフィードバック・課題レポートの指示：シェークスピアの生涯と作品について調べてみましょう。
第 11 回	マンガとマイノリティ	前回のフィードバック・課題レポートの指示：マイノリティの生活史を描いたマンガ『ゴールデンカムイ』を取り上げ、アイヌ工芸作家の貝沢徹氏の大英博物館「マンガ展」のためのこの作品の推薦文とドキュメンタリー映画『Future is MINE-アイヌ、私の声』(2020) と共に考察します。
第 12 回	アニメとシンパシーとエンパシー	前回のフィードバック・課題レポートの指示：英語吹き替え版のアニメーション映画『聲の形』(A Silent Voice) について考察します。但しネット上のコンテンツの状況により教材を変更する場合もあります。
第 13 回	復習課題と学期末レポート課題の説明	前回のフィードバック・復習課題の指示：復習のための課題を提示し、学期末レポート課題の説明を行います。
第 14 回	学期末レポート課題・まとめと解説	学期末レポート課題を提出してもらいます。春学期のまとめと解説をします。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習と復習。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。教科書を何度も音読すること。教科書と同様に英語のプリントもよく予習しておいてください。英語の専用ノートを作成し、表現や語彙を書き出し必ず例文も記入しておいてください。

【テキスト（教科書）】
Realise Britain,Colin Joyce, 金星堂, 2014 年, 1800 円,ISBN978-4-7647-3982-6.

【参考書】
Nicole Coolidge Rousmaiere,(2019)Manga マンガ,London: Thames & Hudson. ただし購入する必要はありません。

【成績評価の方法と基準】
全 13 回の課題レポート（65 %）、三段階評価する学期末レポート課題（35 %）を総合して評価します。毎回の課題レポートの提出期限は翌週の配信日までとし、課題レポートの点数配分の中には授業への積極的な参加・貢献も含みます。レポート課題の提出をもって授業出席確認とします。未提出課題が 5 回以上になった方は原則として単位習得の資格を失います。

【学生の意見等からの気づき】
学生の皆さんの期待に沿えるように努力します。

【学生が準備すべき機器他】
この授業は「学習支援システム」を使用します。

【Outline and objectives】
The aims of this course are:
1. To encourage students to further develop their English proficiency by drawing on what they have learned in English 1 and English 2.
2. To train students to learn how to think critically by examining closely various authentic materials offered in English, and thus to develop the ability to effectively express their own thoughts and opinions.
3. To introduce students to the connections between cultural icons and political economy, focusing on specific keywords like 'Manga' and 'Anime'.
4. To provide students with an opportunity to participate in discussion, improving their presentational skills on a group or individual basis.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**異文化コミュニケーション、Cultural bias**

吉川　直澄

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／日本語／現代の諸相
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English 1 と English 2 で身に着けた読む、書く、聞く、話すという四技能の英語運用能力を用いて、English 3 では、国際語としての英語を通じて、世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈のなかで相対化する能力や多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析した上で、英語で意見を発信する能力の涵養を学習目標とします。本授業では、こうした作業を行いながら、イギリスの EU 離脱を巡るいくつかのキーワードを探求し、日本とイギリスの現代社会における文化的アイコンと政治・経済の関係について考えてみようと思います。教科書に加えて論文の抜粋を読み、イギリス映画を視聴し、可能であれば質疑応答・ディスカッションを行うことで、上記の技能を向上させることを目指します。

【到達目標】
受講生は、英語の文章を、構文・語彙を理解して正確に読めるようになる。英語の文章をある程度の速度を持って読み、目的とする情報を読み取ることができるようになる。専門知識を要さない英米映画であれば、字幕なしでも重要な情報を聞き取り、それなりに楽しむことができるようになる。英語のリスニングに慣れ、リスニング学習の習慣を身につけることができる。文法的に正確で、形式の整った英文パラグラフを書けるようになる。英語である程度まとまった自分の意見を表明できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
この授業は指示や課題を「学習支援システム」で配信するオンデマンド（資料型）です。授業は教科書を使用した課題演習を行います。また、英語論文の抜粋を読む回とネット等で調べて論評してもらう回があります。学期末には、一つのテーマについての英文課題を提出してもらいます。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行い、フィードバックは提出された課題レポートから実例や問題点を取り上げ、全体に対して行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	学期末レポート課題のフィードバックと秋学期第 1 回課題レポートの指示	春学期末レポート課題の全体に対するフィードバックを行い、問題点があれば指摘し解説します。課題レポートを指示します。
第 2 回	Unit 9. British Food: Better Than Awful	前回のフィードバック・課題レポートの指示：現代のイギリスの食文化について学びます。日本の食文化と比較した時、何が見えてくるでしょうか。
第 3 回	Unit 10. A Complicated Country	前回のフィードバック・課題レポートの指示：イギリスの正式の国名や国歌について学びます。
第 4 回	Unit 11. The Quite Fab Four	前回のフィードバック・課題レポートの指示：ビートルズについて調べてみましょう。
第 5 回	Unit 12. A Vulgar Custom	前回のフィードバック・課題レポートの指示：現代イギリスの若者文化と入れ墨の普及について考えます。
第 6 回	The Establishment (1)	前回のフィードバック・課題レポートの指示：オーウェン・ジョーンズの『エスタブリッシュメント』の抜粋を読みます。成人のほぼ全員が選挙権を持つ民主制においてエスタブリッシュメントとは何であり、社会にとって必要な存在なのかについて考察します。
第 7 回	The Establishment (2)	前回のフィードバック・課題レポートの指示：引き続きオーウェン・ジョーンズの著作の抜粋を読み、炭鉱労働者ストライキを背景とするイギリス映画『リトル・ダンサー』（２０００）を鑑賞し、警察とエスタブリッシュメントの関係を考察します。
第 8 回	The Establishment (3)	前回のフィードバック・課題レポートの指示：引き続きオーウェン・ジョーンズの著作の抜粋を読みます。資料として公共サービス民営化やゼロ時間契約を描いたイギリス映画『家族を想うとき』（２０１９）を鑑賞します。
第 9 回	Unit 13. The "Invension" of Sport	前回のフィードバック・課題レポートの指示：イギリス発祥のスポーツについて調べてみましょう。
第 10 回	Unit 14 Changing Classes	前回のフィードバック・課題レポートの指示：階級制度について学びます。
第 11 回	Unit 15 The Little Plane That "Won" the War	前回のフィードバック・課題レポートの指示：第二次世界大戦で活躍したイギリスの戦闘機スピットファイアの神話と事実について考察します。イギリス映画『ウインストン・チャーチル　ヒトラーから世界を救った男』（２０１７）を鑑賞します。
第 12 回	Films as British cultural representations	前回のフィードバック・課題レポートの指示：教科書でこれまで議論されてきた様々な問題と本講義で取り上げたイギリス映画との関連性について考察します。
第 13 回	復習課題の提示と学期末レポート課題の説明	前回のフィードバック・課題レポートの指示：復習課題の提示と学期末レポート課題の説明を行います。
第 14 回	学期末レポート課題・まとめと解説	学期末レポート課題を提出してもらいます。秋学期のまとめと解説をします。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習と復習。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。教科書を何度も音読すること。教科書と同様に英語のプリントもよく予習しておいてください。英語の専用ノートを作成し、表現や語彙を書き出し必ず例文も記入しておいてください。

【テキスト（教科書）】
春学期のテキストを引き続き使用します。

【参考書】
Owen Jones.(2015)The Establishment.London:Penguin. ただし購入する必要はありません。

【成績評価の方法と基準】
全 13 回の課題レポート（65 %）、三段階評価する学期末レポート課題（35 %）を総合して評価します。各回の課題レポートの提出期限は翌週の配信日までとし、課題レポートの点数配分の中には授業への積極的な参加・貢献も含みます。レポート課題の提出をもって授業出席確認とします。未提出課題が 5 回以上ある場合は原則として単位習得の資格を失います。

【学生の意見等からの気づき】
学生の皆さんの期待に沿えるように努力します。

【学生が準備すべき機器他】
この授業は「学習支援システム」を使用します。

【Outline and objectives】
The aims of this course are:
1. To encourage students to further develop their English proficiency by drawing on what they have learned in English 1 and English 2.
2. To train students to learn how to think critically by examining closely various authentic materials offered in English, and thus to develop the ability to effectively express their own thoughts and opinions.
3. To introduce students to the connections between cultural icons and political economy, focusing on specific keywords like 'Brexit' and 'the Establishment'.
4. To help students to get access to interpretations of contemporary social and cultural issues and events through training their skills in linguistic and cultural competencies as well as stimulating the imagination.
5. To provide students with an opportunity to participate in discussion, improving their presentational skills on a group or individual basis.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**ニュースで学ぶ現代イギリス社会**

山崎　暁子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／日本語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English 1 と English 2 で学んだ、読む、書く、聞く、話すという英語の 4 技能の能力をさらに発展させます。また、この 4 技能を総合的に駆使して、あるテーマについて英語で情報を得る能力、その情報を批判的に考察して自分の意見を英語で発信する能力を養成します。

【到達目標】
・英語の文章を、構文・語彙を理解して正確に読解することができる。
・自然なスピードの英語を聴き、必要な情報を得ることができる。
・英語で自分の意見を述べるとともに、他人の意見に対して適切に反応し質問することができる。
・文法的に正確で、形式の整った英語のパラグラフを書くことができる。
・イギリスの文化・社会についての知識を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
BBC のニュースを題材とするテキストから、"Children and Young People"に関連する 4 つの Unit を扱う予定です。すべての Unit でリスニング、精読、スピーキング、ライティングの練習をします。学習支援システムのテスト機能で、定期的に予習問題を出題します。スピーキングは、ペアワークやグループでのディスカッションのほか、自分の発音を録音した音声ファイル提出の課題を課します。ライティングは、自分の意見を述べるパラグラフを書きます。
予習テストや課題（音声ファイル、ライティング）は、学習支援システムから出題し、フィードバックします。
この授業はハイブリッド型で、対面の週と Zoom の週があります。詳細は学習支援システムで連絡します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	授業の説明	授業の進め方と成績評価について説明する。
第 2 回	Unit 2: One Way to Find a Job (1)	リスニング
第 3 回	Unit 2: One Way to Find a Job (2)	読解、スピーキング
第 4 回	Unit 2: One Way to Find a Job (3)	ライティング
第 5 回	Unit 6: Esports Scholarships (1)	リスニング
第 6 回	Unit 6: Esports Scholarships (2)	読解、スピーキング
第 7 回	Unit 6: Esports Scholarships (3)	ライティング
第 8 回	Unit 7: Snow-Camp (1)	リスニング

第 9 回	Unit 7: Snow-Camp (2)	読解、スピーキング
第 10 回	Unit 7: Snow-Camp (3)	ライティング
第 11 回	Unit 10: Students in Poverty (1)	リスニング
第 12 回	Unit 10: Students in Poverty (2)	読解、スピーキング
第 13 回	Unit 10: Students in Poverty (3)	ライティング
第 14 回	まとめ	期末試験と解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
以下の学習が必須です。
・テキストのニュース映像を繰り返し視聴する。
・学習支援システムのテスト機能で出題される問題に解答する。
・発音練習やライティングの課題を期限までに提出する。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
British News Update 3（金星堂、2021 年、2700 円＋税）

【参考書】
授業で指示します。辞書は必ず授業に持参すること。

【成績評価の方法と基準】
平常点 30 %、予習 10 %、課題 30 %、期末試験 30 %
欠席が 4 回以上の場合、原則として単位修得の資格を失います。遅刻・早退は減点の対象になります。

【学生の意見等からの気づき】
本年度新規科目につきアンケートを実施していません。

【学生が準備すべき機器他】
連絡や予習問題・課題の出題に学習支援システムを使用します。
必要に応じて、Google Document や Zoom を使う可能性があります。Zoom の週には、受講環境により、ヘッドセットが必要となる場合があります。

【その他の重要事項】
テキストは必ず買ってください。
学習支援システムに掲載する情報は、大学から付与されたメールアドレスに届きます。必ず毎日チェックしてください。

【Outline and objectives】
Students will further develop their English proficiency drawing on what they have learned in English 1 (reading, listening, and summarizing) and English 2 (speaking and writing). They will also improve their ability to learn about important issues from English sources, to think critically about them, and to express their own thoughts and opinions in English.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**ニュースで学ぶ現代イギリス社会**

山崎　暁子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／日本語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English 1 と English 2 で学んだ、読む、書く、聞く、話すという英語の 4 技能の能力をさらに発展させます。また、この 4 技能を総合的に駆使して、あるテーマについて英語で情報を得る能力、その情報を批判的に考察して自分の意見を英語で発信する能力を養成します。

【到達目標】
・英語の文章を、構文・語彙を理解して正確に読解することができる。
・自然なスピードの英語を聴き、必要な情報を得ることができる。
・英語で短い発表をするともに、他人の発表に対して適切に反応し質問することができる。
・文法的に正確で、形式の整った英語のパラグラフを書くことができる。
・イギリスの文化・社会についての知識を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
BBC のニュースを題材とするテキストから、"Art and Society"に関連する 4 つの Unit を扱う予定です。すべての Unit でリスニング、精読、スピーキング、ライティングの練習をします。学習支援システムのテスト機能で、定期的に予習問題を出題します。スピーキングは、ペアワークやグループでのディスカッションをおこない、ディスカッションの結果についての発表もします。また、自分の発音を録音した音声ファイル提出の課題を課します。ライティングは、自分の意見を述べるプレゼンテーションを作成します。
予習テストや課題（音声ファイル、ライティング）は、学習支援システムから出題し、フィードバックします。
この授業はハイブリッド型で、対面の週と Zoom の週があります。詳細は学習支援システムで連絡します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	授業の説明	授業の進め方と成績評価について確認する。 プレゼンテーション導入
第 2 回	Unit 3: Sport for Musicians (1)	リスニング
第 3 回	Unit 3: Sport for Musicians (2)	読解、スピーキング
第 4 回	Unit 3: Sport for Musicians (3)	ライティング
第 5 回	Unit 5: Van Gogh's London House (1)	リスニング
第 6 回	Unit 5: Van Gogh's London House (2)	読解、スピーキング
第 7 回	Unit 5: Van Gogh's London House (3)	ライティング

第 8 回	Unit 8: Fighting Parkinson's with Ballet (1)	リスニング
第 9 回	Unit 8: Fighting Parkinson's with Ballet (2)	読解、スピーキング
第 10 回	Unit 8: Fighting Parkinson's with Ballet (3)	ライティング
第 11 回	Unit 11: The Importance of Creative Subjects (1)	リスニング
第 12 回	Unit 11: The Importance of Creative Subjects (2)	読解、スピーキング、ライティング
第 13 回	Unit 11: The Importance of Creative Subjects (3)	プレゼンテーション
第 14 回	まとめ	期末試験と解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
以下の学習が必須です。
・テキストのニュース映像を繰り返し視聴する。
・学習支援システムのテスト機能で出題される問題に解答する。
・発音練習やライティングの課題を期限までに提出する。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
British News Update 3（金星堂、2021 年、2700 円＋税）

【参考書】
授業で指示します。辞書は必ず授業に持参すること。

【成績評価の方法と基準】
平常点 30 %、予習 10 %、課題・プレゼンテーション 30 %、期末試験 30 %
欠席が 4 回以上の場合、原則として単位修得の資格を失います。遅刻・早退は減点の対象になります。

【学生の意見等からの気づき】
本年度新規科目につきアンケートを実施していません。

【学生が準備すべき機器他】
連絡や予習問題・課題の出題に学習支援システムを使用します。
必要に応じて、Google Document や Zoom を使う可能性があります。Zoom の週には、受講環境により、ヘッドセットが必要となる場合があります。

【その他の重要事項】
テキストは必ず買ってください。
学習支援システムに掲載する情報は、大学から付与されたメールアドレスに届きます。必ず毎日チェックしてください。

【Outline and objectives】
Students will further develop their English proficiency drawing on what they have learned in English 1 (reading, listening, and summarizing) and English 2 (speaking and writing). They will also improve their ability to learn about important issues from English sources, to think critically about them, and to express their own thoughts and opinions in English.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Speaking English in the global world

URBANOVA　Jana

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／日本語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
今まで皆さんが学んできた英語の「聞く」「読む」「書く」「話す」という 4 技能の能力をレベルアップすることによって、国際環境における知識の獲得や、各自の意見を英語で述べることができる自信を身に付けることを目指します。

【到達目標】
1）様々なトピックに関するリーディング、リスニング、スピーキングやライティングの練習を通じて、自分の意見を英語で自在に表現できる
2）発表の練習を通じて、プレゼンテーションスキルや英語能力を身に付ける
3）ディスカッション、ペアワーク、グループワークなどで英語のコミュニケーション能力や自由考察を高める

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
1）ペアワーク、会話、グループワーク、グループディスカッション（スピーキング練習）
2）発表（プレゼンテーション練習）
3）リーディング、リスニング、ライティング、自由考察の練習
課題に対する説明やコメント等は授業の最後に行います。そこでは受講生からの質問も受け付けます。
この授業はオンライン（リアルタイム配信型）です。すべての回を Zoom で実施します。指示については HOPPII をご確認ください。
This is an online class, and all weeks will be taught on Zoom. Please see HOPPII for further instructions about how to join our Zoom sessions

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	Explanation of course requirements, tasks and goals; Getting to know each other
Week 2	Unit 1 Conservation	Listening and speaking exercise: talking about endangered animals; Grammar explanation and practice: present simple and present continuous
Week 3	Unit 1 Conservation	Watching video (TED Talks); Vocabulary in context; Homework: reading with comprehension
Week 4	Unit 2 Family connections	Listening and speaking exercise: talking about family; Grammar used when talking about future plans

Week 5	Unit 2 Family connections	Watching video (TED Talks); Vocabulary review; Reading exercise: A passion for genealogy
Week 6	Unit 3 Global stories	Explanation of presentation No. 1 (parroting); Speaking exercise: talking about books; Grammar: defining relative clauses
Week 7	Unit 3 Global stories	Watching video (TED Talks); Vocabulary in context; Writing exercise: writing a book review
Week 8	Presentation No. 1	Students' presentations No. 1: parroting; Explaining requirements for presentation No. 2 and watching model presentation
Week 9	Unit 4 Music	Listening and speaking: talking about music; Grammar explanation and practice: countable and uncountable nouns
Week 10	Unit 4 Music	Watching video (TED Talks); Key words review; Reading exercise: Music and the brain
Week 11	Unit 5 Good design	Listening and speaking: talking about design; Grammar explanation and practice: prepositions and adverbs of place
Week 12	Unit 5 Good design	Watching video (TED Talks); Vocabulary review; Reading with comprehension: Chicago's much loved flag
Week 13	Presentation No. 2	Students' presentations No. 2 on the chosen topic
Week 14	Course wrap up	Final test; Students' feedback; Let's enjoy a song

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Class preparation, vocabulary review, homework, preparation for presentations.
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
David Bohlke and Stephanie Parker: Keynote Pre-Intermediate, Cengage Learning, 2018. Student's Book ISBN: 978-1-337-27392-3

【参考書】
English to English dictionary:
https://dictionary.cambridge.org/
その他の参考書については授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】
積極的な授業への参加が期待される。また、発表、宿題、最終テストなどを勘案して成績を評価する。なお、4 回以上欠席した場合は、原則として単位の取得を認めない。
- Active participation in class: 20%
- Writing assignments, homework and tests: 40%
- Two presentations: 40%

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【学生が準備すべき機器他】
● 指定の教科書
● 授業内容を見返すためのノート
● 辞書／電子辞書
（英和・和英辞典の他に、English-English dictionary も必要。【参考書】に記載されたホームページをご参考ください。）
● この授業は Zoom で行うため、大学で Zoom 授業を受ける際にはマイク付きのヘッドセットが必要となります。
● この授業では学習支援システム（HOPPII）、Google Classroom、Zoom 等を使用します。Zoom や Google Classroom に参加する指示については HOPPII をご確認ください。

【その他の重要事項】
授業を登録した学生の英語レベルに応じて実際の授業内容はシラバスの内容と異なることもある。

【Outline and objectives】
Enhancing English language proficiency (four skills - listening, speaking, reading and writing) in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Speaking English in the global world

URBANOVA　Jana

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／日本語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
今まで皆さんが学んできた英語の「聞く」「読む」「書く」「話す」という 4 技能の能力をレベルアップすることによって、国際環境における知識の獲得や、各自の意見を英語で述べることができる自信を身に付けることを目指します。

【到達目標】
1）様々なトピックに関するリーディング、リスニング、スピーキングやライティングの練習を通じて、自分の意見を英語で自在に表現できる
2）発表の練習を通じて、プレゼンテーションスキルや英語能力を身に付ける
3）ディスカッション、ペアワーク、グループワークなどで英語のコミュニケーション能力や自由考察を高める

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
1）ペアワーク、会話、グループワーク、グループディスカッション（スピーキング練習）
2）発表（プレゼンテーション練習）
3）リーディング、リスニング、ライティング、自由考察の練習
課題に対する説明やコメント等は授業の最後に行います。そこでは受講生からの質問も受け付けます。
この授業はオンライン（リアルタイム配信型）です。すべての回を Zoom で実施します。指示については HOPPII をご確認ください。
This is an online class, and all weeks will be taught on Zoom. Please see HOPPII for further instructions about how to join our Zoom sessions.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	Explanation of course requirements, tasks and goals; Review of the main points studied in the spring semester
Week 2	Unit 6 Inspiring people	Speaking exercise: talking about an inspirational person; Grammar explanation and practice: reported speech
Week 3	Unit 6 Inspiring people	Watching video (TED Talks); Key words; Writing assignment: describing an inspiring person
Week 4	Unit 7 Ethical choices	Listening and speaking exercise: talking about ethical choices; Grammar: predictions
Week 5	Unit 7 Ethical choices	Watching video (TED Talks); Vocabulary in context; Presentation skills
Week 6	Unit 8 Better cities	Explanation of presentation No. 1 (parroting); Listening: Living abroad; Grammar: phrasal verbs
Week 7	Unit 8 Better cities	Watching video (TED Talks); Key vocabulary; Reading with comprehension: Having a say about your city
Week 8	Presentation No. 1	Students' presentations No. 1: parroting; Explaining requirements and introducing topics for presentation No. 2
Week 9	Unit 9 Giving	Listening and speaking: talking about good cuases; Grammar explanation and practice: *will* for offers and first conditionals
Week 10	Unit 9 Giving	Watching video (TED Talks); Key words review; Communication: choosing a charity
Week 11	Unit 10 Mind and machine	Vocabulary related to brain functions; Speaking: talking about a game; Grammar: adverbs and adverbial phrases
Week 12	Unit 10 Mind and machine	Watching video (TED Talks); Key words review; Reading with comprehension: The power of the mind
Week 13	Presentation No. 2	Students' presentations No. 2 on the chosen topic
Week 14	Course wrap up	Final test; Students' feedback; Let's enjoy a poem

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Class preparation, vocabulary review, homework, preparation for presentations.
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
David Bohlke and Stephanie Parker: Keynote Pre-Intermediate, Cengage Learning, 2018. Student's Book ISBN: 978-1-337-27392-3

【参考書】
English to English dictionary:
https://dictionary.cambridge.org/
その他の参考書については授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】
積極的な授業への参加が期待される。また、発表、宿題、最終テストなどを勘案して成績を評価する。なお、4 回以上欠席した場合は、原則として単位の取得を認めない。
Students are expected to actively participate in class, prepare short presentations, complete writing assignments and pass the final test.
- Active participation in class: 20%
(In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course)
- Writing assignments, homework and tests: 40%
- Two presentations: 40%

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【学生が準備すべき機器他】
● 指定の教科書
● 授業内容を見返すためのノート
● 辞書／電子辞書
（英和・和英辞典の他に、English-English dictionary も必要。【参考書】に記載されたホームページをご参考ください。）

● この授業は Zoom で行うため、大学で Zoom 授業を受ける際にはマイク付きのヘッドセットが必要となります。
● この授業では学習支援システム（HOPPII）、Google Classroom、Zoom 等を使用します。Zoom や Google Classroom に参加する指示については HOPPII をご確認ください。

【その他の重要事項】
授業を登録した学生の英語レベルに応じて実際の授業内容はシラバスの内容と異なることもある。

【Outline and objectives】
Enhancing English language proficiency (four skills - listening, speaking, reading and writing) in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**言語と人間社会**

小屋　逸樹

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／日本語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
人間と言語の様々な関係を、英語の類型論的、また社会・文化的な特徴を見ながら学びます。英語を題材として、言語習得やバイリンガリズム、PC 表現や公用語、言語変化や言語の絶滅危機といった課題を理解することを目的とします。併せて、言語をめぐる現代的な課題に対し自分なりに英語で意見が述べられることや、英語以外の言語、例えば日本語、に関しても、今日の社会的課題を客観的に指摘できる教養をもつことを目的とします。いわゆる 4 技能 (reading, writing, listening, speaking) 向上のための学習が含まれます。

【到達目標】
（1）英語や日本語が世界の言語の中でどのように分類され、どのような言語的特徴をもつのかを学びます。
（2）異言語習得やバイリンガリズムに対する言語学的な説明を理解し、一般に流布している見解との相違点を学習します。
（3）ことばの社会的使用における適切さと、どのような表現が政治的に問題とされるのかを指摘できる力をつけます。
（4）英語を対象言語とする語学学習方法のあり方について、いくつかのアプローチの利点と欠点を学びます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
ZOOM によるリアルタイム授業を行う予定です。授業ではテキストを指定しますので、章ごとの内容に沿って、4 技能（reading, writing, listening, speaking) を向上させるべく、本文内容補充、質疑応答、課題の提出、並びに英語による発表などを取り入れて行くつもりです。課題等に対するフィードバックは、「授業内掲示板」などを活用する予定です。また、学生がテーマごとに授業を運営して行くことも試してみたいと考えています。「授業計画」に示した授業回とテーマとの対応は、実際の授業の進行度合いによって多少ずれる可能性を排除しません。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	春学期イントロダクション	テキストの使い方と授業の進め方の説明。学生の自己紹介など
2	英語の多義性の原因	多義的な表現を通して、英語の語彙的・構造的な特質を学ぶ
3	言語の夜明け	世界に存在する人間言語の数とその言語分類
4	動物には言葉があるか	動物のコミュニケーションと人間言語の違い
5	ロゼッタ・ストーン	ロゼッタ・ストーンに刻まれた３言語の関連と解読
6	チョムスキーと普遍文法	チョムスキー言語理論の考え方。人間言語に共通して見られる特徴の規定
7	若いほどよい	外国語習得（異言語習得）に最も効率的な時期

8	バイリンガルに関する誤解	社会に広がるバイリンガルに対する誤解と言語学的な見解
9	男性と女性の話し方はほんとうに異なるのか	性別によるコミュニケーションの取り方の違い。話し方や話す目的など
10	丁寧さ	言葉の社会言語学的側面と敬語表現
11	政治的に正しい話し方	性別、人種、宗教の違いなどに由来する問題表現とその改良版
12	優れた語学の学習者とは	外国語学習（異言語学習）を行う上での効果的な対策
13	個人的・社会的多言語使用	二種類のマルチリンガリズムと多言語社会の実情
14	語学学習における教授法の役割	複数の外国語（異言語）教授法の比較

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
テキストの本文を読んで、知らない概念や固有名があったら辞書やネットで調べておくこと。英語本文全体の内容把握と付随する練習問題、及びスピーチのテーマを事前に確認し、理解しておいて下さい。

【テキスト（教科書）】
Clankie & Kobayashi　『言語と私たちの世界』(2007) 三修社、1,800 円＋税

【参考書】
1.David Crystal The Cambridge Encyclopedia of Language 3rd edition. (2010) Cambridge U.P.
英語を中心に、言語と人間社会の関わりを幅広い分野にわたって取り上げた啓蒙書。
2. 大谷泰照&堀内克明（監修）『社会人のための英語百科』(2002) 大修館書店
英語および英語圏の国々に関する教養や雑学的知識、並びに英語の論文やビジネスレターの書き方など、幅広く知識が得られる便利な本。現在、絶版になっている可能性がありますが、ネットなどで手に入れられるかも知れません。

【成績評価の方法と基準】
成績は主に以下の基準で評価されます。
授業中の積極性： 20%
宿題と小テスト： 40%
発表： 40%
欠席が 4 回以上の場合は単位を認定できないので注意して下さい。尚、本授業での欠席とは、ZOOM 授業に参加せず、その授業の翌日も不参加の正当な理由が知らされない状況を指します。やむを得ない理由がある場合は、上の時間的制約にかかわらず、例外を認めることがあります。

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません

【学生が準備すべき機器他】
ZOOM や Word、及びこれらのソフトが使える端末が必要です。

【Outline and objectives】
In this course students will examine a variety of topics related to typological and socio-cultural aspects of the English language. The topics discussed will include language development, language acquisition, bilingualism, PC speech, language learning, official languages, language change, language endangerment and so forth. This is for the purpose of comprehending general linguistic characteristics of English, comparing it with other major languages such as Japanese.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**言語と人間社会**

小屋　逸樹

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／日本語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
人間と言語の様々な関係を、英語の類型論的、また社会・文化的な特徴を見ながら学びます。英語を題材として、言語習得やバイリンガリズム、PC 表現や公用語、言語変化や言語の絶滅危機といった課題を理解することを目的とします。併せて、言語をめぐる現代的な課題に対し自分なりに英語で意見が述べられることや、英語以外の言語、例えば日本語、に関しても、今日の社会的課題を客観的に指摘できる教養をもつことを目的とします。いわゆる 4 技能 (reading, writing, listening, speaking) 向上のための学習が含まれます。

【到達目標】
(1) 言語の分類法にどのようなものがあるのかを学びます。
(2) 言語と方言の違い、並びにその政治的意味合いが指摘できる理解力を身につけます。
(3) 公用語とそれがもたらす社会的影響を理解します。
(4) 言語変化や絶滅の危機にある言語とその保存について学びます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
ZOOM によるリアルタイム授業を行う予定です。授業ではテキストを指定しますので、章ごとの内容に沿って、4 技能 (reading, writing, listening, speaking) を向上させるべく、本文内容補充、質疑応答、課題の提出、並びに英語による発表などを取り入れて行くつもりです。課題等に対するフィードバックは、「授業内掲示板」などを活用する予定です。また、学生がテーマごとに授業を運営して行くことも試してみたいと考えています。「授業計画」に示した授業回とテーマとの対応は、実際の授業の進行度合いによって多少ずれる可能性を排除しません。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	秋学期イントロダクション	秋学期で取り上げる内容の説明と発表担当振り分け
2	色彩用語の言語的、文化人類学的関わり	英語の中で色彩用語が色彩以外の概念に広く応用される例
3	言語の分類法	語族や語順、形態的特徴による分類法の実際
4	言語と方言の違い	政治と言語/方言との関わり
5	Ryukyuan ：言語か方言か	琉球語の言語的扱いと政治的意味合い
6	公用語：有益か有害か	ヨーロッパ各国の公用語の扱いとアメリカの現状
7	米国における英語のみの使用を義務づける運動	人種の多いアメリカで、英語を唯一の使用言語とした場合の問題点
8	Esperanto	人工言語として成功した理由
9	言語の変遷	言語変化と実例とその原因
10	規定主義と記述主義	言葉を分析する方法論の代表的な立場の違い

11	外来語	外来語として英語が多くの言語に輸入されるメカニズム
12	なぜ言語は消滅するか	絶滅の危機に瀕する言語にはどのような言語があるか
13	世界の言語を保存する	少人数の話し手しか持たない言語をいかに守っていくか
14	ハワイ語の再生	ハワイ大学で行われたハワイ語の復活運動

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
テキストの本文を読んで、知らない概念や固有名があったら辞書やネットで調べておくこと。英語本文全体の内容把握と付随する練習問題、及びスピーチのテーマを事前に確認し、理解しておいて下さい。

【テキスト（教科書）】
Clankie & Kobayashi　『言語と私たちの世界』(2007) 三修社、1,800 円＋税

【参考書】
1.David Crystal The Cambridge Encyclopedia of Language 3rd edition. (2010) Cambridge U.P.
英語を中心に、言語と人間社会の関わりを幅広い分野にわたって取り上げた啓蒙書。
2. 大谷泰照&堀内克明（監修）『社会人のための英語百科』(2002) 大修館書店
英語および英語圏の国々に関する教養や雑学的知識、並びに英語の論文やビジネスレターの書き方など、幅広く知識が得られる便利な本。現在、絶版になっている可能性がありますが、ネットなどで手に入れられるかも知れません。

【成績評価の方法と基準】
成績は主に以下の基準で評価されます。
授業中の積極性： 20%
宿題と小テスト： 40%
発表： 40%
欠席が 4 回以上の場合は単位を認定できないので注意して下さい。尚、本授業での欠席とは、ZOOM 授業に参加せず、その授業の翌日も不参加の正当な理由が知らされない状況を指します。やむを得ない理由がある場合は、上の時間的制約にかかわらず、例外を認めることがあります。

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】
ZOOM や Word、及びこれらのソフトが使える端末が必要です。

【Outline and objectives】
In this course students will examine a variety of topics related to typological and socio-cultural aspects of the English language. The topics discussed will include language development, language acquisition, bilingualism, PC speech, language learning, official languages, language change, language endangerment and so forth. This is for the purpose of comprehending general linguistic characteristics of English, comparing it with other major languages such as Japanese.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**外国の視点による日本文化の特徴**

吉江　秀和

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／日本語／世界の中の日本
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
アメリカ人と日本人それぞれの目線から日本の社会に関する様々な事象について言及した内容のテキスト『アメリカ人から見た日本人の不思議な行動パターン Eye on Japan』を中心とした英文の精読と、内容に関連する問題を解くことで、English 1 と English 2 で学んだ、「読む」「書く」「聞く」「話す」の 4 技能の能力を包括的に高めていきます。その際に、構文を意識したより正確な英文読解力を身につけていくことを軸とし、その読解で得た情報を批判的に考察し、テキストの問題を活用しながら自分の意見を英語で発信する土台を構築していきます。

【到達目標】
テキストなどの読解や問題を通じて以下のことを目標とする。
①英文を読む際に構文を意識して一文ずつ丁寧に読むことを身につける。
②英文を確実に理解するための語彙や表現を覚えて、文法事項の理解を深める。
③テキストなどの英文を繰り返し聞いたり音読したりすることにより、英語のリスニング力やスピーキング力を鍛えていく。
④テキストの問題を活用しながら、トピックに関する自分の意見を英語で書く力を鍛えていく。
⑤自分の意見を英語で他者に伝え、聞き手はその意見を聞き取る能力をつけていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
テキスト『アメリカ人から見た日本人の不思議な行動パターン Eye on Japan』を事前に精読し、その内容に関連するテキストの問題を解いてきてもらいます。その際に、文章理解の正確性を高めるために構文を意識してもらう作業をしてもらいます。授業では、構文や英文内容理解の確認とともに、テキストの問題の答え合わせを指名しながらおこないます。テキスト内容の解説・確認の終了後、説明した内容を中心に作成した確認テストをおこないます。また、14 回の授業の中で、授業内で扱ってきたトピックから選択し、テキストの問題を活用しながら自分の意見を英文でまとめたものでプレゼンテーションをおこないます。聞き手には、各発表者の発言の聞き取りをおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	予習のやり方や授業の進め方など、授業を受けるうえでの注意点の説明をします。
2	Chapter 1: Things Japanese Say	Unit 1: Change An American Viewpoint
3	Chapter 1: Things Japanese Say	Unit 1: Change A Japanese Viewpoint
4	Chapter 1: Things Japanese Say	Unit 2: Shouganai An American Viewpoint

5	Chapter 1: Things Japanese Say	Unit 2: Shouganai A Japanese Viewpoint
6	Chapter 1: Things Japanese Say	Unit 3: Tatemae and Honne An American Viewpoint
7	Chapter 1: Things Japanese Say	Unit 3 Tatemae and Honne A Japanese Viewpoint
8	Chapter 2: Things Japanese Do	Unit 4 Following the Crowd An American Viewpoint
9	Chapter 2: Things Japanese Do	Unit 4 Following the Crowd A Japanese Viewpoint
10	Chapter 2: Things Japanese Do	Unit 5 Vehicle Inspections An American Viewpoint
11	Chapter 2: Things Japanese Do	Unit 5 Vehicle Inspections A Japanese Viewpoint
12	Chapter 2: Things Japanese Do	Unit 6: Overkill An American Viewpoint A Japanese Viewpoint
13	期末試験・まとめ	今まで学習してきた内容を期末試験で確認します。試験・まとめと解説
14	プレゼンテーション	プレゼンテーション テキストの内容について自分の意見を述べ、その意見の聞き取りをおこないます

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

必ず予習をおこなってください。予習のやり方については最初の授業で説明します。英文を単に訳すのではなく構文の読み取りを意識しておこない、授業中に発問された際に、できる限りスムーズに答えられるように準備をしてきてください。また、授業内では単なる英語に関する発問だけでなく、テキスト内容に関する追加的な発問もおこないますので、内容に関連する用語や背景などを自分で調べてきてください。授業中におこなうプレゼンテーションのためにもテキストの英文のリスニングや音読を普段からおこなうことを心がけてください。

英文や言及していることについて予習の段階でわからないところがあるのは仕方ありませんが、それらも解決の糸口だけでも見つけられるように努力をしてください。その予習の状況も踏まえて平常点が付けられます。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Shawn M. Clankie、Kobayashi Toshihiro『アメリカ人から見た日本人の不思議な行動パターン Eye on Japan』2011 年、三修社、2,400 円+税

【参考書】

必要な際には授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】

確認テストや予習の状況などで判断する授業への取り組み（20%）とライティングおよび記述したものを基にしたプレゼンテーションとそのリスニング（40%）、そして期末試験 (40%) から総合的に評価。欠席が 4 回以上の場合は原則として単位取得資格を失うため、欠席回数に注意してください（欠席回数が 4 回に満たなくても欠席回数が多くなればその分、授業への取り組みの評価に影響します。また、予習が不十分であったり、授業への取り組みが芳しくなかったりする場合は、授業への出席とみなさない可能性があります）。また、期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失いますので注意願います。

【学生の意見等からの気づき】

構文や日本語訳などの確認についてはできる限り時間をかけておこなっていきます。

テキストの内容を理解するために、テキスト以外のものを参照する必要がある場合もあります。その際には、できる限りの情報を提示します。

【学生が準備すべき機器他】

辞書を必ず持参してください。

【その他の重要事項】

春学期と秋学期の両方を通年科目として履修することが望ましいです。

【Outline and objectives】

Through reading stories and doing exercises in the textbook “Eye on Japan” which consists of 18 topics about Japanese culture, we study how to read the sentences correctly, how to think about the topics critically and how to express our opinions. When we read the sentences, we try to analyse sentence structures as precisely as possible. After completing each unit, we have an achievement test on reading comprehension, English compositions and analysing the sentences in the unit. During the spring term, we will have a presentation on the topics in the textbook.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**外国の視点による日本文化の特徴**

吉江　秀和

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／日本語／世界の中の日本
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

アメリカ人と日本人それぞれの目線から日本の社会に関する様々な事象について言及した内容のテキスト『アメリカ人から見た日本人の不思議な行動パターン Eye on Japan』を中心とした英文の精読と、内容に関連する問題を解くことで、English 1 と English 2 で学んだ、「読む」「書く」「聞く」「話す」の 4 技能の能力を包括的に高めていきます。その際に、構文を意識したより正確な英文読解力を身につけていくことを軸とし、その読解で得た情報を批判的に考察し、テキストの問題を活用しながら自分の意見を英語で発信する土台を構築していきます。

【到達目標】

テキストなどの読解や問題を通じて以下のことを目標とする。
①英文を読む際に構文を意識して一文ずつ丁寧に読むことを身につける。
②英文を確実に理解するための語彙や表現を覚えて、文法事項の理解を深める。
③テキストなどの英文を繰り返し聞いたり音読したりすることにより、英語のリスニング力やスピーキング力を鍛えていく。
④テキストの問題を活用しながら、トピックに関する自分の意見を英語で書く力を鍛えていく。
⑤自分の意見を英語で他者に伝え、聞き手はその意見を聞き取る能力をつけていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

テキスト『アメリカ人から見た日本人の不思議な行動パターン Eye on Japan』を事前に精読し、その内容に関連するテキストの問題を解いてきてもらいます。その際に、文章理解の正確性を高めるために構文を意識してもらう作業をしてもらいます。授業では、構文や英文内容理解の確認とともに、テキストの問題の答え合わせを指名しながらおこないます。テキスト内容の解説・確認の終了後、説明した内容を中心に作成した確認テストをおこないます。また、14 回の授業の中で、授業内で扱ってきたトピックから選択し、テキストの問題を活用しながら自分の意見を英文でまとめたものでプレゼンテーションをおこないます。聞き手には、各発表者の発言の聞き取りをおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Chapter 3: Japanese Education	Unit 7: Sports Day
2	Chapter 3: Japanese Education	Unit 8: Striving to be Average
3	Chapter 3: Japanese Education	Unit 9: Pride in One's School
4	Chapter 4: Japanese Food Culture	Unit 10: Monster Fruit
5	Chapter 4: Japanese Food Culture	Unit 11: It's to Die For!
6	Chapter 4: Japanese Food Culture	Unit 12: No More Plastic Bags
7	Chapter 5: Japanese Fashion	Unit 13: Girlie Men
8	Chapter 5: Japanese Fashion	Unit 14: School Uniforms
9	Chapter 5: Japanese Fashion	Unit 15: Job Hunting
10	Chapter 6: Japanese and Time	Unit 16: Age is Just a Number
11	Chapter 6: Japanese and Time	Unit 17: Mandatory Retirement
12	Chapter 6: Japanese and Time	Unit 18: The Construction Scam
13	期末試験・まとめ	今まで学習してきた内容を期末試験で確認します。試験・まとめと解説
14	プレゼンテーション	プレゼンテーション テキストの内容について自分の意見を述べ、その意見の聞き取りをおこないます

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

必ず予習をおこなってください。予習のやり方については最初の授業で説明します。英文を単に訳すのではなく構文の読み取りを意識しておこない、授業中に発問された際に、できる限りスムーズに答えられるように準備をしてきてください。また、授業内では単なる英語に関する発問だけでなく、テキスト内容に関する追加的な発問もおこないますので、内容に関連する用語や背景などを自分で調べてきてください。授業中におこなうプレゼンテーションのためにもテキストの英文のリスニングや音読を普段からおこなうことを心がけてください。

英文や言及していることについて予習の段階でわからないところがあるのは仕方ありませんが、それらも解決の糸口だけでも見つけられるように努力をしてください。その予習の状況も踏まえて平常点が付けられます。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Shawn M. Clankie、Kobayashi Toshihiro『アメリカ人から見た日本人の不思議な行動パターン Eye on Japan』2011 年、三修社、2,400 円+税

【参考書】

必要な際には授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】

確認テストや予習の状況などで判断する授業への取り組み（20%）とライティングおよび記述したものを基にしたプレゼンテーションとそのリスニング（40%）、そして期末試験 (40%) から総合的に評価。欠席が 4 回以上の場合は原則として単位取得資格を失うため、欠席回数に注意してください（欠席回数が 4 回に満たなくても欠席回数が多くなればその分、授業への取り組みの評価に影響します。また、予習が不十分であったり、授業への取り組みが芳しくなかったりする場合は、授業への出席とみなさない可能性があります）。また、期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失いますので注意願います。

【学生の意見等からの気づき】

構文や日本語訳などの確認についてはできる限り時間をかけておこなっていきます。

テキストの内容を理解するために、テキスト以外のものを参照する必要がある場合もあります。その際には、できる限りの情報を提示します。

【学生が準備すべき機器他】

辞書を必ず持参してください。

【その他の重要事項】

春学期と秋学期の両方を通年科目として履修することが望ましいです。

【Outline and objectives】
Through reading stories and doing exercises in the textbook "Eye on Japan" which consists of 18 topics about Japanese culture, we study how to read the sentences correctly, how to think about the topics critically and how to express our opinions. When we read the sentences, we try to analyse sentence structures as precisely as possible. After completing each unit, we have an achievement test on reading comprehension, English compositions and analysing the sentences in the unit. During the autumn term, we will have a presentation on the topics in the textbook.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**世界の中の日本**

吉田　季実子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／日本語／世界の中の日本
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
身近な商品やサービスに関して、また企業がそれを世界にどのように発信しているかを通して英語技能（聞く、読む、話す、書く）の向上を目指す

【到達目標】
身近な事柄を扱ったテキストを用いることで、題材への興味を維持しつつ、
語彙力を高め、長文読解、英作文、リスニングやペアワークなどを通して
英語のスキルを総合的に向上させる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
テキストにそって、問題演習やリアクションペーパーの作成などを行う。
また少人数授業につき、適宜指名して発言する。
フィードバックはその場、あるいは次回とする
感染症拡大の状況を鑑みて一部オンラインのハイブリッド形式とする

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Lesson1	語彙の確認と長文読解
2	Lesson1	長文読解続きと問題演習
3	Lesson1,2	Lesson1 の小テストと 2 の語彙確認、読解
4	Lesson2	長文読解続きと問題演習
5	Lesson2,3	Lesson2 の小テストと 3 の語彙確認、読解
6	Lesson3	長文読解続きと問題演習
7	Lesson3,4	Lesson3 の小テストと 4 の語彙確認、読解
8	Lesson4	長文読解続きと問題演習
9	Lesson4,5	Lesson4 の小テストと 5 の語彙確認、読解
10	Lesson5	長文読解続きと問題演習
11	Lesson5,6	Lesson5 の小テストと 6 の語彙確認、読解
12	Lesson6	長文読解続きと問題演習
13	Lesson6,7	Lesson6 の小テストと 7 の語彙確認、読解
14	Lesson7	長文読解続きと問題演習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
次週学習範囲の予習（和訳、単語チェック）、わからないところなどを
事前に調べておくこと

【テキスト（教科書）】
Creative Ideas for Products & Services
神田範明、新原由希恵、竹内理、アレクサンダー・ファレル
松柏社　2021 年　2000 円＋税

【参考書】
特になし
テキスト内で言及されている企業 HP など

【成績評価の方法と基準】
小テスト 70%
平常点　15 %
提出課題　15 %
なお欠席 4 回以上の場合単位取得できませんのでご注意ください

【学生の意見等からの気づき】
なるべく身近なことがらを扱うことでより興味深く感じてもらえるように工夫する

【学生が準備すべき機器他】
特にないが、オンライン授業時には音声等を確認出来すようなデバイスが必要になります

【Outline and objectives】
In this class you can improve your skills through the text which takes up Japanese familiar companies.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**世界の中の日本**

吉田　季実子

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／日本語／世界の中の日本
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
身近な商品やサービスに関して、また企業がそれを世界にどのように発信しているかを通して英語技能（聞く、読む、話す、書く）の向上を目指す

【到達目標】
身近な事柄を扱ったテキストを用いることで、題材への興味を維持しつつ、
語彙力を高め、長文読解、英作文、リスニングやペアワークなどを通して
英語のスキルを総合的に向上させる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
テキストにそって、問題演習やリアクションペーパーの作成などを行う。
また少人数授業につき、適宜指名して発言する。
フィードバックはその場、あるいは次回とする

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Lesson7,8	Lesson7 の小テストと 8 の語彙確認、読解
2	Lesson8	長文読解続きと問題演習
3	Lesson8,9	Lesson8 の小テストと 9 の語彙確認、読解
4	Lesson9	長文読解続きと問題演習
5	Lesson9,10	Lesson9 の小テストと 10 の語彙確認、読解
6	Lesson10	長文読解続きと問題演習
7	Lesson10,11	Lesson10 の小テストと 11 の語彙確認、読解
8	Lesson11	長文読解続きと問題演習
9	Lesson11,12	Lesson4 の 11 テストと 12 の語彙確認、読解
10	Lesson12	長文読解続きと問題演習
11	Lesson12,13	Lesson12 の小テストと 13 の語彙確認、読解
12	Lesson13	長文読解続きと問題演習
13	Lesson13,14	Lesson13 の小テストと 14 の語彙確認、読解
14	Lesson14	長文読解続きと問題演習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
次週学習範囲の予習（和訳、単語チェック）、わからないところなどを
事前に調べておくこと

【テキスト（教科書）】
Creative Ideas for Products & Services
神田範明、新原由希恵、竹内理、アレクサンダー・ファレル
松柏社　2021 年　2000 円＋税

【参考書】
特になし
テキスト内で言及されている企業 HP など

【成績評価の方法と基準】
小テスト 70%
平常点　15 %
提出課題　15 %
なお欠席 4 回以上の場合単位取得できませんのでご注意ください

【学生の意見等からの気づき】
なるべく身近なことがらを扱うことでより興味深く感じてもらえるように工夫する

【学生が準備すべき機器他】
特にないが、オンライン授業時には音声等を確認出来すようなデバイスが必要になります

【Outline and objectives】
In this class you can improve your skills through the text which takes up Japanese familiar companies.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

大和久　悌一郎

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**1 単位**
法 2 年：中級／日本語／世界の中の日本
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
国際社会の中で、専門的な学問領域のみならず、一般的な時事問題・日常生活においても英語読解は、現在、重要になってきている。そうした社会の中で用いられている英語に対応するために必要な英語読解能力の習得を目的として、語彙力や文法の理解をより確実に身につけるとともに、海外の社会のあり方についての理解も深めながら、英語運用能力の充実を図ることを目指したい。

【到達目標】
・TOEIC レベルのリーディングで用いられる文法事項の基礎を理解する。
・TOEIC レベルのリーディングで用いられる語彙の基礎を身につける。
・英語時事ニュースの要旨を把握できる、基礎力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
この授業はハイブリッド型です。資料配布型の回と、対面型の回があります。感染状況を踏まえ、ワクチンが高齢者の方に行き届くまでの期間は資料配布とし、6 月をめどに、対面授業を実施する予定です。対面授業の効果も重視しているところですが、スケジュールについては、随時、学習支援システムでのアンケートで相談しながら進めていきます。
日本のニュースについて英語で発信されたテキストを用いて、読解を進めていきます。基本的にテキスト 1 章分を 2 回の授業で扱います。また補助資料として、適宜プリントで、時事問題やエッセイ、短編小説など、英語の新聞雑誌記事を読みます。毎回、リアクションペーパーでの出欠の確認をして、質問・感想・意見などの提出をお願いします。回答については、次の回で解説や応答を行います。授業にあたっては該当ページについての予習をおこなうこと。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第一回	ガイダンス	授業の目的、方針、進め方について説明する。
第二回	Chapter 1	Chapter 1　Washoku on the rise　和食が人気に（精読）
第三回	Chapter 1	Chapter 1　Washoku on the rise　和食が人気に（再読、リスニング、質疑応答）
第四回	Chapter 2	Chapter 2 Female android helps men become fashionistas　女性型アンドロイドが男性をファッショニスタに（精読）
第五回	Chapter 2	Chapter 2 Female android helps men become fashionistas　女性型アンドロイドが男性をファッショニスタに（再読、リスニング、質疑応答）

第六回	Chapter 3	Chapter 3 Quarter of high schoolers net-dependent: study　高校生の４分の１がネット依存（精読）
第七回	Chapter 3	Chapter 3 Quarter of high schoolers net-dependent: study　高校生の４分の１がネット依存（再読、リスニング、質疑応答）
第八回	Chapter 4	Chapter 4 Japan local products　日本の地産品を世界へ（精読）
第九回	Chapter 4	Chapter 4 Japan local products　日本の地産品を世界へ（再読、リスニング、質疑応答）
第十回	Chapter 5	Chapter 5 Hachiko finally reunited with master　ついに飼い主に会えたハチ公（精読）
第十一回	Chapter 5	Chapter 5 Hachiko finally reunited with master　ついに飼い主に会えたハチ公（再読、リスニング、質疑応答）
第十二回	Chapter 6	Chapter 6 Hi-tech handrail aims to ease passage for the elderly　高齢者のてすり（精読）
第十三回	Chapter 6	Chapter 6 Hi-tech handrail aims to ease passage for the elderly　高齢者のてすり（再読、リスニング、質疑応答）
第十四回	Chapter 7	Chapter 7 26-year-old designs Honda's new sports car　26歳がスポーツカーをデザイン（精読）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業前に、事前に該当ページについての予習をおこなうこと。また単語、熟語については授業後に復習しておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて１時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
津田晶子、金志佳代子、Kelly MacDonald 著『NTV News24 English ―日テレ News24 English で考える日本事情』英宝社、2017 年

【参考書】
授業内で適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】
平常点（出席・予習・小テスト等）６０%、期末試験４０%で評価します。３０分以上の遅刻は欠席とみなし、また３回の遅刻は１回の欠席とみなします。４回以上の欠席者は成績評価の対象から外すので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】
リスニングやスピーキングなど、音声中心のワークを増やしていきたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】
学習支援システムで資料の配布やアンケートを行いますので、アクセスできる環境を用意しておいてください。オンラインでの回は、資料配布ですので、zoom などの動画に対応する必要はありません。

【Outline and objectives】
With reading text book, learning English grammar and words. First of all, I have set a goal of reading articles in English, not only in the classroom, but also in daily life. And toward this goal, I use educational textbook and handouts. As a procedure in one lesson, first, reading one chapter in the textbook, and in the rest of time, reading handouts for 15-30 minutes. Handouts including news stories, essays, and short fiction in newspapers and magazines. Topic is mainly on the current world news. And reading these hangouts, I encourage to read articles in English, not only classroom but also everyday life.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

大和久　悌一郎

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**1 単位**
法２年：中級／日本語／世界の中の日本
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
国際社会の中で、専門的な学問領域のみならず、一般的な時事問題・日常生活においても英語読解は、現在、重要になってきている。そうした社会の中で用いられている英語に対応するために必要な英語読解能力の習得を目的として、語彙力や文法の理解をより確実に身につけるとともに、海外の社会のあり方についての理解も深めながら、英語運用能力の充実を図ることを目指したい。

【到達目標】
・TOEIC レベルのリーディングで用いられる文法事項の基礎を理解する。
・TOEIC レベルのリーディングで用いられる語彙の基礎を身につける。
・英語時事ニュースの要旨を把握できる、基礎力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
日本のニュースについて英語で発信されたテキストを用いて、読解を進めていきます。基本的にテキスト１章分を２回の授業で扱います。また補助資料として、適宜プリントで、時事問題やエッセイ、短編小説など、英語の新聞雑誌記事を読みます。毎回、リアクションペーパーでの出欠の確認をして、質問・感想・意見などの提出をお願いします。回答については、次の回で解説や応答を行います。授業にあたっては該当ページについての予習をおこなうこと。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の目的、方針、進め方について説明する。
2	Chapter 8	Chapter 8 Flight attendants compete to be Master of Hospitality　客室乗務員のおもてなしコンテスト（精読）
3	Chapter 8	Chapter 8 Flight attendants compete to be Master of Hospitality　客室乗務員のおもてなしコンテスト（再読、リスニング、質疑応答）
4	Chapter 9	Chapter 9 Japan unveils rescue robot　日本の災害救助ロボット（精読）
5	Chapter 9	Chapter 9 Japan unveils rescue robot　日本の災害救助ロボット（再読、リスニング、質疑応答）
6	Chapter 10	Chapter 10 Japanese tea ceremony celebrates peace at UN　国連でお茶会（精読）

7	Chapter 10	Chapter 10 Japanese tea ceremony celebrates peace at UN　国連でお茶会（再読、リスニング、質疑応答）
8	Chapter 11	Chapter 11 Nation's workers to undergo stress tests　全国の労働者にストレステスト（精読）
9	Chapter 11	Chapter 11 Nation's workers to undergo stress tests　全国の労働者にストレステスト（再読、リスニング、質疑応答）
10	Chapter 12	Chapter 12 New high-rise to tower over　都心に新構想のビルの発表（精読）
11	Chapter 12	Chapter 12 New high-rise to tower over　都心に新構想のビルの発表（再読、リスニング、質疑応答）
12	Chapter 13	Chapter 13 Historic festival kicks off In Nagasaki　長崎のおくんち、始まる（精読）
13	Chapter 13	Chapter 13 Historic festival kicks off In Nagasaki　長崎のおくんち、始まる（再読、リスニング、質疑応答）
14	Chapter 14	Chapter 14 UN Women opens Japan office　国連女性事務所を東京に開設（精読、リスニング、質疑応答）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
事前に該当ページについては予習をおこなうこと。また単語、熟語、慣例表現については復習しておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
津田晶子、金志佳代子、Kelly MacDonald 著『NTV News24 English ―日テレ News24 English で考える日本事情』英宝社、2017 年

【参考書】
授業内で適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】
平常点（出席・予習・小テスト等）６０%、学期末レポート４０%で評価します。アンケートについて期限を過ぎた場合は遅刻とみなし、また３回の遅刻は１回の欠席とみなします。４回以上の欠席者は成績評価の対象から外すので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【Outline and objectives】
With reading text book, learning English grammar and words. First of all, I have set a goal of reading articles in English, not only in the classroom, but also in daily life. And toward this goal, I use educational textbook and handouts. As a procedure in one lesson, first, reading one chapter in the textbook, and in the rest of time, reading handouts for 15-30 minutes. Handouts including news stories, essays, and short fiction in newspapers and magazines. Topic is mainly on the current world news. And reading these hangouts, I encourage to read articles in English, not only classroom but also everyday life.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**アメリカのニュース（英語圏の文化と社会）**

飛田　英伸

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法 2 年：初級／日本語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
アメリカの学生向けニュース番組である CNN10 を通して、英語圏の文化や社会への理解を深めるとともに、「読む、聞く、話す、書く」の 4 つの技能を向上させ、英語で発信される情報に対応できるようになる。

【到達目標】
・英語のニュースの発話スピードに慣れ、最低限の情報を聞き取ることができるようになる。
・ある程度ゆっくり話された英語を十分に聞き取ることができるようになる。
・文章の構造を意識しながら英語の文章を読むことができるようになる。
・アクセントや区切りを意識して英語の文章を読み上げることができるようになる。
・簡単な表現を用いて自分の言いたいことを英語で話せるようになる。
・英語で簡潔な文章を書けるようになる。
・ニュースで用いられるような基本単語や基本表現を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
＜重要＞この授業は【対面授業】です。ただし、ただし、Zoom を用いたオンライン授業を数回実施する予定です。詳細は第 1 回の授業でお伝えします。
ユニット 1 つにつき、2 回の授業を充てる。予習を前提に、1 回目の授業の最初に、単語（教科書の Vocabulary Exercise）とトピックの内容（何についてのニュースかを日本語で簡単に説明）を問う小テストを行う。また、2 回目の授業の最初に、リスニングの確認（穴埋め）テストを行う。
1 回目の授業は、リスニングと発音、読解を中心に進める。2 回目の授業では、前回の補足を行った後、ニュースの内容を英語でまとめるグループワークを行う。
なお、提出した課題（小テスト、作文等）はコメントを付して返却し、フィードバックを行う。また、学習支援システムを使用し、予習で苦労した箇所や授業でわからなかったことを書いてもらう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	【オンライン（Zoom）】授業の内容・進め方についての説明
2	Unit 1: 水と共にある東京	小テスト（単語・内容確認）、リスニング、発音、読解
3	Unit 1: 水と共にある東京	小テスト（リスニング確認）、補足、グループワーク（口頭要約、作文）
4	Unit 2: 実は謎の多いサメの生態	小テスト（単語・内容確認）、リスニング、発音、読解

5	Unit 2: 実は謎の多いサメの生態	小テスト（リスニング確認）、補足、グループワーク（口頭要約、作文）
6	Unit 3: ある森林監視員の生活	小テスト（単語・内容確認）、リスニング、発音、読解
7	Unit 3: ある森林監視員の生活	小テスト（リスニング確認）、補足、グループワーク（口頭要約、作文）
8	Unit 4: 風と共に生きる	小テスト（単語・内容確認）、リスニング、発音、読解
9	Unit 4: 風と共に生きる	小テスト（リスニング確認）、補足、グループワーク（口頭要約、作文）
10	Unit 5: MRI で探る犬の気持ち	小テスト（単語・内容確認）、リスニング、発音、読解
11	Unit 5: MRI で探る犬の気持ち	小テスト（リスニング確認）、補足、グループワーク（口頭要約、作文）
12	Unit 6: 熱中症対策はしっかりと	小テスト（単語・内容確認）、リスニング、発音、読解
13	Unit 6: 熱中症対策はしっかりと	小テスト（リスニング確認）、補足、グループワーク（口頭要約、作文）
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
［予習］ニュースの動画を視聴する。動画の原稿をゆっくりと読み直した音声があるので、それを聞いて内容を大まかに理解し、教科書の問題を一通り解いておく。次回の授業で単語（教科書の Vocabulary Exercise）と内容確認（何についてのニュースかを日本語で簡単に説明）の小テストを行う。
［復習］ゆっくりと読み直した音声を聞き取れるようにしておく。次回の授業で穴埋めによる確認テストを行う。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
CNN 10 Student News Vol.9（関戸冬彦ほか、朝日出版社、2021 年、1800 円＋税）

【参考書】
特になし

【成績評価の方法と基準】
平常点（小テスト、リスニング確認テスト、受講態度）40%
期末試験 60%
欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位取得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】
今年度は対面授業の予定なので、受講生同士で議論できるような場を増やしたい。また、授業外学習の時間が多くなりすぎないように注意したい。

【学生が準備すべき機器他】
辞書（電子辞書可）。
学習支援システムと Zoom を使用する。スマホ、ノートパソコン、タブレット等、授業中に学習支援システムに接続できる機器を持参してほしい。

【その他の重要事項】
ニュースの動画やリスニングの音声の視聴方法については、教科書を参照のこと。また、第 1 回の授業の際に説明する。
第 1 回授業は【オンライン（Zoom）】で実施します。最新の情報は学習支援システムに載せるので、そちらも必ず確認してください。

【Outline and objectives】
Through watching CNN10, students will deepen their knowledge about various aspects of English speaking world, and improve their skills to communicate in English.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**アメリカのニュース（英語圏の文化と社会）**

飛田　英伸

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法 2 年：初級／日本語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
アメリカの学生向けニュース番組である CNN10 を通して、英語圏の文化や社会への理解を深めるとともに、「読む、聞く、話す、書く」の 4 つの技能を向上させ、英語で発信される情報に対応できるようになる。

【到達目標】
・英語のニュースの発話スピードに慣れ、最低限の情報を聞き取ることができるようになる。
・ある程度ゆっくり話された英語を十分に聞き取ることができるようになる。
・文章の構造を意識しながら英語の文章を読むことができるようになる。
・アクセントや区切りを意識して英語の文章を読み上げることができるようになる。
・簡単な表現を用いて自分の言いたいことを英語で話せるようになる。
・英語で簡潔な文章を書けるようになる。
・ニュースで用いられるような基本単語や基本表現を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
＜重要＞この授業は【対面授業】です。ただし、Zoom を用いたオンライン授業を数回実施する予定です。詳細は第 1 回の授業でお伝えします。
ユニット 1 つにつき、2 回の授業を充てる。予習を前提に、1 回目の授業の最初に、単語（教科書の Vocabulary Exercise）とトピックの内容（何についてのニュースかを日本語で簡単に説明）を問う小テストを行う。また、2 回目の授業の最初に、リスニングの確認（穴埋め）テストを行う。
1 回目の授業は、リスニングと発音、読解を中心に進める。2 回目の授業では、リアクションペーパーを踏まえて前回の補足を行った後、ニュースの内容を英語でまとめるグループワークを行う。
なお、提出した課題（小テスト、作文等）はコメントを付して返却し、フィードバックを行う。また、学習支援システムを使用し、予習で苦労した箇所や授業でわからなかったことを書いてもらう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	【対面】授業の内容・進め方についての説明
2	Unit 7: 冒険という名の旅行	小テスト（単語・内容確認）、リスニング、発音、読解
3	Unit 7: 冒険という名の旅行	小テスト（リスニング確認）、補足、グループワーク（口頭要約、作文）
4	Unit 8: 新世代ニッポンの姿	小テスト（単語・内容確認）、リスニング、発音、読解

5	Unit 8: 新世代ニッポンの姿	小テスト（リスニング確認）、補足、グループワーク（口頭要約、作文）
6	Unit 9: イギリス王室の伝統	小テスト（単語・内容確認）、リスニング、発音、読解
7	Unit 9: イギリス王室の伝統	小テスト（リスニング確認）、補足、グループワーク（口頭要約、作文）
8	Unit 10: ダ・ヴィンチをめぐる論争	小テスト（単語・内容確認）、リスニング、発音、読解
9	Unit 10: ダ・ヴィンチをめぐる論争	小テスト（リスニング確認）、補足、グループワーク（口頭要約、作文）
10	Unit 11: 災害で活躍するロボット	小テスト（単語・内容確認）、リスニング、発音、読解
11	Unit 11: 災害で活躍するロボット	小テスト（リスニング確認）、補足、グループワーク（口頭要約、作文）
12	Unit 12: 街の移動はレンタルスクーターで	小テスト（単語・内容確認）、リスニング、発音、読解
13	Unit 12: 街の移動はレンタルスクーターで	小テスト（リスニング確認）、補足、グループワーク（口頭要約、作文）
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
［予習］ニュースの動画を視聴する。動画の原稿をゆっくりと読み直した音声があるので、それを聞いて内容を大まかに理解し、教科書の問題を一通り解いておく。次回の授業で単語（教科書の Vocabulary Exercise）と内容確認（何についてのニュースかを日本語で簡単に説明）の小テストを行う。
［復習］ゆっくりと読み直した音声を聞き取れるようにしておく。次回の授業で穴埋めによる確認テストを行う。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
CNN 10 Student News Vol.9（関戸冬彦ほか、朝日出版社、2021 年、1800 円＋税）

【参考書】
特になし

【成績評価の方法と基準】
平常点（小テスト、リスニング確認テスト、受講態度）40%
期末試験 60%
欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位取得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】
今年度は対面授業の予定なので、受講生同士で議論できるような場を増やしたい。また、授業外学習の時間が多くなりすぎないように注意したい。

【学生が準備すべき機器他】
辞書（電子辞書可）。
学習支援システムと Zoom を使用する。スマホ、ノートパソコン、タブレット等、授業中に学習支援システムに接続できる機器を持参してほしい。

【その他の重要事項】
ニュースの動画やリスニングの音声の視聴方法については、教科書を参照のこと。また、第 1 回の授業の際に説明する。
第 1 回授業は【対面】で実施する予定です。ただし、状況によってはオンライン授業に変更する可能性もあります。最新の情報は学習支援システムに載せるので、そちらも必ず確認してください。

【Outline and objectives】
Through watching CNN10, students will deepen their knowledge about various aspects of English speaking world, and improve their skills to communicate in English.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**世界の中の日本**

猪俣　佳瑞美

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法 2 年：初級／日本語／世界の中の日本
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English1,2 での学びを踏まえ、4 技能（英語を読み、聞き、書き、話す力）の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、各トピックを国内に存在する身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。

【到達目標】
講義の到達目標は、以下である。
・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。
・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。
・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。
・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。
・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
各 Unit を 1 回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。リスニング練習や、日本語で伝えたいことを英語にする活動などにおいて、講師は実践的且つ具体的なフィードバックを行い、各学生のスキルアップに取り組む。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。大学の行動方針レベルが 2 となった場合、この授業は原則としてオンデマンド授業 (資料型) で行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の目的、内容、進め方の説明 自己紹介など
2	Unit 1 Shared Housing vs. Living Alone	若者の暮らし方を「一人暮らし」と「シェアハウス」を比べることで考える。リーディング素材を使用し、命題に対して批評的な思考を組み立てる方法を学び、意見を日本語で確認した上で、英語にする演習及び、意見をペアやグループで発表。

3	Unit 2 Studying in a Café vs. Home	学習を効率的に行う場所として「自宅」と「カフェ」を比較する。テーマに関する意見を英語で聞き、情報を整理した上で、各自の経験や意見をペアやグループで英語で発表する。
4	Unit 3 Gakuran vs. Blazer	高校の制服デザインについて考える。代表的なものとして「学ラン」と「ブレザー」を取り上げるが、現代社会における多様性という面からも、制服に求められる社会的役割を各自が考え、英語で意見をまとめる演習を行う。
5	Unit 4 Coming-of-Age Ceremonies	成人式の必要性について考える。また、海外には日本の「成人式」に該当する行事は無いため、その概要や存在意義を英語で説明できるようにする。最後に、各自の成人式に対する意見交換を英語で行う。
6	Unit 5 24/7 Convenience Stores	コンビニの 24 時間営業について考える。各学生が 24 時間営業に「賛成」なのか「反対」なのか、各自の立場を明確にした上で、ペアやグループに分かれ、理論的に意見を述べる練習を行う。
7	Unit 6 Japanese Era Names	「元号」について考える。2019 年５月に導入された新元号「令和」。元号が変わる時を体験した学生同士だからこそ可能な、元号の必要性や意義に関する意見を英語で交換したい。また世界でも珍しい「元号」の英語による説明方法も取り上げる。
8	Unit 7 Point Cards	購入した額によって与えられる「ポイント」や「ポイントカード」について考える。このサービスを受ける側からだけでなく、与える側からも考察し、存在意義を考えたい。身近なトピックであることから、各自が実体験を踏まえ、わかりやすく自分の考えを英語で相手に伝える練習を行う。
9	Unit 8 Disaster Volunteers	自然災害時のボランティアについて考える。特に「ボランティア」と「報酬」に関する英文を読んだ上で、各自の考えを論理的にまとめ、説得力ある意見にする練習を行う。
10	Unit 9 Domestic Trip vs. Abroad	「旅行」をテーマに取り上げる。「国内旅行」と「海外旅行」を比較し、10 万円あったら「国内」「海外」どちらを旅行したいか英語で意見を述べ合う。各自、その理由を明確にできるよう、具体的な旅行案も考えた上で授業に参加してほしい。
11	Unit 10 Studying English Abroad	「留学」をテーマに取り上げる。最近、人気の高いアジア諸国への留学に関する英文を読んだ上で、各自が、語学留学するなら、どこの国へ行きたいか、その理由などを明確にした上で、意見交換を行う。
12	プレゼンテーション準備と確認	13、14 回めの講義で行うプレゼンテーションに関する説明を行い、各自で準備を進める。
13	プレゼンテーション１	各学生が今までに講義で扱ったトピックから１つを選び、クラス全体に発表する１回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
14	プレゼンテーション２ 小テストとまとめ	各学生が今までに講義で扱ったトピックから１つを選び、クラス全体に発表する２回目。 春学期に扱った語彙を中心とする小テストも実施。学びを総括する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定された Unit を事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。Listening Dictation 問題は講義内で行うので予習不要。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。
準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。
準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

【テキスト（教科書）】

英語で考え、英語で発信する 2　Two Sides to Every Discussion 2
Jonathan Lynch / 委文　光太郎 著
成美堂 2020 年　1,900 円（税込 2,090 円）

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

平常点 40 %　発表 40 %　小テスト 20 % 遅刻は厳禁。授業開始時刻から 30 分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、４回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違えを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

【学生が準備すべき機器他】

電子辞書を必ず持参すること

【Outline and objectives】

This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**世界の中の日本**

猪俣　佳瑞美

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法 2 年：初級／日本語／世界の中の日本
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English1,2 での学びを踏まえ、４技能（英語を読み、聞き、書き、話す力）の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、各トピックを国内に存在する身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。

【到達目標】
講義の到達目標は、以下である。
・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。
・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。
・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。
・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。
・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
各 Unit を１回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。リスニング練習や、日本語で伝えたいことを英語にする活動などにおいて、講師は実践的且つ具体的なフィードバックを行い、各学生のスキルアップに取り組む。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンデマンド授業 (資料型) で行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	秋学期スタートにあたって	夏休みにあったことを英語で話す 秋学期の講義進め方確認 次講義の事前学習範囲の確認
2	Unit 11　More Foreign Visitors	インバウンドについて考える。日本を訪れる外国人観光客に関する英文を読んだ上で、東京オリンピックも踏まえ、各学生が感じていることを英語でまとめ、意見交換する。
3	Unit 12 New Year's Eve Fireworks	「年越しイベントとしての花火大会」の実施を考える。日本では、夏に行われる花火大会だが、海外では大晦日のイベントとして人気が高い。その理由を考えながら、日本文化として花火大会が持つ意味を英語で伝える練習も行う。
4	Unit 13　April Fools'Day in Japan	「エイプリルフール」について考える。海外と日本のエイプリルフールを比較し、日本人の傾向を述べた英文を読んだ上で、各自がエイプリルフールに関して考えていることを英語でまとめ、意見交換を行う。
5	Unit 14 Summer-Vacation Assignments	「夏休みの宿題」について考える。日本の小中学校における夏休みの宿題に関する英文を読んだ上で、各自が自身の体験を踏まえ、その功罪を客観的に分析し、英語での意見交換を行う。
6	Unit 15 Halloween Is Best!	日本で楽しまれている「外国のお祭り」について考える。特に昨今、広く浸透し、時に問題点も指摘されているハロウィーンを取り上げ、各自の意見を理論的にまとめ、意見交換を行う。
7	Unit 16 Valentine's Day in Japan	「日本のバレンタインデー」について考える。海外との習慣の違いなどを踏まえた英文を読んだ上で、日本独自に発展したバレンタインデーを英語で説明できるよう練習を行う。最後には、各自のバレンタインデーに対する見解を英語で述べ合う。
8	Unit 17 Smartphone Lock Screens	「スマートフォンのロック」及び「ロック解除方法」について考える。日常で行っている行為を英語で表現するために必要な語彙を増やし、個人情報を守るために必要だと考えていることを英語で伝える練習を行う。
9	Unit 18 YouTube vs. Normal TV	「テレビ番組」と「YouTube」について考える。２つのメディアを比較した英文を読んだ上で、各自がそれぞれのメディアに対して感じていることを述べ合い、それぞれのメディアをどのように利用しているのか情報交換を行う。
10	Unit 19　Internet vs. Bricks-and-Mortar	「買い物」について考える。特にオンラインショップと実店舗を比較した英文を読んだ上で、各自が買い物をするときに重視していることや注意していることなど、身近な内容をわかりやすく英語で説明する練習を行う。
11	Unit 20 Translation Software	「翻訳ソフト」について考える。英語の宿題に翻訳ソフトを使用するべきか否かを取り上げた英文を読んだ上で、各自が立場を明らかにした上で、賛成または反対の意見を客観的に述べ、議論を行う。
12	プレゼンテーション１	各学生が今までに講義で扱ったトピックから１つを選び、クラス全体に発表する１回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
13	プレゼンテーション２	各学生が今までに講義で扱ったトピックから１つを選び、クラス全体に発表する２回目。

14	小テストとまとめ	秋学期に扱った語彙などを中心とする小テストを実施。学びを総括する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4
hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.
準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定された Unit を事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。Listening Dictation 問題は講義内で行うので予習不要。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。
準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。
準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

【テキスト（教科書）】
英語で考え、英語で発信する 2　　Two Sides to Every Discussion 2
Jonathan Lynch / 委文　光太郎 著
成美堂 2020 年　1,900 円（税込 2,090 円）

【参考書】
特になし

【成績評価の方法と基準】
平常点 40 %　発表 40 %　小テスト 20 % 遅刻は厳禁。授業開始時刻から 30 分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、4 回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】
英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違えを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

【学生が準備すべき機器他】
電子辞書を必ず持参すること

【Outline and objectives】
This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**多様化する社会問題及びグローバルな事象**

吉川　太恵子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**1 単位**
法 2 年：初級／日本語／現代の諸相
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English 3 では、English 1 と English 2 で学んだ 4 技能をさらに高めることを目的とします。学生は文化間意識、経済、社会、健康、旅行、教育、芸術、コンピューター、戦争、グローバル化などの多様な課題を英語で読むことで、英語力を高めるだけでなく現代の多様な社会問題やグローバルな事象について学びます。　この授業では、自分の考えをディスカッション、ライティング、プレゼンテーションで発表できる能力を伸ばすことを目指します。

【到達目標】
・日本語に訳すことにこだわらず、英語で書かれた文章をそのまま英語で理解することができる。
・英文の内容を正確に把握することが出来ると同時に、知らない単語を前後関係で推察できる。
・リスニング力、スピーキング力を高める。
・自分の考えをある程度の長さの文章で表現できる。
・単に英語を学ぶだけでなく現代社会で起きている事象を深く理解することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
基本的に 1 ユニットを 1 回の授業でカバーします。その次の回はユニットに関連した記事や、時事問題、*TOEIC Test Reading 550* を学習します。授業には、テキストブック及び TOEIC の予習をして臨むことを必須とします。学期中に何度か英語学習に関するビデオを授業中に観て、モチベーションを上げるよう指導します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Unit 2(1)	Understand Intercultural Diversity in Peoples and Places
2	unit 2(2)	Supplementary Readings TOEIC
3	Unit 3(1)	Be a Good Consumer
4	Unit 3(2)	Supplementary Readings TOEIC
5	Unit 4(1)	Learn about Food, Culture and Society
6	Unit 4(2)	Supplementary Readings TOEIC
7	Unit 5(1)	Have Better Lifestyles in Different Cultures
8	Unit 5(2)	Supplementary Readings TOEIC
9	Unit 6(1)	Be an Intercultural Traveler
10	Unit 6(2)	Supplementary Readings TOEIC
11	Unit 7(1)	Cultivate Global Citizenship
12	Unit 7(2)	Supplementary Readings TOEIC
13	Review	Supplementary Readings TOEIC

14	期末試験	テキストブック、TOEIC、配布したプリントから出題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。ただし、これは最低限の勉強時間数であり、テキストブックの読み込みや単語の意味調べなどの準備学習や復習を行うには、当然、これ以上の勉強時間数が必要となります。特に Eng.3 以降に英語の授業をとらない学生にとっては、まとまった時間を英語学習に割くラスト・チャンスになりうることを考えると、真剣に英語学習と向き合って欲しいと思います。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
1. *Intercultural Awareness:CLIL* で培う文化間意識、笹島茂その他、三修社、2020 年、2000 円、ISBN: 978-4-384-33494-4
2.*A Shorter Course in TOEIC Test Reading 550*、Rieko KIMURA and Hiroko KATANODA、南雲堂、2017 年、700 円、ISBN: 978-4-523-17592-6

【参考書】
・総合英語 *Evergreen*、いいずな書店、2018 年、1520 円
・Japan Today https://japantoday.com/
・BBC Learning English
https://www.bbc.co.uk/learningenglish/english/
・VOA Learning English
https://learningenglish.voanews.com/
・Oxford Online English
https://www.youtube.com/user/oxfordonlineenglish
・日米会話学院 Hotwords
https://www.nichibei.ac.jp/hotwords/

【成績評価の方法と基準】
平常点 20%（授業態度、毎回の予習状況、授業への参加度)、課題の提出 40%、学期末試験 40%として総合評価で 100%中 60%以上を合格とし単位を与えます。必修科目であることから、**欠席は 4 回までとし、4 回以上の欠席者は試験を受けた場合でも原則単位を与えません。**
授業開始から 30 分以上遅刻した場合は、出席した場合でも欠席扱いとなります。
また、15 分以上の遅刻 2 回は欠席 1 回とみなします。

【学生の意見等からの気づき】
時事問題への関心が高いことから、新聞や雑誌記事などを適宜授業に取り入れていて、毎年好評です。また、ディスカッションにおいて英語で自分の意見を相手にわかりやすく説明することを毎回積み重ねていくことで、英語での発表に自信がつき、そして違う意見を知る機会になったという感想を学生から得ています。

【学生が準備すべき機器他】
英語辞書または電子辞書

【その他の重要事項】
授業中に辞書替わりに携帯電話を使用することを禁止します。

【Outline and objectives】
The purpose of this class is to enhance the students' skills in reading, writing, listening and speaking. Students will study about various topics such as intercultural awareness, economics, society, education, and wars, etc. Also, students will be provided with articles from newspapers, web sites and magazines to expand their vocabulary as well as to open their minds about global issues.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**多様化する社会問題及びグローバルな事象**

吉川　太恵子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**1 単位**
法 2 年：初級／日本語／現代の諸相
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期に引き続き、English 3 では English 1 と English 2 で学んだ 4 技能をさらに高めることを目的とします。学生は文化間意識、経済、社会、健康、旅行、教育、芸術、コンピューター、戦争、グローバル化などの多様な課題を英語で読むことで、英語力を高めるだけでなく現代の多様な社会問題やグローバルな事象について学びます。　この授業では、自分の考えをディスカッション、ライティング、プレゼンテーションで発表できる能力を伸ばすことを目指します。

【到達目標】
・日本語に訳すことにこだわらず、英語の文章をそのまま英語で理解することができる。
・英文の内容を正確に把握することが出来ると同時に、知らない単語を前後関係で推察できる。
・リスニング力、スピーキング力を高める。
・自分の考えをある程度の長さの文章で表現できる。
・単に英語を学ぶだけでなく現代社会で起きている事象を深く理解することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
基本的に 1 ユニットを 1 回の授業でカバーします。その次の回はユニットに関連した記事や、時事問題、*TOEIC Test Reading 550* を学習します。授業には、テキストブック及び TOEIC の予習をして臨むことを必須とします。学期中に何度か英語学習に関するビデオを授業中に観て、モチベーションを上げるよう指導します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Unit 8(1)	Study the Education System
2	Unit 8(2)	Supplementary Readings TOEIC
3	Unit 10(1)	See the Potential of Artificial Intelligence (AI)
4	Unit 10(2)	Supplementary Readings TOEIC
5	Unit 11(1)	Change Your Attitude toward Gender Roles
6	Unit 11(2)	Supplementary Readings TOEIC
7	Unit 12(1)	Live Well in a Cashless Society(1)
8	Unit 12(2)	Supplementary Readings TOEIC
9	Unit 13(1)	Pray for No More Wars and Just Peace
10	Unit 13(2)	Supplementary Readings TOEIC
11	Unit 14	Address Immigration Issues
12	Unit 15	Engage a Lot More in Globalization

13	Unit 14 & 15	Supplementary Readings TOEIC
14	期末試験	テキストブック、TOEIC、配布したプリントから出題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。ただし、これは最低限の勉強時間数であり、テキストブックの読み込みや単語の意味調べなどの準備学習や復習を行うには、当然、これ以上の勉強時間数が必要となります。特に Eng.3 以降に英語の授業をとらない学生にとっては、まとまった時間を英語学習に割くラスト・チャンスになりうることを考えると、真剣に英語学習と向き合って欲しいと思います。 /University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
1. *Intercultural Awareness:CLIL* で培う文化間意識、笹島茂その他、三修社、2020 年、2000 円、ISBN: 978-4-384-33494-4
2.*A Shorter Course in TOEIC Test Reading 550*、Rieko KIMURA and Hiroko KATANODA、南雲堂、2017 年、700 円、ISBN: 978-4-523-17592-6
テキストを秋学期までに一巡している場合は、特に間違いやすい問題を見直し、別の問題集のコピーを配布して引き続き TOEIC 問題に取り組みます。

【参考書】
・総合英語 *Evergreen*、いいずな書店、2018 年、1520 円
・Japan Today https://japantoday.com/
・BBC Learning English
https://www.bbc.co.uk/learningenglish/english/
・VOA Learning English
https://learningenglish.voanews.com/
・Oxford Online English
https://www.youtube.com/user/oxfordonlineenglish
・日米会話学院 Hotwords
https://www.nichibei.ac.jp/hotwords/

【成績評価の方法と基準】
平常点 20%（授業態度、毎回の予習状況、授業への参加度)、課題の提出 40%、学期末試験 40%として総合評価で 100%中 60%以上を合格とし単位を与えます。必修科目であることから、**欠席は 4 回までとし、4 回以上の欠席者は試験を受けた場合でも原則単位を与えません。**
授業開始から 30 分以上遅刻した場合は、出席した場合でも欠席扱いとなります。
また、15 分以上の遅刻 2 回は欠席 1 回とみなします。

【学生の意見等からの気づき】
時事問題への関心が高いことから、新聞や雑誌記事などを適宜授業に取り入れていて、毎年好評です。また、ディスカッションにおいて英語で自分の意見を相手にわかりやすく説明することを毎回積み重ねていくことで、英語での発表に自信がつき、そして違う意見を知る機会になったという感想を学生から得ています。

【学生が準備すべき機器他】
英語辞書または電子辞書

【その他の重要事項】
授業中に辞書替わりに携帯電話を使用することを禁止します。

【Outline and objectives】
Students are continuously encouraged to enhance their skills in reading, writing, listening and speaking. Students will study about various topics such as intercultural awareness, economics, society, education, and wars, etc. Also, students will be provided with articles from newspapers, web sites and magazines to expand their vocabulary as well as to open their minds about global issues.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**世界の中の日本**

猪俣　佳瑞美

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**1 単位**
法 2 年：初級／日本語／世界の中の日本
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English1,2 での学びを踏まえ、4 技能（英語を読み、聞き、書き、話す力）の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、各トピックを国内に存在する身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。

【到達目標】
講義の到達目標は、以下である。
・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。
・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。
・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。
・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。
・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
各 Unit を 1 回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。リスニング練習や、日本語で伝えたいことを英語にする活動などにおいて、講師は実践的且つ具体的なフィードバックを行い、各学生のスキルアップに取り組む。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。大学の行動方針レベルが 2 となった場合、この授業は原則としてオンデマンド授業 (資料型) で行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の目的、内容、進め方の説明 自己紹介など
2	Unit 1 Shared Housing vs. Living Alone	若者の暮らし方を「一人暮らし」と「シェアハウス」を比べることで考える。リーディング素材を使用し、命題に対して批評的な思考を組み立てる方法を学び、意見を日本語で確認した上で、英語にする演習及び、意見をペアやグループで発表。

3	Unit 2 Studying in a Café vs. Home	学習を効率的に行う場所として「自宅」と「カフェ」を比較する。テーマに関する意見を英語で聞き、情報を整理した上で、各自の経験や意見をペアやグループで英語で発表する。
4	Unit 3 Gakuran vs. Blazer	高校の制服デザインについて考える。代表的なものとして「学ラン」と「ブレザー」を取り上げるが、現代社会における多様性という面からも、制服に求められる社会的役割を各自が考え、英語で意見をまとめる演習を行う。
5	Unit 4 Coming-of-Age Ceremonies	成人式の必要性について考える。また、海外には日本の「成人式」に該当する行事は無いため、その概要や存在意義を英語で説明できるようにする。最後に、各自の成人式に対する意見交換を英語で行う。
6	Unit 5 24/7 Convenience Stores	コンビニの 24 時間営業について考える。各学生が 24 時間営業に「賛成」なのか「反対」なのか、各自の立場を明確にした上で、ペアやグループに分かれ、理論的に意見を述べる練習を行う。
7	Unit 6 Japanese Era Names	「元号」について考える。2019 年５月に導入された新元号「令和」。元号が変わる時を体験した学生同士だからこそ可能な、元号の必要性や意義に関する意見を英語で交換したい。また世界でも珍しい「元号」の英語による説明方法も取り上げる。
8	Unit 7 Point Cards	購入した額によって与えられる「ポイント」や「ポイントカード」について考える。このサービスを受ける側からだけでなく、与える側からも考察し、存在意義を考えたい。身近なトピックであることから、各自が実体験を踏まえ、わかりやすく自分の考えを英語で相手に伝える練習を行う。
9	Unit 8 Disaster Volunteers	自然災害時のボランティアについて考える。特に「ボランティア」と「報酬」に関する英文を読んだ上で、各自の考えを論理的にまとめ、説得力ある意見にする練習を行う。
10	Unit 9 Domestic Trip vs. Abroad	「旅行」をテーマに取り上げる。「国内旅行」と「海外旅行」を比較し、10 万円あったら「国内」「海外」どちらを旅行したいか英語で意見を述べ合う。各自、その理由を明確にできるよう、具体的な旅行案も考えた上で授業に参加してほしい。
11	Unit 10 Studying English Abroad	「留学」をテーマに取り上げる。最近、人気の高いアジア諸国への留学に関する英文を読んだ上で、各自が、語学留学するなら、どこの国へ行きたいか、その理由などを明確にした上で、意見交換を行う。
12	プレゼンテーション準備と確認	13、14 回めの講義で行うプレゼンテーションに関する説明を行い、各自で準備を進める。
13	プレゼンテーション１	各学生が今までに講義で扱ったトピックから１つを選び、クラス全体に発表する１回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
14	プレゼンテーション２ 小テストとまとめ	各学生が今までに講義で扱ったトピックから１つを選び、クラス全体に発表する２回目。 春学期に扱った語彙を中心とする小テストも実施。学びを総括する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定された Unit を事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。Listening Dictation 問題は講義内で行うので予習不要。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。
準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。
準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

【テキスト（教科書）】

英語で考え、英語で発信する 2　　Two Sides to Every Discussion 2
Jonathan Lynch / 委文　光太郎 著
成美堂 2020 年　1,900 円（税込 2,090 円）

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

平常点 40 %　発表 40 %　小テスト 20 % 遅刻は厳禁。授業開始時刻から 30 分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、４回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違えを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

【学生が準備すべき機器他】

電子辞書を必ず持参すること

【Outline and objectives】

This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**世界の中の日本**

猪俣　佳瑞美

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**1 単位**
法 2 年：初級／日本語／世界の中の日本
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English1,2 での学びを踏まえ、４技能（英語を読み、聞き、書き、話す力）の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、各トピックを国内に存在する身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。

【到達目標】
講義の到達目標は、以下である。
・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。
・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。
・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。
・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。
・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
各 Unit を１回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。リスニング練習や、日本語で伝えたいことを英語にする活動などにおいて、講師は実践的且つ具体的なフィードバックを行い、各学生のスキルアップに取り組む。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンデマンド授業 (資料型) で行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	秋学期スタートにあたって	夏休みにあったことを英語で話す 秋学期の講義進め方確認 次講義の事前学習範囲の確認
2	Unit 11　More Foreign Visitors	インバウンドについて考える。日本を訪れる外国人観光客に関する英文を読んだ上で、東京オリンピックも踏まえ、各学生が感じていることを英語でまとめ、意見交換する。
3	Unit 12 New Year's Eve Fireworks	「年越しイベントとしての花火大会」の実施を考える。日本では、夏に行われる花火大会だが、海外では大晦日のイベントとして人気が高い。その理由を考えながら、日本文化として花火大会が持つ意味を英語で伝える練習も行う。
4	Unit 13　April Fools'Day in Japan	「エイプリルフール」について考える。海外と日本のエイプリルフールを比較し、日本人の傾向を述べた英文を読んだ上で、各自がエイプリルフールに関して考えていることを英語でまとめ、意見交換を行う。
5	Unit 14 Summer-Vacation Assignments	「夏休みの宿題」について考える。日本の小中学校における夏休みの宿題に関する英文を読んだ上で、各自が自身の体験を踏まえ、その功罪を客観的に分析し、英語での意見交換を行う。
6	Unit 15 Halloween Is Best!	日本で楽しまれている「外国のお祭り」について考える。特に昨今、広く浸透し、時に問題点も指摘されているハロウィーンを取り上げ、各自の意見を理論的にまとめ、意見交換を行う。
7	Unit 16 Valentine's Day in Japan	「日本のバレンタインデー」について考える。海外との習慣の違いなどを踏まえた英文を読んだ上で、日本独自に発展したバレンタインデーを英語で説明できるよう練習を行う。最後には、各自のバレンタインデーに対する見解を英語で述べ合う。
8	Unit 17 Smartphone Lock Screens	「スマートフォンのロック」及び「ロック解除方法」について考える。日常で行っている行為を英語で表現するために必要な語彙を増やし、個人情報を守るために必要だと考えていることを英語で伝える練習を行う。
9	Unit 18 YouTube vs. Normal TV	「テレビ番組」と「YouTube」について考える。２つのメディアを比較した英文を読んだ上で、各自がそれぞれのメディアに対して感じていることを述べ合い、それぞれのメディアをどのように利用しているのか情報交換を行う。
10	Unit 19　Internet vs. Bricks-and-Mortar	「買い物」について考える。特にオンラインショップと実店舗を比較した英文を読んだ上で、各自が買い物をするときに重視していることや注意していることなど、身近な内容をわかりやすく英語で説明する練習を行う。
11	Unit 20 Translation Software	「翻訳ソフト」について考える。英語の宿題に翻訳ソフトを使用するべきか否かを取り上げた英文を読んだ上で、各自が立場を明らかにした上で、賛成または反対の意見を客観的に述べ、議論を行う。
12	プレゼンテーション１	各学生が今までに講義で扱ったトピックから１つを選び、クラス全体に発表する１回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
13	プレゼンテーション２	各学生が今までに講義で扱ったトピックから１つを選び、クラス全体に発表する２回目。

14	小テストとまとめ	秋学期に扱った語彙などを中心とする小テストを実施。学びを総括する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4
hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.
準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定された Unit を事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。Listening Dictation 問題は講義内で行うので予習不要。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。
準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。
準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

【テキスト（教科書）】
英語で考え、英語で発信する 2　　Two Sides to Every Discussion 2
Jonathan Lynch / 委文　光太郎 著
成美堂 2020 年　1,900 円（税込 2,090 円）

【参考書】
特になし

【成績評価の方法と基準】
平常点 40 %　発表 40 %　小テスト 20 % 遅刻は厳禁。授業開始時刻から 30 分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、4 回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】
英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違えを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

【学生が準備すべき機器他】
電子辞書を必ず持参すること

【Outline and objectives】
This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Modern and Future society

ALAN M NICHOLLS

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：上級／英語／現代の諸相
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This English 3 course builds upon the skills and knowledge students gained in English 1 and English 2. and requires students to exercise all four communication skills: reading, writing, listening and speaking. The course explores different topics related to "Modern and Future Society", from the perspectives of an international journalist. The course will compare Japanese society/lifestyle and other cultures. There are three major themes of the course which are inter-related:
1) The importance of food in cultures
2) Meeting people from different cultures
3) Living in different cities

【到達目標】
Students will enhance their English reading skills and critical thinking through reading various texts and will deepen their understanding of different cultures in the process. Students will improve their communication ability by practicing voicing their opinions about important issues related to society and lifestyle.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
The textbook for this subject will be supplemented by additional BBC News articles or TED Talks, that will require comprehension analysis. Students will be required to prepare questions for discussion in small (random) groups and present their group opinions to the class.
All assignments will be distributed, submitted and returned to students digitally via Google Classroom. Written assignments will be returned with detailed comments on how students can improve their writing skills.
This is an online course and all lessons will be taught using Zoom.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction	Overview and join CMS. Grading and Attendance Basic structures review
2	Food cultures	Listening: Vocabulary Climate and food
3	Food culture	Speaking: Food staples Describing food

4	Food culture	Reading and Writing: Japanese food Video: Different food
5	Meeting people from other cultures	Vocabulary: Describe life experience Small talk topics
6	Meeting people from other cultures	Speaking: "Breaking the Ice" Overcome language barriers
7	Presentation:	Small group presentations. chanting for rhythm and metre.
8	Urbanization	Listening and Note taking Video and Script. Changing cities
9	Urbanisation	Vocabulary: The future of cities. Video: ECO cities
10	Urbanisation	Speaking: What more do we need to make a great city?
11	Urbanisation	BBC Articles: The future of Transportation
12	Presentations	How will technologies change our cities.
13	BBC Articles: Synthetic Food	Short presentation on the pros and cons of synthetic protein.
14	Bring it all together	Review of Topics discussed in course.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around 2 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.
There will be some short, simple, written homework assignments designed to test the students understanding of the ideas presented in the major themes of the course. Each homework assignment will be 10% of total course value.

【テキスト（教科書）】

World English 2, (3rd Edition), Kristin L. Johannsen and Rebecca Tarver Chase, CENGAGE LEARNING

【参考書】

To be advised

【成績評価の方法と基準】

Homework Assignments: 40%
Classroom Worksheets: 40%
Pair and Group Participation: 20%
There will be 10 assessments during the semester. Each assessment will have a course value of 10%.
In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable

【学生が準備すべき機器他】

Please be able to access Japanese/English and English/English Dictionaries. A Thesaurus will also be useful. Apps for smartphones / mobile devices are acceptable.
Also, a portable device that supports a Word Processor (all assignments should be submitted in Google Docs format)
Access to Zoom (Zoom.us) is required. Students will be required to use headphones if joining the lesson from Hosei University classrooms.
Students should know their Hosei University Gmail account details.

【その他の重要事項】

We will use Google “Classroom” to send, submit and record all assignments. Students will be required to join the subject using “Classroom” and will be required to change their profile on Gmail with their "Class Number). Please download Google Classroom to your device before our first class. Course code is: exh63bk

【Outline and objectives】

This English 3 course builds upon the skills and knowledge students gained in English 1 and English 2. and requires students to exercise all four communication skills: reading, writing, listening and speaking. The course explores different topics related to "Modern and Future Society", from the perspectives of an international journalist. The course will compare Japanese society/lifestyle and other cultures. There are three major themes of the course which are inter-related:
1) The importance of food in cultures
2) Meeting people from different cultures
3) Living in different cities

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Modern and Future Society

ALAN M NICHOLLS

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：上級／英語／現代の諸相
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This English 3 course builds upon the skills and knowledge students gained in English 1, English 2 and English 3 1. It requires students to exercise all four communication skills: reading, writing, listening and speaking. The course explores different Aspects of Modern and Future society The course will compare Japanese society/lifestyle and other cultures. There are three major themes of the course which are inter-related:
1) Health and health systems
2) Facing and overcoming challenges
3) Change and change management

【到達目標】
Students will enhance their English reading skills and critical thinking through reading various articles and will deepen their understanding of different cultures. Students will improve their communication ability by practicing voicing their opinions, in small groups, about important issues related to society and lifestyle.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
The textbook for this subject will be supplemented by additional BBC World News articles or TED topics, that will require comprehension analysis. Students will be required to prepare questions for discussion in small (random) groups and present their group opinions to the class.
All assignments will be distributed, submitted and returned to students digitally via Google Classroom. Written assignments will be returned with detailed comments on how students can improve their writing skills.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction	Overview, Grading and Attendance. Organs and systems. Comparatives and superlatives
2	Health and Health systems	Listening: Genetics vs lifestyle
3	Health and Health systems	Reading: Natural Remedies
4	Health and Health systems	Video: The Human body
5	Facing and overcoming challenges	Vocabulary of "challenge". Practice using Basic Past structures
6	Facing and overcoming challenges	Speaking about past accomplishments.
7	Facing and overcoming challenges	Reading / Writing about challenges Video: A challenging vocation
8	Change and Change management	Vocabulary of life stages. Unfinished business
9	Change and Change management	Listening: Life stages Vocabulary expansion adjectives and adjective opposites
10	Change and Change management	Video 1 Overcoming change. Video 2: Cultural differences
11	Change and Change management	TED Video: Economics, Technology and social equity
12	Changes in Technology	Group presentation about a BBC Article on new technology.
13	Changes in technology	Our aging society and do we really want to live forever?
14	Bring it all together	TED Talk: Critical thinking when watching a presentation.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
University guidelines suggest preparation and review are around 2 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.
There will be some short, simple, written homework assignments designed to test the students understanding of the ideas presented in the major themes of the course. Each homework assignment will be 10% of total course value.

【テキスト（教科書）】
World English 2, (3rd Edition), Kristin L. Johannsen and Rebecca Tarver Chase, CENGAGE LEARNING

【参考書】
To be advised

【成績評価の方法と基準】
Homework Assignments: 40%
Classroom Worksheets: 40%
Pair and Group Participation: 20%
There will be 10 assessments during the semester. Each assessment will have a course value of 10%.
In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

【学生の意見等からの気づき】
Not applicable

【学生が準備すべき機器他】
Please bring Japanese/English and English/English Dictionaries.
A Thesaurus will also be useful. Apps for smartphones / mobile devices are acceptable.
Also, a portable device that supports a Word Processor (all assignments should be submitted in Google Docs format)
Access to Cloud computing will be required.
Voice recognition software may be an advantage.

【その他の重要事項】
We will use Google “Classroom” to send, submit and record all assignments. Students will be required to join the subject using “Classroom” and will be required to change their profile on Gmail with their "Class Number". The Google Classroom course code is: bovlsbc

【Outline and objectives】
This English 3 course builds upon the skills and knowledge students gained in English 1, English 2 and English 3 1. It requires students to exercise all four communication skills: reading, writing, listening and speaking. The course explores different Aspects of Modern and Future society The course will compare Japanese society/lifestyle and other cultures. There are three major themes of the course which are inter-related:
1) Health and health systems
2) Facing and overcoming challenges
3) Change and change management

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Aspects of the English Speaking World

ジョナサン・エイブル

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：上級／英語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English.
Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.

【到達目標】
Students will read, write hear and speak about topics relevant to their lives, studies and futures. The main sources will be in British English, but cultures across the world - not only Anglophone - will be included in the sources used.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
This is a hybrid class, and we will meet some weeks in person and some weeks on Zoom.
Please see Hoppii for details.In each class reading and listening materials will be the starting point for discussion and information processing. In alternate weeks a writing exercise will be included with an emphasis on accurate self-expression. This work will be returned individually with corrections and comments.
There will also be a group presentation exercise which will focus on cooperative communication and public speaking.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction.	Class methods and familiarisation with types of material.
2	A Place in the World 1	Global Perspectives.
3	A Place in the World 2	How Japan is Viewed Abroad.
4	Tradition 1	How History Informs our Present.
5	Tradition 2	Tradition Acros the English Speaking World.
6	Popular Culture 1	The Fast Pace of Fashion.
7	Popular Culture 2	How Japanese Popular Culture Influences Others
8	Presentation Preparation	Topics, Groups and Ideas.
9	Presentations	Group Presentations In Class.
10	Media 1	Where We Get our News.

11	Media 2	Advertising and Commercial Communication.
12	Media 3	Movies and TV. How Entertainment Works.
13	Hello and Goodbye.	How We Meet and Take Our Leave.
14	Final Examination.	Self-assessment and Interviews.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Text Previews and Preparation for Presentations in class will be expected. The task will be set each week as required.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
Materials will be provided. See references.

【参考書】
NHK/NHK Educational
Japan Times
BBC News
British Council online resources (Word on the Street et al.)
Channel 4 News (UK)
CNN
Newspapers, Magazines and Periodicals as relevant.

【成績評価の方法と基準】
Writing 25%
Presentation 15%
Class Participation 30%
Final Interview Test 30%
In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】
N/A

【Outline and objectives】
English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English.
Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Aspects of the English-speaking world: Art-Based Learning of S

石原　紀子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：上級／英語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
While exercising the four skills of listening, speaking, reading, and writing in English in an integrated manner, you will be exposed to artistic expressions of social activism in the world. You will learn the language presented in the works as well as the messages conveyed through the activism and its social, historical, and political backgrounds. You will also have a chance to consider the relationship between art and social activism, namely, the role that various forms of art plays in maintaining, restoring, regaining, or enhancing human rights in the world.

【到達目標】
This course is designed to develop your English proficiency further as you learn about various cultural and social practices of the English-speaking world. You will also learn to think critically about important issues that surround us today and develop the ability to effectively express your own ideas, feelings, and opinions. The main goal is communication, not translation or accuracy. You will become aware of some issues related to human rights and able to express your ideas and questions about them in English. You will also gain an enhanced understanding of global cultures.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
この授業はオンライン（リアルタイム配信型）です。すべての回を Zoom で実施します 。初回授業にて詳しい説明をしますので、授業支援システムに掲載される Zoom の接続法を参照して必ず出席してください。This is an online, real-time delivery course; every class will be taught on Zoom. Please refer to the instructions on Hoppii on how to connect to Zoom to attend the first class online, in which more detail will be explained.
Before class, read the assigned pages of the textbook and study the vocabulary and cultural background on our own. In class you will have a chance to appreciate artistic expressions. You will also be asked to exchange your ideas and feelings and discuss relevant issues in pairs or small groups. You will also be giving presentations about your chosen humanitarian activist. You are encouraged to actively participate in the task/problem-based learning (TBL/PBL) through group work. Feedback will be given orally in interaction throughout the course. Written feedback will be provided for your written papers within a week of submission.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction	Course information, getting to know each other

2	Poetry, Marshall Rosenberg	Learning language from poetry, Nonviolent communication
3	Poetry, Mother Teresa	Developing language identities through poetry
4	Poetry or film, Mahatma & Kasturabai Gandhi	Poetry or film for art and social justice
5	Story-telling, Nelson Mandela & Desmond Tutu	Learning language through narratives
6	Paintings, photographs, and peace linguistics, Mairead Corrigan McGuire& Betty Williams	Language learning and peace
7	Music, H.H. The Dalai Lama	Learning language through music
8	Music	Social activism through music
9	Children's literature, Peter Benenson	Social justice education in picture books and kamishibai theater
10	Learning language through literature, Sister Chan Khong	Learning language through literature
11	Novels	Learning language through literature
12	Film, Meena Keshwar Kamal	Learning language through (documentary) film
13	Public speeches	Learning language through the art of speech
14	Wrap-up	Reflection an the future

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

You must finish assigned reading or listening tasks and other creative assignments before coming to class. As you will be discussing your ideas, reactions, and questions, you are expected to become familiar with the topic of the week and come ready for discussion. Preview and review your lesson thoroughly after class for at least one hour each week.
University guidelines suggest the preparation and review of around an hour a week for a one-credit course. 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Censor, Meera. (2011). Humanitarians for justice, nonviolence, and peace. San Bernadino, California.
Purchase a copy of this textbook in the Sanseido bookstore on campus. Handouts related to the course content may be provided in class. Bring a notebook or loose sheets of paper.

【参考書】

Meera Censor website: https://www.meeracensor.com/
The Center for Nonviolent Communication: https://www.cnvc.org/
Amnesty International: https://www.amnesty.org/en/
Amnesty International in Japanese: https://www.amnesty.or.jp/

【成績評価の方法と基準】

You will receive a formal evaluation of your work at the end of the term. The grade on a late assignment will be lowered. You will be graded on:
1) Attendance and participation (20%)*
2) Online activities and discussions (30%)
3) Presentation on a social activist (30%)
4) Reflective writing (20%)
* Regular attendance is essential in order to benefit from the interactive nature of this course. You will not be able to pass this course if you miss more than three class periods a semester except in extreme circumstances.

【学生の意見等からの気づき】

Past students of this course enjoyed the interactive nature of this course and appreciated learning about social issues and activism through artistic expressions. I am also going to try my best to provide an opportunity for you to extensively interact with American university students.

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム、Google Classroom、Zoom 等を使用して授業を行いますので、大学のアカウントでログインし、大学の電子メールを毎日確認してください。大学で Zoom 授業を受ける際にはマイク付きのヘッドセットが必要です。Please be prepared to use Hoppii, Google Classroom, and Zoom with your university account and check your university email daily. You will need to use a headset with a microphone if you are attending class on campus.

【その他の重要事項】

2021 年度は、感染状況など社会情勢により授業形態を柔軟に変更する可能性があります。詳細は授業開始前に授業支援システムにより周知します。

【Outline and objectives】

While exercising the four skills of listening, speaking, reading, and writing in English in an integrated manner, you will be exposed to artistic expressions of social activism in the world. You will learn the language presented in the works as well as the messages conveyed through the activism and its social, historical, and political backgrounds. You will also have a chance to consider the relationship between art and social activism, namely, the role that various forms of art plays in maintaining, restoring, regaining, or enhancing human rights in the world.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Undercover Boss - English in Workplaces

Robert D. Hinton

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：上級／英語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This is a content based course aimed at helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of American culture and society.

【到達目標】
The goal of this course is to increase fluency, accuracy and confidence in the areas of listening, reading and writing. Students will also learn about the inner workings of American businesses and companies from the viewpoint of the workers and the CEOs and how those businesses impact American culture and society.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Due to the continued effect of the pandemic, classes for the Spring semester will be held on line, in an on-demand style. Each Friday, materials and weekly assignments will be found on the HOPPI learning system. Students will have one week to complete the assignments and enter their work into the HOPPI system. The materials will include handouts, worksheets and videos.
In this course students will have many opportunities to improve listening, reading and writing skills. Students will be encouraged to learn these skills through a variety of communicative and task based activities. Each week, students will participate in a myriad of activities to advance listening, reading and writing skills. Particular attention will be focused on improving communication skills through active listening and writing. Students will be empowered with the skills to become more confident communicators.
Each week students will see "real life" business dealings using "Undercover Boss", an American reality show. As they watch, the students will complete a listening comprehension worksheet and take notes about different aspects of the company, the workers and the CEO. After each program, students will check their listening comprehension and prepare a report related to that specific episode. This class incorporates Active Learning and task based activities.
Students will receive written comments and a score for all assignments and presentations. This will be done on weekly reports submitted on the HOPPI learning system.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
Week 1	The beginning of Undercover Boss - 7-Eleven	Research about 7-Elevens around the world
Week 2	Herschend Entertainment	Write a report about an entertainment venue
Week 3	Roto Rooter	Research Roto Rooter website and a website of a comparable Japanese company
Week 4	CSI Commerce	A look at the importance of ethics in business dealings
Week 5	Loeman's	Raising money for a charity - how businesses contribute to society
Week 6	Club Med	Write a one page report about a special holiday
Week 7	Alfred Angelo	Research wedding customs and cultures around the world, write a 5 paragraph essay
Week 8	Menchies	Report about food waste and ways to increase it
Week 9	Waste Management	Creating a greener planet
Week 10	Cinnabon	Fast food retail outlet research and report
Week 11	Dutch Bros Coffee	Report about an issue related to the coffee industry
Week 12	Mohecan Sun	Minority group research and report
Week 13	Peavy Electronics	Environmental Impact of companies
Week 14	Hudson Group	Write about a travel experience

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Each week, students will be asked to prepare for the upcoming class. This will include activities such as: researching a specific topic, brainstorming and writing a report. University guidelines suggest that preparation and review are around 4 hours for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
No textbook will be used in this course.

【参考書】
None.

【成績評価の方法と基準】
Students will be evaluated based on weekly homework and reports (100%). In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester to receive academic credit for the course.

【学生の意見等からの気づき】
The instructor appreciates student feedback and alters materials and procedures based on that feedback.

【Outline and objectives】
This course is designed to introduce students to a variety of topics related to business, culture and society.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Undercover Boss - English in Workplaces

Robert D. Hinton

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：上級／英語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This is a content based course aimed at helping
students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of American
culture and society.

【到達目標】
The goal of this course is to increase fluency,
accuracy and confidence in the areas of speaking,listening, reading
and writing. Students will also learn about the inner workings of American businesses and companies from the viewpoint of the workers and their CEOs and how those businesses impact American culture and society.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Each week students will see "real life" business dealings by way of "Undercover Boss", an American reality show. As they watch, students will complete a listening comprehension worksheet and take notes about different aspects of the company, the workers and the CEO. After each program, students will participate is discussions and do activities related to that specific episode. This class incorporates Active Learning and task based activities.
Students will receive written comments and a score for all assignments and presentations. This will be done for weekly reports submitted on HOPPI.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
Week 1	Summer	An interactive communication activity
Week 2	Baha Fresh	Writing a restaurant review/critique
Week 3	Stella and Dot	Discussion of retail outlets
Week 4	Maaco	Discussion of on-line shopping and websites
Week 5	Family Dollar	Dealing with customer/employee service complaints
Week 6	Kendal Jackson Wine Estates	Discuss 3 reasons for each of the 5 chosen CEOs or owners
Week 7	Subway	Group work for CEO or owner presentation
Week 8	Donato's	CEO/owner presentations
Week 9	University of California	Student research about study abroad
Week 10	Popeye's	Share research findings of fast food retail outlets - small group discussion
Week 11	Moe's Southwest grill	Presentation - recipe
Week 12	Lucky Strike Lanes	Sports report and discussion
Week 13	Gigi's Cupcakes	Design a small business
Week 14	Build A Bear	Writing about a favorite childhood memory

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Each week, students will be asked to prepare for the upcoming class. This will include activities such as: researching a specific topic, brainstorming, writing a report and/or preparing for discussions and presentations

【テキスト（教科書）】
No text will be used in this course.

【参考書】
None.

【成績評価の方法と基準】
Students will be evaluated based on weekly homework (40%), classroom activities such as: listening comprehension worksheets, note taking, participation in discussions (40%), and presentations (20%). In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester to receive academic credit for the course.

【学生の意見等からの気づき】
The instructor appreciates student feedback and alters materials and procedures based on that feedback.

【Outline and objectives】
This course is designed to introduce students to aspects related to business, culture and society

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Current Issues in the English Speaking World: Part I

GENC BURCU

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：上級／英語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
In this course, students will improve their confidence and skills in overall English communication while familiarizing themselves with the contemporary cultural, political, social concerns of the English speaking world.

【到達目標】
In this course, students will read a variety of content-based articles, and readings will be supplemented with listening exercises to help students improve their fluency in English. The classes are designed for pair and group discussions to provide the students with a friendly environment to express themselves in English. Students will also be required to complete some writing tasks such as paragraphs and short essays to express their ideas in a more organized way.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Students will participate in a variety of activities that involve all four skills, but with a special emphasis on reading and speaking. Students will be asked to read short articles, prepare for discussion, usually in pairs or groups. Feedback on all assignments will be provided during the class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Course orientation	Getting to know each other; student introductions & class guidelines.
2	Unit 1: The Urge to Explore What is scientific curiosity?	To warm up, students will make some discussion on the main topic of the unit. They will start reading the assigned article.
3	Unit 1: The Urge to Explore Current science in the English Speaking World	Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.
4	Unit 1: The Urge to Explore Current scientific developments	Listening exercise and a supplemental newspaper article on the topic to expand the discussion. Writing assignment.
5	Unit 2: Success and Failure An overall understanding of the education system in the English speaking countries	To warm up, students will make some discussion on the main topic of the unit. They will start reading the assigned article.
6	Unit 2: Success and Failure Failures in the Education System	Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.
7	Unit 2: Success and Failure Higher Education in the English Speaking World	Listening exercise and a supplemental newspaper article on the topic to expand the discussion. Writing assignment.
8	Group Presentations Unit 3:Power Shifts Business world in the English speaking countries	Each group will deliver a presentation following the course contents and objectives. In the remaining time, students will start with unit 3 topic discussion.
9	Unit 3:Power Shifts Business and Gender: Equality in the workplace	Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.
10	Unit 3: Power Shifts Gender Issues: Representation in different contexts	Listening exercise and a supplemental newspaper article on the topic to expand the discussion. Writing assignment.
11	Unit 4:Creative Sparks Media and Literature What is creativity?	To warm up, students will make some discussion on the main topic of the unit. They will start reading the assigned article.
12	Unit 4: Creative Sparks Media and Literature Famous writers	Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.
13	Unit 4: Creative Sparks Media and Literature Journalistic writing	Listening exercise and a supplemental newspaper article on the topic to expand the discussion. Writing assignment.
14	Final Exam	Final exam of the semester will be conducted

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students are expected to complete assignments every week in preparation for discussion. The assignments might require research.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
21st Century Reading: Creative thinking and reading with TED talks 4, Cengage Publishing and written by Laurie Blass, and Jessica Williams. ￥ 2840
Additional newspaper articles will also be provided by the instructor in class.

【参考書】
These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments.

https://japantoday.com/
https://www.japantimes.co.jp/news/
https://www.yahoo.com/news/
http://www.bbc.com/news
https://news.google.com/news/

【成績評価の方法と基準】
Class participation: 20%
Group Presentation: 30%
Writing assignments: 10%
Final Exam: 40%
More than 3 absences will result in automatic failure of the course.

【学生の意見等からの気づき】
Listening exercises will be emphasized more.

【Outline and objectives】
This is a course aiming to assist students in becoming fluent English speakers by sharing their ideas on cultural and social content popularly discussed in the English speaking world.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Current Issues in the English Speaking World: Part II

GENC BURCU

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：上級／英語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This is the second part of the course, “Current Issues in the English Speaking World,” aiming to continue helping students to become more fluent English speakers by sharing their ideas on cultural and social content popularly discussed in the English speaking world.

【到達目標】
In this course, students will read a variety of content-based articles, and readings will be supplemented with listening exercises to help students improve their fluency in English. The classes are designed for pair and group discussions to provide the students with a friendly environment to express themselves in English. Students will also be required to complete some writing tasks such as paragraphs and short essays to express their ideas in a more organized way.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Students will participate in a variety of activities that involve all four skills, but with a special emphasis on reading and speaking. Students will be asked to read short articles, prepare for discussion, usually in pairs or groups. Feedback on all assignments will be provided during the class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Course orientation	Introduction & class guidelines
2	Unit 5: Hope and Quality Social Equality in the English Speaking World	To warm up, students will make some discussion on the main topic of the unit. They will start reading the assigned article.
3	Unit 5: Hope and Equality Living on a Dollar a Day	Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.
4	Unit 5: Hope and Equality Invisible Poverty	Listening exercise and a supplemental newspaper article on the topic to expand the discussion. Writing assignment.
5	Unit 6: Backing Up History Why Archaeology?	To warm up, students will make some discussion on the main topic of the unit. They will start reading the assigned article.

6	Unit 6: Backing Up History Scientific developments in archaeological research	Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.
7	Unit 6: Backing Up History Ancient Wonders Captured in 3-D	Listening exercise and a supplemental newspaper article on the topic to expand the discussion. Writing assignment.
8	Group Presentations Unit 7: Food for All Superfood and Supplement Boom	Each group will deliver a presentation following the course contents and objectives. In the remaining time, students will start with unit 3 topic discussion.
9	Unit 7: Food for All Balanced Diet vs. Snacks	Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.
10	Unit 7: Food for All Excessive Consumption and Food Waste	Listening exercise and a supplemental newspaper article on the topic to expand the discussion. Writing assignment.
11	Unit 8: Future Jobs Changing Business World in the English Speaking Countries	To warm up, students will make some discussion on the main topic of the unit. They will start reading the assigned article.
12	Unit 8: Future Jobs Predicting some problems	Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.
13	Unit 8: Future Jobs Recipes for Innovation	Listening exercise and a supplemental newspaper article on the topic to expand the discussion. Writing assignment.
14	Final Exam	Final exam of the semester will be conducted

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students are expected to complete assignments every week in preparation for discussion. The assignments might require research.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
21st Century Reading: Creative thinking and reading with TED talks 4, Cengage Publishing and written by Laurie Blass, and Jessica Williams (The same textbook from part I). ￥ 2840
Additional newspaper articles will also be provided by the instructor in class.

【参考書】
These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments.
https://japantoday.com/
https://www.japantimes.co.jp/news/
https://www.yahoo.com/news/
http://www.bbc.com/news
https://news.google.com/news/

【成績評価の方法と基準】
Class participation: 20%
Group Presentation: 30%
Writing assignments: 10%
Final Exam: 40%
More than 3 absences will result in automatic failure of the course.

【学生の意見等からの気づき】
Not applicable

【Outline and objectives】
This is the second part of the course, “Current Issues in the English Speaking World,” aiming to continue helping students to become more fluent English speakers by sharing their ideas on cultural and social content popularly discussed in the English speaking world.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：English Communication & Conversing

Robert　Durham

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：上級／英語／世界の中の日本
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This is a Spring semester ONLINE English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.
During this Spring Semester/Pandemic, we will be using 'ONLINE Learning' to study together, via Skype/Zoom. Cameras might not be used, to protect privacy...and to save Internet Bandwidth/speed. Please prepare your computer/Wi-Fi/headset/microphone/FREE Skype/FREE Zoom accounts; & please test them WELL, long before we meet.

【到達目標】
Students will learn about cultures & social practices from around the English-speaking world; and will also learn how to explain Japanese culture to English-speaking people in this Global Society. Students will have to learn how to think critically [in-depth] about important Global Issues; and will have to effectively express their own thoughts and opinions in English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Students will be challenged to integrate their skills in English listening, speaking, reading, & writing in an advanced manner, via exposure to authentic English materials such as English News videos & audio, and inspirational video/audio talks (including TED Talks). Students will then be required to practice their English communication skills via pair practice conversations with their classmates & professor.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	[NOTE: All SCHEDULE items are tentative...& might change, depending on class level(s); student abilities; & recent world events.] + INTRODUCTIONS, in smooth, natural, friendly English.	Students will learn how to introduce themselves to new people, in English, in social situations.
第 2 回	News video #1/TED Talk video #1.	Introduction vocabulary; & 'EQ' responses thereto. + Students will be asked to express English opinions, re: News video and/or TED Talk #1.
第 3 回	News or TED video #1, part 2; & using the Future tense in English, to explain your Golden Week plans.	How to say your own opinions, in English...and how to EXPLAIN them. + Using the Future tense in English, to explain your Golden Week plans. Active English spoken expressions, re: Golden Week future plans.
第 4 回	Actively explaining your Golden Week activities, in spoken English; and Past tense.	Actively speaking about Golden Week, in spoken English, using the Past Tense. News video/TED Talk #2.
第 5 回	"How are you?"	Pairwork will be used to practice many, various ways to reply dynamically in English, to questions such as "How's it going?" News video/TED Talk #2, part 2.
第 6 回	Expressing your opinions about Current Affairs News videos/TED Talks, in active, dynamic spoken English.	Pair practice: speaking your opinions about News videos/TED Talks, in active English.
第 7 回	Video documentary or News clips, with questions about it.	Students will learn how to speak their opinions (in English) to classmates, about a Current Affairs topic.
第 8 回	News or TED Talk video #4, part 1.	Pair practice in spoken English, to explain student opinions about the topics raised by the video.
第 9 回	News or TED Talk video #4, part 2.	Explaining, in spoken English, student opinions about the topics in the video.
第 10 回	Use of many different English adjectives, to explain opinions and comments.	Students will explain their opinions about many current topics to classmates, in smooth, Modern English.
第 11 回	News or TED Talk video #5, part 1.	Students will watch the News or TED video clip...and will be asked to discuss (& give opinions about) that video, in smooth, spoken English.
第 12 回	News or TED Talk video #5, part 2.	Students will watch the News or TED video clip; will be asked to answer questions about it; and will then discuss (& give opinions about) that video, in smooth, spoken English.
第 13 回	Review of Exam topics	Review & practice of topics studied and discussed during the Spring 2021 semester.
第 14 回	Speaking exam.	Speaking exam. Students will be asked to reply, in smooth spoken English, to questions about the topics that we learned & practiced in the Spring semester.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Please do homework well before the deadline [NOT ”ichiyazukke”]; please learn to wake up early, and to arrive in class ON TIME [not late]; please don’t work at part-time jobs excessively; and please keep a weekly notebook/binder for this class, using pen.
University guidelines suggest preparation and review are around four hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
A textbook might be chosen, depending on students levels & requirements. Also, some handouts will be distributed to students. In addition, some News videos & TED Talks may be assigned as in-class or at-home viewing (with questions about those videos).

【参考書】
–

【成績評価の方法と基準】
Tentatively, grading may depend on in-class responses (approximately 25%); speaking exams spoken replies (approximately 25%); attendance/on-time arrival (approximately 15%); class participation/motivation (20%); and homework (15%).
*IMPORTANT: A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE LATE IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE. *

【学生の意見等からの気づき】
–

【学生が準備すべき機器他】
Students will need ’ONLINE Learning’ equipment: a computer;FAST HOME Wi-Fi (NOT cafe Internet); FREE downloads of Skype & Zoom; computer microphone; AND headphones/earphones. [Cameras might not be used, to protect privacy...and to save Internet Bandwidth/speed.]
Please prepare your computer/ FAST HOME Wi-Fi/ headphones/ microphone/ FREE Skype account/ FREE Zoom accounts; & please test them WELL, long before we meet.
Please set up your FREE gmail address with a ’Romaji’ name such as ’KenTanaka@gmail.com’, so that we can use Google Classroom. [Yes, you CAN set up a SECOND, free, ’Romaji’ gmail address: it’s easy.]
Please e-mail your teacher, LONG before our class starts, at tonydur2020@gmail.com.

【その他の重要事項】
Please participate ACTIVELY in class; and please speak together with your classmates, using lots of ’small talk’, and good ’EQ’ [’kokoro no chinoshisu’]. If you’re not sure about how to answer, please speak up and GUESS...instead of reflexively answering ”I don’t know”.
* A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE LATE IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE. *

【Outline and objectives】
This is a Spring semester ONLINE English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.
Please prepare your computer/FAST HOME Wi-Fi/headset/microphone/FREE Skype/FREE Zoom accounts; & please test them WELL, long before we meet.
Cameras might not be used, to protect privacy...and to save Internet Bandwidth/speed.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：English Communication & Conversing

Robert　Durham

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：上級／英語／世界の中の日本
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This is a Fall semester ONLINE English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.
During this Fall Semester/Pandemic, we will be using ’ONLINE Learning’ to study together, via Skype/Zoom. Cameras might not be used, to protect privacy...and to save Internet Bandwidth/speed. Please prepare your computer/Wi-Fi/headset/microphone/FREE Skype/FREE Zoom accounts/FREE ’Romaji’ gmail account; & please test them WELL, long before we meet.

【到達目標】
The goal of this course is to get students to better speak, listen, read, write, & COMMUNICATE in smooth, modern English. Some grammar-correction of assignments/submissions will be necessary. Assignment-revising may also be required.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Students will be challenged to integrate their skills in English listening, speaking, reading, & writing in an advanced manner, via exposure to authentic English materials such as English News videos & audio, and inspirational video/audio talks (including TED Talks). Students will then be required to practice their English communication skills via pair practice conversations with their classmates & professor.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	[NOTE: All SCHEDULE items are tentative...& might change, depending on class level(s); student abilities; & recent world events/Pandemic issues.] + ”How was your Summer Break?”	Discussing Summer events in smooth, Modern English, using the English Past tense. + News video #1/TED Talk video #1.
第 2 回	News or TED video #1, part 2: asking students to express active opinions in English.	How to write and speak your own opinions, in English...and how to EXPLAIN them.

第 3 回	Asking & answering about subway/train directions, and/or street directions, in spoken English.	Students will learn and practice how to reply to requests for subway/train and/or street directions, in spoken English.
第 4 回	Hallowe'en, part 1: what are Hallowe'en customs; and in what countries has Hallowe'en traditionally been celebrated? [Using the FUTURE Tense, in English.]	Students will be asked to investigate, write down, and discuss Hallowe'en traditions, in English, using the FUTURE Tense.
第 5 回	Hallowe'en, part 2: Using 'would' & 'will'.	Students will pair-practice correct use of 'would' + past tense, & 'will' + future tense, to describe possible Hallowe'en costumes & activities.
第 6 回	News video/TED video #2. + Expressing your opinions about Current Affairs News videos, in English.	News/TED Talk #2: students will be asked to say their views/opinions, in active, dynamic spoken English.
第 7 回	News video/TED Talk #2 (continued), with questions about it.	Students will continue to speak their opinions (in English) to classmates, about a Current Affairs topic/TED Talk.
第 8 回	Thanksgiving: customs & traditions; and what you're thankful for.	Pair practice: "What are some things that you're thankful for?"
第 9 回	Thanksgiving (continued); and possibly a video/audio exercise about Thanksgiving.	Students may be asked to answer questions about a video/audio exercise about Thanksgiving...and to pair-practice in spoken English, five things that they are thankful for.
第 10 回	"The Seven W's": (Questions about Who...?/What...?/When...?/Where...?/Why...?/ Which...?/ How...?)	Students will learn how to verbally ask others, and to reply in smooth English, to questions about "the Seven W's".
第 11 回	What are your plans for Christmas and OhShoGatsu? Also: English video/song exercise about Christmas.	Pair practice: students will be asked to write down & then practice verbally (in English) their Future plans for Christmas/ OhShoGatsu.
第 12 回	Discussing answers to the Christmas video/song exercise...and to Christ-mas/OhShoGatsu plans. + Review/prep for the Exam.	Students will answer Christmas video/song questions; and will actively speak about Christmas/OhShoGatsu plans, using polite FUTURE Tense English. +Review & practice of exam topics studied and discussed during the Fall 2021 semester.
第 13 回	SPEAKING exam, re: topics studied and discussed during the Fall 2021 semester.	Speaking exam. Students will be asked to reply, in smooth spoken English, to questions about the topics that we learned & practiced in the Fall semester.
第 14 回	"How was your OhShoGatsu?" + Students may be asked to speak about their Winter Break plans	Students will speak about their recent OhShoGatsu activities...and about their future Winter Break plans.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Please do homework well before the deadline [NOT "ichiyazuke]; please learn to wake up early, and to arrive in class ON TIME [not late]; please don't work at part-time jobs excessively; and please keep a weekly notebook/binder for this class, using pen. 本授業の準備学習・復習時間は各 1 時間を標準とします。

+ University guidelines suggest preparation and review of approximately 4 hours a week for a two-credit course; and approximately an hour or two hours a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

A textbook might be chosen, depending on students' levels & requirements. Also, some handouts will be distributed to students. In addition, some News videos & TED Talks may be assigned as in-class or at-home viewing (with questions about those videos).

【参考書】

–

【成績評価の方法と基準】

Tentatively, grading may depend on in-class responses (approximately 25%); speaking exams spoken replies (approximately 25%); attendance/on-time arrival (approximately 15%); class participation/motivation (20%); and homework (15%).

IMPORTANT: A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE 'LATE' IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE. MORE THAN THREE ABSENCES MAY RESULT IN FAILURE TO OBTAIN A CREDIT(S) FOR THIS CLASS.

【学生の意見等からの気づき】

–

【学生が準備すべき機器他】

Students will need 'ONLINE Learning' equipment: a computer; fast HOME Wi-Fi (NOT cafe Internet); FREE downloads of Skype & Zoom; computer microphone; AND headphones/earphones. [Cameras might not be used, to protect privacy...and to save Internet Bandwidth/speed.]

Please prepare your computer/ Wi-Fi/ headphones/ microphone/ FREE Skype account/ FREE Zoom account/ FREE 'Romaji' gmail account; & please test them WELL, long before we meet.

Please SOON set up your FREE gmail address with a 'Romaji' name such as 'KenTanaka@gmail.com', so that we can use Google Classroom. [Yes, you CAN set up a SECOND, free, 'Romaji' gmail address: it's easy.]

Please e-mail your teacher, LONG before our class starts, at tonydur2020@gmail.com.

【その他の重要事項】

Please participate ACTIVELY in class; and please speak together with your classmates, using lots of 'small talk'. If you're not sure about how to answer, please speak up and GUESS...instead of reflexively answering "I don't know".

* A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE LATE IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE.*

【Outline and objectives】

Students will learn about cultures & social practices from around the English-speaking world; and will also learn how to better explain Japanese culture to English-speaking people in this Global Society. Students will have to learn how to think critically [in-depth] about important Global Issues; and will have to effectively express their own thoughts and opinions in spoken and written English.

Cameras might not be used, to protect privacy...and to save Internet Bandwidth/speed. Please prepare your computer/Wi-Fi/headset/microphone/FREE Skype/FREE Zoom/FREE 'ro-maji' gmail accounts; & please test them WELL, long before we meet.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**現代アメリカの文化と社会**

榊原　益子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：上級／日本語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
超大国として世界に君臨していたアメリカは現在政治、経済、社会そして文化的において変換期にあると言える。ここでは、そのような動向を一般の人々の日常生活に焦点を当てアメリカ文化を学ぶ。さまざまなメディアから今のアメリカを表す記事を正確に読み取り指示された語数で日本語で要約し、さらに関連したトピックが与えられて、それについてパラグラフ・エッセイを書く。さらに英語運用能力を向上させるために、洗練された英文をまず聞くことから始め、英語というのは言語であり情報を伝える手段であるという鉄則を確認する為に、英語の音で情報を得て内容を把握できるようになることも重要である。つまり、英文は英語の音を表記化したものであるという認識から、読解はリスニングと連携しているはずで、それを効果的に実現する方法を学ぶ。端的に言うと、ネイティブスピーカーと同じ読み方で英文を読むのである。

【到達目標】
コミュニケーション能力につながる英文理解の方法であるスラッシュリーディングを習得する。従来の英文和訳とは違うコミュニケーション能力につながるリーディング習得を目指す。
そして、見落とせないのは、いかにアメリカに関する事象に関心を持つかが重要なのである。それこそが、それに関する新聞記事・雑誌・ネット上の情報に敏感になれるし、自分の興味をひくトピックも見えてくる。情報量こそコミュニケーションの鍵である。最終的には、自分の意見や独自の感想を発信することができるようになることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
この授業はオンデ゛マント゛ (資料型) で゛す。指示や課題を学習支援システムで゛配信します。
毎週、アメリカに関するさまざまのメデイアからのニュースなどを内容理解する。音声ファイルからの正確内容把握を目指す。最初の音声で、自分の理解度を把握する。聞き取れない部分は自分の脳内にその音が存在しないことを認識させる。英文のすべての音をインプットする。最終的なリスニングですべて音による理解をする。さらに、アメリカに関連する自分の興味ある情報をメディアから探し、自分の意見や独自の感想を発信する。
指定された語数で、その記事に関連したトピックを与えられ、paragraph/ essay を書く。それに対して添削されフィードバックを行い、直された箇所を再度チェックしていく。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	Yoga, Old but New（ヨガに見せられたアメリカ人とは？）音声ファイル	［事前学習］音声を聞き、文字をみないで内容を把握。その後、記事を読み、辞書なしで自分の語彙力のチェック。４０分。 ［事後学習］音読して、聞けない音を意味と文字と連結することで input する。
第 2 回	marked for life（tattoo をあなたは許せる？）：音声ファイル	音声で内容を把握。聞き取れない音を、後で意味と文字で一致させる。 summarization in Japanese & writing a paragraph / essay. [事前学習］CD の最初のリスニングで認知できない音の確認　４０分。 内容把握 ［事後学習］feedback を見て訂正された箇所をチェック。２０分。
第 3 回	a newspaper article	英字新聞の中の最新のアメリカに関する記事を読む。 summarization& writing a paragraph or an essay. ［事前学習］新聞記事を読む前に、headline と写真で記事内容を予測する。次に冒頭と最後の paragraph を読むことで最初の予測をさらに確実にする。語順通りに読み進めることで内容を把握。４０分。 ［事後学習］feedback で指摘された箇所を再度チェック。２０分。
第 4 回	自分の興味あるトピックを探し、発信。	アメリカに関する様々な情報で、自分が興味のある TOPIC について発信する。 [事前学習］さまざまなメデイアから興味のある記事を選ぶ。 summarization& writing an essay.　１時間 ［事後学習］feedback チェック。２０分。
第 5 回	Mac (the history of Mac)	自分の内容把握度を確認 内容理解　summarization & writing a paragraph / an essay ［事前学習］CD の音だけで内容を把握。その後テキストで文字と意味を連結する。４０分。 ［事後学習］　feedback をチェック。２０分。
第 6 回	Making the Grade	homework は必要？ 先生の評価の功罪。comprehension/ writing ［事前学習］CD を聞き内容把握。語順通りに迅速かつ正確に読み取る。４０分。 ［事後学習］feedback 20 分。
第 7 回	a newspaper article	英字新聞の中の最新のアメリカに関する記事を読む。 summarization& writing a paragraph or an essay. ［事前学習］新聞記事を読む前に、headline と写真で記事内容を予測する。次に冒頭と最後の paragraph を読むことで最初の予測をさらに確実にする。語順通りに読み進めることで内容を把握。４０分。 ［事後学習］feedback で指摘された箇所を再度チェック。２０分。
第 8 回	Coffee drinks for the Planet (Starbucks はお好き？）	最初のリスニングで内容理解度を認知。 内容把握 ［事前学習］語順通りに迅速かつ正確に読み取る。４０分。 ［事後学習］feedback 20 分。
第 9 回	See you in court（裁判所で会いましょう）：音声ファイル	訴訟王国のアメリカの現状。 comprehension/writing ［事前学習］語順通りに迅速かつ正確に読み取る。４０分。 ［事後学習］feedback 20 分。
第 10 回	Hollywood (あなたは映画好き？）	最初のリスニングで内容把握度を認知 内容理解 ［事前学習］語順通りに迅速かつ正確に読み取る。４０分。 ［事後学習］feedback 20 分。
第 11 回	(アメリカの人口構成の劇的変化による新たな社会統合モデルとは？)：音声ファイル	最終リスニングで内容理解の確認 comprehension/writing ［事前学習］語順通りに迅速かつ正確に読み取る。４０分。 ［事後学習］feedback 20 分。
第 12 回	choose a topic you're interested in. 自分なりに興味を持った現在アメリカで起こっている事象をまとめて発表	テーマはアメリカに関する文化、社会、政治などから多岐にわたって自分の関心のあるトピックについて情報を集め発表する。 [事前学習］さまざまなメデイアから興味のある記事を選ぶ。 summarization& writing an essay.　１時間 ［事後学習］feedback チェック。２０分。
第 13 回	学期末試験	topic などについては事前に知らせる。 [予習] 試験範囲を学習。2 時間。 [復習] 誤答し他箇所をチェック。２０分。
第 14 回	feedback of the final test	feedback された箇所を再確認。 [予習] 誤った箇所についての質問、疑問点をリストアップしておく。４０分。 [復習] 反省点をチェック。２０分。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習・復習、特に本文を完ぺきな発音で読めるように練習する。
とくに、毎週返される feedback 訂正された箇所を再度チェックする。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
no textbook to be used

【参考書】
特に指定しない

【成績評価の方法と基準】
期末試験４０％、エッセイライティング５０％、授業参加度合（質問、提出物期限厳守なども含む）１０％、４回以上欠席者には単位は認められない。

【学生の意見等からの気づき】
毎週の feedback によって writing skill 向上につながったということを受け、より詳細に添削していきたい。

【学生が準備すべき機器他】
PC or smartphone

【Outline and objectives】
America is a leading country to have a great impact worldwide in terms of politics, culture, economy and the other social phenomena. In recent days, after Trump's administration, America is facing a critical moment to survive the pandemic and save the American democracy. In this class, the students are exposed to update information about the current America so that they are able to get to know much about the contemporary America. Through summarizing an article and writing a paragraph and essay, they can strengthen the writing ability. Furthermore, by listening to the audio of a text, they are supposed to grab what's all about it without reading the text.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**現代アメリカの文化と社会**

榊原　益子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：上級／日本語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期と同じ方向性で実施するが、スラッシュリーディングの定着をさらに図る。それと同時に、音、意味、文字の３要素が一つになっている単語が, 音としてできるだけ多く脳内にインプットできるようにする。さらに効果的にプレゼンテーションができるように情報集めや発表方法を学ぶ。

【到達目標】
正確な発音を手に入れ、英文を迅速に読みこなせるようにする。
CE を文字から離れて音声のみで理解できることを目指す
情報が多く独自性のある英文を書くことが、聴衆にアピールするプレゼンテーションにつながることを認識して習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
毎週、アメリカに関するさまざまのメデイアからのニュースなどを内容理解する。グループに分かれお互いの理解を持ち寄り正確内容把握を目指す。
CD 利用の場合、まず、最初に CD を聞き自分の理解度を把握する。聞き取れない部分は自分の脳内にその音が存在しないことを認識させる。英文のすべての音をインプットする。最終的なリスニングですべて音による理解をする。さらに、アメリカに関連する自分の興味ある情報をメディアから探し、自分の意見や独自の感想を発信する。指定された語数で、その記事に関連したトピックを与えられ、paragraph/ essay を書く。それに対して添削されフィードバックを行い、直された箇所を再度チェックしていく。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	Food & Cuisine （アメリカ人の肥満の原因）	CD の最初のリスニングで内容把握度を確認 マーキング mumbling/overlapping 内容理解 [予習] アメリカ人の食生活について事前情報を持つ。２０分。 [復習] テキストの音読。語彙の確認。要約。４０分。
第 2 回	an article in the newspaper	今アメリカで何が起きているのかを英字新聞で読み取る。 comprehension/writing [予習] 語順通りに迅速かつ正確に読み取る。４０分。 ［復習］feedback 20 分。

第 3 回 short presen-tation	プレゼンテーション	食に関する発表 [予習] トピックを決め、エッセイをかき、power point なども利用して効果的な presentation を準備。２時間。 [復習] 自分の今日のスピーチの反省点をチェック。２０分。
第 4 回	speaking of Facebook (SNS の問題点とは)	group で内容把握。発表。 SNS に関する問題がなぜ多いの？ [予習]SNS に関する語彙を調べる。４０分。 [復習] 本文の音読をして語彙を音としてインプット。２０分。
第 5 回	A national health care （アメリカの医療保険の現実）	スラッシュリーディングで語順通りに迅速かつ正確に内容把握。 Why can't America have a universal heath insurance? [予習] 医療保険に関する語彙を調べる。４０分。 [復習] 本文の音読をして、語彙を音としてインプット。２０分。
第 6 回	Medical tourism （医療費が世界最高であるアメリカ人はどこで治療するの？）	CD の最初のリスニングで内容把握度を確認 マーキング mumbling/overlapping 内容理解 [予習] 先週のトピックと関連した内容なので内容を再度音読。２０分。 [復習] 本文の音読をして、語彙を音としてインプット。要約。４０分。
第 7 回	an article in the newspaper.	今アメリカで何が起きているのかを英字新聞で読み取る。 comprehension/writing [予習] 語順通りに迅速かつ正確に読み取る。４０分。 ［復習］feedback 20 分。
第 8 回	Don't shoot! (アメリカの銃社会を支えるのは？)	CD の最初のリスニングで内容把握度を確認 マーキング [予習] アメリカで銃規制が成立しないのはなぜか考察。２０分。 [復習] 本文の音読することで、語彙を音でインプット。４０分。
第 9 回	reality show (ドッキリカメラの原点)	CD リスニングで内容理解。 group activity. comprehension/writing [予習]TV に関する語彙を調べる。 [復習] 本文の音読することで、語彙を音でインプット。４０分。
第 10 回	an article in the newspaper	今アメリカで何が起きているのかを英字新聞で読み取る。 comprehension/writing [予習] 語順通りに迅速かつ正確に読み取る。４０分。 ［復習］feedback 20 分。
第 11 回	the job search for college seniors (アメリカの大学生の就職戦線)	group で内容把握度を確認 。発表。日本との違いは？ [予習]job hunting に関する語彙を調べる。４０分。 [復習] 本文の音読することで、語彙を音でインプット。２０分。
第 12 回	wrap up	試験に関する質問、疑問点。 check the previous articles. [予習] 学習した内容を再度チェック。 [復習] final test の範囲を復習。
第 13 回	学期末試験	試験についての情報は事前に知らせる。 [予習] 試験範囲をチェック。2 時間。 [復習] 誤答を再度チェック。２０分。
第 14 回	final presentation	自分にとってアメリカとはという観点で発表。 [予習] プレゼンテーションに向けて準備。2 時間。 [復習] 反省点をチェック。２０分。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習・復習　本文の正確な音声での再生を可能にする。
プレゼンテーションの十分な準備に時間をかける。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
not used

【参考書】
特に指定しない。

【成績評価の方法と基準】
学期末試験４０％、エッセイライティング３０％、授業参加度合３０％（プレゼンテーションも含む）欠席回数が４回以上になると単位は認められない。欠席回数、遅刻にも注意

【学生の意見等からの気づき】
今年度からの担当のため、特になし。

【Outline and objectives】
America is a leading country to have a great impact worldwide in terms of politics, culture, economy and the other social phenomena. In recent days, after Trump's administration, America is facing a critical moment to survive the pandemic and save the American democracy. In this class, the students are exposed to update information about the current America so that they are able to get to know much about the contemporary America. Through summarizing an article and writing a paragraph and essay, they can strengthen the writing ability. Furthermore, by listening to the audio of a text, they are supposed to grab what's all about it without reading the text.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Communicating English To The World: Analyzing Social Issues

RICHARD WILCOX

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：中級／英語／現代の諸相
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
1. Giving students opportunity to practice and develop their communication skills including speaking, reading, writing, listening and presentation;
2. To improve reading comprehension via Graded Readers, textbook units and news articles;
3. To foster student understanding of current issues that relate to using English about Japan and the World;
4. To develop a critical approach toward the development of presentation of student research and opinions through speaking, writing and presentation techniques.

【到達目標】
Media and Culture: Communicating In English To Explain Japan To The World
Students will find this course useful for building their English and academic abilities and broadening their understanding of the world. Topics may include: media and culture; women's empowerment in social and economic life; career goals; modern Japanese culture and subcultures; nature and environment; human health, nutrition and exercise; global economic development and international relations. Students will use graded reader books, journals, a textbook and practical English conversation handouts to improve their communication skills. Tests will include written and oral types and informal and power point presentation formats.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
This is an online class and we will use ZOOM. *Equipment students need to prepare: students who have to attend the Zoom session on campus need a headset to avoid the audio feedback as they have to take the lesson in the classroom assigned to this class*.
Textbook, English Conversation Practice handouts, Written assignments and tests, Journals, Graded Readers, Viewing educational DVDs; Teacher explanations
Handouts:
English Conversation Practice
Excerpts "From Paragraph to Essay"
Research Proposal Outline
Designing Research: Surveys
Designing a Survey Outline
Analyzing Data Outline
Describing Graphs
DVD Discussion Outline
Internet Search Techniques
Speech Outline
Audience Q & A Outline
Presentation Slides
Powerpoint Outline
Presentation Delivery
Presentation Evaluation Form

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Self Introduction; Topic: Physical fitness	Orientation; English Conversation Practice (ECP) Handouts; Text Unit 1
2	Asking questions; Topic: Blood types	Graded Reader (GR); ECP Handouts; Text Unit 2
3	Giving opinion; Topic: Dreams	GR; ECP Handouts; Text Unit 3
4	Debating topics: Topic: Speed dating	GR; ECP Handouts; Unit 4
5	Choice of test topics	GR Discussion; Written Test on Textbook
6	Narratives; Topic: Pets in Japan	Return test results; GR 2; ECP Handouts: Unit 5
7	Describing things; Topic: Stress	GR 2; ECP Handouts: Unit 6
8	Ecology; Topic: Listening and taking notes	DVD: Queen of the Sun (30 min.); Discussion
9	Problems and Solutions: Topic: Fast food	GR 2; ECP Handouts; Unit 7
10	Comparisons: Topic: Shopping trends	GR 2; ECP Handouts; Unit 8
11	Discussions; Topic: Women and work	GR 2 Discussion (students hand in final GR reports); ECP Handouts; Text Unit 9
12	Group organizatio; Topic: Student choice	Return GR reports; Prepare Informal Group Presentation
13	Presentations; Topic: Course related topics	Informal Group Presentations (Individuals present in small groups) Student Q & A
14	Student peer review and feedback	Course Review

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Pre-reading of assignments; completion of textbook homework assignments; preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.
No more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed.

【テキスト（教科書）】
Life Topics (Advanced)

【参考書】
Wilcox Handouts
Google Scholar
Wikipedia

【成績評価の方法と基準】
Participation 20%; Written assignments 10%; 2 Written Tests 30%; Informal Group Presentation 20%; Final Individual Powerpoint Presentation 20%;
Students should be aware that no more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed
otherwise they will fail the course.
The teacher will respond to questions in class from students or by email. I will check your reports, papers or projects to help you to write better quality work.

【学生の意見等からの気づき】
Adjustment to length of devotion to various topics based on student interest

【学生が準備すべき機器他】
Bring textbook and notebook and clear folder to keep handouts in class; laptop computers are recommended.

【その他の重要事項】
Please arrive at class on time and attend regularly. As noted above, students who are often late or absent will suffer lowering of grades and possibility of class failure.

【Outline and objectives】
1. Giving students opportunity to practice and develop their communication skills including speaking, reading, writing, listening and presentation;
2. To improve reading comprehension via Graded Readers, textbook units and news articles;
3. To foster student understanding of current issues that relate to using English about Japan and the World;
4. To develop a critical approach toward the development of presentation of student research and opinions through speaking, writing and presentation techniques.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Communicating English To The World: Analyzing Social Issues

RICHARD WILCOX

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：中級／英語／現代の諸相
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
1. Giving students opportunity to practice and develop their communication skills including speaking, reading, writing, listening and presentation;
2. To improve reading comprehension via Graded Readers, textbook units and news articles;
3. To foster student understanding of current issues that relate to using English about Japan and the World;
4. To develop a critical approach toward the development of presentation of student research and opinions through speaking, writing and presentation techniques.

【到達目標】
Media and Culture: Communicating In English To Explain Japan To The World
Students will find this course useful for building their English and academic abilities and broadening their understanding of the world. Topics may include: media and culture; women's empowerment in social and economic life; career goals; modern Japanese culture and subcultures; nature and environment; human health, nutrition and exercise; global economic development and international relations. Students will use graded reader books, journals, a textbook and practical English conversation handouts to improve their communication skills. Tests will include written and oral types and informal and power point presentation formats.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
This is an online class and we will use ZOOM *Equipment students need to prepare: students who have to attend the Zoom session on campus need a headset to avoid the audio feedback as they have to take the lesson in the classroom assigned to this class*.
Textbook, English Conversation Practice handouts, Written assignments and tests, Journals, Graded Readers, Viewing educational DVDs; Teacher explanations
Handouts:
English Conversation Practice
Excerpts "From Paragraph to Essay"
Research Proposal Outline
Designing Research: Surveys
Designing a Survey Outline
Analyzing Data Outline
Describing Graphs
DVD Discussion Outline
Internet Search Techniques
Speech Outline
Audience Q & A Outline
Presentation Slides
Powerpoint Outline
Presentation Delivery
Presentation Evaluation Form

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Self Introduction; Topic: The Internet	Journal; English Conversation Practice (ECP) Handouts; Text Unit 10
2	Asking questions; Topic: Kawaii	Journal; ECP Handouts; Text Unit 11
3	Giving opinion; Topic: Dressing Casually	Journal; ECP Handouts; Text Unit 13
4	Debating topics: Topic: World happiness	18. ECP Handouts; Unit 14; Homework: Read “Fukushima” DVD transcript; Write report for pages 1 – 4
5	Listening and taking notes 1; Topic: Environment	Watch “Fukushima” (20 min); Discussion; Homework: Write report 5 - 8
6	Observing and taking notes; Topic: Technology	Watch “Fukushima” (21 – 40 min); Discussion; Write report 9 - 11
7	Summarizing Opinions; Topic: Energy issues	Watch “Fukushima” (41 – 60); Discussion; Hand in Fukushima reports
8	Narratives; Topic: The right to die	Journal; ECP Handouts: Unit 15
9	Describing things; Topic: Pet cloning	Journal; ECP Handouts; Unit 16
10	Choice of test topics	Hand in Journals; Written Test on Textbook
11	Problems and Solutions / Comparisons; Topic: Lecture on powerpoint techniques	Return journals and test results; Prepare Final Individual Powerpoint Presentations
12	Powerpoint presentations	Power Point Presentations (Group 1) Student Q & A
13	Powerpoint presentations	Power Point Presentations (Group 2) Student Q & A
14	Course Review	Course Review

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Pre-reading of assignments; completion of textbook homework assignments; preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.
No more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed.

【テキスト（教科書）】
Life Topics (Advanced)

【参考書】
Wilcox Handouts
Google Scholar
Wikipedia

【成績評価の方法と基準】
Participation 20%; Written assignments 10%; 2 Written Tests 30%; Informal Group Presentation 20%; Final Individual Powerpoint Presentation 20%; Students should be aware that no more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed otherwise they will fail the course.
The teacher will respond to questions in class from students or by email. I will check your reports, papers or projects to help you to write better quality work.

【学生の意見等からの気づき】
Adjust lessons according to student interest

【学生が準備すべき機器他】
Bring textbook and notebook and clear folder to keep handouts in class; laptop computers are recommended.

【その他の重要事項】
Please arrive at class on time and attend regularly. Students who are often late or absent will suffer lowering of grades and possibility of class failure.

【Outline and objectives】
1. Giving students opportunity to practice and develop their communication skills including speaking, reading, writing, listening and presentation;
2. To improve reading comprehension via Graded Readers, textbook units and news articles;
3. To foster student understanding of current issues that relate to using English about Japan and the World;
4. To develop a critical approach toward the development of presentation of student research and opinions through speaking, writing and presentation techniques.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Topics in American Culture

MICHAEL F.MURPHY

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：中級／英語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. In this course students will spend time using English to learn about American culture from a number of diverse perspectives. Students will learn about American culture through various sources of information and will incorporate a variety of topics about which they will express their opinion. In addition, students will also practice the fundamental English skills (reading, listening, writing and speaking) necessary to accomplish the above.

【到達目標】
Students will read and understand rather simple English texts without relying too much on dictionaries for understanding.
Students will learn to express their own opinion in speaking and writing, including how to examine content from a critical thinking perspective.
Students will not only learn about American culture, which continues to have a large impact on the world, and be able to apply that knowledge while improving their English skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Warm up activities will include listening practice from various English websites. Various target language objectives will be emphasized during each class period. For example, while reading from text, an emphasis may be placed on building vocabulary as well as the comprehension of passages. When presentations are the focus, an emphasis will be placed on using the appropriate posture and body language.
In the final class, comments and explanations are given for assignments(including tests, written reports, presentations, etc.) for all classes held during the term.
*Please note that this is a hybrid class and we will be meeting some weeks in person and other times on Zoom. Please refer to Hoppii (Announcements) for details.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction to English 3	Course overview: policies, procedures and student expectations.
2	American Food and Wine	Reading and listening practice using DVD video.
3	American food and wine	Reading and Writing practice using the expressions from the textbook.
4	American Food and Culture.	Listening and Vocabulary Quiz; Preparation for Presentation 1.
5	American Food Culture.	Group presentations 1: Images of American food culture and products; Student reactions.
6	Sports in the United States	Listening and Reading practice from DVD and text.
7	Sports in the United States: Baseball	Reading and Writing practice using expressions from the textbook.
8	Sports in the U.S.	Listening and Vocabulary Quiz 2. Practice and Preparation for Sports Presentations.
9	Sports in the U.S. and Japan	Group Presentations 2: Sports in the U.S. and Japan. Student reactions.
10	The World of Disney	Listening practice from DVD; Reading comprehension from text.
11	The World of Disney	Reading and Writing practice using expressions from the textbook
12	Disney Movies and Gender.	Discussion of how gender is depicted in scenes from Disney movies. Listening and Reading practice from Unit 4.
13	Entertainment: Hollywood, California	Group presentations on chosen topics from Disney and Hollywood entertainment; Student reactions
14	Term end review.	Review Test on Units 1-4: Listening , Reading and Writing.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students are expected to come to class fully prepared, having completed any readings, writings or listening tasks assigned from the previous week. This is of utmost importance in order to fully participate in class activities (see below Grading criteria) and for the benefit of the class as a whole.
The standard preparatory study and review time for this course is one hour.

【テキスト（教科書）】
American Dream: Video Reading and Listening in American culture.(Asahi Press, Japan)

【参考書】
An English-Japanese/Japanese-English dictionary is highly recommended for each class session. Other supplemental readings and handouts will be provided at the discretion of the instructor.

【成績評価の方法と基準】
Grading criteria for this course will be based on the following:
*Class participation: 30% (including the timely completion of homework assigned in the previous class)
Presentations: 30%
Unit Quizzes and Final Review Test: 40%
*Please note that in principle no more than three absences are permitted throughout the term. Without a valid reason (i.e. medical emergency/family problem) a fourth absence will result in failure for the term.

【学生の意見等からの気づき】
N/A

【学生が準備すべき機器他】
Hoppii and Zoom will be used extensively. Students who attend a Zoom session on campus will need a headset.

【Outline and objectives】
This course will aim to provide students with the opportunity to think critically and express their opinions on a variety of topics relating to the U.S. and Japan. Students will learn about American culture through a variety of sources and then be able to draw comparisons between the two countries. In addition students will become more globally informed–having become more aware of issues that will have a profound influence on their lives in the future.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Topics in American Culture

MICHAEL F.MURPHY

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：中級／英語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English 3 II builds upon the skills and knowledge gained from English 1,2 and the first semester of English 3. It will continue to aim to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. Students will spend time using English to learn about American culture from a number of diverse perspectives. Students will learn about American culture through various sources of information and will incorporate a variety of topics about which they will express their opinion. In addition, students will also practice the fundamental English skills of Reading, Listening, Writing and Speaking that are necessary to accomplish the above.

【到達目標】
Students will read and understand rather simple English texts without relying too much on dictionaries for understanding.
Students will learn to express their own opinion in speaking and writing, including how to examine content from a critical thinking perspective.
Students will not only learn about American culture, which continues to have a large impact on the world, but also be able to apply that knowledge while improving their English skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Various target language objectives will be emphasized during each class period. For example, while reading from text, an emphasis may be placed on building vocabulary as well as the comprehension of passages. When presentations are the focus, an emphasis will be placed on using the appropriate posture and body language.
In the final class, comments and explanations are given for assignments
(written reports, presentations, etc.) for all classes held during the term.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction to the Fall term.	Review of class policies and procedures; student expectations for Fall term. assignment for next class.
2	Unit 5: The Statue of Liberty.	Reading and Listening practice using DVD video.
3	The Statue of Liberty.	Readings and Writing practice using the expressions from the textbook.

4	The Statue of Liberty	Unit 5 Listening and Vocabulary Quiz. Preparation for first group presentations.
5	The Melting Pot	Group Presentations on the meaning of freedom and student reactions. Introduction to Unit 6.
6	The Melting Pot	Practice reading and listening using the text and DVD video
7	The Melting Pot	Practice reading and writing using the expressions and vocabulary in the textbook.
8	Unit 6 Review	Unit 6: Listening and Vocabulary Quiz; preparation for Presentations
9	Cultural Diversity	Group presentations on chosen topics of culture; student reactions.
10	Jazz, Gospel, Blues and Rock n Roll	Reading and Listening practice using the text and DVD video.
11	Jazz, Gospel, Blues and Rock n Roll	Practice reading and writing using the expressions and vocabulary in the textbook.
12	Cars and Planes	Listening and Vocabulary Quiz on Unit 7; Introduction to Unit 9 Reading and Listening practice using the text and DVD video.
13	Cars and Planes	Final Group presentations on chosen topics from Units 7,8 and 9.
14	Term End Review	Units 5-9 Final Test: Listening, Reading and Writing.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

There will be weekly assignments from the text (video/vocabulary preview, unit exercises, readings) as well as teacher assigned research on the relevant topics. Students are expected to come to class fully prepared by having completed the assignment beforehand.
The standard preparatory study and review time for this class is one hour.

【テキスト（教科書）】

American Dream: Video Reading and Listening in American Culture.(Asahi Press, Japan)

【参考書】

An English-Japanese/Japanese-English dictionary is highly recommended for each class session. Other supplemental readings will be provided at the discretion of the instructor.

【成績評価の方法と基準】

Grading criteria for this course will be based on the following:
Class participation: 30% (including the timely completion of homework assigned in the previous class)
Presentations: 30%
Unit quizzes and final test: 40%
Please note: In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【Outline and objectives】

English 3 II builds upon the skills and knowledge gained from English 1,2 and the first semester of English 3. It will continue to aim to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. Students will spend time using English to learn about American culture from a number of diverse perspectives. Students will learn about American culture through various sources of information and will incorporate a variety of topics about which they will express their opinion. In addition, students will also practice the fundamental English skills necessary to accomplish the above.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**現代社会の諸相を学ぶ**

小田井　勝彦

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：中級／日本語／現代の諸相
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では、1 年次に習得した四技能の英語運用能力をさらに伸張し、現代社会の様々なテーマを扱った文章や会話の読解・聴解をすることで、現代社会についての理解を深めて批判的に分析した上で、英語で意見を発信する能力の涵養を目指します。

【到達目標】
・英語でのコミュニケーションに必要な語彙・文法を習得する。
・社会問題など高度な内容のディスカッションに必要な英語のリスニング能力を身につける
・情報収集に必要な英語のリーディング能力を身につける
・私たちが生きる現代社会について理解し、正しい批評態度で英語での発信ができるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
各 unit を 2 回のペースで進めていきます。教科書の文章については事前に予習が必要です。授業は教科書に沿って、Listening Part (Warm-Up, Try Listening, Conversation, Short Announcement)、Reading Part (Grammar Exercise, Definition for Reading, Reading, Comprehension, Make a Summary, Have Your Say) の順に進めていきます。
授業内で回収した英作文など、中間テストに関しては随時返却し、フィードバックします。
大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	教科書、授業の進め方、成績評価について説明
第 2 回	Unit 1 Life with Pets (Listening)	ペットと人間の関わりを題材とした音声教材を聞き、連結や同化といった音声の特徴を学びます
第 3 回	unit 1 Life with Pets (Reading)	ペットと人間の関わりについての文章を読みます。その後、要約練習を行ないます。
第 4 回	Unit 2 Virtual Relationships(Listening)	ヴァーチャルな世界における人間関係を題材とした音声教材を聞き、脱落や弱形といった音声の特徴について学びます
第 5 回	Unit 2 Virtual Relationships (Reading)	ヴァーチャルな世界における人間関係についての文章を読みます。その後、要約練習を行ないます。
第 6 回	Unit 3 Changing Works over Time (Listening)	言葉の移り変わりを題材とした音声教材を聞き、短縮や省略といった音声の特徴について学びます。
第 7 回	Unit 3 Changing Works over Time (Reading)	言葉の移り変わりについての文章を読みます。その後、要約練習を行ないます。
第 8 回	中間テスト	unit 1～unit3 を試験範囲とし、試験および解説をします
第 9 回	Unit 4 Fika and Hygee (Listening)	健康を題材とした音声教材を聞き、数字を使った表現について学びます。
第 10 回	Unit 4 Fika and Hygee (Reading)	健康についての文章を読みます。その後、要約練習を行ないます。
第 11 回	Unit 5 Online Work Experience (Listening)	テレワークを題材とした音声教材を聞き、紛らわしい語の聞き取りを練習します。
第 12 回	Unit 5 Online Work Experience (Reading)	テレワークについての文章を読みます。その後、要約練習を行ないます。
第 13 回	Unit 6 Fashion and Climate Change (Reading)	ファッションについての文章を読みます。その後、要約練習を行ないます。
第 14 回	期末テスト	Unit 4～unit 6 を試験範囲とし、試験・まとめと解説を行ないます。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
リーディングに関して、わからない単語は辞書を引き、事前に読んでくること。授業後には聞き取れなかった箇所をもう一度聞き直す、文章の解釈を間違えた箇所を再度確認して下さい。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
森田彰ほか、Target! -upper-intermediate-、金星堂、2021 年、2000 円

【参考書】
『ジーニアス英和辞典』など学習用英和辞典 (電子辞書も可) を各自用意して下さい

【成績評価の方法と基準】
中間テスト 35%、期末テスト 35%、平常点 30%で評価します。
欠席が 4 回以上の場合には原則単位認定は行わない。

【学生の意見等からの気づき】
新規に担当するため、フィードバックはできません。

【Outline and objectives】
This class is aimed at improving English skills acquired in freshmen's courses. Students will read articles and listen to conversations about various aspects of modern society. Through these language activities, students will deepen their understanding of our society and learn to express their opinions critically.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**現代社会の諸相を学ぶ**

小田井　勝彦

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：中級／日本語／現代の諸相
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では、1 年次に習得した四技能の英語運用能力をさらに伸張し、現代社会の様々なテーマを扱った文章や会話の読解・聴解をすることで、現代社会についての理解を深めて批判的に分析した上で、英語で意見を発信する能力の涵養を目指します。

【到達目標】
・英語でのコミュニケーションに必要な語彙・文法を習得する。
・社会問題など高度な内容のディスカッションに必要な英語のリスニング能力を身につける
・情報収集に必要な英語のリーディング能力を身につける
・私たちが生きる現代社会について理解し、正しい批評態度で英語での発信ができるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
各 unit を 2 回のペースで進めていきます。教科書の文章については事前に予習が必要です。授業は教科書に沿って、Listening Part (Warm-Up, Try Listening, Conversation, Short Announcement)、Reading Part (Grammar Exercise, Definition for Reading, Reading, Comprehension, Make a Summary, Have Your Say) の順に進めていきます。
授業内で回収した英作文など、中間テストに関しては随時返却し、フィードバックします。
大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	Unit 7 Can we Travel to Space? (Listening)	宇宙旅行を題材とした音声教材を聞き、依頼や勧誘の表現について学びます。
第 2 回	Unit 7 Can we Travel to Space? (Reading)	宇宙旅行についての文章を読みます。その後、要約演習を行います。
第 3 回	Unit 8 Gender and Sports (Listening)	スポーツとジェンダーをテーマとした音声教材を聞き、様々な疑問文について学びます。
第 4 回	Unit 8 Gender and Sports (Reading)	スポーツとジェンダーについての文章を読みます。その後、要約演習を行います。
第 5 回	Unit 9 New "Old" Entertainment (Listening)	エンターテイメントについての音声教材を聞き、自らの意見や主張を述べる表現について学びます。
第 6 回	Unit 9 New "Old" Entertainment (Reading)	エンターテイメントについての文章を読みます。その後、要約演習を行います。
第 7 回	中間テスト	unit 7～9 を試験範囲とし、試験およびまとめ、解説を行ないます。
第 8 回	Unit 10 New Way to Enjoy Cinema (Listening)	映画についての音声教材を聞き、グラフや図表に関する表現を学びます。
第 9 回	Unit 10 New Way to Enjoy Cinema (Reading)	映画についての文章を読みます。その後、要約演習を行います。
第 10 回	Unit 11 Fake Meat or No Meat? (Listening)	食糧問題についての音声教材を聞きます。また、チャンク・リスニングについて学びます。
第 11 回	Unit 11 Fake Meat or No Meat? (Reading)	食糧問題についての文章を読みます。その後、要約演習を行います。
第 12 回	Unit 12 Cashless Society (Listening)	経済についての音声教材を聞きます。複数の話者による会話の聞き取り方を学びます。
第 13 回	Unit 12 Cashless Society (Reading)	経済についての文章を読みます。その後、要約演習を行います。
第 14 回	期末テスト	unit 10～12 を試験範囲とし、試験およびまとめ、解説を行ないます。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
リーディングに関して、わからない単語は辞書を引き、事前に読んでくること。授業後には聞き取れなかった箇所をもう一度聞き直す、文章の解釈を間違えた箇所を再度確認して下さい。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
森田彰ほか、Target!　-upper-intermediate-、金星堂、2021 年、2000 円

【参考書】
『ジーニアス英和辞典』など学習用英和辞典 (電子辞書も可) を各自用意して下さい

【成績評価の方法と基準】
中間テスト 35%、期末テスト 35%、平常点 30%で評価します。
欠席が 4 回以上の場合には原則単位認定は行わない。

【学生の意見等からの気づき】
新規に担当するため、フィードバックはできません。

【Outline and objectives】
This class is aimed at improving English skills acquired in freshmen's courses.　Students will read articles and listen to conversations about various aspects of modern society. Through these language activities, students will deepen their understanding of our society and learn to express their opinions critically.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Current Issues in the English-speaking world

佐藤　陽子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：中級／日本語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English 3 では、English 1 と 2 で学んだことをもとに、様々な英語の素材を批判的に吟味し、それぞれのトピックについて自分の意見を述べる力を養います。具体的には、新聞やニュースに取り上げられた英語圏の時事問題を理解したのち、group discussion や group presentation の中で自分の意見を英語で表現する練習をします。

【到達目標】
1) 英語の素材の理解を通して、時事問題、文化、文体、発音、単語などを学びます。
2) 関連情報を調べ分析することによって、情報収集能力や素材を批判的に吟味する力をつけます。
3) ディスカッションやプレゼンテーションを通して、英語で意見を表現する方法を学びます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
いわゆる 4 技能 (reading, writing, listening, speaking) を用いたペア、グループ・アクティビティやタスクが中心となります。具体的には、宿題の読み物やオーディオ/ビジュアル・クリップで学んだトピックについて group discussion を行い、結果を group presentation として発表します。授業の雰囲気は informal & friendly です。現在のコロナの感染状況を鑑み、Zoom によるオンラインでの開講となります。課題等のお知らせの配信には HOPPII (授業支援システム) を使いますので、*法政のメールアドレスに*通知が届きます。毎回の授業中および授業後のアンケートで質問、意見、トラブルなど遠慮せずに伝えてください。これらおよび宿題や presentations へのフィードバックは、授業および HOPPII で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction, getting to know each other	Communicative activities, plans for the semester
2	Unplanned speech 1, understanding Current Issue 1	Conversation, vocabulary quiz 1, comprehension check on reading HW on Topic 1,
3	Planned speech, discussing Current Issue 1 (1)	Show & Tell 1, group discussion (1) on Topic 1
4	Planned speech, Discussing Current Issue 1 (2)	Show & Tell 2, group discussion (2) on Topic 1
5	Unplanned speech, discussing Current Issue 1 (3),	Conversation, group discussion (2) on Topic 1
6	Unplanned speech preparing for Presentation 1	Conversation, preparation for the group presentation on Topic 1
7	Presenting on Current Issue 1	Group presentations on Topic 1
8	Feedback on Presentation 1, unplanned speech, understanding Current Issue 2	Conversation, peer- and teacher feedback on presentation 1, Vocabulary Quiz on reading HW on Topic 2, reading HW comprehension check
9	Planned speech, discussing Current Issue 2 (1)	Show & Tell 3, group discussion on Topic 2
10	Planned speech, discussing Current Issue 2 (2)	Show & Tell 4, group discussion on Topic 2
11	Unplanned speech, discussing Current Issue 2 (3)	Conversation, group discussion
12	Unplanned speech, preparing for Presentation 2	Conversation, preparation for the group presentation on Topic 2
13	Presenting on Current Issue 2	Group presentations on Topic 2
14	Feedback on Presentation 2, unplanned speech, recap of the semester & student feedback	Peer- and teacher feedback on presentation 2, recap of the semester, student feedback

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回出される宿題を完璧にこなすこと、単語の豆テストや discussion や presentations の準備をすることが必須です。宿題に基づくグループワークが主になるので、宿題をしていないと他のメンバーに迷惑をかけることになります。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
教科書はありません。教材と関連情報は授業支援システム Hoppii から配信されます。

【参考書】
みなさんの英語能力にあった大学生レベルの辞書が必要です。

【成績評価の方法と基準】
成績は以下の基準で評価されます。
授業への積極的参加:25%
宿題と単語の豆テスト: 40%
Presentations: 35%
注意事項:授業 4 回分相当をのがした場合は原則として単位取得はできません。また、欠席は予習・宿題をしていない言い訳にはなりません。

【学生の意見等からの気づき】
2020 年度も全て Zoom で行いましたが、ペア、グループ・ワーク が多い communicative な授業だったため、「友達ができた」「クラスを受講している気持ちになれた」「毎週クラスメイトに会えるこの授業が救いになった」という声をいただきました。また、トピックが興味深かった、discussion や presentation の練習が非常にためになった、という声も多くいただきました。

【学生が準備すべき機器他】
Zoom 授業のため、パソコン（望ましい）か携帯が必要です。また、大学で受講する場合はハウリング防止のため、ヘッドセット（マイク付きイヤフォン）が必要です。プレゼンテーションにはスライド (e.g. PowerPoint) が、提出課題にはワープロソフト (e.g. Word) が必要です。

【Outline and objectives】
English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Current issues in the English-speaking world

佐藤　陽子

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：中級／日本語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English 3II では、English 3I で学んだことをもとに、様々な英語の素材を批判的に吟味し、それぞれのトピックについて自分の意見を述べる力を養います。具体的には、新聞やニュースに取り上げられた英語圏の時事問題を理解したのち、group discussion、group presentation そして essay の中で自分の意見を英語で表現する練習をします。

【到達目標】
1) 英語の素材の理解を通して、時事問題、文化、文体、発音、単語などを学びます。
2) 関連情報を調べ分析することによって、情報収集能力や素材を批判的に吟味する力をつけます。
3) ディスカッション、プレゼンテーション、エッセイ（小論文）を通して、英語で意見を 表現する方法を学びます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
いわゆる 4 技能 (reading, writing, listening, speaking) を用いたペア、グループ・アクティビティやタスクが中心となります。具体的には、宿題の読み物やオーディオ/ビジュアル・クリップで学んだトピックについて group discussion を行い、結果を group presentation として発表します。授業の雰囲気は informal & friendly です。現在のコロナの感染状況を鑑み、Zoom による オンラインでの開講となります。課題等のお知らせの配信には HOPPII (授業支援システム) を使いますので、*法政のメールアドレスに*通知が届きます。毎回の授業中および授業後のアン ケートで質問、意見、トラブルなど遠慮せずに伝えてください。これらおよび宿題や presentations へのフィードバックは、授業および HOPPII で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Welcome back, plans for the semester	Communicative activities, plans for the semester
2	Unplanned speech 1, understanding Current Issue 1, basics of essay writing (1)	Conversation, vocabulary quiz 1, comprehension check on reading HW on Topic 1, basics of essay writing (1)
3	Planned speech, discussing Current Issue 1 (1), basics of essay writing (2)	Show & Tell 1, group discussion (1) on Topic 1, basics of essay writing (2)
4	Planned speech, discussing Current Issue 1 (2), basics of essay writing (3)	Show & Tell 2, group discussion (2) on Topic 1, basics of essay writing (3)
5	Unplanned speech, discussing Current Issue 1 (3), preparing for Presentation 1	Conversation, group discussion (2) on Topic 1, preparation for the group presentation on Topic 1
6	Presenting on Current Issue 1	Group presentations on Topic 1
7	Feedback on Presentation 1, unplanned speech, understanding Current Issue 2	Conversation, peer- and teacher feedback on presentation 1, Vocabulary Quiz on reading HW on Topic 2, reading HW comprehension check
8	Planned speech, discussing Current Issue 2 (1)	Show & Tell 3, group discussion on Topic 2
9	Planned speech, discussing Current Issue 2 (2)	Show & Tell 4, group discussion on Topic 2
10	Unplanned speech, discussing Current Issue 2 (3)	Conversation, group discussion
11	Unplanned speech, preparing for Presentation 2	Conversation, preparation for the group presentation on Topic 2
12	Presenting on Current Issue 2	Group presentations on Topic 2
13	Feedback on Presentation 2, sharing essay drafts	Peer- and teacher feedback on presentation 2, share & discuss essay drafts
14	Recap of the semester, student feedback, sharing essays	recap of the semester, student feedback, sharing & discussing essays

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回出される宿題を完璧にこなすこと、単語の豆テストや discussion や presentations の準備をすることが必須です。宿題に基づくグループワークが主になるので、宿題をしていないと他のメンバーに迷惑をかけることになります。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
教科書はありません。教材と関連情報は授業支援システム Hoppii から配信されます。

【参考書】
みなさんの英語能力にあった大学生レベルの辞書が必要です。

【成績評価の方法と基準】
成績は以下の基準で評価されます。
授業への積極的参加:25%
宿題と単語の豆テスト: 35%
Presentations & an essay: 40%
注意事項:授業 4 回分相当をのがした場合は原則として単位取得はできません。また、欠席は予習・宿題をしていない言い訳にはなりません。

【学生の意見等からの気づき】
2020 年度も全て Zoom で行いましたが、ペア、グループ・ワー クが多い communicative な授業だったため、「友達ができた」「クラスを受講している気持ちになれた」「毎週クラスメイトに会えるこの授業が救いになった」という声をいただきました。また、トピックが興味深かった、essay writing が非常にためになった、という声も多くいただきました。

【学生が準備すべき機器他】
Zoom 授業のため、パソコン（望ましい）か携帯が必要です。また、大学で受講する場合はハウリング防止のため、ヘッドセット（マイク付きイヤフォン）が必要です。プレゼンテーションにはスライド (e.g. PowerPoint) が、提出課題にはワープロソフト (e.g. Word) が必要です。

【Outline and objectives】
This course builds upon the skills and knowledge gained from English 3 I, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**世界の中の日本文化**

今井　澄子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：中級／日本語／世界の中の日本
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English1 および 2 で習得した英語運用能力である読む､書く､聴く、話すの四技能を使い、国際語である英語を通じて日本文化を世界的文脈の中で相対化し、英語資料を理解して批判的に分析したうえで英語による意見の発信ができる能力を養成する。

【到達目標】
・英語資料により世界における日本文化受容について理解を持つ
・日本文化に関する一般的英文を読み、コメントを英語で書く
・日本文化に関するアカデミックな英文を精読し、読解力を上げる
・日本に関する語彙の知識により英語の聴解力を上げる
・大学ﾚﾍﾞﾙのｱｶﾃﾞﾐｯｸ・ｽｷﾙ (Writing, Presentation) を身につける
・Oxford English Dictionary をﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽとして使えるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業始めにﾘｽﾆﾝｸﾞ小ﾃｽﾄ、その後 DVD 視聴または英文読解、学習内容に関するｺﾒﾝﾄを英語で書いて提出、添削して返却する。DVD 視聴のないときは英文読解を行い、音読・日本語訳等が課される。今期は日本文化の世界での受容をﾃｰﾏとするため、Oxford English Dictionary 見出し語となった日本語を調べ、英語ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝを行うので、学内 PC による辞書検索、Writing、Presentation が課される。これら課題のうち、ﾘｽﾆﾝｸﾞ、ﾃﾞｨｸﾃｰｼｮﾝ、DVD および英文理解に関わる課題は授業内で解答する。ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ原稿 Writing は添削指導、終了後にｽﾗｲﾄﾞ、Speaking 音声 (単語の発音、ｱｸｾﾝﾄ、ｲﾝﾄﾈｰｼｮﾝ)、元にした OED ﾃﾞｰﾀ等について、各自にｺﾒﾝﾄしてﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	世界の日本文化受容 OED 採録の日本語	授業内容や課題の説明 ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ OED 利用案内
第 2 回	世界の中の日本文化 (Office) Long-Established Business *() 内は Listening 小ﾃｽﾄﾃｰﾏ	(Listening 小テスト１) Unit 1 DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 3 回	世界の中の日本文化 (Restaurant) Uniforms and Identity	(Listening 小テスト２) Unit 2 DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 4 回	世界の中の日本文化 (Department Store) Volunteer Work and Helping Others	(Listening 小テスト３) Unit 3 DVD 視聴 Short Reading Comment writing

第 5 回	世界の中の日本文化 (Airport) High-Tech Living [Automobiles]	(Listening 小テスト４) Unit ４ DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 6 回	世界の中の日本文化 (Bank) Japanese Tableware	(Listening 小テスト５) Unit ５ DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 7 回	世界の中の日本文化 (Duty-free Shop) Homemakers of Japan	(Listening 小テスト６) Unit ６ DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 8 回	世界の中の日本文化 (Travel) Voice Actors	(Listening 小テスト７) Unit ７ DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 9 回	日本社会と文化 (Rent-a-Car) Approaches to the Japanese History (1)	(Listening 小テスト８) Reading Essay １ R.J.Davis. Japanese Culture の記事
第 10 回	日本文化の背景 (Fitness Center) Approaches to the Japanese History (2)	(Listening 小テスト９) Reading Essay ２ R.J.Davis. Japanese Culture の記事
第 11 回	日本文化の背景 (Job Training) Lonely Planet	(Listening 小テスト 10) Reading Essay ３ Ch.Rawthorn. Japan: Understand Japan の記事
第 12 回	Writing 試験	Presentation の原稿 Writing
第 13 回	Presentation 試験	OED にある日本語の英語説明
第 14 回	期末試験	Reading および Listening

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

ﾃｷｽﾄの音声は Web ｽﾄﾘｰﾐﾝｸﾞで視聴可能。PartI と II があるが、ﾃｷｽﾄには II のｽｸﾘﾌﾟﾄしかないため I については Dictation 用の冊子を配布する。授業では Dictation と要所の説明を行うが、ｽｸﾘﾌﾟﾄの和訳はしない。より理解するには予め目を通してくるとよい。Reading は速読用の比較的易しいものから Web 上の記事、学術文などさまざまなものを用意する。内容や英文の質の高度なものを扱うときは、自宅での十分な予習が必要。また、Writing や Presentation に用いる Oxford English Dictionary を調べた資料は期日までに必ず準備する。準備できていないと授業中に Writing、Presentation が行えず、試験未受験扱いとなる。Listening 小ﾃｽﾄは準備の必要なし。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Discovering Cool Japan (2019). 成美堂 (PartI の Dictation 用ｽｸﾘﾌﾟﾄはコピー冊子を配布)
Listening Promoter for the TOEIC ® Test. 成美堂
Reading 教材はコピーを配布。

【参考書】

Oxford English Dictionary.
R.J. Davies. Japanese Culture:The Religious and Philosophical Foundations. 2016.
https://blogs.wsj.com/japanrealtime/
https://www.japantimes.co.jp/
https://www.bbc.co.uk/
https://edition.cnn.com/

【成績評価の方法と基準】

期末試験 60%、平常点 40%。平常点は授業参加度 10%、ﾘｽﾆﾝｸﾞ小ﾃｽﾄ平均点 10%、Writing・Presentation・Speaking10%、その他授業内での課題 10%が原則。よって、評価点は試験 60 点、平常点 40 点の合計 100 点で、60 %以上の得点で合格。授業初めのﾘｽﾆﾝｸﾞ小ﾃｽﾄ終了後は遅刻と認めず欠席とし、ﾘｽﾆﾝｸﾞ小ﾃｽﾄも 0 点となる。学期末の Presentation、原稿作成 Writing は授業内試験として扱い、単位取得に必須。このほか授業中の課題を遂行しない、あらかじめ割り当てられた担当課題があるのに無断欠席などは評価点がﾏｲﾅｽされる。授業では全員が担当をこなすため出席状況の良いことが必須で、欠席 4 回以上の者は原則として単位修得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】

Oxford English Dictionary を自宅で引くには VPN 接続が必要で、これが難しいとの指摘があった。学内 PC であればすぐにアクセスできるので、自宅で使えない学生には学内 PC の利用をすすめる。また、Writing が難しい、苦手であるという意見があるが、英語４技能を学習するため欠かすことはできない。構文・文法の知識を活用して短文を書く練習、日本語をそのまま英語に置き換えるだけで失敗した誤文の訂正問題などを通じて英文の質を上げ、英語を書くときの頭の切り替え方を身につけてほしい。エッセイなどを書くときはサンプルを用意するが、どうしてもコツがつかめない学生には個人指導を行い、どのように考えて書くかを説明したい。

【学生が準備すべき機器他】

授業には辞書を持参し、ｽﾏｰﾄﾌｫﾝ等でｲﾝﾀｰﾈｯﾄ上の辞書を使用することは原則として認めない。

【Outline and objectives】

This class aims to provide students with further opportunities to improve their English proficiency acquired in English 1 and 2 classes. Students will read, write, hear and speak about various topics of Japan, especially Japanese culture in the world in English in order fully to have an academic skill. The spring semester focuses on understanding how Japan and Japanese culture are recognized, accepted, or sometimes criticized in the world. The various reading and listening materials can give students a lot of information, and based on these, they try to write a comment or speak his/her opinion in English. To see the acceptance of Japanese culture, students will look into an entry of Japanese words in Oxford English Dictionary. Analyzing the definition and quotations of these words contributes to students' understanding Japanese culture. Concerning the class procedure, students take a listening test at the beginning, try to read a short English passage and write a comment after watching DVD. They also read an English essay on the background of Japanese culture and characteristics in class. It is essential for students to take three kinds of exams — writing, presentation, and final reading & listening.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**世界の中の日本文化**

今井　澄子

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：中級／日本語／世界の中の日本
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English1 および 2 で習得した英語運用能力である読む､書く､聴く、話すの四技能を使い、国際語である英語を通じて日本文化を世界的文脈の中で相対化し、英語資料を理解して批判的に分析したうえで英語による意見の発信ができる能力を養成する。

【到達目標】
・英語資料により世界における日本文化受容について理解を持つ
・日本文化に関する一般的英文を読み、コメントを英語で書く
・日本文化に関するアカデミックな英文を精読し、読解力を上げる
・日本に関する語彙の知識により英語の聴解力を上げる
・大学ﾚﾍﾞﾙのｱｶﾃﾞﾐｯｸ・ｽｷﾙ (Writing, Presentation) を身につける
・Oxford English Dictionary をﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽとして使えるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業始めにﾘｽﾆﾝｸﾞ小ﾃｽﾄ、その後 DVD 視聴または英文読解、学習内容に関するｺﾒﾝﾄを英語で書いて提出、添削して返却する。DVD 視聴のないときは英文読解を行い、音読・日本語訳等が課される。今期は日本文化の世界での受容をﾃｰﾏとするため、Oxford English Dictionary 見出し語となった日本語を調べ、英語ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝを行うので、学内 PC による辞書検索、Writing、Presentation が課される。これら課題のうち、ﾘｽﾆﾝｸﾞ、ﾃﾞｨｸﾃｰｼｮﾝ、DVD および英文理解に関わる課題は授業内で解答する。ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ原稿 Writing は添削指導、終了後にｽﾗｲﾄﾞ、Speaking 音声 (単語の発音、ｱｸｾﾝﾄ、ｲﾝﾄﾈｰｼｮﾝ)、元にした OED ﾃﾞｰﾀ等について、各自にｺﾒﾝﾄしてﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	世界の中の日本文化 (Business Trip) Seafood-Japanese Cuisine *() 内は Listening 小テストﾃｰﾏ	(Listening 小テスト 1) Unit ８ DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 2 回	世界の中の日本文化 (Vacation) Japanized Foreign Dishes	(Listening 小テスト 2) Unit ９ DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 3 回	世界の中の日本文化 (Pay) Bag-Culture	(Listening 小テスト 3) Unit10DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 4 回	世界の中の日本文化 (Exhibition) Senior Citizens [Medical Checkups]	(Listening 小テスト 4) Unit11DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 5 回	世界の中の日本文化 (Shopping) Money	(Listening 小テスト 5) Unit12DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 6 回	世界の中の日本文化 (Hospital) Zodiac	(Listening 小テスト 6) Unit13DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 7 回	日本人とは何か (Train Station) What is a Japanese?	(Listening 小テスト 7) Reading Essay １ R. Pulvers. Delighting in Cultures の記事
第 8 回	現代日本に残るｻﾑﾗｲﾈｰﾑ (Presentation) Samurai Spirit	(Listening 小テスト 8) Reading Essay ２ Wall Street Journal の記事
第 9 回	Inbound Japan (Lecture) A New Era or An Era of Newness? Integrating Immigrants	(Listening 小テスト 9) Reading Essay ３ M.Pronko.Inbound/Outbound Japan の記事
第 10 回	Outbound Japan (Contract) The Right Amount of Confidence "Get Out! Why Not Go?"	(Listening 小テスト 10) Reading Essay ４ M.Pronko.Inbound/Outbound Japan の記事
第 11 回	日本語を英語にする方法 引用元表記のしかた	英語における外来語表記 外来語＋言い換え MLA または APA によるﾚﾌｧﾚﾝｽ
第 12 回	Writing 試験	Presentation の原稿 Writing
第 13 回	Presentation 試験	日本文化の事象を英語で説明
第 14 回	期末試験	Reading および Listening

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
ﾃｷｽﾄの音声は Web ｽﾄﾘｰﾐﾝｸﾞで視聴可能。PartI と II があるが、ﾃｷｽﾄには II のｽｸﾘﾌﾟﾄしかないため I については Dictation 用の冊子を配布する。授業では Dictation と要所の説明を行うが、ｽｸﾘﾌﾟﾄの和訳はしない。より理解するには予め目を通してくるとよい。Reading は速読用の比較的易しいものから Web 上の記事、学術文などさまざまなものを用意する。内容や英文の質の高度なものを扱うときは、自宅での十分な予習が必要。また、Writing や Presentation に用いる資料は期日までに必ず準備する。準備できていないと授業中に Writing、Presentation が行えず、試験未受験扱いとなる。Listening 小ﾃｽﾄは準備の必要なし。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Discovering Cool Japan (2019). 成美堂 (PartI の Dictation 用ｽｸﾘﾌﾟﾄはコピー冊子を配布)
Listening Promoter for the TOEIC ® Test. 成美堂
Reading 教材はコピーを配布。

【参考書】
Oxford English Dictionary.
R.J.Davies & Osamu Ikeno. The Japanese Mind: Understanding Contemporary Japanese Culture. 2002.
https://blogs.wsj.com/japanrealtime/
https://www.japantimes.co.jp/
https://www.bbc.co.uk/
https://edition.cnn.com/

【成績評価の方法と基準】
期末試験 60%、平常点 40%。平常点は授業参加度 10%、ﾘｽﾆﾝｸﾞ小ﾃｽﾄ平均点 10%、Writing・Presentation・Speaking10%、その他授業内での課題 10%が原則。よって、評価点は試験 60 点、平常点 40 点の合計 100 点で、60 %以上の得点で合格。授業初めのﾘｽﾆﾝｸﾞ小ﾃｽﾄ終了後は遅刻と認めず欠席とし、ﾘｽﾆﾝｸﾞ小ﾃｽﾄも 0 点となる。学期末の Presentation、原稿作成 Writing は授業内試験として扱い、単位取得に必須。このほか授業中の課題を遂行しない、あらかじめ割り当てられた担当課題があるのに無断欠席などは評価点がﾏｲﾅｽされる。授業では全員が担当をこなすため出席状況の良いことが必須で、欠席 4 回以上の者は原則として単位修得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】
Oxford English Dictionary を自宅で引くには VPN 接続が必要で、これが難しいとの指摘があった。学内 PC であればすぐにアクセスできるので、自宅で使えない学生には学内 PC の利用をすすめる。また、Writing が難しい、苦手であるという意見があるが、英語 4 技能を学習するため欠かすことはできない。構文・文法の知識を活用して短文を書く練習、日本語をそのまま英語に置き換えるだけで失敗した誤文の訂正問題などを通じて英文の質を上げ、英語を書くときの頭の切り替え方を身につけてほしい。エッセイなどを書くときはサンプルを用意するが、どうしてもコツがつかめない学生には個人指導を行い、どのように考えて書くかを説明したい。

【学生が準備すべき機器他】
授業には辞書を持参し、ｽﾏｰﾄﾌｫﾝ等でｲﾝﾀｰﾈｯﾄ上の辞書を使用することは原則として認めない。

【Outline and objectives】
This class aims to provide students with further opportunities to improve their English proficiency acquired in English 1 and 2 classes. Students will read, write, hear and speak about various topics of Japan, especially Japanese culture in the world in English in order fully to have an academic skill. The autumn semester focuses on explaining Japanese culture in English to the world. The various reading and listening materials can give students a lot of information, and based on these, they try to write a comment or speak his/her opinion in English. To train an ability to explain Japanese culture in English, students will give a presentation of a topic of Japanese culture which interests them. Concerning the class procedure, students take a listening test at the beginning, try to read a short English passage and write a comment after watching DVD. They also read an English essay on Inbound/Outbound Japan in class. It is essential for students to take three kinds of exams — writing, presentation, and final reading & listening.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**近代日本と世界**

佐々木　一惠

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水 4**/Wed.4
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：中級／日本語／世界の中の日本
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業は、一年次に English1 ならびに Enlgish2 で培った力をベースに、日本の歴史（近代）に関する英語の文献・画像・視聴覚資料を用いて、英語の四技能（読む・聴く・話す・書く）をさらに高めていくことを目指します。

【到達目標】
●英語を用いて日本の歴史 (近代）に関する情報の受発信ができるようになること。
●大学レベルの英語のアカデミック・スキル（プレゼンテーション、スピーチ、ライティング）を身につけること。
●大学での学びに必要な英語の語彙力とその運用力を身につけること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
この授業は Hoppii(法政大学の学習支援システム) で行っていきます。毎週水曜日に、「教材」に今週の課題で使用する教材をアップロードします。こちらをダウンロードして学習してください。また、「テスト」や「課題」にアップロードされているテストや課題を行い、提出するようにしてください。フィードバックは HOPPII を通じて行います。毎週水曜日、みなさんにやってもらいたいことについては、「お知らせ」でお伝えします。
●毎週水曜日に「教材」にアップロードされるもの：
単語（25 語）リスト、リーディング教材など
●毎週水曜日に「テスト」にアップロードされるもの：
単語テスト（25 語）、リスニング音声＋リスニングテスト（穴埋め問題）、リーディング小テストなど　→ 翌週の月曜日午前 10 時が提出期限となります。そして火曜日午前 10 時に小テストの結果と回答・コメントが公開になります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の内容や課題についての説明
2	ペリー来航	●語彙・リスニングのエクササイズ ●リーディング： A Journal of The Perry Expedition to Japan
3	明治維新	●語彙・リスニングのエクササイズ ●リーディング： A letter of resignation of the last Shogun, 1867
4	西郷隆盛と征韓論	●語彙・リスニングのエクササイズ ●リーディング： A letter from Saigo Takamori to Itagaki Taisuke on the Korean question, July 29, 1873

5	文明開化とジェンダー	●語彙・リスニングのエクササイズ ●リーディング： Distinguish the equal rights of husband and wives
6	明治期の改革１	●語彙・リスニングのエクササイズ ●ドキュメンタリー：Japan-Meiji Reforms（前半）とグループディスカッション
7	明治期の改革２	●語彙・リスニングのエクササイズ ●ドキュメンタリー：Japan-Meiji Reforms（後半）とグループディスカッション
8	近代国家と教育１	●語彙・リスニングのエクササイズ ●リーディング： Military-style physical training
9	近代国家と教育２	●語彙・リスニングのエクササイズ ●リーディング： The imperial rescript of education, the opening, 1890
10	日清戦争	●語彙・リスニングのエクササイズ ●リーディング： Jishu teki gaiko no igi
11	岡倉天心	●語彙・リスニングのエクササイズ ●リーディング： The Book of Tea
12	明治期の日本について書く	●語彙・リスニングのエクササイズ ●パラグラフ・ライティング演習
13	明治期の日本について話す	●語彙・リスニングのエクササイズ ●スピーチ演習
14	期末試験	学期のまとめと試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
●語彙エクササイズ、リーディング課題の予習・復習
●ライティング、スピーチ課題の準備

【テキスト（教科書）】
プリントを配布します。

【参考書】
特にありません。

【成績評価の方法と基準】
単語テスト（含む期末単語テスト）30 %
リースニング・テスト　20 %
リーディング小テスト 30 %
ライティング課題　　15 %
スピーチ課題　　5 %

【学生の意見等からの気づき】
ビデオ教材をもう少しわかりやすいものに変える。

【学生が準備すべき機器他】
パソコン等の情報機器ならびにインターネットへの接続環境が必要です。

【その他の重要事項】
欠席が 4 回以上になった場合、原則として単位取得の資格を失います。

【Outline and objectives】
The course is designed for second-year students to further develop the ability to read, listen, speak, and write in English, by utilizing written documents (both primary and secondary) and audiovisual materials on modern Japanese history.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**現代日本社会と世界**

佐々木　一惠

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：中級／日本語／世界の中の日本
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業は、一年次に English1 ならびに Enlgish2 で培った力をベースに、日本の社会や文化に関する英語の文献・画像・視聴覚資料を用いて、英語の四技能（読む・聴く・話す・書く）をさらに高めていくことを目指します。

【到達目標】
●英語を用いて日本の社会や文化に関する情報の受発信ができるようになること。
●大学レベルの英語のアカデミック・スキル（プレゼンテーション、スピーチ、ライティング）を身につけること。
●大学での学びに必要な英語の語彙力とその運用力を身につけること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
この授業は Hoppii(法政大学の学習支援システム) で行っていきますが、プレゼンテーション（準備の回と発表の回）ならびにスピーチの回は、Zoom で所定の授業曜日・時限に授業を実施します。毎週水曜日に、「教材」に今週の課題で使用する教材をアップロードします。こちらをダウンロードして学習してください。また、「テスト」や「課題」にアップロードされているテストや課題を行い、提出するようにしてください。フィードバックは HOPPII を通じて行います。毎週水曜日、みなさんにやってもらいたいことについては、「お知らせ」でお伝えします。
●毎週水曜日に「教材」にアップロードされるもの：
単語（25 語）リスト、リーディング教材など
●毎週水曜日に「テスト」にアップロードされるもの：
単語テスト（25 語）、リスニング音声＋リスニングテスト（穴埋め問題）、リーディング小テストなど　→ 翌週の月曜日午前 10 時が提出期限となります。そして火曜日午前 10 時に小テストの結果と回答・コメントが公開になります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の内容や課題に関する説明
2	ポップ・カルチャー	●語彙・リスニングのエクササイズ ●リーディング： Character Cafes
3	刺青／タトゥー	●語彙・リスニングのエクササイズ ●リーディング： The Tattoo Taboo
4	外国人観光客	●語彙・リスニングのエクササイズ ●リーディング： 7,800 Yen a Day

5	プレゼンテーション演習 1	●語彙・リスニングのエクササイズ ●東京 1 日観光プラン (準備)
6	プレゼンテーション演習 2	●語彙・リスニングのエクササイズ ●東京 1 日観光プラン（発表）
7	人種観 1	●語彙・リスニングのエクササイズ ●リーディング： Face Value
8	人種観 2	●語彙・リスニングのエクササイズ ●ドキュメンタリー： Black in Japan とグループ・ディスカッション
9	ペット・ブームの陰	●語彙・リスニングのエクササイズ ●リーディング： Stray Observations on Booming Pet Culture
10	少子化問題	●語彙・リスニングのエクササイズ ●リーディング： Time for Mass Immigration
11	現金好きは変わる？	●語彙・リスニングのエクササイズ ●リーディング： Should Cash be King?
12	現代の日本社会について書く	●語彙・リスニングのエクササイズ ●パラグラフ・ライティング演習
13	現代の日本社会について話す	●語彙・リスニングのエクササイズ ●スピーチ演習
14	期末試験	学期のまとめと試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
●語彙エクササイズ、リーディング課題の予習・復習
●ライティング、スピーチ課題の準備

【テキスト（教科書）】
HOPPII で配布します。

【参考書】
特にありません。

【成績評価の方法と基準】
単語テスト（含む期末単語テスト）30 %
リースニング・テスト　20 %
リーディング小テスト 30 %
ライティング課題　10 %
プレゼンテーション課題　5 %
スピーチ課題　5 %

【学生の意見等からの気づき】
ビデオ教材をもう少しわかりやすいものに変えたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】
パソコン等の情報機器ならびにインターネットへの接続環境が必要です。

【その他の重要事項】
欠席が 4 回以上になった場合、原則として単位取得の資格を失います。

【Outline and objectives】
The course is designed for second-year students to further develop the ability to read, listen, speak, and write in English, by utilizing written documents (both primary and secondary) and audiovisual materials on modern Japanese society and culture.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Aspects of the English Speaking World

TOBY TRAUB

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：中級／英語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Learning English for communicating in a global society.

【到達目標】
This course is designed to develop language skills necessary for students to express themselves in English. The emphasis is on oral communication, and we will practice listening and speaking skills. Students will also practice writing paragraphs and short essays.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Students will participate in a variety of activities that involve all four skills of reading, writing, listening and speaking. Students will be asked to read short articles, prepare for discussion by briefly writing their opinions, and then participate in discussions, usually in pairs. Reading comprehension will be checked, and new vocabulary will be reviewed after matching activities.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Course orientation	Getting to know each other; student introductions & class guidelines. handout discussion activities
2	Unit 1: Getting to Know Each Other Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment..
3	Unit 1 Environmental Issues Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.

4	The Way we Live Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
5	Unit 2 Technology: Friend or Foe Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
6	Unit 2 Political Refugees Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
7	Protests and dissent Research report/ mini- Presentations Connecting the dots Love and Loss Death	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
8	Music and Art Unit 3: Global thinking Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
9	Unit 3: Seize the day Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
10	Unit 3: Swim against the stream. Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
11	Unit 4: What will your verse be? Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
12	The road less traveled. Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment. Tips for the Quiz
13	Meritocracy and Theocracy Quiz Song lesson	Quiz Song lesson
14	Wrap-up	Go over quiz Speaking activity

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to complete a writing assignment every week in preparation for discussion. This writing assignment will usually require research. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course

【テキスト（教科書）】

There is no textbook. Handouts will be given in class.

【参考書】

These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments.
https://japantoday.com/
https://www.japantimes.co.jp/news/
https://www.yahoo.com/news/
http://www.bbc.com/news
https://news.google.com/news/

【成績評価の方法と基準】

Class participation: 40%
Quizzes, writing assignments, presentations:60%
Departmental guidelines state that more than three absences will result in automatic failure of the course.
Obviously, when you are absent, it will hurt your class participation grade.

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable

【学生が準備すべき機器他】
Always bring a dictionary to class (paper or electronic OK). Translation software is strictly forbidden. You may use your phone in class ONLY for a dictionary app. Or, on a rare occasion, they could be used for purposes related to the class. I recommend using a dedicated electronic dictionary.

【その他の重要事項】
This is a challenging course, but you will learn a lot, and improve your English a lot. Because the course is challenging, you will have a proud sense of accomplishment when you have finished the course.
This syllabus is subject to revision, and likely will change based on the students' needs, and topics will be based on relevant social issues of the moment.

【Outline and objectives】
This is a content based course with the objective of helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of the world with an emphasis on American social, political, and popular culture.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Aspects of the English Speaking World

TOBY TRAUB

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：中級／英語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Learning English for communicating in a global society.

【到達目標】
This course is designed to develop language skills necessary for students to express themselves in English. The emphasis is on oral communication, and we will practice listening and speaking skills. Students will also practice writing paragraphs and short essays.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Students will participate in a variety of activities that involve all four skills of reading, writing, listening and speaking. Students will be asked to read short articles, prepare for discussion by briefly writing their opinions, and then participate in discussions, usually in pairs. Reading comprehension will be checked, and new vocabulary will be reviewed after matching activities.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Welcome back	What I did over summer break. Recent happenings in the news. Research and writing assignment.
2	Homelessness Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment..
3	Art and War Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.

4	Human Compassion Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
5	Is telling lies bad? Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Listening activity Homework: Conversation preparation writing assignment.
6	Immigration good, or bad? Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Listening activity Homework: Conversation preparation writing assignment.
7	How neighborhoods happen. Introduce big presentation. Create teams. Go over expectations.	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Listening activity Homework: Conversation preparation writing assignment.
8	Rules versus freedom Presentation topics due. Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Listening activity Homework: Conversation preparation writing assignment.
9	Japan surveillance state. Outline of presentations due. Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
10	Fabulous Japan Draft of words of presentations due. Current events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
11	Christmas and holidays. 5 Powerpoints due Christmas/holiday comprehension skill building activity.Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
12	Presentation Day.	Tips for the Quiz
13	Song lesson My Winter break Pandemics	Song lesson Discussion activity. No homework except to study for big quiz.
14	Big quiz	Quiz Games Puzzle

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are given a writing assignment almost every week. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course

【テキスト（教科書）】

There is no textbook. Handouts will be given in class.

【参考書】

These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments.
https://japantoday.com/
https://www.japantimes.co.jp/news/
https://www.yahoo.com/news/
http://www.bbc.com/news
https://news.google.com/news/

【成績評価の方法と基準】

Class participation: 40%
Quizzes, writing assignments, presentations:60%
Departmental guidelines state that more than three absences will result in automatic failure of the course.
Obviously, when you are absent, it will hurt your class participation grade.

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable

【学生が準備すべき機器他】

Always bring a dictionary to class (paper or electronic OK). Translation software is strictly forbidden. You may use your phone in class ONLY for a dictionary app. Or, on a rare occasion, they could be used for purposes related to the class. I recommend using a dedicated electronic dictionary.

【その他の重要事項】

This is a challenging course, but you will learn a lot, and improve your English a lot. Because the course is challenging, you will have a proud sense of accomplishment when you have finished the course.

【Outline and objectives】
This is a content based course aimed at helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of American culture.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**英語圏の映画と社会**

川野　芽生

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：中級／日本語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
現代社会の諸問題を扱った映画を鑑賞することを通して、英語圏の社会と文化について学ぶ。英語を使って社会問題と文化・芸術に触れ、教養と思考力を養う。社会の多様性を理解し、自分の意見を持つことができるようになる。英語で自分の考えを表現することができるようになる。英語の四技能を伸ばし、英語で情報を取り入れるとともにみずから発信できるようになる。

【到達目標】
・複数のパラグラフからなる文章を正確に読み取ることができるようになる。
・英文を聞き取り、意味を掴むことができるようになる。
・語彙力を高める。
・芸術・文化や社会問題に対する理解を深める。
・英語で自分の考えを表現することができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
2 回の授業で 1unit を扱う。一回目では、映画に関する説明文のリスニングとリーディングを行い、映画の一部を視聴する。二回目では、再び映画の一部を視聴し、リーディングテキストに基づいた演習問題や自分の考えを書くライティング問題を解き、ディスカッションを行う。
最終的に、授業で扱った映画のうち好きなものを選び、英語でエッセイを書いて提出する。課題の提出やフィードバックは学習支援システムを通じて行う。
授業は基本的に zoom で行い、試験のみ対面で行う。zoom 等の詳細については、学習支援システムで連絡する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Unit 1	『スリー・ビルボード』
2	Unit 1	『スリー・ビルボード』続き
3	Unit 2	『ムーンライト』
4	Unit 2	『ムーンライト』続き
5	Unit 3	『ドリーム』
6	Unit 3	『ドリーム』続き
7	Unit 4	『それでも夜は明ける』
8	Unit 4	『それでも夜は明ける』続き
9	Unit 5	『ブルックリン』
10	Unit 5	『ブルックリン』続き
11	Unit 6	『グラン・トリノ』
12	Unit 6	『グラン・トリノ』続き
13	Unit 7	『扉をたたく人』
14	Unit 7	『扉をたたく人』

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。事前に Reading の文章を読み、訳してくること。

【テキスト（教科書）】
Joseph Tabolt, 森永弘司/Our Society, Our Diversity, Our Movies（映画に観る多文化社会のかたち）金星堂、2020 年、1900 円

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
平常点　30 %
最終レポート　70 %
4 回以上欠席した者は原則として単位修得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】
課題や予習の負担が重くなりすぎないよう、適正な量を考慮する。

【Outline and objectives】
In this course students will learn about cultures and societies in English-speaking countries through watching movies dealing with various social problems.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**英語圏の映画と社会**

川野　芽生

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：中級／日本語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
現代社会の諸問題を扱った映画を鑑賞することを通して、英語圏の社会と文化について学ぶ。英語を使って社会問題と文化・芸術に触れ、教養と思考力を養う。社会の多様性を理解し、自分の意見を持つことができるようになる。英語で自分の考えを表現することができるようになる。英語の四技能を伸ばし、英語で情報を取り入れるとともにみずから発信できるようになる。

【到達目標】
・複数のパラグラフからなる文章を正確に読み取ることができるようになる。
・英文を聞き取り、意味を掴むことができるようになる。
・語彙力を高める。
・芸術・文化や社会問題に対する理解を深める。
・英語で自分の考えを表現することができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
2 回の授業で 1unit を扱う。一回目では、映画に関する説明文のリスニングとリーディングを行い、映画の一部を視聴する。二回目では、再び映画の一部を視聴し、リーディングテキストに基づいた演習問題や自分の考えを書くライティング問題を解き、ディスカッションを行う。
最終的に、授業で扱った映画のうち好きなものを選び、英語でエッセイを書いて提出する。課題の提出やフィードバックは学習支援システムを通じて行う。
授業は基本的に zoom で行い、試験のみ対面で行う。zoom 等の詳細については、学習支援システムで連絡する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Unit 8	『マダム・イン・ニューヨーク』
2	Unit 8	『マダム・イン・ニューヨーク』続き
3	Unit 9	『ロスト・イン・トランスレーション』
4	Unit 9	『ロスト・イン・トランスレーション』続き
5	Unit 10	『わたしは、ダニエル・ブレイク』
6	Unit 10	『わたしは、ダニエル・ブレイク』続き
7	Unit 11	『博士と彼女のセオリー』
8	Unit 11	『博士と彼女のセオリー』続き
9	Unit 12	『ダラス・バイヤーズクラブ』
10	Unit 12	『ダラス・バイヤーズクラブ』続き
11	Unit 13	『アメリカン・スナイパー』
12	Unit 13	『アメリカン・スナイパー』続き
13	Unit 14	『ホテル・ルワンダ』
14	Unit 14	『ホテル・ルワンダ』続き

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。事前に Reading の文章を読み、訳してくること。

【テキスト（教科書）】
Joseph Tabolt, 森永弘司/Our Society, Our Diversity, Our Movies（映画に観る多文化社会のかたち）金星堂、2020 年、1900 円

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
平常点　30 %
最終レポート　70 %
4 回以上欠席した者は原則として単位修得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】
課題や予習の負担が重くなりすぎないよう、適正な量を考慮する。

【Outline and objectives】
In this course students will learn about cultures and societies in English-speaking countries through watching movies dealing with various social problems.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**世界の中の日本**

猪俣　佳瑞美

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：中級／日本語／世界の中の日本
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English1,2 での学びを踏まえ、4 技能（英語を読み、聞き、書き、話す力）の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、各トピックを国内に存在する身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。

【到達目標】
講義の到達目標は、以下である。
・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。
・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。
・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。
・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。
・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
各 Unit を 1 回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。リスニング練習や、日本語で伝えたいことを英語にする活動などにおいて、講師は実践的且つ具体的なフィードバックを行い、各学生のスキルアップに取り組む。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。大学の行動方針レベルが 2 となった場合、この授業は原則としてオンデマンド授業 (資料型) で行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の目的、内容、進め方の説明 自己紹介など
2	Unit 1 Shared Housing vs. Living Alone	若者の暮らし方を「一人暮らし」と「シェアハウス」を比べることで考える。リーディング素材を使用し、命題に対して批評的な思考を組み立てる方法を学び、意見を日本語で確認した上で、英語にする演習及び、意見をペアやグループで発表。

3	Unit 2 Studying in a Café vs. Home	学習を効率的に行う場所として「自宅」と「カフェ」を比較する。テーマに関する意見を英語で聞き、情報を整理した上で、各自の経験や意見をペアやグループで英語で発表する。
4	Unit 3 Gakuran vs. Blazer	高校の制服デザインについて考える。代表的なものとして「学ラン」と「ブレザー」を取り上げるが、現代社会における多様性という面からも、制服に求められる社会的役割を各自が考え、英語で意見をまとめる演習を行う。
5	Unit 4 Coming-of-Age Ceremonies	成人式の必要性について考える。また、海外には日本の「成人式」に該当する行事は無いため、その概要や存在意義を英語で説明できるようにする。最後に、各自の成人式に対する意見交換を英語で行う。
6	Unit 5 24/7 Convenience Stores	コンビニの 24 時間営業について考える。各学生が 24 時間営業に「賛成」なのか「反対」なのか、各自の立場を明確にした上で、ペアやグループに分かれ、理論的に意見を述べる練習を行う。
7	Unit 6 Japanese Era Names	「元号」について考える。2019 年５月に導入された新元号「令和」。元号が変わる時を体験した学生同士だからこそ可能な、元号の必要性や意義に関する意見を英語で交換したい。また世界でも珍しい「元号」の英語による説明方法も取り上げる。
8	Unit 7 Point Cards	購入した額によって与えられる「ポイント」や「ポイントカード」について考える。このサービスを受ける側からだけでなく、与える側からも考察し、存在意義を考えたい。身近なトピックであることから、各自が実体験を踏まえ、わかりやすく自分の考えを英語で相手に伝える練習を行う。
9	Unit 8 Disaster Volunteers	自然災害時のボランティアについて考える。特に「ボランティア」と「報酬」に関する英文を読んだ上で、各自の考えを論理的にまとめ、説得力ある意見にする練習を行う。
10	Unit 9 Domestic Trip vs. Abroad	「旅行」をテーマに取り上げる。「国内旅行」と「海外旅行」を比較し、10 万円あったら「国内」「海外」どちらを旅行したいか英語で意見を述べ合う。各自、その理由を明確にできるよう、具体的な旅行案も考えた上で授業に参加してほしい。
11	Unit 10 Studying English Abroad	「留学」をテーマに取り上げる。最近、人気の高いアジア諸国への留学に関する英文を読んだ上で、各自が、語学留学するなら、どこの国へ行きたいか、その理由などを明確にした上で、意見交換を行う。
12	プレゼンテーション準備と確認	13、14 回めの講義で行うプレゼンテーションに関する説明を行い、各自で準備を進める。
13	プレゼンテーション１	各学生が今までに講義で扱ったトピックから１つを選び、クラス全体に発表する１回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
14	プレゼンテーション２ 小テストとまとめ	各学生が今までに講義で扱ったトピックから１つを選び、クラス全体に発表する２回目。 春学期に扱った語彙を中心とする小テストも実施。学びを総括する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定された Unit を事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。Listening Dictation 問題は講義内で行うので予習不要。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。
準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。
準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

【テキスト（教科書）】

英語で考え、英語で発信する 2　　Two Sides to Every Discussion 2
Jonathan Lynch / 委文　光太郎 著
成美堂 2020 年　1,900 円（税込 2,090 円）

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

平常点 40 %　発表 40 %　小テスト 20 % 遅刻は厳禁。授業開始時刻から 30 分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、４回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違えを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

【学生が準備すべき機器他】

電子辞書を必ず持参すること

【Outline and objectives】

This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**世界の中の日本**

猪俣　佳瑞美

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：中級／日本語／世界の中の日本
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English1,2 での学びを踏まえ、４技能（英語を読み、聞き、書き、話す力）の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、各トピックを国内に存在する身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。

【到達目標】
講義の到達目標は、以下である。
・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。
・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。
・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。
・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。
・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
各 Unit を１回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。リスニング練習や、日本語で伝えたいことを英語にする活動などにおいて、講師は実践的且つ具体的なフィードバックを行い、各学生のスキルアップに取り組む。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンデマンド授業 (資料型) で行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の目的、内容、進め方の説明 自己紹介など
2	Unit 1 Shared Housing vs. Living Alone	若者の暮らし方を「一人暮らし」と「シェアハウス」を比べることで考える。リーディング素材を使用し、命題に対して批評的な思考を組み立てる方法を学び、意見を日本語で確認した上で、英語にする演習及び、意見をペアやグループで発表。
3	Unit 2 Studying in a Café vs. Home	学習を効率的に行う場所として「自宅」と「カフェ」を比較する。テーマに関する意見を英語で聞き、情報を整理した上で、各自の経験や意見をペアやグループで英語で発表する。
4	Unit 3　Gakuran vs. Blazer	高校の制服デザインについて考える。代表的なものとして「学ラン」と「ブレザー」を取り上げるが、現代社会における多様性という面からも、制服に求められる社会的役割を各自が考え、英語で意見をまとめる演習を行う。
5	Unit 4 Coming-of-Age Ceremonies	成人式の必要性について考える。また、海外には日本の「成人式」に該当する行事は無いため、その概要や存在意義を英語で説明できるようにする。最後に、各自の成人式に対する意見交換を英語で行う。
6	Unit 5 24/7 Convenience Stores	コンビニの 24 時間営業について考える。各学生が 24 時間営業に「賛成」なのか「反対」なのか、各自の立場を明確にした上で、ペアやグループに分かれ、理論的に意見を述べる練習を行う。
7	Unit 6 Japanese Era Names	「元号」について考える。2019 年５月に導入された新元号「令和」。元号が変わる時を体験した学生同士だからこそ可能な、元号の必要性や意義に関する意見を英語で交換したい。また世界でも珍しい「元号」の英語による説明方法も取り上げる。
8	Unit 7　Point Cards	購入した額によって与えられる「ポイント」や「ポイントカード」について考える。このサービスを受ける側からだけでなく、与える側からも考察し、存在意義を考えたい。身近なトピックであることから、各自が実体験を踏まえ、わかりやすく自分の考えを英語で相手に伝える練習を行う。
9	Unit 8　Disaster Volunteers	自然災害時のボランティアについて考える。特に「ボランティア」と「報酬」に関する英文を読んだ上で、各自の考えを論理的にまとめ、説得力ある意見にする練習を行う。
10	Unit 9　Domestic Trip vs. Abroad	「旅行」をテーマに取り上げる。「国内旅行」と「海外旅行」を比較し、10 万円あったら「国内」「海外」どちらを旅行したいか英語で意見を述べ合う。各自、その理由を明確にできるよう、具体的な旅行案も考えた上で授業に参加してほしい。
11	Unit 10　Studying English Abroad	「留学」をテーマに取り上げる。最近、人気の高いアジア諸国への留学に関する英文を読んだ上で、各自が、語学留学するなら、どこの国へ行きたいか、その理由などを明確にした上で、意見交換を行う。
12	プレゼンテーション準備と確認	13、14 回めの講義で行うプレゼンテーションに関する説明を行い、各自で準備を進める。

13	プレゼンテーション１	各学生が今までに講義で扱ったトピックから１つを選び、クラス全体に発表する１回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
14	プレゼンテーション２ 小テストとまとめ	各学生が今までに講義で扱ったトピックから１つを選び、クラス全体に発表する２回目。 春学期に扱った語彙を中心とする小テストも実施。学びを総括する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定された Unit を事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。Listening Dictation 問題は講義内で行うので予習不要。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。
準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。
準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

【テキスト（教科書）】
英語で考え、英語で発信する 2　　Two Sides to Every Discussion 2
Jonathan Lynch / 委文　光太郎 著
成美堂 2020 年　1,900 円（税込 2,090 円）

【参考書】
特になし

【成績評価の方法と基準】
平常点 40 %　発表 40 %　小テスト 20 % 遅刻は厳禁。授業開始時刻から 30 分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、4 回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】
英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違えを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

【学生が準備すべき機器他】
電子辞書を必ず持参すること

【Outline and objectives】
This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**現代の諸相**

宮本　三恵子

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**水 4**/Wed.4
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：初級／日本語／現代の諸相
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English 1 と２で学んだ「読む、書く、聴く、話す」という英語の４技能をさらに身に着けることを目的の一つとします。その際、あるテーマに焦点を当てて進めていきます。現在、世界中で様々な争いが絶えません。それらを「現代の諸相」ととらえて、理由や解決方法を考えていくことをテーマとします。そのための材料として英字新聞、映画、音楽が役立つでしょう。

【到達目標】
英字新聞では英語の文章を構文・語彙を理解して正確に読解できるようにしましょう。映画では英会話のせりふが聞き取れるように努力し, 自分で使えるようにもしましょう。英語の歌でもリスニングの努力をして意味をつかめるようにしましょう。脚韻が把握できるようになりましょう。主にメッセージソングやプロテストソングを使って反戦をどのように訴えているか学びます。自分の考えを英語で表現したり、書いたりもできるようにしましょう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
この授業はほぼオンデマンド（資料型）で進みます。
Hoppii をみてください。
英字新聞ではヘッドラインを読み取ることから始めて徐々に本文の文章にも触れていきます。そのために必要な文法的特徴も学んでいきます。映画ではビデオを観て聞き取りの練習などします。自分で観てきた映画についての報告などもします。その中で覚えた英語の会話を実際に使ってみます。音楽でもビデオをみて聞き取りの練習をします。脚韻についても学びます。テーマについて自分の意見を英語で書いてみます。これらに関連して毎回問題を出すので、解答を提出してもらいます。フィードバックとして次の授業（課題）で解答と解説をします。提出の中から模範となる例を挙げたり、間違えやすい例を挙げたり
します。理解できない場合にはもう一度同じような問題を出して解説するので、身につくまで試してみましょう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業のテーマと授業の進め方を説明します。 オンデマンド授業です。Hoppii をみてください。
第 2 回	英字新聞について学ぶ。	英字新聞の種類や特徴を学びます。Hoppii に課題を出します。
第 3 回	映画を観る。	映画についての情報を調べてもらいます。あるシーンの聞き取りをして提出してもらいます。
第 4 回	音楽を聴く。	歌詞を検索して書きます。単語調べなどもします。ビデオを使って聞き取り練習などします。学んだことを提出してもらいます。

第 5 回	英字新聞を読む。	ｈｅａｄｌｉｎｅの特徴を学びます。学んだことを提出してもらいます。
第 6 回	映画を観る。	映画についての情報を報告します。別のシーンから聞き取りの報告をします。
第 7 回	音楽を聴く。	歌詞を検索して書きます。脚韻について学び、提出します。
第 8 回	英字新聞を読む。	２種類以上の新聞でｈｅａｄｌｉｎｅｓを比較してみます。その過程を書いて提出します。
第 9 回	映画を観る。	映画のテーマについて考える。それを英語でかいてみる。別のシーンの聞き取りをする。これらについて提出。
第 10 回	音楽を聴く。	歌詞からメッセージを読み取る。それを英語で書いてみて提出。
第 11 回	レポートについて。	レポートについて説明します。読み書き、聞き取りは通常通りで提出。
第 12 回	レポート評。	やってきたレポート（未完でも可）を交換してチェックし合います。その評を提出。
第 13 回	レポート評。	より良くしてきたレポートを前回と別の学生と交換してチェックしあう。その評を提出。
第 14 回	レポート提出。	完成したレポートを提出。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
紙の英字新聞を買っておいてください。
聴き取りに使う観たい映画を選んでおいてください。
英語字幕と日本語字幕両方出るものです。

【テキスト（教科書）】
主にプリント使用。Hoppii 内にも書きます。
紙の英字新聞を各自用意してください。
英和・和英・国語辞書を積極的に使いましょう。
携帯電話の辞書使用は認めません。

【参考書】
各自が参考文献にする本を読んで報告してください。
ネットで参考になるホームページなどもチェックしましょう。

【成績評価の方法と基準】
平常点５０％、レポート５０％で６０％以上で合格です。
平常点の内容は、教室では授業への集中度などです。
全出席が単位の条件です。やむをえず欠席したら、必ず理由を報告してください。理由があれば３回まで欠席を認めます。
Hoppii では課題すべての提出です。提出できなかった場合、次の課題内に
その理由を書いて、未提出分もやってください。

【学生の意見等からの気づき】
特にありません。

【学生が準備すべき機器他】
主に紙の英字新聞を各自用意して使いますが、
インターネットも利用します。

【その他の重要事項】
（教室での提出物はすべてＢ５用紙使用です。）
レポート提出日は第１４回より早い場合もあります。
主にオンデマンド授業です。４月中に Hoppii に課題を出すので、みてください。
質問などはメールで。miekamimi@ybb.ne.jp（ PC ヤフーメール）
課題内に書いてもいいです。

【Outline and objectives】
The aim of English 3 is to further develop students' English proficiency
which they acquired in English 1 and 2.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**現代の諸相**

宮本　三恵子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
文（哲日英）２年：初級／日本語／現代の諸相
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English 1 と２で学んだ「読む、書く、聴く、話す」という英語の４技能をさらに身に付けることを目的の一つとします。その際、あるテーマに焦点を当てて進めていきます。現在、世界中で様々な争いが絶えません。それらを「現代の諸相」ととらえて理由や解決方法を考えていくことをテーマとします。そのための材料として、英字新聞、映画、音楽などが役立つでしょう。

【到達目標】
英字新聞では英語の文章を構文や語彙を理解して正確に読解できるようにしましょう。映画では英会話のせりふが聞き取れるように努力し、自分で使えるようにもしましょう。英語の歌でもリスニングの努力をして意味をつかめるようにしましょう。脚韻が把握できるようになりましょう。主にメッセージソングやプロテストソングを使って反戦をどのように訴えているか学びます。自分の考えを英語で表現したり書いたりできるようにしましょう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
この授業はハイブリッド型ですが、主にオンデマンド（資料型）で進みます。
Hoppii をみてください。
英字新聞ではヘッドラインを読み取ることから始めて、徐々に本文の文章にも触れていきます。そのために必要な文法的特徴も学んでいきます。映画ではビデオを観て聞き取りの練習などします。自分で観てきた映画についての報告などもします。その中で覚えた英語の会話を実際に使ってみます。音楽でもビデオを観て聞き取りの練習をします。脚韻についても学びます。テーマについて自分の意見を英語で書いてみます。これらに関連して毎回問題を出すので、
解答を提出してもらいます。フィードバックとして次の授業で解答と解説をします。提出の中から、模範となる解答例を挙げたり、間違えやすい例を挙げます。理解できない場合、同じような問題を出して解説するので、身につくまで
試してみましょう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業のテーマと授業の進め方を説明します。 Hoppii に課題を出します。
第 2 回	英字新聞について学ぶ。	英字新聞の種類や特徴を学びます。問題を出すので提出してもらいます。
第 3 回	映画を観る。	映画についての情報を調べます。あるシーンの聞き取りをして提出してもらいます。

第 4 回	音楽を聴く。	歌詞を検索して書きます。単語なども調べます。ビデオを使って聞き取りの練習をしたり英語の勉強をします。学んだことを提出してもらいます。
第 5 回	英字新聞を読む。	ｈｅａｄｌｉｎｅの特徴を学びます。学んだことを提出します。
第 6 回	映画を観る。	映画についての情報を報告します。別のシーンの聞き取りをして提出してもらいます。
第 7 回	音楽を聴く。	歌詞を検索して書きます。脚韻について学び、提出します。
第 8 回	英字新聞を読む。	２種類以上の新聞でｈｅａｄｌｉｎｅｓを比較してみて書いて提出します。
第 9 回	映画を観る。	映画のテーマについて考える。それを英語で書いてみる。別のシーンの聞き取りをして書いて提出。
第 10 回	音楽を聴く。	歌詞からメッセージを読み取り、英語で書いてみて提出。
第 11 回	レポートについて。	レポートについて説明します。読み書きや聞き取りは通常通りで、提出。
第 12 回	レポート評。	やってきたレポート（未完でも可）を交換してチェックし合います。その評を提出。
第 13 回	レポート評。	より良くしてきたレポートを前回と別の学生と交換してチェックしあう。その評を提出。
第 14 回	レポート提出。	完成したレポートを提出。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
選んだ映画はあらかじめ観ておいてください。
テーマにふさわしい本を図書館で調べておいてください。

【テキスト（教科書）】
主にプリント使用。Hoppii 内にも書きます。
紙の英字新聞を各自用意してください。
英和・和英・国語辞書を積極的に使いましょう。
携帯電話の辞書使用は認めません。

【参考書】
各自が参考文献にする本を読んで報告してください。
ネットで参考になるホームページなどもチェックしましょう。

【成績評価の方法と基準】
平常点５０％、レポート５０％で、６０％以上で合格です。
平常点の内容は、授業への集中度、毎回の小テスト・提出物（レポート評も含め）をみます。
全出席が単位の条件です。やむをえず欠席したら、必ず理由を報告してください。理由があれば３回までの欠席は認めます。
Hoppii での課題はすべて出してください。
出せなかった場合は次の課題内にその理由を書いて、未提出分もやってください。

【学生の意見等からの気づき】
特にありません。

【学生が準備すべき機器他】
各自紙の英字新聞を用意してもらいますが、
インターネットも利用します。

【その他の重要事項】
（対面での提出物はすべてＢ５用紙使用です。）
レポート提出日は第１４回より早くなる場合もあります。
主にオンデマンド授業なので、Hoppii をみてください。

【Outline and objectives】
The aim of English 3 is to further develop students' English proficiency
which they acquired in English 1 and 2.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**NHK の英語インタビュー番組を観て、世界を動かす声を聞く**

萩原　眞一

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：初級／日本語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
大学生として必要とされる標準的な英語力を堅固なものにしながら、さらに向上させることを目標とします。
授業は 4 技能（リーディング、ライティング、リスニング、およびスピーキング）の学習を中心に行います。春学期と秋学期のリーディング、リスニング、スピーキングの教科書としては、NHK の英語インタビュー番組 Direct Talk より 15 本が精選され、それぞれに Sharing Our Views、Building Background、Understanding the Main Topic などの設問が付けられた形式のものを使用します。毎回授業中に DVD を視聴し、親しみやすい英文に数多く触れてもらうことによって、リーディング、リスニング、スピーキングの能力の向上を図ります。
また、春学期・秋学期を通じて、グラマーとライティングの能力の向上も目指します。ライティングについては、人文科学系の論文を書く上で役立つ表現法の習得を目標にします。

【到達目標】
学生が教科書の英文記事および付属問題を容易に聴解できること。学生が教科書の英文記事を、パラグラフと文の構造に留意しながら、正確に読解できること。最終的には学生が 100 点満点に換算した成績評価の基準点においてほぼ 60 点以上を獲得できること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
毎授業、講義と演習を繰り返します。課した宿題をその都度点検し、必要に応じて指導します。
なお、大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンラインで行います。詳細は学習支援システムで伝達します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	Voice 1 "Ride-Hailing Innovation: Creating Jobs through Technology" Part 1	DVD を活用して Part 1 のインタビューの聴解と読解を確実なものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。プリント教材を使用しライティングの向上を目指します。
第 2 回	Voice 1 "Ride-Hailing Innovation: Creating Jobs through Technology" Part 2	DVD を活用して Part 2 のインタビューの聴解と読解を確実なものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。
第 3 回	Voice 2 "Bringing Medicine to the African Backcountry" Part 1	DVD を活用して Part 1 のインタビューの聴解と読解を確実なものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。プリント教材を使用しライティングの向上を目指します。

第 4 回	Voice 2 "Bringing Medicine to the African Backcountry" Part 2	DVD を活用して Part 2 のインタビューの聴解と読解を確実なものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。
第 5 回	Voice 3 "Saving Children in Poverty through Music" Part 1	DVD を活用して Part 1 のインタビューの聴解と読解を確実なものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。プリント教材を使用しライティングの向上を目指します。
第 6 回	Voice 3 "Saving Children in Poverty through Music" Part 2	DVD を活用して Part 2 のインタビューの聴解と読解を確実なものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。
第 7 回	中間的な総括・試験	主に教科書に準拠した試験を実施し、聴解力・読解力・文法力・語彙力・作文力の到達度を測定します。
第 8 回	Voice 4 "The Matcha Business: A Maverick Spirit" Part 1	DVD を活用して Part 1 のインタビューの聴解と読解を確実なものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。プリント教材を使用しライティングの向上を目指します。
第 9 回	Voice 4 "The Matcha Business: A Maverick Spirit" Part 2	DVD を活用して Part 2 のインタビューの聴解と読解を確実なものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。
第 10 回	Voice 5 "French Refugee Integration" Part 1	DVD を活用して Part 1 のインタビューの聴解と読解を確実なものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。プリント教材を使用しライティングの向上を目指します。
第 11 回	Voice 5 "French Refugee Integration" Part 2	DVD を活用して Part 2 のインタビューの聴解と読解を確実なものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。
第 12 回	Voice 6 "The Power of Biologging" Part 1	DVD を活用して Part 1 のインタビューの聴解と読解を確実なものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。プリント教材を使用しライティングの向上を目指します。
第 13 回	Voice 6 "The Power of Biologging" Part 2	DVD を活用して Part 2 のインタビューの聴解と読解を確実なものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。
第 14 回	全体的な総括・試験	主に教科書に準拠した試験を実施し、聴解力・読解力・文法力・語彙力・作文力の到達度を測定します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
次回に行われる授業範囲を予習してください。授業中に強調した重要事項は必ず復習してください。適宜、宿題を出します。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
小林めぐみ他編著『Inspiring Voices: 15 Interviews from NHK Direct Talk ―世界を変える声を聞く』（金星堂、2021 年）2600 円（税別）

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
中間試験（40 点）と期末試験（40 点）を実施し、複数回行うリスニングの小テスト（20 点）を勘案した上で、100 点満点に換算した基準点を割り出し、ほぼ 60 点以上を獲得した場合、合格とします。リスニングの小テストに関しては初回授業で説明します。各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】
毎授業、講義と演習を繰り返します。

【学生が準備すべき機器他】
学習支援システムを適宜使用するので、情報機器の準備を望みます。

【Outline and objectives】
The purpose of this course is to encourage participants to develop their reading, listening, and speaking abilities by use of 15 interviews from NHK Direct Talk. Participants can learn about up-to-date research and development in science and technology, social welfare, and fashion etc.
This course also aims to improve the academic writing skill participants will be asked to gain as undergraduates.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**NHK の英語インタビュー番組を観て、世界を動かす声を聞く**

萩原　眞一

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：初級／日本語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
大学生として必要とされる標準的な英語力を堅固なものにしながら、さらに向上させることを目標とします。
授業は 4 技能（リーディング、ライティング、リスニング、およびスピーキング）の学習を中心に行います。春学期と秋学期のリーディング、リスニング、スピーキングの教科書としては、NHK の英語インタビュー番組 Direct Talk より 15 本が精選され、それぞれに Sharing Our Views、Building Background、Understanding the Main Topic などの設問が付けられた形式のものを使用します。毎回授業中に DVD を視聴し、親しみやすい英文に数多く触れてもらうことによって、リーディング、リスニング、スピーキングの能力の向上を図ります。
また、春学期・秋学期を通じて、グラマーとライティングの能力の向上も目指します。ライティングについては、人文科学系の論文を書く上で役立つ表現法の習得を目標にします。

【到達目標】
学生が教科書の英文記事および付属問題を容易に聴解できること。学生が教科書の英文記事を、パラグラフと文の構造に留意しながら、正確に読解できること。最終的には学生が 100 点満点に換算した成績評価の基準点においてほぼ 60 点以上を獲得できること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
毎授業、講義と演習を繰り返します。課した宿題をその都度点検し、必要に応じて指導します。
なお、大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンラインで行います。詳細は学習支援システムで伝達します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	Voice 7 "Farming Is the Future" Part 1	DVD を活用して Part 1 のインタビューの聴解と読解を確実なものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。プリント教材を使用しライティングの向上を目指します。
第 2 回	Voice 7 "Farming Is the Future" Part 2	DVD を活用して Part 2 のインタビューの聴解と読解を確実なものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。
第 3 回	Voice 8 "New Challenge s for a Fashion Giant" Part 1	DVD を活用して Part 1 のインタビューの聴解と読解を確実なものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。プリント教材を使用しライティングの向上を目指します。
第 4 回	Voice 8 "New Challenge s for a Fashion Giant" Part 2	DVD を活用して Part 2 のインタビューの聴解と読解を確実なものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。
第 5 回	Voice 9 "Helping the Socially Vulnerable" Part 1	DVD を活用して Part 1 のインタビューの聴解と読解を確実なものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。プリント教材を使用しライティングの向上を目指します。
第 6 回	Voice 9 "Helping the Socially Vulnerable" Part 2	DVD を活用して Part 2 のインタビューの聴解と読解を確実なものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。
第 7 回	中間的な総括・試験	主に教科書に準拠した試験を実施し、聴解力・読解力・文法力・語彙力・作文力の到達度を測定します。
第 8 回	Voice 10 "The Danish Recipe for Happiness" Part 1	DVD を活用して Part 1 のインタビューの聴解と読解を確実なものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。プリント教材を使用しライティングの向上を目指します。
第 9 回	Voice 10 "The Danish Recipe for Happiness" Part 2	DVD を活用して Part 2 のインタビューの聴解と読解を確実なものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。
第 10 回	Voice 11 "Knitting the Future by Hand" Part 1	DVD を活用して Part 1 のインタビューの聴解と読解を確実なものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。プリント教材を使用しライティングの向上を目指します。
第 11 回	Voice 11 "Knitting the Future by Hand" Part 2	DVD を活用して Part 2 のインタビューの聴解と読解を確実なものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。
第 12 回	Voice 12 "Towards a Zero-Waste Future" Part 1	DVD を活用して Part 1 のインタビューの聴解と読解を確実なものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。プリント教材を使用しライティングの向上を目指します。
第 13 回	Voice 12 "Towards a Zero-Waste Future" Part 2	DVD を活用して Part 2 のインタビューの聴解と読解を確実なものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。
第 14 回	全体的な総括・試験	主に教科書に準拠した試験を実施し、聴解力・読解力・文法力・語彙力・作文力の到達度を測定します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
次回に行われる授業範囲を予習してください。授業中に強調した重要事項は必ず復習してください。適宜、宿題を出します。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
小林めぐみ他編著『Inspiring Voices: 15 Interviews from NHK Direct Talk ―世界を変える声を聞く』（金星堂、2021 年）2600 円（税別）

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
中間試験（40 点）と期末試験（40 点）を実施し、複数回行うリスニングの小テスト（20 点）を勘案した上で、100 点満点に換算した基準点を割り出し、ほぼ 60 点以上を獲得した場合、合格とします。リスニングの小テストに関しては初回授業で説明します。各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】
毎授業、講義と演習を繰り返します。

【学生が準備すべき機器他】
学習支援システムを適宜使用するので、情報機器の準備を望みます。

【Outline and objectives】
The purpose of this course is to encourage participants to develop their reading, listening, and speaking abilities by use of 15 interviews from NHK Direct Talk. Participants can learn about up-to-date research and development in science and technology, social welfare, and fashion etc.
This course also aims to improve the academic writing skill participants will be asked to gain as undergraduates.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Global Issues and Japan

青山　恵子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水 4**/Wed.4
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：初級／日本語／世界の中の日本
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業の目的は「英語を読み聞く」を「英語で考え発信する」へと発展させていくことにあります（learning four skills of reading,listening, speaking and writing)。日本が直面する社会問題をグローバルな視点から考え学びます。

【到達目標】
1. 音読が適切にできるようになること
2. テクスト内容を正確に理解し英語で要約できるようになること
3. 授業で学んだ諸問題について解説と意見を論理的に英語で表現できるようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
＊ This is an on-demand class, and instructions and assignments will be given through Hoppii. (この授業はオンデマンド[資料型] です。指示や課題を学習支援システムで配信します）
Students participate in practical activities including the four skills of reading, listening, speaking and writing:
(1) Reading: paragraph reading
(2) Listening: listening to mini-talks and global news
(3) Writing: summary and paragraph writing
(4) Speaking: preparation for presentation
Submission of assignments and feedback will be on Hoppii.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction / Understanding Issue: The Significance of Going to School	1 Explaining the course 2 Reading and listening practices
2	Understanding issue: Internet Safety or Freedom of Expression?	1 Reading paragraphs on controlling Internet content 2 Listening practice
3	Understanding issue: the Factors of Success in Life	1 Reading paragraphs on success in life 2 Listening practice
4	Understanding issue: Eco or Ego?	1 Reading paragraphs on eco-friendliness 2 Listening practice
5	Understanding issue: Is Every Young Person Worried?	1 Reading paragraphs on worries of young people 2 Listening practice

6	Understanding issue: Clean Energy or Potential Threat?	1 Reading paragraphs on restoring nuclear power generation 2 Listening practice
7	Understanding issue: Social Standards	1 Reading paragraphs on social standards 2 Listening practice
8	Understanding issue: Democracy	1 Reading paragraphs on democracy 2 Listening practice
9	Understanding issue: Parent-child Relationship	1 Reading paragraphs on parent-child relationship 2 Listening practice
10	Understanding issue: Globalization	1 Reading paragraphs on globalization 2 Listening practice
11	Understanding issue: International Society and an International Outlook	1 Reading paragraphs on an international outlook 2 Listening practice
12	Understanding issue: Humans or AI?	1 Reading paragraphs on AI 2 Listening practice
13	Understanding issue: Larger Budgets for Education	1 Reading paragraphs on education expenditure 2 Listening practice
14	Review and Test	Reviewing the topics and test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course (本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします)
1 Weekly reading, listening or writing home assignments
2 Weekly reading aloud and speaking practicing

【テキスト（教科書）】
James M. Vardaman, Japan in International Society: A comparison of Dacts and Figures (『データから考える日本と世界』), 音羽書房鶴見書店, 2011

【参考書】
Provided during sessions

【成績評価の方法と基準】
Attendance and Home assignment (50%)
Writing assignment (20%)
Tests (30%)
In principle, no more than 3 absences per semester are allowed（春学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めない）

【学生の意見等からの気づき】
I'm going to increase opportunities to listen to English materials as well as reading essays and data. I hope your passionate participation makes this course exciting. みなさんの積極的な授業参加が授業の質を高めてくれたと実感しています。本年度の授業もそうなることを希望しています。

【学生が準備すべき機器他】
Hoppii（学習支援システム）
Electric dictionary (English-English dictionary is necessary)

【Outline and objectives】
This is a content-based English learning class focusing on problematic issues in Japanese society and their correlation with global issues. You will practice systematic reading and presentation skills. In Writing Workshops, you will also practice well-organized paragraph writing skills.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Global Issues and Japan

青山　恵子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
文（哲日英）2 年：初級／日本語／世界の中の日本
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
日本が直面する社会問題をグロー バルな視点から考え学びます。English 3 I に引き続き「英語を読み聞く」を「英語で考え発信する」へと発展させていくことを目的とします (learning four skills of reading,listening, speaking and writing)。

【到達目標】
1 音読が適切にできるようになること
2 学んだトピックについての意見を正確に聞き取ることができるようになること
3 学んだトピックについての解説と意見を論理的に英語で表現できるようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
＊ This is an on-demand class, and instructions and assignments will be given through Hoppii. (この授業はオンデマンド[資料型] です。指示や課題を学習支援システムで配信します）
Students participate in practical activities including the four skills of reading, listening, speaking and writing:
(1) Reading: paragraph reading
(2) Listening: listening to mini-talks and global news
(3) Writing: summary and paragraph writing
(4) Speaking: preparation for presentation
Submission of assignments and feedback will be on Hoppii.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction / Understanding Issue: Japanese Language Study Overseas	1 Explaining the course of this semester 2 Reading paragraphs on Japanese language study overseas 3 listening practice
2	Understanding Issue: Are Homeless Responsible for Their Homelessness?	1 Reading paragraphs on homeless 2 Listening practice
3	Understanding Issue: International Students at U.S. Universities	1 Reading paragraphs on international students 2 Listening practice
4	Understanding Issue: Open Borders or Closed Societies? Understanding Issue: Human Rights	1 Reading paragraphs on an open door policy for immigrants 2 Listening practice

5	Understanding Issue: Death Penalty or Human Rights?	1 Reading paragraphs on capital punishment 2 Listening practice
6	Understanding Issue: Mother and Children of the World	1 Reading paragraphs on State of the World Mothers 2 Listening practice
7	Understanding Issue: Global Peace Index	1 Reading paragraphs on Global Peace Index: 2 Listening practice
8	Understanding Issue: The Constitution of Japan	1 Reading paragraphs on the Constitution of Japan in English 2 Reading paragraphs on The Universal Declaration of Human Rights 3 Listening practice
9	Understanding Issue: International Comparison of Military Expenditures	1 Reading paragraphs on military expenditure 2 Listening practice
10	Understanding Issue: Nuclear Ban Treaty	1 Reading paragraphs on Nuclear Ban Treaty 2 Listening practice
11	Understanding Issue: International Competitiveness	1 Reading paragraphs on Global Competitiveness 2 Listening practice
12	Understanding Issue: Tax Hikes: Direct or Indirect?	1 Reading paragraphs on Tax Hikes: on wealth or on consumption 2 Listening practice
13	Understanding Issue: What Makes a Nation Prosperous?	1 Reading paragraphs on Human Development Index 2 Listening practice
14	Review and Test	Reviewing the topics and test.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
University guidelines suggest preparation and revie are around an hour a week for a one-credit course (本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします)
1 Weekly reading, listening, or writing home assignments
2 Weekly reading aloud and speaking practicing

【テキスト（教科書）】
James M. Vardaman, Japan in International Society: A comparison of Dacts and Figures (『データから考える日本と世界』), 音羽書房鶴見書店, 2011

【参考書】
Provided during sessions

【成績評価の方法と基準】
Attendance and Home assignment (50%)
Writing assignment (20%)
Final test (30%)
In principle, no more than 3 absences per semester are allowed (秋学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めない)

【学生の意見等からの気づき】
Your classmates' encouragement will keep yourself motivated.
語学学習は継続が重要です。互いに励ましあいながらさらなるレベルアップを目指しましょう。

【学生が準備すべき機器他】
Hoppii（学習支援システム）
Electric dictionary (English-English dictionary is necessary)

【Outline and objectives】
The course focuses on reading, listening, presenting and writing about "global issues and Japan" in English. Students will practice well-organized paragraph writing and effective presentation skills.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

MICHAEL F.MURPHY

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
文（史地心）2 年：中級／英語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. In this course students will spend time using English to learn about American culture from a number of diverse perspectives. Students will learn about American culture through various sources of information and will incorporate a variety of topics about which they will express their opinion. In addition, students will also practice the fundamental English skills necessary to accomplish the above.

【到達目標】
Students will read and understand rather simple English texts without relying too much on dictionaries for understanding.
Students will learn to express their own opinion in speaking and writing, including how to examine content from a critical thinking perspective.
Students will not only learn about American culture, which continues to have a large impact on the world, but will be able to apply that knowledge while improving their English skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Warm up activities will include listening practice from various English websites. Various target language objectives will be emphasized during each class period. For example, while reading from text, an emphasis may be placed on building vocabulary as well as the comprehension of passages. When presentations are the focus, an emphasis will be placed on using the appropriate posture and body language.
Students will receive feedback and comments on in-class activities (including presentations) and homework assignments throughout the term.
*Please note that this is a hybrid class and we will meet some weeks in person and other weeks on Zoom.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction to English 3	Course overview: policies, procedures and student expectations.
2	American Food and Wine	Reading and listening practice using DVD video.
3	American food and wine	Reading and Writing practice using the expressions from the textbook.

4	American Food and Culture.	Listening and Vocabulary Quiz; Preparation for Presentation 1.
5	American Food Culture.	Group presentations 1: Images of American food culture and products; Student reactions.
6	Sports in the United States	Listening and Reading practice from DVD and text.
7	Sports in the United States: Baseball	Reading and Writing practice using expressions from the textbook.
8	Sports in the U.S.	Listening and Vocabulary Quiz 2. Practice and Preparation for Sports Presentations.
9	Sports in the U.S. and Japan	Group Presentations 2: Sports in the U.S. and Japan. Student reactions.
10	The World of Disney	Listening practice from DVD; Reading comprehension from text.
11	The World of Disney	Reading and Writing practice using expressions from the textbook
12	Disney Movies and Gender.	Discussion of how gender is depicted in scenes from Disney movies. Listening and Reading practice from Unit 4.
13	Entertainment: Hollywood, California	Group presentations on chosen topics from Disney and Hollywood entertainment; Student reactions
14	Term end review.	Review Test on Units 1-4: Listening , Reading and Writing.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to come to class fully prepared, having completed the video/vocabulary preview, listening tasks or readings assigned the previous week. This is of utmost importance in order to fully participate in class activities (see below Grading criteria) and for the benefit of the class as a whole.

The standard preparatory study and review time for this class is one hour.

【テキスト（教科書）】

American Dream: Video Reading and Listening in American culture.(Asahi Press, Japan)

【参考書】

An English-Japanese/Japanese-English dictionary is highly recommended for each class session. Other supplemental readings and handouts will be provided at the discretion of the instructor.

【成績評価の方法と基準】

Grading criteria for this course will be based on the following:
Class participation: 30% (including the timely completion of homework assigned in the previous class)
Presentations: 30%
Unit Quizzes and Final Review Test: 40%
Please note that in principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【学生が準備すべき機器他】

Hoppii and Zoom will be used extensively throughout the term. Any student attending a Zoom session on campus will need a headset.

【Outline and objectives】

This course will aim to provide students with the opportunity to think critically and express their opinions on a variety of topics relating to both the U.S. and Japan. Students will learn about American culture through a variety of sources and then be able to draw comparisons between the two countries. In addition, students will become more globally informed–having become more aware of issues that will have a profound influence on their lives in the future.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

MICHAEL F.MURPHY

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
文（史地心）2 年：中級／英語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English 3 II builds upon the skills and knowledge gained from English 1,2 and the first semester of English 3. It will continue to aim to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. Students will spend time using English to learn about American culture from a number of diverse perspectives. Students will learn about American culture through various sources of information and will incorporate a variety of topics about which they will express their opinion. In addition, students will also practice the fundamental English skills necessary to accomplish the above.

【到達目標】
Students will read and understand rather simple English texts without relying too much on dictionaries for understanding.
Students will learn to express their own opinion in speaking and writing, including how to examine content from a critical thinking perspective.
Students will not only learn about American culture, which continues to have a large impact on the world, but also be able to apply that knowledge while improving their English skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Various target language objectives will be emphasized during each class period. For example, while reading from text, an emphasis may be placed on building vocabulary as well as the comprehension of passages. When presentations are the focus, an emphasis will be placed on using the appropriate posture and body language.
Students will receive feedback and comments on their in-class activities and homework assignments throughout the term.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction to the Fall term.	Review of class policies and procedures; student expectations for Fall term.
2	Unit 5: The Statue of Liberty.	Reading and Listening practice using DVD video.
3	The Statue of Liberty.	Readings and Writing practice using the expressions from the textbook.
4	The Statue of Liberty	Unit 5 Listening and Vocabulary Quiz. Preparation for first group presentations.
5	The Melting Pot	Group Presentations on the meaning of freedom and student reactions. Introduction to Unit 6.
6	The Melting Pot	Practice reading and listening using the text and DVD video.
7	The Melting Pot	Practice reading and writing using the expressions and vocabulary in the textbook.
8	Unit 6 Review	Unit 6: Listening and Vocabulary Quiz; preparation for Presentations.
9	Cultural Diversity	Group presentations on chosen topics of culture; student reactions.
10	Jazz, Gospel, Blues and Rock n Roll	Reading and Listening practice using the text and DVD video.
11	Jazz, Gospel, Blues and Rock n Roll	Practice reading and writing using the expressions and vocabulary in the textbook.
12	Cars and Planes	Listening and Vocabulary Quiz on Unit 7; Introduction to Unit 9 Reading and Listening practice. using the text and DVD video.
13	Cars and Planes	Final Group presentations on chosen topics from Units 7,8 and 9.
14	Term End Review	Final Test, Units 5-9: Listening, Reading and Writing.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
There will be weekly assignments from the text as well as teacher assigned research. Students are expected to come to class fully prepared, having completed the previous week's assignment beforehand.
The standard preparatory study and review time for this class is one hour.

【テキスト（教科書）】
American Dream: Video Reading and Listening in American culture.(Asahi Press, Japan)

【参考書】
An English-Japanese/Japanese-English dictionary is highly recommended for each class session. Other supplemental readings will be provided at the discretion of the instructor.

【成績評価の方法と基準】
Grading criteria for this course will be based on the following:
Class participation: 30% (including the timely completion of homework assigned in the previous class)
Presentations: 30%
Unit quizzes and final test: 40%
Please note that in principle no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】
N/A

【Outline and objectives】
This course will aim to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on various topics not only about America, but Japan as well. Students will continue to learn about American culture and then be able to draw comparisons between the two countries. In addition, students will become more globally informed–having become more aware of issues that will have a profound influence on their lives in the future.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Communicating English To The World: Analyzing Social Issues

RICHARD WILCOX

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
文（史地心）2 年：中級／英語／世界の中の日本
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
1. Giving students opportunity to practice and develop their communication skills including speaking, reading, writing, listening and presentation;
2. To improve reading comprehension via Graded Readers, textbook units and news articles;
3. To foster student understanding of current issues that relate to using English about Japan and the World;
4. To develop a critical approach toward the development of presentation of student research and opinions through speaking, writing and presentation techniques.

【到達目標】
Media and Culture: Communicating In English To Explain Japan To The World
Students will find this course useful for building their English and academic abilities and broadening their understanding of the world. Topics may include: media and culture; women's empowerment in social and economic life; career goals; modern Japanese culture and subcultures; nature and environment; human health, nutrition and exercise; global economic development and international relations. Students will use graded reader books, journals, a textbook and practical English conversation handouts to improve their communication skills. Tests will include written and oral types and informal and power point presentation formats.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
This is an online class using ZOOM *Equipment students need to prepare: students who have to attend the Zoom session on campus need a headset to avoid the audio feedback as they have to take the lesson in the classroom assigned to this class*.
Textbook, English Conversation Practice handouts, Written assignments and tests, Journals, Graded Readers, Viewing educational DVDs; Teacher explanations
Handouts:
English Conversation Practice
Excerpts "From Paragraph to Essay"
Research Proposal Outline
Designing Research: Surveys
Designing a Survey Outline
Analyzing Data Outline
Describing Graphs
DVD Discussion Outline
Internet Search Techniques
Speech Outline
Audience Q & A Outline
Presentation Slides
Powerpoint Outline
Presentation Delivery
Presentation Evaluation Form

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Self Introduction; Topic: Physical fitness	Orientation; English Conversation Practice (ECP) Handouts; Text Unit 1
2	Asking questions; Topic: Blood types	Graded Reader (GR); ECP Handouts; Text Unit 2
3	Giving opinion; Topic: Dreams	GR; ECP Handouts; Text Unit 3
4	Debating topics: Topic: Speed dating	GR; ECP Handouts; Unit 4
5	Choice of test topics	GR Discussion; Written Test on Textbook
6	Narratives; Topic: Pets in Japan	Return test results; GR 2; ECP Handouts: Unit 5
7	Describing things; Topic: Stress	GR 2; ECP Handouts: Unit 6
8	Ecology; Topic: Listening and taking notes	DVD: Queen of the Sun (30 min.); Discussion
9	Problems and Solutions: Topic: Fast food	GR 2; ECP Handouts: Unit 7
10	Comparisons: Topic: Shopping trends	GR 2; ECP Handouts; Unit 8
11	Discussions; Topic: Women and work	GR 2; ECP Handouts; Unit 9
12	Group organization; Topic: Student choice	GR 2 Discussion (students hand in final GR reports); ECP Handouts; Text Unit 9
13	Presentations; Topic: Course related topics	Return GR reports; Prepare Informal Group Presentation
14	Student peer review and feedback	Informal Group Presentations (Individuals present in small groups)Student Q & A

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Pre-reading of assignments; completion of textbook homework assignments; preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.
No more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed.

【テキスト（教科書）】
Life Topics (Advanced)

【参考書】
Wilcox Handouts
Google Scholar
Wikipedia

【成績評価の方法と基準】
Participation 20%; Written assignments 10%; 2 Written Tests 30%; Informal Group Presentation 20%; Final Individual Powerpoint Presentation 20%;
Students should be aware that no more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed
otherwise they will fail the course.
The teacher will respond to questions in class from students or by email. I will check your reports, papers or projects to help you to write better quality work.

【学生の意見等からの気づき】
Adjustment to length of devotion to various topics based on student interest

【学生が準備すべき機器他】
Bring textbook and notebook and clear folder to keep handouts in class; laptop computers are recommended.

【その他の重要事項】
Please arrive at class on time and attend regularly. As noted above, students who are often late or absent will suffer lowering of grades and possibility of class failure.

【Outline and objectives】
1. Giving students opportunity to practice and develop their communication skills including speaking, reading, writing, listening and presentation;
2. To improve reading comprehension via Graded Readers, textbook units and news articles;
3. To foster student understanding of current issues that relate to using English about Japan and the World;
4. To develop a critical approach toward the development of presentation of student research and opinions through speaking, writing and presentation techniques.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Communicating English To The World: Analyzing Social Issues

RICHARD WILCOX

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
文（史地心）2 年：中級／英語／世界の中の日本
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
1. Giving students opportunity to practice and develop their communication skills including speaking, reading, writing, listening and presentation;
2. To improve reading comprehension via Graded Readers, textbook units and news articles;
3. To foster student understanding of current issues that relate to using English about Japan and the World;
4. To develop a critical approach toward the development of presentation of student research and opinions through speaking, writing and presentation techniques.

【到達目標】
Media and Culture: Communicating In English To Explain Japan To The World
Students will find this course useful for building their English and academic abilities and broadening their understanding of the world. Topics may include: media and culture; women's empowerment in social and economic life; career goals; modern Japanese culture and subcultures; nature and environment; human health, nutrition and exercise; global economic development and international relations. Students will use graded reader books, journals, a textbook and practical English conversation handouts to improve their communication skills. Tests will include written and oral types and informal and power point presentation formats.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
This is an online class using ZOOM *Equipment students need to prepare: students who have to attend the Zoom session on campus need a headset to avoid the audio feedback as they have to take the lesson in the classroom assigned to this class*.
Textbook, English Conversation Practice handouts, Written assignments and tests, Journals, Graded Readers, Viewing educational DVDs; Teacher explanations
Handouts:
English Conversation Practice
Excerpts "From Paragraph to Essay"
Research Proposal Outline
Designing Research: Surveys
Designing a Survey Outline
Analyzing Data Outline
Describing Graphs
DVD Discussion Outline
Internet Search Techniques
Speech Outline
Audience Q & A Outline
Presentation Slides
Powerpoint Outline
Presentation Delivery
Presentation Evaluation Form

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Self Introduction; Topic: The Internet	Journal; English Conversation Practice (ECP) Handouts; Text Unit 10
2	Asking questions; Topic: Kawaii	Journal; ECP Handouts; Text Unit 11
3	Giving opinion; Topic: Dressing Casually	Journal; ECP Handouts; Text Unit 13
4	Debating topics: Topic: World happiness	ECP Handouts; Unit 14; Homework: Read “Fukushima” DVD transcript; Write report for pages 1 – 4
5	Listening and taking notes 1; Topic: Environment	Watch “Fukushima” (20 min); Discussion; Homework: Write report 5 - 8
6	Observing and taking notes; Topic: Technology	Watch “Fukushima” (21 – 40 min); Discussion; Write report 9 - 11
7	Summarizing Opinions; Topic: Energy issues	Watch “Fukushima” (41 – 60); Discussion; Hand in Fukushima reports
8	Narratives; Topic: The right to die	Journal; ECP Handouts: Unit 15
9	Describing things; Topic: Pet cloning	Journal; ECP Handouts; Unit 16
10	Choice of test topics	Hand in Journals; Written Test on Textbook
11	Problems and Solutions / Comparisons; Topic: Lecture on powerpoint techniques	Return journals and test results; Prepare Final Individual Powerpoint Presentations
12	Powerpoint presentations	Power Point Presentations (Group 1) Student Q & A
13	Powerpoint presentations	Power Point Presentations (Group 2) Student Q & A
14	Course Review	Course Review

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Pre-reading of assignments; completion of textbook homework assignments; preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.
No more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed.

【テキスト（教科書）】
Life Topics (Advanced)

【参考書】
Wilcox Handouts
Google Scholar
Wikipedia

【成績評価の方法と基準】
Participation 20%; Written assignments 10%; 2 Written Tests 30%; Informal Group Presentation 20%; Final Individual Powerpoint Presentation 20%; Students should be aware that no more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed otherwise they will fail the course.
The teacher will respond to questions in class from students or by email. I will check your reports, papers or projects to help you to write better quality work.

【学生の意見等からの気づき】
Adjust lessons according to student interest

【学生が準備すべき機器他】
Bring textbook and notebook and clear folder to keep handouts in class; laptop computers are recommended.

【その他の重要事項】
Please arrive at class on time and attend regularly. Students who are often late or absent will suffer lowering of grades and possibility of class failure.

【Outline and objectives】
1. Giving students opportunity to practice and develop their communication skills including speaking, reading, writing, listening and presentation;
2. To improve reading comprehension via Graded Readers, textbook units and news articles;
3. To foster student understanding of current issues that relate to using English about Japan and the World;
4. To develop a critical approach toward the development of presentation of student research and opinions through speaking, writing and presentation techniques.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**イギリスのニュース**

井上　紗央里

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
文（史地心）2 年：中級／日本語／現代の諸相
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
海外のニュースを音声と映像で理解し、ニュースを通して国際社会への意識を高め、自分の意見を英語でアウトプットすることを目標とします。

【到達目標】
海外のニュースを音声と映像で理解し、ニュースを通して国際社会への意識を高め、自分の意見を英語でアウトプットすることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業形態　対面授業（ただし新型コロナウイルスの感染状況に応じて対面授業の時間を短くし一部をオンデマンドで行う場合があります。授業形態に変更がある場合は授業と学習支援システムお知らせから連絡するので確認してください）大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンラインで行います。詳細は学習支援システムで伝達します。
テキスト British News Update 3 を使用して授業をすすめます。テキスト内の演習問題を使用して、語彙の確認、リスニング練習を行います。その後ニュースの内容を受講者全員で確認します。ニュースに関する自分の意見、感想等の英作文も行います。授業には必ず辞書を持参してください。テキストのリスニング、内容理解の問題を提出課題として学習支援システムから出題します。課題のフィードバックも学習支援システムで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション Unit 1 Less Plastic at Glastonbury 前半	授業の進め方の説明　Unit1 のリスニング
2	Unit 1 Less Plastic at Glastonbury 後半	テキスト P6 Summary のリスニング　テキスト P1-6 の解説、提出課題の確認
3	Unit 2 One Way to Find a Job　前半	Unit2 News Story のディクテーション、テキスト P7-12 解説前半
4	Unit 2 One Way to Find a Job　後半	テキスト P7-12 の解説後半、P12 Summary のリスニング、提出課題の確認
5	Unit 3 Sport for Musicians 前半	Unit3 News Story のディクテーション、テキスト P13-18 解説前半
6	Unit 3 Sport for Musicians 後半	テキスト P13-18 の解説後半、P18 Summary のリスニング、提出課題の確認
7	Unit 4 A Healthy supermarket 前半	Unit4 News Story のディクテーション、テキスト P19-24 解説前半
8	Unit 4 A Healthy supermarket 後半	テキスト P19-24 の解説後半、P24 Summary のリスニング、提出課題の確認
9	Unit 5 Van Gogh's London House 前半	Unit5 News Story のディクテーション、テキスト P25-30 解説前半
10	Unit 5 Van Gogh's London House 後半	テキスト P25-30 の解説後半、P30 Summary のリスニング、提出課題の確認
11	Unit 6 Esports Scholarship 前半	Unit6 News Story のディクテーション、テキスト P31-36 解説前半
12	Unit 6 Esports Scholarship 後半	テキスト P31-36 の解説後半、P36 Summary のリスニング、提出課題の確認
13	Unit 7 Snow-Camp	Unit7 News Story のディクテーション、テキスト解説、P37-42 Summary のリスニング、提出課題の確認
14	期末試験とまとめ	第 1 回から 13 回までの授業内容を試験範囲とします。春学期全体のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
テキストにニュース映像閲覧用のパスワードと URL が記載されているので、それを使用して事前にニュース映像を見て、News Story の英文を読んできて下さい。受講者が予習をしていることを前提にスクリプトのディクテーション、内容理解、演習問題の答え合わせなどを進めていきます。各ユニットの内容理解の設問と Making a Summary のリスニングを学習支援システムから提出してもらいます。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
British News Update 3（金星堂 2021）￥2,600（+ Tax）　ISBN 978-4-7647-4116-4　価格 2,700 円 (+税)

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
試験 50 %、平常点（予習、授業内での発言等の貢献度、授業支援システムの提課題）50 %で評価します。欠席が 4 回以上になった受講生は原則として単位取得の資格を失います。

【学生の意見等からの気づき】
英作文や会話で自分の意見をアウトプットできる機会を増やしていきます。

【学生が準備すべき機器他】
授業連絡、課題の出題、フィードバック等は学習支援システムを通じて行います。

【その他の重要事項】
学習支援システムの授業ページに教員のメールアドレスを掲載するので連絡や質問がある場合はメールでご連絡をお願いします。メールを送る際は法政のアドレスから送り「授業曜日、時限、学籍番号、氏名」を件名に明記してください。新型コロナウイルスの感染状況により授業形態を一部オンデマンド形式に変更する可能性があります。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to improve students' reading, writing, and listening skills through watching and reading current affairs in English. At the end of the course, participants are expected to acquire basic English skills and enlarge knowledge of current events.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**イギリスのニュース**

井上　紗央里

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
文（史地心）2 年：中級／日本語／現代の諸相
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
海外のニュースを音声と映像で理解し、ニュースを通して国際社会への意識を高め、自分の意見を英語でアウトプットすることを目標とします。

【到達目標】
海外のニュースを音声と映像で理解し、ニュースを通して国際社会への意識を高め、自分の意見を英語でアウトプットすることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業形態　対面授業（ただし新型コロナウイルスの感染状況に応じて対面授業の時間を短くし一部をオンデマンドで行う場合があります。授業形態に変更がある場合は授業と学習支援システムお知らせから連絡するので確認してください）大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンラインで行います。詳細は学習支援システムで伝達します。
テキスト British News Update 3 を使用して授業をすすめます。テキスト内の演習問題を使用して、語彙の確認、リスニング練習を行います。その後ニュースの内容を受講者全員で確認します。ニュースに関する自分の意見、感想等の英作文も行います。授業には必ず辞書を持参してください。テキストのリスニング、内容理解の問題を提出課題として学習支援システムから出題します。課題のフィードバックも学習支援システムで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション Unit 8 Fighting Parkinson's with Ballet 前半	授業の進め方の説明　春学期のフィードバック Unit8 News Story リスニング
2	Unit 8 Fighting Parkinson's with Ballet 後半	テキスト P48 Summary のリスニング　テキスト P43-48 の解説、提出課題の確認
3	Unit 9 The Battersea Academy 前半	Unit2 News Story のディクテーション、テキスト P49-54 解説前半
4	Unit 9 The Battersea Academy 後半	テキスト P49-54 の解説後半、P54 Summary のリスニング、提出課題の確認
5	Unit 10 Students in Poverty 前半	Unit10 News Story のディクテーション、テキスト P55-60 解説前半
6	Unit 10 Students in Poverty 後半	テキスト P55-60 の解説後半、P60 Summary のリスニング、提出課題の確認
7	Unit 11 The Importance of Creative Subjects 前半	Unit11 News Story のディクテーション、テキスト P61-66 解説前半
8	Unit 11 The Importance of Creative Subjects 後半	テキスト P61-66 の解説後半、P66 Summary のリスニング、提出課題の確認
9	Unit 12 New Rules for Drones 前半	Unit12 News Story のディクテーション、テキスト P67-72 解説前半
10	Unit 12 New Rules for Drones 後半	テキスト P67-72 の解説後半、P72 Summary のリスニング、提出課題の確認
11	Unit 13 Pride in London	Unit13 News Story のディクテーション、テキスト解説、P73-78 Summary のリスニング、提出課題の確認
12	Unit 14 The UN Report on Climate Change	Unit14 News Story のディクテーション、テキスト解説、P79-84 Summary のリスニング、提出課題の確認
13	Unit 15 Facial Recognition in London Streets	Unit15 News Story のディクテーション、テキスト解説、P85-90 Summary のリスニング、提出課題の確認
14	期末試験とまとめ	第 1 回から 13 回までの授業内容を試験範囲とします。秋学期全体のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
テキストにニュース映像閲覧用のパスワードと URL が記載されているので、それを使用して事前にニュース映像を見て、News Story の英文を読んできて下さい。受講者が予習をしていることを前提にスクリプトのディクテーション、内容理解、演習問題の答え合わせなどを進めていきます。各ユニットの内容理解の設問と Making a Summary のリスニングを学習支援システムから提出してもらいます。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
British News Update 3（金星堂 2021）￥2,600（+ Tax）　ISBN 978-4-7647-4116-4　価格 2,700 円 (+税)

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
試験 50 %、平常点（予習、授業内での発言等の貢献度、授業支援システムの提課題）50 %で評価します。欠席が 4 回以上になった受講生は原則として単位取得の資格を失います。

【学生の意見等からの気づき】
英作文や会話で自分の意見をアウトプットできる機会を増やしていきます。

【学生が準備すべき機器他】
授業連絡、課題の出題、フィードバック等は学習支援システムを通じて行います。

【その他の重要事項】
学習支援システムの授業ページに教員のメールアドレスを掲載するので連絡や質問がある場合はメールでご連絡をお願いします。メールを送る際は法政のアドレスから送り「授業曜日、時限、学籍番号、氏名」を件名に明記してください。新型コロナウイルスの感染状況により授業形態を一部オンデマンド形式に変更する可能性があります。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to improve students' reading, writing, and listening skills through watching and reading current affairs in English. At the end of the course, participants are expected to acquire basic English skills and enlarge knowledge of current events.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**世界の中での日本の歴史**

戸嶋　まゆみ

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
文（史地心）2 年：中級／日本語／世界の中の日本
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この講座では、日本の歴史や文化について知り、日本のことを英語でアウトプットする力を伸ばすトレーニングを行います。簡単な文章を理解し、英語でアウトプットできることが目的です。本授業では、すべて網羅した総合的な学習を目標としています。本授業では、「4 技能」（英語を読み、聞き、書き、話す）の学習を行います。

【到達目標】
日本についてより深く知り、日本のことを英語でアウトプットする力を伸ばすトレーニングを行います。簡単な文章を理解し、英語でアウトプットできることが目的です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
テキストを読み、書かれている英語を理解し、その英文について英語で説明し、意見を述べたり書いたりする作業が中心となります。また、自分の意見を英語で述べる練習もします。中盤以降は、グループで学習し、発表ができるように学んでいきます。授業時の指示は、状況に応じて、日本語と英語で行います。課題等のフィードバックは、授業時 (対面授業もしくは双方向性授業) に行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 講	ガイダンス	授業に関するガイダンス
第 2 講	発音ドリルと英語史	発音の確認と英語の歴史について
第 3 講	1. 江戸から東京へ	内容の購読
第 4 講	2. 侍	内容の要約と意見のまとめ
第 5 講	3. 着物	内容の理解、要約、意見のまとめ
第 6 講	4. 歌舞伎	内容の理解、要約、意見のまとめ
第 7 講	6. 相撲	内容の理解、要約、意見のまとめ
第 8 講	7. 漫画	内容の理解、要約、意見のまとめ グループ学習 1
第 9 講	8. 美術と工芸	内容の理解、要約、意見のまとめ グループ学習 2
第 10 講	Chapter 1-8 の復習	内容の理解、要約、意見のまとめ グループ学習 3
第 11 講	グループ学習のまとめとプレゼンテーション 1	グループ・プレゼンテーション 1
第 12 講	グループ学習のまとめとプレゼンテーション 2	グループ・プレゼンテーション 2
復習	全体の復習	全体の復習
総括	総括	全体の総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回の予習、復習。詳細は、教場指示とします。

【テキスト（教科書）】
英語で読む　外国人が本当に知りたい日本の文化と歴史　Thomas Lockley 著　東京書籍
2019 年　ISBN ： 978-4-487-81288-2

【参考書】
授業時に指示します。

【成績評価の方法と基準】
毎回の授業への参加度 (プレゼンテーションや発言を含む)(50%) 及び期末試験や課題 (50%) を全て考慮し、評価します。

【学生の意見等からの気づき】
クラスの人数が多いため、なかなか発言の機会が与えられないという苦情が毎年あり、本当に残念に思っていますが、必ず一度以上はプレゼンテーションの機会を設けてありますので、ぜひみなさんには頑張っていただきたいと思っています。

【学生が準備すべき機器他】
状況に応じて、DVD や CD などを使用します。

【その他の重要事項】
授業時以外の時間の学習が必要です。

【Outline and objectives】
The target of this course will be to improve students ability in English　reading and outputting about Japanese history. It is going to be quite important for university students nowadays to improve their English reading and outputting skills in order to function in the future global society. I hope that this course will help guide you to a new 'you' with efficient English skills.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**世界の中での日本の歴史**

戸嶋　まゆみ

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
文（史地心）2 年：中級／日本語／世界の中の日本
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
実社会で用いられている英語を読んで理解し、発信できるようにすることが到達目標となります。とりわけ、インターネット時代の異文化交流に関する基本的な知識を得られるような英文の接することが必要だと考えられます。本講義では、この目的にかなった教材を読んで理解し、要約を英語でアウトプットできるようにしていきます。また、プレゼンテーションに慣れる練習をします。

【到達目標】
大学生として抑えておきたい異文化交流に関する知識や日本の歴史を含んだ英文が理解できるような基礎力をつけることです。また、プレゼンテーションに慣れることも目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
テキストを読み、書かれている英語を理解し、その英文について英語で説明し、意見を述べたり書いたりする作業が中心となります。また、自分の意見を英語で述べる練習もします。中盤以降は、グループで学習し、発表ができるように学んでいきます。授業時の指示は、状況に応じて、日本語と英語で行います。課題等のフィードバックは、授業時 (対面授業もしくは双方向性授業) に行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 講	ガイダンス	授業に関するガイダンス
第 2 講	発音ドリルの復習	発音の確認
第 3 講	11. 山手線	内容の購読
第 4 講	12. 皇居	内容の要約と意見のまとめ
第 5 講	13. 浅草	内容の理解、要約、意見のまとめ
第 6 講	14. 明治神宮	内容の理解、要約、意見のまとめ
第 7 講	15. 銀座	内容の理解、要約、意見のまとめ
第 8 講	16. 六本木と渋谷	内容の理解、要約、意見のまとめ グループ学習 1
第 9 講	17. 京都	内容の理解、要約、意見のまとめ グループ学習 2
第 10 講	Chapter 11-17 の復習	内容の理解、要約、意見のまとめ グループ学習 3
第 11 講	グループ学習のまとめとプレゼンテーション 1	グループ・プレゼンテーション 1
第 12 講	グループ学習のまとめとプレゼンテーション 2	グループ・プレゼンテーション 2
復習	全体の復習	全体の復習
総括	総括	全体の総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回の予習、復習。詳細は、教場指示とします。

【テキスト（教科書）】
英語で読む　外国人が本当に知りたい日本の文化と歴史　Thomas Lockley 著　東京書籍
2019 年　ISBN ： 978-4-487-81288-2

【参考書】
授業時に指示します。

【成績評価の方法と基準】
毎回の授業への参加度 (プレゼンテーションや発言を含む)(50%) 及び期末試験や課題 (50%) を全て考慮し、評価します。

【学生の意見等からの気づき】
クラスの人数が多いため、なかなか発言の機会が与えられないという苦情が毎年あり、本当に残念に思っていますが、必ず一度以上はプレゼンテーションの機会を設けてありますので、ぜひみなさんには頑張っていただきたいと思っています。

【学生が準備すべき機器他】
状況に応じて、DVD や CD などを使用します。

【その他の重要事項】
授業時以外の時間の学習が必要です。

【Outline and objectives】
This course is to improve English reading and speaking ability about the relationship of the world and Japan and its history.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Current Issues in the English-speaking world

佐藤　陽子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
文（史地心）2 年：中級／日本語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English 3 では、English 1 と 2 で学んだことをもとに、様々な英語の素材を批判的に吟味し、それぞれのトピックについて自分の意見を述べる力を養います。具体的には、新聞やニュースに取り上げられた英語圏の時事問題を理解したのち、group discussion や group presentation の中で自分の意見を英語で表現する練習をします。

【到達目標】
1) 英語の素材の理解を通して、時事問題、文化、文体、発音、単語などを学びます。
2) 関連情報を調べ分析することによって、情報収集能力や素材を批判的に吟味する力をつけます。
3) ディスカッションやプレゼンテーションを通して、英語で意見を表現する方法を学びます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
いわゆる 4 技能 (reading, writing, listening, speaking) を用いたペア、グループ・アクティビティやタスクが中心となります。具体的には、宿題の読み物やオーディオ/ビジュアル・クリップで学んだトピックについて group discussion を行い、結果を group presentation として発表します。授業の雰囲気は informal & friendly です。現在のコロナの感染状況を鑑み、Zoom による オンラインでの開講となります。課題等のお知らせの配信には HOPPII (授業支援システム) を使いますので、*法政のメールアドレスに*通知が届きます。毎回の授業中および授業後のアンケートで質問、意見、トラブルなど遠慮せずに伝えてください。これらおよび宿題や presentations へのフィードバックは、授業および HOPPII で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction, getting to know each other	Communicative activities, plans for the semester
2	Unplanned speech 1, understanding Current Issue 1	Conversation, vocabulary quiz 1, comprehension check on reading HW on Topic 1,
3	Planned speech, discussing Current Issue 1 (1)	Show & Tell 1, group discussion (1) on Topic 1
4	Planned speech, Discussing Current Issue 1 (2)	Show & Tell 2, group discussion (2) on Topic 1
5	Unplanned speech, discussing Current Issue 1 (3),	Conversation, group discussion (2) on Topic 1
6	Unplanned speech preparing for Presentation 1	Conversation, preparation for the group presentation on Topic 1
7	Presenting on Current Issue 1	Group presentations on Topic 1
8	Feedback on Presentation 1, unplanned speech, understanding Current Issue 2	Conversation, peer- and teacher feedback on presentation 1, Vocabulary Quiz on reading HW on Topic 2, reading HW comprehension check
9	Planned speech, discussing Current Issue 2 (1)	Show & Tell 3, group discussion on Topic 2
10	Planned speech, discussing Current Issue 2 (2)	Show & Tell 4, group discussion on Topic 2
11	Unplanned speech, discussing Current Issue 2 (3)	Conversation, group discussion
12	Unplanned speech, preparing for Presentation 2	Conversation, preparation for the group presentation on Topic 2
13	Presenting on Current Issue 2	Group presentations on Topic 2
14	Feedback on Presentation 2, unplanned speech, recap of the semester & student feedback	Peer- and teacher feedback on presentation 2, recap of the semester, student feedback

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回出される宿題を完璧にこなすこと、単語の豆テストや discussion や presentations の準備をすることが必須です。宿題に基づくグループワークが主になるので、宿題をしていないと他のメンバーに迷惑をかけることになります。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
教科書はありません。教材と関連情報は授業支援システム Hoppii から配信されます。

【参考書】
みなさんの英語能力にあった大学生レベルの辞書が必要です。

【成績評価の方法と基準】
成績は以下の基準で評価されます。
授業への積極的参加:25%
宿題と単語の豆テスト: 40%
Presentations: 35%
注意事項:授業 4 回分相当をのがした場合は原則として単位取得はできません。また、欠席は予習・宿題をしていない言い訳にはなりません。

【学生の意見等からの気づき】
2020 年度も全て Zoom で行いましたが、ペア、グループ・ワーク が多い communicative な授業だったため、「友達ができた」「クラスを受講している気持ちになれた」「毎週クラスメイトに会えるこの授業が救いになった」という声をいただきました。また、トピックが興味深かった、discussion や presentation の練習が非常にためになった、という声も多くいただきました。

【学生が準備すべき機器他】
Zoom 授業のため、パソコン（望ましい）か携帯が必要です。また、大学で受講する場合はハウリング防止のため、ヘッドセット（マイク付きイヤフォン）が必要です。プレゼンテーションにはスライド (e.g. PowerPoint) が、提出課題にはワープロソフト (e.g. Word) が必要です。

【Outline and objectives】
English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Current issues in the English-speaking world

佐藤　陽子

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
文（史地心）2 年：中級／日本語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English 3II では、English 3I で学んだことをもとに、様々な英語の素材を批判的に吟味し、それぞれのトピックについて自分の意見を述べる力を養います。具体的には、新聞やニュースに取り上げられた英語圏の時事問題を理解したのち、group discussion、group presentation そして essay の中で自分の意見を英語で表現する練習をします。

【到達目標】
1) 英語の素材の理解を通して、時事問題、文化、文体、発音、単語などを学びます。
2) 関連情報を調べ分析することによって、情報収集能力や素材を批判的に吟味する力をつけます。
3) ディスカッション、プレゼンテーション、エッセイ（小論文）を通して、英語で意見を 表現する方法を学びます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
いわゆる 4 技能 (reading, writing, listening, speaking) を用いたペア、グループ・アクティビティやタスクが中心となります。具体的には、宿題の読み物やオーディオ/ビジュアル・クリップで学んだトピックについて group discussion を行い、結果を group presentation として発表します。授業の雰囲気は informal & friendly です。現在のコロナの感染状況を鑑み、Zoom による オンラインでの開講となります。課題等のお知らせの配信には HOPPII (授業支援システム) を使いますので、*法政のメールアドレスに*通知が届きます。毎回の授業中および授業後のアン ケートで質問、意見、トラブルなど遠慮せずに伝えてください。これらおよび宿題や presentations へのフィードバックは、授業および HOPPII で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Welcome back, plans for the semester	Communicative activities, plans for the semester
2	Unplanned speech 1, understanding Current Issue 1, basics of essay writing (1)	Conversation, vocabulary quiz 1, comprehension check on reading HW on Topic 1, basics of essay writing (1)
3	Planned speech, discussing Current Issue 1 (1), basics of essay writing (2)	Show & Tell 1, group discussion (1) on Topic 1, basics of essay writing (2)
4	Planned speech, discussing Current Issue 1 (2), basics of essay writing (3)	Show & Tell 2, group discussion (2) on Topic 1, basics of essay writing (3)
5	Unplanned speech, discussing Current Issue 1 (3), preparing for Presentation 1	Conversation, group discussion (2) on Topic 1, preparation for the group presentation on Topic 1
6	Presenting on Current Issue 1	Group presentations on Topic 1
7	Feedback on Presentation 1, unplanned speech, understanding Current Issue 2	Conversation, peer- and teacher feedback on presentation 1, Vocabulary Quiz on reading HW on Topic 2, reading HW comprehension check
8	Planned speech, discussing Current Issue 2 (1)	Show & Tell 3, group discussion on Topic 2
9	Planned speech, discussing Current Issue 2 (2)	Show & Tell 4, group discussion on Topic 2
10	Unplanned speech, discussing Current Issue 2 (3)	Conversation, group discussion
11	Unplanned speech, preparing for Presentation 2	Conversation, preparation for the group presentation on Topic 2
12	Presenting on Current Issue 2	Group presentations on Topic 2
13	Feedback on Presentation 2, sharing essay drafts	Peer- and teacher feedback on presentation 2, share & discuss essay drafts
14	Recap of the semester, student feedback, sharing essays	recap of the semester, student feedback, sharing & discussing essays

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回出される宿題を完璧にこなすこと、単語の豆テストや discussion や presentations の準備をすることが必須です。宿題に基づくグループワークが主になるので、宿題をしていないと他のメンバーに迷惑をかけることになります。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
教科書はありません。教材と関連情報は授業支援システム Hoppii から配信されます。

【参考書】
みなさんの英語能力にあった大学生レベルの辞書が必要です。

【成績評価の方法と基準】
成績は以下の基準で評価されます。
授業への積極的参加:25%
宿題と単語の豆テスト: 35%
Presentations & an essay: 40%
注意事項:授業 4 回分相当をのがした場合は原則として単位取得はできません。また、欠席は予習・宿題をしていない言い訳にはなりません。

【学生の意見等からの気づき】
2020 年度も全て Zoom で行いましたが、ペア、グループ・ワー クが多い communicative な授業だったため、「友達ができた」「クラスを受講している気持ちになれた」「毎週クラスメイトに会えるこの授業が救いになった」という声をいただきました。また、トピックが興味深かった、essay writing が非常にためになった、という声も多くいただきました。

【学生が準備すべき機器他】
Zoom 授業のため、パソコン（望ましい）か携帯が必要です。また、大学で受講する場合はハウリング防止のため、ヘッドセット（マイク付きイヤフォン）が必要です。プレゼンテーションにはスライド (e.g. PowerPoint) が、提出課題にはワープロソフト (e.g. Word) が必要です。

【Outline and objectives】
This course builds upon the skills and knowledge gained from English 3 I, and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using English. To that end, in this course students will use English to learn about current issues published in newspapers, news websites etc and discuss and present their opinions.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Various Aspects of the World

磯部　芳恵

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
文（史地心）2 年：中級／日本語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This course builds upon skills on knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with opportunities to have critical thinking skills and express their opinions on different topics in English, using the textbook and authentic materials.
Students will learn about aspects of culture and society across cultures, while building their communication skills in all aspects.

【到達目標】
・国際語としての英語を通じて、世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈のなかで相対化する能力や多様なテーマの英語資料を理解できるようになる
・記事を批判的に分析したうえで、英語で意見を発信する能力を涵養できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
1 回の授業で教科書の 1 ユニット分進める。教科書の語彙と本文を確認したあと、学生同士でペアワークやグループディスカッションを行う。授業の最後にはまとめとして教科書の内容についてサマリーを口頭発表を実施する。フィードバックを行い、リアクションペーパー等における良いコメントは授業内で紹介し、さらなる議論に活かす。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	コースについて Breaking News English	授業について Reading an article
第 2 回	Unit 1 Largest Model Train	Transcript Completion Summary
第 3 回	British Council English Learning	Vocabulary & listening practice
第 4 回	Unit 2 No Phones in French Schools	Transcript Completion Summary
第 5 回	British Council English Learning	Vocabulary & listening practice
第 6 回	Unit 3 Food on Instagram	Transcript Completion Summary
第 7 回	Breaking News English	Reading an article
第 8 回	Unit 4 Adventure Healing	Transcript Completion Summary

第 9 回	British Council English Learning	Vocabulary & listening practice
第 10 回	Unit 5 Knocker-Uppers	Transcript Completion Summary
第 11 回	Unit 6 A Hungarian Cake	Transcript Completion Summary
第 12 回	British Council English Learning	Vocabulary & listening practice
第 13 回	Presentation	Choose a topic from Unit 1-6 and give a presentation
第 14 回	Wrap-up	In-class test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、１時間を標準とする】事前に教科書に指定された URL にアクセスして音声をダウンロードし、予習してから出席すること。テキストのわからない単語は辞書で調べること。その際、類義語と反意語に注目すること。授業で耳にした修辞法や定型の言い回しは徹底して練習すること。サマリーを準備すること。

【テキスト（教科書）】
CNN 10 -Students News- Vol. 8（朝日出版社）

【参考書】
Students will use online information resources to research and prepare presentations. These include:
http://www.bbc.co.uk/learningenglish
https://learningenglish.voanews.com/
https://www.newsinlevels.com/
https://breakingnewsenglish.com

【成績評価の方法と基準】
Grading will be based on three criteria:
Class participation, 30 %, Presentations, 20 %, Tests, quizzes, 50 %.
Unexplained/Unjustified absences exceeding three class sessions may disqualify students from obtaining credit for the course. Lateness exceeding 15 minutes without justification will count as one-third absence.

【学生の意見等からの気づき】
None

【Outline and objectives】
This course builds upon skills on knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with opportunities to have critical thinking skills and express their opinions on different topics in English, using the textbook and authentic materials.
Students will learn about aspects of culture and society across cultures, while building their communication skills in all aspects.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Various aspects of the modern world

磯部　芳恵

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
文（史地心）2 年：中級／日本語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This course builds upon skills on knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with opportunities to have critical thinking skills and express their opinions on different topics in English, using the textbook and authentic materials.
Students will learn about aspects of culture and society across cultures, while building their communication skills in all aspects.

【到達目標】
The first goal of this course is to enable students to learn about various cultural aspects from around the world. The second goal is for students to develop discussion and critical thinking skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
1 回の授業で教科書の 1 ユニット分進める。教科書の語彙と本文を確認したあと、学生同士でペアワークやグループディスカッションを行う。授業の最後にはまとめとして教科書の内容についてサマリーを口頭発表を実施する。フィードバックを行い、リアクションペーパー等における良いコメントは授業内で紹介し、さらなる議論に活かす。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	Unit 7 New TVs	Transcript completion & comprehension
第 2 回	Breaking News English	Reading an article
第 3 回	Unit 8 Teaching English as a second language	Transcript completion & comprehension
第 4 回	British Council English Learning	Vocabulary & listening practice
第 5 回	Unit 9 Burgers and Antibiotics	Transcript completion & comprehension
第 6 回	British council English Learning	Vocabulary & listening practice
第 7 回	Unit 10 Ikigai	Transcript completion & comprehension
第 8 回	British Council English Learning	Vocabulary & listening practice
第 9 回	Unit 11 Workers in South Korea	Transcript completion & comprehension

第 10 回	British Council English Learning	Vocabulary & listening practice
第 11 回	Unit 12 Smart Park in Dubai	Transcript completion & comprehension
第 12 回	British Council English Learning	Vocabulary & listening practice
第 13 回	Presentation & feedback	Choose a topic and give a presentation
第 14 回	Wrap-up	Review & In-class test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習等の授業時間外学習は、1 時間を標準とする】事前に教科書に指定された URL にアクセスして音声をダウンロードし、予習してから出席すること。テキストのわからない単語は辞書で調べること。その際、類義語と反意語に注目すること。授業で耳にした修辞法や定型の言い回しは徹底して練習すること。サマリーを準備すること。

【テキスト（教科書）】
CNN 10 － Student News Vol. 8 (朝日出版社)

【参考書】
Students will use online information resources to research and prepare presentations. These include:
http://www.bbc.co.uk/learningenglish
https://learningenglish.voanews.com/
https://www.newsinlevels.com/
https://breakingnewsenglish.com

【成績評価の方法と基準】
Grading will be based on three criteria
Class participation, 30 %, Presentations, 20 %, Tests, quizzes, 50 %.
Unexplained/Unjustified absences exceeding three class sessions may disqualify students from obtaining credit for the course. Lateness exceeding 15 minutes without justification will count as one-third absence.

【学生の意見等からの気づき】
None

【Outline and objectives】
This course builds upon skills on knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with opportunities to have critical thinking skills and express their opinions on different topics in English, using the textbook and authentic materials.
Students will learn about aspects of culture and society across cultures, while building their communication skills in all aspects.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**世界の中の日本文化**

今井　澄子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
文（史地心）2 年：中級／日本語／世界の中の日本
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English1 および 2 で習得した英語運用能力である読む､書く､聴く、話すの四技能を使い、国際語である英語を通じて日本文化を世界的文脈の中で相対化し、英語資料を理解して批判的に分析したうえで英語による意見の発信ができる能力を養成する。

【到達目標】
・英語資料により世界における日本文化受容について理解を持つ
・日本文化に関する一般的英文を読み、コメントを英語で書く
・日本文化に関するアカデミックな英文を精読し、読解力を上げる
・日本に関する語彙の知識により英語の聴解力を上げる
・大学ﾚﾍﾞﾙのｱｶﾃﾞﾐｯｸ・ｽｷﾙ (Writing, Presentation) を身につける
・Oxford English Dictionary をﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽとして使えるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業始めにﾘｽﾆﾝｸﾞ小ﾃｽﾄ、その後 DVD 視聴または英文読解、学習内容に関するｺﾒﾝﾄを英語で書いて提出、添削して返却する。DVD 視聴のないときは英文読解を行い、音読・日本語訳等が課される。今期は日本文化の世界での受容をﾃｰﾏとするため、Oxford English Dictionary 見出し語となった日本語を調べ、英語ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝを行うので、学内 PC による辞書検索、Writing、Presentation が課される。これら課題のうち、ﾘｽﾆﾝｸﾞ、ﾃﾞｨｸﾃｰｼｮﾝ、DVD および英文理解に関わる課題は授業内で解答する。ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ原稿 Writing は添削指導、終了後にｽﾗｲﾄﾞ、Speaking 音声 (単語の発音、ｱｸｾﾝﾄ、ｲﾝﾄﾈｰｼｮﾝ)、元にした OED ﾃﾞｰﾀ等について、各自にｺﾒﾝﾄしてﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	世界の日本文化受容 OED 採録の日本語	授業内容や課題の説明 ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ OED 利用案内
第 2 回	世界の中の日本文化 (Office) Long-Established Business *() 内は Listening 小ﾃｽﾄﾃｰﾏ	(Listening 小テスト 1) Unit 1 DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 3 回	世界の中の日本文化 (Restaurant) Uniforms and Identity	(Listening 小テスト 2) Unit 2 DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 4 回	世界の中の日本文化 (Department Store) Volunteer Work and Helping Others	(Listening 小テスト 3) Unit 3 DVD 視聴 Short Reading Comment writing

第 5 回	世界の中の日本文化 (Airport) High-Tech Living [Automobiles]	(Listening 小テスト４) Unit ４ DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 6 回	世界の中の日本文化 (Bank) Japanese Tableware	(Listening 小テスト５) Unit ５ DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 7 回	世界の中の日本文化 (Duty-free Shop) Homemakers of Japan	(Listening 小テスト６) Unit ６ DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 8 回	世界の中の日本文化 (Travel) Voice Actors	(Listening 小テスト７) Unit ７ DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 9 回	日本社会と文化 (Rent-a-Car) Approaches to the Japanese History (1)	(Listening 小テスト８) Reading Essay １ R.J.Davis. Japanese Culture の記事
第 10 回	日本文化の背景 (Fitness Center) Approaches to the Japanese History (2)	(Listening 小テスト９) Reading Essay ２ R.J.Davis. Japanese Culture の記事
第 11 回	日本文化の背景 (Job Training) Lonely Planet	(Listening 小テスト 10) Reading Essay ３ Ch.Rawthorn. Japan: Understand Japan の記事
第 12 回	Writing 試験	Presentation の原稿 Writing
第 13 回	Presentation 試験	OED にある日本語の英語説明
第 14 回	期末試験	Reading および Listening

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

ﾃｷｽﾄの音声は Web ｽﾄﾘｰﾐﾝｸﾞで視聴可能。PartI と II があるが、ﾃｷｽﾄには II のｽｸﾘﾌﾟﾄしかないため I については Dictation 用の冊子を配布する。授業では Dictation と要所の説明を行うが、ｽｸﾘﾌﾟﾄの和訳はしない。より理解するには予め目を通してくるとよい。Reading は速読用の比較的易しいものから Web 上の記事、学術文などさまざまなものを用意する。内容や英文の質の高度なものを扱うときは、自宅での十分な予習が必要。また、Writing や Presentation に用いる Oxford English Dictionary を調べた資料は期日までに必ず準備する。準備できていないと授業中に Writing、Presentation が行えず、試験未受験扱いとなる。Listening 小ﾃｽﾄは準備の必要なし。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Discovering Cool Japan (2019). 成美堂 (PartI の Dictation 用ｽｸﾘﾌﾟﾄはコピー冊子を配布)
Listening Promoter for the TOEIC ® Test. 成美堂
Reading 教材はコピーを配布。

【参考書】

Oxford English Dictionary.
R.J. Davies. Japanese Culture:The Religious and Philosophical Foundations. 2016.
https://blogs.wsj.com/japanrealtime/
https://www.japantimes.co.jp/
https://www.bbc.co.uk/
https://edition.cnn.com/

【成績評価の方法と基準】

期末試験 60%、平常点 40%。平常点は授業参加度 10%、ﾘｽﾆﾝｸﾞ小ﾃｽﾄ平均点 10%、Writing・Presentation・Speaking10%、その他授業内での課題 10%が原則。よって、評価点は試験 60 点、平常点 40 点の合計 100 点で、60 %以上の得点で合格。授業初めのﾘｽﾆﾝｸﾞ小ﾃｽﾄ終了後は遅刻と認めず欠席とし、ﾘｽﾆﾝｸﾞ小ﾃｽﾄも 0 点となる。学期末の Presentation、原稿作成 Writing は授業内試験として扱い、単位取得に必須。このほか授業中の課題を遂行しない、あらかじめ割り当てられた担当課題があるのに無断欠席などは評価点がﾏｲﾅｽされる。授業では全員が担当をこなすため出席状況の良いことが必須で、欠席 4 回以上の者は原則として単位修得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】

Oxford English Dictionary を自宅で引くには VPN 接続が必要で、これが難しいとの指摘があった。学内 PC であればすぐにアクセスできるので、自宅で使えない学生には学内 PC の利用をすすめる。また、Writing が難しい、苦手であるという意見があるが、英語４技能を学習するため欠かすことはできない。構文・文法の知識を活用して短文を書く練習、日本語をそのまま英語に置き換えるだけで失敗した誤文の訂正問題などを通じて英文の質を上げ、英語を書くときの頭の切り替え方を身につけてほしい。エッセイなどを書くときはサンプルを用意するが、どうしてもコツがつかめない学生には個人指導を行い、どのように考えて書くかを説明したい。

【学生が準備すべき機器他】

授業には辞書を持参し、ｽﾏｰﾄﾌｫﾝ等でｲﾝﾀｰﾈｯﾄ上の辞書を使用することは原則として認めない。

【Outline and objectives】

This class aims to provide students with further opportunities to improve their English proficiency acquired in English 1 and 2 classes. Students will read, write, hear and speak about various topics of Japan, especially Japanese culture in the world in English in order fully to have an academic skill. The spring semester focuses on understanding how Japan and Japanese culture are recognized, accepted, or sometimes criticized in the world. The various reading and listening materials can give students a lot of information, and based on these, they try to write a comment or speak his/her opinion in English. To see the acceptance of Japanese culture, students will look into an entry of Japanese words in Oxford English Dictionary. Analyzing the definition and quotations of these words contributes to students' understanding Japanese culture. Concerning the class procedure, students take a listening test at the beginning, try to read a short English passage and write a comment after watching DVD. They also read an English essay on the background of Japanese culture and characteristics in class. It is essential for students to take three kinds of exams — writing, presentation, and final reading & listening.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**世界の中の日本文化**

今井　澄子

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
文（史地心）2 年：中級／日本語／世界の中の日本
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English1 および 2 で習得した英語運用能力である読む､書く､聴く、話すの四技能を使い、国際語である英語を通じて日本文化を世界的文脈の中で相対化し、英語資料を理解して批判的に分析したうえで英語による意見の発信ができる能力を養成する。

【到達目標】
・英語資料により世界における日本文化受容について理解を持つ
・日本文化に関する一般的英文を読み、コメントを英語で書く
・日本文化に関するアカデミックな英文を精読し、読解力を上げる
・日本に関する語彙の知識により英語の聴解力を上げる
・大学ﾚﾍﾞﾙのｱｶﾃﾞﾐｯｸ・ｽｷﾙ (Writing, Presentation) を身につける
・Oxford English Dictionary をﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽとして使えるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業始めにﾘｽﾆﾝｸﾞ小ﾃｽﾄ、その後 DVD 視聴または英文読解、学習内容に関するｺﾒﾝﾄを英語で書いて提出、添削して返却する。DVD 視聴のないときは英文読解を行い、音読・日本語訳等が課される。今期は日本文化の世界での受容をﾃｰﾏとするため、Oxford English Dictionary 見出し語となった日本語を調べ、英語ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝを行うので、学内 PC による辞書検索、Writing、Presentation が課される。これら課題のうち、ﾘｽﾆﾝｸﾞ、ﾃﾞｨｸﾃｰｼｮﾝ、DVD および英文理解に関わる課題は授業内で解答する。ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ原稿 Writing は添削指導、終了後にｽﾗｲﾄﾞ、Speaking 音声 (単語の発音、ｱｸｾﾝﾄ、ｲﾝﾄﾈｰｼｮﾝ)、元にした OED ﾃﾞｰﾀ等について、各自にｺﾒﾝﾄしてﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	世界の中の日本文化 (Business Trip) Seafood-Japanese Cuisine *() 内は Listening 小ﾃｽﾄﾃｰﾏ	(Listening 小テスト１) Unit ８ DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 2 回	世界の中の日本文化 (Vacation) Japanized Foreign Dishes	(Listening 小テスト２) Unit ９ DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 3 回	世界の中の日本文化 (Pay) Bag-Culture	(Listening 小テスト３) Unit10DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 4 回	世界の中の日本文化 (Exhibition) Senior Citizens [Medical Checkups]	(Listening 小テスト４) Unit11DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 5 回	世界の中の日本文化 (Shopping) Money	(Listening 小テスト５) Unit12DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 6 回	世界の中の日本文化 (Hospital) Zodiac	(Listening 小テスト６) Unit13DVD 視聴 Short Reading Comment writing
第 7 回	日本人とは何か (Train Station) What is a Japanese?	(Listening 小テスト７) Reading Essay １ R. Pulvers. Delighting in Cultures の記事
第 8 回	現代日本に残るｻﾑﾗｲﾈｰﾑ (Presentation) Samurai Spirit	(Listening 小テスト８) Reading Essay ２ Wall Street Journal の記事
第 9 回	Inbound Japan (Lecture) A New Era or An Era of Newness? Integrating Immigrants	(Listening 小テスト９) Reading Essay ３ M.Pronko.Inbound/Outbound Japan の記事
第 10 回	Outbound Japan (Contract) The Right Amount of Confidence "Get Out! Why Not Go?"	(Listening 小テスト 10) Reading Essay ４ M.Pronko.Inbound/Outbound Japan の記事
第 11 回	日本語を英語にする方法 引用元表記のしかた	英語における外来語表記 外来語＋言い換え MLA または APA によるﾚﾌｧﾚﾝｽ
第 12 回	Writing 試験	Presentation の原稿 Writing
第 13 回	Presentation 試験	日本文化の事象を英語で説明
第 14 回	期末試験	Reading および Listening

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
ﾃｷｽﾄの音声は Web ｽﾄﾘｰﾐﾝｸﾞで視聴可能。PartI と II があるが、ﾃｷｽﾄには II のｽｸﾘﾌﾟﾄしかないため I については Dictation 用の冊子を配布する。授業では Dictation と要所の説明を行うが、ｽｸﾘﾌﾟﾄの和訳はしない。より理解するには予め目を通してくるとよい。Reading は速読用の比較的易しいものから Web 上の記事、学術文などさまざまなものを用意する。内容や英文の質の高度なものを扱うときは、自宅での十分な予習が必要。また、Writing や Presentation に用いる資料は期日までに必ず準備する。準備できていないと授業中に Writing、Presentation が行えず、試験未受験扱いとなる。Listening 小ﾃｽﾄは準備の必要なし。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Discovering Cool Japan (2019). 成美堂 (PartI の Dictation 用ｽｸﾘﾌﾟﾄはコピー冊子を配布)
Listening Promoter for the TOEIC ® Test. 成美堂
Reading 教材はコピーを配布。

【参考書】
Oxford English Dictionary.
R.J.Davies & Osamu Ikeno. The Japanese Mind: Understanding Contemporary Japanese Culture. 2002.
https://blogs.wsj.com/japanrealtime/
https://www.japantimes.co.jp/
https://www.bbc.co.uk/
https://edition.cnn.com/

【成績評価の方法と基準】
期末試験 60%、平常点 40%。平常点は授業参加度 10%、ﾘｽﾆﾝｸﾞ小ﾃｽﾄ平均点 10%、Writing・Presentation・Speaking10%、その他授業内での課題 10%が原則。よって、評価点は試験 60 点、平常点 40 点の合計 100 点で、60 %以上の得点で合格。授業初めのﾘｽﾆﾝｸﾞ小ﾃｽﾄ終了後は遅刻と認めず欠席とし、ﾘｽﾆﾝｸﾞ小ﾃｽﾄも 0 点となる。学期末の Presentation、原稿作成 Writing は授業内試験として扱い、単位取得に必須。このほか授業中の課題を遂行しない、あらかじめ割り当てられた担当課題があるのに無断欠席などは評価点がﾏｲﾅｽされる。授業では全員が担当をこなすため出席状況の良いことが必須で、欠席 4 回以上の者は原則として単位修得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】
Oxford English Dictionary を自宅で引くには VPN 接続が必要で、これが難しいとの指摘があった。学内 PC であればすぐにアクセスできるので、自宅で使えない学生には学内 PC の利用をすすめる。また、Writing が難しい、苦手であるという意見があるが、英語 4 技能を学習するため欠かすことはできない。構文・文法の知識を活用して短文を書く練習、日本語をそのまま英語に置き換えるだけで失敗した誤文の訂正問題などを通じて英文の質を上げ、英語を書くときの頭の切り替え方を身につけてほしい。エッセイなどを書くときはサンプルを用意するが、どうしてもコツがつかめない学生には個人指導を行い、どのように考えて書くかを説明したい。

【学生が準備すべき機器他】
授業には辞書を持参し、ｽﾏｰﾄﾌｫﾝ等でｲﾝﾀｰﾈｯﾄ上の辞書を使用することは原則として認めない。

【Outline and objectives】
This class aims to provide students with further opportunities to improve their English proficiency acquired in English 1 and 2 classes. Students will read, write, hear and speak about various topics of Japan, especially Japanese culture in the world in English in order fully to have an academic skill. The autumn semester focuses on explaining Japanese culture in English to the world. The various reading and listening materials can give students a lot of information, and based on these, they try to write a comment or speak his/her opinion in English. To train an ability to explain Japanese culture in English, students will give a presentation of a topic of Japanese culture which interests them. Concerning the class procedure, students take a listening test at the beginning, try to read a short English passage and write a comment after watching DVD. They also read an English essay on Inbound/Outbound Japan in class. It is essential for students to take three kinds of exams — writing, presentation, and final reading & listening.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

永井　大輔

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水 5**/Wed.5
単位数：**1 単位**
文（史地心）2 年：初級／日本語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
小説、ドラマ、漫画などで何かと舞台になる（だがよくは知らない）ヴィクトリア時代の英国について学びながら、英語の基本 4 技能（reading, listening, writing, speaking）の向上を目指します。

【到達目標】
英語の基本 4 技能については、以下の目標を設定します。
・英語に関することであろうとなかろうと、読んでいて分からないことは、自主的に調べる習慣を身につける。
・あまり知識のないトピックに関する英語音声を聴く際にも障害にならない程度に、基本的なフレーズや文法、発音のルールを覚える。
・今まで使ったことのない語彙を用いて、品詞や節、文のルールを守った文章が書ける。
・質疑応答のパターンを身につけ、トピックが変わっても動揺せずにロジカルな発言ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
基本的に教科書を進めていきます。1 章あたり 2 授業回を費やします。各章の初回は speaking と reading のタスクを行ない、ペアを組ませての質疑応答練習や、文章の内容に関する質問をします。次の回は listening と writing のタスクを行ない、ディクテーションや英作文をします。
Chapter ごとの要点・感想ほか課題類の提出は「学習支援システム」を通じて行う予定です。提出物の一部は次の授業回でのフィードバックで取り上げます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	シラバスに書かれていること以外の細かいルールについて説明します。 持っている辞書を確認しますので、辞書を必ず持参して下さい。
第 2 回	Chapter 1 (1)	Queen Victoria's Reign Speaking & reading
第 3 回	Chapter 1 (2)	（前回の続き） Listening & writing
第 4 回	Chapter 2 (1)	First Industrial Nation Speaking & reading
第 5 回	Chapter 2 (2)	（前回の続き） Listening & writing
第 6 回	Chapter 3 (1)	Coming of the Railways Speaking & reading
第 7 回	Chapter 3 (2)	（前回の続き） Listening & writing
第 8 回	Chapter 4 (1)	The Great Exhibition Speaking & reading

第 9 回	Chapter 4 (2)	（前回の続き） Listening & writing
第 10 回	Chapter 5 (1)	Working Lives Speaking & reading
第 11 回	Chapter 5 (2)	（前回の続き） Listening & writing
第 12 回	Chapter 6 (1)	Victorian Cities Speaking & reading
第 13 回	Chapter 6 (2)	（前回の続き） Listening & writing
第 14 回	Chapter 1~6 のまとめ	内容のおさらい TOEIC 形式の小テストを 2 本実施します。単位取得希望者は必ず受けて下さい。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎授業回の質問は、予習・復習を前提としたものになります (本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間以上を標準とします)。
・質問等にはみずから調べた事柄が必要になる場合もあります。予習や調べ物には相応の時間をかけねばならず、授業前に他の受講生から聞きかじる程度では単位を落とすと覚悟して下さい。
・Listening の問題については、予習が必須となるでしょう。Speaking 能力の向上のために、Listening の音声を真似る'shadowing' という作業を行なってみて下さい。
・Speaking のタスクについては、教科書で紹介された例文以外にも、自分で考えた回答を何パターンか用意しておいて下さい。

【テキスト（教科書）】
杉村醇子・古瀬明里・山崎麻由美（編注）『ヴィクトリア朝からの贈りもの - VICTORIANS』、英宝社、2011 年。2000 円＋税　ISBN ： 978-4-269-15014-0 C1082
毎授業回に辞書（英和もしくは英英、場合によっては和英も）持参が必須です。授業中使用できるのは紙媒体の辞書もしくは専用装置型の電子辞書のみです。

【参考書】
コリン・マシュー編『19 世紀: 1815 年-1901 年』（オックスフォードブリテン諸島の歴史 第 9 巻）、慶應義塾大学出版会、2009 年。
A. ブリッグズ『ヴィクトリア朝の人びと』（Minerva 西洋史ライブラリー 9）、ミネルヴァ書房、1995 年。
フリードリヒ・エンゲルス『イギリスにおける労働者階級の状態: 19 世紀のロンドンとマンチェスター』（岩波文庫、白 (34)-129-0,1）、岩波書店、1990 年。
ヘンリー・メイヒュー『ヴィクトリア朝ロンドンの下層社会』（Minerva 西洋史ライブラリー 84）、ミネルヴァ書房、2009 年。
ジャック・ロンドン『どん底の人びと: ロンドン 1902』（岩波文庫、赤-315-2,32-315-2）、岩波書店、1995 年。
松村昌家の著作（例えば『大英帝国博覧会の歴史』など）多数。
Asa Briggs, The Age of Improvement, 1783-1867, 2nd ed. (Longman, 2000).
G. Kitson Clark, The Making of Victorian England (1962).
Boyd Hilton, The Age of Atonement: The Influence of Evangelicalism on Social and Economic Thought, 1785-1865 (Clarendon Press, 1988).

【成績評価の方法と基準】
毎授業回の授業参加度： 70%
・質疑応答練習の出来栄え
・質問に対して十分な予習をふまえた回答ができたか
・ディクテーション
・作文
第 14 回授業回の小テスト 2 本： 30%
・春学期学修内容の理解度
・TOEIC 形式の設問に対する順応
欠席および遅刻について
学期中に 4 回欠席した受講生は単位取得資格を失ないます。遅刻は累積 3 回で欠席 1 回と同等の扱いとします。その他授業に対する貢献が著しく低いと教員が判断し、授業中にペナルティ（初回授業時に説明）を受けた場合は、遅刻と同等の扱いとし、遅刻と同じ累積勘定に加えられます。30 分以上の遅刻は、出席簿上欠席扱いとします。欠席・遅刻・ペナルティは授業参加度の減点対象となります。
不正について
各課題においてコピペ、他受講者の引き写し、著作物の剽窃、機械翻訳を行なったことが発覚した場合、該当授業回の評価は取り消されます。複数回の不正が発覚した場合は、単位取得資格を停止します。複数の受講生が関与した場合、全員同様の対象となります。

【学生の意見等からの気づき】
タスクが多すぎるのは、４技能およびコンテンツ理解のそれぞれについて成績評価を行なわなければならない English 3 の宿命です。視覚的情報の不足を補うため、写真・図像だけでなく、English Heritage 公式チャンネルなどの動画も、時間が許すならば見せて説明します。

【学生が準備すべき機器他】
Chapter ごとの記事内容の要点・感想ほか課題類の提出に学習支援システムを利用します。

【Outline and objectives】
In this course, students will improve their skills in English (i.e. reading, listening, writing, and speaking) through various topics on Victorian Britain.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

永井　大輔

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
文（史地心）2 年：初級／日本語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
小説、ドラマ、漫画などで何かと舞台になる（だがよくは知らない）ヴィクトリア時代の英国について学びながら、英語の基本 4 技能（reading, listening, writing, speaking）の向上を目指します。

【到達目標】
英語の基本 4 技能については、以下の目標を設定します。
・英語に関することであろうとなかろうと、読んでいて分からないことは、自主的に調べる習慣を身につける。
・あまり知識のないトピックに関する英語音声を聴く際にも障害にならない程度に、基本的なフレーズや文法、発音のルールを覚える。
・今まで使ったことのない語彙を用いて、品詞や節、文のルールを守った文章が書ける。
・質疑応答のパターンを身につけ、トピックが変わっても動揺せずにロジカルな発言ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
基本的に教科書を進めていきます。1 章あたり 2 授業回を費やします。各章の初回は speaking と reading のタスクを行ない、ペアを組ませての質疑応答練習や、文章の内容に関する質問をします。次の回は listening と writing のタスクを行ない、ディクテーションや英作文をします。
Chapter ごとの要点・感想ほか課題類の提出は「学習支援システム」を通じて行う予定です。提出物の一部は次の授業回でのフィードバックで取り上げます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	春学期まとめ・秋学期イントロダクション	今学期の授業の進め方に関する確認 前学期の学修内容の到達度に関する総評 当然ですが出席にカウントされます。
第 2 回	Chapter 7 (1)	Angel in the Home Speaking & reading
第 3 回	Chapter 7 (2)	（前回の続き） Listening & writing
第 4 回	Chapter 8 (1)	Life below Stairs Speaking & reading
第 5 回	Chapter 8 (2)	（前回の続き） Listening & writing
第 6 回	Chapter 9 (1)	Victorian Schooling Speaking & reading
第 7 回	Chapter 9 (2)	（前回の続き） Listening & writing
第 8 回	Chapter 10 (1)	Art and Architecture Speaking & reading
第 9 回	Chapter 10 (2)	（前回の続き） Listening & writing
第 10 回	Chapter 11 (1)	A New Reading Public Speaking & reading
第 11 回	Chapter 11 (2)	（前回の続き） Listening & writing
第 12 回	Chapter 12 (1)	Social Reform Speaking & reading
第 13 回	Chapter 12 (2)	（前回の続き） Listening & writing
第 14 回	Chapter 7~12 のまとめ	内容のおさらい TOEIC 形式の小テストを 2 本実施します。単位取得希望者は必ず受けて下さい。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎授業回の質問は、予習・復習を前提としたものになります (本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間以上を標準とします)。
・質問等にはみずから調べた事柄が必要になる場合もあります。予習や調べ物には相応の時間をかけねばならず、授業前に他の受講生から聞きかじる程度では単位を落とすと覚悟して下さい。
・Listening の問題については､予習が必須となるでしょう。Speaking 能力の向上のために、Listening の音声を真似る'shadowing' という作業を行なってみて下さい。
・Speaking のタスクについては、教科書で紹介された例文以外にも、自分で考えた回答を何パターンか用意しておいて下さい。

【テキスト（教科書）】
杉村醇子・古瀬明里・山崎麻由美（編注）『ヴィクトリア朝からの贈りもの - VICTORIANS』、英宝社、2011 年。2000 円＋税　ISBN ： 978-4-269-15014-0 C1082
毎授業回に辞書（英和もしくは英英、場合によっては和英も）持参が必須です。授業中使用できるのは紙媒体の辞書もしくは専用装置型の電子辞書のみです。

【参考書】
コリン・マシュー編『19 世紀: 1815 年-1901 年』（オックスフォードブリテン諸島の歴史 第 9 巻）、慶應義塾大学出版会、2009 年。
A. ブリッグズ『ヴィクトリア朝の人びと』（Minerva 西洋史ライブラリー 9）、ミネルヴァ書房、1995 年。
フリードリヒ・エンゲルス『イギリスにおける労働者階級の状態: 19 世紀のロンドンとマンチェスター』（岩波文庫、白 (34)-129-0,1）、岩波書店、1990 年。
ヘンリー・メイヒュー『ヴィクトリア朝ロンドンの下層社会』（Minerva 西洋史ライブラリー 84）、ミネルヴァ書房、2009 年。
ジャック・ロンドン『どん底の人びと: ロンドン 1902』（岩波文庫、赤-315-2,32-315-2）、岩波書店、1995 年。
松村昌家の著作（例えば『大英帝国博覧会の歴史』など）多数。
Asa Briggs, The Age of Improvement, 1783-1867, 2nd ed. (Longman, 2000).
G. Kitson Clark, The Making of Victorian England (1962).
Boyd Hilton, The Age of Atonement: The Influence of Evangelicalism on Social and Economic Thought, 1785-1865 (Clarendon Press, 1988).

【成績評価の方法と基準】
毎授業回の授業参加度： 70%
・質疑応答練習の出来栄え
・質問に対して十分な予習をふまえた回答ができたか
・ディクテーション
・作文
第 14 回授業回の小テスト 2 本： 30%
・春学期学修内容の理解度
・TOEIC 形式の設問に対する順応
欠席および遅刻について
学期中に 4 回欠席した受講生は単位取得資格を失ないます。遅刻は累積 3 回で欠席 1 回と同等の扱いとします。その他授業に対する貢献が著しく低いと教員が判断し、授業中にペナルティ（初回授業時に説明）を受けた場合は、遅刻と同等の扱いとし、遅刻と同じ累積勘定に加えられます。30 分以上の遅刻は、出席簿上欠席扱いとします。欠席・遅刻・ペナルティは授業参加度の減点対象となります。
不正について

各課題においてコピペ、他受講者の引き写し、著作物の剽窃、機械翻訳を行なったことが発覚した場合、該当授業回の評価は取り消されます。複数回の不正が発覚した場合は、単位取得資格を停止します。複数の受講生が関与した場合、全員同様の対象となります。

【学生の意見等からの気づき】
タスクが多すぎるのは、４技能およびコンテンツ理解のそれぞれについて成績評価を行なわなければならない English 3 の宿命です。視覚的情報の不足を補うため、写真・図像だけでなく、English Heritage 公式チャンネルなどの動画も、時間が許すならば見せて説明します。

【学生が準備すべき機器他】
Chapter ごとの記事内容の要点・感想ほか課題類の提出に学習支援システムを利用します。

【Outline and objectives】
In this course, students will improve their skills in English (i.e. reading, listening, writing, and speaking) through various topics on Victorian Britain.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Global Issues and Japan

青山　恵子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
文（史地心）2 年：初級／日本語／世界の中の日本
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業の目的は「英語を読み聞く」を「英語で考え発信する」へと発展させていくことにあります（learning four skills of reading,listening, speaking and writing)。日本が直面する社会問題をグローバルな視点から考え学びます。

【到達目標】
1. 音読が適切にできるようになること
2. テクスト内容を正確に理解し英語で要約できるようになること
3. 授業で学んだ諸問題について解説と意見を論理的に英語で表現できるようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
＊ This is an on-demand class, and instructions and assignments will be given through Hoppii. (この授業はオンデマンド[資料型] です。指示や課題を学習支援システムで配信します）
Students participate in practical activities including the four skills of reading, listening, speaking and writing:
(1) Reading: paragraph reading
(2) Listening: listening to mini-talks and global news
(3) Writing: summary and paragraph writing
(4) Speaking: preparation for presentation
Submission of assignments and feedback will be on Hoppii.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction / Understanding Issue: The Significance of Going to School	1 Explaining the course 2 Reading and listening practices
2	Understanding issue: Internet Safety or Freedom of Expression?	1 Reading paragraphs on controlling Internet content 2 Listening practice
3	Understanding issue: the Factors of Success in Life	1 Reading paragraphs on success in life 2 Listening practice
4	Understanding issue: Eco or Ego?	1 Reading paragraphs on eco-friendliness 2 Listening practice
5	Understanding issue: Is Every Young Person Worried?	1 Reading paragraphs on worries of young people 2 Listening practice

6	Understanding issue: Clean Energy or Potential Threat?	1 Reading paragraphs on restoring nuclear power generation 2 Listening practice
7	Understanding issue: Social Standards	1 Reading paragraphs on social standards 2 Listening practice
8	Understanding issue: Democracy	1 Reading paragraphs on democracy 2 Listening practice
9	Understanding issue: Parent-child Relationship	1 Reading paragraphs on parent-child relationship 2 Listening practice
10	Understanding issue: Globalization	1 Reading paragraphs on globalization 2 Listening practice
11	Understanding issue: International Society and an International Outlook	1 Reading paragraphs on an international outlook 2 Listening practice
12	Understanding issue: Humans or AI?	1 Reading paragraphs on AI 2 Listening practice
13	Understanding issue: Larger Budgets for Education	1 Reading paragraphs on education expenditure 2 Listening practice
14	Review and Test	Reviewing the topics and test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course (本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします)
1 Weekly reading, listening or writing home assignments
2 Weekly reading aloud and speaking practicing

【テキスト（教科書）】
James M. Vardaman, Japan in International Society: A comparison of Dacts and Figures (『データから考える日本と世界』), 音羽書房鶴見書店, 2011

【参考書】
Provided during sessions

【成績評価の方法と基準】
Attendance and Home assignment (50%)
Writing assignment (20%)
Tests (30%)
In principle, no more than 3 absences per semester are allowed（春学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めない）

【学生の意見等からの気づき】
I'm going to increase opportunities to listen to English materials as well as reading essays and data. I hope your passionate participation makes this course exciting. みなさんの積極的な授業参加が授業の質を高めてくれたと実感しています。本年度の授業もそうなることを希望しています。

【学生が準備すべき機器他】
Hoppii（学習支援システム）
Electric dictionary (English-English dictionary is necessary)

【Outline and objectives】
This is a content-based English learning class focusing on problematic issues in Japanese society and their correlation with global issues. You will practice systematic reading and presentation skills. In Writing Workshops, you will also practice well-organized paragraph writing skills.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Global Issues and Japan

青山　恵子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
文（史地心）2 年：初級／日本語／世界の中の日本
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
日本が直面する社会問題をグロー バルな視点から考え学びます。English 3 I に引き続き「英語を読み聞く」を「英語で考え発信する」へと発展させていくことを目的とします (learning four skills of reading,listening, speaking and writing)。

【到達目標】
1 音読が適切にできるようになること
2 学んだトピックについての意見を正確に聞き取ることができるようになること
3 学んだトピックについての解説と意見を論理的に英語で表現できるようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
＊ This is an on-demand class, and instructions and assignments will be given through Hoppii. (この授業はオンデマンド[資料型] です。指示や課題を学習支援システムで配信します）
Students participate in practical activities including the four skills of reading, listening, speaking and writing:
(1) Reading: paragraph reading
(2) Listening: listening to mini-talks and global news
(3) Writing: summary and paragraph writing
(4) Speaking: preparation for presentation
Submission of assignments and feedback will be on Hoppii.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction / Understanding Issue: Japanese Language Study Overseas	1 Explaining the course of this semester 2 Reading paragraphs on Japanese language study overseas 3 listening practice
2	Understanding Issue: Are Homeless Responsible for Their Homelessness?	1 Reading paragraphs on homeless 2 Listening practice
3	Understanding Issue: International Students at U.S. Universities	1 Reading paragraphs on international students 2 Listening practice
4	Understanding Issue: Open Borders or Closed Societies? Understanding Issue: Human Rights	1 Reading paragraphs on an open door policy for immigrants 2 Listening practice

5	Understanding Issue: Death Penalty or Human Rights?	1 Reading paragraphs on capital punishment 2 Listening practice
6	Understanding Issue: Mother and Children of the World	1 Reading paragraphs on State of the World Mothers 2 Listening practice
7	Understanding Issue: Global Peace Index	1 Reading paragraphs on Global Peace Index: 2 Listening practice
8	Understanding Issue: The Constitution of Japan	1 Reading paragraphs on the Constitution of Japan in English 2 Reading paragraphs on The Universal Declaration of Human Rights 3 Listening practice
9	Understanding Issue: International Comparison of Military Expenditures	1 Reading paragraphs on military expenditure 2 Listening practice
10	Understanding Issue: Nuclear Ban Treaty	1 Reading paragraphs on Nuclear Ban Treaty 2 Listening practice
11	Understanding Issue: International Competitiveness	1 Reading paragraphs on Global Competitiveness 2 Listening practice
12	Understanding Issue: Tax Hikes: Direct or Indirect?	1 Reading paragraphs on Tax Hikes: on wealth or on consumption 2 Listening practice
13	Understanding Issue: What Makes a Nation Prosperous?	1 Reading paragraphs on Human Development Index 2 Listening practice
14	Review and Test	Reviewing the topics and test.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
University guidelines suggest preparation and revie are around an hour a week for a one-credit course (本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします)
1 Weekly reading, listening, or writing home assignments
2 Weekly reading aloud and speaking practicing

【テキスト（教科書）】
James M. Vardaman, Japan in International Society: A comparison of Dacts and Figures (『データから考える日本と世界』), 音羽書房鶴見書店, 2011

【参考書】
Provided during sessions

【成績評価の方法と基準】
Attendance and Home assignment (50%)
Writing assignment (20%)
Final test (30%)
In principle, no more than 3 absences per semester are allowed (秋学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めない)

【学生の意見等からの気づき】
Your classmates' encouragement will keep yourself motivated. 語学学習は継続が重要です。互いに励ましあいながらさらなるレベルアップを目指しましょう。

【学生が準備すべき機器他】
Hoppii（学習支援システム）
Electric dictionary (English-English dictionary is necessary)

【Outline and objectives】
The course focuses on reading, listening, presenting and writing about "global issues and Japan" in English. Students will practice well-organized paragraph writing and effective presentation skills.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Modern and Future Society

ALAN M NICHOLLS

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
営 2 年：上級／英語／現代の諸相
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This English 3 course builds upon the skills and knowledge students gained in English 1 and English 2. and requires students to exercise all four communication skills: reading, writing, listening and speaking. The course explores different topics related to "Modern and Future Society", from the perspectives of an international journalist. The course will compare Japanese society/lifestyle and other cultures. There are three major themes of the course which are inter-related:
1) The importance of food in cultures
2) Meeting people from different cultures
3) Living in different cities

【到達目標】
Students will enhance their English reading skills and critical thinking through reading various texts and will deepen their understanding of different cultures in the process. Students will improve their communication ability by practicing voicing their opinions about important issues related to society and lifestyle.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
The textbook for this subject will be supplemented by additional BBC News articles or TED Talks, that will require comprehension analysis. Students will be required to prepare questions for discussion in small (random) groups and present their group opinions to the class.
All assignments will be distributed, submitted and returned to students digitally via Google Classroom. Written assignments will be returned with detailed comments on how students can improve their writing skills.
This is an online course and all lessons will be taught using Zoom.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction	Overview and join CMS. Grading and Attendance Basic structures review
2	Food cultures	Listening: Vocabulary Climate and food
3	Food culture	Speaking: Food staples Describing food

4	Food culture	Reading and Writing: Japanese food Video: Different food
5	Meeting people from other cultures	Vocabulary: Describe life experience Small talk topics
6	Meeting people from other cultures	Speaking: "Breaking the Ice" Overcome language barriers
7	Presentation:	Small group presentations. chanting for rhythm and metre.
8	Urbanization	Listening and Note taking Video and Script. Changing cities
9	Urbanisation	Vocabulary: The future of cities. Video: ECO cities
10	Urbanisation	Speaking: What more do we need to make a great city?
11	Urbanisation	BBC Articles: The future of Transportation
12	Presentations	How will technologies change our cities.
13	BBC Articles: Synthetic Food	Short presentation on the pros and cons of synthetic protein.
14	Bring it all together	Review of Topics discussed in course.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around 2 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.
There will be some short, simple, written homework assignments designed to test the students understanding of the ideas presented in the major themes of the course. Each homework assignment will be 10% of total course value.

【テキスト（教科書）】

World English 2, (3rd Edition), Kristin L. Johannsen and Rebecca Tarver Chase, CENGAGE LEARNING

【参考書】

To be advised

【成績評価の方法と基準】

Homework Assignments: 40%
Classroom Worksheets: 40%
Pair and Group Participation: 20%
There will be 10 assessments during the semester. Each assessment will have a course value of 10%.
In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable

【学生が準備すべき機器他】

Please be able to access Japanese/English and English/English Dictionaries. A Thesaurus will also be useful. Apps for smartphones / mobile devices are acceptable.
Also, a portable device that supports a Word Processor (all assignments should be submitted in Google Docs format)
Access to Zoom (Zoom.us) is required. Students will be required to use headphones if joining the lesson from Hosei University classrooms.
Students should know their Hosei University Gmail account details.

【その他の重要事項】

We will use Google “Classroom” to send, submit and record all assignments. Students will be required to join the subject using “Classroom” and will be required to change their profile on Gmail with their "Class Number). Please download Google Classroom to your device before our first class. Course code is: hemypxy

【Outline and objectives】

This English 3 course builds upon the skills and knowledge students gained in English 1 and English 2. and requires students to exercise all four communication skills: reading, writing, listening and speaking. The course explores different topics related to "Modern and Future Society", from the perspectives of an international journalist. The course will compare Japanese society/lifestyle and other cultures. There are three major themes of the course which are inter-related:
1) The importance of food in cultures
2) Meeting people from different cultures
3) Living in different cities

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Modern and Future Society

ALAN M NICHOLLS

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
営 2 年：上級／英語／現代の諸相
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This English 3 course builds upon the skills and knowledge students gained in English 1, English 2 and English 3 1. It requires students to exercise all four communication skills: reading, writing, listening and speaking. The course explores different Aspects of Modern and Future society The course will compare Japanese society/lifestyle and other cultures. There are three major themes of the course which are inter-related:
1) Health and health systems
2) Facing and overcoming challenges
3) Change and change management

【到達目標】
Students will enhance their English reading skills and critical thinking through reading various articles and will deepen their understanding of different cultures. Students will improve their communication ability by practicing voicing their opinions, in small groups, about important issues related to society and lifestyle.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
The textbook for this subject will be supplemented by additional BBC World News articles or TED topics, that will require comprehension analysis. Students will be required to prepare questions for discussion in small (random) groups and present their group opinions to the class.
All assignments will be distributed, submitted and returned to students digitally via Google Classroom. Written assignments will be returned with detailed comments on how students can improve their writing skills.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction	Overview, Grading and Attendance. Organs and systems. Comparatives and superlatives
2	Health and Health systems	Listening: Genetics vs lifestyle
3	Health and Health systems	Reading: Natural Remedies
4	Health and Health systems	Video: The Human body
5	Facing and overcoming challenges	Vocabulary of "challenge". Practice using Basic Past structures
6	Facing and overcoming challenges	Speaking about past accomplishments.
7	Facing and overcoming challenges	Reading / Writing about challenges Video: A challenging vocation
8	Change and Change management	Vocabulary of life stages. Unfinished business
9	Change and Change management	Listening: Life stages Vocabulary expansion adjectives and adjective opposites
10	Change and Change management	Video 1 Overcoming change. Video 2: Cultural differences
11	Change and Change management	TED Video: Economics, Technology and social equity
12	Changes in Technology	Group presentation about a BBC Article on new technology.
13	Changes in technology	Our aging society and do we really want to live forever?
14	Bring it all together	TED Talk: Critical thinking when watching a presentation.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
University guidelines suggest preparation and review are around 2 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.
There will be some short, simple, written homework assignments designed to test the students understanding of the ideas presented in the major themes of the course. Each homework assignment will be 10% of total course value.

【テキスト（教科書）】
World English 2, (3rd Edition), Kristin L. Johannsen and Rebecca Tarver Chase, CENGAGE LEARNING

【参考書】
To be advised

【成績評価の方法と基準】
Homework Assignments: 40%
Classroom Worksheets: 40%
Pair and Group Participation: 20%
There will be 10 assessments during the semester. Each assessment will have a course value of 10%.
In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

【学生の意見等からの気づき】
Not applicable

【学生が準備すべき機器他】
Please bring Japanese/English and English/English Dictionaries.
A Thesaurus will also be useful. Apps for smartphones / mobile devices are acceptable.
Also, a portable device that supports a Word Processor (all assignments should be submitted in Google Docs format)
Access to Cloud computing will be required.
Voice recognition software may be an advantage.

【その他の重要事項】
We will use Google “Classroom” to send, submit and record all assignments. Students will be required to join the subject using “Classroom” and will be required to change their profile on Gmail with their "Class Number". The Google Classroom course code is: 7pqztpr

【Outline and objectives】
This English 3 course builds upon the skills and knowledge students gained in English 1, English 2 and English 3 1. It requires students to exercise all four communication skills: reading, writing, listening and speaking. The course explores different Aspects of Modern and Future society The course will compare Japanese society/lifestyle and other cultures. There are three major themes of the course which are inter-related:
1) Health and health systems
2) Facing and overcoming challenges
3) Change and change management

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Undercover Boss - English in Workplaces

Robert D. Hinton

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
営 2 年：上級／英語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This is a content based course aimed at helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of American culture and society.

【到達目標】
The goal of this course is to increase fluency, accuracy and confidence in the areas of listening, reading and writing. Students will also learn about the inner workings of American businesses and companies from the viewpoint of the workers and the CEOs and how those businesses impact American culture and society.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Due to the continued effect of the pandemic, classes for the Spring semester will be held on line, in an on-demand style. Each Friday, materials and weekly assignments will be found on the HOPPI learning system. Students will have one week to complete the assignments and enter their work into the HOPPI system. The materials will include handouts, worksheets and videos.
In this course students will have many opportunities to improve listening, reading and writing skills. Students will be encouraged to learn these skills through a variety of communicative and task based activities. Each week, students will participate in a myriad of activities to advance listening, reading and writing skills. Particular attention will be focused on improving communication skills through active listening and writing. Students will be empowered with the skills to become more confident communicators.
Each week students will see "real life" business dealings using "Undercover Boss", an American reality show. As they watch, the students will complete a listening comprehension worksheet and take notes about different aspects of the company, the workers and the CEO. After each program, students will check their listening comprehension and prepare a report related to that specific episode. This class incorporates Active Learning and task based activities.
Students will receive written comments and a score for all assignments and presentations. This will be done for weekly reports submitted on HOPPI.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
Week 1	The beginning of Undercover Boss - 7-Eleven	Research about 7-Elevens around the world

Week 2	Herschend Entertainment	Write a report about an entertainment venue
Week 3	Roto Rooter	Research Roto Rooter website and a website of a comparable Japanese company
Week 4	CSI Commerce	A look at the importance of ethics in business dealings
Week 5	Loeman's	Raising money for a charity - how businesses contribute to society
Week 6	Club Med	Write a one page report about a special holiday
Week 7	Alfred Angelo	Research wedding customs and cultures around the world, write a 5 paragraph essay
Week 8	Menchies	Report about food waste and ways to increase it
Week 9	Waste Management	Creating a greener planet
Week 10	Cinnabon	Fast food retail outlet research and report
Week 11	Dutch Bros Coffee	Report about an issue related to the coffee industry
Week 12	Mohecan Sun	Minority group research and report
Week 13	Peavy Electronics	Environmental Impact of companies
Week 14	Hudson Group	Write about a travel experience

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Each week, students will be asked to prepare for the upcoming class. This will include activities such as: researching a specific topic, brainstorming and writing a report. University guidelines suggest that preparation and review are around 4 hours for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
No textbook will be used in this course.

【参考書】
None.

【成績評価の方法と基準】
Students will be evaluated based on weekly homework and reports (100%). In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester to receive academic credit for the course.

【学生の意見等からの気づき】
The instructor appreciates student feedback and alters materials and procedures based on that feedback.

【Outline and objectives】
This course is designed to introduce students to a variety of topics related to business, culture and society.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Undercover Boss - English in Workplaces

Robert D. Hinton

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
営 2 年：上級／英語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This is a content based course aimed at helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of American culture and society.

【到達目標】
The goal of this course is to increase fluency, accuracy and confidence in the areas of speaking,listening, reading and writing. Students will also learn about the inner workings of American businesses and companies from the viewpoint of the workers and their CEOs and how those businesses impact American culture and society.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Each week students will see "real life" business dealings by way of "Undercover Boss", an American reality show. As they watch, students will complete a listening comprehension worksheet and take notes about different aspects of the company, the workers and the CEO. After each program, students will participate is discussions and do activities related to that specific episode. This class incorporates Active Learning and task based activities.
Students will receive written comments and a score for all assignments and presentations. this will be done for weekly reports submitted on HOPPI.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
Week 1	Summer	An interactive communication activity
Week 2	Baha Fresh	Writing a restaurant review/critique
Week 3	Stella and Dot	Discussion of retail outlets
Week 4	Maaco	Discussion of on-line shopping and websites
Week 5	Family Dollar	Dealing with customer/employee service complaints
Week 6	Kendal Jackson Wine Estates	Discuss 3 reasons for each of the 5 chosen CEOs or owners
Week 7	Subway	Group work for CEO or owner presentation
Week 8	Donato's	CEO/owner presentations
Week 9	University of California	Student research about study abroad

Week 10	Popeye's	Share research findings of fast food retail outlets - small group discussion
Week 11	Moe's Southwest grill	Presentation - recipe
Week 12	Lucky Strike Lanes	Sports report and discussion
Week 13	Gigi's Cupcakes	Design a small business
Week 14	Build A Bear	Writing about a favorite childhood memory

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Each week, students will be asked to prepare for the upcoming class. This will include activities such as: researching a specific topic, brainstorming, writing a report and/or preparing for discussions and presentations

【テキスト（教科書）】
No text will be used in this course.

【参考書】
None.

【成績評価の方法と基準】
Students will be evaluated based on weekly homework (40%), classroom activities such as: listening comprehension worksheets, note taking, participation in discussions (40%), and presentations (20%). In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester to receive academic credit for the course.

【学生の意見等からの気づき】
The instructor appreciates student feedback and alters materials and procedures based on that feedback.

【Outline and objectives】
This course is designed to introduce students to aspects related to business, culture and society

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

Kregg Johnston

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
営 2 年：上級／英語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
To develop students' ability to think critically and express their own thoughts and opinions on current issues and topics observed in the English speaking world

【到達目標】
Students will further develop their English communication proficiency by integrating the four skills of reading, writing, speaking, and listening in the communication tasks undertaken during the course.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
The course will utilize pair work and group work for discussion activities. There will also be regular presentations made by students on topics covered throughout the course.
Feedback on submitted assignments and quizzes will be given at the beginning of the next class.
This is a hybrid class, and we will meet some weeks in person and some weeks on Zoom. Please see Hoppii for details.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Week 1	Chapter 1 Embrace stress	Vocabulary and listening development Introduction of Response Journals (RJ)
Week 2	Reading: The stressed-out generation TED talks: How to make stress your friend	Involving the audience Gerund/infinitives
Week 3	Quiz chapter 1 Chapter 2 Media influences	Vocabulary and listening development
Week 4	Reading: Superheros as role models TED talks: How movies teach manhood	Relative clauses Effect of Media Knowing your audience
Week 5	Quiz chapter 2 Ch 3 Development	Vocabulary and listening development

Week 6	Reading: The economics of happiness TED talks: Global population growth	Describing goals and ambitions Adding points to an explanation Present perfect simple/continuous
Week 7	Quiz chapter 3 Presentation: Favorite fictional character/Wealth distribution in a country	Presentations on Favorite fictional character/Wealth distribution in a country
Week 8	Ch 4 Secrets & lies	Vocabulary and listening development
Week 9	Reading: Lies we need to tell TED talks: How to spot a liar	Collocations Giving examples Modals of deduction & speculation
Week 10	Quiz chapter 4 Ch 5 To the edge	Vocabulary and listening development
Week 11	Reading: Magic man TED talks: How I held my breath for 17 minutes	Time expressions Stating challenges and successes Explaining technical words
Week 12	Quiz chapter 5 Ch 6 Money matters	Vocabulary and listening development
Week 13	Reading: Giving something back TED talks: Giving away wealth	Collocations Listening for main ideas Phrasal verbs Authenticity
Week 14	Quiz chapter 6 Presentation: Explaining a significant achievement	Presentation: Explain your most significant acheivement

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Vocabulary review for speaking activities and quizzes
Presentation preparation, including preparing visuals
Assigned textbook exercises
Regular writing assignments on topics covered in the course kept in a A4 sized notebook to be used as a response journal (RJ)
University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
Dummett, Stephenson, Lansford; Keynote 4, Cengage Learning, ISBN: 978-1-305-96505-5

【参考書】
www.vocabularysize.com
https://quizlet.com/KreggJ/folders
https://owl.english.purdue.edu/owl/section/1/

【成績評価の方法と基準】
Homework 10%
Writing 25%
Class participation 15%
Quizzes/Tests 40%
Speech/Presentation 10%
* In principle, no more than three absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】
Increased emphasis on critical thinking and supporting opinions

【学生が準備すべき機器他】
Students should purchase the textbook
Students should have a Zoom account for any classes given online.
Also, students should use a headset when joining any online classes from the designated classroom on campus
Students should join Google Classroom for this course. Information for joining the Google Classroom for this course will be posted on HOPII(学習支援システム）

【Outline and objectives】
Students will learn about issues facing cultures around the world and will develop their ability to form and express their own opinions on these topics and react to the opinions of others.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

Kregg　Johnston

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
営 2 年：上級／英語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
To develop students' ability to think critically and express their own thoughts and opinions on current issues and topics observed in the English speaking world

【到達目標】
Students will further develop their English communication proficiency by integrating the four skills of reading, writing, speaking, and listening in the communication tasks undertaken during the course.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
The course will utilize pair work and group work for discussion activities. There will also be regular presentations made by students on topics covered throughout the course.
Feedback on submitted assignments and quizzes will be given at the beginning of the next class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Week 1	Chapter 7 Medical frontiers	Vocabulary and listening development
Week 2	Reading: Just press print TED talks: Problem of prosthetic limbs	Modals of probability Signpost language Body movement & gestures
Week 3	Quiz chapter 7 Chapter 8 Life decisions	Vocabulary and listening development
Week 4	Reading: The defining decade TED talks: Why the 30's is not the new 20's	Future perfect/future perfect progressive Listing for opinions Describing milestones
Week 5	Quiz chapter 8 Ch 9 Technology & innovation	Vocabulary and listening development
Week 6	Reading: Drones TED talks: Robots that can fly and cooperate	Clues from context 1st & 2nd conditional Referring to visuals Debating
Week 7	Quiz chapter 9 Presentation: Robotic surgery: for or against	Presentations whether robotic surgery should be allowed
Week 8	Ch 10 Connections	Vocabulary and listening development
Week 9	Reading: The lost art of listening TED talks: 5 ways to listen better	Reported speech Identifying cause & effect Summarizing with acronyms
Week 10	Quiz chapter 10 Ch 11 Life in the slow lane	Vocabulary and listening development
Week 11	Reading: Your brain on nature TED talks: Cloudy w/ a chance of joy	Articles & quantifiers Repeating main ideas Showing enthusiasm
Week 12	Quiz chapter 11 Ch 12 Make yourself heard	Vocabulary and listening development
Week 13	Reading: Whistle blowers TED talks: Dare to disagree	3rd & mixed conditionals Listen for stressed words Using pauses
Week 14	Quiz chapter 12 Presentation: A vacation spot where people can slow down and enjoy nature	Presentation on a place where people can slow down and enjoy nature

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Vocabulary review for speaking activities and quizzes
Presentation preparation, including preparing visuals
Assigned textbook exercises
Regular writing assignments on topics covered in the course kept in a A4 sized notebook to be used as a response journal (RJ)
University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
Dummett, Stephenson, Lansford; Keynote 4, Cengage Learning, ISBN: 978-1-305-96505-5

【参考書】
www.vocabularysize.com
https://quizlet.com/KreggJ/folders
https://owl.english.purdue.edu/owl/section/1/

【成績評価の方法と基準】
Homework 10%
Writing 25%
Class participation 15%
Quizzes/Tests 40%
Speech/Presentation 10%
* Students must attend class regularly in order to pass. Excessive absences and tardiness will result in failure of the course
In principle, no more than three absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】
Increased emphasis on critical thinking and supporting opinions

【学生が準備すべき機器他】
Students should purchase the textbook
Students should have a Zoom account for any classes given online.
Also, students should use a headset when joining any online classes from the designated classroom on campus
Students should join Google Classroom for this course. Information for joining the Google Classroom for this course will be posted on HOPII(学習支援システム）

【Outline and objectives】
Students will learn about issues facing cultures around the world and will develop their ability to form and express their own opinions on these topics and react to the opinions of others.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：English Communication & Conversing

Robert　Durham

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
営 2 年：上級／英語／世界の中の日本
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This is a Spring semester ONLINE English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.
During this Spring Semester/Pandemic, we will be using 'ONLINE Learning' to study together, via Skype/Zoom. Cameras might not be used, to protect privacy...and to save Internet Bandwidth/speed. Please prepare your computer/Wi-Fi/headset/microphone/FREE Skype/FREE Zoom accounts; & please test them WELL, long before we meet.

【到達目標】
Students will learn about cultures & social practices from around the English-speaking world; and will also learn how to explain Japanese culture to English-speaking people in this Global Society. Students will have to learn how to think critically [in-depth] about important Global Issues; and will have to effectively express their own thoughts and opinions in English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Students will be challenged to integrate their skills in English listening, speaking, reading, & writing in an advanced manner, via exposure to authentic English materials such as English News videos & audio, and inspirational video/audio talks (including TED Talks). Students will then be required to practice their English communication skills via pair practice conversations with their classmates & professor.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	[NOTE: All SCHEDULE items are tentative...& might change, depending on class level(s); student abilities; & recent world events.] + INTRODUCTIONS, in smooth, natural, friendly English.	Students will learn how to introduce themselves to new people, in English, in social situations.
第 2 回	News video #1/TED Talk video #1.	Introduction vocabulary; & 'EQ' responses thereto. Students will be asked to express English opinions, re: News video and/or TED Talk #1.
第 3 回	News or TED video #1, part 2; & Future Tense	How to say your own opinions, in English...and how to EXPLAIN them. + Using the Future tense in English, to explain your Golden Week plans. Active English spoken expressions, re: Golden Week future plans. News video/TED video #2.
第 4 回	Actively explaining your Golden Week activities, in spoken English; Past tense.	Actively speaking about Golden Week, in spoken English, using the Past Tense. News video/TED Talk #2 .
第 5 回	"How are you?"	Pairwork will be used to practice many, various ways to reply dynamically in English, to questions such as "How's it going?" News video/TED Talk #2, part 2.
第 6 回	Expressing your opinions about Current Affairs News videos/TED Talks, in active, dynamic spoken English.	Pair practice: speaking your opinions about News videos/TED Talks, in active English.
第 7 回	Video documentary or News clips, with questions about it.	Students will learn how to speak their opinions (in English) to classmates, about a Current Affairs topic.
第 8 回	News or TED Talk video #3, part 1.	Pair practice in spoken English, to explain student opinions about the topics raised by the video.
第 9 回	News or TED Talk video #3, part 2.	Explaining, in spoken English, student opinions about the topics in the video.
第 10 回	Use of many different English adjectives, to explain opinions and comments.	Students will be asked to explain their opinions about many current topics to classmates, in smooth, spoken, Modern English.
第 11 回	News or TED Talk video #4, part 1.	Students will watch the News or TED video clip...and will be asked to discuss (& give opinions about) that video, in smooth, spoken English.
第 12 回	News or TED Talk video #4, part 2.	Students will watch the News or TED video clip; will be asked to answer questions about it; and will then discuss (& give opinions about) that video, in smooth, spoken English
第 13 回	Review/prep for the Exam.	Review & practice of topics studied and discussed during the Spring 2021 semester.
第 14 回	Speaking exam.	Speaking exam. Students will be asked to reply, in smooth spoken English, to questions about the topics that we learned & practiced in the Spring semester.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Please do homework well before the deadline [NOT ”ichiyazukke”]; please learn to wake up early, and to arrive in class ON TIME [not late]; please don’t work at part-time jobs excessively; and please keep a weekly notebook/binder for this class, using pen.
University guidelines suggest preparation and review are around four hours a week for a two-credit course and around an hour or two hours a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
A textbook might be chosen, depending on students levels & requirements. Also, some handouts will be distributed to students. In addition, some News videos & TED Talks may be assigned as in-class or at-home viewing (with questions about those videos).

【参考書】
–

【成績評価の方法と基準】
Tentatively, grading may depend on in-class responses (approximately 25%); speaking exams spoken replies (approximately 25%); attendance/on-time arrival (approximately 15%); class participation/motivation (20%); and homework (15%).
*IMPORTANT: A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE LATE IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE. *

【学生の意見等からの気づき】
–

【学生が準備すべき機器他】
Students will need ’ONLINE Learning’ equipment: a computer; fast HOME Wi-Fi (NOT an Internet cafe); FREE downloads of Skype & Zoom; computer microphone; AND headphones/earphones. [Cameras might not be used, to protect privacy...and to save Internet Bandwidth/speed.]
Please prepare your computer/ Wi-Fi/ headphones/ microphone/ FREE Skype account/ FREE Zoom accounts; & please test them WELL, long before we meet.
Please set up your FREE gmail address with a ’Romaji’ name such as ’KenTanaka@gmail.com’, so that we can use Google Classroom. [Yes, you CAN set up a SECOND, free, ’Romaji’ gmail address: it’s easy.]
Please e-mail your teacher, LONG before our class starts, at tonydur2020@gmail.com.

【その他の重要事項】
Please participate ACTIVELY in class; and please speak together with your classmates, using lots of ’small talk’, and good ’EQ’ [’kokoro no chinoshisu’].
If you’re not sure about how to answer, please speak up and GUESS...instead of reflexively answering ”I don’t know”.
* A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE LATE IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE. *

【Outline and objectives】
This is a Spring semester ONLINE English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.
Cameras might not be used, to protect privacy...and to save Internet Bandwidth/speed. Please prepare your computer/Wi-Fi/headset/microphone/FREE Skype/FREE Zoom accounts; & please test them WELL, long before we meet.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：English Communication & Conversing

Robert　Durham

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
営 2 年：上級／英語／世界の中の日本
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This is a Fall semester ONLINE English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.
Students will be encouraged to more speedily & smoothly communicate in spoken and written English that will be useful in their futures...and in their careers.
During this FALL Semester/Pandemic, we will be using ’ONLINE Learning’ to study together, via Skype/Zoom. Cameras might not be used, to protect privacy...and to save Internet Bandwidth/speed. Please prepare your computer/Wi-Fi/headset/microphone/FREE Skype/FREE Zoom accounts/FREE ’Romaji’ gmail account; & please test them WELL, long before we meet.

【到達目標】
The goal of this course is to get students to better speak, listen, read, write, & COMMUNICATE in smooth, modern English. Some grammar-correction of assignments/submissions will be necessary. Assignment-revising may also be required.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Students will be challenged to integrate their skills in English listening, speaking, reading, & writing in an advanced manner, via exposure to authentic English materials such as English News videos & audio, and inspirational video/audio talks (including TED Talks). Students will then be required to practice their English communication skills via pair practice conversations with their classmates & professor.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	[NOTE: All SCHEDULE items are tentative...& might change, depending on class level(s); student abilities; & recent world events/Pandemic issues.] + ”How was your Summer Break?”	Discussing Summer events in smooth, Modern English, using the English Past tense. + News video #1/TED Talk video #1.

第 2 回	News or TED video #1, part 2: asking students to express active opinions in English.	How to write and speak your own opinions, in English...and how to EXPLAIN them.
第 3 回	Asking & answering about subway/train directions, and/or street directions, in spoken English.	Students will learn and practice how to reply to requests for subway/train and/or street directions, in spoken English.
第 4 回	Hallowe'en, part 1: what are Hallowe'en customs; and in what countries has Hallowe'en traditionally been celebrated? [Using the FUTURE Tense, in English.]	Students will be asked to investigate, write down, and discuss Hallowe'en traditions, in English, using the FUTURE Tense.
第 5 回	Hallowe'en, part 2: Using 'would' & 'will'.	Students will pair-practice correct use of 'would' + past tense, & 'will' + future tense, to describe possible Hallowe'en costumes & activities.
第 6 回	News video/TED video #2. + Expressing your opinions about Current Affairs News videos, in English.	News/TED Talk #2: students will be asked to say their views/opinions, in active, dynamic spoken English.
第 7 回	News video/TED Talk #2 (continued), with questions about it.	Students will continue to speak their opinions (in English) to classmates, about a Current Affairs topic/TED Talk.
第 8 回	Thanksgiving: customs & traditions; and what you're thankful for.	Pair practice: "What are some things that you're thankful for?"
第 9 回	Thanksgiving (continued); and possibly a video/audio exercise about Thanksgiving.	Students may be asked to answer questions about a video/audio exercise about Thanksgiving...and to pair-practice in spoken English, five things that they are thankful for.
第 10 回	"The Seven W's": (Questions about Who...?/What...?/When...?/Where...?/Why...?/ Which...?/ How...?)	Students will learn how to verbally ask others, and to reply in smooth English, to questions about "the Seven W's".
第 11 回	What are your plans for Christmas and OhShoGatsu? Also: English video/song exercise about Christmas.	Pair practice: students will be asked to write down & then practice verbally (in English) their Future plans for Christmas/ OhShoGatsu.
第 12 回	Discussing answers to the Christmas video/song exercise...and to Christ-mas/OhShoGatsu plans. + Review/prep for the Exam.	Students will answer Christmas video/song questions; and will actively speak about Christmas/OhShoGatsu plans, using polite FUTURE Tense English. + Review & practice of exam topics studied and discussed during the Fall 2021 semester.
第 13 回	SPEAKING exam, re: topics studied and discussed during the Fall 2021 semester.	Speaking exam. Students will be asked to reply, in smooth spoken English, to questions about the topics that we learned & practiced in the Fall semester.
第 14 回	"How was your OhShoGatsu?" + Students may be asked to speak about their Winter Break plans.	Students will speak about their recent OhShoGatsu activities...and about their future Winter Break plans.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Please do homework well before the deadline [NOT "ichiyazuke]; please learn to wake up early, and to arrive in class ON TIME [not late]; please don't work at part-time jobs excessively; and please keep a weekly notebook/binder for this class, using pen. 本授業の準備学習・復習時間は各 1 時間を標準とします。

+ University guidelines suggest preparation and review of approximately four hours a week for a two-credit course; and approximately an hour or two hours a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

A textbook might be chosen, depending on students' levels & requirements. Also, some handouts will be distributed to students. In addition, some News videos & TED Talks may be assigned as in-class or at-home viewing (with questions about those videos).

【参考書】

–

【成績評価の方法と基準】

Tentatively, grading may depend on in-class responses (approximately 25%); speaking exams spoken replies (approximately 25%); attendance/on-time arrival (approximately 15%); class participation/motivation (20%); and homework (15%).

IMPORTANT: A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE 'LATE' IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE. MORE THAN THREE ABSENCES MAY RESULT IN FAILURE TO OBTAIN A CREDIT(S) FOR THIS CLASS.

【学生の意見等からの気づき】

–

【学生が準備すべき機器他】

Students will need 'ONLINE Learning' equipment: a computer; fast HOME Wi-Fi (NOT cafe Internet); FREE downloads of Skype & Zoom; computer microphone; AND headphones/earphones. [Cameras might not be used, to protect privacy...and to save Internet Bandwidth/speed.]

Please prepare your computer/ Wi-Fi/ headphones/ microphone/ FREE Skype account/ FREE Zoom account/ FREE 'Romaji' gmail account; & please test them WELL, long before we meet.

Please SOON set up your FREE gmail address with a 'Romaji' name such as 'KenTanaka@gmail.com', so that we can use Google Classroom. [Yes, you CAN set up a SECOND, free, 'Romaji' gmail address: it's easy.]

Please e-mail your teacher, LONG before our class starts, at tonydur2020@gmail.com.

【その他の重要事項】

Please participate ACTIVELY in class; and please speak together with your classmates, using lots of 'small talk'. If you're not sure about how to answer, please speak up and GUESS...instead of reflexively answering "I don't know".

* A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE LATE IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE. *

【Outline and objectives】
Students will learn about cultures & social practices from around the English-speaking world; and will also learn how to better explain Japanese culture to English-speaking people in this Global Society. Students will have to learn how to think critically [in-depth] about important Global Issues; and will have to effectively express their own thoughts and opinions in spoken and written English.
Please prepare your computer/Wi-Fi/headset/microphone/FREE Skype/FREE Zoom/FREE 'romaji' gmail accounts; & please test them WELL, long before we meet.
Cameras might not be used, to protect privacy...and to save Internet Bandwidth/speed.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**世界の中の日本**

宇治谷　義英

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
営 2 年：上級／日本語／世界の中の日本
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
世界の中の日本――日本は世界からどう見られているか
English 3 では、English1 と English2 で学んだ読む、書く、聞く、話すという英語の 4 技能の能力を更に深めます。またこれら 4 技能を総合的に駆使し、あるテーマについて英語で情報を得、その情報を批判的に考察し、さらに自分の意見を英語で発信していく能力を養成します。
本授業では，英米のニュースメディアにおける日本についての情報を読み，聴くことを通して上記の力を伸ばしていきます.

【到達目標】
・複雑に見える英語の正確な読解ができること.
・英文記事全体の要旨を正確に把握できること.
・ニュースの英語が聞き取れるようになること.
・正確な英語で作文が出来るようになること.
・英語でニュース記事について発表そして質疑応答が出来るようになること.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
担当教員の選んだニュース記事の精読，ニュース記事についての発表，ニュース記事についての作文，ニュース英語のリスニング練習という内容で進めていきます.
（フィードバック方法について）リアクションペーパーに書かれた質問は全て次回の授業で取り上げて回答します．また，授業で扱った内容に対するコメントはクラス全体で共有できるようにします.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
① 04/09	イントロ	席決め，発表順決め，授業の説明，ウォームアップ.
② 04/16	"Clash looms in Japan as Tokyo governor says Abe's Covid-19 measures not enough" (Guardian, 9/Apr/2020)（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング.
③ 04/23	"Tokyo Games chief says postponed Olympics not certain to go ahead in 2021" (Guardian, 10/Apr/2020)（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング.

④ 05/07	"Japan's leader is following a Trumpian playbook on the coronavirus" (Washington Post, 21/Apr/2020)（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング．
⑤ 05/14	受講生による発表	発表とディスカッション
⑥ 05/21	"Japanese aquarium urges public to video-chat eels who are forgetting humans exist" (Gaurdian, 1/May/2020)（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング．
⑦ 05/28	"Coronavirus will usher in the industrial robots" (Financial Times, 13/May/2020)（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング．
⑧ 06/04	"Carlos Ghosn: two men accused of helping ex-Nissan boss flee Japan arrested in US" (Guardian, 20/May/2020)（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング．
⑨ 06/11	受講生による発表	発表とディスカッション
⑩ 06/18	"Remote cheering app could boost atmosphere in Japan's empty stadiums" (Guardian, 27/May/2020)（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング．
⑪ 06/25	"An uphill battle to reverse the falling birth rate" (Japan Times, 4/Jun/2020)（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング．
⑫ 07/02	"U.S. slams Japanese broadcaster for 'offensive' cartoon about Black Lives Matter protests" (Washington Post, 9/Jun/2020)（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング．
⑬ 07/09	受講生による発表	発表とディスカッション
⑭ 07/16	"Online abuse is a silent pandemic affecting millions" (Japan Times, 11/Jun/2020)（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング．

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
講読では，辞書とネットを駆使して不明な単語，表現を下調べして準備しておくこと．発表は，資料の準備，そして必ずリハーサルをしておくこと．課題作文では与えられたトピックについて英語でまとめて提出します．
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
扱う記事の入手方法（URL 等）は前週までに指示します．

【参考書】
『リーダーズ英和辞典』（東京：研究社, 1999)，および専門用語についてはネットでの検索が役に立ちます．

【成績評価の方法と基準】
課題を含む平常点 (20%) と 2 回の試験 (80%) から総合的に評価します。あらかじめ割り当てられた発表の準備を怠った場合，正当な理由なく発表日に欠席するなどした場合は不合格となります．病気などのやむを得ない事情を除いて，原則として全授業出席する必要があります．

病欠も含めた欠席回数が 4 回を数えた時点で単位取得の資格を失います．未予習での出席は欠席扱いとし，授業中に雑談など受講の意志が見られない者もその場で退席を指示し，その日は欠席扱いとします．遅刻は授業開始の合図から 20 分以内に入室した者だけ認めますが，2 回の遅刻につき 1 回の欠席と見なします．

【学生の意見等からの気づき】
学生の発表に対するフィードバックにも重点を置きたいと思います．ニュース英語のリスニングを苦手とする学生が多いので内容と同時に聴き取りのコツを説明します．

【Outline and objectives】
In this course, students learn how Japan is viewed from outside through US or UK media and try to express their own opinion in English.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**世界の中の日本**

宇治谷　義英

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
営 2 年：上級／日本語／世界の中の日本
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
世界の中の日本――日本は世界からどう見られているか
English 3 では、English1 と English2 で学んだ読む、書く、聞く、話すという英語の 4 技能の能力を更に深めます。またこれら 4 技能を総合的に駆使し、あるテーマについて英語で情報を得、その情報を批判的に考察し、さらに自分の意見を英語で発信していく能力を養成します。
本授業では，春学期に引き続いて英米，またそれ以外の国のニュースメディアにおける日本についての情報を読み，聴くことを通して上記の力を伸ばしていきます.

【到達目標】
・複雑に見える英語の正確な読解ができること.
・英文記事全体の要旨を正確に把握できること.
・ニュースの英語が聞き取れるようになること.
・正確な英語で作文が出来るようになること.
・英語でニュース記事について発表そして質疑応答が出来るようになること.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
担当教員の選んだニュース記事の精読，ニュース記事についての発表，ニュース記事についての作文，ニュース英語のリスニング練習という内容で進めていきます.
（フィードバック方法について）リアクションペーパーに書かれた質問は全て次回の授業で取り上げて回答します．また，授業で扱った内容に対するコメントはクラス全体で共有できるようにします.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
① 09/17	"Making a slow getaway: Japan's anti-yakuza laws result in cohort of ageing gangsters" (Guardian, 5/Sep/2020)（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング.
② 09/24	"In Japan, coronavirus discrimination proves almost as hard to eradicate as the disease" (Washington Post, 14/Sep/2020)（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング.
③ 10/01	"Japan's beloved matsutake mushroom under threat" (Guardian, 19/Sep/2020)（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング.
④ 10/08	受講生による発表	発表とディスカッション
⑤ 10/15	"Kenzo Takada remembered for style that meant 'freedom for the woman's body' (Gurdian, 5/Oct/2020)（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング.
⑥ 10/22	"Supreme court pricks police in Japan tattoo saga" (Financial Times, 1/Oct/2020)（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング.
⑦ 11/05	"A revolution is sweeping through Japan's Takarazuka Music School" (Guardian, 22/Oct/2020)（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング.
⑧ 11/12	受講生による発表	発表とディスカッション
⑨ 11/19	"Tiny Japanese home 'filled' with 164 starving dogs" (Guardian, 5/Nov/2020)（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング.
⑩ 11/26	"Japan to ditch 'hanko' seal in drive to digitise bureaucracy" (Financial Times, 23/Nov/2020)（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング.
⑪ 12/03	"Why has wedding of Japan's Princess Mako still not gone ahead" (Guardian, 2/Dec/2020)（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング.
⑫ 12/10	受講生による発表	発表とディスカッション
⑬ 12/17	"Japan town's sole female councillor ousted after accusing mayor of sexual assault" (Guardian, 8/Dec/2020)（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング.
⑭ 12/24	まとめと達成度の確認	ディスカッション

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
講読では，辞書とネットを駆使して不明な単語，表現を下調べして準備しておくこと．発表は，資料の準備，そして必ずリハーサルをしておくこと．課題作文では与えられたトピックについて英語でまとめて提出します．
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
扱う記事の入手方法（URL など）は前週までに指示します．

【参考書】
『リーダーズ英和辞典』（東京：研究社, 1999)，および専門用語についてはネットでの検索が役に立ちます．

【成績評価の方法と基準】
課題を含む平常点 (20%) と 2 回の試験 (80%) から総合的に評価します。あらかじめ割り当てられた発表の準備を怠った場合，正当な理由なく発表日に欠席するなどした場合は不合格となります．病気などのやむを得ない事情を除いて，原則として全授業出席する必要があります．
病欠も含めた欠席回数が 4 回を数えた時点で単位取得の資格を失います．未予習での出席は欠席扱いとし，授業中に雑談など受講の意志が見られない者もその場で退席を指示し，その日は欠席扱いとします．遅刻は授業開始の合図から 20 分以内に入室した者だけ認めますが，2 回の遅刻につき 1 回の欠席と見なします．

【学生の意見等からの気づき】
学生の発表についてのフィードバックにも力を入れたいと思います．ニュース英語のリスニングを苦手とする学生が多いので内容と同時に聴き取りのコツを説明します．

【Outline and objectives】
In this course, students learn how Japan is viewed from outside world through US or UK media, and try to express their opinions in English.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Undercover Boss - English in Workplaces

Robert D. Hinton

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：上級／英語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This is a content based course aimed at helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of American culture and society.

【到達目標】
The goal of this course is to increase fluency, accuracy and confidence in the areas of listening, reading and writing. Students will also learn about the inner workings of American businesses and companies from the viewpoint of the workers and the CEOs and how those businesses impact American culture and society.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Due to the continued effect of the pandemic, classes for the Spring semester will be held on line, in an on-demand style. Each Friday, materials and weekly assignments will be found on the HOPPI learning system. Students will have one week to complete the assignments and enter their work into the HOPPI system. The materials will include handouts, worksheets and videos.
In this course students will have many opportunities to improve listening, reading and writing skills. Students will be encouraged to learn these skills through a variety of communicative and task based activities. Each week, students will participate in a myriad of activities to advance listening, reading and writing skills. Particular attention will be focused on improving communication skills through active listening and writing. Students will be empowered with the skills to become more confident communicators.
Each week students will see "real life" business dealings using "Undercover Boss", an American reality show. As they watch, the students will complete a listening comprehension worksheet and take notes about different aspects of the company, the workers and the CEO. After each program, students will check their listening comprehension and prepare a report related to that specific episode. This class incorporates Active Learning and task based activities.
Students will receive written comments and a score for all assignments and presentations. This will be done for weekly reports submitted on HOPPI.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
Week 1	The beginning of Undercover Boss - 7-Eleven	Research about 7-Elevens around the world

Week 2	Herschend Entertainment	Write a report about an entertainment venue
Week 3	Roto Rooter	Research Roto Rooter website and a website of a comparable Japanese company
Week 4	CSI Commerce	A look at the importance of ethics in business dealings
Week 5	Loeman's	Raising money for a charity - how businesses contribute to society
Week 6	Club Med	Write a one page report about a special holiday
Week 7	Alfred Angelo	Research wedding customs and cultures around the world, write a 5 paragraph essay
Week 8	Menchies	Report about food waste and ways to increase it
Week 9	Waste Management	Creating a greener planet
Week 10	Cinnabon	Fast food retail outlet research and report
Week 11	Dutch Bros Coffee	Report about an issue related to the coffee industry
Week 12	Mohecan Sun	Minority group research and report
Week 13	Peavy Electronics	Environmental Impact of companies
Week 14	Hudson Group	Write about a travel experience

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Each week, students will be asked to prepare for the upcoming class. This will include activities such as: researching a specific topic, brainstorming and writing a report. University guidelines suggest that preparation and review are around 4 hours for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
No textbook will be used in this course.

【参考書】
None.

【成績評価の方法と基準】
Students will be evaluated based on weekly homework and reports (100%). In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester to receive academic credit for the course.

【学生の意見等からの気づき】
The instructor appreciates student feedback and alters materials and procedures based on that feedback.

【Outline and objectives】
This course is designed to introduce students to a variety of topics related to business, culture and society.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Undercover Boss - English in Workplaces

Robert D. Hinton

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：上級／英語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This is a content based course aimed at helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of American culture and society.

【到達目標】
The goal of this course is to increase fluency, accuracy and confidence in the areas of speaking,listening, reading and writing. Students will also learn about the inner workings of American businesses and companies from the viewpoint of the workers and their CEOs and how those businesses impact American culture and society.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Each week students will see "real life" business dealings by way of "Undercover Boss", an American reality show. As they watch, students will complete a listening comprehension worksheet and take notes about different aspects of the company, the workers and the CEO. After each program, students will participate is discussions and do activities related to that specific episode. This class incorporates Active Learning and task based activities.
Students will receive written comments and a score for all assignments and presentations. This will be done on weekly reports submitted on the HOPPI system.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
Week 1	Summer	An interactive communication activity
Week 2	Baha Fresh	Writing a restaurant review/critique
Week 3	Stella and Dot	Discussion of retail outlets
Week 4	Maaco	Discussion of on-line shopping and websites
Week 5	Family Dollar	Dealing with customer/employee service complaints
Week 6	Kendal Jackson Wine Estates	Discuss 3 reasons for each of the 5 chosen CEOs or owners
Week 7	Subway	Group work for CEO or owner presentation
Week 8	Donato's	CEO/owner presentations
Week 9	University of California	Student research about study abroad

Week 10	Popeye's	Share research findings of fast food retail outlets - small group discussion
Week 11	Moe's Southwest grill	Presentation - recipe
Week 12	Lucky Strike Lanes	Sports report and discussion
Week 13	Gigi's Cupcakes	Design a small business
Week 14	Build A Bear	Writing about a favorite childhood memory

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Each week, students will be asked to prepare for the upcoming class. This will include activities such as: researching a specific topic, brainstorming, writing a report and/or preparing for discussions and presentations

【テキスト（教科書）】
No text will be used in this course.

【参考書】
None.

【成績評価の方法と基準】
Students will be evaluated based on weekly homework (40%), classroom activities such as: listening comprehension worksheets, note taking, participation in discussions (40%), and presentations (20%). In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester to receive academic credit for the course.

【学生の意見等からの気づき】
The instructor appreciates student feedback and alters materials and procedures based on that feedback.

【Outline and objectives】
This course is designed to introduce students to aspects related to business, culture and society

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：English ３Ⅰ／ English 3 I

Robert　Durham

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：上級／英語／世界の中の日本
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This is a Spring semester ONLINE English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.
During this Spring Semester/Pandemic, we will be using 'ONLINE Learning' to study together, via Skype/Zoom. Cameras might not be used, to protect privacy...and to save Internet Bandwidth/speed. Please prepare your computer/Wi-Fi/headset/microphone/FREE Skype/FREE Zoom accounts; & please test them WELL, long before we meet.

【到達目標】
Students will learn about cultures & social practices from around the English-speaking world; and will also learn how to explain Japanese culture to English-speaking people in this Global Society. Students will have to learn how to think critically [in-depth] about important Global Issues; and will have to effectively express their own thoughts and opinions in English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Students will be challenged to integrate their skills in English listening, speaking, reading, & writing in an advanced manner, via exposure to authentic English materials such as English News videos & audio, and inspirational video/audio talks (including TED Talks). Students will then be required to practice their English communication skills via pair practice conversations with their classmates & professor.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	[NOTE: All SCHEDULE items are tentative...& might change, depending on class level(s); student abilities; & recent world events.] + INTRODUCTIONS, in smooth, natural, friendly English.	Students will learn how to introduce themselves to new people, in English, in social situations.

第 2 回	News video #1/TED Talk video #1.	Introduction vocabulary; & 'EQ' responses thereto. Students will be asked to express English opinions, re: News video and/or TED Talk #1.
第 3 回	News or TED video #1, part 2; & Future Tense.	How to say your own opinions, in English...and how to EXPLAIN them. + Using the Future tense in English, to explain your Golden Week plans. Active English spoken expressions, re: Golden Week future plans.
第 4 回	Actively explaining your Golden Week activities, in spoken English; and Past tense.	Actively speaking about Golden Week, in spoken English, using the Past Tense. News video/TED Talk #2.
第 5 回	"How are you?"	Pairwork will be used to practice many, various ways to reply dynamically in English, to questions such as "How's it going?" News video/TED Talk #2, part 2.
第 6 回	Expressing your opinions about Current Affairs News videos/TED Talks, in active, dynamic spoken English.	Pair practice: speaking your opinions about News videos/TED Talks, in active English.
第 7 回	Video documentary or News clips, with questions about it.	Students will learn how to speak their opinions (in English) to classmates, about a Current Affairs topic.
第 8 回	News or TED Talk video #3, part 1.	Pair practice in spoken English, to explain student opinions about the topics raised by the video.
第 9 回	News or TED Talk video #3, part 2.	Explaining, in spoken English, student opinions about the topics in the video.
第 10 回	Use of many different English adjectives, to explain opinions and comments.	Students will be asked to explain their opinions about many current topics to classmates, in smooth, spoken, Modern English.
第 11 回	News or TED Talk video #4, part 1.	Students will watch the News or TED video clip...and will be asked to discuss (& give opinions about) that video, in smooth, spoken English.
第 12 回	News or TED Talk video #4, part 2.	Students will watch the News or TED video clip; will be asked to answer questions about it; and will then discuss (& give opinions about) that video, in smooth, spoken English.
第 13 回	Review/prep for the Exam	Review & practice of topics studied and discussed during the Spring 2021 semester.
第 14 回	Speaking exam.	Speaking exam. Students will be asked to reply, in smooth spoken English, to questions about the topics that we learned & practiced in the Spring semester.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Please do homework well before the deadline [NOT "ichiyazukke"]; please learn to wake up early, and to arrive in class ON TIME [not late]; please don't work at part-time jobs excessively; and please keep a weekly notebook/binder for this class, using pen.

University guidelines suggest that preparation and review should be approximately four hours a week for a two-credit course; and approximately an hour or two hours a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

A textbook might be chosen, depending on students' levels & requirements. Also, some handouts will be distributed to students. In addition, some News videos & TED Talks may be assigned as in-class or at-home viewing (with questions about those videos).

【参考書】

–

【成績評価の方法と基準】

Tentatively, grading may depend on in-class responses (approximately 25%); speaking exams spoken replies (approximately 25%); attendance/on-time arrival (approximately 15%); class participation/motivation (20%); and homework (15%).

IMPORTANT: A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE LATE IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE. MORE THAN THREE ABSENCES MAY RESULT IN FAILURE TO OBTAIN A CREDIT(S) FOR THIS CLASS.

【学生の意見等からの気づき】

–

【学生が準備すべき機器他】

Students will need 'ONLINE Learning' equipment: a computer; fast HOME Wi-Fi (NOT cafe Internet); FREE downloads of Skype & Zoom; computer microphone; AND headphones/earphones. [Cameras might not be used, to protect privacy...and to save Internet Bandwidth/speed.]

Please prepare your computer/ Wi-Fi/ headphones/ microphone/ FREE Skype account/ FREE Zoom accounts; & please test them WELL, long before we meet.

Please set up your FREE gmail address with a 'Romaji' name such as 'KenTanaka@gmail.com', so that we can use Google Classroom. [Yes, you CAN set up a SECOND, free, 'Romaji' gmail address: it's easy.]

Please e-mail your teacher, LONG before our class starts, at tonydur2020@gmail.com.

【その他の重要事項】

Please participate ACTIVELY in class; and please speak together with your classmates, using lots of 'small talk', and good 'EQ' ['kokoro no chinoshisu'].

If you're not sure about how to answer, please speak up and GUESS...instead of reflexively answering "I don't know".

* A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE LATE IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE. *

【Outline and objectives】

This is a Spring semester ONLINE English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

Please prepare your computer/FAST HOME Wi-Fi/headset/microphone/FREE Skype/FREE Zoom accounts; & please test them WELL, long before we meet.

Cameras might not be used, to protect privacy...and to save Internet Bandwidth/speed.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：English Communication & Conversing

Robert　Durham

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：上級／英語／世界の中の日本
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This is a Fall semester English course for students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.
Students will be encouraged to more speedily & smoothly communicate in spoken and written English that will be useful in their futures...and in their careers.
During this FALL Semester/Pandemic, we will be using 'ONLINE Learning' to study together, via Skype/Zoom. Please prepare your computer/Wi-Fi/headset/microphone/FREE Skype/FREE Zoom accounts/FREE 'Romaji' gmail account; & please test them WELL, long before we meet.
Cameras might not be used, to protect privacy...and to save Internet Bandwidth/speed.

【到達目標】
The goal of this course is to get students to better speak, listen, read, write, & COMMUNICATE in smooth, modern English. Some grammar-correction of assignments/submissions will be necessary. Assignment-revising may also be required.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Students will be challenged to integrate their skills in English listening, speaking, reading, & writing in an advanced manner, via exposure to authentic English materials such as English News videos & audio, and inspirational video/audio talks (including TED Talks). Students will then be required to practice their English communication skills via pair practice conversations with their classmates & professor.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	[NOTE: All SCHEDULE items are tentative...& might change, depending on class level(s); student abilities; & recent world events/Pandemic issues.] + "How was your Summer Break?"	Discussing Summer events in smooth, Modern English, using the English Past tense. + News video #1/TED Talk video #1.
第 2 回	News or TED video #1, part 2: asking students to express active opinions in English.	How to write and speak your own opinions, in English...and how to EXPLAIN them.
第 3 回	Asking & answering about subway/train directions, and/or street directions, in spoken English.	Students will learn and practice how to reply to requests for subway/train and/or street directions, in spoken English.
第 4 回	Hallowe'en, part 1: what are Hallowe'en customs; and in what countries has Hallowe'en traditionally been celebrated? [Using the FUTURE Tense, in English.]	Students will be asked to investigate, write down, and discuss Hallowe'en traditions, in English, using the FUTURE Tense.
第 5 回	Hallowe'en, part 2: Using 'would' & 'will'.	Students will pair-practice correct use of 'would' + past tense, & 'will' + future tense, to describe possible Hallowe'en costumes & activities.
第 6 回	News video/TED video #2. + Expressing your opinions about Current Affairs News videos, in English.	News/TED Talk #2: students will be asked to say their views/opinions, in active, dynamic spoken English.
第 7 回	News video/TED Talk #2 (continued), with questions about it.	Students will continue to speak their opinions (in English) to classmates, about a Current Affairs topic/TED Talk.
第 8 回	Thanksgiving: customs & traditions; and what you're thankful for.	Pair practice: "What are some things that you're thankful for?"
第 9 回	Thanksgiving (continued); and possibly a video/audio exercise about Thanksgiving.	Students may be asked to answer questions about a video/audio exercise about Thanksgiving...and to pair-practice in spoken English, five things that they are thankful for.
第 10 回	"The Seven W's": (Questions about Who...?/What...?/When...?/Where...?/Why...?/ Which...?/ How...?)	Students will learn how to verbally ask others, and to reply in English, to questions about "the Seven W's".
第 11 回	What are your plans for Christmas and OhShoGatsu? Also: English video/song exercise about Christmas.	Pair practice: students will be asked to write down & then practice verbally (in English) their Future plans for Christmas/ OhShoGatsu.
第 12 回	Discussing answers to the Christmas video/song exercise...and to Christ-mas/OhShoGatsu plans. + Review/prep for the Exam.	Students will answer Christmas video/song questions; and will actively speak about Christmas/OhShoGatsu plans, using polite FUTURE Tense English. + Review & practice of exam topics studied and discussed during the Fall 2021 semester.

第 13 回	SPEAKING exam, re: topics studied and discussed during the Fall 2021 semester.	Speaking exam. Students will be asked to reply, in smooth spoken English, to questions about the topics that we learned & practiced in the Fall semester.
第 14 回	”How was your OhShoGatsu?” + Students may be asked to speak about their Winter Break plans.	Students will speak about their recent OhShoGatsu activities...and about their future Winter Break plans.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Please do homework well before the deadline [NOT ”ichiyazuke]; please learn to wake up early, and to arrive in class ON TIME [not late]; please don’t work at part-time jobs excessively; and please keep a weekly notebook/binder for this class, using pen.

本授業の準備学習・復習時間は各１時間を標準とします。/ University guidelines suggest preparation and review of approximately four hours a week for a two-credit course; and approximately an hour or two hours a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

A textbook might be chosen, depending on students’ levels & requirements. Also, some handouts will be distributed to students. In addition, some News videos & TED Talks may be assigned as in-class or at-home viewing (with questions about those videos).

【参考書】

–

【成績評価の方法と基準】

Tentatively, grading may depend on in-class responses (approximately 25%); speaking exams spoken replies (approximately 25%); attendance/on-time arrival (approximately 15%); class participation/motivation (20%); and homework (15%).

IMPORTANT: A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE ’LATE’ IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE. MORE THAN THREE ABSENCES MAY RESULT IN FAILURE TO OBTAIN A CREDIT(S) FOR THIS CLASS.

【学生の意見等からの気づき】

–

【学生が準備すべき機器他】

Students will need ’ONLINE Learning’ equipment: a computer; fast HOME Wi-Fi (NOT cafe Internet); FREE downloads of Skype & Zoom; computer microphone; AND headphones/earphones. [Cameras might not be used, to protect privacy...and to save Internet Bandwidth/speed.]

Please prepare your computer/ FAST home Wi-Fi/ headphones/ microphone/ FREE Skype account/ FREE Zoom account/ FREE ’Romaji’ gmail account; & please test them WELL, long before we meet.

Please SOON set up your FREE gmail address with a ’Romaji’ name such as ’KenTanaka@gmail.com’, so that we can use Google Classroom. [Yes, you CAN set up a SECOND, free, ’Romaji’ gmail address: it’s easy.]

Please e-mail your teacher, LONG before our class starts, at tonydur2020@gmail.com.

【その他の重要事項】

Please participate ACTIVELY in class; and please speak together with your classmates, using lots of ’small talk’. If you’re not sure about how to answer, please speak up and GUESS...instead of reflexively answering ”I don’t know”.

* A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE LATE IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE. *

【Outline and objectives】

Students will learn about cultures & social practices from around the English-speaking world; and will also learn how to better explain Japanese culture to English-speaking people in this Global Society. Students will have to learn how to think critically [in-depth] about important Global Issues; and will have to effectively express their own thoughts and opinions in spoken and written English.

Please prepare your computer/FAST home Wi-Fi/headset/microphone/FREE Skype/FREE Zoom/FREE ’romaji’ gmail accounts; & please test them WELL, long before we meet. Cameras might not be used, to protect privacy...and to save Internet Bandwidth/speed.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**世界のニュースから見る現代事情**

宇治谷　義英

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：上級／日本語／現代の諸相
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 では、English1 と English2 で学んだ読む、書く、聞く、話すという英語の 4 技能の能力を更に深めます。またこれら 4 技能を総合的に駆使し、あるテーマについて英語で情報を得、その情報を批判的に考察し、さらに自分の意見を英語で発信していく能力を養成します。

本授業では，英米のニュース記事を読み，またニュース動画を見て聴くことを通して上記の力を伸ばしていきます.

【到達目標】

・複雑に見える英語の正確な読解ができること.
・英文記事全体の要旨を正確に把握できること.
・ニュースの英語が聞き取れるようになること.
・正確な英語で作文が出来るようになること.
・英語でニュース記事について発表そして質疑応答が出来るようになること.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

担当教員の選んだニュース記事の精読，ニュース記事についての発表，ニュース記事についての作文，ニュース英語のリスニング練習という内容で進めていきます.
（フィードバック方法について）リアクションペーパーに書かれた質問は全て次回の授業で取り上げて回答します．また，授業で扱った内容に対するコメントはクラス全体で共有できるようにします.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
① 04/09	イントロ	席決め，発表順決め，授業の説明，ウォームアップ.
② 04/16	"The Guardian view on the Easter lockdown: no time to drop our guard" (Guardian, 9/Apr/2020)（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング.
③ 04/23	"The Guardian view on the WHO and coronavirus: Trump's blame game" (Guardian, 15/Apr/2020)（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング.
④ 05/07	"The Guardian view on creatives in purdah: don't leave culture to Netflix" (Guardian, 22/Apr/2020)（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング.
⑤ 05/14	受講生による発表	発表とディスカッション
⑥ 05/21	"The Guardian view on Italy's lockdown: no storybook endings" (Guardian, 4/May/2020)（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング.
⑦ 05/28	"The Guardian view on reopening schools: not so fast" (Guardian, 11/May/2020)（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング.
⑧ 06/04	"The Guardian view on UK theatre: on the brink" (Guardian, 20/May/2020)（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング.
⑨ 06/11	受講生による発表	発表とディスカッション
⑩ 06/18	"The Guardian view on Hong Kong's future: China's doublespeak" (Guardian, 26/May/2020)（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング.
⑪ 06/25	"The racism that killed George Floyd was built in Britain" (Guardian, 3/Jun/2020)（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング.
⑫ 07/02	"The Guardian view on the Philippines and Maria Ressa: an attack on democracy" (Guardian, 18/Jun/2020)（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング.
⑬ 07/09	受講生による発表	発表とディスカッション
⑭ 07/16	"The Guardian view on the Reading attacks: a grim reminder" (Guardian, 23/Jun/2020)（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
講読では，辞書とネットを駆使して不明な単語，表現を下調べして準備しておくこと．発表は，資料の準備，そして必ずリハーサルをしておくこと．課題作文では与えられたトピックについて英語でまとめて提出します．
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
扱う記事の入手方法（URL など）は前週までに指示します．

【参考書】
『リーダーズ英和辞典』（東京：研究社, 1999)，および専門用語についてはネットでの検索が役に立ちます．

【成績評価の方法と基準】
課題を含む平常点 (20%) と 2 回の試験 (80%) から総合的に評価します。あらかじめ割り当てられた発表の準備を怠った場合，正当な理由なく発表日に欠席するなどした場合は不合格となります．病気などのやむを得ない事情を除いて，原則として全授業出席する必要があります．
病欠も含めた欠席回数が 4 回を数えた時点で単位取得の資格を失います．未予習での出席は欠席扱いとし，授業中に雑談など受講の意志が見られない者もその場で退席を指示し，その日は欠席扱いとします．遅刻は授業開始の合図から 20 分以内に入室した者だけ認めますが，2 回の遅刻につき 1 回の欠席と見なします．

【学生の意見等からの気づき】
学生の発表についてフィードバックをおこないたいと思います．ニュース英語のリスニングを苦手とする学生が多いので内容と同時に聴き取りのコツを説明します．

【Outline and objectives】
In this course, students learn how the world is going through reading UK or US media, and try to express their opinions on various world issues in English.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**世界のニュースから見る現代事情**

宇治谷　義英

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：上級／日本語／現代の諸相
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English 3 では、English1 と English2 で学んだ読む、書く、聞く、話すという英語の 4 技能の能力を更に深めます。またこれら 4 技能を総合的に駆使し、あるテーマについて英語で情報を得、その情報を批判的に考察し、さらに自分の意見を英語で発信していく能力を養成します。
本授業では，春学期に引き続いて，英米のニュース記事を読み，またニュース動画を見て聴くことを通して上記の力を伸ばしていきます．

【到達目標】
・複雑に見える英語の正確な読解ができること．
・英文記事全体の要旨を正確に把握できること．
・ニュースの英語が聞き取れるようになること．
・正確な英語で作文が出来るようになること．
・英語でニュース記事について発表そして質疑応答が出来るようになること．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
担当教員の選んだニュース記事の精読，ニュース記事についての発表，ニュース記事についての作文，ニュース英語のリスニング練習という内容で進めていきます．
（フィードバック方法について）リアクションペーパーに書かれた質問は全て次回の授業で取り上げて回答します．また，授業で扱った内容に対するコメントはクラス全体で共有できるようにします．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
① 09/17	"The Guardian view on plastics: reducing bag use is not enough" (Guardian, 5/Sep/2020)（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング．
② 09/24	"The Guardian view on care home visits: make them happen" (Guardian, 14/Sep/2020)（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング．

③ 10/01	"WeChat threatens American values, but a careless ban will make the whole world less free" (Washington Post, 23/Sep/2020)（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング．
④ 10/08	受講生による発表	発表とディスカッション
⑤ 10/15	"The Guardian view on cinema closures: the importance of going out" (Guardian, 6/Oct/2020)（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング．
⑥ 10/22	"With Amazon's power comes great responsibilities" (Financial Times, 15/Oct/2020)（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング．
⑦ 11/05	"The Guardian view on plant-based food: nothing wrong with a veggie burger" (Guardian, 25/Oct/2020)（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング．
⑧ 11/12	受講生による発表	発表とディスカッション
⑨ 11/19	"The Guardian view on the Covid vaccine breakthrough: making it work" (Guardian, 10/Nov/2020)（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング．
⑩ 11/26	"Business still has much to learn on gender equality" (Financial Times, 25/Nov/2020)（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング．
⑪ 12/03	"The Guardian view on Arcadia and a retail emergency: where's the plan?" (Guardian, 29/Nov/2020)（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング．
⑫ 12/10	受講生による発表	発表とディスカッション
⑬ 12/17	"The Guardian view on taxing the rich: chip in to help out" (Guardian, 9/Dec/2020)（記事名は前年度扱ったものを参考に挙げている）	記事の精読．ニュース英語のリスニング．
⑭ 12/24	まとめと達成度の確認	ディスカッション

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
講読では，辞書とネットを駆使して不明な単語，表現を下調べして準備しておくこと．発表は，資料の準備，そして必ずリハーサルをしておくこと．課題作文では与えられたトピックについて英語でまとめて提出します．本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
扱う記事の入手方法（URL など）は前週までに指示します．

【参考書】
『リーダーズ英和辞典』（東京：研究社, 1999)，および専門用語についてはネットでの検索が役に立ちます．

【成績評価の方法と基準】
課題を含む平常点 (20%) と 2 回の試験 (80%) から総合的に評価します。あらかじめ割り当てられた発表の準備を怠った場合，正当な理由なく発表日に欠席するなどした場合は不合格となります．病気などのやむを得ない事情を除いて，原則として全授業出席する必要があります．

病欠も含めた欠席回数が 4 回を数えた時点で単位取得の資格を失います．未予習での出席は欠席扱いとし，授業中に雑談など受講の意志が見られない者もその場で退席を指示し，その日は欠席扱いとします．遅刻は授業開始の合図から 20 分以内に入室した者だけ認めますが，2 回の遅刻につき 1 回の欠席と見なします．

【学生の意見等からの気づき】
学生の発表についてフィードバックをおこないたいと思います．．ニュース英語のリスニングを苦手とする学生が多いので内容と同時に聴き取りのコツを説明します．

【Outline and objectives】
In this course, students learn how the world is going through reading UK or US media, and try to express their opinions on various world issues in English.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Reading the News

川澄　亜岐子

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：上級／日本語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では、１年次に習得した四技能の英語運用能力を用いて、国際語としての英語を通じて世界の多様な文化を理解し、批判的に分析したうえで、英語で意見を発信する能力を養います。春学期は、英字新聞の記事を中心に扱い、英語で書かれたニュースについて自分の意見をまとめ、他者に伝えられるようになることを目指します。

【到達目標】
（１）英語で書かれたニュースの概要を理解できるようになる
（２）英語のニュースを読み、要点を英語で説明できるようになる
（３）英語のニュースを読み、自分の意見や考えを英語で論理的に伝えられるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
この授業は、ディスカッションと講義を組み合わせて進めます。授業の前半では、各自で興味のあるニュースの記事を選び、それに関するディスカッションをします。授業の後半は講義形式で、英字新聞や新聞記事の特徴について学びます。毎週、授業の冒頭で小テストを行います。授業中に出す課題は、内容によって、全体にコメントする場合と、個別の提出物にコメントをつけてお返しする場合があります。また、課題が複数の週にわたる場合は、クラスメイトと内容を共有したり、コメントし合うこともあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	授業の説明
Week 2	Getting to know your newspaper (1)	世界の英字新聞にはどのようなものがあるかを知る
Week 3	Getting to know your newspaper (2)	世界の主要な通信社を知る
Week 4	The structure of a newspaper (1)	ニュースのカテゴリを調べる
Week 5	The structure of a newspaper (2)	各自で選んだニュースを英語で紹介する
Week 6	News story structure (1)	新聞記事の構成を理解する
Week 7	News story structure (2)	新聞記事を要約する
Week 8	Headlines	見出しについて理解する
Week 9	What make a story news? (1)	News values を理解する
Week 10	What make a story news? (2)	News values を分析する
Week 11	What make a story news? (3)	バイアスやフェイク・ニュースについて考える
Week 12	Writing news story (1)	各自で「ニュース」の記事を書く
Week 13	Writing news story (2)	各自で書いた「ニュース」の記事を紹介する
Week 14	Course review and final exam	まとめ・学期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
毎週、授業で行う Discussion 用の資料を作成してください。詳細は初回の授業で説明します。

【テキスト（教科書）】
必要に応じて、授業中に資料を配布します。

【参考書】
適宜、指示します。

【成績評価の方法と基準】
- 平常点　50%
- 学期末課題　50%

原則として、4 回以上欠席すると単位の修得が認められません。

【学生の意見等からの気づき】
テキストの文章に基づいて行った Discussion が好評でした。今年度も、受講生同士で話し合ったり、議論したりする機会を積極的に設けたいと思います。

【その他の重要事項】
初回授業の実施方法は、学習支援システム（Hoppii）でお知らせします。必ず事前に確認の上、出席してください。

【Outline and objectives】
This course introduces various international cultural and social issues. The course will encourage students to consider their own culture and society within the an international context, and obtain new perspectives about current issues. In the Spring Semester, students are encouraged to become familiar with reading English newspaper articles. Students will review and discuss an overview of the English-language media via authentic materials. Through the course, students will develop their reading, writing, listening and speaking skills.
Students will be able to:
- read English newspaper articles and understand the main points
- summarize the outlines of newspaper articles
- logically express their opinion about an issue, in English

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Reading the News

川澄　亜岐子

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：上級／日本語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では、１年次に習得した四技能の英語運用能力を用いて、国際語としての英語を通じて世界の多様な文化を理解し、批判的に分析したうえで、英語で意見を発信する能力を養います。秋学期は、春学期に学んだ内容に基づいて、英語系メディアについて広く学びます。無意識に持っている偏見（bias）や偽ニュース（Fake news）についても考え、ものごとに対する批判的な思考力を養うことを目指します。

【到達目標】
（1）ニュース番組形式の短い英語の映像を見て、内容を理解することができる
（2）英語系のニュースメディアについて、それぞれの特徴を理解する
（3）英語のニュース記事を批判的に検討し、自分の意見や考えを英語で論理的に伝えられるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
　この授業は、ディスカッションと講義を組み合わせて進めます。授業の前半では、各自で興味のあるニュースを選び、それに関するディスカッションをします。授業の後半は講義形式で、英語系メディアによるニュース報道の特徴について学びます。毎週、授業の冒頭で小テストを行います。授業中に出す課題は、内容によって、全体にコメントする場合と、個別の提出物にコメントをつけてお返しする場合があります。また、課題が複数の週にわたる場合は、クラスメイトと内容を共有したり、コメントし合うこともあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	授業の説明
Week 2	News Point	ニュース記事の時系列を分析する
Week 3	(More) Headlines (1)	見出しのルールを知る
Week 4	(More) Headlines (2)	ニュース記事の「見出し」を分析する
Week 5	Editorials	社説を読む
Week 6	Opinion articles	ニュース記事に見られる意見と事実を整理する
Week 7	Fake News	先入観を意識する
Week 8	Profiles (1)	インタビュー記事を読む
Week 9	Profiles (2)	インタビューをする
Week 10	Profiles (3)	インタビュー記事を書く
Week 11	Journalist's job (1)	ジャーナリストの仕事に関するテキストを鑑賞する
Week 12	Journalist's job (2)	ジャーナリストの仕事について話し合う
Week 13	Electronic media	メディアの特性を知る
Week 14	Course review and final exam	まとめ・学期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
毎週、授業で行う Discussion 用の資料を作成してください。詳細は初回の授業で説明します。

【テキスト（教科書）】
必要に応じて、授業中に資料を配布します。

【参考書】
適宜、指示します。

【成績評価の方法と基準】
- 平常点　50%
- 学期末課題　50%

原則として、4 回以上欠席すると単位の修得が認められません。

【学生の意見等からの気づき】
各自で課題を選び、他の受講生に紹介するアクティビティが効果的であったようです。今年度も、ディスカッションなどを通して、学生同士が互いに学び合う場を設けていきたいと思います。

【Outline and objectives】
This course introduces various cultural and social issues of the English speaking world. The course will encourage students to consider their own culture and society within an international context, and obtain new perspectives about current issues. Students are encouraged to critically analyze newspaper articles. Internet sources, broadcast media, and magazines will be reviewed during the Autumn Semester.
Through the course, students will develop their reading, writing, listening and speaking skills.
Students will be able to:
- describe the outline of a short video in form of a news program, in English
- understand the features of news media (newspapers, TV, Internet news sources, etc.)
- critically analyze news articles and logically express their opinion, in English

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**ポピュラー音楽と社会**

大野　ロベルト

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：上級／日本語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
私たちは何気なく海外の音楽を楽しんでいるが、その背景にある社会情勢や歴史にもきちんと耳を傾けていると言えるだろうか。あらゆる芸術と同じように、音楽も社会の諸相を反映している。そのなかには、英語圏の社会に特有の課題を主題とするものも少なくない。この授業ではニュースや新聞記事を用いて、英語圏の大学生と同じように情報を収集・分析し、それを文章や口頭で他者に伝えることに挑戦してもらう。決して簡単なことではないが、楽しく、美しく、ときに哀しい音楽が、その訓練を愉快なものにしてくれるはずだ。

【到達目標】
音楽やニュースを聴取したり分析したりすることで、聞き取る能力と読み解く能力が身につき、その成果を文章化したり口頭で発表したりすることで、書く能力と話す能力も向上する。だがそれ以上に財産となるのは、異文化の社会問題を客観的に評価する能力である。言うまでもなく、自国の社会に向けるものさしも影響を受けることになるだろう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
対面授業を行う。ただし大学の行動方針レベルが２となった場合には、この授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。毎回の授業で楽曲をとおして提起される社会問題につき、ニュース映像や新聞記事を参考に学生同士で意見交換を行い、教員に話し合った内容を報告する。学期の途中でグループ発表を行い、最後には個別に期末レポートを提出してもらう。毎週、授業内にフィードバックの時間を設ける。なお、秋学期の English ３ II は別の担当教員により別テーマで開講されるので注意すること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の進め方や資料について説明する。
2	第１曲	Billie Holiday - Strange Fruit を素材に、人種問題について考える。
3	第２曲	Elvis Presley - Jailhouse Rock を素材に、カウンター・カルチャーについて考える。
4	第３曲	Bob Dylan - Like a Rolling Stone を素材に、資本主義について考える。
5	第４曲	Beatles - Lucy in the Sky with Diamonds を素材に、薬物問題について考える。
6	第５曲	Queen - I Want to Break Free を素材に、LGBT の問題について考える。
7	アクティビティ	歌詞という詩がどのようにして書かれるのか、アクティビティで体感する。
8	第６曲	Aerosmith - Janie's Got a Gun を素材に、銃社会について考える。
9	第７曲	Nas - Nas is Like を素材に、貧困問題について考える。
10	第８曲	Billie Eilish - Bad Guy を素材に、女性の権利について考える。
11	グループ発表１	担当グループによる発表とディスカッション。
12	グループ発表２	担当グループによる発表とディスカッション。
13	レポートに向けて	レポート課題の説明、執筆作法についてのおさらい。
14	まとめ	今学期の内容をふりかえりつつ、現代の日本社会について考える。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
ふだんから英語のニュースや英字新聞に触れる習慣をつける。各回のテーマとなる社会問題については事前に調べ、歌詞に登場した単語の意味は丁寧に復習すること。本授業の準備学習・復習時間は毎回１時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】
使用しない。資料は必要に応じて教員が配布する。

【参考書】
授業中に折に触れて紹介する。

【成績評価の方法と基準】
平常点 40 %、グループ発表 30 %、レポート 30 %
欠席回数が 4 回以上の受講者は、原則として単位を認定しない。

【学生の意見等からの気づき】
本年度担当者変更によりフィードバック不可。

【Outline and objectives】
This course benefits from various popular music produced in English-speaking countries and loved all over the world. We are also going to delve into several news media to learn about the social background of each song. Students are expected to grasp the essence of each song, while researching social issues both individually and in groups.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**環境・健康・科学技術をめぐる諸相**

藤本　大士

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：上級／日本語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
１年次に習得した英語の４技能をさらに向上させることを目指します。とくにスピーキング能力の向上に重点を置きますが、受講時点において十分に英語で話せる必要はありません。授業で取り上げるトピックは、環境・健康・科学技術をめぐる諸問題についてですが、受講者が科学技術に関する高度な知識をもっている必要はありません。むしろ、このようなトピックに苦手意識をもっている方こそ授業をとってみてほしいと思っており、授業を通じて徐々に科学技術に関する話題に慣れていってもらいたいと思います。

【到達目標】
・環境・健康・科学技術に関して、基礎的な英語の語彙を習得することができる。
・環境・健康・科学技術に関して書かれたこと、話されたことの概要を理解することができる。
・環境・健康・科学技術に関して、自分の意見を平易な英語で（場合によっては専門的な用語を組み合わせつつ）述べることができる。
・環境・健康・科学技術に関して、英語圏（とくにアメリカ）でどのような議論がおこなわれているかの概略を日本語・英語で説明することができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業は「環境」「健康」「科学技術」という３つのテーマに分かれており、テーマごとに３～４回の授業によって構成されています。各回の授業では、それぞれのトピックに関する新聞記事・動画を授業中に読み、あるいは、視聴し、その内容がどういったものであったか、その内容に対して自分はどういった考えをもったかについて、ペアやグループで話してもらい、その後、他の受講生に対しても話してもらいます。
また、授業では、それらのトピックとは直接関連しないものの、４技能の向上のために重要である内容の説明もおこないます（たとえば、スピーキングの際に意識・注意するべきことなど）。
この授業では、４技能すべての向上を目指していますが、とくにスピーキング能力を向上させることに重点を置いています。そのため、毎回の授業で、受講生は必ず一度は英語で発言してもらいます。英語で話すことに自信がない人もいるかもしれませんが、受講時点において、スピーキング能力が高いことは求めていません。スピーキング能力の向上には、やはりとにかく話す経験をすることが大事ですので、この授業を通じて、その経験を少しずつ積み上げていってください。なお、授業では細かな発音指導などはおこなわない点には注意してください。発音の改善をとくに望む者は、「英語発音法」などに関する授業をとることを推奨します。
提出された課題に対しては、個別にあるいは授業の中でフィードバックをおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	自己紹介、授業の進め方の説明をおこないます。
2	環境１：未来のための金曜日	当該トピックに関する新聞記事・動画を用い、リーディング、リスニング、スピーキングの演習をおこないます。
3	環境２：プラスチックゴミ	当該トピックに関する新聞記事・動画を用い、リーディング、リスニング、スピーキングの演習をおこないます。
4	環境３：再生可能エネルギー	当該トピックに関する新聞記事・動画を用い、リーディング、リスニング、スピーキングの演習をおこないます。
5	環境４：食品と環境負荷	当該トピックに関する新聞記事・動画を用い、リーディング、リスニング、スピーキングの演習をおこないます。
6	健康１：エンハンスメント	当該トピックに関する新聞記事・動画を用い、リーディング、リスニング、スピーキングの演習をおこないます。
7	健康２：臨床研究の倫理	当該トピックに関する新聞記事・動画を用い、リーディング、リスニング、スピーキングの演習をおこないます。
8	中間まとめ	これまでの授業で学んだことを復習認します（テストなどはおこないません）。また、各受講生の今後の学習方針などについて考えます。
9	健康３：出生前診断	当該トピックに関する新聞記事・動画を用い、リーディング、リスニング、スピーキングの演習をおこないます。
10	健康４：安楽死	当該トピックに関する新聞記事・動画を用い、リーディング、リスニング、スピーキングの演習をおこないます。
11	科学技術１：科学者とジェンダー	当該トピックに関する新聞記事・動画を用い、リーディング、リスニング、スピーキングの演習をおこないます。
12	科学技術２：原子力発電	当該トピックに関する新聞記事・動画を用い、リーディング、リスニング、スピーキングの演習をおこないます。
13	科学技術３：軍事技術とデュアル・ユース	当該トピックに関する新聞記事・動画を用い、リーディング、リスニング、スピーキングの演習をおこないます。
14	まとめ	これまでの授業で学んだことを復習認します（テストなどはおこないません）。また、各受講生の今後の学習方針などについて考えます。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
準備学習について：
授業の予習は必須としません。むしろ、授業では、はじめて出会った単語や聞き取れなかった言葉を、文脈などを踏まえて適切に推測する能力を向上させること、および、実際の日常会話のように、突発的に出てきた話題に瞬時に対応できる能力を向上させることに重点を置きます。
復習について：

授業の復習は各自で必ずおこなうようにしてください。具体的には、宿題や授業において、自分がうまくおこなえたかった部分をしっかりと把握し、その部分の改善を意識して、勉強をおこなってください（たとえば、授業中に出てきたわからない単語を、ノートにまとめていくなど）。そのためにどのような勉強をおこなうかについて、アドバイスが必要な場合は聞いてください。

【テキスト（教科書）】
ありません

【参考書】
参考となる書籍、ウェブサイトなどは授業の中で適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】
平常点 60%、毎週の宿題 40%
平常点とは授業中での発言・参加姿勢を指します。授業に出席していたとしても、発言などをおこなわなかった場合は、欠席したことと同様の評価になることがあるので注意してください。
毎回の宿題の成績評価は、基本的に Pass/Fail（提出した/しなかった）の 2 段階評価です。
中間試験・レポートおよび期末試験・レポートなどは課しません。
4 回以上欠席した場合、自動的に「不可（不合格）」となりますので注意してください。
宿題について：
語学学習においては、長い時間を少ない回数をおこなうより、短い時間であっても日々継続しておこなう方が効果が高いとされています。そのため、1 週間に 2 ～ 3 回の簡単な宿題（1 つの課題は 15 分以内におこなえるもの）を出します。学生は宿題に取り組むことを通じて、日常的に英語を使う機会を増やしていってください（もちろん、課題とは別に自身ですすめる英語学習は歓迎です）。
（宿題の例）
スピーキング：週末何をしたかについて、英語で 30 秒以上で話して録音したものを、学習支援サイト（あるいは Google Classroom など）にアップロードしてください。
ライティング：レジ袋有料化の是非について、環境問題の観点を踏まえ、英文 3 ～ 6 センテンス程度で自分の意見を書いてください。
リスニング：ある英語の動画を視聴し、その内容を日本語で 3 ～ 6 文程度でまとめてください。

【学生の意見等からの気づき】
前年度該当科目なし

【Outline and objectives】
This course aims to improve the four language skills, which students developed in their freshman year, especially their speaking skills. The course covers various topics, such as environment, health, and science/technology.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

ウォルター・カズマー

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／英語／現代の諸相
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Students will learn English using 4 skill areas (speaking, listening, reading, and writing). Discussion and short essay writing skills will be focused on.

【到達目標】
Students will read and learn 5-10 new vocabulary items per class.
Students will also acquire ability to handle discussions about some text topics related to economic, political, and current events related issues

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Reading skills- skimming, scanning, and summarizing
Writing- structuring paragraphs
Speaking- giving speeches and presentations
Listening- listening for gist and details
Feedback will be given in Google classroom comments, via email or in feedback sessions in Zoom classes.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Introduction	Introduction of syllabus	Cover syllabus and basic ground rules for regular classes and tests.
communities I	Community values Teaching tips I	Examining social values for societies. Exploring cultural bonds. class activities
communities II	Unwritten Community rules Teaching tips II	Deepening understanding of social boundaries and possible conflicts. time flow, use of variety
Communities III	Why some communities collapse teaching tips 3	Discussion of taboos and social misdeeds
responsible tourism I	Tourism barbs and unintended consequences	Discuss tourism negatives and positive outcomes
Responsible tourism II	Value brought by tourism	Tourism effects on our lives in both positive and negative ways.
Responsible tourism III	Rise of ecotourism and fair trade	Tourist initiatives to improve local lifestyles

World heritage I	Looking at historical buildings and the events they show	Why are these buildings important for remembering history?
World heritage II	Protecting our cultural artifacts	How buildings are preserved and design shows our history
World heritage III	Zoning and how it affects heritage buildings	Zoning code- the balance between modern life and showing our historical roots
Engineered food I	Science and side effects	Science and its end goals and how they might ruin our health
Engineered food II	health influences of diet	Researching food sources and why variety is important
Engineered food III	Benefits of science engineered food	How radiation and mutations shape our diet
Summary	summary of course themes	Discuss various course themes

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Prepare for teaching lessons by submitting lesson plan 1 week before.
Review reading for further discussion

【テキスト（教科書）】
Issues that matter - Kinseido
ISBN 9784764740617 or 1921082018006

【参考書】
N/a

【成績評価の方法と基準】
Class participation 20%
Teaching 40%
Homework 40%
For all English courses on Ichigaya campus, the guideline is as follows: “In principle, no more than 3 absences per term are allowed.”

【学生の意見等からの気づき】
N/a

【学生が準備すべき機器他】
to be announced

【その他の重要事項】
Blog work
Contact email
kasmersensei@gmail.com

【Outline and objectives】
Students will learn English using 4 skill areas (speaking, listening, reading, and writing). Discussion and short essay writing skills will be focused on.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

ウォルター・カズマー

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／英語／現代の諸相
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Students will learn English using 4 skill areas (speaking, listening, reading, and writing). Discussion and short essay writing skills will be focused on.

【到達目標】
Students will read and learn 5-10 new vocabulary items per class.
Students will also acquire ability to handle discussions about some text topics related to economic, political, and current events related issues.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Reading skills- skimming, scanning, and summarizing
Writing- structuring paragraphs
Speaking- giving speeches and presentations
Listening- listening for gist and details
Feedback will be given in Google classroom comments, via email or in feedback sessions in Zoom classes.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Introduction	Introduction of syllabus	Cover syllabus and basic ground rules for regular classes and tests.
Disappearing countries I	Climate change Teaching tips I	How do we combat global climate change? class activities
Disappearing countries II	Climate change Teaching tips II	Positives and negatives of climate change time flow, use of variety
Disappearing countries III	Teaching tips III	Climate change and access to water class work vs. homework
Economic inequality I	Poverty and government regulation	Show and discuss government regulations that try to reduce poverty
Economic inequality II	Poverty and its effects on society	Look at how inequalities affect our lives

Economic In-equal-ity III	How big business affects poverty	Big business around the world
War on sugar I	Debate of sugar effects	Look at diabetes and other health related problems
War on sugar II	Looking at health aspects affected by sugar	Diet, and balancing of other health aspects is explored
War on sugar III	Nutrition: is all sugar the same?	Explore types of sugar
Closing the loop I	Handling waste removal	Where does it go?
Closing the loop II	Recycling vs reusing	Discuss which is better: recycling or reusable materials
Closing the loop III	Saving energy	Cost effecting alternative energy approaches
Summary	Summary of course themes	Discussion of course themes

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Prepare for teaching lessons by submitting lesson plan 1 week before.
Review reading for further discussion

【テキスト（教科書）】
Issues that matter - Kinseido
ISBN 9784764740617 or 1921082018006

【参考書】
N/a

【成績評価の方法と基準】
Class participation 20%
Teaching 40%
Homework 40% (including blog work)
For all English courses on Ichigaya campus, the guideline is as follows: “In principle, no more than 3 absences per term are allowed.”

【学生の意見等からの気づき】
N/a

【学生が準備すべき機器他】
to be announced

【その他の重要事項】
Blog work
Contact email
kasmersensei@gmail.com

【Outline and objectives】
Students will learn English using 4 skill areas (speaking, listening, reading, and writing). Discussion and short essay writing skills will be focused on.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Perspectives on Different Topics

CHIA-WEI KANG

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／英語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English 3 is a 4-Skills required course for 2nd-year Students. The course materials and activities are designed to foster students’ listening and reading skills. Students will also demonstrate their critical thinking skills by expressing their insights and opinions in group discussions, presentations, and written forms. The instructor reserves the right to modify this syllabus when necessary.

【到達目標】
The goals of the course are for students:
1.To learn and apply strategic listening skills to aid listening comprehension
2.To deepen knowledge of vocabulary and common expressions
3.To develop speaking skills and practice new expressions through output activities
4.To learn how to use skimming and scanning to identify main ideas and supporting details
5.To learn how to express effectively through writing activities and assignments
6.To become better independent language learners

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
This is a hybrid class, and we will meet some weeks in person and some weeks on Zoom. Please see Hoppii for details.
The instructor would like to create a “safe” learning environment for students. “Safe” means that students can express their opinions and try to understand others’ viewpoints without feeling judged. The overall class vibe is informal. Students participate in various activities involving reading, writing, listening, and speaking. Students are expected to listen to others and interact with others actively in group discussions. While presenting their topics, students should use audio-visual aids.
Regarding the feedback on class assignments, the instructor will give oral feedback to in-class discussions. For presentations and essays, students will receive a graded presentation rubric with the instructor’s written comments.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Lesson 1	Introduction/Unit 1: Making a Difference	Course orientation, Icebreaking, Unit 1: Listening and Speaking
Lesson 2	Unit 1: Making a Difference	Reading: “Food Rescue Mission,” Summarizing, Vocabulary building, Discussions

Lesson 3	Unit 1: Making a Difference	TED Talk: “A Life Lesson from a Volunteer Firefighter,” Group discussion based on the given response sheet.
Lesson 4	Unit 2: Trends	Unit 2: Listening and Speaking
Lesson 5	Unit 2: Trends	Reading: “Identifying Trends,” Summarizing, Vocabulary building, Discussions
Lesson 6	Unit 2: Trends	TED Talk: “How to Start a Movement,” Group discussion based on the given response sheet.
Lesson 7	Group Presentation	Group Presentation
Lesson 8	Unit 5: Community Builders	Unit 5: Listening and Speaking
Lesson 9	Unit 5: Community Builders	Reading: “Barefoot College,” Summarizing, Vocabulary building, Discussions
Lesson 10	Unit 5: Community Builders	TED Talk: “How Painting Can Transform Communities,” Group discussion based on the given response sheet.
Lesson 11	Unit 6: Clear Communication	Unit 6: Listening and Speaking
Lesson 12	Unit 6: Clear Communication	Reading: “Communication in the Digital Age,” Summarizing, Vocabulary building, Discussions
Lesson 13	Unit 6: Clear Communication	TED Talk: “Talk Nerdy to Me,” Group discussion based on the given response sheet.
Lesson 14	Individual Presentation/Final Essay Due	Individual Presentation/Final Essay Due

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/ “University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.” This course is a one-credit course; thus, students are expected to work on homework assignments (listening, reading, and writing) and prepare for vocabulary quizzes, discussions, and presentations around 1 hour a week.

【テキスト（教科書）】
Title: Keynote 3 (Student book)
Publisher: Cengage Learning
ISBN: 978-1-305-96505-8
Price: ￥ 3,060

【参考書】
Bring your dictionary to class. (Both paper and electronic dictionaries are accepted.)

【成績評価の方法と基準】
Students will be assessed based on the following criteria:
Class participation: 20%
Homework and quizzes: 40% (10 homework assignments: 4%, including 4 vocabulary quizzes, 4 response sheets, 2 extra assignments)
Presentations and an essay: 40% (Group presentation: 10%, Individual presentation: 15%, Final Essay: 15%)
Attendance policy: In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】
None

【学生が準備すべき機器他】
We are going to use Hoppii and Zoom for the course, so when you attend the Zoom session on campus, you need a headset.

【Outline and objectives】
English 3 is a 4-Skills required course for 2nd-year Students. The course materials and activities are designed to foster students’ listening and reading skills. Students will also demonstrate their critical thinking skills by expressing their insights and opinions in group discussions, presentations, and written forms. The instructor reserves the right to modify this syllabus when necessary.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Perspectives on Different Topics

CHIA-WEI KANG

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／英語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English 3 is a 4-Skills required course for 2nd-year Students. The course materials and activities are designed to foster students' listening and reading skills. Students will also demonstrate their critical thinking skills by expressing their insights and opinions in group discussions, presentations, and written forms. The instructor reserves the right to modify this syllabus when necessary.

【到達目標】
The goals of the course are for students:
1.To learn and apply strategic listening skills to aid listening comprehension
2.To deepen knowledge of vocabulary and common expressions
3.To develop speaking skills and practice new expressions through output activities
4.To learn how to use skimming and scanning to identify main ideas and supporting details
5.To learn how to express effectively through writing activities and assignments.
6.To become better independent language learners

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
This is a hybrid class, and we will meet some weeks in person and some weeks on Zoom. Please see Hoppii for details.
The instructor would like to create a "safe" learning environment for students. "Safe" means that students can express their opinions and try to understand others' viewpoints without feeling judged. The overall class vibe is informal. Students participate in various activities involving reading, writing, listening, and speaking. Students are expected to listen to others and interact with others actively in group discussions. While presenting their topics, students should use audio-visual aids.
Regarding the feedback on class assignments, the instructor will give oral feedback to in-class discussions. For presentations and essays, students will receive a graded presentation rubric with the instructor's written comments.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Lesson 1	Introduction/Unit 7: Identity	Course orientation, Icebreaking, Unit 7: Listening and Speaking
Lesson 2	Unit 7: Identity	Reading: "Global Migration," Summarizing, Vocabulary building, Discussions
Lesson 3	Unit 7: Identity	TED Talk: "Where is home," Group discussion based on the given response sheet
Lesson 4	Unit 9: New Words	Unit 9: Listening and Speaking
Lesson 5	Unit 9: New Words	Reading: "Language Change," Summarizing, Vocabulary building, Discussions
Lesson 6	Unit 9: New Words	TED Talk: "What Makes a Word 'Real'?" Group discussion based on the given response sheet
Lesson 7	Group Presentation	Group Presentation
Lesson 8	Unit 10: Understanding Emotions	Unit 10: Listening and Speaking
Lesson 9	Unit 10: Understanding Emotions	Reading: "Emotion in Technology," Summarizing, Vocabulary building, Discussions
Lesson 10	Unit 10: Understanding Emotions	TED Talk: "This App Knows How You Feel," Group discussion based on the given response sheet
Lesson 11	Unit 11: Clear Communication	Unit 11: Listening and Speaking
Lesson 12	Unit 11: Clear Communication	Reading: "Lessons in Business," Summarizing, Vocabulary building, Discussions
Lesson 13	Unit 11: Clear Communication	TED Talk: "Life at 30,000 Feet," Group discussion based on the given response sheet
Lesson 14	Individual Presentation/Final Essay Due	Individual Presentation/Final Essay Due

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/ "University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course." This course is a one-credit course; thus, students are expected to work on homework assignments (listening, reading, and writing) and prepare for vocabulary quizzes, discussions, and presentations around 1 hour a week.

【テキスト（教科書）】
Title: Keynote 3 (Student book)
Publisher: Cengage Learning
ISBN: 978-1-305-96505-8
Price: ￥ 3,060

【参考書】
Bring your dictionary to class. (Both paper and electronic dictionaries are accepted.)

【成績評価の方法と基準】
Students will be assessed based on the following criteria:
Class participation: 20%
Homework and quizzes: 40% (10 homework assignments: 4%, including 4 vocabulary quizzes, 4 response sheets, 2 extra assignments)
Presentations and an essay: 40% (Group presentation: 10%, Individual presentation: 15%, Final Essay: 15%)
Attendance policy: In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】
None

【学生が準備すべき機器他】
We are going to use Hoppii and Zoom for the course, so when you attend the Zoom session on campus, you need a headset.

【Outline and objectives】
English 3 is a 4-Skills required course for 2nd-year Students. The course materials and activities are designed to foster students' listening and reading skills. Students will also demonstrate their critical thinking skills by expressing their insights and opinions in group discussions, presentations, and written forms. The instructor reserves the right to modify this syllabus when necessary.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**アメリカ社会**

本間　章郎

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／日本語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ニュースを通して、アメリカ社会について学びます。
English 3 では、English 1 と English 2 に引き続いて、読む、書く、聞く、話すという英語の 4 技能の運用能力を、課題を通して深めることを目的とします。特に、まとまった量の英文の内容を的確に理解し、書く、あるいは話すという形で自分の考えをわかりやすく表現してもらえればと思います。同時に、ニュース英語を題材にした英語の 4 技能の練習を通して、アメリカに対して理解を深めていきます。

【到達目標】
授業の到達目標としては、英語の 4 技能の運用能力の向上を目指して次の 4 つの目標を意識してもらいたいと思います。
(1) ある程度の分量の英文を読んで、内容を適切に理解する。
(2) 英文を聞いて、内容を理解し、重要な単語を聞き取る。
(3) わかりやすく自分の考えをまとめた英文を書く。
(4) 自分の考えを相手にわかりやすく英語で伝える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
教科書に沿って授業を進めていきます。基本的に教科書の練習問題を通して、内容理解、及びリスニングの練習をおこないます。教科書に関連したテーマを設定し、発表をおこない、英作文を提出してもらいます。提出した英作文は、内容を確認の上、適宜、返却します。また、数回、小テストをおこないます。小テストはリスニング、あるいは語彙の理解などを問う問題になります。授業の進度と受講者の教科書の内容への理解に応じて、授業の中で教科書以外のニュース英語を取り上げます。また、小テスト等は、適宜、受講者に返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	授業の説明	授業の目標と進め方の説明
第 2 回	Unit 1: Language Lessons	リスニング及び内容理解
第 3 回	Unit 1: Language Lessons	読解及び問題演習
第 4 回	Unit 2: U. S. Consumers Waste Food	リスニング及び内容理解
第 5 回	Unit 2: U. S. Consumers Waste Food	読解及び問題演習
第 6 回	Unit 3: Keeping eSports Athletes in the Game	リスニング及び内容理解
第 7 回	Unit 3: Keeping eSports Athletes in the Game	読解及び問題演習

第 8 回	Unit 4: Adulting Classes for Millennials	リスニング及び内容理解
第 9 回	Unit 4: Adulting Classes for Millennials	読解及び問題演習
第 10 回	Unit 5: Is Your Bottled Water Safe?	リスニング及び内容理解
第 11 回	Unit 5: Is Your Bottled Water Safe?	読解及び問題演習
第 12 回	Unit 6: Sleepless in Japan	リスニング及び内容理解
第 13 回	Unit 6: Sleepless in Japan	読解及び問題演習
第 14 回	試験・まとめと解説	授業の内容の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業の終わりに、次の授業で前もってやっておいてほしい内容を指示します。スマートフォンなどで映像が見れるので、該当する箇所の英文の内容を聞いて、教科書を読み、問題演習などを自宅で済ませて授業に臨んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
CBS NewsBreak 5（CBS ニュースブレイク 5）
熊井信弘他著　成美堂　2021 年　2400 円

【参考書】
参考書は特にありません。

【成績評価の方法と基準】
学期末テスト（50%）、英作文（15%）、発表（15%）、小テスト（20%）から成績を評価します。主に到達目標の (1) と (2) を毎回の授業と小テスト、および学期末テストから、(3) を英作文から、(4) を発表から判断します。
なお、各学期の欠席が 4 回以上になった場合は、原則として単位修得を認めないので注意してください。
コロナの状況により、オンライン授業となった場合は、課題の提出が必要となります。課題の未提出は欠席 1 回として考えます。

【学生の意見等からの気づき】
これまでの英語の発表を振り返りると、十分な時間を確保できず、時間的に押し迫った状況での発表となりました。今年度は時間的な余裕を十分に取れるよう授業を計画したいと思います。

【Outline and objectives】
In this course, students will be introduced to various social and cultural issues of contemporary America through CBS news. The topics ranges from business trends to lifestyle issues, which help students understand American society better. I know many students are interested in some aspects of America such as Walt Disney World in Florida or American Major League Baseball. But CBS news can help students realize various aspects of American society. Through various topics of news reports, student will find common issues such as ecology, gender equality or health and know how American people feel about them. I hope students can compare it with Japanese society and have a deeper understanding of it. And watching the news reports, students can improve their listening ability. The news videos are useful to get the gist of them. Then by reading the news reports of the textbook, students can grasp the details of them and broaden their vocabularies. On topics related with the news reports, students will make a short speech or express their own opinions in writing. I hope students can improve English skills and get a better sense of American society.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**アメリカ社会**

本間　章郎

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／日本語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ニュースを通して、アメリカ社会について学びます。
English 3 では、English 1 と English 2 に引き続いて、読む、書く、聞く、話すという英語の 4 技能の運用能力を、課題を通して深めることを目的とします。特に、まとまった量の英文の内容を的確に理解し、書く、あるいは話すという形で自分の考えをわかりやすく表現してもらえればと思います。同時に、ニュース英語を題材にした英語の 4 技能の練習を通して、アメリカに対して理解を深めていきます。

【到達目標】
授業の到達目標としては、英語の 4 技能の運用能力の向上を目指して次の 4 つの目標を意識してもらいたいと思います。
(1) ある程度の分量の英文を読んで、内容を適切に理解する。
(2) 英文を聞いて、内容を理解し、重要な単語を聞き取る。
(3) わかりやすく自分の考えをまとめた英文を書く。
(4) 自分の考えを相手にわかりやすく英語で伝える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
教科書に沿って授業を進めていきます。基本的に教科書の練習問題を通して、内容理解、及びリスニングの練習をおこないます。教科書に関連したテーマを設定し、発表をおこない、英作文を提出してもらいます。提出した英作文は、内容を確認の上、適宜、返却します。また、数回、小テストをおこないます。小テストはリスニング、あるいは語彙の理解などを問う問題になります。授業の進度と受講者の教科書の内容への理解に応じて、授業の中で教科書以外のニュース英語を取り上げます。また、小テスト等は、適宜、受講者に返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	授業の説明及び春学期の授業内容のまとめ	授業の目標と進め方、春学期の授業の内容の確認
第 2 回	Unit 7: Alarming New Climate Report	リスニング及び内容理解
第 3 回	Unit 7: Alarming New Climate Report	読解及び問題演習
第 4 回	Unit 8: Cracking the Dress Code:#Ku Too Movement	リスニング及び内容理解
第 5 回	Unit 8: Cracking the Dress Code:#Ku Too Movement	読解及び問題演習
第 6 回	Unit 9: Grammar Table Lady Offers Advice	リスニング及び内容理解

第 7 回	Unit 9: Grammar Table Lady Offers Advice	読解及び問題演習
第 8 回	Unit 10: Halloween Treats for Kids with Disabilities	リスニング及び内容理解
第 9 回	Unit 10: Halloween Treats for Kids with Disabilities	読解及び問題演習
第 10 回	Unit 11: A Tax on Tourism?	リスニング及び内容理解
第 11 回	Unit 11: A Tax on Tourism?	読解及び問題演習
第 12 回	Unit 12: Japan Really Loves Kit Kat Bars	リスニング及び内容理解
第 13 回	Unit 12: Japan Really Loves Kit Kat Bars	読解及び問題演習
第 14 回	試験・まとめと解説	授業の内容の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業の終わりに、次の授業で前もってやっておいてほしい内容を指示します。スマートフォンなどで映像が見れるので、該当する箇所の英文の内容を聞いて、教科書を読み、問題演習などを自宅で済ませて授業に臨んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
CBS NewsBreak 5（CBS ニュースブレイク 5）
熊井信弘他著　成美堂　2021 年　2400 円

【参考書】
参考書は特にありません。

【成績評価の方法と基準】
学期末テスト（50%）、英作文（15%）、発表（15%）、小テスト（20%）から成績を評価します。主に到達目標の (1) と (2) を毎回の授業と小テスト、および学期末テストから、(3) を英作文から、(4) を発表から判断します。
なお、各学期の欠席が 4 回以上になった場合は、原則として単位修得を認めないので注意してください。
コロナの状況により、オンライン授業となった場合は、課題の提出が必要となります。課題の未提出は欠席 1 回として考えます。

【学生の意見等からの気づき】
これまでの英語の発表を振り返ると、十分な時間を確保できず、時間的に押し迫った状況での発表となりました。今年度は時間的な余裕を十分に取れるよう授業を計画したいと思います。

【Outline and objectives】
In this course, students will be introduced to various social and cultural issues of contemporary America through CBS news. The topics ranges from business trends to lifestyle issues, which help students understand American society better. I know many students are interested in some aspects of America such as Walt Disney World in Florida or American Major League Baseball. But CBS news can help students realize various aspects of American society. Through various topics of news reports, student will find common issues such as ecology, gender equality or health and know how American people feel about them. I hope students can compare it with Japanese society and have a deeper understanding of it. And watching the news reports, students can improve their listening ability. The news videos are useful to get the gist of them. Then by reading the news reports of the textbook, students can grasp the details of them and broaden their vocabularies. On topics related with the news reports, students will make a short speech or express their own opinions in writing. I hope students can improve English skills and get a better sense of American society.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：English Speaking World: From Science to Business I

GENC BURCU

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／英語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
In this course, students will improve their confidence and skills in overall English communication while familiarizing themselves with the contemporary cultural, political, social concerns of the English speaking world.

【到達目標】
In this course, students will read a variety of content-based articles, and readings will be supplemented with listening exercises to help students improve their fluency in English. The classes are designed for pair and group discussions to provide the students with a friendly environment to express themselves in English. Students will also be required to complete some writing tasks such as paragraphs and short essays to express their ideas in a more organized way.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Students will participate in a variety of activities that involve all four skills, but with a special emphasis on reading and speaking. Students will be asked to read short articles, prepare for discussion, usually in pairs or groups. Feedback on all assignments will be provided during the class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Course orientation	Getting to know each other; student introductions & class guidelines.
2	Unit 1: Starting Up What is leadership?	To warm up, students will make some discussion on the main topic of the unit. They will start reading the assigned article.
3	Unit 1: Starting Up Famous Leaders of the English Speaking World	Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.
4	Unit 1: Starting Up How to Start a Movement	Listening exercise and a supplemental newspaper article on the topic to expand the discussion. Writing assignment.

5	Unit 2: Fragile Forests Environmental Issues of the Age	To warm up, students will make some discussion on the main topic of the unit. They will start reading the assigned article.
6	Unit 2: Fragile Forests	Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.
7	Unit 2: Fragile Forests Conserving the Canopy	Listening exercise and a supplemental newspaper article on the topic to expand the discussion. Writing assignment.
8	Group Presentations Unit 3:Bright Ideas Advances in the Medical Field in the English Speaking World	Each group will deliver a presentation following the course contents and objectives. In the remaining time, students will start with unit 3 topic discussion.
9	Unit 3: Bright Ideas Big Problems, Simple Solutions	Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.
10	Unit 3: Bright Ideas A Warm Embrace that Saves Lives	Listening exercise and a supplemental newspaper article on the topic to expand the discussion. Writing assignment.
11	Unit 4:Game Changers Gaming and Teenagers in the English Speaking World	To warm up, students will make some discussion on the main topic of the unit. They will start reading the assigned article.
12	Unit 4: Game Changers Is Gaming Good for you?	Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.
13	Unit 4: Game Changers Gaming can make a better world?	Listening exercise and a supplemental newspaper article on the topic to expand the discussion. Writing assignment.
14	Final Exam	Final exam of the semester will be conducted

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students are expected to complete assignments every week in preparation for discussion. The assignments might require research.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
21st Century Reading: Creative thinking and reading with TED talks 2, Cengage Publishing and written by Laurie Blass, and Jessica Williams. ￥ 2840
Additional newspaper articles will also be provided by the instructor in class.

【参考書】
These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments.
https://japantoday.com/
https://www.japantimes.co.jp/news/
https://www.yahoo.com/news/
http://www.bbc.com/news
https://news.google.com/news/

【成績評価の方法と基準】
Class participation: 20%
Group Presentation: 30%
Writing assignments: 10%
Final Exam: 40%
More than 3 absences will result in automatic failure of the course.

【学生の意見等からの気づき】
Listening exercises will be emphasized more.

【Outline and objectives】
This is a course aiming to assist students in gaining fluency in English to sharing their ideas on business and science related content popularly discussed in the English speaking world.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：English Speaking World: From Science to Business II

GENC BURCU

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／英語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This is the second part of the course, “English Speaking World: From Science to Business” aiming to continue helping students to gain fluency in English and express their ideas on science and business related content popularly discussed in the English speaking world.

【到達目標】
In this course, students will read a variety of content-based articles, and readings will be supplemented with listening exercises to help students improve their fluency in English. The classes are designed for pair and group discussions to provide the students with a friendly environment to express themselves in English. Students will also be required to complete some writing tasks such as paragraphs and short essays to express their ideas in a more organized way.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Students will participate in a variety of activities that involve all four skills, but with a special emphasis on reading and speaking. Students will be asked to read short articles, prepare for discussion, usually in pairs or groups. Feedback on all assignments will be provided during the class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Course orientation	introductions & class guidelines.
2	Unit 5: Lessons in Learning Engaging Learners	To warm up, students will make some discussion on the main topic of the unit. They will start reading the assigned article.
3	Unit 5: Lessons in Learning Technology in the Classroom	Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.
4	Unit 5:Lessons in Learning The Key to Success?	Listening exercise and a supplemental newspaper article on the topic to expand the discussion. Writing assignment.
5	Unit 6: Food for Life Food Revolution	To warm up, students will make some discussion on the main topic of the unit. They will start reading the assigned article.
6	Unit 6: Food for Life Teaching Children about Food	Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.
7	Unit 6: Food for Life Famous Cook: Jamie Oliver	Listening exercise and a supplemental newspaper article on the topic to expand the discussion. Writing assignment.
8	Group Presentations Unit 7: Body Signs Non-verbal Communication	Each group will deliver a presentation following the course contents and objectives. In the remaining time, students will start with unit 3 topic discussion.
9	Unit 7: Body Signs Power of Body Language	Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.
10	Unit 7: Body Signs Your Body Language Shapes Who You are	Listening exercise and a supplemental newspaper article on the topic to expand the discussion. Writing assignment.
11	Unit 8: Energy Builders Innovative Ideas	To warm up, students will make some discussion on the main topic of the unit. They will start reading the assigned article.
12	Unit 8: Energy Builders Engineers of the Future	Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.
13	Unit 8: Energy Builders Harnessing the Wind	Listening exercise and a supplemental newspaper article on the topic to expand the discussion. Writing assignment.
14	Final Exam	Final exam of the semester will be conducted

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students are expected to complete assignments every week in preparation for discussion. The assignments might require research.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
21st Century Reading: Creative thinking and reading with TED talks 2, Cengage Publishing and written by Laurie Blass, and Jessica Williams (The same textbook from part I). ￥ 2840
Additional newspaper articles will also be provided by the instructor in class.

【参考書】
These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments.
https://japantoday.com/
https://www.japantimes.co.jp/news/
https://www.yahoo.com/news/

http://www.bbc.com/news
https://news.google.com/news/

【成績評価の方法と基準】
Class participation: 20%
Group Presentation: 30%
Writing assignments: 10%
Final Exam: 40%
More than 3 absences will result in automatic failure of the course.

【学生の意見等からの気づき】
Listening exercises will be emphasized more

【Outline and objectives】
In this course, students will improve their confidence and skills in overall English communication while familiarizing themselves with the contemporary cultural, political, social concerns of the English speaking world.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Japan In The World

ジョナサン・エイブル

開講時期：春学期授業/Spring ｜ 曜日・時限：金 4/Fri.4
単位数：1 単位
営 2 年：中級／英語／世界の中の日本
他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English.
Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.

【到達目標】
Students will read, write hear and speak about topics relevant to their lives, studies and futures. The main sources will be in British English, but cultures across the world - not only Anglophone - will be included in the sources used.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
This is a hybrid class, and we will meet some weeks in person and some weeks on Zoom.
Please see Hoppii for details.In each class reading and listening materials will be the starting point for discussion and information processing. In alternate weeks a writing exercise will be included with an emphasis on accurate self-expression. This work will be returned individually with corrections and comments.
There will also be a group presentation exercise which will focus on cooperative communication and public speaking.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction.	Class methods and familiarisation with types of material.
2	A Place in the World 1	Global Perspectives.
3	A Place in the World 2	How Japan is Viewed Abroad.
4	Tradition 1	How History Informs our Present.
5	Tradition 2	Tradition Acros the English Speaking World.
6	Popular Culture 1	The Fast Pace of Fashion.
7	Popular Culture 2	How Japanese Popular Culture Influences Others
8	Presentation Preparation	Topics, Groups and Ideas.
9	Presentations	Group Presentations In Class.
10	Media 1	Where We Get our News.

11	Media 2	Advertising and Commercial Communication.
12	Media 3	Movies and TV. How Entertainment Works.
13	Hello and Goodbye.	How We Meet and Take Our Leave.
14	Final Examination.	Self-assessment and Interviews.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Text Previews and Preparation for Presentations in class will be expected. The task will be set each week as required.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
Materials will be provided. See references.

【参考書】
NHK/NHK Educational
Japan Times
BBC News
British Council online resources (Word on the Street et al.)
Channel 4 News (UK)
CNN
Newspapers, Magazines and Periodicals as relevant.

【成績評価の方法と基準】
Writing 25%
Presentation 15%
Class Participation 30%
Final Interview Test 30%
In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】
N/A

【Outline and objectives】
English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English.
Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Japan In The World

ジョナサン・エイブル

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／英語／世界の中の日本
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English. In part II we will continue this journey through intercultural exploration.
Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.

【到達目標】
Students will read, write hear and speak about topics relevant to their lives, studies and futures. The main sources will be in British English, but cultures across the world - not only Anglophone - will be included in the sources used.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
This is a hybrid class, and we will meet some weeks in person and some weeks on Zoom.
Please see Hoppii for details.In each class reading and listening materials will be the starting point for discussion and information processing. In alternate weeks a writing exercise will be included with an emphasis on accurate self-expression. This work will be returned individually with corrections and comments.
There will also be a group presentation exercise which will focus on cooperative communication and public speaking.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction to Part II	Review and Look Forward.
2	Language.	How Languages Feed Each Other in a Globalising World.
3	Art.	Historical and Modern Views of Japanese Visual Art.
4	Performance.	How Japanese Performing Arts Influence the Worlds of Theatre and Dance.
5	Film.	Cross-cultural Storytelling.
6	Food 1.	What we Eat and Why.
7	Food 2.	Where and How we Eat.
8	Presentation Preparation.	Topics Groups and Planning.
9	Presentation.	Group Presentations in Class.
10	Travel.	From Commuters to Tourists.

11	Transport.	How Mobility Shapes Social Behaviour.
12	Soocial issues 1.	Ageing and Booming Populations
13	Social Issues 2.	Crime and Punishment.
14	Final Examination.	Self-assessment and Interview.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Text reading and review and presentation preparation will be required. Tasks will be set each week as appropriate.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
Materials will be provided. See References.

【参考書】
NHK/NHK Educational.
Japan Times.
BBC News
British Council online resources (Word on the Street et al.)
Channel 4 News (UK)
CNN
Newspapers, Magazines and Periodicals as relevant.

【成績評価の方法と基準】
Writing 25%
Presentation 15%
Class Participation 30%
Final Interview Test 30%
In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】
N/A

【Outline and objectives】
English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English. In part II we will continue this journey through intercultural exploration.
Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.E

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**メディアを通して見る現代アメリカの文化と社会**

余田　剛

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／日本語／現代の諸相
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
CBS で配信されたニュースを素材として扱ったテキストを主教材とし、アメリカを主とした現代の様々な諸問題を扱いながら、英語の情報を的確に理解・分析し、問題点を考察した上で自らの意見を発信する力を身に着けることを目指し、インプットとアウトプットのバランスを取りながら英語の総合的な語学の学習をすることをテーマとする。

【到達目標】
１）英語の運用能力
English 1 と English2 で学んだことをベースとして、英語の 4 技能をさらに向上させる。
２）文化理解
アメリカにおけるフードロス、eSports による心身への影響、ボトル入り飲料水の安全性などに関する、現代社会の様々な問題について見聞を広め、独自の分析ができる。
３）分からないことを調べる姿勢
さらなる語学力獲得と文化理解につなげるために、自分の分からないことがあれば謙虚に、意欲的に、辞書や辞典や本やインターネットなどを調べながら、自力で情報を理解しようとする姿勢を身に付ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
テキストは、各 Unit がニュースのスクリプトと内容把握を目的とした問題から成っている。スクリプトは、ある程度のまとまりで一人ずつあてて基本的には逐語訳をしてもらい、確認が必要な場合はこちらから質問をし、問題もあてて答えてもらう形式で進めていく。その為受講者は各授業で進む全ての範囲を予習しておく必要がある。内容理解の後、英文のある個所を別の易しい英文に言い換える作業も行う。また、テキストで扱ったテーマに基づいて、プレゼンテーションを行う。さらに、テキストには欠けている政治問題について扱った記事等を準備し、演習を行う予定である。
予習を課題とし、問題や訳し方の解答や解説をフィードバックとして口頭で示す。
本授業は教室での対面形式で実施する予定であるが、大学の方針により対面形式での実施ができない場合は 4 時限目の時間帯に Zoom で授業を行う予定である。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容の概要を説明
2	テキスト Unit2 前半	リスニング、リーディング
3	テキスト Unit2 後半	リーディング、ライティング
4	テキスト Unit3 前半	リスニング、リーディング
5	テキスト Unit3 後半	リーディング、ライティング
6	政治問題に触れる	新聞記事等を使った演習
7	プレゼンテーション	テキストの内容をテーマとしたプレゼンテーション（グループ１）

8	テキスト Unit5 前半	リスニング、リーディング
9	テキスト Unit5 後半	リーディング、ライティング
10	テキスト Unit6 前半	リスニング、リーディング
11	テキスト Unit6 後半	リーディング、ライティング
12	政治問題に触れる	新聞記事等を使った演習
13	プレゼンテーション	テキストの内容をテーマとしたプレゼンテーション（グループ 2）
14	試験	授業で扱った内容を範囲とした授業内試験あるいはレポート・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。授業前に必ずテキストの予習をしてください。テキスト中のスクリプトは、Web 動画を各自で観て穴埋めをして完成させたうえで、分からない単語などを調べてしっかり読み、また、問題は、あらかじめ指定された箇所を解いてくること。

【テキスト（教科書）】
CBS NewsBreak 5, Nobuhiro Kumai 他著, (成美堂, 2021 年), ￥2,400 + tax

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
期末試験 (あるいはレポート) の成績 (40%)、プレゼンテーション (20%)、授業参加度 (40%) とから総合的に評価する。欠席が 4 回に達した者は単位取得の資格を失う。遅刻は 3 回に達するごとに 1 回の欠席とカウントする。また、授業開始のチャイムから 30 分以降の遅刻は欠席と見なす。

【学生の意見等からの気づき】
授業外学習の時間を少しでも増やしてもらえるよう、復習や予習についてより具体的に働きかけるよう心がけます。

【Outline and objectives】
This course aims to improve students' four core English language skills − reading, writing, listening, and speaking − using a textbook made up of the news stories drawn from CBS News shows that feature various current topics, especially in the US. Students will develop their abilities to accurately understand the information, think critically about the important current issues, and effectively express their ideas.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**メディアを通して見る現代アメリカの文化と社会**

余田　剛

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／日本語／現代の諸相
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
CBS で配信されたニュースを素材として扱ったテキストを主教材とし、アメリカを主とした現代の様々な諸問題を扱いながら、英語の情報を的確に理解・分析し、問題点を考察した上で自らの意見を発信する力を身に着けることを目指し、インプットとアウトプットのバランスを取りながら英語の総合的な語学の学習をすることをテーマとする。

【到達目標】
１）英語の運用能力
English 1 と English2 で学んだことをベースとして、英語の 4 技能をさらに向上させる。
２）文化理解
気候変動、ジェンダー、観光公害、日本企業の販売戦略などに関する、現代社会の様々な問題について見聞を広め、独自の分析ができる。
３）分からないことを調べる姿勢
さらなる語学力獲得と文化理解につなげるために、自分の分からないことがあれば謙虚に、意欲的に、辞書や辞典や本やインターネットなどを調べながら、自力で情報を理解しようとする姿勢を身に付ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
テキストは、各 Unit がニュースのスクリプトと内容把握を目的とした問題から成っている。スクリプトは、ある程度のまとまりで一人ずつあてて基本的には逐語訳をしてもらい、確認が必要な場合はこちらから質問をし、問題もあてて答えてもらう形式で進めていく。その為受講者は各授業で進む全ての範囲を予習しておく必要がある。内容理解の後、英文のある個所を別の易しい英文に言い換える作業も行う。また、テキストで扱ったテーマに基づいて、プレゼンテーションを行う。さらに、テキストには欠けている政治問題について扱った記事等を準備し、演習を行う予定である。
予習を課題とし、問題や訳し方の解答や解説をフィードバックとして口頭で示す。
本授業は教室での対面形式で実施する予定であるが、大学の方針により対面形式での実施ができない場合は 4 時限目の時間帯に Zoom で授業を行う予定である

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容の概要を説明
2	テキスト Unit7 前半	リスニング、リーディング
3	テキスト Unit7 後半	リーディング、ライティング
4	テキスト Unit8 前半	リスニング、リーディング
5	テキスト Unit8 後半	リーディング、ライティング
6	政治問題に触れる	新聞記事等を使った演習
7	プレゼンテーション	テキストの内容をテーマとしたプレゼンテーション（グループ１）
8	テキスト Unit11 前半	リスニング、リーディング

9	テキスト Unit11 後半	リーディング、ライティング
10	テキスト Unit12 前半	リスニング、リーディング
11	テキスト Unit12 後半	リーディング、ライティング
12	政治問題に触れる	新聞記事等を使った演習
13	プレゼンテーション	テキストの内容をテーマとしたプレゼンテーション（グループ 2）
14	試験	授業で扱った内容を範囲とした授業内試験あるいはレポート・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。授業前に必ずテキストの予習をしてください。テキスト中のスクリプトは、Web 動画を各自で観て穴埋めをして完成させたうえで、分からない単語などを調べてしっかり読み、また、問題は、あらかじめ指定された箇所を解いてくること。

【テキスト（教科書）】
CBS NewsBreak 5, Nobuhiro Kumai 他著, (成美堂, 2021 年), ￥2,400 + tax

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
期末試験 (あるいはレポート) の成績 (40%)、プレゼンテーション (20%)、授業参加度 (40%) とから総合的に評価する。欠席が 4 回に達した者は単位取得の資格を失う。遅刻は 3 回に達するごとに 1 回の欠席とカウントする。また、授業開始のチャイムから 30 分以降の遅刻は欠席と見なす。

【学生の意見等からの気づき】
授業外学習の時間を少しでも増やしてもらえるよう、復習や予習についてより具体的に働きかけるよう心がけます。

【Outline and objectives】
This course aims to improve students' four core English language skills − reading, writing, listening, and speaking − using a textbook made up of the news stories drawn from CBS News shows that feature various current topics, especially in the US. Students will develop their abilities to accurately understand the information, think critically about the important current issues, and effectively express their ideas.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**TED TALKS で知る現代社会:英語四技能を学ぶ**

金谷　優子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／日本語／現代の諸相
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、TED TALKS のプレゼンテーションで繰り広げられた種々の独創的なアイディアに触れつつ、英語の 4 技能：読み、聴き、話し、書く–を総合的に身につけることを目標とします。グローバル化によって、ヒトやモノがますます流動的になっていくなか、世界中で様々な人々が独自の視点で現代社会を捉えて、自らの置かれた社会、そして人生と取り組んでいることを知ることは非常に重要です。本授業では、TED TALKS の英語のプレゼンテーションを聞き、理解を試みることによって英語コミュニケーションについての基本的な事柄の習得を目指す一方で、それぞれのプレゼンテーションの論理の組み立て方、独創性、着眼点について確認しつつ、受講者自らが現代社会について自分なりの考察を進めてゆくことを促します。

【到達目標】
・まとまった長さの英文の論理展開を正確に把握すること
・複雑な構文や語句を理解すること
・英文パラグラフの構造を読解を通じて学び、その知識を生かして、みずから論理的な文章が書けるようになること
・英語の音声を聴いて、必要な情報を得ること
・さまざまな意見を英語で理解し、それに対する自分の考えを英語で表現すること
・沢山の人々の独自の考えを聞いて、世界のありようについて自分なりの見解を持つようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
この授業はオンライン（リアルタイム配信型）です。すべての回を Zoom で実施します。
各トピックについてそれぞれを３部構成とします。第 1 部: Lesson A では、扱われたトピックについての基礎知識、読解についての重要な技術 (Reading Skills) について学びます。第 2 部: Lesson B では、実際に TED TALK の発表を聴き、またその script を読んで、プレゼンテーションの概要や詳しい内容についての理解がなされたかを確認します。また、第３部として、第１部、第２部で学習した事柄をまとめ、更にリサーチを進め、TED talk に関する自分の考えを英語で表現する場を設けます。
受講者は第１部から第３部を通しての学習事項をチェックシートに書き、トピック毎に提出し、フィードバックを受けます。
[第 1 部]
第 2 週 Topic: Interdisciplinary
第 5 週 Topic: Business/ Leadership
第 8 週 Topic: Life Science
第 11 週 Topic: Sociology/ Fashion
[第 2 部]
第 3 週　：　TED TALK by Matt Cutts : Try Something New for 30 days
https://www.ted.com/talks/matt_cutts_try_something_new_for_30_days?language=ja
第 6 週：　TED TALK by Tom Wujec : Build a Tower
https://www.ted.com/talks/tom_wujec_build_a_tower?language=ja
第 9 週：　TED TALK by David Gallo: Underwater Astonishments

https://www.ted.com/talks/david_gallo_shows_underwater_astonishments/transcript
第 12 週： TED TALK by Jessi Arrington ： Wearing Nothing New
https://www.ted.com/talks/jessi_arrington_wearing_nothing_new?language=ja
[第 3 部]
第 4 週 ： TED TALK by Matt Cutts : Try Something New for 30 days
https://www.ted.com/talks/matt_cutts_try_something_new_for_30_days?language=ja
第 7 週： TED TALK by Tom Wujec : Build a Tower
https://www.ted.com/talks/tom_wujec_build_a_tower?language=ja
第 10 週： TED TALK by David Gallo: Underwater Astonishments
https://www.ted.com/talks/david_gallo_shows_underwater_astonishments/transcript
第 13 週： TED TALK by Jessi Arrington ： Wearing Nothing New
https://www.ted.com/talks/jessi_arrington_wearing_nothing_new?language=ja

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 週	Introduction	What is TED?
第 2 週	Unit 1: Life Changes	Lesson A Topic:Interdisciplinary Reading Skills: Understanding sequence words,... etc.
第 3 週	Unit 1: Life Changes	TED TALK by Matt Cutts Lesson B Academic Skills: Understanding main ideas,...etc.
第 4 週	Unit 1: Life Changes	Check sheet summarizing and stating opinions
第 5 週	Unit 2: Team Power	Lesson A Topic:Business Leadership Reading Skills: Identifying main ideas in paragraphs,...etc.
第 6 週	Unit 2: Team Power	TED TALK by Tom Wujec Lesson B Academic Skills: Understanding stages in a process, ...ets.
第 7 週	Unit 2: Team Power	Check sheet summarizing and stating opinions
第 8 週	Unit 3: Ocean Wonders	Lesson A Topic: Life Science Reading Skills: Identifying purpose/ referents
第 9 週	Unit 3: Ocean Wonders	TED TALK by David Gallo Lesson B Academic Skills:Understanding main ideas and key details,... etc.
第 10 週	Unit 3: Ocean Wonders	Check sheet summarizing and stating opinions
第 11 週	Unit 4: What We Wear	Lesson A Topic:Sociology/ Fashion Reading Skills: Making connections/ Understanding a process
第 12 週	Unit 4: What We Wear	TED TALK by Jessi Arrington Lesson B Academic Skills: Recognizing point of view
第 13 週	Unit 4: What We Wear	Check sheet summarizing and stating opinions
第 14 週	final test	final test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
準備学習：学生は、各 Unit で扱う TED talk についての予備知識（テキストに記載）を得るためにテキストを予習し、知らなかった語彙、表現、難しい文章などを特定し、checksheet に記入しておく。
復習：扱った TED talk の要約をし、checksheet に記入した事項を習得することができたか、確認する。
宿題：授業で扱った TED talk 関連で、適宜、授業時に示される課題を提出する。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
以下が授業で扱う TED talk です。予習復習する際に聴いて下さい。
TED TALK by Matt Cutts : Try Something New for 30 days
https://www.ted.com/talks/matt_cutts_try_something_new_for_30_days?language=ja
TED TALK by Tom Wujec : Build a Tower
https://www.ted.com/talks/tom_wujec_build_a_tower?language=ja
TED TALK by David Gallo: Underwater Astonishments
https://www.ted.com/talks/david_gallo_shows_underwater_astonishments/transcript
TED TALK by Jessi Arrington ： Wearing Nothing New
https://www.ted.com/talks/jessi_arrington_wearing_nothing_new?language=ja

【テキスト（教科書）】
TED TALKS 21st Century Reading 1 (Cengage Learning), ISBN 978-1-305-26459-5
その他、配布資料

【参考書】
https://www.ted.com
その他、授業中に適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】
評価基準：授業参加度（授業内での発言および Hoppii quiz）40 %、チェックシート 30 %、期末テスト 30 %
4 回以上の欠席で単位取得資格は失われます。3 回遅刻すると 1 回欠席としてカウントされます。30 分以上の遅刻は欠席とみなされます。

【学生の意見等からの気づき】
英語を用いる場をなるべく多く設けます。

【学生が準備すべき機器他】
この授業は Zoom で行われますので、大学の教室で受講の際には、マイク付きのヘッドセットが必要です。

【Outline and objectives】
This course is designed to increase the student's ability to develop their overall English Language skills while learning about specific topics of TED Talks. Students are expected to improve their reading/listening skills as well as to broaden their understanding of current issues.
[Overall Objectives]
To help students
· increase vocabulary
· improve their reading/listening comprehension skills
· understand speeches without translating into Japanese
· identify main ideas
· clarify the structure of a speech
· develop global and cross-cultural awareness
· develop creative and critical thinking skills

・effectively express their opinions on current issues

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：TED TALKS で知る現代社会:英語四技能を学ぶ

金谷　優子

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／日本語／現代の諸相
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期同様本授業では、TED TALKS のプレゼンテーションで繰り広げられた種々の独創的なアイディアに触れつつ、英語の 4 技能：読み、聴き、話し、書く—を総合的に身につけることを目標とします。グローバル化によって、ヒトやモノがますます流動的になっていくなか、世界中で様々な人々が独自の視点で現代社会を捉えて、自らの置かれた社会、そして人生と取り組んでいることを知ることは非常に重要です。本授業では、TED TALKS の英語のプレゼンテーションを聞き、理解を試みることによって英語コミュニケーションについての基本的な事柄の習得を目指す一方で、それぞれのプレゼンテーションの論理の組み立て方、独創性、着眼点について確認しつつ、受講者自らが現代社会について自分なりの考察を進めてゆくことを促します。

【到達目標】
・まとまった長さの英文の論理展開を正確に把握すること
・複雑な構文や語句を理解すること
・英文パラグラフの構造を読解を通じて学び、その知識を生かして、みずから論理的な文章が書けるようになること
・英語の音声を聴いて、必要な情報を得ること
・さまざまな意見を英語で理解し、それに対する自分の考えを英語で表現すること
・沢山の人々の独自の考えを聞いて、世界のありようについて自分なりの見解を持つようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
この授業はオンライン（リアルタイム配信型）です。すべての回を Zoom で実施します。
各トピックについてそれぞれを３部構成とします。第 1 部では、扱われたトピックについての基礎知識、読解についての重要な技術 (Reading Skills) について学びます。第 2 部では、実際に TED TALK の発表を聴き、またその script を読んで、プレゼンテーションの概要や詳しい内容についての理解がなされたかを確認します。また、セメスター終盤には、第３部として、学習したトピックをひとつ選び、更にリサーチを進め、TED での発表に関する自分の考えを英語で表現する場を設けます。
受講者は第１部から第３部を通しての学習事項をチェックシートに書き、トピック毎に提出し、フィードバックを受けます。
[第 1 部]
第 2 週 Topic: Architecture and Design
第 5 週 Topic: Communication/ Sociology
第 8 週 Topic: Visual Arts/ Sociology
[第 2 部]
第 3 週　：　TED TALK by Iwan Baan : Ingenious Homes in Unexpected Places
https://www.ted.com/talks/iwan_baan_ingenious_homes_in_unexpected_places?language=ja
第 6 週：　TED TALK by Kevin Allocca: Why Videos Go Viral
https://www.ted.com/talks/kevin_allocca_why_videos_go_viral?language=ja
第 9 週：　TED TALK by Candy Chang: Before I die, I want to …

https://www.ted.com/talks/candy_chang_before_i_die_i_want_to?language=ja
[第 3 部]
第 4 週　：　TED TALK by Iwan Baan : Ingenious Homes in Unexpected Places
https://www.ted.com/talks/iwan_baan_ingenious_homes_in_unexpected_places?language=ja
第 7 週：　TED TALK by Kevin Allocca: Why Videos Go Viral
https://www.ted.com/talks/kevin_allocca_why_videos_go_viral?language=ja
第 10 週：　TED TALK by Cindy Chang: Before I die, I want to …
https://www.ted.com/talks/candy_chang_before_i_die_i_want_to?language=ja
第 11 週~13 週：　Your favorite TED Talk
https://www.ted.com/

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 週	Introduction	授業進行、テキスト、評価方法についての説明
第 2 週	Unit6: Building Solutions	TED Talk by Iwan Baan Topic:Artchitecture and Design Lesson A Reading Skills: Organizing supporting details,... etc.
第 3 週	Unit6: Building Solutions	TED Talk by Iwan Baan Lesson B: Academic Skills: Understanding main ideas,summarizing ideas using a concept map,...etc.
第 4 週	Unit6: Building Solutions	TED Talk by Iwan Baan Expressing ideas on the topic
第 5 週	Unit 7: Roads to Fame	TED Talk by Kevin Allocca Topic:Communication/ Sociology Lesson A Reading Skills: Scanning for numbers,...etc.
第 6 週	Unit 7: Roads to Fame	TED Talk by Kevin Allocca Lesson B Academic Skills: Understanding main ideas,summarizing ideas using a concept map,...etc.
第 7 週	Unit 7: Roads to Fame	TED Talk by Kevin Allocca Expressing ideas on the topic
第 8 週	Unit 9: Community Voices	TED TALK by Candy Chang Lesson A Topic:Visual Arts / Sociology Reading Skills: Understanding a paragraph's purpose
第 9 週	Unit 9: Community Voices	TED TALK by Candy Chang Lesson B Topic:Visual Arts / Sociology Reading Skills: Understanding a paragraph's purpose
第 10 週	Unit 9: Community Voices	TED TALK by Candy Chang Expressing ideas on the topic
第 11 週	Review	Review
第 12 週	About TED talk	Finding the TED talk you like.
第 13 週	TED talk	Summarizing and expressing ideas
第 14 週	final test	final test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
準備学習：学生は、各 Unit で扱う TED talk についての予備知識（テキストに記載）を得るためにテキストを予習し、知らなかった語彙、表現、難しい文章などを特定し、checksheet に記入しておく。
復習：扱った TED talk の要約をし、checksheet に記入した事項を習得することができたか、確認する。
宿題：授業で扱った TED talk 関連で、適宜、授業時に示される課題を提出する。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
以下が授業で扱う TED talk です。予習復習する際に聴いて下さい。
TED TALK by Iwan Baan : Ingenious Homes in Unexpected Places
https://www.ted.com/talks/iwan_baan_ingenious_homes_in_unexpected_places?language=ja
TED TALK by Kevin Allocca: Why Videos Go Viral
https://www.ted.com/talks/kevin_allocca_why_videos_go_viral?language=ja
TED TALK by Cindy Chang: Before I die, I want to …
https://www.ted.com/talks/candy_chang_before_i_die_i_want_to?language=ja

【テキスト（教科書）】
TED TALKS 21st Century Reading 1 (Cengage Learning), ISBN 978-1-305-26459-5
その他、資料配布

【参考書】
https://www.ted.com
その他、授業中に適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】
評価基準：授業参加度（授業内での発言および Hoppii quiz）40 %、チェックシート 30 %、期末テスト（プレゼンテーション含む）30 %
4 回以上の欠席で単位取得資格は失われます。3 回遅刻すると 1 回欠席としてカウントされます。30 分以上の遅刻は欠席とみなされます。

【学生の意見等からの気づき】
英語を用いる場をなるべく増やします。

【学生が準備すべき機器他】
この授業は Zoom で行われますので、大学の教室で受講の際には、マイク付きのヘッドセットが必要です。

【Outline and objectives】
This course is designed to increase the student's ability to develop their overall English Language skills while learning about specific topics of TED Talks. Students are expected to improve their reading/listening skills as well as to broaden their understanding of current issues.
[Overall Objectives]
To help students
・increase vocabulary
・improve their reading/listening comprehension skills
・understand speeches without translating into Japanese
・identify main ideas
・clarify the structure of a speech
・develop global and cross-cultural awareness
・develop creative and critical thinking skills
・effectively express their opinions on current issues

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Reading the News

川澄　亜岐子

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／日本語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では、１年次に習得した四技能の英語運用能力を用いて、国際語としての英語を通じて世界の多様な文化を理解し、批判的に分析したうえで、英語で意見を発信する能力を養います。春学期は、英字新聞の記事を中心に扱い、英語で書かれたニュースについて自分の意見をまとめ、他者に伝えられるようになることを目指します。

【到達目標】
（１）英語で書かれたニュースの概要を理解できるようになる
（２）英語のニュースを読み、要点を英語で説明できるようになる
（３）英語のニュースを読み、自分の意見や考えを英語で論理的に伝えられるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
この授業は、ディスカッションと講義を組み合わせて進めます。授業の前半では、各自で興味のあるニュースの記事を選び、それに関するディスカッションをします。授業の後半は講義形式で、英字新聞や新聞記事の特徴について学びます。毎週、授業の冒頭で小テストを行います。授業中に出す課題は、内容によって、全体にコメントする場合と、個別の提出物にコメントをつけてお返しする場合があります。また、課題が複数の週にわたる場合は、クラスメイトと内容を共有したり、コメントし合うこともあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	授業の説明
Week 2	Getting to know your newspaper (1)	世界の英字新聞にはどのようなものがあるかを知る
Week 3	Getting to know your newspaper (2)	世界の主要な通信社を知る
Week 4	The structure of a newspaper (1)	ニュースのカテゴリを調べる
Week 5	The structure of a newspaper (2)	各自で選んだニュースを英語で紹介する
Week 6	News story structure (1)	新聞記事の構成を理解する
Week 7	News story structure (2)	新聞記事を要約する
Week 8	Headlines	見出しについて理解する
Week 9	What make a story news? (1)	News values を理解する
Week 10	What make a story news? (2)	News values を分析する
Week 11	What make a story news? (3)	バイアスやフェイク・ニュースについて考える
Week 12	Writing news story (1)	各自で「ニュース」の記事を書く
Week 13	Writing news story (2)	各自で書いた「ニュース」の記事を紹介する
Week 14	Course review and final exam	まとめ・学期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
毎週、授業で行う Discussion 用の資料を作成してください。詳細は初回の授業で説明します。

【テキスト（教科書）】
必要に応じて、授業中に資料を配布します。

【参考書】
適宜、指示します。

【成績評価の方法と基準】
- 平常点　50%
- 学期末課題　50%

原則として、4 回以上欠席すると単位の修得が認められません。

【学生の意見等からの気づき】
テキストの文章に基づいて行った Discussion が好評でした。今年度も、受講生同士で話し合ったり、議論したりする機会を積極的に設けたいと思います。

【その他の重要事項】
初回授業の実施方法は、学習支援システム（Hoppii）でお知らせします。必ず事前に確認の上、出席してください。

【Outline and objectives】
This course introduces various international cultural and social issues. The course will encourage students to consider their own culture and society within the an international context, and obtain new perspectives about current issues. In the Spring Semester, students are encouraged to become familiar with reading English newspaper articles. Students will review and discuss an overview of the English-language media via authentic materials. Through the course, students will develop their reading, writing, listening and speaking skills.
Students will be able to:
- read English newspaper articles and understand the main points
- summarize the outlines of newspaper articles
- logically express their opinion about an issue, in English

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Reading the News

川澄　亜岐子

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／日本語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では、１年次に習得した四技能の英語運用能力を用いて、国際語としての英語を通じて世界の多様な文化を理解し、批判的に分析したうえで、英語で意見を発信する能力を養います。秋学期は、春学期に学んだ内容に基づいて、英語系メディアについて広く学びます。無意識に持っている偏見（bias）や偽ニュース（Fake news）についても考え、ものごとに対する批判的な思考力を養うことを目指します。

【到達目標】
（1）ニュース番組形式の短い英語の映像を見て、内容を理解することができる
（2）英語系のニュースメディアについて、それぞれの特徴を理解する
（3）英語のニュース記事を批判的に検討し、自分の意見や考えを英語で論理的に伝えられるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
　この授業は、ディスカッションと講義を組み合わせて進めます。授業の前半では、各自で興味のあるニュースを選び、それに関するディスカッションをします。授業の後半は講義形式で、英語系メディアによるニュース報道の特徴について学びます。毎週、授業の冒頭で小テストを行います。授業中に出す課題は、内容によって、全体にコメントする場合と、個別の提出物にコメントをつけてお返しする場合があります。また、課題が複数の週にわたる場合は、クラスメイトと内容を共有したり、コメントし合うこともあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	授業の説明
Week 2	News Point	ニュース記事の時系列を分析する
Week 3	(More) Headlines (1)	見出しのルールを知る
Week 4	(More) Headlines (2)	ニュース記事の「見出し」を分析する
Week 5	Editorials	社説を読む
Week 6	Opinion articles	ニュース記事に見られる意見と事実を整理する
Week 7	Fake News	先入観を意識する
Week 8	Profiles (1)	インタビュー記事を読む
Week 9	Profiles (2)	インタビューをする
Week 10	Profiles (3)	インタビュー記事を書く
Week 11	Journalist's job (1)	ジャーナリストの仕事に関するテキストを鑑賞する
Week 12	Journalist's job (2)	ジャーナリストの仕事について話し合う
Week 13	Electronic media	メディアの特性を知る
Week 14	Course review and final exam	まとめ・学期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
毎週、授業で行う Discussion 用の資料を作成してください。詳細は初回の授業で説明します。

【テキスト（教科書）】
必要に応じて、授業中に資料を配布します。

【参考書】
適宜、指示します。

【成績評価の方法と基準】
- 平常点　50%
- 学期末課題　50%

原則として、4 回以上欠席すると単位の修得が認められません。

【学生の意見等からの気づき】
各自で課題を選び、他の受講生に紹介するアクティビティが効果的であったようです。今年度も、ディスカッションなどを通して、学生同士が互いに学び合う場を設けていきたいと思います。

【Outline and objectives】
This course introduces various cultural and social issues of the English speaking world. The course will encourage students to consider their own culture and society within an international context, and obtain new perspectives about current issues. Students are encouraged to critically analyze newspaper articles. Internet sources, broadcast media, and magazines will be reviewed during the Autumn Semester.
Through the course, students will develop their reading, writing, listening and speaking skills.
Students will be able to:
- describe the outline of a short video in form of a news program, in English
- understand the features of news media (newspapers, TV, Internet news sources, etc.)
- critically analyze news articles and logically express their opinion, in English

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**アメリカの地域と多様性**

須藤　祐二

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／日本語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
１年次に習得した４技能の英語運用能力に基づき、アメリカの地域ごとの文化的・社会的な特徴の一端を題材にしながら、英語資料の理解や英語で批判的に意見を発信する能力の向上を目指す。また、受講生は、日本の地域の文化的・社会的特徴を英語で発信する演習にも取り組むことが求められる。

【到達目標】
受講生は簡単な英語で書かれたものであれば、辞書にあまり頼らなくてもある程度正確に読めるようにする。
受講生は発信された内容をまとめ、論点を批判的にくみ取りながら自分の意見を英語で表現できるようにする。
世界に大きな影響力をもつアメリカについて、特に、地域ごとの文化や社会の多様性を学ぶ。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
受講生のレベルに合わせながら、ウォーム・アップとしてリスニングを行う。リーディング、ライティング、スピーキング（プレゼンテーション）にうち、各回に割り当てられた技能の演習を中心に進める。例えば、テキストを読む回では、語彙力の養成や構文の理解を重視する。内容理解の確認は内容を日本語でまとめることを通して行う。プレゼンテーションの回では、英語表現や構成の適切な使用だけでなく、発表時の姿勢やボディ・ランゲージなども指導する。
　英語パラグラフ・ライティングの指導の機会を作り、そこで確認したルールに従って、学期末にレポートを提出してもらう。
提出された課題のフィードバックは、授業中だけでなく、「学習支援システム」（Hoppii）を通じて行う。
この授業はハイブリッド型で行う。対面の週と Zoom の週がある。詳細は Hoppii で知らせるので、毎週、確認してください。大学の行動方針レベル２以上では Zoom で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	導入	授業のテーマの確認と授業方法の説明
2	Chapter1 (Boston) の精読とリスニング演習	Boston の歴史を読み、現代のこの都市についてのリスニング演習を行う
3	Chapter2 (Maine) の速読とリスニング演習	Maine の文化的特徴についてのエッセイを読み、大意をつかむ練習をする。リスニング演習を行う
4	Chapter3 (New York City1) の速読とスピーキング演習	New York 市と LGBT の歴史を読み、大意をつかむ練習をする。スピーキングの演習を行う
5	Chapter4 (New York City2) の精読とスピーキング演習	New York 市の地域ごとの多様性の記事を読み、スピーキングの演習を行う
6	プレゼンテーション原稿の作成方法	プレゼンテーションの構成や言葉遣いなどについての指導を行う
7	プレゼンテーション (1)	第１グループ）身の回りの生活用品や食文化等でアメリカ発のもの、または、日本のある地域の文化的な特色を取り上げて、その簡単な紹介を英語で行う。受講生同士で講評を行う
8	プレゼンテーション (2)	（第２グループ）身の回りの生活用品や食文化等でアメリカ発のもの、または、日本のある地域の文化的な特色を取り上げて、その簡単な紹介を英語で行う。受講生同士で講評を行う
9	Chapter5(Washington, D.C) の精読とリスニング演習	連邦政治の舞台としてのワシントン D.C について書かれたエッセイを読み、リスニング演習を行う
10	Chapter6(Charleston) の速読とリスニング演習	Charleston と南北戦争について学び、リスニング演習を行う
11	エッセイ・ライティングの準備 (1)	プレゼンテーションの原稿を参考または修正しながら、英語エッセイ・ライティングの基礎を学ぶ——エッセイ・ライティングの基本構造について リスニング演習を行う
12	エッセイ・ライティングの準備 (2)	プレゼンテーションの原稿を参考または修正しながら、英語エッセイ・ライティングの基礎を学ぶ——スタイルの選択がどのような影響をもたらすかについて リスニング演習を行う
13	アメリカのニュース記事の精読とライティング演習	与えられた記事について学生間で講評し、自分の意見を英語でまとめて書く
14	試験とまとめ	この授業で学んだことのまとめと振り返りを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
テキストの指定箇所および配布する資料の予習が必須となる。プレゼンテーションの回の前には、必ず原稿を作成して授業に出席する。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】
American Vibes: People, Places and Perspectives. （Todd Rucynski 他著、金星堂）
必ず英和・和英辞書を持参すること。
PC、タブレット、スマートフォン等の辞書アプリの使用は認めない。

【参考書】
特に指定しない。

【成績評価の方法と基準】
期末試験 50 %、ライティングの課題 25 %、授業の参加度合（スピーキングやプレゼンテーションも含む）25 %。4 回以上欠席した者は単位を認定しない。欠席回数や遅刻による減点もあるので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】
昨年度は Zoom で授業を行った。仮に 2021 年度に Zoom を使う場合には、学生によって通信環境がある程度の違うことを想定して、指示の単純化や課題の時間配分により一層注意する。

【学生が準備すべき機器他】
Zoom による授業を大学でうけるときには、自分用のマイク付きヘッドセットを用意すること。同じ授業を受けている学生が近くにいる状態でヘッドセットなしで授業を受けるとハウリングが起こり、授業に支障がでる。

【Outline and objectives】
Based on the English proficiency improved in the first year and by using as educational materials the cultural and social characteristics of American states and major cities, students develop further their ability to comprehend articles written in English and present their critical opinions in this language. Also, students will be demanded to present their opinions on the cultural and social characteristics of a region in Japan.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**アメリカの地域と多様性**

須藤　祐二

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／日本語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
１年次に習得した４技能の英語運用能力に基づき、アメリカの地域ごとの文化的・社会的な特徴の一端を題材にしながら、英語資料の理解や英語で批判的に意見を発信する能力の向上を目指す。また、受講生は、日本の地域の文化的・社会的特徴を英語で発信する演習にも取り組むことが求められる。

【到達目標】
受講生は簡単な英語で書かれたものであれば、辞書にあまり頼らなくてもある程度正確に読めるようにする。
受講生は発信された内容をまとめ、論点を批判的にくみ取りながら自分の意見を英語で表現できるようにする。
世界に大きな影響力をもつアメリカについて、特に、地域ごとの文化や社会の多様性を学ぶ。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
受講生のレベルに合わせながら、ウォーム・アップとしてリスニングを行う。リーディング、ライティング、スピーキング（プレゼンテーション）にうち、各回に割り当てられた技能の演習を中心に進める。例えば、テキストを読む回では、語彙力の養成や構文の理解を重視する。内容理解の確認は内容を日本語でまとめることを通して行う。プレゼンテーションの回では、英語表現や構成の適切な使用だけでなく、発表時の姿勢やボディ・ランゲージなども指導する。
　英語パラグラフ・ライティングの指導の機会を作り、そこで確認したルールに従って、学期末にレポートを提出してもらう。
　提出された課題のフィードバックは、授業中だけでなく、「学習支援システム」（Hoppii）を通じて行う。
この授業はハイブリッド型で行う。対面の週と Zoom の週がある。詳細は Hoppii で知らせるので、毎週、確認してください。大学の行動方針レベル２以上では Zoom で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	春学期の復習と秋学期の授業の概要説明	春学期に学んだことの振り返りを行い、秋学期の授業でなにを学ぶかを説明する
2	Chapter7 (Savannah) の精読とリスニング演習	Savannah の記事および DVD でその観光資源について学ぶ。リスニング演習を行う
3	Chapter9 (Austin) の速読とリスニング演習	Austin の文化的特徴についての紹介文を読み、大意をつかむ練習をする。リスニング演習を行う
4	Chapter10 (Saint Jo, Texas) の速読とスピーキング演習	Texas の紹介文を読み、大意をつかむ練習をする。スピーキングの演習を行う

5	Chapter11 (Santa Fe, New Mexico) の精読とスピーキング演習	Santa Fe の歴史についての記事を読み、スピーキングの演習を行う
6	Chapter12(Arizona) の精読とスピーキング演習	Route 66 の文化的な意味についての記事を読み、スピーキングの演習を行う
7	プレゼンテーション (1)	（第１グループ）身の回りの生活用品や食文化等でアメリカ発のもの、または、日本のある地域の文化的な特色を取り上げて、その簡単な紹介を英語で行う。春学期とは別のものを扱い、少し長く深いプレゼンテーションを行う。 受講生同士で講評を行う
8	プレゼンテーション (2)	（第２グループ）身の回りの生活用品や食文化等でアメリカ発のもの、または、日本のある地域の文化的な特色を取り上げて、その簡単な紹介を英語で行う。春学期とは別のものを扱い、少し長く深いプレゼンテーションを行う。 受講生同士で講評を行う
9	Chapter 13(Los Angeles 1) の精読とリスニング演習	ハリウッドについて書かれたエッセイを読み、リスニング演習を行う
10	Chapter 14(Los Angeles 2) の速読とリスニング演習	Los Angeles の多様な食文化について学び、リスニング演習を行う
11	エッセイ・ライティングの準備 (1)	プレゼンテーションの原稿を参考または修正しながら、英語エッセイ・ライティングの基礎を学ぶ――春学期とは違うスタイルでエッセイを書く リスニング演習を行う
12	エッセイ・ライティングの準備 (2)	プレゼンテーションの原稿を参考または修正しながら、英語エッセイ・ライティングの基礎を学ぶ――スタイルの選択がどのような影響をもたらすかについて リスニング演習を行う
13	アメリカのニュース記事の精読とライティング演習	与えられた記事について学生間で講評し、自分の意見を英語でまとめて書く
14	試験とまとめ	この授業で学んだことのまとめと振り返りを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
テキストの指定箇所および配布する資料の予習が必須となる。プレゼンテーションの回の前には、必ず原稿を作成して授業に出席する。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】
American Vibes: People, Places and Perspectives. （Todd Rucynski 他著、金星堂）
必ず英和・和英辞書を持参すること。
PC、タブレット、スマートフォン等の辞書アプリの使用は認めない。

【参考書】
特に指定しない。

【成績評価の方法と基準】
期末試験 50 %、ライティングの課題 25 %、授業の参加度合（スピーキングやプレゼンテーションも含む）25 %。4 回以上欠席した者は単位を認定しない。欠席回数や遅刻による減点もあるので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】
昨年度は Zoom で授業を行った。仮に 2021 年度に Zoom を使う場合には、学生によって通信環境がある程度の違うことを想定して、指示の単純化や課題の時間配分により一層注意する。

【学生が準備すべき機器他】
Zoom による授業を大学でうけるときには、自分用のマイク付きヘッドセットを用意すること。同じ授業を受けている学生が近くにいる状態でヘッドセットなしで授業を受けるとハウリングが起こり、授業に支障がでる。

【Outline and objectives】
Based on the English proficiency improved in the first year and by using as educational materials the cultural and social characteristics of American states and major cities, students develop further their ability to comprehend articles written in English and present their critical opinions in this language. Also, students will be demanded to present their opinions on the cultural and social characteristics of a region in Japan.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：NHK の英語インタビュー番組を観て、世界を動かす声を聞く

萩原　眞一

開講時期：春学期授業/Spring ｜ 曜日・時限：金 4/Fri.4
単位数：1 単位
営 2 年：中級／日本語／世界の中の日本
他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
大学生として必要とされる標準的な英語力を堅固なものにしながら、さらに向上させることを目標とします。
授業は 4 技能（リーディング、ライティング、リスニング、およびスピーキング）の学習を中心に行います。春学期と秋学期のリーディング、リスニング、スピーキングの教科書としては、NHK の英語インタビュー番組 Direct Talk より 15 本が精選され、それぞれに Sharing Our Views、Building Background、Understanding the Main Topic などの設問が付けられた形式のものを使用します。毎回授業中に DVD を視聴し、親しみやすい英文に数多く触れてもらうことによって、リーディング、リスニング、スピーキングの能力の向上を図ります。
また、春学期・秋学期を通じて、グラマーとライティングの能力の向上も目指します。ライティングについては、人文科学系の論文を書く上で役立つ表現法の習得を目標にします。

【到達目標】
学生が教科書の英文記事および付属問題を容易に聴解できること。学生が教科書の英文記事を、パラグラフと文の構造に留意しながら、正確に読解できること。最終的には学生が 100 点満点に換算した成績評価の基準点においてほぼ 60 点以上を獲得できること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
毎授業、講義と演習を繰り返します。課した宿題をその都度点検し、必要に応じて指導します。
なお、大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンラインで行います。詳細は学習支援システムで伝達します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	Voice 1 "Ride-Hailing Innovation: Creating Jobs through Technology" Part 1	DVD を活用して Part 1 のインタビューの聴解と読解を確実なものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。プリント教材を使用しライティングの向上を目指します。
第 2 回	Voice 1 "Ride-Hailing Innovation: Creating Jobs through Technology" Part 2	DVD を活用して Part 2 のインタビューの聴解と読解を確実なものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。
第 3 回	Voice 2 "Bringing Medicine to the African Backcountry" Part 1	DVD を活用して Part 1 のインタビューの聴解と読解を確実なものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。プリント教材を使用しライティングの向上を目指します。
第 4 回	Voice 2 "Bringing Medicine to the African Backcountry" Part 2	DVD を活用して Part 2 のインタビューの聴解と読解を確実なものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。
第 5 回	Voice 3 "Saving Children in Poverty through Music" Part 1	DVD を活用して Part 1 のインタビューの聴解と読解を確実なものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。プリント教材を使用しライティングの向上を目指します。
第 6 回	Voice 3 "Saving Children in Poverty through Music" Part 2	DVD を活用して Part 2 のインタビューの聴解と読解を確実なものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。
第 7 回	中間的な総括・試験	主に教科書に準拠した試験を実施し、聴解力・読解力・文法力・語彙力・作文力の到達度を測定します。
第 8 回	Voice 4 "The Matcha Business: A Maverick Spirit" Part 1	DVD を活用して Part 1 のインタビューの聴解と読解を確実なものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。プリント教材を使用しライティングの向上を目指します。
第 9 回	Voice 4 "The Matcha Business: A Maverick Spirit" Part 2	DVD を活用して Part 2 のインタビューの聴解と読解を確実なものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。
第 10 回	Voice 5 "French Refugee Integration" Part 1	DVD を活用して Part 1 のインタビューの聴解と読解を確実なものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。プリント教材を使用しライティングの向上を目指します。
第 11 回	Voice 5 "French Refugee Integration" Part 2	DVD を活用して Part 2 のインタビューの聴解と読解を確実なものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。
第 12 回	Voice 6 "The Power of Biologging" Part 1	DVD を活用して Part 1 のインタビューの聴解と読解を確実なものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。プリント教材を使用しライティングの向上を目指します。
第 13 回	Voice 6 "The Power of Biologging" Part 2	DVD を活用して Part 2 のインタビューの聴解と読解を確実なものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。
第 14 回	全体的な総括・試験	主に教科書に準拠した試験を実施し、聴解力・読解力・文法力・語彙力・作文力の到達度を測定します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
次回に行われる授業範囲を予習してください。授業中に強調した重要事項は必ず復習してください。適宜、宿題を出します。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
小林めぐみ他編著『Inspiring Voices: 15 Interviews from NHK Direct Talk ―世界を変える声を聞く』（金星堂、2021 年）2600 円（税別）

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
中間試験（40 点）と期末試験（40 点）を実施し、複数回行うリスニングの小テスト（20 点）を勘案した上で、100 点満点に換算した基準点を割り出し、ほぼ 60 点以上を獲得した場合、合格とします。リスニングの小テストに関しては初回授業で説明します。各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】
毎授業、講義と演習を繰り返します。

【学生が準備すべき機器他】
学習支援システムを適宜使用するので、情報機器の準備を望みます。

【Outline and objectives】
The purpose of this course is to encourage participants to develop their reading, listening, and speaking abilities by use of 15 interviews from NHK Direct Talk. Participants can learn about up-to-date research and development in science and technology, social welfare, and fashion etc.
This course also aims to improve the academic writing skill participants will be asked to gain as undergraduates.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：NHK の英語インタビュー番組を観て、世界を動かす声を聞く

萩原　眞一

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／日本語／世界の中の日本
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
大学生として必要とされる標準的な英語力を堅固なものにしながら、さらに向上させることを目標とします。
授業は 4 技能（リーディング、ライティング、リスニング、およびスピーキング）の学習を中心に行います。春学期と秋学期のリーディング、リスニング、スピーキングの教科書としては、NHK の英語インタビュー番組 Direct Talk より 15 本が精選され、それぞれに Sharing Our Views、Building Background、Understanding the Main Topic などの設問が付けられた形式のものを使用します。毎回授業中に DVD を視聴し、親しみやすい英文に数多く触れてもらうことによって、リーディング、リスニング、スピーキングの能力の向上を図ります。
また、春学期・秋学期を通じて、グラマーとライティングの能力の向上も目指します。ライティングについては、人文科学系の論文を書く上で役立つ表現法の習得を目標にします。

【到達目標】
学生が教科書の英文記事および付属問題を容易に聴解できること。学生が教科書の英文記事を、パラグラフと文の構造に留意しながら、正確に読解できること。最終的には学生が 100 点満点に換算した成績評価の基準点においてほぼ 60 点以上を獲得できること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
毎授業、講義と演習を繰り返します。課した宿題をその都度点検し、必要に応じて指導します。
なお、大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンラインで行います。詳細は学習支援システムで伝達します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	Voice 7 "Farming Is the Future" Part 1	DVD を活用して Part 1 のインタビューの聴解と読解を確実なものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。プリント教材を使用しライティングの向上を目指します。
第 2 回	Voice 7 "Farming Is the Future" Part 2	DVD を活用して Part 2 のインタビューの聴解と読解を確実なものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。
第 3 回	Voice 8 "New Challenge s for a Fashion Giant" Part 1	DVD を活用して Part 1 のインタビューの聴解と読解を確実なものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。プリント教材を使用しライティングの向上を目指します。

第 4 回	Voice 8 "New Challenge s for a Fashion Giant" Part 2	DVD を活用して Part 2 のインタビューの聴解と読解を確実なものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。
第 5 回	Voice 9 "Helping the Socially Vulnerable" Part 1	DVD を活用して Part 1 のインタビューの聴解と読解を確実なものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。プリント教材を使用しライティングの向上を目指します。
第 6 回	Voice 9 "Helping the Socially Vulnerable" Part 2	DVD を活用して Part 2 のインタビューの聴解と読解を確実なものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。
第 7 回	中間的な総括・試験	主に教科書に準拠した試験を実施し、聴解力・読解力・文法力・語彙力・作文力の到達度を測定します。
第 8 回	Voice 10 "The Danish Recipe for Happiness" Part 1	DVD を活用して Part 1 のインタビューの聴解と読解を確実なものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。プリント教材を使用しライティングの向上を目指します。
第 9 回	Voice 10 "The Danish Recipe for Happiness" Part 2	DVD を活用して Part 2 のインタビューの聴解と読解を確実なものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。
第 10 回	Voice 11 "Knitting the Future by Hand" Part 1	DVD を活用して Part 1 のインタビューの聴解と読解を確実なものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。プリント教材を使用しライティングの向上を目指します。
第 11 回	Voice 11 "Knitting the Future by Hand" Part 2	DVD を活用して Part 2 のインタビューの聴解と読解を確実なものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。
第 12 回	Voice 12 "Towards a Zero-Waste Future" Part 1	DVD を活用して Part 1 のインタビューの聴解と読解を確実なものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。プリント教材を使用しライティングの向上を目指します。
第 13 回	Voice 12 "Towards a Zero-Waste Future" Part 2	DVD を活用して Part 2 のインタビューの聴解と読解を確実なものとします。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。
第 14 回	全体的な総括・試験	主に教科書に準拠した試験を実施し、聴解力・読解力・文法力・語彙力・作文力の到達度を測定します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
次回に行われる授業範囲を予習してください。授業中に強調した重要事項は必ず復習してください。適宜、宿題を出します。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
小林めぐみ他編著『Inspiring Voices: 15 Interviews from NHK Direct Talk ―世界を変える声を聞く』（金星堂、2021 年）2600 円（税別）

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
中間試験（40 点）と期末試験（40 点）を実施し、複数回行うリスニングの小テスト（20 点）を勘案した上で、100 点満点に換算した基準点を割り出し、ほぼ 60 点以上を獲得した場合、合格とします。リスニングの小テストに関しては初回授業で説明します。各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】
毎授業、講義と演習を繰り返します。

【学生が準備すべき機器他】
学習支援システムを適宜使用するので、情報機器の準備を望みます。

【Outline and objectives】
The purpose of this course is to encourage participants to develop their reading, listening, and speaking abilities by use of 15 interviews from NHK Direct Talk. Participants can learn about up-to-date research and development in science and technology, social welfare, and fashion etc.
This course also aims to improve the academic writing skill participants will be asked to gain as undergraduates.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**海外から見た日本文化の諸相**

渡辺　英依美

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／日本語／世界の中の日本
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業の目的は、英語の四技能を磨くと共に、日本文化の諸相を国際的な視点から捉えることにある。教材には狭義の文献に限らず、多様な映像メディアも使用する。

【到達目標】
この授業を履修することにより、以下の技能の獲得が期待される。
(1) 四技能にわたる総合的な英語の運用力を身につける。
(2) 日本文化の特徴について世界的な視点から理解する。
(3) 英語資料を批判的に分析し、それについて自分の意見を英語で述べることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
反転形式で進めるので、テキストの予習が必須である。受講生は毎週発表を求められる。授業では各自の理解を確認し、関連する知識を深めていく。このクラスでは狭義の読解を超えて、自ら英語で発信する力も育成する。各課題や中間テストの結果は翌週の授業内に講評する。
大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Guidance	Outlining course content
2	Chapter 1: Herbivorous males	Reading and discussion
3	News/Video 1	Reading and watching news articles
4	Chapter 2: Galapagized Japan	Reading and discussion
5	News/Video 2	Reading and watching news articles
6	Chapter 3: Uniformity	Reading and discussion
7	Mid-semester Exam News/Video 3	Mid-semester examination Reading and watching news articles
8	Review of the exam Chapter 4: Universities in Japan	Review of the exam Reading and discussion
9	News/Video 4	Reading and watching news articles
10	Chapter 5: English as a Lingua Franca	Reading and discussion
11	News/Video 5	Reading and watching news articles
12	Chapter 7: Immigrants Needed	Reading and discussion
13	News/Video 6	Reading and watching news articles
14	Summary and Final Exam	Review and final examination

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習が必須。個々の単語を和訳するだけではなく、構文・論旨を正確に把握し、設問等にも答えられるよう準備しておくこと。本授業の予復習は 1 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】
Stapleton, P. (2012). *Good Bye, Galapagos: Evolving Aspects of Japanese Society*. Cengage Learning. [￥1,850（税別）]

【参考書】
英英辞典。他は必要に応じて授業内に指示する。

【成績評価の方法と基準】
授業中の発表・課題の提出 25 %
中間試験 35%
期末試験 40 %
欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位を修得できない。

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【Outline and objectives】
Students will learn how Japanese culture is seen from a global perspective, while developing the four skills of reading, writing, speaking and listening. Video clips will be used in addition to a variety of written materials. By the end of the course, students will be able to express their thoughts and opinions on related issues in English.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**海外から見た日本文化の諸相**

渡辺　英依美

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／日本語／世界の中の日本
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業の目的は、英語の四技能を磨くと共に、日本文化の諸相を国際的な視点から捉えることにある。教材には狭義の文献に限らず、多様な映像メディアも使用する。

【到達目標】
この授業を履修することにより、以下の技能の獲得が期待される。
(1) 四技能にわたる総合的な英語の運用力を身につける。
(2) 日本文化の特徴について世界的な視点から理解する。
(3) 英語資料を批判的に分析し、それについて自分の意見を英語で述べることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
反転形式で進めるので、テキストの予習が必須である。受講生は毎週発表を求められる。授業では各自の理解を確認し、関連する知識を深めていく。このクラスでは狭義の読解を超えて、自ら英語で発信する力も育成する。各課題や中間テストの結果は翌週の授業内に講評する。
大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Guidance	Outlining course content
2	Chapter 8: Manga	Reading and discussion
3	News/Video 1	Reading and watching news articles
4	Chapter 10: Distinctive Kansai	Reading and discussion
5	News/Video 2	Reading and watching news articles
6	Chapter 11: Fewer Japanese Students Studying Abroad	Reading and discussion
7	Mid-semester Exam News/Video 3	Mid-semester examination Reading and watching news articles
8	Review of the exam Chapter 12: Japanese Quality Food	Review of the exam Reading and discussion
9	News/Video 4	Reading and watching news articles
10	Chapter 13: Craze Culture	Reading and discussion
11	News/Video 5	Reading and watching news articles
12	Chapter 15: Good News Japan	Reading and discussion
13	News/Video 6	Reading and watching news articles
14	Summary and Final Exam	Review and final examination

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習が必須。個々の単語を和訳するだけではなく、構文・論旨を正確に把握し、設問等にも答えられるよう準備しておくこと。本授業の予復習は 1 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】
Stapleton, P. (2012). *Good Bye, Galapagos: Evolving Aspects of Japanese Society*. Cengage Learning. [￥1,850（税別）]

【参考書】
英英辞典。他は必要に応じて授業内に指示する。

【成績評価の方法と基準】
授業中の発表・課題の提出 25 %
中間試験 35%
期末試験 40 %
欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位を修得できない。

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【Outline and objectives】
Students will learn how Japanese culture is seen from a global perspective, while developing the four skills of reading, writing, speaking and listening. Video clips will be used in addition to a variety of written materials. By the end of the course, students will be able to express their thoughts and opinions on related issues in English.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Aspects of the English Speaking World

TOBY TRAUB

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／英語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Learning English for communicating in a global society.

【到達目標】
This course is designed to develop language skills necessary for students to express themselves in English. The emphasis is on oral communication, and we will practice listening and speaking skills. Students will also practice writing paragraphs and short essays.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Students will participate in a variety of activities that involve all four skills of reading, writing, listening and speaking. Students will be asked to read short articles, prepare for discussion by briefly writing their opinions, and then participate in discussions, usually in pairs. Reading comprehension will be checked, and new vocabulary will be reviewed after matching activities.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Course orientation	Getting to know each other; student introductions & class guidelines. handout discussion activities
2	Unit 1: Getting to Know Each Other Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment..
3	Unit 1 Environmental Issues Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
4	The Way we Live Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
5	Unit 2 Technology: Friend or Foe Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
6	Unit 2 Political Refugees Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
7	Protests and dissent Research report/ mini- Presentations Connecting the dots Love and Loss Death	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
8	Music and Art Unit 3: Global thinking Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
9	Unit 3: Seize the day Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.

10	Unit 3: Swim against the stream. Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
11	Unit 4: What will your verse be? Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
12	The road less traveled. Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment. Tips for the Quiz
13	Meritocracy and Theocracy Quiz Song lesson	Quiz Song lesson
14	Wrap-up	Go over quiz Speaking activity

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students are expected to complete a writing assignment every week in preparation for discussion. This writing assignment will usually require research. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course

【テキスト（教科書）】
There is no textbook. Handouts will be given in class.

【参考書】
These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments.
https://japantoday.com/
https://www.japantimes.co.jp/news/
https://www.yahoo.com/news/
http://www.bbc.com/news
https://news.google.com/news/

【成績評価の方法と基準】
Class participation: 40%
Quizzes, writing assignments, presentations:60%
Departmental guidelines state that more than three absences will result in automatic failure of the course.
Obviously, when you are absent, it will hurt your class participation grade.

【学生の意見等からの気づき】
Not applicable

【学生が準備すべき機器他】
Always bring a dictionary to class (paper or electronic OK). Translation software is strictly forbidden. You may use your phone in class ONLY for a dictionary app. Or, on a rare occasion, they could be used for purposes related to the class. I recommend using a dedicated electronic dictionary.

【その他の重要事項】
This is a challenging course, but you will learn a lot, and improve your English a lot. Because the course is challenging, you will have a proud sense of accomplishment when you have finished the course.
This syllabus is subject to revision, and likely will change based on the students' needs, and topics will be based on relevant social issues of the moment.

【Outline and objectives】
This is a content based course with the objective of helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of the world with an emphasis on American social, political, and popular culture.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Aspects of the English Speaking World

TOBY TRAUB

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／英語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Learning English for communicating in a global society.

【到達目標】
This course is designed to develop language skills necessary for students to express themselves in English. The emphasis is on oral communication, and we will practice listening and speaking skills. Students will also practice writing paragraphs and short essays.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Students will participate in a variety of activities that involve all four skills of reading, writing, listening and speaking. Students will be asked to read short articles, prepare for discussion by briefly writing their opinions, and then participate in discussions, usually in pairs. Reading comprehension will be checked, and new vocabulary will be reviewed after matching activities.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Welcome back	What I did over summer break. Recent happenings in the news. Research and writing assignment.
2	Homelessness Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment..
3	Art and War Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
4	Human Compassion Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
5	Is telling lies bad? Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Listening activity Homework: Conversation preparation writing assignment.
6	Immigration good, or bad? Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Listening activity Homework: Conversation preparation writing assignment.
7	How neighborhoods happen. Introduce big presentation. Create teams. Go over expectations.	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Listening activity Homework: Conversation preparation writing assignment.
8	Rules versus freedom Presentation topics due. Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Listening activity Homework: Conversation preparation writing assignment.
9	Japan surveillance state. Outline of presentations due. Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.

10	Fabulous Japan Draft of words of presentations due. Current events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
11	Christmas and holidays. 5 Powerpoints due Christmas/holiday comprehension skill building activity.Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
12	Presentation Day.	Tips for the Quiz
13	Song lesson My Winter break Pandemics	Song lesson Discussion activity. No homework except to study for big quiz.
14	Big quiz	Quiz Games Puzzle

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students are given a writing assignment almost every week. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course

【テキスト（教科書）】
There is no textbook. Handouts will be given in class.

【参考書】
These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments.
https://japantoday.com/
https://www.japantimes.co.jp/news/
https://www.yahoo.com/news/
http://www.bbc.com/news
https://news.google.com/news/

【成績評価の方法と基準】
Class participation: 40%
Quizzes, writing assignments, presentations:60%
Departmental guidelines state that more than three absences will result in automatic failure of the course.
Obviously, when you are absent, it will hurt your class participation grade.

【学生の意見等からの気づき】
Not applicable

【学生が準備すべき機器他】
Always bring a dictionary to class (paper or electronic OK). Translation software is strictly forbidden. You may use your phone in class ONLY for a dictionary app. Or, on a rare occasion, they could be used for purposes related to the class. I recommend using a dedicated electronic dictionary.

【その他の重要事項】
This is a challenging course, but you will learn a lot, and improve your English a lot. Because the course is challenging, you will have a proud sense of accomplishment when you have finished the course.

【Outline and objectives】
This is a content based course aimed at helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of American culture.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：English Speaking World: From Science to Business I

GENC BURCU

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／英語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
In this course, students will improve their confidence and skills in overall English communication while familiarizing themselves with the contemporary cultural, political, social concerns of the English speaking world.

【到達目標】
In this course, students will read a variety of content-based articles, and readings will be supplemented with listening exercises to help students improve their fluency in English. The classes are designed for pair and group discussions to provide the students with a friendly environment to express themselves in English. Students will also be required to complete some writing tasks such as paragraphs and short essays to express their ideas in a more organized way.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Students will participate in a variety of activities that involve all four skills, but with a special emphasis on reading and speaking. Students will be asked to read short articles, prepare for discussion, usually in pairs or groups. Feedback on all assignments will be provided during the class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Course orientation	Getting to know each other; student introductions & class guidelines.
2	Unit 1: Starting Up What is leadership?	To warm up, students will make some discussion on the main topic of the unit. They will start reading the assigned article.
3	Unit 1: Starting Up Famous Leaders of the English Speaking World	Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.
4	Unit 1: Starting Up How to Start a Movement	Listening exercise and a supplemental newspaper article on the topic to expand the discussion. Writing assignment.
5	Unit 2: Fragile Forests Environmental Issues of the Age	To warm up, students will make some discussion on the main topic of the unit. They will start reading the assigned article.
6	Unit 2: Fragile Forests	Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.
7	Unit 2: Fragile Forests Conserving the Canopy	Listening exercise and a supplemental newspaper article on the topic to expand the discussion. Writing assignment.
8	Group Presentations Unit 3:Bright Ideas Advances in the Medical Field in the English Speaking World	Each group will deliver a presentation following the course contents and objectives. In the remaining time, students will start with unit 3 topic discussion.
9	Unit 3: Bright Ideas Big Problems, Simple Solutions	Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.
10	Unit 3: Bright Ideas A Warm Embrace that Saves Lives	Listening exercise and a supplemental newspaper article on the topic to expand the discussion. Writing assignment.
11	Unit 4:Game Changers Gaming and Teenagers in the English Speaking World	To warm up, students will make some discussion on the main topic of the unit. They will start reading the assigned article.
12	Unit 4: Game Changers Is Gaming Good for you?	Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.
13	Unit 4: Game Changers Gaming can make a better world?	Listening exercise and a supplemental newspaper article on the topic to expand the discussion. Writing assignment.
14	Final Exam	Final exam of the semester will be conducted

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students are expected to complete assignments every week in preparation for discussion. The assignments might require research.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
21st Century Reading: Creative thinking and reading with TED talks 2, Cengage Publishing and written by Laurie Blass, and Jessica Williams. ￥ 2840
Additional newspaper articles will also be provided by the instructor in class.

【参考書】
These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments.
https://japantoday.com/

https://www.japantimes.co.jp/news/
https://www.yahoo.com/news/
http://www.bbc.com/news
https://news.google.com/news/

【成績評価の方法と基準】
Class participation: 20%
Group Presentation: 30%
Writing assignments: 10%
Final Exam: 40%
More than 3 absences will result in automatic failure of the course.

【学生の意見等からの気づき】
Listening exercises will be emphasized more.

【Outline and objectives】
This is a course aiming to assist students in gaining fluency in English to sharing their ideas on business and science related content popularly discussed in the English speaking world.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：English Speaking World: From Science to Business II

GENC BURCU

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／英語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This is the second part of the course, “English Speaking World: From Science to Business” aiming to continue helping students to gain fluency in English and express their ideas on science and business related content popularly discussed in the English speaking world.

【到達目標】
In this course, students will read a variety of content-based articles, and readings will be supplemented with listening exercises to help students improve their fluency in English. The classes are designed for pair and group discussions to provide the students with a friendly environment to express themselves in English. Students will also be required to complete some writing tasks such as paragraphs and short essays to express their ideas in a more organized way.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
Students will participate in a variety of activities that involve all four skills, but with a special emphasis on reading and speaking. Students will be asked to read short articles, prepare for discussion, usually in pairs or groups. Feedback on all assignments will be provided during the class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Course orientation	Introduction & class guidelines.
2	Unit 5: Lessons in Learning Engaging Learners	To warm up, students will make some discussion on the main topic of the unit. They will start reading the assigned article.
3	Unit 5: Lessons in Learning Technology in the Classroom	Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.
4	Unit 5: Lessons in Learning The Key to Success?	Listening exercise and a supplemental newspaper article on the topic to expand the discussion. Writing assignment.

5	Unit 6: Food for Life Food Revolution	To warm up, students will make some discussion on the main topic of the unit. They will start reading the assigned article.
6	Unit 6: Food for Life Teaching Children about Food	Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.
7	Unit 6: Food for Life Famous Cook: Jamie Oliver	Listening exercise and a supplemental newspaper article on the topic to expand the discussion. Writing assignment.
8	Group Presentations Unit 7: Body Signs Non-verbal Communication	Each group will deliver a presentation following the course contents and objectives. In the remaining time, students will start with unit 3 topic discussion.
9	Unit 7: Body Signs Power of Body Language	Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.
10	Unit 7: Body Signs Your Body Language Shapes Who You are	Listening exercise and a supplemental newspaper article on the topic to expand the discussion. Writing assignment.
11	Unit 8: Energy Builders Innovative Ideas	To warm up, students will make some discussion on the main topic of the unit. They will start reading the assigned article.
12	Unit 8: Energy Builders Engineers of the Future	Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.
13	Unit 8: Energy Builders Harnessing the Wind	Listening exercise and a supplemental newspaper article on the topic to expand the discussion. Writing assignment.
14	Final Exam	Final exam of the semester will be conducted

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students are expected to complete assignments every week in preparation for discussion. The assignments might require research.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
21st Century Reading: Creative thinking and reading with TED talks 2, Cengage Publishing and written by Laurie Blass, and Jessica Williams (The same textbook from part I). ￥ 2840
Additional newspaper articles will also be provided by the instructor in class.

【参考書】
These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments.
https://japantoday.com/
https://www.japantimes.co.jp/news/
https://www.yahoo.com/news/
http://www.bbc.com/news
https://news.google.com/news/

【成績評価の方法と基準】
Class participation: 20%
Group Presentation: 30%
Writing assignments: 10%
Final Exam: 40%
More than 3 absences will result in automatic failure of the course.

【学生の意見等からの気づき】
Listening exercises will be emphasized more

【Outline and objectives】
In this course, students will improve their confidence and skills in overall English communication while familiarizing themselves with the contemporary cultural, political, social concerns of the English speaking world.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Japan In The World

ジョナサン・エイブル

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／英語／世界の中の日本
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English.
Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.

【到達目標】
Students will read, write hear and speak about topics relevant to their lives, studies and futures. The main sources will be in British English, but cultures across the world - not only Anglophone - will be included in the sources used.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
This is a hybrid class, and we will meet some weeks in person and some weeks on Zoom.
Please see Hoppii for details.In each class reading and listening materials will be the starting point for discussion and information processing. In alternate weeks a writing exercise will be included with an emphasis on accurate self-expression. This work will be returned individually with corrections and comments.
There will also be a group presentation exercise which will focus on cooperative communication and public speaking.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction.	Class methods and familiarisation with types of material.
2	A Place in the World 1	Global Perspectives.
3	A Place in the World 2	How Japan is Viewed Abroad.
4	Tradition 1	How History Informs our Present.
5	Tradition 2	Tradition Acros the English Speaking World.
6	Popular Culture 1	The Fast Pace of Fashion.
7	Popular Culture 2	How Japanese Popular Culture Influences Others
8	Presentation Preparation	Topics, Groups and Ideas.
9	Presentations	Group Presentations In Class.
10	Media 1	Where We Get our News.
11	Media 2	Advertising and Commercial Communication.
12	Media 3	Movies and TV. How Entertainment Works.
13	Hello and Goodbye.	How We Meet and Take Our Leave.
14	Final Examination.	Self-assessment and Interviews.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Text Previews and Preparation for Presentations in class will be expected. The task will be set each week as required.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
Materials will be provided. See references.

【参考書】
NHK/NHK Educational
Japan Times
BBC News
British Council online resources (Word on the Street et al.)
Channel 4 News (UK)
CNN
Newspapers, Magazines and Periodicals as relevant.

【成績評価の方法と基準】
Writing 25%
Presentation 15%
Class Participation 30%
Final Interview Test 30%
In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】
N/A

【Outline and objectives】
English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English.
Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：Japan In The World

ジョナサン・エイブル

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／英語／世界の中の日本
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English. In part II we will continue this journey through intercultural exploration.
Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.

【到達目標】
Students will read, write hear and speak about topics relevant to their lives, studies and futures. The main sources will be in British English, but cultures across the world - not only Anglophone - will be included in the sources used.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
This is a hybrid class, and we will meet some weeks in person and some weeks on Zoom.
Please see Hoppii for details.In each class reading and listening materials will be the starting point for discussion and information processing. In alternate weeks a writing exercise will be included with an emphasis on accurate self-expression. This work will be returned individually with corrections and comments.
There will also be a group presentation exercise which will focus on cooperative communication and public speaking.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction to Part II	Review and Look Forward.
2	Language.	How Languages Feed Each Other in a Globalising World.
3	Art.	Historical and Modern Views of Japanese Visual Art.
4	Performance.	How Japanese Performing Arts Influence the Worlds of Theatre and Dance.
5	Film.	Cross-cultural Storytelling.
6	Food 1.	What we Eat and Why.
7	Food 2.	Where and How we Eat.
8	Presentation Preparation.	Topics Groups and Planning.
9	Presentation.	Group Presentations in Class.
10	Travel.	From Commuters to Tourists.
11	Transport.	How Mobility Shapes Social Behaviour.
12	Soocial issues 1.	Ageing and Booming Populations
13	Social Issues 2.	Crime and Punishment.
14	Final Examination.	Self-assessment and Interview.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Text reading and review and presentation preparation will be required. Tasks will be set each week as appropriate.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
Materials will be provided. See References.

【参考書】
NHK/NHK Educational.
Japan Times.
BBC News
British Council online resources (Word on the Street et al.)
Channel 4 News (UK)
CNN
Newspapers, Magazines and Periodicals as relevant.

【成績評価の方法と基準】
Writing 25%
Presentation 15%
Class Participation 30%
Final Interview Test 30%
In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】
N/A

【Outline and objectives】
English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English. In part II we will continue this journey through intercultural exploration.
Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**メディアを通して見る現代アメリカの文化と社会**

余田　剛

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／日本語／現代の諸相
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
CBS で配信されたニュースを素材として扱ったテキストを主教材とし、アメリカを主とした現代の様々な諸問題を扱いながら、英語の情報を的確に理解・分析し、問題点を考察した上で自らの意見を発信する力を身に着けることを目指し、インプットとアウトプットのバランスを取りながら英語の総合的な語学の学習をすることをテーマとする。

【到達目標】
1）英語の運用能力
English 1 と English2 で学んだことをベースとして、英語の 4 技能をさらに向上させる。
2）文化理解
アメリカにおけるフードロス、eSports による心身への影響、ボトル入り飲料水の安全性などに関する、現代社会の様々な問題について見聞を広め、独自の分析ができる。
3）分からないことを調べる姿勢
さらなる語学力獲得と文化理解につなげるために、自分の分からないことがあれば謙虚に、意欲的に、辞書や辞典や本やインターネットなどを調べながら、自力で情報を理解しようとする姿勢を身に付ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
テキストは、各 Unit がニュースのスクリプトと内容把握を目的とした問題から成っている。スクリプトは、ある程度のまとまりで一人ずつあてて基本的には逐語訳をしてもらい、確認が必要な場合はこちらから質問をし、問題もあてて答えてもらう形式で進めていく。その為受講者は各授業で進む全ての範囲を予習しておく必要がある。内容理解の後、英文のある個所を別の易しい英文に言い換える作業も行う。また、テキストで扱ったテーマに基づいて、プレゼンテーションを行う。さらに、テキストには欠けている政治問題について扱った記事等を準備し、演習を行う予定である。
予習を課題とし、問題や訳し方の解答や解説をフィードバックとして口頭で示す。
本授業は教室での対面形式で実施する予定であるが、大学の方針により対面形式での実施ができない場合は 5 時限目の時間帯に Zoom で授業を行う予定である。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容の概要を説明
2	テキスト Unit2 前半	リスニング、リーディング
3	テキスト Unit2 後半	リーディング、ライティング
4	テキスト Unit3 前半	リスニング、リーディング
5	テキスト Unit3 後半	リーディング、ライティング
6	政治問題に触れる	新聞記事等を使った演習
7	プレゼンテーション	テキストの内容をテーマとしたプレゼンテーション（グループ 1）
8	テキスト Unit5 前半	リスニング、リーディング
9	テキスト Unit5 後半	リーディング、ライティング
10	テキスト Unit6 前半	リスニング、リーディング
11	テキスト Unit6 後半	リーディング、ライティング
12	政治問題に触れる	新聞記事等を使った演習
13	プレゼンテーション	テキストの内容をテーマとしたプレゼンテーション（グループ 2）
14	試験	授業で扱った内容を範囲とした授業内試験あるいはレポート・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。授業前に必ずテキストの予習をしてください。テキスト中のスクリプトは、Web 動画を各自で観て穴埋めをして完成させたうえで、分からない単語などを調べてしっかり読み、また、問題は、あらかじめ指定された箇所を解いてくること。

【テキスト（教科書）】
CBS NewsBreak 5, Nobuhiro Kumai 他著, (成美堂, 2021 年), ￥2,400 + tax

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
期末試験 (あるいはレポート) の成績 (40%)、プレゼンテーション (20%)、授業参加度 (40%) とから総合的に評価する。欠席が 4 回に達した者は単位取得の資格を失う。遅刻は 3 回に達するごとに 1 回の欠席とカウントする。また、授業開始のチャイムから 30 分以降の遅刻は欠席と見なす。

【学生の意見等からの気づき】
授業外学習の時間を少しでも増やしてもらえるよう、復習や予習についてより具体的に働きかけるよう心がけます。

【Outline and objectives】
This course aims to improve students' four core English language skills − reading, writing, listening, and speaking − using a textbook made up of the news stories drawn from CBS News shows that feature various current topics, especially in the US. Students will develop their abilities to accurately understand the information, think critically about the important current issues, and effectively express their ideas.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**メディアを通して見る現代アメリカの文化と社会**

余田　剛

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／日本語／現代の諸相
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
CBS で配信されたニュースを素材として扱ったテキストを主教材とし、アメリカを主とした現代の様々な諸問題を扱いながら、英語の情報を的確に理解・分析し、問題点を考察した上で自らの意見を発信する力を身に着けることを目指し、インプットとアウトプットのバランスを取りながら英語の総合的な語学の学習をすることをテーマとする。

【到達目標】
１）英語の運用能力
English 1 と English2 で学んだことをベースとして、英語の 4 技能をさらに向上させる。
２）文化理解
気候変動、ジェンダー、観光公害、日本企業の販売戦略などに関する、現代社会の様々な問題について見聞を広め、独自の分析ができる。
３）分からないことを調べる姿勢
さらなる語学力獲得と文化理解につなげるために、自分の分からないことがあれば謙虚に、意欲的に、辞書や辞典や本やインターネットなどを調べながら、自力で情報を理解しようとする姿勢を身に付ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
テキストは、各 Unit がニュースのスクリプトと内容把握を目的とした問題から成っている。スクリプトは、ある程度のまとまりで一人ずつあてて基本的には逐語訳をしてもらい、確認が必要な場合はこちらから質問をし、問題もあてて答えてもらう形式で進めていく。その為受講者は各授業で進む全ての範囲を予習しておく必要がある。内容理解の後、英文のある個所を別の易しい英文に言い換える作業も行う。また、テキストで扱ったテーマに基づいて、プレゼンテーションを行う。さらに、テキストには欠けている政治問題について扱った記事等を準備し、演習を行う予定である。
予習を課題とし、問題や訳し方の解答や解説をフィードバックとして口頭で示す。
本授業は教室での対面形式で実施する予定であるが、大学の方針により対面形式での実施ができない場合は 5 時限目の時間帯に Zoom で授業を行う予定である

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容の概要を説明
2	テキスト Unit7 前半	リスニング、リーディング
3	テキスト Unit7 後半	リーディング、ライティング
4	テキスト Unit8 前半	リスニング、リーディング
5	テキスト Unit8 後半	リーディング、ライティング
6	政治問題に触れる	新聞記事等を使った演習
7	プレゼンテーション	テキストの内容をテーマとしたプレゼンテーション（グループ１）
8	テキスト Unit11 前半	リスニング、リーディング
9	テキスト Unit11 後半	リーディング、ライティング
10	テキスト Unit12 前半	リスニング、リーディング
11	テキスト Unit12 後半	リーディング、ライティング
12	政治問題に触れる	新聞記事等を使った演習
13	プレゼンテーション	テキストの内容をテーマとしたプレゼンテーション（グループ 2）
14	試験	授業で扱った内容を範囲とした授業内試験あるいはレポート・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。授業前に必ずテキストの予習をしてください。テキスト中のスクリプトは、Web 動画を各自で観て穴埋めをして完成させたうえで、分からない単語などを調べてしっかり読み、また、問題は、あらかじめ指定された箇所を解いてくること。

【テキスト（教科書）】
CBS NewsBreak 5, Nobuhiro Kumai 他著, (成美堂, 2021 年), ￥2,400 + tax

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
期末試験 (あるいはレポート) の成績 (40%)、プレゼンテーション (20%)、授業参加度 (40%) とから総合的に評価する。欠席が 4 回に達した者は単位取得の資格を失う。遅刻は 3 回に達するごとに 1 回の欠席とカウントする。また、授業開始のチャイムから 30 分以降の遅刻は欠席と見なす。

【学生の意見等からの気づき】
授業外学習の時間を少しでも増やしてもらえるよう、復習や予習についてより具体的に働きかけるよう心がけます。

【Outline and objectives】
This course aims to improve students' four core English language skills − reading, writing, listening, and speaking − using a textbook made up of the news stories drawn from CBS News shows that feature various current topics, especially in the US. Students will develop their abilities to accurately understand the information, think critically about the important current issues, and effectively express their ideas.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：TED TALKS で知る現代社会:英語四技能を学ぶ

金谷　優子

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／日本語／現代の諸相
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、TED TALKS のプレゼンテーションで繰り広げられた種々の独創的なアイディアに触れつつ、英語の 4 技能：読み、聴き、話し、書く–を総合的に身につけることを目標とします。グローバル化によって、ヒトやモノがますます流動的になっていくなか、世界中で様々な人々が独自の視点で現代社会を捉えて、自らの置かれた社会、そして人生と取り組んでいることを知ることは非常に重要です。本授業では、TED TALKS の英語のプレゼンテーションを聞き、理解を試みることによって英語コミュニケーションについての基本的な事柄の習得を目指す一方で、それぞれのプレゼンテーションの論理の組み立て方、独創性、着眼点について確認しつつ、受講者自らが現代社会について自分なりの考察を進めてゆくことを促します。

【到達目標】
・まとまった長さの英文の論理展開を正確に把握すること
・複雑な構文や語句を理解すること
・英文パラグラフの構造を読解を通じて学び、その知識を生かして、みずから論理的な文章が書けるようになること
・英語の音声を聴いて、必要な情報を得ること
・さまざまな意見を英語で理解し、それに対する自分の考えを英語で表現すること
・沢山の人々の独自の考えを聞いて、世界のありようについて自分なりの見解を持つようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
この授業はオンライン（リアルタイム配信型）です。すべての回を Zoom で実施します。
各トピックについてそれぞれを３部構成とします。第 1 部: Lesson A では、扱われたトピックについての基礎知識、読解についての重要な技術 (Reading Skills) について学びます。第 2 部: Lesson B では、実際に TED TALK の発表を聴き、またその script を読んで、プレゼンテーションの概要や詳しい内容についての理解がなされたかを確認します。また、第３部として、第１部、第２部で学習した事柄をまとめ、更にリサーチを進め、TED talk に関する自分の考えを英語で表現する場を設けます。
受講者は第１部から第３部を通しての学習事項をチェックシートに書き、トピック毎に提出し、フィードバックを受けます。
[第 1 部]
第 2 週 Topic: Interdisciplinary
第 5 週 Topic: Business/ Leadership
第 8 週 Topic: Life Science
第 11 週 Topic: Sociology/ Fashion
[第 2 部]
第 3 週　：　TED TALK by Matt Cutts : Try Something New for 30 days
https://www.ted.com/talks/matt_cutts_try_something_new_for_30_days?language=ja
第 6 週：　TED TALK by Tom Wujec : Build a Tower
https://www.ted.com/talks/tom_wujec_build_a_tower?language=ja
第 9 週：　TED TALK by David Gallo: Underwater Astonishments
https://www.ted.com/talks/david_gallo_shows_underwater_astonishments/transcript
第 12 週：　TED TALK by Jessi Arrington ： Wearing Nothing New
https://www.ted.com/talks/jessi_arrington_wearing_nothing_new?language=ja
[第 3 部]
第 4 週　：　TED TALK by Matt Cutts : Try Something New for 30 days
https://www.ted.com/talks/matt_cutts_try_something_new_for_30_days?language=ja
第 7 週：　TED TALK by Tom Wujec : Build a Tower
https://www.ted.com/talks/tom_wujec_build_a_tower?language=ja
第 10 週：　TED TALK by David Gallo: Underwater Astonishments
https://www.ted.com/talks/david_gallo_shows_underwater_astonishments/transcript
第 13 週：　TED TALK by Jessi Arrington ： Wearing Nothing New
https://www.ted.com/talks/jessi_arrington_wearing_nothing_new?language=ja

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 週	Introduction	What is TED?
第 2 週	Unit 1: Life Changes	Lesson A Topic:Interdisciplinary Reading Skills: Understanding sequence words,... etc.
第 3 週	Unit 1: Life Changes	TED TALK by Matt Cutts Lesson B Academic Skills: Understanding main ideas,...etc.
第 4 週	Unit 1: Life Changes	Check sheet summarizing and stating opinions
第 5 週	Unit 2: Team Power	Lesson A Topic:Business Leadership Reading Skills: Identifying main ideas in paragraphs,...etc.
第 6 週	Unit 2: Team Power	TED TALK by Tom Wujec Lesson B Academic Skills: Understanding stages in a process, ...ets.
第 7 週	Unit 2: Team Power Un	Check sheet summarizing and stating opinions
第 8 週	Unit 3: Ocean Wonders	Lesson A Topic: Life Science Reading Skills: Identifying purpose/ referents
第 9 週	Unit 3: Ocean Wonders	TED TALK by David Gallo Lesson B Academic Skills:Understanding main ideas and key details,... etc.
第 10 週	Unit 3: Ocean Wonders	Check sheet summarizing and stating opinions

第 11 週	Unit 4: What We Wear	Lesson A Topic:Sociology/ Fashion Reading Skills: Making connections/ Understanding a process Lesson A Topic: Psychology/ History Reading Skills: Identifying approximate numbers
第 12 週	Unit 4: What We Wear	TED TALK by Jessi Arrington Lesson B Academic Skills: Recognizing point of view
第 13 週	Unit 4: What We Wear	Check sheet summarizing and stating opinions
第 14 週	final test	final test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
準備学習：学生は、各 Unit で扱う TED talk についての予備知識（テキストに記載）を得るためにテキストを予習し、知らなかった語彙、表現、難しい文章などを特定し、checksheet に記入しておく。
復習：扱った TED talk の要約をし、checksheet に記入した事項を習得することができたか、確認する。
宿題：授業で扱った TED talk 関連で、適宜、授業時に示される課題を提出する。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
以下が授業で扱う TED talk です。予習復習する際に聴いて下さい。
TED TALK by Matt Cutts : Try Something New for 30 days
https://www.ted.com/talks/matt_cutts_try_something_new_for_30_days?language=ja
TED TALK by Tom Wujec : Build a Tower
https://www.ted.com/talks/tom_wujec_build_a_tower?language=ja
TED TALK by David Gallo: Underwater Astonishments
https://www.ted.com/talks/david_gallo_shows_underwater_astonishments/transcript
TED TALK by Jessi Arrington ： Wearing Nothing New
https://www.ted.com/talks/jessi_arrington_wearing_nothing_new?language=ja

【テキスト（教科書）】
TED TALKS 21st Century Reading 1 (Cengage Learning), ISBN 978-1-305-26459-5
その他、プリント配布

【参考書】
https://www.ted.com
その他、授業中に適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】
評価基準：授業参加度（授業内での発言および Hoppii quiz）40 %、チェックシート 30 %、期末テスト 30 %
4 回以上の欠席で単位取得資格は失われます。3 回遅刻すると 1 回欠席としてカウントされます。30 分以上の遅刻は欠席とみなされます。

【学生の意見等からの気づき】
英語を用いる場をなるべく多く設けます。

【学生が準備すべき機器他】
この授業は Zoom で行われますので、大学の教室で受講の際には、マイク付きのヘッドセットが必要です。

【Outline and objectives】
This course is designed to increase the student's ability to develop their overall English Language skills while learning about specific topics of TED Talks. Students are expected to improve their reading/listening skills as well as to broaden their understanding of current issues.
[Overall Objectives]
To help students
・increase vocabulary
・improve their reading/listening comprehension skills
・understand speeches without translating into Japanese
・identify main ideas
・clarify the structure of a speech
・develop global and cross-cultural awareness
・develop creative and critical thinking skills
・effectively express their opinions on current issues

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：TED TALKS で知る現代社会:英語四技能を学ぶ

金谷　優子

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／日本語／現代の諸相
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期同様本授業では、TED TALKS のプレゼンテーションで繰り広げられた種々の独創的なアイディアに触れつつ、英語の 4 技能：読み、聴き、話し、書く–を総合的に身につけることを目標とします。グローバル化によって、ヒトやモノがますます流動的になっていくなか、世界中で様々な人々が独自の視点で現代社会を捉えて、自らの置かれた社会、そして人生と取り組んでいることを知ることは非常に重要です。本授業では、TED TALKS の英語のプレゼンテーションを聞き、理解を試みることによって英語コミュニケーションについての基本的な事柄の習得を目指す一方で、それぞれのプレゼンテーションの論理の組み立て方、独創性、着眼点について確認しつつ、受講者自らが現代社会について自分なりの考察を進めてゆくことを促します。

【到達目標】
・まとまった長さの英文の論理展開を正確に把握すること
・複雑な構文や語句を理解すること
・英文パラグラフの構造を読解を通じて学び、その知識を生かして、みずから論理的な文章が書けるようになること
・英語の音声を聴いて、必要な情報を得ること
・さまざまな意見を英語で理解し、それに対する自分の考えを英語で表現すること
・沢山の人々の独自の考えを聞いて、世界のありようについて自分なりの見解を持つようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
この授業はオンライン（リアルタイム配信型）です。すべての回を Zoom で実施します。
各トピックについてそれぞれを３部構成とします。第 1 部では、扱われたトピックについての基礎知識、読解についての重要な技術 (Reading Skills) について学びます。第 2 部では、実際に TED TALK の発表を聴き、またその script を読んで、プレゼンテーションの概要や詳しい内容についての理解がなされたかを確認します。また、セメスター終盤には、第３部として、学習したトピックをひとつ選び、更にリサーチを進め、TED での発表に関する自分の考えを英語で表現する場を設けます。
受講者は第１部から第３部を通しての学習事項をチェックシートに書き、トピック毎に提出し、フィードバックを受けます。
[第 1 部]
第 2 週 Topic: Architecture and Design
第 5 週 Topic: Communication/ Sociology
第 8 週 Topic: Visual Arts/ Sociology
[第 2 部]
第 3 週　：　TED TALK by Iwan Baan : Ingenious Homes in Unexpected Places
https://www.ted.com/talks/iwan_baan_ingenious_homes_in_unexpected_places?language=ja
第 6 週：　TED TALK by Kevin Allocca: Why Videos Go Viral
https://www.ted.com/talks/kevin_allocca_why_videos_go_viral?language=ja
第 9 週：　TED TALK by Candy Chang: Before I die, I want to …
https://www.ted.com/talks/candy_chang_before_i_die_i_want_to?language=ja
[第 3 部]
第 4 週　：　TED TALK by Iwan Baan : Ingenious Homes in Unexpected Places
https://www.ted.com/talks/iwan_baan_ingenious_homes_in_unexpected_places?language=ja
第 7 週：　TED TALK by Kevin Allocca: Why Videos Go Viral
https://www.ted.com/talks/kevin_allocca_why_videos_go_viral?language=ja
第 10 週：　TED TALK by Cindy Chang: Before I die, I want to …
https://www.ted.com/talks/candy_chang_before_i_die_i_want_to?language=ja
第 11 週~13 週：　Your favorite TED Talk
https://www.ted.com/

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 週	Introduction	授業進行、テキスト、評価方法についての説明
第 2 週	Unit6: Building Solutions	TED Talk by Iwan Baan Topic:Artchitecture and Design Lesson A Reading Skills: Organizing supporting details,... etc.
第 3 週	Unit6: Building Solutions	TED Talk by Iwan Baan Lesson B: Academic Skills: Understanding main ideas,summarizing ideas using a concept map,...etc.
第 4 週	Unit6: Building Solutions	TED Talk by Iwan Baan Expressing ideas on the topic
第 5 週	Unit 7: Roads to Fame	TED Talk by Kevin Allocca Topic:Communication/ Sociology Lesson A Reading Skills: Scanning for numbers,...etc.
第 6 週	Unit 7: Roads to Fame	TED Talk by Kevin Allocca Lesson B Academic Skills: Understanding main ideas,summarizing ideas using a concept map,...etc.
第 7 週	Unit 7: Roads to Fame	TED Talk by Kevin Allocca Expressing ideas on the topic
第 8 週	Unit 9: Community Voices	TED TALK by Candy Chang Lesson A Topic:Visual Arts / Sociology Reading Skills: Understanding a paragraph's purpose
第 9 週	Unit 9: Community Voices	TED TALK by Candy Chang Lesson B Topic:Visual Arts / Sociology Reading Skills: Understanding a paragraph's purpose
第 10 週	Unit 9: Community Voices	TED TALK by Candy Chang Expressing ideas on the topic
第 11 週	Your favorite TED talk	Finding your favorite TED talk.
第 12 週	Your favorite TED talk	The summary of the talk

第 13 週	Your favorite	Your own idea on the talk
第 14 週	final test	final test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
準備学習：学生は、各 Unit で扱う TED talk についての予備知識（テキストに記載）を得るためにテキストを予習し、知らなかった語彙、表現、難しい文章などを特定し、checksheet に記入しておく。
復習：扱った TED talk の要約をし、checksheet に記入した事項を習得することができたか、確認する。
宿題：授業で扱った TED talk 関連で、適宜、授業時に示される課題を提出する。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
以下が授業で扱う TED talk です。予習復習する際に聴いて下さい。
TED TALK by Iwan Baan : Ingenious Homes in Unexpected Places
https://www.ted.com/talks/iwan_baan_ingenious_homes_in_unexpected_places?language=ja
TED TALK by Kevin Allocca: Why Videos Go Viral
https://www.ted.com/talks/kevin_allocca_why_videos_go_viral?language=ja
TED TALK by Cindy Chang: Before I die, I want to …
https://www.ted.com/talks/candy_chang_before_i_die_i_want_to?language=ja

【テキスト（教科書）】
TED TALKS 21st Century Reading 1 (Cengage Learning), ISBN 978-1-305-26459-5
その他、資料配布

【参考書】
https://www.ted.com
その他、授業中に適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】
評価基準：授業参加度（授業内での発言および Hoppii quiz）40 %、チェックシート 30 %、期末テスト（プレゼンテーション含む）30 %
4 回以上の欠席で単位取得資格は失われます。3 回遅刻すると 1 回欠席としてカウントされます。30 分以上の遅刻は欠席とみなされます。

【学生の意見等からの気づき】
なるべく多く英語を使う場を設けます。

【学生が準備すべき機器他】
この授業は Zoom で行われますので、大学の教室で受講の際には、マイク付きのヘッドセットが必要です。

【Outline and objectives】
This course is designed to increase the student's ability to develop their overall English Language skills while learning about specific topics of TED Talks. Students are expected to improve their reading/listening skills as well as to broaden their understanding of current issues.
[Overall Objectives]
To help students
・increase vocabulary
・improve their reading/listening comprehension skills
・understand speeches without translating into Japanese
・identify main ideas
・clarify the structure of a speech
・develop global and cross-cultural awareness
・develop creative and critical thinking skills
・effectively express their opinions on current issues

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**イギリスの歴史と伝統**

田口　清一

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／日本語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English3 では、English1 と English2 で身に付けた英語の 4 技能 (読む・書く・聞く・話す) を更に深めることを目的とする。また、この 4 技能を有機的に関連させながら、知的内容を英語で理解し、英語で発信する能力を高めていく。

【到達目標】
*知的内容を持った英文を文法的に正確に読解できるようにする。
*英文の内容と文脈を常に考えながら読む習慣を身に付ける。
*日々の英語学習においてリスニングを習慣化し、英語の耳を養う。
*文法的に正確できちんとした英語の体を成すセンテンスとパラグラフが書けるよう にする。
*知的内容を持った意見を英語で発表できるようにする。
*英語の根本的論理を理解し、「日本語モード」ではなく「英語モード」で英語を捉えられるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業はオンラインにて、原則として「オンデマンド型」で行う。各 Chapter において、本文の読解、リスニング、ライティング (センテンスレヴェル)、スピーキングはテキストに沿って行ない、ライティング (補充問題とパラグラフレヴェル) に関しては別途課題を提示する。読解に関しては、語彙・文法・一般教養が三位一体となった精読を行ない、テーマであるイギリスの歴史や文化に対する認識を深めていく。4 技能全てにおいて、無味乾燥な「暗記語学」ではなく、「知的に考える語学」というものを実践する。
課題の提出とフィードバックは「学習支援システム」を通して、毎回の課題に対し次回の授業で解説を行う。最終回には春学期全体の講評も行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	年間の授業についての説明
第 2 回	英語の論理と考え方	名詞を中心とした論理 (可算と不可算)
第 3 回	英語の論理と考え方	名詞を中心とした論理 (冠詞と限定詞)
第 4 回	Chapter1(ケルト時代のイギリス) ①	読解、リスニング、スピーキング
第 5 回	Chapter1(ケルト時代のイギリス) ②	読解、リスニング、スピーキング
第 6 回	Chapter1(ケルト時代のイギリ) ③ Chapter2(ローマ時代のイギリス) ①	ライティング 読解、リスニング、スピーキング
第 7 回	Chapter2(ローマ時代のイギリス) ②	読解、リスニング、スピーキング

第 8 回	Chapter2(ローマ時代のイギリス) ③	リスニング、ライティング
第 9 回	Chapter3(アングロ・サクソン時代のイギリス) ①	読解、リスニング、スピーキング
第 10 回	Chapter3(アングロ・サクソン時代のイギリス) ②	読解、リスニング、スピーキング
第 11 回	Chapter3(アングロ・サクソン時代のイギリス) ③ Chapter4(ノルマン人による征服) ①	ライティング 読解、リスニング、スピーキング
第 12 回	Chapter4(ノルマン人による征服) ②	読解、リスニング、スピーキング
第 13 回	Chapter4(ノルマン人による征服) ③	リスニング、ライティング
第 14 回	学期末の講評	春学期の課題に関する講評とまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各回の課題に対して、しっかりした予習・復習が必須である。本文演習においては、リスニングを行った後に必ず英文を数回音読した上で精読すること。その際に辞書を調べる場合には用例も含めて必ずその項目を全て読むこと。また、文法・構文的にあやふやな場合には必ず文法書を調べること。問題演習 (ライティング) においては必ず自分の解答を用意して臨み、授業の解説で自ら添削すること。各回の授業の重要ポイントは必ず次回までに復習して身に付けておくようにすること。

本授業の準備学習・復習時間は合わせて 1 時間を標準とする。(University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.) 大学の基準は上記の通りだが、できれば予習・復習にそれぞれ少なくとも 1 時間は割いて頂きたい。

【テキスト（教科書）】

Facets of Britain(珠玉の英国)　　朝日出版社　1,900 円 (税別)

【参考書】

特に指定はしないが、必ず文法書 (体系的にある程度詳しく記述されたもの) を一冊は備え、予習・復習の際や自分で英文を読み書きする際には、辞書だけではなく必ず文法書も参照することが重要である。

【成績評価の方法と基準】

オンライン授業となるので、「平常点」(毎回の課題提出と出来)100% で評価する。課題に取り組む際に、到達目標に掲げた項目をどの程度意識して行っているかを重視する。

尚、課題提出が出席に相当するので、原則として未提出の課題が 4 回以上の場合は単位修得の資格を失うものとする。

【学生の意見等からの気づき】

英語の背景として重要なイギリスの歴史や文化に関する知識も身に付けられて良かったという意見があったので、今年度も広い観点からの英語力を高められるような授業にしたい。

【その他の重要事項】

年間を通してのレヴェル・アップを目指すので、春学期・秋学期を通しての履修を
原則とする。

【Outline and objectives】

The main purpose of English3 is to improve the four skills of reading, writing, listening and speaking in English acquired in English1 and English2. Furthermore, with these four skills connected organically, the ability to understand and express intellectual content in English will be cultivated.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**イギリスの歴史と伝統**

田口　清一

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／日本語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English3 では、English1 と English2 で身に付けた英語の 4 技能 (読む・書く・聞く・話す) を更に深めることを目的とする。また、この 4 技能を有機的に関連させながら、知的内容を英語で理解し、英語で発信する能力を高めていく。

【到達目標】

*知的内容を持った英文を文法的に正確に読解できるようにする。
*英文の内容と文脈を常に考えながら読む習慣を身に付ける。
*日々の英語学習においてリスニングを習慣化し、英語の耳を養う。
*文法的に正確できちんとした英語の体を成したセンテンスとパラグラフが書けるようにする。
*知的内容を持った意見を英語で発表できるようにする。
*英語の根本的論理を理解し、「日本語モード」ではなく「英語モード」で英語を捉えられるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

授業はオンラインにて、原則として「オンデマンド型」で行う。各 Chapter において、本文の読解、リスニング、ライティング (センテンスレヴェル)、スピーキングはテキストに沿って行ない、ライティング (補充問題とパラグラフレヴェル) に関しては別途課題を提示する。読解に関しては、語彙・文法・一般教養が三位一体となった精読を行ない、テーマであるイギリスの歴史や文化に対する認識を深めていく。4 技能全てにおいて、無味乾燥な「暗記語学」ではなく、「知的に考える語学」というものを実践する。

課題の提出とフィードバックは「学習支援システム」を通して、各回の授業に対し次回の授業で解説を行う。最終回には年間を通しての講評も行う。

秋学期も原則としてオンライン授業の予定だが、新型コロナウイルスの感染が収束している場合には対面授業となる可能性もあるので、その際の変更については「学習支援システム」で改めて通知する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	日本語と英語の相違	人称代名詞
第 2 回	日本語と英語の相違	文圧縮 (名詞構文)
第 3 回	Chapter5(中世のイギリス) ①	読解、リスニング、スピーキング
第 4 回	Chapter5(中世のイギリス) ②	読解、リスニング、スピーキング
第 5 回	Chapter5(中世のイギリス) ③ Chapter6(キリスト教の到来) ①	ライティング 読解、リスニング、スピーキング
第 6 回	Chapter6(キリスト教の到来) ②	読解、リスニング、スピーキング

第 7 回	Chapter6(キリスト教の到来) ③	リスニング、ライティング
第 8 回	Chapter7(教会・国家・修道院の解体) ①	読解、リスニング、スピーキング
第 9 回	Chapter7(教会・国家・修道院の解体) ②	読解、リスニング、スピーキング
第 10 回	Chapter7(教会・国家・修道院の解体) ③ Chapter8(産業革命) ①	リスニング、ライティング 読解、リスニング、スピーキング
第 11 回	Chapter8(産業革命) ②	読解、リスニング、スピーキング
第 12 回	Chapter8(産業革命) ③	リスニング、ライティング
第 13 回	年間の仕上げ	Writing an Essay
第 14 回	年間の総評	年間を通しての講評とまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各回の課題に対して、しっかりした予習・復習が必須である。本文演習においては、リスニングを行った後に必ず英文を数回音読した上で精読すること。その際に辞書を調べる場合には用例も含めて必ずその項目を全て読むこと。また、文法・構文的にあやふやな場合には必ず文法書を調べること。問題演習においては必ず自分の解答を用意して臨み、授業の解説で自ら添削すること。各回の授業の重要ポイントは必ず次回までに復習して身に付けておくようにすること。

本授業の準備学習･復習時間は合わせて 1 時間とする。(University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.) 大学の基準は上記の通りだが、できれば予習・復習のそれぞれに少なくとも 1 時間は割いて頂きたい。

【テキスト（教科書）】

Facets of Britain(珠玉の英国)　朝日出版社　1,900 円 (税別)

【参考書】

特に指定はしないが、必ず文法書 (体系的にある程度詳しく記述されたもの) を一冊は備え、予習・復習の際や自分で英文を読み書きする際には、辞書だけでなく必ず文法書も参照することが重要である。

【成績評価の方法と基準】

オンライン授業となるので､｢平常点｣(毎回の課題提出と出来)100 ％で評価する。課題に取り組む際に、到達目標に掲げた項目をどの程度意識して行っているかを重視する。秋学期は春学期の習熟度も考慮する。

尚、課題提出が出席に相当するので、原則として未提出の課題が 4 回以上の場合は単位修得の資格を失うものとする。

秋学期も原則としてオンライン授業の予定だが、新型コロナウイルスの感染が収束している場合には対面授業となる可能性もあるので、その際の成績評価の方法の変更については改めて通知する。

【学生の意見等からの気づき】

英語の背景として重要なイギリスの歴史や文化に関する知識も身について良かったという意見があったので、今年度も幅広い観点からの英語力を高められるような授業にしたい。

【その他の重要事項】

年間を通してのレヴェル・アップを目指すので、春学期・秋学期を通しての履修を原則とする。

【Outline and objectives】

The main purpose of English3 is to improve the four skills of reading, writing, listening and speaking in English acquired in English1 and English2. Furthermore, with these four skills connected organically, the ability to understand and express intellectual content in English will be cultivated.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**アメリカの地域と多様性**

須藤　祐二

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／日本語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

１年次に習得した４技能の英語運用能力に基づき、アメリカの地域ごとの文化的・社会的な特徴の一端を題材にしながら、英語資料の理解や英語で批判的に意見を発信する能力の向上を目指す。また、受講生は、日本の地域の文化的・社会的特徴を英語で発信する演習にも取り組むことが求められる。

【到達目標】

受講生は簡単な英語で書かれたものであれば、辞書にあまり頼らなくてもある程度正確に読めるようにする。
受講生は発信された内容をまとめ、論点を批判的にくみ取りながら自分の意見を英語で表現できるようにする。
世界に大きな影響力をもつアメリカについて、特に、地域ごとの文化や社会の多様性を学ぶ。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】

受講生のレベルに合わせながら、ウォーム・アップとしてリスニングを行う。リーディング、ライティング、スピーキング（プレゼンテーション）にうち、各回に割り当てられた技能の演習を中心に進める。例えば、テキストを読む回では、語彙力の養成や構文の理解を重視する。内容理解の確認は内容を日本語でまとめることを通して行う。プレゼンテーションの回では、英語表現や構成の適切な使用だけでなく、発表時の姿勢やボディ・ランゲージなども指導する。

英語パラグラフ・ライティングの指導の機会を作り、そこで確認したルールに従って、学期末にレポートを提出してもらう。
提出された課題のフィードバックは、授業中だけでなく、「学習支援システム」（Hoppii）を通じて行う。
この授業はハイブリッド型で行う。対面の週と Zoom の週がある。詳細は Hoppii で知らせるので、毎週、確認してください。大学の行動方針レベル２以上では Zoom で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	導入	授業のテーマの確認と授業方法の説明
2	Chapter1 (Boston) の精読とリスニング演習	Boston の歴史を読み、現代のこの都市についてのリスニング演習を行う
3	Chapter2 (Maine) の速読とリスニング演習	Maine の文化的特徴についてのエッセイを読み、大意をつかむ練習をする。リスニング演習を行う
4	Chapter3 (New York City1) の速読とスピーキング演習	New York 市と LGBT の歴史を読み、大意をつかむ練習をする。スピーキングの演習を行う
5	Chapter4 (New York City2) の精読とスピーキング演習	New York 市の地域ごとの多様性の記事を読み、スピーキングの演習を行う

6	プレゼンテーション原稿の作成方法	プレゼンテーションの構成や言葉遣いなどについての指導を行う
7	プレゼンテーション (1)	第１グループ）身の回りの生活用品や食文化等でアメリカ発のもの、または、日本のある地域の文化的な特色を取り上げて、その簡単な紹介を英語で行う。 受講生同士で講評を行う
8	プレゼンテーション (2)	（第２グループ）身の回りの生活用品や食文化等でアメリカ発のもの、または、日本のある地域の文化的な特色を取り上げて、その簡単な紹介を英語で行う。 受講生同士で講評を行う
9	Chapter5(Washington, D.C) の精読とリスニング演習	連邦政治の舞台としてのワシントン D.C について書かれたエッセイを読み、リスニング演習を行う
10	Chapter6(Charleston) の速読とリスニング演習	Charleston と南北戦争について学び、リスニング演習を行う
11	エッセイ・ライティングの準備 (1)	プレゼンテーションの原稿を参考または修正しながら、英語エッセイ・ライティングの基礎を学ぶ――エッセイ・ライティングの基本構造について リスニング演習を行う
12	エッセイ・ライティングの準備 (2)	プレゼンテーションの原稿を参考または修正しながら、英語エッセイ・ライティングの基礎を学ぶ――スタイルの選択がどのような影響をもたらすかについて リスニング演習を行う
13	アメリカのニュース記事の精読とライティング演習	与えられた記事について学生間で講評し、自分の意見を英語でまとめて書く
14	試験とまとめ	この授業で学んだことのまとめと振り返りを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
テキストの指定箇所および配布する資料の予習が必須となる。プレゼンテーションの回の前には、必ず原稿を作成して授業に出席する。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】
American Vibes: People, Places and Perspectives. （Todd Rucynski 他著、金星堂）
必ず英和・和英辞書を持参すること。
PC、タブレット、スマートフォン等の辞書アプリの使用は認めない。

【参考書】
特に指定しない。

【成績評価の方法と基準】
期末試験 50 %、ライティングの課題 25 %、授業の参加度合（スピーキングやプレゼンテーションも含む）25 %。4 回以上欠席した者は単位を認定しない。欠席回数や遅刻による減点もあるので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】
昨年度は Zoom で授業を行った。仮に 2021 年度に Zoom を使う場合には、学生によって通信環境がある程度の違うことを想定して、指示の単純化や課題の時間配分により一層注意する。

【学生が準備すべき機器他】
Zoom による授業を大学でうけるときには、自分用のマイク付きヘッドセットを用意すること。同じ授業を受けている学生が近くにいる状態でヘッドセットなしで授業を受けるとハウリングが起こり、授業に支障がでる。

【Outline and objectives】
Based on the English proficiency improved in the first year and by using as educational materials the cultural and social characteristics of American states and major cities, students develop further their ability to comprehend articles written in English and present their critical opinions in this language. Also, students will be demanded to present their opinions on the cultural and social characteristics of a region in Japan.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**アメリカの地域と多様性**

須藤　祐二

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／日本語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
１年次に習得した４技能の英語運用能力に基づき、アメリカの地域ごとの文化的・社会的な特徴の一端を題材にしながら、英語資料の理解や英語で批判的に意見を発信する能力の向上を目指す。また、受講生は、日本の地域の文化的・社会的特徴を英語で発信する演習にも取り組むことが求められる。

【到達目標】
受講生は簡単な英語で書かれたものであれば、辞書にあまり頼らなくてもある程度正確に読めるようにする。
受講生は発信された内容をまとめ、論点を批判的にくみ取りながら自分の意見を英語で表現できるようにする。
世界に大きな影響力をもつアメリカについて、特に、地域ごとの文化や社会の多様性を学ぶ。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
受講生のレベルに合わせながら、ウォーム・アップとしてリスニングを行う。リーディング、ライティング、スピーキング（プレゼンテーション）にうち、各回に割り当てられた技能の演習を中心に進める。例えば、テキストを読む回では、語彙力の養成や構文の理解を重視する。内容理解の確認は内容を日本語でまとめることを通して行う。プレゼンテーションの回では、英語表現や構成の適切な使用だけでなく、発表時の姿勢やボディ・ランゲージなども指導する。
　英語パラグラフ・ライティングの指導の機会を作り、そこで確認したルールに従って、学期末にレポートを提出してもらう。
　提出された課題のフィードバックは、授業中だけでなく、「学習支援システム」（Hoppii）を通じて行う。
この授業はハイブリッド型で行う。対面の週と Zoom の週がある。詳細は Hoppii で知らせるので、毎週、確認してください。大学の行動方針レベル２以上では Zoom で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	春学期の復習と秋学期の授業の概要説明	春学期に学んだことの振り返りを行い、秋学期の授業でなにを学ぶかを説明する
2	Chapter7 (Savannah) の精読とリスニング演習	Savannah の記事および DVD でその観光資源について学ぶ。リスニング演習を行う
3	Chapter9 (Austin) の速読とリスニング演習	Austin の文化的特徴についての紹介文を読み、大意をつかむ練習をする。リスニング演習を行う
4	Chapter10 (Saint Jo, Texas) の速読とスピーキング演習	Texas の紹介文を読み、大意をつかむ練習をする。スピーキングの演習を行う
5	Chapter11 (Santa Fe, New Mexico) の精読とスピーキング演習	Santa Fe の歴史についての記事を読み、スピーキングの演習を行う
6	Chapter12(Arizona) の精読とスピーキング演習	Route 66 の文化的な意味についての記事を読み、スピーキングの演習を行う
7	プレゼンテーション (1)	（第１グループ）身の回りの生活用品や食文化等でアメリカ発のもの、または、日本のある地域の文化的な特色を取り上げて、その簡単な紹介を英語で行う。春学期とは別のものを扱い、少し長く深いプレゼンテーションを行う。 受講生同士で講評を行う
8	プレゼンテーション (2)	（第２グループ）身の回りの生活用品や食文化等でアメリカ発のもの、または、日本のある地域の文化的な特色を取り上げて、その簡単な紹介を英語で行う。春学期とは別のものを扱い、少し長く深いプレゼンテーションを行う。 受講生同士で講評を行う
9	Chapter 13(Los Angeles 1) の精読とリスニング演習	ハリウッドについて書かれたエッセイを読み、リスニング演習を行う
10	Chapter 14(Los Angeles 2) の速読とリスニング演習	Los Angeles の多様な食文化について学び、リスニング演習を行う
11	エッセイ・ライティングの準備 (1)	プレゼンテーションの原稿を参考または修正しながら、英語エッセイ・ライティングの基礎を学ぶ——春学期とは違うスタイルでエッセイを書く リスニング演習を行う
12	エッセイ・ライティングの準備 (2)	プレゼンテーションの原稿を参考または修正しながら、英語エッセイ・ライティングの基礎を学ぶ——スタイルの選択がどのような影響をもたらすかについて リスニング演習を行う
13	アメリカのニュース記事の精読とライティング演習	与えられた記事について学生間で講評し、自分の意見を英語でまとめて書く
14	試験とまとめ	この授業で学んだことのまとめと振り返りを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
テキストの指定箇所および配布する資料の予習が必須となる。プレゼンテーションの回の前には、必ず原稿を作成して授業に出席する。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】
American Vibes: People, Places and Perspectives. （Todd Rucynski 他著、金星堂）
必ず英和・和英辞書を持参すること。
PC、タブレット、スマートフォン等の辞書アプリの使用は認めない。

【参考書】
特に指定しない。

【成績評価の方法と基準】
期末試験 50 %、ライティングの課題 25 %、授業の参加度合（スピーキングやプレゼンテーションも含む）25 %。4 回以上欠席した者は単位を認定しない。欠席回数や遅刻による減点もあるので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】
昨年度は Zoom で授業を行った。仮に 2021 年度に Zoom を使う場合には、学生によって通信環境がある程度の違うことを想定して、指示の単純化や課題の時間配分により一層注意する。

【学生が準備すべき機器他】
Zoom による授業を大学でうけるときには、自分用のマイク付きヘッドセットを用意すること。同じ授業を受けている学生が近くにいる状態でヘッドセットなしで授業を受けるとハウリングが起こり、授業に支障がでる。

【Outline and objectives】
Based on the English proficiency improved in the first year and by using as educational materials the cultural and social characteristics of American states and major cities, students develop further their ability to comprehend articles written in English and present their critical opinions in this language. Also, students will be demanded to present their opinions on the cultural and social characteristics of a region in Japan.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**海外から見た日本文化の諸相**

渡辺　英依美

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／日本語／世界の中の日本
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業の目的は、英語の四技能を磨くと共に、日本文化の諸相を国際的な視点から捉えることにある。教材には狭義の文献に限らず、多様な映像メディアも使用する。

【到達目標】
この授業を履修することにより、以下の技能の獲得が期待される。
(1) 四技能にわたる総合的な英語の運用力を身につける。
(2) 日本文化の特徴について世界的な視点から理解する。
(3) 英語資料を批判的に分析し、それについて自分の意見を英語で述べることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
反転形式で進めるので、テキストの予習が必須である。受講生は毎週発表を求められる。授業では各自の理解を確認し、関連する知識を深めていく。このクラスでは狭義の読解を超えて、自ら英語で発信する力も育成する。各課題や中間テストの結果は翌週の授業内に講評する。
大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Guidance	Outlining course content
2	Chapter 1: Herbivorous males	Reading and discussion
3	News/Video 1	Reading and watching news articles
4	Chapter 2: Galapagized Japan	Reading and discussion
5	News/Video 2	Reading and watching news articles
6	Chapter 3: Uniformity	Reading and discussion
7	Mid-semester Exam News/Video 3	Mid-semester examination Reading and watching news articles
8	Review of the exam Chapter 4: Universities in Japan	Review of the exam Reading and discussion
9	News/Video 4	Reading and watching news articles
10	Chapter 5: English as a Lingua Franca	Reading and discussion
11	News/Video 5	Reading and watching news articles

12	Chapter 7: Immigrants Needed	Reading and discussion
13	News/Video 6	Reading and watching news articles
14	Summary and Final Exam	Review and final examination

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習が必須。個々の単語を和訳するだけではなく、構文・論旨を正確に把握し、設問等にも答えられるよう準備しておくこと。本授業の予復習は 1 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】
Stapleton, P. (2012). *Good Bye, Galapagos: Evolving Aspects of Japanese Society*. Cengage Learning. [￥1,850（税別）]

【参考書】
英英辞典。他は必要に応じて授業内に指示する。

【成績評価の方法と基準】
授業中の発表・課題の提出 25 %
中間試験 35%
期末試験 40 %
欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位を修得できない。

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【Outline and objectives】
Students will learn how Japanese culture is seen from a global perspective, while developing the four skills of reading, writing, speaking and listening. Video clips will be used in addition to a variety of written materials. By the end of the course, students will be able to express their thoughts and opinions on related issues in English.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**海外から見た日本文化の諸相**

渡辺　英依美

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／日本語／世界の中の日本
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業の目的は、英語の四技能を磨くと共に、日本文化の諸相を国際的な視点から捉えることにある。教材には狭義の文献に限らず、多様な映像メディアも使用する。

【到達目標】
この授業を履修することにより、以下の技能の獲得が期待される。
(1) 四技能にわたる総合的な英語の運用力を身につける。
(2) 日本文化の特徴について世界的な視点から理解する。
(3) 英語資料を批判的に分析し、それについて自分の意見を英語で述べることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
反転形式で進めるので、テキストの予習が必須である。受講生は毎週発表を求められる。授業では各自の理解を確認し、関連する知識を深めていく。このクラスでは狭義の読解を超えて、自ら英語で発信する力も育成する。各課題や中間テストの結果は翌週の授業内に講評する。
大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Guidance	Outlining course content
2	Chapter 8: Manga	Reading and discussion
3	News/Video 1	Reading and watching news articles
4	Chapter 10: Distinctive Kansai	Reading and discussion
5	News/Video 2	Reading and watching news articles
6	Chapter 11: Fewer Japanese Students Studying Abroad	Reading and discussion
7	Mid-semester Exam News/Video 3	Mid-semester examination Reading and watching news articles
8	Review of the exam Chapter 12: Japanese Quality Food	Review of the exam Reading and discussion
9	News/Video 4	Reading and watching news articles
10	Chapter 13: Craze Culture	Reading and discussion
11	News/Video 5	Reading and watching news articles

12	Chapter 15: Good News Japan	Reading and discussion
13	News/Video 6	Reading and watching news articles
14	Summary and Final Exam	Review and final examination

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習が必須。個々の単語を和訳するだけではなく、構文・論旨を正確に把握し、設問等にも答えられるよう準備しておくこと。本授業の予復習は 1 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】
Stapleton, P. (2012). *Good Bye, Galapagos: Evolving Aspects of Japanese Society*. Cengage Learning. [￥1,850（税別）]

【参考書】
英英辞典。他は必要に応じて授業内に指示する。

【成績評価の方法と基準】
授業中の発表・課題の提出 25 %
中間試験 35%
期末試験 40 %
欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位を修得できない。

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【Outline and objectives】
Students will learn how Japanese culture is seen from a global perspective, while developing the four skills of reading, writing, speaking and listening. Video clips will be used in addition to a variety of written materials. By the end of the course, students will be able to express their thoughts and opinions on related issues in English.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**日本の社会問題を考える**

岩崎　博

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／日本語／世界の中の日本
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
日本に関するニューズ・ストーリーを教材に使い、読み、聴き、話し、書くという 4 技能を総合的に身につけることを目標とする。ニューズ・ストーリーを読み・聴くことによって読解力とリスニング能力を高める。教材の内容を理解したうえで、自分の意見を口頭あるいはエッセーで表現することによって、発話能力と書く技術を身につける。日本に関する様々なニューズ・ストーリー通して、日本的な慣習の長所・弱点を理解したうえで、日本に関する自らの考えを発信できるようになりたい。

【到達目標】
英字新聞の記事を理解する能力を養う。
英和辞典が適切に使えるようになる。
基本的な英語ニューズ・ストーリーが聴き取れるようになる。
英語らしい発音ができるようになる。
自分の考えを英語で口頭で表現できるようになる。
４パラグラフからなるエッセーを作成し、自分の考えを論理的に表現できるようになる。
英語の文章作成にあたり、必要な辞書を使いこなすことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
①リーディング
テキストの新聞記事を読み、日本語訳または要約によってその内容を理解する。その際英和辞典の使い方をマスターするために、ある語句の意味がわからない時、その正しい定義を決定する術を学ぶ。
②スピーキング
記事の内容を理解した後、他の学生と英語で意見を交換し、授業後の意見をまとめ、翌週にそれを口頭で発表する。発表内容を書き起こしたものを提出する。
③ライティング
学期中に一度、教材の中から好きなものを選び４パラグラフから成るエッセイを作成する。
④リスニング
２週間に一度の頻度でニュース映像を用いたリスニングを行う。英語の音声上の特徴を理解し、自分で英語らしい発音ができるようにするために、シャドーイングという音声学習を行う。
⑤フィードバック
リーディングに関しては授業中に口頭でコメント・評価をする。
口頭による発表とエッセイに関しては、提出されたペーパーを添削し、コメントを添えて返却する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	授業説明とリスニング	授業説明の後少年の拒食症についてのニュースを聴く。
2	新聞記事「日本の狂言師、フランスで人気求む」を読む。	狂言が国内で衰退しつつあることを理解する。また、衰退を食い止めるにはどうするか考える。

3	「日本の狂言師、フランスで人気求む」について意見を言う。 ニュース映像「トランプ暴動を先導」を聞く。	伝統芸能を後世に残すためにはどうしたら良いか、英語で意見を発表し、クラスで話し合う。 ニュースを聞き、-th-の発音の仕方を覚え、シャドーイングを行う。
4	新聞記事「安倍首相辞任」を読む。	安倍首相の突然の辞任を伝える記事を読み、辞任の理由を知る。同時に、安倍政治は何を残したのかクラスで考える。
5	新聞記事「安倍首相辞任」に関する意見を言う。 ニュース映像「東京オリンピック中止［開催］決定」を聞く。	新聞記事の内容に関して、あるいは安倍政治に関して英語で意見を発表し、クラスで話し合う。 ニュースを聞き、/v/,/f/の発音の仕方を覚え、シャドーイングを行う。
6	新聞記事「大阪大学、初めて心臓に IPS 細胞を移植」を読む。	IPS 細胞移植の最前線に関する記事を読み、その可能性を考える。
7	新聞記事「大阪大学、初めて心臓に IPS 細胞を移植」について意見を言う。 ニュース映像「バイデン氏大統領に就任」を聞く。	IPS 細胞移植に期待することを英語で発表し、クラスで話し合う。 ニュースを聞き、後ろに母音を伴わない/l/の発音の仕方を覚え、シャドーイングを行う。
8	新聞記事「伊藤詩織氏強姦訴訟民事で勝利」を読む。	伊藤詩織氏が性暴力被害を訴える民事訴訟で勝訴したことを伝える新聞記事を読む。伊藤氏が性被害を実名と顔を晒して公表したことによって、日本の#Me Too 運動の先駆者的役割を果たした事実を知るとともに、日本の性犯罪が可視化されない問題を考える。
9	新聞記事「伊藤詩織氏強姦訴訟民事で勝利」に関する意見を言う。 ニュース映像「コロナ感染拡大［収束］を聞く。	伊藤さんの訴訟の意義について、あるいは日本の性暴力の問題について自分の意見を英語で発表し、クラスで話し合う。 ニュースを聞き、音の脱落が聞こえる耳を養い、シャドーイングを行う。
10	新聞記事「森喜朗会長セクシスト発言」を読む。	森喜朗氏が露骨な女性差別発言をして、世界的中で反発を引き起こしたことを伝える新聞記事を読む。森氏の差別発言を JOC 役員が「笑い」で許容したことが象徴する、日本における女性蔑視の問題について考える。
11	新聞記事「森喜朗会長セクシスト発言」に関する意見を言う。 エッセイの構造を学ぶ。	森氏のセクシスト発言に関して、または日本の女性蔑視に関して意見を英語で発表しクラスで話し合う。 エッセイの目的は、ある主題を論証するためであり、導入、本体、結論によって構成されていることを学ぶ。さらにエッセイプランの作成をする。
12	エッセイのアウトラインの確認	自宅で作成してきたアウトラインを元に、エッセイの内容を他の学生に説明し、またその学生に問題点を指摘してもらうことによって、内容を再考し最終的なアウトラインを完成させる。
13	春学期末試験を行う	学習内容の理解度を測定する。
14	提出したエッセイのフィードバック	教師は添削したエッセイにコメントを添えて返却する。 学生が作成したエッセイの代表的な間違いを辞書を活用しながら正しく書き直す。その際に、英語文章を作成するために必要な辞書の活用法を学習する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。ただし、エッセイ作成には最低で 5 － 6 時間は必要。
リスニングで聴いた教材のシャドーイングの復習を行い、次の授業でその成果を披露する。
リーディング教材の指定箇所を読んで意味を理解できるようにしておく。辞書を引いて単語の定義を決定する場合、何故その定義がふさわしいのか、その根拠を説明できるように準備する。
記事を読み終わったら、それに関する意見を英語で発表できるよう準備する。
春学期に一度 4 パラフラフからなるエッセイを作成する。

【テキスト（教科書）】
若有保彦編著『メディアで学ぶ日本と世界 2021 Meet the World 2021 － English through Newspapers －』成美堂

【参考書】
特に無し。

【成績評価の方法と基準】
授業参加 40 パーセント、レポート・スピーチ・試験 60 パーセントの比率で評価する。授業参加点は事前に指示された課題の発表の回数によって決まる。
一度休むごとに平常点から 2 点ずつ引いていく。
４回以上欠席した場合は、原則として単位修得を認めない。
原則的に遅刻は認めない。

【学生の意見等からの気づき】
アウトプットの比重を高めたい。

【その他の重要事項】
この授業は演習中心なので、出席を重視しています。遅刻・欠席に関しては厳しく対処します。また、授業中私語をするなど、常識的におかしいと思われる行為は慎んで下さい。必ず英和・和英辞書を持参して下さい。教師と学生の対話を通して、適度に楽しくて為になる双方向の授業を目指したいと思っています。みなさんの積極的な参加、質問、発言を期待しています。

【Outline and objectives】
This course is to help students improve their skills of reading, listening, speaking, and writing. In order to acquire better listening and speaking skills, participants learn distinctive sounds of English and are expected to be able to pronounce them correctly. Participants are required to make presentations about what they have read or heard in class. Regarding writing, participants learn the basic structure of the academic essay and how to make an essay composed of four paragraphs on what they have read or heard in class by making good use of various kinds of dictionaries useful for writing good English.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**日本の社会問題を考える**

岩崎　博

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：中級／日本語／世界の中の日本
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
日本に関するニューズ・ストーリーを教材に使い、読み、聴き、話し、書くという４技能を総合的に身につけることを目標とする。ニューズ・ストーリーを読 み・聴くことによって読解力とリスニング能力を高める。教材の内容を理解したうえで、自分の意見を口頭あるいはエッセーで表現することによって、発話能力 と書く技術を身につける。日本に関する様々なニューズ・ストーリー通して、日本的な慣習の長所・弱点を理解したうえで、日本に関する自らの考えを発信でき るようになりたい。

【到達目標】
英字新聞の記事を理解する能力を養う。
英和辞典が適切に使えるようになる。
基本的な英語ニューズ・ストーリーが聴き取れるようになる。
英語らしい発音ができるようになる。
自分の考えを英語で口頭で表現できるようになる。
４パラグラフからなるエッセーを作成し、自分の考えを論理的に表現できるようになる。
英語の文章作成にあたり、必要な辞書を使いこなすことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
①リーディング
テキストの新聞記事を読み、日本語訳または要約によってその内容を理解する。その際英和辞典の使い方をマスターするために、ある語句の意味がわからない時、その正しい定義を決定する術を学ぶ。
②スピーキング
記事の内容を理解した後、他の学生と英語で意見を交換し、授業後の意見をまとめ、翌週にそれを口頭で発表する。発表内容を書き起こしたものを提出する。
③ライティング
学期中に一度、教材の中から好きなものを選び４パラグラフから成るエッセイを作成する。
④リスニング
２週間に一度の頻度でニュース映像を用いたリスニングを行う。英語の音声上の特徴を理解し、自分で英語らしい発音ができるようにするために、シャドーイングという音声学習を行う。
⑤フィードバック
リーディングに関しては授業中に口頭でコメント・評価をする。
口頭による発表とエッセイに関しては、提出されたペーパーを添削し、コメントを添えて返却する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	友好的なクマ捕殺に関するニュースを聞く	人間に近づき餌をもらっていた人気者のクマが何故殺されなくてはならなかったのかを知る。野生生物に餌を与えることが如何に危険で罪深いことかを学ぶ。
2	新聞記事「外国人旅行者による苦情が増加」を読む。	コロナ禍以前、外国人観光客がトラブルに巻き込まれる事例が増大していた実態を知る。
3	新聞記事「外国人旅行者による苦情が増加」に関する意見を言う。 福島第一原発に関するニュースを聞く。	外国人を対象とした民泊の問題点について英語で意見を発表しクラスで話し合う。 ニュースを聞いて、破裂音の発音の仕方を学び、シャドーイングを行う。
4	桜を見る会スキャンダルを扱う新聞記事を読む。	桜を見る会の前夜祭参加者の費用を、安倍晋三氏の政治資金団体が補填していた問題について、安倍氏が国会で 100 回以上嘘をついていた問題を報じる記事を読む。政治の私物化を含め、桜問題の意義を考える。
5	桜を見る会スキャンダルを扱う新聞記事に関する意見を言う。	桜を見る会スキャンダルが象徴する政治と金の問題に関する意見を英語で発表しクラスで話し合う。
6	新聞記事「東京都、持続可能な開発目標を支援する活動にポイント付与を試行」を読む。	持続可能な開発目標という概念を学び、東京都の政策に関する是非を考ええる。
7	新聞記事「東京都、持続可能な開発目標を支援する活動にポイント付与を試行」に関する意見を言う。 ニュース映像「ナキウサギ絶滅の危機」を見る。	東京都の持続可能な開発目標に関する政策に対する是非を英語で発表しクラスで話し合う。 ニュースを聞いて、/w/発音の仕方を身につけて、シャドーイングを行う。 ニュースを聞いて
8	新聞記事「伊藤忠、海洋プラごみのリサイクル事業開始へ」を読む。	海洋プラスチック増加の問題解決に向けての企業の取り組みを知る。プラスチックゴミによる海洋汚染の深刻な実態を知るとともに、その解決策を考える。
9	新聞記事「伊藤忠、海洋プラごみのリサイクル事業開始へ」に関して意見を言う。 プロモーション映像「アラスカの自然」を見る。	プラスチックゴミを減らすためにはどうしたら良いか、可能な試みを英語で提案しクラスで話し合う。 英語のナレーションを聞き、英語特有の息の強さを模倣し、シャドーイングを行う。
10	新聞記事「日本の食品に関する中国の規制解除に対する期待が高まる」を読む。	福島県の原発事故の影響がいまだに続いている実態を知り、その深刻さを考える。
11	新聞記事「日本の食品に関する中国の規制解除に対する期待が高まる」に関して自分の意見を言う 。 ニュース映像「コロナウイルス感染収束［拡大］を見る。	福島産の魚介類の水揚げ量が、依然として事故前に及ばない現実に関して、感想を英語で発表しクラスで話し合う。 ニュースを聞いて、/n/の発音の仕方を習得し、シャドーイングを行う。
12	エッセイの書き方を学びアウトラインを作成する	4 パラグラフから成るエッセイの形式を踏まえ、各自のエッセイ作成のためのアウトラインを作る。他の学生にアウトラインをもとにエッセイの概要を他の学生に話、フィードバックを得る。
13	春学期末試験を行う	授業の内容の理解度を測定する。
14	提出したエッセイのフィードバックを行う	添削されたエッセイをコメントを添えて返却する。 学生が作成したエッセーの代表的な間違いを辞書を活用しながら正しく書き直す。その際に、英語文章を作成するために必要な辞書の活用法を学習する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。ただし、エッセイ作成には最低で 5 － 6 時間は必要。
リスニングで聴いた教材のシャドーイングの復習を行い、次の授業でその成果を披露する。
リーディング教材の指定箇所を読んで意味を理解できるようにしておく。辞書を引いて単語の定義を決定する場合、何故その定義がふさわしいのか、その根拠を説明できるように準備する。
記事を読み終わったら、それに関する意見を英語で発表できるよう準備する。
春学期に一度 4 パラフラフからなるエッセイを作成する。

【テキスト（教科書）】
若有保彦編著『メディアで学ぶ日本と世界 2021 Meet the World 2021 － English through Newspapers －』成美堂

【参考書】
特に無し。

【成績評価の方法と基準】
授業参加 40 パーセント、レポート・スピーチ・試験 60 パーセントの比率で評価する。授業参加点は事前に指示された課題の発表の回数によって決まる。
一度休むごとに平常点から 2 点ずつ引いていく。
４回以上欠席した場合は、原則として単位修得を認めない。
原則的に遅刻は認めない。

【学生の意見等からの気づき】
アウトプットの比重を高めたい。

【学生が準備すべき機器他】
英和・和英辞典。

【その他の重要事項】
この授業は演習中心なので、出席を重視しています。遅刻・欠席に関しては厳しく対処します。また、授業中私語をするなど、常識的におかしいと思われる行為 は慎んで下さい。必ず英和・和英辞書を持参して下さい。教師と学生の対話を通して、適度に楽しくて為になる双方向の授業を目指したいと思っています。みな さんの積極的な参加、質問、発言を期待しています。

【Outline and objectives】
This course is to help students improve their skills of reading, listening, speaking, and writing. In order to acquire better listening and speaking skills, participants learn distinctive sounds of English and are expected to be able to pronounce them correctly. Participants are required to make presentations about what they have read or heard in class. Regarding writing, participants learn the basic structure of the academic essay and how to make an essay composed of four paragraphs on what they have read or heard in class by making good use of various kinds of dictionaries useful for writing good English.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**アメリカ社会**

本間　章郎

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
営 2 年：初級／日本語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ニュースを通して、アメリカ社会について学びます。
English 3 では、English 1 と English 2 に引き続いて、読む、書く、聞く、話すという英語の 4 技能の運用能力を、課題を通して深めることを目的とします。特に、まとまった量の英文の内容を的確に理解し、書く、あるいは話すという形で自分の考えをわかりやすく表現してもらえればと思います。同時に、ニュース英語を題材にした英語の 4 技能の練習を通して、アメリカに対して理解を深めていきます。

【到達目標】
授業の到達目標としては、英語の 4 技能の運用能力の向上を目指して次の 4 つの目標を意識してもらいたいと思います。
(1) ある程度の分量の英文を読んで、内容を適切に理解する。
(2) 英文を聞いて、内容を理解し、重要な単語を聞き取る。
(3) わかりやすく自分の考えをまとめた英文を書く。
(4) 自分の考えを相手にわかりやすく英語で伝える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
教科書に沿って授業を進めていきます。基本的に教科書の練習問題を通して、内容理解、及びリスニングの練習をおこないます。教科書に関連したテーマを設定し、発表をおこない、英作文を提出してもらいます。提出した英作文は、内容を確認の上、適宜、返却します。また、数回、小テストをおこないます。小テストはリスニング、あるいは語彙の理解などを問う問題になります。授業の進度と受講者の教科書の内容への理解に応じて、授業の中で教科書以外のニュース英語を取り上げます。また、小テスト等は、適宜、受講者に返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	授業の説明	授業の目標と進め方の説明
第 2 回	Unit 1: Language Lessons	リスニング及び内容理解
第 3 回	Unit 1: Language Lessons	読解及び問題演習
第 4 回	Unit 2: U. S. Consumers Waste Food	リスニング及び内容理解
第 5 回	Unit 2: U. S. Consumers Waste Food	読解及び問題演習
第 6 回	Unit 3: Keeping eSports Athletes in the Game	リスニング及び内容理解
第 7 回	Unit 3: Keeping eSports Athletes in the Game	読解及び問題演習

第 8 回	Unit 4: Adulting Classes for Millennials	リスニング及び内容理解
第 9 回	Unit 4: Adulting Classes for Millennials	読解及び問題演習
第 10 回	Unit 5: Is Your Bottled Water Safe?	リスニング及び内容理解
第 11 回	Unit 5: Is Your Bottled Water Safe?	読解及び問題演習
第 12 回	Unit 6: Sleepless in Japan	リスニング及び内容理解
第 13 回	Unit 6: Sleepless in Japan	読解及び問題演習
第 14 回	試験・まとめと解説	授業の内容の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業の終わりに、次の授業で前もってやっておいてほしい内容を指示します。スマートフォンなどで映像が見れるので、該当する箇所の英文の内容を聞いて、教科書を読み、問題演習などを自宅で済ませて授業に臨んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
CBS NewsBreak 5（CBS ニュースブレイク 5）
熊井信弘他著　成美堂　2021 年　2400 円

【参考書】
参考書は特にありません。

【成績評価の方法と基準】
学期末テスト（50%）、英作文（15%）、発表（15%）、小テスト（20%）から成績を評価します。主に到達目標の (1) と (2) を毎回の授業と小テスト、および学期末テストから、(3) を英作文から、(4) を発表から判断します。
なお、各学期の欠席が 4 回以上になった場合は、原則として単位修得を認めないので注意してください。
コロナの状況により、オンライン授業となった場合は、課題の提出が必要となります。課題の未提出は欠席 1 回として考えます。

【学生の意見等からの気づき】
これまでの英語の発表を振り返りると、十分な時間を確保できず、時間的に押し迫った状況での発表となりました。今年度は時間的な余裕を十分に取れるよう授業を計画したいと思います。

【Outline and objectives】
In this course, students will be introduced to various social and cultural issues of contemporary America through CBS news. The topics ranges from business trends to lifestyle issues, which help students understand American society better. I know many students are interested in some aspects of America such as Walt Disney World in Florida or American Major League Baseball. But CBS news can help students realize various aspects of American society. Through various topics of news reports, student will find common issues such as ecology, gender equality or health and know how American people feel about them. I hope students can compare it with Japanese society and have a deeper understanding of it. And watching the news reports, students can improve their listening ability. The news videos are useful to get the gist of them. Then by reading the news reports of the textbook, students can grasp the details of them and broaden their vocabularies. On topics related with the news reports, students will make a short speech or express their own opinions in writing. I hope students can improve English skills and get a better sense of American society.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**アメリカ社会**

本間　章郎

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
営 2 年：初級／日本語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ニュースを通して、アメリカ社会について学びます。
English 3 では、English 1 と English 2 に引き続いて、読む、書く、聞く、話すという英語の 4 技能の運用能力を、課題を通して深めることを目的とします。特に、まとまった量の英文の内容を的確に理解し、書く、あるいは話すという形で自分の考えをわかりやすく表現してもらえればと思います。同時に、ニュース英語を題材にした英語の 4 技能の練習を通して、アメリカに対して理解を深めていきます。

【到達目標】
授業の到達目標としては、英語の 4 技能の運用能力の向上を目指して次の 4 つの目標を意識してもらいたいと思います。
(1) ある程度の分量の英文を読んで、内容を適切に理解する。
(2) 英文を聞いて、内容を理解し、重要な単語を聞き取る。
(3) わかりやすく自分の考えをまとめた英文を書く。
(4) 自分の考えを相手にわかりやすく英語で伝える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
教科書に沿って授業を進めていきます。基本的に教科書の練習問題を通して、内容理解、及びリスニングの練習をおこないます。教科書に関連したテーマを設定し、発表をおこない、英作文を提出してもらいます。提出した英作文は、内容を確認の上、適宜、返却します。また、数回、小テストをおこないます。小テストはリスニング、あるいは語彙の理解などを問う問題になります。授業の進度と受講者の教科書の内容への理解に応じて、授業の中で教科書以外のニュース英語を取り上げます。また、小テスト等は、適宜、受講者に返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	授業の説明及び春学期の授業内容のまとめ	授業の目標と進め方、春学期の授業の内容の確認
第 2 回	Unit 7: Alarming New Climate Report	リスニング及び内容理解
第 3 回	Unit 7: Alarming New Climate Report	読解及び問題演習
第 4 回	Unit 8: Cracking the Dress Code:#Ku Too Movement	リスニング及び内容理解
第 5 回	Unit 8: Cracking the Dress Code:#Ku Too Movement	読解及び問題演習
第 6 回	Unit 9: Grammar Table Lady Offers Advice	リスニング及び内容理解

第 7 回	Unit 9: Grammar Table Lady Offers Advice	読解及び問題演習
第 8 回	Unit 10: Halloween Treats for Kids with Disabilities	リスニング及び内容理解
第 9 回	Unit 10: Halloween Treats for Kids with Disabilities	読解及び問題演習
第 10 回	Unit 11: A Tax on Tourism?	リスニング及び内容理解
第 11 回	Unit 11: A Tax on Tourism?	読解及び問題演習
第 12 回	Unit 12: Japan Really Loves Kit Kat Bars	リスニング及び内容理解
第 13 回	Unit 12: Japan Really Loves Kit Kat Bars	読解及び問題演習
第 14 回	試験・まとめと解説	授業の内容の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業の終わりに、次の授業で前もってやっておいてほしい内容を指示します。スマートフォンなどで映像が見れるので、該当する箇所の英文の内容を聞いて、教科書を読み、問題演習などを自宅で済ませて授業に臨んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
CBS NewsBreak 5（CBS ニュースブレイク 5）
熊井信弘他著　成美堂　2021 年　2400 円

【参考書】
参考書は特にありません。

【成績評価の方法と基準】
学期末テスト（50%）、英作文（15%）、発表（15%）、小テスト（20%）から成績を評価します。主に到達目標の (1) と (2) を毎回の授業と小テスト、および学期末テストから、(3) を英作文から、(4) を発表から判断します。
なお、各学期の欠席が 4 回以上になった場合は、原則として単位修得を認めないので注意してください。
コロナの状況により、オンライン授業となった場合は、課題の提出が必要となります。課題の未提出は欠席 1 回として考えます。

【学生の意見等からの気づき】
これまでの英語の発表を振り返ると、十分な時間を確保できず、時間的に押し迫った状況での発表となりました。今年度は時間的な余裕を十分に取れるよう授業を計画したいと思います。

【Outline and objectives】
In this course, students will be introduced to various social and cultural issues of contemporary America through CBS news. The topics ranges from business trends to lifestyle issues, which help students understand American society better. I know many students are interested in some aspects of America such as Walt Disney World in Florida or American Major League Baseball. But CBS news can help students realize various aspects of American society. Through various topics of news reports, student will find common issues such as ecology, gender equality or health and know how American people feel about them. I hope students can compare it with Japanese society and have a deeper understanding of it. And watching the news reports, students can improve their listening ability. The news videos are useful to get the gist of them. Then by reading the news reports of the textbook, students can grasp the details of them and broaden their vocabularies. On topics related with the news reports, students will make a short speech or express their own opinions in writing. I hope students can improve English skills and get a better sense of American society.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**世界の中の日本**

猪俣　佳瑞美

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
営 2 年：初級／日本語／世界の中の日本
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English1,2 での学びを踏まえ、4 技能（英語を読み、聞き、書き、話す力）の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、各トピックを国内に存在する身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。

【到達目標】
講義の到達目標は、以下である。
・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。
・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。
・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。
・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。
・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
各 Unit を 1 回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。リスニング練習や、日本語で伝えたいことを英語にする活動などにおいて、講師は実践的且つ具体的なフィードバックを行い、各学生のスキルアップに取り組む。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。大学の行動方針レベルが 2 となった場合、この授業は原則としてオンデマンド授業 (資料型) で行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の目的、内容、進め方の説明 自己紹介など
2	Unit 1 Shared Housing vs. Living Alone	若者の暮らし方を「一人暮らし」と「シェアハウス」を比べることで考える。リーディング素材を使用し、命題に対して批評的な思考を組み立てる方法を学び、意見を日本語で確認した上で、英語にする演習及び、意見をペアやグループで発表。

3	Unit 2 Studying in a Café vs. Home	学習を効率的に行う場所として「自宅」と「カフェ」を比較する。テーマに関する意見を英語で聞き、情報を整理した上で、各自の経験や意見をペアやグループで英語で発表する。
4	Unit 3 Gakuran vs. Blazer	高校の制服デザインについて考える。代表的なものとして「学ラン」と「ブレザー」を取り上げるが、現代社会における多様性という面からも、制服に求められる社会的役割を各自が考え、英語で意見をまとめる演習を行う。
5	Unit 4 Coming-of-Age Ceremonies	成人式の必要性について考える。また、海外には日本の「成人式」に該当する行事は無いため、その概要や存在意義を英語で説明できるようにする。最後に、各自の成人式に対する意見交換を英語で行う。
6	Unit 5 24/7 Convenience Stores	コンビニの 24 時間営業について考える。各学生が 24 時間営業に「賛成」なのか「反対」なのか、各自の立場を明確にした上で、ペアやグループに分かれ、理論的に意見を述べる練習を行う。
7	Unit 6 Japanese Era Names	「元号」について考える。2019 年５月に導入された新元号「令和」。元号が変わる時を体験した学生同士だからこそ可能な、元号の必要性や意義に関する意見を英語で交換したい。また世界でも珍しい「元号」の英語による説明方法も取り上げる。
8	Unit 7 Point Cards	購入した額によって与えられる「ポイント」や「ポイントカード」について考える。このサービスを受ける側からだけでなく、与える側からも考察し、存在意義を考えたい。身近なトピックであることから、各自が実体験を踏まえ、わかりやすく自分の考えを英語で相手に伝える練習を行う。
9	Unit 8 Disaster Volunteers	自然災害時のボランティアについて考える。特に「ボランティア」と「報酬」に関する英文を読んだ上で、各自の考えを論理的にまとめ、説得力ある意見にする練習を行う。
10	Unit 9 Domestic Trip vs. Abroad	「旅行」をテーマに取り上げる。「国内旅行」と「海外旅行」を比較し、10 万円あったら「国内」「海外」どちらを旅行したいか英語で意見を述べ合う。各自、その理由を明確にできるよう、具体的な旅行案も考えた上で授業に参加してほしい。
11	Unit 10 Studying English Abroad	「留学」をテーマに取り上げる。最近、人気の高いアジア諸国への留学に関する英文を読んだ上で、各自が、語学留学するなら、どこの国へ行きたいか、その理由などを明確にした上で、意見交換を行う。
12	プレゼンテーション準備と確認	13、14 回めの講義で行うプレゼンテーションに関する説明を行い、各自で準備を進める。
13	プレゼンテーション１	各学生が今までに講義で扱ったトピックから１つを選び、クラス全体に発表する１回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
14	プレゼンテーション２ 小テストとまとめ	各学生が今までに講義で扱ったトピックから１つを選び、クラス全体に発表する２回目。 春学期に扱った語彙を中心とする小テストも実施。学びを総括する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定された Unit を事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。Listening Dictation 問題は講義内で行うので予習不要。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。
準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。
準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

【テキスト（教科書）】

英語で考え、英語で発信する 2　Two Sides to Every Discussion 2
Jonathan Lynch / 委文　光太郎 著
成美堂 2020 年　1,900 円（税込 2,090 円）

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

平常点 40 %　発表 40 %　小テスト 20 % 遅刻は厳禁。授業開始時刻から 30 分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、４回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違えを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

【学生が準備すべき機器他】

電子辞書を必ず持参すること

【Outline and objectives】

This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**世界の中の日本**

猪俣　佳瑞美

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
営 2 年：初級／日本語／世界の中の日本
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English1,2 での学びを踏まえ、４技能（英語を読み、聞き、書き、話す力）の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、各トピックを国内に存在する身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。

【到達目標】
講義の到達目標は、以下である。
・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。
・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。
・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。
・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。
・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
各 Unit を１回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。リスニング練習や、日本語で伝えたいことを英語にする活動などにおいて、講師は実践的且つ具体的なフィードバックを行い、各学生のスキルアップに取り組む。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンデマンド授業 (資料型) で行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	秋学期スタートにあたって	夏休みにあったことを英語で話す 秋学期の講義進め方確認 次講義の事前学習範囲の確認
2	Unit 11　More Foreign Visitors	インバウンドについて考える。日本を訪れる外国人観光客に関する英文を読んだ上で、東京オリンピックも踏まえ、各学生が感じていることを英語でまとめ、意見交換する。
3	Unit 12 New Year's Eve Fireworks	「年越しイベントとしての花火大会」の実施を考える。日本では、夏に行われる花火大会だが、海外では大晦日のイベントとして人気が高い。その理由を考えながら、日本文化として花火大会が持つ意味を英語で伝える練習も行う。
4	Unit 13　April Fools'Day in Japan	「エイプリルフール」について考える。海外と日本のエイプリルフールを比較し、日本人の傾向を述べた英文を読んだ上で、各自がエイプリルフールに関して考えていることを英語でまとめ、意見交換を行う。
5	Unit 14 Summer-Vacation Assignments	「夏休みの宿題」について考える。日本の小中学校における夏休みの宿題に関する英文を読んだ上で、各自が自身の体験を踏まえ、その功罪を客観的に分析し、英語での意見交換を行う。
6	Unit 15 Halloween Is Best!	日本で楽しまれている「外国のお祭り」について考える。特に昨今、広く浸透し、時に問題点も指摘されているハロウィーンを取り上げ、各自の意見を理論的にまとめ、意見交換を行う。
7	Unit 16 Valentine's Day in Japan	「日本のバレンタインデー」について考える。海外との習慣の違いなどを踏まえた英文を読んだ上で、日本独自に発展したバレンタインデーを英語で説明できるよう練習を行う。最後には、各自のバレンタインデーに対する見解を英語で述べ合う。
8	Unit 17 Smartphone Lock Screens	「スマートフォンのロック」及び「ロック解除方法」について考える。日常で行っている行為を英語で表現するために必要な語彙を増やし、個人情報を守るために必要だと考えていることを英語で伝える練習を行う。
9	Unit 18 YouTube vs. Normal TV	「テレビ番組」と「YouTube」について考える。２つのメディアを比較した英文を読んだ上で、各自がそれぞれのメディアに対して感じていることを述べ合い、それぞれのメディアをどのように利用しているのか情報交換を行う。
10	Unit 19　Internet vs. Bricks-and-Mortar	「買い物」について考える。特にオンラインショップと実店舗を比較した英文を読んだ上で、各自が買い物をするときに重視していることや注意していることなど、身近な内容をわかりやすく英語で説明する練習を行う。
11	Unit 20 Translation Software	「翻訳ソフト」について考える。英語の宿題に翻訳ソフトを使用するべきか否かを取り上げた英文を読んだ上で、各自が立場を明らかにした上で、賛成または反対の意見を客観的に述べ、議論を行う。
12	プレゼンテーション１	各学生が今までに講義で扱ったトピックから１つを選び、クラス全体に発表する１回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
13	プレゼンテーション２	各学生が今までに講義で扱ったトピックから１つを選び、クラス全体に発表する２回目。

14	小テストとまとめ	秋学期に扱った語彙などを中心とする小テストを実施。学びを総括する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4
hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.
準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定された Unit を事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。Listening Dictation 問題は講義内で行うので予習不要。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。
準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。
準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

【テキスト（教科書）】
英語で考え、英語で発信する 2　　Two Sides to Every Discussion 2
Jonathan Lynch / 委文　光太郎 著
成美堂 2020 年　1,900 円（税込 2,090 円）

【参考書】
特になし

【成績評価の方法と基準】
平常点 40 %　発表 40 %　小テスト 20 % 遅刻は厳禁。授業開始時刻から 30 分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、4 回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】
英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違えを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

【学生が準備すべき機器他】
電子辞書を必ず持参すること

【Outline and objectives】
This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**現代の諸相**

猪俣　佳瑞美

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：初級／日本語／現代の諸相
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English1,2 での学びを踏まえ、4 技能（英語を読み、聞き、書き、話す力）の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、現代社会に存在する様々な事柄を身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。

【到達目標】
講義の到達目標は、以下である。
・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。
・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。
・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。
・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。
・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
各 Unit を 1 回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。リスニング練習や、日本語で伝えたいことを英語にする活動などにおいて、講師は実践的且つ具体的なフィードバックを行い、各学生のスキルアップに取り組む。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。大学の行動方針レベルが 2 となった場合、この授業は原則としてオンデマンド授業 (資料型) で行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の目的、内容、進め方の説明 自己紹介など
2	Unit 1 Shared Housing vs. Living Alone	若者の暮らし方を「一人暮らし」と「シェアハウス」を比べることで考える。リーディング素材を使用し、命題に対して批評的な思考を組み立てる方法を学び、意見を日本語で確認した上で、英語にする演習及び、意見をペアやグループで発表。

3	Unit 2 Studying in a Café vs. Home	学習を効率的に行う場所として「自宅」と「カフェ」を比較する。テーマに関する意見を英語で聞き、情報を整理した上で、各自の経験や意見をペアやグループで英語で発表する。
4	Unit 3 Gakuran vs. Blazer	高校の制服デザインについて考える。代表的なものとして「学ラン」と「ブレザー」を取り上げるが、現代社会における多様性という面からも、制服に求められる社会的役割を各自が考え、英語で意見をまとめる演習を行う。
5	Unit 4 Coming-of-Age Ceremonies	成人式の必要性について考える。また、海外には日本の「成人式」に該当する行事は無いため、その概要や存在意義を英語で説明できるようにする。最後に、各自の成人式に対する意見交換を英語で行う。
6	Unit 5 24/7 Convenience Stores	コンビニの 24 時間営業について考える。各学生が 24 時間営業に「賛成」なのか「反対」なのか、各自の立場を明確にした上で、ペアやグループに分かれ、理論的に意見を述べる練習を行う。
7	Unit 6 Japanese Era Names	「元号」について考える。2019 年５月に導入された新元号「令和」。元号が変わる時を体験した学生同士だからこそ可能な、元号の必要性や意義に関する意見を英語で交換したい。また世界でも珍しい「元号」の英語による説明方法も取り上げる。
8	Unit 7 Point Cards	購入した額によって与えられる「ポイント」や「ポイントカード」について考える。このサービスを受ける側からだけでなく、与える側からも考察し、存在意義を考えたい。身近なトピックであることから、各自が実体験を踏まえ、わかりやすく自分の考えを英語で相手に伝える練習を行う。
9	Unit 8 Disaster Volunteers	自然災害時のボランティアについて考える。特に「ボランティア」と「報酬」に関する英文を読んだ上で、各自の考えを論理的にまとめ、説得力ある意見にする練習を行う。
10	Unit 9 Domestic Trip vs. Abroad	「旅行」をテーマに取り上げる。「国内旅行」と「海外旅行」を比較し、10 万円あったら「国内」「海外」どちらを旅行したいか英語で意見を述べ合う。各自、その理由を明確にできるよう、具体的な旅行案も考えた上で授業に参加してほしい。
11	Unit 10 Studying English Abroad	「留学」をテーマに取り上げる。最近、人気の高いアジア諸国への留学に関する英文を読んだ上で、各自が、語学留学するなら、どこの国へ行きたいか、その理由などを明確にした上で、意見交換を行う。
12	プレゼンテーション準備と確認	13、14 回めの講義で行うプレゼンテーションに関する説明を行い、各自で準備を進める。
13	プレゼンテーション１	各学生が今までに講義で扱ったトピックから１つを選び、クラス全体に発表する１回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
14	プレゼンテーション２ 小テストとまとめ	各学生が今までに講義で扱ったトピックから１つを選び、クラス全体に発表する２回目。 春学期に扱った語彙を中心とする小テストも実施。学びを総括する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定された Unit を事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。Listening Dictation 問題は講義内で行うので予習不要。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。
準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。
準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

【テキスト（教科書）】

英語で考え、英語で発信する 2　　Two Sides to Every Discussion 2
Jonathan Lynch / 委文　光太郎 著
成美堂 2020 年　1,900 円（税込 2,090 円）

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

平常点 40 %　発表 40 %　小テスト 20 % 遅刻は厳禁。授業開始時刻から 30 分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、４回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違えを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

【学生が準備すべき機器他】

電子辞書を必ず持参すること

【Outline and objectives】

This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**現代の諸相**

猪俣　佳瑞美

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：初級／日本語／現代の諸相
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
English1,2 での学びを踏まえ、４技能（英語を読み、聞き、書き、話す力）の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、現代社会に存在する様々な事柄を身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。

【到達目標】
講義の到達目標は、以下である。
・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。
・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。
・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。
・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。
・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
各 Unit を１回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。リスニング練習や、日本語で伝えたいことを英語にする活動などにおいて、講師は実践的且つ具体的なフィードバックを行い、各学生のスキルアップに取り組む。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンデマンド授業 (資料型) で行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	秋学期スタートにあたって	夏休みにあったことを英語で話す 秋学期の講義進め方確認 次講義の事前学習範囲の確認
2	Unit 11　More Foreign Visitors	インバウンドについて考える。日本を訪れる外国人観光客に関する英文を読んだ上で、東京オリンピックも踏まえ、各学生が感じていることを英語でまとめ、意見交換する。
3	Unit 12 New Year's Eve Fireworks	「年越しイベントとしての花火大会」の実施を考える。日本では、夏に行われる花火大会だが、海外では大晦日のイベントとして人気が高い。その理由を考えながら、日本文化として花火大会が持つ意味を英語で伝える練習も行う。
4	Unit 13　April Fools'Day in Japan	「エイプリルフール」について考える。海外と日本のエイプリルフールを比較し、日本人の傾向を述べた英文を読んだ上で、各自がエイプリルフールに関して考えていることを英語でまとめ、意見交換を行う。
5	Unit 14 Summer-Vacation Assignments	「夏休みの宿題」について考える。日本の小中学校における夏休みの宿題に関する英文を読んだ上で、各自が自身の体験を踏まえ、その功罪を客観的に分析し、英語での意見交換を行う。
6	Unit 15 Halloween Is Best!	日本で楽しまれている「外国のお祭り」について考える。特に昨今、広く浸透し、時に問題点も指摘されているハロウィーンを取り上げ、各自の意見を理論的にまとめ、意見交換を行う。
7	Unit 16 Valentine's Day in Japan	「日本のバレンタインデー」について考える。海外との習慣の違いなどを踏まえた英文を読んだ上で、日本独自に発展したバレンタインデーを英語で説明できるよう練習を行う。最後には、各自のバレンタインデーに対する見解を英語で述べ合う。
8	Unit 17 Smartphone Lock Screens	「スマートフォンのロック」及び「ロック解除方法」について考える。日常で行っている行為を英語で表現するために必要な語彙を増やし、個人情報を守るために必要だと考えていることを英語で伝える練習を行う。
9	Unit 18 YouTube vs. Normal TV	「テレビ番組」と「YouTube」について考える。２つのメディアを比較した英文を読んだ上で、各自がそれぞれのメディアに対して感じていることを述べ合い、それぞれのメディアをどのように利用しているのか情報交換を行う。
10	Unit 19　Internet vs. Bricks-and-Mortar	「買い物」について考える。特にオンラインショップと実店舗を比較した英文を読んだ上で、各自が買い物をするときに重視していることや注意していることなど、身近な内容をわかりやすく英語で説明する練習を行う。
11	Unit 20 Translation Software	「翻訳ソフト」について考える。英語の宿題に翻訳ソフトを使用するべきか否かを取り上げた英文を読んだ上で、各自が立場を明らかにした上で、賛成または反対の意見を客観的に述べ、議論を行う。
12	プレゼンテーション１	各学生が今までに講義で扱ったトピックから１つを選び、クラス全体に発表する１回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
13	プレゼンテーション２	各学生が今までに講義で扱ったトピックから１つを選び、クラス全体に発表する２回目。

14	小テストとまとめ	秋学期に扱った語彙などを中心とする小テストを実施。学びを総括する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4
hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.
準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定された Unit を事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。Listening Dictation 問題は講義内で行うので予習不要。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。
準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。
準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

【テキスト（教科書）】
英語で考え、英語で発信する 2　　Two Sides to Every Discussion 2
Jonathan Lynch / 委文　光太郎 著
成美堂 2020 年　1,900 円（税込 2,090 円）

【参考書】
特になし

【成績評価の方法と基準】
平常点 40 %　発表 40 %　小テスト 20 % 遅刻は厳禁。授業開始時刻から 30 分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、4 回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】
英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違えを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

【学生が準備すべき機器他】
電子辞書を必ず持参すること

【Outline and objectives】
This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay.

LANe200LA

English3 Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**アメリカ社会**

本間　章郎

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：初級／日本語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ニュースを通して、アメリカ社会について学びます。
English 3 では、English 1 と English 2 に引き続いて、読む、書く、聞く、話すという英語の 4 技能の運用能力を、課題を通して深めることを目的とします。特に、まとまった量の英文の内容を的確に理解し、書く、あるいは話すという形で自分の考えをわかりやすく表現してもらえればと思います。同時に、ニュース英語を題材にした英語の 4 技能の練習を通して、アメリカに対して理解を深めていきます。

【到達目標】
授業の到達目標としては、英語の 4 技能の運用能力の向上を目指して次の 4 つの目標を意識してもらいたいと思います。
(1) ある程度の分量の英文を読んで、内容を適切に理解する。
(2) 英文を聞いて、内容を理解し、重要な単語を聞き取る。
(3) わかりやすく自分の考えをまとめた英文を書く。
(4) 自分の考えを相手にわかりやすく英語で伝える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
教科書に沿って授業を進めていきます。基本的に教科書の練習問題を通して、内容理解、及びリスニングの練習をおこないます。教科書に関連したテーマを設定し、発表をおこない、英作文を提出してもらいます。提出した英作文は、内容を確認の上、適宜、返却します。また、数回、小テストをおこないます。小テストはリスニング、あるいは語彙の理解などを問う問題になります。授業の進度と受講者の教科書の内容への理解に応じて、授業の中で教科書以外のニュース英語を取り上げます。また、小テスト等は、適宜、受講者に返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	授業の説明	授業の目標と進め方の説明
第 2 回	Unit 1: Language Lessons	リスニング及び内容理解
第 3 回	Unit 1: Language Lessons	読解及び問題演習
第 4 回	Unit 2: U. S. Consumers Waste Food	リスニング及び内容理解
第 5 回	Unit 2: U. S. Consumers Waste Food	読解及び問題演習
第 6 回	Unit 3: Keeping eSports Athletes in the Game	リスニング及び内容理解
第 7 回	Unit 3: Keeping eSports Athletes in the Game	読解及び問題演習

第 8 回	Unit 4: Adulting Classes for Millennials	リスニング及び内容理解
第 9 回	Unit 4: Adulting Classes for Millennials	読解及び問題演習
第 10 回	Unit 5: Is Your Bottled Water Safe?	リスニング及び内容理解
第 11 回	Unit 5: Is Your Bottled Water Safe?	読解及び問題演習
第 12 回	Unit 6: Sleepless in Japan	リスニング及び内容理解
第 13 回	Unit 6: Sleepless in Japan	読解及び問題演習
第 14 回	試験・まとめと解説	授業の内容の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業の終わりに、次の授業で前もってやっておいてほしい内容を指示します。スマートフォンなどで映像が見れるので、該当する箇所の英文の内容を聞いて、教科書を読み、問題演習などを自宅で済ませて授業に臨んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
CBS NewsBreak 5（CBS ニュースブレイク 5）
熊井信弘他著　成美堂　2021 年　2400 円

【参考書】
参考書は特にありません。

【成績評価の方法と基準】
学期末テスト（50%）、英作文（15%）、発表（15%）、小テスト（20%）から成績を評価します。主に到達目標の (1) と (2) を毎回の授業と小テスト、および学期末テストから、(3) を英作文から、(4) を発表から判断します。
なお、各学期の欠席が 4 回以上になった場合は、原則として単位修得を認めないので注意してください。
コロナの状況により、オンライン授業となった場合は、課題の提出が必要となります。課題の未提出は欠席 1 回として考えます。

【学生の意見等からの気づき】
これまでの英語の発表を振り返りると、十分な時間を確保できず、時間的に押し迫った状況での発表となりました。今年度は時間的な余裕を十分に取れるよう授業を計画したいと思います。

【Outline and objectives】
In this course, students will be introduced to various social and cultural issues of contemporary America through CBS news. The topics ranges from business trends to lifestyle issues, which help students understand American society better. I know many students are interested in some aspects of America such as Walt Disney World in Florida or American Major League Baseball. But CBS news can help students realize various aspects of American society. Through various topics of news reports, student will find common issues such as ecology, gender equality or health and know how American people feel about them. I hope students can compare it with Japanese society and have a deeper understanding of it. And watching the news reports, students can improve their listening ability. The news videos are useful to get the gist of them. Then by reading the news reports of the textbook, students can grasp the details of them and broaden their vocabularies. On topics related with the news reports, students will make a short speech or express their own opinions in writing. I hope students can improve English skills and get a better sense of American society.

LANe200LA

English3 Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**アメリカ社会**

本間　章郎

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
営 2 年：初級／日本語／英語圏の文化と社会
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ニュースを通して、アメリカ社会について学びます。
English 3 では、English 1 と English 2 に引き続いて、読む、書く、聞く、話すという英語の 4 技能の運用能力を、課題を通して深めることを目的とします。特に、まとまった量の英文の内容を的確に理解し、書く、あるいは話すという形で自分の考えをわかりやすく表現してもらえればと思います。同時に、ニュース英語を題材にした英語の 4 技能の練習を通して、アメリカに対して理解を深めていきます。

【到達目標】
授業の到達目標としては、英語の 4 技能の運用能力の向上を目指して次の 4 つの目標を意識してもらいたいと思います。
(1) ある程度の分量の英文を読んで、内容を適切に理解する。
(2) 英文を聞いて、内容を理解し、重要な単語を聞き取る。
(3) わかりやすく自分の考えをまとめた英文を書く。
(4) 自分の考えを相手にわかりやすく英語で伝える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
教科書に沿って授業を進めていきます。基本的に教科書の練習問題を通して、内容理解、及びリスニングの練習をおこないます。教科書に関連したテーマを設定し、発表をおこない、英作文を提出してもらいます。提出した英作文は、内容を確認の上、適宜、返却します。また、数回、小テストをおこないます。小テストはリスニング、あるいは語彙の理解などを問う問題になります。授業の進度と受講者の教科書の内容への理解に応じて、授業の中で教科書以外のニュース英語を取り上げます。また、小テスト等は、適宜、受講者に返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	授業の説明及び春学期の授業内容のまとめ	授業の目標と進め方、春学期の授業の内容の確認
第 2 回	Unit 7: Alarming New Climate Report	リスニング及び内容理解
第 3 回	Unit 7: Alarming New Climate Report	読解及び問題演習
第 4 回	Unit 8: Cracking the Dress Code:#Ku Too Movement	リスニング及び内容理解
第 5 回	Unit 8: Cracking the Dress Code:#Ku Too Movement	読解及び問題演習
第 6 回	Unit 9: Grammar Table Lady Offers Advice	リスニング及び内容理解

第 7 回	Unit 9: Grammar Table Lady Offers Advice	読解及び問題演習
第 8 回	Unit 10: Halloween Treats for Kids with Disabilities	リスニング及び内容理解
第 9 回	Unit 10: Halloween Treats for Kids with Disabilities	読解及び問題演習
第 10 回	Unit 11: A Tax on Tourism?	リスニング及び内容理解
第 11 回	Unit 11: A Tax on Tourism?	読解及び問題演習
第 12 回	Unit 12: Japan Really Loves Kit Kat Bars	リスニング及び内容理解
第 13 回	Unit 12: Japan Really Loves Kit Kat Bars	読解及び問題演習
第 14 回	試験・まとめと解説	授業の内容の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業の終わりに、次の授業で前もってやっておいてほしい内容を指示します。スマートフォンなどで映像が見れるので、該当する箇所の英文の内容を聞いて、教科書を読み、問題演習などを自宅で済ませて授業に臨んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
CBS NewsBreak 5（CBS ニュースブレイク 5）
熊井信弘他著　成美堂　2021 年　2400 円

【参考書】
参考書は特にありません。

【成績評価の方法と基準】
学期末テスト（50%）、英作文（15%）、発表（15%）、小テスト（20%）から成績を評価します。主に到達目標の (1) と (2) を毎回の授業と小テスト、および学期末テストから、(3) を英作文から、(4) を発表から判断します。
なお、各学期の欠席が 4 回以上になった場合は、原則として単位修得を認めないので注意してください。
コロナの状況により、オンライン授業となった場合は、課題の提出が必要となります。課題の未提出は欠席 1 回として考えます。

【学生の意見等からの気づき】
これまでの英語の発表を振り返りると、十分な時間を確保できず、時間的に押し迫った状況での発表となりました。今年度は時間的な余裕を十分に取れるよう授業を計画したいと思います。

【Outline and objectives】
In this course, students will be introduced to various social and cultural issues of contemporary America through CBS news. The topics ranges from business trends to lifestyle issues, which help students understand American society better. I know many students are interested in some aspects of America such as Walt Disney World in Florida or American Major League Baseball. But CBS news can help students realize various aspects of American society. Through various topics of news reports, student will find common issues such as ecology, gender equality or health and know how American people feel about them. I hope students can compare it with Japanese society and have a deeper understanding of it. And watching the news reports, students can improve their listening ability. The news videos are useful to get the gist of them. Then by reading the news reports of the textbook, students can grasp the details of them and broaden their vocabularies. On topics related with the news reports, students will make a short speech or express their own opinions in writing. I hope students can improve English skills and get a better sense of American society.

LANe200LA

英語７

2017 年度以降入学者

竹内　晶子

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**1 単位**
国 2 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では、文法・語彙・構文をしっかりおさえながら、アメリカのみならず世界各地で読まれている The New York Times の実際の記事を読んでいきます。「日本人学生向けに易しく書き直された英語文章」ではない本当の「生の英語」に慣れ親しむばかりでなく、整形、結婚、宗教など、現代社会の様々な問題への理解も深めていきます。

【到達目標】
・英語ニュース記事のスタイルに慣れ、記事概要を容易に把握できるようになる。
・構文把握に慣れ、複雑な内容の長文を的確に理解できるようになる。
・現代社会の様々な問題をめぐる議論を英語で理解し、またその問題に関する自分の意見を英語で発信できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
教科書を和訳してノートに書く → 学習支援システム上の予習テストに回答する →zoom で行われる授業に出席する → 学習支援システム上の復習テストに回答する、という流れで毎週の学習を行います。授業内ではアトランダムに訳をあて、内容理解とともに構文把握を確認していきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業紹介
2	Unit 4 (1) Older Women, Too, Struggle with a Dangerous Secret	reading
3	Unit 4 (2) Older Women, Too, Struggle with a Dangerous Secret	reading and listening
4	Unit 5 (1) A Lovelier You, with Off-the-Shelf Parts	reading
5	Unit 5 (2) A Lovelier You, with Off-the-Shelf Parts	reading and listening
6	Unit 5 (3) A Lovelier You, with Off-the-Shelf Parts	reading and critical thinking exercise
7	Unit 7 (1) Culture or Chromosomes?	reading
8	Unit 7 (2) Culture or Chromosomes?	reading and listening

9	Unit 8 (1) For Better or Worse: Marriage's Stormy Future	reading
10	Unit 8 (2) For Better or Worse: Marriage's Stormy Future	reading and listening
11	Unit 8 (3) For Better or Worse: Marriage's Stormy Future	reading and critical thinking exercise
12	Unit 10 (1) Holiday Wars: Merry Whatever	reading
13	Unit 10 (2) Holiday Wars: Merry Whatever	reading and listening
14	Unit 10 (3) Holiday Wars: Merry Whatever	reading and critical thinking exercise

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
教科書の指定テキスト全訳をノートに書き、予習テストに期限内に回答することが必須の予習です。あてられたその場で辞書をひいたり訳を作ったりしている際は、予習をしてこなかったとみなします。授業後は復習テストに期限内に回答すること。
大学設置基準に鑑みて、準備・復習時間は毎週一時間以上が標準となります。

【テキスト（教科書）】
喜多留女・細川祐子『World Graffiti ニューヨークタイムズで世界を知る』英宝社、２００６年。

【参考書】
『リーダーズ・リーダーズプラス英和辞典』研究社。

【成績評価の方法と基準】
予習テスト： 30%
復習テスト： 30%
授業内活動への参加： 40%

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません

【学生が準備すべき機器他】
学習支援システムを用います。

【その他の重要事項】
原則として、四回以上の欠席をした場合、単位修得の権利を失います。

【Outline and objectives】
In this course, students will read various articles from The New York Times, on such controversial social issues as immigrants, plastic surgery, marriage, and religion.

LANe200LA

英語７

2017 年度以降入学者

須藤　祐二

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火 2**/Tue.2
単位数：**1 単位**
国 2 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
SA 前に「英語を読むこと」を中心にした最後の授業になるので、移民について書かれた論説文や新聞記事の講読をテーマにする。これらの教材は英語学習者用に書かれたものではないが、専門的な内容を扱う割には平易に書かれている。この授業によって、専門的な内容のものでも読めるという自信を SA 前に身につけてもらいたい。また、読み取った内容を英語で表現する練習も取り入れる。英語圏 SA 先の社会は多様な人種背景をもった人々で成り立っているので、異文化体験を意義あるものにするためにも、こうした社会について、きちんとした基礎知識を身につけてほしい。

【到達目標】
学生は、簡単な英語で書かれたものであれば、専門的な内容でも読めるようにする。
専門的見地から書かれた論点を批判的にくみ取り、自分の意見を英語で表現できるようにする。英語運用能力の強化はもちろんとして、SA 前の学生が身につけるべき国際社会についての基礎知識の獲得も目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
段落ごとの内容を日本語で要約する。難しい内容や表現の箇所については訳読も取り入れて理解を促進する。また、読み取った内容を基に自分の意見を英語で表現するための演習も取り入れる。
提出された課題のフィードバックは、授業中だけでなく、「学習支援システム」（Hoppii）を通じて行う。
この授業はハイブリッド型で行う。対面の週と Zoom の週がある。詳細は Hoppii で知らせるので、毎週、確認してください。大学の行動方針レベル２以上では Zoom で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業テーマの確認をする。
第 2 回	移民の歴史	移民の歴史について書かれた論説文を読む。
第 3 回	移民と現代社会	移民と現代社会の多様なかかわりを考える。
第 4 回	強制移住とは	強制移住の定義と歴史を考える。
第 5 回	自発的な移民とは	自発的な移民の特徴を考える。
第 6 回	グローバリゼーションと移民	移民とグローバリゼーションの関係を考える。
第 7 回	グローバリゼーション下の移民と多様性	グローバリゼーションと多様性の関係を考える。
第 8 回	移民と経済発展	移住先の国の開発・経済発展と移民の関係を考える。
第 9 回	移民と開発支援	移民の出身国の開発支援と移民の関係を考える。
第 10 回	欧州と移民	欧州における非合法移民を考える。
第 11 回	アメリカと移民	アメリカにおける非合法移民を考える。
第 12 回	難民とは	難民の現状と定義を考える。

第 13 回　難民と統合	亡命先社会への難民の統合と課題を考える。
第 14 回　移民と言語	移民と言語の関係を考える。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
各回、予習が必要になる。また、有用と思われる資料を紹介した場合には、その読解や視聴を行ってから授業に出席すること。リスニング・ハンドブックに掲載のサイトを指定するので、各自でリスニングの練習をすること。本授業の準備・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
配布する。
必ず英和・和英辞書を持参して、授業に参加すること。

【参考書】
特に指定しない。

【成績評価の方法と基準】
期末試験を 70 %、授業内に課した課題を含む平常評価を 30 %とする。4 回以上欠席した者は単位を認定しない。欠席回数や遅刻による減点もあるので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】
受講生の英語力に配慮しながら、進む速度を調整することがある。

【学生が準備すべき機器他】
Zoom による授業を大学でうけるときには、自分用のマイク付きヘッドセットを用意すること。同じ授業を受けている学生が近くにいる状態でヘッドセットなしで授業を受けるとハウリングが起こり、授業に支障がでる。

【Outline and objectives】
Since English 7 is the last course focusing on developing reading skills in English before students embark on their respective Study Abroad programs, emphasis will be put on reading passages of essays and newspaper articles related to immigrants. These materials are level-appropriate for English learners, though not written specifically for them. Reading passages written for specialists will enable students to develop confidence in their reading skills. Practices will also be given to make summaries of passages. Since students will go to SA campuses in multiethnic countries, this course also aims to help them acquire knowledge about some characteristic aspects of their host countries in order to make their SA experiences fruitful.

LANe200LA

英語７

2017 年度以降入学者

中和　彩子

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**火** 2/Tue.2
単位数：**1 単位**
国 2 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
異文化コミュニケーションに関わるさまざまな知識や考え方を学びながら、SA に必要な英語力、とくに「読む力」をつける。

【到達目標】
１．英文を、一語ごとに立ち止まることなく、意味のかたまり（句や節）を意識しながら一定の速度で読むことができる。（フレーズ・リーディングの習得。）
２．パラグラフの構造・構成を意識して長文を正確に読み、内容を的確につかむことができる。（パラグラフ・リーディングの習得。）
３．読んで理解できる英文を、聴解できる。
４．読んで理解できた英文を、日本語・英語の両方で要約できる。
５．異文化コミュニケーションへの理解を深めることを通じて、SA 先でコミュニケーションを円滑に行うための心構えができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
教科書本文の内容の理解を深め、本文に出てきた英語表現を身につけることを目的として、本文・練習問題に関するグループワークや質疑応答を行う。
各授業の最後に、理解を確認するための小テスト（単語、聴き取り、等）、リアクションペーパーを実施する。（原則として翌週返却。）
※この授業はハイブリッド型です。対面の週とオンライン（Zoom または学習支援システム）の週があります。大学の行動方針レベルが２となった場合には、原則としてオンラインとします。詳細は学習支援システムでお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション/ Unit 1	授業について。SA に向けての英語・各国文化事情などの勉強について。『英語リスニング・ハンドブック』などを利用しての日常的な自習について。/ Intercultural Communication in Today's World
2	Unit 2	English for Intercultural Communication
3	Unit 3	Important Features of Human Communication
4	Unit 4	The Concept of Culture
5	Unit 5	Language and Thought
6	Unit 6/Unit 7	Communication Styles/ Human Psychology and Communication
7	復習、補足（SA 先のニュースや文化）	前半： Unit 1～7 の復習・補足。後半：事前に指定・配付しておいた教材を用い、SA 先ごとに分かれたグループワーク。
8	Unit 8	Speech Acts across Cultures
9	Unit 9	Stereotypes and Intercultural Communication

10	Unit 10	Cultural Accommodation in Intercultural Communication
11	Unit 11	Intercultural Communication in Higher Education
12	Unit 12/ Unit 13	Study Abroad and Intercultural Adaptation/ Intercultural Competence for the Future
13	復習	前半： Unit 1～13 の復習。後半：復習試験の実施。
14	復習、補足（SA 先のニュースや文化）	前半：復習試験の返却、解説。後半：事前に指定・配付しておいた教材を用い、SA 先ごとに分かれたグループワーク。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
準備学習は必須である。最低限、
(1) 本文を読み、不明点を洗い出す
(2) 本文の音声（教科書に付属の CD）を用いて、聴解・朗読ができるようにする
(3) 練習問題を解く
ことが必要。
付属の CD のナレーションは、アメリカ (Unit 1,5,9,13)、イギリス (Unit 2,6,10)、カナダ (Unit3, 7, 11)、オーストラリア (Unit 4, 8, 12) の４か国のネイティブスピーカーが担当している。授業では繰り返し聴く時間はないので、自習の際に活用し、各 SA 先で使われる英語の違いに親しんだり、自分の SA 先の英語に耳を慣らしたりしてほしい。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準 とします。

【テキスト（教科書）】
Troy McConachy、古家聡、櫻井千佳子共著、『Intercultural Communication for English Language Learners in Japan （英語学習者のための異文化コミュニケーション）』南雲堂.

【参考書】
大学～一般向けの英和および英英辞書、各１点以上。
いずれも各自の好みで選んで構わないが、用例を豊富に載せているものを１点は使用すること。
毎回の授業にも持参のこと。

【成績評価の方法と基準】
平常点（小テスト・リアクションペーパー）50%、および復習試験 50%の成績の総合評価。
４回以上欠席の場合、単位を与えない。
遅刻や授業態度の不良については、頻度や程度に応じて、総合点から減点する場合がある。

【学生の意見等からの気づき】
ペア／グループワークを効果的に取り入れ、学生同士で学び合えるようにすることが重要である。

【学生が準備すべき機器他】
Zoom による授業を大学で受けるときには、自分用のマイク付きヘッドセットを用意してください。

【Outline and objectives】
The aim of English 7 is to further develop students' reading ability in preparation for their SA programs in English-speaking countries. Students will also be introduced to various academic approaches to intercultural communication, thereby conceiving their own ideas about how to communicate with people from different cultures.

LANe200LA

英語７

2017 年度以降入学者

鹿子嶋　由佳

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火 3**/Tue.3
単位数：**1 単位**
国 2 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では、日常生活や現代社会の様々なトピックについての英文を素早く正確に読む力を養います。授業内でのリーディングの練習の他に、SA 英語圏留学の際に生かせるように、情報収集と意見を述べることに必要な語彙力の向上を目指します。

【到達目標】
１．テキスト内の英文を素早く正確に読解することが出来るようになる。
２．既習事項を踏まえ、テキスト以外の様々なトピックについての英文を可能な限り速く読み、内容を正確に把握出来るようになる。
３．テキスト内の語彙や表現を理解し、情報収集や表現をする際に使えるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
この授業はハイブリッド型（大学の行動方針レベル１の場合）です。対面の週と Zoom（リアルタイム配信）の週があります。詳細は学習支援システムでお知らせします。
テキストの学習を始める前に、第 1 回目の授業内に Placement Test を行い、春学期開始時のレベルを受講者が各自把握します。授業では 1 回につき 1 つの Unit を進めていきます。使用テキストには、リーディング専用のウェブ教材（ActeaBo）があります。授業後に、授業で学習したことの確認とリーディングスキルの向上のための復習として、各自ウェブ上で課題を行ってください。授業と復習課題の際には、素早く正確に読解できるようになることを目指しますので、リーディングにかかった時間を記録していきます。学期中には学習進捗状況を確認するために、語彙テストなどを行います。また、リスニング・ハンドブックで紹介されているサイトを使い、クイズを行うこともあります。各課題のフィードバックは、授業中に各受講生または全体に向けて行います。
（大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンラインで行います。詳細は学習支援システムで伝達します。）

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス ＊授業実施方法（対面または Zoom）については授業支援システムでお知らせします	自己紹介、授業説明、Placement Test
2	Unit 1: Register What It Looks Like	“Investing In Yourself” / リーディングでの単語認識を知る
3	Unit 2: Eye Movement (1) : “Move Your Eyes from Left to Right”	“The Circus” / リーディング中の目の動かし方について
4	Unit 3: Expand Your Eye: “Eye Span”	“I Touch the Future. I Teach.” / リーディングでの視野について

5	Unit 4: Eye Movement (2): “by Skipping Words with Little Meaning”	“Fruit, Vegie Lovers Not Immune to Weight Gain” / 内容語と機能語
6	Unit 5: Find It Quickly: “Scanning”	“International Exchange Programs” / 情報を探し出す
7	Unit 6: Get It Chunk by Chunk	“Cancer Rates in U.S. Keep Falling Report” / 自分の文法知識と語彙知識を活用する
8	Unit 7: Find What Will Come After: “Prediction”	“The Traveler’s Dilemma” / 文の構造から予測しながら読む
9	Unit 8: Imagine What Will Come After: “Anticipation”	“Little Charlie Goes on the Stage” / 文脈・内容から予想しながら読む
10	Unit 9: Read On and On without Turning Back: “Go Back Only When You’re Lost”	“Does Travel Broaden the Mind” / sight reading を行う
11	Unit 10: Read at Speed and Get the General Idea: “Skimming”	“Facebook Is Watching You” / 大まかな情報をつかむ
12	Unit 11: How a Paragraph Is Made	“Spanking Kids Can Cause Long-Term Harm – Canada Study” / 英文の論理構成の仕方を確認する
13	Unit 12: Read the Main Idea from the Details	“Being Green …” / Main Idea と Details を仕分けする
14	期末テスト	リーディングや語彙に関するテストを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて１時間を標準とします。受講生は、授業後に該当 Unit の語彙、文法、読み方のポイントを復習し、さらに ActeaBo にてウェブ学習を行ってください。

【テキスト（教科書）】
テキスト名： Read, Read, Read -Enhance Your WPM & Comprehension-
著者：宮崎充保・貞光宮城
出版社：成美堂
出版年： 2017 年
価格： 2300 円＋税
ISBN: 9784791947805

【参考書】
特になし

【成績評価の方法と基準】
１．平常点 50 %（授業中の活動・課題・小テスト）
２．復習 20%（ActeaBo 内の Unit 1-12 のリーディング･Post Test）
３．期末テスト 30%
・欠席回数（Zoom 授業時には該当回に出す課題の未提出回数とする）が４回以上の場合は、原則として単位取得資格を失います。
・３回の遅刻（授業開始時刻から 10 分を超える場合）で１回の欠席とします。
・対面授業にて、遅刻や欠席に関してやむを得ない事情がある場合、証明できるもの（交通機関の遅延証明書等）を必ず授業担当者に渡してください。Zoom 授業での遅刻や欠席については、授業担当者にその旨を連絡してください。
・授業に関係のない私語、携帯電話の使用、居眠り、教科書・辞書の不携帯は減点対象となります。

【学生の意見等からの気づき】
受講生の学習状況をみながら、基礎的な事項から応用的な事項まで確認していきます。

【学生が準備すべき機器他】
・授業に関する連絡は授業支援システムを使用します。オンライン授業では Zoom を使用します。大学内でオンライン授業を受ける際にはマイク付きヘッドセット/イヤフォンが必要です。
・ウェブ教材で学習する際には、登録が必要です。ID は２週目以降から使用可能となります。初回授業では登録手続きの説明をしますので、各自登録可能なメールアドレスを用意しておいてください（大学から発行されているメールアドレスの使用を推奨します）。

【その他の重要事項】
・授業中に使用する辞書は、書籍または電子辞書とします。携帯電話等のアプリ等、通信可能な機器の使用は指示を出した際以外には認めません。通信可能な電子辞書を使用する場合は、その旨を担当者に伝えること。（対面授業時）

【Outline and objectives】
The aim of this course is to help students acquire skills for reading accurately and fluently based on several daily and modern social topics in English. It also enhances students’ vocabulary knowledge needed to gather information and express their ideas. It will help students prepare for assignments when studying abroad.

LANe200LA

英語７

2017 年度以降入学者

衣笠　正晃

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**火** 2/Tue.2
単位数：**1 単位**
国 2 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
英語圏 SA 留学での授業履修に求められるレベルの英語力を「読む力」を中心に身につけることを目的として、現代社会の諸問題を取り上げた英文エッセイ（論説文）を読み進めます。

【到達目標】
1）まとまった量の英文を限られた時間のなかで読み、構成を踏まえつつ内容情報を正確に整理・把握する力を身につける。
2）多様な話題についての英文を通じて、英語圏をはじめとする世界の情勢を理解するとともに、日本について語るために必要な知識や視点を獲得する。
3）情報収集や意見表明、さらに議論のために必要な、大学生にふさわしいレベルの英語語彙・表現を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業では英文を逐語的に日本語に置き換えるのではなく、英語のままでその論旨・内容を把握することに重点を置きます。毎回の授業の主な構成は以下の通りです。
1）前回の復習とその回の予習の確認（小テスト／口頭）。
2）テキストのパラグラフごとの内容、重要表現の確認（担当者はアトランダムに指名します）。
3）授業内容の理解の確認・練習問題（小テスト／口頭）、書き取りなど。
4）授業内容についての討議、リアクションシートへの（感想・質問の）記入。
なお必要に応じてテキストを補完するためのプリントを配付・使用することがあります。
またリアクションシートのコメント・質問には、翌週授業や学習支援システムでフィードバックをおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業計画の説明+ I Don't Know What to Believe (Chapter 1) 前半の講読
2	フェイクニュースの蔓延	I Don't Know What to Believe (Chapter 1) 後半の講読
3	「ひきこもり」の原因	It's a Hikikomori World (Chapter 2) の講読
4	オーバーツーリズムの危険	See It While You Can (Chapter 4) の講読
5	未来の食品	Fake Burgers and Electric Gum (Chapter 7) の講読
6	光害が及ぼす影響	Turn out the Lights (Chapter 9) の講読
7	中間試験＋負の感情の効用	筆記による試験＋ It's Good to Be Grumpy (Chapter 10) の講読
8	労働時間のあり方	A Full Working Week (Chapter 11) の講読
9	リサイクルと循環型経済	Waste Not, Want Not (Chapter 12) の講読
10	ニュース産業の課題	Paying for Information (Chapter 13) の講読
11	認識バイアスと偏見	The Perils of Perception (Chapter 17) の講読
12	社会における女性差別	It's a Man's World (Chapter 18) の講読
13	人権と法	It's the Law (Chapter 20) の講読
14	学期末試験とまとめ	筆記による試験＋学期授業内容の振り返り

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
各回とも次のとおり。
1）指定された箇所の予習。まず語彙問題を解き、Reading の文章全体を時間を測って読み、大意を把握する。つぎに内容確認問題を解く。再度テキストを読み、理解できなかった語句・表現を調べ、要約問題に答える。最後にもう一度確認のため通読する。また内容理解に必要な情報を自主的に収集する。
2）発音・イントネーションの確認。テキストの音声ファイルを利用して音読練習をおこない、語句のアクセントを確認する。またニュースサイト等を利用したリスニング練習をおこなう。
3）授業を終えた個所の復習。テキストを再度読み、内容と理解度を確認する。
4）課題が出された場合、期日までに作成・提出する。
なお本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Anthony Sellick ほか（著）、*Grand Tour–Seeing the World*（新たな時代への扉）（成美堂、2021 年）本体 1,900 円
※このほか必要に応じてプリントを配付・使用します。

【参考書】
参考書・辞書については、随時授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】
平常点（授業参加度、課題、小テストなどによる。50 %）、試験（中間および期末。50 %）をあわせて評価します。評価にあたっては下記の各点に注目します。
1）英文をスピーディーに読むなかで、その構造・論旨を正確に把握できているか。
2）日本を含む国際社会の諸問題とその背景についての知識・関心を深めているか。
3）情報収集や意見表明、議論に欠かせない、一定レベルの語彙が習得できているか。

【学生の意見等からの気づき】
昨年度はオンデマンドで授業を実施しましたが、履修者の自主的な学びを促すため、予習のための配付資料や、質問を受けての解説に注力し、実力が伸びたことが実感できたというコメントを多くいただきました。対面授業においても学習支援システムを並行して活用し、自主学習の促進を図りたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】
資料の配付や提出物の回収、授業に関する連絡など、学期を通じて学習支援システムを利用します。

【その他の重要事項】
・初回授業までに教科書を購入し、持参してください。
・出席者の状況に合わせて、進度や読む文章の順序を変えたり、文章を差し替えたりすることがあります。
・初回授業で授業履修にあたって守るべき事柄を説明しますので、かならず遵守してください。
・欠席が学期中 4 回を超えた場合は原則として単位修得の資格を失います。また遅刻 3 回を欠席 1 回としてカウントします。

【Outline and objectives】
This course is intended to provide students with minimal academic English (especially reading) skills needed in study abroad in English-speaking countries, through reading articles on topics and issues of current interest and relevance.

LANe200LA

英語７

2017 年度以降入学者

前川　裕

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**火** 2/Tue.2
単位数：**1 単位**
国 2 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
SA 先での授業についていくことができるよう、読解力ならびに語彙力を身につけることを目標とする。また、主として、アメリカ社会の文化・社会と日本を比較することによって、単なる語学力だけでなく、比較文化的視野を涵養することも目指す。

【到達目標】
英文のエッセイ・新聞・雑誌を読み、その内容を理解して、それについて議論できる能力を涵養することを目標とする。また、様々な比較文化論的テーマの文章を読むことで、各分野の語彙・表現を身につけることも目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業では、指定教科書と配布プリントを併用する。内容の精読に加えて、大意を把握する速読の練習も行う。また、読んだ内容の理解を深めるため、それぞれのテーマについて英語で意見を表現してもらうこともある。課題のフィードバックは「学習支援システム」によって行う。
状況によっては、「学習支援システム」によるオンライン授業になる可能性がある。その場合は、「学習支援システム」の「お知らせ」で授業の進め方を改め手指示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	プリントを配布して、授業の進め方の解説
2	Time を読む（１）	Ceremony of the Sunrise アメリカ側から見る日本の風景
3	Lesson1 School Life	日米高校比較
4	Lesson2 Family	日米家族論
5	Lesson3 Health	日米の健康意識
6	lesson4 Shopping	買い物を通して読み解く日米の利便性
7	Lesson5 Summer	日本人とアメリカ人の夏休み活用法
8	Lesson6 Moviegoing	日米映画論ーー日本人とアメリカ人のどちらが 映画好きか？
9	Lesson7 Dating	日本とアメリカでは、デートの形態はどう異なるのか？
10	Time を読む (２)	What does a terrorist look like? Time 誌を読みながら、アメリカの国内テロ問題を考える。
11	Lesson8 Smoking and Drinking	タバコやアルコールに対する、アメリカの厳しい姿勢を日本と比較して考える。これから留学しようとする人間には、特に重要な内容。
12	Lesson9 Apartment Hunting	アパートの探し方に関する日米比較論
13	Lesson10 Baseball	ベースボールと野球の比較文化論
14	学期末試験、まとめ	まとめの試験を行い、終了後解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
事前に配布するプリントを授業前に必ず読み、わからない単語・表現がある場合には、必ず辞書で確認しておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4
hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
『ちょっと日米比較』（南雲堂）および配布プリント

【参考書】
授業内で適宜、紹介する。

【成績評価の方法と基準】
試験（８０％）、平常点（２０％）各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。
（オンライン授業の場合）改めて、「学習支援システム」で提示する。

【学生の意見等からの気づき】
昨年度は国内研究で授業を担当しておりませんでした。

【Outline and objectives】
This course aims to prepare students to join the Hosei Study-Abroad program in English speaking countries. It helps students not only to develop the skill and vocabulary necessary for reading English essays, newspapers and magazines, but also to acquire a comparative perspective of intercultural issues.

LANe200LA

英語７

2017 年度以降入学者

田中　邦佳

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火 4**/Tue.4
単位数：**1 単位**
国 2 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
世界のニュースを題材に、英字新聞の記事を読みます。授業のテーマの１つ目は、難解な英文になると把握が難しくなる文の主部・述部など英語のセンテンスの文法的構造を理解することです。２つ目のテーマは、パラグラフ全体の内容を日本語にまとめて説明することです。１文ずつの内容の把握だけではなく、より長い単位で記事の内容を把握し、他の人に説明できるようになることが授業の目標となります。

【到達目標】
・一文が長い英文や複雑な構造の英文を読解する
・ある程度まとまった量の英文の内容を簡潔な日本語で説明する
・様々な分野で用いられる英語の語彙を増やす

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
テキストは目安として２～ 3 回の授業で 1 章分というペースで進めることを目標とします。特に難解な文については解説を行いますが、一字一句全て訳していくようなことはしません。可能であればグループワークを行い、参加者が自ら語彙・フレーズ・文法について確認し、パラグラフの要旨のまとめ方、提示された課題について考察します。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。授業計画は授業の展開によって若干、変更する可能性があります。
大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンラインで行います。詳細は学習支援システムで伝達します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	Introduction	授業の進め方と評価の方法の説明をします。
第 2 回	第二言語としての英語（前半）	英語を第二言語として学習することについての記事の前半の購読およびディスカッション。
第 3 回	第二言語としての英語（後半）	英語を第二言語として学習することについての記事の後半の購読およびディスカッション。
第 4 回	スマートフォン	スマートフォンの利用について焦点を当てた記事の購読およびディスカッション。
第 5 回	ソーシャルメディア	ソーシャルメディアの利用について焦点を当てた記事の購読およびディスカッション。
第 6 回	インターネットと個人情報	インターネットでの個人情報の扱いについて焦点を当てた記事の購読およびディスカッション。
第 7 回	課題の振り返り	これまでの課題から見られる困難点についてフィードバックを行う。
第 8 回	Immigration（歴史）	イギリスの移民の歴史についての記事の購読およびディスカッション。
第 9 回	Immigration（文化）	イギリスの移民がもたらした文化についての記事の購読およびディスカッション。
第 10 回	Immigration（課題）	イギリスの移民によって生じている社会的課題についての記事の購読およびディスカッション。
第 11 回	TPP（自動車市場）	日米の自動車市場に対する考え方の違いについて焦点を当てた記事の購読およびディスカッション。
第 12 回	TPP（非関税障壁）	アメリカ視点での日本の市場の問題点に焦点を当てた記事の購読およびディスカッション。
第 13 回	まとめ方を考察する	記事の内容をシンプルにまとめる方法を考察する。
第 14 回	期末テスト	講読した記事を振り返るテストです。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。具体的には、授業の前に予習として記事を読んでくる必要があります。わからない単語や表現があれば辞書などで調べることが必要です。また、記事で扱われている内容について馴染みがなければその分野について調べる必要があります。記事の内容について把握し、他の授業参加者と議論できる程度の予習が必要です。

【テキスト（教科書）】
英字新聞の記事を配布します。

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
以下の配分で評価する。
平常点および課題（60%）
期末テスト (40%)
欠席回数が通算 4 回に達した者は原則として単位取得の資格を失う。授業開始のチャイムから 30 分以降の遅刻は欠席と見なす。遅刻の回数が 3 回に達するごとに 1 回の欠席とする。未予習で出席した場合、私語など授業に積極的に参加する姿勢がみられない場合、その日を欠席と同等の扱いとする。

【学生の意見等からの気づき】
単純な英文の読解からは達成感が得られにくいことがわかりました。英文の意味の把握を課題にするだけでなく、特に重点的に考えるべき項目を明示的に提示しようと考えています。

【Outline and objectives】
In this course, students will improve skills for English reading comprehension and for summarizing paragraphs.

LANe200LA

英語８

2017 年度以降入学者

ROBIN F WEICHERT

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 4/Thu.4
単位数：**1 単位**
国 2 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Practice writing essays in English. Learn a process approach to writing academic texts, from single paragraphs to longer assignments.

【到達目標】
The course provides students with essential tools and procedures for essay writing. Students learn to analyze and write the types of paragraphs that commonly occur in academic contexts. They gain an understanding of how to organize the paragraph coherently and use appropriate vocabulary, grammar, and transitional devices in the paragraph body. By acquiring a set of strategies of how to develop a thesis, organize an outline, and write effective introductions and conclusions, students will eventually become competent in writing longer essays on assigned topics and in test situations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
This class will be conducted as an on-demand class using Google Classroom. Instructions and assignments will be given through Google Classroom.
In the course, students complete a series of tasks that guide them to effective essay writing in a step-by-step manner. Students will first work on recognizing and identifying key writing structures from model paragraphs and essays. They then manipulate the structures in short and manageable tasks, and finally apply them to their own writing. Students will work individually, with a partner and with a group. Students are expected to submit one full-length essay based on their work by the end of the term. Feedback will be given individually and to the whole class online.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction.	Process writing & pre-writing.
2	The structure of a paragraph.	Parts of a paragraph, topic sentences.
3	The development of a paragraph.	Paragraph support & concluding sentences, peer editing.
4	Descriptive paragraphs.	Organizing and writing descriptive paragraphs, connecting words.
5	Opinion paragraphs.	Expressing opinion and arguments, transition words.
6	Comparison/Contrast Paragraphs.	Comparing and contrasting, writing about advantages and disadvantages of a topic.
7	Problem/Solution paragraphs.	Using real conditionals, writing a two-paragraph paper.
8	The structure of an essay.	Formatting an essay, writing a thesis statement.
9	Outlining an essay.	Writing an outline.
10	Introductions and conclusions.	The purpose of an introduction/ a conclusion
11	Unity and coherence.	Editing an essay for unity.
12	Essays for examinations.	Instructions for essay tests, managing time.
13	Essay test.	Timed essay writing.
14	Semester review.	Essay submission.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.
For this course, students are expected to check notes and review previous exercises in the textbook, as well as complete writing assignments.

【テキスト（教科書）】
Dorothy E. Zemach, Lisa A. Ghulldu. Writing Essays: From Paragraph to Essay (Student Book). Macmillan Education.

【参考書】
George Davidson (ed.) Roget's Thesaurus of English Words and Phrases (Penguin Reference). Penguin UK.

【成績評価の方法と基準】
Grading will be based on assignments and quizzes (50%), and on a final essay (50%). Students who fail to submit more than 3 assignments will not receive credit.

【学生の意見等からの気づき】
not applicable

【学生が準備すべき機器他】
Please check Hoppii for the class code and register for the class on Google Classroom.

【Outline and objectives】
Practice writing essays in English. Learn a process approach to writing academic texts, from single paragraphs to longer assignments.

LANe200LA

英語８

2017 年度以降入学者

MARK E FIELD

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**1 単位**
国 2 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This course is for second year students with a strong desire to improve their language skills since they will be in their final stage of preparation for studying abroad in a an English-speaking country. The course will focus on further developing students' ability to perform successfully in an all English-speaking academic and social environment.

【到達目標】
Building on the English language skills acquired in their first year of university study, the goal of this course is to help students become responsible international students capable of unsupervised independent language learning while studying abroad.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
This is a hybrid class, and we will meet some weeks in person and some weeks on Zoom. The first week will meet on Zoom while students register for other classes online. Please see HOPPII, Hosei University's Learning Management System for details.
Students will be expected to not only acquire vocabulary and expressions, but also find and analyze information from various forms of English media independently and complete weekly homework assignments. Special emphasis will be given to developing listening and note taking skills as well as discussion and presentation skills necessary for successfully completing their study abroad programs in the Fall Semester. Students will receive feedback and comments on homework assignments and in class activities throughout the term.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	Class Orientation	How to Study More Effectively
2 回	Listening for Main Ideas	The Meaning of Family
3 回	Critical Thinking	Ranking Importance
4 回	Tips for Success	Giving Reasons and Explanations
5 回	Thinking on Your Feet	Impromptu Speeches
6 回	Listening Skills	Recognizing Facts and Opinions
7 回	Actively Communicating	Participating in Group Discussions
8 回	Tips for Success	Filling in words you didn't hear!
9 回	Thinking on Your Feet	A Persuasive Presentation
10 回	Taking Notes	Listening for Details
11 回	Vocabulary Skills	Collocations
12 回	Critical Thinking	Giving Examples
13 回	Discussion Skills	Role-playing
14 回	Review	Sustainable Progress

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.
Students are expected to prepare weekly homework assignments at home, and review lessons to enhance their participation in classroom activities and discussions. Students are also expected to find and analyze information from various forms of English media independently as a means of increasing their vocabulary and general knowledge.

【テキスト（教科書）】
Course materials will be assigned by the instructor.

【参考書】
An English to English Dictionary is recommended.
This course will also use some online English News and Study Materials.

【成績評価の方法と基準】
40% In Class Evaluation
20% Homework
40% Final Project/Paper
**Class attendance is a course requirement.
Students are allowed no more than three absences in the semester.

【学生の意見等からの気づき】
Students have been happy with this course in the past and currently no student survey data is available to support major changes. Course materials are reviewed periodically and updated when necessary to maintain relevance.
The instructor always welcomes comments and encourages students to make suggestions to improve the course at anytime.

【その他の重要事項】
Class attendance is a course requirement. Students are allowed no more than three absences in the semester. The instructor reserves the right to modify this course syllabus whenever necessary.

【Outline and objectives】
This course is for second year students with a strong desire to improve their language skills since they will be in their final stage of preparation for studying abroad in a an English-speaking country. The course will focus on further developing students' ability to perform successfully in an all English-speaking academic and social environment.

LANe200LA

英語８

2017 年度以降入学者

MARK D BURNS

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 1/Thu.1
単位数：**1 単位**
国 2 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
The primary objective of this class is to develop both spoken and written communication skills, and confidence to prepare them for study abroad placement. The course provides practice in conversation, essay writing, and presentation in clear communicative English. Students will engage with a wide range of subjects but communicative activities will be based around the students' own experiences and ambitions.

【到達目標】
This subject aims to improve learners' overall confidence in communicating in English through a wide range of communicative activities. It will review useful grammar and provide ample opportunity to practice both spoken and written language.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
Classes will be conducted in English and will cover each unit of the textbook. Students will be expected to participate fully in weekly conversational activities. Students will also be required submit the occasional written assignment and prepare a presentation. Submission of assignments and feedback will be on the Learning Management System.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Orientation	Overview of the course and warm up	Overview of the English 8 subject and explaining rules for participation and assignment submissions.
Unit 1a	Life Experiences 1	Review the use of present perfect and simple past tenses
Unit 1b	Life Experiences 2	Presentations focusing on old hobbies or club activities
Unit 2a	Events 1	Review the use of simple past and past continuous
Unit 2b	Events 2	Writing a 2-paragraph story about how you met a good friend
Unit 3a	Opinions 1	Review the use of too and enough with adjectives and nouns
Unit 3b	Opinions 2	Presentations focusing on suggestions for new rules
Unit 4a	Customs 1	Review the use of it & infinitives and gerunds as subjects
Unit 4b	Customs 2	Writing a 3-paragraph essay on customs
Unit 5a	Professions and skills 1	Review the use of how long, since and for with present perfect tense
Unit 5b	Professions and skills 2	Presentations focusing on your ideal job
Unit 6a	Recent activities 1	Review the use of the present perfect continuous tense
Unit 6b	Recent activities 2	Writing an instructional article
End-term Pre-senta-tions	Final presentations	Final presentations

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course. Students will be expected to complete weekly homework (prepare for six short in-class unit review tests, and submit three short written assignments in addition to the academic written assignment and final presentation preparation.)

【テキスト（教科書）】
Stretch Multi-pack 3A Susan Stempleski Oxford University Press ISBN 978-0-19-460330-0

【参考書】
A good Japanese-English dictionary and the Hosei English 8 Academic Writing Guide (which will be provided)

【成績評価の方法と基準】
Assessment will consist of in-class participation (40%), academic written assignment (30%) and final presentation (30%)

【学生の意見等からの気づき】
The three short presentations have been dropped so more time can be spent on the final presentations.

【学生が準備すべき機器他】
Please bring a laptop.

【その他の重要事項】
In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【Outline and objectives】
The primary objective of this class is to develop both spoken and written communication skills, and confidence to prepare them for study abroad placement. The course provides practice in conversation, essay writing, and presentation in clear communicative English. Students will engage with a wide range of subjects but communicative activities will be based around the students' own experiences and ambitions.

LANe200LA

英語８

2017 年度以降入学者

前川　裕

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：**1 単位**
国 2 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
秋セメスターにおけるＳＡ留学の準備のための授業。特に、学生が留学先でのレポート提出にも対応できるような英作文力を身につけ、能動的な英語発進力を涵養することを目指す。

【到達目標】
学生が留学先でレポート提出をおこなうとき、あるいは、日本文化を紹介するとき、適確な英語で表現できるようになることを目指す。また、英語圏の大学で授業を聴く際、最低限要求されるアカデミックな用語の習得も目指す。また、学生は英文レポートの形式も学習する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
まず授業の前に、各レッスンの英文を読んできてもらい、その英文に対する英語による質疑応答を行う。そのあと、英文の中に出てくる定型表現を使って、英作文を実践的に学習する。時に、テーマに即した長文の英文を書いてもらうこともある。課題のフィードバックは「学習支援システム」によって行う。
状況によっては、「学習支援システム」によるオンライン授業になる可能性がある。その場合は、「学習支援システム」の「お知らせ」で授業の進め方を改め手指示する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	日本独自の風物の紹介（1）	比較文化論的な視点から、sashimi や sushi など日本特有の食文化を英語でどのように紹介するかを解説する。
2	日本独自の風物の紹介（2）	日本の受験戦争のシステムを「浪人」などの用語を交えながら、どう表現するかを解説する。
3	アメリカ人の考え方	「仕事」というものを例に取り、日本人とアメリカ人の取り組み方の違いを英語でどう表現するかを考える。
4	日本語の特性	D.Keene のエッセイを読みながら、日本語の特性を考え、それを欧米人に英語でどう説明するかを解説する。
5	戦争の歴史	D.Keene のエッセイを読みながら、過去の戦争について、自分の意見を英語で述べるとき、どのような表現が可能かを考える。
6	長文英文エッセイの練習（1）	「戦争と平和」のような抽象的な内容のテーマを英語でどう書くかを練習をする。
7	国際会議	国際会議で使う英語定型表現を学習する。
8	日本の国土	日本の国土の大きさや人口をどう表現するかを学習する。
9	スピーチの方法	日本について、各学生に英語でスピーチをしてもらい、そのスピーチに対して、他の学生から英語で質問してもらう。
10	民主主義の基準	「民主主義」という用語を取り上げ、その本質について英語で表現するには、どんな書き方があるかを解説する。
11	長文英文エッセイの練習（2）	自分の日常生活を、英文メールでどう書くかを解説し、実際にそういうメールを書いてもらう。
12	日本文化のアメリカ化	日本文化とアメリカ文化の差違だけでなく、その類似性をも英語でどう表現するかを考える。
13	飲酒に関する東西の議論	アルコール飲料の自動販売機を置くことの可否に関して、英語で debate してもらう。
14	授業内試験	授業内試験終了後、総まとめの解説を行なう。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
各課の英文を読み、その内容を把握し、授業の冒頭で英語で行われる質疑応答に対応できるようにしてくること。また、和文英訳の練習問題もあらかじめ解いてこなければならない。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
英語発想による作文演習ーー新訂版ーー（天満美智子編者、朝日出版）

【参考書】
『英語変換力検定』（前川裕著、池田書店）

【成績評価の方法と基準】
(対面授業の場合）授業内試験（７０％）、平常点（２０％）、レポート課題（１０％）。各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。
（オンライン授業の場合）改めて、「学習支援システム」で提示する。

【学生の意見等からの気づき】
個人添削の機会を増やすように心がけたい。また、学生の能力に応じてきめの細かい指導を心がけたい。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to help the students acquire the ability to express their ideas and opinions in English in preparation for studying abroad in the autumn semester. The students are expected to study basic paragraph structure with the ultimate purpose of producing an essay with some paragraphs. The students will also have the opportunity to develop their writing skills through reading a variety of Englis passages and memorizing important words and idioms used in them.
i

LANe200LA

英語８

2017 年度以降入学者

MARK D BURNS

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：**1 単位**
国 2 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
The primary objective of this class is to develop both spoken and written communication skills, and confidence to prepare them for study abroad placement. The course provides practice in conversation, essay writing, and presentation in clear communicative English. Students will engage with a wide range of subjects but communicative activities will be based around the students' own experiences and ambitions.

【到達目標】
This subject aims to improve learners' overall confidence in communicating in English through a wide range of communicative activities. It will review useful grammar and provide ample opportunity to practice both spoken and written language.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
Classes will be conducted in English and will cover each unit of the textbook. Students will be expected to participate fully in weekly conversational activities. Students will also be required submit the occasional written assignment and prepare a presentation. Submission of assignments and feedback will be on the Learning Management System.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Orientation	Overview of the course and warm up	Overview of the English 8 subject and explaining rules for participation and assignment submissions.
Unit 1a	Life Experiences 1	Review the use of present perfect and simple past tenses
Unit 1b	Life Experiences 2	Presentations focusing on old hobbies or club activities
Unit 2a	Events 1	Review the use of simple past and past continuous
Unit 2b	Events 2	Writing a 2-paragraph story about how you met a good friend
Unit 3a	Opinions 1	Review the use of too and enough with adjectives and nouns
Unit 3b	Opinions 2	Presentations focusing on suggestions for new rules
Unit 4a	Customs 1	Review the use of it & infinitives and gerunds as subjects
Unit 4b	Customs 2	Writing a 3-paragraph essay on customs
Unit 5a	Professions and skills 1	Review the use of how long, since and for with present perfect tense
Unit 5b	Professions and skills 2	Presentations focusing on your ideal job
Unit 6a	Recent activities 1	Review the use of the present perfect continuous tense
Unit 6b	Recent activities 2	Writing an instructional article
End-term Pre-senta-tions	Final presentations	Final presentations

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course. Students will be expected to complete weekly homework (prepare for six short in-class unit review tests, and submit three short written assignments in addition to the academic written assignment and final presentation preparation.)

【テキスト（教科書）】
Stretch Multi-pack 3A Susan Stempleski Oxford University Press ISBN 978-0-19-460330-0

【参考書】
A good Japanese-English dictionary and the Hosei English 8 Academic Writing Guide (which will be provided)

【成績評価の方法と基準】
Assessment will consist of in-class participation (40%), academic written assignment (30%) and final presentation (30%)

【学生の意見等からの気づき】
The three short presentations have been dropped so more time can be spent on the final presentations.

【学生が準備すべき機器他】
Please bring a laptop.

【その他の重要事項】
In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【Outline and objectives】
The primary objective of this class is to develop both spoken and written communication skills, and confidence to prepare them for study abroad placement. The course provides practice in conversation, essay writing, and presentation in clear communicative English. Students will engage with a wide range of subjects but communicative activities will be based around the students' own experiences and ambitions.

LANe200LA

英語８

2017 年度以降入学者

ROBIN F WEICHERT

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**1 単位**
国 2 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Practice writing essays in English. Learn a process approach to writing academic texts, from single paragraphs to longer assignments.

【到達目標】
The course provides students with essential tools and procedures for essay writing. Students learn to analyze and write the types of paragraphs that commonly occur in academic contexts. They gain an understanding of how to organize the paragraph coherently and use appropriate vocabulary, grammar, and transitional devices in the paragraph body. By acquiring a set of strategies of how to develop a thesis, organize an outline, and write effective introductions and conclusions, students will eventually become competent in writing longer essays on assigned topics and in test situations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
This class will be conducted as an on-demand course using Google Classroom. Instructions and assignments will be given through Google Classroom.
In the course, students complete a series of tasks that guide them to effective essay writing in a step-by-step manner. Students will first work on recognizing and identifying key writing structures from model paragraphs and essays. They then manipulate the structures in short and manageable tasks, and finally apply them to their own writing. Students will work individually, with a partner and with a group. Students are expected to submit one full-length essay based on their work by the end of the term. Feedback will be given individually and to the whole class online.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction.	Process writing & pre-writing.
2	The structure of a paragraph.	Parts of a paragraph, topic sentences.
3	The development of a paragraph.	Paragraph support & concluding sentences, peer editing.
4	Descriptive paragraphs.	Organizing and writing descriptive paragraphs, connecting words.
5	Opinion paragraphs.	Expressing opinion and arguments, transition words.
6	Comparison/Contrast Paragraphs.	Comparing and contrasting, writing about advantages and disadvantages of a topic.
7	Problem/Solution paragraphs.	Using real conditionals, writing a two-paragraph paper.
8	The structure of an essay.	Formatting an essay, writing a thesis statement.
9	Outlining an essay.	Writing an outline.
10	Introductions and conclusions.	The purpose of an introduction/ a conclusion
11	Unity and coherence.	Editing an essay for unity.
12	Essays for examinations.	Instructions for essay tests, managing time.
13	Essay test.	Timed essay writing.
14	Semester review.	Essay submission.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.
For this course, students are expected to check notes and review previous exercises in the textbook, as well as complete writing assignments.

【テキスト（教科書）】
Dorothy E. Zemach, Lisa A. Ghulldu. Writing Essays: From Paragraph to Essay (Student Book). Macmillan Education.

【参考書】
George Davidson (ed.) Roget's Thesaurus of English Words and Phrases (Penguin Reference). Penguin UK.

【成績評価の方法と基準】
Grading will be based on assignments and quizzes (50%), and on a final essay (50%). Students who fail to submit more than 3 assignments will not receive credit.

【学生の意見等からの気づき】
not applicable

【学生が準備すべき機器他】
A laptop or computer is needed to take part in this class. Please check Hoppii for the class code and join the class on Google Classroom.

【Outline and objectives】
Practice writing essays in English. Learn a process approach to writing academic texts, from single paragraphs to longer assignments.

LANe200LA

英語８

2017 年度以降入学者

MARK E FIELD

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：**1 単位**
国 2 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This course is for second year students with a strong desire to improve their language skills since they will be in their final stage of preparation for studying abroad in a an English-speaking country. The course will focus on further developing students' ability to perform successfully in an all English-speaking academic and social environment.

【到達目標】
Building on the English language skills acquired in their first year of university study, the goal of this course is to help students become responsible international students capable of unsupervised independent language learning while studying abroad.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
This is a hybrid class, and we will meet some weeks in person and some weeks on Zoom. The first week will meet on Zoom while students register for other classes online. Please see HOPPII, Hosei University's Learning Management System for details.
Students will be expected to not only acquire vocabulary and expressions, but also find and analyze information from various forms of English media independently and complete weekly homework assignments. Special emphasis will be given to developing listening and note taking skills as well as discussion and presentation skills necessary for successfully completing their study abroad programs in the Fall Semester. Students will receive feedback and comments on homework assignments and in class activities throughout the term.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	Class Orientation	How to Study More Effectively
2 回	Listening for Main Ideas	The Meaning of Family
3 回	Critical Thinking	Ranking Importance
4 回	Tips for Success	Giving Reasons and Explanations
5 回	Thinking on Your Feet	Impromptu Speeches
6 回	Listening Skills	Recognizing Facts and Opinions
7 回	Actively Communicating	Participating in Group Discussions
8 回	Tips for Success	Filling in words you didn't hear!
9 回	Thinking on Your Feet	A Persuasive Presentation
10 回	Taking Notes	Listening for Details
11 回	Vocabulary Skills	Collocations
12 回	Critical Thinking	Giving Examples
13 回	Discussion Skills	Role-playing
14 回	Review	Sustainable Progress

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.
Students are expected to prepare weekly homework assignments at home, and review lessons to enhance their participation in classroom activities and discussions. Students are also expected to find and analyze information from various forms of English media independently as a means of increasing their vocabulary and general knowledge.

【テキスト（教科書）】
Course materials will be assigned by the instructor.

【参考書】
An English to English Dictionary is recommended.
This course will also use some online English News and Study Materials.

【成績評価の方法と基準】
40% In Class Evaluation
20% Homework
40% Final Project/Paper
**Class attendance is a course requirement.
Students are allowed no more than three absences in the semester.

【学生の意見等からの気づき】
Students have been happy with this course in the past and currently no student survey data is available to support major changes. Course materials are reviewed periodically and updated when necessary to maintain relevance.
The instructor always welcomes comments and encourages students to make suggestions to improve the course at anytime.

【その他の重要事項】
Class attendance is a course requirement. Students are allowed no more than three absences in the semester. The instructor reserves the right to modify this course syllabus whenever necessary.

【Outline and objectives】
This course is for second year students with a strong desire to improve their language skills since they will be in their final stage of preparation for studying abroad in a an English-speaking country. The course will focus on further developing students' ability to perform successfully in an all English-speaking academic and social environment.

LANe200LA

英語オーラル・コミュニケーション Ⅰ

2017 年度以降入学者

ALAN M NICHOLLS

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
法文営国 1～4 年/レベル 2,3 ※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This is an elective course that will provide students with the opportunity to develop their oral communication skills from a pre-intermediate level.
Students will be encouraged to discuss contemporary issues related to current world events and future changes in technology and society. Additional activities will include pronunciation and use of rhythm and intonation to assist oral communication.

【到達目標】
Students will practice skills needed to make effective use of their voices to achieve more natural communication. Students will also practice speaking in "ideas" rather than words. The course will use TED Talks and current news articles to enable students become more effective and proficient in English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
Students will be able to practice and develop their speaking skills using A++, BOOST and Yes/No/Key/Or techniques. Students will practice listening using Shadowing. We will also practice speaking through chanting of English poetry.
All assignments will be distributed, submitted and returned to students digitally via Google Classroom. Written assignments will be returned with detailed comments on how students can improve their writing skills.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Course Introduction	Outline of course, grading criteria and class policies. Access Google Classroom
2	Unit 1: Technology	Introduction of technology related Vocabulary; Practice A++ to encourage longer speaking
3	Technology	Discussions of Technology: Building on Original statements (BOOST)
4	Technology: Reading	BBC Articles - Transport systems. Practice different questions Yes/No/Key/Or
5	Technology: Presentation skills	TED Talk: Presentation Analysis and Discussion; Presentation Skills
6	Unit 3: Culture	Introduction of Culture related Vocabulary; Oral Practice A++. Introduce Clancy
7	Culture	Theme Discussions. Build on Original Statement. Continue Clancy
8	Culture Research a country	Theme-related topic study. Negative Questions and TAG questions. Prepare a short presentation on main elements of culture
9	Culture:	Presentation Skills: Present about another culture using presentation aids.
10	Unit 5: Beliefs	Introduce key vocabulary for Belief systems. Discuss beliefs and culture. Clancy ... cont.
11	Beliefs	Listening and Shadowing. Prepare a short presentation. Clancy ... cont.
12	Beliefs	Make a short presentation about beliefs
13	Presentation	Make a presentation of Clancy of the Overflow. with rhythm and meter.
14	Review and Recap	Watch a TED Presentation and evaluate.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
University guidelines suggest preparation and review are around 2 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.
Class preparation; There will be some short, simple, written homework assignments designed to test the students understanding of the ideas presented in the major themes of the course. Each homework assignment will be 10% of total course value.

【テキスト（教科書）】
The English Course "Discussion Book Two" Gary Ireland and Max Woolerton. Available from < theenglishcourse.jp > . Search for DB2. The CD is not required.

【参考書】
To be issued during semester.

【成績評価の方法と基準】
Class Activities & Homework 30%
In Class Worksheets 30%
Presentations 20%
Group and Pair Participation 20%
In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

【学生の意見等からの気づき】
Change of textbook from previous years.

【学生が準備すべき機器他】
A device (Laptop or Tablet) that supports word processor software. Smartphones are OK but are more difficult for students to use. Students will be required to know their Hosei Gmail account details. Students may use voice recognition software. Google Docs is the preferred format for submitting assignments.

【その他の重要事項】
We will use Google “Classroom” to send, submit and record all assignments. Students can download "Classroom" from the Google Web site. Students will be required to join the subject using “Classroom”.
The Classroom Code for this subject is: smjuxvf

【Outline and objectives】
This is an elective course that will provide students with the opportunity to develop their oral communication skills from a pre-intermediate level.

Students will be encouraged to discuss contemporary issues related to current world events and future changes in technology and society. Additional activities will include pronunciation and use of rhythm and intonation to assist oral communication.

LANe200LA

英語オーラル・コミュニケーションⅡ

2017 年度以降入学者

ALAN M NICHOLLS

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
法文営国 1～4 年/レベル 2,3 ※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This is an elective course that will provide students with the opportunity to develop their oral communication skills. The course will develop students ability for person to person communication and presentation skills.
The course will use TED Talks and Academic presentations to compare and contrast the different styles of presentations. Students will be required to make short presentations on a variety of topics including: alternative meat products, transport technology and climate change.

【到達目標】
The goal of this course is to further enhance students' oral communication skills. Students will practice making both formal and informal presentations. Students will practice using punctuation to join and separate ideas and using gesture to emphasize ideas. Students will practice techniques to increase eye contact during presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
The level of the material should suit students at a pre-intermediate level.
Students will be able to practice and develop their speaking skills using A++, BOOST and Yes/No/Key/Or techniques. Students will practice listening using Shadowing. Students will gain critical thinking skills through comparison of different articles on the same topic. Students will also practice presentation skills including gesture, voice control, eye contact, using notes and timing of presentation.
All assignments will be distributed, submitted and returned to students digitally via Google Classroom. Written assignments will be returned with detailed comments on how students can improve their writing skills.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introduction & Review	Review Presentation Techniques; Presentation Practice
2	Unit 7: The News	Introduction of Theme - related Vocabulary; Oral Practice A++, Boost.
3	The News	Listening and Shadowing / Discussions of different News media.
4	The News	Prepare a small group presentation on the News. Introduce Ballads

5	TED Talk	How to make people WANT to listen. Analysis and Discussion of Presentation Skills.
6	Unit 9: Ecotourism	Introduction of Theme- related Vocabulary; Oral Practice A++ and Boost.
7	Ecotourism	Shadowing with Text Ballad Preparaation
8	Ecotourism	Presentation or Debate about Eco-Tourism. Ballad Preparation
9	TED Talk	Video Presentation Analysis and Discussion; Presentation Skills
10	Unit 11: Environment	Introduction of Theme- related Vocabulary; Oral Practice A++, Boost
11	Environment	Environmental issues Discussions and Shadowing
12	Environment	BBC Articles - synthetic Foods Presentation
13	Ballad Presentation	Small group presentation: Analysis of a Ballad.
14	TED Talk	Video Presentation Analysis and Discussion; Presentation Skills

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
University guidelines suggest preparation and review are around 2 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.
There will be some short, simple, written homework assignments designed to test the students understanding of the ideas presented in the major themes of the course. Each homework assignment will be 10% of total course value.

【テキスト（教科書）】
The English Course: Gary Ireland and Max Woolerton. The text is available from < theenglishcourse.jp > . Search for DB2. The CD is not required.

【参考書】
To be advised during course.

【成績評価の方法と基準】
Homework: 30%
In-Class Worksheets: 30%
Presentations: 20%
Pair and Group Participation: 20%

【学生の意見等からの気づき】
Change of text book from previous years.

【学生が準備すべき機器他】
A device (Laptop or Tablet) that supports word processor software. Smartphones are OK but are more difficult for students to use. Students will be required to know their Hosei Gmail account details. Students may use voice recognition software. Google Docs is the required format for submitting written assignments.

【その他の重要事項】
We will use Google “Classroom” to send, submit and record all assignments. Students can download "Classroom" from the Google Web site. The Classroom Code for this subject is: ewwvgnk

【Outline and objectives】
This is an elective course that will provide students with the opportunity to develop their oral communication skills. The course will develop students ability for person to person communication and presentation skills.
The course will use TED Talks and Academic presentations to compare and contrast the different styles of presentations. Students will be required to make short presentations on a variety of topics including: alternative meat products, transport technology and climate change.

LANe200LA

英語オーラル・コミュニケーション Ⅰ

2017 年度以降入学者

栩木　玲子

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**1 単位**
法文営国 1～4 年/レベル 2,3 ※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Students will participate in a variety of activities designed to help them relax, enjoy and improve their English communication skills. Attention is given to pronunciation, intonation and stress. Various topics and situations are covered, but everything will be connected to culture, or cultural differences, which is basic to all forms of communication.

【到達目標】
Through this course, students will aim for fluency, exchange opinions and enhance critical thinking skills. They will overcome the fear or shyness in expressing themselves and be able to speak with increased confidence in private as well as public speaking situations. This should reflect positively on TOEFL(R), TOEIC(R), IELTS and other certifying examinations that require "speaking skills."

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
Explanation by the instructor will be followed by various activities such as pair work, small group activities, conversations, discussions and presentations. The class will be student-centered, very interactive. Students are expected to be openly active learners. Materials will be from movies, television dramas, YouTube, magazines, newspapers, etc. All in all, students will be using all four language skills: reading, writing, listening and speaking, with the emphasis on the latter two. Feedback will be given regularly in class or via the Learning Management System.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	What to expect.	Getting to know each other. Explanation of class requirements,tasks and goals. Confirming our situations concerning Covid-19.
2	Introductory learning strategies.	How to become an independent learner.
3	Oral communication (1)	Stress, pronunciation, intonation.
4	Oral communication (2)	Voice control,body language, eye contact.
5	Being descriptive (1)	Using adjectives.
6	Being descriptive (2)	Describing yourself and others.
7	Asking questions (1)	The importance of 5W1H.
8	Asking questions (2)	Flow and continuance.
9	Rhymes (1)	What are "rhymes?"
10	Rhymes (2)	Making rhymes for fun and for your vocabulary.
11	Idioms (1)	Idioms in everyday conversation.
12	Idioms (2)	Interesting idioms – history and culture.
13	The importance of oral communication.	Looking into the keys to oral communication.
14	Wrap-up	Review. Questions and answers.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
This course is designed to be very interactive, so weekly preparation is essential. Students are expected to spend at least 60 minutes per week before and/or after each class. Specific instructions will be given.

【テキスト（教科書）】
Course material will be provided in class or posted on the Learning Management System.

【参考書】
Reference books and material will be suggested by the instructor as needed.

【成績評価の方法と基準】
Evaluation will be based on (1) active class participation and commitment in class projects (30%) (2) assignments submitted in due time (20%) (3) quizzes and final examination (50%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

【学生の意見等からの気づき】
Interactivity in class, class atmosphere, as well as feedback including comments on/suggestions for essays and pronunciation have been appreciated so the instructor will maintain such style.

【その他の重要事項】
In line with the University policy, our first class will be on-demand, with the material put up on the Learning Management System. Please make sure to register beforehand.

【Outline and objectives】
Students will participate in a variety of activities designed to help them relax, enjoy and improve their English communication skills. Attention is given to pronunciation, intonation and stress. Various topics and situations are covered, but everything will be connected to culture, or cultural differences, which is basic to all forms of communication.

LANe200LA

英語オーラル・コミュニケーションⅡ

2017 年度以降入学者

栩木　玲子

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**1 単位**
法文営国 1～4 年/レベル 2,3 ※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Students will participate in a variety of activities designed to help them relax, enjoy and improve their English conversation skills. Attention is given to pronunciation, intonation and stress. Various topics and situations are covered, but everything will be connected to culture, or cultural differences, which is basic to all forms of communication.

【到達目標】
Through this course, the students will aim for fluency, exchange opinions and enhance critical thinking skills. They will overcome the fear or shyness in expressing themselves and be able to speak with increased confidence in private as well as public speaking situations. They will also acquire basic ways to examine what culture is and the effects that it may have on us. This should reflect positively on TOEFL(R), TOEIC(R), IELTS and other certifying examinations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
Explanation by the instructor will be followed by various activities such as pair work, small group activities, conversations, discussions and presentations. The class will be student-centered, very interactive. Students are expected to be openly active learners. Materials will be from movies, television dramas, YouTube, magazines, newspapers, etc. All in all, students will be using all four language skills: reading, writing, listening and speaking, with the emphasis on the latter two. Feedback will be given regularly in class or via the Learning Management System.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Interview/presentation	Reviewing summer.
2	What is a good presentation?	Structure and skills.
3	Discussion + Preparing for a presentation(1)	Thinking about English education in Japan.
4	Preparing for a presentation (2)	Writing and revising a script – collaborating with others.
5	Presentation	English education in Japan.
6	Discussion	Japanese food – putting into words what you already know.
7	Preparing for a presentation.	Five Japanese food or dishes.
8	Presentation	Giving a presentation on the food/dish of your choice.
9	At the table.	Different customs and manners.
10	Religion and identity(1)	Religion in Japan – what do you believe in?
11	Religion and identity (2)	What is the situation in Japan?
12	Religion and identity (3)	Introducing a shrine or temple to a visiter from another country.
13	Plans and dreams	Talking about the future.
14	Wrap-up	Review. Questions and answers.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
This course is designed to be very interactive, so weekly preparation is essential. Students are expected to spend at least 60 minutes per week before and/or after each class. Specific instructions will be given.

【テキスト（教科書）】
Course material will be provided in class or posted on the Learning Management System.

【参考書】
Reference books and material will be suggested by the instructor as needed.

【成績評価の方法と基準】
Evaluation will be based on (1) active class participation and commitment in class projects (30%) (2) assignments submitted in due time (20%) (3) quizzes and final examination (50%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

【学生の意見等からの気づき】
Interactivity in class, class atmosphere, as well as feedback including comments on/suggestions for essays and pronunciation have been appreciated so the instructor will maintain such style.

【学生が準備すべき機器他】
The Learning Management System will be often used, so please register beforehand.

【Outline and objectives】
Students will participate in a variety of activities designed to help them relax, enjoy and improve their English conversation skills. Attention is given to pronunciation, intonation and stress. Various topics and situations are covered, but everything will be connected to culture, or cultural differences, which is basic to all forms of communication.

LANe200LA
英語オーラル・コミュニケーション Ⅰ
2017 年度以降入学者

LASSEGARD JAMES

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火** 2/Tue.2
単位数：**1 単位**
法文営国 1～4 年/レベル 2,3 ※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Learning practical English for communicating in a global society

【到達目標】
Although emphasis is on oral communication, students will practice and improve proficiency in all four language skills. Students should be able to express themselves clearly in discussions and during presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
This course will be given entirely in English. Students will participate in a variety of activities that encourage listening and speaking English. These activities include role play dialogues, pair and group discussions, and presentations given by students on various topics of interest.
Feedback on students' performance will be given in class, as well as through written assignments in class and online using Google Classroom. Students may also correspond with the instructor using e-mail.
NOTE: For the month of April classes will be conducted ONLINE.
After the Golden Week Holiday, we will change to an in-person, face-to-face classroom format. Instructions will be provided for students who need to continue to take classes online from May.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Course orientation	Getting to know each other; student introductions & class guidelines.
2	Unit 1: People and Events	Dialogue & textbook activities: grammar explanation. Pair & group work.Instructions on writing a short paragraph.
3	Unit 1 Video: Role models	Video Worksheet activities.Discussion and pair work. Reading homework.
4	Unit 2: Holidays and Festivals	Grammar review. Discussion. Review writing tips.
5	Unit 2: Celebrations	Video. Instructions on preparing for and giving presentations.
6	Unit 3: Trends and entertainment	Grammar review. Reading and discussion in small groups.
7	Unit 3: Trends pt. 2	Video content and worksheet: A hotel manager. Discussion. Quiz on Units 1-3.
8	Unit 4: Identity & Personality	Lecture: Describing people and their characteristics. Grammar review. Writing assignment.
9	Unit 4: Identity & Personality Pt. 2	Writing review. Video & worksheet Discussion
10	Student Presentations	Students will give short presentations in pairs/groups on topics from the previous 4 chapters.
11	Unit 5: Future Plans	Reading comprehension and vocabulary practice. Dialogue practice and writing.
12	Unit 5: Future Plans Pt.2	Students perform dialogues in class. Discussion about future goals and plans. Presentation preparations.
13	Unit 6: Changes & Life experiences	Reading and vocabulary review. Student give mini-presentations on topics TBA.
14	Unit 6 Changes & Life Experiences pt 2	Final quiz on Units 4-6. Course wrap up.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students are expected to complete homework assignments prior to the next class session.
Approximately 1-2 hours of homework is required of students every week.

【テキスト（教科書）】
Speak Your Mind Level 2 (MacMillan publishing)
Other handouts and materials related to course content will be distributed in class. Students should have a notebook and/or loose sheets of paper to take notes and to hand in homework.

【参考書】
References: Always bring a dictionary to class (paper or electronic OK).

【成績評価の方法と基準】
Class attendance & participation: 30%
Quizzes, writing assignments, presentations:70%

【学生の意見等からの気づき】
This is the first year the instructor is teaching this course.

【その他の重要事項】
Students are allowed up to 3 unexcused absences per semester. Students who are absent during a test/quiz must contact the instructor to make it up within one week.
Arriving late to class twice = one absence (except for a good reason, such as late trains)

【Outline and objectives】
This course is designed to develop language skills necessary for students to express themselves in English. The emphasis is on oral communication, and we will practice listening and speaking skills. Students may also be required to write paragraphs and short essays.

LANe200LA

英語オーラル・コミュニケーションⅡ

2017 年度以降入学者

LASSEGARD JAMES

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**火** 2/Tue.2
単位数：**1 単位**
法文営国 1～4 年/レベル 2,3 ※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This course is designed to develop practical oral communication skills for students to express themselves in English.

【到達目標】
Students will improve their ability to express themselves in English in order to participate effectively in discussion and will learn to give presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
This course will be given entirely in English. Students will participate in a variety of activities, but emphasis will be on listening and speaking. These activities include role playing dialogues, pair and group discussions, and presentations based on short reading or audio-visual materials. Students are expected to come to class prepared by doing the assigned reading and other homework.
Feedback on students' performance will be given in class, as well as through written assignments in class and online using Google Classroom. Students may also correspond with the instructor using e-mail.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Unit 7: Work and Careers	Course introduction; Review of grammar using summer vacation reports.Reading and discussion on working lives.
2	Unit 7:Work & Careers Pt.2	Instructions and Practice in writing a resume or CV.
3	Unit 8: Hobbies and Pastimes	Video & Worksheet activities and discussion. Research assignment.
4	Unit 8 Pt. 2	Students report on research. Writing essays review.
5	Unit 9: Housing and Living arrangements	Reading assignment and discussion on types of housing. Next Presentation instruction.
6	Unit 9: Housing Pt. 2	Students give presentations in pairs.Review for midterm quiz.
7	Unit 10: Health & Wellbeing	Quiz on Units 7-9. Reading and discussion on study habits and work-life balance. Writing assignment
8	Unit 10: Wellbeing Pt. 2	Writing assignment due. Video content & worksheet. Discussion.
9	Unit 11: Recycling and the Environment	Lecture and discussion. Vocabulary practice. Pairwork: writing dialogues.
10	Unit 11: Environment Pt. 2	Students perform dialogue in class. Review tips on giving effective presentations.
11	Unit 12: Social Groups	Textbook Reading activities Reading, Discussion in pair and groups
12	Unit 12 Social groups and Networking.	Video worksheet and supplemental activities; final essay assignment due and vocabulary review.
13	Student Presentations	Quiz on Units 9-12 Student presentations
14	Class wrap up–End of year celebration	Return all quizzes and essays. Discussion

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students are expected to prepare by reading ahead in the textbook,looking up unfamiliar vocabulary, and completing other activities assigned in class.
Approximately 1-2 hours of weekly homework are required of students in this class.

【テキスト（教科書）】
Speak Your Mind level 2 (MacMillan)
Other handouts and materials related to course content will be distributed in class. Students must have a notebook/binder and/or loose sheets of paper.

【参考書】
Always bring a dictionary to class (paper or electronic dictionaries are acceptable).

【成績評価の方法と基準】
Class attendance & participation: 30%
Quizzes, short essays,individual and group presentations: 70%

【学生の意見等からの気づき】
This is the first year the instructor is teaching this course.

【その他の重要事項】
In principle, students are permitted up to 3 unexcused absences during the semester
Two late notices are treated as one absence (unless for a good reason–such as train delays, etc)

【Outline and objectives】
While some attention will be given to all four skills, the emphasis is on oral communication, and so we spend considerable classroom time practicing listening and speaking skills.Students will engage in classroom discussions, role play, and give short presentations on topics of interest.

LANe200LA

ビジネス・イングリッシュⅠ　2017 年度以降入学者

JOHN REILLY

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**火 4**/Tue.4
単位数：**1 単位**
法文営国 1〜4 年/レベル 3,4 ※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This course will help students to improve their English communications skills for business and to develop a better understanding of international business practices.

【到達目標】
Student will gain confidence to share information in English while conducting business.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
Class activities will include pair work, group work and discussions. Some written homework will be assigned.Students will compare class assignment answers in pairs or small groups after which the instructor will provide the correct answers.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Course introduction	Explaining the course
2	Unit 1: Nice to meet you (1-6)	Introducing people - Pages 6-10
3	Unit 1: Nice to meet you (7-12)	Introducing people Pages 11-15
4	Unit 2: Where do you work? (1-6)	Describing companies - Pages 16-20
5	Unit 2: Where do you work? (7-12)	Describing companies - Pages 20-25
6	Unit 3: Can I have your name please? (1-6)	Having telephone conversations - Pages 26-30
7	Unit 3: Can I have your name please? (7-12)	Having telephone conversations - Pages 30-33
8	Unit 4: I'm a sales rep (1-6)	Describing occupations - Pages 34-38
9	Unit 4: I'm a sales rep (7-12)	Describing occupations - Pages 38-43
10	Unit 5: They work in shifts (1-6)	Describing time and schedules - Pages 44-48
11	Unit 5: They work in shifts (7-12)	Describing time and schedules - Pages 48-51
12	Unit 6 How's business? (1-6)	Making small talk - Pages 52-55
13	Unit 6: How's business? (7-12)	Making small talk - Pages 55-61
14	Student Pair Speaking Examination	Final Exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students will be expected to prepare for classes by reviewing the next pages in the textbook and completing some assignments. University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
Communication Spotlight: Business 1 (Alastair Graham-Marr / ABAX ELT Publishers)

【参考書】
Students will be given supplemental material to increase their knowledge of business topics.

【成績評価の方法と基準】
Students will be evaluated on a pair-speaking exam (75%) and class participation (25%). In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】
Student feedback on class activities is encouraged.

【Outline and objectives】
The business skills learned, along with more general English language instruction received, will help students to communicate clearly and effectively in both global business environments and within Japanese companies that conduct international business.

LANe200LA

ビジネス・イングリッシュⅡ　2017 年度以降入学者

JOHN REILLY

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**火** 4/Tue.4
単位数：**1 単位**
法文営国 1〜4 年/レベル 3,4 ※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This course will help students to improve their English communications skills for business and to develop a better understanding of international business practices.

【到達目標】
Student will gain confidence to share information in English while conducting business.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
Class activities will include pair work, group work and discussions.　Some written homework will be assigned. Students will
compare class assignment answers in pairs or small groups after
which the instructor will provide the correct answers.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Course introduction	Explaining the course
2	Unit 7: How many employees are there? (1-6)	Working with large numbers - Pages 62-66
3	Unit 7: How many employees are there? (7-12)	Working with large numbers - Pages 66-71)
4	Unit 8: It was a long day (1-6)	Describing past work - Pages 72-75
5	Unit 8: It was a long day (7-12)	Describing past work - Pages 75-79
6	Unit 9: Can you send me that file? (1-6)	Explaining procedures - Pages 80-83
7	Unit 9: Can you send me that file? (7-12)	Explaining procedures - Pages 83-87
8	Unit 10: It's in the filing cabinet (1-6)	Describing location - Pages 88-92
9	Unit 10: It's in the filing cabinet (7-12)	Describing location - Pages 92-95
10	Unit 11: This is good! What is it? (1-6)	Describing food - Pages 96-99
11	Unit 11: This is good! What is it? (7-12)	Describing food - Pages 99-103
12	Unit 12: She's going to give a presentation (1-6)	Describing future plans - Pages 104-107
13	Unit 12: She's going to give a presentation (7-12)	Describing future plans - Pages 107-111
14	Student Pair Speaking Examination	Final exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students will be expected to prepare for classes by reviewing the next pages in the textbook and completing some assignments.
University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
Communication Spotlight: Business 1 (Alastair Graham-Marr / ABAX ELT Publishers)

【参考書】
Students will be given supplemental material to increase their knowledge of business topics.

【成績評価の方法と基準】
Students will be evaluated on a pair-speaking exam (75%) and class participation (25%). In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】
Student feedback on class activities is encouraged.

【Outline and objectives】
The business skills learned, along with more general English language instruction received, will help students to communicate
clearly and effectively in both global business environments and within Japanese companies that conduct international business.

LANe200LA
English Reading and Vocabulary Ⅰ

2017 年度以降入学者

ウォルター・カズマー

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火 3/Tue.3**
単位数：**1 単位**
法文営国 1～4 年/レベル 4 ※定員制

他学部公開：　グローバル：○　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Students will learn English using 4 skill areas (speaking, listening, reading, and writing). Discussion and short essay writing skills will be focused on.

【到達目標】
Students will read and learn 5-10 new vocabulary items per class.
Students will also acquire ability to handle discussions about some text topics related to economic, political, and current events related issues

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
Skimming, scanning, reading for detail, reading for deep comprehension, taking dictations with cloze exercises, and role-plays based on new vocabulary.
Feedback will be given in Google classroom comments, via email or in feedback sessions in Zoom classes.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Introduction	Present basic goals of course with examples.	Cover syllabus and basic ground rules for regular classes and tests.
Sustainable communities I	Keeping the social peace	Examining social goals for societies. Exploring cultural bonds.
Sustainable communities II	Social peace	Deepening understanding of social boundaries and possible conflcts.
Dilemma for a responsible tourist I	Tourists and value they bring to societies	How tourism affects our lives in both positive and negative ways.
Dilemma for a responsible tourist II	New trends of tourism	Ponder tourism negatives and positive outcomes
Protecting world heritage I	Protecting our cultural artifacts	How buildings are preserved and design shows our history
Protecting world heritage II	Looking at historical buildings and the events they show	Why are these buildings important for remembering history?
No more Bananas I	Engineered food and possible consequences	Quiz 1 Researching food sources and why variety is important
No more Bananas II	Scientists develop strains and their goals	Science and its end goals and how they might ruin our health
Blowing whistles I	Corruption and its problems	Looking at corporate problems and how difficult they are to solve
Blowing whistles II	Witness to government waste	Trying to eliminate waste
Breaking the law I	Bad laws	Examining when do you have an obligation to protest
Breaking the law I	Well meaning laws	Quiz 2 Researching laws that don't cover all circumstances
Summary	Taking at look at useful words learned	Reviewing useful vocabulary and its parameters

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Some reading and vocabulary review.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
Issues that matter - Kinseido
ISBN 9784764740617 or 1921082018006

【参考書】
N/A

【成績評価の方法と基準】
Class participation 20%
Homework 40%
Quizzes 40%
For all English courses on Ichigaya campus, the guideline is as follows: "In principle, no more than 3 absences per term are allowed."

【学生の意見等からの気づき】
N/A

【学生が準備すべき機器他】
English to English dictionary or web dictionary, paper, smartphone or PC

【その他の重要事項】
Blog work
Contact email
kasmersensei@gmail.com

【Outline and objectives】
Students will learn English using 4 skill areas (speaking, listening, reading, and writing). Discussion and short essay writing skills will be focused on.

LANe200LA
English Reading and Vocabulary Ⅱ
2017 年度以降入学者

ウォルター・カズマー

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**火** 3/Tue.3
単位数：**1 単位**
法文営国 1～4 年/レベル 4 ※定員制

他学部公開：　グローバル：○　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Students will learn English using four skill areas (listening, speaking, writing, and reading). Students will focus on improving discussion and short essay writing.

【到達目標】
Students will read and learn 5-10 new vocabulary items per class.
Students will acquire discussion skills to handle discussions about economic, political, and current events topics.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
Skimming, scanning, reading for detail, reading for deep comprehension,
taking dictations with cloze exercises, and role-plays
based on new vocabulary.
Feedback will be given in Google classroom comments, via email or feedback sessions in Zoom classes.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Introduction	Present basic goals of course with examples.	Cover syllabus and basic ground rules for regular classes and tests.
Food politics	Food politics	How do we get our food?
Food politics II	Sourcing our food	Positives and negatives of climate change on food sourcing
Food inequality I	Food and its effects on society	Look at how inequalities affect our food
Recycling	recycling and government regulation	Show and discuss government regulations that try to reduce waste
Recycling II	Covering aspects of structure and use of waste	Looking at waste usage
Blowing whistles	Whistle blowing vs leaking	How whistle blowing affects us
Blowing whistles II	Consequences of leaking	Government actions vs leaking
Protesting II	Protesting	Reasons why people protest
Protesting II	Handling protests	Why people protest and how governments handle it
Fake news	Where does fake news come from?	Talking about fake vs real news
Fake news II	Social media and fake news	Why social media is full of it
review of unit questions I	Review course themes	Discussions of unit themes
review of unit issues and Summary	Review course themes	Discuss course related themes.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Prepare presentation material and review vocabulary lists.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
Issues that matter- Kinseido
ISBN 978-4-7647-4061-7

【参考書】
N/A

【成績評価の方法と基準】
Class participation 20%
Homework 40%
Quizzes 40%
For all English courses on Ichigaya campus, the guideline is as follows: “In principle, no more than 3 absences per term are allowed.”

【学生の意見等からの気づき】
Require more use of English by students

【学生が準備すべき機器他】
English to English dictionary or web dictionary, paper, writing instrument

【その他の重要事項】
Contact email
kasmersensei@gmail.com
Blog work assigned

【Outline and objectives】
Students will learn English using four skill areas (listening, speaking, writing, and reading). Students will focus on improving discussion and short essay writing.

LANe200LA
English Reading and Vocabulary Ⅰ
2017 年度以降入学者

ERIC J RITTER

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**1 単位**
法文営国 1～4 年/レベル 4 ※定員制

他学部公開：　グローバル：○　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Students will improve their reading skills and vocabulary knowledge. Each lesson will be divided into learning new vocabulary and then practicing it via pair and group work. The vocabulary will be used in the readings that follow.

【到達目標】
1. Students will understand and utilize the writing process of planning, writing, and re-writing.
2. They will learn to understand the gist, details of short articles they read and summarize a magazine article.
3. Students will improve their reading speed and increase their vocabulary knowledge.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
This will be an online class so students should be prepared to use Zoom. Students will learn new vocabulary from textbook and reinforce it via discussion and readings. Feedback will be given in class and via Google classroom.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Unit 1	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
2	Unit 2	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
3	Unit 3	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
4	Unit 4	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension.
5	Unit 5	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension.
6	Unit 6	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
7	Midterm	Feedback
8	Unit 7	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
9	Unit 8	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
10	Unit 9	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
11	Unit 10	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
12	Unit 11	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
13	Unit 12	Learn new vocabulary. Reading story. Homework: prepare for final exam.
14	Final exam	feedback

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course. Students will study vocabulary on Quizlet and read articles.

【テキスト（教科書）】
Paul Nation: 4000 Essentials Words Book 4 (2nd edition). Perfect Paperback

【参考書】
Book and Quizlet should be studied.

【成績評価の方法と基準】
50% quizzes and exams
25% writing exercises using new words
25% effort and participation
No more than 3 absences or missed assignments are allowed.

【学生の意見等からの気づき】
No feedback

【学生が準備すべき機器他】
Internet enabled device to participate in class with Zoom. Students should also be familiar with Google classroom and Hoppii.

【Outline and objectives】
Students will improve their reading skills and vocabulary knowledge. Each lesson will be divided into learning new vocabulary and then practicing it via pair and group work. The vocabulary will be used in the readings that follow.

LANe200LA
English Reading and Vocabulary Ⅱ

2017 年度以降入学者

ERIC J RITTER

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**1 単位**
法文営国 1〜4 年/レベル 4 ※定員制

他学部公開：　グローバル：○　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Students will improve their reading skills and vocabulary knowledge. Each lesson will be divided into learning new vocabulary and then practicing it via pair and group work. The vocabulary will be used in the readings that follow.

【到達目標】
1. They will learn to understand the gist, details of short articles they read and summarize a magazine article.
2. Students will improve their reading speed and increase their vocabulary knowledge.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
Students will learn new vocabulary from textbook and reinforce it via discussion and readings. Feedback will be given in class and via Google classroom.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Unit 13	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
2	Unit 14	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
3	Unit 15	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
4	Unit 16	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
5	Unit 17	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
6	Unit 18	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
7	Unit 19	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
8	Midterm Exam	Feedback
9	Unit 20	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
10	Unit 21	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
11	Unit 22	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
12	Unit 23	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
13	Unit 24	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
14	Final Exam	Review

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hour a week for a two-credit class for a 2 hour class and 1 hour a week for a 1 hour class.

【テキスト（教科書）】
Paul Nation: 4000 Essentials Words Book 4 (2nd edition). Perfect Paperback

【参考書】
None

【成績評価の方法と基準】
50% quizzes and exams
25% writing exercises using new words
25% effort and participation
In principle, no more than 3 absences are allowed.
Feedback will be given in class and via Google classroom.

【学生の意見等からの気づき】
None

【Outline and objectives】
Students will improve their reading skills and vocabulary knowledge. Each lesson will be divided into learning new vocabulary and then practicing it via pair and group work. The vocabulary will be used in the readings that follow.

LANe200LA

English Academic Writing Ⅰ

2017 年度以降入学者

DYLAN O SCUDDER

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火 2/Tue.2**
単位数：**1 単位**
法文営国 1～4 年/レベル 4 ※定員制

他学部公開：　グローバル：○　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
I use communicative English language pedagogy and classroom practices common in English as a Second Language (ESL) programs at universities in English-speaking countries. Students are expected to advance academic writing skills. Special emphasis will be placed on writing academic essays.

【到達目標】
The goal of the course is to develop students' ability to recognize the elements of academic essays in order to perform successfully in an all English-speaking university environment. Students will work on expanding on their general knowledge of pursuing a question with the systematic and rigorous process expected in an English-speaking academic context.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
This is a Zoom-based online class. Every class is conducted in real-time. Please see HOPPII, the University's Learning Management System for details.
Feedback on class assignments will be provided by email and/or in one-on-one discussions between the lecturer and the student. Students may request additional feedback on class assignments at any time during the semester. Thirteen elements found in academic essays in English-speaking academia will be explored in depth. Students will be expected to not only participate in classroom activities, but also find and analyze information from various forms of English media independently and complete weekly homework assignments. Special emphasis will be given to a theoretical understanding of academic writing to lay the foundation for subsequent application in practice.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
One	Thesis: What question do you want to explore? Is it the kind of question that you can answer in one semester? Remember: A good question includes a hint of the answer.	This class uses a checklist for academic writing based on Gordon Harvey's Elements of the Academic Essay. You will receive a template, which you will use to write a paper of 200-400 words about the theme. You will email the template to the instructor at: dylan.scudder.67@hosei.ac.jp.
Two	Motive: How did you choose your question, and why should it be interesting to other people?	You will receive a template, which you will use to write a paper of 200-400 words about the theme. You will email the template and your homework to the instructor by the end of class at: dylan.scudder.67@hosei.ac.jp.
Three	Evidence: What kinds of facts or examples will you use to support your thesis?	You will receive a template, which you will use to write a paper of 200-400 words about the theme. You will email the template and your homework to the instructor by the end of class at: dylan.scudder.67@hosei.ac.jp.
Four	Analysis: How do you explain the evidence you found?	You will receive a template, which you will use to write a paper of 200-400 words about the theme. You will email the template and your homework to the instructor by the end of class at: dylan.scudder.67@hosei.ac.jp.
Five	Keyterms: Have you explained the main terms and assumptions that you use in your essay?	You will receive a template, which you will use to write a paper of 200-400 words about the theme. You will email the template and your homework to the instructor by the end of class at: dylan.scudder.67@hosei.ac.jp.
Six	Structure: In general, are the sections in your essay in a logical order? Does your essay follow a storyline or roadmap?	You will receive a template, which you will use to write a paper of 200-400 words about the theme. You will email the template and your homework to the instructor by the end of class at: dylan.scudder.67@hosei.ac.jp.
Seven	Stitching: In particular, are there clear connections between the parts of your essay? For example, "In the previous section, …" "In the next section, …" and so on.	You will receive a template, which you will use to write a paper of 200-400 words about the theme. You will email the template and your homework to the instructor by the end of class at: dylan.scudder.67@hosei.ac.jp.
Eight	Sources: What have other people written about your topic? Have you showed where you agree and disagree with other people's research, and have you acknowledged these people in the citations and references parts of your essay?	You will receive a template, which you will use to write a paper of 200-400 words about the theme. You will email the template and your homework to the instructor by the end of class at: dylan.scudder.67@hosei.ac.jp.
Nine	Reflecting: Have you presented and explained perspectives that contradict your perspective?	You will receive a template, which you will use to write a paper of 200-400 words about the theme. You will email the template and your homework to the instructor by the end of class at: dylan.scudder.67@hosei.ac.jp.

Ten	Orienting: Have you provided sufficient explanation for your readers to understand how you explored your topic and why you interpret the information as you do?	You will receive a template, which you will use to write a paper of 200-400 words about the theme. You will email the template and your homework to the instructor by the end of class at: dylan.scudder.67@hosei.ac.jp.
Eleven	Stance: Have you maintained a consistent style of communication with your readers from the beginning to the end of your essay?	You will receive a template, which you will use to write a paper of 200-400 words about the theme. You will email the template and your homework to the instructor by the end of class at: dylan.scudder.67@hosei.ac.jp.
Twelve	Style: Do you express your ideas in clear and simple terms?	You will receive a template, which you will use to write a paper of 200-400 words about the theme. You will email the template and your homework to the instructor by the end of class at: dylan.scudder.67@hosei.ac.jp.
Thirteen	Title: Does your title provide the right amount of information to make readers curious? Your title should give readers the general direction, but also make them want to know more.	You will receive a template, which you will use to write a paper of 200-400 words about the theme. You will email the template and your homework to the instructor by the end of class at: dylan.scudder.67@hosei.ac.jp.
Fourteen	Based on the elements of academic essays that you have studied this semester, what question or problem would you choose for your essay?	You will receive a template, which you will use to write a paper of 200-400 words about the theme. You will email the template and your homework to the instructor by the end of class at: dylan.scudder.67@hosei.ac.jp.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Preparation and review should be around one hour per week. Preparation (homework) is a reflection paper of 200-400 words each week. The paper is based on (1) your learning goals, (2) the challenges you are experiencing as you pursue your goals, (3) the approaches you are using to overcome these challenges and (4) your plans for your next steps. Similar to your classwork, you will write your homework using a template that I will give you. You will submit your homework together with your classwork by the end of each class.

【テキスト（教科書）】
No textbook required this semester.

【参考書】
Any recommended references will be provided during class.

【成績評価の方法と基準】
Note: In principle, no more than 3 absences per term are allowed. Assuming that students are absent 3 times or less, their performance will be graded as described below.
Classwork: 50%
Homework: 50%
All classwork is due at the end of each class. At the beginning of each class, I will remind you of the classwork assignment (also in the syllabus). You will submit the classwork to me by the end of each class using a classwork template that I will give you. You will write 200-400 words each class.
Homework is a learning journal based on (1) your goals, (2) the challenges you are experiencing as you pursue your goals, (3) the approaches you are using to overcome these challenges and (4) your plans for your next steps. Similar to your classwork, you will write your homework using a template that I will give you. You will submit your homework together with your classwork by the end of each class. Your homework each week will also consist of 200-400 words.
There are no points for incomplete or late assignments.
In summary, if you complete all the classwork and the homework on time, you can expect a good grade.

【学生の意見等からの気づき】
Nothing in particular.

【学生が準備すべき機器他】
In order to complete and submit the classwork and homework for this class, you will need a computer and an internet connection.

【その他の重要事項】
All classes this semester are Zoom classes. Use the below link and passcode:
https://hosei-ac-jp.zoom.us/j/82479998540?pwd=ZlpWSHBsemVxNm0vMllkTDEwMVFZdz09
Meeting ID: 824 7999 8540
Passcode: 454451

【Outline and objectives】
I use communicative English language pedagogy and classroom practices common in English as a Second Language (ESL) programs at universities in English-speaking countries. Students are expected to advance academic writing skills. Special emphasis will be placed on writing academic essays.

LANe200LA

English Academic Writing Ⅱ

2017 年度以降入学者

DYLAN O SCUDDER

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**火** 2/Tue.2
単位数：**1 単位**
法文営国 1～4 年/レベル 4 ※定員制

他学部公開：　グローバル：○　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
I use communicative English language pedagogy and classroom practices common in English as a Second Language (ESL) programs at universities in English-speaking countries. Students are expected to advance academic writing skills. Special emphasis will be placed on writing academic essays.

【到達目標】
The goal of the course is to develop students' ability to recognize the elements of academic essays in order to perform successfully in an all English-speaking university environment. Students will work on expanding on their general knowledge of pursuing a question with the systematic and rigorous process expected in an English-speaking academic context.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
This is a Zoom-based online class. Every class is conducted in real-time. Please see HOPPII, the University's Learning Management System for details.
Feedback on class assignments will be provided by email and/or in one-on-one discussions between the lecturer and the student. Students may request additional feedback on class assignments at any time during the semester. Thirteen elements found in academic essays in English-speaking academia will be explored in depth. Students will be expected to not only participate in classroom activities, but also find and analyze information from various forms of English media independently and complete weekly homework assignments. Special emphasis will be given to a practical understanding of academic writing by producing an essay based on the systematic approach outlined in Gordon Harvey's Elements of the Academic Essay.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
One	Thesis: What question do you want to explore? Is it the kind of question that you can answer in one semester? Remember: A good question includes a hint of the answer.	You will receive a template, which you will use to complete the first element of your essay. You will email this first part of your essay by the end of class to the instructor at: dylan.scudder.67@hosei.ac.jp.
Two	Motive: How did you choose your question, and why should it be interesting to other people?	You will receive a template, which you will use to complete the second element of your essay. You will email your revised essay and homework by the end of class to: dylan.scudder.67@hosei.ac.jp.
Three	Evidence: What kinds of facts or examples will you use to support your thesis?	You will receive a template, which you will use to complete the third element of your essay. You will email your revised essay and homework by the end of class to: dylan.scudder.67@hosei.ac.jp.
Four	Analysis: How do you explain the evidence you found?	You will receive a template, which you will use to complete the fourth element of your essay. You will email your revised essay and homework by the end of class to: dylan.scudder.67@hosei.ac.jp.
Five	Keyterms: Have you explained the main terms and assumptions that you use in your essay?	You will receive a template, which you will use to complete the fifth element of your essay. You will email your revised essay and homework by the end of class to: dylan.scudder.67@hosei.ac.jp.
Six	Structure: In general, are the sections in your essay in a logical order? Does your essay follow a storyline or roadmap?	You will receive a template, which you will use to complete the sixth element of your essay. You will email your revised essay and homework by the end of class to: dylan.scudder.67@hosei.ac.jp.
Seven	Stitching: In particular, are there clear connections between the parts of your essay? For example, "In the previous section, …" "In the next section, …" and so on.	You will receive a template, which you will use to complete the seventh element of your essay. You will email your revised essay and homework by the end of class to: dylan.scudder.67@hosei.ac.jp.
Eight	Sources: What have other people written about your topic? Have you showed where you agree and disagree with other people's research, and have you acknowledged these people in the citations and references parts of your essay?	You will receive a template, which you will use to complete the eighth element of your essay. You will email your revised essay and homework by the end of class to: dylan.scudder.67@hosei.ac.jp.
Nine	Reflecting: Have you presented and explained perspectives that contradict your perspective?	You will receive a template, which you will use to complete the ninth element of your essay. You will email your revised essay and homework by the end of class to: dylan.scudder.67@hosei.ac.jp.

Ten	Orienting: Have you provided sufficient explanation for your readers to understand how you explored your topic and why you interpret the information as you do?	You will receive a template, which you will use to complete the tenth element of your essay. You will email your revised essay and homework by the end of class to: dylan.scudder.67@hosei.ac.jp.
Eleven	Stance: Have you maintained a consistent style of communication with your readers from the beginning to the end of your essay?	You will receive a template, which you will use to complete the eleventh element of your essay. You will email your revised essay and homework by the end of class to: dylan.scudder.67@hosei.ac.jp.
Twelve	Style: Do you express your ideas in clear and simple terms?	You will receive a template, which you will use to complete the twelfth element of your essay. You will email your revised essay and homework by the end of class to: dylan.scudder.67@hosei.ac.jp.
Thirteen	Title: Does your title provide the right amount of information to make readers curious? Your title should give readers the general direction, but also make them want to know more.	You will receive a template, which you will use to complete the thirteenth element of your essay. You will email your revised essay and homework by the end of class to: dylan.scudder.67@hosei.ac.jp.
Fourteen	Confirm that your essay includes all the elements of academic essays that were covered this semester.	Submit the final version of your essay and homework by the end of class to: dylan.scudder.67@hosei.ac.jp.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Preparation and review should be around one hour per week. Preparation (homework) is a reflection paper of 200-400 words each week. The paper is based on (1) your learning goals, (2) the challenges you are experiencing as you pursue your goals, (3) the approaches you are using to overcome these challenges and (4) your plans for your next steps. Similar to your classwork, you will write your homework using a template that I will give you. You will submit your homework together with your classwork by the end of each class.

【テキスト（教科書）】
No textbook required this semester.

【参考書】
Any recommended references will be provided during class.

【成績評価の方法と基準】
Note: In principle, no more than 3 absences per term are allowed. Assuming that students are absent 3 times or less, their performance will be graded as described below.
Classwork: 50%
Homework: 50%
All classwork is due at the end of each class. At the beginning of each class, I will remind you of the classwork assignment (also in the syllabus). You will submit the classwork to me by the end of each class using a classwork template that I will give you. You will write 200-400 words each class.
Your homework each week is to prepare a draft version of the next week's classwork. For example, after our first class, you will complete a draft version of the classwork for our second class. After our second class, you will complete a draft version of the classwork for our third class and so on. Similar to your classwork, you will write your homework using a template that I will give you. You will submit your homework together with your classwork by the end of each class.
There are no points for incomplete or late assignments.
In summary, if you complete all the classwork and the homework on time, you can expect a good grade.

【学生の意見等からの気づき】
Nothing in particular.

【学生が準備すべき機器他】
In order to complete and submit the classwork and homework for this class, you will need a computer and an internet connection.

【その他の重要事項】
Nothing in particular.

【Outline and objectives】
I use communicative English language pedagogy and classroom practices common in English as a Second Language (ESL) programs at universities in English-speaking countries. Students are expected to advance academic writing skills. Special emphasis will be placed on writing academic essays.

LANe200LA

English Academic Writing Ⅰ

2017 年度以降入学者

MARK D BURNS

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**1 単位**
法文営国 1～4 年/レベル 4 ※定員制

他学部公開：　グローバル：○　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
The primary objective of this class is to develop basic paragraph writing skills. The course provides practice in writing, structuring and ordering paragraphs in clear communicative English. Students will compose short 2-paragraph to 5-paragraph papers on a wide range of subjects and purposes.

【到達目標】
This subject aims to equip learners with the basics of written communication in English. It will help learners become familiar with clear paragraph structure. Starting from writing short 2-paragraph papers, students will finally be able to write longer well-structured 5-paragraph pieces.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
In this subject, classes will be conducted in English and will cover each unit of the textbook. Supplementary activities will be provided to increase familiarity with frequently used, but non-specific, academic language. Students will read and critique each others' essays and learn from the strengths of the best papers selected by the class. This will be done anonymously to prevent any embarrassment. Individual feedback will be provided.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Orientation	Overview of the course and warm up	Overview of Academic Writing I subject and explaining rules for assignment submissions and how the best assignments will be selected.
Unit 1a	Writing a paragraph about me	Prewriting preparation, brainstorming main ideas, how to write expository paragraphs and topic sentences
Unit 1b	Analysis of written assignment 1	Reading and selecting best paper. Focusing on paragraph format
Unit 2a	Writing a paragraph about another students possible career	Prewriting preparation, brainstorming main ideas, how to write logical conclusions
Unit 2b	Analysis of written assignment 2	Reading and selecting best paper. Focusing on the use of conjunctions
Unit 3a	Writing a paragraph about your partner's future success	Prewriting preparation, brainstorming main ideas, how to support topic sentences with facts and examples
Unit 3b	Analysis of written assignment 3	Reading and selecting best paper. Focusing on direct and indirect speech
Unit 4a	Writing a paragraph about an invention	preparation, brainstorming main ideas, how to write definition paragraphs and attention getters
Unit 4b	Analysis of written assignment 4	Reading and selecting best paper. Focusing on avoiding repetition
Unit 5a	Writing a paragraph about an important event in your life	Prewriting preparation, brainstorming main ideas, how to write cause-and-effect and introductory paragraphs
Unit 5b	Analysis of written assignment 5	Reading and selecting best paper. Focusing on cause-and-effect words
Unit 6a	Writing a paragraph about an exciting destination	Prewriting preparation, brainstorming main ideas, how to write process paragraphs and make suggestions
Unit 6b	Analysis of written assignment 6	Reading and selecting best paper. Focusing on using modifiers
End-term assign-ment	Final assignment feedback	Final assignment feedback

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students are expected to edit, type up and print out a written assignment once every 2 weeks.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
Writing from Within 2 (2nd Edition) Curtis Kelly and Arlen Gargagliano Cambridge University Press ISBN 978-0-521-18834-0

【参考書】
A good Japanese-English dictionary

【成績評価の方法と基準】
Assessment will consist of in-class participation (40%), 7 written assignments (60%)

【学生の意見等からの気づき】
Supplementary activities have been added to increase familiarity with frequently used, but non-specific, academic language.

【その他の重要事項】
In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【Outline and objectives】
The primary objective of this class is to develop basic paragraph writing skills. The course provides practice in writing, structuring and ordering paragraphs in clear communicative English. Students will compose short 2-paragraph to 5-paragraph papers on a wide range of subjects and purposes.

LANe200LA

English Academic Writing Ⅱ

2017 年度以降入学者

MARK D BURNS

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**1 単位**
法文営国 1〜4 年/レベル 4 ※定員制

他学部公開：　グローバル：○　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
The primary objective of this class is to further develop basic paragraph writing skills. The course provides practice in writing, structuring and ordering paragraphs in clear communicative English. Students will compose short 2-paragraph to 5-paragraph papers on a wide range of subjects and purposes.

【到達目標】
This subject aims to equip learners with the basics of written communication in English. It will help learners become familiar with clear paragraph structure. Starting from writing short 2-paragraph papers, students will finally be able to write longer well-structured 5-paragraph pieces.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
In this subject, classes will be conducted in English and will cover each unit of the textbook. Supplementary activities will be provided to increase familiarity with frequently used, but non-specific, academic language. Students will read and critique each others' essays and learn from the strengths of the best papers selected by the class. This will be done anonymously to prevent any embarrassment. Individual feedback will be provided.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Orientation	Overview of the course and warm up	Overview of Academic Writing II subject and explaining rules for assignment submissions and how the best assignments will be selected.
Unit 7a	Writing a research report about your classmates	Prewriting preparation, brainstorming main ideas, how to write classification and concluding paragraphs
Unit 7b	Analysis of written assignment 7	Reading and selecting best paper. Focusing on punctuation
Unit 8a	Writing an article about good and bad interview techniques	Prewriting preparation, brainstorming main ideas, how to write comparison and contrast paragraphs
Unit 8b	Analysis of written assignment 8	Reading and selecting best paper. Focusing on giving advice
Unit 9a	Writing a letter to your future self about your goals	Prewriting preparation, brainstorming main ideas, how to write persuasive paragraphs
Unit 9b	Analysis of written assignment 9	Reading and selecting best paper. Focusing on parallel construction
Unit 10a	Writing a composition about your own dorm design	Prewriting preparation, brainstorming main ideas, how to write division paragraphs
Unit 10b	Analysis of written assignment 10	Reading and selecting best paper. Focusing on articles
Unit 11a	Writing a composition about an important person in your life	Prewriting preparation, brainstorming main ideas, how to link paragraphs
Unit 11b	Analysis of written assignment 11	Reading and selecting best paper. Focusing on subject-verb agreement
Unit 12a	Writing a newspaper article	Prewriting preparation, brainstorming main ideas, how to write in objective, persuasive or entertaining styles
Unit 12b	Analysis of written assignment 12	Reading and selecting best paper. Focusing on verb variety
End-term assign-ment	Final assignment	Analysis of end-term assignments

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students are expected to edit, type up and print out a written assignment once every 2 weeks.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
Writing from Within 2 (2nd Edition) Curtis Kelly and Arlen Gargagliano Cambridge University Press ISBN 978-0-521-18834-0

【参考書】
A good Japanese-English dictionary

【成績評価の方法と基準】
Assessment will consist of in-class participation (40%), 7 written assignments (60%)

【学生の意見等からの気づき】
Supplementary activities have been added to increase familiarity with frequently used, but non-specific, academic language.

【その他の重要事項】
In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【Outline and objectives】
The primary objective of this class is to further develop basic paragraph writing skills. The course provides practice in writing, structuring and ordering paragraphs in clear communicative English. Students will compose short 2-paragraph to 5-paragraph papers on a wide range of subjects and purposes.

LANe200LA

English Academic Writing Ⅰ

2017 年度以降入学者

ALAN M NICHOLLS

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法文営国 1～4 年/レベル 4 ※定員制

他学部公開：　グローバル：○　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This course will enable the student to acquire and develop academic writing skills. Among the methods used will be sharing & discussing your own work with class members, in pairs or small groups. This course will emphasize "Academic Writing as a Process." Students will learn the structure of Academic paragraphs, different paragraph styles (Opinion, comparison, description) and appropriate formatting techniques and correct use of punctuation.

【到達目標】
The student will be able to prepare a paragraph with the basic structure of: Topic sentence (with Main Idea), supporting ideas and detail sentences.
Students will be able to communicate his/her thoughts, in written format, to an Academic audience. The course will cover: paragraph development, grammar structures for different paragraph styles and paragraph organization.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
Students will work in pairs or groups to develop paragraphs. In-class worksheets and homework assignments will check the students understanding of the different paragraph styles. Videos of Academic presentations will be used to compare the similarities between written and oral presentations.
All assignments will be distributed, submitted and returned to students digitally via Google Classroom. Written assignments will be returned with detailed comments on how students can improve their writing skills.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1.	Introduction	Introductions Course overview Assessment Classroom Management
2.	Process Writing	Six Steps of Academic Writing. Using outlines
3.	Getting ready	Choosing a Topic Brainstorming Editing
4.	Paragraph structure	Topic Sentence Supporting sentences Concluding sentence
5.	Paragraph Development	Styles of support Detail, Explanation, Example.
6.	Peer editing	Give constructive feedback using on-line sharing.
7.	Descriptive Writing	Using Adjectives: describing people and places.
8.	Descriptive Paragraphs	Describing a process using connectors.
9.	Organising ideas	Keeping ideas connected and in order
10.	Opinion Paragraphs	Introduce opinion v.s. fact, opinion paragraphs discussion, homework
11.	Opinion Paragraphs	Persuade your readers to accept your opinion
12.	Modal Auxiliary Verbs	Grammar Review.
13.	Using Causal Adverbs	Describing causes and effects in paragraphs.
14.	Presentation	Present your paragraphs to your peers

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
University guidelines suggest preparation and review are around 2 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.
3 Homework assignments writing different styles of paragraph. Pre-reading of articles.
All assignments written in digital format and submitted via Google Classroom.
To assist in providing feedback, Google Docs format is preferred.

【テキスト（教科書）】
"Writing Essays: From Paragraph to Essay" by Dorothy E Zemach and Lisa A Ghulldu MACMILLAN Writing Series.

【参考書】
To be advised

【成績評価の方法と基準】
Homework Assignments:30%
Worksheet Assignments: 40%
Pair and Group Participation: 20%
Presentation: 10%
In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

【学生の意見等からの気づき】
None

【学生が準備すべき機器他】
A device (Laptop or Tablet) that supports word processor software. Smartphones are OK but are more difficult for students to use. Students will be required to know their Hosei Gmail account details. Students may use voice recognition software. Google Docs is the required format for submitting written assignments.

【その他の重要事項】
We will use Google “Classroom” to send, submit and record all assignments. Please download Google Classroom to your device before our first class. The "Course Code is: t6wiwmo

【Outline and objectives】
This course will enable the student to acquire and develop academic writing skills. Among the methods used will be sharing & discussing your own work with class members, in pairs or small groups. This course will emphasize "Academic Writing as a Process."Students will learn the structure of Academic paragraphs, different paragraph styles (Opinion, comparison, description) and appropriate formatting techniques and correct use of punctuation.

LANe200LA

English Academic Writing Ⅱ

2017 年度以降入学者

ALAN M NICHOLLS

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
法文営国 1～4 年/レベル 4 ※定員制

他学部公開：　グローバル：○　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This course will enable the student to acquire and develop academic writing skills. This course will emphasize "writing as a process.
Students will learn the structure of academic ESSAYS using different paragraph styles and appropriate formatting techniques. Students will learn cohesion and unity in an essay and the use of essay outlines. Finally, students will prepare and present an academic style Essay.

【到達目標】
This course will enable the student to acquire and develop academic writing skills for interview situations and written English tests (IELTS / TOFEL) where tests have a limited time to prepare an essay. A final document will be a document suitable for submission as an academic essay.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
Among the methods used will be sharing & discussing one's work with class members in pair work and small groups. Students will also practice using peer editing with online documents. In a final presentation, the student will demonstrate their understanding of the features of an academic essay.
All assignments will be distributed, submitted and returned to students digitally via Google Classroom. Written assignments will be returned with detailed comments on how students can improve their writing skills.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1.	Introduction	Introduction Course Overview Assessment Classroom Management
2.	Comparing Paragraphs	Structures to compare similar ideas
3.	Contrasting Paragraphs	Structures to contrast dissimilar ideas
4.	Block Organization vs Point-by Point Organization	Different ways to present similar / contrasting ideas
5.	Advantages / Disadvantages	Making arguments for and against proposals
6.	Conditional Statements	Using conditional statements to support an argument.
7.	Problem / Solution Paragraphs	Linking problems with solutions
8.	Writing Essays	Thesis statements
9.	Writing Essays	Writing thesis statements
10.	Outlining Essays	Using modern software to create an essay outline.
11.	Outline development	Filling in the details
12.	Developing the Introduction and conclusion	The introduction to thesis statement. Linking the Conclusion to the thesis
13.	Presentation	Present your Essay to the class
14.	Review	Present your Essay to the class

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
University guidelines suggest preparation and review are around 2 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.
3 or more short Homework assignments will be set. There will also be preparation of a presentation identifying the key components of an academic essay.

【テキスト（教科書）】
"Writing Essays from Paragraph to Essay" by D.E. Zemach and Lisa A Ghulldu, MACMILLIAN Writing Series.

【参考書】
To be advised

【成績評価の方法と基準】
Homework assignments: 30%
Classroom Worksheets: 40%
Pair and Group Participation:20%
Presentation:10%
In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

【学生の意見等からの気づき】
None

【学生が準備すべき機器他】
A device (Laptop or Tablet) that supports word processor software. Smartphones are OK but are more difficult for students to use. Students will be required to know their Hosei Gmail account details. Students may use voice recognition software. Google Docs is the preferred format for submitting assignments.

【その他の重要事項】
We will use Google "Classroom" to send, submit and record all assignments. Please download "Google Classroom" to your laptop or tablet at the start of semester. The Course Code is: dn6hfeb

【Outline and objectives】
This course will enable the student to acquire and develop academic writing skills. This course will emphasize "writing as a process.
Students will learn the structure of academic ESSAYS using different paragraph styles and appropriate formatting techniques. Students will learn cohesion and unity in an essay and the use of essay outlines. Finally, students will prepare and present an academic style Essay.

LANe200LA

英語で学ぶ社会と文化Ⅰ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**マスメデ゛ィアで゛読む世界情勢**

田中　邦佳

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火** 3/Tue.3
単位数：**1 単位**
法文営国 1〜4 年/レベル 2,3 ※定員制
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ニューヨークタイムズ紙の記事の読解をします。授業のテーマの１つ目は、難解な英文になると把握が難しくなる文の主部・述部など英語のセンテンスの文法的構造を理解することです。２つ目のテーマは、パラグラフ全体の内容を日本語にまとめて説明することです。１文ずつの内容の把握だけではなく、より長い単位で記事の内容を把握し、他の人に説明できるようになることが授業の目標となります。

【到達目標】
・一文が長い英文や複雑な構造の英文を読解する
・ある程度まとまった量の英文の内容を人に伝わるような日本語で説明する
・様々な分野で用いられる英語の語彙を増やす

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
テキストは目安として２〜３回の授業で１章分というペースで進めることを目標とします。特に難解な文については解説を行いますが、一字一句全て訳していくようなことはしません。各適宜、グループワークを行い、参加者が自ら語彙・フレーズ・文法について確認し、パラグラフの要旨のまとめ方、提示された課題について考察します。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。授業計画は授業の展開によって若干、変更する可能性があります。
大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンラインで行います。詳細は学習支援システムで伝達します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	Introduction	授業の進め方、評価についての説明します。
第 2 回	ドイツ発：みんなで減らそう食品ロス（前半）	記事を講読します。
第 3 回	ドイツ発：みんなで減らそう食品ロス（後半）	記事を講読します。
第 4 回	ソーダに受難の時代到来（前半）	記事を講読します。
第 5 回	ソーダに受難の時代到来（後半）	記事を講読します。
第 6 回	地撮り投稿を考える（前半）	記事を講読します。
第 7 回	地撮り投稿を考える（後半）	記事を講読します。
第 8 回	課題の振り返り	これまでの課題から見られる困難点についてフィードバックを行う。
第 9 回	デジタルデトックスのヒント（前半）	記事を講読します。
第 10 回	デジタルデトックスのヒント（後半）	記事を講読します。
第 11 回	中国発：一人っ子政策、その後（前半）	記事を講読します。
第 12 回	中国発：一人っ子政策、その後 （後半）	記事を講読します。
第 13 回	まとめ方を考察する	記事の内容をシンプルにまとめる方法を考察する。
第 14 回	期末テスト	講読した記事を振り返るテストです。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。具体的には、授業の前に予習として記事を読んでくる必要があります。わからない単語や表現があれば辞書などで調べることが必要です。また、記事で扱われている内容について馴染みがなければその分野について調べる必要があります。記事の内容について把握し、他の授業参加者と議論できる程度の予習が必要です。

【テキスト（教科書）】
・ニューヨークタイムズ社会点描 SCARCITY AND EXCESS Technological Troubles and Social Solutions, 喜多留女／ Keith Wesley ADAMS 編注, 英宝社. （￥ 2100 円＋税）

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
以下の配分で評価する。
平常点および課題（60%）
期末テスト (40%)
欠席回数が通算 4 回に達した者は原則として単位取得の資格を失う。授業開始のチャイムから 30 分以降の遅刻は欠席と見なす。遅刻の回数が 3 回に達するごとに 1 回の欠席とする。未予習で出席した場合、私語など授業に積極的に参加する姿勢がみられない場合、その日を欠席と同等の扱いとする

【学生の意見等からの気づき】
単純な英文の読解からは達成感が得られにくいことがわかりました。英文の意味の把握を課題にするだけでなく、特に重点的に考えるべき項目を明示的に提示しようと考えています。

【その他の重要事項】
受講希望者が多数の場合、初回の授業時に選抜を行う可能性があります。

【Outline and objectives】
In this course, students will improve skills for English reading comprehension and for summarizing paragraphs.

LANe200LA

英語で学ぶ社会と文化Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**マスメデ゛ィアで゛読む世界情勢**

田中　邦佳

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**火** 3/Tue.3
単位数：**1 単位**
法文営国 1〜4 年/レベル 2,3 ※定員制
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ニューヨークタイムズ紙の記事の読解をします。授業のテーマの１つ目は、難解な英文になると把握が難しくなる文の主部・述部など英語のセンテンスの文法的構造を理解することです。２つ目のテーマは、パラグラフ全体の内容を日本語にまとめて説明することです。１文ずつの内容の把握だけではなく、より長い単位で記事の内容を把握し、他の人に説明できるようになることが授業の目標となります。

【到達目標】
・一文が長い英文や複雑な構造の英文を読解する
・ある程度まとまった量の英文の内容を人に伝わるような日本語で説明する
・様々な分野で用いられる英語の語彙を増やす

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
テキストは目安として２〜 3 回の授業で 1 章分というペースで進めることを目標とします。特に難解な文については解説を行いますが、一字一句全て訳していくようなことはしません。可能であればグループワークを行い、参加者が自ら語彙・フレーズ・文法について確認し、パラグラフの要旨のまとめ方、提示された課題について考察します。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。授業計画は授業の展開によって若干、変更する可能性があります。
大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンラインで行います。詳細は学習支援システムで伝達します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	Introduction	授業の進め方、評価についての説明します。
第 2 回	エアコンの寒さに耐える夏 （前半）	記事を講読します。
第 3 回	エアコンの寒さに耐える夏 （後半）	記事を講読します。
第 4 回	ソーダに受難の時代到来（前半）	記事を講読します。
第 5 回	ソーダに受難の時代到来（後半）	記事を講読します。
第 6 回	節水対策は互いの監視から （前半）	記事を講読します。
第 7 回	節水対策は互いの監視から （後半）	記事を講読します。
第 8 回	課題の振り返り	これまでの課題から見られる困難点についてフィードバックを行う。
第 9 回	善意で始まるペア型腎臓移植（前半）	記事を講読します。
第 10 回	善意で始まるペア型腎臓移植（後半）	記事を講読します。
第 11 回	中国発：英語？ フランス語？ ブランド名は意味不明（前半）	記事を講読します。
第 12 回	中国発：英語？ フランス語？ ブランド名は意味不明 （後半）	記事を講読します。
第 13 回	まとめ方を考察する	記事の内容をシンプルにまとめる方法を考察する。
第 14 回	期末テスト	講読した記事を振り返るテストです。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。具体的には、授業の前に予習として記事を読んでくる必要があります。わからない単語や表現があれば辞書などで調べることが必要です。また、記事で扱われている内容について馴染みがなければその分野について調べる必要があります。記事の内容について把握し、他の授業参加者と議論できる程度の予習が必要です。

【テキスト（教科書）】
・ニューヨークタイムズ社会点描 SCARCITY AND EXCESS Technological Troubles and Social Solutions, 喜多留女／ Keith Wesley ADAMS 編注, 英宝社. （￥ 2100 円＋税）

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
以下の配分で評価する。
平常点および課題（60%）
期末テスト (40%)
欠席回数が通算 4 回に達した者は原則として単位取得の資格を失う。授業開始のチャイムから 30 分以降の遅刻は欠席と見なす。遅刻の回数が 3 回に達するごとに 1 回の欠席とする。未予習で出席した場合、私語など授業に積極的に参加する姿勢がみられない場合、その日を欠席と同等の扱いとする。

【学生の意見等からの気づき】
単純な英文の読解からは達成感が得られにくいことがわかりました。英文の意味の把握を課題にするだけでなく、特に重点的に考えるべき項目を明示的に提示しようと考えています。

【Outline and objectives】
In this course, students will improve skills for English reading comprehension and for summarizing paragraphs.

LANe200LA

英語で学ぶ社会と文化 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**社会と文化の諸相を知る**

岩坪　友子

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**1 単位**
法文営国 1～4 年/レベル 3,4 ※定員制
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
＜社会・文化の諸相を学び、英語の４技能をのばす＞
世界のさまざまな側面を扱う英語素材を通して、知識や問題意識、クリティカル・シンキング力を養いながら、英語の４技能をのばします。話された／書かれた内容を理解し、考察し、要約・説明したり意見を述べる練習を繰り返すことで、自信と興味が増すようにしていきます。

【到達目標】
(1) 英語での発信・受信に使える語彙力がある
(2) 英語で書かれたものについて、内容・趣旨を把握できる
(3) 英語で話されたものについて、内容・趣旨を把握できる
(4) 英語で発信されたものについて、日本語や英語で要約・説明できる
(5) さまざまなトピックについて、多面的・客観的に考察し、自分の見解を日本語や英語で論理的に表現できる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
＜※この授業はハイブリッド型です。ただし、大学の行動方針レベルが２となった場合、原則としてオンラインのみでの実施となります。詳細は学習支援システムでお知らせします。＞
Zoom 授業（リアルタイム双方向）、学習支援システム（教材提示・課題提出）、（可能な場合）教室対面（受講生の発話を伴わない内容など）、を効果的に組み合わせて実施予定です。具体的にはその都度事前に学習支援システム（Hoppii）の「お知らせ」を通じて確認・連絡します。
予習を前提として、授業では基本的に教科書に沿って問題・内容確認・練習を行います。教科書の英語は難解ではなく、受信 → 考察 → 発信の流れを目指す構成です。進捗状況に応じて、テーマに関連するビデオクリップや記事その他の副教材を活用します。理解と考察を促すために、適宜日本語や英語で発問します（話され／書かれたもの全体やパラグラフの要旨、語彙・指示語・構文、話者や筆者の立場、受講生の意見など）。教科書に沿って日本語や英語で要約・説明する練習、論理的に意見を発信する練習を行います。リスニングとスピーキングに役立つ音読練習も行います。授業内で課題や質問等へのフィードバックやアドバイスを行います。学期を通じて身につけた力を、授業、課題、小テスト、プレゼンテーションで発揮する流れになります。
（下記授業計画は、状況に応じて変更の場合があります。）

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 (4/8)	イントロダクション。Unit 1 Cross-cultural understanding リスニング・パート。リーディング・パート導入	授業の概要説明。アンケート。リスニング・速読（希望者数により選抜が必要な場合は Hoppii で指示します。）
2 (4/15)	Cross-cultural understanding リーディング・パート詳細理解と考察	精読・要約・ディスカッション
3 (4/22)	Unit 2 Foods リスニング・パート。リーディング・パート導入	リスニング・速読
4 (5/6)	Foods リーディング・パート詳細理解と考察	精読・要約・ディスカッション
5 (5/13)	Unit 3 Foreign language learning リスニング・パート。リーディング・パート導入	リスニング・速読
6 (5/20)	Foreign language learning リーディング・パート詳細理解と考察	精読・要約・ディスカッション
7 (5/27)	Unit 4 Sports リスニング・パート。リーディング・パート導入	リスニング・速読
8 (6/3)	Sports　リーディング・パート詳細理解と考察	精読・要約・ディスカッション
9 (6/10)	Unit 5 Fashion リスニング・パート。リーディング・パート導入	リスニング・速読
10 (6/17)	Fashion　リーディング・パート詳細理解と考察	精読・要約・ディスカッション
11 (6/24)	Unit 6 Living things リスニング・パート。リーディング・パート導入	リスニング・速読
12 (7/1)	Living things リーディング・パート詳細理解と考察	精読・要約・ディスカッション
13 (7/8)	プレゼンテーション・リハーサル	練習・アドバイス（全体と個別指導）
14 (7/15)	プレゼンテーション。まとめ	発表・意見交換・講評。学期の振り返り・今後の展望（アンケート）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

①予習： STEP 1 テキストのリスニング・リーディング練習問題を解き、解答の根拠も言えるようにする。STEP 2 会話・文章全体を読み、（英語およびそれ以外の）知識と想像力を総合して趣旨を把握する。未知の単語は文脈から類推した上で、かならず辞書で確認する。STEP 3 文章構成を意識して、各段落・文章全体の要約（各 1～2 文程度）を日本語と英語で練習する。STEP 4 ダウンロード音声を聴き、音読練習する。（関連教材についてもほぼ同様。）※課題は指示に沿って期限内に提出する。
②復習： STEP 5 内容を確認しながらテキストを再読する。STEP 6 ダウンロード音声を（テキストを見ながら／見ないで）聴く、リピート／シャドーイングする。STEP 7 テキストで使われているキーワードや表現を使って内容の要約を言って／書いてみる。STEP 8 題材に対する自分の意見を言って／書いてみる。STEP 9 出版物やウェブ上で情報収集、知識・視野を広げる。（関連教材についてもほぼ同様。）

③ プレゼン準備： STEP 10 授業内容とプレゼン用 PDF 教材（学習支援システム）を参考にして少しずつ学期末のプレゼンテーションの準備をする。※プレゼン原稿は指示に沿って期限内に事前提出する。
※上達の度合いは、英語に触れた時間と相関関係があると考えられるため、①②③および英語で情報収集・好きなコンテンツを楽しむ・書く・話すなどを継続するほど、英語力の伸びが期待されます。

【テキスト（教科書）】
VELC 研究会教材開発グループ、望月正道、静哲人、熊澤孝昭　編著、*AMBITIONS Intermediate*（４技能統合型で学ぶ英語コース：中級編）金星堂、2,000 円（税別）（※関連教材は、随時配布・指示します。）

【参考書】
英語マスメディアのウェブサイト例： BBC Learning English (http://www.bbc.co.uk/learningenglish/), VOA Learning English (https://learningenglish.voanews.com/), CNN 10 (http://edition.cnn.com/cnn10), TED: Ideas Worth Spreading (https://www.ted.com), NPR (https://www.npr.org/), ABC News video (http://abcnews.go.com/video), 攻略！ABC ニュース英語 (www6.nhk.or.jp), CBS 60 Minutes (https://www.cbsnews.com/60minutes/), The *New York Times* (http://www.nytimes.com/), The *Guardian* (http://www.theguardian.com/uk). 参考書：『CNN ® ENGLISH EXPRESS』、『CNN ニュース・リスニング　2020［秋冬］』（朝日出版社）、『「英語モード」でライティング』（講談社）、『コンピューター対応 TOEFL ® テストライティング完全制覇』、『英語で書く力。』、『英語で話す力。』（三修社）、『英語ライティングルールブック』、『映画英語のリスニング』(DHC)、『公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 1-7』、『公式 TOEIC Listening & Reading トレーニング リスニング編』、『同リーディング編』、『TOEIC Listening & Reading 公式ボキャブラリーブック』、『TOEIC ® テスト公式問題で学ぶボキャブラリー』、『TOEIC ® Speaking & Writing 公式テストの解説と練習問題』（一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会）ほか。国際文化学部 HP→ 関連リンク「英語リスニング・ハンドブック」、図書館、AV ライブラリー（BT3 階）など活用して自分のレベルやスタイルに合ったものを探しましょう。

【成績評価の方法と基準】
平常点（予習と授業への取り組み・課題・小テスト）85%、プレゼンテーション 15%の割合で、上記到達目標 (1)〜(5) に照らして評価します。原則として欠席が 4 回以上になると単位取得の資格を失いますので注意してください。特別な理由がある場合は、早めに担当教員に相談・連絡してください。
次のような姿勢で取り組んでください： STEP ①予習して目標を持って出席／ STEP ②授業では理解を深め積極的に参加・練習／ STEP ③復習と自習で定着・苦手克服・実力アップ／ STEP ④授業・課題・小テスト・プレゼンテーションで成果を発揮

【学生の意見等からの気づき】
英語力や知識・思考力を広い視野で伸ばそうとするみなさん個々の継続的な取り組みと、意見交換などを通じて互いから刺激を受け学び合う姿勢が印象的でしたので、内容・手法の充実を図ります。

【学生が準備すべき機器他】
学習支援システムおよび Zoom を使用します。大学で Zoom 授業を受ける際には
マイク付きのヘッドセットが必要です。

【その他の重要事項】
授業で使えるように辞書を持参してください。

【Outline and objectives】
The aim of the course is to help students improve their confidence and skills in English communication. Students will practice listening to, speaking, reading and writing about various aspects of cultures and societies today, while building vocabulary, learning about the topics and developing their critical thinking skills. Students will give a short oral presentation, integrating skills and knowledge acquired during the course.

LANe200LA

英語で学ぶ社会と文化Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**社会と文化の諸相を知る**

岩坪　友子

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**1 単位**
法文営国 1〜4 年/レベル 3,4 ※定員制
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
＜社会・文化の諸相を学び、英語の４技能をのばす＞
世界のさまざまな側面を扱う英語素材を通して、知識や問題意識、クリティカル・シンキング力を養いながら、英語の４技能をのばします。話された／書かれた内容を理解し、考察し、要約・説明したり意見を述べる練習を繰り返すことで、自信と興味が増すようにしていきます。

【到達目標】
(1) 英語での発信・受信に使える語彙力がある
(2) 英語で書かれたものについて、内容・趣旨を把握できる
(3) 英語で話されたものについて、内容・趣旨を把握できる
(4) 英語で発信されたものについて、日本語や英語で要約・説明できる
(5) さまざまなトピックについて、多面的・客観的に考察し、自分の見解を日本語や英語で論理的に表現できる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
＜※この授業はハイブリッド型です。ただし、大学の行動方針レベルが２となった場合、原則としてオンラインのみでの実施となります。詳細は学習支援システムでお知らせします。＞
Zoom 授業（リアルタイム双方向）、学習支援システム（教材提示・課題提出）、（可能な場合）教室対面（受講生の発話を伴わない内容など）、を効果的に組み合わせて実施予定です。具体的にはその都度事前に学習支援システム（Hoppii）の「お知らせ」を通じて確認・連絡します。
予習を前提として、授業では基本的に教科書に沿って問題・内容確認・練習を行います。教科書の英語は難解ではなく、受信 → 考察 → 発信の流れを目指す構成です。進捗状況に応じて、テーマに関連するビデオクリップや記事その他の副教材を活用します。理解と考察を促すために、適宜日本語や英語で発問します（話され／書かれたもの全体やパラグラフの要旨、語彙・指示語・構文、話者や筆者の立場、受講生の意見など）。教科書に沿って日本語や英語で要約・説明する練習、論理的に意見を発信する練習を行います。リスニングとスピーキングに役立つ音読練習も行います。授業内で課題や質問等へのフィードバックやアドバイスを行います。学期を通じて身につけた力を、授業、課題、小テスト、プレゼンテーションで発揮する流れになります。
（下記授業計画は、状況に応じて変更の場合があります。）

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 (9/23)	Unit 7 Art リスニング・パート。リーディング・パート導入	リスニング・速読
2 (9/30)	Art リーディング・パート詳細理解と考察	精読・要約・ディスカッション

3 (10/7)	Unit 8 Global issues リスニング・パート。リーディング・パート導入	リスニング・速読
4 (10/14)	Global issues リーディング・パート詳細理解と考察	精読・要約・ディスカッション
5 (10/21)	Unit 9 Japanese culture リスニング・パート。リーディング・パート導入	リスニング・速読
6 (11/4)	Japanese culture リーディング・パート詳細理解と考察	精読・要約・ディスカッション
7 (11/11)	Unit 10 Human rights リスニング・パート。リーディング・パート導入	リスニング・速読
8 (11/18)	Human rights リーディング・パート詳細理解と考察	精読・要約・ディスカッション
9 (11/25)	Unit 11 Health & medical issues リスニング・パート。リーディング・パート導入	リスニング・速読
10 (12/2)	Health & medical issues　リーディング・パート詳細理解と考察	精読・要約・ディスカッション
11 (12/9)	Unit 12 Environmental issues リスニング・パート。リーディング・パート導入	リスニング・速読
12 (12/16)	Environmental issues リーディング・パート詳細理解と考察	精読・要約・ディスカッション
13 (12/23)	プレゼンテーション・リハーサル	練習・アドバイス（全体と個別指導）
14 (1/13)	プレゼンテーション。まとめ	発表・意見交換・講評。学期の振り返り・今後の展望（アンケート）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

①予習： STEP 1 テキストのリスニング・リーディング練習問題を解き、解答の根拠も言えるようにする。STEP 2 会話・文章全体を読み、（英語およびそれ以外の）知識と想像力を総合して趣旨を把握する。未知の単語は文脈から類推した上で、かならず辞書で確認する。STEP 3 文章構成を意識して、各段落・文章全体の要約を日本語と英語で練習する。STEP 4 ダウンロード音声を聴き、音読練習する。（関連教材についてもほぼ同様。）※課題は指示に沿って期限内に提出する。
②復習： STEP 5 内容を確認しながらテキストを再読する。STEP 6 ダウンロード音声を（テキストを見ながら／見ないで）聴く、リピート／シャドーイングする。STEP 7 テキストで使われている表現・文や要約を自分で言って／書いてみる。STEP 8 題材に対する自分の意見を言って／書いてみる。STEP 9 出版物やウェブ上で情報収集、知識・視野を広げる。（関連教材についてもほぼ同様。）
③ プレゼン準備： STEP 10 授業内容と PDF 教材（学習支援システム）を参考にして少しずつ学期末のプレゼンテーションの準備をする。※プレゼン原稿は指示に沿って期限内に事前提出する。
※上達の度合いは、英語に触れた時間と相関関係があると考えられるため、①②③および英語で情報収集・好きなコンテンツを楽しむ・書く・話すなどを継続するほど、英語力の伸びが期待されます。

【テキスト（教科書）】
VELC 研究会教材開発グループ、望月正道、静哲人、熊澤孝昭　編著、*AMBITIONS Intermediate*（４技能統合型で学ぶ英語コース：中級編）金星堂、2,000 円（税別）（※関連教材は、随時配布・指示します。）

【参考書】
英語マスメディアのウェブサイト例： BBC Learning English (http://www.bbc.co.uk/learningenglish/), VOA Learning English (https://learningenglish.voanews.com/), CNN 10 (http://edition.cnn.com/cnn10), TED: Ideas Worth Spreading (https://www.ted.com), NPR (https://www.npr.org/), ABC News video (http://abcnews.go.com/video), 攻略！ABC ニュース英語 (www6.nhk.or.jp), CBS 60 Minutes (https://www.cbsnews.com/60minutes/), The *New York Times* (http://www.nytimes.com/), The *Guardian* (http://www.theguardian.com/uk). 参考書：『CNN ® ENGLISH EXPRESS』、『CNN ニュース・リスニング　2020［秋冬］』（朝日出版社）、『「英語モード」でライティング』（講談社）、『コンピューター対応 TOEFL ® テストライティング完全制覇』、『英語で書く力。』、『英語で話す力。』（三修社）、『英語ライティングルールブック』、『映画英語のリスニング』(DHC)、『公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 1-7』、『公式 TOEIC Listening & Reading トレーニング リスニング編』、『同リーディング編』、『TOEIC Listening & Reading 公式ボキャブラリーブック』、『TOEIC ® テスト公式問題で学ぶボキャブラリー』、『TOEIC ® Speaking & Writing 公式テストの解説と練習問題』（一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会）ほか。国際文化学部 HP→ 関連リンク「英語リスニング・ハンドブック」、図書館、AV ライブラリー（BT3 階）など活用して自分のレベルやスタイルに合ったものを探しましょう。

【成績評価の方法と基準】
平常点（予習と授業への取り組み・課題・小テスト）85%、プレゼンテーション 15%の割合で、上記到達目標 (1)～(5) に照らして評価します。原則として欠席が 4 回以上になると単位取得の資格を失いますので注意してください。特別な理由がある場合は、早めに担当教員に相談・連絡してください。
次のような姿勢で取り組んでください： STEP ①予習して目標を持って出席／ STEP ②授業では理解を深め積極的に参加・練習／ STEP ③復習と自習で定着・苦手克服・実力アップ／ STEP ④授業・課題・小テスト・プレゼンテーションで成果を発揮

【学生の意見等からの気づき】
英語力や知識・思考力を広い視野で伸ばそうとするみなさん個々の継続的な取り組みと、意見交換などを通じて互いから刺激を受け学び合う姿勢が印象的でしたので、内容・手法の充実を図ります。

【学生が準備すべき機器他】
学習支援システムおよび Zoom を使用します。大学で Zoom 授業を受ける際には
マイク付きのヘッドセットが必要です。

【その他の重要事項】
授業で使えるように辞書を持参してください。

【Outline and objectives】
The aim of the course is to help students improve their confidence and skills in English communication. Students will practice listening to, speaking, reading and writing about various aspects of cultures and societies today, while building vocabulary, learning about the topics and developing their critical thinking skills. Students will give a short oral presentation, integrating skills and knowledge acquired during the course.

LANe200LA

英語で学ぶ社会と文化 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**社会と文化の諸相を知る**

永井　大輔

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水 4**/Wed.4
単位数：**1 単位**
法文営国 1〜4 年/レベル 3,4 ※定員制
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
海外の出来事が国内の政治やビジネス、日常生活に影響することもあれば、国内の出来事が海外に影響を及ぼすこともあるなかで、成功するため（あるいは失敗しないため）には、皆さんは国内外のニュースに常日頃から注意を向けなければなりません。
重要なニュースがすべて日本語になっているわけではないため、皆さんは世界各国のメディアが配信している英語のニュースから情報を得ることが必要になるでしょう。
この授業で皆さんは、みずからの今後を左右する情報の世界への鍵を手に入れるため、ニュースメディアの英語に触れて熟達することを目指します。

【到達目標】
・ニュースメディア独特の英語の使い方があることを知り、それに文体・語彙・熟語の面で対応できるようにする
・文法の知識をフル活用し、文章の内容・情報を正確に読み取れるようにする
・発音に対してこれまで以上に意識をし、音声でのニュースメディアの英語にも対応できるよう準備する
・未知の、あるいはやや複雑な時事問題について自主的に調べる習慣をつけ、見識を広める（最重要）

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
国内外の有名な新聞の記事で構成された教科書を使用します。ニュースの内容は社会・文化・政治経済から環境・娯楽・スポーツまで多岐にわたります。
授業中は、朗読の発音に気をつけつつ、アトランダムに指名しながら記事の内容を確認していきます。予習を怠って指名されてから初めて文章に目を通すような行為は、授業を共にしているクラス全体に迷惑がかかりますので、絶対にやめて下さい。
語彙やフレーズ、内容の把握具合、そして音声でのニュース理解を確認する小テストも実施する予定です。
記事内容の要点・感想ほか課題類の提出は「学習支援システム」を通じて行う予定です。提出物の一部は次の授業回でのフィードバックで取り上げます。
当然のことですが、聞かなくてもよい授業は一回もありません。各文の読解のポイントは聞き逃さず、メモをとりましょう。毎回の出席が原則です。欠席や遅刻の回数には限度を設けます。たとえ限度内であったとしても、欠席した分の遅れを皆さん自身が取り戻す努力をしなければ、単位取得はおぼつかなくなるでしょう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	このシラバスに書かれた内容の説明だけでなく、学期中・授業中の注意点や、次回以降の授業に必要な課題についても言及しますので、必ず出席して下さい。出席数にもカウントされます。
2	Unit 3 (1)	コアラが森林火災の犠牲に Saving the Fire Victims Who Cannot Flee: Australia's Koalas 小テスト
3	Unit 3 (2)	（前回の続き） Climate change and natural disasters
4	Unit 4 (1)	上流階級育ちの坊ちゃんの中身のない自信に気をつけろ Beware the posh boy's hollow self-confidence 小テスト
5	Unit 4 (2)	（前回の続き） The socio-economic structure in the UK
6	Unit 5 (1)	ノート型パソコンのリサイクルでの代償：タイで有毒ガスが The Price of Recycling Old Laptops: Toxic Fumes in Thailand's Lungs 小テスト
7	Unit 5 (2)	（前回の続き） The environmental impact of e-waste
8	Unit 6 (1)	他の人たちよりもずっと感染力が強い人たちがいる理由 Why Are Some People So Much More Infectious than Others? 小テスト
9	Unit 6 (2)	（前回の続き） How to save black and Hispanic lives in a pandemic
10	Unit 7 (1)	疫病の渦中で必要なのはフランスではペストリーとワイン、米国ではゴルフと銃 What's essential? In France, pastry and wine -- in the US, golf and guns 小テスト
11	Unit 7 (2)	（前回の続き） Some activities reflect a national identity.
12	Unit 8 (1)	iPhone のはるか前に無線社会の基礎を築いた人たち They Laid Foundation for a Wireless Society 小テスト
13	Unit 8 (2)	（前回の続き） The 2019 Nobel Prize winners in chemistry
14	試験・まとめと解説	Unit 8 のフィードバック 筆記試験は、単位取得資格がある人は必ず受けて下さい。授業内試験なので、通常の授業と同じ時間・同じ教室で実施します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
ダンスや楽器の演奏にしてもそうですが、語学の習熟において大きな違いを生み出すのは、皆さんがそれぞれ授業外で行う学習です。授業で指名された瞬間だけをしのぐ、筆記試験の問題だけをしのぐ、といった勉強法では、実際に役立つ英語運用能力は少しも育ちません。そこは授業の進め方ではなく、皆さんの意識にかかっているのです。
この授業では読解が中心になりますから、予習には、教科書の記事の内容を正確に理解することに一番の時間を割いて下さい。
具体的には、
・初めて見る単語・フレーズだけでなく、自分の知っている日本語の意味をあててみても何かしっくりとこない、と感じたら、どんな基本的な言葉であれ、面倒くさがらずにこまめに辞書を引かなければいけません。
・代名詞が出てきた際に、文中の何（もしくは誰）を指しているのか、自分で本当に分かっているのかどうか確認しなければいけません。
・段落全体で見た場合に、その中の文の内容が他の文の内容と矛盾していないか、意味不明な支離滅裂な文章になっていないか確認しなければいけません。もしそうなっていたら、どこかで読み間違えているはずです。
・もし自分に馴染みのないテーマ（人物、国や地域、スポーツの種目など）を扱った記事を読む際には、知っていそうな人に訊いたり、インターネットで検索したりして、納得のいくまで自分で積極的に調べなければいけません。教科書にはある程度の注釈がついていますが、実物の英文記事にはついていません。今のうちから、実際に使われている英語と付き合っていくのに必要な意識と習慣を身につけます。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
高橋優身（他）、『15 Selected Units of English through the News Media –– 2021 Edition –– （15 章版：ニュースメディアの英語 –– 演習と解説 2021 年度版–– ）』、朝日出版社、2021 年、1200 円（税別）

【参考書】
（皆さんの習熟度に配慮した教科書の英語ではなく）実生活や仕事で英語の文章を読むには、それ相応の項目数をもった辞書、いわゆる実用辞典が必要です。
大学卒業後も使い物になる辞書が欲しいのであれば、最も勧められるのは『リーダーズ英和辞典』（研究社）です。値段は安くありませんが、数少ない実用英和辞典の一つです。（電子辞書にせよ紙媒体にせよ）英和辞典を新しく購入する予定の人は、参考にして下さい。アプリもあります。
『リスニング・ハンドブック』で紹介されたサイトのニュースは、小テストで使用されることがあります。

【成績評価の方法と基準】
筆記試験の結果と平常点で総合的に評価します。
前者が 70 %、後者が 30 %を占めます。
筆記試験では、授業で扱った全ての内容の中から、「授業の到達目標」で掲げた項目についてチェックします。
読解や語彙、知識についてそれぞれ出題しますので、予習・復習・授業中のメモを欠かさず行いましょう。
また、Summary と記事を音声化したファイルを各自ダウンロードして、リスニングに備えて下さい。『リスニング・ハンドブック』で紹介されたサイトを小テストで使用することもあります。
平常点には小テストの点数や課題も含まれます。それぞれ点数としては微々たるものですが、欠席を一回すれば合計としての平常点をそれなりに失うだけでなく、筆記試験の首尾にも悪影響が及ぶ危険があります。絶対に安易な気持ちで欠席や遅刻をしないで下さい。
欠席および遅刻について
学期中に 4 回欠席した受講生は単位取得資格を失ないます。遅刻は累積 3 回で欠席 1 回と同等の扱いとします。その他授業に対する貢献が著しく低いと教員が判断し、授業中にペナルティ（初回授業時に説明）を受けた場合は、遅刻と同等の扱いとし、遅刻と同じ累積勘定に加えられます。30 分以上の遅刻は、出席簿上欠席扱いとします。欠席・遅刻・ペナルティは平常点の減点対象となります。

【学生の意見等からの気づき】
教科書の記事とは別の文章を読みたいという場合には、遠慮なく申し出て下さい。
高校までの学習英語とは全く性質の違う英語を読むことに、また授業外の学習活動で要求されることの多さに「キツイ」と感じる人もいると思います。しかし、それは実社会で使われている本物の「生きた英語」にほとんど初めて接するのであれば当然のことなのです。逆にゼロの状態からスタートするこの 1 年間こそが最も大切だとも言えます。
ただごまかし続けて 1 年間を無駄にするのではなく、実社会の英語と付き合っていく契機として活用しましょう。

【学生が準備すべき機器他】
Unit ごとの記事内容の要点・感想ほか課題類の提出に学習支援システムを利用します。

【その他の重要事項】
初回授業（イントロダクション）には春学期の受講希望者の人数確認を（場合によっては選抜も）行ないますので、必ず出席して下さい。秋学期のみの受講を希望する学生も、初回授業（イントロダクション）に出席して説明を受けること。希望者の人数を確認して、場合によっては選抜を行ないます。
秋学期のみ受講する学生は、春学期のうちに教科書を購入しておいて下さい。

【Outline and objectives】
As events in other countries can have a significant impact on our domestic politics, business, or daily lives (and vice versa), we all have to pay attention to both worldwide and domestic news media every day.
Since not all news items are translated to Japanese, students will be required to obtain information from English news media around the world.
In this course, students will learn how to read and listen to English for mass communication.

LANe200LA

英語で学ぶ社会と文化Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**社会と文化の諸相を知る**

永井　大輔

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水 4**/Wed.4
単位数：**1 単位**
法文営国 1〜4 年/レベル 3,4 ※定員制
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
海外の出来事が国内の政治やビジネス、日常生活に影響することもあれば、国内の出来事が海外に影響を及ぼすこともあるなかで、成功するため（あるいは失敗しないため）には、皆さんは国内外のニュースに常日頃から注意を向けなければなりません。
重要なニュースがすべて日本語になっているわけではないため、皆さんは世界各国のメディアが配信している英語のニュースから情報を得ることが必要になるでしょう。
この授業で皆さんは、みずからの今後を左右する情報の世界への鍵を手に入れるため、ニュースメディアの英語に触れて熟達することを目指します。

【到達目標】
・ニュースメディア独特の英語の使い方があることを知り、それに文体・語彙・熟語の面で対応できるようにする
・文法の知識をフル活用し、文章の内容・情報を正確に読み取れるようにする
・発音に対してこれまで以上に意識をし、音声でのニュースメディアの英語にも対応できるよう準備する
・未知の、あるいはやや複雑な時事問題について自主的に調べる習慣をつけ、見識を広める（最重要）

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
国内外の有名な新聞の記事で構成された教科書を使用します。ニュースの内容は社会・文化・政治経済から環境・娯楽・スポーツまで多岐にわたります。
授業中は、朗読の発音に気をつけつつ、アトランダムに指名しながら記事の内容を確認していきます。予習を怠って指名されてから初めて文章に目を通すような行為は、授業を共にしているクラス全体に迷惑がかかりますので、絶対にやめて下さい。
語彙やフレーズ、内容の把握具合、そして音声でのニュース理解を確認する小テストも実施する予定です。
記事内容の要点・感想ほか課題類の提出は「学習支援システム」を通じて行う予定です。提出物の一部は次の授業回でのフィードバックで取り上げます。
当然のことですが、聞かなくてもよい授業は一回もありません。各文の読解のポイントは聞き逃さず、メモをとりましょう。毎回の出席が原則です。欠席や遅刻の回数には限度を設けます。たとえ限度内であったとしても、欠席した分の遅れを皆さん自身が取り戻す努力をしなければ、単位取得はおぼつかなくなるでしょう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	秋学期の受講者に対する諸事項の確認 春学期の筆記試験 (期末) にかんする総評 出・欠席にカウントされます。必ず出席して下さい。
2	Unit 9 (1)	サウジアラビア社会の変化はコーヒーハウスを覗けば分かる Saudi Society Is Changing. Just Take a Look at These Coffeehouses.
3	Unit 9 (2)	（前回の続き） As the government relaxes restrictions on men and women working and socializing together, coffeehouses are on the front lines of change.
4	Unit 10 (1)	移民流入は壁では阻止できない An Immigrant Influx That a Wall Won't Deter
5	Unit 10 (2)	（前回の続き） Millions Who Legally Enter the United States as Students or Tourists Never Go Back
6	Unit 12 (1)	ソマリアの若者たち、政府機能不全の地域に足を踏み入れる Young Somalis Step in Where Government Fails
7	Unit 12 (2)	（前回の続き） The rebuilding process in Somalia after the Shabab's control ended
8	Unit 13 (1)	新国籍法への反対運動が荒れ狂うが、インドはヒンドゥ教国となるのか As Protests Rage on Citizenship Bill, Is India Becoming a Hindu Nation?
9	Unit 13 (2)	（前回の続き） Anti-Muslim policies under Mr. Modi's government
10	Unit 14 (1)	急激な変化：ガイアナは石油で裕福になったが、民族間の緊張も増大 'It Changed So Fast.' Oil Is Making Guyana Wealthy but Intensifying Tensions
11	Unit 14 (2)	（前回の続き） A new oil-producing economy which left the agricultural majority doomed
12	Unit 15 (1)	カルロス・ゴーンの大脱走劇 The Great Escape: How Carlos Ghosn became the world's most famous fugitive
13	Unit 15 (2)	（前回の続き） Once a hero in Japan, Carlos Ghosn's news conference unlikely to restore his image
14	試験・まとめと解説	授業全体の講評 筆記試験は、単位取得資格がある人は必ず受けて下さい。授業内試験なので、通常の授業と同じ時間・同じ教室で実施します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
ダンスや楽器の演奏にしてもそうですが、語学の習熟において大きな違いを生み出すのは、皆さんがそれぞれ授業外で行う学習です。授業で指名された瞬間だけをしのぐ、筆記試験の問題だけをしのぐ、といった勉強法では、実際に役立つ英語運用能力は少しも育ちません。そこは授業の進め方ではなく、皆さんの意識にかかっているのです。
この授業では読解が中心になりますから、予習には、教科書の記事の内容を正確に理解することに一番の時間を割いて下さい。
具体的には、
・初めて見る単語・フレーズだけでなく、自分の知っている日本語の意味をあててみても何かしっくりとこない、と感じたら、どんな基本的な言葉であれ、面倒くさがらずにこまめに辞書を引かなければいけません。
・代名詞が出てきた際に、文中の何（もしくは誰）を指しているのか、自分で本当に分かっているのかどうか確認しなければいけません。
・段落全体で見た場合に、その中の文の内容が他の文の内容と矛盾していないか、意味不明な支離滅裂な文章になっていないか確認しなければいけません。もしそうなっていたら、どこかで読み間違えているはずです。
・もし自分に馴染みのないテーマ（人物、国や地域、スポーツの種目など）を扱った記事を読む際には、知っていそうな人に訊いたり、インターネットで検索したりして、納得のいくまで自分で積極的に調べなければいけません。教科書にはある程度の注釈がついていますが、実物の英文記事にはついていません。今のうちから、実際に使われている英語と付き合っていくのに必要な意識と習慣を身につけます。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
高橋優身（他）、『15 Selected Units of English through the News Media –– 2021 Edition –– （15 章版：ニュースメディアの英語 –– 演習と解説 2021 年度版–– ）』、朝日出版社、2021 年、1200 円（税別）

【参考書】
（皆さんの習熟度に配慮した教科書の英語ではなく）実生活や仕事で英語の文章を読むには、それ相応の項目数をもった辞書、いわゆる実用辞典が必要です。
大学卒業後も使い物になる辞書が欲しいのであれば、最も勧められるのは『リーダーズ英和辞典』（研究社）です。値段は安くありませんが、数少ない実用英和辞典の一つです。（電子辞書にせよ紙媒体にせよ）英和辞典を新しく購入する予定の人は、参考にして下さい。アプリもあります。
『リスニング・ハンドブック』で紹介されたサイトのニュースは、小テストで使用されることがあります。

【成績評価の方法と基準】
筆記試験の結果と平常点で総合的に評価します。
前者が 70 %、後者が 30 %を占めます。
筆記試験では、授業で扱った全ての内容の中から、「授業の到達目標」で掲げた項目についてチェックします。
読解や語彙、知識についてそれぞれ出題しますので、予習・復習・授業中のメモを欠かさず行いましょう。
また、Summary と記事を音声化したファイルを各自ダウンロードして、リスニングに備えて下さい。『リスニング・ハンドブック』で紹介されたサイトを小テストで使用することもあります。
平常点には小テストの点数や課題も含まれます。それぞれ点数としては微々たるものですが、欠席を一回すれば合計としての平常点をそれなりに失うだけでなく、筆記試験の首尾にも悪影響が及ぶ危険があります。絶対に安易な気持ちで欠席や遅刻をしないで下さい。
・欠席および遅刻について
学期中に 4 回欠席した受講生は単位取得資格を失ないます。遅刻は累積 3 回で欠席 1 回と同等の扱いとします。その他授業に対する貢献が著しく低いと教員が判断し、授業中にペナルティ（初回授業時に説明）を受けた場合は、遅刻と同等の扱いとし、遅刻と同じ累積勘定に加えられます。30 分以上の遅刻は、出席簿上欠席扱いとします。欠席・遅刻・ペナルティは平常点の減点対象となります。

【学生の意見等からの気づき】
テーマごとの背景事情の説明にもっと時間を割きます。

【学生が準備すべき機器他】
Unit ごとの記事内容の要点・感想ほか課題類の提出に学習支援システムを利用します。

【Outline and objectives】
As events in other countries can have a significant impact on our domestic politics, business, or daily lives (and vice versa), we all have to pay attention to both worldwide and domestic news media every day.
Since not all news items are translated to Japanese, students will be required to obtain information from English news media around the world.
In this course, students will learn how to read and listen to English for mass communication.

LANe200LA

英語で学ぶ社会と文化 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**マスメディアで読む世界情勢**

余田　剛

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**1 単位**
法文営国 1〜4 年/レベル 3,4 ※定員制
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
英米の新聞、雑誌、テレビのニュースなどのメディアの英語に触れながら、英語の語学の学習をすることをテーマとする。法学部国際政治学科生への推奨科目であるため、政治問題を中心的に扱うが、趣旨に賛同できる場合は他学部・他学科の学生も歓迎する。

【到達目標】
この授業では、政治情勢をはじめとし、その他、世界各国における現代社会の様々な問題についての基礎知識を獲得し、より多くの一般的な語彙・語法とさらに高校レベルまでではなかなか出てこないような英語圏でよく使われる口語などの表現方法を覚え、使っているようで意外と有効に使えていない辞書の引き方やその他資料の集め方に関する基本的技能を身につけ、ニュースの概要をつかめる程の基本的なリスニング力を獲得し、そして今後につなげることを考えると最も大事な点であるが、辞書やその他必要な情報源を粘り強くそして適切に参照しながら、文字と音声によるより複雑な情報も自力で丁寧に理解しようとする、あらゆる分野の専門的研究を行う際に重要であると思われる態度を身につけることができることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
The Japan News, Newsweek, The Guardian を扱う予定であるが、最新の記事をその都度選ぶため、授業計画に記した、メディアの種類、順番、記事の内容については変わる可能性がある。精読を重視するため進み方は遅い。授業では、1 パラグラフ程のまとまりで区切り、担当者に訳読、あるいは、要約をしてもらい、その後、確認が必要な場合は語彙、語法、フレーズなどについてこちらから質問をする。そのため受講者は十分予習をしておく必要がある。また、授業内の一定時間を用いて、ニュースなどの音声教材を使ったリスニングの演習を行う。
予習を課題とし、問題や訳し方の解答や解説をフィードバックとして口頭で示す。
※本授業は教室での対面形式で実施する予定であるが、大学の方針により対面形式での実施ができない場合は 2 時限目の時間帯に Zoom で授業を行う予定である。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容の概要を説明（選抜試験を行う場合もある。選抜を行う場合は選択必修科目として履修する国際政治学科生を優先します。）
2	リスニング演習＋記事 1 の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習＋ The Japan News のアジアあるいは中東に関する記事の序論部講読
3	リスニング演習＋記事 1 の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習＋ The Japan News のアジアあるいは中東に関する記事の本論前半部講読
4	リスニング演習＋記事 1 の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習＋ The Japan News のアジアあるいは中東に関する記事の本論後半部講読
5	リスニング演習＋記事 1 の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習＋ The Japan News のアジアあるいは中東に関する記事の結論部講読
6	リスニング演習＋記事 2 の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習＋ Newsweek のアメリカに関する記事の序論部講読
7	リスニング演習＋記事 2 の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習＋ Newsweek のアメリカに関する記事の本論前半部講読
8	リスニング演習＋記事 2 の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習＋ Newsweek のアメリカに関する記事の本論後半部講読
9	リスニング演習＋記事 2 の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習＋ Newsweek のアメリカに関する記事の結論部講読
10	リスニング演習＋記事 3 の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習＋ The Guardian のイギリスに関する記事の序論部講読
11	リスニング演習＋記事 3 の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習＋ The Guardian のイギリスに関する記事の本論前半部講読
12	リスニング演習＋記事 3 の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習＋ The Guardian のイギリスに関する記事の本論後半部講読
13	リスニング演習＋記事 3 の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習＋ The Guardian のイギリスに関する記事の結論部講読
14	試験	授業で扱った内容を範囲とした授業内試験あるいはレポート、まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。辞書を使って記事をしっかり読んでくること。

【テキスト（教科書）】
資料を配布する。

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
試験の成績（60 %）と平常点（40 %）とから総合的に評価する。欠席が 4 回に達した者は単位取得の資格を失う。遅刻は 3 回に達するごとに 1 回の欠席とカウントする。また、授業開始のチャイムから 30 分以降の遅刻は欠席と見なす。午前中の授業でもあることから、交通機関の遅れに注意し、時間には余裕を持って来ること。

【学生の意見等からの気づき】
授業時間外の学習時間において、週 30 分未満の割合が平均に比べ高く、予習のどこがどのように不十分であるかを授業中あてた際一人一人に具体的に指示したり、リスニングが自習できるような教材やインターネットのサイトを紹介することで、自習時間を増やす働きかけを心掛けたいと思います。

【Outline and objectives】
This course teaches English using newspaper articles, magazine stories, and television programs, etc. The main thematic focus is on political issues, because this is a recommended course for the Law Faculty's Department of Global Politics. However, other students who are interested in these issues are also welcomed.

LANe200LA

英語で学ぶ社会と文化Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**マスメディアで読む世界情勢**

余田　剛

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**1 単位**
法文営国 1〜4 年/レベル 3,4 ※定員制
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
英米の新聞、雑誌、テレビのニュースなどのメディアの英語に触れながら、英語の語学の学習をすることをテーマとする。法学部国際政治学科生への推奨科目であるため、政治問題を中心的に扱うが、趣旨に賛同できる場合は他学部・他学科の学生も歓迎する。

【到達目標】
この授業では、政治情勢をはじめとし、その他、世界各国における現代社会の様々な問題についての基礎知識を獲得し、より多くの一般的な語彙・語法とさらに高校レベルまでではなかなか出てこないような英語圏でよく使われる口語などの表現方法を覚え、使っているようで意外と有効に使えていない辞書の引き方やその他資料の集め方に関する基本的技能を身につけ、ニュースの概要をつかめる程の基本的なリスニング力を獲得し、そして今後につなげることを考えると最も大事な点であるが、辞書やその他必要な情報源を粘り強くそして適切に参照しながら、文字と音声によるより複雑な情報も自力で丁寧に理解しようとする、あらゆる分野の専門的研究を行う際に重要であると思われる態度を身につけることができることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
Newsweek, The Guardian, The New York Times を扱う予定であるが、最新の記事をその都度選ぶため、授業計画に記した、メディアの種類、順番、記事の内容については変わる可能性がある。精読を重視するため進み方は遅い。授業では、1 パラグラフ程のまとまりで区切り、担当者に訳読、あるいは、要約をしてもらい、その後、確認が必要な場合は語彙、語法、フレーズなどについてこちらから質問をする。そのため受講者は十分予習をしておく必要がある。また、授業内の一定時間を用いて、ニュースなどの音声教材を使ったリスニングの演習を行う。
予習を課題とし、問題や訳し方の解答や解説をフィードバックとして口頭で示す。
※本授業は教室での対面形式で実施する予定であるが、大学の方針により対面形式での実施ができない場合は 2 時限目の時間帯に Zoom で授業を行う予定である。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容の概要を説明（選抜試験を行う場合もある。選抜を行う場合は選択必修科目として履修する国際政治学科生を優先します。）
2	リスニング演習＋記事１の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習＋Newsweek のアジアあるいは中東に関する記事の序論部講読

3	リスニング演習＋記事１の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習＋Newsweek のアジアあるいは中東に関する記事の本論前半部講読
4	リスニング演習＋記事１の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習＋Newsweek のアジアあるいは中東に関する記事の本論後半部講読
5	リスニング演習＋記事１の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習＋Newsweek のアジアあるいは中東に関する記事の結論部講読
6	リスニング演習＋記事２の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習＋The Guardian のイギリスに関する記事の序論部講読
7	リスニング演習＋記事２の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習＋The Guardian のイギリスに関する記事の本論前半部講読
8	リスニング演習＋記事２の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習＋The Guardian のイギリスに関する記事の本論後半部講読
9	リスニング演習＋記事２の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習＋The Guardian のイギリスに関する記事の結論部講読
10	リスニング演習＋記事３の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習＋The New York Times のアメリカに関する記事の序論部講読
11	リスニング演習＋記事３の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習＋The New York Times のアメリカに関する記事の本論前半部講読
12	リスニング演習＋記事３の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習＋The New York Times のアメリカに関する記事の本論後半部講読
13	リスニング演習＋記事３の講読	CNN などメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習＋The New York Times のアメリカに関する記事の結論部講読
14	試験	授業で扱った内容を範囲とした授業内試験あるいはレポート、まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。辞書を使って記事をしっかり読んでくること。

【テキスト（教科書）】
資料を配布する。

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
試験の成績（60 %）と平常点（40 %）とから総合的に評価する。欠席が 4 回に達した者は単位取得の資格を失う。遅刻は 3 回に達するごとに 1 回の欠席とカウントする。また、授業開始のチャイムから 30 分以降の遅刻は欠席と見なす。午前中の授業でもあることから、交通機関の遅れに注意し、時間には余裕を持って来ること。

【学生の意見等からの気づき】
授業時間外の学習時間において、週 30 分未満の割合が平均に比べ高く、予習のどこがどのように不十分であるかを授業中あてた際一人一人に具体的に指示したり、リスニングが自習できるような教材やインターネットのサイトを紹介することで、自習時間を増やす働きかけを心掛けたいと思います。

【Outline and objectives】
This course teaches English using newspaper articles, magazine stories, and television programs, etc. The main thematic focus is on political issues, because this is a recommended course for the Law Faculty's Department of Global Politics. However, other students who are interested in these issues are also welcomed.

LANe200LA

英語で学ぶ社会と文化 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**マスメディアで読む世界情勢**

金谷　優子

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
法文営国 1〜4 年/レベル 3,4 ※定員制
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、TED TALKS のプレゼンテーションで繰り広げられた種々の独創的なアイディアに触れつつ、英語の 4 技能：読み、聴き、話し、書く–を総合的に身につけることを目標とします。グローバル化によって、ヒトやモノがますます流動的になっていくなか、世界中で様々な人々が独自の視点で現代社会を捉えて、自らの置かれた社会、そして文化、また人生と取り組んでいることを知ることは非常に重要です。本授業では、TED TALKS の英語のプレゼンテーションを聞き、理解を試みることによって英語コミュニケーションについての基本的な事柄の習得を目指す一方で、それぞれのプレゼンテーションの論理の組み立て方、独創性、着眼点について確認しつつ、受講者自らが現代社会、そして文化について自分なりの考察を進めてゆくことを促します。

【到達目標】
・まとまった長さの英文の論理展開を正確に把握すること
・複雑な構文や語句を理解すること
・英文パラグラフの構造を読解を通じて学び、その知識を生かして、みずから論理的な文章が書けるようになること
・英語の音声を聴いて、必要な情報を得ること
・さまざまな意見を英語で理解し、それに対する自分の考えを英語で表現すること
・沢山の人々の独自の考えを聞いて、世界のありようについて自分なりの見解を持つようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
この授業はオンライン（リアルタイム配信型）です。すべての回を Zoom で実施します。
各トピックについてそれぞれを３部構成とします。第 1 部: Lesson A では、扱われたトピックについての基礎知識、読解についての重要な技術 (Reading Skills) について学びます。第 2 部: Lesson B では、実際に TED TALK の発表を聴き、またその script を読んで、プレゼンテーションの概要や詳しい内容についての理解がなされたかを確認します。また、第３部として、第１部、第２部で学習した事柄をまとめ、更にリサーチを進め、TED talk に関する自分の考えを英語で表現する場を設けます。
受講者は第１部から第３部を通しての学習事項をチェックシートに書き、トピック毎に提出し、フィードバックを受けます。
[第 1 部]
第 2 週 Topic: Interdisciplinary
第 5 週 Topic: Business/ Leadership
第 8 週 Topic: Life Science
第 11 週 Topic: Sociology/ Fashion
[第 2 部]
第 3 週　：　TED TALK by Matt Cutts : Try Something New for 30 days
https://www.ted.com/talks/matt_cutts_try_something_new_for_30_days?language=ja
第 6 週：　TED TALK by Tom Wujec : Build a Tower
https://www.ted.com/talks/tom_wujec_build_a_tower?language=ja
第 9 週：　TED TALK by David Gallo: Underwater Astonishments
https://www.ted.com/talks/david_gallo_shows_underwater_astonishments/transcript
第 12 週：　TED TALK by Jessi Arrington ： Wearing Nothing New
https://www.ted.com/talks/jessi_arrington_wearing_nothing_new?language=ja
[第 3 部]
第 4 週　：　TED TALK by Matt Cutts : Try Something New for 30 days
https://www.ted.com/talks/matt_cutts_try_something_new_for_30_days?language=ja
第 7 週：　TED TALK by Tom Wujec : Build a Tower
https://www.ted.com/talks/tom_wujec_build_a_tower?language=ja
第 10 週：　TED TALK by David Gallo: Underwater Astonishments
https://www.ted.com/talks/david_gallo_shows_underwater_astonishments/transcript
第 13 週：　TED TALK by Jessi Arrington ： Wearing Nothing New
https://www.ted.com/talks/jessi_arrington_wearing_nothing_new?language=ja

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 週	Introduction	What is TED?
第 2 週	Unit 1: Life Changes	Lesson A Topic:Interdisciplinary Reading Skills: Understanding sequence words,... etc.
第 3 週	Unit 1: Life Changes	TED TALK by Matt Cutts Lesson B Academic Skills: Understanding main ideas,...etc.
第 4 週	Unit 1: Life Changes	Check sheet summarizing and stating opinions
第 5 週	Unit 2: Team Power	Lesson A Topic:Business Leadership Reading Skills: Identifying main ideas in paragraphs,...etc.
第 6 週	Unit 2: Team Power	TED TALK by Tom Wujec Lesson B Academic Skills: Understanding stages in a process, ...ets.
第 7 週	Unit 2: Team Power	Check sheet summarizing and stating opinions
第 8 週	Unit 3: Ocean Wonders	Lesson A Topic: Life Science Reading Skills: Identifying purpose/ referents
第 9 週	Unit 3: Ocean Wonders	TED TALK by David Gallo Lesson B Academic Skills:Understanding main ideas and key details,... etc.
第 10 週	Unit 3: Ocean Wonders	Check sheet summarizing and stating opinions

第 11 週	Unit 4: What We Wear	Lesson A Topic:Sociology/ Fashion Reading Skills: Making connections/ Understanding a process
第 12 週	Unit 4: What We Wear	TED TALK by Jessi Arrington Lesson B Academic Skills: Recognizing point of view
第 13 週	Unit 4: What We Wear	Check sheet summarizing and stating opinions
第 14 週	final test	final test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
準備学習：学生は、各 Unit で扱う TED talk についての予備知識を得るためにテキストを予習し、知らなかった語彙、表現、難しい文章などを特定し、checksheet に記入しておく。
復習：扱った TED talk の要約をし、checksheet に記入した事項を習得することができたか、確認する。
宿題：授業で扱った TED talk 関連で、適宜、授業時に示される課題を提出する。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
以下が授業で扱う TED talk です。予習復習する際に聴いて下さい。
TED TALK by Matt Cutts : Try Something New for 30 days
https://www.ted.com/talks/matt_cutts_try_something_new_for_30_days?language=ja
TED TALK by Tom Wujec : Build a Tower
https://www.ted.com/talks/tom_wujec_build_a_tower?language=ja
TED TALK by David Gallo: Underwater Astonishments
https://www.ted.com/talks/david_gallo_shows_underwater_astonishments/transcript
TED TALK by Jessi Arrington ： Wearing Nothing New
https://www.ted.com/talks/jessi_arrington_wearing_nothing_new?language=ja

【テキスト（教科書）】
TED TALKS 21st Century Reading 1 (Cengage Learning), ISBN 978-1-305-26459-5
その他、配布資料

【参考書】
https://www.ted.com
その他、授業中に適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】
評価基準：授業参加度（授業内での発言および Hoppii quiz）40 %、チェックシート 30 %、期末テスト 30 %
4 回以上の欠席で単位取得資格は失われます。3 回遅刻すると 1 回欠席としてカウントされます。30 分以上の遅刻は欠席とみなされます。

【学生の意見等からの気づき】
英語を用いる場をなるべく多く設けます。

【学生が準備すべき機器他】
この授業は Zoom で行われますので、大学の教室で受講の際には、マイク付きのヘッドセットが必要です。

【Outline and objectives】
This course is designed to increase the student's ability to develop their overall English Language skills while reading about specific topics of newspapers. Students are expected to improve reading comprehension skills using topical reading materials as well as to broaden their understanding of current issues.
[Overall Objectives]
To help students
・increase vocabulary
・improve their reading/listening comprehension skills
・understand English sentences without translating into Japanese
・identify main ideas
・clarify the structure of a paragraph
・develop global and cross-cultural awareness
・develop creative and critical thinking skills
・effectively express their opinions on current issues

LANe200LA

英語で学ぶ社会と文化Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**マスメディアで読む世界情勢**

金谷　優子

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
法文営国 1～4 年/レベル 3,4 ※定員制
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期同様本授業では、TED TALKS のプレゼンテーションで繰り広げられた種々の独創的なアイディアに触れつつ、英語の 4 技能：読み、聴き、話し、書く—を総合的に身につけることを目標とします。グローバル化によって、ヒトやモノがますます流動的になっていくなか、世界中で様々な人々が独自の視点で現代社会を捉えて、自らの置かれた社会、そして人生と取り組んでいることを知ることは非常に重要です。本授業では、TED TALKS の英語のプレゼンテーションを聞き、理解を試みることによって英語コミュニケーションについての基本的な事柄の習得を目指す一方で、それぞれのプレゼンテーションの論理の組み立て方、独創性、着眼点について確認しつつ、受講者自らが現代社会について自分なりの考察を進めてゆくことを促します。

【到達目標】
・まとまった長さの英文の論理展開を正確に把握すること
・複雑な構文や語句を理解すること
・英文パラグラフの構造を読解を通じて学び、その知識を生かして、みずから論理的な文章が書けるようになること
・英語の音声を聴いて、必要な情報を得ること
・さまざまな意見を英語で理解し、それに対する自分の考えを英語で表現すること
・沢山の人々の独自の考えを聞いて、世界のありようについて自分なりの見解を持つようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
この授業はオンライン（リアルタイム配信型）です。すべての回を Zoom で実施します。
各トピックについてそれぞれを３部構成とします。第 1 部では、扱われたトピックについての基礎知識、読解についての重要な技術 (Reading Skills) について学びます。第 2 部では、実際に TED TALK の発表を聴き、またその script を読んで、プレゼンテーションの概要や詳しい内容についての理解がなされたかを確認します。また、セメスター終盤には、第３部として、学習したトピックをひとつ選び、更にリサーチを進め、TED での発表に関する自分の考えを英語で表現する場を設けます。
受講者は第１部から第３部を通しての学習事項をチェックシートに書き、トピック毎に提出し、フィードバックを受けます。
[第 1 部]
第 2 週 Topic: Architecture and Design
第 5 週 Topic: Communication/ Sociology
第 8 週 Topic: Visual Arts/ Sociology
[第 2 部]
第 3 週　：　TED TALK by Iwan Baan : Ingenious Homes in Unexpected Places
https://www.ted.com/talks/iwan_baan_ingenious_homes_in_unexpected_places?language=ja
第 6 週：　TED TALK by Kevin Allocca: Why Videos Go Viral
https://www.ted.com/talks/kevin_allocca_why_videos_go_viral?language=ja
第 9 週：　TED TALK by Candy Chang: Before I die, I want to …
https://www.ted.com/talks/candy_chang_before_i_die_i_want_to?language=ja
[第 3 部]
第 4 週　：　TED TALK by Iwan Baan : Ingenious Homes in Unexpected Places
https://www.ted.com/talks/iwan_baan_ingenious_homes_in_unexpected_places?language=ja
第 7 週：　TED TALK by Kevin Allocca: Why Videos Go Viral
https://www.ted.com/talks/kevin_allocca_why_videos_go_viral?language=ja
第 10 週：　TED TALK by Cindy Chang: Before I die, I want to …
https://www.ted.com/talks/candy_chang_before_i_die_i_want_to?language=ja
第 11 週~13 週：　Your favorite TED Talk
https://www.ted.com/

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 週	Introduction	授業の進め方についての説明 目標の確認
第 2 週	Unit6: Building Solutions	TED Talk by Iwan Baan Topic:Artchitecture and Design Lesson A Reading Skills: Organizing supporting details,... etc.
第 3 週	Unit6: Building Solutions	TED Talk by Iwan Baan Lesson B: Academic Skills: Understanding main ideas,summarizing ideas using a concept map,...etc.
第 4 週	Unit6: Building Solutions	TED Talk by Iwan Baan Expressing ideas on the topic
第 5 週	Unit 7: Roads to Fame	TED Talk by Kevin Allocca Topic:Communication/ Sociology Lesson A Reading Skills: Scanning for numbers,...etc.
第 6 週	Unit 7: Roads to Fame	TED Talk by Kevin Allocca Lesson B Academic Skills: Understanding main ideas,summarizing ideas using a concept map,...etc.
第 7 週	Unit 7: Roads to Fame	TED Talk by Kevin Allocca Expressing ideas on the topic
第 8 週	Unit 9: Community Voices	TED TALK by Candy Chang Lesson A Topic:Visual Arts / Sociology Reading Skills: Understanding a paragraph's purpose
第 9 週	Unit 9: Community Voices	TED TALK by Candy Chang Lesson B Topic:Visual Arts / Sociology Reading Skills: Understanding a paragraph's purpose
第 10 週	Unit 9: Community Voices	TED TALK by Candy Chang Expressing ideas on the topic
第 11 週	Your favorite TED talk	Finding your favorite TED talk.

第 12 週	Your favorite TED talk	The Summary of the talk
第 13 週	Your favorite TED talk	Your own idea on the talk
第 14 週	final test	final test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
準備学習：学生は、各 Unit で扱う TED talk についての予備知識（テキストに記載）を得るためにテキストを予習し、知らなかった語彙、表現、難しい文章などを特定し、checksheet に記入しておく。
復習：扱った TED talk の要約をし、checksheet に記入した事項を習得することができたか、確認する。
宿題：授業で扱った TED talk 関連で、適宜、授業時に示される課題を提出する。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
以下が授業で扱う TED talk です。予習復習する際に聴いて下さい。
TED TALK by Iwan Baan : Ingenious Homes in Unexpected Places
https://www.ted.com/talks/iwan_baan_ingenious_homes_in_unexpected_places?language=ja
TED TALK by Kevin Allocca: Why Videos Go Viral
https://www.ted.com/talks/kevin_allocca_why_videos_go_viral?language=ja
TED TALK by Cindy Chang: Before I die, I want to …
https://www.ted.com/talks/candy_chang_before_i_die_i_want_to?language=ja

【テキスト（教科書）】
TED TALKS 21st Century Reading 1 (Cengage Learning), ISBN 978-1-305-26459-5
その他、資料配布

【参考書】
https://www.ted.com
その他、授業中に適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】
評価基準：授業参加度（授業内での発言および Hoppii quiz）40 %、チェックシート 30 %、期末テスト 30 %
4 回以上の欠席で単位取得資格は失われます。3 回遅刻すると 1 回欠席としてカウントされます。30 分以上の遅刻は欠席とみなされます。

【学生の意見等からの気づき】
なるべく多く英語を使う場を設けます。

【学生が準備すべき機器他】
この授業は Zoom で行われますので、大学の教室で受講の際には、マイク付きのヘッドセットが必要です。

【Outline and objectives】
This course is designed to increase the student's ability to develop their overall English Language skills while reading about specific topics of newspapers. Students are expected to improve reading comprehension skills using topical reading materials as well as to broaden their understanding of current issues.
[Overall Objectives]
・to help students increase vocabulary
・to help students improve their reading/listening comprehension skills
・to help students understand English sentences without translating into Japanese
・to help students identify main ideas
・to help students clarify the structure of a paragraph
・to help students develop global and cross-cultural awareness
・to help students develop creative and critical thinking skills
・to help students effectively express their opinions on current issues

LANe200LA

英語で学ぶ社会と文化 I

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**社会と文化の諸相を知る**

大曲　陽子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
法文営国 1〜4 年/レベル 3,4 ※定員制
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
複数のパラグラフから成る記事を題材として、今社会を取り巻く経済不況や災害、環境問題や文化などの多岐にわたるトピックを通して世界情勢への理解を深めることを目的とする。

【到達目標】
タイムリーなトピックを取り上げ、速読、精読などを通して、必要とする情報を効果的に読み取るスキルを学習する。リスニング、リーディング、ライティング学習を通して、英語資格試験などのためだけでなく、変化する社会情勢を的確に把握し、異なる意見を持つ人たちと対等に渡り合える英語力を身に着けていく。高い英語力だけでなく、批判的な視点の持ち方、自分の意見の持ち方などを発表などを通して身に着けることも目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
本授業は全 14 回を全てオンライン（オンデマンド、資料配付型）授業とする。
第 1 週目、初回授業は、事前にアンケートを LMS を通して配布するので、履修希望者はそれに回答して提出すること。LMS を通して連絡するのでそちらも確認すること。
ほぼ 2 回の授業で 1 つの Chapter を学習する。取り上げる Chapter は以下の 6 つとする
Chapter 1,2,5,6,7,10
前半は速読を中心に大意をつかむためのリーディングスキルを学び、後半の授業では exercise を解きながら精読する。
毎回 Answer Sheet を LMS を通して配布するので、その指示に従って締め切り日までに LMS を通して提出する。
課題等に対するフィードバック方法
毎週課題の提出があるので、それは次の授業回までに返却され、後日解答が配布される。
小テスト部分は採点返却される。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス 履修者の決定	ここで履修者を決定するので、履修希望者は必ず初回アンケートに回答して LMS を通して提出すること。
2	Chapter 1 I don't know What to believe. Finding Truth among online lies.	Useful Words 解答（採点しない） Question for Understanding, Part1, 2 解答（採点する 2 点 ×8 問 = 16 点）

3	Chapter 1 I don't know What to believe. Finding Truth among online lies.	summary の解答と和訳（採点する　1 点 ×6 問＝ 6 点　和訳 8 点） Over to You（採点しない）
4	Chapter 2 It's a Hikikomori World Why do some people withdraw from society ?	Useful Words 解答（採点しない） Question for Understanding, Part1, 2 解答（採点する 2 点 ×8 問＝ 16 点）
5	Chapter 2 It's a Hikikomori World Why do some people withdraw from society ?	summary の解答と和訳（採点する　1 点 ×6 問＝ 6 点　和訳 8 点） Over to You（採点しない）
6	Chapter 5 The World greatest Gamers. The Rise of Esports.	Useful Words 解答（採点しない） Question for Understanding, Part1, 2 解答（採点する 2 点 ×8 問＝ 16 点）
7	Chapter 5 The World greatest Gamers. The Rise of Esports.	summary の解答と和訳（採点する　1 点 ×6 問＝ 6 点　和訳 8 点） Over to You（採点しない）
8	Chapter 6 3-D printed Limbs and Robot Doctors Amazing advances in medicine.	Useful Words 解答（採点しない） Question for Understanding, Part1, 2 解答（採点する 2 点 ×8 問＝ 16 点）
9	Chapter 6 3-D printed Limbs and Robot Doctors Amazing advances in medicine.	summary の解答と和訳（採点する　1 点 ×6 問＝ 6 点　和訳 8 点） Over to You（採点しない）
10	Chapter 7 Fake Burgers and Electric Gum. The future of foods	Useful Words 解答（採点しない） Question for Understanding, Part1, 2 解答（採点する 2 点 ×8 問＝ 16 点）
11	Chapter 7 Fake Burgers and Electric Gum. The future of foods	summary の解答と和訳（採点する　1 点 ×6 問＝ 6 点　和訳 8 点） Over to You（採点しない）
12	Chapter 10 It's good to be Grumpy. The positive consequences of negative feelings.	Useful Words 解答（採点しない） Question for Understanding, Part1, 2 解答（採点する 2 点 ×8 問＝ 16 点）
13	Chapter 10 It's good to be Grumpy. The positive consequences of negative feelings.	summary の解答と和訳（採点する　1 点 ×6 問＝ 6 点　和訳 8 点） Over to You（採点しない）
14	これまでのまとめと期末試験	これまでのまとめ 期末試験課題の提出

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
各 Chapter の Useful Words を必ず学習し、語彙の確認を徹底する。

【テキスト（教科書）】
Grand Tour - Seeing the World
新たな時代への扉
成美堂　　1900 円＋税

【参考書】
特になし。
辞書必携

【成績評価の方法と基準】
授業課題の提出（Answer Sheet の空欄が全て解答されていること）　20%
小テスト 30 点 ×6 回分 180 点
30%
期末試験課題　　50%
＊各学期、欠席 4 回以上で、原則として単位の修得は認められない。
＊毎回 Answer Sheet の回答欄が全て記載されていて（解答されていて）出席とする。（空欄の内容に全て解答すること）

【学生の意見等からの気づき】
トピックに関連したプリントを配布する。

【学生が準備すべき機器他】
パソコン、スマートフォン使用。
課題にリスニングが含まれるので、教科書の QR コードから音声をスマートフォンにダウンロードして聞くことになる。

【その他の重要事項】
欠席は 3 回までとする。
担当教員に質問などの連絡がある場合は、LMS の質問を利用するか、または以下のアドレスにメールで連絡をください。
yohko.ohmagari.3n@hosei.ac.jp

【Outline and objectives】
The aim of this course is help students acquire an understanding the international situation, an environmental problem, natural disasters, culture
and so on through the essays.

LANe200LA

英語で学ぶ社会と文化Ⅱ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**社会と文化の諸相を知る**

大曲　陽子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
法文営国 1〜4 年/レベル 2,3 ※定員制
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
複数のパラグラフから成る記事を題材として、今社会を取り巻く経済不況や災害、環境問題や文化などの多岐にわたるトピックを通して世界情勢への理解を深めることを目的とする。

【到達目標】
タイムリーなトピックを取り上げ、速読、精読などを通して、必要とする情報を効果的に読み取るスキルを学習する。リスニング、リーディング、ライティング学習を通して、英語資格試験などのためだけでなく、変化する社会情勢を的確に把握し、異なる意見を持つ人たちと対等に渡り合える英語力を身に着けていく。高い英語力だけでなく、批判的な視点の持ち方、自分の意見の持ち方などを発表などを通して身に着けることも目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
本授業は全 14 回を全てオンライン（オンデマンド、資料配付型）授業とする。
ほぼ 2 回の授業で 1 つの Chapter を学習する。取り上げる Chapter は以下の 6 つとする
Chapter 11,13,15,16,18,20
前半は速読を中心に大意をつかむためのリーディングスキルを学び、後半の授業では exercise を解きながら精読する。
毎回 Answer Sheet を LMS を通して配布するので、その指示に従って締め切り日までに LMS を通して提出する。
課題等に対するフィードバック方法
毎週課題の提出があるので、それは次の授業回までに返却され、後日解答が配布される。
小テスト部分は採点返却される。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Warming Up	ここで履修者を決定するので、履修希望者は必ず初回アンケートに回答して提出すること。
2	Chapter 11 A full working Week. How long should we work ?	Useful Words 解答（採点しない） Question for Understanding, Part1, 2 解答（採点する 2 点 ×8 問 = 16 点）
3 対面	Chapter 11 A full working Week. How long should we work ?	summary の解答と和訳（採点する　1 点 ×6 問 = 6 点　和訳 8 点） Over to You（採点しない）
4	Chapter 13 Try This Why giving things away can be good for business	Useful Words 解答（採点しない） Question for Understanding, Part1, 2 解答（採点する 2 点 ×8 問 = 16 点）
5	Chapter 13 Try This Why giving things away can be good for business	summary の解答と和訳（採点する　1 点 ×6 問 = 6 点　和訳 8 点） Over to You（採点しない）
6	Chapter 15 Paying for Information The Cost of News	Useful Words 解答（採点しない） Question for Understanding, Part1, 2 解答（採点する 2 点 ×8 問 = 16 点）
7	Chapter 15 Paying for Information The Cost of News	summary の解答と和訳（採点する　1 点 ×6 問 = 6 点　和訳 8 点） Over to You（採点しない）
8	Chapter 16 Your phone is soldier What does cyberwar mean?	Useful Words 解答（採点しない） Question for Understanding, Part1, 2 解答（採点する 2 点 ×8 問 = 16 点）
9	Chapter 16 Your phone is soldier What does cyberwar mean?	summary の解答と和訳（採点する　1 点 ×6 問 = 6 点　和訳 8 点） Over to You（採点しない）
10	Chapter 18 It's a Man's World The cost of ignoring Women's needs.	Useful Words 解答（採点しない） Question for Understanding, Part1, 2 解答（採点する 2 点 ×8 問 = 16 点）
11	Chapter 18 It's a Man's World The cost of ignoring Women's needs.	summary の解答と和訳（採点する　1 点 ×6 問 = 6 点　和訳 8 点） Over to You（採点しない）
12	Chapter 20 It's the Law Identifying Good and Bad Laws	）Useful Words 解答（採点しない） Question for Understanding, Part1, 2 解答（採点する 2 点 ×8 問 = 16 点）
13	Chapter 20 It's the Law Identifying Good and Bad Laws	summary の解答と和訳（採点する　1 点 ×6 問 = 6 点　和訳 8 点） Over to You（採点しない）
14	これまでのまとめと期末試験	これまでのまとめ 期末試験課題の提出

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
各 Chapter の Useful Words を必ず学習し、語彙の確認を徹底する。

【テキスト（教科書）】
Grand Tour - Seeing the World
新たな時代への扉
成美堂　　1900 円＋税

【参考書】
特になし。
辞書必携

【成績評価の方法と基準】
授業課題の提出（Answer Sheet の空欄が全て解答されていること）　20%
小テスト 30 点 ×6 回分 180 点
30%
期末試験課題　　50%
＊各学期、欠席 4 回以上で、原則として単位の修得は認められない。
＊毎回 Answer Sheet の回答欄が全て記載されていて（解答されていて）出席とする。（空欄の内容に全て解答すること）

【学生の意見等からの気づき】
トピックに関連したプリントを配布する。

【学生が準備すべき機器他】
パソコン、スマートフォン使用。
課題にリスニングが含まれるので、教科書の QR コードから音声をスマートフォンにダウンロードして聞くことになる。

【その他の重要事項】
欠席は 3 回までとする。
担当教員に質問などの連絡がある場合は、LMS の質問を利用するか、または以下のアドレスにメールで連絡をください。
yohko.ohmagari.3n@hosei.ac.jp

【Outline and objectives】
The aim of this course is help students acquire an understanding the international situation, an environmental problem, natural disasters, culture
and so on through the essays.

LANe200LA

English Presentation Ⅰ

2017 年度以降入学者

NADER　Jamelea

開講時期：春学期授業/Spring　｜　曜日・時限：水 3/Wed.3
単位数：1 単位
法文営国 1～4 年/レベル 4 ※定員制
他学部公開：　グローバル：○　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This course will help students to improve their ability to make presentations in English. Students will increase their confidence in English communication through researching, talking, reading, writing and presenting about a variety of personal, academic, businessand cultural topics. Students will choose their presentation topics according to their own interests. Students will focus in particular on developing and explaining their topics in a clear and engaging manner. Students will make three presentations of about 5-10 minutes.

【到達目標】
You will become a better presenter. You will improve your ability to communicate in front of a group, including topic selection, generating ideas, organising , collecting supporting information, visual communication, consideration of your voice, and movement. You will have many opportunities to express your thoughts in a concise and logical manner. You will try various ways to make your opinions more persuasive.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
This is an online class, and all weeks will be taught on Zoom and using Google Classroom. In this class, you will work in pairs, small groups and individually. You will research and collect information for your topics outside of class. You will organize and arrange your ideas, and prepare visual materials (using PowerPoint or poster paper) to accompany your presentation. Preparation is vital to participate fully and get the most from class time. In class, you will explain your research and ideas. This will enable you to become familiar with your topic and less reliant on a script. Additionally, you will have chances to find the points of interest that need more development, and the places in your work that need further re-thinking and reorganisation. You will also practise a number of important academic skills through listening and note-taking of your own and classmates' topics. These include identifying the key points, re-organising ideas, summarising and reconstructing partner's talks from your notes as well as giving critical feedback. You may be asked to prepare discussion questions related to your topic, and of course, must be ready to answer questions from the audience about your own work. Please come to class ready to participate actively and positively.You may sometimes record your presentations using easy editing software on your phone or PC to share with the class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Orientation	An explanation of the class requirements. We will get to know each other.
2	First presentation: "How to..."	Teach us how to do something better. Look at examples. Generate ideas and select topics.
3	Developing your work	Show your ideas and make an outline. Basic presentation structure.
4	Developing your work	Revise and practise. Body language and gestures -examples and practise.
5	Final practise	Combine all the elements and review your speech. Make changes after feedback from classmates and teacher.
6	Presentation	Perform your presentation. Watch and review classmates. Self evaluation.
7	Second presentation: SWOT analysis	A SWOT analysis. What is it? Look at examples. Generate ideas and select topics
8	Developing your work:	A SWOT analysis. Show your first research and organise. Voicework - how to vary your voice to make yourwords have more impact.
9	Developing your work:	Show us your presentation draft and practise. Turn your draft into notecards. Asking and answering questions during a presentation.
10	Presentation	Perform your presentation. Watch and review classmates.
11	Third Presentation: Pechakucha	What is a pechakucha presentation? Explanation and examples. Topic planning.
12	Developing your work:	Practise. Speaking to time limits and on the spot transitions.
13	Final practise	Review and practise.
14	Presentation & Semester review	Perform your presentation. Watch and review classmates.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students will be expected to find their own research materials, write presentations and prepare visual materials including Keynote or PowerPoint slides. STudents will be asked to watch some speeches and share their impressions in class.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course

【テキスト（教科書）】

The above may change. Activities may change according to class size, students' interests and abilities.There is no textbook.

【参考書】

Recommended places to watch presentation examples are; the Pechakucha, TED and Jack Petchey Foundation websites.

【成績評価の方法と基準】

In-class performance* and participation 25%
Presentations 45%
Self evaluation 10%
Outside class preparation 20%
*Please remember university policy permits a maximum of 3 absences per semester.

【学生の意見等からの気づき】

Students wanted more time to prepare presentations.

【学生が準備すべき機器他】

Please check Hoppi for how to access the first class online. After that, we will use Google Classroom for all class information, assignments and so on. *Students who attend the Zoom session on campus will need a headset. You will need to use colour pens, large poster paper, slide making software such as PowerPoint or Keynote. You will need to access your smartphone, tablet, or PC to watch presentation examples and do quick research in class. You will need an English dictionary.

【その他の重要事項】

Please come to class ready to participate actively and positively.

【Outline and objectives】

Make your speeches and presentations better.

LANe200LA

English Presentation Ⅱ

2017 年度以降入学者

NADER　Jamelea

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 3/Wed.3
単位数：**1 単位**
法文営国 1～4 年/レベル 4 ※定員制

他学部公開：　グローバル：○　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This course will help students to improve their ability to make presentations in English. Students will increase their confidence in English communication through researching, talking, reading, writing and presenting about a variety of personal, academic, business and cultural topics. Students will choose their presentation topics according to their own interests. Students will focus in particular on developing and explaining their topics in a clear and engaging manner. Students will make three presentations of about 5-10 minutes.

【到達目標】
You will become a better presenter. You will improve your ability to communicate in front of a group, including topic selection, generating ideas, organising , collecting supporting information, visual communication, consideration of your voice, and movement.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
This is an online class, and all weeks will be taught on Zoom and using Google Classroom. In this class, you will work in pairs, small groups and individ- ually. You will research and collect information for your topics outside of class. You will organize and arrange your ideas, and prepare visual materials (using PowerPoint or poster paper) to accompany your presentation. Preparation is vital to par- ticipate fully and get the most from class time. In class, you will explain your research and ideas. This will enable you to become familiar with your topic and less reliant on a script. Additionally, you will have chances to find the points of inter- est that need more development, and the places in your work that need further re-thinking and reorganisation. You will also practise a number of important academic skills through listen- ing and note-taking of your own and classmates' topics. These include identifying the key points, re-organising ideas, summarising and reconstructing partner's talks from your notes as well as giving critical feedback. You may be asked to prepare discussion questions related to your topic, and of course, must be ready to answer questions from the audience about your own work. Please come to class ready to participate actively and positively.You may sometimes record your presentation using easy editing software on your phone or PC to share with the class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Orientation and a review of the Spring Semester. First presentation: "Inspired by a movie"	A cultural or social theme picked from a movie For example. "The Lego Movie" - a comparison of the education systems of Denmark and Japan. The role of propaganda in Vietnam War movies "The Devil wears Prada" - Karoshi - is work /life balance really possible? Discussing ideas and topic selection.
2	Developing your work	Sharing research. Making outlines and considering some rhetorical techniquess such as the rule of 3 and rrepetition.
3	Developing your work	Sharing research. Using rhetorical techniques. Review of voice techniques.
4	Final practise	Making discussion questions. Practise and make changes after feedback from classmates and teacher.
5	Presentation	Perform your presentation. Watch and review classmates. Self evaluation.
6	Second presentation: Something I've learned that you should know	What knowledge have you gained in your university life that you think other people would benefit from knowing? generating ideas
7	Developing your work	Considering different narratives styles. Sharing ideas.
8	Developing your work	Sharing your ideas and using props in a speech.
9	Final practise	Practise your speech using a prop.
10	Presentation	Perform your presentation. Watch and review classmates. Self evaluation.
11	Third Presentation: A persuasive speech	A speech about something you feel strongly about. Make us believe how correct and important your opinion is.
12	Developing your work:	Adding passion and emotion to your words. Speaking with your whole body - examples and practise.
13	Final practise	Looking again at body language and voice.
14	Presentation & Semester review	Perform your presentation. Watch and review classmates. Self evaluation.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students will be expected to find their own research materials, write presentations and prepare visual materials including Keynote or PowerPoint slides. STudents will be asked to watch some speeches and share their impressions in class.
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course

【テキスト（教科書）】
The above may change. Activities may change according to class size, students' interests and abilities.There is no textbook.

【参考書】
Recommended places to watch presentation examples are; the peckakucha, TED and Jack Petchey Foundation websites.

【成績評価の方法と基準】
In-class performance* and participation 25%
Presentations 45%
Self evaluation 10%
Outside class preparation 20%
*Please remember university policy permits a maximum of 3 absences per semester.

【学生の意見等からの気づき】
Students requested more computer presentations.

【学生が準備すべき機器他】
Please check Hoppi for how to access the first class online. After that, we will use Google Classroom for all class information, assignments and so on. *Students who attend the Zoom session on campus will need a headset. You will need to use colour pens, large poster paper, slide mak- ing software such as PowerPoint or Keynote. You will need to access your smartphone, tablet, or PC to watch presentation ex- amples and do quick research in class. You will need an English dictionary.

【その他の重要事項】
Please come to class ready to participate actively and positively.

【Outline and objectives】
Make your speeches and presentations better.

LANe200LA

English Presentation Ⅰ

2017 年度以降入学者

JOHN REILLY

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火 3/Tue.3**
単位数：**1 単位**
法文営国 1～4 年/レベル 4 ※定員制
他学部公開：　グローバル：○　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This course teaches presentation skills through watching presentations and making presentations on different topics.

【到達目標】
Students will be able to prepare and make presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
Class activities will include individual work, group work and discussions. Students will be required to prepare presentation material outside of classes. Students will compare class assignment answers in pairs or small groups after which the instructor will provide the correct answers.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Course Introduction	Review syllabus and textbook
2	Getting ready (Pages 2-7)	Give Self introduction
3	Unit 1 A good friend (Pages 8-11)	- Exploring the topic - Focusing on language
4	Unit 1 A good friend (Pages 12-15)	- Organizing ideas - Adding impact techniques
5	Unit 1 A good friend (Pages 16-17)	- Developing presentation
6	Unit 1 A good friend (Pages 18-19)	Presentation "A good friend"
7	Unit 2 A favorite place (Pages 20-23)	- Exploring the topic - Focusing on language
8	Unit 2 A favorite place (Pages 24-27)	- Organizing ideas - Adding impact
9	Unit 2 A favorite place (Pages 28-29)	- Developing presentation techniques
10	Unit 2 A favorite place (Pages 30-31)	Presentation - “My Favorite Place”
11	Unit 3 A prized possession	- Exploring the topic - Focusing on language - Organizing ideas
12	Unit 3 A prized possession	- Adding impact - Developing presentation techniques
13	Unit 3	Presentation - “My Prized Possession”
14	Make-up Presentations/ Course Review	Finalize spring semester course

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students will be expected to prepare for classes by reviewing the next pages in the textbook and completing some assignments. University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
Present Yourself 1 Experiences, Second Edition (Steven Gershon,
Cambridge University

【参考書】
None

【成績評価の方法と基準】
Students will be evaluated on two components:
- Presentations - 75%
- Class participation - 25%

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】
Student input and feedback is encouraged.

【Outline and objectives】
Students will develop confidence in their public speaking abilities.

LANe200LA

English Presentation Ⅱ

2017 年度以降入学者

JOHN REILLY

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**火** 3/Tue.3
単位数：**1 単位**
法文営国 1〜4 年/レベル 4 ※定員制
他学部公開：　グローバル：○　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This course teaches presentation skills through watching presentations and making presentations on different topics.

【到達目標】
Students will be able to prepare and make presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
Class activities will include individual work, group work and discussions. Students will be required to prepare presentation material outside of classes. Students will compare class assignment answers in pairs or small groups after which the instructor will provide the correct answers.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Course Introduction	Review syllabus and textbook
2	Getting ready (Pages 2-7)	Give Self introduction
3	Unit 4 A memorable experience (Pages 44-47)	- Exploring the topic - Focusing on language
4	Unit 4 A memorable experience (Pages 48-51)	- Organizing ideas - Adding impact
5	Unit 4 A memorable experience (Pages 52-53)	- Developing presentation techniques
6	Unit 4 A memorable experience (Pages 54-55)	Presentation - “My Memorable Experience”
7	Unit 5 I’ll show you how (Pages 56-59)	- Exploring the topic - Focusing on language
8	Unit 5 I’ll show you how (Pages 61-63)	- Organizing ideas - Adding impact
9	Unit 5 I’ll show you how (Pages 64-65)	- Developing presentation techniques
10	Unit 5 I’ll show you how (Pages 66-67)	Presentation - “How to _____”
11	Unit 6 Screen magic (Pages 68-73)	- Exploring the topic - Focusing on language - Organizing ideas
12	Unit 6 Screen magic (Pages 73-77)	- Adding impact - Developing presentation techniques

13	Unit 6 Screen magic (Pages 78-79)	Presentation - "Movie or TV Show Review"
14	Make-up Presentations/ Course Review	Finalize fall semester course

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students will be expected to prepare for classes by reviewing the next pages in the textbook and completing some assignments. University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
Present Yourself 1 Experiences, Second Edition (Steven Gershon,
Cambridge University Press)

【参考書】
None

【成績評価の方法と基準】
Students will be evaluated on two components:
- Presentations - 75%
- Class participation - 25%

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】
Student input and feedback is encouraged.

【Outline and objectives】
Students will develop confidence in their public speaking abilities.

LANe200LA

English Presentation Ⅰ

2017 年度以降入学者

コートランド・デイビッド・スミス

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月 3**/Mon.3
単位数：**1 単位**
法文営国 1〜4 年/レベル 4 ※定員制

他学部公開：　グローバル：○　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This course is designed primarily to improve students' presentation skills and thereby to develop their integrative English language proficiency. In spring the goal is to acquire basic presentations skills, including how to organize a presentation, supporting arguments with evidence, effective use of visual aids, and aspects of delivery such as eye contact or gesture. In the fall semester, students will focus on persuasive/argumentative presentations on topics of contemporary concern. Students base their presentations on the basic patterns taught and learn to speak from notes. The class is conducted in English.

【到達目標】
This course is designed primarily to improve students' presentation skills and thereby to develop their integrative English language proficiency. In spring the goal is to acquire basic presentations skills, including how to organize a presentation, supporting arguments with evidence, effective use of visual aids, and aspects of delivery such as eye contact or gesture. In the fall semester, students will focus on persuasive/argumentative presentations on topics of contemporary concern. Students base their presentations on the basic patterns taught and learn to speak from notes. The class is conducted in English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
Online class. All classes will be taught using zoom.
The content of the class will consist of practicing presentation techniques and delivering presentations. If time permits, there will be some discussion of the presentation topics. Student assignments will be reviewed during class time or submitted to instructor for evaluation by email.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	1. Introductions HW/text pgs. 4-12	Talk about spring break. Getting started.
2	2. Text pgs. 13-14, 15-17, 18-22 HW/informative speech (pg. 17) with visuals, posture, eye contact, gestures	Watch sample presentation DVD.
3	3. Performance of informative speech HW/text pgs. 23-24, 28-29	Speech performance and feedback.

4	4. Text pgs. 30-38 HW/demonstration speech (pg. 38) with visuals, posture, eye contact, gestures, voice inflection	Demonstration speech.
5	5. Performance of demonstration speech HW/text pgs. 39-46	Student speech performances.
6	6. Text pgs. 47-48, pgs. 51-55 HW/country comparison (pgs. 49 & 56)	Prepare for country comparison speech.
7	7. Performance of country comparison HW/pgs. 57-59	Student speeches.
8	8. Text pgs. 60-67 HW/speech introduction (pg. 67)	Focus on speech introduction.
9	9. Performance of speech introduction HW/text pgs. 68-72	Speech introduction performances.
10	10. Text pgs. 73-85 HW/speech body (pg. 86)	Focus on speech body.
11	11. Performance of speech body HW/text pgs. 87-94 conclusion (pg. 95)	Student performances of speech body.
12	12. Presentation of conclusion HW/final presentation (pg. 99 steps 1,2,3)	Focus on speech conclusion.
13	Final presentations HW/None	Prepare and perform final presentations
14	Final presentations	End of term evaluation

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course. Students will research and prepare their presentations before scheduled classes.

【テキスト（教科書）】
Speaking of Speech Student Book MacMillan ISBN 978-4-7773-6271-4

【参考書】
Students will use online resources to research and prepare their presentations.

【成績評価の方法と基準】
Presentations (50%)
Class participation (40%)
Final presentation (10%)
*Students will be expected to attend a minimum of 80% of all classes in order to get credit for this course. This means that you can be absent no more than three times.
Three late arrivals are counted as one absence (up to 29 min.). More than 45 minutes late without a good reason will be counted as absent. Students who are absent or late for a good reason — serious train delays, injury, illness, etc. should provide some evidence to instructor.

【学生の意見等からの気づき】
None.

【学生が準備すべき機器他】
Zoom and headset. Students may use assigned classroom for online classes.

【その他の重要事項】
Contact Email: smith.courtland.sc@hosei.ac.jp

【Outline and objectives】
Students will prepare and deliver presentations during class time.

LANe200LA

English Presentation Ⅱ

2017 年度以降入学者

コートランド・デイビッド・スミス

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
法文営国 1〜4 年/レベル 4 ※定員制

他学部公開：　グローバル：○　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This course is designed primarily to improve students' presentation skills and thereby to develop their integrative English language proficiency. In spring the goal is to acquire basic presentations skills, including how to organize a presentation, supporting arguments with evidence, effective use of visual aids, and aspects of delivery such as eye contact or gesture. In the fall semester, students will focus on persuasive/argumentative presentations on topics of contemporary concern. Students base their presentations on the basic patterns taught and learn to speak from notes. The class is conducted in English.

【到達目標】
The goal of this course is to enable students to make effective presentations on a variety of topics. Students will learn to confidently deliver multimedia informative/descriptive speeches, as well as comparative, demonstrative and argumentative/persuasive presentations. Students will also learn to evaluate the quality and content of others' presentations, to take notes on presentation content, and to provide detailed feedback to help presenters to improve their presentation technique.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
The content of the class will consist of practicing presentation techniques and delivering presentations. If time permits, there will be some discussion of the presentation topics. The fall semester of this course will concentrate on the preparation and delivery of persuasive, argumentative and rhetorical speeches. Student assignments will be reviewed during class time or submitted to instructor for evaluation by email.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	1. Summer vacation HW/prepare speech on summer vacation	Warm up presentation.
2	2. Presentations on summer vacation HW/read handout parts 1&2	Students deliver their summer vacation presentations.
3	3. Complete handout reading HW/prepare presentation on topic 1	Read background information and answer questions.
4	4. Presentations on topic 1 and discussion HW/read handout parts 1&2	Delivery of speeches.
5	5. Complete handout reading HW/prepare presentation on topic 2	Read background information and answer questions.
6	6. Presentations on topic 2 HW/read handout parts 1&2	Delivery of student speeches.
7	7. Complete handout reading HW/prepare presentation on topic 3	Read background information and answer questions.
8	8. Presentations on topic 3 HW/read handout parts 1&2	Delivery of student speeches.
9	9. Complete handout reading HW/prepare presentation on topic 4	Read background information and answer questions.
10	10. Presentations on topic 4 HW/read handout parts 1&2	Delivery of student speeches.
11	11. Complete handout reading HW/prepare presentation on topic 5	Read background information and answer questions.
12	12. Presentations on topic 5 HW/read handout parts 1&2	Delivery of student speeches.
13	13. Complete handout reading HW/prepare final presentations	Prepare for final presentations.
14	14. Final presentation	Final performance, summary and evaluation.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course. Students will research and prepare their presentations before scheduled classes.

【テキスト（教科書）】
LeBeau. Charles. Speaking of Speech Level 2. MacMillan. 2015.

【参考書】
Students will make use of a variety of online resources in the research and preparation of their speeches.

【成績評価の方法と基準】
Presentations (50%)
Class participation (40%)
Final presentation (10%)
*Students will be expected to attend a minimum of 80% of all classes in order to get credit for this course. This means that you can be absent no more than three times.
Three late arrivals are counted as one absence (up to 29 min.). More than 45 minutes late without a good reason will be counted as absent. Students who are absent or late for a good reason — serious train delays, injury, illness, etc. should provide some evidence to instructor.

【学生の意見等からの気づき】
None.

【その他の重要事項】
Contact Email: smith.courtland.sc@hosei.ac.jp

【Outline and objectives】
Students will prepare and deliver presentations during class time.

LANe200LA

English Presentation Ⅰ

2017 年度以降入学者

MARK D BURNS

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 4/Thu.4
単位数：**1 単位**
法文営国 1～4 年/レベル 4 ※定員制

他学部公開：　グローバル：○　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
The primary objective of this class is to develop basic presentation skills. The course provides practice in structuring, and organizing presentations, designing effective visuals, and delivering presentations in clear communicative English. Students will prepare and deliver 7 presentations on a wide range of subjects and purposes.

【到達目標】
This subject aims to equip learners with the confidence and basic ability to deliver effective presentations in English. It will help learners become familiar with a number of presentation types and build confidence speaking in front of others. By the end of this course, students will be able to deliver an individual presentation followed by a question and answer session, while engaging the audiences in their topic. Furthermore, students will sharpen their listening skills by learning how to ask good questions and become active listeners.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
In this subject, classes will be conducted in English and will cover each unit of the textbook. In presentation weeks students are required to actively listen to other learners' presentations in order to ask relevant questions in the Question & Answer Sessions, and also to complete specific Feedback Forms. Students will be able get direct feedback on their presentations from these forms.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Orientation	Overview of the course and warm up	Overview of English Presentation I subject and explaining rules for assignment submissions and feedback
Unit 1	Posture	Learners prepare and present a presentation about a city they like
Unit 2	Gesture	Learners prepare and present a presentation describing the layout of an interesting place
Unit 3	Use of voice	Learners prepare and present a presentation about a recipe
Section review	Review of the physical message	Review of the physical message
Unit 4	Effective visuals	Learners prepare a presentation comparing two countries

Unit 5	Explaining visuals	Learners prepare clear explanations for slides and charts
Section reveiw	Review of the visual message	Learners deliver a presentation comparing two countries
Unit 6	Introduction	Learners prepare and present the introduction to a product comparison presentation
Unit 7	Body	Learners prepare and present the the body a product comparison presentation
Unit 8	Conclusion	Learners prepare and present the conclusion to a product comparison presentation
Section review	Review of presentation structure	Review of presentation structure
Final performance preparation	Final performance preparation	Final performance preparation
Final performance	Final performance	Final performance

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course. Students are required to prepare visuals and rehearse 7 presentations over the course.

【テキスト（教科書）】
Speaking of Speech New Edition, David Harrington and Charles LeBeau, ISBN 978-4-7773-6271-4

【参考書】
A good Japanese-English dictionary

【成績評価の方法と基準】
Assessment will consist of in-class participation (40%), 7 presentation assignments (60%)

【学生の意見等からの気づき】
Personalised individual feedback will be provided.

【その他の重要事項】
In principle, no more than 3 absences per term are allowed. Lesson schedule may change depending on student number.

【Outline and objectives】
The primary objective of this class is to develop basic presentation skills. The course provides practice in structuring, and organizing presentations, designing effective visuals, and delivering presentations in clear communicative English. Students will prepare and deliver 7 presentations on a wide range of subjects and purposes.

LANe200LA

English Presentation Ⅱ

2017 年度以降入学者

MARK D BURNS

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 4/Thu.4
単位数：**1 単位**
法文営国 1～4 年/レベル 4 ※定員制
他学部公開：　グローバル：○　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
The primary objective of this class is to further develop basic presentation skills. The course provides practice in structuring, and organizing presentations, designing effective visuals, and delivering presentations in clear communicative English. Students will prepare and deliver 7 presentations on a wide range of subjects and purposes.

【到達目標】
This subject aims to equip learners with the basics of written communication in English. It will help learners become familiar with a number of presentation types and build confidence speaking in front of others. By the end of this course, students will be able to deliver an individual presentation followed by a question and answer session, while engaging the audiences in their topic. Furthermore, students will sharpen their listening skills by learning how to ask good questions and become active listeners.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
In this subject, classes will be conducted in English and will cover each unit of the textbook. In presentation weeks students are required to actively listen to other learners' presentations in order to ask relevant questions in the Question & Answer Sessions, and also to complete specific Feedback Forms. Students will be able get direct feedback on their presentations from these forms.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Orientation	Overview of the course and warm up	Overview of English Presentation I subject and explaining rules for assignment submissions and feedback
Unit 1	What are the options?	Learners prepare option presentations
Unit 2	Performance 1	Option presentations and peer feedback.
Unit 3	Job hunting	Learners prepare a proposal presentation
Unit 4	Performance 2	Proposal presentations and peer feedback.
Unit 5	Have I got your attention?	Learners prepare sales presentations
Unit 6	Performance 3	Sales presentations and peer feedback.
Unit 7	Technical problems and solutions	Learners prepare technical presentations

Unit 8	Performance 4	Technical presentations and peer feedback.
Unit 9	Cite your sources	Learners prepare academic presentations
Unit 10	Performance 5	Academic presentations and peer feedback.
Unit 11	Creative innovations	Learners prepare team presentations
Unit 12	Performance 6	Team presentations and peer feedback.
End-term review	Final presentations	Final presentations

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course. Students are required to prepare visuals and rehearse 7 presentations over the course.

【テキスト（教科書）】
Speaking of Speech Level 2, Charles LeBeau, ISBN 978-4-7773-6515-9

【参考書】
A good Japanese-English dictionary

【成績評価の方法と基準】
Assessment will consist of in-class participation (40%), 7 presentation assignments (60%)

【学生の意見等からの気づき】
Personalised individual feedback will be provided.

【その他の重要事項】
In principle, no more than 3 absences per term are allowed. Lesson schedule may change depending on student numbers.

【Outline and objectives】
The primary objective of this class is to further develop basic presentation skills. The course provides practice in structuring, and organizing presentations, designing effective visuals, and delivering presentations in clear communicative English. Students will prepare and deliver 7 presentations on a wide range of subjects and purposes.

LANe200LA
英語アカデミック・リーディングⅠ
2017 年度以降入学者

岩崎　博

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
法文営国 1～4 年/レベル 2,3 ※定員制
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
美術、科学、文化、言語、環境、歴史など様々な分野を扱う論文を読む。英文を読み解くことによって新しい視点、刺激的な世界観に触れる。個々の論文には難解なものもあるが、それを読み解き理解する喜びを体験したい。パラグラフの論理的な構造に目を向け、その趣旨を的確につかむことによって、多量の英文を読みこなす能力を養う。特に、トピックセンテンスを中心に、文章を要約する方法を学ぶ。また、読んで理解した内容を、口頭で的確に表現できるようになりたい。

【到達目標】
パラグラフの内容を正確に理解し、それを口頭で表現できるようになる。
理解した内容を口頭で言い表すことができるようになる。
英語の論理的思考が、抽象から具体へと展開することを理解する。
パラグラフのトピックとそれを詳述する細部との関係を理解する。
トピックを理解することにより、細部に理解できないところがあっても、パラグラフの論旨を大まかにつかみ取る能力を身につける。
抽象的な表現を具体的に理解する読み方を身につける。
レトリックを読み解く技術を身につける。
意味が文脈によって産出されることを理解する。
抽象的な表現の具体的内容を理解する方法を学ぶ。
テクストを批判的に読み解く技術を学ぶ。
辞書を引く意味を理解する。
辞書が活用できるようになる。
最終的に、多量の論文を効果的に読み解くことができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
学生による要約と和訳の発表で授業を進める。不明な点、問題点があれば、全員で話し合いそれを解決して行く。各論文を読み終わった後、それに関する論評を発表しクラス全体で議論する。
フィードバックに関しては、発表するたびに教師がコメントを出し、それに基づいて発表内容を修正し、翌週に修正したものを提出する。学期末試験の答案に解説・コメントをつけて返却する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	授業の説明。	授業に関する説明の後、パラグラフの構造について理解する。

2	Session 1 What a Painting Can Tell Us 本エッセイの展望	この論文では、絵画に隠された物語を読み解く際の、筆者の論理的展開の方法に注意し、芸術作品の解釈の方法や説得力のある主張の仕方を学ぶ。リーディングスキルとしては、パラグラフの構造を理解する。筆者の主張を裏付けるトピックセンテンスと、その根拠を示す支持文を区別することによって、パラグラフの内容 を大まかにつかみ要約する力を養い、論理的な文章を効果的に読むことができるようにする。 トピックセンテンスのないパラグラフにもトピックが存在することを理解する。
3	Session 1 What a Painting Can Tell Us パラグラフの構造を学ぶ	パラグラフが主題文、指示文、結論文から成ることを理解し、実際の英文の中でその構造を確認する。これを理解した上で、ピックセンテンスを見つけ、それが何故トピックセンテンスなのか、自分の言葉で説明する。
4	Session 1 What a Painting Can Tell Us パラグラリーディングの実践	トピックセンテンスと論証部分がどのような関係になっているのか、自分の言葉で説明する。特に最後のパラグラフでは、フェルメールの絵がトピックに対してどのような論拠を与えているのか自分の言葉で説明する。
5	Session 2 Split-Brain Research 本エッセイの展望	What a Painting Can Tell Us に関して自分の意見を発表し、クラスで話し合う。 Session 2 では、右 脳・左脳の機能の違いを世に知らしめた有名な事例を紹介する論文を読む。両脳間の機能上の最大の違いは、片方の脳のみが言語を扱うということに起因するという興味深い事実を学ぶ。リーディングスキルとしては、科学的論文の構造を理解する。また、図解を参照しながら英文を読む訓練をする。 実験の手順を記述するパラグラフには、トピックセンテンスがないことを理解する。
6	Session 2 Split-Brain Research プロセスの記述を読む	実験の手順を詳細に記述した文を読み、実験の内容を正確に理解する。
7	Session 2 Split-Brain Research 図を見ながら本文を理解する	図と英語の記述を対応させることによって、左脳の構造を視覚的に理解する。
8	Session 2 Split-Brain Research 具体的に読む	実験の結果に関する記述が具体的に実験の何を指し示すのかを理解する。抽象的な記述を具体的に理解し説明する読みを実践する。つまり文脈をたどる訓練をする。
9	Session 9 On Speaking on Speaking 本エッセイの展望	Split-Brain Research に関する意見を発表し、クラスで話し合う。 Session 9 では、言語の変化生成に関する仮説を扱う論文を読む。言語は原初の形を痕跡として残しつつ絶えず変化し続けること、人間には言語を生み出す普遍的能力があることを 学ぶ。また、一般的には理解されていない、あらゆる言語に見られる普遍的性質のいくつかを知る。 リーディングスキルとしては、トピックセンテンスと支持文 の関係をより深く理解し、筆者の主張をより正確に把握する能力を養う。パラグラフの内容を自分の言葉で要約できるようする。さらに、パラグラフ間のつなが りにも留意することによって、論理の展開の仕方を学ぶ。
10	Session 9 On Speaking on Speaking 言語とは何か	言語は絶えず変化すること、しかも原初の要素を残しながら、別の言語に変わってしまうかのように変化していくことを知る。
11	Session 9 On Speaking on Speaking 言語変化の担い手は誰か	言語の変化の担い手が子どもだという事実を検証する。 形式主語の it を見破る方法を学ぶ。
12	Session 14 Teenage Nation 本エッセイ展望	On Speaking on Speaking に関して自分の意見を発表し、クラスで話し合う。 Teenager という概念が現れた背景を歴史的に考察する論文を読む。Teenager の出現には、産業革命による労働形態の変化、教育の普及、大量消費社会の到来など、大きな社会的変革が関わっていることを理解する。現在では常識とされている事柄でも、過去においては極めて希少・斬新であったことを知ることにより、 新たな事実を理解するためには現在の常識を疑わなくてはならないということを学ぶ。 リーディングスキルとしては、パラグラフ内の論理的展開に留意することにより論拠の妥当性を緊密に検証し、批判的に文章を読む術を学習する。
13	Session 14 Teenage Nation 子供の存在と教育の関係	ティーンネージャーという概念出来上がった背景には、子供が労働力から教育を受ける存在に変わったという事実があることを知る。
14	試験日	春学期試験を行う。まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。
予習としては、テキストの該当箇所を読み、各パラグラフごとに簡単なメモを作成し、それを見ながら内容の要約・説明ができるようにする。特にトピックセンテンスと論証部分の関係性を自分の言葉で説明できるように準備する。
復習としては、授業で扱ったパラグラフの構造を復習し理解した上で、最低５回は読み返す。
各エッセイを読み終えた後、自分の意見を発表できるよう準備する。

【テキスト（教科書）】

『The Universe of English』東京大学英語教室編（東京大学出版会）

【参考書】

なし。

【成績評価の方法と基準】
授業参加 40 パーセント、試験 60 パーセントの比率で評価する。授業参加点は事前に指示された課題の発表の回数によって決まる。
一度休むごとに平常点から 2 点ずつ引いていく。
４回以上欠席の場合は、原則として単位修得を認めない。
原則的に遅刻は認めない。

【学生の意見等からの気づき】
学生からの発言の機会を増やそうと思います。

【学生が準備すべき機器他】
辞書持参のこと。

【その他の重要事項】
この授業は演習中心なので、出席を重視しています。遅刻・欠席に関しては厳しく対処します。また、授業中私語をするなど、常識的におかしいと思われる行為は慎んで下さい。辞書を持参して下さい。教師と学生の対話を通して、適度に楽しくて為になる双方向の授業を目指したいと思っています。みなさんの積極的な参加、質問、発言を期待しています。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to improve reading skills by understanding the basic logical structure of a paragraph in academic essays. Participants learn what kinds of connection a topic sentence and its supporting details make in each paragraph and make a summary of it. Participants are expected to read each essay critically and express their opinions in class. This course also helps students learn how to use dictionaries.

LANe200LA
英語アカデミック・リーディング Ⅱ
2017 年度以降入学者

岩崎　博

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
法文営国 1～4 年/レベル 2,3 ※定員制
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
美術、科学、文化、言語、環境、歴史など様々な分野を扱う論文を読む。論文を読み解くことによって新しい視点、刺激的な世界観に触れる。個々の論文には難解なものもあるが、それを読み解き理解する喜びを体験したい。パラグラフの論理的な構造に目を向け、その趣旨を的確につかむことによって、多量の英文を読みこなす能力を養う。特に、トピックセンテンスを中心に、文章を要約する方法を学ぶ。また、読んで理解した内容を、口頭で的確に表現できるようになりたい。

【到達目標】
パラグラフの内容を正確に理解し、それを口頭で表現できるようになる。
理解した内容を口頭で言い表すことができるようになる。
英語の論理的思考が、抽象から具体へと展開することを理解する。
パラグラフのトピックとそれを詳述する細部との関係を理解する。
細部に理解できないところがあっても、トピックを理解することにより、パラグラフの論旨を大まかにつかみ取る能力を身につける。
抽象的な表現を具体的に理解する読み方を身につける。
レトリックを読み解く技術を身につける。
意味が文脈によって産出されることを理解する。
テクストを批判的に読み解く技術を学ぶ。
辞書を引く意味を理解する。
辞書が活用できるようになる。
最終的に、多量の論文を効果的に読み解くことができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
学生による要約と和訳の発表で授業を進める。不明な点、問題点があれば、全員で話し合いそれを解決して行く。各論文を読み終わった後、それに関する論評を発表しクラス全体で議論する。
フィードバックに関しては、発表するたびに教師がコメントを出し、それに基づいて発表内容を修正し、翌週に修正したものを提出する。学期末試験の答案に解説・コメントをつけて返却する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	授業の説明	パラグラフの構造を理解する。

2	Session 17 Ecology 本エッセイの展望	エコロジーの入門書的論文を読む。この論文はコンパクトながら、エコロジーの定義から始まり、生物圏の区分、食物連鎖、生物濃縮、生態遷移などに言及し、エコジーの最も重要な分野をわかりやすく解説している。また、生態学的知識を吸収することによって、現在我々を取り巻く環境問題を考える。 リーディングスキルとしては、トピックセンテンスの無いパラグラフのトピックを理解する術を学ぶ。
3	Session 17 Ecology 概念を定義するタイプのパラグラフ	ある概念の定義を行うパラグラフ構造を知る。
4	Session 17 Ecology 抽象と具体の説得力	エコロジーの定義と具体例を読み、両者の関係と説得力について考える。
5	Session 17 Ecology 内容を要約できないパラグラフに関する説明	トピックがはっきりせず要約不能なパラグラフでも、そこには作者の意図があることを知り、それを言葉で説明する。 生態遷移という概念を具体例から理解する。
6	Session 18 Columbus: From Hero to Fall Guy 本エッセイの展望	コロンブスが歴史上の偉人から、南米を侵略し社会を破壊した悪人に評価が変わった原因を考察する論文を読む。この論文は、コロンブスの評価の変化の背景を追うことによって、歴史そのものがいかに作り出されるかということにも言及しており、極めて興味深い。 歴史が産出される構造を知る ことにより、歴史的事実とは決して客観的事実なのではなく、政治的意図が反映されたものの見方、すなわちある特権的な視点から事象を見るひとつの解釈であることを理解し、ひいては歴史とは何かを考察する。 リーディングスキルとしては、論理的に難解な文章を読む際に必要な文脈のたどり方に重点を置く。ある文の意味を理解するということは、その文脈を理解することであるということ、言い換えると、文の意味は文脈によって作り出されるという基本的事実を理解する。 パラグラフ内に一見トピックと関係ないように見える文も、必ずトピックと関連付けらていることを知り、それを自分の言葉で表現できるよう努力する。
7	Session 18 Columbus: From Hero to Fall Guy クロノジカルな記述を読む	歴史的記述における視点を考える。西洋中心に考えたときの「アメリカ発見」の歴史的意義を学ぶ。 トピックセンテンスの内容が言い換えによって説明されることを学ぶ。 また、主格関係と目的格関係を表す前置詞 of の用法を学び、名詞句の内容を理解できるようにする。
8	Session 18 Columbus: From Hero to Fall Guy 歴史とは何か	コロンブスの評価が英雄から人類最悪の男に凋落した理由として筆者が援用する歴史観について考察する。筆者が提示した理論を本文に当てはめると何を読みとることができるのか考えてみる。
9	Session 18 Columbus: From Hero to Fall Guy 反コロンブス神話とは	コロンブス以前のアメリカが理想郷として描き出されている現状の背後に隠された意図を知り、それを批判する。
10	Session 18 Columbus: From Hero to Fall Guy コロンブスとは何なのか	コロンブスが「歴史的コマ」として、現代の政治ゲームの中でどのように利用されているか、具体的記述の中で理解する。。 「発見」された側がコロンブスを歴史上傑出した悪人だと非難する、本当の理由を知る。
11	Session 11 Disneyland: America's Sacred Land 本エッセイの展望	ディズニーランドの人気の理由を論じるエッセイを読む。ディズニーランドの背後には、アメリカを中心とした歴史観、アメリカを代表する中西部の白人中流階層の保守的な理念があることを学ぶ。 リーディングスキルとしては、エッセイ内のパラグラフ群が互いにどのような関係になっていて、どのように有機的な読み物を作り上げているのかを考察し、エッセイ全体のテーマを理解する術を学ぶ。 トピックセンテンスの無いパラグラフに埋め込まれているトピックを考える。
12	Session 11 Disneyland: America's Sacred Land ディズニーランド人気の理由	ディズニーの世界観がどのようにディズニー・ランドに反映されているのかを知る。 また、エッセイ冒頭で示されたテーマとの関係を考察する。
13	Session 11 Disneyland: America's Sacred Land ディズニーランドの神話的意義	ディズニーランドが単なるレジャーランドを超えて、アメリカの神話作りに貢献しているという説の論拠を知る。 また、エッセイ冒頭で示されたテーマと各パラグラフの関連を考えることによって、エッセイ全体の構造とその主張をより深く理解する。
14	試験日	秋学期試験を行う。まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。
予習としては、テキストの該当箇所を読み、各パラグラフごとに簡単なメモを作成し、それを見ながら内容の要約・説明ができるようにする。特にトピックセンテンスと論証部分の関係性を自分の言葉で説明できるように準備する。
復習としては、授業で扱ったパラグラフの構造を復習し理解した上で、最低５回は読み返す。
各エッセイを読み終えた後、自分の意見を発表できるよう準備する。

【テキスト（教科書）】
東京大学英語教室編『The Universe of English』（東京大学出版会）

【参考書】
なし。

【成績評価の方法と基準】
授業参加 40 パーセント、試験 60 パーセントの比率で評価する。授業参加点は事前に指示された課題の発表の回数によって決まる。
一度休むごとに平常点から 2 点ずつ引いていく。
４回以上欠席の場合は、原則として単位修得を認めない。
原則的に遅刻は認めない。

【学生の意見等からの気づき】
学生が話し合って問題を解決する機会を増やす。

【学生が準備すべき機器他】
辞書持参のこと。

【その他の重要事項】
この授業は演習中心なので、出席を重視しています。遅刻・欠席に関しては厳しく対処します。また、授業中私語をするなど、常識的におかしいと思われる行為は慎んで下さい。辞書を持参して下さい。教師と学生の対話を通して、適度に楽しくて為になる双方向の授業を目指したいと思っています。みなさんの積極的な参加、質問、発言を期待しています。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to improve reading skills by understanding the basic logical structure of a paragraph in academic essays. Participants learn what kinds of connection a topic sentence and its supporting details make in each paragraph and make a summary of it. Participants are expected to read each essay critically and express their opinions in class. This course also helps students learn how to use dictionaries.

LANe200LA

英語検定試験対策Ⅰ

2017 年度以降入学者

久慈　美貴

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 2/Wed.2
単位数：**1 単位**
法文営国 1～4 年/レベル 3,4 ※定員制
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
TOEIC Test listening part の速度に慣れ、重要点（設問部分）をチェックできるよう練習したい。
自習用オーディオファイルを何度も聞いて、音と速さ、設問形式になじんでほしい。

【到達目標】
TOEIC Test の listening part の速度に慣れ、単語ではなくフレーズの塊を聞き取れるようになる。
既習の文法事項を復習し再確認する。
ビジネス関連の語彙を増やす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
テキストの各ユニットにおける重要単語と設問をあらかじめ確認して解答を提出していただき、授業ではその解説を行い、質問を受け付けます。課題のフィードバックは、対面授業では授業時に提出用紙を返却し、学習支援システムで提出していただいた場合は支援システムを通して行います。予習していただいた課題の提出が必須となります。大学の行動方針レベルが 2 となった場合、この授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	preparation test	プリントを配布し TOEIC テストの形式を確認する
2	U.1 Arts & Amusement 名詞と代名詞	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。名詞と代名詞の使い方を復習する。
3	U.2 Lunch & Parties 形容詞と冠詞	ボキャブラリークイズとテキストの問題のチェック。形容詞と冠詞の使い方を復習する。
4	U.3 Medicine & Health 副詞	ボキャブラリークイズとテキストの問題のチェック。副詞の復習。idiom review のプリントを配布。
5	U.4 Traffic & Travel 比較級	ボキャブラリークイズとテキストの問題のチェック。比較級の使い方に注意。
6	U.5 Ordering & shipping 動詞の時制	ボキャブラリークイズとテキストの問題のチェック。動詞の時制に注意する。
7	U.6 Factories & Production 未来表現	ボキャブラリークイズとテキストの問題のチェック。未来表現を復習する。idiom review プリントを配布する。
8	U.7 Research & Development 主語と動詞の呼応	ボキャブラリークイズとテキストの問題のチェック。主語と動詞の呼応に注意する。

9	U.8 Computers & Technology 能動態と受動態	ボキャブラリークイズと テキストの問題のチェック。能動態と受動態の使い方を復習する。
10	U.9 Employment & Promotions 不定詞と動名詞	ボキャブラリークイズとテキストの問題のチェック。不定詞と動名詞の使い方に注意。idiom review プリントを配布。
11	U.10 Advertisement & Personnel 分詞	ボキャブラリークイズとテキストの問題のチェック。分詞の使い方に注意。
12	U.11 Telephone & Messages 助動詞	ボキャブラリークイズとテキストの問題のチェック。助動詞を復習する。
13	U.12 Banking & Finance U.13 Office Work & Equipment	ボキャブラリークイズとテキストの問題のチェック。関係詞と接続詞の使い方を復習する。
14	U.14 Housing & Properties U.15 Business & Management Review for Spring Term	春期のまとめ U.14-15　前置詞と条件文の使い方を復習する。 review プリントを提出する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業は準備学習復習時間合わせて 1 時間を標準とします。】}かならず事前の語彙チェックをしましょう。毎回、ユニットの vocabulary build-up から vocaburlary quiz を行います。また、listening 練習用に音声ファイルがダウンロードできますので、繰り返し聞いて問題をチェックしてください。授業時には何度も音声チェックをする時間的な余裕がありませんので、事前にしっかり音を聞いてください。3 ユニット終了するごとに熟語のまとめプリントを配布し、宿題として提出していただきます。そのほか、必要に応じて文法プリントを配布します。

【テキスト（教科書）】
Essential Approach for the TOEIC L&R Test: Revised Edition(成美堂) 2000 円

【参考書】
特に指定しない。

【成績評価の方法と基準】
毎回の提出物 80 %、春期のまとめにおける提出物 20 %として総合評価する。ただし、4 回以上欠席した場合、または 4 回分以上課題を提出しない場合、原則として単位の取得を認めない。
提出物の点が評価の大きな割合を占めるので、しっかり予習して点数を積み上げていってほしい。テキストのリスニング問題は音声ストリーミング配信で聞くことができるので、何度も聞き、問題を解いてみよう。
ボキャブラリークイズは各ユニットの Vocabulary と Word-Pairs から問題を出すので、しっかり確認し、語義と発音をチェックしておくこと。

【学生の意見等からの気づき】
予習用にリスニングパートのスクリプトを配布していますが、何段階かに分けて使用していただければと思います。
まず音声ファイルのリスニングのみで問題を解いてみる、聞き取りにくい箇所をスクリプトを見ながら再度聞いてみる、スクリプトを見ながら音声ファイルと同時に声を出して読んでみる、というようにです。
じぶんで発音できれば、耳で聞いて意味をとりやすくなります。
プリントは採点して返却しますので、疑問点があれば授業時に質問して下さい。歓迎します。

【学生が準備すべき機器他】
特に指定しない。ただし、辞書は必ず携行してください（対面授業の際は通信機器は使用しないでください）。語義だけでなく用例から、言葉の使い方をチェックしていただきたいと思います。

【その他の重要事項】
授業時は必ず辞書を携行すること。
提出物の累計が平常点となるので、欠席しないよう注意してください。

【Outline and objectives】
Try to accustomed to each part of TOEIC questions and to the speed of announcement. You can download listening file on the publisher's website. Please get well-prepared for the class.

LANe200LA

英語検定試験対策Ⅱ

2017 年度以降入学者

久慈　美貴

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 2/Wed.2
単位数：**1 単位**
法文営国 1～4 年/レベル 3,4 ※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
音の脱落・連結音など聞き取りにくい音になじみ、より正確に設問の意図をつかむよう練習したい。
必要に応じて文法プリントや追加の reading 問題を配布し、リーディングの基礎を固めていきたい。

【到達目標】
とくに Part III のように会話の流れと設問が前後するような問題でも、聞きながら情報を整理して、回答できるようにする。
Reading part では、設問から記事のポイントを押さえて、重要点を探せるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
予習としてテキスト各ユニットの重要単語を使ったボキャブラリークイズ、テキストのリスニングおよびリーディングパートの解答を毎回提出してもらい、平常点とします。そのほかに Idiom の復習プリントを配布します。授業ではテキストの解説を行い、その際に質問等のフィードバックをします。課題を授業支援システムを通じて提出していただいた場合は、支援システムでフィードバックを行います。大学の行動方針レベルが 2 となった場合、この授業は原則としてオン林で行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	U.1 Sightseeing / Guide Tour	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。主語と述語動詞に注意する。
2	U.2 Restaurant	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。人称の単数・複数に注意。
3	U.3 Hotel / Service	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。動詞の時制に注意する。idiom review プリントを配布。
4	U.4 Employment	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。動詞の種類に注意。
5	U.5 Entertainment	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。形容詞用法分詞を復習する。
6	U.6 Shopping / Purchases	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。文の要素に注意する。Idiomu Review プリントを配布する。
7	U.7 Sports / Health	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。補語と目的語に注意する。
8	U.8 Doctor's Office / Pharmacy	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。接続詞の用法に注意する。
9	U.9 Hobbies /Art	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。接続詞の使い方。idiom review プリントを配布。
10	U.10 Education / Schools	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。関係詞に注意する。
11	U.11 Technology / Office Supplies	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。比較級と最上級に注意する。
12	U.12 Transportation	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。仮定法と倒置に注意する。idiom review プリントを配布。
13	U.13 Travel / Airport U.14 Housing / Construction	ボキャブラリークイズとテキスト問題のチェック。不定詞と動名詞の使い方に注意する。
14	Review of Autumn Term Mini Test	学期のまとめ Mini Test の解答を提出する。 Idiomu Review プリントを配布。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【本授業の準備・復習時間は併せて 1 時間を標準とする。】毎回ボキャブラリークイズを行い、テキストの解答も提出してもらいます。事前にテキストの問題にしっかり目を通し、難解な語彙・語法をチェックしておいて下さい。また listening part のスクリプトを配布しますので、出版社のホームページから音声ファイルをダウンロードして、予習に役立ててください。また、テキストの問題に使われている熟語を復習する idiom review のプリントを宿題として配布し、提出してもらいます。（これらも評価点に含まれます。）

【テキスト（教科書）】
Progressive Strategy for the TOEIC L & R Test (成美堂 2000 円)

【参考書】
特に指定しない

【成績評価の方法と基準】
授業時の提出物 80 %、期末試験 20 %として評価する。
提出物には各ユニットのボキャブラリークイズ、テキスト問題の解答、宿題として idiom review のプリントが含まれる。
平常の提出物の評価割合が大きいので、欠席しないよう気をつけましょう。4 回以上欠席した場合、評価の対象としません。

【学生の意見等からの気づき】
授業内でできるだけ多くの問題をこなしてもらいたいと考えていますが、もうすこし基本的な文法の復習と説明が必要かと考えています。Listening part の予習の際、何度も繰り返して聞く、スクリプトを参考にして音読する、という練習が必要だと思います。（聞き取るためには発音練習が必要です。）
また、Reading part、特に part VII では速読と重要語句のピックアウトが必要になりますが、予習の際にはきちんと文を読み込む、できれば音読する、という準備が必要ではないかと思います。

【学生が準備すべき機器他】
とくに使用しない。ただし、リスニングパートの音声は各自ダウンロードまたはストリーミング配信を利用して、予習に使用してください。対面での授業時には CD で音声を流しますので、スマートフォン等の通信機器は使用しないでください。

【その他の重要事項】
授業時は辞書を携行してください。
対面授業では、毎回授業の最初にボキャブラリークイズを行います。提出物の点数が平常点となるので、遅刻しないよう注意してください。遅刻した場合、回数に応じて欠席にカウントされます。

【Outline and objectives】
In questions of Part III, the questions do not necessarily come to the order of the topic in the conversation. You have to get the information while listening and check up the choices on the page. Please listen to the listening file repeatedly and get accutomed to the reduction of pronunciation.

LANe200LA

英語検定試験対策Ⅰ

2017 年度以降入学者

飛田　英伸

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
法文営国 1～4 年/レベル 3,4 ※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
TOEIC Listening & Reading Test においてリスニング 275 点以上、リーディング 325 点以上（合計 600 点以上）を獲得できるレベルを目標に、発話や文章の要点を把握する力の向上を図る。

【到達目標】
・英語で何が話されているか、あるいは何が書かれているかをできるだけ早く把握できるようになる。
・発話を聞きながら、あるいは文章を読みながら、話の流れを推測することができるようになる。
・発話や文章の要点を見つけることができるようになる。
・発話の要点をつかむのに必要となる基礎的なリスニング能力を習得する。
・発話や文章の要点をつかむのに必要となる基本的な語彙や文法を習得する。
・ビジネスで使われるような単語や表現を覚える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
＜重要＞この授業は【ハイブリッド型（オンライン＋対面）】です。当面はオンライン授業と対面授業を交互に行う予定ですが、感染の収束が見込まれる場合はオンライン授業の回を対面授業に変更することもあり得ます。なお、オンライン授業では Zoom を使用します。詳細は第 1 回の授業でお伝えします。
ユニット 1 つにつき、2 回の授業を充てる。1 回目の授業は【オンライン授業】とし、教科書の問題を解いて学習支援システムに答案を提出してもらう。2 回目の授業は【対面授業】とし、問題の解説を行う。また、2 回目の授業の最初に、単語（教科書の Vocabulary Check）の確認テストとリスニングの確認（穴埋め）テストを行う。なお、提出した課題等は評点・コメントを付して返却することでフードバックを行う。また、リアクションペーパーの代わりに学習支援システムを使用し、授業でわからなかったところを書いてもらう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	【オンライン（Zoom）】授業の内容・進め方についての説明
2	Unit 1: Restaurant	【オンライン】問題演習
3	Unit 1: Restaurant	【対面】小テスト、解説
4	Unit 2: Department Store	【オンライン】問題演習
5	Unit 2: Department Store	【対面】小テスト、解説
6	Unit 3: Train Station	【オンライン】問題演習
7	Unit 3: Train Station	【対面】小テスト、解説
8	Unit 4: Transportation	【オンライン】問題演習
9	Unit 4: Transportation	【対面】小テスト、解説
10	Unit 5: Post Office	【オンライン】問題演習
11	Unit 5: Post Office	【対面】小テスト、解説
12	Unit 6: Bank	【オンライン】問題演習
13	Unit 6: Bank	【対面】小テスト、解説
14	期末試験	【対面】試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
［予習］教科書の Vocabulary Check を解く。
［復習］教科書の Vocabulary Check の単語を覚える。リスニング音声を聞き、重要な箇所を聞き取れるようにしておく。次回の授業で単語とリスニングの確認テストを行う。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST（石井隆之ほか、成美堂、2020 年、2200 円＋税）

【参考書】
特になし

【成績評価の方法と基準】
平常点（小テスト、受講態度）40%
期末試験 60%
欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位取得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】
今年度は対面授業を設け、受講生同士で議論できるような場を増やしたい。

【学生が準備すべき機器他】
辞書（電子辞書可）。
学習支援システムと Zoom を使用する。対面授業の際には、スマホ、ノートパソコン、タブレット等、授業中に学習支援システムに接続できる機器を持参してほしい。

【その他の重要事項】
リスニングの音声の視聴方法については、教科書を参照のこと。また、第 1 回の授業の際に説明する。
第 1 回の授業は【オンライン（Zoom）】で実施します。なお、授業に関する最新の情報は学習支援システムに掲載するので、そちらも必ず確認してください。

【Outline and objectives】
Students will improve their skills to grasp the key points of the topics spoken or written in English, which will enable them to achieve scores higher than 275 in listening, 325 in reading, and 600 in total.

LANe200LA

英語検定試験対策Ⅱ

2017 年度以降入学者

飛田　英伸

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
法文営国 1～4 年/レベル 3,4 ※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
TOEIC Listening & Reading Test においてリスニング 275 点以上、リーディング 325 点以上（合計 600 点以上）を獲得できるレベルを目標に、発話や文章の要点を把握する力の向上を図る。

【到達目標】
・英語で何が話されているか、あるいは何が書かれているかをできるだけ早く把握できるようになる。
・発話を聞きながら、あるいは文章を読みながら、話の流れを推測することができるようになる。
・発話や文章の要点を見つけることができるようになる。
・発話の要点をつかむのに必要となる基礎的なリスニング能力を習得する。
・発話や文章の要点をつかむのに必要となる基本的な語彙や文法を習得する。
・ビジネスで使われるような単語や表現を覚える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
＜重要＞この授業は【ハイブリッド型（オンライン＋対面）】です。当面はオンライン授業と対面授業を交互に行う予定ですが、感染の収束が見込まれる場合はオンライン授業の回を対面授業に変更することもあり得ます。なお、オンライン授業では Zoom を使用します。詳細は第 1 回の授業でお伝えします。
ユニット 1 つにつき、2 回の授業を充てる。1 回目の授業は【オンライン授業】とし、教科書の問題を解いて学習支援システムに答案を提出してもらう。2 回目の授業は【対面授業】とし、問題の解説を行う。また、2 回目の授業の最初に、単語（教科書の Vocabulary Check）の確認テストとリスニングの確認（穴埋め）テストを行う。なお、提出した課題等は評点・コメントを付して返却することでフードバックを行う。また、リアクションペーパーの代わりに学習支援システムを使用し、授業でわからなかったところを書いてもらう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	【オンライン（Zoom）】授業の内容・進め方についての説明
2	Unit 7: Airport	【オンライン】問題演習
3	Unit 7: Airport	【対面】小テスト、解説
4	Unit 8: Hotel	【オンライン】問題演習
5	Unit 8: Hotel	【対面】小テスト、解説
6	Unit 9: Hospital	【オンライン】問題演習
7	Unit 9: Hospital	【対面】小テスト、解説
8	Unit 10: Events and Performances	【オンライン】問題演習
9	Unit 10: Events and Performances	【対面】小テスト、解説
10	Unit 11: College	【オンライン】問題演習
11	Unit 11: College	【対面】小テスト、解説
12	Unit 12: Office	【オンライン】問題演習
13	Unit 12: Office	【対面】小テスト、解説
14	期末試験	【対面】試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
［予習］教科書の Vocabulary Check を解く。
［復習］教科書の Vocabulary Check の単語を覚える。リスニング音声を聞き、重要な箇所を聞き取れるようにしておく。次回の授業で単語とリスニングの確認テストを行う。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R TEST（石井隆之ほか、成美堂、2020 年、2200 円＋税）

【参考書】
特になし

【成績評価の方法と基準】
平常点（小テスト、受講態度）40%
期末試験 60%
欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位取得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】
今年度は対面授業を設け、受講生同士で議論できるような場を増やしたい。

【学生が準備すべき機器他】
辞書（電子辞書可）。
学習支援システムと Zoom を使用する。対面授業の際には、スマホ、ノートパソコン、タブレット等、授業中に学習支援システムに接続できる機器を持参してほしい。

【その他の重要事項】
リスニングの音声の視聴方法については、教科書を参照のこと。また、第 1 回の授業の際に説明する。
第 1 回の授業は【オンライン（Zoom）】で実施します。なお、授業に関する最新の情報は学習支援システムに掲載するので、そちらも必ず確認してください。

【Outline and objectives】
Students will improve their skills to grasp the key points of the topics spoken or written in English, which will enable them to achieve scores higher than 275 in listening, 325 in reading, and 600 in total.

LANe200LA

英語検定試験対策 I

2017 年度以降入学者

鈴木　理枝

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
法文営国 1～4 年/レベル 2,3 ※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では、TOEIC TEST650 点以上を目標に掲げる学生を対象とする。TOEIC TEST 受験に最低限必要な語彙力と文法の基礎知識の蓄積及び問題演習による解答テクニックの習得を目指す。またビジネスで必要な英語表現を習得して、実践力を養うことを目的とする。

【到達目標】
・TOEIC TEST を受験して、650 点以上を獲得する。
・社会で英語を使用して働けるように、基本表現を身につける。
・ビジネスに関連する語彙、表現を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
TOEIC 試験に関連するテキストを使用する。各 Unit 毎に TOEIC 試験に出題されるトピックに出てくる語彙と表現を学ぶ。学び方として、通訳訓練法の'Quick Response'、'Shadowing'、'Repeating'、'Slash Reading' を用い、訓練していく。ペアワーク、発表中心の演習授業になるため、積極的に参加できる学生の履修を希望する。授業内での発表に対して、口頭でフィードバックする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス 自己紹介ゲーム	授業の目的、目標、進め方、成績のつけ方について解説する。自己紹介ゲーム。
2	Unit 1 人物の動作表現 Part 1	Vocabulary Training Point 解説 Dictation Training for the TOEIC TEST
3	Unit 1 品詞・代名詞の練習問題 Part 5	通訳訓練法を用いて、通訳練習 Quick Response, Shadowing, Slash Reading 発表
4	Unit 2 疑問詞で始まる疑問文 Part 2	Vocabulary Training Point 解説 Dictation Training for the TOEIC TEST
5	Unit 2 態・分詞の練習問題 Part 5	Vocabulary Training Point 解説 Dictation Training for the TOEIC TEST
6	Unit 3 店・ホテルでの会話 Part 3	Training Point 解説 Dictation Training for the TOEIC TEST
7	Unit 3 読解の基礎を身につける Part 7	Vocabulary Training Point 解説 Dictation Training for the TOEIC TEST
8	Unit 4 留守番電話 part 4	Training Point 解説 Dictation Training for the TOEIC TEST
9	Unit 4 詳細情報を特定する Part 7	Vocabulary Training Point 解説 Dictation Training for the TOEIC TEST
10	Unit 5 物に関する描写問題 Part 1	Training Point 解説 Dictation Training for the TOEIC TEST
11	Unit 5 話の展開を読み取る Part 7	Vocabulary Training Point 解説 Dictation Training for the TOEIC TEST
12	Part 6 Yes/No 疑問文・選択疑問文 Part 2	Vocabulary Dictation Training Point 解説 Training for the TOEIC TEST
13	Part 6 接続詞・前置詞問題 Part5	通訳訓練法を用いて、通訳練習 Quick Response, Shadowing Slash Reading 発表
14	期末試験 正答解説	期末試験 正答解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
受講するにあたって、必ず予習して授業に臨むこと。
辞書を持参すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『Mastery Drills for The TOEIC L&R Test』All in One Advanced Target 650
Koji Hayakawa
Kirihara Shoten, 2019
1,850 円＋税

【参考書】
TOEIC テスト公式問題集　新形式問題対応編

【成績評価の方法と基準】
平常点： 40%　授業への積極的参加、発表の結果。他に授業中に実施する実践的な練習問題についても回収して平常点に加える。
期末試験： 60%（TOEIC テスト形式）
欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位習得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】
発表中心の双方向の授業に対して、学生からの高評価をもらい、今後も英語力と同時に積極性を身につける授業を展開していく。

【Outline and objectives】
This class targets the students who want to get more than 650 points for the TOEIC Test. The aim of the course is to acquire the Reading and Listening skills for the TOEIC test. Students will learn the basic knowledge of vocabulary and grammar which is necessary for the test. Also students will learn the practical business English expressions.

LANe200LA

英語検定試験対策Ⅱ

2017 年度以降入学者

鈴木　理枝

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
法文営国 1～4 年/レベル 2,3 ※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
前期に続き、この授業では TOEIC TEST で 650 点以上を目標に、このレベルに必要とされる知識の蓄積と、問題演習による解答テクニックの習得を目指す。社会で必要とされる知識を身につける。また、ビジネスで必要な実践的な英語表現を習得することを目的とする。

【到達目標】
・TOEIC TEST を受験して、650 点以上を獲得する。
・社会で英語を使用して働けるように、基本表現を身につける。
・ビジネスに関連する語彙、表現を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
TOEIC 試験に関連するテキストを使用する。各 Unit 毎に TOEIC 試験に出題されるトピックに出てくる語彙と表現を学ぶ。学び方として、通訳訓練法の'Quick Response'、'Shadowing'、'Repeating'、'Slash Reading' を用い、訓練していく。ペアワーク、発表中心の演習授業になるため、積極的に参加できる学生の履修を希望する。授業内での発表に対して、口頭でフィードバックする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス Unit 5 物に関する描写	授業内容、進め方について説明する。 Vocabulary Training Point 解説 Exercise を解く
2	Unit 5 話の展開を読み取る	Training Point 解説 Exercise を解く
3	Unit 6 Yes/No 疑問文・選択疑問文	Vocabulary Training Point 解説 Exercise を解く
4	Unit 6 接続詞・前置詞	Vocabulary Training Point 解説 Training for the TOEIC TESTExercise を解く
5	スピーチの通訳練習	通訳訓練法を用いて、通訳練習をする。発表。
6	Unit 7 日常生活における会話	Training Point 解説 Training for the TOEIC TEST Exercise を解く
7	Unit 7 内容は悪問題に挑戦する。	Vocabulary Training Point 解説 Exercise を解く
8	Unit 8 アナウンス・宣伝	Training Point 解説 Dictation Training for the TOEIC TEST
9	Unit 8 語彙問題・その他	Vocabulary Training Point 解説 Exercise を解く
10	Unit 9 ステートメント・付加疑問文	Training Point 解説 Dictation Training for the TOEIC TEST
11	Unit 9 時勢・代名詞・語彙	Vocabulary Training Point 解説 Training for the TOEIC TEST Exercise を解く
12	Unit 10 オフィスでの会話	Training Point 解説 Dictation Exercise を解く
13	Unit10 マルチプルパッセージ（2 つの文書）	Vocabulary Training Point 解説 Training for the TOEIC TEST Exercise を解く
14	期末試験 正答解説	期末試験 正答解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
受講するにあたって、必ず予習して授業に臨むこと。
辞書を持参すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『Mastery Drills for The TOEIC L&R TEST』All in One Advanced
Koji Hayakawa
kirihara Shoten, 2019
1,850 円＋税

【参考書】
TOEIC テスト公式問題集　新形式問題対応編

【成績評価の方法と基準】
平常点： 40%　授業への積極的参加、発表の結果。他に授業中に実施する実践的な練習問題についても回収して平常点に加える。
期末試験： 60%（TOEIC テスト形式）
欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位習得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】
発表中心の双方向の授業に対して、学生からの高評価をもらい、今後も英語力と同時に積極性を身につける授業を展開していく。

【Outline and objectives】
Continuing from the previous term, this class targets the students who want to get more than 650 points for the TOEIC Test. The aim of the course is to acquire the Reading and Listening skills for the TOEIC test. Students will learn the basic knowledge of vocabulary and grammar which is necessary for the test. Also students will learn the practical business English expressions.

LANe200LA

英語検定試験対策Ⅰ

2017 年度以降入学者

高橋　佳江

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**1 単位**
法文営国 1～4 年/レベル 2,3 ※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
TOEIC(R)650 点を目標として、文法事項、リスニングを中心として学んでいく。従って、予習することが前提となるが、復習に重点を置いてもらいたい。特に、リスニングは毎日自宅学習すること。自分で勉強計画を立て、成果がわかるよう、最低 1 回は受験して、勉強計画を修正する。また、その結果をレポートにまとめる。そのためには、できれば通年受講が望ましい。
この授業を受講する学生は、必ず第一回目の授業に出席すること。

【到達目標】
大学生の TOEIC(R) 全国平均（400 点台後半）以上の点を最低取れるようにして、実際に 500 点台の英単語を書けるようにしていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
毎回自発的に発言してもらい、また、こちらからも、適宜、発表を求める。従って、毎回必ず予習することを前提として、復習に重点をおいてもらいたい。教科書のほかに辞書（電子辞書可）、授業用ノートを必ず持ってくること。また、授業用ノートのほかに、自宅学習用の単語帳、練習帳を用意すること。
対面授業の際はその都度コメントを、またオンラインの場合は Hoppii にてフィードバックを行う。
クラスの定員（およそ 30 名）以上になる場合は受講の必要度を考慮して選抜することがあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の進み方を詳しく説明していく
2	文法説明 第 1 課	TOEIC(R) で必要とする基礎的文法の説明
3	第 1 課 芸術と娯楽	リスニング 美術館などでの会話 音の脱落 文中の [h], 語尾の [t], [p] など
4	第 1 課 芸術と娯楽	リーディング 名詞＆代名詞
5	第 2 課 ランチとパーティ	第 1 課小テスト リスニング ランチ、ディナー、パーティなどでの会話 [there is, come in, turn on] などに見られるリンキング
6	第 2 課 ランチとパーティ	リーディング 形容詞＆冠詞
7	第 3 課 医療と健康	第 2 課小テスト リスニング 健康問題、病院などでの会話 [call on, drop in, make up, nput on] などに見られる子音と母音の連結
8	第３課 医療と健康	リーディング 副詞
9	第４課 交通と旅行	第 3 課小テスト リスニング 電車・バスなどでの会話 [did you, meet you, miss you, as you know] などに見られる音の混合
10	第４課 交通と旅行	リーディング 比較
11	第５課 注文と輸送	第 4 課小テスト リスニング 郵便局やネットショッピングなどでの会話 [twenty, butter, got to] などに見られる [t 音] の変化
12	第５課 注文と輸送	リーディング 動詞＆時制
13	第６課 工場と製造	第 5 課小テスト リスニング 工場や製造に関する会話
14	授業時試験	授業で学んだことを試験する。まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
リスニング（教科書付属の CD その他）
自分で単語帳を作って英単語を覚える

【テキスト（教科書）】
Essential Approach For The TOEIC L&R TEST　成美堂
2,000 円
ISBN978-4-7919-7189-3

【参考書】
学校語彙で学ぶ TOEIC テスト [単語集]
成美堂（1700 円）

【成績評価の方法と基準】
期末試験　80 %　小テスト　10 %　レポート課題･発言点　10 %。
欠席する場合は、必ず諸届けを提出すること。遅刻は 3 回で欠席 1 回に換算される。各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。
※今年は異例の授業設定ですので、教室での授業が行われない場合は、4 回以上の課題提出の合算にて評価します。
平常授業が行われる場合は、シラバスに記入されている方法にて評価を行う予定です。

【学生の意見等からの気づき】
オンラインでの質問等への対応を早めに行う。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to acquire the reading and listening skils for the TOEIC L&R Test. Students will learn the basic knowledge of vocabulary and grammar which is necessary for the TOEIC TEST.

LANe200LA

英語検定試験対策Ⅱ

2017 年度以降入学者

鈴木　理枝

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**1 単位**
法文営国 1～4 年/レベル 2,3 ※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
前期に続き、この授業では TOEIC TEST で 650 点以上を目標に、このレベルに必要とされる知識の蓄積と、問題演習による解答テクニックの習得を目指す。社会で必要とされる知識を身につける。また、ビジネスで必要な実践的な英語表現を習得することを目的とする。

【到達目標】
・TOEIC TEST を受験して、650 点以上を獲得する。
・社会で英語を使用して働けるように、基本表現を身につける。
・ビジネスに関連する語彙、表現を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
TOEIC 試験に関連するテキストを使用する。各 Unit 毎に TOEIC 試験に出題されるトピックに出てくる語彙と表現を学ぶ。学び方として、通訳訓練法の'Quick Response'、'Shadowing'、'Repeating'、'Slash Reading' を用い、訓練していく。ペアワーク、発表中心の演習授業になるため、積極的に参加できる学生の履修を希望する。授業内での発表に対して、口頭でフィードバックする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス Unit 5 物に関する描写	授業内容、進め方について説明する。 Vocabulary Training Point 解説 Exercise を解く
2	Unit 5 話の展開を読み取る	Training Point 解説 Exercise を解く
3	Unit 6 Yes/No 疑問文・選択疑問文	Vocabulary Training Point 解説 Exercise を解く
4	Unit 6 接続詞・前置詞	Vocabulary Training Point 解説 Training for the TOEIC TESTExercise を解く
5	スピーチの通訳練習	通訳訓練法を用いて、通訳練習をする。発表。
6	Unit 7 日常生活における会話	Training Point 解説 Training for the TOEIC TEST Exercise を解く
7	Unit 7 内容は悪問題に挑戦する。	Vocabulary Training Point 解説 Exercise を解く
8	Unit 8 アナウンス・宣伝	Training Point 解説 Dictation Training for the TOEIC TEST
9	Unit 8 語彙問題・その他	Vocabulary Training Point 解説 Exercise を解く
10	Unit 9 ステートメント・付加疑問文	Training Point 解説 Dictation Training for the TOEIC TEST
11	Unit 9 時勢・代名詞・語彙	Vocabulary Training Point 解説 Training for the TOEIC TEST Exercise を解く
12	Unit 10 オフィスでの会話	Training Point 解説 Dictation Exercise を解く
13	Unit10 マルチプルパッセージ（2 つの文書）	Vocabulary Training Point 解説 Training for the TOEIC TEST Exercise を解く
14	期末試験 正答解説	期末試験 正答解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
受講するにあたって、必ず予習して授業に臨むこと。
辞書を持参すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『Mastery Drills for The TOEIC L&R TEST』All in One Advanced
Koji Hayakawa
kirihara Shoten, 2019
1,850 円＋税

【参考書】
TOEIC テスト公式問題集　新形式問題対応編

【成績評価の方法と基準】
平常点： 40%　授業への積極的参加、発表の結果。他に授業中に実施する実践的な練習問題についても回収して平常点に加える。
期末試験： 60%（TOEIC テスト形式）
欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位習得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】
発表中心の双方向の授業に対して、学生からの高評価をもらい、今後も英語力と同時に積極性を身につける授業を展開していく。

【Outline and objectives】
Continuing from the previous term, this class targets the students who want to get more than 650 points for the TOEIC Test. The aim of the course is to acquire the Reading and Listening skills for the TOEIC test. Students will learn the basic knowledge of vocabulary and grammar which is necessary for the test. Also students will learn the practical business English expressions.

LANe200LA

Oral Communication Ⅰ

2017 年度以降入学者

板橋　美也

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
環 2〜4 年/Intermediate **※定員制**

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
英語で会話を続けられるようになろう

【到達目標】
この授業は、英語の文法を知っていても実際の会話でそれを十分活かすことができなかったり語彙数が少なかったりするために、英語での会話が長続きしない、という問題を克服し、初歩的な文型や語彙を用いながら英語での会話を続けるための様々な方法を習得することを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
この授業はオンライン (リアルタイム配信型) です。すべての回を Zoom で実施します。
教科書や様々なアクティビティを通して、英語での会話を円滑に進めるための方法を学びます。また、クラスメート同士の友好な関係の中で臆せず会話をすることができるように、ペア・ワークやグループ・ワークを通して英語を話す機会を設けます。その際、様々な相手と会話ができるように配慮して、毎回教員がペアやグループを指定します。
課題提出後の授業、または学習支援システムにおいて、提出された課題からいくつかポイントを取り上げ、全体に対してフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の進め方についての説明。
2	教科書 Unit 1: Tell me more!	会 話で質問を受けたときに Yes. や No. の一言だけで終わらせないよ うにするための練習をします。
3	教科書 Unit 2: Ask for more!	相手の発言に対し、さらに質問をして会話を続ける練習をします。
4	教科書 Unit3: Give me a sign!	相手の発言に対する様々な相づちの表現を練習します。
5	まとめ（1）	ここまで学んだ内容を、アクティビティや補足教材を通しておさらいします。
6	教科書 Unit 5: Are you with me?	相手の発言に賛成・反対の意向を示す練習をします。
7	教科書 Unit 6: How sure are you?	発言内容の確信度を示す様々な表現の練習をします。
8	教科書 Unit 8: In other words	自分または相手が知らない単語を別の単語で置きかえて話す練習をします。
9	まとめ（2）	ここまで学んだ内容を、アクティビティや補足教材を通しておさらいします。
10	教科書 Unit 9: Making it up!	使いたい語を知らない、または忘れてしまったときに、知っている言葉を用いて造語することで伝える練習をします。
11	教科書 Unit 10: Describe it!	伝えたい語を知らないときに、複数のフレーズを用いて説明する練習をします。
12	教科書 Unit 11: Say it another way	伝えたい内容が相手に伝わらなかったときに、別の文で伝える練習をします。
13	全体まとめ	1 学期間を通して学んだ内容を、アクティビティや補足教材などを通してお さらいします
14	期末試験	授業でおぼえた表現方法を用いた試験を行います。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
この授業は毎回の積み重ねで会話のスキルを身に着けていくので、授業で覚えた表現方法を毎回よく復習して、次回以降の授業でも活 かすことができるようにしましょう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
Tell Me More! (Macmillan Languagehouse)

【参考書】
必要に応じて指示します。

【成績評価の方法と基準】
授業への取り組みの積極度 (70%) と期末試験 (30%) から総合的に評価します。欠席 4 回で単位取得資格を失いますが、その回数に至らなくても、欠席回数が多くなればその分授業への取り組みの評価に影響します。期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失います。

【学生の意見等からの気づき】
英語を楽しんでいただけて、うれしいです。

【Outline and objectives】
Learning English language skills to keep a conversation going

LANe200LA

Oral Communication Ⅱ

2017 年度以降入学者

板橋　美也

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
環 2〜4 **年**/Intermediate **※定員制**

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
英語で語ることができるようになろう

【到達目標】
私たちは日常生活で知らず知らずのうちに、自分の経験したこと、見たこと、聞いたことについて、様々な「お話」を語っていますが、同じことを英語でできたら楽しいと思いませんか。この授業は、初歩的な文型や語彙を用いながら英語で「お話」を語るための様々な方法を習得することを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
この授業はオンライン (リアルタイム配信型) です。すべての回を Zoom で実施します。
教科書や様々なアクティビティを通して、自分の経験したこと、見たこと、聞いたことについて英語で話す方法を学びます。クラスメート同士の友好な関係の中で臆せず会話をすることができるように、ペア・ワークを通して英語を話す機会を設けます。その際、様々な相手と会話ができるように配慮して、毎回教員がペアを指定します。また、各 Unit でポイントとなる発音が含まれる短いフレーズを、教員による説明を踏まえて各自発音練習し、練習の成果をスマートフォン・PC 等で録音して提出します。提出の仕方については、第 1 回のガイダンスで説明します。
課題提出後の授業、または学習支援システムにおいて、提出された課題からいくつかポイントを取り上げ、全体に対してフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	授業の進め方についての説明。
第 2 回	教科書 Unit 1: Talking about movies 教科書	自分が観た映画のあらすじについて話す練習をします。
第 3 回	教科書 Unit 2: My little accident	自分のついていなかった経験について話す練習をします。
第 4 回	教科書 Unit 3: was so embarrassed	ある出来事について自分がどのように感じたのかを話す練習をします。
第 5 回	教科書 Unit 4: It made me feel so good	楽しかった出来事について話す練習をします。
第 6 回	教科書 Unit 5: That must have been disappointing	相手の話に関心を持っていることを示す相づちの練習をします。
第 7 回	中間まとめ	ここまで学んだ内容を、アクティビティや補足教材を通しておさらいします。
第 8 回	教科書 Unit 6: I know what you mean	相手の話にコメントをしたり自分の話を付け加えたりする練習をします。
第 9 回	教科書 Unit 7: The day everything went wrong	良くないことが次から次へと起こった経験について話す練習をします。
第 10 回	教科書 Unit 8: We used to have so much fun	子供時代の出来事について話す練習をします。
第 11 回	教科書 Unit 9: She's a brave girl, isn't she?	身の回りの人たちについて話す練習をします。
第 12 回	教科書 Unit 10: Oh, talking about …	会話に何か話をつけ足したり、知らない単語を説明したりする練習をします。
第 13 回	全体まとめ	１学期間通して学んだ内容を、アクティビティや補足教材を通しておさらいします。
第 14 回	期末試験	授業でおぼえた表現方法を用いた試験を行います。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎週、指定されたテーマ（自分の様々な経験について）で、簡単な作文を英語で書いてきてください。その作文の内容が、その週のレッスンで会話をする際の材料になります。本授業の準備学習・復習時間は、各 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Tell Me Your Stories (Macmillan Languagehouse)

【参考書】
必要に応じて指示します。

【成績評価の方法と基準】
授業への取り組みの積極度 (70%) と期末試験 (30%) から総合的に評価します。欠席 4 回で単位取得資格を失いますが、その回数に至らなくても、欠席回数が多くなればその分授業への取り組みの評価に影響します。期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失います。

【学生の意見等からの気づき】
英語を楽しんでいただけて、うれしいです。

【学生が準備すべき機器他】
発音の録音・提出のためのスマートフォン・PC 等の機器やオンライン環境を準備してください。

【その他の重要事項】
前学期の「Oral Communication I」を取っていなくても受講可能です。

【Outline and objectives】
Learning English language skills to tell stories about yourself

LANe200LA

Oral Communication Ⅰ

2017 年度以降入学者

R．G．ジェイムズ

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**土** 1/Sat.1
単位数：**1 単位**
環 2〜4 **年**/Intermediate **※定員制**

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
To promote the development of communication skills in English

【到達目標】
To promote the ability of students to interact in English and discuss a wide range of non-specialists topics as they relate to their own experience and opinions.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
Lessons are topic-based. Each week students will share experiences and opinions about a topic introduced by the teacher by weekly worksheets, with feedback from the teacher on student answers. Questions will be both direct or discussion-based.
This class will be online. Worksheets will be uploaded weekly to Hoppii and classes will be conducted over Zoom)

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Lesson 1	Introduction	Description of the course. Mini-lesson or placement test depending on student numbers.
Lesson 2	Family	Discuss family, family life and family members. Task: Pros and cons of living alone
Lesson 3	Friends	Discuss friends from different stages of life. Task: Assessing friendship
Lesson 4	House and Home	Discuss houses, homes and locations. Task: Deciding on a place for a permanent home.
Lesson 5	Transportation	Discuss travel and transport for work and leisure Task: Assessing Japanese public transport.
Lesson 6	Restaurants	Eating out; restaurant dishes, public smoking, cost and recommendation: Task: where to take foreign visitor.
Lesson 7	Mid-term test	Prepare a speech describing your personal lifestyle
Lesson 8	Mid-term test	Present your speech to students and teacher.
Lesson 9	School life	Discuss student lifestyles and study Task: Assessing a university curriculum
Lesson 10	Media and reading	Discuss personal tastes in clothes and fashion Task: Assess the role and usefulness of uniforms
Lesson 11	Fashion	Discuss personal tastes in clothes and fashion Task: Assess the role and usefulness of uniforms
Lesson 12	Sports	leisure or entertainment Task: Assess the relationship of sports and lifestyle.
Lesson 13	Vacations	Discuss memorable vacations. Task: Exploring ideal vacation places and activities.
Lesson 14	Review and test preparation	Review recent topics and prepare 2nd test speech.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
Students should follow up lessons by compiling notes on each topic that expands on the new vocabulary and useful language they learned in each lesson.University guidelines suggest preparation and review are around 4
hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
Handouts and reading materials will be provided by lecturer

【参考書】
Any topic-based elementary conversational English textbook could be studied in conjunction with the course. For vocabulary study, consider a "smart" flashcard app such as "Anki" available for most desktop and mobile platforms.

【成績評価の方法と基準】
2 x essays: one at mid-term and one end-of-term. These essays will express in further detail your opinions about the topics discussed.
2 x 50% = 100%
In addition, students need to follow campus guidelines for attendance: in principle, no more than three (3) absences are permitted in per semester.

【学生の意見等からの気づき】
The topics discussed are a subset of many that could be used that reflect the interests of young people. Recent changes include discussion of online study material, particularly podcasts, the Olympics and comparisons of Eastern and Western culture.

【学生が準備すべき機器他】
Students will need a Zoom client (app) and headset for online meetings, and to access Hoppii to obtain the weekly uploads.

【その他の重要事項】
Students should check the Hoppii system regularly to obtain any study material necessary for completing weekly tasks.

【Outline and objectives】
By the end of the course, students should be able to speak fairly fluently about themselves and their life as a student.

LANe200LA

Oral Communication Ⅱ

2017 年度以降入学者

R．G．ジェイムズ

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**土** 1/Sat.1
単位数：**1 単位**
環 2〜4 **年**/Intermediate **※定員制**

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
To promote the development of communication skills in English

【到達目標】
To promote the ability of students to interact in English and discuss a wide range of non-specialists topics as they relate to their own experience and opinions.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
Lessons are topic-based. Each week students will share experiences and opinions about a topic introduced by the teacher by weekly worksheets, with feedback from the teacher on student answers. Questions will be both direct or discussion-based.
This class will be online. Worksheets will be uploaded weekly to Hoppii and classes will be conducted over Zoom)

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Lesson 1	Introduction	Description of the course. Mini-lesson or placement test depending on student numbers.
Lesson 2	Movies	Discuss movie genres and favorite examples Task: Movie review.
Lesson 3	Jobs and work	Discuss careers, jobs and job hunting Task: Assessing criteria for choosing a company to work for.
Lesson 4	:Money	Discuss personal uses of money and obtaining it Task: Assess different countries'approach to financing students
Lesson 5	Music	Discuss tastes in music and musical styles Task: Assessing music sources in the digital age.
Lesson 6	Holidays	Discuss national holidays and traditional celebrations Task: Exploring free time and how to use it
Lesson 7	Mid-term test	Prepare a speech giving more detailed opinions about the topics discussed so far.
Lesson 8	Mid-term test	Present your speech to students and teacher, and answer any questions.
Lesson 9	The academic year	Discuss study schedules and time management Task: Pros and Cons of adopting international semester times.
Lesson 10	Traditional and virtual classrooms	Discuss what and how to study. Task: Pros and Cons of traditional school curriculum.
Lesson 11	Alternative energy.	Discuss traditional sources of energy and how they are used Task: Pros and Cons of new and alternative energy sources.
Lesson 12	Crime and safety	Discuss common types of crime in Japan and safety measures. Task: Discuss and decide on appropriate punishment for various crimes.
Lesson 13	Christmas	Discuss Christmas traditions in Japan and elsewhere Task: Selecting and justifying gifts and gift-giving.
Lesson 14	Review and test preparation	Review recent topics and prepare 2nd test speech again exploring in greater depth any topic of interest.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
Students should follow up lessons by compiling notes on each topic that expands on the new vocabulary and useful language they learned in each lesson.University guidelines suggest preparation and review are around 4
hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
Handouts and reading materials will be provided by lecturer.

【参考書】
Any topic-based elementary conversational English textbook could be studied in conjunction with the course. For vocabulary study, consider a "smart" flashcard app such as "Anki" available for most desktop and mobile platforms.

【成績評価の方法と基準】
2 x essays: one at mid-term, and one at end-of-term. These essays will express you opinion on the topics studied during the preceding weeks.
2 x 50% = 100%
In addition, students need to follow campus guidelines for attendance: in principle, no more than three (3) absences are permitted in per semester.

【学生の意見等からの気づき】
The topics discussed are a subset of many that could be used that reflect the interests of young people. Recent changes include discussion of online study material, particularly podcasts, the Olympics and comparisons of Eastern and Western culture.

【学生が準備すべき機器他】
Students will need a Zoom client (app) and headset for online meetings, and to access Hoppii to obtain the weekly uploads.

【その他の重要事項】
Students should regularly check the Hoppii system to obtain the study material each week.

【Outline and objectives】
By the end of the course, students should be able to speak fairly fluently about themselves and their life as a student.

LANe200LA
English through Movies and Drama Ⅰ
2017 年度以降入学者

平野井　ちえ子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火** 4/Tue.4
単位数：**1 単位**
環 2〜4 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
A Flavor of English: Cinema and Cuisine は、映画の中の食文化について書かれたエッセイ集です。エッセイを精読し、storytelling の基礎力を養います。

【到達目標】
１．楽しみながら英語を読む習慣を身につけます。
２．映画の内容と食文化について理解を深めます。
３．語句や文法の知識を正確に身につけます。
４．自分が書いたり話したりするときのモデルとしてエッセイを活用します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
ハイブリッド型授業です。Zoom によるリアルタイム型オンライン授業を中心に、必要に応じて CALL 教室での対面授業も加えます。円滑な授業展開のため、Zoom では顔出し参加をお願いしています。
＊大学の行動方針レベルの変更に応じた授業形態の詳細は、学習支援システムでお知らせします。
１．単語や文法を確認しながら各課のエッセイを精読します。
２．エッセイの音読の練習をします。
３．映画の見どころを解説します。
４．ショートエッセイを書いてみます。
①個人別フィードバックを行います。
②課題提出後の授業、または学習支援システムにおいて、提出された課題からいくつかポイントを取り上げ、全体に対してもフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	授業の概要を説明します。(受講を希望する人は、必ず初回授業に出席してください。選抜を行う場合もあります。)
第 2 回	Chapter 1: *Kramer vs. Kramer* 『クレイマー、クレイマー』	Daddy's French Toast 時制について学ぶ
第 3 回	Chapter 2: *The Devil Wears Prada* 『プラダを着た悪魔』	New Yorkers' Street Food 比較について学ぶ
第 4 回	Chapter 3: *Super Size Me* 『スーパーサイズ・ミー』	Fast Food and Obesity 動名詞について学ぶ
第 5 回	Chapter 4: *Kamome Shokudo* 『かもめ食堂』	Japanese Cuisine in Finland 分詞について学ぶ
第 6 回	Chapter 5: *The Road Home* 『初恋のきた道』	A Lunchbox Filled with Love 代名詞について学ぶ
第 7 回	Chapter 6: *Notting Hill* 『ノッティングヒルの恋人』	The Last Brownie 仮定法について学ぶ
第 8 回	Chapter 7: *No Reservations* 『幸せのレシピ』	A Recipe for Happiness 接続詞について学ぶ
第 9 回	ショートエッセイの書き方（テーマ編）	どのようなテーマ設定が可能か、全員でディスカッションします。
第 10 回	ショートエッセイの書き方（文章編）	英文エッセイの書き方を指導します。
第 11 回	Chapter 8: *Dear Frankie* 『Dear フランキー』	Fish & Chips with Daddy 不定詞について学ぶ
第 12 回	エッセイ・フィードバック（1）	各自の提出したエッセイについて、個人別にフィードバックします。
第 13 回	エッセイ・フィードバック（2）	各自の提出したエッセイについて、個人別にフィードバックします。
第 14 回	エッセイ・フィードバック（3）	個別の提出課題から抽出したポイントを、全体にフィードバックします。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
テクストの essay reading と exercises は、予習を前提として授業を進めます。本授業の準備・復習時間は、各 1 時間を標準とします。各映画を自主的に鑑賞することが望ましいです。期末に英文エッセイ (300 語〜400 語程度の予定) を書けるよう、スケジュール管理してください。

【テキスト（教科書）】
A Flavor of English: Cinema and Cuisine (Asahi Press)

【参考書】
本橋哲也著『映画で入門カルチュラル・スタディーズ』（大修館書店）

【成績評価の方法と基準】
平常点（50 %）と期末課題（50 %）から総合的に評価します。合計 4 回以上の欠席があった場合、単位の取得はできません。

【学生の意見等からの気づき】
「映画を楽しみながら英語を学べてよかった」、「知っているはずの文法項目でも、抜けていたところに気づけてよかった」、「個別のフィードバックが貴重だった」などと、好評でした。

【学生が準備すべき機器他】
ハイブリッド型授業です。Zoom によるリアルタイム型オンライン授業を中心に、必要に応じて CALL 教室での対面授業も加えます。Zoom でも動画共有を行うので、使用機器（PC 利用のこと）とネットワークの安定性を事前に御確認ください。円滑な授業展開のため、Zoom では顔出し参加をお願いしています。その他、Hoppii と Google Classroom も利用します。また、大学でリアルタイム型オンライン授業を受ける際には、マイク付きのヘッドセットが必要です。

【その他の重要事項】
CALL 教室では飲食厳禁です。皆で利用する機器や教材を大切に扱ってください。

【Outline and objectives】
You will be expected to read intensively essays in *A Flavor of English: Cinema and Cuisine* as a basis for storytelling.

LANe200LA
English through Movies and Drama Ⅱ

2017 年度以降入学者

平野井　ちえ子

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**火** 4/Tue.4
単位数：**1 単位**
環 2〜4 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
A Flavor of English: Cinema and Cuisine は、映画の中の食文化について書かれたエッセイ集です。エッセイを精読し、storytelling の基礎力を養うとともに、自分の考えを英語で伝える練習をします。

【到達目標】
１．楽しみながら英語を読む習慣を身につけます。
２．映画の内容と食文化について理解を深めます。
２．語句や文法の知識を正確に身につけます。
３．自分が書いたり話したりするときのモデルとしてエッセイを活用します。
４．興味深く説得力のあるエッセイを書く練習をします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
ハイブリッド型授業です。Zoom によるリアルタイム型オンライン授業を中心に、必要に応じて CALL 教室での対面授業も加えます。円滑な授業展開のため、Zoom では顔出し参加をお願いしています。
＊大学の行動方針レベルの変更に応じた授業形態の詳細は、学習支援システムでお知らせします。
１．単語や文法を確認しながら各課のエッセイを精読します。
２．エッセイの音読の練習をします。
３．映画の見どころを解説します。
４．ショートエッセイを書いてみます。
①個人別フィードバックを行います。
②課題提出後の授業、または学習支援システムにおいて、提出された課題からいくつかポイントを取り上げ、全体に対してもフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	授業の概要を説明します。(受講を希望する人は、必ず初回授業に出席してください。選抜を行う場合もあります。)
第 2 回	Chapter 9: *Seabiscuit* 『シービスケット』	Hard to Bite, Hard to Ride 受動態について学ぶ
第 3 回	Chapter 10: *Charlie and the Chocolate Factory* 『チャーリーとチョコレート工場』	The Sweetest Treat 疑問詞について学ぶ
第 4 回	Chapter 11: *Everybody's Fine* 『みんな元気』	Coming Together for Christmas Turkey 前置詞について学ぶ
第 5 回	Chapter 12: *The Witch of the West Is Dead* 『西の魔女が死んだ』	Making Strawberry Jam with Grandma 使役動詞・知覚動詞について学ぶ
第 6 回	Chapter 13: *A Simple Life* 『桃さんのしあわせ』	His Favorite Poached Ox Tongue 助動詞について学ぶ
第 7 回	Chapter 14: *A Touch of Spice* 『タッチ・オブ・スパイス』	A Spice for Life 関係代名詞・関係副詞について学ぶ
第 8 回	映画の原作を読んでみる	*Charlie and the Chocolate Factory* の一部を原作（英国児童文学）で読みます。
第 9 回	ショートエッセイの書き方（文章編）	英文エッセイの書き方を指導します。
第 10 回	英語の台詞（1）	公式 Video Clips を用いて、英語の台詞を学びます。
第 11 回	英語の台詞（2）	公式 Video Clips を用いて、英語の台詞を学びます。
第 12 回	エッセイ・フィードバック（1）	各自の提出したエッセイについて、個人別にフィードバックします。
第 13 回	エッセイ・フィードバック（2）	各自の提出したエッセイについて、個人別にフィードバックします。
第 14 回	エッセイ・フィードバック（3）	個別の提出課題から抽出したポイントを、全体にフィードバックします。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
テクストの essay reading と exercises は、予習を前提として授業を進めます。本授業の準備・復習時間は、各 1 時間を標準とします。各映画を自主的に鑑賞することが望ましいです。期末に英文エッセイ (300 語〜400 語程度の予定) を書けるよう、スケジュール管理してください。

【テキスト（教科書）】
A Flavor of English: Cinema and Cuisine (Asahi Press)

【参考書】
本橋哲也著『映画で入門カルチュラル・スタディーズ』（大修館書店）

【成績評価の方法と基準】
平常点（50 %）と期末課題（50 %）から総合的に評価します。合計 4 回以上の欠席があった場合、単位の取得はできません。

【学生の意見等からの気づき】
「映画を楽しみながら英語を学べてよかった」、「知っているはずの文法項目でも、抜けていたところに気づけてよかった」、「個別のフィードバックが貴重だった」などと、好評でした。

【学生が準備すべき機器他】
ハイブリッド型授業です。Zoom によるリアルタイム型オンライン授業を中心に、必要に応じて CALL 教室での対面授業も加えます。Zoom でも動画共有を行うので、使用機器（PC 利用のこと）とネットワークの安定性を事前に御確認ください。円滑な授業展開のため、Zoom では顔出し参加をお願いしています。その他、Hoppii と Google Classroom も利用します。また、大学でリアルタイム型オンライン授業を受ける際には、マイク付きのヘッドセットが必要です。

【その他の重要事項】
CALL 教室では飲食厳禁です。皆で利用する機器や教材を大切に扱ってください。

【Outline and objectives】
You will be expected to read intensively essays in *A Flavor of English: Cinema and Cuisine* as a basis for storytelling and essay writing.

LANe200LA
English through Movies and Drama Ⅰ

2017 年度以降入学者

舟橋　美香

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
環 2〜4 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ヒュー・グラント主演のイギリスのコメディ映画『アバウト・ア・ボーイ』を見て、そのスクリプトと問題の載ったテキストを使い、映画を見てから、CD でスクリプトを聞き、テキストでスクリプトを読み、問題を解くことで、英語の表現を学び、語彙能力をアップし、リスニング能力の向上を目指す。

【到達目標】
映画を見て、英語特有の表現を学び、スクリプトの音源の CD を聞き、リスニング能力を向上させ、内容については、テキストで問題を解き、スクリプトを読むことで、理解を深めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
Zoom で遠隔授業します。毎回、Vocabulary Warm-Up, Phrases を CD を聞いて答え、それから、映画をワンシーン、英語字幕で二回見てから、エクササイズを解き、リスニングの問題の穴埋めをして、Language in Context をしてから、最後にもう一回、その日の映画のシーンを見る。なお、最初のレポート課題と、最後のレポート課題は、Hoppii に提出していただきます。フィードバックは、Hoppii から行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	Zoom でオンラインで授業を行う。詳細は、Hoppii（学修支援システム）を参照してください。テキストの説明、辞書の使い方について説明する。学生さんたちには自己紹介を日本語でしてもらう。カメラとマイクとパソコンの用意をしておいてください。なお、スマートフォンでも Zoom は可能です。教科書はこの日までになるべく買っておいてください。学習支援システム Hoppii にアップされている Youtube の画像を各自見て、簡単な課題に Hoppii で答える。
2	Unit 1 A Boy and a Man 教科書があるという前提で授業する。	Zoom で遠隔授業します。ふたりの男子。テキストの予習復習をする。
3	Unit 2 Will joins SPAT	Zoom で遠隔授業します。ウィル SPAT に入会。テキストの予習復習をする。
4	Unit 3 You Need a Backup	Zoom で遠隔授業します。支えが要るんだ。テキストの予習復習をする。
5	Unit 4 Will and Marcus Become Mates	Zoom で遠隔授業します。ウィルとマーカスの奇妙な友情。テキストの予習復習をする。
6	Unit 5 Marcus's Fashion Makeover	Zoom で遠隔授業します。マーカスを変身させよう。テキストの予習復習をする。
7	Unit 6 Will's First Real Christmas	Zoom で遠隔授業します。初めての本物のクリスマス。テキストの予習復習をする。
8	Unit 7 The Boys Get Crushes	Zoom で遠隔授業します。ふたりが同時に恋をした。テキストの予習復習をする。
9	Unit 8 Lies, Half-truths & Honesty	Zoom で遠隔授業します。「ウソ」と「半端なホント」と「ホントのホント」。テキストの予習復習をする。
10	Unit 9 Marcus's Gift to Mum	Zoom で遠隔授業します。お母さんへの贈り物。テキストの予習復習をする。
11	Unit 10 No Man Is an Island	Zoom で遠隔授業します。人は孤島ではない。テキストの予習復習をする。
12	映画の前半を英語字幕で通しで見る	Zoom で遠隔授業します。前半の復習をする。
13	映画の後半を英語字幕で通しで見る	Zoom で遠隔授業します。後半の復習をする。
14	まとめ レポート	Zoom で遠隔授業します。まとめ復習：授業で説明する課題（レポート）を Hoppii に提出する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。テキストの予習復習をする。予習として、テキストの問題を解き、辞書を引きながらスクリプトに目を通して、注を読んでおく。

【テキスト（教科書）】
Peter Hedges/ Chris Weitz & Paul Weitz, 神谷久美子、Kim R.Kanel 『About a Boy』松柏社

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
各時間の発表、最初のレポートを含む授業への貢献度を５０％、最後の授業のレポートを５０％で採点する。課題未提出、Zoom での授業参加の欠席が４回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】
昨年度アンケートは実施してないので、アンケートは参考になりません。

【学生が準備すべき機器他】
辞書

【Outline and objectives】
Develop English skills through watching a film called*About a Boy*, and learn English expressions and what's going on in the film using its textbook.

LANe200LA
English through Movies and Drama Ⅱ
2017 年度以降入学者

舟橋　美香

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
環 2〜4 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
マイク・ニューエル監督、ヒュー・グラント、アンディ・マクドーウェル主演のイギリスのラブコメディ映画『Four Weddings and a Funeral』を見て、そのスクリプトと問題の載ったテキストを使い、映画を見てから、テキストでスクリプトを読み、問題を解くことで、英語の表現を学び、語彙能力をアップし、リスニング能力の向上を目指す。

【到達目標】
映画を見て、英語特有の表現を学び、リスニング能力を向上させ、内容については、スクリプトを読み、テキストで問題を解くことで、理解を深めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
Zoom で遠隔授業します。予習を前提にした授業を行う。各章のスクリプトと問題をあらかじめ予習している状態で、映画の一部を見て、テキストのスクリプトを読み、問題を解いて理解を深める。なお、最初の課題レポートと、最後のレポート課題は、Hoppii に提出していただきます。フィードバックは、Hoppii から行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	Zoom で遠隔授業します。Hoppii にアップされている映画のトレイラー（Youtube) を各自で見て、それについて、Hoppii に課題レポートを書く。テキストを買っておく。
2	Week 1 Prologue	Zoom で遠隔授業します。Wedding 1 へ。テキストの予習復習をする。
3	Week 2 Reception	Zoom で遠隔授業します。披露宴。テキストの予習復習をする。
4	Week 3 After the reception	Zoom で遠隔授業します。披露宴後。テキストの予習復習をする。
5	Week 4 Wedding 2	Zoom で遠隔授業します。２つ目の結婚式。テキストの予習復習をする。
6	Week 5 Reception	Zoom で遠隔授業します。２つ目の結婚式の披露宴。テキストの予習復習をする。
7	Week 6 A Day Off	Zoom で遠隔授業します。休日。テキストの予習復習をする。
8	Week 7 Wedding 3	Zoom で遠隔授業します。３つ目の結婚式。テキストの予習復習をする。
9	Week 8 Funeral	Zoom で遠隔授業します。葬式。テキストの予習復習をする。
10	Week 9 Wedding 4 (1)	Zoom で遠隔授業します。４つ目の結婚式の前半。テキストの予習復習をする。
11	Week 10 Wedding 4 (2)	Zoom で遠隔授業します。４つ目の結婚式の後半 & Epilogue。テキストの予習復習をする。
12	映画の前半を通しで見る	Zoom で遠隔授業します。映画の前半を通しで見て復習する。テキストの予習復習をする。
13	映画の後半を通しで見る	Zoom で遠隔授業します。映画の後半を通しで見て復習する。テキストの予習復習をする。
14	まとめ　レポート	Zoom で遠隔授業します。まとめ。テキストの最初から最後まで復習しておく。まとめのレポートを書いてもらいます。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。テキストの予習復習をする。予習として、辞書を引きながら、テキストのスクリプトに目を通して、各課の問題を解いておく。

【テキスト（教科書）】
Richard Curtis ed. & notes by Tomoko Otani,『Four Wedding and a Funeral』松柏社

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
最初の授業のレポートに加えて、各時間の発表、授業への貢献度を含めた平常点を５０％、学期末のレポートを５０％で採点する。各課題未提出、欠席が４回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】
昨年はアンケートを実施しておりませんので、アンケートは参考になりません。

【学生が準備すべき機器他】
辞書

【Outline and objectives】
Develop English skills through watching a film called *Four Weddings and a Funeral*, and learn English expressions and what's going on in the film using its textbook.

LANe200LA

TOEIC ® I

2017 年度以降入学者

平野井　ちえ子

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**火** 5/Tue.5
単位数：**1 単位**
環 2〜4 **年**/Intermediate **※定員制**

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
「TOEIC ®って何？」という入門レベルの話題から出発しますが、秋学期授業終了時には、TOEIC ®で問われる分野知識・言語スキルを一通り網羅できるよう、春学期から出題内容・言語スキルを系統的に学んでいきます。

【到達目標】
TOEIC ®の概要を理解しスコアを伸ばすことが目的であることは言うまでもありませんが、その場限りの丸暗記や戦略本位の勉強でなく、いかに長期的視野に立って実用英語の力を養うか、を念頭に授業を運営していきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
ハイブリッド型授業です。Zoom によるリアルタイム型オンライン授業を中心に、必要に応じて CALL 教室での対面授業も加えます。円滑な授業展開のため、Zoom では顔出し参加をお願いしています。
＊大学の行動方針レベルの変更に応じた授業形態の詳細は、学習支援システムでお知らせします。
主として、後述の core text に沿った授業ですが、単なる TOEIC ®形式の問題演習だけでなく、言語知識・スキルが定着しやすいよう、身近な英語リソースの紹介を行いながら、クラス授業を展開します。進度を見計らって、e-learning による個別問題演習や実践力を養う一斉小テストも行う予定です。
学習進度に応じて、個人別フィードバック（Zoom）を行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	春学期・秋学期の概要とレベルの説明。
第 2 回	Unit 1: Travel（名詞を学ぶ）	テキストによる TOEIC ®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第 3 回	Unit 2: Dining Out（形容詞を学ぶ）	テキストによる TOEIC ®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第 4 回	Unit 3: Media（副詞を学ぶ）	テキストによる TOEIC ®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第 5 回	Unit 4: Entertainment（時制を学ぶ）	テキストによる TOEIC ®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第 6 回	Unit 1〜4	復習のためのクイズやタスクと問題演習
第 7 回	Unit 5: Purchasing（主語と動詞の一致を学ぶ）	テキストによる TOEIC ®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第 8 回	Unit 6: Clients（能動態・受動態を学ぶ）	テキストによる TOEIC ®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第 9 回	Unit 7: Recruiting（動名詞・不定詞を学ぶ）	テキストによる TOEIC ®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第 10 回	Unit 8: Personnel（現在分詞・過去分詞を学ぶ）	テキストによる TOEIC ®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第 11 回	Unit 5〜8	復習のためのクイズやタスクと問題演習
第 12 回	問題演習	e-learning による個別問題演習またはタイムキーピングのための小ペーパーテスト
第 13 回	春学期末テストと復習	１２回までの到達度を確認するため、リスニングを含めたテストを行います。テストの前にポイント講義や復習を行います。
第 14 回	春学期の総括	期末テストを返却して徹底解説します。秋学期授業の予告、夏季休暇中の勉強のしかたなどを説明します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
下記 Core text や関連配布プリントの予習を前提として授業を進めます。秋学期 12 月の TOEIC ®本試に向けて、各自自分の学習計画を立てるよう心掛けてください。本授業の準備・復習時間は、各１時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Score Booster for the TOEIC ® L&R Test Intermediate（金星堂）
そのほか、プリント教材

【参考書】
『TOEIC ® テスト公式問題集 新形式問題対応編』(Educational Testing Service)
『U-CAT e-Learning for the TOEIC ® L&R』（朝日出版社）
URL（例）
http://heathrow.com/
https://www.expedia.co.uk/
https://www.ox.ac.uk/gazette/ など。

【成績評価の方法と基準】
平常点（50%）と期末試験（50%）から総合的に評価します。合計 4 回以上の欠席があった場合、単位の取得はできません。

【学生の意見等からの気づき】
2020 年度は全面的に Zoom によるリアルタイム・オンライン授業でしたが、少人数であったうえ、熱心な受講生が多く、たいへん密度の濃い授業展開ができました。

【学生が準備すべき機器他】
ハイブリッド型授業です。Zoom によるリアルタイム型オンライン授業を中心に、必要に応じて CALL 教室での対面授業も加えます。円滑な授業展開のため、Zoom では顔出し参加をお願いしています。使用機器（PC 利用のこと）とネットワークの安定性を事前に御確認ください。その他、Hoppii と Google Classroom も利用します。また、大学でリアルタイム型オンライン授業を受ける際には、マイク付きのヘッドセットが必要です。

【その他の重要事項】
CALL 教室では飲食厳禁です。皆で利用する機器や教材を大切に扱ってください。

【Outline and objectives】
We will start with the introductory topic, 'What it is like the TOEIC ® test?' Our final goal for a series of 'TOEIC(R)I・II' is to acquire knowledge and skills required for improving TOEIC ® scores. We will learn such knowledge and skills systematically from the spring semester.

LANe200LA

TOEIC ®Ⅱ

2017 年度以降入学者

平野井　ちえ子

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**火** 5/Tue.5
単位数：**1 単位**
環 2〜4 年/Intermediate **※定員制**

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期の学習を踏まえて、秋学期はとくにビジネスシーンを意識した内容に取り組みます。秋学期終了時には、TOEIC ®で問われる分野知識・言語スキルを一通り網羅できるよう、系統的に学んでいきます。

【到達目標】
TOEIC ®の概要を理解しスコアを伸ばすことが目的であることは言うまでもありませんが、その場限りの丸暗記や戦略本位の勉強でなく、いかに長期的視野に立って実用英語の力を養うか、を念頭に授業を運営していきます。12 月の TOEIC ®本試は全員に受験していただく予定です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
ハイブリッド型授業です。Zoom によるリアルタイム型オンライン授業を中心に、必要に応じて CALL 教室での対面授業も加えます。円滑な授業展開のため、Zoom では顔出し参加をお願いしています。
＊大学の行動方針レベルの変更に応じた授業形態の詳細は、学習支援システムでお知らせします。
主として、後述の core text に沿った授業ですが、単なる TOEIC ®形式の問題演習だけでなく、言語知識・スキルが定着しやすいよう、身近な英語リソースの紹介を行いながら、クラス授業を展開します。進度を見計らって、e-learning による個別問題演習や実践力を養う一斉小テストも行う予定です。
学習進度に応じて、個人別フィードバック（Zoom）を行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	春学期の学習内容の復習、秋学期の学習計画の説明などを行います。
第 2 回	Unit 8: Personnel（現在分詞・過去分詞を学ぶ）	テキストによる TOEIC ®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第 3 回	Unit 9: Advertising（代名詞を学ぶ）	テキストによる TOEIC ®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第 4 回	Unit 10: Meetings（比較を学ぶ）	テキストによる TOEIC ®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第 5 回	Unit 11: Finance（前置詞を学ぶ）	テキストによる TOEIC ®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第 6 回	Unit 8〜11	復習のためのクイズやタスク
第 7 回	Unit 12: Offices（接続詞を学ぶ）	テキストによる TOEIC ®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第 8 回	Unit 13: Daily Life（前置詞と接続詞の違いを学ぶ）	テキストによる TOEIC ®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第 9 回	Unit 14: Sales & Marketing（関係代名詞を学ぶ）	テキストによる TOEIC ®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第 10 回	Unit 15: Events（語彙の結びつきを学ぶ）	テキストによる TOEIC ®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第 11 回	Unit 12〜15	復習のためのクイズやタスク
第 12 回	問題演習	e-learning による個別問題演習またはタイムキーピングのための小ペーパーテスト
第 13 回	秋学期末テストと復習	１２回までの到達度を確認するため、リスニングを含むテストを行います。テストの前にポイント講義や復習を行います。
第 14 回	秋学期の総括	期末テストを返却して徹底解説します。 12 月の TOEIC ®スコアレポート提出。 個人別学習アドバイスも行います。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
下記 Core text や関連配布プリントの予習を前提として授業を進めます。12 月の TOEIC ®本試に向けて、各自自分の学習計画を立てるよう心掛けてください。本授業の準備・復習時間は、各 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Score Booster for the TOEIC ® L&R Test Intermediate（金星堂）
そのほか、プリント教材

【参考書】
『TOEIC ® テスト公式問題集 新形式問題対応編』(Educational Testing Service)
『U-CAT e-Learning for the TOEIC ® L&R』（朝日出版社）
URL（例）
http://heathrow.com/
https://www.expedia.co.uk/
https://www.ox.ac.uk/gazette/ など。

【成績評価の方法と基準】
平常点 40%、期末テスト 40%、12 月 TOEIC ®本試のスコア（20%）から総合的に評価します。合計 4 回以上の欠席があった場合、単位の取得はできません。

【学生の意見等からの気づき】
2020 年度は全面的に Zoom によるリアルタイム・オンライン授業でしたが、少人数であったうえ、熱心な受講生が多く、たいへん密度の濃い授業展開ができました。

【学生が準備すべき機器他】
ハイブリッド型授業です。Zoom によるリアルタイム型オンライン授業を中心に、必要に応じて CALL 教室での対面授業も加えます。円滑な授業展開のため、Zoom では顔出し参加をお願いしています。使用機器（PC 利用のこと）とネットワークの安定性を事前に御確認ください。その他、Hoppii と Google Classroom も利用します。また、大学でリアルタイム型オンライン授業を受ける際には、マイク付きのヘッドセットが必要です。

【その他の重要事項】
CALL 教室では飲食厳禁です。皆で利用する機器や教材を大切に扱ってください。

【Outline and objectives】
Our final goal for a series of 'TOEIC(R)I・II' is to acquire knowledge and skills required for improving TOEIC ® scores. We will continue to learn such knowledge and skills systematically. Especially in the fall semester, we will focus on a variety of business situations.

LANe200LA

TOEIC ® I

2017 年度以降入学者

板橋　美也

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
環 2〜4 年/Intermediate **※定員制**

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
TOEIC ® でリスニング力・読解力を向上させよう (1)

【到達目標】
TOEIC ® の出題形式に慣れながら英語のリスニング力と読解力を磨き、TOEIC ® スコア向上を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
この授業はオンライン (リアルタイム配信型) です。すべての回を Zoom で実施します。
1 週ごとにリスニングとリーディングのレッスンを交互に行います。教科書の問題演習と解説を行いながら、日本人が苦手とするリスニングのポイントや、読解に必要な文法事項の確認をします。同時に、TOEIC ® の傾向と対策をおさえていきます。
課題提出後の授業、または学習支援システムにおいて、提出された課題からいくつかポイントを取り上げ、全体に対してフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の内容、進め方、TOEIC ® の概要
2	教科書 Lesson 1 Headhunting	「音の消失」を含む英語のリスニング練習 (1)
3	教科書 Lesson 2 The Internet	動詞にまつわる文法事項を確認しながら読解練習
4	教科書 Lesson 3 Weddings	「音の消失」を含む英語のリスニング練習 (2)
5	教科書 Lesson 4 Corporate Culture	時制にまつわる文法事項を確認しながら読解練習
6	教科書 Lesson 5 Music	応答の予測をしながらのリスニング練習
7	教科書 Lesson 6 Movies	形容詞にまつわる文法事項を確認しながら読解練習
8	教科書 Lesson 7 Sightseeing	「音の同化」を含む英語のリスニング練習
9	教科書 Lesson 8 Recruiting	名詞にまつわる文法事項を確認しながら読解練習
10	教科書 Lesson 9 Shopping	「音の短縮」を含む英語のリスニング練習
11	教科書 Lesson 10 Forecasts	分詞構文にまつわる文法事項を確認しながら読解練習
12	教科書 Lesson 11 Customs	「音の連結」を含む英語のリスニング練習
13	教科書 Lesson 12 Crime	不定詞にまつわるにまつわる文法事項を確認しながら読解練習
14	期末試験	授業で勉強した内容に基づいた試験を行います

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎週、授業で学んだ内容をよく復習してください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
Navigator for the TOEIC ® Test (南雲堂)

【参考書】
必要に応じて指示します。

【成績評価の方法と基準】
授業への取り組みの積極度 (70%) と期末試験 (30%) から総合的 に評価します。欠席 4 回で単位取得資格を失いますが、その回数に 至らなくても、欠席回数が多くなればその分授業への取り組みの評 価に影響します。期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失い ます。

【学生の意見等からの気づき】
時間配分に気を付けます。

【Outline and objectives】
Improving your listening and reading skills in English through preparing for TOEIC ® (1)

LANe200LA

TOEIC ®Ⅱ

2017 年度以降入学者

板橋　美也

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
環 2〜4 年/Intermediate **※定員制**

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
TOEIC ®でリスニング力・読解力を向上させよう (2)

【到達目標】
TOEIC ®の出題形式に慣れながら英語のリスニング力と読解力を磨き、TOEIC ®スコア向上を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
この授業はオンライン (リアルタイム配信型) です。すべての回を Zoom で実施します。
1 週ごとにリスニングとリーディングのレッスンを交互に行います。教科書の問題演習と解説を行いながら、日本人が苦手とするリスニングのポイントや、読解に必要な文法事項の確認をします。同時に、TOEIC ®の傾向と対策をおさえていきます。
課題提出後の授業、または学習支援システムにおいて、提出された課題からいくつかポイントを取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の内容、進め方、TOEIC ®の概要
2	教科書 Lesson 13 New Products	「音の連結」を含む英語のリスニング練習
3	教科書 Lesson 14 Global Matters	動名詞にまつわる文法事項を確認しながら読解練習
4	教科書 Lesson15 Health	「無声化する音」を含む英語のリスニング練習
5	教科書 Lesson 16 Parties	時制の一致や主語・動詞の一致にまつわる文法事項を確認しながら読解練習
6	教科書 Lesson 17 Skiing	「有声化する音」を含む英語のリスニング練習
7	教科書 Lesson 18 Travel	関係詞にまつわる文法事項を確認しながら読解練習
8	教科書 Lesson19 Dating	「音の弱化」を含む英語のリスニング練習
9	教科書 Lesson 20 Hospitals	接続詞にまつわる文法事項を確認しながら読解練習
10	教科書 Lesson21 Advertising	音の弱形と強形に注意しながらのリスニング練習
11	教科書 Lesson 22 Opportunities	仮定法にまつわる文法事項を確認しながら読解練習
12	教科書 Lesson 23 Employment	類音語に注意しながらのリスニング練習
13	教科書 Lesson 24 Banking / Finance	否定にまつわるにまつわる文法事項を確認しながら読解練習
14	期末試験	授業で勉強した内容に基づいた試験を行います

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎週、授業で学んだ内容をよく復習してください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
Navigator for the TOEIC ® Test (南雲堂)

【参考書】
必要に応じて指示します。

【成績評価の方法と基準】
授業への取り組みの積極度 (70%) と期末試験 (30%) から総合的 に評価します。欠席 4 回で単位取得資格を失いますが、その回数に 至らなくても、欠席回数が多くなればその分授業への取り組みの評 価に影響します。期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失い ます。

【学生の意見等からの気づき】
時間配分に気を付けます。

【その他の重要事項】
前学期の「TOEIC I」を取っていなくても受講可能です。

【Outline and objectives】
Improving your listening and reading skills in English through preparing for TOEIC ® (2)

LANe200LA

英語検定試験対策Ⅰ

2017 年度以降入学者

青山　恵子

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
環 2〜4 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
このクラスでは英検, TOEFL, IELTS の３種類の英語検定試験内容の紹介と基本演習を行います。「スピーキング・リスニング・リーディング・ライティング」の４つの能力をバランス良く強化するために必要な技能を学びます。

【到達目標】
1 Be able to understand various kinds of texts with accuracy
2 Be able to understand main points of interview and lectures
3 Be able to talk about basic topics
4 Be able to write a multi-paragraphs essay with clear structure

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
＊ The first week's class will be conducted online. Instructions will be given through Hopppii.If the university's action policy level is set to 2, this class will be taught online as a rule. (第1週目の授業はオンラインで実施します。指示は学習支援システム Hoppii で配信します。大学の行動方針レベルが 2 となった場合には、この授業は原則としてオンラインで行います。)
1. Clarifying objectives and goals (学習動機の明確化とゴール設定)
2. Explaining basic formats of three certificate tests and practicing (英検, TOEFL, IELTS 各テスト形式と問題の紹介と演習)
3. TED mini-presentation（視聴してきた TED についてのプレゼンテーション）
4. Submission of assignments and feedback will be on the Learning Management System.（フィードバック等は「学習支援システム」を利用する予定です）

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	Course Orientation	1 Self-introduction and explanation of the course 2 Clarifying objectives and goals
2 回	Introduction to STEP Eiken.	1 Explanation of the basic format of Eiken and practice 2 Listening practice 3 TED mini-presentation
3 回	Eiken practice	1 Practice to identify strength and weaknesses 2 Listening practice 3 Logical reading practice 4 TED mini-presentation
4 回	Eiken practice	1 Intensive listening practice 2 TED mini-presentation
5 回	Eiken practice	1 Learning basic writing structures and analyzing model essays 2 Writing a essay
6 回	Introduction to TOEFL TEST	1 Explanation of the basic format of TOEFL and practice 2 Listening practice 3 TED mini-presentation
7 回	TOEFL practice	1 Practice to identify strength and weaknesses 2 Listening practice 3 Logical reading practice 4 TED mini-presentation
8 回	TOEFL practice	1 Intensive listening practice 2 TED mini-presentation
9 回	TOEFL practice	1 Learning about TOEFL writing tasks 2 Intensive writing practice on task 1 3 Writing an essay
10 回	Introduction to IELTS TEST	1 Explanation of the basic format of IELTS and practice 2 Listening practice 3 TED mini-presentation
11 回	IELTS practice	1 Practice to identify strength and weaknesses 2 Listening practice 3 Logical reading practice 4 TED mini-presentation
12 回	IELTS practice	1 Learning IELTS Speaking Part 2 Intensive speaking practice 3 TED mini-presentation
13 回	IELTS practice	Intensive speaking practice
14 回	Review and Test	Review and test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course (本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします)
1 Weekly speaking home assignments (Online TED watching for mini-presentation)
2 Weekly reading or writing home assignments

【テキスト（教科書）】
Materials will be provided

【参考書】
You will be provided a list of references.

【成績評価の方法と基準】
Attendance and class participation including mini-presentation (30%)
Home assignment (20%)
Final test (50%)
In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.
(各学期欠席が４回以上の場合は、原則として単位修得を認めない)

【学生の意見等からの気づき】
I'm going to increase speaking opportunities than before.

【学生が準備すべき機器他】
Hoppii（学習支援システム）
Electric dictionary (English-English dictionary is necessary)

【Outline and objectives】
The course is for students who would like to improve their English skills through preparation for STEP Eiken, TOEFL and IELTS tests. Students will practice logical reading, effective listening and speaking and well-organized writing skills.

LANe200LA

英語検定試験対策Ⅱ

2017 年度以降入学者

青山　恵子

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
環 2〜4 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
このクラスでは英検, TOEFL, IELTS の３種類の英語検定試験内容の紹介と基本演習を行います。「スピーキング・リスニング・リーディング・ライティング」の４つの能力をバランス良く強化するために必要な技能を学びます。

【到達目標】
1 Be able to understand various kinds of texts with accuracy
2 Be able to understand main points of interview and lectures
3 Be able to talk about basic topics
4 Be able to write a multi-paragraphs essay with clear structure

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
＊ If the university's action policy level is set to 2, this class will be taught online as a rule. Details will be announced via the Learning Management System. (大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンラインで行います。詳細は学習支援システム Hoppii で伝達します。)
1. Clarifying objectives and goals (学習動機の明確化とゴール設定)
2. Explaining basic formats of three certificate tests and practicing (英検, TOEFL, IELTS 各テスト形式と問題の紹介と演習)
3. TED mini-presentation（視聴してきた TED についてのプレゼンテーション）
4. Submission of assignments and feedback will be on the Learning Management System.（フィードバック等は「学習支援システム」を利用する予定です）

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	Course Orientation	1 Self-introduction and explanation of the course 2 Clarifying objectives and goals
2 回	Introduction to STEP Eiken.	1 Explanation of the basic format of Eiken and practice 2 Listening practice 3 TED mini-presentation
3 回	Eiken practice	1 Practice to identify strength and weaknesses 2 Listening practice 3 Logical reading practice 4 TED mini-presentation
4 回	Eiken practice	1 Intensive listening practice 2 TED mini-presentation
5 回	Eiken practice	1 Learning basic writing structures and analyzing model essays 2 Writing a essay
6 回	Introduction to TOEFL TEST	1 Explanation of the basic format of TOEFL and practice 2 Listening practice 3 TED mini-presentation
7 回	TOEFL practice	1 Practice to identify strength and weaknesses 2 Listening practice 3 Logical reading practice 4 TED mini-presentation
8 回	TOEFL practice	1 Intensive listening practice 2 TED mini-presentation
9 回	TOEFL practice	1 Learning about TOEFL writing tasks 2 Intensive writing practice on task 1 3 Writing an essay
10 回	Introduction to IELTS TEST	1 Explanation of the basic format of IELTS and practice 2 Listening practice 3 TED mini-presentation
11 回	IELTS practice	1 Practice to identify strength and weaknesses 2 Listening practice 3 Logical reading practice 4 TED mini-presentation
12 回	IELTS practice	1 Learning IELTS Speaking Part 2 Intensive speaking practice 3 TED mini-presentation
13 回	IELTS practice	Intensive speaking practice
14 回	Review and Test	Review and test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course (本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします)
1 Weekly speaking home assignments (Online TED watching for mini-presentation)
2 Weekly reading or writing home assignments

【テキスト（教科書）】
Materials will be provided

【参考書】
You will be provided a list of references.

【成績評価の方法と基準】
Attendance and class participation including mini-presentation (30%)
Home assignment (20%)
Final test (50%)
In principle, no more than 3 absences per semester are allowed. (各学期欠席が４回以上の場合は、原則として単位修得を認めない)

【学生の意見等からの気づき】
I'm going to increase speaking opportunities than before.

【学生が準備すべき機器他】
Hoppii（学習支援システム）
Electric dictionary (English-English dictionary is necessary)

【Outline and objectives】
The course is for students who would like to improve their English skills through preparation for STEP Eiken, TOEFL and IELTS tests. Students will practice logical reading, effective listening and speaking and well-organized writing skills.

LANe200LA

Business Communication Ⅰ

2017 年度以降入学者

今井　澄子

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**1 単位**
環 2〜4 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
国際ビジネスで使われる英語を学ぶことで、人間関係、および、取引関係を築く上で必要とされるコミュニケーションの取り方を音声、文書の両面で習得する。

【到達目標】
英語で行われる国際ビジネス場面の話題について大まかな理解をもち、口頭および文書でコミュニケーションできるようにする。また、企業内の書類、商業通信文について英和ともに知識を習得し、英語でビジネスをする力を身に着ける。具体的には、基本的なビジネス英語の聴解や読解ができ、英語による口頭表現や E メール、英文レターなど自ら発信する文章を書くことができるようになる。これにより、TOEIC ® Listening/Reading のみならず、TOEIC ® Speaking/Writing にも対応できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
この授業はハイブリッド型です。教室での対面の週とオンデマンドの週があります。詳細は学習支援システムでお知らせします。
商業英語短文の Dictation による Listening 小テストを毎回行う。これらのフィードバックは授業内での解答提示で行う。メイン教材としては、まず TOEIC ®実問題によりビジネス英語に慣れる。日本語訳や問題への解答が中心になるが、これら課題には授業内で解答を提示する。その後に英文書類、E メール作成に進み、Writing は添削指導を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	Academic English と Business English	Business Communication に必要な英語について概説する
第 2 回	Listening 1 TOEIC ® Listening Test	市場 TOEIC ®の Listening 問題
第 3 回	Listening 2 TOEIC ® Grammar 問題1	信用照会先 文法問題を解きながらビジネス英語に慣れる１（文法）
第 4 回	Listening 3 TOEIC ® Grammar 問題2	業歴 文法問題を解きながらビジネス英語に慣れる２（語彙）
第 5 回	Listening 4 TOEIC ® Reading 問題1	取引 読解問題を和訳・解答しながら英語文書に慣れる１（単一文書単語補充）
第 6 回	Listening 5 TOEIC ® Reading 問題2	需要 読解問題を和訳・解答しながら英語文書に慣れる２（単一文書読解）
第 7 回	Listening 6 TOEIC ® Reading 問題3	取扱 読解問題を和訳・解答しながら英語文書に慣れる３（複数文書の関連付け）
第 8 回	Listening 7 TOEIC ® Reading 問題4	代理店 読解問題を和訳・解答しながら英語文書に慣れる４（図表・伝票を含む複数文書）
第 9 回	Listening 8 英文帳票作成	見積 Leave Request Domestic/Oversea Travel Form
第 10 回	Listening 9 社内文書作成	オファー Interoffice Memo Notice
第 11 回	Listening １０ 社交文書作成１	値引 会合連絡への返信英文メール作成
第 12 回	英文電話メモ作成 社交文書作成２	英語電話の聴解と英語による伝言メモ作成 礼状、悔やみ状などの英文レター作成
第 13 回	就職活動文書作成	履歴書作成 応募カバーレター 紹介状・推薦状
第 14 回	期末試験	学習内容に関する筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
和訳担当を割り当てられたときは、必ず自宅で辞書を引くなどして準備する。授業では PC を使ってメールやレターのやりとりをするので、問題や添付ファイル等を受け取り、作業ができるメールアドレスが必要。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
TOEIC ®問題、Dictation 問題、英文レター・メール等の Writing 問題はプリントを使用する。英文伝票・貿易書類作成問題は実際の書式をもとに作成したオリジナル問題。

【参考書】
授業で Writing 例文集、貿易書類サンプル、各種英語文書解説など、必要なプリントを配布するため、特に参考書は指定しない。TOEIC ®や日商ビジネス英語検定試験の受験希望者には、別途参考文献を紹介する。国際ビジネスや貿易英語の基本文献についても、希望者に別途文献を紹介する。

【成績評価の方法と基準】
期末試験６０％、平常点４０％。平常点は授業参加度１０％、リスニング小テスト平均点１０％、課題等２０％を原則とする。よって、評価点は試験６０点、平常点４０点の合計１００点とし、６０％以上の得点で合格。授業始めのリスニング小テスト終了後は遅刻と認めず欠席とし、小テストも０点となる。割り当てられた課題を遂行しない、担当のある日に無断欠席などは課題点がマイナスになり、たいへん不利になる。なお、欠席が４回以上になった者は原則として単位修得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】
英文 Letter, E-mail などを自分で書くのは難しいというご意見をいただいた。こういった書類に不慣れなことが原因なので、形式の説明も行うが、ともかく恐れず臆せず、英語を書けばよい。初めての時は難しく感じても、二度目からはまったく違い、よくできるようになる。また、返信を書くことが多いので、往信である Letter やメールの内容をしっかり把握できていないと自分が何を書くかも決められない。わかりにくいときには往信の日本語訳を渡し、理解してもらってから返信作成に入るようにしたので、どうしても難しいときにはこのような手順を踏む。

【Outline and objectives】
This class develops communication skills in both spoken and written English needed to succeed in international business and enlarge knowledge of the international business world. At the beginning of every class, students take a short exam of dictation of English sentences frequently used in a business correspondence. There are twenty chapters and the chapter themes follow the real trading process such as Inquiry, Quotations, Offers, Discounts, Orders, Contracts, Opening L/C, Insurance, Shipment, Customs Clearance, Drafts, and so on, and students can have a knowledge of international business flow. Additionally, the main part of class has two phases: listening and reading of business related materials in TOEIC ®, and writing business letters and e-mails. The former activity enables students to imagine a business scene and know the basic format of various documents and English expression used in a business world, and based on these knowledge, they try the latter activity — business correspondence. Beginning from writing formats such as "Leave Request," "Cash-advanced Request," "Expense Report," and documents used in import/export, the final step is writing a business letter with a company letterhead and sending/receiving a business e-mail. All these writings are proofread and returned to students.

LANe200LA

Business Communication Ⅱ

2017 年度以降入学者

今井　澄子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**1 単位**
環 2〜4 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
国際ビジネスで使われる英語を学ぶことで、人間関係、および、取引関係を築く上で必要とされるコミュニケーションの取り方を音声、文書の両面で習得する。

【到達目標】
英語で行われる国際ビジネス場面の話題について大まかな理解をもち、口頭および文書でコミュニケーションできるようにする。また、企業内の書類、商業通信文について英和ともに知識を習得し、英語でビジネスをする力を身に着ける。具体的には、基本的なビジネス英語の聴解や読解ができ、英語による口頭表現や E メール、英文レターなど自ら発信する文章を書くことができるようになる。これにより、TOEIC ® Listening/Reading のみならず TOEIC ® Speaking/Writing にも対応できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
この授業はハイブリッド型です。教室での対面の週とオンデマンドの週があります。詳細は学習支援システムでお知らせします。
商業英語短文の Dictation による Listening 小テストを毎回行う。これらのフィードバックは授業内での解答提示で行う。メイン教材としては、まず TOEIC ®実問題によりビジネス英語に慣れる。日本語訳や問題への解答が中心になるが、これら課題には授業内で解答を提示する。その後に英文書類、E メール作成に進み、Writing は添削指導を行う。なお、春学期とは別の問題を使って授業を進めるため、秋学期からの履修も可能で不利は一切ない。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	Business English と TOEIC ®等各種資格試験	Business Communication に必要な英語と TOEIC ®、ビジネス英語検定試験等について解説する
第 2 回	Listening 1 TOEIC ® Listening Test	在庫 TOEIC ®の Listening 問題
第 3 回	Listening 2 TOEIC ® Grammar 問題 1	注文 文法問題を解きながらビジネス英語に慣れる 1(文法)
第 4 回	Listening 3 TOEIC ® Grammar 問題 2	契約 文法問題を解きながらビジネス英語に慣れる 2(語彙)
第 5 回	Listening 4 TOEIC ® Reading 問題 1	信用状 読解問題を和訳・解答しながら英語文書に慣れる 1(単一文書単語補充)
第 6 回	Listening 5 TOEIC ® Reading 問題 2	船腹 読解問題を和訳・解答しながら英語文書に慣れる 2(単一文書読解)
第 7 回	Listening 6 TOEIC ® Reading 問題 3	保険 読解問題を和訳・解答しながら英語文書に慣れる 3(複数文書の関連付け)

第 8 回	Listening 7 TOEIC ® Reading 問題 4	通関 読解問題を和訳・解答しながら英語文書に慣れる 4(図表・伝票を含む複数文書)
第 9 回	Listening 8 英文帳票作成 1	船積 Cash Advanced Payment, Expense Report, Cash Payment Request
第 10 回	Listening 9 英文帳票作成 2	出航 Receipt を使った経費申告
第 11 回	Listening １０ 貿易書類作成	値引 Packing List, Invoice
第 12 回	英語電話メモ作成１ 国際ビジネス文書１	英語電話の聴解と英語による伝言メモ作成１ ビジネス取引に関する英文メール作成
第 13 回	英語電話メモ作成２ 国際ビジネス文書２	英語電話の聴解と英語による伝言メモ作成２ ビジネス取引に関する英文レター作成
第 14 回	期末試験	学習内容に関する筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
和訳担当を割り当てられたときは、必ず自宅で辞書を引くなどして準備する。授業では PC を使ってメールやレターのやりとりをするので、問題や添付ファイル等を受け取り、作業ができるメールアドレスが必要。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
TOEIC ®問題、Dictation 問題、英文レター・メール等の Writing 問題はプリントを使用。英文伝票・貿易書類作成問題は実際の書式をもとに作成したオリジナル問題。

【参考書】
授業で Writing 例文集、貿易書類サンプル、各種英語文書解説など、必要なプリントを配布するため、特に参考書は指定しない。TOEIC ®や日商ビジネス英語検定試験の受験希望者には、別途参考文献を紹介する。国際ビジネスや貿易英語の基本文献についても、希望者に別途文献を紹介する。

【成績評価の方法と基準】
期末試験６０％、平常点４０％。平常点は授業参加度１０％、リスニング小テスト平均点１０％、課題等２０％を原則とする。よって、評価点は試験６０点、平常点４０点の合計１００点とし、６０％以上の得点で合格。授業始めのリスニング小テスト終了後は遅刻と認めず欠席とし、小テストも０点となる。割り当てられた課題を遂行しない、担当のある日に無断欠席などは課題点がマイナスになり、たいへん不利になる。なお、欠席が 4 回以上になった者は原則として単位修得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】
英文 Letter, E-mail などを自分で書くのは難しいというご意見をいただいた。こういった書類に不慣れなことが原因なので、形式の説明も行うが、ともかく恐れず臆せず、英語を書けばよい。初めての時は難しく感じても、二度目からはまったく違い、よくできるようになる。また、返信を書くことが多いので、往信である Letter やメールの内容をしっかり把握できていないと自分が何を書くかも決められない。わかりにくいときには往信の日本語訳を渡し、理解してもらってから返信作成に入るようにしたので、どうしても難しいときにはこのような手順を踏む。

【Outline and objectives】
This class develops communication skills in both spoken and written English needed to succeed in international business and enlarge knowledge of the international business world. At the beginning of every class, students take a short exam of dictation of English sentences frequently used in a business correspondence. There are twenty chapters and the chapter themes follow the real trading process such as Inquiry, Quotations, Offers, Discounts, Orders, Contracts, Opening L/C, Insurance, Shipment, Customs Clearance, Drafts, and so on, and students can have a knowledge of international business flow. Additionally, the main part of class has two phases: listening and reading of business related materials in TOEIC ®, and writing business letters and e-mails. The former activity enables students to imagine a business scene and know the basic format of various documents and English expression used in a business world, and based on these knowledge, they try the latter activity — business correspondence. Beginning from writing formats such as “Leave Request,” “Cash-advanced Request,” “Expense Report,” and documents used in import/export, the final step is writing a business letter with a company letterhead and sending/receiving a business e-mail. All these writings are proofread and returned to students.

LANe200LA

ニュース英語 I

2017 年度以降入学者

塩谷　幸子

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
環 2〜4 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
世界を取り巻く様々な状況を英語で正確に理解して、それを批判的に読み解き、その上で自国の社会や文化についても客観的かつ多面的な視点で捉えることのできる教養豊かな国際人を養成する。

【到達目標】
ニュース英語を正確に読み取る力、聴き取る力を養う。そのために英文を意味のかたまりごとに読み（チャンク・リーディング），ある一定の速度で安定的に読む訓練を行う。音声に合わせて聞き読みをしたり，音読やシャドーイングの練習も行う。リスニング・リーディング力の向上に効果があるシャドーイングの練習には力を入れる。基本文法や語彙の補強も行い、確実に読解力、リスニング力のレベルアップを図る。また、パラグラフの構成を意識して自分の意見を書くことも到達目標の 1 つである。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
授業は教科書を中心に進める。教科書は VOA(Voice of America) Learning English という英語学習者向けのニュース（通常より 3 割程度ゆっくりしたスピードの放送）からなる。これを聞いたり、読んだり、発話練習を行いながら、記事の内容を正確に理解した上で、自分の意見を伝える練習も行う。使用する CALL（コンピュータ支援の語学学習）教室の特性を活かして、様々な学習ツール（グループワーク機能、音声＆文字チャット、音声録音など）を利用しながらクラスメートと共に効率よく学習する。提出課題に対しては、個別またはクラス全体のフィードバックを行う。
大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業方針の説明・プレテスト
第 2 回	Unit 2: Oceans to Hold More Plastic than Fish by 2050 (1)	“For Shadowing “ & “Listening comprehension”
第 3 回	Unit 2: Oceans to Hold More Plastic than Fish by 2050 (2)	“Fill-in-the-blank Quiz”, “Vocabulary”, “Reading Comprehension”
第 4 回	Unit 3: Is Your Plan Sustainable? (1)	“For Shadowing “ & “Listening comprehension”
第 5 回	Unit 3: Is Your Plan Sustainable? (2)	“Fill-in-the-blank Quiz”, “Vocabulary”, “Reading Comprehension”
第 6 回	Unit 4: : Saving Wild Areas May Have Unexpected Results (1)	“For Shadowing “ & “Listening comprehension”
第 7 回	Unit 4: Saving Wild Areas May Have Unexpected Results (2)	“Fill-in-the-blank Quiz”, “Vocabulary”, “Reading Comprehension”
第 8 回	Unit 5: Freedom House: Internet Continues to Become Less Free (1)	“For Shadowing “ & “Listening comprehension”
第 9 回	Unit 5: Freedom House: Internet Continues to Become Less Free (2)	“Fill-in-the-blank Quiz”, “Vocabulary”, “Reading Comprehension”
第 10 回	Unit 6: New Drones Could Improve Weather Predictions (1)	“For Shadowing “ & “Listening comprehension”
第 11 回	Unit 6: New Drones Could Improve Weather Predictions (2)	“Fill-in-the-blank Quiz”, “Vocabulary”, “Reading Comprehension”
第 12 回	Unit 7: Artificial Intelligence: Helpful and Dangerous (1)	“For Shadowing “ & “Listening comprehension”
第 13 回	Unit 7: Artificial Intelligence: Helpful and Dangerous (2) & 発表	“Fill-in-the-blank Quiz”, “Vocabulary”, “Reading Comprehension” & 口頭発表とクラスメートによる評価
第 14 回	期末試験（筆記）	まとめ・ポストテスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
・テキストの予習やシャドーイング練習を続けることによって，自律的な学習習慣を身につけて欲しい。
・ペア・ワークやグループ・ワークを頻繁に行う参加型の授業なので、予習を怠ると授業に参加できないばかりか、他の受講生にも迷惑がかかる。準備学習は授業参加の必須条件である。

【テキスト（教科書）】
Enhance your English Skills with Shadowing VOA Learning English（三修社, 2018) 1700 円（税別）978-4-384-33476-0 C1082

【参考書】
Grammar in Use Intermediate, 3rd Edition (Cambridge U. P., 2010)
Practical English Usage (Oxford U. P., 2005)
その他の参考書については授業時に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】
期末試験（筆記）50 %＋発表 20 %＋提出課題 20 %＋平常点 10 % によって評価する。成績評価は 100 点満点とし、60 点以上を合格点とする。
欠席が 4 回以上になった場合は単位修得の資格を失う（ただし、忌引きや登校停止を必要とする流行性疾患は除く）。遅刻・早退 3 回で欠席 1 回の扱いとする。授業開始後 30 分以上の遅刻、および授業終了 30 分以前の退出は欠席とみなす。

【学生の意見等からの気づき】
リアルタイム配信型の授業を行なった。授業前半は、PC 操作の苦手な学生への対応に時間をとられることが多かったが、後半はスムーズな授業展開ができた。学生同士でスピーキングする時間をできるだけ多く設けるように心がけた。

【学生が準備すべき機器他】
対面授業では、学内ネットワークを利用するので、受講生は ID とパスワードを確認しておく必要がある。Zoom によるリアルタイム配信型の授業では、マイク・カメラのついた PC で参加のこと。なお、大学で Zoom 授業を受ける際にはマイク付きのヘッドセットが必要である。資料配布や課題提出には、大学の授業支援システムだけでなく、担当教員の授業ページも利用する。

【その他の重要事項】
コンピュータを利用して授業を行うが、機器類の使い方については授業時に詳しく説明するので、パソコン操作が苦手な学生でも問題なく受講できる。

【Outline and objectives】
The main focus of this class is to improve students' reading speed and accuracy through phrase reading and oral reading practice. This course will cover a wide range of significant issues confronting the world today. It expects students to gain an increased critical understanding of them in order to become responsible global citizens.
・Students will learn to read and listen efficiently.
・Students will develop critical reading and thinking skills.
・Students will acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English.

LANe200LA

ニュース英語 Ⅱ

2017 年度以降入学者

塩谷　幸子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
環 2〜4 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
世界を取り巻く様々な状況を英語で正確に理解して、それを批判的に読み解き、その上で自国の社会や文化についても客観的かつ多面的な視点で捉えることのできる教養豊かな国際人を養成する。

【到達目標】
ニュース英語を正確に読み取る力、聴き取る力を養う。そのために英文を意味のかたまりごとに読み（チャンク・リーディング），ある一定の速度で安定的に読む訓練を行う。音声に合わせて聞き読みをしたり，音読やシャドーイングの練習も行う。リスニング・リーディング力の向上に効果があるシャドーイングの練習には力を入れる。基本文法や語彙の補強も行い、確実に読解力、リスニング力のレベルアップを図る。また、パラグラフの構成を意識して自分の意見を書くことも到達目標の 1 つである。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
授業は教科書を中心に進める。教科書は VOA(Voice of America) Learning English という英語学習者向けのニュース（通常より 3 割程度ゆっくりしたスピードの放送）からなる。これを聞いたり、読んだり、発話練習を行いながら、記事の内容を正確に理解した上で、自分の意見を伝える練習も行う。使用する CALL（コンピュータ支援の語学学習）教室の特性を活かして、様々な学習ツール（グループワーク機能、音声＆文字チャット、音声録音など）を利用しながらクラスメートと共に効率よく学習する。提出課題に対しては、個別またはクラス全体のフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業方針の説明・プレテスト
第 2 回	Unit 1: Learning How to Ask Questions (1)	“For Shadowing “ & “Listening comprehension”
第 3 回	Unit 1: Learning How to Ask Questions (2)	“Fill-in-the-blank Quiz”, “Vocabulary”, “Reading Comprehension”
第 4 回	Unit 10: Social Media Is Keeping Young Adults Awake (1)	“For Shadowing “ & “Listening comprehension”
第 5 回	Unit 10: Social Media Is Keeping Young Adults Awake (2)	“Fill-in-the-blank Quiz”, “Vocabulary”, “Reading Comprehension”
第 6 回	Unit 12: Scientists Find New Step in Brain Development (1)	“For Shadowing “ & “Listening comprehension”
第 7 回	Unit 12: Scientists Find New Step in Brain Development (2)	“Fill-in-the-blank Quiz”, “Vocabulary”, “Reading Comprehension”

第 8 回	Unit 13: A Child's Growing Brain Needs Love as Much as Food (1)	"For Shadowing " & "Listening comprehension"
第 9 回	Unit 13: A Child's Growing Brain Needs Love as Much as Food (2)	"Fill-in-the-blank Quiz", "Vocabulary", "Reading Comprehension"
第 10 回	Unit 15: Coloring Books Can Cut Stress for Adults (1)	"For Shadowing " & "Listening comprehension"
第 11 回	Unit 15: Coloring Books Can Cut Stress for Adults (2)	"Fill-in-the-blank Quiz", "Vocabulary", "Reading Comprehension"
第 12 回	Unit 18: WHO: 80% of Urban Residents Breathe Unsafe Air (1)	"For Shadowing " & "Listening comprehension"
第 13 回	Unit 18: WHO: 80% of Urban Residents Breathe Unsafe Air (2) & 発表	"Fill-in-the-blank Quiz", "Vocabulary", "Reading Comprehension" & 口頭発表とクラスメートによる評価
第 14 回	期末試験（筆記）	まとめ・ポストテスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
・テキストの予習やシャドーイング練習を続けることによって，自律的な学習習慣を身につけて欲しい。
・ペア・ワークやグループ・ワークを頻繁に行う参加型の授業なので、予習を怠ると授業に参加できないばかりか、他の受講生にも迷惑がかかる。準備学習は授業参加の必須条件である。

【テキスト（教科書）】
Enhance your English Skills with Shadowing VOA Learning English（三修社, 2018) 1700 円（税別）978-4-384-33476-0 C1082

【参考書】
Grammar in Use Intermediate, 3rd Edition (Cambridge U. P., 2010)
Practical English Usage (Oxford U. P., 2005)
その他の参考書については授業時に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】
期末試験（筆記）50 %＋発表 20 %＋提出課題 20 %＋平常点 10 % によって評価する。成績評価は 100 点満点とし、60 点以上を合格点とする。
欠席が 4 回以上になった場合は単位修得の資格を失う（ただし、忌引きや登校停止を必要とする流行性疾患は除く）。遅刻・早退 3 回で欠席 1 回の扱いとする。授業開始後 30 分以上の遅刻、および授業終了 30 分以前の早退は欠席とみなす。オンライン授業になった場合は、Zoom によるリアルタイム配信型の授業を毎週行う予定である。授業時間に参加できなかった場合は欠席扱いとなる。

【学生の意見等からの気づき】
リアルタイム配信型の授業を行なった。少人数ではあったが、熱意のある学生が多かった。学生同士で互いの学習成果をチェックする機会を設けたが、毎回的確なコメントを伝え合っていた。

【学生が準備すべき機器他】
初回授業から学内ネットワークを利用するので、受講生は ID とパスワードを確認しておくこと。資料配布や課題提出には、大学の授業支援システムだけでなく、担当教員の授業ページも利用する。

【その他の重要事項】
コンピュータを利用して授業を行うが、機器類の使い方については授業時に詳しく説明するので、パソコン操作が苦手な学生でも問題なく受講できる。

【Outline and objectives】
The main focus of this class is to improve students' reading speed and accuracy through phrase reading and oral reading practice. This course will cover a wide range of significant issues confronting the world today. It expects students to gain an increased critical understanding of them in order to become responsible global citizens.
・Students will learn to read and listen efficiently.
・Students will develop critical and analytical reading and thinking skills.
・Students will acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English.

LANe200LA

Practical English（オーラル・コミュニケーション）Ａ－Ⅰ

2017 年度以降入学者

RICHARD SHEEHAN

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
キ 1～4 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This course is designed to improve students' listening, speaking and writing skills through a series of in-class activities and outside assignments to allow them to become more competent and confident English communicators.

【到達目標】
Students should be able to communicate in a variety of English speaking situations that they may encounter when living or studying abroad, as well as express their ideas and opinions, both verbally and in writing, in a clear and coherent fashion.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
The class will be conducted online through Zoom, incorporating short lectures supplemented by textbook exercises, class discussions and group activities. Students will be required to share and support their opinions with each other and to prepare a short speech on a given topic. Students will receive feedback and comments on homework assignments and in class activities throughout the term. Students who will be accessing Zoom on campus in the designated classroom should bring a headset (with microphone) to class so as to ensure privacy and minimize disruptions to others.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
Class 1	Class Overview	Explanation of class rules & objectives and self-introductions
Class 2	Textbook unit 1 Extreme Sports	Formulating & supporting opinions
Class 3	Textbook unit 1 Extreme Sports	Group discussion: Pros & cons of hosting the Tokyo Olympics
Class 4	Textbook unit 2 Identity Theft	Asking for and giving advice
Class 5	Textbook unit 2 Identity Theft	Group discussion: Giving advice on how to avoid identity theft
Class 6	Writing Workshop	Writing clear & concise sentences (in-class practice)
Class 7	Textbook unit 3 Space Exploration	Making & confirming predictions
Class 8	Textbook unit 3 Space Exploration	Group discussion: Future of space tourism
Class 9	Textbook unit 4 Being Persuasive	Using logical & emotional appeals
Class 10	Textbook unit 4 Being Persuasive	Group discussion: Comparative advertising (Japan vs. US)
Class 11	Individual Speech	3-5 minute speech on a. What makes you different from other people? or b. What makes Japan different from other countries?
Class 12	Individual Speech	3-5 minute speech on a. What makes you different from other people? or b. What makes Japan different from other countries?
Class 13	Final exam review	Vocabulary & listening practice
Class 14	Final exam (units 1-4)	Online exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students can expect homework each week (approximately 1-2 hours) in terms of reviewing previous class material, reading assignments, and weekly English journal entries to supplement and reinforce key class concepts.

【テキスト（教科書）】
NorthStar 3 Listening & Speaking 4th edition (Pearson)
ISNB 978-0-13-404981-6 (3,564 yen)

【参考書】
None

【成績評価の方法と基準】
30%-Classroom activities
40%-Outside assignments*
30%-Final exam
In principle, no more than 3 absences per term are allowed.
*Assignment 1-Keep a weekly journal of English activities being done outside of class (at least one activity per week)
*Assignment 2-Prepare a 3-5 minute speech on
a. What makes you different from other people? or
b. What makes Japan different from other countries?

【学生の意見等からの気づき】
None

【学生が準備すべき機器他】
Students need to be using a desktop, laptop or tablet computer equipped with a camera and microphone.

【その他の重要事項】
None

【None】
None

【Outline and objectives】
Classes will integrate short lectures with listening exercises and group speaking activities with the aim of improving oral communication skills. Students will also be expected to complete outside reading and writing assignments with the aim of improving their written communication skills.

LANe200LA

Practical English（オーラル・コミュニケーション）Ａ－Ⅱ

2017 年度以降入学者

RICHARD SHEEHAN

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
キ 1～4 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This course is designed to improve students' listening, speaking and writing skills through a series of in-class activities and outside assignments to allow them to become more competent and confident English communicators.

【到達目標】
Students should be able to communicate in a variety of English speaking situations that they may encounter when living or studying abroad, as well as express their ideas and opinions, both verbally and in writing, in a coherent and concise fashion.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
This class will incorporate short lectures supplemented by textbook exercises, class discussions and group activities. Students will be required to share and support their opinions with each other and to prepare a short speech on a given topic. Students will receive feedback and comments on homework assignments and in class activities throughout the term.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
Class 1	Class Overview	Explanation of class rules & objectives and student interview
Class 2	Textbook unit 5 Careers	Using follow-up questions to extend conversations
Class 3	Textbook unit 5 Careers	Job interview role play
Class 4	Textbook unit 6 Tourism	Considering all sides of an issue
Class 5	Textbook unit 6 Tourism	Group simulation (developer / environmental group / local community) on building a new hotel in a developing country
Class 6	Writing Workshop	Writing a well-constructed paragraph with topic and supporting sentences
Class 7	Textbook unit 7 Marriage	Using polite expressions to agree & disagree
Class 8	Textbook unit 7 Marriage	Group discussion: Pros & cons of marriage
Class 9	Textbook unit 8 Climate Change	Analyzing & explaining (presenting) data
Class 10	Textbook unit 8 Climate Change	Group discussion: Ways to address climate change
Class 11	Individual Speech	3-5 minute speech on a. What would you like to change about yourself? or b. What would you like to change about Japan?
Class 12	Individual Speech	-5 minute speech on a. What would you like to change about yourself? or b. What would you like to change about Japan?
Class 13	Final exam review	Vocabulary & listening practice
Class 14	Final exam (units 5-8))	In-class exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students can expect homework each week (approximately 1-2 hours) in terms of reviewing previous class material, reading assignments, and weekly English journal entries to supplement and reinforce key class concepts.

【テキスト（教科書）】
NorthStar 3 Listening & Speaking 4th edition (Pearson)
ISNB 978-0-13-404981-6 (3,564 yen)

【参考書】
None

【成績評価の方法と基準】
30%-Classroom activities
40%-Outside assignments*
30%-Final exam
In principle, no more than 3 absences per term are allowed.
*Assignment 1-Keep a weekly journal of English activities being done outside of class (at least one activity per week)
*Assignment 2-Prepare a 3-5 minute speech on
a. What would you like to change about yourself? or
b. What would you like to change about Japan?

【学生の意見等からの気づき】
None

【学生が準備すべき機器他】
None

【その他の重要事項】
None

【None】
None

【Outline and objectives】
Classes will integrate short lectures with listening exercises and group speaking activities with the aim of improving oral communication skills. Students will also be expected to complete outside reading and writing assignments with the aim of improving their written communication skills.

LANe200LA

Practical English（オーラル・コミュニケーション）Ｂ－Ⅰ

2017 年度以降入学者

RICHARD SHEEHAN

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
キ 1～4 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This course is designed to improve students' listening and speaking skills through a series of in-class activities and outside assignments to allow them to become more competent and confident Business English communicators.

【到達目標】
Students should be able to communicate in a variety of Business English speaking situations that they may encounter in their careers, as well as express their ideas and opinions, both verbally and in writing, in a clear and concise manner

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
The class will be conducted online through Zoom, incorporating short lectures supplemented by textbook exercises, class discussions and group activities. Students will be required to share and support their opinions with each other on a variety of business topics. Students will receive feedback and comments on homework assignments and in class activities throughout the term. Students who will be accessing Zoom on campus in the designated classroom should bring a headset (with microphone) to class so as to ensure privacy and minimize disruptions to others.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
Class 1	Class Overview	Explanation of class rules & objectives and self-introductions
Class 2	Textbook unit 1 Careers	Talking about career plans
Class 3	Textbook unit 1 Careers	Case discussion: YouJuice (textbook)
Class 4	Textbook unit 2 Companies	Describing companies and industries
Class 5	Textbook unit 2 Companies	Case discussion: Dino Conti Ice Cream (textbook)
Class 6	Textbook unit 3 Selling	Discussing shopping habits
Class 7	Textbook unit 3 Selling	Sales role play Selling a pen
Class 8	Textbook unit 4 Great Ideas	Participating in meetings
Class 9	Textbook unit 4 Great Ideas	Meeting role play PB Technologies
Class 10	Textbook unit 5 Stress	Dealing with stress
Class 11	Textbook unit 5 Stress	TED Talk discussion: Positive aspects of stress
Class 12	Textbook unit 6 Entertaining	Making small talk
Class 13	Textbook unit 6 Entertaining	Final exam review
Class 14	Final exam (units 1-6)	Online exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students can expect homework each week (approximately 1-2 hours) in terms of reviewing previous class material and reading assignments to supplement and reinforce key class concepts.

【テキスト（教科書）】
Pre-intermediate Market Leader 3rd edition (Pearson)
ISBN: 978-1-4082-3707-6 (3,500 yen)

【参考書】
None

【成績評価の方法と基準】
30%-Classroom activities
40%-Outside reading assignments
30%-Final exam
In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】
None

【学生が準備すべき機器他】
Students need to be using a desktop, laptop or tablet computer equipped with a camera and microphone.

【その他の重要事項】
None

【None】
None

【Outline and objectives】
Classes will integrate short lectures with listening exercises and group speaking activities with the aim of improving oral business communication skills. Students will also be expected to complete outside reading assignments with the aim of improving their overall business knowledge.

LANe200LA
Practical English（オーラル・コミュニケーション）Ｂ－Ⅱ

2017 年度以降入学者

RICHARD SHEEHAN

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
キ 1〜4 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
This course is designed to improve students' listening and speaking skills through a series of in-class activities and outside assignments to allow them to become more competent and confident Business English communicators.

【到達目標】
Students should be able to communicate in a variety of Business English speaking situations that they may encounter in their careers, as well as express their ideas and opinions in a clear and concise manner.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
This class will incorporate short lectures supplemented by textbook exercises, class discussions and group activities. Students will be required to share and support their opinions with each other on a variety of business topics. Students will receive feedback and comments on homework assignments and in class activities throughout the term

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
Class 1	Class Overview	Explanation of class rules & objectives and self-introductions
Class 2	Textbook unit 7 New Business	Discussing new businesses & business sectors
Class 3	Textbook unit 7 New Business	Case discussion: Shimizu Cycles (textbook)
Class 4	Textbook unit 8 Marketing	Understanding the 4Ps (product / price / place / promotion)
Class 5	Textbook unit 8 Marketing	Case discussion: Wincote International (textbook)
Class 6	Textbook unit 9 Planning	Talking about future plans
Class 7	Textbook unit 9 Planning	Simulation: Planning a new business
Class 8	Textbook unit 10 Managing People	Managing vs. Leading
Class 9	Textbook unit 10 Managing People	TED Talk Bringing out the best in people
Class 10	Textbook unit 11 Conflict	Dealing with conflict in the workplace
Class 11	Textbook unit 11 Conflict	Performance Interview role play
Class 12	Textbook unit 12 Products	Describing product features & benefits
Class 13	Textbook unit 12 Products	Final exam review
Class 14	Final exam (units 7-12)	In-class exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Students can expect homework each week (approximately 1-2 hours) in terms of reviewing previous class material and reading assignments to supplement and reinforce key class concepts.

【テキスト（教科書）】
Pre-intermediate Market Leader 3rd edition (Pearson)
ISBN: 978-1-4082-3707-6 (3,500 yen)

【参考書】
None

【成績評価の方法と基準】
30%-Classroom activities
40%-Outside reading assignments
30%-Final exam
In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】
None

【学生が準備すべき機器他】
None

【その他の重要事項】
None

【None】
None

【Outline and objectives】
Classes will integrate short lectures with listening exercises and group speaking activities with the aim of improving oral business communication skills. Students will also be expected to complete outside reading assignments with the aim of improving their overall business knowledge.

LANe200LA

English for Study Abroad Ⅰ

2017 年度以降入学者

高井　美紀子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火** 4/Tue.4
単位数：**1 単位**
キ 1〜4 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業は、英語圏留学準備のための半期講座です。授業は、英語でのコミュニケーション能力の育成を目的としており、リスニング、ライティング、ディスカッションを中心に学習を行います。特に本授業では、オーラル・コミュニケーションに力を入れます。グローバル社会に関連した様々なトピックを用いたスピーキングやディスカッションに取り組みます。

英語のコミュニケーションにおいては、特別に難しい表現や単語は必要ありません。初級レベルの基本的な英語でも十分に自分を表現し、内容のある豊かなコミュニケーションをとることができます。しかし、そのためにはいくつかの段階をクリアする必要があります。その最初のステップは、自分の意見を明確に持つということです。本授業を通じて学生は、英語コミュニケーションにおける意見の持ち方、意思表示の仕方について実践を通じて学び、英語コミュニケーションに対する心理的障壁を取り除き、グルーバル社会で生きていくために必要なスキルを習得します。

【到達目標】
学生は、本授業を通じて以下の能力を身に着けることを目標とします。
①面接の場や仕事の場、大学などにおける英語の会話を聞き取る力。
②正しい文法で英作文をする力。
③英語で自分の考えを述べたり、ディスカッションをするなどの英語発信能力。
④日本語におけるある概念を複数の英語表現で表現できる語彙力。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業は、グループワークやペアワーク、ディスカッションを中心に進めます。ライティングやディスカッションの内容をレポートとして提出してもらうこともあります。レポートは、授業支援システムを通して提出をします。次回の授業までに採点して、授業支援システムを通じて返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
4 月 13 日	オリエンテーション	授業の進め方、評価方法などの説明。
4 月 20 日	Unit 1: Globalization and the Global Society	リスニングとライディングとディスカッションを通して、グローバル社会への理解を深める。
4 月 27 日	Unit 2: How Do You Define a Global Citizen?	リスニングとライディングとディスカッションを通して、グローバル人材への理解を深める。
5 月 11 日	Unit 3: You Can Become a Global Citizen	リスニングとライディングとディスカッションを通して、グルーバルな活躍の仕方について理解を深める。
5 月 18 日	Unit 4: Saying "Yes" or "No" Clearly	リスニングとライディングとディスカッションを通して、グルーバルな場での意思表示の仕方について学ぶ。
5 月 25 日	Unit 5: Start Conversations with a Nice Compliment	リスニングとライディングとディスカッションを通して、相手のほめ方について学ぶ。
6 月 1 日	Unit 6: Why Can't People Read the Atmosphere?	リスニングとライディングとディスカッションを通して、空気を読むことについて学ぶ。
6 月 8 日	Unit 7: Don't Be Afraid to Make Mistakes	リスニングとライディングとディスカッションを通して、失敗を恐れないことについての理解を深める。
6 月 15 日	Unit 8: Develop the Ability to Express Your Thoughts	リスニングとライディングとディスカッションを通して、自己主張の仕方について学ぶ。
6 月 22 日	Unit 9: Prepare for Culture Shock	リスニングとライディングとディスカッションを通して、カルチャーショックについての理解を深める。
6 月 29 日	Unit 10: Overcome Communication Gaps in This Way	リスニングとライディングとディスカッションを通して、コミュニケーションギャップについての理解を深める。
7 月 6 日	Unit 11: Effective Ways to Reduce Stress	リスニングとライディングとディスカッションを通して、ストレスを減らす方法について学ぶ。
7 月 13 日	Unit 12: Have a Positive Way of Thinking	リスニングとライディングとディスカッションを通して、グローバル社会を生きる上で必要な前向き思考について学ぶ。
7 月 20 日	Assesment	学習到達度確認のための筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

授業はリスニング、ライティング、ディスカッションを中心に進めます。従って、テキストの Key Vocabulary と Reading セクションは、準備学習として各自でやってきてもらい、授業時に解答のチェックのみを行います。

復習は特に指定しませんが、Key Vocabulary と Reading セクションを見直すことをお勧めします。

【テキスト（教科書）】
教科書: Surviving in a Global World（グローバル社会をどう生きるか）
著者名：中川準治、Justin Charlebois
出版社：成美堂
出版年： 2020 年
価格： 1900 円（税別）

【参考書】
特に指定しない。

【成績評価の方法と基準】
平常点 50 点、学期末筆記試験 50 点、計 100 点満点で評価します。平常点は、毎回のディスカッションにおける貢献、ライティングやリスニングなどを評価します。
欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位習得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】
グループワーク、ペアワークとディスカッションを軸に、オーラル・コミュニケーションの時間を増やします。学生同士が教えあい、学びあうことのできる環境を整え、英語コミュニケーション能力の育成を計ります。

【学生が準備すべき機器他】
資料配布・課題提出等のために学習支援システム等を利用する場合があります。

【Outline and objectives】
This course is intended for preparation for SA. Students in this course will learn how to communicate in simple English. English communication dose not necessarily need difficult words or expressions. We can make ourselves understood and achieve good communication with others using simple basic English. However, we have to clear some steps before we can achieve such good communication in English. These steps include understanding of basic grammar and vocabulary, then exercising, and finally using them in real communication. First of all, making our opinions clear is the most important. In this course, students will acquire various skills required for English communication through exercising in listening, writing, and speaking (or discussion) using basic expressions in English.

LANe200LA

English for Study Abroad Ⅱ

2017 年度以降入学者

北　文美子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火** 2/Tue.2
単位数：**1 単位**
キ 1〜4 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
さまざまなトピックの英文を読むことで、国内外の時局をより広い視野から見直し、英語の読解力ならびに語彙力の向上をはかります。それぞれの内容について英語で自分の意見を述べることができるよう、語学力に加えて、思考力ならびに批判力を涵養します。

【到達目標】
速読による多読を基本とし、大意を捉えて内容を咀嚼する思考力、批判能力を養います。また、さまざまな文章を読むことのできる語彙力を身につけます。また、各自の意見を適切にまとることができるよう表現力も養います。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業ではテキストの内容の把握に加えて、テキスト内の単語・慣用表現などの類義語、類似表現を確認し、読解力の向上とともに、語彙力ならびに表現力の拡充をはかります。また、読んだ内容の理解を深めるため、それぞれのテーマについて英語で内容をまとめる練習をします。春学期は対面授業ではなく、学習支援システムを用いて授業を行います。学習支援システムを通してフィードバックします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション 課題（1）調査報告	授業の進め方の解説
2	課題（2） 言語と文化（1）	異文化理解
3	課題（3） 言語と文化（2）	文化の衝突
4	課題（4） 言語と文化（3）	英語公用語化
5	課題（5） 社会と環境（1）	環境破壊
6	課題（6） 社会と環境（2）	民族差別
7	中間試験　まとめ	課題（1）〜（6）の テキスト及び解説から 出題
8	課題（7） 経済と社会（1）	南北問題
9	課題（8） 経済と社会（2）	国際紛争
10	課題（9） 経済と社会（3）	児童労働
11	課題（10） 技術と人間（1）	臓器移植
12	課題（11） 技術と人間（2）	遺伝子組み換え
13	課題（12） 技術と人間（3）	インターネット中毒

14	学期末試験、まとめ	課題（7）～（12）のテキストと解説から出題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎週テキストの英文を読み、必ず課題に取り組んでください。また、学習支援システムの「教材セクション」にある「解説」をしっかりと読み、前の週の復習をしてください。中間・期末試験では、課題と課題の解説から試験を出題します。
授業の復習・予習に一時間以上必要です。

【テキスト（教科書）】
適宜プリントを使用します。

【参考書】
その都度紹介します。

【成績評価の方法と基準】
平常点、課題の提出　60 %
試験（中間・期末）　40 %
この成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標の 60%以上を達成した者を
合格とする。

【学生の意見等からの気づき】
英作文の例を紹介します。

【Outline and objectives】
This course aims to improve reading and writing skills in English, and to prepare studenst to develop critical thinking skills through widely ranged texts.

LANe200LA
Practical English（ビジネス・コミュニケーション）Ａ－Ⅰ

2017 年度以降入学者

戸嶋　まゆみ

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
キ 1～4 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
実社会で用いられている英語を読んで理解し、発信できるようにすることが到達目標となります。とりわけ、インターネット時代に必要かつ基本的な知識を得られるような英文の接することが必要だと考えられます。本講義では、日本を代表する企業を柱としてビジネスについて知識を深め、自分の理解したことを英語でアウトプットできるようにしていきます。

【到達目標】
大学生として抑えておきたいグローバルな知識を含んだ英文が理解できるような基礎力をつけること、また、ビジネスに関わる簡単な会話が英語でできることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
テキストを読み、書かれている英語を理解し、その英文について英語で説明し、意見を述べたり書いたりする作業が中心となります。また、自分の意見を英語で述べる練習もします。中盤以降は、プレゼンテーションができるように学んでいきます。授業時の指示は、状況に応じて、日本語と英語で行います。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。課題等のフィードバックは、授業時 (対面授業もしくは双方向性授業) に行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 講	ガイダンス	授業に関するガイダンス (Zoom を使用します)
第 2 講	発音ドリル、ビジネス会話の基礎	発音の確認と会話の基礎
第 3 講	1. 味の素株式会社 (前半)	内容の確認と発音練習を行います。
第 4 講	1. 味の素株式会社 (後半)	内容の確認と発音練習を行います。
第 5 講	2. 花王株式会社	内容の確認と発音練習を行います。
第 6 講	3. CYBERDYNE 株式会社	内容の理解、要約、意見のまとめ (1)
第 7 講	4. サントリーホールディングス株式会社	内容の理解、要約、意見のまとめ (2)
第 8 講	5. Spiber 株式会社	内容の理解、要約、意見のまとめ
第 9 講	6. セコム株式会社	内容の理解、要約、意見のまとめ
第 10 講	7. 株式会社セブン&アイ・ホールディングス	内容の理解、要約、意見のまとめ
第 11 講	プレゼンテーション 1	プレゼンテーション　1
第 12 講	プレゼンテーション 2	プレゼンテーション　2
復習	全体の復習	全体の復習
総括	総括	全体の総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。予習及びグループ学習のための時間が必要です。具体的には、テキストを読んで、内容を日本語と英語でまとめておくことと、グループ発表のための計画をし、グループで集まり、発表の内容を考え、発表の練習をすることです。

【テキスト（教科書）】
日本を代表する企業で学ぶ総合英語　小澤健志他著　南雲堂　2020 年　ISBN978-4-523-17927-6

【参考書】
授業時に指示します。

【成績評価の方法と基準】
毎回の教場練習への参加程度 (50%) 及び期末試験や課題 (50%) を全て考慮し、評価します。各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】
ビジネス会話やプレゼンテーションは楽しいが準備が大変だったという意見があります。しかし、必ず人生において役に立ちます。一人一度以上はプレゼンテーションの機会を設けてありますので、ぜひみなさんには頑張っていただきたいと思っています。

【学生が準備すべき機器他】
毎回、テキスト、ノート、辞書類を用意して下さい。また、授業の進行に伴って、あらかじめ映画や動画の視聴を求められることがあります。内容については、教場指示とします。

【その他の重要事項】
1. 春学期、秋学期で連続して履修することが原則となります。Ⅱ（秋学期）のみを履修する場合でも、そのⅡに対応するⅠの科目の 4 月の春学期第 1 回目の授業に出席し、受講許可を得て 9 月に履修登録を行ってください。定員を超える場合、選抜を行うことがあります。その際には、春学期に受講許可を得た人を優先します。
2. 授業時以外の時間の学習が必要です。また、プレゼンテーションでは、一人 1 分以上の英語を原稿なしで話すことが求められます。

【Outline and objectives】
The target of this course will be to improve students reading and outputting ability in English. Especially it is going to be essentially important for Japanese university students to improve their English skills in order to successfully function in the future as the members of the society of the internet era. We are reading mainly about Japanese companies.I hope that this course will help guide all of my class students to get used to joining in group working activities.

LANe200LA
Practical English（ビジネス・コミュニケーション）Ａ－Ⅱ
2017 年度以降入学者

戸嶋　まゆみ

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
キ 1〜4 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
実社会で用いられている英語を読んで理解し、発信できるようにすることが到達目標となります。とりわけ、インターネット時代に必要かつ基本的な知識を得られるような英文の接することが必要だと考えられます。本講義では、日本を代表する企業を柱としてビジネスについて知識を深め、自分の理解したことを英語でアウトプットできるようにしていきます。

【到達目標】
大学生として抑えておきたいグルーバルな知識を含んだ英文が理解できるような基礎力をつけること、また、ビジネスに関わる簡単な会話が英語でできることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
テキストを読み、書かれている英語を理解し、その英文について英語で説明し、意見を述べたり書いたりする作業が中心となります。また、自分の意見を英語で述べる練習もします。中盤以降は、プレゼンテーションができるように学んでいきます。授業時の指示は、状況に応じて、日本語と英語で行います。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。課題等のフィードバックは、授業時 (対面授業もしくは双方向性授業) に行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 講	ガイダンス	授業に関するガイダンス
第 2 講	発音ドリル、ビジネス会話の基礎	発音の確認と会話の基礎
第 3 講	8. 大正製薬ホールディングス株式会社	内容の確認と発音練習を行います。
第 4 講	9. 東レ株式会社	内容の確認と発音練習を行います。
第 5 講	10. 豊田通商株式会社	内容の確認と発音練習を行います。
第 6 講	11. 日清食品ホールディングス株式会社	内容の理解、要約、意見のまとめ (1)
第 7 講	4. 株式会社ファーストリテイリング	内容の理解、要約、意見のまとめ (2)
第 8 講	5. 株式会社安川電機	内容の理解、要約、意見のまとめ
第 9 講	6. ヤマト運輸株式会社	内容の理解、要約、意見のまとめ
第 10 講	7. 株式会社リクルートホールディングス	内容の理解、要約、意見のまとめ
第 11 講	プレゼンテーション A	プレゼンテーション　A (会話)
第 12 講	プレゼンテーション B	プレゼンテーション　B (個人プレゼン)
復習	全体の復習	全体の復習
総括	総括	全体の総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。予習及びグループ学習のための時間が必要です。具体的には、テキストを読んで、内容を日本語と英語でまとめておくことと、グループ発表のための計画をし、グループで集まり、発表の内容を考え、発表の練習をすることです。

【テキスト（教科書）】
日本を代表する企業で学ぶ総合英語　小澤健志他著　南雲堂　2020 年　ISBN978-4-523-17927-6

【参考書】
授業時に指示します。

【成績評価の方法と基準】
毎回の教場練習への参加程度 (50%) や期末試験や課題 (50%) を全て考慮し、評価します。各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】
ビジネス会話やプレゼンテーションは楽しいが準備が大変だったという意見があります。しかし、必ず人生において役に立ちます。一人一度以上はプレゼンテーションの機会を設けてありますので、ぜひみなさんには頑張っていただきたいと思っています。

【学生が準備すべき機器他】
毎回、テキスト、ノート、辞書類を用意して下さい。また、授業の進行に伴って、あらかじめ映画や動画の視聴を求められることがあります。内容については、教場指示とします。

【その他の重要事項】
1. 春学期、秋学期で連続して履修することが原則となります。Ⅱ（秋学期）のみを履修する場合でも、そのⅡに対応するⅠの科目の 4 月の春学期第 1 回目の授業に出席し、受講許可を得て 9 月に履修登録を行ってください。定員を超える場合、選抜を行うことがあります。その際には、春学期に受講許可を得た人を優先します。
2. 授業時以外の時間の学習が必要です。また、プレゼンテーションでは、一人 1 分以上の英語を原稿なしで話すことが求められます。

【Outline and objectives】
The target of this course will be to improve students reading and outputting ability in English. Especially it is going to be essentially important for Japanese university students to improve their English skills in order to successfully function in the future as the members of the society of the internet era. We are reading mainly about Japanese companies.I hope that this course will help guide all of my class students to get used to joining in group working activities.

LANe200LA
Practical English（ビジネス・コミュニケーション）Ｂ－Ⅰ
2017 年度以降入学者

Kregg　Johnston

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：**1 単位**
キ 1〜4 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Business communication skills: to develop the skills necessary for effective communication for a variety of common business or workplace situations

【到達目標】
This course aims to develop the student's vocabulary and ability to discuss key business concepts and engage in realistic problem solving discussions. Topics such as Data management, Etiquette, and Success will be covered in the course. Special emphasis will be placed on vocabulary, listening and speaking skills. After group discussions, the students will be required write short memos or email messages to communicate in written form.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
Students will study business communication skills and practice these by engaging in pair work, group work, and discussion/problem solving activities. Students will also discuss a business case at the end of each unit and report discussion results in class. Some brief written assignments will also be given.
Feedback on submitted assignments and quizzes will be given at the beginning of the next class.
This is a hybrid class, and we will meet some weeks in person and some weeks on Zoom. Please see Hoppii for details.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Week 1	Course Introduction & level check Introduce Unit 1	Ice breakers and introduction to course; level assessment
Week 2	Unit 1 Business Activities: vocabulary & reading	Describing roles and activities; Word building; explaining jobs; greeting people; Simple present vs present continuous
Week 3	Unit 1 Business Activities: listening & discussing	Describing roles and activities; Word building; explaining jobs; greeting people; Simple present vs present continuous Case discussion
Week 4	Quiz: unit 1 Unit 1: Dilemma & Decision discussion	Quiz Unit 1 Discuss unit 1 case & write summary of decision
Week 5	Unit 2 Data collection and management: vocabulary & reading	Using the internet; countable nouns; Quantity and number; checking information

Week 6	Unit 2 Data collection and management: listening & discussing	Using the internet; countable nouns; Quantity and number; checking information Case discussion
Week 7	Quiz: unit 2 Unit 2: Dilemma & Decision discussion	Quiz Unit 2 Discuss unit 2 case & write summary of decision
Week 8	Unit 3 Etiquette in business situations: vocabulary & reading	Offers and requests; being polite vs being direct; Synonyms and prefixes
Week 9	Unit 3 Etiquette in business situations: listening & discussing	Offers and requests; being polite vs being direct; Synonyms and prefixes Case discussion
Week 10	Quiz: unit1 3 Unit 3: Dilemma & Decision discussion	Quiz Unit 3 Discuss unit 3 case & write summary of decision
Week 11	Unit 4 Image: vocabulary & reading	The fashion industry; Comparative, superlative; word building; describing products
Week 12	Unit 4 Image: listening & discussing	The fashion industry; Comparative, superlative; word building; describing products Case discussion
Week 13	Unit 4: Dilemma & Decision discussion Review units 1-4	Discuss case & write summary of decision
Week 14	Quiz: units 1-4	Quiz Units 1-4

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Homework assigned from textbook, Writing business correspondence such as email messages, reports of meetings and discussions; preparation for quizzes and presentations done in class.
University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
Intelligent Business Coursebook, Pre-Intermediate, Christine Johnson; Pearson/Longman
ISBN 0-582-84801-6

【参考書】
Intelligent Business Workbook, Pre-Intermediate, Christine Johnson; Pearson/Longman
ISBN- 0-582-84695-1
http://www.pearsonlongman.com/intelligent_business/
www.economist.com
http://www.better-english.com/vocabulary.htm
Vocabulary develoment:
https://quizlet.com/KreggJ
https://www.memrise.com/

【成績評価の方法と基準】
Course grades will be based on the following components:
Quizzes-50%
Homework from textbook or handouts-20%
Participation-15%
Written assignments (typed)-15%
In principle, no more than three absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】
More work on stating opinions and building vocabulary

【学生が準備すべき機器他】
Students should purchase the textbook
Students should have a Zoom account for any classes given online.
Also, students should use a headset when joining any online classes from the designated classroom on campus
Students should join Google Classroom for this course. Information for joining the Google Classroom for this course will be posted on HOPII(学習支援システム）

【その他の重要事項】
Students may take this course in either Spring semester, Fall semester, or both.
This course is suitable for students having a TOEIC score between 400 and 550.

【Outline and objectives】
Develop spoken and written competence in a variety of business situations and on a variety of business topics

LANe200LA

Practical English（ビジネス・コミュニケーション）B－Ⅱ

2017 年度以降入学者

Kregg　Johnston

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：**1 単位**
キ 1～4 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
The goal of the course is to develop the student's English communication skills for a variety of situations encountered in business.

【到達目標】
This course aims to develop the student's vocabulary and ability to discuss key business concepts and engage in realistic problem solving discussions. Topics such as service, productivity, creativity, and motivation will be covered in the course. Special emphasis will be placed on vocabulary, listening and speaking skills. After group discussions, the students will be required write short memos or email messages to communicate what their groups have decided in written form.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
Students will study business communication skills and practice these by engaging in pair work, group work, and discussion/problem solving activities. Students will also discuss a business case at the end of each unit and report discussion results in class. Some brief written assignments will also be given.
Feedback on submitted assignments and quizzes will be given at the beginning of the next class.
This is a hybrid class, and we will meet some weeks in person and some weeks on Zoom. Please see Hoppii for details.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Week 1	Course Intro & level check	Ice breakers and introduction to course; level assessment
Week 2	Unit 6 Ideas for the Future: vocabulary & reading	Modals of possibility; financing ventures; collocations; making predictions
Week 3	Unit 6 Ideas for the Future: listening & discussing	Modals of possibility; financing ventures; collocations; making predictions
Week 4	Unit 6 quiz Unit 6: Dilemma & Decision discussion	Unit 6 quiz Discuss case & write summary of decision
Week 5	Unit 7 Location: vocabulary & reading	Businesses location Phrasal verbs Collocations
Week 6	Unit 7 Location: listening & discussing	Future plans & intentions Making appointments
Week 7	Unit 7 quiz Unit 7: Dilemma & Decision discussion	Unit 7 quiz Discuss case & write summary of decision
Week 8	Unit 8 Job seeking: vocabulary & reading	The online job market; imperatives; Explaining what to do; Fixed procedures or flexibility
Week 9	Unit 8 Job seeking: listening & discussing	The online job market; imperatives; Explaining what to do; Fixed procedures or flexibility
Week 10	Unit 8 quiz Unit 8: Dilemma & Decision discussion	Unit 8 quiz Discuss case & write summary of decision
Week 11	Unit 9 Selling: vocabulary & reading	Marketing to students; modals of obligation; Word building; making suggestions; showing reactions
Week 12	Unit 9 Selling: listening & discussing	Marketing to students; modals of obligation; Word building; making suggestions; showing reactions
Week 13	Unit 9: Dilemma & Decision discussion Review: units 6-9	Discuss case & write summary of decision
Week 14	Quiz: unit 6-9	Quiz: unit 6-9

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
Homework assigned from textbook, Writing business correspondence such as email messages, reports of meetings and discussions; preparation for quizzes and presentations done in class.
University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】
Intelligent Business Coursebook Pre-Intermediate, Christine Johnson; Pearson/Longman
ISBN 0-582-84801-6

【参考書】
Intelligent Business Workbook Pre-Intermediate, Christine Johnson; Pearson/Longman
ISBN 0-582-84695-1
http://www.pearsonlongman.com/intelligent_business/
www.economist.com
http://www.better-english.com/vocabulary.htm
Vocabulary development:
https://quizlet.com/KreggJ
https://www.memrise.com/

【成績評価の方法と基準】
Course grades will be based on the following components:
Quizzes-50%
Homework from textbook or handouts-20%
Participation-15%
Written assignments (typed)-15%
In principle, no more than three absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】
More work on stating opinions and building vocabulary

【学生が準備すべき機器他】
Students should purchase the textbook
Students should have a Zoom account for any classes given online.
Also, students should use a headset when joining any online classes from the designated classroom on campus
Students should join Google Classroom for this course. Information for joining the Google Classroom for this course will be posted on HOPII(学習支援システム）

【その他の重要事項】
Students may take this course in either Spring semester, Fall semester, or both.
This course is suitable for students having a TOEIC score between 400 and 550.

【Outline and objectives】
For each topic covered, the students will learn the vocabulary and grammar to equip them to express their opinions, participate in short discussions, and write up typed summaries of their discussions in email messages or memos.

LANe200LA
Practical English（英語検定試験対策）Ａ－Ⅰ
2017 年度以降入学者

大和久　悌一郎

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
キ 1～4 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
国際社会の中で、専門的な学問領域のみならず、一般的な時事問題・日常生活においても英語運用能力は、現在、重要になってきている。そうした社会の中で用いられている英語に対応するために必要な英語運用能力を図る基準の一つが TOEIC(R) のスコアであり、本授業ではいわゆる英語資格試験のスコアアップを目指して、語彙力や文法の理解をより確実に身につけるとともに、海外の社会のあり方についての理解も深めながら、英語運用能力の充実を図ることを目指したい。

【到達目標】
語彙力を増やし、社会問題や時事問題に関する英文に対応できるだけの読解力とリスニング能力を身につける。また日常生活の中でも必要とされる表現や文章を得ることで、英語によるコミュニケーション能力の向上をはかる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
この授業はハイブリッド型です。資料配布型の回と、対面型の回があります。感染状況を踏まえ、ワクチンが高齢者の方に行き届くまでの期間は資料配布とし、6 月をめどに、対面授業を実施する予定です。対面授業の効果も重視しているところですが、スケジュールについては、随時、学習支援システムでのアンケートで相談しながら進めていきます。
本授業は、日常生活でもちいられている英語についてふれ、また試験対策のためのトレーニングを行うものです。初回から数回分は、英語のニュースサイトやツイッターのニュース速報、BBC の動画ニュースなども含めた日常での英語にふれながら、文法事項を確認していきます。また教科書でリスニングの項目を進めていきます。その後は、教科書から、リーディング及びリスニングを中心に、時事ニュースの読解なども合わせて進めていきます。
基本的には、テキスト 1 章分を、2 回の授業で扱うこととします。また補助資料として、適宜プリントで、時事問題やエッセイ、短編小説など、英語の新聞雑誌記事を読むこととします。毎回リアクションペーパーで出欠の確認をし、質問や感想・意見を受け付けます。回答については、次の回に解説などを行います。授業にあたっては該当ページについての予習をおこなうこと。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の目的、方針、進め方について説明する。
2	Unit 1	Unit 1Daily Life［基本 5 文型］（精読、内容理解）
3	Unit 1	Unit 1Daily Life［基本 5 文型］（再読、リスニング、質疑応答）
4	Unit 2	Unit 2　Eating Out & Leisure Activities［品詞］（精読、内容理解）
5	Unit 2	Unit 2　Eating Out & Leisure Activities［品詞］（再読、リスニング、質疑応答）

6	Unit 3	Unit 3　Cooking & Purchasing［名詞・主語と動詞の一致］（精読、内容理解）
7	Unit 3	Unit 3　Cooking & Purchasing［名詞・主語と動詞の一致］（再読、リスニング、質疑応答）
8	Unit 4	Unit 4　Traffic & Travel［形容詞・副詞］（精読、内容理解）
9	Unit 4	Unit 4　Traffic & Travel［形容詞・副詞］（再読、リスニング、質疑応答）
10	Unit 5	Unit 5　Advertising & ICT［時制］（精読、内容理解）
11	Unit 5	Unit 5　Advertising & ICT［時制］（再読、リスニング、質疑応答）
12	Unit 6	Unit 6　Production & Logistics［接続詞・前置詞］（精読、内容理解）
13	Unit 6	Unit 6　Production & Logistics［接続詞・前置詞］（再読、リスニング、質疑応答）
14	Unit 7	Unit 7　Business & Economics［助動詞］（精読、内容理解）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
事前に該当ページについての予習をおこなうこと。また単語、熟語、慣例表現については復習しておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
安丸雅子、砂川典子、秋好礼子、十時康、渡邉晶子、Andrew Zitzmann 著『TOEIC ®テスト コアをつかんで完全攻略』金星堂、2015 年

【参考書】
授業内で適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】
平常点（出席・予習・小テスト等）60%、期末試験 40%で評価します。30 分以上の遅刻は欠席とみなし、また 3 回の遅刻は 1 回の欠席とみなします。4 回以上の欠席者は成績評価の対象から外すので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】
特になし。

【学生が準備すべき機器他】
学習支援システムで資料の配布やアンケートを行いますので、アクセスできる環境を用意しておいてください。オンラインでの回は、資料配布ですので、zoom などの動画に対応する必要はありません。

【その他の重要事項】
春学期、秋学期で連続して履修することが原則となります。Ⅱ（秋学期）のみを履修する場合でも、そのⅡに対応するⅠの科目の 4 月の春学期第 1 回目の授業に出席し、受講許可を得て 9 月に履修登録を行ってください。定員を超える場合、選抜を行うことがあります。その際には、春学期に受講許可を得た人を優先します。

【Outline and objectives】
With reading, listening to text book, learning English grammar and words. First of all, I have set a goal of reading articles in English, not only in the classroom, but also in daily life. And toward this goal, I use educational textbook and handouts. As a procedure in one lesson, first, reading one chapter in the textbook, and in the rest of time, reading handouts for 15-30 minutes. Handouts including news stories, essays, and short fiction in newspapers and magazines. Topic is mainly on the current world news. And reading these hangouts, I encourage to read articles in English, not only in classroom but also everyday life.

LANe200LA
Practical English（英語検定試験対策）A－Ⅱ
2017 年度以降入学者

大和久　悌一郎

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
キ 1～4 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
国際社会の中で、専門的な学問領域のみならず、一般的な時事問題・日常生活においても英語運用能力は、現在、重要になってきている。そうした社会の中で用いられている英語に対応するために必要な英語運用能力を図る基準の一つが TOEIC(R) のスコアであり、本授業ではいわゆる英語資格試験のスコアアップを目指して、語彙力や文法の理解をより確実に身につけるとともに、海外の社会のあり方についての理解も深めながら、英語運用能力の充実を図ることを目指したい。

【到達目標】
語彙力を増やし、社会問題や時事問題に関する英文に対応できるだけの読解力とリスニング能力を身につける。また日常生活の中でも必要とされる表現や文章を得ることで、英語によるコミュニケーション能力の向上をはかる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
本授業は、日常生活でもちいられている英語についてふれ、また試験対策のためのトレーニングを行うものです。初回から数回分は、英語のニュースサイトやツイッターのニュース速報、BBC の動画ニュースなども含めた日常での英語にふれながら、文法事項を確認していきます。また教科書でリスニングの項目を進めていきます。その後は、教科書から、リーディング及びリスニングを中心に、時事ニュースの読解なども合わせて進めていきます。
基本的には、テキスト 1 章分を、2 回の授業で扱うこととします。また補助資料として、適宜プリントで、時事問題やエッセイ、短編小説など、英語の新聞雑誌記事を読むこととします。毎回、リアクションペーパーでの出欠の確認をして、質問・感想・意見などの提出をお願いします。回答については、次の回で解説や応答を行います。授業にあたっては該当ページについての予習をおこなうこと。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の目的、方針、進め方について説明する。
2	Unit 8	Unit 8 Employment & Personnel［受動態］（精読、リスニング、内容理解）
3	Unit 8	Unit 8 Employment & Personnel［受動態］（再読、質疑応答）
4	Unit 9	Unit 9 Office Work & Correspondence［分詞・分詞構文］（精読、リスニング、内容理解）
5	Unit 9	Unit 9 Office Work & Correspondence［分詞・分詞構文］（再読、質疑応答）
6	Unit 10	Unit 10 Health & the Environment［不定詞・動名詞］（精読、リスニング、内容理解）

7	Unit 10	Unit 10 Health & the Environment［不定詞・動名詞］（再読、質疑応答）
8	Unit 11	Unit 11Finance & Banking［代名詞・関係詞］（精読、リスニング、内容理解）
9	Unit 11	Unit 11Finance & Banking［代名詞・関係詞］（再読、質疑応答）
10	Unit 12	Unit 12 Law & Administration［比較構文］（精読、リスニング、内容理解）
11	Unit 12	Unit 12 Law & Administration［比較構文］（再読、質疑応答）
12	Review Test 1	Review Test1 を解く。リスニング問題とその解説。
13	Review Test 1	Review Test 1 を解く。長文読解問題とその解説。
14	Review Test 2	Review Test 2を解く。リスニングと長文読解問題、その解説。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
事前に該当ページについての予習をおこなうこと。また単語、熟語、慣例表現については復習しておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
安丸雅子、砂川典子、秋好礼子、十時康、渡邉晶子、Andrew Zitzmann 著『TOEIC ®テスト コアをつかんで完全攻略』、金星堂、2015 年

【参考書】
授業内で適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】
平常点（出席・予習・小テスト等）60%、学期末レポート 40%で評価します。アンケートについて、期限を過ぎた場合は遅刻とみなし、また 3 回の遅刻は 1 回の欠席とみなします。4 回以上の欠席者は成績評価の対象から外すので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】
特になし。

【その他の重要事項】
春学期、秋学期で連続して履修することが原則となります。Ⅱ（秋学期）のみを履修する場合でも、そのⅡに対応するⅠの科目の 4 月の春学期第 1 回目の授業に出席し、受講許可を得て 9 月に履修登録を行ってください。定員を超える場合、選抜を行うことがあります。その際には、春学期に受講許可を得た人を優先します。

【Outline and objectives】
With reading and listening to text book, learning English grammar and words. First of all, I have set a goal of reading articles in English, not only in the classroom, but also in daily life. And toward this goal, I use educational textbook and handouts. As a procedure in one lesson, first, reading one chapter in the textbook, and in the rest of time, reading handouts for 15-30 minutes. Handouts including news stories, essays, and short fiction in newspapers and magazines. Topic is mainly on the current world news. And reading these hangouts, I encourage to read articles in English, not only in classroom but also everyday life.

LANe200LA
Practical English（英語検定試験対策）Ｂ－Ⅰ
2017 年度以降入学者

光野　昭雄

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
キ 1～4 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
学生諸君が英検１級程度の英語力を身につけることを目的とする。

【到達目標】
語彙、表現、構文、文法等できるだけ細かく説明し、学生諸君があらゆる点で必要な知識を習得し、希望の級に合格できる様に指導する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
プリントを使用し必要な説明をした後に、実際に学生諸君に問題を解いてもらう。最後に詳しい解説を行う。課題を出した場合は後日評価を付け返却する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第一回	熟語と表現	説明
第二回	熟語と表現	問題演習
第三回	熟語と表現	解答と解説
第四回	不定詞	説明
第五回	不定詞	問題演習
第六回	不定詞	解答と解説
第七回	動名詞	説明
第八回	動名詞	問題演習
第九回	動名詞	解答と解説
第十回	分詞	説明
第十一回	分詞	問題演習
第十二回	分詞	解答と解説
第十三回	時事英語	問題演習
第十四回	時事英語	解答と解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
学生諸君の自覚でよく復習すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
プリント使用

【参考書】
学生諸君の力に合った英検問題集を購入し、できるだけ多くの問題を解く。

【成績評価の方法と基準】
平常点 20 %、期末試験 80 点、　各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】
明瞭な説明を求められるので、できるだけ分かりやすく説明する。

【Outline and objectives】
This class will show you how your comprehensive English skill can be developed.

LANe200LA

Practical English（英語検定試験対策）Ｂ－Ⅱ

2017 年度以降入学者

光野　昭雄

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
キ 1〜4 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
学生諸君が英検１級程度の英語力を身につけることを目的とする。

【到達目標】
語彙、表現、構文、文法等できるだけ細かく説明し、学生諸君があらゆる点で必要な知識を習得し、希望の級に合格できる様に指導する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
プリントを使用し必要な説明をした後に、実際に学生諸君に問題を解いてもらう。最後に詳しい解説を行う。授業中のレポートは評価を付け後日返却する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第一回	仮定法	説明
第二回	仮定法	問題演習
第三回	仮定法	解答と解説
第四回	関係詞	説明（関係代名詞中心）
第五回	関係詞	説明（関係副詞中心）
第六回	関係詞	問題演習
第七回	関係詞	解答と解説
第八回	関係詞	問題演習
第九回	関係詞	解答と解説
第十回	時事英語	問題演習
第十一回	時事英語	解答と解説
第十二回	時事英語	問題演習
第十三回	時事英語	問題演習と解説
第十四回	定期試験	解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
学生諸君の自覚でよく復習すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】
プリント使用

【参考書】
学生諸君の力に合った英検問題集を購入し、できるだけ多くの問題を解く。

【成績評価の方法と基準】
平常点 20 %、期末試験 80 %　各学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位取得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】
明瞭な説明を求められるので、できるだけ分かりやすく説明する。

【Outline and objectives】
This class will show you how your comprehensive English skill can be developed.

LANj100LA

日本語１Ⅰ

2017 年度以降入学者

板井　美佐

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 1/Mon.1
単位数：**1 単位**
法キ 1 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
学生が大学の講義や口頭発表を聞くために必要な日本語の聴解能力を養成する。
学生は、ある程度の長さのスクリプトを聴き（読み）、ポイントをつかみ、メモを作成する。教材の Q&A、穴埋めなどを行い、情報の中で重要な部分を聞き取る訓練を行った後で、要約文を書く。その後で、話題に関わる自国の状況について調べ、まとめ、意見を書く

【到達目標】
春学期は「課題提出型」の授業となる。具体的な授業内容、授業で使用する資料などは学習支援システムで提示する。
１．学生は、講義や発表の概要をつかめるようになる。
２．学生は、ノートテイキングができるようになる。
３．学生は、聞いたこと（読んだこと）の要約ができるようになる。
４．学生は、話題に関わる自国の状況を説明でき、意見が書けるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
2021 年春学期の本授業は、「課題提出型」とする。
課題の進め方は以下の通りである。
ⅰ．スクリプト全体を聞く
ⅱ．大意をつかみながらメモを作成
ⅲ．Q&A、穴埋め問題に解答
Ⅳ．要約を作成（文字数指定あり）
Ⅴ．話題に関わる自国の状況について調べ、まとめ、意見を書く
ＣＤがないの場合の課題の進め方は以下の通り。
ⅰ．hoppi へアップロードしたスクリプト全体を 3 回読む
ⅱ．大意をつかみながらメモを作成
ⅲ．Q&A、穴埋め問題に解答
Ⅳ．要約を作成（文字数指定あり）
Ⅴ．話題に関わる自国の状況について調べ、まとめ、意見を書く
授業では、聞き取り（読み取り）、要約文を書き、話題ごとの自国の状況について自分の意見を書くことで、聴解力、文章力を伸ばす練習を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	導入
第 2 回	社会問題１	導入
第 3 回	社会問題２	発展
第 4 回	社会問題３	応用
第 5 回	社会問題４	まとめ
第 6 回	日本事情１	導入
第 7 回	日本事情２	発展
第 8 回	日本事情３	応用
第 9 回	日本事情４	まとめ
第 10 回	日本の文化１	導入
第 11 回	日本の文化２	発展
第 12 回	日本の文化３	応用

第 13 回　日本の文化４　　まとめ
第 14 回　総まとめ　　総まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
各話題に関わる自国の状況についてよく調べ、まとめ、意見を整理しておくこと。

【テキスト（教科書）】
テキスト名：留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ聴解「上級」　著者：東京外国語大学留学生日本語教育センター　出版社：スリーエーネットワーク　価格： 2000 円＋税

【参考書】
授業で適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】
春学期は「課題提出型」の授業となる。本授業の開始日は 4 月 12 日とし、この日までに具体的な授業の課題などを、学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
本授業で学んだことをもとに応用力をつけていってほしいと思います。

【学生が準備すべき機器他】
特になし

【その他の重要事項】
１．授業開始と同時に聴解を行うので、遅刻しないよう心がけてください。
２．教室でスマホは使用不可とするので、辞書を持参してください。
３．課題がある場合は、授業終了直後に課題を提出します。遅れて提出した場合、評価点は与えられません。
※最初の授業時に、具体的な授業進行予定やクラスルールなどに関する説明をしますので、必ず出席してください。

【Outline and objectives】
Undergraduate listening class -this class will help listening skill of students improve by listening to a script. They will be required to write a summary based on what they have heard and notes they have written.

LANj100LA

日本語１Ⅱ

2017 年度以降入学者

板井　美佐

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**月** 1/Mon.1
単位数：**1 単位**
法キ 1 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
大学の講義やゼミの受講に必要な日本語の聴解・読解能力を養成する。学生は、ある程度の長さの大学の講義動画などを聴き、ポイントをつかみ、メモを作成する。教材の Q&A、穴埋めなどを行い、情報の中で重要な部分を聞き取る訓練を行う。聞き取り練習で扱ったトピックに関する読み物を読み、読みのスキルも同時に養成する。

【到達目標】
１．学生は、講義やゼミの受講に必要な聴解・読解力がつく。
２．学生は、ノートテイキングができるようになる。
３．学生は、理解した内容について自分の意見をまとめて書くことができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
ⅰ．大学の講義全体を聞く
ⅱ．大意をつかみながらメモを作成する
ⅲ．Q&A、穴埋め問題に解答する
Ⅳ．要約、自分自身の意見文を作成する
課題においては、聞き取り、読み、理解した内容について問いの答えを書き、要約や自分の意見を書くことで、聴解力、読解力、文章力を伸ばす練習を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	講義を聴くということ	動画で学ぶ大学の講義の導入
第 2 回	社会問題１	導入
第 3 回	社会問題２	発展
第 4 回	社会問題３	応用
第 5 回	社会問題４	まとめ
第 6 回	日本事情１	導入
第 7 回	日本事情２	発展
第 8 回	日本事情３	応用
第 9 回	日本事情４	まとめ
第 10 回	日本の文化１	導入
第 11 回	日本の文化２	発展
第 12 回	日本の文化３	応用
第 13 回	日本の文化４	まとめ
第 14 回	総まとめ	総まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業後は、学生は練習問題で間違った箇所をチェックし、きちんと復習することで、授業で学んだことを消化する。

【テキスト（教科書）】
テキスト名：『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ動画で学ぶ大学の講義』　筆者：東京外国語大学留学生日本語教育センター編著　出版社：スリーエーネットワーク　価格：（2000 円＋税）

【参考書】
上記テキストを適宜参照のこと。

【成績評価の方法と基準】
全ての課題提出を期末試験（100 %）に換算して評価を行なう。
※課題の未提出が多い場合は、履修不足とみなし、単位を出さない。

【学生の意見等からの気づき】
本授業で学んだことをもとに応用力をつけていってほしいと思う。

【学生が準備すべき機器他】
特になし

【その他の重要事項】
＊＊課題は、遅れて提出した場合、評価点は与えられない。

【Outline and objectives】
The purpose of this class is students would be able to listen to the lectures, grasp the point, take a note, and write a summary.

LANj200LA

日本語３Ｉ

2017 年度以降入学者

尾形　太郎

開講時期：春学期授業/Spring ｜ 曜日・時限：木 2/Thu.2
単位数：1 単位
法 2 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
レポートや論文の執筆などの研究活動に必要な読解力の向上を目的とする。

【到達目標】
１．学生は、まとまった長さの文章が速く正確に読める。
２．学生は、読んで理解したことをポイントを押さえてまとめられる。
３．学生は、読んだ文章の内容をもとに自分の意見を発表・討論できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
１. 短めの文章を一人で読み、設問に答える
２．グループで内容を確認
３．文章の概要を口頭でまとめる
４．文章のトピックに関するディスカッションを行う
各回の課題へのフィードバックは、授業中に口頭で行うか、Hoppi を用いて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
①	オリエンテーション	授業の進め方・成績評価について説明する
②	教材１の読解①	読解・ディスカッション
③	教材１の読解②	読解・ディスカッション
④	教材１の読解③	読解・ディスカッション
⑤	教材１の読解④	読解・ディスカッション
⑥	教材２の読解①	読解・ディスカッション
⑦	教材２の読解②	読解・ディスカッション
⑧	教材２の読解③	読解・ディスカッション
⑨	教材２の読解④	読解・ディスカッション
⑩	教材３の読解①	読解・ディスカッション
⑪	教材３の読解②	読解・ディスカッション
⑫	教材３の読解③	読解・ディスカッション
⑬	教材３の読解④	読解・ディスカッション
⑭	期末課題	期末課題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
次の授業で扱う文章の読解を予習として課す予定です。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
授業で配布する。
社会の分断、環境問題、差別など現代社会が直面する諸問題を扱う社会科学分野の文章を３本読む。

【参考書】
特になし

【成績評価の方法と基準】
各回の課題 70 %、期末課題 30 %
具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【学生が準備すべき機器他】
特になし

【Outline and objectives】
The objective of this class is to enhance reading comprehension skills for research activities.

LANj200LA

日本語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

尾形　太郎

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：**1 単位**
法 2 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
レポートや論文の執筆などの研究活動に必要な読解力の向上を目的とする。

【到達目標】
１．学生は、まとまった長さの文章が速く正確に読める。
２．学生は、読んで理解したことをポイントを押さえてまとめられる。
３．学生は、読んだ文章の内容をもとに自分の意見を発表・討論できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
１. 短めの文章を一人で読み、設問に答える
２．グループで内容を確認
３．文章の概要を口頭でまとめる
４．文章のトピックに関するディスカッションを行う
各回の課題へのフィードバックは、授業中に口頭で行うか、Hoppi を用いて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
①	オリエンテーション	授業の進め方・成績評価について説明する
②	教材１の読解①	読解・ディスカッション
③	教材１の読解②	読解・ディスカッション
④	教材１の読解③	読解・ディスカッション
⑤	教材１の読解④	読解・ディスカッション
⑥	教材２の読解①	読解・ディスカッション
⑦	教材２の読解②	読解・ディスカッション
⑧	教材２の読解③	読解・ディスカッション
⑨	教材２の読解④	読解・ディスカッション
⑩	教材３の読解①	読解・ディスカッション
⑪	教材３の読解②	読解・ディスカッション
⑫	教材３の読解③	読解・ディスカッション
⑬	教材３の読解④	読解・ディスカッション
⑭	期末課題	期末課題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
次の授業で扱う文章の読解を予習として課す予定です。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
授業で配布する。
社会の分断、環境問題、差別など現代社会が直面する諸問題を扱う社会科学分野の文章を３本読む。

【参考書】
特になし

【成績評価の方法と基準】
各回の課題 70 %、期末課題 30 %
具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【学生が準備すべき機器他】
特になし

【Outline and objectives】
The objective of this class is to enhance reading comprehension skills for research activities.

LANj200LA

日本語３Ⅰ

2017 年度以降入学者

戸村　佳代

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火** 1/Tue.1
単位数：**1 単位**
営国 2 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
文法、語彙の拡充を図りながら、まとまった量の文章を読みとり、その内容を的確に口頭で説明できるようになるための訓練を行う。また、テキストの内容を批判的に読み、それに基づくディスカッションを行う。

【到達目標】
１．まとまった長さの文章を読み、文章の構成を捉えながら要点をつかんで理解することができる。
２．わかりやすい配付資料をもとに、自分の意見を発表する。
３．日本の社会問題について議論するために必要な語彙・表現を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
各回の授業計画の変更や受講者が必要な準備については学習支援システムの「お知らせ」でその都度提示する。
オンライン授業が必要な場合は双方型 Web 会議システム（ZOOM）を利用する。
授業形態（対面授業・オンライン授業）にかかわらず、Google クラスルームを利用する。
以下の内容で授業を進めるが、授業の実施状況をみながら変更の可能性がある。
(1) 予習確認テスト（漢字・語彙、表現、簡単な文章内容理解チェック）
(2) 担当者による口頭報告
(3) 文章の内容把握チェック
(4) ディスカッション
※ 予習を前提に授業を進める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
①	イントロダクション	１．通信環境確認 ２．授業参加の注意点 ３．ウォーミングアップとアイスブレーキング ３．授業の進め方 ４．成績評価について
②	授業の準備の仕方	１．語彙・表現リストの利用方法、予習の仕方 ２．発表資料の作り方 ３．練習
③	読解・応用練習	予習チェックテスト／口頭報告／読解（内容理解の確認）／ディスカッション
④	読解・応用練習	予習チェックテスト／口頭報告／読解（内容理解の確認）／ディスカッション
⑤	読解・応用練習	予習チェックテスト／口頭報告／読解（内容理解の確認）／ディスカッション

⑥	読解・応用練習	予習チェックテスト／口頭報告／読解（内容理解の確認）／ディスカッション
⑦	読解・応用練習	予習チェックテスト／口頭報告／読解（内容理解の確認）／ディスカッション
⑧	読解・応用練習	予習チェックテスト／口頭報告／読解（内容理解の確認）／ディスカッション
⑨	読解・応用練習	予習チェックテスト／口頭報告／読解（内容理解の確認）／ディスカッション
⑩	読解・応用練習	予習チェックテスト／口頭報告／読解（内容理解の確認）／ディスカッション
⑪	読解・応用練習	予習チェックテスト／口頭報告／読解（内容理解の確認）／ディスカッション
⑫	読解・応用練習	予習チェックテスト／口頭報告／読解（内容理解の確認）／ディスカッション
⑬	読解・応用練習	予習チェックテスト／口頭報告／読解（内容理解の確認）／ディスカッション
⑭	まとめ	漢字、語彙・表現、読解

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回、次のような予習と準備をする。
１.「語彙・表現リスト」を用い、漢字の読み方を確認した上で分からない単語の意味を調べ、内容を理解する。（全員）
２．報告担当者２名は、配付資料（ハンドアウト）と発表用パワーポイントを分担して作成する。また、作成したファイルを授業３日前までに提出し、添削を受ける。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
コピー教材（主に、文藝春秋社『2020 年の論点 100』『2019 年の論点 100』等から抜粋）

【参考書】
『2020 年の論点 100』『2019 年の論点 100』文藝春秋社
※その他、授業時に適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】
平常点　30 %
（小テスト、授業への取り組み）
課題・授業での発表　30 %
試験・レポート　40 %
※やむを得ない理由による場合を除き、欠席・遅刻をした場合は、その回の小テストは 0 点とする。
※遅刻２回を欠席１回とみなす。
※以下の条件をすべて満たすものを評価の対象とする
(1) 欠席回数が４回以下であること
(2) 授業での口頭報告（発表）を行っていること
(3) 学期末試験を受験していること

【学生の意見等からの気づき】
※効率的な予習が可能になるように、授業支援システムにより「語彙・表現リスト」を担当教員が作成・配布します。

【学生が準備すべき機器他】
○ ZOOM を利用してリアルタイム配信型のオンライン授業を実施する場合があります。受講にはスマホやタブレットよりも PC を使用することを推奨します。また、通信環境を整えてください。
○ ZOOM によるリアルタイム配信型オンライン授業に備え、大学が発行した ZOOM のアカウントを使えるようにしてください。
○ Google クラスルームを利用します。
○大学が発行したメールアドレスを使用し、定期的にメールチェックしてください。
○資料配付、課題提出に学習支援システムを利用します。

【その他の重要事項】
※読解テキストの語彙・表現リストの受け渡しを、学習支援システムによって行います。初回授業が履修登録の前になる場合には、必ず学習支援システムで仮登録をしてください。

【Outline and objectives】
This class aims to improve your ability of Japanese, focusing on reading, oral presentation, and discussion.
You should be able to:
・idenfy the essay structure and paragraph structures of verious type of Japanese essays, and to grasp the gist of them.
・summarize what you have read and explane it to the rest of the class, using your own words.
・actively discuss a varity of topics of Japanese.

LANj200LA

日本語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

戸村　佳代

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**火** 1/Tue.1
単位数：**1 単位**
営国 2 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
一定のテーマについての必要な情報を収集し、的確に理解・整理した上で、説得力のあるプレゼンテーションを行う訓練を行う。文法、語彙の拡充のみならず、情報発信のために必要な表現方法を学びながらディスカッション・ディベートなどを行う。

【到達目標】
１．まとまった長さの文章を読み、文章構造と論理展開に注目することにより、要点を押さえて理解することができる。
２．わかりやすい配付資料をもとに、自分の意見を発表する。
３．日本の社会問題について議論するために必要な語彙・表現を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
(1) 予習確認テスト（漢字・語彙、表現、簡単な文章内容理解チェック）
(2) 担当者による口頭報告
(3) 文章の内容把握チェック
(4) ディスカッション・ディベート
※ 予習を前提に授業を進める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
①	イントロダクション	１．ウォーミングアップ ２．テキスト配布 ３．授業の進め方と受講上の注意点 ４．成績評価について ５．口頭発表用資料の作り方（説明と練習）
②	読解・応用練習	予習チェックテスト 口頭報告練習 読解（内容理解確認）ディスカッション
③	読解・応用練習	予習チェックテスト 口頭報告練習 読解（内容理解確認）ディスカッション
④	読解・応用練習	予習チェックテスト 口頭報告練習 読解（内容理解確認）ディスカッション
⑤	読解・応用練習	予習チェックテスト 口頭報告練習 読解（内容理解確認）ディスカッション
⑥	読解・応用練習	予習チェックテスト 口頭報告練習 読解（内容理解確認）ディスカッション
⑦	読解・応用練習	予習チェックテスト 口頭報告練習 読解（内容理解確認）ディスカッション
⑧	読解・応用練習ション	予習チェックテスト 口頭報告練習 読解（内容理解確認）ディスカッション
⑨	読解・応用練習	予習チェックテスト 口頭報告練習 読解（内容理解確認）ディスカッション
⑩	読解・応用練習	予習チェックテスト 口頭報告練習 読解（内容理解確認）ディスカッション
⑪	読解・応用練習	予習チェックテスト 口頭報告練習 読解（内容理解確認）ディスカッション
⑫	読解・応用練習	予習チェックテスト 口頭報告練習 読解（内容理解確認）ディスカッション
⑬	読解・応用練習	予習チェックテスト 口頭報告練習 読解（内容理解確認）ディスカッション
⑭	まとめ	漢字、語彙・表現、読解

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回、次のような予習と準備をする。
１.「語彙・表現リスト」を用い、漢字の読み方を確認した上で分からない単語の意味を調べ、内容を理解する。（全員）
２．報告担当者２名は、配付資料（ハンドアウト）と発表用パワーポイントを分担して作成する。また、作成したファイルを授業前にメール添付で教員に送り、添削を受ける。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
コピー教材（主に文藝春秋社『2020 年の論点 100』『2019 年の論点 100』等から抜粋）

【参考書】
文藝春秋社『2020 年の論点 100』『2019 年の論点 100』
※その他、授業時に適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】
平常点　30 %
（小テスト、授業への取り組み）
課題・授業での発表　30 %
試験・レポート　40 %
※やむを得ない理由による場合を除き、欠席・遅刻をした場合は、その回の小テストは 0 点とする。
※遅刻２回を欠席１回とみなす。
※以下の条件をすべて満たすものを評価の対象とする
(1) 欠席回数が４回以下であること
(2) 授業での口頭報告（発表）を行っていること
(3) 学期末試験を受験していること

【学生の意見等からの気づき】
※効率的な予習が可能になるように、授業支援システムにより「語彙・表現リスト」を担当教員が作成・配布します。

【学生が準備すべき機器他】
○ ZOOM を利用してリアルタイム配信型のオンライン授業を実施する場合があります。受講にはスマホやタブレットよりも PC を使用することを推奨します。また、通信環境を整えてください。
○ ZOOM によるリアルタイム配信型オンライン授業に備え、大学が発行した ZOOM のアカウントを使えるようにしてください。
○ Google クラスルームを利用します。
○授業にはＰＣ、ＯＨＣを利用します。
○資料配付、課題提出に授業支援システムを利用します。

【その他の重要事項】
※読解テキストの語彙・表現リストの受け渡しを、授業支援システムによって行います。履修登録の前に授業支援システムに登録をしてください。
※初回の授業で詳しい授業進行予定と語彙・表現リスト作成・口頭発表の分担を決めますので、必ず出席してください。
※最初の授業でテキスト（コピー教材）を配布します。

【Outline and objectives】
This class aims to improve your ability of Japanese, focusing on reading, oral presentation, and discussion.
You should be able to:
・idenfy the essay structure and paragraph structures of verious type of Japanese essays, and to grasp the gist of them.
・summarize what you have read and explane it to the rest of the class, using your own words.
・actively discuss a varity of topics of Japanese.

LANj200LA

日本語３Ⅰ

2017 年度以降入学者

尾形　太郎

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 1/Thu.1
単位数：**1 単位**
文環 2 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
レポートや論文の執筆などの研究活動に必要な読解力の向上を目的とする。

【到達目標】
１．学生は、まとまった長さの文章が速く正確に読める。
２．学生は、読んで理解したことをポイントを押さえてまとめられる。
３．学生は、読んだ文章の内容をもとに自分の意見を発表・討論できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
１. 短めの文章を一人で読み、設問に答える
２．グループで内容を確認
３．文章の概要を口頭でまとめる
４．文章のトピックに関するディスカッションを行う
各回の課題へのフィードバックは、授業中に口頭で行うか、Hoppi を用いて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
①	オリエンテーション	授業の進め方・成績評価について説明する
②	教材１の読解①	読解・ディスカッション
③	教材１の読解②	読解・ディスカッション
④	教材１の読解③	読解・ディスカッション
⑤	教材１の読解④	読解・ディスカッション
⑥	教材２の読解①	読解・ディスカッション
⑦	教材２の読解②	読解・ディスカッション
⑧	教材２の読解③	読解・ディスカッション
⑨	教材２の読解④	読解・ディスカッション
⑩	教材３の読解①	読解・ディスカッション
⑪	教材３の読解②	読解・ディスカッション
⑫	教材３の読解③	読解・ディスカッション
⑬	教材３の読解④	読解・ディスカッション
⑭	期末課題	期末課題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
次の授業で扱う文章の読解を予習として課す予定です。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
授業で配布する。
社会の分断、環境問題、差別など現代社会が直面する諸問題を扱う社会科学分野の文章を３本読む。

【参考書】
特になし

【成績評価の方法と基準】
各回の課題 70 %、期末課題 30 %
具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【学生が準備すべき機器他】
特になし

【Outline and objectives】
The objective of this class is to enhance reading comprehension skills for research activities.

LANj200LA

日本語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

尾形　太郎

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 1/Thu.1
単位数：**1 単位**
文環 2 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
レポートや論文の執筆などの研究活動に必要な読解力の向上を目的とする。

【到達目標】
１．学生は、まとまった長さの文章が速く正確に読める。
２．学生は、読んで理解したことをポイントを押さえてまとめられる。
３．学生は、読んだ文章の内容をもとに自分の意見を発表・討論できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
１. 短めの文章を一人で読み、設問に答える
２．グループで内容を確認
３．文章の概要を口頭でまとめる
４．文章のトピックに関するディスカッションを行う
各回の課題へのフィードバックは、授業中に口頭で行うか、Hoppi を用いて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
①	オリエンテーション	授業の進め方・成績評価について説明する
②	教材１の読解①	読解・ディスカッション
③	教材１の読解②	読解・ディスカッション
④	教材１の読解③	読解・ディスカッション
⑤	教材１の読解④	読解・ディスカッション
⑥	教材２の読解①	読解・ディスカッション
⑦	教材２の読解②	読解・ディスカッション
⑧	教材２の読解③	読解・ディスカッション
⑨	教材２の読解④	読解・ディスカッション
⑩	教材３の読解①	読解・ディスカッション
⑪	教材３の読解②	読解・ディスカッション
⑫	教材３の読解③	読解・ディスカッション
⑬	教材３の読解④	読解・ディスカッション
⑭	期末課題	期末課題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
次の授業で扱う文章の読解を予習として課す予定です。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
授業で配布する。
社会の分断、環境問題、差別など現代社会が直面する諸問題を扱う社会科学分野の文章を３本読む。

【参考書】
特になし

【成績評価の方法と基準】
各回の課題 70 %、期末課題 30 %
具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【学生が準備すべき機器他】
特になし

【Outline and objectives】
The objective of this class is to enhance reading comprehension skills for research activities.

LANj200LA

日本語４Ⅰ

2017 年度以降入学者

中沢　佐企子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
法２年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
読解練習、特に精読を中心にテキストを厳密に読む練習を行う。内容を正確に理解し、説明する。また、読解内容に関して意見を表現したりする作業を通じて、大学におけるアカデミック・スキルを養う。

【到達目標】
テキストの内容を厳密に読む技術を身につける。内容について、筆者の意図等を正確に理解し説明できるようになる。また、その内容について、自分の意見を述べることができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
１　読解、語彙・表現などについて予習する。
２　授業では、テキストを厳密に読む練習を行う。内容についての質疑応答を行う。また、語彙・表現等についても確認する。
３　テキストに関する討論や発表も行う。
４　学期中に数回小テストや課題を行う。なお、小テストは授業開始時に行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	ガイダンス	授業の目的、進め方について紹介
	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
2 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
3 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
4 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
5 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
6 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
7 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
8 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
9 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
10 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
11 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
12 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
13 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
14 回	まとめ	まとめ
	期末試験	テキストの内容についての試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
テキストは前もって配布するので、読解・語彙・表現等を予習する。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】
プリント教材。授業で配布する。

【参考書】
授業中、適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】
平常点（授業への参加・予習等）３０％、小テスト・課題３０％、試験４０％
※やむを得ない理由による場合を除き、欠席・遅刻をした場合は、その回の小テストは 0 点とする。
※以下の条件をすべて見なすものを評価の対象とする
(1) 欠席回数が 4 回以下であること
(2) 授業での小テストを受け、課題を提出していること
(3) 学期末試験を受験していること

【学生の意見等からの気づき】
2020 年度はリアルタイム配信型のオンライン授業であったため、対面授業のような学生同士のアクティブラーニングが難しかった。また、学生の発話する機会が少なかった。そのため、2021 年度は学生の発話する機会を増やし、積極的な参加を促していきたい。

【その他の重要事項】
・出席を重視する。
・プリントは一人一回しか配布しない。
・課題を遅れて提出した場合は-30 %で計算する。
・平常点では、授業中の態度・積極性・協調性を重視する。また、予習してきたかどうかも重視する。

【Outline and objectives】
Students will develop their academic skills through reading comprehension exercises, especially reading in detail. In this class, they will be able to understand the contents of the text correctly, explain it and express their opinions about it.

LANj200LA

日本語４Ⅱ

2017 年度以降入学者

中沢　佐企子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
法２年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
読解練習、特に精読を中心にテキストを厳密に読む練習を行う。内容を正確に理解し、説明する。また、読解内容に関して意見を表現したりする作業を通じて、大学におけるアカデミック・スキルを養う。

【到達目標】
テキストの内容を厳密に読む技術を身につける。クリティカル・リーディングを行い、内容について筆者の意図等を正確に理解し説明できるようになる。また、その内容について、自分の意見を述べることができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
１　読解、語彙・表現などについて予習する。
２　授業では、テキストを厳密に読む練習を行う。内容についての質疑応答を行う。また、語彙・表現等についても確認する。
３　内容確認後、テキストに関する討論や発表も行う。
４　学期中に数回小テストや課題を行う。なお、小テストは授業開始時に行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	ガイダンス テキストの読解	授業の目的、進め方について説明 テキストの読解と内容に関する質疑応答
2 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
3 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
4 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
5 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
6 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
7 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
8 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
9 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
10 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
11 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
12 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
13 回	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
14 回	まとめ 期末試験	まとめ テキストの内容についての試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
テキストは前もって配布するので、読解・語彙・表現等を予習する。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】
プリント教材。授業で配布する。

【参考書】
授業中、適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】
平常点（授業への参加・予習等）３０％、小テスト・課題３０％、試験４０％
※やむを得ない理由による場合を除き、欠席・遅刻をした場合は、その回の小テストは 0 点とする。
※以下の条件をすべて見なすものを評価の対象とする
(1) 欠席回数が 4 回以下であること
(2) 授業での小テストを受け、課題を提出していること
(3) 学期末試験を受験していること

【学生の意見等からの気づき】
2020 年度はリアルタイム配信型のオンライン授業であったため、対面授業のような学生同士のアクティブラーニングが難しかった。また、学生の発話する機会が少なかった。そのため、2021 年度は学生の発話する機会を増やし、積極的な参加を促していきたい。

【その他の重要事項】
・出席を重視する。
・プリントは一人一回しか配布しない。
・課題を遅れて提出した場合は-30 %で計算する。
・平常点では、授業中の態度・積極性・協調性を重視する。また、予習してきたかどうかも重視する。

【Outline and objectives】
Students will develop their academic skills through reading comprehension exercises, especially reading in detail. In this class, they will be able to understand the contents of the text correctly, explain it and express their opinions about it.

LANj200LA

日本語４Ⅰ

2017 年度以降入学者

新谷　あゆり

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
文環 2 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
小説を教材に読解力を身につける。
語彙を増強する。
内容は学生の様子を見て適宜変更する。

【到達目標】
１語彙力をつける
２物語の大意を取る
３時代、社会背景を理解しながら、登場人物の気持ちや展開を考える

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
１小説を事前に読み、わからない語彙・表現を調べてくる。
２担当者が小説の内容について質問シートを作成する。
３質問の答えを考え発表する。
４翌週漢字の読みテストを実施する。
Zoom と Gogole classroom を使用する。hoppi に詳細を載せるので確認し、Gogole　classroom に登録しておくこと。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1.	長編小説を読む	GO　１章 金城一紀（かねしろかずき）
2	長編小説を読む	GO　１章
3	長編小説を読む	GO　２章
4	長編小説を読む	GO　２章
5	長編小説を読む	GO　３章
6	長編小説を読む	GO　３章
7	長編小説を読む	GO　４章
8	長編小説を読む	GO　４章
9	長編小説を読む	GO　５章
10	長編小説を読む	GO　５章
11	長編小説を読む	GO　６章
12	長編小説を読む	GO　７章 映画 1
13	長編小説を見る	GO　映画 2
14	期末試験	期末試験　漢字・読解

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
わからない語彙・表現を調べ小説を読んでくる。
担当者は小説の内容について質問シートを作成してくる。
漢字の読み・語彙を覚える。

【テキスト（教科書）】
『GO』　金城一紀　角川文庫　572 円

【参考書】
プリント

【成績評価の方法と基準】
平常点 20 %、課題 40 %、テスト 40 %
4 回欠席は落第

【学生の意見等からの気づき】
在日韓国・朝鮮人の歴史と生活について学びながら小説自体の面白さで最後まで楽しく読めたという意見がありました。
学生が問いかけ考える授業形態にしたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】
パソコンかタブレットかスマホ。
パソコンかタブレットが望ましい。

【その他の重要事項】
小説をあらかじめ購入しておくこと。初日から使用する。
Zoom と Google classroom を使用する。
hoppi に詳細を載せるので Zoom の URL などを確認し、Google classroom にも登録しておくこと。
タブレット・スマホの学生は Zoom と Google classroom のアプリを入れておくこと。

【Outline and objectives】
This class aims to improve reading comprehension skills.
Students read Japanese novels and increase vocabulary.

LANj200LA

日本語４Ⅱ

2017 年度以降入学者

新谷　あゆり

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
文環 2 年
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
小説を教材に読解力を身につける。
内容は学生の様子を見て適宜変更する。

【到達目標】
１語彙力をつける
２物語の大意を取る
３物語の展開を理解する
４物語を創作する

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
１語彙・表現のチェック
２大意を取る
３展開を理解し、結末を予想する
４物語を創作する
５漢字のテスト
Zoom と Gogole classroom を使用する。hoppi に詳細を載せるので確認し、初日の授業までに Gogole classroom に登録しておくこと。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	短編小説１－１	「夏の葬列」山川方夫（やまかわまさお）
2	短編小説１－２	「夏の葬列」山川方夫
3	短編小説１－３	「夏の葬列」山川方夫
4	短編小説２－１	「来訪者」阿刀田高（あとうだたかし）
5	短編小説２－２	「来訪者」阿刀田高
6	長編小説２－３	「来訪者」阿刀田高
7	短編小説２－４	「来訪者」阿刀田高
8	長編小説１－１	『阪急電車』有川 浩（ありかわひろ）
9	長編小説１－２	『阪急電車』有川 浩
10	長編小説１－３	『阪急電車』有川 浩
11	長編小説１－４	『阪急電車』有川 浩
12	長編小説１－５	『阪急電車』有川 浩
13	長編小説１－６	『阪急電車』有川 浩
14	期末試験	期末試験　漢字・読解

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
わからない語彙、表現を予習する
小説を読む
質問シートを作成し、完成させる
漢字・語彙を覚える
1-2 時間必要

【テキスト（教科書）】
『阪急電車』有川 浩（ありかわひろ）幻冬舎文庫　586 円

【参考書】
『夏の葬列』集英社文庫

『阿刀田高傑作短編集』集英社文庫

【成績評価の方法と基準】
平常点 20 %、課題 40 %、テスト 40 %
欠席 4 回で落第

【学生の意見等からの気づき】
さまざまな短編・長編小説の展開を想像しながら読むのが楽しいという声がありました。展開・結末が面白いものを選びました。

【学生が準備すべき機器他】
パソコンかタブレットかスマホ。
パソコンかタブレットが望ましい。

【その他の重要事項】
Zoom と Google classroom を使用する。
hoppi に詳細を載せるので Zoom の URL などを確認し、Google classroom にも登録しておくこと。
タブレット・スマホの学生は Zoom と Google classroom のアプリを入れておくこと。

【Outline and objectives】
This class aims to improve reading comprehension skills.
Students read Japanese novels and increase vocabulary.

LANj200LA

日本語４Ｉ

2017 年度以降入学者

江村　裕文

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木 2**/Thu.2
単位数：**1 単位**
営国 2 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
「精読」を授業内での中心的な作業として行い、テキストを厳密に読み込む作業を通して、大学における読解のアカデミック・スキルを養成する。

【到達目標】
日本語テキストの内容をできるだけ主観的なバイアスをかけないように読み取ることができるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
1　生の日本語テキストを使用し、できうる限り厳密にテキストを読み込むことによって、執筆者の意図に近づく努力をする。
2　語彙や表現について予習を課し、授業では内容についての質疑応答を行い、必要に応じて内容に関する討論も行いたい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーションとテキストの紹介	授業運営の詳細について解説し、テキストを紹介する
2	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
3	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
4	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
5	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
6	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
7	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
8	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
9	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
10	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
11	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
12	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
13	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
14	授業内試験	テキストの日本語および内容に関する試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
テキストの語句・漢字・表現等を自分なりに予習し、不明な点があれば授業中に質問できるようにしておくこと。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
テキストとして、滝浦真人『ポライトネス入門』研究社、を用いる。

【参考書】
参考書は必要に応じて授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】
平常点４０点、試験の得点６０点、合計１００点で評価する。

【学生の意見等からの気づき】
経験的に、学生自身はわかったつもりでも、実は理解していないところがあるので、理解度をためしつつ授業を進めていきたい。

【その他の重要事項】
授業内容に関係のないことでも、日本や日本人に関することであるならば、全員の益に資すると判断されれば取り扱うので、積極的にコミットしてほしい。

【Outline and objectives】
The title of this class is "the careful reading". The purpose of this class is to master the way of reading texts written with Japanese. You can get the reading ability of Japanese texts used at the academic class in the university.

LANj200LA

日本語４Ⅱ

2017 年度以降入学者

江村　裕文

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：**1 単位**
営国 2 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
「精読」を授業内での中心的な作業として行い、テキストを厳密に読み込む作業を通して、大学における読解のアカデミック・スキルを養成する。

【到達目標】
やや論文的なテキストを使用し、最終的に日本語テキストの内容を精確に読み取る能力を訓練する。これは専門のための勉強にも直接役立つ能力であるので、しっかりくらいついてきてほしい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
1　以下の日本語テキストを使用し、厳密にテキストを読み込むことによって、執筆者の意図に近づく努力をする。
2　語彙や表現について予習を課し、授業では内容についての質疑応答を行い、必要に応じて内容に関する討論も行いたい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	秋学期試験の解説・テキストの読解	春学期試験の解説およびテキストの読解と内容に関する質疑応答
2	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
3	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
4	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
5	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
6	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
7	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
8	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
9	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
10	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
11	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
12	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
13	テキストの読解	テキストの読解と内容に関する質疑応答
14	授業内試験	テキストの日本語および内容に関する試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
テキストの語句・漢字・表現等を自分なりに予習し、不明な点があれば授業中に質問できるようにしておくこと。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
引き続き、滝浦真人『ポライトネス入門』研究社、を使用する。

【参考書】
参考書は必要に応じて授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】
平常点４０点、試験の得点６０点、合計１００点で評価する。

【学生の意見等からの気づき】
経験的に、学生自身はわかったつもりでも、実は理解していないところがあるので、理解度をためしつつ授業をすすめていきたい。

【その他の重要事項】
授業内容に直接関係のないことでも、日本や日本人に関することであるならば、全員の益に資すると判断されれば取り扱うので、積極的にコミットしてほしい。

【Outline and objectives】
The title of this class is "the careful reading". The purpose of this class is to master the way of reading texts written with Japanese. You can get the reading ability of Japanese texts used at the academic class in the university.

ARSe200LA

日本語の世界 LA

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

尾形　太郎

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 3/Wed.3
単位数：**2 単位**
2～4 年　※定員制※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
日本語、特に日本語の文法について考え、学ぶ授業です。
普段とは違う観点から日本語を見つめなおし、私たちの日常的な日本語運用の中に隠れているメカニズムに迫ります。
その際、日本語学、認知言語学、語用論などの知見を参照しますので、これら学問の基本的な考え方（のいくつか）についても学ぶことができます。
ただし、受講に当たって言語学の知識は全く必要ありません。日本の大学で日本語で学ぶに十分な日本語能力さえあれば、どんな人でも受講可能です。

【到達目標】
１．日本語の諸側面について体験をもとに考える力を身につける。
２．話し合いの中で相手の意見をよく理解しつつ、自分の意見を言うことができる。
３．あるテーマについて、自分または自分たちが考えたことをわかりやすく発表することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
事前課題➡資料を用いた学習・議論➡課題
各回の課題へのフィードバックは、授業中に口頭で行うか、Hoppi を用いて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
①	授業ガイダンス	授業ガイダンス
②	日本語における格 「♪私だけ愛してた」 ～誰が誰を愛してた？	日本語における格を考える
③	「犯人はルパンだ」vs「犯人がルパンだ」、「ルパンが犯人だ」vs「ルパンは犯人だ」	「は」と「が」の機能の違いを考える
④	で、「は」と「が」ってどうやって使いわければいいの？	日本語学習者に「は」と「が」の違いを教えるにはどうすればいいか考える
⑤	「プレステ５、また売り切れだって」「え、昨日、ヨドバシ ｛に／で｝ あったよ。」～こういう場合、デでもＯＫなんですかね？	場所を表す助詞二とデの違いを考える
⑥	「あ、お湯がわいて（い）る」vs「あ、お湯がわいた」は同じ出来事を表している？	「てい（る）」と「た」の違いから日本語における出来事の様相の捉え方を考える

⑦	「あ、レポート、今日までだった！」～今日のことなのに何でタって言うの？	「た」から日本語の時間認識を考える
⑧	「大学へ行った」は○，「風呂へ入った」は△、「電車へ乗った」は×、の不思議	「へ」「に」「で」から場所に関連する助詞の機能の違いを考える
⑨	「犯人はルパンにちがいない」vs「犯人はルパンのはずだ」	根拠に基づく主張を表す文の違いを考える
⑩	共感できない相手には敬語を使え？	相手への共感度と敬語使用の関係を考える
⑪	「「のだ」がわからないのです」～文末の「のだ」っていったい何なの？	「のだ」の機能を考える
⑫	「あ、0 点」vs「え、0 点」vs「げっ、0 点」「へー、すごいね～」vs「ふーん、すごいね～」	感動詞が表す「心の働き」を考える
⑬	ミニ発表と討論①（予定）	受講生が日本語に関する疑問を提起し、全員で議論する
⑭	ミニ発表と討論②（予定）	受講生が日本語に関する疑問を提起し、全員で議論する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
日本語の文法を観察・内省し、自分なりの問いを立てること。
本授業の準備学習・復習時間は、2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
授業中にハンドアウトを配布します。

【参考書】
授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】
授業への参加（毎回の課題、事前課題）60%、期末課題 40%で、評価を決める。
期末課題は選択制（複数の課題の中から 2 つ選び、授業内容を踏まえ解答する）。

【学生の意見等からの気づき】
「普段は意識せずに使っている日本語について、深く知ることができた」「過去を表すタなど、ひとつの文法が色々な機能を持っていることがわかり興味深かった」「文法が、私たちが出来事を体験する仕方や認識する仕方と関連していることがわかり、面白かった」「授業で学んだことを生かして、外国人の友達に日本語を教えたい」と言った肯定的なコメントを踏まえ、更に授業の内容を充実させていきたいと思っています。
また、異なる国籍、文化の人たちと話し合えることが好評なので、毎回ディスカッションを実施していく予定です。

【その他の重要事項】
普段とは違う観点から日本語を見つめなおし、日本語の中に隠れているメカニズムに好奇心を持って迫ってみてください。
言語学や日本語学についての特別な知識は必要ありません。
日本語をさらに深く習得したい留学生、自分の母語について少し詳しく知りたい日本語母語話者、日本語教育に携わりたい人などにとって興味深い授業となるよう努めます。
言語学を学んだことがある人ももちろん歓迎します。
なお、授業計画は、一部変更することがあります。

【Outline and objectives】
This class is an introduction of the Japanese linguistics, which especially treats some grammatical topics. Students are required to approach mechanisms hidden in our ordinary use of Japanese.
Because some ideas of Japanese linguistics, cognitive linguistics and pragmatism are introduced though the task, students can learn some basic ideas in these fields.

ARSe200LA

日本語の世界 LB

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

尾形　太郎

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 3/Wed.3
単位数：**2 単位**
2～4 年　※定員制※定員制
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
日本語、特に日本語の文法について考え、学ぶ授業です。
普段とは違う観点から日本語を見つめなおし、私たちの日常的な日本語運用の中に隠れているメカニズムに迫ります。
その際、日本語学、認知言語学、語用論、日本語教育学などの知見を参照しますので、これら学問の基本的な考え方（のいくつか）についても学ぶことができます。
ただし、受講に当たって言語学の知識は全く必要ありません。日本の大学で日本語で学ぶに十分な日本語能力さえあれば、どんな人でも受講可能です。

【到達目標】
1．日本語の諸側面について体験をもとに考える力を身につける。
2．話し合いの中で相手の意見をよく理解しつつ、自分の意見を言うことができる。
3．あるテーマについて、自分または自分たちが考えたことをわかりやすく発表することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
課題 → 教材を用いた学習・議論 → 課題
各回の課題へのフィードバックは、授業中に口頭で行うか、Hoppi を用いて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
①	授業ガイダンス 世界の言語の中の日本語①	授業の進め方の説明 今までに学んだ言語と日本語を比べる／先学期と今学期の授業内容の紹介
②	（キャンパスにて）「あ、サルが ｛来てる／来た｝」は変だが、その翌日、再びサルを見て「あ、あのサルまた ｛来てる／来た｝」が OK の謎	タとテイルについて考える
③	「彼女にふられた（涙）」vs「彼女は私をふった」～日本人は受身がち？	ヴォイス（態）について考える
④	「先生、次のゼミのレジュメを書いたのですが、読んでおいていただけますか。」と言ったら、先生が少し不機嫌になった。何で？	「ておく」の意味を考える

⑤	A「ここ、涼しいね」B「うん、ここ、涼しい」／A「ここ、涼しいね」B「え、そこ、涼しいの？　ここは暑いよ」～「ここ」と「そこ」のあいまいな（？）境界	「こそあ」について考える①
⑥	「昨日、キャンパスですごい人見たんだ。あの人、リクルートスーツを着てるのに、頭はモヒカン刈りなんだよ。」の「あの人」に違和感を感じませんか？	「こそあ」について考える②
⑦	A「432 + 123 はいくつですか？」B「あのー、555」A「あのー、そこは「あのー」ではなくて「えーと」って言うところだと思うのですが…」～アノーとエートの使い分けは案外難しい？	フィラーについて考える
⑧	「じゃあ、今日はこれで終わります」「じゃあ、また」～｛じゃあ／さあ／よし｝、「では」について考えよう	「じゃあ」「さあ」「よし」の機能について考える
⑨	「そうですね」vs「そうですよ」vs「そうですよね」vs「そうですか」vs「そうですって」etc.～何事も終わりが肝心です	終助詞の機能の違いを考える
⑩	「年明けは就活が「いよいよ」本格化するし、今のうちに遊んどかなきゃ。それにしても「とうとう」来年度から社会人か…」～その前に「そろそろ」期末発表の準備をしましょう	出来事の実現時期到来を表す副詞を考える
⑪	「～んです」の意味がわからないんです。	ノダの機能を考える
⑫	「このお茶、ちょっと癖があるとけど、好きな人は好きだよ。」「そりゃそうだ。」～で、何が言いたいの？	トートロジーに意味はあるのか考える
⑬	「さむっ」vs「さむ～い」vs「さむい…」～一番寒いのは誰？	言い方の違いからメッセージの違いを考える
⑭	まとめ	今学期の学習内容を振り返る

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
日本語の文法を観察・内省し、自分なりの問いを立てること。
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
授業中にハンドアウトを配布します。

【参考書】
授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】
授業への参加（討論での発言、リアクション・ペーパーなど）60%、期末レポート 40%で、評価を決める。
出席率が 70%以上であることを単位取得の条件とする。

【学生の意見等からの気づき】
「普段は意識せずに使っている日本語について、深く知ることができた」「過去を表すタなど、ひとつの文法が色々な機能を持っていることがわかり興味深かった」「文法が、私たちが出来事を体験する仕方や認識する仕方と関連していることがわかり、面白かった」「授業で学んだことを生かして、外国人の友達に日本語を教えたい」と言った肯定的なコメントを踏まえ、更に授業の内容を充実させていきたいと思っています。
また、異なる国籍、文化の人たちと話し合えることが好評なので、毎回ディスカッションを実施していく予定です。

【その他の重要事項】
普段とは違う観点から日本語を見つめなおし、日本語の中に隠れているメカニズムに好奇心を持って迫ってみてください。
言語学や日本語学についての特別な知識は必要ありません。
日本語をさらに深く習得したい留学生、自分の母語について少し詳しく知りたい日本語母語話者、日本語教育に携わりたい人などにとって興味深い授業となるよう努めます。
言語学を学んだことがある人ももちろん歓迎します。
なお、授業計画は、一部変更することがあります。

【Outline and objectives】
This class is an introduction of the Japanese linguistics, which especially treats some grammatical topics. Students are required to approach mechanisms hidden in our ordinary use of Japanese.
Because some ideas of Japanese linguistics, cognitive linguistics and pragmatism are introduced through the task, students can learn some basic ideas in these fields.

ARSe200LA

日本の文化と社会 LA

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

尾形　太郎

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**2 単位**
2〜4 年　※定員制※定員制
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
今学期は、「生（生命・生活）」をテーマに、安楽死、障害者差別、生活保障（生活保護／ベーシックインカム）、（私たちの生を支える）食に関する倫理的問題を取り上げます。授業では、例えば、「（積極的）安楽死の是非」「「障害」は「障害者」の能力（の不足・欠如）の問題なのか」「生活保護を受けることは恥ずかしいことなのか」「「食べ物」であれば何を食べても倫理的に問題ないのか」といった問いについて議論し、文献を読み（ドキュメンタリーを視聴することも考えています）、更に議論を含めることで、現代日本社会が直面する具体的な問題への認識を深めます。
授業で扱う問題に関する知識がなくとも授業に参加することは可能です。授業を通して基本的な知識を身に付けること、また、問題への関心を深めることが授業の目的の一つです。（扱う問題は、参加者の関心に応じて変更する場合があります。）
また、ディスカッションを通して様々な意見に触れ、視野を広げること、複眼的に問題を考える姿勢を身に付けることもこの授業の目的です。

【到達目標】
１．問題について基本的な知識を身に付けること、問題への関心を深めること。
２．討論の中で自分の考えをわかりやすく伝えること。
（授業では積極的に自分の意見を表明することが求められますが、口頭で意見を述べることを苦手とする学生でも、コメントシートなどを活用し、書くことによって、自分の意見を表明することが出来れば問題なく授業に参加することができます。）
３．異なる意見に触れ、自らとは異なる視点から問題を考える態度を身に付けること。
４．異なる文化的出自を持つ学生との議論を通し、自文化を相対化する観点を身に付けること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
①トピックに関する議論を行う。（グループ・ディスカッション）
②トピックに関連する文献紹介を行う／聞く
③②を踏まえ、再度議論を行う。
学期後半では、②を学生が担当する可能性もあります。
各回の課題へのフィードバックは、授業中に口頭で行うか、Hoppi を用いて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
①	オリエンテーション	授業の進め方を説明する。それぞれの興味関心を共有する。
②	議論の練習①：	グループ・ディスカッションが「探求的な対話」となるように、議論の仕方を練習する
③	安楽死について考える①	資料の読解・視聴 グループ・ディスカッション
④	安楽死について考える②	資料の読解・視聴 グループ・ディスカッション
⑤	安楽死について考える③	資料の読解・視聴 グループ・ディスカッション
⑥	障害者差別について考える①	資料の読解・視聴 グループ・ディスカッション
⑦	障害者差別について考える②	資料の読解・視聴 グループ・ディスカッション
⑧	障害者差別について考える③	資料の読解・視聴 グループ・ディスカッション
⑨	生活保障（生活保護／ベーシックインカム）について考える①	資料の読解・視聴 グループ・ディスカッション
⑩	生活保障（生活保護／ベーシックインカム）について考える②	資料の読解・視聴 グループ・ディスカッション
⑪	生活保障（生活保護／ベーシックインカム）について考える③	資料の読解・視聴 グループ・ディスカッション
⑫	食の倫理について考える①	資料の読解・視聴 グループ・ディスカッション
⑬	食の倫理について考える②	資料の読解・視聴 グループ・ディスカッション
⑭	食の倫理について考える③	資料の読解・視聴 グループ・ディスカッション

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
各回資料を配布する。

【参考書】
（以下の資料を通読する、ということではなく、その一部を授業内で紹介するということなのでご安心ください。）
松田純（2018）『安楽死・尊厳死の現在-最終段階の医療と自己決定』中央公論社
安藤泰至（2019）『安楽死・尊厳死を語る前に知っておきたいこと』岩波書店
宮下洋一（2017）『安楽死を遂げるまで』小学館
立岩真也（2008）『よい死』筑摩書房
竹内章郎（2020）『いのちと平等をめぐる 13 章 優生思想の克服のために』生活思想社
安藤祐樹（2020）『障害者差別を問いなおす』筑摩書房
スナウラ・テイラー（2020）『荷を引く獣たち　動物の解放と障害者の解放』世界思想社
立岩真也（2001）『弱くある自由へ　自己決定・介護・生死の技術』青土社
稲葉剛（2014）『生活保護から考える』岩波書店
萱野嘉人編著（2012）『ベーシックインカムは究極の社会保障か:「競争」と「平等」のセーフティネット』堀之内出版
原田泰『ベーシック・インカム　国家は貧困問題を解決できるか』中央公論
ロナルド・L・サンドラー（2019）『食物倫理 (フード・エシックス) 入門: 食べることの倫理学』ナカニシヤ出版
枝廣淳子（2018）『アニマルウェルフェアとは何か――倫理的消費と食の安全 』岩波書店
その他、雑誌や新聞の記事

【成績評価の方法と基準】
各回の課題（50%）、期末レポート（50%）
出席率が 70 %以上であることを単位取得の条件とする。

【学生の意見等からの気づき】
「今まで考えたこともなかった問題について考えるきっかけを得ることができた」「議論の中で、自分の考えを言語化することで、今までぼんやりと考えていたことが整理できた」といったコメントを読み、とてもうれしく思います。
今後も、この授業から少しでも多くの学生の皆さんが「気づき」「興味」「問題意識」を得る、あるいは深めることができるよう努力したいと思っています。

また、グループ討論で異文化交流ができるという点が好評なので、多国籍のグループ構成ができるように努めます。

【その他の重要事項】
この授業は、留学生と日本人学生が議論し、交流を深める貴重な機会となっています。
日本人学生と意見を交換したい留学生のみなさん、普段あまり留学生と話す機会がない日本人学生のみなさん、どちらもぜひこの機会を利用してもらえたらと思います。

【Outline and objectives】
The class will treat some actual problems we are confronting in Japanese society. We will discuss them from different viewpoints; international students' and Japanese students' ones. The class will provide students with opportunities to approach the problems through reading papers, presentations, and discussions with those who have different cultural and social backgrounds.

ARSe200LA

日本の文化と社会 LB

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

尾形　太郎

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**2 単位**
2〜4 年　※定員制※定員制
他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
今学期は、格差、差別、不平等をテーマに、ジェンダー格差、人種差別、性的マイノリティ差別の問題を取り上げます。例えば、「「○○女子」という言い方に問題はあるか」「同性婚は法制化すべきか」「日本に人種差別は存在しないのか」といった問いについて議論し、文献を読み、更に議論を含めることで、現代日本社会が直面する具体的な問題への認識を深めます。
授業で扱う問題に関する知識がなくとも授業に参加することは可能です。授業を通して基本的な知識を身に付け、また、問題への関心を深めることが授業の目的の一つです。（扱う問題は、参加者の関心に応じて変更する場合があります。）
また、ディスカッションを通して様々な意見に触れ、視野を広げること、複眼的に問題を考える姿勢を身に付けることもこの授業の目的です。

【到達目標】
１．問題について基本的な知識を身に付けること、問題への関心を深めること。
２．討論の中で自分の考えをわかりやすく伝えること。
（授業では積極的に自分の意見を表明することが求められますが、口頭で意見を述べることを苦手とする学生でも、コメントシートなどを活用し、書くことによって、自分の意見を表明することが出来れば問題なく授業に参加することができます。）
３．異なる意見に触れ、自らとは異なる視点から問題を考える態度を身に付けること。
４．異なる文化的出自を持つ学生との議論を通し、自文化を相対化する観点を身に付けること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
①トピックに関する議論を行う。（グループ・ディスカッション）
②トピックに関連する文献紹介を行う／聞く
③②を踏まえ、再度議論を行う。
各回の課題へのフィードバックは、授業中に口頭で行うか、Hoppiを用いて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
①	オリエンテーション	授業の進め方を説明する。それぞれの興味関心を共有する。
②	議論の練習①：「制服」についてどのような観点から論じられるか考える	グループ・ディスカッションが「探求的な対話」となるように、議論の仕方を練習する
③	議論の練習②：「○○男子／女子」という言葉に問題はあるか	グループ・ディスカッションが「探求的な対話」となるように、議論の仕方を練習する

④	「女らしさ／男らしさ」～「女の子みたいにボールを投げて」と言われたらどうする？	資料の読解・視聴 グループ・ディスカッション
⑤	男女に仕事の向き不向きはある？	資料の読解・視聴 グループ・ディスカッション
⑥	女性は管理職に就くことを望んでいない？	資料の読解・視聴 グループ・ディスカッション
⑦	同性婚の法制化は必要か	資料の読解・視聴 グループ・ディスカッション
⑧	SOGI とは何か	資料の読解・視聴 グループ・ディスカッション
⑨	アウティング／カミングアウトについて	資料の読解・視聴 グループ・ディスカッション
⑩	日本は外国人に寛容な国で人種差別は存在しない？	資料の読解・視聴 グループ・ディスカッション
⑪	「日本人」とは何か？	資料の読解・視聴 グループ・ディスカッション
⑫	発表①	文献紹介または自由発表
⑬	発表②	文献紹介または自由発表
⑭	発表③	文献紹介または自由発表

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
各回資料を配布する。

【参考書】
（以下の資料を全て読む、ということではなく、その一部を授業内で紹介するということなのでご安心ください。）
佐藤文香監修（2019）『ジェンダーについて大学生が真剣に考えてみた』明石書店
伊藤公雄・牟田和恵編（2015）『ジェンダーで学ぶ社会学』世界思想社
加藤秀一（2017）『はじめてのジェンダー論』有斐閣
大沢真知子（2017）『なぜ女性管理職は少ないのか 女性の昇進を妨げる要因を考える』青弓社
稲原美苗他（2020）『フェミニスト現象学入門』ナカニシヤ出版
森山至貴（2017）『LGBT を読みとく―クィア・スタディーズ入門』筑摩書房
砂川秀樹（2018）『カミングアウト』朝日出版社
杉山 麻 里子（ 2016 『 ルポ同性カップルの子どもたち アメリカ「ゲイビーブーム」を追う 』岩波書店
ハントンヒョン（2019）「外国人・移民　包摂型社会を経ない排除型社会で起きていること」、小熊英二編『平成史【完全版】』河出書房新社
望月優大（2019）『ふたつの日本　「移民国家」の建前と現実』 講談社
梁英聖（2020）『レイシズムとは何か』筑摩書房
下地ローレンス（2018）『「混血」と「日本人」 ―ハーフ・ダブル・ミックスの社会史―』青土社
その他、雑誌や新聞の記事

【成績評価の方法と基準】
各回の課題（50%）、期末レポート（50%）
出席率が 70 %以上であることを単位取得の条件とする。

【学生の意見等からの気づき】
「今まで考えたこともなかった問題について考えるきっかけを得ることができた」「議論の中で、自分の考えを言語化することで、今までぼんやりと考えていたことが整理できた」といったコメントを読み、とてもうれしく思います。
今後も、この授業から少しでも多くの学生の皆さんが「気づき」「興味」「問題意識」を得る、あるいは深めることができるよう努力したいと思っています。
また、グループ討論で異文化交流ができるという点が好評なので、多国籍のグループ構成ができるように努めます。

【その他の重要事項】
この授業は、留学生と日本人学生が議論し、交流を深める貴重な機会となっています。
日本人学生と意見を交換したい留学生のみなさん、普段あまり留学生と話す機会がない日本人学生のみなさん、どちらもぜひこの機会を利用してもらえたらと思います。

【Outline and objectives】
The class will treat some actual problems we are confronting in Japanese society. We will discuss them from different viewpoints; international students' and Japanese students' viewpoints. The class will provide students with opportunities to approach the problems through reading papers, presentations, and discussions with those who have different cultural and social backgrounds.

LANd200LA

ドイツ語３Ｉ

2017 年度以降入学者

JENS OSTWALD

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 1/Wed.1
単位数：**1 単位**
法 2 年 A

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
読解力と文法の強化
ドイツの習慣や文化について書かれたテキストを通して、文法の強化と読解力を身につけます。また、ドイツの文化についても触れることで、総合的なドイツの理解を深めます。

【到達目標】
文法の理解と、読解力をつけることで基礎的なドイツ語を使えるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
ドイツ語の読解と文法の復習および強化。
課題等の提出・フィードバックは授業内あるいは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	オリエンテーション
第 2 回	文法・語彙復習	一年生の時に学んだドイツ語の復習
第 3 回	復習：簡単な会話	挨拶など・簡単な会話の復習・練習
第 4 回	簡単な自己紹介	簡単な自己紹介を言えるように。 疑問文の練習
第 5 回	自己紹介	自己紹介を言える、書ける、読めるように。 疑問文の練習
第 6 回	買い物	チラシを読む、買い物で必要な会話を習得する
第 7 回	食べ物・飲み物	食べ物・飲み物についての読書
第 8 回	旅行のドイツ語 I レストラン	メニューとレストランでの小会話
第 9 回	旅行のドイツ語 II ホテル	ホテルについての情報、予約 Web ページを読む
第 10 回	旅行のドイツ語 III 道を尋ねる	道を尋ねる会話
第 11 回	旅行のドイツ語 IV 交通機関	航空券、切符の購入など
第 12 回	旅行のドイツ語 V 観光案内	観光案内 簡単な会話、情報を読む
第 13 回	復習	語彙・文法・読解方法の復習
第 14 回	期末テスト	期末テスト 学期の纏め

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
宿題・復習。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
配布資料

【参考書】
独和辞典（詳細は一回目の授業時に話します）

【成績評価の方法と基準】
期末試験　５０％
小テスト　２０％
宿題　１０％
平常点　２０％

【学生の意見等からの気づき】
教科書に沿った授業の進め方ではなく、受講生にあわせて配布プリントを活用する。

【学生が準備すべき機器他】
オンライン授業に転換になる場合には Zoom で接続可能な機器が必要です。

【その他の重要事項】
学生の興味や理解度に順じてプログラムを変更することもあります。

【Outline and objectives】
German language course;
vocabulary expansion and grammar review, readings (and conversation);

LANd200LA

ドイツ語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

JENS OSTWALD

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 1/Wed.1
単位数：**1 単位**
法 2 年 A

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
読解力と文法の強化
ドイツの習慣や文化について書かれたテキストを通して、文法の強化と読解力を身につけます。また、ドイツの文化についても触れることで、総合的なドイツの理解を深めます。

【到達目標】
文法の理解と、読解力をつけることで基礎的なドイツ語を使えるようにします。
課題等の提出・フィードバックは授業内あるいは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
ドイツ語の読解と文法の復習および強化。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	復習	今まで学んだドイツ語の復習
第 2 回	環境問題 テーマ１	環境問題についての資料を読む
第 3 回	環境問題 テーマ２	環境問題についての資料を読んで 文法上の問題点を解説
第 4 回	広告のスローガン　I	スローガンを読み解く
第 5 回	広告のスローガン　II	スローガンを読み解く スローガン・宣伝のドイツ語の特徴を見る
第 6 回	童話 I	グリム童話を読む
第 7 回	童話 II	文法の解説
第 8 回	ドイツの詩	ゲーテ、国歌など、受講生の興味に合わせてドイツの詩・歌を読む
第 9 回	ドイツの歌	ゲーテ、国歌など、受講生の興味に合わせてドイツの詩・歌を読む
第 10 回	ドイツ憲法について	ドイツ憲法についての簡単な文を読む
第 11 回	ドイツ憲法	ドイツ憲法を部分的に読み解く
第 12 回	復習：語彙・文法	語彙・文法の復習・練習
第 13 回	復習：読解方法	復習：文を読み解く方法
第 14 回	期末テスト	期末テスト 纏め

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
宿題・復習。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
配布資料

【参考書】
独和辞典（詳細は一回目の授業時に話します）

【成績評価の方法と基準】
期末試験　５０％
小テスト　２０％
宿題　１０％
平常点　２０％

【学生の意見等からの気づき】
教科書に沿った授業の進め方ではなく、受講生にあわせて配布プリントを活用する。

【学生が準備すべき機器他】
オンライン授業に転換になる場合には Zoom で接続可能な機器が必要です。

【その他の重要事項】
学生の興味や理解度に順じてプログラムを変更することもあります

【Outline and objectives】
German language course;
vocabulary expansion and grammar review, readings (and conversation);

LANd200LA

ドイツ語３Ｉ

2017 年度以降入学者

浦田　智

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 4/Thu.4
単位数：**1 単位**
法 2 年 B

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ドイツ語の向上を目指し、ドイツの文化を学びながら異文化理解を深める。

【到達目標】
文法の復習と読解力の向上をめざすばかりでなく、書かれた内容を通して、翻訳では伝わりにくいドイツの文化に触れ、世界を広げる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
テキストの内容に準じて授業を進めます。テキストの各課の本文を読み、意味を確認する。本文の意味や練習問題の答えは、分担を決めて各履修者に解いてもらう。ドイツ語の文を発音したり、練習問題を解いたりすることは各自で行ない、発表してもらいます。それぞれの練習の内容（解答など）について提出されたものは、添削チェックして返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	ドイツ語およびドイツ語圏の紹介。授業の進め方（注意すべきポイントなど）やテキストの説明を行う。
2	Lektion 0	自己紹介：ドイツ語で自己紹介する。動詞の現在人称変化や語順の復習。
3	Lektion 1 (1)	地理と気候：冠詞（類）の格変化の復習。
4	Lektion 1 (2)	地理と気候：基数と序数を用いた表現。
5	Lektion 2 (1)	食生活：前置詞の格支配の復習。
6	Lektion 2 (2)	食生活：前置詞を用いた表現。
7	Lektion 3 (1) 中間のまとめのテスト	ドイツ語という言語：名詞の複数形の復習。
8	Lektion 3 (2)	ドイツ語という言語：数詞と複数形を用いた表現。
9	Lektion 4 (1)	ドイツの大学：話法の助動詞の復習。
10	Lektion 4 (2)	ドイツの大学：未来形と不定代名詞の話。
11	Lektion 5 (1)	祝日と休暇：形容詞の格変化の復習。
12	Lektion 5 (2)	祝日と休暇：序数と形容詞の名詞化の話。
13	Lektion 6	ドイツの治安事情：比較表現の復習。
14	期末のまとめのテストと総括	春学期の復習とまとめのテストの実施。および内容の総括。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業での指示に従うこと。
本文の講読は全体を予習した方が、練習問題は解きやすい。
学んだことはなるべくその日のうちに復習しよう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
「知りたいドイツ語～読みながらステップアップ～」　齊藤太郎・他著
　朝日出版社

【参考書】
本郷建治著『ドイツ文法の要点』三修社
中島悠爾他著『改訂版必携ドイツ文法総まとめ』白水社　　など
必要に応じて授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】
原則として出席は 3 分の 2 以上を必要とする。基本的には中間試験＋期末試験 70 %、授業参加度（宿題、課題をふくむ平常点）30 % の割合で総合評価する。

【学生の意見等からの気づき】
積極的な授業参加を歓迎します。

【学生が準備すべき機器他】
コロナ禍によりオンラインやハイフレックス授業に転換になった場合には、学習支援システムや Zoom 等を使用するため、接続可能なパソコンや資料保存のためにプリンターなどが必要になります。

【その他の重要事項】
楽しく、まじめに勉強しましょう。
公欠届、診断書などはきちんと出してください。
教科書と独和辞典（電波の入る機器を辞書代わりに使うことは許可しない）を毎回手元に置き、使用すること。

【Outline and objectives】
The purpose of this class is the improvement in German and the mutual understanding of different culture.

LANd200LA

ドイツ語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

浦田　智

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**木** 4/Thu.4
単位数：**1 単位**
法 2 年 B

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ドイツ語のさらなる向上を目指し、ドイツについての事項を素材として異文化理解を深める。

【到達目標】
文法の復習と読解力の向上をめざすばかりでなく、書かれた内容を通して、翻訳では伝わりにくいドイツの文化に触れ、世界を広げる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
テキストの内容に準じて授業を進めます。テキストの各課の本文を読み、意味を確認する。本文の意味や練習問題の答えは、分担を決めて各履修者に解いてもらう。ドイツ語の文を発音したり、練習問題を解いたりすることは各自で行ない、発表してもらいます。それぞれの練習の内容（解答など）について提出されたものは、添削チェックして返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	秋学期授業の説明。既習事項の復習。あるいは映像教材を観る。教科書と辞書を手元に置いておくこと。
2	Lektion 7 (1)	教育制度：分離動詞と非分離動詞の復習。
3	Lektion 7 (2)	教育制度：再帰表現の復習。
4	Lektion 8 (1)	政治制度： zu 不定詞句の復習。
5	Lektion 8 (2)	政治制度：受動の話。
6	Lektion 9 (1)	ドイツの歴史概観：過去の 表現の復習。
7	Lektion 9 (2)	ドイツの歴史概観：現在完了と過去の話。
8	Lektion 10 (1)	音楽の国ドイツ：接続詞の話。
9	Lektion 10 (2)	音楽の国ドイツ：副文（従属文）の語順の復習。
10	Lektion 11 (1)	ドイツの宗教事情：関係文（定関係代名詞）の話。
11	Lektion 11 (2)	ドイツの宗教事情：関係文（不定関係代名詞）の話。
12	Lektion 12 (1)	二つのドイツ：分詞の種類と用法についての話。
13	Lektion 12 (2)	二つのドイツ：冠飾句についての話。接続法とは？
14	秋学期のまとめのテストと総括	秋学期のまとめのテストの実施と総括。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業での指示に従うこと。
本文の講読は全体を予習した方が、練習問題は解きやすい。
学んだことはなるべくその日のうちに復習しよう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
「知りたいドイツ語～読みながらステップアップ～」　齊藤太郎・他著　朝日出版社

【参考書】
本郷建治著『ドイツ文法の要点』三修社
中島悠爾他著『改訂版必携ドイツ文法総まとめ』白水社　　など
必要に応じて授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】
原則として出席は 3 分の 2 以上を必要とする。基本的には中間試験＋期末試験 70 %、授業参加度（宿題、課題をふくむ平常点）30 % の割合で総合評価する。

【学生の意見等からの気づき】
積極的な授業参加を歓迎します。

【学生が準備すべき機器他】
コロナ禍によりオンラインやハイフレックス授業に転換になった場合には、学習支援システムや Zoom 等を使用するため、接続可能なパソコンや資料保存のためにプリンターなどが必要になります。

【その他の重要事項】
楽しく、まじめに勉強しましょう。
公欠届、診断書などはきちんとその都度すぐに提出すること。
教科書と独和辞典を毎回手元に置いておくこと。

【Outline and objectives】
The purpose of this class is the improvement in German and the understanding of a different culture.

LANd200LA

ドイツ語３Ｉ

2017 年度以降入学者

長倉　誠一

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
法 2 年 C・D

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
文法の基礎を確かなものとしながら、さらに応用力を身につけ、ドイツ語文の読解力をふくめて総合的なドイツ語力を養います。テキストを読めば、異文化としてのドイツ文化について知ることになります。

【到達目標】
中級程度のドイツ語文を一年後には読解できることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
とくに「ドイツ語１」でかなりの能力差が生まれているのが例年なので、どこまで進んだかを確認して、未習部分ならびに受動文や関係代名詞の復習から始めます。その後は、指定のテキストに即して進めます。テキストには、長文読解とドイツ語文の作成、文法問題が含まれています。これによってドイツ語の総合力を養います。授業の 3 分の 2 程度は、宿題の解説、解答になります。その状況次第では、必要ならさらに追加で同類の課題を準備することになります。残りの 3 分の 1 程度の時間は、中級文法「認容表現」「動詞の前綴り」などを加えますが、これは適宜プリントを利用します。少し無理を課すのが教師の役目と考えていますので、宿題は毎回出します。適宜小テストも実施しますが、小テストはすべて早急に添削後返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス Hoppii で指示します。	授業の進め方、次回の準備などの説明
第 2 回	初級文法の復習	完了形と受動態、長文読解 (プリント利用)
第 3 回	初級文法の復習	関係代名詞 、長文読解（プリント利用）
第 4 回	Lektion1「授業中の生徒」	長文読解と表現練習
第 5 回	Lektion1「授業中の生徒」	不定関係代名詞その他
第 6 回	Lektion2「ドイツの女性」	長文読解と表現練習
第 7 回	Lektion2「ドイツの女性」	Zu 不定詞句、形容詞の名詞化
第 8 回	Lektion3「答案の記載」	長文読解と表現練習
第 9 回	Lektion3「答案の記載」	受動態、動詞の名詞化
第 10 回	Lektion3「答案の記載」	否定冠詞の用法ならびに否定文について
第 11 回	文法補足	接続法の学習 zu なしの不定詞とその主語について認容表現の学習
第 12 回	文 Lektion4a「タクシーのとめ方」	現在分詞などの文法 分詞を基礎語とする述語句
第 13 回	Lektion4a「タクシーのとめ方」	長文読解、独作文
第 14 回	学期末試験	第 13 回までの授業内容確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回宿題が出ます。宿題は次回の授業で解答、解説します。宿題をやっていないと欠席扱いにします。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『ＣＤ付き　ドイツ人の生活を知る 11 章』
著者：大谷弘道
出版社：三修社

【参考書】
独和辞典
『必携ドイツ文法総まとめ (改訂版)』（中島悠爾／平尾浩三／朝倉巧共著）白水社

【成績評価の方法と基準】
平常点（50 %）期末試験（50 %）を基本とする総合評価.
平常点の内容については、上記「授業時間外の学習」を参照のこと。小テストの結果が極端に悪い場合には欠席相当と同様に扱います。欠席は、原則として 1 回につきマイナス 10 点になります。

【学生の意見等からの気づき】
なし

【学生が準備すべき機器他】
オンライン授業ではパソコンが必要になります。

【その他の重要事項】
なし。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to help students acquire the foundation of grammer, and to cultivate German ability, including reading comprehension.

LANd200LA

ドイツ語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

長倉　誠一

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
法 2 年 C・D

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
文法の基礎を確かなものとしながら、さらに応用力を身につけ、ドイツ語文の読解力をふくめた総合力を養います。テキストを読めば、ドイツの文化を知ることになります。

【到達目標】
中級程度のドイツ語文を読解できることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
テキストに即して進めます。春学期より量を多くします。テキストには、長文読解とドイツ語文の作成、文法問題が含まれています。これによってドイツ語の総合力を養います。授業の 3 分の 2 程度は、宿題の解説、解答になります。その状況次第では、必要ならさらに追加で同類の課題を準備することになります。残りの 3 分の 1 程度の時間は、中級文法「認容表現」「動詞の前綴り」などを加えますが、これは適宜プリントを利用します。少し無理を課すのが教師の役目と考えていますので、宿題は毎回出します。適宜小テストも実施しますが、小テストはすべて早急に添削後返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	Lektion4b「タクシーで乗客の座る場所」	長文読解と独作文
第 2 回	Lektion4b「タクシーで乗客の座る場所」	Wenn の省略文の表現、間違え易い文法事項（英語との比較）
第 3 回	Lektion5「猛暑日の対応」	長文読解と独作文
第 4 回	Lektion5「猛暑日の対応」	比較級・最高級の復習
第 5 回	Lektion6「犬と猫の購入」	長文読解と独作文
第 6 回	Lektion6「犬と猫の購入」	接続法の復習
第 7 回	Lektion6「犬と猫の購入」	長文読解
第 8 回	重点文法補足	冠飾句
第 9 回	重点文法補足	不定代名詞・指示代名詞、人称代名詞 2 格
第 10 回	Lektion7「ベットの大きさ」	長文読解と独作文
第 11 回	Lektion7「ベットの大きさ」	前置詞など初級文法復習、前置詞との合体形
第 12 回	Lektion7「ベットの大きさ」	序数の用法
第 13 回	Lektion8「ドイツの広告」	無冠詞の名詞他文法復習 長文読解と独作文
第 14 回	学期末試験	第 13 回までの授業内容確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回宿題がでます。宿題をかならずやって授業にでること。

【テキスト（教科書）】
『ＣＤ付き　ドイツ人の生活を知る 11 章』
著者：大谷弘道
出版社：三修社

【参考書】
『必携ドイツ文法総まとめ (改訂版)』（中島悠爾／平尾浩三／朝倉巧共著）白水社

【成績評価の方法と基準】
平常点（50 %）と期末試験（50 %）を基本とする総合評価。平常点は、宿題をやって授業に出席した場合の点数です。宿題をやっていないなど欠席相当の場合には、欠席と同様に、原則として 1 回につきマイナス 10 点とします。小テストの結果が極端に悪い場合も欠席と同様に扱います。

【学生の意見等からの気づき】
とくになし

【学生が準備すべき機器他】
オンライン授業になった場合には、パソコンが必要になります。

【その他の重要事項】
なし

【Outline and objectives】
By the end of the course, students should be able to reach the stage where they can understand more advanced German writings.

LANd200LA

ドイツ語３Ⅰ

2017 年度以降入学者

小野間　亮子

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**火** 4/Tue.4
単位数：**1 単位**
法 2 年 E・S

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
初級文法の復習を行いつつ、辞書を使って多彩なテーマに関する文章が読める力を養成する。
日常会話に必要な語彙の定着を図り、ドイツ語による表現の方法を学ぶ。

【到達目標】
これまで学んできた初級ドイツ語よりも複雑かつ自然な表現を習得することができる。
ドイツ語圏の生活や文化に関する基本的な知識を身に付けることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
読解、作文および会話の練習を通じて、総合的なドイツ語力の向上を図る。
履修生は授業時間内にドイツ語の発音・練習問題の解答・読解テクストの和訳を行い、その都度教員が確認する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	あいさつ	ドイツ語で自己紹介
第 2 回	ドイツ	ドイツを旅する魅力
第 3 回	ドイツ	数字で見るドイツ
第 4 回	ドイツ	ドイツ・クイズ
第 5 回	鉄道と自転車の旅	電車の旅
第 6 回	鉄道と自転車の旅	自転車でおでかけ
第 7 回	鉄道と自転車の旅	ドイツ鉄道の時刻表
第 8 回	メールヒェンの森から	メールヒェンの成立
第 9 回	メールヒェンの森から	メールヒェンを学ぶ
第 10 回	メールヒェンの森から	魔女とドイツの昔話
第 11 回	ウィーン	ウィーンのカフェ文化
第 12 回	ウィーン	モーツァルト
第 13 回	ウィーン	ウィーン観光
第 14 回	試験・まとめ	前期に学んだ内容を確認する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
各章の読解テクストについては、予習を行った上で授業に臨むこと。予習を授業中に行うことは一切認めない。
また、練習問題やドイツ語作文の宿題を課す場合がある。
本授業の準備・復習時間は合わせて１時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】
Ute Schmidt・Mechthild Duppel-Takayama・三ツ石祐子・和泉雅人著『ファウストとメフィストと学ぶドイツ文化８章プラス・エクストラ』三修社

【参考書】
中島悠爾・平尾浩三・朝倉巧著『改訂版必携ドイツ文法総まとめ』白水社

【成績評価の方法と基準】
授業（読解・文法練習問題・会話練習・作文）への取り組み 40 %学期末試験 60 %を総合的に判断する。

【学生の意見等からの気づき】
読解の比重が高くなる傾向があるため、作文や聞き取りとのバランスを考えて授業を運営するように心がける。

【学生が準備すべき機器他】
紙の辞書あるいは電子辞書を持参すること。
教務システムや Zoom に接続可能なデバイスを用意すること。

【Outline and objectives】
The main aim of this course is the development of the students' language skills needed to communicate spontaneously and fluently by their German speaking, listening, reading and writing.
It also will enable participants to deepen the knowledge and understanding of the contemporary German culture.

LANd200LA

ドイツ語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

小野間　亮子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**火** 4/Tue.4
単位数：**1 単位**
法 2 年 E・S

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
初級文法の復習を行いつつ、辞書を使って多彩なテーマに関する文章が読める力を養成する。
日常会話に必要な語彙の定着を図り、ドイツ語による表現の方法を学ぶ。

【到達目標】
これまで学んできた初級ドイツ語よりも複雑かつ自然な表現を習得することができる。
ドイツ語圏の生活や文化に関する基本的な知識を身に付けることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
読解および作文を通じて、総合的なドイツ語力の向上を図る。
履修生は授業時間内にドイツ語の発音・練習問題の解答・読解テクストの和訳を行い、その都度教員が確認する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	世界遺産	ドイツの世界遺産
第 2 回	世界遺産	世界文化遺産
第 3 回	世界遺産	世界遺産紹介
第 4 回	世界遺産	世界遺産レポート
第 5 回	アイディアの国、ドイツ	ドイツ人の発明
第 6 回	アイディアの国、ドイツ	ドイツの有名企業
第 7 回	アイディアの国、ドイツ	靴の発明
第 8 回	Die DDR	壁の崩壊
第 9 回	Die DDR	Ostalgie(オスタルギー)
第 10 回	Die DDR	ベルリン観光
第 11 回	第九	新たな音楽、新たな絵画
第 12 回	第九	日本初演
第 13 回	第九	第九の合唱
第 14 回	試験・まとめ	後期に学んだ内容を確認する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
各章の読解テクストについては、予習を行った上で授業に臨むこと。予習を授業中に行うことは一切認めない。
また、練習問題やドイツ語作文の宿題を課す場合がある。
本授業の準備・復習時間は合わせて１時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】
Ute Schmidt・Mechhild Duppler-Takayama・三ツ石祐子・和泉雅人著『ファウストとメフィストと学ぶドイツ文化８章プラス・エクストラ』三修社

【参考書】
中島悠爾・平尾浩三・朝倉巧著『改訂版必携ドイツ文法総まとめ』白水社

【成績評価の方法と基準】
授業（読解・文法練習問題・会話練習・作文）への取り組み 40 %学期末試験 60 %を総合的に判断する。

【学生の意見等からの気づき】
読解の比重が高くなる傾向があるため、作文や聞き取りとのバランスを考えて授業を運営するように心がける。

【学生が準備すべき機器他】
紙の辞書か電子辞書を持参すること。
教務システムや Zoom に接続可能なデバイスを用意すること。

【Outline and objectives】
The main aim of this course is the development of the students' language skills needed to communicate spontaneously and fluently by their German speaking, listening, reading and writing.
It also will enable participants to deepen the knowledge and understanding of the contemporary German culture.

LANd200LA

ドイツ語３Ｉ

2017 年度以降入学者

梶谷　雄二

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
文 2 年 A

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ドイツ語の文章を的確に把握して、内容を正確に理解できるようになることを目的とする。同時に、ドイツの生活に根差した文化、習慣を日本の文化と比較しながら理解する。

【到達目標】
ドイツ語の文法を読解に役立つように捉えて、読むこと、話すこと、書くことなど、ドイツ語に何らかの対応ができるようになることを目指します。ドイツ語検定試験 3 級に合格できることを見据える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
テキストの各課は本文と本文に関連する 5 から 7 の設問からできている。各課の最初に本文の内容と文法的な説明をした後、音読の練習をする。その後、各受講生に本分の一文章を割り当てて音読をしてもらう。これは各授業の最初に共通に行う。それから、設問を各受講生に割り当てて解答してもらう。各問題の文章はその都度受講生全員で音読する。各課の最後に、設問の最後にある本文の内容と関連する長文を 15 分を最大に翻訳してもらう。
フィードバックは対面の場合は翻訳の評価結果をその都度返却するか、または hoppii を通して通知します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	パーティーを開くのは祝ってもらう人（一回目）	本文解説、音読練習
2	パーティーを開くのは祝ってもらう人（二回目）	音読練習、個別の音読、設問の解答と解説
3	パーティーを開くのは祝ってもらう人（三回目）	音読練習、個別の音読、設問の解答と解説
4	パーティーを開くのは祝ってもらう人（四回目）	音読練習、個別の音読、設問の解答と解説、翻訳の小テスト
5	20 歳を過ぎれば親元を離れる（一回目）	本文解説、音読練習
6	20 歳を過ぎれば親元を離れる（二回目）	音読練習、個別の音読、設問の解答と解説
7	20 歳を過ぎれば親元を離れる（三回目）	音読練習、個別の音読、設問の解答と解説、翻訳の小テスト
8	教室で手をあげないと減点（一回目）	本文解説、音読練習
9	教室で手をあげないと減点（二回目）	音読練習、個別の音読、設問の解答と解説
10	教室で手をあげないと減点（三回目）	音読練習、個別の音読、設問の解答と解説、翻訳の小テスト
11	2 回不合格だと失格（一回目）	本文解説、音読練習
12	2 回不合格だと失格（二回目）	音読練習、個別の音読、設問の解答と解説
13	2 回不合格だと失格（三回目）	音読練習、個別の音読、設問の解答と解説、翻訳の小テスト
14	予備	授業が予定通りに進んでいない場合の調整にこの授業を充てる。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
音読する文章を付録の CD を参考に予め練習すること。設問の予習をすること。復習は主に既習の本文の音読を練習すること。

【テキスト（教科書）】
CD 付き　ドイツ人を知る 9 章 + 1　大谷弘道著　株式会社三修社　2007 年 2 月 20 日　￥2500

【参考書】
独和辞典はもちろんだが、そのほかの参考書については授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】
授業への参加姿勢 10 %（主に出席と授業態度で評価する）、音読の評価 30 %（ドイツ語として理解できる A+、ドイツ語の発音の基本を理解している A、発音の基本を一二度間違える B、発音の基本を数回以上間違える C）、設問解答の姿勢 10 %（解答の正誤より解答姿勢を問う）、各課終了時の小テストの平均 50 %（短時間の翻訳で、授業で学んだ翻訳の基本事項を理解しているかどうかを評価する）

【学生の意見等からの気づき】
授業の方針や授業の目的を受講生によく理解してもらうように丁寧に説明する。

【学生が準備すべき機器他】
オンライン授業になったときに備えて、パソコン、モバイルを用意しておいてください。

【Outline and objectives】
The purpose is to be able to understand the contents accurately by understanding German sentences accurately. At the same time, they will understand the culture and customs rooted in German life by comparing them with Japanese culture.

LANd200LA

ドイツ語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

梶谷　雄二

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
文 2 年 A

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ドイツ語の文章を的確に把握して、内容を正確に理解できるようになることを目的とする。同時に、ドイツの生活に根差した文化、習慣を日本の文化と比較しながら理解する。

【到達目標】
ドイツ語の文法を読解に役立つように捉えて、読むこと、話すこと、書くことなど、ドイツ語に何らかの対応ができるようになることを目指します。ドイツ語検定試験 3 級に合格できることを見据える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
テキストの各課は本文と本文に関連する 5 から 7 の設問からできている。各課の最初に本文の内容と文法的な説明をした後、音読の練習をする。その後、各受講生に本分の一文章を割り当てて音読をしてもらう。これは各授業の最初に共通に行う。それから、設問を各受講生に割り当てて解答してもらう。各問題の文章はその都度受講生全員で音読する。各課の最後に、設問の最後にある本文の内容と関連する長文を最長 15 分で最大に翻訳してもらう。
フィードバックは翻訳の評価結果を直接返却するか、hoppii を通して通知します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	事故死傷者の氏名公表はご法度（一回目）	本文解説、音読練習
2	事故死傷者の氏名公表はご法度（二回目）	音読練習、個別の音読、設問の解答と解説
3	事故死傷者の氏名公表はご法度（三回目）	音読練習、個別の音読、設問の解答と解説
4	事故死傷者の氏名公表はご法度（四回目）	音読練習、個別の音読、設問の解答と解説、翻訳の小テスト
5	終点を知らないと電車に乗れない（一回目）	本文解説、音読練習
6	終点を知らないと電車に乗れない（二回目）	音読練習、個別の音読、設問の解答と解説
7	終点を知らないと電車に乗れない（三回目）	音読練習、個別の音読、設問の解答と解説、翻訳の小テスト
8	コミュニケーションの決め手は、相手の名前を覚えること（一回目）	本文解説、音読練習
9	コミュニケーションの決め手は、相手の名前を覚えること（二回目）	音読練習、個別の音読、設問の解答と解説
10	コミュニケーションの決め手は、相手の名前を覚えること（三回目）	音読練習、個別の音読、設問の解答と解説、翻訳の小テスト
11	人間は「動物」ではない（一回目）	本文解説、音読練習
12	人間は「動物」ではない（二回目）	音読練習、個別の音読、設問の解答と解説
13	人間は「動物」ではない（三回目）	音読練習、個別の音読、設問の解答と解説、翻訳の小テスト
14	予備	授業が予定通りに進んでいない場合の調整にこの授業を充てる。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。音読する文章を付録の CD を参考に予め練習すること。設問の予習をすること。復習は主に既習の本文の音読を練習すること。

【テキスト（教科書）】
CD 付き　ドイツ人を知る 9 章 + 1　大谷弘道著　株式会社三修社　2007 年 3 月 20 日　2,750 円（本体 2,500 円）

【参考書】
独和辞典はもちろんだが、そのほかの参考書については授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】
授業への参加姿勢 10 %、音読の評価 30 %（ドイツ語として理解できる A+、ドイツ語の発音の基本を理解している A、発音の基本を一二度間違える B、発音の基本を数回以上間違える C）、設問解答の姿勢 10 %（解答の正誤より解答姿勢を問う）、各課終了時の小テストの平均 50 %（短時間の翻訳で、授業で学んだ翻訳の基本事項を理解しているかどうかを評価する）

【学生の意見等からの気づき】
授業の方針や授業の目的を受講生によく理解してもらうように丁寧に説明する。

【学生が準備すべき機器他】
オンライン授業になったときのためにパソコン、または、モバイル機器を用意しておいてください。

【Outline and objectives】
The purpose is to be able to understand the contents accurately by understanding German sentences accurately. At the same time, they will understand the culture and customs rooted in German life by comparing them with Japanese culture.

LANd200LA

ドイツ語３Ｉ

2017 年度以降入学者

岡本　雅克

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
文 2 年 B〜F

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では、初級よりワンランク上の読解の技術を身につけると同時に、さまざまなドイツ事情について学習することを目的とする。

【到達目標】
初級で学んだ文法を復習しながら、より複雑な文章表現に慣れることによって、読解力を伸ばすことが、この授業の到達目標である。また、さまざまなドイツ事情に関する文章を読むことによって、ドイツやドイツ語圏の国々に興味を持つきっかけとなることを期待する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
※春学期は対面授業と Zoom によるオンライン授業（リアルタイム配信型）を組み合わせた形での開講を予定しているが、少なくとも 4 月中はオンラインで実施し、それ以降は状況を見ながらの判断となる。オンライン授業への参加方法等具体的なことについては、授業開始日までに「学習支援システム」で提示する。
授業は演習形式で行う。使用する教科書は 15 課からなり、各課とも文法、練習問題から構成されている。まず文法の説明をし、それから練習問題に取り組む。
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ		内容
1	イントロダクション		あいさつ表現
2	Lektion 1	自己紹介	動詞の位置
3	読章		Deutschland（ドイツ）
4	Lektion 2	私の家族	所有冠詞
5	読章		Familienbild（家族像）
6	Lektion 3	私の趣味	不規則動詞
7	読章		Deutsch（ドイツ語）
8	Lektion 4	キームゼーヘ	前置詞
9	Lektion 4	読章	Souvenirs aus Deutschland（ドイツのお土産）
10	Lektion 5	健康	人称代名詞、分離・非分離動詞
11	読章		Das Gesundheitswesen in Deutschland（ドイツの健康保険制度）
12	Lektion 6	買い物	話法の助動詞、命令形
13	読章		Einkaufen in Deutschland（ドイツの買い物）
14	試験		まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
与えられた課題に取り組んだ上で授業にのぞむこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】
清野智昭、時田伊津子、牛山さおり『ドイツ語の時間〈ときめきミュンヘン〉　コミュニカティブ版―マルチメディア―』（朝日出版社）
ISBN9784255253909 ￥2600

【参考書】
その都度指示する。

【成績評価の方法と基準】
期末試験の得点を 60 %、平常点を 40 %の合計で評価する。平常点は、授業中に練習問題や和訳等にしっかり取り組むこと、あるいは、与えらえた課題について予習をしてきた形跡が認められることを標準とする。

【学生の意見等からの気づき】
授業の進度については、学生たちの理解度に応じて、柔軟に対応する。

【学生が準備すべき機器他】
授業がオンラインに転換になった場合、Zoom で接続可能なデバイス。

【Outline and objectives】
In this course, we use a textbook on reading and aim to acquire the ability to read, write, listen and speak German. In addition, we cultivate a view of intercultural understanding through a comparison of German and English.

LANd200LA

ドイツ語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

岡本　雅克

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
文 2 年 B〜F

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では、初級よりワンランク上の読解の技術を身につけると同時に、さまざまなドイツ事情について学習することを目的とする。

【到達目標】
初級で学んだ文法を復習しながら、より複雑な文章表現に慣れることによって、読解力を伸ばすことが、この授業の到達目標である。また、さまざまなドイツ事情に関する文章を読むことによって、ドイツやドイツ語圏の国々に興味を持つきっかけとなることを期待する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
※秋学期は対面授業とオンライン授業を組み合わせたかたちでの開講を予定している。
授業は演習形式で行う。初級文法をもう一度確認しながら、練習問題に取り組むと同時に、会話文やドイツ事情に関する文章を読む。また時折資料を配付し、より長い文章を読むための読解力を養う。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ		内容
1	Lektion 7	ミュンヘン	前置詞
2	読章		München（ミュンヘン）
3	Lektion 8	休暇の後	現在完了形、過去形
4	読章		Urlaubstage in Deutschland und Japan（ドイツと日本の有給休暇）
5	資料配付		アットマークについて
6	Lektion 9	食事	定冠詞類、副文
7	読章		Knigge im Alltag in Deutschland（ドイツの日常のマナー）
8	Lektion 10	クリスマス	比較級と最上級、再帰表現
9	読章		Weihnachten in Deutschland（ドイツのクリスマス）
10	Lektion 11	ファッション	形容詞の格変化
11	読章		Mode in Deutschland?（ドイツのファッション？）
12	Lektion 12	私の夢	接続法第 2 式、zu 不定詞句
13	読章		Studium in Deutschland（ドイツの大学での勉強）
14	試験		まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
与えられた課題に取り組んだ上で授業にのぞむこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】
清野智昭、時田伊津子、牛山さおり『ドイツ語の時間〈ときめきミュンヘン〉　コミュニカティブ版―マルチメディア―』（朝日出版社）
ISBN9784255253909 ￥2600

【参考書】
その都度指示する。

【成績評価の方法と基準】
期末試験の得点を 60 %、平常点を 40 %の合計で評価する。平常点は、授業中に練習問題や和訳等にしっかり取り組むこと、あるいは、与えらえた課題について予習をしてきた形跡が認められることを標準とする。

【学生の意見等からの気づき】
授業の進度については、学生たちの理解度に応じて、柔軟に対応する。

【学生が準備すべき機器他】
授業がオンラインに転換になった場合、Zoom で接続可能なデバイス。

【Outline and objectives】
In this course, we use a textbook on reading and aim to acquire the ability to read, write, listen and speak German. In addition, we cultivate a view of intercultural understanding through a comparison of German and English.

LANd200LA

ドイツ語３Ｉ

2017 年度以降入学者

遠藤　浩介

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 1/Fri.1
単位数：**1 単位**
文２年Ｌ・Ｐ

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業の目的は 2 つあります。ひとつはドイツについて書かれた文章を読み、ドイツ語の読解力をつけるとともにドイツ文化への理解を深めます。もうひとつは 1 年生で習った基礎文法を復習しつつ中級文法を勉強し、中級レベルのドイツ語能力を身につけます。

【到達目標】
・中級ドイツ語文法を習得し、中級程度のドイツ語の文章を読むための読解力を身につける。
・ドイツの文化を知るための背景知識を得て、日本と比較しながら考える視座を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業は教科書にそって行います。各課ごとに次の要領で進めます。
1) 各課の本文の内容と背景を説明した後、本文で登場する文法事項の解説を行います。
2) 本文の音読の練習と構文解析を行った後、受講生に訳していただきます。
3) 受講者に各課の設問を解いていただき、必要に応じて解説を行います。
4) 各課の最後に、各課の本文の翻訳を提出していただき、最後の設問にある長文についての小テストを行います。
※　予習課題は授業中に答え合わせを行い、小テストは添削後、返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	授業の進め方について／前期の復習
第 2 回	Lektion 1	内容と文法事項の解説／音読と構文解析
第 3 回	Lektion 1	音読と構文解析（続き）／設問を解く
第 4 回	Lektion 1	設問を解く（続き）／小テスト
第 5 回	Lektion 2	内容と文法事項の解説／音読と構文解析
第 6 回	Lektion 2	音読と構文解析（続き）／設問を解く
第 7 回	Lektion 2	設問を解く（続き）／小テスト
第 8 回	Lektion 3	内容と文法事項の解説／音読と構文解析
第 9 回	Lektion 3	音読と構文解析（続き）／設問を解く
第 10 回	Lektion 3	設問を解く（続き）／小テスト
第 11 回	Lektion 4	内容と文法事項の解説／音読と構文解析
第 12 回	Lektion 4	音読と構文解析（続き）／設問を解く
第 13 回	Lektion 4	設問を解く（続き）／小テスト
第 14 回	前期のまとめ	前期に学習した文法事項の習得具合をチェックする。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習：付録の CD を参考にして音読の練習をし、構文解析を行う。また設問の予習をする。
復習：本文をあらためて音読する。
※本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
大谷弘道（2018）『CD 付き　ドイツ人を知る 9 章＋ 1』第 19 版、三修社。

【参考書】
授業時には独和辞典と一年生のときにもちいた文法の教科書を必ず持ってくること。また、文法の教科書の代わりに以下の本を勧めます。
中島悠爾・平尾浩三・朝倉巧（2003）『改訂版必携ドイツ文法総まとめ』白水社。

【成績評価の方法と基準】
提出物（各課の本文）： 30 %
小テスト（長文翻訳）： 30 %
期末テスト（文法中心）： 20 %
授業への積極的な参加・予習の具合： 20 %

【学生の意見等からの気づき】
授業担当者変更によりフィードバックはありません。

【学生が準備すべき機器他】
Google Classroom および Zoom を使用できる機器（パソコン・タブレット・スマートフォン）を用意してください。オンライン授業やハイフレックス授業に転換した際には、Zoom を使用します。

【Outline and objectives】
This course has two goals.　The first is to read texts about Germany to improve reading skills and develop an understanding of German culture. The other is to review basis grammar and acquire intermediate grammar.

LANd200LA

ドイツ語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

遠藤　浩介

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 1/Fri.1
単位数：**1 単位**
文２年Ｌ・Ｐ

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業の目的は 2 つあります。ひとつはドイツについて書かれた文章を読み、ドイツ語の読解力をつけるとともにドイツ文化への理解を深めます。もうひとつは 1 年生で習った基礎文法を復習しつつ中級文法を勉強し、中級レベルのドイツ語能力を身につけます。

【到達目標】
・中級ドイツ語文法を習得し、中級程度のドイツ語の文章を読むための読解力を身につける。
・ドイツの文化を知るための背景知識を得て、日本と比較しながら考える視座を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業は教科書にそって行います。各課ごとに次の要領で進めます。
1) 各課の本文の内容と背景を説明した後、本文で登場する文法事項の解説を行います。
2) 本文の音読の練習と構文解析を行った後、受講生に訳していただきます。
3) 受講者に各課の設問を解いていただき、必要に応じて解説を行います。
4) 各課の最後に、各課の本文の翻訳を提出していただき、最後の設問にある長文についての小テストを行います。
※　予習課題は授業中に答え合わせを行い、小テストは添削後、返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	授業の進め方について／前期の復習
第 2 回	Lektion 5	内容と文法事項の解説／音読と構文解析
第 3 回	Lektion 5	音読と構文解析（続き）／設問を解く
第 4 回	Lektion 5	設問を解く（続き）／小テスト
第 5 回	Lektion 6	内容と文法事項の解説／音読と構文解析
第 6 回	Lektion 6	音読と構文解析（続き）／設問を解く
第 7 回	Lektion 6	設問を解く（続き）／小テスト
第 8 回	Lektion 8	内容と文法事項の解説／音読と構文解析
第 9 回	Lektion 8	音読と構文解析（続き）／設問を解く
第 10 回	Lektion 8	設問を解く（続き）／小テスト
第 11 回	Lektion 9	内容と文法事項の解説／音読と構文解析
第 12 回	Lektion 9	音読と構文解析（続き）／設問を解く
第 13 回	Lektion 9	設問を解く（続き）／小テスト
第 14 回	後期のまとめと解説	後期に学習した文法事項の習得具合をチェックする。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習：付録の CD を参考にして音読の練習をし、構文解析を行う。また設問の予習をすること。
復習：本文をあらためて音読する。
※本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
大谷弘道（2018）『CD 付き　ドイツ人を知る 9 章＋ 1』第 19 版、三修社。

【参考書】
授業時には独和辞典と一年生のときにもちいた文法の教科書を必ず持ってくること。また、文法の教科書の代わりに以下の本を勧めます。
中島悠爾・平尾浩三・朝倉巧（2003）『改訂版必携ドイツ文法総まとめ』白水社。

【成績評価の方法と基準】
提出物（各課の本文）： 30 %
小テスト（長文翻訳）： 30 %
期末テスト（文法中心）： 20 %
授業への積極的な参加・予習の具合： 20 %

【学生の意見等からの気づき】
授業担当者変更によりフィードバックはありません。

【学生が準備すべき機器他】
Google Classroom および Zoom を使用できる機器（パソコン・タブレット・スマートフォン）を用意してください。オンライン授業やハイフレックス授業に転換した際には、Zoom を使用します。

【Outline and objectives】
This course has two goals.　The first is to read texts about Germany to improve reading skills and develop an understanding of German culture. The other is to review basis grammar and acquire intermediate grammar.

LANd200LA

ドイツ語３Ｉ

2017 年度以降入学者

日中　鎮朗

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**1 単位**
文 2 年 T～W

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ドイツ語の基本文法をひと通り学習した学生が対象です。
基本文法を確認しながら語彙を増やし、ドイツ語表現を学ぶことがこの授業の目標です。

【到達目標】
ドイツ語の文法上の弱点を発見し、関連語彙や派生語を増やしていきます。
ドイツ語で日常的な表現や意思疎通ができるようにします。
ドイツの生活・習慣・習俗・休暇制度について知ることができます。
日常生活や習慣・制度についてドイツ語での表現法を身に着けることができます。
論説的な文章を読解することができます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
文法説明等は講義形式になりますが、毎回、担当者を決めて訳読します。
回ごとのトピックや表現方法を取り上げながら、授業を進めます。
映画や映像教材を使って、それを授業で見ることで、聞き取る能力をつけます。
これらと並行して、ドイツの歴史や文化に触れる視聴覚資料を利用していきます。
また、適宜、確認小テストを行う。
課題、また確認小テストのフィードバックは次回の授業時にそのつど、解説を加えたフィードバックを行う。
なお、オンライン授業を取り入れるなど、柔軟な運用を行うことがあるので、授業支援システム、Hoppii をよく見ること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ーーオンラインによる—— オリエンテーション ゲーテの文	ーーオンラインによる—— ゲーテの文の解読
第 2 回	ーーオンラインによる—— 「若きウェルテルの悩み」	ーーオンラインによる—— 文法的事項の解説
第 3 回	Lektion1 相手について知る	動詞の位置と練習問題
第 4 回	Lektion2 Meine Familie 家族の紹介	名詞の性のまとめ
第 5 回	Lektion2 Meine Familie 家族の持ち物	所有冠詞と練習問題
第 6 回	Lektion3 Meine Hobbys 趣味について語る	不規則動詞のまとめ
第 7 回	Lektion3 Meine Hobbys ドイツ人の趣味	名詞の複数形と練習問題
第 8 回	Lektion4 Zum Chiemsee ドイツの名所	名詞の 3 格について
第 9 回	Lektion4 Zum Chiemsee 交通機関について	前置詞と練習問題
第 10 回	Lektion5 Gesundheit ドイツの保険・医療制度	分離・非分離動詞のまとめ
第 11 回	Lektion5 Gesundheit ドイツと日本の医療の比較	時刻の表現と練習問題
第 12 回	Lektion6 Einkaufen 買い物の表現	話法の助動詞のまとめ
第 13 回	Lektion6 Einkaufen	命令形と練習問題
第 14 回	春学期で学んだ表現の振り返りと期末試験・まとめと解説	春学期の文法事項から見た表現の振り返り期末試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
授業で習った知識を確実にするためにも、復習を行います。
次回に行う章や文章のわからない単語、語句を調べ、自分で訳を試みます。
自分の試訳と授業での訳との違いの理由を確かめ、正確な理解に努めます。
テキストの毎回のテーマに関心を持ち、関連する本を読むとより興味をもって授業に臨め、理解も深めることができます。

【テキスト（教科書）】
ドイツ語の時間＜ときめきミュンヘン＞　清野智明他著　朝日出版社

【参考書】
必要な場合は授業中に指示します。

【成績評価の方法と基準】
成績評価手法について (期末試験について)
成績配分は期末試験 50 %、平常点（これまでの小テスト、課題提出、出席などを含む）50 %です。

【学生の意見等からの気づき】
ドイツ語文法・表現についてわかりやすい丁寧な説明を継続します。

【学生が準備すべき機器他】
オンライン授業やハイフレックス型授業になった場合の必要な機器として Zoom で接続可能なデバイスを準備してください。

【その他の重要事項】
春学期・秋学期合わせての履修を推奨します。

【Outline and objectives】
German for Ichigaya Liberal Arts Center(ILAC) Program.
This course provides advanced German expressions through reading and is open to the students who completed German 1 and German 2 in the ILAC Program.

LANd200LA

ドイツ語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

日中　鎮朗

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**1 単位**
文 2 年 T～W

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ドイツ語の基本文法をひと通り学習した学生が対象です。
春学期に学習したことを確実にし、基本文法を確認しながら語彙を増やし、ドイツ語表現を学ぶことがこの授業の目標です。

【到達目標】
ドイツの生活・習慣・習俗・休暇制度について知ることができます。
日常生活や習慣・制度についてドイツ語での表現法を知ることができます。
論説的な文章を読解することができます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
春学期と同様に、Zoom を利用したオンライン授業で行います。
感染症のレベルが 1 になることによって、教室での対面授業も併用します。
1 年時に学んだ文法事項を確認しながら、別角度で文法体系を見直します。
毎回、担当者を決めて本文と Lesetext を訳読し、解説を加えます。
また、適宜、確認小テストを行う。
課題、また確認小テストのフィードバックは次回の授業時にそのつど、解説を加えたフィードバックを行う。
なお、オンライン授業を取り入れるなど、柔軟な運用を行うことがあるので、授業支援システム、Hoppii をよく見ること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ミュンヘン 大都市の生活	３・４格支配の前置詞の文章
第 2 回	ミュンヘン 文化と芸術	並列接続詞を使った文を学ぶ
第 3 回	Nach dem Urlaub ドイツの休暇制度	定冠詞類のまとめ
第 4 回	Nach dem Urlaub ドイツ人の休暇の過ごし方	過去形を使った文を学ぶ
第 5 回	Essen und Trinken ドイツの食習慣	現在完了形の表現を学ぶ
第 6 回	Essen und Trinken テーブルマナーの比較	副文を使った表現を学ぶ
第 7 回	Weihnachten ドイツのクリスマス	比較級と最上級を学ぶ
第 8 回	Weihnachten クリスマスの祝い	再帰代名詞と再帰動詞を学ぶ
第 9 回	Mode ドイツのファッション	形容詞の格変化のまとめ
第 10 回	Mode 日本・ドイツ・イタリアのモードの比較	天候の表現を学ぶ
第 11 回	Mein Wunsch 願望や仮定の表現	接続法第 2 式を使った文例を学ぶ
第 12 回	Mein Wunsch 留学生の生活	zu 不定詞を学ぶ
第 13 回	Mein Wunsch 夢を語る表現	es の用法を学ぶ
第 14 回	秋学期の総復習と試験、まとめと解説	文法や表現方法の要点確認と試験まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
授業で習った知識を確実にするためにも、復習を行います。
次回に行う章や文章のわからない単語、語句を調べ、自分で訳を試みます。
自分の試訳と授業での訳との違いの理由を確かめ、正確な理解に努めます。
テキストの毎回のテーマに関心を持ち、関連する本を読むとより興味をもって授業に臨め、理解も深めることができます。

【テキスト（教科書）】
ドイツ語の時間＜ときめきミュンヘン＞　清野智明他著　朝日出版社

【参考書】
必要があれば適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】
学期末に試験を行います。
期末試験　50 %
平常点（訳読などの課題発表・確認テストの成績累計、授業への積極的取組・参加）50 %
出席は単位修得の前提条件です。

【学生の意見等からの気づき】
わかりやすい丁寧な説明を継続します。
ドイツについて新しい発見ができるように構成します。

【学生が準備すべき機器他】
オンライン授業やハイフレックス型授業の場合必要な機器として Zoom で接続可能なデバイスを準備してください。

【その他の重要事項】
春学期・秋学期合わせての履修を推奨します。

【Outline and objectives】
German for Ichigaya Liberal Arts Center(ILAC) Program.
This course provides advanced German expressions through reading and is open to the students who completed German 1 and German 2 in the ILAC Program.

LANd200LA

ドイツ語３Ｉ

2017 年度以降入学者

柳橋　大輔

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 2/Wed.2
単位数：**1 単位**
営 2 年 A・B

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業は、ドイツ語のテクストを読むことにより、初級文法を復習し読解力を向上させることを目的としています。現代ドイツの文化や生活に関する知識を深めていく一方で、作文練習や聞き取り練習、会話練習にも取り組むことにより、総合的なドイツ語力の向上を目指します。

【到達目標】
短いドイツ語テクストの読解を通して文法力を強化させることができる。
ドイツ語で書かれたやさしいエッセイの内容を的確に把握することができる。
現代ドイツの生活について具体例を通じて学び、異文化としてのドイツ文化について知見を得ることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
〈読み〉のストラテジーを意識しながらテクストの内容を把握します。また、テクストの内容に関連した文法問題を解いてもらい、教員が必要な説明を加えることにより、初級文法のブラッシュアップを目指します。さらに、時間の許す限り、聞き取り練習や作文練習、会話練習に取り組みます（演習形式）。
小テストや課題に取り組んで知識の定着を図るとともに、疑問が残る点についてリアクションペーパーで質問を受け付けます（フィードバック）。
なお、大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンラインで行ないます。詳細は学習支援システムで伝達します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	授業の進め方／教科書について導入／自己紹介
第 2 回	Kapitel 1: Europa, Europa	Lesetext 1: Europa in Zahlen ３・４格支配の前置詞／ nach と zu
第 3 回	Kapitel 1: Europa, Europa	Lesetext 2: Deutschland in Europa 冠詞を伴う国名／数詞／日付／序数の作り方
第 4 回	Kapitel 2: Musik	Lesetext 1: Die Popakademie 使役の助動詞 lassen ／話法の助動詞の基本 müssen, können, dürfen, sollen, wollen, möchte
第 5 回	Kapitel 2: Musik	Lesetext 2: Kinderlieder wissen と kennen と können の基本
第 6 回	Kapitel 3: Mail und Handy	Lesetext 1: Sommerkurs in Deutschland 外交的接続法／形容詞の格変化
第 7 回	Kapitel 3: Mail und Handy	Lesetext 2: Simsen 話法の助動詞
第 8 回	Kapitel 4: Einkaufen	Lesetext 1: Gesundheit kaufen 現在完了形
第 9 回	Kapitel 4: Einkaufen	Lesetext 2: Ladenschluss 現在完了形
第 10 回	Kapitel 4: Einkaufen	Lesetext 2: Ladenschluss 時刻の聞き方・言い方
第 11 回	Kapitel 5: Studium	Lesetext 1: Studienland Deutschland 絶対的比較級
第 12 回	Kapitel 5: Studium	Lesetext 1: Studienland Deutschland 能動文と受動文の基本／ werden の３つの用法
第 13 回	Kapitel 5: Studium	Lesetext 2: Generation Praktikum bei の基本用法
第 14 回	理解度の確認	学期末テストにより、春学期に学習した内容の習熟度を測る

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて１時間を標準とします。毎回の授業まえには、授業であつかう文章を読み、知らない単語などは辞書であらかじめ確認して、テクスト読解の準備をしてください。また文法事項の説明を読んだうえで練習問題に取り組んでおいてください。
授業後には、予習で誤答したところをとくに重点的にチェックしてください。また課題が出た場合には提出期限までに忘れずに取り組み、知識の定着を図ってください。

【テキスト（教科書）】
Schmidt, Ute ／ Duppel-Takayama, Mechthild ／三ッ石祐子／和泉雅人『現代ドイツを学ぶための 10 章』、三修社、2009 年。
――なお、独和辞典を必ず準備してください。詳しくは初回授業の際にお話しします。

【参考書】
１年生のときに使用した文法の教科書を活用するようにしてください。もしすでに手許にないようなら、次の参考書が役に立つでしょう：
中島悠爾／平尾浩三／朝倉巧『必携ドイツ文法総まとめ――改訂版』、白水社、2003 年。
――その他については授業中に適宜ご紹介します。

【成績評価の方法と基準】
平常点（授業への積極的な参加、小テスト・課題提出など）： 60 %
期末試験： 40 %（受験しない場合は単位の認定ができません）
――なお、授業回数の３分の２以上の出席が単位認定の前提条件となります（ただし、病気などやむを得ない事由により授業を欠席する場合には考慮しますので、医療機関発行の診断書等を提出してください）。

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】
オンライン授業を行なう場合に備え、念のため PC とネット環境を準備しておいてください。

【その他の重要事項】
すでに初級文法の学習をひととおり終えたみなさんを対象とした授業です。
春学期・秋学期をとおした受講を強くお勧めします。

【Outline and objectives】
The aim of this class is to review elementary grammar and improve reading comprehension by reading German texts. This course will help students deepen their knowledge of contemporary German lifestyle and culture and improve their overall German language skills by writing, listening and speaking exercises.

LANd200LA

ドイツ語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

柳橋　大輔

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 2/Wed.2
単位数：**1 単位**
営 2 年 A・B

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期に引き続き、ドイツ語のテクストを読むことにより、初級文法を復習し読解力を高めることを目指します。現代ドイツの文化や生活に関する知識を深めていく一方で、作文練習や聞き取り練習、会話練習にも取り組むことにより、総合的なドイツ語力を向上させていきましょう。

【到達目標】
短いドイツ語テクストの読解を通して文法力を強化させることができる。
ドイツ語で書かれたやさしいエッセイの内容を的確に把握することができる。
現代ドイツの生活について具体例を通じて学び、異文化としてのドイツ文化について知見を得ることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
〈読み〉のストラテジーを意識しながらテクストの内容を把握します。また、テクストの内容に関連した文法問題を解いてもらい、教員が必要な説明を加えることにより、初級文法のブラッシュアップを目指します。さらに、時間の許す限り、聞き取り練習や作文練習、会話練習に取り組みます（演習形式）。
小テストや課題に取り組んで知識の定着を図るとともに、疑問が残る点についてリアクションペーパーで質問を受け付けます（フィードバック）。
なお、大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンラインで行ないます。詳細は学習支援システムで伝達します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	Kapitel 6: Multikulturelles	Lesetext 1: Menschen in Deutschland wenn 文の基本用法／関係代名詞分の基本用法
第 2 回	Kapitel 6: Multikulturelles	Lesetext 2: Fremdsprachen lernen 言語種と形容詞
第 3 回	Kapitel 7: Essen	Lesetext 1: Die Currywurst 冠飾句／過去形の基本
第 4 回	Kapitel 7: Essen	Lesetext 2: Bionade - ein neues Getränk 冠飾句と関係文
第 5 回	Kapitel 8: Umwelt	Lesetext 1: Umweltbewusstsein 分離動詞、非分離動詞、分離・非分離動詞の基本
第 6 回	Kapitel 8: Umwelt	Lesetext 1: Umweltbewusstsein obwohl と trotzdem
第 7 回	Kapitel 8: Umwelt	Lesetext 2: Energiesparhaus 接続詞のまとめ
第 8 回	Kapitel 9: Kunst	Lesetext 1: Museen in Deutschland zu 不定詞の基本用法
第 9 回	Kapitel 9: Kunst	Lesetext 1: Museen in Deutschland 特定の動詞と結びつく zu 不定詞
第 10 回	Kapitel 9: Kunst	Lesetext 2: Das Bauhaus zu 不定詞と dass 文
第 11 回	Kapitel 10: Jahresende	Lesetext 1: Advent und Weihnachten 接続法第二式の基本形
第 12 回	Kapitel 10: Jahresende	Lesetext 2: Jahresende 話法の助動詞を使った非現実話法
第 13 回	Kapitel 10: Jahresende	Lesetext 2: Jahresende クリスマスカード
第 14 回	理解度の確認	学期末テストにより、秋学期に学習した内容の習熟度を測る

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて１時間を標準とします。毎回の授業まえには、授業であつかう文章を読み、知らない単語などは辞書であらかじめ確認して、テクスト読解の準備をしてください。また文法事項の説明を読んだうえで練習問題に取り組んでおいてください。
授業後には、予習で誤答したところをとくに重点的にチェックしてください。また課題が出た場合には提出期限までに忘れずに取り組み、知識の定着を図ってください。

【テキスト（教科書）】
Schmidt, Ute ／ Duppel-Takayama, Mechthild ／三ッ石祐子／和泉雅人『現代ドイツを学ぶための 10 章』、三修社、2009 年。
――なお、独和辞典を必ず準備してください。詳しくは初回授業の際にお話しします。

【参考書】
中島悠爾／平尾浩三／朝倉巧『必携ドイツ文法総まとめ――改訂版』、白水社、2003 年。
――その他については授業中に適宜ご紹介します。

【成績評価の方法と基準】
平常点（授業への積極的な参加、小テスト・課題提出など）： 60 %
期末試験： 40 %（受験しない場合は単位の認定ができません）
――なお、授業回数の３分の２以上の出席が単位認定の前提条件となります（ただし、病気などやむを得ない事由により授業を欠席する場合には考慮しますので、医療機関発行の診断書等を提出してください）。

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】
オンライン授業を行なう場合に備え、念のため PC とネット環境を準備しておいてください。

【その他の重要事項】
すでに初級文法の学習をひととおり終えたみなさんを対象とした授業です。
春学期・秋学期をとおした受講を強くお勧めします。

【Outline and objectives】
The aim of this class is to review elementary grammar and improve reading comprehension by reading German texts. This course will help students deepen their knowledge of contemporary German lifestyle and culture and improve their overall German language skills by writing, listening and speaking exercises.

LANd200LA

ドイツ語３Ｉ

2017 年度以降入学者

JENS OSTWALD

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 2/Wed.2
単位数：**1 単位**
営 2 年 C〜J・L

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
読解力と文法の強化
ドイツの習慣や文化について書かれたテキストを通して、文法の強化と読解力を身につけます。また、ドイツの文化についても触れることで、総合的なドイツの理解を深めます。

【到達目標】
文法の理解と、読解力をつけることで基礎的なドイツ語を使えるようにします。
課題等の提出・フィードバックは授業内あるいは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
ドイツ語の読解と文法の復習および強化。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	オリエンテーション 授業についての説明 ドイツ語について
第 2 回	文法・語彙の復習	一年生の時に学んだドイツ語の復習
第 3 回	復習として簡単な会話	挨拶など・簡単な会話の復習
第 4 回	簡単な自己紹介	簡単な自己紹介を言えるように。 疑問文の練習
第 5 回	自己紹介	自己紹介を言える、書ける、読めるように。 疑問文の練習
第 6 回	買い物	チラシを読む、買い物で必要な会話を習得する
第 7 回	食べ物・飲み物	食べ物・飲み物についての読書
第 8 回	旅行のドイツ語 I レストラン	メニューとレストランでの小会話
第 9 回	旅行のドイツ語 II ホテル	ホテルについての情報、予約 Web ページを読む
第 10 回	旅行のドイツ語 III 道を尋ねる	道を尋ねる会話
第 11 回	旅行のドイツ語 IV 交通機関	航空券、切符の購入など
第 12 回	旅行のドイツ語 V 観光案内	語彙・文法・読解方法の復習
第 13 回	復習	語彙・文法・読解方法の復習
第 14 回	期末テスト	期末テスト 学期の纏め

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
宿題・復習。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
配布資料

【参考書】
独和辞典（詳細は一回目の授業時に話します）

【成績評価の方法と基準】
期末試験　５０％
小テスト　２０％
宿題　１０％
平常点　２０％

【学生の意見等からの気づき】
教科書に沿った授業の進め方ではなく、受講生にあわせて配布プリントを活用する。

【学生が準備すべき機器他】
オンライン授業に転換になる場合には Zoom で接続可能な機器が必要です。

【その他の重要事項】
学生の興味や理解度に順じてプログラムを変更することもあります。

【Outline and objectives】
German language course;
vocabulary expansion and grammar review, readings (and conversation);

LANd200LA

ドイツ語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

JENS OSTWALD

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 2/Wed.2
単位数：**1 単位**
営 2 年 C〜J・L

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
読解力と文法の強化
ドイツの習慣や文化について書かれたテキストを通して、文法の強化と読解力を身につけます。また、ドイツの文化についても触れることで、総合的なドイツの理解を深めます。

【到達目標】
文法の理解と、読解力をつけることで基礎的なドイツ語を使えるようにします。
課題等の提出・フィードバックは授業内あるいは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
ドイツ語の読解と文法の復習および強化。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	復習	今まで学んだドイツ語の復習
第 2 回	環境問題 テーマ１	環境問題についての資料を読む
第 3 回	環境問題 テーマ２	環境問題についての資料を読んで 文法上の問題点を解説
第 4 回	簡単な広告のスローガン	スローガンを読み解く
第 5 回	大企業の広告のスローガンなど	スローガンを読み解く スローガン・宣伝のドイツ語の特徴を見る
第 6 回	童話 I	グリム童話を読む
第 7 回	童話 II	文法の解説
第 8 回	経済についての読書のための語彙	経済に関する語彙を探して、読み解く
第 9 回	経済についての読書 統計	統計を読んで理解する
第 10 回	経済についての読書 データ	インタネットで経済についての データの検索・理解
第 11 回	経済についての読書 ニュース	簡単な新聞などのニュースを読む
第 12 回	復習：語彙・文法	語彙・文法の復習・練習
第 13 回	復習：読解方法	復習：文を読み解く方法
第 14 回	期末テスト	期末テスト 纏め

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
宿題・復習。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
配布資料

【参考書】
独和辞典（詳細は一回目の授業時に話します）

【成績評価の方法と基準】
期末試験　５０％
小テスト　２０％
宿題　１０％
平常点　２０％

【学生の意見等からの気づき】
教科書に沿った授業の進め方ではなく、受講生にあわせて配布プリントを活用する。

【学生が準備すべき機器他】
オンライン授業に転換になる場合には Zoom で接続可能な機器が必要です。

【Outline and objectives】
German language course;
vocabulary expansion and grammar review, readings (and conversation);

LANd200LA

ドイツ語３Ｉ

2017 年度以降入学者

笠原　賢介

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
営 2 年 K

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ドイツ語の基本文法をひと通り学習した学生が対象です。
基本文法を確認しながら語彙を増やし、ドイツ語による表現と読解を学ぶことがこの授業の目標です。

【到達目標】
ドイツ語の文法上の弱点を発見し、関連語彙や派生語を増やしてゆく。
ドイツ語で日常的な表現や意思疎通ができるようにする。
ドイツの生活・習慣・文化について知る。
日常生活や習慣・制度についてドイツ語での表現法を知る。
論説的な文章を読解することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
文法の復習をしながら、毎回、表現練習と訳読を行ってゆきます。
回ごとのトピックに関連するドイツの文化的背景を説明しながら授業を進めます。
授業は当面、Zoom でおこないます。
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通しておこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	授業のテーマと進め方、成績評価について。一年次の学習内容の確認。
第 2 回	Lektion1 身近な表現の習得と読解（1）	現在人称変化のまとめ
第 3 回	Lektion1 身近な表現の習得と読解（2）	動詞の位置と表現練習
第 4 回	Lektion2 身近な表現の習得と読解（3）	名詞の性と不定冠詞
第 5 回	Lektion2 身近な表現の習得と読解（4）	重要な動詞の変化
第 6 回	Lektion3 身近な表現の習得と読解（5）	定冠詞の格変化
第 7 回	Lektion3 身近な表現の習得と読解（6）	不規則動詞の変化
第 8 回	Lektion4 身近な表現の習得と読解（7）	定冠詞類の復習
第 9 回	Lektion4 身近な表現の習得と読解（8）	不定冠詞類の復習
第 10 回	Lektion5 身近な表現の習得と読解（9）	人称代名詞の格変化
第 11 回	Lektion5 身近な表現の習得と読解（10）	再帰代名詞と再帰動詞
第 12 回	Lektion6 身近な表現の習得と読解（11）	前置詞の復習
第 13 回	Lektion6 身近な表現の習得と読解（12）	前置詞の使い方
第 14 回	まとめ	春学期で学んだ表現法と読解の振り返り、まとめの課題を示す。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業で習った知識を確実にするためにも、復習を行う。
次回に行う章や文章のわからない単語、語句を調べ、自分で訳を試みておく（予習）。
自分の試訳と授業での訳との違いの理由を確かめ、正確な理解に努める。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
木戸紗織『身近なドイツ語－話したくなる 10 のトピック』朝日出版社。

【参考書】
市販のいずれかの独和辞典を持参のこと。

【成績評価の方法と基準】
平常点（授業準備や訳読、課題への取り組み、授業への積極的参加）70 %、期末の課題への取り組み 30 %。

【学生の意見等からの気づき】
課題は必ず提出すること。

【学生が準備すべき機器他】
Zoom で接続可能な機器が必要である。

【その他の重要事項】
春学期・秋学期合わせての履修を推奨します。

【Outline and objectives】
German for Ichigaya Liebral Arts Center(ILAC) Program.
This course provides advanced German expressions through reading and is open to the students who completed German 1 and German 2 in the ILAC Program.

LANd200LA

ドイツ語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

笠原　賢介

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
営 2 年 K

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ドイツ語の基本文法をひと通り学習した学生が対象です。
春学期に学習したことを確実にし、基本文法を確認しながら語彙を増やし、ドイツ語による表現と読解を学ぶことがこの授業の目標です。

【到達目標】
ドイツ語の文法上の弱点を発見し、関連語彙や派生語を増やしてゆく。
ドイツ語で日常的な表現や意思疎通ができるようにする。
ドイツの生活・習慣・文化について知る。
日常生活や習慣・制度についてドイツ語での表現法を知る。
論説的な文章を読解することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
文法の復習をしながら、毎回、表現練習と訳読を行ってゆきます。
回ごとのトピックに関連するドイツの文化的背景を説明しながら授業を進めます。
授業は当面、Zoom でおこないます。
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通しておこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	Lektion7 身近な表現の習得と読解 (13)	複合動詞の復習
第 2 回	Lektion7 身近な表現の習得と読解 (14)	従属接続詞の復習
第 3 回	Lektion8 身近な表現の習得と読解 (15)	話法の助動詞
第 4 回	Lektion8 身近な表現の習得と読解 (16)	未来形と es の用法
第 5 回	Lektion9 身近な表現の習得と読解 (17)	動詞の過去分詞の復習
第 6 回	Lektion9 身近な表現の習得と読解 (18)	現在完了形と受働文
第 7 回	Lektion10 身近な表現の習得と読解 (19)	過去形の復習
第 8 回	Lektion10 身近な表現の習得と読解 (20)	zu 不定詞の用法
第 9 回	補助教材による読解練習（1）	ドイツ語テクストの読解を通してドイツの生活と文化を学ぶ。(1)
第 10 回	補助教材による読解練習（2）	ドイツ語テクストの読解を通してドイツの生活と文化を学ぶ。(2)
第 11 回	補助教材による読解練習（3）	ドイツ語テクストの読解を通してドイツの生活と文化を学ぶ。(3)
第 12 回	補助教材による読解練習（4）	ドイツ語テクストの読解を通してドイツの生活と文化を学ぶ。(4)
第 13 回	補助教材による読解練習（5）	ドイツ語テクストの読解を通してドイツの生活と文化を学ぶ。(5)
第 14 回	まとめ	文法や表現方法、読解内容の要点の確認とまとめの課題の提示。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業で習った知識を確実にするためにも、復習を行う。
次回に行う章や文章のわからない単語、語句を調べ、自分で訳を試みておく（予習）。
自分の試訳と授業での訳との違いの理由を確かめ、正確な理解に努める。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
木戸紗織『身近なドイツ語－話したくなる 10 のトピック』朝日出版社。

【参考書】
市販の独和辞典のいずれかを持参のこと。

【成績評価の方法と基準】
平常点（授業準備や訳読、課題への取り組み、授業への積極的参加）70 %、期末の課題　30 %。

【学生の意見等からの気づき】
課題は必ず提出すること。

【学生が準備すべき機器他】
Zoom で接続可能な機器が必要である。

【その他の重要事項】
春学期・秋学期合わせての履修を推奨します。

【Outline and objectives】
German for Ichigaya Liebral Arts Center(ILAC) Program.
This course provides advanced German expressions through reading and is open to the students who completed German 1 and German 2 in the ILAC Program.

LANd200LA

ドイツ語３Ｉ

2017 年度以降入学者

長倉　誠一

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
営 2 年 Q・R

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
文法の基礎を確かなものとしながら、さらに応用力を身につけ、ドイツ語文の読解力をふくめて総合的なドイツ語力を養います。テキストを読めば、異文化としてのドイツ文化について知ることになります。

【到達目標】
中級程度のドイツ語文を一年後には読解できることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
とくに「ドイツ語１」でかなりの能力差が生まれているのが例年なので、どこまで進んだかを確認して、未習部分ならびに受動文や関係代名詞の復習から始めます。その後は、指定のテキストに即して進めます。テキストには、長文読解とドイツ語文の作成、文法問題が含まれています。これによってドイツ語の総合力を養います。授業の 3 分の 2 程度は、宿題の解説、解答になります。その状況次第では、必要ならさらに追加で同類の課題を準備することになります。残りの 3 分の 1 程度の時間は、中級文法「認容表現」「動詞の前綴り」などを加えますが、これは適宜プリントを利用します。少し無理を課すのが教師の役目と考えていますので、宿題は毎回出します。適宜小テストも実施しますが、小テストはすべて早急に添削後返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス Hoppii で実施します	授業の進め方、次回の準備などの説明、ドイツ語の発音のきまり
第 2 回	初級文法の復習	完了形と受動態、長文読解 (プリント利用)
第 3 回	初級文法の復習	関係代名詞 、長文読解（プリント利用）
第 4 回	Lektion1「授業中の生徒」	長文読解と表現練習
第 5 回	Lektion1「授業中の生徒」	不定関係代名詞その他
第 6 回	Lektion2「ドイツの女性」	長文読解と表現練習
第 7 回	Lektion2「ドイツの女性」	Zu 不定詞句、形容詞の名詞化
第 8 回	Lektion3「答案の記載」	長文読解と表現練習
第 9 回	Lektion3「答案の記載」	受動態、動詞の名詞化
第 10 回	Lektion3「答案の記載」	否定冠詞の用法ならびに否定文について
第 11 回	文法補足	接続法の学習 zu なしの不定詞とその主語について認容表現の学習
第 12 回	文 Lektion4a「タクシーのとめ方」	現在分詞などの文法 分詞を基礎語とする述語句
第 13 回	Lektion4a「タクシーのとめ方」	長文読解、独作文
第 14 回	学期末試験	第 13 回までの授業内容確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回宿題が出ます。宿題をやっていないと欠席扱いにします。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『ＣＤ付き　ドイツ人の生活を知る 11 章』
著者：大谷弘道
出版社：三修社

【参考書】
独和辞典
『必携ドイツ文法総まとめ (改訂版)』（中島悠爾／平尾浩三／朝倉巧共著）白水社

【成績評価の方法と基準】
平常点（50 %）期末試験（50 %）を基本とする総合評価。平常点は、宿題をやったうえでの出席点です。宿題をやっていない、つまり欠席相当の場合には、原則として 1 回につきマイナス 10 点となります。小テストの結果が極端に悪い場合にも同様に扱います。

【学生の意見等からの気づき】
なし。

【学生が準備すべき機器他】
オンライン授業の場合にはパソコンが必要になります。

【その他の重要事項】
なし。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to help students acquire the foundation of grammer, and to cultivate German ability, including reading comprehension.

LANd200LA

ドイツ語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

長倉　誠一

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
営 2 年 Q・R

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
文法の基礎を確かなものとしながら、さらに応用力を身につけ、ドイツ語文の読解力をふくめた総合力を養います。テキストを読めば、ドイツの文化を知ることになります。

【到達目標】
中級程度のドイツ語文を読解できることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
テキストに即して進めます。春学期より量を多くします。テキストには、長文読解とドイツ語文の作成、文法問題が含まれています。これによってドイツ語の総合力を養います。授業の 3 分の 2 程度は、宿題の解説、解答になります。その状況次第では、必要ならさらに追加で同類の課題を準備することになります。残りの 3 分の 1 程度の時間は、中級文法「認容表現」「動詞の前綴り」などを加えますが、これは適宜プリントを利用します。少し無理を課すのが教師の役目と考えていますので、宿題は毎回出します。適宜小テストも実施しますが、小テストはすべて早急に添削後返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	Lektion4b「タクシーで乗客の座る場所」	長文読解と独作文
第 2 回	Lektion4b「タクシーで乗客の座る場所」	Wenn の省略文の表現、間違え易い文法事項（英語との比較）
第 3 回	Lektion5「猛暑日の対応」	長文読解と独作文
第 4 回	Lektion5「猛暑日の対応」	比較級・最高級の復習
第 5 回	Lektion6「犬と猫の購入」	長文読解と独作文
第 6 回	Lektion6「犬と猫の購入」	接続法の復習
第 7 回	Lektion6「犬と猫の購入」	長文読解
第 8 回	重点文法補足	冠飾句
第 9 回	重点文法補足	不定代名詞・指示代名詞、人称代名詞 2 格
第 10 回	Lektion7「ベットの大きさ」	長文読解と独作文
第 11 回	Lektion7「ベットの大きさ」	前置詞など初級文法復習、前置詞との合体形
第 12 回	Lektion7「ベットの大きさ」	序数の用法
第 13 回	Lektion8「ドイツの広告」	無冠詞の名詞他文法復習 長文読解と独作文
第 14 回	学期末試験	第 13 回までの授業内容確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回宿題がでます。宿題をかならずやって授業にでること。

【テキスト（教科書）】
『ＣＤ付き　ドイツ人の生活を知る 11 章』
著者：大谷弘道
出版社：三修社

【参考書】
『必携ドイツ文法総まとめ (改訂版)』（中島悠爾／平尾浩三／朝倉巧共著）白水社

【成績評価の方法と基準】
平常点（50 %）と期末試験（50 %）を基本とする総合評価。平常点は、宿題をやって授業に出席した場合の点数です。宿題をやっていないなど欠席相当の場合には、原則として欠席と同様に、1 回につきマイナス 10 点とします。小テストの結果が極端に悪い場合も欠席と同様に扱います。

【学生の意見等からの気づき】
とくになし

【学生が準備すべき機器他】
オンライン授業の場合には、パソコンが必要になります。

【その他の重要事項】
なし

【Outline and objectives】
By the end of the course, students should be able to reach the stage where they can understand more advanced German writings.

LANd200LA

ドイツ語４Ｉ

2017 年度以降入学者

日中　鎮朗

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**水** 2/Wed.2
単位数：**1 単位**
法文営 2 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
1 年次にドイツ語 1、2 を学習した学生が文法事項や構文上の学習知識を確実なものとし、さらに高めていくためにさまざまなシチュエーションのなかで必要な表現を学ぶことを目的とします。
またドイツの若者の日常や関心などを会話表現を通して学びます。

【到達目標】
初級文法の知識を確実なものとすることができます。
日常のさまざまなシチュエーションで使われる表現、使える会話表現を身につけることができます。
聞き取る力を伸ばすことができます。
ドイツ語の作文・表現力を高めることができます。
ドイツの各州の特色、歴史、出来事、慣習を学ぶことができます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
テキストをともに読み進めていきます。
各回ごとにテキストを担当者を決めて訳読してもらい、そこに使われている文法事項を解説します。
適宜、確認テストを行います。
１年次の文法知識の復習を兼ねながら丁寧にわかりやすく説明します。
課題、また確認小テストのフィードバックは次回の授業時にそのつど、解説を加えたフィードバックを行う。
訳読を行うにあたっては、精読（close reading）・解釈力の養成・文法的知識の向上が必要となる。
その十全な養成実施のために、原則として初回授業で学習支援システムでの仮登録者を対象に選抜を行います。履修希望する学生は必ず初回授業前までに仮登録をすること。仮登録をしていない学生は選抜対象になりません。授業初回時に抽選を行い、その結果を当日中に授業支援システム、Hoppii の「お知らせ」欄、また「授業内掲示板」を通して周知します。
第 1 回はオンラインで行う。Hoppii を見てください。
なお、オンライン授業を積極的に活用するなど、柔軟な運用を行うので、授業支援システム、Hoppii をよく見ること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション Kapitel 1 シュレスヴィヒ・ホルシュタイン州	授業の進め方、 訳読と文法的説明を行う
第 2 回	Kapitel 1 シュレスヴィヒ・ホルシュタイン州	文法的解説:完了形 課題・読解を行う
第 3 回	Kapitel 2 Hamburg	テキストの Kapitel 1 表現を学ぶ この章の練習問題で内容確認と表現の練習・まとめ
第 4 回	Kapitel 2 受動形	Kapitel 2 訳読と受動形 の文法的説明を行う
第 5 回	Kapitel 3 Niedersachsen	テキストの Kapitel 2 の読解を行う
第 6 回	Kapitel 3 形容詞の格変化 この章のまとめと確認	テキストの Kapitel 2 の表現を学ぶ この章の練習問題で内容確認と表現の練習・まとめ
第 7 回	Kapitel 4 Bremen	Kapitel 4 の文法的説明を行う 訳読の解説
第 8 回	Kapitel 4 動詞の人称変化	テキストの読解を行う この章の練習問題で内容確認と表現の練習
第 9 回	Kapitel 5 Mecklenburg-Vorpommern この章のまとめと確認	この章の表現を学ぶ 訳読の解説
第 10 回	Kapitel 5 分詞の用法	Kapitel 5 の文法的説明を行う 練習問題で内容確認と表現の練習・まとめ
第 11 回	Kapitel 6 Brandenburg について	テキストの Kapitel 6 の読解を行う
第 12 回	Kapitel 6 関係代名詞について この章のまとめと確認	テキストの Kapitel 6 の表現を学ぶ この章の練習問題で内容確認と表現の練習・まとめ
第 13 回	Kapitel 7 Berlin	Kapitel 7 の読解と文法的説明を行う。 zu 不定詞の表現を学ぶ。
第 14 回	試験、解説とまとめ	これまでに学んだ読解と文法的説明の振り返り 試験、解説とまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
授業で習った知識を確実にするためにも、復習を行います。
次回に行う章や文章のわからない単語、語句を調べ、自分で訳を試みておきます。
自分の試訳と授業での訳との違いの理由を確かめ、正確な理解に努めます。
テキストに描かれている事柄（例えば、各州の環境問題や歴史など）などに関心を持ち、そうした時事的な事柄に関して書かれた本を読むとより興味をもって授業に臨め、理解も深めることができます。

【テキスト（教科書）】
『ドイツ　ところ変われば』（Deutschland nach der Wende）
R.Luscher 松本嘉久　著
朝日出版社

【参考書】
とくにありませんが、毎回、独和辞典を持ってきてください。
ドイツ語の作文を適宜行います。
また、テキストに描かれている事柄などに関して書かれた本を読むことも重要です。

【成績評価の方法と基準】
成績評価手法について
成績配分は期末試験 50 %、平常点（これまでの確認小テストの点数の累積、訳読、課題提出、積極的な参加を含む）50 %です。

【学生の意見等からの気づき】
ドイツやドイツ語の知識がついた、説明がわかりやすいというコメントなので、今後も丁寧な解説で説明しています。
また、各章の終わりについている内容確認と表現練習で知識を確実なものにしていきます。

【学生が準備すべき機器他】
オンライン授業やハイフレックス型授業の場合必要な機器として Zoom で接続可能なデバイスを準備してください。

【その他の重要事項】
春学期・秋学期合わせての履修を推奨します。
授業の進め方にも書いたが、訳読を行うにあたっては、精読（close reading)・解釈力の養成・文法的知識の向上が必要となる。
その十全な養成実施のために、原則として初回授業で学習支援システムでの仮登録者を対象に選抜を行います。履修希望する学生は必ず初回授業前までに仮登録をすること。仮登録をしていない学生は選抜対象になりません。授業初回時に抽選を行い、その結果を当日中に授業支援システム、Hoppii の「お知らせ」欄、また「授業内掲示板」を通して周知します。
第 1 回はオンラインで行う。Hoppii を見てください。

【Outline and objectives】
German for Ichigaya Liberal Arts Center(ILAC) Program.
This course provides advanced German expressions on various topics through reading and with audio-visual aids and helps students to develop reading and listening skills.
It is open to the students who completed German 1 and German 2 in the ILAC Program.

LANd200LA

ドイツ語４Ⅱ

2017 年度以降入学者

日中　鎮朗

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 2/Wed.2
単位数：**1 単位**
法文営 2 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期に学んだことを踏まえて、1 年次にドイツ語 1、2 を学習した学生が文法事項や構文上の学習知識を確実なものとし、さらに高めていくために、ドイツの州の特色を通して、ドイツという国やさまざまな表現を身につけていくことを目的とします。

【到達目標】
初級文法の知識を確実なものとすることができます。
ドイツ語によるさまざまな表現方法や構文を学ぶことができます。
ドイツの各州の特色、歴史、出来事、慣習を学ぶことができます。
州の特色や歴史を学ぶことによって、ドイツという国を総体的により深く、また多面的に知ることができます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
テキストをともに読み進めていきます。
各回ごとにテキストを担当者を決めて訳読してもらい、そこに使われている文法事項を解説します。
適宜、確認テストを行います。
１年次の文法知識の復習を兼ねながら丁寧にわかりやすく説明します。
課題、また確認小テストのフィードバックは次回の授業時にそのつど、解説を加えたフィードバックを行う。
訳読を行うにあたっては、精読（close reading)・解釈力の養成・文法的知識の向上が必要となる。
原則として、初回授業で学習支援システムでの仮登録者を対象に選抜を行います。履修希望する学生は必ず初回授業前までに仮登録をすること。仮登録をしていない学生は選抜対象になりません。
授業初回時に抽選を行い、その結果を当日中に授業支援システム、Hoppii の「お知らせ」欄、また「授業内掲示板」を通して周知する。
なお、オンライン授業を積極的に活用するなど、柔軟な運用を行うので、授業支援システム、Hoppii をよく見ること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	Introduction 授業の方法 Kapitel8	Introduction 授業についての説明 成績評価の説明 Kapitel8
第 2 回	Kapitel8 Sachsen-Anhalt	Kapitel8 の訳読の解説を行う。
第 3 回	Kapitel ９ 訳読 この Kapitel のまとめと確認	Kapitel ９ 前置詞について学ぶ。 練習問題で確認と応用
第 4 回	Kapitel ９ Nordrhein-Westfalen について	Kapitel9 の訳読と文法的説明を行う

第 5 回	Kapitel10 Hessen	Kapitel10 形容詞・副詞 テクストの読解を行う
第 6 回	Kapitel11 の訳読確認	Kapitel11 再帰代名詞の表現の説明を行う 練習問題で確認と応用
第 7 回	Kapitel 12 Sachsen	Kapitel 12 未来時制とその人称変化の文法的説明を行う
第 8 回	Kapitel 13 Rheinland-Pfalz	Kapitel 13 接続詞の用法 テクストの読解を行う
第 9 回	Kapitel １４ Das Saarland を学ぶ	Kapitel 14 のテクストの表現の説明を行う 練習問題で確認と応用
第 10 回	Kapitel 14 分離動詞の表現を学ぶ	Kapitel 14 訳読の解説と テクストの文法的説明を行う
第 11 回	Kapitel 15 Baden- Wuerttemberg について	Kapitel 15 テクストの読解を行う
第 12 回	Kapitel 16 Bayern 州 接続法の表現	Kapitel 16 ドイツの工業に関する テクストの表現を学ぶ
第 13 回	Kapitel 16 バイエルン この Kapitel のまとめと確認	Kapitel 16 接続法 練習問題で応用
第 14 回	試験、解説とまとめ	表現と文法事項を中心とした振り返り 試験、解説とまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
授業で習った知識を確実にするために復習をします。
次回に行う章や文章のわからない単語、語句を調べ、自分で訳を試みます。
自分の試訳と授業での訳との違いの理由を確かめ、正確な理解に努めます。
テキストに描かれている事柄に関心を持ち、そうした時事的な事柄に関して書かれた本を読み、より興味をもって授業に臨み、理解を深めます。

【テキスト（教科書）】
『ドイツ　ところ変われば』（Deutschland nach der Wende)
R.Luscher 松本嘉久　著
朝日出版社

【参考書】
とくにありませんが、毎回、独和辞典が必要。

【成績評価の方法と基準】
学期末に試験を行います。
期末試験　50 %
平常点（訳読などの課題発表・確認テストの成績累計、授業への積極的取組・参加）50 %
出席は単位修得の前提条件です。

【学生の意見等からの気づき】
ドイツやドイツ語の知識がついた、説明がわかりやすいというコメントなので、今後も丁寧な説明に努めたい。
また、各章の終わりについている内容確認と表現練習で知識を確実なものにしていきます。

【学生が準備すべき機器他】
オンライン授業やハイフレックス型授業の場合必要な機器として Zoom で接続可能なデバイスを準備してください。

【その他の重要事項】
春学期・秋学期合わせての履修を推奨します。
授業の進め方にも記載したが、訳読を行うにあたっては、精読（close reading)・解釈力の養成・文法的知識の向上が必要となる。
その十全な養成実施のために、原則として初回授業で学習支援システムでの仮登録者を対象に選抜を行います。履修希望する学生は必ず初回授業前までに仮登録をすること。仮登録をしていない学生は選抜対象になりません。授業初回時に抽選を行い、その結果を当日中に授業支援システム、Hoppii の「お知らせ」欄、また「授業内掲示板」を通して周知する。

【Outline and objectives】
German for Ichigaya Liberal Arts Center(ILAC) Program.
This course provides advanced German expressions on various topics through reading the text on Germany and helps students to develop reading and listening skills.
It is open to the students who completed German 1 and German 2 in the ILAC Program.

LANd200LA

ドイツ語４Ｉ

2017 年度以降入学者

外山　知子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**1 単位**
法文営 2 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ドイツ語の向上を目指し、異文化理解を深める。

【到達目標】
文法の復習と読解力の向上をめざすばかりでなく、書かれた内容を通して、翻訳では伝わりにくいドイツの文化、ヨーロッパの文化に触れ、世界を広げる。
使用するテキストはそれにぴったりです。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
対面授業と Zoom によるリアルタイムのオンライン授業の組み合わせによるブレンド型授業を行います。初回は、教室の都合によりオンラインで、具体的な授業の進め方、注意事項などを説明します。WiFi につなぐことのできるスマートフォンあるいはタブレットできれば PC、場合によってはヘッドセット、教科書を用意してください。
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。
学習支援システムにお知らせをよく載せるので、常にチェックすること。特に初回の前は早めにお知らせチェックをしてください。また、シラバスの最下「その他の重要事項欄」を早めに最後までよく読んでください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	1 年生の復習もかねての課題。	授業の進め方、勉強の仕方、勉強に役立つ情報などを開く。 Zoom に入れる機器（スマートフォン、タブレット、PC などと場合によってはヘッドセット）を用意してください。 オンラインで
2	Lektion 1 Brot Wurst Döner Kebab オンライン授業の体制が整っていなければ教科書には連休明けに入る。	Lekition 1 のテキストを読み、不規則変化する動詞、形容詞の語尾変化、形容詞の名詞化について学ぶ。 オンラインで
3	Lektion 1 の続き。	Lektion 1 の練習問題 オンラインで
4	Lektion 2 HerrBöse und Herr Streit	Lekition 2 のテキストを読み、過去形、未來・推量の助動詞 werden、従属接続詞について学ぶ。 オンラインで
5	Lektion 2 の続き。	Lektion 2 の練習問題 対面で Zoom に入るかもしれないので、そのつもりで WiFi につながる機器を持って来てください。
6	Lektion 3 Berlin-Eine wunderbare Stadt	Lektion 3 のテキストを読み、再帰動詞、分離動詞、接続法第 2 式について学ぶ。 オンラインで
7	Lektion 3 の続き。	Lektion 3 の練習問題 オンラインで
8	Lektion 4 Der süße Stadt	Lektion 4 のテキストを読み、指示代名詞、命令形について学ぶ。 オンラインで
9	Lektion 4 の続き。	Lektion 4 の練習問題 対面で
10	Lektion 5 Wiener Kaffeehauskultur	Lektion 5 のテキストを読み、関係代名詞、現在完了形について学ぶ。 オンラインで
11	Letion 5 の続き。	Lekiton 5 の練習問題。 オンラインで
12	これまでの文法の補足	これまで学んだことの他に重要な文法事項について学ぶ。 オンラインで
13	重要事項の補足	特に重要な事項を詳しく学ぶ。 オンラインで
14	試験・まとめと解説。	試験と春学期のまとめをする。 対面で

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業での指示に従うこと。
本文は全体を予習した方が、練習問題は解きやすい。
学んだことはなるべくその日のうちに見返して定着させる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
荻原耕平/ 畠山 寛/ 高本敬之著『ドイツ語トライアングル　やさしい中級テキスト９章』同学社

【参考書】
本郷建治著『ドイツ文法の要点』三修社
中島悠爾他著『改訂版必携ドイツ文法総まとめ』白水社

【成績評価の方法と基準】
出席は原則として 3 分の 2 以上を必要とする。配慮される場合については [その他の重要事項] を参照のこと。基本的には期末試験 60 %＋授業参加度（宿題、課題をふくむ平常点）40 %の割合で総合評価する。遅刻 3 回で欠席 1 回にカウントされる。

【学生の意見等からの気づき】
学生はよくがんばっていました。感謝しています。一部の学生は出席に気をつけてください。

【学生が準備すべき機器他】
Zoom ができる機器（教室ではスマートフォン、タブレットなど WiFi とつながるもの、自宅では PC があれば PC、なければスマートフォン、タブレットなど）、ヘッドセット。

【その他の重要事項】
楽しく、まじめに勉強しましょう。
公欠届、診断書などはきちんと出してください。
教科書と独和辞典（電波の入る機器を辞書代わりに使うことは許可しない）を毎回手元に置き、使用すること。
対面とオンラインを何回目にやるかは授業の進度によって、少しずれることがあります。学習支援システムの「お知らせ」にいつも気をつけていてください。
休んだときは授業の前か終了後すぐに理由を連絡すること。正当な理由とみなされた場合にのみ配慮されます。何日も経ってから申告しても配慮対象になりません。
「初回授業で学習支援システムでの仮登録者を対象に選抜を行います。履修希望する学生は必ず初回授業前までに仮登録をすること。仮登録をしていない学生は選抜対象になりません。授業初回時に抽選を行い、その結果を当日中に授業支援システム、Hoppii の「お知らせ」欄、また「授業内掲示板」を通して周知します。」

【Outline and objectives】
The improvement in German and the mutual understanding of other cultures

LANd200LA

ドイツ語４Ⅱ

2017 年度以降入学者

外山　知子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**1 単位**
法文営 2 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ドイツ語の向上を目指し、異文化理解を深める。

【到達目標】
ドイツ語の文章が自分で楽しみながら読めるようになる。それにとどまらず語彙を増やし、構造を理解しながらドイツ語の総合力を高める。
ドイツへの理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
対面授業と Zoom によるリアルタイムのオンライン授業の組み合わせによるブレンド型授業を行います。初回はオンライン授業にし、具体的な授業の進め方、注意事項などを説明します。WiFi につなぐことのできるスマートフォンあるいはタブレット、できれば,
場合によってはヘッドセット、教科書を用意してください。教室から Zoom に入るかもしれません。学習支援システムにお知らせをよく載せるので、常にチェックすること。特に初回の前は早めにお知らせチェックをしてください。
比較的平易なドイツ語で書かれた文章を味わいながら読む。各課ごとの練習問題を通して総合力を高める。教科書の他に、すぐに役立つ表現、最新のドイツ事情なども紹介する。
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。
下の「その他の重要事項」を初回の授業の前によく読んでください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	導入 ドイツ語の感覚を取り戻す。	授業の進め方、勉強の仕方、勉強に役立つ情報などを聞いた後、感覚を取り戻すためにドイツ語Ⅱ触れる。 教科書と辞書、Zoom に入る機器が必要です。
2	Lektion 4 Der süße Brei!	Lektion 4 のテキストを読み、指示代名詞、命令形について学ぶ。 オンラインで
3	Lektion 4 の続き。	Lektion 4 の練習問題 オンラインで
4	Lektion 5 Wiener Kaffeehauskultur	Lektion 5 のテキストを読み、関係代名詞、現在完了形 (1) について学ぶ。 オンラインで
5	Lektion 5　の続き。	Lektion 5 の練習問題 対面で
6	Lektion 6 Ausschlussprüfung Verdammt heißhier unten!	Lektion 6 のテキストを読み、現在完了形（2）、zu 不定詞（1）、過去分詞の用法について学ぶ。 オンラインで
7	Lektion　6 の続き。	Lektion 6 の練習問題。 オンラインで
8	Lektion 7 Kurze Geschichte der Sonntagsruhe	Lektion 7 のテキストを読み、話法の助動詞、受動文について学ぶ。 オンラインで
9	Lektion 7 の続き。	Lektion 7 の練習問題。 対面で
10	Lektion 8 Geschichte der Gastarbeiter Menschen mit Migrationshintergrund	Lektion 8 のテキストを読み、形容詞の比較表現、zu 不定詞 (2) について学ぶ。 オンラインで
11	Lektion 9　Vom deutschen Stil	Lektion 9 のテキストを読み、定冠詞類、不定冠詞類、現在分詞の用法について学ぶ。 練習問題。 オンラインで
12	プリントなどで教科書以外のドイツ語に触れる。	どれくらいの読解能力がついているか確認するため、教科書以外のドイツ語を読む。 オンラインで
13	重要事項の補足	特に重要な事項を詳しく学ぶ。 オンラインで
14	試験・まとめと解説	試験と秋学期のまとめをする。 対面で。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
前回学んだことの復習とテキストの予習。
本文は全体を予習した方が、練習問題は解きやすい。
学んだことはなるべくその日のうちに見返して定着させる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
荻原耕平/ 畠山 寛/ 高本敬之著『ドイツ語トライアングル　やさしい中級テキスト 9 章』同学社

【参考書】
中島悠爾他著『改訂版必携ドイツ文法総まとめ』白水社

【成績評価の方法と基準】
出席は原則として３分の２以上を必要とする。配慮される場合については [その他の重要事項] を参照のこと。具体的には授業中に話す。基本的には期末試験 60 %、授業参加度（宿題、課題をふくむ平常点）40 %の割合で総合評価する。
遅刻 3 回で欠席 1 回にカウントされる。

【学生の意見等からの気づき】
学生はよくがんばっていました。こちらも丁寧に教えていきたいと思います。遅刻と出席には気をつけてください。

【学生が準備すべき機器他】
Zoom ができる機器（教室ではスマートフォンあるいはタブレットなど WiFi とつながるもの、自宅では PC、なければスマートフォン、タブレットなど)、ヘッドセット。

【その他の重要事項】
楽しく、まじめに勉強しましょう。
公欠届け、診断書などはその都度すぐにきちんと出してください。
秋学期から履修する人は教科書を入手しておいてください。
教科書と独和辞典を毎回手元に置き、使用すること。
対面とオンラインを何回目にやるかは授業の速度によって、少しずれることがあります。学習支援システムの「お知らせ」にいつも気をつけていてください。
休んだときは授業の前か終了後すぐに理由を連絡すること。正当な理由とみなされた場合にのみ配慮されます。何日も経ってから申告しても配慮対象になりません。
原則として初回授業で学習支援システムでの仮登録者を対象に選抜を行います。履修希望する学生は必ず初回授業前までに仮登録をすること。仮登録をしていない学生は選抜対象になりません。授業初回時に抽選を行い、その結果を当日中に授業支援システム、Hoppii の「お知らせ」欄、また「授業内掲示板」を通して周知します。

【Outline and objectives】
The improvement in German and the mutual understanding of other cultures

LANd200LA

ドイツ語４Ｉ

2017 年度以降入学者

林　志津江

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
法文営 2 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
「ドイツ語１ I/II」「ドイツ語２ I/II」の後続授業の一つとして、「ドイツ語３ I/II」よりもさらに深く広い異文化理解を目指す科目です。読解と作文を通じてドイツ語とドイツ語圏の多様性に触れながら、ドイツ語運用能力の向上とを目指します。

【到達目標】
第一の目標は、ドイツ語の文章を、文法に即し分析的に読む能力の向上です。ドイツ語を選んだのですから、ドイツ語を「楽しく」読めるようになるための基礎をつけましょう。
第二の目標は、できごとをその背景や文脈と関連づけて理解できる能力の獲得と、論理的思考能力の向上です。
第３の目標は、「自分の日常から遠く離れた（ように感じる）存在の声」に耳を傾ける能力です。「自分から遠い何か」に関心をもつ力、ひいては「遠く感じていたけど自分とは（も）共通点がある」ことを見出せる知性は、異文化対応能力と強く結びついています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
ドイツ語のテクスト読解と、そのテクストに即した問いと答えをドイツ語で作文する作業を軸に進めます。ドイツ語の初級文法の知識の定着を促すためにも、ドイツ語圏に関する知識を増やし、活気ある授業とより良い理解に配慮しつつこちらでも資料を用意します。
・法政大学の 2021 年度授業方針に従い、「対面授業」で行います。ハイフレックス型（対面＋リアルタイム型オンライン授業）となる可能性も高いです。
・Hoppii のほか、Zoom と Google Classroom をツールとして使用します。
・授業内で行われたアウトプットに対しては授業の場でコメントします。提出物のフィードバックは適宜全体と各自に向けて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業全般について、１年次の復習をまじえ教科書と既習事項の確認
2	（復習１）初級文法の復習	動詞の位置と接続詞（S.6~9）
3	（復習２）Lek.1. ：東ドイツを思い出しながら（１）	動詞の３基本形と過去形・完了形
4	（復習３）Lek.1. ：東ドイツを思い出しながら（２）	過去形・完了形、接続詞と副文（１）
5	（復習４）Lek.1. ：東ドイツを思い出しながら（３）	過去形・完了形、接続詞と副文（２）
6	Lek.2 ：「壁」の向こう側には西ベルリンがあった（１）	「枠構造」と分離動詞（１）
7	Lek.2 ：「壁」の向こう側には西ベルリンがあった（２）	「枠構造」と分離動詞（２）
8	Lek.2 ：「壁」の向こう側には西ベルリンがあった（３）	「枠構造」と分離動詞（３）
9	Lek.3 ：その時「壁」は開いた（１）	前置詞（１）
10	Lek.3 ：その時「壁」は開いた（２）	前置詞（２）
11	Lek.3 ：その時「壁」は開いた（３）	前置詞（３）
12	Lek.4 ：欧州の和解と理解（１）	関係代名詞、合成語（１）
13	Lek.4 ：欧州の和解と理解（２）	関係代名詞、合成語（２）
14	まとめ	まとめと解説・最終課題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・毎授業ごとに予習・復習の課題を出します。
・ドイツ語の文・テクストはどれも必ず音読をし、授業外でも積極的にドイツ語に触れられるようチャレンジして下さい。
・本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
村瀬民子『「壁」を壊す メルケル独首相スピーチ』（白水社、2020 年）
*「ドイツ語１」ないし「ドイツ語２」で使用した文法の教科書も用意してください。

【参考書】
中島悠爾ほか著『必携ドイツ文法総まとめ』（白水社、2003 年）

【成績評価の方法と基準】
・授業への積極的な参加と貢献（自分の番が回ってきたら自分の役割を果たす）35 %
・毎回の課題 35 %
・学期末課題（ないし学期末試験）30 %
以上を合わせ、総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】
学生からは逐次ヒアリングを行い、相互の意志の疎通につとめます。

【学生が準備すべき機器他】
・独和辞典（「Google 翻訳」ではない）と PC は必携です。
・ハイフレックス型の授業となる可能性が高いです。教室の場合は WiFi が利用可能なデジタルガジェット（スマートフォン、タブレット、PC のどれか）とイヤホン（マイク付きヘッドセット）を、教室以外で受講する場合は必ず PC を用意してください。

【その他の重要事項】
・初回授業で学習支援システムでの仮登録者を対象に選抜を行います。履修希望する学生は必ず初回授業前までに仮登録をすること。仮登録をしていない学生は選抜対象になりません。授業初回時に抽選を行い、その結果を当日中に授業支援システム、Hoppii の「お知らせ」欄、また「授業内掲示板」を通して周知します。
・授業の順序や内容の一部は変更されることがあります。
・「ドイツ語技能検定試験」の３～４級には積極的にチャレンジしてもらえればと思います。「ドイツ語４ I」については、４級以上レベル級の合格者について、2021 年 7 月 20 日までに確認できた成果を「授業への積極的な参加と貢献」の項目に含めて評価します。

【Outline and objectives】
German course for the intermediate levels, exclusively for Participants/students who completed German 1 and German 2 in the ILAC Program/Hosei University (nearly A1. completed). This course introduces elementary Grammar and vocabulary with reading Text in German. The aim of this course is to get basic knowledge of the German language, especially ability of reading and comprehension for general topics to talk about. Participants/Students are also expected to inform themselves about the culture, history and society of German speaking world.

LANd200LA

ドイツ語４Ⅱ

2017 年度以降入学者

林　志津江

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
法文営 2 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
「ドイツ語１ I/II」「ドイツ語２ I/II」の後続授業の一つとして、「ドイツ語３ I/II」よりもさらに深く広い異文化理解を目指す科目です。読解と作文を通じてドイツ語とドイツ語圏の多様性に触れながら、ドイツ語運用能力の向上とを目指します。

【到達目標】
第一の目標は、ドイツ語の文章を、文法に即し分析的に読む能力の向上です。ドイツ語を選んだのですから、ドイツ語を「楽しく」読めるようになるための基礎をつけましょう。
第二の目標は、できごとをその背景や文脈と関連づけて理解できる能力の獲得と、論理的思考能力の向上です。
第三の目標は、「自分の日常から遠く離れた（ように感じる）存在の声」に耳を傾ける能力です。「自分から遠い何か」に関心をもつ力、ひいては「遠く感じていたけど自分とは（も）共通点がある」ことを見出せる知性は、異文化対応能力と強く結びついています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
ドイツ語のテクスト読解と、そのテクストに即した問いと答えをドイツ語で作文する作業を軸に進めます。ドイツ語の初級文法の知識の定着を促すためにも、ドイツ語圏に関する知識を増やし、活気ある授業とより良い理解に配慮しつつこちらでも資料を用意します。
・法政大学の 2021 年度授業方針に従い、「対面授業」で行います。ハイフレックス型（対面＋リアルタイム型オンライン授業）となる可能性も高いです。
・Hoppii のほか、Zoom と Google Classroom をツールとして使用します。
・授業内で行われたアウトプットに対しては授業の場でコメントします。提出物のフィードバックは適宜全体と各自に向けて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業全般について、春学期の復習をまじえ教科書と既習事項の確認
2	（復習１）Lek.4 ：欧州の和解と理解（３）	関係代名詞、合成語（３）
3	Lek.5. ：戦後の経済復興（１）	関係文、不定関係代名詞（１）
4	Lek.5. ：戦後の経済復興（２）	関係文、不定関係代名詞（２）
5	Lek.5. ：戦後の経済復興（３）	関係文、不定関係代名詞（３）
6	Lek.6 ：未来への課題（１）	zu 不定詞、序数（１）
7	Lek.6 ：未来への課題（２）	zu 不定詞、序数（２）
8	Lek.6 ：未来への課題（３）	zu 不定詞、序数（３）
9	Lek.7 ：グローバルに行動する（１）	形容詞の比較変化（１）
10	Lek.7 ：グローバルに行動する（２）	形容詞の比較変化（２）
11	Lek.7 ：グローバルに行動する（３）	形容詞の比較変化（３）
12	Lek.8 ： AI の可能性（１）	接続法 II 式、略語（１）
13	Lek.8 ： AI の可能性（２）	接続法 II 式、略語（２）
14	まとめ	まとめと解説・最終課題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・毎授業ごとに予習・復習の課題を出します。
・ドイツ語の文・テクストはどれも必ず音読をし、授業外でも積極的にドイツ語に触れられるようチャレンジして下さい。
・本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
村瀬民子『「壁」を壊す メルケル独首相スピーチ』（白水社、2020 年）
*「ドイツ語１」ないし「ドイツ語２」で使用した文法の教科書も用意してください。

【参考書】
中島悠爾ほか著『必携ドイツ文法総まとめ』（白水社、2003 年）

【成績評価の方法と基準】
・授業への積極的な参加と貢献（自分の番が回ってきたら自分の役割を果たす）35 %
・毎回の課題 35 %
・学期末課題（ないし学期末試験）30 %
以上を合わせ、総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】
学生からは逐次ヒアリングを行い、相互の意志の疎通につとめます。

【学生が準備すべき機器他】
・独和辞典（「Google 翻訳」ではない）と PC は必携です。
・ハイフレックス型の授業となる可能性が高いです。教室の場合は WiFi が利用可能なデジタルガジェット（スマートフォン、タブレット、PC のどれか）とイヤホン（マイク付きヘッドセット）を、教室以外で受講する場合は必ず PC を用意してください。

【その他の重要事項】
・初回授業で学習支援システムでの仮登録者を対象に選抜を行います。履修希望する学生は必ず初回授業前までに仮登録をすること。仮登録をしていない学生は選抜対象になりません。授業初回時に抽選を行い、その結果を当日中に授業支援システム、Hoppii の「お知らせ」欄、また「授業内掲示板」を通して周知します。
・授業の順序や内容の一部は変更されることがあります。
・「ドイツ語技能検定試験」の３～４級には積極的にチャレンジしてもらえればと思います。「ドイツ語４ I」については、３級以上レベル級の合格者について、2022 年 1 月 25 日までに確認できた成果を「授業への積極的な参加と貢献」の項目に含めて評価します。

【Outline and objectives】
German course for the intermediate levels, exclusively for Participants/students who completed German 1 and German 2 in the ILAC Program/Hosei University (nearly A1. completed). This course introduces elementary Grammar and vocabulary with reading Text in German. The aim of this course is to get basic knowledge of the German language, especially ability of reading and comprehension for general topics to talk about. Participants/Students are also expected to inform themselves about the culture, history and society of German speaking world.

LANd200LA

ドイツ語（3）Ⅰ

2017 年度以降入学者

上田　知夫

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**水** 1/Wed.1
単位数：**1 単位**
法 2 年 Y

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
テキストの把握のためのドイツ語運用能力およびテキストの読解を通じてドイツ語圏の文化および現代的諸問題を知る。

【到達目標】
・ドイツ語で書かれたテキストを正確に分析し、理解する
・現代のドイツ語圏の社会情勢についての基礎的理解を得る
・ドイツ語文法を復習する

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科： DP1

【授業の進め方と方法】
講義形式で行います。授業内で、個々の文章の解釈や文法解説を求めます。
毎回授業ノートや文法問題の解答結果を学習支援システムを通じて提出していただきます。提出していただいたノートや文法問題の解答については、全体の傾向をまとめた上で授業内でフィードバックします。
なお読むテキストについては柔軟にセクションを選択することも考えています。
大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンラインで行います。詳細は学習支援システムで伝達します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	第 1 課「地理と気候」文法	文法復習およびテキスト講読
第 2 回	第 1 課「地理と気候」講読	テキスト講読
第 3 回	第 1 課「地理と気候」購読および正誤問題	テキスト講読および練習問題
第 4 回	第 2 課「食生活」講読	テキスト講読
第 5 回	第 2 課「食生活」購読および正誤問題	テキスト購読および練習問題
第 6 回	第 3 課「ドイツ語という言語」文法と講読	文法解説およびテキスト講読
第 7 回	第 3 課「ドイツ語という言語」講読および正誤問題	テキスト購読および練習問題
第 8 回	第 4 課「ドイツの大学」文法解説および講読	文法解説およびテキスト講読
第 9 回	第 4 課「ドイツの大学」購読	テキスト購読
第 10 回	第 4 課「ドイツの大学」購読および正誤問題	テキスト講読および練習問題
第 11 回	第 5 課「祝日と休暇」文法解説および購読	文法解説およびテキスト購読
第 12 回	第 5 課「祝日と休暇」購読	テキスト講読
第 13 回	第 5 課「祝日と休暇」購読および正誤問題	テキスト購読および練習問題
第 14 回	確認テストとまとめ	確認テストおよび解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。本授業は扱うテキストの予習を中心に学習してください。予習を前提して授業を進めます（予習を評価の一部にします）。

【テキスト（教科書）】
Siegfried Kohlhammer、斎藤太郎
『知りたいドイツ語～読みながらステップアップ～』
（朝日出版社、2018 年）

【参考書】
ドイツ語の文法の授業で使った教科書および独和辞典を 1 冊持ってきてください。
独和辞典を所有していない方は、
『アクセス独和辞典』（三修社）
『大独和辞典』（小学館）
などを入手してください。
文法書を所有していない人は、
中島他『必携ドイツ語文法総まとめ』（白水社）
などを持参してください。
その他は、授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】
成績は、
予習の出来具合： 10%
毎週の課題の提出： 40%
期末試験： 50%
の割合でつけます。

【学生の意見等からの気づき】
文章を完全に理解することに重点を置き、スピードはある程度犠牲にする覚悟をしています。その分、精確に文章を読もうとする意欲を求めます。

【学生が準備すべき機器他】
ノートパソコン、スマートフォン、タブレットなど、インターネット通信環境のある機器があれば持参のこと（なおオンライン授業になる可能性がありますので、Zoom のインストールをお願いします）。

【Outline and objectives】
In this lecture, students will achieve three things:
1. they can refresh the knowledge of basic German grammar.
2. they will acquire the analytical skill for reading texts written in German.
3. they will understand some of the current social issues in the German-speaking region.

LANd200LA

ドイツ語（3）Ⅱ

2017 年度以降入学者

上田　知夫

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 1/Wed.1
単位数：**1 単位**
法 2 年 Y

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
テキストの把握のためのドイツ語運用能力およびテキストの読解を通じてドイツ語圏の文化および現代的諸問題を知る。

【到達目標】
・ドイツ語で書かれたテキストを正確に分析し、理解する
・現代のドイツ語圏の社会情勢についての基礎的理解を得る
・ドイツ語文法を復習する

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科： DP1

【授業の進め方と方法】
講義形式で行います。授業内で、個々の文章の解釈や文法解説を求めます。
毎回授業ノートや文法問題の解答結果を学習支援システムを通じて提出していただきます。提出していただいたノートや文法問題の解答については、全体の傾向をまとめた上で授業内でフィードバックします。
なお読むテキストについては柔軟にセクションを選択することも考えています。
大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンラインで行います。詳細は学習支援システムで伝達します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	第 8 課「政治制度」文法解説および講読	文法解説およびテキスト講読
第 2 回	第 8 課「政治制度」購読	テキスト購読
第 3 回	第 8 課「政治制度」購読および正誤問題	テキスト講読および練習問題
第 4 回	第 9 課「ドイツの歴史概観」文法解説および購読	文法解説およびテキスト購読
第 5 回	第 10 課「音楽の国ドイツ」講読	テキスト講読
第 6 回	第 10 課「音楽の国ドイツ」講読および正誤問題	テキスト購読および練習問題
第 7 回	第 11 課「ドイツの宗教事情」文法解説および講読	文法解説およびテキスト講読
第 8 回	第 11 課「ドイツの宗教事情」講読および正誤問題	テキスト購読および練習問題
第 9 回	第 12 課「二つのドイツ」文法解説および講読	文法解説およびテキスト講読
第 10 回	第 12 課「二つのドイツ」購読	テキスト購読
第 11 回	第 12 課「二つのドイツ」購読および正誤問題	テキスト講読および練習問題
第 12 回	第 13 課「EU とドイツ」文法解説および購読	文法解説およびテキスト購読
第 13 回	第 13 課「EU とドイツ」購読および正誤問題	テキスト講読および練習問題
第 14 回	期末試験およびまとめ	確認テストと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。本授業は扱うテキストの予習を中心に学習してください。予習を前提して授業を進めます（予習を評価の一部にします）。

【テキスト（教科書）】
Siegfried Kohlhammer、斎藤太郎
『知りたいドイツ語～読みながらステップアップ～』
（朝日出版社、2018 年）

【参考書】
ドイツ語の文法の授業で使った教科書および独和辞典を 1 冊持ってきてください。
独和辞典を所有していない方は、
『アクセス独和辞典』（三修社）
『大独和辞典』（小学館）
などを入手してください。
文法書を所有していない人は、
中島他『必携ドイツ語文法総まとめ』（白水社）
などを持参してください。
その他は、授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】
成績は、
予習の出来具合: 10%
毎週の課題の提出: 40%
期末試験: 50%
の割合でつけます。

【学生の意見等からの気づき】
文章を完全に理解することに重点を置き、スピードはある程度犠牲にする覚悟をしています。その分、精確に文章を読もうとする意欲を求めます。

【学生が準備すべき機器他】
ノートパソコン、スマートフォン、タブレットなど、インターネット通信環境のある機器があれば持参のこと（なおオンライン授業になる可能性がありますので、Zoom のインストールをお願いします）。

【その他の重要事項】
春学期・秋学期合わせて履修することを前提します。

【Outline and objectives】
In this lecture, students will achieve three things:
1. they can refresh the knowledge of basic German grammar.
2. they will acquire the analytical skill for reading texts written in German.
3. they will understand some of the current social issues in the German-speaking region.

LANd200LA

ドイツ語７

2017 年度以降入学者

林　志津江

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 1/Thu.1
単位数：**1 単位**
国 2 年 SA

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
前年度の「ドイツ語１」「ドイツ語３」の後続授業という位置付けです。SA ドイツ語圏での留学に対する事前準備として、ドイツ語とドイツ語圏の多様性に触れながら、ドイツ語圏の滞在に必要なドイツ語運用能力の獲得とさらなる向上を目指します。

【到達目標】
第一の目標は、ドイツ語の文章を文法に即し分析的に読む能力の向上です。これが一定のレベルに達しないうちは SA 先大学のドイツ語での授業についていけず、楽しいはずの日常も苦痛となってしまうかもしれません。
第二の目標は、大学生の知的な会話にふさわしい、抽象的なトピックに関する語彙を増やし、話題にふさわしいコメントをドイツ語で発する能力の獲得です。
第三の目標は、地域ごと異なる社会制度や文化慣習を、言語の特性と関連づけて理解できる能力の獲得です。リューネブルクとそれにまつわるの文化や社会に関する言説を知的に理解し楽しめれば、SA はより充実した体験になるはずだからです。
以上を通じて、留学地での生活に適応するために必要な能力と心構えをしっかり身につけます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
ドイツ語のテクスト読解と、そのテクストに即した問いと答えをドイツ語で作文する作業を軸に進めます。並行して前年度「ドイツ語１」「ドイツ語３」で使用した教科書を用い、ドイツ語の初級文法の基礎固めを行います。初級文法の知識を固めドイツ語圏とヨーロッパについての知識を増やしながら、SA 先大学での授業の準備と積極的なドイツ語での発信を目指すとともに、活気ある授業とより良い理解にも配慮します。
・法政大学の 2021 年度授業方針に従い、「対面授業」で行います。ハイフレックス型（対面＋リアルタイム型オンライン授業）となる可能性も高いです。
・Hoppii のほか、Zoom と Google Classroom をツールとして使用します。
・授業内で行われたアウトプットに対しては授業の場でコメントします。提出物のフィードバックは適宜全体と各自に向けて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業全般について、１年次の復習をまじえ教科書と既習事項の確認
2	一緒に出かけよう（復習１）	話法の助動詞と分離動詞：枠構造、時刻・天候の表現、現在完了：過去の自分の行動を説明する
3	自分の毎日・一日の行動（復習２）	再帰動詞と再帰表現、受動態を使った方が適切な場合：身体に関わる表現、お付き合いの仕方
4	補足１：話法の助動詞の補足・知覚動詞・不定詞と不定詞句	話法の助動詞に準じる動詞、「動詞を名詞に変えて使う」利点
5	もうすぐクリスマス（アドヴェント）	（文法の補足）定関係代名詞（１）：複文を徹底的に理解する
6	もうすぐクリスマス（クリスマスマーケット）	（文法の補足）定関係代名詞（２）及び関係副詞：複文を理解する、名詞、動詞及び副詞を区別し作文する
7	教会と信仰１ — クリスマスを祝う	（文法の補足）接続法（１）：法（Mode）の考え方、直説法・命令法・接続法の違い、接続法第 II 式の用法
8	教会と信仰２ — さまざまな風習	（文法の補足）接続法（２）：接続法第 II 式の用法、「引用する」とはそもそもどういう現象なのか
9	「ドイツ語」という言葉	ドイツ語を話す地域・様々な方言と多様な表現、「ドイツ語」の成立の背景にあったもの
10	教育と学校制度	義務教育で身に付けるもの、「自分で選択する」という自覚
11	"Bildung"という価値	大学あるいは職業教育という選択、大学は何のため？
12	働き方と住み方	働くのは何のため？ 人間関係と住まいの関係、くつろいだ気持ちを表すドイツ語
13	余暇と休暇（長期休暇・有給休暇）	自由な時間を謳歌する権利、有給休暇を消化する義務
14	まとめ	学期末最終試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。毎授業ごと、予習・復習の課題を出します。ドイツ語の文・テクストはどれも必ず音読をし、授業外でも積極的にドイツ語に触れられるようチャレンジして下さい。

【テキスト（教科書）】
"Dreimal Deutsch”（Klett, 2000/2005/2009）
立教大学ドイツ語教育研究室編『シュトラーセ・ノイ・Ver3.』（朝日出版社、2017 年）

【参考書】
中島悠爾ほか著『必携ドイツ文法総まとめ』（白水社、2003 年）
清野智昭『ドイツ語のしくみ＜新版＞』（白水社、2014 年）

【成績評価の方法と基準】
授業への積極的な参加 35 %（外部試験の受験結果含）、課題 30 %、学期末試験 35 %を合わせ、総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】
学生からは逐次ヒアリングを行い、相互の意志の疎通につとめます。

【学生が準備すべき機器他】
・独和辞典は必携です。紙媒体の辞書（特に自宅での学習で）を強く薦めます。
・ハイフレックス型の授業となる可能性が高いです。WiFi が利用可能なデジタルガジェット（スマートフォン、タブレット、PC のどれか）とイヤホン（マイク付きヘッドセット）を用意してください。

【その他の重要事項】
・授業の順序や内容の一部は変更されることがあります。
・受講者には「ドイツ語技能検定試験（公益財団法人ドイツ語学文学振興会主催）」や「ドイツ政府公認ドイツ語能力検定試験（Goethe Zertifikat）」あるいは「オーストリア政府公認ドイツ語能力検定試験（ÖSD）」の受験を強く推奨します。特に「ドイツ語技能検定試験」の３級には積極的にチャレンジしてください。Goethe Zertifikat については割引料金適応が適用されるので、受験希望者はぜひ担当者に知らせて下さい。受験結果は上記「成績評価の方法と基準」のうち「授業への積極的な参加（35 %）」に加算されます（2021 年 7 月 20 日までに担当者に通知されたものに限る）。

【Outline and objectives】
German course for the intermediate levels (nearly A1. completed), exclusively for Participants of SA-Program in Germany (Leuphana Universtät-Lüneburg) in the next semester (2019WS) held by the faculty of Intercultural Communication/Hosei University. This course introduces elementary Grammar and vocabulary with reading Text in German. The aim of this course is to get basic knowledge of the German language and german speaking world, especially ability of reading and composition for general topics to talk about.

LANd200LA

ドイツ語８

2017 年度以降入学者

熊田　泰章

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火** 2/Tue.2
単位数：**1 単位**
国 2 年 SA

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
留学レベルのドイツ語を習得する。
留学において、授業を十分に理解し、留学生活を支障なく過ごすことができるように、ドイツ語運用能力を高める。

【到達目標】
留学に際し、十分な成果を修めることができるようにするために不可欠なドイツ語運用能力を獲得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
＊ 2021 年度は、大学の授業実施方針により、この授業は原則として教室での対面＊授業とします。変更がある場合は、学習支援システムでお知らせします。
留学に備えて、授業と生活に即したドイツ語運用の練習を行なう。
留学に対応する教材を用い、語彙力、受話能力、発話能力を鍛錬する練習を行う。
毎回小テストと課題提出を行なう。
学習支援システムで提出された課題について、次回の授業でフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	留学で学ぶこと；授業と生活
2	ドイツ語圏の現在	データなどを用いて整理する
3	ドイツ語圏の特徴	ドイツ語圏の様々な特徴を知る
4	ドイツ語圏の歴史	歴史を深く学ぶ
5	ドイツ語圏と EU	EU の関係を知る
6	ドイツ語圏の都市	様々な都市を知る
7	ドイツ語圏の世界文化遺産	世界文化遺産を知る
8	ドイツ語圏の大学	大学を知る
9	ドイツ語圏の四季	四季を知る
10	ドイツ語圏の祝祭	祝祭を知る
11	ドイツ語圏と日本の対比	違いと同じを知る
12	日本	日本について深く知り、説明できるようにする
13	ドイツ語圏と多文化共生	多文化共生について深く知る
14	これまでのまとめ	これまでに学んだことを整理する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
次回授業で使用する文献を用いて予習する。
復習として、授業内容を整理し、知識と語彙を確かにする。
宿題とする配布物を読み、内容を整理し、指定された課題に答える。
本授業の準備・復習時間は、各 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
ドイツ語圏に関する資料を用いて必要なマテリアルを作成し、学習支援システムで配布する。

【参考書】
熊田泰章編『国際文化研究への道－連帯と共生を求めて－』彩流社、2013 年

【成績評価の方法と基準】
毎回の授業内での課題と期末試験によって評価する。
留学生活に必要な文化背景を理解する知識力と理解力、実践的なドイツ語の会話力・文法力・語彙力を獲得することがポイントである。
毎回の課題 50 %・期末試験 50 %。
この成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標の 60%以上を達成した者を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】
受講者が積極的に発言する授業とするように努めています。

【学生が準備すべき機器他】
学習支援システムで教材提示と課題提出を行う。
履修者は、オンライン授業に備えて、オンラインやハイフレックス型授業に必要な機器（Zoom で接続可能なデバイス）を用意しておいてください。

【その他の重要事項】
＊大学の授業実施方針に則り、この授業は、原則として、教室での対面授業を行い＊ます。ただし、方針の変更次第で、オンライン対応となることもありえます。

【Outline and objectives】
Students learn German at the study abroad level.
In studying abroad, they improve German proficiency so that they can fully understand the lessons and spend their study abroad life without any problems.

LANd200LA

ドイツ語３- Ⅰ

2017 年度以降入学者

平松　英人

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
環 2 年 A～F

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ドイツ語初級文法を一通り終えた学生が対象となる。基本文法と基礎的な語彙を復習しながら、新たな文法規則や語彙を習得する。さらにドイツ語を読み、理解するだけでなく、ドイツ語を聞く、話す力を含む基礎的なコミュニケーション能力を身につけ、独検にも対応できるドイツ語能力を得ることが目標となる。

【到達目標】
1 年間の授業を通じて初級文法を復習しつつ、文法規則に関する習熟度や語彙力を発展させながら、場面や状況に即した基本的なドイツ語コミュニケーション能力を養う。ドイツ語技能検定試験（独検）3 級に合格できる語学力を身につけることが、この授業の到達目標である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
※春学期の最初の 2 回、第 7 回目、最後の 2 回は対面での開講、それ以外はオンラインでの開講を原則とする。
授業は演習形式で行う。使用する教科書は 12 課からなり、各課とも導入、会話、聞き取り、読解、文法問題、発音から構成されている。語彙や文法の説明をしながら、練習問題に取り組み、ドイツ語文章の読解や会話の練習を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Lektion 1 Ich hatte Fieber 1	イントロダクション 過去形①
2	Lektion 1 Ich hatte Fieber 2	名詞の 2 格と 2 格支配の前置詞
3	Lektion 2 Welcher Anzug gefällt Ihnen? 1	定冠詞類 副詞的 4 格
4	Lektion 2 Welcher Anzug gefällt Ihnen? 2	使役動詞 知覚動詞
5	Lektion 3 Früher gab es hier eine Apotheke 1	過去形②
6	Lektion 3 Früher gab es hier eine Apotheke 2	zu 不定詞 um zu, statt zu, ohne zu 不定詞（句）
7	Lektion 4 Gestern habe ich ferngesehen 1	確認テスト 方向・場所を表す前置詞
8	Lektion 4 Gestern habe ich ferngesehen 2	現在完了形
9	Lektion 5 Ich wasche mir die Hände 1	再帰代名詞

10	Lektion 5 Ich wasche mir die Hände 2	再帰動詞
11	Lektion 6 Könnten Sie mir helfen? 1	命令形 接続法 2 式
12	Lektion 6 Könnten Sie mir helfen? 2	複合名詞
13	まとめと補足	春学期のまとめと補足
14	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
与えられた課題に取り組んだ上で授業にのぞむこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
新倉真矢子・正木晶子・中野有希子『シュピッツェ！ 2　コミュニケーションで学ぶドイツ語』（朝日出版社）ISBN978-4-255-25439-5 ￥2,700 ＋税

【参考書】
必要に応じて指示する。

【成績評価の方法と基準】
中間の確認テストと期末テストの得点を 60 %、平常点を 40 %の合計点で評価する。平常点は、会話文や読章の和訳、練習問題に的確に解答あるいは提出すること。提出された課題は次の授業の冒頭で解説し、間違いやすいポイントや発展的な内容について説明を加える。

【学生の意見等からの気づき】
授業の進度については、学生たちの理解度に応じて、柔軟に対応する。

【学生が準備すべき機器他】
オンライン授業では Zoom を利用するので、接続可能なデバイス（パソコンを推奨）を用意すること。

【Outline and objectives】
In this course, we use a textbook for advanced learners and aim to acquire the ability to read, write, listen and speak German. In addition, we cultivate a view of intercultural understanding through a comparison of German and other languages.

LANd200LA

ドイツ語３-Ⅱ

2017 年度以降入学者

平松　英人

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
環 2 年 A～F

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ドイツ語初級文法を一通り終えた学生が対象となる。基本文法と基礎的な語彙を復習しながら、新たな文法規則や語彙を習得する。さらにドイツ語を読み、理解するだけでなく、ドイツ語を聞く、話す力を含む基礎的なコミュニケーション能力を身につけ、独検にも対応できるドイツ語能力を得ることが目標となる。

【到達目標】
1 年間の授業を通じて初級文法を復習しつつ、文法規則に関する習熟度や語彙力を発展させながら、場面や状況に即した基本的なドイツ語コミュニケーション能力を養う。ドイツ語技能検定試験（独検）3 級に合格できる語学力を身につけることが、この授業の到達目標である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
※秋学期の最初の 2 回、第 7 回目、最後の 2 回は対面での開講、それ以外はオンラインでの開講を原則とする。
授業は演習形式で行う。使用する教科書は 12 課からなり、各課とも文法、練習問題、会話文、読章から構成されている。文法の説明をしながら、練習問題に取り組み、文法事項を習得した上で、会話文や読章を読む。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Lektion 7 Ich lerne Fremdsprachen, weil ich eine Weltreise machen möchte 1	従属の接続詞と副文①
2	Lektion 7 Ich lerne Fremdsprachen, weil ich eine Weltreise machen möchte 2	従属の接続詞と副文②
3	Lektion 8 Ich schencke ihr einen roten Rock 1	形容詞
4	Lektion 8 Ich schencke ihr einen roten Rock 2	序数
5	Lektion 9 Welcher Koffer ist schwerer? 1	比較級
6	Lektion 9 Welcher Koffer ist schwerer? 2	最上級

7	Lektion 10 Wer ist der junge Mann, der Kaffee trinkt? 1	確認テスト 関係代名詞①
8	Lektion 10 Wer ist der junge Mann, der Kaffee trinkt? 2	関係代名詞②
9	Lektion 11 Ein Roman wird von ihm geschrieben 1	受動態
10	Lektion 11 Ein Roman wird von ihm geschrieben 2	分詞
11	Lektion 12 Wenn das Wetter schön wäre, könnten wir einen Spaziergang machen 1	接続法 2 式
12	Lektion 12 Wenn das Wetter schön wäre, könnten wir einen Spaziergang machen 2	接続法 1 式
13	まとめと補足	まとめと補足
14	期末テスト	期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
与えられた課題に取り組んだ上で授業にのぞむこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
新倉真矢子・正木晶子・中野有希子『シュビッツェ！ 2　コミュニケーションで学ぶドイツ語』（朝日出版社）ISBN978-4-255-25439-5 ￥2,700 ＋税

【参考書】
必要に応じて指示する。

【成績評価の方法と基準】
中間の確認テストと期末テストの得点を 60 %、平常点を 40 %の合計点で評価する。平常点は、会話文や読章の和訳、練習問題に的確に解答あるいは提出すること。提出された課題は次の授業の冒頭で解説し、間違いやすいポイントや発展的な内容について説明を加える。

【学生の意見等からの気づき】
授業の進度については、学生たちの理解度に応じて、柔軟に対応する。

【学生が準備すべき機器他】
オンライン授業では Zoom を利用するので、接続可能なデバイス（パソコンを推奨）を用意すること。

【Outline and objectives】
In this course, we use a textbook for advanced learners and aim to acquire the ability to read, write, listen and speak German. In addition, we cultivate a view of intercultural understanding through a comparison of German and other languages.

LANd200LA

ドイツ語３- I

2017 年度以降入学者

辻　英史

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**火** 2/Tue.2
単位数：1 **単位**
環 2 年 G～L

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ドイツ語の発展練習をします。

【到達目標】
この授業では、1 年間初級文法を学んできた人を対象に、さらに文法の知識や語彙の力を強化して、そこそこ難しいドイツ語の文章を読んだり聞きとったりできるようになることを目標にします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
春学期は、文法の基礎事項を再確認しつつ、さらに高度な文法を学んでいきます。さらに応用練習として、ドイツ語圏やヨーロッパの社会やサステイナビリティに関連するテクストの読解と、音声や映像の教材を用いた発音・聞き取りの練習を平行しておこないます。
参加者は、必ず辞書を用意し、宿題・予習をして授業にのぞんで下さい。
宿題と小テスト（毎回実施）については、授業内および学習支援システムを用いてフィードバックをおこないます。そのほか確認テストと期末テストをおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	導入・第 1 回確認テスト	1 年次に学習した文法事項の確認テスト。
第 2 回	名詞と代名詞	基礎の文法の確認と発展。基本動詞・冠詞類・名詞について。
第 3 回	応用練習 1	テクスト読解をおこないます。
第 4 回	応用練習 2	テクスト読解、および音声・映像教材を使用します。
第 5 回	過去形と現在完了形	動詞の時制の確認をします。
第 6 回	応用練習 3	テクスト読解をおこないます。
第 7 回	応用練習 4	テクスト読解、および音声・映像教材を使用します。
第 8 回	第 2 回確認テスト	第 2～第 7 回の内容をテストします。
第 9 回	動詞のいろいろ	分離動詞・助動詞・再帰動詞について。
第 10 回	応用練習 5	テクスト読解をおこないます。
第 11 回	応用演習 6	テクスト読解、および音声・映像教材を使用します。
第 12 回	形容詞と分詞	形容詞・分詞とその名詞化、冠飾句について。
第 13 回	応用練習 7	テクスト読解、および音声・映像教材を使用します。
第 14 回	期末テスト	テストをおこないます。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回宿題を出します。また授業の最初に出席を取る際に小テストとして前回の内容をチェックする問題を出題します。予習復習に必要な時間は毎回 1 時間を目安とします。

【テキスト（教科書）】
プリントを配布します。

【参考書】
書名：『必携ドイツ文法総まとめ (改訂版)』
著者：中島悠爾／平尾浩三／朝倉巧共著
出版社：白水社
ISBN ： 978-4-560-00492-0
必ずしも購入の必要はありませんが、自宅学習の際などに持っていると便利です。
必要に応じてプリントを配布します。

【成績評価の方法と基準】
授業への参加 (30%)、確認テスト (30%)、期末テスト (40%)

【学生の意見等からの気づき】
外国語を学ぶことは、コミュニケーションの手段や技術を習得するだけではなく、それを通じて自分たちとは違う文化や社会について知り、それを理解する能力を身につけることです。
たしかに、大学で学んだからといって将来ドイツ語を使う職業に就くとは限りませんし、授業だけの学習量ではドイツ語が自由自在に操れるようにはなりません。
しかし、この授業に参加する皆さんは、ドイツ語の授業を通じて、今まで知らなかった新鮮で奥の深い世界がそこに広がっていることを知るでしょう。その世界をどのくらい知ろうとするかは皆さん次第です。ドイツ語は、他者理解・異文化理解へとつながる窓口なのです。

【学生が準備すべき機器他】
状況によりオンライン授業を実施します。自宅で Zoom に接続して授業を受けることができる環境を準備してください。教室で授業をする場合も、発音・会話や聞き取りの練習のために Zoom に接続してもらうことがあります。そのときはノート PC やタブレットを大学に持ってきてください。

【その他の重要事項】
独和辞書を必ず用意し、毎回持ってくること。

【Outline and objectives】
German Course for Students from A2 Level

LANd200LA

ドイツ語３-Ⅱ

2017 年度以降入学者

辻　英史

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**火** 2/Tue.2
単位数：**1 単位**
環 2 年 G～L

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ドイツ語の発展練習をします。

【到達目標】
この授業では、すでに 1 年間初級文法を学んできた人を対象に、さらに文法の知識や語彙の力を強化して、そこそこ難しいドイツ語の文章を読んだり書いたりできるようになることを目標にします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
秋学期では、より高度な文法事項をとりあげ、短い作文を作ることでそのニュアンスや使い方を練習します。さらに応用練習として、ドイツ語圏やヨーロッパの社会や環境問題に関連するドイツ語のテクストの読解と、音声や映像の教材を用いた会話の練習を平行しておこないます。
参加者は、必ず辞書を用意し、宿題・予習をして出席して下さい。
宿題と小テスト（毎回実施）については、授業内および学習支援システムを用いてフィードバックをおこないます。そのほか確認テストと期末テストをおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	導入・復習、第 1 回確認テスト	春学期の内容についての復習と内容確認。
第 2 回	関係代名詞について	関係代名詞とその用例について。
第 3 回	応用練習 1	テクスト読解および音声・映像教材を使用します。
第 4 回	応用練習 2	テクスト読解および音声・映像教材を使用します。
第 5 回	受動について	受動、自動詞の受動、状態受動文など。
第 6 回	応用練習 3	テクスト読解および音声・映像教材を使用します。
第 7 回	応用練習 4	テクスト読解および音声・映像教材を使用します。
第 8 回	第 2 回確認テスト	第 2～第 7 回の内容を確認します。
第 9 回	接続法 1	非現実話法と外交的接続法。
第 10 回	接続法 2	要求話法と間接話法。
第 11 回	応用練習 5	テクスト読解および音声・映像教材を使用します。
第 12 回	機能動詞	さまざまな機能動詞を用いた熟語について。
第 13 回	応用練習 6	テクスト読解および音声・映像教材を使用します。
第 14 回	期末テスト	テストをおこないます。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回宿題を出します。また授業の最初に出席を取る際に小テストとして前回の内容をチェックする問題を出題します。予習復習に必要な時間は毎回 1 時間を目安とします。

【テキスト（教科書）】
プリントを配布します。

【参考書】
書名：『必携ドイツ文法総まとめ (改訂版)』
著者：中島悠爾／平尾浩三／朝倉巧共著
出版社：白水社
ISBN ： 978-4-560-00492-0
必ずしも購入の必要はありませんが、自宅学習の際などに持っていると便利です。
必要に応じてプリントを配布します。

【成績評価の方法と基準】
授業への参加 (30%)、確認テスト (30%)、期末テスト (40%)

【学生の意見等からの気づき】
外国語を学ぶことは、コミュニケーションの手段や技術を習得するだけではなく、それを通じて自分たちとは違う文化や社会について知り、それを理解する能力を身につけることです。
たしかに、大学で学んだからといって将来ドイツ語を使う職業に就くとは限りませんし、授業だけの学習量ではドイツ語が自由自在に操れるようにはなりません。
しかし、この授業に参加する皆さんは、ドイツ語の授業を通じて、今まで知らなかった新鮮で奥の深い世界がそこに広がっていることを知るでしょう。その世界をどのくらい知ろうとするかは皆さん次第です。ドイツ語は、他者理解・異文化理解へとつながる窓口なのです

【学生が準備すべき機器他】
状況によりオンライン授業を実施します。自宅で Zoom に接続して授業を受けることができる環境を準備してください。教室で授業をする場合も、発音・会話や聞き取りの練習のために Zoom に接続してもらうことがあります。そのときはノート PC やタブレットを大学に持ってきてください。

【その他の重要事項】
独和辞書を必ず用意し、毎回持ってくること。

【Outline and objectives】
German Course for Students from A2 Level

LANd200LA

ドイツ語コミュニケーションⅠ　2017 年度以降入学者

JENS OSTWALD

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 3/Wed.3
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 2 年～※定員制

他学部公開：○　**グローバル：**　**成績優秀：**○　**実務教員：**

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身に付け、さらに語彙を拡大する。単語や文法の説明は基本的に日本語で行います。

【到達目標】
ドイツ語の基礎的知識を習得することを目的とする。同時に、既存のイメージに対し新しい視点からドイツ事情を学び、異文化理解力と実用的なドイツ語を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
さまざまなシチュエーションを想定した対話やテキストを題材に、基礎的な語彙・文法をわかりやすく説明する。
課題等の提出・フィードバックは授業内あるいは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
①	オリエンテーション 自己紹介 (簡単な表現・会話)	Einführung Zur Person (einfache Redemittel, Übungen)
②	自己紹介 (ほかの表現・練習)	Zur Person (weitere Redemittel, Übungen)
③	趣味 (簡単な表現・会話)	Hobbys (einfache Redemittel, Übungen)
④	趣味 (ほかの表現・練習)	Hobbys (weitere Redemittel, Übungen)
⑤	家族	Familie
⑥	食べ物・飲み物 (簡単な表現・会話)	Essen & Trinken (einfache Redemittel, Übungen)
⑦	食べ物・飲み物 (ほかの表現・練習)	Essen & Trinken (weitere Redemittel, Übungen)
⑧	総復習	Wiederholung (Wortschatz, Grammatik, Redemittel)
⑨	住居	Wohnung
⑩	時刻と日付 (簡単な表現・会話)	Uhrzeit und Datum (einfache Redemittel, Übungen)
⑪	時刻と日付 (ほかの表現・練習)	Uhrzeit und Datum (weitere Redemittel, Übungen)
⑫	文法のまとめ・補足	Grammatik: Zusammenfassung und Ergänzungen
⑬	練習	Übungen zur Wiederholung

⑭	全体のまとめとテスト	Zusammenfassung Test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
復習・宿題。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
配布資料

【参考書】
独和辞典（詳細は一回目の授業時に話します）

【成績評価の方法と基準】
テスト　５０％
平常点　５０％

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【学生が準備すべき機器他】
オンライン授業に転換になる場合には Zoom で接続可能な機器が必要です。

【Outline and objectives】
German language course;
basic grammar and syntax, speech patterns and expressions for daily life;
introduction to German culture.

LANd200LA

ドイツ語コミュニケーションⅡ　2017 年度以降入学者

JENS OSTWALD

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 3/Wed.3
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 2 年～※定員制

他学部公開：○　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期に引き続き、この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力（聞く、話す、読む、書く）を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身に付け、さらに語彙を拡大する。
単語や文法の説明は基本的に日本語で行います。

【到達目標】
ドイツ語の基礎的知識を習得することを目的とする。同時に、既存のイメージに対し新しい視点からドイツ事情を学び、異文化理解力と実用的なドイツ語を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
さまざまなシチュエーションを想定した対話やテキストを題材に、基礎的な語彙・文法をわかりやすく説明する。
課題等の提出・フィードバックは授業内あるいは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
①	オリエンテーション	Einführung
②	春学期の復習	Wiederholung
③	旅行のためのドイツ語 1 道を尋ねる (簡単な表現)	Reisedeutsch (Wegbeschreibung - einfache Redemittel)
④	旅行のためのドイツ語 2 道を尋ねる (ほかの表現・会話の練習)	Reisedeutsch (Wegbeschreibung - weitere Redemittel, Übungen)
⑤	旅行のためのドイツ語 3 ホテルで (簡単な表現)	Reisedeutsch (Im Hotel - einfache Redemittel)
⑥	旅行のためのドイツ語 4 ホテルで (ほかの表現・会話の練習)	Reisedeutsch (Im Hotel - weitere Redemittel, Übungen)
⑦	旅行のためのドイツ語 5 レストランで (簡単な表現)	Reisedeutsch (Im Restaurant - einfache Redemittel)

⑧	旅行のためのドイツ語６ レストランで (ほかの表現・会話の練習)	Reisedeutsch (Im Restaurant - weitere Redemittel, Übungen)
⑨	旅行のためのドイツ語７ 駅にて (簡単な表現)	Reisedeutsch (Verkehr - einfache Redemittel)
⑩	旅行のためのドイツ語８ 駅にて (ほかの表現・会話の練習)	Reisedeutsch (Verkehr - weitere Redemittel, Übungen)
⑪	旅行のためのドイツ語９	Reisedeutsch (Reiseziele)
⑫	文法のまとめ・補足	Grammatik: Zusammenfassung und Ergänzungen
⑬	復習	Übungen zur Wiederholung
⑭	全体のまとめとテスト	Zusammenfassung Test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
復習・宿題。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて１時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
配布資料

【参考書】
独和辞典（詳細は一回目の授業時に話します）

【成績評価の方法と基準】
テスト　５０％
平常点　５０％

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【学生が準備すべき機器他】
オンライン授業に転換になる場合には Zoom で接続可能な機器が必要です。

【Outline and objectives】
German language course;
basic grammar and syntax, speech patterns and expressions for daily life;
introduction to German culture.

LANd200LA

ドイツ語表現法Ⅰ

2017 年度以降入学者

Schmidt　Ute

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**火** 2/Tue.2
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 2 年～※定員制

他学部公開：○　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ドイツ語を書いてみましょう：一言の文からまとまったテキストまで基礎文法を含むテキストを用い、授業を通じて「読む」「書く」「聞く」「話す」の四技能を総合的に体得することが目標ですが、書くことを重点的に練習します。身近なテーマや興味のある領域について、簡単な表現でまとまった内容を伝えることを習います。. 会話は苦手でも、ドイツ語で表現してみたいと思うなら是非トライしてみてください。ドイツ語圏の日常生活や文化に触れる機会も数多く設けたいと思います。

【到達目標】
受講者は以下のことができるようになります。
１）発音のルールを知って、初見の単語や文章も発音できる。
２）基本的な文法事項を習得する。
３）辞書を使い、初級のテキストが理解できる。
４）自分の経験や出来事を説明し、夢や希望、目標について述べることができる。
５）自己紹介をはじめ、実用的な手紙、メール、コメントなどを書ける。
６）想定された場面における基本的な口語表現が聞き取れる。
７）想定された場面における基本的な口語表現を用いて簡単な会話ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業ではドイツ語圏の日常と文化について、テキストを読み、書くために必要な単語を学び、自分のことを説明したり、コメントしたり、または日本の事情を紹介します。一人で書くこともありますが、パートナーと又はグループで力を合わせてテキストや物語を作成することもあります。
作文は必ず添削して返却されます。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1.	Erste Schritte: Persönliche Angaben machen Sich selbst vorstellen	自己紹介を書くⅠ 辞書の使い方Ⅰ
2.	Länder, Städte, Zahlen	自分の出身を紹介する 人を紹介する
3.	Meine Stadt beschreiben	方位と場所
4.	Mein Alltag	日常 時間を表す
5.	Tagesablauf	助動詞
6.	Hobby und Freizeit	分離動詞
7.	Freizeitangebote in der Stadt	場所と時間を表す

8.	Lieblingsdinge beschreiben	好きな「もの」を紹介する 冠詞と代名詞
9.	作文作成　2	発表
10.	Essen und Trinken	食生活についてと好み
11.	Im Restaurant	レストランのメニューと注文
12.	Süßigkeiten in Deutschland und Japan	日本のお菓子について書く
13.	Vor den Ferien I	不規則動詞 話法の助動詞
14.	Vor den Ferien　II	休暇中の予定

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備・復習時間は 1 時間を標準とします。
予習は特に必要ありませんが、授業で学習した内容の復習は必須です。特に単語は必ず覚えてください。宿題としては家で作文を書く、完成させる、修正することがあります。

【テキスト（教科書）】
初回授業で案内します。

【参考書】
『ドイツ語を書いてみよう！』清野智明
白水社
ISBN ： 9784560064177

【成績評価の方法と基準】
授業中の課題に取り組む態度（５０％）
提出してもらうドイツ語の作文（５０％）
を総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【学生が準備すべき機器他】
和独辞典が必要です。電子辞書可。
Zoom で接続可能なデバイス　（オンラインやハイフレックス型授業に転換になった場合）

【その他の重要事項】
「授業計画」は、授業の進度により変更する可能性があります。

【Outline and objectives】
In this course students will focus on writing short texts, beginning with a self-introduction, e-mails or essays on every-day life topics. We will use a beginner textbook including all four areas of language skills, so that students can review and practice basic grammar and vocabulary. They will also have a chance to learn about cultural life in German speaking countries.

LANd200LA

ドイツ語表現法Ⅱ

2017 年度以降入学者

Schmidt　Ute

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**火 2**/Tue.2
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 2 年～※定員制

他学部公開：○　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ドイツ語を書いてみましょう：一言の文からまとまったテキストまで基礎文法を含むテキストを用い、授業を通じて「読む」「書く」「聞く」「話す」の四技能を総合的に体得することが目標ですが、書くことを重点的に練習します。身近なテーマや興味のある領域について、簡単な表現でまとまった内容を伝えることを習います。. 会話は苦手でも、ドイツ語で表現してみたいと思うなら是非トライしてみてください。ドイツ語圏の日常生活や文化に触れる機会も数多く設けたいと思います。

【到達目標】
受講者は以下のことができるようになります。
１）発音のルールを知って、初見の単語や文章も発音できる。
２）基本的な文法事項を習得する。
３）辞書を使い、初級のテキストが理解できる。
４）自分の経験や出来事を説明し、夢や希望、目標について述べることができる。
５）自己紹介をはじめ、実用的な手紙、メール、コメントなどを書ける。
６）想定された場面における基本的な口語表現が聞き取れる。
７）想定された場面における基本的な口語表現を用いて簡単な会話ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業ではドイツ語圏の日常と文化について、テキストを読み、書くために必要な単語を学び、自分のことを説明したり、コメントしたり、または日本の事情を紹介します。一人で書くこともありますが、パートナーと又はグループで力を合わせてテキストや物語を作成することもあります。
作文は必ず添削して返却されます。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1.	Nach den Ferien	現在完了形
2.	Postkarte	Postkarte schreiben 手紙を書く
3.	Wohnen	前置詞
4.	Mein Traumhaus	住まいについて書く
5.	Wohnen in der Stadt oder auf dem Land？	理由を表す
6.	Jahreskalender Datum und Monate Feiertage	年間行事 招待状を書く
7.	Feste feiern	複文
8.	An der Universität	大学について書く
9.	Meine Universität 1	グループワーク： 大学紹介を書く

10.	Meine Universität 2	グループワーク発表
11.	Eine Reise planen	旅行計画
12.	Sehenswürdigkeiten vorstellen	観光名所の紹介文を書く
13.	Erlebnisse und Erfahrungen 1	過去形 私の人生
14.	Erlebnisse und Erfahrungen 2	プレゼンテーション発表

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備・復習時間は 1 時間を標準とします。
予習は特に必要ありませんが、授業で学習した内容の復習は必須です。特に単語は必ず覚えてください。宿題としては家で作文を書く、完成させる、修正することがあります。

【テキスト（教科書）】
初回授業で案内します。

【参考書】
『ドイツ語を書いてみよう！』清野智明
白水社
ISBN ： 9784560064177

【成績評価の方法と基準】
授業中の課題に取り組む態度（50%）
提出してもらうドイツ語の作文（50%）
を総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【学生が準備すべき機器他】
和独辞典が必要。電子辞書可。
Zoom で接続可能なデバイス　（オンラインやハイフレックス型授業に転換になった場合）

【その他の重要事項】
授業計画」は、授業の進度により変更する可能性があります。

【Outline and objectives】
In this class we will focus on writing short texts, beginning with a self-introduction, e-mails or essays on every-day life topics. We will use a beginner textbook including all four areas of language skills, so that students can review and practice basic grammar and vocabulary. They also have a chance to learn about cultural life in German speaking countries.

LANd200LA

ドイツ語視聴覚Ⅰ

2017 年度以降入学者

DIETMAR HEIDENREICH

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 2 年～※定員制

他学部公開：○　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
「ショートアニメで学ぶドイツ語」をテーマに、
この授業では、Youtube の無料学習チャンネルを使用し、自然なドイツ語を学び、異文化に対する姿勢や意識を高めることを目的とする。
＊＊＊オンライン・オンデマンド型での実施となりました。参照：【授業の進め方と方法】【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】【学生が準備すべき機器他】＊＊＊

【到達目標】
・楽しくドイツ語の読解力やリスニング力などを向上させる。
・ドイツの視聴覚文化に関わる基礎的な知識を修得する。
・海外のメディアを効果的に活用する力（メディア・リテラシー）を身につける。
・Web 上の教材を利用して独学できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
オンライン・オンデマンド (資料型) です。リアルタイム中継は実施しません。いつでもアクセス可能です。
基本的にアップロード動画を配信し、課題を出す。前回の授業で提出された課題からいくつか良い回答を取り上げ、課題に対する解説も行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の内容と進め方の説明
2	*Tina besucht mich*（1）	新しい住まいについてドイツ語学習（1）
3	*Tina besucht mich*（2）	新しい住まいについてドイツ語学習（2）
4	*Tina und Daniel*（1）	新しい仕事についてのドイツ語学習（1）
5	*Tina und Daniel*（2）	新しい仕事についてのドイツ語学習（2）
6	*Am Flughafen*（1）	旅についてのドイツ語学習（1）
7	*Am Flughafen*（2）	旅についてのドイツ語学習（2）
8	*Vorstellungsgespräch*（1）	面接についてのドイツ語学習（1）
9	*Vorstellungsgespräch*（2）	面接についてのドイツ語学習（2）
10	*Ich habe einen Herzinfarkt* ！（1）	体調不良についてのドイツ語学習（1）
11	*Ich habe einen Herzinfarkt* ！（2）	体調不良についてのドイツ語学習（2）
12	*Die Weisheiten des Lebens*（1）	ことわざについてのドイツ語学習（1）
13	*Die Weisheiten des Lebens*（2）	ことわざについてのドイツ語学習（2）
14	総復習	総復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
「本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準」〔文部科学省の大学設置基準によるデフォルト (初期) 設定〕とするが、教室での学びとは違い、自分のペースで何度でも繰り返し学習を進めることができるため、「アクティブ」な自学自習の意欲が要件です。

【テキスト（教科書）】
教科書は使わない。

【参考書】
独和辞書を持ってきて下さい。電子辞書も可。

【成績評価の方法と基準】
数回提出してもらう課題と、授業での練習問題に取り組む態度（平常点）を総合して評価する。
課題提出等：６０％
　　平常点：４０％

【学生の意見等からの気づき】
特になし。

【学生が準備すべき機器他】
学習支援システム「Hoppii」を介した方法のみで授業を行うため特殊な機材 (Zoom などで接続可能な機器）を用意する必要はありませんが、課題用紙を含めて教員から提示される文字資料は基本的に PDF ファイルになりますので、PDF フォームへの文字の入力方法などについてお持ちの PC を確認することを勧めます。

【Outline and objectives】
"German through short animation" as theme, the goal of this class is to use Youtube's free learning channel to learn natural German and at the same time to raise the attitude and awareness toward different cultures.

LANd200LA

ドイツ語視聴覚Ⅱ

2017 年度以降入学者

DIETMAR HEIDENREICH

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 2 年～※定員制

他学部公開：○　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
「ショートアニメで学ぶドイツ語」をテーマに、
この授業では、Youtube の無料学習チャンネルを使用し、自然なドイツ語を学び、異文化に対する姿勢や意識を高めることを目的とする。
＊＊＊オンライン・オンデマンド型での実施となりました。参照：【授業の進め方と方法】【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】【学生が準備すべき機器他】＊＊＊

【到達目標】
・楽しくドイツ語の読解力やリスニング力などを向上させる。
・ドイツの視聴覚文化に関わる基礎的な知識を修得する。
・海外のメディアを効果的に活用する力（メディア・リテラシー）を身につける。
・Web 上の教材を利用して独学できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
オンライン・オンデマンド (資料型) です。リアルタイム中継は実施しません。いつでもアクセス可能です。
基本的にアップロード動画を配信し、課題を出す。前回の授業で提出された課題からいくつか良い回答を取り上げ、課題に対する解説も行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の内容と進め方の説明
2	*Ich brauche ein Auto*（1）	車購入についてドイツ語学習（1）
3	*Ich brauche ein Auto*（2）	車購入についてドイツ語学習（2）
4	*Ein Tag im Leben eines Superhelden!*（1）	日程描写についてのドイツ語学習（1）
5	*Ein Tag im Leben eines Superhelden!*（2）	日程描写についてのドイツ語学習（2）
6	*Mein Auto wird gestohlen*（1）	車強盗についてのドイツ語学習（1）
7	*Mein Auto wird gestohlen*（2）	車強盗についてのドイツ語学習（2）
8	*Mein Mann hatte einen Unfall*（1）	家の事故ついてのドイツ語学習（1）
9	*Mein Mann hatte einen Unfall*（2）	家の事故についてのドイツ語学習（2）
10	*Im Ausländeramt*（1）	ビザ 延長についてのドイツ語学習（1）
11	*Im Ausländeramt*（2）	ビザ 延長についてのドイツ語学習（2）
12	*Sarah und Max feiern Sylvester*（1）	大晦日についてのドイツ語学習（1）

13	*Sarah und Max feiern Sylvester*（2）	大晦日についてのドイツ語学習（2）
14	総復習	総復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
「本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準」〔文部科学省の大学設置基準によるデフォルト (初期) 設定〕とするが、教室での学びとは違い、自分のペースで何度でも繰り返し学習を進めることができるため、「アクティブ」な自学自習の意欲が要件です。

【テキスト（教科書）】
教科書は使わない。

【参考書】
独和辞書を持ってきて下さい。電子辞書も可。

【成績評価の方法と基準】
数回提出してもらう課題と、授業での練習問題に取り組む態度（平常点）を総合して評価する。
課題提出等：６０％
　　平常点：４０％

【学生の意見等からの気づき】
特になし。

【学生が準備すべき機器他】
学習支援システム「Hoppii」を介した方法のみで授業を行うため特殊な機材 (Zoom などで接続可能な機器）を用意する必要はありませんが、課題用紙を含めて教員から提示される文字資料は基本的に PDF ファイルになりますので、PDF フォームへの文字の入力方法などについてお持ちの PC を確認することを勧めます。

【Outline and objectives】
"German through short animation" as theme, the goal of this class is to use Youtube's free learning channel to learn natural German and at the same time to raise the attitude and awareness toward different cultures.

LANd200LA

時事ドイツ語Ⅰ

2017 年度以降入学者

日中　鎮朗

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**木 3**/Thu.3
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 2 年～※定員制

他学部公開：○　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ドイツにおける時事的な出来事・事柄（2019/20）についてドイツ語で書かれた文章を読み、ドイツ語の文法的な知識を再確認するとともに、文章としてまとまったものを読む力を養成する。また同時に、こうした読解を通して、現在のドイツおよびヨーロッパについて政治、経済、スポーツ、芸術、社会などについての知識と理解を深めることを目的とします。

【到達目標】
時事的なドイツ語の文章の構成や書き方に慣れ、辞書を用いながら文章を読める力を養成することができます。
また、文法的には初級文法の知識を確実なものとすると同時に、さらに少し踏み込んだ文法内容も理解することができます。
それを通して、ドイツおよびヨーロッパの現在の状況についてトータルな知識を獲得することができます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
『時事ドイツ語 2021 年度版（Neuigkeiten aus Deutschland 2019/20）』（朝日出版社）を教材として用います。
テキストに沿って基本的な文法事項を確認し、語彙や構文の復習を行いながら、受講者の理解度を見ながら進めていきます。また時事的なドイツ語の文章に慣れ、読解力を養います。
毎回、あらかじめテキストの範囲と担当者を決め、次回に訳読してもらいます。
必要に応じて文法的な復習のためのプリントを配布したり、テキストに取り上げられている時事的な事柄と関連するものがあれば、ビデオやプリントなどを使用して知識を補い、拡充していきます。
また、適宜、確認小テストを行う。
課題、また確認小テストのフィードバックは次回の授業時にそのつど、解説を加えたフィードバックを行う。
訳読を行うにあたっては、精読（close reading)・解釈力の養成・文法的知識の向上が必要となる。
その十全な養成実施のために、またこの授業の定員を今年度の特別教室収容定員を考慮した数とします。
履修希望者が今年度の特別教室収容定員を考慮した数を超えた場合には、初回授業で学習支援システムでの仮登録者を対象に選抜を行います。履修希望する学生は必ず初回授業前までに仮登録をすること。仮登録をしていない学生は選抜対象になりません。授業初回時に抽選を行い、その結果を当日中に授業支援システム、Hoppii の「お知らせ」欄、また「授業内掲示板」を通して周知します。
第 1 回はオンラインで行う。Hoppii を見てください。
なお、オンライン授業を積極的に活用します。授業支援システム、Hoppii をよく見ること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション ドイツ分断	授業のねらいと進め方、学習の仕方についてのガイダンスをおこなう。 「ドイツ分断から統一へ」の訳読と文法事項の解説①
第 2 回	ドイツの統一	「ドイツ分断から統一へ」の訳読と文法事項の解説をおこなう②
第 3 回	時と場所を超えた音楽について	「時と場所を超えた音楽について」の訳読と文法事項の解説、練習問題をおこなう。①
第 4 回	ベートーヴェン生誕 250 年	「ベートーヴェン生誕 250 年」の訳読と文法事項の解説②
第 5 回	ドイツ人の姓について	「ドイツ人の姓」訳読と文法事項の解説をおこなう。①
第 6 回	familiennamen について	「Familiennamen」訳読と文法事項の解説、練習問題をおこなう。②
第 7 回	ドイツの宗教について	「ドイツの宗教」の読解と文法事項の解説をおこなう①
第 8 回	進む教会離れについて	「進む教会離れ」の読解と文法事項の解説をおこなう②
第 9 回	ドイツ語について	「ドイツ語について」の読解と文法事項の解説、練習問題をおこなう①
第 10 回	ドイツ語は危ういか、について	「ドイツ語は危ういか」の読解と文法事項の解説をおこなう②
第 11 回	スポーツについて	「スケートボード」の読解と文法事項の解説をおこなう①
第 12 回	スケボーは遊びかスポーツか	「スケボーは遊びかスポーツか」の読解と文法事項の解説、練習問題をおこなう②
第 13 回	全体的な振り返り	文法事項の確認と表現
第 14 回	試験・まとめと解説	これまでのまとめと振り返り、および試験ををおこなう

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。上記の授業の進め方を十分に遂行していくためには、毎回、予め指定した進む範囲について、各人が事前にテキストを読み、予習をおこなって授業にのぞむことが必要かつ重要です。知らない単語のチェック、調べ、またわからない構文についても授業中に質問し、自分の試訳と比較して知識を確実なものとすること（復習）です。テキストの内容に即したニュース解説などを読んでおくと内容の理解も多角的になり、深まります（予習・復習）。

【テキスト（教科書）】

A.Raab+石井寿子著『時事ドイツ語 2021 年度版（Neuigkeiten aus Deutschland 2019/20）』、朝日出版社。

【参考書】

参考書は特に必要ありませんが、独和辞典は必要です。また毎回、辞書を授業に持ってきてください。

【成績評価の方法と基準】

学期末に行う期末試験： 50 %
平常点（テキストの訳読・課題、確認小テストなど）： 50 %

【学生の意見等からの気づき】

丁寧な文法説明を望む学生、またその評価が多いので、文法事項をわかりやすく説明し、また同時に日独比較などにより内容の総合的な理解にも取り組みたい。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業やハイフレックス型授業の場合必要な機器として Zoom で接続可能なデバイスを準備してください。

【その他の重要事項】

授業の進め方にも記載したが、訳読を行うにあたっては、精読（close reading）・解釈力の養成・文法的知識の向上が必要となる。
その十全な養成実施のために、またこの授業の定員を今年度の特別教室収容定員を考慮した数とします。
履修希望者が今年度の特別教室収容定員を考慮した数を超えた場合には、初回授業で学習支援システムでの仮登録者を対象に選抜を行います。履修希望する学生は必ず初回授業前までに仮登録をすること。仮登録をしていない学生は選抜対象になりません。授業初回時に抽選を行い、その結果を当日中に授業支援システム、Hoppii の「お知らせ」欄、また「授業内掲示板」を通して周知します。
第 1 回はオンラインで行う。Hoppii を見てください。
なお、オンライン授業を積極的に活用します。授業支援システム、Hoppii をよく見ること。
春学期・秋学期合わせての履修を推奨します。

【Outline and objectives】

German for Ichigaya Liberal Arts Center(ILAC) Program.
This course provides advanced German sentences and expressions of its current news and topics including politics, economy, arts and so on through reading of the articles and is open to the students who completed German 1 and German 2 in the ILAC Program.

LANd200LA

時事ドイツ語Ⅱ

2017 年度以降入学者

日中　鎮朗

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 2 年～※定員制

他学部公開：○　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ドイツにおける時事的な出来事・事柄（2019/20）についてドイツ語で書かれた文章を読み、ドイツ語の文法的な知識を再確認するとともに、文章としてまとまったものを読む力を養成する。また同時に、こうした読解を通して、現在のドイツおよびヨーロッパについて政治、経済、スポーツ、芸術、社会などについての知識と理解を深めることを目的とします。

【到達目標】
時事的なドイツ語の文章の構成や書き方に慣れ、辞書を用いながら文章を読める力を養成することができます。
　また、文法的には初級文法の知識を確実なものとすると同時に、さらに少し踏み込んだ文法内容も理解することができます。
　それを通して、ドイツおよびヨーロッパの現在の状況についてトータルな知識を獲得することができます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
『時事ドイツ語 2021 年度版（Neuigkeiten aus Deutschland 2019/20）』（朝日出版社）を教材として用います。
　テキストに沿って基本的な文法事項を確認し、語彙や構文の復習を行いながら、受講者の理解度を見ながら進めていきます。また時事的なドイツ語の文章に慣れ、読解力を養います。
　毎回、あらかじめテキストの範囲と担当者を決め、次回に訳読してもらいます。
　必要に応じて文法的な復習のためのプリントを配布したり、テキストに取り上げられている時事的な事柄と関連するものがあれば、ビデオやプリントなどを使用して知識を補い、拡充していきます。また、適宜、確認小テストを行う。
課題、また確認小テストのフィードバックは次回の授業時にそのつど、解説を加えたフィードバックを行う。
訳読を行うにあたっては、精読（close reading）・解釈力の養成・文法的知識の向上が必要となる。その十全な養成実施のために初回授業で学習支援システムでの仮登録者を対象に選抜を行います。履修希望する学生は必ず初回授業前までに仮登録をすること。仮登録をしていない学生は選抜対象になりません。授業初回時に抽選を行い、その結果を当日中に授業支援システム、Hoppii の「お知らせ」欄、また「授業内掲示板」を通して周知します。
第 1 回はオンラインで行う。Hoppii を見てください。
なお、オンライン授業を積極的に活用します。授業支援システム、Hoppii をよく見ること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション ドイツの食文化について	授業のねらいと進め方、学習の仕方についてのガイダンスをおこなう。 「ドイツの食文化の流行」の訳読と文法事項の解説を行う。
第 2 回	Ernaehrungstrends	Ernaehrungstrends の訳読と文法事項の解説、練習問題をおこなう。
第 3 回	最小限主義について	「最小限主義について」の訳読と文法事項の解説をおこなう。
第 4 回	少ないほど豊かなのか？	Weniger ist mehr. の訳読と文法事項の解説、練習問題をおこなう。
第 5 回	ほら吹き男爵について	「ほら吹き男爵」の訳読と文法事項の解説をおこなう。
第 6 回	Der Luegenbaron	Der Luegenbaron の訳読と文法事項の解説、練習問題をおこなう。
第 7 回	ドイツのドラマシリーズについて	「リンデンシュトラーセ」の訳読と文法事項の解説をおこなう。
第 8 回	Lindenstrasse	Lindenstrasse の訳読と文法事項の解説、練習問題をおこなう。
第 9 回	ドイツのコロナ状況	「ドイツのコロナ禍」の訳読と文法事項の解説をおこなう。
第 10 回	Coronakrise 1	Coronakrise 1 の訳読と文法事項の解説、練習問題をおこなう。
第 11 回	ドイツのコロナ状況の転換	「ドイツのコロナ禍の転換」の訳読と文法事項の解説をおこなう。
第 12 回	Coronakrise 2（転換）	Coronakrise 2（転換） の訳読と文法事項の解説、練習問題をおこなう。
第 13 回	振り返り	文法事項の確認と振り返り
第 14 回	試験、まとめと解説	総合的なまとめと解説 試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。上記の授業の進め方を十分に遂行していくためには、毎回、予め指定した進む範囲について、各人が事前にテキストを読み、予習をおこなって授業にのぞむことが必要かつ重要です。知らない単語のチェック、調べ、またわからない構文についても授業中に質問し、自分の試訳と比較して知識を確実なものとすること（復習）です。テキストの内容に即したニュース解説などを読んでおくと内容の理解も多角的になり、深まります（予習・復習）。

【テキスト（教科書）】
A.Raab+石井寿子著『時事ドイツ語 2021 年度版（Neuigkeiten aus Deutschland 2019/20）』、朝日出版社。

【参考書】
参考書は特に必要ありませんが、独和辞典は必要です。また毎回、辞書を授業に持ってきてください。

【成績評価の方法と基準】
学期末に行う期末試験： 50 %
　平常点（テキストの訳読・課題、確認小テストなど）： 50 %

【学生の意見等からの気づき】
丁寧な文法説明を望む学生、またその評価が多いので、文法事項をわかりやすく説明し、また同時に日独比較などにより内容の総合的な理解にも取り組みたい。

【学生が準備すべき機器他】
オンライン授業やハイフレックス型授業の場合必要な機器として Zoom で接続可能なデバイスを準備してください。

【その他の重要事項】
授業の進め方にも記載したが、訳読を行うにあたっては、精読（close reading）・解釈力の養成・文法的知識の向上が必要となる。
その十全な養成実施のために、初回授業で学習支援システムでの仮登録者を対象に選抜を行います。履修希望する学生は必ず初回授業前までに仮登録をすること。仮登録をしていない学生は選抜対象になりません。授業初回時に抽選を行い、その結果を当日中に授業支援システム、Hoppii の「お知らせ」欄、また「授業内掲示板」を通して周知します。
第 1 回はオンラインで行う。Hoppii を見てください。
なお、オンライン授業を積極的に活用します。授業支援システム、Hoppii をよく見ること。
春学期・秋学期合わせての履修を推奨します。

【Outline and objectives】
German for Ichigaya Liberal Arts Center(ILAC) Program.
This course provides advanced German sentences and expressions of its current news and topics including politics, economy, arts and so on through reading of the articles and is open to the students who completed German 1 and German 2 in the ILAC Program.

LANd200LA

検定ドイツ語Ⅰ

2017 年度以降入学者

上田　知夫

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 2 年～※定員制

他学部公開：○　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
1 年生で習った文法を復習しながら、その知識を実際に応用してみる。最終的に、独検 4 級程度のドイツ語力をつける。

【到達目標】
これまで習った文法事項を思い出しながら、それらを多くの問題演習の場面で組み合わせて能動的に利用できる。
ドイツ語検定 4 級に合格するために必要なドイツ語力をつけることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
ドイツ語検定の問題を演習しながら、文法を復習し、語彙力をつける。単に受け身で授業を聞いているだけでは学習が進まないと思っている人には、特におすすめしたい授業形式である。
コロナ関係の制限が許す限り、グループワークなども導入したい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	力試しのドイツ語検定 4 級過去問	模試（出来は成績とは関係ない。自分の欠点を知る事が大事）
第 2 回	発音	発音問題を、音声教材を利用しながら解き、ドイツ語の発音ルールを身につける
第 3 回	動詞・助動詞の現在人称変化、名詞の格変化、指示代名詞	動詞や助動詞の現在人称変化を問題演習を通じて復習する
第 4 回	所有代名詞、不定代名詞、決定疑問文	不定冠詞類の格変化を復習し、疑問文への答え方をマスターする
第 5 回	前置詞、疑問詞	格の考え方を拡張子前置詞を体系的に理解し、疑問詞の使い方を問題演習で身につける
第 6 回	接続詞、数詞	並列接続詞を復習し、数詞を集中的に聞き取れるようにする
第 7 回	分離動詞、再帰動詞	動詞の枠構造を復習しながら分離動詞を理解し、再帰代名詞の使い方を問題演習でつかむ
第 8 回	会話文	会話の授業で習った日常表現を復習しながら、会話文の問題演習を行う
第 9 回	会話文	前週に扱った会話基礎表現を復習しながら、さらに問題演習を行う
第 10 回	読解文	文法事項と単語の知識をアクティブに使う練習として、読解文の問題演習を行う
第 11 回	読解文	手紙文の書き方の基礎をおさえ、問題演習で定着をはかる
第 12 回	聞き取り問題	これまでのリスニング教材の利用の成果の腕試しを兼ねて、リスニング問題の解き方を解説

第 13 回	聞き取り問題	書き取り問題を集中的に行う
第 14 回	最後の力試しのドイツ語検定過去問	第 1 回に回答した問題にもう一度挑戦する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。この授業は単語の練習と復習を重視します。

【テキスト（教科書）】
恒吉良隆『独検対策　4 級・3 級問題集』（白水社,2016 年）

【参考書】
森泉、H-J クナウプ『新　独検対策 4 級・3 級必須単語帳』（白水社、2016 年）

【成績評価の方法と基準】
毎回の宿題の提出状況： 40%
毎回の単語テストの出来： 30%
最初のテストから最後のテストまでの成長分： 30%

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません

【学生が準備すべき機器他】
学習支援システムを通じて課題を提出できるパソコン（なおオンライン授業になる可能性がありますので、Zoom のインストールをお願いします）。ノートを鮮明に撮影できるカメラ（スマートフォン可）。

【その他の重要事項】
ドイツ語に自信がない方にとって最適な復習になり、資格を目指したい人の一歩目になるようなコースにします。
ドイツ語文法を 1 年生で学習した人を対象にはしますが、意欲のある初学者も相談の上受け入れることができます。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to revive knowledge of basic German grammar and to pass grade 4 of the "Dokken" German diploma.

LANd200LA

検定ドイツ語Ⅱ

2017 年度以降入学者

上田　知夫

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 2 年～※定員制

他学部公開：○　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
1 年生で習った文法を復習しながら、その知識を実際に応用してみる。最終的に、独検 3 級程度のドイツ語力をつける。

【到達目標】
これまで習った文法事項を思い出しながら、それらを多くの問題演習の場面で組み合わせて能動的に利用できる。
ドイツ語検定 3 級に合格するために必要なドイツ語力をつけることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
ドイツ語検定の問題を演習しながら、文法を復習し、語彙力をつける。単に受け身で授業を聞いているだけでは学習が進まないと思っている人には、特におすすめしたい授業形式である。
コロナ関係の制限が許す限り、グループワークなども導入したい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	力試しのドイツ語検定 3 級過去問	模試（出来は成績とは関係ない。自分の欠点を知る事が大事）
第 2 回	発音問題	発音のルールを復習しながら、問題演習を行って注意すべきところをに気づく
第 3 回	現在完了、過去	過去のことを表現する現在完了と過去形を習得する
第 4 回	従属接続詞、関係代名詞	副文を作る表現の使い方を集中的に復習しながら、問題演習を行う。
第 5 回	zu 不定詞、受動文	不定詞句の考え方をマスターするために問題演習を行う
第 6 回	使役・知覚の動詞、形容詞の格変化	問題演習を通じて、使役と知覚の動詞の使い方をマスターし、形容詞の格変化を復習する
第 7 回	比較、接続法	形容詞の比較用法の考え方をマスターする。接続法を使えるようになる
第 8 回	会話文	会話の基礎表現を練習しながら、会話文の問題演習を行う
第 9 回	会話文	前週の復習を行いながら、さらに問題演習を行う
第 10 回	読解文	論説文を読む練習をする
第 11 回	読解文	手紙文を読み、書く練習をする
第 12 回	聞き取り	会話文の聞き取りを行う
第 13 回	聞き取り	書き取り問題を集中的に練習する
第 14 回	最後の力試しのドイツ語検定過去問	第 1 回に回答した問題にもう一度挑戦する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。この授業は単語の練習と復習を重視します。

【テキスト（教科書）】
恒吉良隆『独検対策　4 級・3 級問題集』（白水社,2016 年）

【参考書】
森泉、H-J クナウプ『新　独検対策 4 級・3 級必須単語帳』（白水社、2016 年）

【成績評価の方法と基準】
毎回の宿題の提出状況： 40%
毎回の単語テストの出来： 30%
最初のテストから最後のテストまでの成長分： 30%

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません

【学生が準備すべき機器他】
学習支援システムが使えるコンピュータ（なおオンライン授業になる可能性がありますので、Zoom のインストールをお願いします）およびノートを鮮明に撮影できるカメラ（スマートフォン可）

【その他の重要事項】
ドイツ語検定 4 級の合格は履修の前提ではありません。1 年生のときにドイツ語文法を学んでいることを前提します。
問題演習を通じてみなさんが習ったことを組み合わせて使えるようになる楽しみを味わっていただけるようにしたいと思います。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to revive knowledge of basic German grammar and to pass the grade 3 of the "Dokken" German diploma.

LANd100LA

入門ドイツ語 (SSI) Ⅰ

2017 年度以降入学者

浦田　智

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 1 年～（SSI 生のみ）※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スポーツ生を対象にしたドイツ語の入門クラスです。ドイツ語とはどんな言葉かを理解することを目的としています。

【到達目標】
ドイツ語で表現するための基本となる文法の初歩と関連したドイツ語の文章を学習し、日常のあいさつなどの言い回しが言えるようにする。ドイツ語を正しく発音し、初歩的なドイツ語の総合力を習得することを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
ドイツ語のしくみや語句・文章を説明したあとで各学習者にドイツ語を読んでもらったり、練習問題を解いてもらい、できるだけ授業に参加してもらいます。それぞれの練習の内容（解答など）について提出されたものは、添削チェックして返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	ドイツ語およびドイツ語圏の紹介。年間の授業の進め方などの説明を行う。
2	アルファベットと発音 (1)	アルファベットの読み方の説明をし、口頭で練習をする。単語の音の原則を学ぶ。
3	アルファベットと発音 (2)	注意すべき母音や子音の読み方を学ぶ。簡単な挨拶表現を覚える。
4	自己紹介 (1)	現在人称変化一規則動詞・sein
5	自己紹介 (2)	疑問詞のある疑問文・ja か nein で答える疑問文
6	余暇 (l)	現在人称変化：不規則動詞・haben、否定疑問文の用法
7	余暇 (2)	動詞の名詞化・語順・否定詞 nicht の位置
8	持ち物 (1)	名詞の性・定冠詞、不定冠詞の 1 格と 4 格・名詞の複数形
9	持ち物 (2)	否定冠詞、所有冠詞、人称代名詞の 1 格と 4 絡
10	家族 (1)	格変化・人称代名詞の 3 格
11	家族 (2)	否定詞 nicht と否定冠詞 kein の使い分け
12	買い物	定冠詞類の 1 格と 4 格 指示代名詞の 1 格と 4 格・非人称主語 es を使った表現
13	総復習	春学期で学んだ文法事項と各場面における表現のまとめと復習
14	期末のまとめのテストと総括	春学期で学んだ文法事項と各場面における表現のまとめの試験を実施する。まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
事前に「授業テーマ」や「授業内容」を読み、プリントの該当箇所内容についての情報を得た上でこれに目を通して疑問点を明確にしておくこと。また重点ポイントとして指摘したところは必ずチェックしておいてください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
プリント（授業時に配布します。）

【参考書】
必要に応じて授業中に指示します。

【成績評価の方法と基準】
期末のまとめのテストの他に、毎回の授業への取り組み方、課題の提出などの点も加味して到達目標に達しているかを考慮して総合的に評価する。到達目標に達しているかを問う期末のまとめのテストが 70 %、授業への取り組み方や課題の提出などが 30 %として評価する。

【学生の意見等からの気づき】
文法事項の説明をさらに丁寧に行い、黒板にはできるだけわかりやすく、大きく書くように心がける。履修者による発表や自発的な音読、質問を行えるように徹底する。

【学生が準備すべき機器他】
コロナ禍によりオンラインやハイフレックス授業に転換になった場合には、学習支援システムや Zoom 等を使用するため、接続可能なパソコンや資料保存のためにプリンターなどが必要になります。

【Outline and objectives】
This class is an intoduction to the study of German aimed at the students who play sports. The purpose of this class is to understand what the German language is like.

LANd100LA

入門ドイツ語 (SSI) Ⅱ

2017 年度以降入学者

浦田　智

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 1 年～（SSI 生のみ）※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スポーツ生を対象にしたドイツ語の入門クラスです。Ⅰからの継続で、初歩の文法と日常的な場面で使える文を学びながら、基礎的な表現を身につけることを目的としています。

【到達目標】
ドイツ語で表現するための基本となる文法の初歩と関連したドイツ語の文章を学習し、日常のあいさつなどの言い回しが言えるようにする。ドイツ語を正しく発音し、初歩的なドイツ語の総合力を習得することを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
各課に挙げられている文を繰り返し音読し、文の内容を説明した後、各学習者にも反復練習してもらいドイツ語の表現を覚えてもらうなど、出来るだけ授授業に参加してもらいます。それぞれの練習の内容（解答など）について提出されたものは、添削チェックして返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	秋学期の授業の進め方や今後実施していく授業内容の説明
2	春学期の復習	春学期で学んだ文法事項や各テーマを復習する。
3	－日の出来事 (1)	分離動詞と非分離動詞の用法と注意点
4	一日の出来事 (2)	命令文の形態と意味およびその使い方
5	ショッピングセンターで (1)	話法の助助詞の現在人称変化と用法について
6	ショッピングセンターで (2)	不定代名詞 man の日常での用法
7	町で (1)	場所と方向を表す前置詞十 3 格か 4 格
8	町で (2)	場所と方向を表す前置詞＋ 3 格か 4 格の用法をさらに練習する。
9	一日の出来事（過去）(1)	sein と haben 過去人称変化の形態と用法
10	一日の出来事（過去）(2)	日常会話で過去を表す時に用いる現在完了形の使い方
11	数詞と時刻	基数と序数・数詞を使った時刻の言い表し方
12	旅行	現在完了形の用法の発展練習
13	総復習	秋学期に学んだ文法事項や各テーマで覚えた表現の復習と実践
14	期末のまとめのテストと総括	秋学期に学んだ文法事項や各テーマで覚えた表現をチェックするための試験を実施する。まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
事前に「授業テーマ」や「授業内容」を読み、プリントの該当箇所の内容についての情報を得た上で、これに目を通して疑問点を明確にしておきましょう。また、授業中に指摘したポイントは必ずチェックしておいてください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
プリント（授業時に配布する）を使用する。

【参考書】
必要に応じて授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】
期末のまとめのテストの他に、毎回の授業への取り組み方、課題の提出などの点も加味して到達目標に達しているかを考慮して総合的に評価する。到達目標に達しているかを問う期末のまとめのテストが 70 %、授業への取り組み方や課題の提出などが 30 %として評価する。

【学生の意見等からの気づき】
文法事項やドイツ語の表現などについての説明をさらに詳しくわかりやすいように行い、また履修者による発表や自主的な質問等ができるように徹底する。

【学生が準備すべき機器他】
コロナ禍によりオンラインやハイフレックス授業に転換になった場合には、学習支援システムや Zoom 等を使用するため、接続可能なパソコンや資料保存のためにプリンターなどが必要になります。

【Outline and objectives】
This class is an introduction to the study of German aimed at the students who play sports. The purpose of this class is to understand what the German language is like and to learn the basic expressions of German.

LANd100LA

入門ドイツ語 (SSI) Ⅰ

2017 年度以降入学者

梶谷　雄二

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水 4**/Wed.4
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 1 年～（SSI 生のみ）※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
初級文法を理解して、発音練習や簡単な日常会話の練習をして、ドイツ語に親しむことを目的とする。ドイツの文化と日本の文化も比較しながら理解する。

【到達目標】
一通りドイツ語の仕組みを理解し、読むこと、話すこと、書くことなど、ドイツ語に何らかの対応ができるようになることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
2 回の授業で 1 つの課を学ぶ。テキストの各課は文法説明と会話文、練習問題に分かれている。1 回目の授業では会話文を解説しながら文法の説明を行い、練習問題の一部を解いて、文法の理解を目指します。2 回目の授業では会話文の発音練習をして、会話のシミュレーションを行います。
小テストなどの課題の提出を求めた場合、その結果は直接返却するか、または、hoppii を通して通知します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	発音の原則	アルファベートと発音の基本。数字の練習。
2	第 1 課　動詞の現在人称変化	会話文の解説と文法説明。練習問題。
3	第 1 課　動詞の現在人称変化	会話文の発音練習と会話のシミュレーション。
4	第 2 課　名詞の性と数と格/冠詞類/人称代名詞	会話文の解説と文法説明。練習問題。
5	第 2 課　名詞の性と数と格/冠詞類/人称代名詞	会話文の発音練習と会話のシミュレーション。
6	第 3 課　動詞の不規則変化/命令形	会話文の解説と文法説明。練習問題。
7	第 3 課　動詞の不規則変化/命令形	会話文の発音練習と会話のシミュレーション。
8	第 4 課　冠詞類/時刻の表現	会話文の解説と文法説明。練習問題。
9	第 4 課　冠詞類/時刻の表現	会話文の発音練習と会話のシミュレーション。
10	第 5 課　前置詞/ja, nein, doch/数詞	会話文の解説と文法説明。練習問題。
11	第 5 課　前置詞/ja, nein, doch/数詞	会話文の発音練習と会話のシミュレーション。
12	第 6 課　形容詞の格変化	会話文の解説と文法説明。練習問題。
13	第 6 課　形容詞の格変化	会話文の発音練習と会話のシミュレーション。

14	予備	授業が予定通りに進んでいない場合の調整にこの授業を充てる

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
文法説明を読み、疑問点を整理しておくこと。
復習は文法に関する問題を解答し提出すること。

【テキスト（教科書）】
特定のテキストは使用しない。毎回プリントを配布するので、これをテキストと同等のものと考えること。

【参考書】
独和辞典はもちろんだが、そのほかの参考書については授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】
授業への参加姿勢 40 %（主に出席と発音の習熟度で評価する）、数回の文法理解の小テストの平均 60 %。

【学生の意見等からの気づき】
授業の方針や授業の目的を受講生によく理解してもらうように丁寧に説明する。

【学生が準備すべき機器他】
オンライン授業になったときのために、パソコン、または、モバイル機器を用意しておいてください。

【Outline and objectives】
The aim is to understand beginner's grammar, practice pronunciation and simple daily conversation, and become familiar with German. Compare and understand German and Japanese cultures.

LANd100LA

入門ドイツ語 (SSI) Ⅱ

2017 年度以降入学者

梶谷　雄二

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 1 年～（SSI 生のみ）※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
初級文法を理解して、発音練習や簡単な日常会話の練習をして、ドイツ語に親しむことを目的とする。ドイツの文化と日本の文化も比較しながら理解する。

【到達目標】
一通りドイツ語の仕組みを理解し、読むこと、話すこと、書くことなど、ドイツ語に何らかの対応ができるようになることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
2 回の授業で 1 つの課を学ぶ。テキストの各課は文法説明と会話文、練習問題に分かれている。1 回目の授業では会話文を解説しながら文法の説明を行い、練習問題の一部を解いて、文法の理解を目指します。2 回目の授業では会話文の発音練習をして、会話のシミュレーションを行います。
小テストなどの課題の提出を求めた場合、その結果は直接返却するか、または、hoppii を通して通知します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	話法の助動詞Ⅰ	会話文の解説と文法説明。練習問題。
2	話法の助動詞Ⅱ	会話文の解説と文法説明。練習問題。
3	分離・非分離動詞Ⅰ／接続詞Ⅰ	会話文の解説と文法説明。練習問題。
4	分離・非分離動詞Ⅱ／接続詞Ⅱ	会話文の解説と文法説明。練習問題。
5	再帰代名詞・再帰動詞/zu 不定詞Ⅰ	会話文の解説と文法説明。練習問題。
6	再帰代名詞・再帰動詞/zu 不定詞Ⅱ	会話文の解説と文法説明。練習問題。
7	動詞の 3 基本形/過去形・現在完了形Ⅰ	会話文の解説と文法説明。練習問題。
8	動詞の 3 基本形/過去形・現在完了形Ⅱ	会話文の解説と文法説明。練習問題。
9	受動態/比較表現Ⅰ	会話文の解説と文法説明。練習問題。
10	受動態/比較表現Ⅱ	会話文の解説と文法説明。練習問題。
11	関係代名詞/関係副詞Ⅰ	会話文の解説と文法説明。練習問題。
12	関係代名詞/関係副詞Ⅱ	会話文の解説と文法説明。練習問題。
13	接続法	会話文の解説と文法説明。練習問題。
14	試験	会話文の解説と文法説明。練習問題。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。その週の授業で学んだ表現を繰り返し発音して、暗記すること。

【テキスト（教科書）】
プリントをテキストとして配布する

【参考書】
独和辞典はもちろんだが、そのほかの参考書については授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】
授業への参加姿勢 40 %（主に出席と練習問題への取り組み、発音の習熟度で評価する）、文法理解度チェックのための小テストの平均 60 %。

【学生の意見等からの気づき】
授業の方針や授業の目的を受講生によく理解してもらうように丁寧に説明する。

【学生が準備すべき機器他】
オンライン授業になったときのために、パソコン、または、モバイル機器の用意をお願いします。

【Outline and objectives】
The purpose is to understand elementary grammar, practice pronunciation and simple daily conversation, and become familiar with German. We will compare and understand German culture and Japanese culture.

ARSa200LA

ドイツ語の世界ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

Schmidt　Ute

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火 4/Tue.4**
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年※定員制
他学部公開：○　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では、映画や文献を用いてドイツ語圏の歴史、社会、文化を探っていきます。各授業は講義で始まり、映画鑑賞、プレゼンテーション、ディスカッションという流れで行います。プレゼンテーションは映画の背景となった歴史や文化に関する発表をしてもらいます。（履修者の人数によってはグループでのプレゼンテーションになります。）

【到達目標】
◦ドイツ語圏の生活、文化、社会、歴史など多様なテーマに関する理解を深める。
◦各時代の思想的・文化的背景を理解する。
◦ 映画の解釈方法を身につける。
◦ 異文化理解能力を高める。
◦テーマに応じた資料を収集し、読解する方法を身につける。
◦プレゼンテーション技術をアップする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業はテーマへの導入、情報収集で始まり、映画鑑賞、プレゼンテーション、ディスカッションという流れで行う。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1.	オリエンテーション	授業の概説 発表の内容の取り決め
2.	ドイツ語圏の世界	地理, 言語, その他
3.	文学	ドイツと言えばゲーテ？ プレゼンテーション
4.	文学	映画：ゲーテの恋 〜君に捧ぐ 「若きウェルテルの悩み」 Goethe!　(2010) ディスカッション
5.	オーストリアと日本	Sissi とミュージカル「エリザベート」
6.	スイスと日本	映画：ハイジ　アルプスの物語 Heidi (2015)
7.	スイスと日本	ハイジ in Japan プレゼンテーション
8.	戦争映画　1	第一次世界大戦 西部戦線異状なし (1930) 戦場のアリア (2005) ディスカッション
9.	ドイツと日本	ベートーヴェンの「第九」 プレゼンテーション 映画：バルトの楽園　(2006)

10.	戦争映画	第二次世界大戦 プレゼンテーション ディスカッション
11.	ヒトラー	ヒトラーと女性
12.	サッカーを通してみる戦後ドイツ社会	サッカーって文化？
13.	サッカーを通してみる戦後ドイツ社会	映画：ベルンの奇跡 Das Wunder von Bern (2003)
14.	プレゼンテーション	ディスカッション

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
資料を読んでくる宿題を出します。（資料の言語は主に日本語、履修者のレベルに応じて英語、ドイツ語）
自分担当のプレゼンテーションの準備とレジュメ作成
本授業の準備学習・復習時間は、計 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
コピー配布

【参考書】
・森井 裕一 (著, 編集)『ドイツの歴史を知るための 50 章』 (エリア・スタディーズ 151)
・宮田眞治・畠山寛・濱中春（編著）『ドイツ文化 55 のキーワード』
・新野守広・飯田道子・梅田紅子（編）『知ってほしい国　ドイツ』

【成績評価の方法と基準】
プレゼンテーションとレジュメー： 50%
授業中のディスカッション参加とリアクションペーパー： 50%

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【学生が準備すべき機器他】
Zoom で接続可能なデバイス　（オンラインやハイフレックス型授業に転換になった場合）

【その他の重要事項】
ドイツ語の知識やドイツ語学習歴の有無は問いません
「授業計画」は、授業の進度により変更する可能性があります。
質問・相談などは授業の前後、または以下の連絡先にお願いします。
ute.schmidt.yw@hosei.ac.jp

【Outline and objectives】
The core material used in this course will be recent German-language films. The content of the film will be used as the starting point to look into German history and society. The Students' final grades will be based on a presentation and active participation in class

ARSa200LA

ドイツ語の世界ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

Schmidt　Ute

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**火** 4/Tue.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年※定員制
他学部公開：○　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では、映画や文献を用いてドイツ語圏の歴史、社会、文化を探っていきます。各授業は講義で始まり、映画鑑賞、プレゼンテーション、ディスカッションという流れで行います。プレゼンテーションは映画の背景となった歴史や文化に関する発表をしてもらいます。（履修者の人数によってはグループでのプレゼンテーションになります。）

【到達目標】
◦ドイツ語圏の生活、文化、社会、歴史など多様なテーマに関する理解を深める。
◦各時代の思想的・文化的背景を理解する。
◦ 映画の解釈方法を身につける。
◦ 異文化理解能力を高める。
◦テーマに応じた資料を収集し、読解する方法を身につける。
◦プレゼンテーション技術をアップする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業はテーマへの導入、情報収集で始まり、映画鑑賞、プレゼンテーション、ディスカッションという流れで行う。
課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1.	東西ドイツ	ベルリンの壁ができるまで 映画：トンネル Der Tunnel (2001)
2.	西ドイツ	極左のテロリズム バーダー・マインホフ/理想の果てに Der Baader Meinhof Komplex (2008)
3.	東ドイツ	Stasi －東ドイツの秘密警察 映画:善き人のためのソナタ Das Leben der Anderen (2006)
4.	ドイツ統一	ベルリンの壁崩壊 映画：グッバイ、レーニン! Good Bye Lenin (2003)
5.	ドイツ統一	プレゼンテーション ディスカッション
6.	青春	映画： 50 年後のボクたちは Tschick (2016) プレゼンテーション ディスカッション

7.	ヒトラー	ヒトラーについて笑っていいのか？ 映画：帰ってきたヒトラー Er ist wieder da! (2015)
8.	ヒトラー	プレゼンテーション ディスカッション
9.	テロリズム	ドイツ極右組織 NSU
10.	ドイツ極右組織	映画：女は二度決断する Aus dem Nichts (2017)
11.	ドイツ極右組織	プレゼンテーション ディスカッション
12.	移民国ドイツ	難民問題
13.	移民国ドイツ	映画：初めてのおもてなし Willkommen bei Hartmanns (2016)
14.	移民国ドイツ	プレゼンテーション ディスカッション

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
資料を読んでくる宿題を出します。（資料の言語は主に日本語、履修者のレベルに応じて英語、ドイツ語）
本授業の準備学習・復習時間は、計 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
コピーを配布

【参考書】
・森井裕一 (著, 編集)『ドイツの歴史を知るための 50 章』(エリア・スタディーズ 151)
・宮田眞治・畠山寛・濱中春（編著）『ドイツ文化 55 のキーワード』
・新野守広・飯田道子・梅田紅子（編）『知ってほしい国　ドイツ』

【成績評価の方法と基準】
プレゼンテーションとレジュメー： 50%
授業中のディスカッション参加とリアクションペーパー： 50%

【学生の意見等からの気づき】
特にありません

【学生が準備すべき機器他】
Zoom で接続可能なデバイス　（オンラインやハイフレックス型授業に転換になった場合）

【その他の重要事項】
ドイツ語の知識やドイツ語学習歴の有無は問いません。
「授業計画」は、授業の進度により変更する可能性があります。
質問・相談などは授業の前後、または以下の連絡先にお願いします。
ute.schmidt.yw@hosei.ac.jp

【Outline and objectives】
The core material used in this course will be recent German-language films. The content of the film will be used as the starting point to look into German history and society. The Students' final grades will be based on a presentation and active participation in class.

ARSa200LA

ドイツの文化と社会ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**ドイツ語圏のキーワード**

上田　知夫

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**水 2**/Wed.2
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 2〜4 年※定員制
他学部公開：○　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
「ドイツ」と聞いて思い浮かべるイメージはなんでしょうか。ドイツについて全く知らない人でもいくつかのキーワードが思いつくのではないでしょうか。
この授業ではそのようなすぐ気がつくキーワードから、ちょっと通なキーワードを集めて、それらがドイツ語圏の社会で果たす役割について少しだけ深く考えて見ることにしたいと思います。
ドイツ語の学習は前提しませんし、ドイツ語の文献を扱うこともありません。

【到達目標】
この授業では、ドイツ語圏の様々なキーワードの背後にある、社会や歴史的要素について理解することを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義形式で授業を行います。しかし毎回のテーマについて皆さんが知っていることを積極的に伺いますので、対話に参加してくださることを期待します。
コロナの状況が許せば、グループワークなどもやってみたいと思います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	導入	ドイツとドイツ語圏について。
第 2 回	ドイツ語の歴史	ドイツ語の歴史について。
第 3 回	ドイツ語の地域性	さまざまな地域のドイツ語について。
第 4 回	ビールの現状	ドイツのビールの現状について。
第 5 回	ビールの歴史	ドイツ語圏のビールの歴史について。
第 6 回	サッカー	ローカルパトリオリズムおよびナショナリズムについて。
第 7 回	ハイジのおんじ	スイスの歴史と傭兵輸出について。
第 8 回	ハイジの旅	スイスの鉄道網の発展と観光について。
第 9 回	アウトバーン	ドイツの自動車交通について。
第 10 回	ドイツの自動車産業	ドイツの工業化と自動車産業の展開について。
第 11 回	ドイツの教育制度	マイスターを生むドイツの教育制度について。
第 12 回	ドネルケバブ	ドイツの都市とそこにやってきた移民（およびその子孫）たちについて。
第 13 回	外国語としてのドイツ語	社会の統合としての言語について。

第 14 回　まとめ	これまでの話題について振り返り、期末レポートの書き方について確認します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。
予習：次回のキーワードについて思いつくことをいくつか考えてから教室に来てください。
復習：レジュメを読み返してください。特に、レポートを書こうと思うテーマの回については、オフィスアワーを積極的に利用して教員と相談の上、参考文献を図書館で探してみてください。

【テキスト（教科書）】
教科書は指定しません。ハンドアウトを配布し、スライドを用いて授業します。

【参考書】
毎回異なる参考文献を参照するので、授業ごとに指示します。

【成績評価の方法と基準】
毎回の授業の小課題： 40%
授業への積極的参加： 10%
期末レポート： 50%

【学生の意見等からの気づき】
個々のキーワードをなるべく有機的につなげるように努力します。

【学生が準備すべき機器他】
ノートパソコン、スマートフォン、タブレットなど、インターネット通信環境のある機器があれば持参のこと（なおオンライン授業になる可能性がありますので、Zoom のインストールをお願いします）。

【その他の重要事項】
春学期と秋学期は独立して履修できるようにしてあります。
毎回最初の 10 分ほどでブレインストーミングを行い、最後の 10 分ほどで議論を行うので、積極的に参加してください。

【Outline and objectives】
This lecture aims to get some basic understanding of the German-speaking countries.
This lecture is organized according to keywords that tend to be associated with these countries.
This lecture does not presuppose any knowledge of the German language.

ARSa200LA

ドイツの文化と社会ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

上田　知夫

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 2/Wed.2
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 2〜4 年※定員制
他学部公開：○　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業ではドイツの文化と社会の関係を社会についての思想を手がかりに捉えることを目的にします。
その際に、ドイツ語圏の思想が、
1. さまざまな歴史的社会的事情との関連で展開してきたこと、および、
2. 実際には 1 つの言語圏を超えて拡がっていくということ
を理解したいと思います。
なお、この授業は日本語で行います。ドイツ語力は一切前提しません。

【到達目標】
この授業を通じて、
・20 世紀から 21 世紀のドイツの社会問題についての概観を得ることができます
・ドイツの社会思想について概観を得ることができます

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
この授業の中心部分は講義形式ですが、最後の 10 分程度全体でディスカッションしたいと思います。また毎回リアクションペーパーの提出を求めます。
また適宜、参加者に発言を求めることがあります。積極的な発言が、平常点の加算要因です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	導入：ドイツ語圏の 20 世紀の歴史の概観	ドイツ語圏の 20 世紀について、高校世界史の復習をします。
第 2 回	ワイマール共和国とフランクフルト学派	フランクフルト学派の第 1 世代の研究の背景を大戦間期のドイツの政治状況と関連付けます。
第 3 回	ナチスの台頭とフランクフルト学派	1933 年以降のドイツの政治状況を概観し、それがドイツの大学に与えた影響を考察します。
第 4 回	19 世紀から 20 世紀にかけてのウィーンの文化	ウィーン学団を生んだオーストリアおよびウィーンの歴史を概観します。
第 5 回	ウィーン学団	ウィーンの歴史を文化の側面から見たときのウィーン学団の位置について概観します。
第 6 回	亡命知識人の哲学 1: アメリカのフランクフルト学派	ナチスの台頭に伴い、多くの哲学者が亡命しました。アメリカ東部の亡命知識人の状況とその思想的展開を追います。
第 7 回	亡命知識人の哲学 1: アメリカのフランクフルト学派	フランクフルト学派が西部に移動したことを概観し、カルフォルニア地域の亡命知識人の状況について概観します。

第 8 回	亡命知識人の哲学 2: 英語圏の科学哲学	ウィーン学団の哲学者たちの亡命とその後の英語圏の哲学に与えた影響について概観します。
第 9 回	亡命知識人の哲学 2: 英語圏の科学哲学	ウィーンから渡米した哲学者たちが、アメリカに定住していく様子を概観します。
第 10 回	戦後のフランクフルト学派	第 2 次世界対戦後のドイツの学問状況を哲学者たちを事例に概観します。
第 11 回	68 年世代の哲学	ドイツの学生運動が隆盛を迎えた 1968 年代当時の哲学的状況を概観します。
第 12 回	ハーバマスと社会哲学 1: 社会国家と生活世界	戦後ドイツの社会国家について概説し、社会国家制度と社会哲学の関係を概観します。
第 13 回	ハーバマスと社会哲学 2: 歴史家論争	第 2 次世界対戦後のドイツが、第 2 次世界対戦をどのように振り返ってきたかについて歴史家論争を手がかりに概観します。
第 14 回	まとめ	これまでの議論をまとめ、レポートの書き方について確認します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。
この授業では復習を中心に学習してください。とりわけ興味を持った主題についてのレポートの準備を入念に行うことを求めたいと思います。そのためのオフィスアワーの積極的利用も推奨します。

【テキスト（教科書）】
教科書は指定しません。適宜、レジュメを配布します。

【参考書】
毎回異なる参考書を利用しますので、スライドでそれらを指示します。レポートを執筆しようと思う回については、それらを一読することをお勧めします。

【成績評価の方法と基準】
授業の際に提出するリアクションペーパー: 50%
レポート： 50%

【学生の意見等からの気づき】
昨年度の学生の要望により、ウィーンやフランクフルトの都市の歴史を少し多めに授業しようと思います。

【学生が準備すべき機器他】
ノートパソコン、スマートフォン、タブレットなど、インターネット通信環境のある機器があれば持参のこと（なおオンライン授業になる可能性がありますので、Zoom のインストールをお願いします）。

【その他の重要事項】
春学期と秋学期は独立して履修できるようにしてあります。ただし、春学期で学んだことは絶対に無駄になりませんので、春学期に履修した方の積極的な参加を期待します。

【Outline and objectives】
The theme of this lecture is the relationship between philosophical thoughts and their roles in society, especially, in German society.

LANf200LA

フランス語３Ｉ

2017 年度以降入学者

近江屋　志穂

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木 2**/Thu.2
単位数：**1 単位**
法 2 年 D

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
2020 年度のテキスト（下記）の続きを学習します。初級文法を学びながら、簡単な会話の練習を行います。

【到達目標】
・初級文法の知識を固めること。
・フランス語を正しく発音できるようになること。
・実用フランス語技能検定試験（仏検）で言えば 5 級〜4 級レベルに到達すること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
テキストの各課は、文法の学習、口頭練習、練習問題、読解、聞取りで構成されています。これらの課題を順番にこなしていきます。課題や試験へのフィードバックは授業内および学習支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Leçon 7	・人称代名詞の強勢形 ・指示代名詞 celui
2	Leçon 7	・il y a と je voudrais の表現 ・観光に関する語彙
3	Leçon 8	・定冠詞の縮約 ・補語人称代名詞
4	Leçon 8	・国の名前
5	Leçon 9	・代名動詞 ・中性代名詞 y ・動詞 vouloir
6	Leçon 9	・日常よく用いられる代名動詞
7	Leçon 10	・非人称構文 ・命令形 ・感嘆文
8	Leçon 10	・天候と時刻の表現
9	Leçon 11	・部分冠詞 ・中性代名詞 en ・数量の表現
10	Leçon 11	・食べ物と飲み物、部分冠詞とともに
11	Leçon 12	・比較級 ・単純未来
12	Leçon 12	・女性形が特殊な形になる形容詞
13	Leçon 13	・複合過去 ・半過去
14	期末試験	筆記試験・音読試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
効果的にフランス語力が身につくよう、授業の宿題を必ず行ってください。本授業の準備・復習時間は各 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
・『Paris-Bordeaux パリ・ボルドー』藤田裕二、朝日出版社、2016 年（一年次に使用したテキスト）

【参考書】
『シェリーとフランス語』服部悦子他、三修社、2014 年（一年次に使用したテキスト）

【成績評価の方法と基準】
平常点 50 %、音声ファイル提出 10 %、期末試験 40 %

【学生の意見等からの気づき】
特にありません。

【学生が準備すべき機器他】
仏和辞書

【Outline and objectives】
Compulsory French course : developping the skills of listening, speaking, reading, and writing French in a cultural context.

LANf200LA

フランス語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

近江屋　志穂

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：**1 単位**
法 2 年 D

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
初級文法を復習・強化しながら、フランスの文化と社会に関する文章を読みます。フランス語の総合力を養う読解の授業を目標とします。

【到達目標】
・和仏辞書を引きながらフランス語の文章が読めるようになること。
・初級文法の知識を固めること。
・フランス語を正しく発音できるようになること。
・実用フランス語技能検定試験（仏検）で言えば 4 級～3 級レベル到達すること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
春学期の復習から始め、テキストの未習項目を終わらせます。その後フランス語の文章の読解と音読を行います。読解の文章についてはプリントを使用します。
課題や試験へのフィードバックは授業内および学習支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Leçon 13	・複合過去の復習
2	Leçon 14	・条件法現在
3	Leçon 14	・接続法現在
4	日本とフランスの宗教	・強調構文 ・半過去
5	日本とフランスの宗教	長文読解と問題
6	日本とフランスの外国人	・補語人称代名詞 ・使役動詞
7	日本とフランスの外国人	長文読解と問題
8	日本とフランスの映画	・単純未来 ・知覚動詞
9	日本とフランスの映画	長文読解と問題
10	日本とフランスの入試制度	・非人称表現 ・受動態
11	日本とフランスの入試制度	長文読解と問題
12	日本とフランスの詩	現在分詞、ジェロンディフ
13	日本とフランスの詩	長文読解と問題
14	期末試験	筆記試験・音読試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
効果的にフランス語力が身につくよう、授業の予習と課題を必ず行ってください。本授業の準備・復習時間は各 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
・『Paris-Bordeaux パリ・ボルドー』藤田裕二、朝日出版社、2016 年（一年次に使用したテキスト）
・読解の文章についてはプリントを使用します。

【参考書】
『シェリーとフランス語』服部悦子他、三修社、2014 年（一年次に使用したテキスト）

【成績評価の方法と基準】
平常点 50 %、音読ファイル提出 10 %、期末試験 40 %

【学生の意見等からの気づき】
特にありません。

【学生が準備すべき機器他】
仏和辞書

【Outline and objectives】
Compulsory French course : developping the skills of listening, speaking, reading, and writing French in a cultural context.

LANf200LA

フランス語３Ｉ

2017 年度以降入学者

柴田　惠美

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
法 2 年 E・F

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業は、フランス語 1 に引き続き、文法知識を深め、書く・読む・発音するといったフランス語の基礎的運用能力を身に着ける事を目的としています。文法事項を理解し、練習問題をこなした上で、自分自身で簡単なフランス語の文章を書き、それをフランス語で発話する力（会話力）、ひいては、フランスやフランス文化について書かれた文章を日本語で読み解く力をつけてゆくのです。
また、聞き取りや会話力の向上の為に、DVD や CD も活用します

【到達目標】
(1) フランス語の綴り字と発音の関係を理解し、ほぼ正確に発音できるようになる
(2) 初級で学んだ文法知識に対する理解を深める
(3) 辞書を片手に、フランス語で書かれた比較的平易な文章を解読したり、また、簡単な和文仏訳を行ったり、フランス人の話す簡単な会話文を理解したりすることが出来る
(4) フランス文化についての基礎的な知識の一端を知る

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
各課の文法事項に関しては、説明とその理解度を確認する問題を解き、解説を加えていくことが中心となりますが、仏作文、会話（発話）などに関しては特に、一方的な講義形式ではなく、学生参加型の授業を行います。
課題が出た場合は、基本的に次回授業時に解答・解説を行います。基本的に授業時間内にフィードバックを行いますが、LMS などを活用する場合もあります。
疑問点や理解しきれない点などが生じたら、ためらわずに質問してください。そして、分かることの喜びを実感しながら、一緒に楽しく勉強していきましょう。
また、時間が許せば、フランス語やフランス文化に関連した話題、映像などにも触れたいと考えています。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	今後の授業の進め方 1 年次に終了した文法事項等の確認
第 2 回	1 課 写真学校に入る	会話文の音読と和訳 文法の復習 受動態
第 3 回	1 課 フランスと写真術	文法の練習問題 文章読解
第 4 回	2 課 エッフェル等と自由の女神を見に行く	会話実践 会話文の音読と和訳 文法の復習 最上級 関係代名詞 qui,que
第 5 回	2 課 エッフェル等と自由の女神	文法の練習問題 文章読解

第 6 回	3 課 ベルシー・ヴィラージュを訪れる	会話実践 会話文の音読と和訳 文法の復習 関係代名詞 dont,où
第 7 回	3 課 ベルシー・ヴィラージュ	文法の練習問題 文章読解
第 8 回	4 課 ルイ・ヴィトン財団美術館を訪れる	会話文の音読と和訳 文法の復習 疑問代名詞
第 9 回	4 課 ルイ・ヴィトン財団美術館	文法の練習問題 文章読解
第 10 回	5 課 電話をかける	会話実践 会話文の音読と和訳 文法の復習 条件法
第 11 回	5 課 フランスの電話事情	文法の練習問題 文章読解
第 12 回	仏検 4 級をめざして 1	会話実践 文章読解
第 13 回	仏検 4 級をめざして 2	仏検 4 級の練習問題を解く
第 14 回	試験	まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。事前学習としては、次回授業時に進む課の進出単語の意味と読み方を確認しておく、課題として出された練習問題を解いておく、事後学修としては、前回授業の内容を復習し、文章読解に関しては文章構造、言い回しをまとめ、記憶しておく等が挙げられます。

【テキスト（教科書）】
パリ・ブルゴーニュ（朝日出版社、2500 円）

【参考書】
辞書としては、「プチ・ロワヤル仏和辞典」「ロワイヤル仏和中辞典」（旺文社）他
文法事項の確認の為には、一年次にフランス語 1 で使用した教科書を参考にしてください。
また、仏検の受験を希望する学生には、別に、参考書・問題集などを紹介致します。

【成績評価の方法と基準】
平常点及び会話実践 40 %
期末試験の成績 (60%）により、評価します。
期末試験の方法、内容については、授業中に教員が指示をします。

【学生の意見等からの気づき】
本年度新規科目につきアンケートを実施していません。

【学生が準備すべき機器他】
教科書は勿論ですが、辞書は必須です

【その他の重要事項】
失敗を恐れず、明るく楽しく授業に参加してください。
疑問や分からないことがある場合は、すぐに質問してください。

【Outline and objectives】
Further deepen and ascertain the acquired knowledge on the basis of grammatical concepts learned over the past 1 year. We will improve reading and speaking skills through reading comprehensions written in plain French and listening practice using DVDs/CDs.

LANf200LA

フランス語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

柴田　惠美

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
法 2 年 E・F

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業は、フランス語 3I に引き続き、文法知識を深め、書く・読む・発音するといったフランス語の基礎的運用能力を身に着ける事を目的としています。文法事項を理解し、練習問題をこなした上で、自分自身で簡単なフランス語の文章を書き、それをフランス語で発話する力（会話力)、ひいては、フランスやフランス文化について書かれた文章を日本語で読み解く力をつけてゆくのです。
また、聞き取りや会話力の向上の為に、DVD や CD も活用します。

【到達目標】
(1) フランス語の綴り字と発音の関係を理解し、ほぼ正確に発音できるようになる
(2) 初級で学んだ文法知識に対する理解を深める
(3) 辞書を片手に、フランス語で書かれた比較的平易な文章を解読したり、また、簡単な和文仏訳を行ったり、フランス人の話す簡単な会話文を理解したりすることが出来る
(4) フランス文化についての基礎的な知識の一端を知る

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
各課の文法事項に関しては、説明とその理解度を確認する問題を解き、解説を加えていくことが中心となりますが、仏作文、会話（発話）などに関しては特に、一方的な講義形式ではなく、学生参加型の授業を行います。
課題が出た場合は、基本的に次回授業時に解答・解説を行います。基本的に授業時間内にフィードバックを行いますが、LMS などを活用する場合もあります。
疑問点や理解しきれない点などが生じたら、ためらわずに質問してください。そして、分かることの喜びを実感しながら、一緒に楽しく勉強していきましょう。
また、時間が許せば、フランス語やフランス文化に関連した話題、映像などにも触れたいと考えています。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	第 6 課 ディジョンに到着する	会話文の音読と和訳 文法の復習 代名動詞の複合過去
第 2 回	第 6 課 電車に乗る	文法の練習問題 文章読解
第 3 回	第 7 課 デジョンの街を散歩する	会話実践 会話文の音読と和訳 文法の復習 半過去
第 4 回	第 7 課 世界文化遺産の街ディジョン	文法の練習問題 文章読解
第 5 回	第 8 課 ブルゴーニュの名物料理を食べる	会話文の音読と和訳 文法の復習 接続法現在

第 6 回	第 8 課 ブルゴーニュの名物料理	文法の練習問題 文章読解
第 7 回	第 9 課 ボーヌに行く	会話実践 会話文の音読と和訳 文法の復習 勧誘表現
第 8 回	第 9 課 世界文化遺産の街ボーヌ	文法の練習問題 文章読解
第 9 回	第 10 課 ワインを試飲する	会話文の音読と和訳 文法の復習 現在分詞とジェロンディフ
第 10 回	第 10 課 ワインの試飲	文法の練習問題 文章読解
第 11 回	4 級の過去問を解く	会話実践 文章読解
第 12 回	4 級の過去問を解く	補助教材 過去問の解答・解説
第 13 回	4 級の過去問を解く	補助教材 過去問の解答・解説
第 14 回	試験	まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。事前学習としては、次回授業時に進む課の進出単語の意味と読み方を確認しておく、課題として出された練習問題を解いておく、事後学修としては、前回授業の内容を復習し、文章読解に関しては文章構造、言い回しをまとめ、記憶しておく等が挙げられます。

【テキスト（教科書）】
パリ・ブルゴーニュ（朝日出版社、2500 円）

【参考書】
辞書としては、「プチ・ロワヤル仏和辞典」「ロワイヤル仏和中辞典」（旺文社）他
文法事項の確認の為には、一年次にフランス語 1 で使用した教科書を参考にしてください。
また、仏検の受験を希望する学生には、別に、参考書・問題集などを紹介致します。

【成績評価の方法と基準】
平常点及び会話実践 40 %
期末試験の成績 (60%）により、評価します。
期末試験の方法、内容については、授業中に教員が指示をします。

【学生の意見等からの気づき】
本年度新規科目につきアンケートを実施していません。

【学生が準備すべき機器他】
教科書は勿論ですが、辞書は必須です

【その他の重要事項】
失敗を恐れず、明るく楽しく授業に参加してください。
疑問や分からないことがある場合は、すぐに質問してください。

【Outline and objectives】
Further deepen and ascertain the acquired knowledge on the basis of grammatical concepts learned over the past 1 year. We will improve reading and speaking skills through reading comprehensions written in plain French and listening practice using DVDs/CDs.

LANf200LA

フランス語３Ｉ

2017 年度以降入学者

竹本　研史

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：1 **単位**
法 2 年 T

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
法学部 2 年 T 組の学生を対象にして、2 年次以降の専門科目の学習に資するように、現代フランス語圏社会の諸問題についてのフランス語圏テクストの読解演習および聴解演習、発音演習を行う。

【到達目標】
法学部政治学科の学生が、各人の関心に応じた政治学研究を行うにあたって、簡単な内容のフランス語文献や新聞、雑誌記事を利用できるフランス語読解力をつけること、ならびに簡単な内容のテレビ、ラジオ、ネット動画などを視聴できる視聴能力を身につけることが目標である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
現代フランス語圏社会の諸問題についての初歩的なフランス語テクストを読んだり、音声を聴いたりする。
なお、学期の前半は未習部分の文法事項に関して 1 年次に使用した教科書を用いて学ぶ。
指定箇所の宿題（全訳）→ 音読練習 → 学生が発表 → 教員が既習文法事項を振り返りながら、内容を含め、関連画像・映像などを交え解説。
学生からの質問・意見や、提出物に対しては、基本的に授業時間内にフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業についての説明
第 2 回	第 19 課	受動態・現在分詞・受動態
第 3 回	第 20 課	条件法現在
第 4 回	第 21 課	接続法現在
第 5 回	復習（1）（以上、1 年次の文法教科書）	第 19-21 課の復習
第 6 回	第 1 課（以降、2 年次の教科書）	「制服への回帰」
第 7 回	第 2 課	「バカロレア改革と大学入試改革」
第 8 回	第 3 課	「ラグビー、新たな人気スポーツ？」
第 9 回	復習（2）	第 1-3 課の復習
第 10 回	第 4 課	「フランスはスタートアップの国？」
第 11 回	第 5 課	「移民とフランスの文化」
第 12 回	復習（3）	第 4-5 課の復習
第 13 回	期末試験（1）	音読試験
第 14 回	期末試験（2）・まとめと解説	筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
各課の音読と全訳を行うこと。
予習に 1 時間半から 2 時間、復習に 1 時間は必要であろう。

【テキスト（教科書）】
岡見さえ、ミカエル・デプレ『12 テーマでわかるフランス事情［改訂版］』、白水社、2021 年。定価： 1,900 円＋税
ISBN : 9784560061411

【参考書】
＊ 1 年次に用いていた「フランス語 1」の教科書
＊仏和辞典

【成績評価の方法と基準】
「教科書の全訳［30%］＋音読試験［10%］＋筆記試験［60%］」

【学生の意見等からの気づき】
なし

【その他の重要事項】
もちろん、この「フランス語 3」の授業だけでは、フランス語の運用能力を十全に身につけることは非常に困難である。本格的にフランス語の勉強を志すのであれば、選択外国語科目や総合科目のフランス語諸科目を積極的に受講してほしい。語学は筋トレである。
併せて、フランス語圏地域文化を学ぶために、ILAC のリベラルアーツ科目のフランス語圏文化に関する科目や、総合科目の辻英史先生・竹本（月曜 3 限）や大中先生（木曜 4 限）の「教養ゼミ」、それから国際文化学部のフランス語圏に関する他学部聴講科目をぜひ受講していただけたら幸いである。

【Outline and objectives】
This course introduces the foundations of the reading books and newspaper articles in French on Political Science to students taking this course.

LANf200LA

フランス語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

竹本　研史

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
法 2 年 T

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
法学部 2 年 T 組の学生を対象にして、2 年次以降の専門科目の学習に資するように、現代フランス語圏社会の諸問題についてのフランス語圏テクストの読解演習および聴解演習、発音演習を行う。

【到達目標】
法学部政治学科の学生が、各人の関心に応じた政治学研究を行うにあたって、簡単な内容のフランス語文献や新聞、雑誌記事を利用できるフランス語読解力をつけること、ならびに簡単な内容のテレビ、ラジオ、ネット動画などを視聴できる視聴能力を身につけることが目標である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
現代フランス語圏社会の諸問題についての初歩的なフランス語テクストを読んだり、音声を聴いたりする。
なお、学期の前半は未習部分の文法事項に関して 1 年次に使用した教科書を用いて学ぶ。
指定箇所の宿題（全訳）→ 音読練習 → 学生が発表 → 教員が既習文法事項を振り返りながら、内容を含め、関連画像・映像などを交え解説。
学生からの質問・意見や、提出物に対しては、基本的に授業時間内にフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	第 6 課	「パリは緑の都？」
第 2 回	第 7 課	「国立パリ・オペラ座バレエ団」
第 3 回	第 8 課	「ファッションとメセナの伝統」
第 4 回	復習（1）	第 6-8 課の復習
第 5 回	第 9 課	「2050 年、フランス語話者 7 億人！？」
第 6 回	第 10 課	「テレワーク、理想の働き方？」
第 7 回	復習（2）	第 9-10 課の復習
第 8 回	第 11 課	「文学大国・フランス」
第 9 回	第 12 課	「” パリテ” の現状と課題」
第 10 回	復習（3）	第 11-12 課の復習
第 11 回	プリント（1）	教科書レベルを超えたフランス政治・社会に関する文章を読む（1）
第 12 回	プリント（2）	教科書レベルを超えたフランス政治・社会に関する文章を読む（2）
第 13 回	期末試験（1）	音読試験
第 14 回	期末試験（2）・まとめと解説	筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
各課の音読と全訳を行うこと。
予習に 1 時間半から 2 時間、復習に 1 時間は必要であろう。

【テキスト（教科書）】
岡見さえ、ミカエル・デプレ『12 テーマでわかるフランス事情［改訂版］』、白水社、2021 年。定価： 1,900 円＋税

発行日：2021/5/1

ISBN : 9784560061411

【参考書】
＊１年次に用いていた「フランス語 1」の教科書
＊仏和辞典

【成績評価の方法と基準】
「教科書の全訳［30%］＋音読試験［10%］＋筆記試験［60%］」

【学生の意見等からの気づき】
なし

【その他の重要事項】
もちろん、この「フランス語 3」の授業だけでは、フランス語の運用能力を十全に身につけることは非常に困難である。本格的にフランス語の勉強を志すのであれば、選択外国語科目や総合科目のフランス語諸科目を積極的に受講してほしい。語学は筋トレである。
併せて、フランス語圏地域文化を学ぶために、ILAC のリベラルアーツ科目のフランス語圏文化に関する科目や、総合科目の辻英史先生・竹本（月曜 3 限）や大中先生（木曜 4 限）の「教養ゼミ」、それから国際文化学部のフランス語圏に関する他学部聴講科目をぜひ受講していただけたら幸いである。

【Outline and objectives】
This course introduces the foundations of the reading books and newspaper articles in French on Political Science to students taking this course.

LANf200LA

フランス語３Ⅰ

2017 年度以降入学者

柴崎　秀穂

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
文 2 年 A・B

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
フランスの時事についての平易なエッセイを読むことを通じ、フランス語の文法、語彙、構文の理解を深めます。しかしその前に、基本文法の未習箇所を勉強しましょう。

【到達目標】
フランス語の基本文法の理解を完成し、辞書を引きつつ、平易な文章を読めるようになること。また、仏検３級レベルへの早期の到達を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
それぞれの文法事項について、まず教師が説明し、その後学生が練習問題を解き、それについて教師が解説する、という形で授業を進めます。講読は指名された学生が音読・和訳し、それを教師が修正・解説します。教科書の練習問題の一部を「課題」とし、提出してもらった後、採点して返却、「正解と総評」を配布します。なお、大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンラインで行います。詳細は学習支援システムで伝達します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション。文法（1）。	授業の進め方。文法の総復習。
第 2 回	文法（2）。	複合過去（復習）と半過去。
第 3 回	文法（3）。	比較と最上級。
第 4 回	文法（4）。	中性代名詞。
第 5 回	文法（5）。	関係代名詞（qui,que）。
第 6 回	文法（6）。	関係代名詞（dont,où）。
第 7 回	文法（7）。	受動態。
第 8 回	文法（8）。	現在分詞とジェロンディフ。
第 9 回	文法（9）。	条件法。
第 10 回	文法（１０）。	条件法（続き）と接続法。
第 11 回	文法（１１）。	接続法（続き）。
第 12 回	講読「モン・サン・ミシェル」	テキスト第１課（前半）を読む。
第 13 回	講読「モン・サン・ミシェル」（2）。	テキスト第１課（後半）を読む。
第 14 回	期末テスト。	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習の必要はありませんが、しっかり復習し、「課題」は必ず提出してください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
「アンフォ　vol.5　フランス語でニュースを読む」、駿河台出版社。

【参考書】
仏和辞典は必ず持参すること。

【成績評価の方法と基準】
出席と授業中の発言 50 %、期末試験 50 %で総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】
テキストを新しいものに代えました。

【その他の重要事項】
若いころ短期間ですが、日仏会館日本事務所に勤務していました。仕事で使うフランス語および外国語一般について、アドバイスができると思います。また、ＴＯＥＩＣのスコアも９７５点を持っていますので、英語との比較でフランス語を解説します。

【Outline and objectives】
Reading easy essays about current affairs in France, you will improve your knowledge of French grammar and vocabulary.

LANf200LA

フランス語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

柴崎　秀穂

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
文 2 年 A・B

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
フランスの時事についての平易なエッセイを読むことを通じて、フランス語の文法、語彙、構文の理解を深めます。

【到達目標】
フランス語の基本文法の理解を完成し、辞書を引きつつ、平易な文章を読めるようになること。また、仏検３級レベルへの早期の到達を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
あらかじめ発表者を指名し、指名された学生がテキストの該当箇所を音読し、和訳します。それをもとに教師が修正・説明・和訳し、文法を再確認したり、構文を分析したりしながら、テクストを読み進めていきます。教科書の練習問題の一部を「課題」とし、提出してもらった後、採点して返却、「正解と総評」を配布します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	講読「チュニジア」（1）。	テキスト第２課（前半）を読む。
第 2 回	講読「チュニジア」（2）。	テキスト第２課（後半）を読む。
第 3 回	講読「サロン・デュ・ショコラ」（1）。	テキスト第４課（前半）を読む。
第 4 回	講読「サロン・デュ・ショコラ」（2）。	テキスト第４課（後半）を読む。
第 5 回	講読「エッフェル塔」（1）。	テキスト第５課（前半）を読む。
第 6 回	講読「エッフェル塔」（2）。	テキスト第５課（後半）を読む。
第 7 回	講読「ワーテルローの戦い」。	テキスト第６課を読む。
第 8 回	講読「ルーブル美術館」。	テキスト第１０課を読む。
第 9 回	講読「観光の女王」。	テキスト第１１課を読む。
第 10 回	講読「ブレグジット」。	テキスト第１２課を読む。
第 11 回	講読「ニースのテロ」。	テキスト第１３課を読む。
第 12 回	講読「カマンベール」。	テキスト第１４課を読む。
第 13 回	講読「フランスの出生率」。	テキスト第１５課を読む。
第 14 回	期末テスト。	試験・まとめと解説。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
指名された学生は、しっかりと準備してくること。それ以外の学生も、最低限、単語だけは調べてきてください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
「アンフォ　vol.5　フランス語でニュースを読む」、駿河台出版社。

【参考書】
仏和辞典は必ず持参すること。

【成績評価の方法と基準】
出席と授業中の発言 50 %、期末試験 50 %で総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】
テキストを新しいものに代えました。

【その他の重要事項】
若いころ短期間ですが、日仏会館日本事務所に勤務していました。仕事で使うフランス語および外国語一般について、アドヴァイスができると思います。また、TOEIC スコアも「975 点」を持っていますので、英語との比較でフランス語を解説します。

【Outline and objectives】
Reading easy essays about current affairs in France, you will improve your knowledge of French grammar and vocabulary.

LANf200LA

フランス語３Ｉ

2017 年度以降入学者

柴田　惠美

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
文 2 年 E・F

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業は、フランス語 1 に引き続き、文法知識を深め、書く・読む・発音するといったフランス語の基礎的運用能力を身に着ける事を目的としています。文法事項を理解し、練習問題をこなした上で、自分自身で簡単なフランス語の文章を書き、それをフランス語で発話する力（会話力）、ひいては、フランスやフランス文化について書かれた文章を日本語で読み解く力をつけてゆくのです。
また、聞き取りや会話力の向上の為に、DVD や CD も活用します。

【到達目標】
(1) フランス語の綴り字と発音の関係を理解し、ほぼ正確に発音できるようになる
(2) 初級で学んだ文法知識に対する理解を深める
(3) 辞書を片手に、フランス語で書かれた比較的平易な文章を解読したり、また、簡単な和文仏訳を行ったり、フランス人の話す簡単な会話文を理解したりすることが出来る
(4) フランス文化についての基礎的な知識の一端を知る

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
各課の文法事項に関しては、説明とその理解度を確認する問題を解き、解説を加えていくことが中心となりますが、仏作文、会話（発話）などに関しては特に、一方的な講義形式ではなく、学生参加型の授業を行います。
課題が出た場合は、基本的に次回授業時に解答・解説を行います。基本的に授業時間内にフィードバックを行いますが、LMS などを活用する場合もあります。
疑問点や理解しきれない点などが生じたら、ためらわずに質問してください。そして、分かることの喜びを実感しながら、一緒に楽しく勉強していきましょう。
また、時間が許せば、フランス語やフランス文化に関連した話題、映像などにも触れたいと考えています。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	今後の授業の進め方 1 年次に終了した文法事項等の確認
第 2 回	1 課　写真学校に入る	会話文の音読と和訳 文法の復習 受動態
第 3 回	1 課 フランスと写真術	文法の練習問題 文章読解
第 4 回	2 課 エッフェル等と自由の女神を見に行く	会話実践 会話文の音読と和訳 文法の復習 最上級 関係代名詞 qui,que
第 5 回	2 課 エッフェル等と自由の女神	文法の練習問題 文章読解

第 6 回	3 課 ベルシー・ヴィラージュを訪れる	会話実践 会話文の音読と和訳 文法の復習 関係代名詞 dont,où
第 7 回	3 課 ベルシー・ヴィラージュ	文法の練習問題 文章読解
第 8 回	4 課 ルイ・ヴィトン財団美術館を訪れる	会話文の音読と和訳 文法の復習 疑問代名詞
第 9 回	4 課 ルイ・ヴィトン財団美術館	文法の練習問題 文章読解
第 10 回	5 課 電話をかける	会話実践 会話文の音読と和訳 文法の復習 条件法
第 11 回	5 課　フランスの電話事情	文法の練習問題 文章読解
第 12 回	仏検 4 級をめざして 1	会話実践 文章読解
第 13 回	仏検 4 級をめざして 2	仏検 4 級の練習問題を解く
第 14 回	試験	まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。事前学習としては、次回授業時に進む課の進出単語の意味と読み方を確認しておく、課題として出された練習問題を解いておく、事後学修としては、前回授業の内容を復習し、文章読解に関しては文章構造、言い回しをまとめ、記憶しておく等が挙げられます。

【テキスト（教科書）】
パリ・ブルゴーニュ（朝日出版社、2500 円）

【参考書】
辞書としては、「プチ・ロワヤル仏和辞典」「ロワイヤル仏和中辞典」（旺文社）他
文法事項の確認の為には、一年次にフランス語 1 で使用した教科書を参考にしてください。
また、仏検の受験を希望する学生には、別に、参考書・問題集などを紹介致します。

【成績評価の方法と基準】
平常点及び会話実践 40 %
期末試験の成績 (60%）により、評価します。
期末試験の方法、内容については、授業中に教員が指示をします。

【学生の意見等からの気づき】
本年度新規科目につきアンケートを実施していません。

【学生が準備すべき機器他】
教科書は勿論ですが、辞書は必須です

【その他の重要事項】
失敗を恐れず、明るく楽しく授業に参加してください。
疑問や分からないことがある場合は、すぐに質問してください。

【Outline and objectives】
Further deepen and ascertain the acquired knowledge on the basis of grammatical concepts learned over the past 1 year. We will improve reading and speaking skills through reading comprehensions written in plain French and listening practice using DVDs/CDs.

LANf200LA

フランス語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

柴田　惠美

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
文 2 年 E・F

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業は、フランス語 1 に引き続き、文法知識を深め、書く・読む・発音するといったフランス語の基礎的運用能力を身に着ける事を目的としています。文法事項を理解し、練習問題をこなした上で、自分自身で簡単なフランス語の文章を書き、それをフランス語で発話する力（会話力)、ひいては、フランスやフランス文化について書かれた文章を日本語で読み解く力をつけてゆくのです。
また、聞き取りや会話力の向上の為に、DVD や CD も活用します。

【到達目標】
(1) フランス語の綴り字と発音の関係を理解し、ほぼ正確に発音できるようになる
(2) 初級で学んだ文法知識に対する理解を深める
(3) 辞書を片手に、フランス語で書かれた比較的平易な文章を解読したり、また、簡単な和文仏訳を行ったり、フランス人の話す簡単な会話文を理解したりすることが出来る
(4) フランス文化についての基礎的な知識の一端を知る

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
各課の文法事項に関しては、説明とその理解度を確認する問題を解き、解説を加えていくことが中心となりますが、仏作文、会話（発話）などに関しては特に、一方的な講義形式ではなく、学生参加型の授業を行います。
課題が出た場合は、基本的に次回授業時に解答・解説を行います。基本的に授業時間内にフィードバックを行いますが、LMS などを活用する場合もあります。
疑問点や理解しきれない点などが生じたら、ためらわずに質問してください。そして、分かることの喜びを実感しながら、一緒に楽しく勉強していきましょう。
また、時間が許せば、フランス語やフランス文化に関連した話題、映像などにも触れたいと考えています。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	第 6 課 ディジョンに到着する	会話文の音読と和訳 文法の復習 代名動詞の複合過去
第 2 回	第 6 課 電車に乗る	文法の練習問題 文章読解
第 3 回	第 7 課 デジョンの街を散歩する	会話実践 会話文の音読と和訳 文法の復習 半過去
第 4 回	第 7 課 世界文化遺産の街ディジョン	文法の練習問題 文章読解
第 5 回	第 8 課 ブルゴーニュの名物料理を食べる	会話文の音読と和訳 文法の復習 接続法現在

第 6 回	第 8 課 ブルゴーニュの名物料理	文法の練習問題 文章読解
第 7 回	第 9 課 ボーヌに行く	会話実践 会話文の音読と和訳 文法の復習 勧誘表現
第 8 回	第 9 課 世界文化遺産の街ボーヌ	文法の練習問題 文章読解
第 9 回	第 10 課 ワインを試飲する	文法の練習問題 文章読解
第 10 回	第 10 課 ワインの試飲	文法の練習問題 文章読解
第 11 回	4 級の過去問を解く	会話実践 文章読解
第 12 回	4 級の過去問を解く	補助教材 過去問の解答・解説
第 13 回	4 級の過去問を解く	補助教材 過去問の解答・解説
第 14 回	試験	まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。事前学習としては、次回授業時に進む課の進出単語の意味と読み方を確認しておく、課題として出された練習問題を解いておく、事後学修としては、前回授業の内容を復習し、文章読解に関しては文章構造、言い回しをまとめ、記憶しておく等が挙げられます。

【テキスト（教科書）】
パリ・ブルゴーニュ（朝日出版社、2500 円）

【参考書】
辞書としては、「プチ・ロワヤル仏和辞典」「ロワイヤル仏和中辞典」（旺文社）他
文法事項の確認の為には、一年次にフランス語 1 で使用した教科書を参考にしてください。
また、仏検の受験を希望する学生には、別に、参考書・問題集などを紹介致します。

【成績評価の方法と基準】
平常点及び会話実践 40 %
期末試験の成績 (60%）により、評価します。
期末試験の方法、内容については、授業中に教員が指示をします。

【学生の意見等からの気づき】
本年度新規科目につきアンケートを実施していません。

【学生が準備すべき機器他】
教科書は勿論ですが、辞書は必須です

【その他の重要事項】
失敗を恐れず、明るく楽しく授業に参加してください。
疑問や分からないことがある場合は、すぐに質問してください。

【Outline and objectives】
Further deepen and ascertain the acquired knowledge on the basis of grammatical concepts learned over the past 1 year. We will improve reading and speaking skills through reading comprehensions written in plain French and listening practice using DVDs/CDs.

LANf200LA

フランス語３Ｉ

2017 年度以降入学者

西川　純子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 5/Thu.5
単位数：**1 単位**
文 2 年 M

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
フランス語の文法をマスターし、発音やコミュニケーション力を高めること。

【到達目標】
平易なフランス語で書かれた文章を読むことを通して、フランス語の語彙を広げ、表現する力を培うことを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
教科書に沿って進めます。必要に応じて随時プリントを配布します。学習成果を学生が客観的に把握できるように単語テストと小テストを適宜行います。春学期はフランス語 1 で使用した教科書『Paris - Bordeaux』を使用します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス 一年生の復習	授業方針を説明 基本的なフランス語の決まり事を確認
第 2 回	第 6 課	疑問文の復習 疑問形容詞
第 3 回	第 7 課	人称代名詞 指示代名詞 il y a と Je voudrais
第 4 回	第 8 課	補語人称代名詞
第 5 回	第 8 課	定冠詞の縮約 ここまでの復習
第 6 回	第 9 課	代名動詞 中性代名詞 y
第 7 回	第 10 課	非人称構文 命令形
第 8 回	第 9 課と第 10 課	ここまでの復習
第 9 回	第 11 課	部分冠詞 中性代名詞　en （合わせて　y の復習） 数量の表現
第 10 回	第 12 課	比較級 単純未来
第 11 回	第 13 課	複合過去 半過去
第 12 回	第 14 課	条件法現在 接続法現在
第 13 回	まとめと復習	重要事項の確認と復習
第 14 回	試験	試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業の予習として、各課の対話文をわからない単語を辞書で調べながら読み、CD も聞いておくこと。復習として、授業中に出された課題を行うこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 2 時間を標準とします。とくに重要な項目を学習した後には小テストを行います。復習の際には、疑問点を残さないようにしてください。質問は授業の前後だけではなく、メールでも 24 時間受け付けます。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『Paris-Bordeaux フランスの世界遺産と美食を巡る旅 1』藤田裕二著、朝日出版社。

【参考書】
『動詞宝典 308 初・中級編』久松健一著、駿河台出版社

【成績評価の方法と基準】
小テストと単語テストで 40 %、学期末テスト 50 %、平常点 10 %。

【学生の意見等からの気づき】
学生の苦手とする箇所を重点的に補うようにします。

【学生が準備すべき機器他】
仏和と和仏の辞書を持っていることが望ましい。また、学習支援システムや教科書の web ページを利用するために、パソコン、タブレット、スマートフォン等の電子機器を持っていることが望ましい。

【その他の重要事項】
この授業についての質問は西川（junko.nishikawa.54@hosei.ac.jp）までお願いします。

【Outline and objectives】
Extension of basic skills of communication in French language.

LANf200LA

フランス語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

西川　純子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 5/Thu.5
単位数：**1 単位**
文 2 年 M

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期と同様に、フランス語の表現力、コミュニケーション力の向上を目指します。

【到達目標】
平易なフランス語で書かれた文章を読むことを通して、フランス語の語彙を広げ、表現する力を培うことを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
教科書に沿って進めます。必要に応じてプリントを配布します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	春学期の復習	春学期学習したことを復習する
第 2 回	第 1 課	受動態
第 3 回	第 1 課	疑問文の復習 疑問副詞
第 4 回	第 2 課	比較級と最上級
第 5 回	第 2 課	関係代名詞
第 6 回	第 3 課	感嘆文
第 7 回	復習	第 1 課から第 3 課の復習
第 8 回	第 4 課	疑問代名詞 lequel
第 9 回	第 4 課	不定代名詞　on
第 10 回	第 5 課	条件法
第 11 回	第 6 課	代名動詞の複合過去
第 12 回	第 7 課	半過去
第 13 回	復習	受講生から要望があった項目を重点的に復習する。
第 14 回	試験	試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業の予習として、各課の対話文をわからない単語を辞書で調べながら読み、CD も聞いておくこと。復習として、授業中に出された課題を行うこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 2 時間を標準とします。とくに重要な項目を学習した後には小テストを行います。復習の際には、疑問点を残さないようにしてください。質問は授業の前後だけではなく、メールでも 24 時間受け付けます。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『Paris - Bourgogne フランスの世界遺産と食文化を巡る旅 2 』藤田祐二著、朝日出版社

【参考書】
久松健一編　『動詞宝典　308 初・中級編』駿河台出版社

【成績評価の方法と基準】
期末試験（50%）、小テストと単語・動詞活用テスト（40%）、授業態度（10%）を総合して評価します。

【学生の意見等からの気づき】
学生の弱点を補えるよう、理解が徹底していない箇所を繰り返して学習するようにします。

【学生が準備すべき機器他】
教科書の WEB ページを参照できるように、パソコン、スマートフォン等の電子機器を用意していることが望ましい。

【その他の重要事項】
質問等があれば、西川（junko.nishikawa.54@hosei.ac.jp）までメールをください。

【Outline and objectives】
Extension of basic skills of communication in French language.

LANf200LA

フランス語３Ｉ

2017 年度以降入学者

JULIEN AGAESSE

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
文 2 年 R・T・U～W

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
フランス語のスキルを磨き、フランス語とフランス語圏の文化についての知識を深めます
Brush up French skills and deepen knowledge of French and French speaking cultures

【到達目標】
DELF A1 レベルに達する
Reach DELF A1 level

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
文章と口頭のスキルを練習して、文法と語彙を吸収させます。 グループワーク、簡単なプレゼンテーション、ゲーム、リスニング等。原則として、教室における対面授業を予定しています。ただし、大学から対面授業方針の変更が伝えられた場合はこの限りではありません。また、東京および日本全国における感染拡大状況を考慮に入れつつ、教室で行う対面授業の回数とオンラインで行う遠隔授業の回数は学期開始後に調整します。
また、授業や宿題には GoogleClassroom を使用します。
さらに、学期途中に小テストを課すことがあります。
この学期中、オンラインコースを受講する必要がある場合は、ズーム（オンライン教室）を使用します。プログラムをコンピューターにダウンロードする必要があります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Révisions / 復習	復習 これまでの事項の確認と復習
2	レッスン 1-1	詳しい自己紹介（会話、読解）
3	レッスン 1-2	詳しい自己紹介（作文、聴解）
4	レッスン 2-1	家族について（会話、読解）
5	レッスン 2-2	家族について（作文、聴解）
6	レッスン 3-1	日常生活（会話、読解）
7	レッスン 3-2	日常生活 (作文、聴解）
8	レッスン 4-1	食事・食生活（会話、聴解）
9	レッスン 4-2	食事・食生活（作文、読解）
10	レッスン 5-1	衣服・ファッション（会話、読解）
11	レッスン 5-2	衣服・ファッション（作文、聴解）
12	レッスン 6-1	買い物（会話、読解）
13	試験の復習と実践	最終試験に向けた復習
14	会話試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
・復習として、作文練習や単語、文法の問題などを与える可能性がある。
・マニュアルや資料で理解の問題がないか必ず確認してください。
・わからない言葉、意味、発音は必ず検索してください。

【テキスト（教科書）】
Titre : Interactions 2 - Niveau A1.2 - Livre de l'élève + Audio téléchargeable en ligne - 2ème édition

Auteur(s) : Gael Crépieux, Olivier Massé, Jean-Philippe Rousse
Editeur : CLE international - 2e édition (10 juillet 2020)
ISBN : 9782090386943

【参考書】
レッスン中に参考資書を伝えます。

【成績評価の方法と基準】
クラスの出席と態度 20 %
宿題、発表等　20 %
Quiz 30 %
試験　30 %

【学生の意見等からの気づき】
過去に同授業を行っていません。

【学生が準備すべき機器他】
大学のインターネットプラットフォームを介して学生にドキュメントを配る場合があります。Google ドライブと Google classroom も使用します。
第 1 回目の授業は、Zoom プログラムを使ってオンラインで行います。 ログイン情報は 4 月 3 日にお渡しします。パソコンやタブレットに Zoom ソフトをインストールしてください。
授業は隔週で Zoom のオンラインで行われます。詳細は第 1 回目の授業でお伝えします。

【その他の重要事項】
第 1 回目の授業は、Zoom プログラムを使ってオンラインで行います。 ログイン情報は 4 月 3 日にお渡しします。パソコンやタブレットに Zoom ソフトをインストールしてください。

【Outline and objectives】
DELF A1 相当の技能（会話、作文、読解、聴解など）
各ユニットは会話・読解と作文・聴解の 2 パートに分けて行われる。ただし、どの回でも常にフランス語での会話練習を実施する。
Skills equivalent to DELF A1 (conversation, composition, reading comprehension, listening comprehension, etc.)
Each unit is divided into two parts: conversation and reading comprehension and composition and listening comprehension. However, students will always practice speaking in French at any time.

LANf200LA

フランス語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

JULIEN AGAESSE

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
文 2 年 R・T・U～W

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Français audio 2 フランス語視聴覚 (初・中級) Ⅱ

【到達目標】
DELF A1 相当の技能（会話、作文、読解、聴解など）
各ユニットは会話・読解と作文・聴解の 2 パートに分けて行われる。ただし、どの回でも常にフランス語での会話練習を実施する。
Skills equivalent to DELF A1 (conversation, composition, reading comprehension, listening comprehension, etc.)
Each unit is divided into two parts: conversation and reading comprehension and composition and listening comprehension. However, students will always practice speaking in French at any time

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
文章と口頭のスキルを練習して、文法と語彙を吸収させます。 グループワーク、簡単なプレゼンテーション、ゲーム、リスニング等。原則として、教室における対面授業を予定しています。ただし、大学から対面授業方針の変更が伝えられた場合はこの限りではありません。また、東京および日本全国における感染拡大状況を考慮に入れつつ、教室で行う対面授業の回数とオンラインで行う遠隔授業の回数は学期開始後に調整します。
また、授業や宿題には GoogleClassroom を使用します。
さらに、学期途中に小テストを課すことがあります。
この学期中、オンラインコースを受講する必要がある場合は、ズーム（オンライン教室）を使用します。プログラムをコンピューターにダウンロードする必要があります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Révisions / 復習	復習 これまでの事項の確認と復習 前学期の復習
2	レッスン 7-1	フランスでの様々な手続き（会話、読解）
3	レッスン 7-2	フランスでの様々な手続き（作文、聴解）
4	レッスン 8-1	住居（会話、読解）
5	レッスン 8-2	住居（作文、聴解）
6	レッスン 9-1	健康（会話、読解）
7	レッスン 9-2	健康（作文、聴解）
8	レッスン 10-1	移動に関する表現（会話、読解）
9	レッスン 10-2	移動に関する表現（作文、読解）
10	レッスン 11-1	11-1 観光・文化（会話、読解）
11	レッスン 12-1	ヴァカンス・旅行（会話、読解）
12	レッスン 12-2	ヴァカンス・旅行（作文、聴解）
13	試験の復習と実践	最終試験に向けた復習
14	会話試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

・復習として、作文練習や単語、文法の問題などを与える可能性がある。
・マニュアルや資料で理解の問題がないか必ず確認してください。
・わからない言葉、意味、発音は必ず検索してください。

【テキスト（教科書）】
Titre : Interactions 2 - Niveau A1.2 - Livre de l'élève + Audio téléchargeable en ligne - 2ème édition
Auteur(s) : Gael Crépieux, Olivier Massé, Jean-Philippe Rousse
Editeur : CLE international - 2e édition (10 juillet 2020)

【参考書】
レッスン中に参考資書を伝えます。

【成績評価の方法と基準】
クラスの出席と態度 20 %
宿題、発表等　20 %
Quiz 30 %
試験　30 %

【学生の意見等からの気づき】
過去に同授業を行っていません。

【学生が準備すべき機器他】
特になし

【Outline and objectives】
フランス語のスキルを磨き、フランス語とフランス語圏の文化についての知識を深めます
Brush up French skills and deepen knowledge of French and French speaking cultures

LANf200LA

フランス語３Ｉ

2017 年度以降入学者

山口　雅敏

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**火** 3/Tue.3
単位数：**1 単位**
営 2 年 A～E

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
フランス語の初級文法を復習しながら、簡単なフランス語の文章を読んでいく。フランス語の読解力を養うことを目的とする。

【到達目標】
フランス語の、特に読解の面に絞ってレベル・アップを図る。履修した学生は、まじめに学習していけば、フランス語の平易な文章が読めるようになるはず。そのレベルまで、フランス語の力を伸ばすことを到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
毎回、出席者に、フランス語の文章を発音、訳読してもらう。そして、正しく訳せているか検討を加える。また、練習問題を出席者にやってもらい、答え合わせをしながら、文法的な解説をする。
授業内容に関する質問は、授業内に随時受け付ける。また、メールでも質問を受け付ける。
この授業は教室での対面で行うが、もし大学の定める行動指針がレベル２以上になった場合には、オンラインで行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業の概要の説明など
第 2 回	第１課 vous にする？　tu にする？	vous と tu の使い分けについて書かれたフランス語の文章を訳読する
第 3 回	第１課 文法の復習	所有形容詞や疑問形の復習と、練習問題
第 4 回	第２課 bise は何回？	フランス人の挨拶について書かれたフランス語の文章を訳読する
第 5 回	第２課 文法の復習	非人称構文などの復習と、練習問題
第 6 回	第３課 迷信を信じますか	迷信について書かれたフランス語の文章を訳読する
第 7 回	第３課 文法の復習	半過去などの復習と、練習問題
第 8 回	第４課 不人気なのに止められないサマータイム	サマータイムについて書かれたフランス語の文章を訳読する。
第 9 回	第４課 文法の復習	複合過去などの復習と、練習問題
第 10 回	第５課 エイプリルフールは背中に注意	エイプリルフールについて書かれたフランス語の文章を訳読する。
第 11 回	第５課 文法の復習	代名動詞などの復習と、練習問題
第 12 回	第６課 動物から学ぼう	動物について書かれたフランス語の文章を訳読する。
第 13 回	第６課 文法の復習	単純未来などの復習と、練習問題
第 14 回	全体の復習	最後のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
きちんと予習をして、授業に臨む。予習復習時間は各２時間以上を標準とする。

【テキスト（教科書）】
『読んで学ぶフランス語』久保田剛史ほか編著　朝日出版社　１９００円

【参考書】
一年次の文法テキストを参照してほしい。

【成績評価の方法と基準】
平常点（授業での発表など）を５０％、学期末テストの点数を５０％とし、それぞれの点数を合算して６０点以上を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】
フランス語を機械的に学んでいくだけだと、どうしても脱落してしまう学生がいるようなので、フランス語の学習を通じて、もっとフランスの社会や文化に興味を持ってもらえるように工夫していきたい。

【Outline and objectives】
While reviewing French beginner grammar, we read simple French sentences. It aims to cultivate French reading comprehension ability.

LANf200LA

フランス語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

山口　雅敏

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**火** 3/Tue.3
単位数：**1 単位**
営 2 年 A～E

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
フランス語の初級文法を復習しながら、簡単なフランス語の文章を読んでいく。フランス語の読解力を養うことを目的とする。

【到達目標】
フランス語の、特に読解の面に絞ってレベル・アップを図る。履修した学生は、まじめに学習していけば、フランス語の平易な文章が読めるようになるはず。そのレベルまで、フランス語の力を伸ばすことを到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
毎回、出席者に、フランス語の文章を発音、訳読してもらう。そして、正しく訳せているか検討を加える。また、練習問題を出席者にやってもらい、答え合わせをしながら、文法的な解説をする。
授業内容に関する質問は、授業内に随時受け付ける。また、メールでも質問を受け付ける。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	第７課 ロボットはどこまで進化するか	ロボットについて書かれたフランス語の文章を訳読する
第 2 回	第７課 文法の復習	前未来などの復習と、練習問題
第 3 回	第８課 君もフランコフォニーの一員	フランコフォニーについて書かれたフランス語の文章を訳読する
第 4 回	第８課 文法の復習	受動態などの復習と、練習問題
第 5 回	第９課 左利きにも優しい社会	左利きについて書かれたフランス語の文章を訳読する
第 6 回	第９課 文法の復習	条件法現在などの復習と、練習問題
第 7 回	第１０課 食品ロスを解決するには	食品ロスについて書かれたフランス語の文章を訳読する
第 8 回	第１０課 文法の復習	疑問形容詞などの復習と、練習問題
第 9 回	第１１課 簿記を学んだフランス王	フランス王について書かれたフランス語の文章を訳読する
第 10 回	第１１課 文法の復習	大過去などの復習と、練習問題
第 11 回	第１２課 熊は友達	熊について書かれたフランス語の文章を訳読する
第 12 回	第１２課 文法の復習	強調構文などの復習と、練習問題
第 13 回	第１３課 漫画が市民権を得るまで	漫画について書かれたフランス語の文章を訳読する

第 14 回　全体の復習　　最後のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
きちんと予習をして授業に臨む。予習復習時間は各２時間以上を標準とする。

【テキスト（教科書）】
『読んで学ぶフランス語』久保田剛史ほか編著　朝日出版社　１９００円

【参考書】
一年次の文法テキストを参照してほしい。

【成績評価の方法と基準】
平常点（授業での発表など）を５０％、学期末テストの点数を５０％とし、それぞれの点数を合算して６０点以上を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】
フランス語を機械的に学んでいくだけだと、どうしても脱落してしまう学生がいるようなので、フランス語の学習を通じて、もっとフランスの社会や文化に興味を持ってもらえるように工夫していきたい。

【Outline and objectives】
While reviewing French beginner grammar, we read simple French sentences.　It aims to cultivate French reading comprehension ability.

LANf200LA

フランス語３Ｉ

2017 年度以降入学者

瀬戸　和子

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
営 2 年 F～R

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
初級フランス語を学習した後、易しいテキストで、中級フランス語を学ぶ。CD, ビデオ教材を活用して、会話表現と広くフランス社会の現状を知る。

【到達目標】
初級フランス語（文法、発音、会話）を復習し、さらに中級文法項目を学ぶ。テキストの簡単な読解、聞き取り、練習問題を学習することで、広く、読み・書き・話す能力を養う。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
音声・映像をダウンロードして先ず予習しておくこと。次に文法・表現のポイント説明を受けて、練習問題に挑戦する。日常生活・旅行に役立つ会話表現を学ぶ為にまずフランス語が読めて発話出来るように復習にも時間をかけること。
今学期は対面式授業を主体としつつ、情勢によってはオンライン・オンデマンド授業になる可能性もある。それに伴う各回の授業計画の変更は、その都度提示する予定。また質問・意見・課題のフィードバックは原則授業時間内に行うが、LMS などを活用する場合もある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
①	ガイダンス 初級の復習（1） 自己紹介	人称代名詞と基本動詞の勝代
②	初級の復習（2） 過去について語る（1）	半過去形 人称代名詞強勢形
③	初級の復習（3） 過去について語る（2）	複合過去形
④	大学での専攻を言う	ジェロンディフ
⑤	数字・時刻表現	関係代名詞（1）
⑥	未来について語る	単純未来形
⑦	モノの描写	関係代名詞（2）
⑧	場所をたずねる。	代名動詞 中性代名詞（1）
⑨	方向表現	条件法（1）
⑩	人を紹介	補語人称代名詞
⑪	買い物・分量の表現	中性代名詞（2）
⑫	ボルドー案内	まとまったフランス語文を訳す
⑬	総復習	小テスト
⑭	まとめ	課題・テストの解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。初級学習の達成度で個人差がありますので、遅れている人はそれ以上の時間をかけて下さい。

【テキスト（教科書）】
カフェ・フランセ２（朝日出版））
必ず [2] の方を購入。カフェ・フランセだけだと初級テキストなので間違えないように！

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
期末テスト３０％、平常点７０％
出席重視、出席して授業中に毎回発話・課題をやることで、授業参加点とする。
上記記載の評価方法は通常の対面式授業の場合で、オンライン授業になるとこの基準は変更となる。
毎回の小さな課題提出５０％、レポート形式のやや大きな課題３０％、簡単な小テスト２０％、を考えている。

【学生の意見等からの気づき】
なし

【学生が準備すべき機器他】
テキスト・ノート・仏和辞典必携のこと

【その他の重要事項】
極力、２回続けて休まない事。⑬回目の期末テストを受ける資格は、特別の事情がない限り 10 回は出席していることが望ましい。

【Outline and objectives】
After leaning elementary grammar,students will learn Intermediate French .
They will also develop an interest in French society.

LANf200LA

フランス語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

瀬戸　和子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
営 2 年 F～R

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
初級フランス語（文法、発音、会話）を復習し、さらに中級文法項目を学ぶ。テキストの簡単な読解、聞き取り、練習問題を学習することで、広く、読み・書き・話す能力を養う。

【到達目標】
初級フランス語（文法、発音、会話）を復習し、さらに中級文法項目を学ぶ。テキストの簡単な読解、聞き取り、練習問題を学習することで、広く、読み・書き・話す能力を養う。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
音声・映像をダウンロードして先ず予習しておくこと。次に文法・表現のポイント説明を受けて、練習問題に挑戦する。日常生活・旅行に役立つ会話表現を学ぶ為にまずフランス語が読めて発話出来るように復習にも時間をかけること。
今学期は対面式授業を主体としつつ、情勢によってはオンライン・オンデマンド授業になる可能性もある。それに伴う各回の授業計画の変更は、その都度提示する予定。また質問・意見・課題のフィードバックは原則授業時間内に行うが、LMS などを活用する場合もある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
①	身体表現	疑問代名詞
②	人を招待	条件法（1）
③	提案の表現	条件法（2）
④	人の話を伝える	間接話法
⑤	レシピを読む	直接話法と間接話法
⑥	出来事の説明	大過去形 時制の一致
⑦	日常生活（家事）を語る	接続法（1）
⑧	依頼・感情（怒り・不安）表現	接続法（2）
⑨	比較表現	受動態
⑩	最上級表現	授業（過去）と能動態
⑪	人の特徴（外見）	反過去形
⑫	夢を語る	条件法（過去）
⑬	総復習	小テスト
⑭	まとめ	課題・テストの解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
前期と同じ

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
前期と同じ

【学生の意見等からの気づき】
なし

【学生が準備すべき機器他】
前期と同じ

【その他の重要事項】
前期と同じ

【Outline and objectives】
Students will learn Intermediate French.
They also develop an interest in French society/

LANf200LA

フランス語３Ｉ

2017 年度以降入学者

佐藤　正和

開講時期：春学期授業/Spring ｜ 曜日・時限：水 5/Wed.5
単位数：1 単位
営 2 年 S

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
前期の授業は、一年次に身につけたフランス語、とりわけその読解能力のアップをはかります。未習の箇所を行い、文法事項の確認を踏まえながら、将来社会にでても通用するようなより正確で迅速な読解力のレヴェル・アップをはかります。どうせやるなら、かなりのレベルまで高めたい。また、その読解を通じてさまざまなフランス文化の理解も同時に深めたいと思います。

【到達目標】
辞書さえあれば、英語で言えば高校１～２年程度の内容の文章を読むことができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
上記の到達目標を達成するために、次のような 3 つの段階を考えています。
①　　文法に注意しながら、単語を増やしながら正確に読む段階。（1 回の授業で 15 〜 25 行程度）
②　　習得した単語を踏まえ、スピードを上げて読む段階（30 〜 40 行）
③　　速読・レジュメ・内容把握問題（40 〜 50 行）
春学期では①②秋学期では②③ということになります。当然のことながら、毎回の出席と予習復習を要望します。また内容について各自考えてきてもらい、意見の交換を行います。詳しいことは、オリエンテーションで説明します。（4 月 29 日から始めます）

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
①	オリエンテーション（必ず出席のこと）	オリエンテーション
②	ロワール河の北と南１	訳読
③	ロワール河の北と南２	訳読
④	文化を生み出すカフェ１	訳読
⑤	文化を生み出すカフェ２	訳読
⑥	エコ・ライフには自転車を１	訳読
⑦	エコ・ライフには自転車を２	訳読
⑧	カンヌ・映画祭１	訳読
⑨	カンヌ・映画祭２	訳読
⑩	魅力あふれるモナコ	訳読
⑪	海洋環境復元	訳読
⑫	フランス独自の高等教育機関	訳読
⑬	昼寝のすすめ	訳読
⑭	ツール・ド・フランス	訳読

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
提示された箇所について 60 分程度の予習

【テキスト（教科書）】
『フランスさまざま』（朝日出版社）

【参考書】
特になし

【成績評価の方法と基準】
授業への積極性（40 %）
提出物（４０%）
レポート（２０%）

【学生の意見等からの気づき】
厳しかったけど、力は格段についた！ など
しっかりやってくれば、力はつきます。

【学生が準備すべき機器他】
オンラインで行うのでパソコンが必要

【その他の重要事項】
個人的な理由により本年度はオンラインでおこないます

【Outline and objectives】
Rise to a higher level of reading French

LANf200LA

フランス語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

佐藤　正和

開講時期：秋学期授業/Fall ｜ 曜日・時限：水 5/Wed.5
単位数：1 単位
営 2 年 S

他学部公開： グローバル： 成績優秀： 実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
秋学期の授業は、春学期とは異なりアトランダムな内容ではなく、テーマを絞って読むことでフランス文化の一面を体系的に学ぶことにします。将来社会にでても通用するようなより正確で迅速な読解力の養成をめざします。

【到達目標】
辞書さえあれば、容易なフランス語の文章がサラサラ読めるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
秋学期の授業の進め方。自宅で訳すというより、読んで理解しそして難しい部分だけ訳し、要約文を書く。授業の前に、要約文を提出。授業は個々人に読ませ、訳読。内容について、各自考えてきてもらい、授業において意見の交換を行う。毎回の出席と予習復習を要望します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
①	オリエンテーション（必ず出席のこと）	演習
②	上昇する出生率	演習
③	ＰＡＣＳ	演習
④	ＰＡＣＳの 10 年後（プリント）	演習
⑤	労働時間短縮の道のり	演習
⑥	35 時間労働の功罪（プリント）	演習
⑦	ヴァカンス（プリント）	演習
⑧	遠距離通勤（プリント）	演習
⑨	大学事情（プリント）	演習
⑩	女性の社会進出（プリント）	演習
⑪	ストライキ大国	演習
⑫	選挙（プリント）	演習
⑬	老後の生活（プリント）	演習
⑭	まとめ	まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
指定されたものについて 60 分程度の予習

【テキスト（教科書）】
『フランスさまざま』（朝日出版社）

【参考書】
特になし

【成績評価の方法と基準】
授業への積極性（４０%）
提出物（４０%）

レポート（２０％）

【学生の意見等からの気づき】
毎回やらないといけない。急には、力がつかない。こんな貴重な意見がありました。

【学生が準備すべき機器他】
オンラインで行うのでパソコン

【その他の重要事項】
個人的な理由で本年度はオンラインで行います

【Outline and objectives】
Rise to a higher level of reading French

LANf200LA

フランス語３Ｉ（インテンシブ）　2017 年度以降入学者

近江屋　志穂

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
法文営環 2 年（※環は旧カリ生のみ）

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
　フランス語を一年程度学習した経験があり、さらに高度なフランス語力を身につける意欲をもつ学生を対象とします。モティベーションが高い学習者向けです。
　これまで習得した文法の知識を確認しながら総合的なフランス語能力を向上させることを目的とします。

【到達目標】
・フランス語の文章を読めるようになること。
・初級文法の知識を固めること。
・フランス語を正しく発音できるようになること。
・実用フランス語技能検定試験（仏検）３～４級レベル、DELF A1～A2 レベルに到達すること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
　テキストの各課は、課題文、長文の内容に関する質問、綴りと発音の復習、文法事項の確認、文法練習問題、聞取り問題で構成されています。これらの課題をこなし、長文の訳読と音読を行います。
　進度は授業計画に記載した通りですが、受講者の習熟度を見ながら調整します。
　課題や試験へのフィードバックは授業内および学習支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Leçon 1 La passion du sport	直説法複合過去と半過去
2	Leçon 1 La passion du sport	長文読解と問題
3	Leçon 2 La lutte contre le gaspillage	人称代名詞、強勢形
4	Leçon 2 La lutte contre le gaspillage	長文読解と問題
5	Leçon 3 Simple comme bonjour	代名動詞
6	Leçon 3 Simple comme bonjour	長文読解と問題
7	Leçon 4 Pour ou contre les devoirs	中性代名詞
8	Leçon 4 Pour ou contre les devoirs	長文読解と問題
9	Leçon 5 Les bonnes manières à table	関係代名詞
10	Leçon 5 Les bonnes manières à table	長文読解と問題
11	Leçon 6 Vivement les vacances!	単純未来、命令法
12	Leçon 6 Vivement les vacances!	長文読解と問題

13	Leçon 7 Les petits noms amoureux	大過去、条件法
14	期末テスト	筆記試験・音読試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業を聞いているだけでは高度なフランス語力は身につきません。そのため予習・復習（宿題として指示します）を怠らないようにしてください。
インテンシブの授業ですので、宿題を行っていることを前提としますが、どうしても勉強する時間がないときでも、教科書で学んだ文章の音声を聞き、発音練習をするようにしてください。
本授業の準備・復習時間は、各 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
・『ヴレマン?　Vraiment? 14 leçons pour découvrir la France』澤田直、リリアンヌ・ラタンジオ、三修社、2017 年、2100 円＋税

【参考書】
文法参考書・単語集（希望者には授業内に指示します）

【成績評価の方法と基準】
平常点 50 %、音声ファイル提出 10 %、期末試験 40 %

【学生の意見等からの気づき】
特にありません。

【学生が準備すべき機器他】
仏和辞書

【Outline and objectives】
Intensive French course; developping the skills of listening, speaking, reading, and writing French in a cultural context.

LANf200LA

フランス語３Ⅱ（インテンシブ）　2017 年度以降入学者

近江屋　志穂

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
法文営環 2 年（※環は旧カリ生のみ）

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
フランス語を一年程度学習した経験があり、さらに高度なフランス語力を身につける意欲をもつ学生を対象とします。モティベーションが高い学習者向けです。
これまで習得した文法の知識を確認しながら総合的なフランス語能力を向上させることを目的とします。

【到達目標】
・フランス語の文章を読めるようになること。
・初級文法の知識を固めること。
・フランス語を正しく発音できるようになること。
・実用フランス語技能検定試験（仏検）３～４級レベル、DELF A1～A2 レベルに到達すること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
テキストの各課は、課題文、長文の内容に関する質問、綴りと発音の復習、文法事項の確認、文法練習問題、聞取り問題で構成されています。これらの課題をこなし、長文の訳読と音読を行います。
進度は授業計画に記載した通りですが、受講者の習熟度を見ながら調整します。
課題や試験へのフィードバックは授業内および学習支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Leçon 8 La philosophie pour tous	疑問詞
2	Leçon 8 La philosophie pour tous	長文読解と問題
3	Leçon 9 Les nouvelles familles	現在分詞、ジェロンディフ
4	Leçon 9 Les nouvelles familles	長文読解と問題
5	Leçon 10 La politique environnementale	接続法
6	Leçon 10 La politique environnementale	長文読解と問題
7	Leçon 11 Le bricolage	比較級、最上級、形容詞
8	Leçon 11 Le bricolage	長文読解と問題
9	Leçon 12 La folie des soldes	直接話法、間接話法
10	Leçon 12 La folie des soldes	長文読解と問題

11	Leçon 13 Le droit de grève	過去分詞
12	Leçon 13 Le droit de grève	長文読解と問題
13	Leçon 14 Il était une fois le cinéma	知覚動詞
14	期末テスト	筆記試験・音読試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業に出席するだけでは高度なフランス語力は身につきません。そのため予習・復習（宿題として指示します）を怠らないようにしてください。
インテンシブの授業ですので、宿題を行っていることを前提としますが、どうしても勉強する時間がないときでも、教科書で学んだ文章の音声を聞き、発音練習をするようにしてください。
本授業の準備・復習時間は、各 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
・『ヴレマン?　Vraiment? 14 leçons pour découvrir la France』澤田直、リリアンヌ・ラタンジオ、三修社、2017 年、2100 円＋税

【参考書】
文法参考書・単語集（希望者には授業内に指示します）

【成績評価の方法と基準】
平常点 50 %、音読ファイル提出 10 %、期末試験 40 %

【学生の意見等からの気づき】
特にありません。

【学生が準備すべき機器他】
仏和辞書

【Outline and objectives】
Intensive French course; developping the skills of listening, speaking, reading, and writing French in a cultural context.

LANf200LA

フランス語４Ｉ

2017 年度以降入学者

岡村　民夫

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火** 3/Tue.3
単位数：**1 単位**
法文営環 2 年（※環は旧カリ生のみ）

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
言語と社会は切り離せない。本授業の目的は、フランスとフランス語圏の社会と文化についての時事的文章を読み、翻訳することを通し、基礎文法を復習し、語彙を増やし、表現力を高めることである。

【到達目標】
フランス時事についての文章を読み、関連する簡単な作文ができるようになること。フランス語３級レベル程度に達成することを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
毎回、フランス時事が紹介された文章を読む。意味や文法を確認し、音読する。練習問題や短い会話練習をする。
宿題に関するフィードバックは、授業ないし hoppii を通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	教科書・授業・成績評価に関する説明 文法復習
第 2 回	１章　名前と姓	本文読解 指示代名詞
第 3 回	１章　名前と姓	本文読解 受動態
第 4 回	２章　ジャック・シラク	本文読解 複合過去
第 5 回	２章　ジャック・シラク	本文読解 半過去
第 6 回	３章　黄色いヴェスト運動	本文読解 最上級
第 7 回	３章　黄色いヴェスト運動	本文読解 最上級
第 8 回	４章　気候変動	本文読解 接続法
第 9 回	４章　気候変動	本文読解 接続法
第 10 回	８章　本物のカマンベール７	本文読解 中性代名詞
第 11 回	８章　本物のカマンベール	本文読解 中性代名詞
第 12 回	10 章　ケンゾー	本文読解 現在分詞とジェロンディフ
第 13 回	10 章　ケンゾー	本文読解 現在分詞とジェロンディフ
第 14 回	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
石井洋二郎、ミシェル・サガズ『時事フランス語　2021 年版（À la plage 2021）』（朝日出版社、1900 円＋税）

文法事項に関しては随時プリントを配布する。

【参考書】
『プチ・ロワイヤル仏和辞典』
電子辞書

【成績評価の方法と基準】
平常点（宿題を含む）50 %
期末試験 50 %

【学生の意見等からの気づき】
授業内で答え合わせをしなかった宿題に関しては、hoppii を通じて正答配布ないし添削配布をする。

【Outline and objectives】
This class aims to improve the student's reading abilities as well as increase French vocabulary.The student will be asked to read and translate texts about French society and culture. There will also de ample time to review grammar points learned in previous class.

LANf200LA

フランス語４Ⅱ

2017 年度以降入学者

岡村　民夫

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**火** 3/Tue.3
単位数：**1 単位**
法文営環 2 年（※環は旧カリ生のみ）

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
言語と社会は切り離せない。本授業の目的は、フランスとフランス語圏の社会と文化についての文章を読み、翻訳することにより、基礎文法を復習し、語彙を増やし、表現力を高めることである。

【到達目標】
フランス時事についての文章を読み、関連する簡単な作文ができるようになること。フランス語検定 3 級レベル程度に達成することを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
毎回、フランス文化や社会の側面が紹介された文章を読む。意味や文法を確認し、音読をする。多くの練習問題や短い会話練習をする。宿題に関するフィードバックは、授業ないし hoppii を通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	11 章　コロナウィルス	本文読解 複合過去
第 2 回	11 章　コロナウィルス	本文読解 複合過去
第 3 回	14 章　マルセル・プルースト	本文読解 半過去
第 4 回	14 章　マルセル・プルースト	本文読解 序数
第 5 回	15 章　レフェットリオ：連帯、エコロジー、美食	本文読解 中性代名詞 y その 1
第 6 回	15 章　レフェットリオ：連帯、エコロジー、美食	本文読解 その他の中性代名詞
第 7 回	16 章　理想宮殿 ne … ni ～ ni ～	本文読解 ne … ni ～ ni ～
第 8 回	16 章　理想宮殿	本文読解 その他の否定表現
第 9 回	18 章　パリ万国博覧会	本文読解 分詞構文
第 10 回	18 章　パリ万国博覧会	本文読解 絶対分詞構文
第 11 回	19 章　30 年前：雲仙	本文読解 単純未来
第 12 回	19 章　30 年前：雲仙	本文読解 前未来
第 13 回	補習	大過去、時制の一致等、文法の補い
第 14 回	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
事前に文章を読み、単語を辞書で調べる。音読する。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
石井洋二郎、ミシェル・サガズ『時事フランス語　2021 年版（À la plage 2021）』（朝日出版社、1900 円＋税）

【参考書】
プチ・ロワイヤル仏和辞典
電子辞書

【成績評価の方法と基準】
平常点（宿題を含む）50 %
期末試験 50 %

【学生の意見等からの気づき】
授業内で答え合わせをしなかった宿題に関しては、hoppii を通じて正答配布ないし添削配布をする。

【その他の重要事項】
初回への出席をもって受講資格としますので、初回に欠席しないように。

【Outline and objectives】
This class aims to improve the student's reading abilities as well as increase French vocabulary. The student will be asked to read and translate texts about French society and culture. There will also be ample time to review grammar points learned in previous classes.

LANf200LA

フランス語４Ｉ

2017 年度以降入学者

稲垣　正久

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**1 単位**
法文営環 2 年（※環は旧カリ生のみ）

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
簡単なフランス語のテキストを訳読することを通して、１年時に学習した文法事項に対する理解を深め、語学力の向上を目指します。また、仏和辞典の使い方も徹底的に鍛えていきます。

【到達目標】
仏和辞典があればフランス語の文章をある程度理解できるようになるレベルに到達すること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
出席者一人一人、担当の文章を訳読してもらいます。
提出物は添削したうえで次の授業で返却します。
質問等は授業の前後に受け付けます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	第１課	名前と性
第 2 回	第２課	ジャック・シラク
第 3 回	第３課	黄色いヴェスト運動
第 4 回	第４課	気候変動
第 5 回	第５課	電動キックスケーター
第 6 回	第６課	アンヌ・イダルゴ
第 7 回	第７課	L214
第 8 回	第一回小テスト（予定）	第一回小テスト（予定）
第 9 回	第８課	本物のカマンベール
第 10 回	第９課	睡眠不足
第 11 回	第１０課	ケンゾー
第 12 回	第２回小テスト（予定）	第２回小テスト（予定）
第 13 回	予備日	予備日
第 14 回	総括	まとめと期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習の必要はありません。毎回宿題が出ますから、必ずやってくること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『時事フランス語　2021 年度版』（朝日出版社）を使用します。

【参考書】
参考書は授業中に指示します。
仏和辞典を毎回必ず持参すること。

【成績評価の方法と基準】
期末試験（５０％）と二回の小テスト（各 25 ％）に平常点を加味して評価を下します。
詳しくは第一回授業で説明します。

【学生の意見等からの気づき】
学生に理解度を考慮し、進度を調整していくよう努める。

【Outline and objectives】
lecture of simple text in French language

LANf200LA

フランス語４Ⅱ

2017 年度以降入学者

稲垣　正久

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**1 単位**
法文営環 2 年（※環は旧カリ生のみ）

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
簡単なフランス語のテキストの訳読を通して、１年時に学習した文法事項の理解を深め、語学力の向上を目指します。また、仏和辞典の使い方も徹底的に鍛えていきます。

【到達目標】
仏和辞典があれば、ある程度のフランス語の文章を理解することのできるレベルに到達すること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
出席者一人一人、担当する文章を訳読してもらいます。
提出物は添削したうえで次の授業で返却します。
質問等は授業の前後に受け付けます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	第 11 課	コロナウイルス
第 2 回	第 12 課	学校での携帯電話禁止
第 3 回	第 13 課	共和制と君主制
第 4 回	第 14 課	マルセル・プルースト
第 5 回	第 15 課	レフェットリオ　―連帯、エコロジー、美食
第 6 回	第１回小テスト（予定）	第１回小テスト（予定）
第 7 回	第 16 課	理想宮殿
第 8 回	第 17 課	カンカド
第 9 回	第 18 課	パリ万国博覧会
第 10 回	第 19 課	30 年前　―雲仙
第 11 回	第 20 課	モンレアル
第 12 回	第２回小テスト（予定）	第２回小テスト（予定）
第 13 回	予備日	予備日
第 14 回	総括	まとめと期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習は必要ありません。毎回宿題が出ますので、必ずやってきてください。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『時事フランス語　２０２１年度版』（朝日出版社）

【参考書】
教室で指示します。
仏和辞典を毎回必ず持参すること。

【成績評価の方法と基準】
期末試験（５０％）と二回の小テスト（各 25 ％）に平常点を加味して評価を下します。
詳しくは第一回授業で説明します。

【学生の意見等からの気づき】
授業の進度に注意します。

【Outline and objectives】
lecture of simple texts in French language

LANf200LA

フランス語５Ｉ

2017 年度以降入学者

村松　マリ=エマニュエル

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**1 単位**
法文営環 2 年（※環は旧カリ生のみ）

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
既に基礎が学んだがまだ初級レベルにある学生として、フランス語学習のの土台を固める。特に発音やコミュニケーションに重点を置く

【到達目標】
DELF A1（フランス国民教育省が認定した公式フランス語資格）レベルの到達を目指す。It is a course to prepare DELF A1.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
教科書を使わず、プリント、ヴィデオなどを使う。会話のモデルを練習してから、学生同士で応用練習をする。また基本的に授業時間内に課題のフィードバックを行うが、メールなどを活用する場合もある
You will learn a model of conversation and practice with the other students.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
回 1	自己紹介 Introducing yourself	自己紹介、連絡先を言う Introducing yourself, telling your adress フランス語圏の国々
回 2	第三者について Talking about persons	フランスのシャンソン歌手エディット・ピアフ Edith Piaf, a french singer
回 3	好きなアーティスト Present an artist	発表：好きなアーティストを紹介する Presentation : an artist that you like
回 4	道案内 Indicating the way	駅からあなたの家までの道を説明する Indicating the way from the station to your house.
回 5	あなたの家 Your house	家のの間取りを説明する Talking among rooms and floors
回 6	日付と時間 date and time	電車のチケットを買う Buying a train ticket.
回 7	いつ、どこ、何をなどを説明する telling when, where, what	仕事状況について話す。 Talking among your work
回 8	趣味 Your hobbies a	趣味について話す Telling your hobbies.
回 9	あなたのリラクスする方法 Your relaxation way	スポーツ選手の時間割とリラクスする方法。The schedule and relaxation way of a sport champion and
回 10	食事　Food	あなたの食生活について話す。 Telling what you eat.
回 11	過去の出来事 A passed event	過去の出来事について話す・意見を言う Talking about passed events, telling your opinion.

回 12	パリ祭、クリスマスなど Bastille days celebrations, Christmas ...	フランスの伝統的な祭りを説明する Talking about traditional festivals.
回 13	日本の祭り Japanese festivals	発表：日本の祭りの紹介を発表する。Presentation : Present a japanese festival.
回 14	前期のまとめ Summary	前期で習ったことについてのクイズ Quiz

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
教科書使わず、毎回プリントを配る。No text book, only prints.

【参考書】
特になし None

【成績評価の方法と基準】
平常点 60 %＋提出する課題 40 %　Average in the class 60 %＋average of the submitted work40 %

【学生の意見等からの気づき】
特になし None

【学生が準備すべき機器他】
配られたプリントをしまうためのファイル　Folder to file the prints

【その他の重要事項】
必要に応じて、上記のプログラムを少し変えることがある。I may change the program, in case of necessity.

【None】
None

【None】
None

【None】
None

【None】
None

【None】
None

【Outline and objectives】
You are not a complete beginner but you want to speak french. This class is a conversation class. You will do exercise for hearing, speaking and learning.

LANf200LA

フランス語５Ⅱ

2017 年度以降入学者

村松　マリ=エマニュエル

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**1 単位**
法文営環 2 年（※環は旧カリ生のみ）

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春期に続いて、オーラル・コミュニケーションに重点を置いて、日常の生活の中でよくする話を練習する。

【到達目標】
DELF A1（フランス国民教育省が認定した公式フランス語資格）レベルの到達を目指す。It is a class to prepare the DELF A1.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
教科書を使わず、プリントを配る。No text book, only prints.
また基本的に授業時間内に課題のフィードバックを行うが、メールなどを活用する場合もある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
回 1	禁止　Interdictions	禁止する、許可する Prohibit and authorize フランス社会のルールについてのクイズ
回 2	可能性、能力など Possibility, capacity, etc.	可能性、能力、意志、義務を言う Expressing possibility, capacity, will and duty
回 3	提案する Proposition	提案する　Suggesting something
回 4	就職活動　Looking for a job	就職活動のアドバイス　Advise before going to a work interview フランスの就活システム
回 5	あなたのレジャー Your leisure	レジャーについて話す Talking about your leisure フランス人のレジャー
回 6	利点と難点 Advantages and disadvantages	様々のライフスタイルの利点と難点をいう。Telling the advantages and disadvantages of your lifestyle.
回 7	比較する Compare	習慣を比較する。Comparing habits.
回 8	夏休み　Summer vacation	あなたの理想な夏休みを説明する。 Telling the vacations you like the much.
回 9	子供の頃 Childhood	思い出話や子供の頃の話をする。Talking about your childhood.
回 10	過去の事項　A passed accident	事故について話す。Talking about a accident.
回 11	初めてした体験 A first experience	初めてした体験（愛、一人旅、など）を説明する。 Telling a first experience.
回 12	予定 Projects	予定を立てる。Telling your projects.
回 13	条件 Conditions	条件を言う。Telling conditions.

回 14	後期のまとめ Summary	後期で習ったことについてのクイズ Quiz

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
教科書使わず、プリントを配る。No text book, only prints.

【参考書】
特になし None

【成績評価の方法と基準】
平常点 60 %+ 提出する課題の平均点 40 %
Average in the class 60 %+ submitted exercises 40 %

【学生の意見等からの気づき】
特になし None

【学生が準備すべき機器他】
配られたプリントをしまうためのファイル folder to file your prints

【その他の重要事項】
必要に応じて、上記のプログラムを多少変えることがある。I may change a little the above program, in case of nessecity.

【None】
None

【None】
None

【None】
None

【None】
None

【None】
None

【Outline and objectives】
It is a class of oral communication following the class "French 2 I". You will learn in daily situations.

LANf200LA

フランス語４Ｉ

2017 年度以降入学者

中村　美緒

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
法文営環 2 年（※環は旧カリ生のみ）

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
フランス語で書かれた時事問題の記事を読む、講読の授業です。

【到達目標】
初見のフランス語でも正しく発音ができ、辞書で単語の意味を調べれば内容を理解することができるレベルを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
各章のテーマについての解説を読んでから、音読練習をして、日本語に訳してみましょう。読んだ内容を発展させてより詳しく調べた結果を、各回 2 名ずつパワーポイン等により発表してもらいグループディスカッションを行います。Zoom 使用の同時配信型で授業を行う場合は、音読のパートではビデオをオンにして教員の口元を確認しながら復唱してみましょう。対面で授業ができるようになった場合にも、音読・日本語訳は一人ずつで行いますが、発表とそれの内容についてのディスカッションは 4〜5 名のグループで行います。質問のやり取りや訳文の提出、発表を終えた掲示資料の提第 1 回目の授業は、Zoom を使ったオンライン上で授業と同じ時間帯に行われます。「お知らせ」に ID とパスワードを提示しますので、そちらを使って参加してください。出は、初回の授業でお伝えするメールアドレスにお願いします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回目	1．名前と姓	指示代名詞
2 回目	2．ジャック・シラク	格調高い言い回し
3 回目	3．黄色いヴェスト運動	中性代名詞
4 回目	4．気候変動	動詞から名詞への変換
5 回目	5．電動キックスケーター	無生物主語の文
6 回目	6．アンヌ・イダルゴ	序数
7 回目	7．L214(完全菜食主義団体)	比較表現
8 回目	8．本物のカマンベール	数量を伴う代名詞
9 回目	9．睡眠不足	「〜すること」という表現
10 回目	10．ケンゾー	過去時制
11 回目	11．コロナウイルス	期間をあらわす表現
12 回目	12．学校での携帯電話禁止	助動詞
13 回目	13．共和制と君主制	形容詞
14 回目	期末試験	試験または課題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。ストリーミングの音声を使って、授業までに発音を練習しておきましょう。単語の意味を調べて、内容がきちんと伝わる訳を準備しておきましょう。テーマから発展させて調べた結果をプレゼン形式で発表できるように準備しましょう。

【テキスト（教科書）】
『時事フランス語 2021 年度版』石井洋二郎、ミシェル・サガズ著 (朝日出版社)

【参考書】
特にありません

【成績評価の方法と基準】
授業中の音読・和訳・プレゼンなどの平常点 50%、期末課題または期末試験 50%で総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】
読んだ内容やプレゼンに対するグループでの意見交換の時間をもう少し増やします。

【Outline and objectives】
This is a reading class for articles on current affairs written in French.

LANf200LA

フランス語４Ⅱ

2017 年度以降入学者

中村　美緒

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
法文営環 2 年（※環は旧カリ生のみ）

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
フランス語で書かれた時事問題の記事を読む、講読の授業です。

【到達目標】
初見のフランス語でも正しく発音ができ、辞書で単語の意味を調べれば内容を理解することができるレベルを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
各章のテーマについての解説を読んでから、音読練習をして、日本語に訳してみましょう。読んだ内容を発展させてより詳しく調べた結果を、各回 2 名ずつパワーポイン等により発表してもらいグループディスカッションを行います。Zoom 使用の同時配信型で授業を行う場合は、音読のパートではビデオをオンにして教員の口元を確認しながら復唱してみましょう。対面で授業ができるようになった場合にも、音読・日本語訳は一人ずつで行いますが、発表とそれの内容についてのディスカッションは 4〜5 名のグループで行います。質問のやり取りや訳文の提出、発表を終えた掲示資料の提出は、初回の授業でお伝えするメールアドレスにお願いします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回目	14. マルセル・プルースト	半過去・複合過去時制
2 回目	15. レフェットリオ	「前者」「後者」の言い方
3 回目	16. 理想宮殿	否定表現
4 回目	17. カンカド	前置詞
5 回目	18. パリ万国博覧会	過去分詞・現在分詞
6 回目	19. 30 年前	形容詞から副詞への変換
7 回目	20. モンレアル	人称代名詞・中性代名詞
8 回目	政治記事 1	条件法
9 回目	政治記事 2	間接話法 (時制の一致)
10 回目	社会記事 1	接続法
11 回目	社会記事 2	現在分詞・ジェロンディフ
12 回目	文化記事 1	疑問詞を使う間接話法
13 回目	文化記事 2	同格・列挙の方法
14 回目	期末試験	試験または課題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。ストリーミングの音声を使って、授業までに発音を練習しておきましょう。単語の意味を調べて、内容がきちんと伝わる訳を準備しておきましょう。テーマから発展させて調べた結果をプレゼン形式で発表できるように準備しましょう。

【テキスト（教科書）】
『時事フランス語 2021 年度版』石井洋二郎、ミシェル・サガズ著 (朝日出版社)

【参考書】
特にありません

【成績評価の方法と基準】
授業中の音読・和訳・プレゼンなどの平常点 50%、期末課題または期末試験 50%で総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】
読んだ内容やプレゼンに対するグループでの意見交換の時間をもう少し増やします。

【Outline and objectives】
This is a reading class for articles on current affairs written in French.

LANf200LA

フランス語４Ｉ

2017 年度以降入学者

鈴木　正道

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：1 **単位**
法文営環 2 年（※環は旧カリ生のみ）

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業は、2 年生以上の学生を対象とします。1 年生の時に学んだ事項を復習しつつ、学びきれなかった重要項目（単純未来など）を学びつつ、４技能を身に着けることを目指します。

【到達目標】
1 年生で学んだ知識を定着させ、さらにまだ学んでいない基本事項を勉強して、フランス語の基本的な運用能力を身に付けます。
フランス語の検定試験 4 級以上、CEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）で A1 以上の力を身に付けることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
教室での授業を予定しています。
教科書は『クロワッサン 2』とあるように、『クロワッサン』という教科書の続編となっていて、2 年生から始めるのに都合よくできています。新しく学ぶ事項、あまり定着していない事項を対話文や文法のまとめを通して学びます。さらに話したり書いたりする練習問題を行います。
皆さんは学期中に数回学習支援システムを通して課題を出すことになります。私はそれを添削してやはり学習支援システムを通してお返しします。
学期末には試験を行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	授業の説明 第 1 課その 1 「君の名は？」	動詞の現在形と複合過去の復習：対話と文法
2	第 1 課その２ 主語の書き換えと作文	動詞の現在形と複合過去の復習：練習問題
3	第 2 課その１ 「彼女を紹介しましょう」	直接目的語と間接目的語、強勢形：対話と文法
4	第 2 課その２ 代名詞への書き換えと作文	直接目的語と間接目的語、強勢形：練習問題
5	第 3 課その１ 「私は６時半に起きます」	代名動詞の現在形と複合過去形：対話と文法
6	第 3 課その 2 主語の書き換えと作文	代名動詞の現在形と複合過去形：練習問題
7	第 4 課その１ 「1 台貸してあげるよ」	中性代名詞と指示代名詞：対話と文法
8	第 4 課その 2 受け答えと指示代名詞	中性代名詞と指示代名詞：練習問題
9	第 5 課その１ 「休み中何するの？」	単純未来と前未来（未来完了）：対話と文法
10	第 5 課その 2 主語の書き換えと作文	単純未来と前未来：練習問題

11	第 6 課 「日本マニアのフランス人」	読みの練習 1
12	文法補足 1-1	現在分詞と gérondif
13	授業内試験 文法補足 1-2	授業内試験 過去分詞と受動態
14	試験の復習 文法補足 1-3	試験の復習 所有代名詞

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
出版社の HP より音声をダウンロードして対話文を聞いてください。教科書の例文は声を出して読んで予習復習してください。
1-2 ： 1 課の対話文を聞いて読む。課の終わりにある表現を用いて複合過去の文を作る。複合過去の練習問題をやる。
3-4 ： 2 課の対話文を聞いて読む。課の終わりにある表現を用いて人称代名詞を使った文を作る。人称代名詞の練習問題をやる。
5-6 ： 3 課の対話文を聞いて読む。課の終わりにある表現を用いて代名動詞を使った文を作る。代名動詞の練習問題をやる。
7-8 ： 4 課の対話文を聞いて読む。課の終わりにある表現を用いて中性代名詞や指示代名詞を使った文を作る。中性代名詞や指示代名詞の練習問題をやる。
9-10 ： 5 課の対話文を聞いて読む。課の終わりにある表現を用いて単純未来や前未来の文を作る。単純未来や前未来の練習問題をやる。
11 ：６課の文章を読み、練習問題をやる。
12 ：現在分詞を学ぶ。期末試験のための復習をする。
13 ：過去分詞と受動態を学ぶ。
14 ：試験の復習をする。所有代名詞を学ぶ。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『クロワッサン 2 －もっと知りたいフランス語 *Croissant 2*』（『クロワッサン１』を買わないように）、松村博史、バンドロム・エディ著、朝日出版社

【参考書】
『かんたんフランス文法小辞典』鈴木豊、久富健　著、朝日出版社

【成績評価の方法と基準】
授業にどれだけ積極的に参加したか（問いへの答え、発話、質問、提出物など）が平常点になります。（50 %）
また期末試験を行います（50 %）

【学生の意見等からの気づき】
昨年度はもっぱら学習支援システムに出していただいた課題で評価したので、学生の皆さんにも私にも無理が生じました。私はなかなか課題を見ることができませんでしたし、学生の皆さんも出し損ねたり、間違った箇所を出したりしたりと苦労しました。今回は焦点を絞って無理のない課題提出にしたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】
1 年生の時に使った文法の本、もしくは上に挙げた文法の参考書を持ってきてください。

【Outline and objectives】
This course is designed for students who have studied French for at least one year. Reviewing what they have already learned, they will get new knowledge (among others future tense,
) in order to enhance their abilities in reading, speaking, listening and writing.

LANf200LA

フランス語４Ⅱ

2017 年度以降入学者

鈴木　正道

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**1 単位**
法文営環 2 年（※環は旧カリ生のみ）

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業は、2 年生以上の学生を対象とします。春学期のフランス語４Ｉを引き継いで 1 年生の時に学んだ事項を復習しつつ、学びきれなかった重要項目（半過去、条件法、接続法など）を学びつつ、4 技能を身に着けることを目指します。

【到達目標】
1 年生で学んだ知識を定着させ、さらにまだ学んでいない基本事項を勉強して、フランス語の基本的な運用能力を身に付けます。
フランス語の検定試験 4 級以上、CEFR（ヨーロッパ言語共通参照枠）で A1 以上の力を身に付けることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
教室での授業を予定しています。
春学期に続いて、新しく学ぶ事項、あまり定着していない事項を対話文や文法のまとめを通して学びます。さらに話したり書いたりする練習問題を行います。
また学習支援システムを通して課題を時折出すことになります。私はそれを添削してやはり学習支援システムを通してお返しします。
学期末には試験を行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	授業の説明 第 7 課その 1 「祖父母のところへ行ったものでした」	複合過去と半過去、大過去：対話と文法
2	第 7 課その２ 主語の書き換えと作文 「なんのスポーツをしていましたか」	複合過去と半過去、大過去：練習問題
3	第 8 課その１ 「成功したかったら、真剣に勉強しなくではだめだよ」	時、理由、条件を表す接続詞：対話と文法
4	第 8 課その 2 接続詞を使った練習	時、理由、条件を表す接続詞：練習問題
5	第 9 課その 1 「私があなただったらティラミスを食べてみるわよ」	条件法現在、条件法過去：対話と文法
6	第 9 課その 2 条件法を使った練習	条件法現在、条件法過去：練習問題
7	第 10 課その 1 「パリが一望できる場所よ」	関係代名詞、強調構文：対話と文法
8	第 10 課その 2 関係代名詞を使った練習 強調構文への書き換え	関係代名詞、強調構文：練習問題

9	第 11 課その 1 「僕になにをしてほしいんだい？」	接続法現在、接続法過去：対話と文法
10	第 11 課その 2 主語の書き換えと作文	接続法現在、接続法過去：練習問題
11	第 12 課 『ワッフルとムール貝ポテトの国へ』	読みの練習 2 ：動詞や関係詞の練習
12	文法補足 2-1	話法と時制の一致
13	授業内試験 分法補足 2-2	授業内試験 疑問文や命令文の間接話法
14	試験の復習 分法補足 2-3	試験の復習 単純過去

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
出版社の HP より音声をダウンロードして対話文を聞いてください。教科書の例文は声を出して読んで予習復習してください。
1-2 ： 7 課の対話文を聞いて読む。課の終わりにある表現を用いて半過去の文を作る。半過去の練習問題をやる。
3-4 ： 8 課の対話文を聞いて読む。課の終わりにある表現を用いて時、理由、条件を表す従属節を伴った文を作る。練習問題をやる。
5-6 ： 9 課の対話文を聞いて読む。課の終わりにある表現を用いて条件法の文を作る。条件法の練習問題をやる。
7-8 ： 10 課の対話文を聞いて読む。課の終わりにある表現を用いて関係代名詞を使った文や強調構文を作る。練習問題をやる。
9-10 ： 11 課の対話文を聞いて読む。課の終わりにある表現を用いて接続法の文を作る。接続法の練習問題をやる。
11 ：読み物を読む。
12 ：話法と時制の一致を学ぶ。期末試験のための復習をする。
13 ：疑問文や命令文の間接話法を学ぶ。
14 ：単純過去を学ぶ。試験の復習をする。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
春学期で用いた教科書を引き続き使います：
『クロワッサン 2 －もっと知りたいフランス語 *Croissant 2*』（『クロワッサン 1 』を買わないように）、松村博史、バンドロム・エディ著、朝日出版社

【参考書】
『かんたんフランス文法小辞典』鈴木豊、久富健　著、朝日出版社

【成績評価の方法と基準】
授業にどれだけ積極的に参加したか（問いへの答え、発話、質問、提出物など）が平常点になります。（50 %）
また期末試験を行います（50 %）

【学生の意見等からの気づき】
昨年度はもっぱら学習支援システムに出していただいた課題で評価したので、学生の皆さんにも私にも無理が生じました。私はなかなか課題を見ることができませんでしたし、学生の皆さんも出し損ねたり、間違った箇所を出したりしたりと苦労しました。今回は焦点を絞って無理のない課題提出にしたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】
1 年生の時に使った文法の本、もしくは上に挙げた文法の参考書を持ってきてください。

【Outline and objectives】
This course is designed for students who have studied French for at least one year. It is the continuation of the French 4 I (spring semester). Reviewing what they have already learned, they will get new knowledge (imparfait, conditionnel, subjonctif etc.) in order to enhance their abilities in reading, speaking, listening and writing.

LANf200LA

フランス語（3）Ｉ

2017 年度以降入学者

瀬戸　和子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**1 単位**
法 2 年 Y

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
初級フランス語を学習した後で、中級レベルの実践フランス語を身に着け、広くフランス社会・世界への関心を培う。

【到達目標】
初級フランス語の総復習を踏まえて、さらに未習の文法項目を学び、中級フランス語としての読解力、表現力の養成を目指す。またのテキストのフランス語をきちんと音読できるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科： DP1

【授業の進め方と方法】
初級文法の復習を兼ねながら中級文法・表現を学習する。音声をダウンロードして予め予習、授業で説明を受けて理解したか練習問題をやり、解説を聞いて復習。反復練習をして知識を定着させる。なお文法理解・訳出力だけでなく、テキストの音読がきちんと出来る様にする。
今学期は対面式授業を主体としつつ、情勢によってはオンライン・オンデマンド授業も併用する可能性あり。その場合は授業計画の変更を学習支援システムで指示する予定。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
①	ガイダンス 初級復習（1）	主語と、重要動詞の活用
②	初級復習 (2)	強勢形と否定疑問の答え方
③	部屋（家具）の描写	規則動詞の活用
④	パリの名所	序数詞と感嘆文
⑤	過去を語る	複合過去と半過去
⑥	願望表現（したいこと、欲しいものを言う）	avoir を使った表現
⑦	未来の計画・未来の予定	短銃未来形
⑧	仮定表現	現在形と未来形
⑨	人・モノについての感想	目的補語人称代名詞
⑩	フランスの芸術家	画家（彫刻家）の名前と作品名
⑪	パリの美術館	少し長めのフランス語文を訳す。
⑫	感情を伝える	中性代名詞
⑬	1 課から 7 課の復習	小テスト
⑭	まとめ	課題・テストの解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
必ず、指摘された箇所の仏文・練習問題は予習しておくこと。辞書を引いて、日本語の訳文にしておくこと。単語調べだけでは、不十分！ その為、、授業用のノート、単語帳（ノートに含めてもよい）を用意すること。この授業は予習重視です。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。が、初級文法の習熟度に個人差があり、遅れている人はこれ以上の時間をかけることが望ましい。

【テキスト（教科書）】
マエストロ２　（実践フランス語中級）（朝日出版）

必ず [2] を準備、マエストロ１と間違えないように。

【参考書】
参考書としては特になし。が、１年次の文法のテキストと仏和辞典は必要。

【成績評価の方法と基準】
期末テスト４０％、平常点６０％（毎回の授業参加度ーフランス語を読む力・表現力・課題の成績）
上記記載の評価方法は通常の対面式授業の場合で、オンライン授業になるとこの基準は変更となる。
毎回の小さな課題提出５０％、レポート形式のやや大きな課題３０％、簡単な小テスト２０％、を考えている。

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【学生が準備すべき機器他】
特にない

【その他の重要事項】
特になし

【Outline and objectives】
After learning elementary grammar,using an easy textbook on current French issues, students will gain an understanding of the content.They will also develop an interest in French society and the world.

LANf200LA

フランス語（３）Ⅱ

2017 年度以降入学者

瀬戸　和子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**1 単位**
法 2 年 Y

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
初級フランス語を学習した後で、実践的なフランス語を目指して中級文法・表現を学習、同時に広くフランス社会・世界への関心を培う

【到達目標】
初級フランス語の総復習を踏まえて、さらに未習の文法項目を学び、中級フランス語としての読解力・表現力の養成を目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科： DP1

【授業の進め方と方法】
初級文法の復習を兼ねながら中級文法・表現を学習する。音声をダウンロードして予め予習、授業で説明を受けて理解したか練習問題をやり、解説を聞いて復習。反復練習をして知識を定着させる。なお文法理解・訳出力だけでなく、テキストの音読がきちんと出来る様にする。
今学期は対面式授業を主体としつつ、情勢によってはオンライン・オンデマンド授業も併用する可能性あり。その場合は授業計画の変更を学習支援システムで指示する予定

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
①	相手への指示	命令文と代名詞
②	調理器具・調理に関する表現	関係代名詞（１）
③	食材（野菜）名	関係代名詞（２）
④	日常的に行く場所	関係代名詞総復習
⑤	丁寧・婉曲表現	条件法（１）
⑥	事実に反する仮定	条件法（２）
⑦	強調して伝える	条件法（過去）
⑧	フランス本土と海外県（領土）	少し長めのフランス語文を訳す
⑨	フランスの地域圏	条件法総復習
⑩	願望・必要性の表現	接続法（１）
⑪	感情・疑い・不安の表現	接続法（２）
⑫	同時性・方法・原因を述べる	ジェロンディフ
⑬	総復習	テスト
⑭	まとめ	課題・テストの解答とコメント

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
前期と同じ。予習重視。必ず自分で辞書を引いて単語を調べ、練習問題、訳出はノートに予め書いて授業にのぞむこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
前期に同じ　。マエストロ２（朝日出版）

【参考書】
特になし、が１年次の文法のテキストと仏和辞典は必要。

【成績評価の方法と基準】
前期に同じ。期末テスト５０％（訳出力３５％、内容理解力１５％）平常点（授業内、予習と発表、音読力）

オンライン授業になった時は課題５０％、レポート２０％、小テスト３０％、を考えている。

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【学生が準備すべき機器他】
特になし

【その他の重要事項】
特になし

【Outline and objectives】
After learning elementary grammar, using an easy textbook on current French issues students will gain an understanding of the content.They will also develop an interest in French society and the world.

LANf200LA

フランス語７

2017 年度以降入学者

近江屋　志穂

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
国 2 年 SA

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
4 名の教員で同じテキストを使い、フランス語の総合力を強化します。秋学期からの留学を控えた学生を対象とします。この授業では、主に文法を学習します。

【到達目標】
教科書『Le Nouveau Taxi 1!』で扱われている文法事項を確実に理解し運用できるようにします。
『Le Nouveau Taxi 1!』で扱われない文法事項は『フランス語トレーニングコース』を用いて学び、基礎文法全体の学習を終えるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
共通教科書『Le Nouveau Taxi 1!』の進度に沿い、『フランス語トレーニングコース』を用いて基礎文法を説明します。その後練習問題を解きます。適宜小テストも行います。
テストの解説・講評は授業内に行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	復習	文法練習問題
2	Unité 6 L23	補語人称代名詞
3	Unité 7 L25	中性代名詞 y, en
4	・Unité 7 L26	中性代名詞 le、所有代名詞
5	Unité 7 L27	代名動詞の現在形、複合過去形
6	・Unité 7 L27	疑問代名詞
7	Unité 8 L29	半過去形、大過去形
8	・Unité 8 L30	受動態、指示代名詞、非人称構文
9	・Unité 8 L31 ・文法補足	現在分詞、ジェロンディフ
10	文法補足	前置詞＋関係代名詞
11	Unité 9 L33	単純未来形、前未来形
12	・Unité 9 L34 ・文法補足	条件法現在、条件法過去
13	・Unité 9 L35 ・文法補足	直接話法、間接話法
14	期末試験	・筆記試験 ・答え合わせ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業準備の時間は各回 1 時間以上を標準とします。

【テキスト（教科書）】
・『Le Nouveau Taxi 1!』, Hachette, 2009
・斎藤昌三『フランス語トレーニング・コース』、白水社、2003

【参考書】
特にありません。

【成績評価の方法と基準】
平常点 50 %、期末試験 50 %

【学生の意見等からの気づき】
特に難しい文法事項に関しては説明を繰り返すようにします。

【学生が準備すべき機器他】
仏和辞書

【Outline and objectives】
This course is designed for beginners who are learning basis French grammer.

LANf200LA

フランス語８

2017 年度以降入学者

PHILIPPE JORDY

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
国 2 年 SA

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
基礎文法と初歩的な会話の復習・予習

【到達目標】
SA 先フランスの準備講座です。基礎文法と初歩的な会話の復習・予習を徹底し、留学先で困らないようしっかり最大限の準備をします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
前年度と同じテキストを使用し、同様の教授法で行いますが、学習速度はスピードアップし、語彙・慣用表現を増やし、自己表現に重点をおきます。LL 教室を使用します。基本的に授業時間内にフィードバックを行うが、LMS などを活用する場合もあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
①	Orientation	授業の紹介
	Unité 6 L23	提案
②	Unité 6 L24	面接の準備
③	Unité 7 L25	趣味、頻度、程度
④	Unité 7 L26	意見、異議
⑤	Unité 7 L27	休暇、趣味、助言
⑥	Unité 7 L28	フランス人のバカンス
	Savoir-faire	Unité 7 の応用編
⑦	Unité 8 L29	近接過去、過去の習慣
⑧	Unité 8 L30	過去の出来事、過去の状況
		中間テスト
⑨	Unité 8 L31	時間の表現、目的
⑩	Unité 8 L32	フランスの象徴
	Savoir-faire	Unité 8 の応用編
⑪	Unité 9 L33	天気予報、可能性
⑫	Unité 9 L34	未来、計画
⑬	Unité 9 L35	条件、意図
⑭	Unité 9 L36	未来、結果
		最終テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
徹底的な予習と復習が不可欠（SA フランス・西部カトリック大学の Cidef プログラムの準備として）。本授業の準備・復習時間は、２時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
学生はすでに　Le Nouveau Taxi 1　を持っています。

【参考書】
「かんたんフランス文法小辞典」、鈴木豊、他、朝日出版社

【成績評価の方法と基準】
テスト（２回以上）：５０％
宿題：３０％
参加度（積極性）：２０％
この成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標の６０％以上を達成した者を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】
発音や語彙についての練習をさらに強化します。

【学生が準備すべき機器他】
LL 教室ですが、パソコンや録音機の持ち込みは構いません。

【その他の重要事項】
原則として対面授業となりますが、数回のオンライン・オンデマンド授業の可能性があります。

【Outline and objectives】
French for beginners (3rd semester). A course focused on developing basic communication skills for students of the Study Abroad program in France.

LANf200LA

フランス語３- Ⅰ

2017 年度以降入学者

竹本　研史

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：**1 単位**
環 2 年 G～L

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
人間環境学部 2 年 G-L 組の学生を対象にして、2 年次以降の専門科目の学習に資するような、サステイナビリティを中心とした現代フランス語圏社会の諸問題についてのフランス語圏テクストの読解演習および聴解演習、発音演習を行う。

【到達目標】
人間環境学部の学生が、各人の関心に応じたサステイナビリティ研究を行うにあたって、簡単な内容のフランス語文献や新聞、雑誌記事を利用できるフランス語読解力をつけること、ならびに簡単な内容のテレビ、ラジオ、ネット動画などを視聴できる視聴能力を身につけることが目標である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
サステイナビリティを中心とした現代フランス語圏社会の諸問題についての初歩的なフランス語テクストを読んだり、音声を聴いたりする。
指定箇所の宿題（全訳）→ 音読練習 → 学生が発表 → 教員が既習文法事項を振り返りながら、内容を含め、関連画像・映像などを交え解説。
学生からの質問・意見や、提出物に対しては、基本的に授業時間内にフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業についての説明
第 2 回	第 1 課	「名前と性」
第 3 回	第 2 課	「ジャック・シラク」
第 4 回	第 3 課	「黄色いヴェスト運動」
第 5 回	第 4 課	「気候変動」
第 6 回	復習（1）	第 1-4 課の復習
第 7 回	第 5 課	「電動キックスケーター」
第 8 回	第 6 課	「アンヌ・イダルゴ」
第 9 回	第 7 課	「 L214（完全菜食主義団体）」
第 10 回	第 8 課	「本物の［傍点つき］カマンベール」
第 11 回	第 9 課	「睡眠不足」
第 12 回	復習（2）	第 5-9 課の復習
第 13 回	期末試験（1）	音読試験
第 14 回	期末試験（2）・まとめと解説	筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
各課の音読と全訳を行うこと。
予習に 1 時間半から 2 時間、復習に 1 時間は必要であろう。

【テキスト（教科書）】
石井洋二郎、ミシェル・サガズ『時事フランス語： 2021 年度版』、朝日出版社、2021 年。定価： 1,900 円＋税
ISBN : 978-4-255-35322-7

【参考書】
＊ 1 年次に用いていた「フランス語 1」の教科書

＊仏和辞典

【成績評価の方法と基準】
「教科書の全訳［30%］＋音読試験［10%］＋筆記試験［60%］」

【学生の意見等からの気づき】
なし

【その他の重要事項】
もちろん、この「フランス語 3」の授業だけでは、フランス語の運用能力を十全に身につけることは非常に困難である。本格的にフランス語の勉強を志すのであれば、選択外国語科目や総合科目のフランス語諸科目を積極的に受講してほしい。語学は筋トレである。
併せて、フランス語圏地域文化を学ぶために、ILAC のリベラルアーツ科目のフランス語圏文化に関する科目や、総合科目の辻英史先生・竹本（月曜 3 限）や大中先生（木曜 4 限）の「教養ゼミ」、それから国際文化学部のフランス語圏に関する他学部聴講科目をぜひ受講していただけたら幸いである。

【Outline and objectives】
This course introduces the foundations of the reading books and newspaper articles in French on Sustainability to students taking this course.

LANf200LA

フランス語３-Ⅱ

2017 年度以降入学者

竹本　研史

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：**1 単位**
環 2 年 G〜L

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
人間環境学部 2 年 G-L 組の学生を対象にして、2 年次以降の専門科目の学習に資するように、現代フランス語圏社会の諸問題についてのフランス語圏テクストの読解演習および聴解演習、発音演習を行う。

【到達目標】
人間環境学部の学生が、各人の関心に応じたサステイナビリティ研究を行うにあたって、簡単な内容のフランス語文献や新聞、雑誌記事を利用できるフランス語読解力をつけること、ならびに簡単な内容のテレビ、ラジオ、ネット動画などを視聴できる視聴能力を身につけることが目標である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
サステイナビリティを中心とした現代フランス語圏社会の諸問題についての初歩的なフランス語テクストを読んだり、音声を聴いたりする。
指定箇所の宿題（全訳）→ 音読練習 → 学生が発表 → 教員が既習文法事項を振り返りながら、内容を含め、関連画像・映像などを交え解説。
学生からの質問・意見や、提出物に対しては、基本的に授業時間内にフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	第 10 課	「Kenzo」
第 2 回	第 11 課	「コロナウィルス」
第 3 回	第 12 課	「学校での携帯電話禁止」
第 4 回	第 13 課	「共和制と君主制」
第 5 回	第 14 課	「マルセル・プルースト」
第 6 回	第 15 課	「レフェットリオーー連帯、エコロジー、美食」
第 7 回	復習（1）	第 10-15 課の復習
第 8 回	第 16 課	「理想宮殿」
第 9 回	第 17 課	「カンカド（50 代の青年たち）」
第 10 回	第 18 課	「パリ万国博覧会」
第 11 回	第 19 課	「30 年前ーー雲仙」
第 12 回	第 20 課	「モンレアル」
第 13 回	期末試験（1）	音読試験
第 14 回	期末試験（2）・まとめと解説	筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
各課の音読と全訳を行うこと
予習に 1 時間半から 2 時間、復習に 1 時間は必要であろう。

【テキスト（教科書）】
石井洋二郎、ミシェル・サガズ『時事フランス語： 2021 年度版』、朝日出版社、2021 年。定価： 1,900 円＋税
ISBN : 978-4-255-35322-7

【参考書】
＊ 1 年次に用いていた「フランス語 1」の教科書

＊仏和辞典

【成績評価の方法と基準】
教科書の全訳［30%］＋音読試験［10%］＋筆記試験［60%］

【学生の意見等からの気づき】
なし

【その他の重要事項】
もちろん、この「フランス語 3」の授業だけでは、フランス語の運用能力を十全に身につけることは非常に困難である。本格的にフランス語の勉強を志すのであれば、選択外国語科目や総合科目のフランス語諸科目を積極的に受講してほしい。語学は筋トレである。
併せて、フランス語圏地域文化を学ぶために、ILAC のリベラルアーツ科目のフランス語圏文化に関する科目や、総合科目の辻英史先生・竹本（月曜 3 限）や大中先生（木曜 4 限）の「教養ゼミ」、それから国際文化学部のフランス語圏に関する他学部聴講科目をぜひ受講していただけたら幸いである。

【Outline and objectives】
This course introduces the foundations of the reading books and newspaper articles in French on Sustainability to students taking this course.

LANf200LA

フランス語３- Ⅰ

2017 年度以降入学者

柴崎　秀穂

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
環 2 年 A～F

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
フランスの時事についての平易なエッセイを読むことを通じ、フランス語の文法、語彙、構文の理解を深めます。しかしその前に、基本文法の未習箇所を勉強しましょう。

【到達目標】
フランス語の基本文法の理解を完成し、辞書を引きつつ、平易な文章を読めるようになること。また、仏検３級レベルへの早期の到達を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
それぞれの文法事項について、まず教師が説明し、その後学生が練習問題を解き、それについて教師が解説する、という形で授業を進めます。講読は指名された学生が音読・和訳し、それを教師が修正・解説します。教科書の練習問題の一部を「課題」とし、提出してもらった後、採点して返却、「正解と総評」を配布します。なお、大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンラインで行います。詳細は学習支援システムで伝達します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション。文法（1）。	授業の進め方。中性代名詞。
第 2 回	文法（2）。	中性代名詞（続き）。比較。
第 3 回	文法（3）。	最上級。
第 4 回	文法（4）。	半過去。
第 5 回	文法（5）。	関係代名詞（qui,que）。
第 6 回	文法（6）。	関係代名詞（dont,où）。
第 7 回	文法（7）。	単純未来。
第 8 回	文法（8）。	受動態。
第 9 回	文法（9）。	条件法。
第 10 回	文法（１０）。	現在分詞とジェロンディフ。
第 11 回	文法（１１）。	接続法。
第 12 回	講読「スペキュロス・クッキー」	テキスト第１課（前半）を読む。
第 13 回	講読「スペキュロス・クッキー」（2）。	テキスト第１課（後半）を読む。
第 14 回	期末テスト。	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習の必要はありませんが、しっかり復習し、「課題」は必ず提出してください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
「アンフォ　vol.4　フランス語でニュースを読む」、駿河台出版社。

【参考書】
仏和辞典は必ず持参すること。

【成績評価の方法と基準】
出席と授業中の発言 50 %、期末試験 50 %で総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】
テキストをより面白いものに代えました。

【その他の重要事項】
若いころ短期間ですが、日仏会館日本事務所に勤務していました。仕事で使うフランス語および外国語一般について、アドバイスができると思います。また、ＴＯＥＩＣのスコアも９７５点を持っていますので、英語との比較でフランス語を解説します。

【Outline and objectives】
Reading easy essays about current affairs in France, you will improve your knowledge of French grammar and vocabulary.

LANf200LA

フランス語３-Ⅱ

2017 年度以降入学者

柴崎　秀穂

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
環 2 年 A～F

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
フランスの時事についての平易なエッセイを読むことを通じて、フランス語の文法、語彙、構文の理解を深めます。

【到達目標】
フランス語の基本文法の理解を完成し、辞書を引きつつ、平易な文章を読めるようになること。また、仏検３級レベルへの早期の到達を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
あらかじめ発表者を指名し、指名された学生がテキストの該当箇所を音読し、和訳します。それをもとに教師が修正・説明・和訳し、文法を再確認したり、構文を分析したりしながら、テクストを読み進めていきます。教科書の練習問題の一部を「課題」とし、提出してもらった後、採点して返却、「正解と総評」を配布します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	講読「ベルギーにおける言語の争い」（1）。	テキスト第２課（前半）を読む。
第 2 回	講読「ベルギーにおける言語の争い」（2）。	テキスト第２課（後半）を読む。
第 3 回	講読「ステーキ・フライドポテト添え」（1）。	テキスト第３課（前半）を読む。
第 4 回	講読「ステーキ・フライドポテト添え」（2）。	テキスト第３課（後半）を読む。
第 5 回	講読「サッカーとビデオ判定」（1）。	テキスト第４課（前半）を読む。
第 6 回	講読「サッカーとビデオ判定」（2）。	テキスト第４課（後半）を読む。
第 7 回	講読「トヨタとヴァランシエンヌ」。	テキスト第５課を読む。
第 8 回	講読「風力発電機」。	テキスト第６課を読む。
第 9 回	講読「アラブの春」。	テキスト第７課を読む。
第 10 回	講読「シェールガス」。	テキスト第８課を読む。
第 11 回	講読「ハラール食品」。	テキスト第１１課を読む。
第 12 回	講読「トリュフ」。	テキスト第１３課を読む。
第 13 回	講読「万聖節」。	テキスト第１５課を読む。
第 14 回	期末テスト。	試験・まとめと解説。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
指名された学生は、しっかりと準備してくること。それ以外の学生も、最低限、単語だけは調べてきてください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
「アンフォ　vol.4　フランス語でニュースを読む」、駿河台出版社。

【参考書】
仏和辞典は必ず持参すること。

【成績評価の方法と基準】
出席と授業中の発言 50 %、期末試験 50 %で総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】
テキストをより面白いものに代えました。

【その他の重要事項】
若いころ短期間ですが、日仏会館日本事務所に勤務していました。仕事で使うフランス語および外国語一般について、アドヴァイスができると思います。また、TOEIC スコアも「975 点」を持っていますので、英語との比較でフランス語を解説します。

【Outline and objectives】
Reading easy essays about current affairs in France, you will improve your knowledge of French grammar and vocabulary.

ARSa200LA

フランス語の世界ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

コルベイユ　スティーブ

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年※定員制
他学部公開：○　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は「フランス語」を介して、フランス的世界の拡がりを知ることを主たる目的とする。フランス語を話す人々の共同体や彼らの住む領域は、一般に「フランコフォニー（フランス語圏）」と呼ばれる。本授業ではそのような（フランス共和国を含めた）広い地域をも対象としつつ、各地域圏・地域・国にどのような地理・歴史的背景、言語状況、各種の文化（歴史建造物、習慣、食生活など）が存在するのかについて検討する。
「フランス的なるもの」がどのような要素で成り立っているのかを広く紹介しながら、フランス語学習の基礎作りを行うだけでなく、新たな視点から「フランス語の世界」を把握できるようにすることを目指す。
なお、春学期は主にフランス共和国本土の文化と社会について学ぶ。特に、フランスの「メディア」を分析する。
***この科目はオンラインで実施。

【到達目標】
１）フランス共和国の各地域の紹介を介して、その差異と共通性の大枠を理解できる。
２）フランコフォニー（フランス語圏）の紹介を介して、フランス語の世界的拡がりについて理解できる。
３）「フランス的なるもの」が現在どのような要素によって成り立っているのかについて、簡単に説明ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
授業については、主に講義形式で進める。各回において一つの地域または国の歴史・地理・文化を概説しながら、フランス語の世界の多様性・複雑性を解説する。また、講義形式に加えて、映像資料や音楽の視聴も取り入れることで、少しでも具体的に各地域・国を想像できるように授業を進める。
毎回の授業において学生にはコメントシートを提出してもらうことで、予習・復習のきっかけとしてもらう。期末レポートでは一つの地域または国について、選択したテーマから調査結果をまとめてもらうが、そのためにできるだけ参考資料の提示に努める。
基本的に授業時間内にフィードバックを行うが、LMS などを活用する場合もある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション：国内の歴史、県・地域圏などの成立経緯　①	・本授業の流れについて説明 ・フランス共和国及びフランコフォニーの地理・歴史について簡単に紹介
2	イントロダクション：国内の歴史、県・地域圏などの成立経緯　②	・フランス共和国及びフランコフォニーの地理・歴史について簡単に紹介

3	フランス語の方言	方言の歴史背景 フランスのテレビや映画における方言の表象 方言差別の問題
4	ノール＝パ・ド・カレー地域圏	ノール＝パ・ド・カレー地域圏の歴史と文化 フランス国内における「北」に関する偏見
5	南フランス①	プロヴァンス＝アルプ＝コート・ダジュール地域圏の歴史と文化
6	南フランス②	コルシカ地域圏の歴史と文化
7	南フランス③	フランスのメディアにおける南フランスの表象①
8	南フランス④	フランスのメディアにおける南フランスの表象②
9	ブルターニュ地域圏	ブルターニュ地域圏の歴史、文化、言語
10	フランスの広告とアール・ド・ヴィーヴル戦略	フランス国内と海外向けの観光宣伝を分析し、地方の描写を理解する
11	ジェンダー論とフランス①	フランスにおけるジェンダー論の歴史
12	ジェンダー論とフランス②	パリとフランス地方におけるジェンダー問題
13	移民とフランス	カレー地方の移民キャンプ
14	まとめ	・春学期授業のまとめ ・秋学期授業の予告：世界のフランコフォニー

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
1）各テーマに関する情報を、主に学術書や論文（場合によっては各地域圏サイト）を参照しつつ、予習・復習を行って欲しい。
2）映像資料については、多くの場合、授業内で全てを見ることができるわけではないため、できるだけ個人的に視聴して欲しい。
3）期末レポートの執筆に向けて、「きっかけ」となる「テーマや関心領域」を早めに決定して欲しい（或る程度、自分の「テーマや関心領域」を特定しないと、レポート執筆だけでなく、その準備も難しいと思われるため。）
4）期末レポートの執筆に向けて、レポート執筆の方法・手続き・注意点（特に引用の仕方、参考文献の書き方）について確りと学習しておいて欲しい。
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
・教科書は、特になし
・原則、各回において資料を配布する予定

【参考書】
Ⅰ．以下の 4 冊の参考書は、フランス共和国やフランコフォニーについて基礎知識が得られるため、簡単にでも参照するようにしてほしい。
1）剣持久木編著『よくわかるフランス近現代史』ミネルヴァ書房，2018 年．本体 2600 円＋税
2）ジャック・レヴィ編（土居佳代子訳）『地図で見るフランスハンドブック』原書房，2018 年．本体 2800 円＋税
3）ジャン＝ブノワ・ナドー，ジュリー・バーロウ著（立花英裕監修・中尾ゆかり訳）『フランス語のはなし：もうひとつの国際共通語』大修館書店，2008 年．本体 2400 円＋税
4）鳥羽美鈴著『多様性の中のフランス語：フランコフォニーについて考える』関西学院大学出版会，2012 年．本体 3400 円＋税
Ⅱ．以下の 2 冊の参考書はフランス語教科書であるが、比較的情報が充実しているため、フランス語学習者は参照してみて欲しい。
5）Fabienne Guillemin 著『Tour de France（フランス，地方を巡る旅）』駿河台出版社，2017 年．本体 1900 円＋税
6）小松祐子，Gilles Delmaire 著『Destination francophoneie: nouvelle édition（フランコフォニーへの旅：改訂版）』駿河台出版社，2019 年．本体 2300 円＋税

【成績評価の方法と基準】
【当面の間、オンラインでの開講となったことに伴い、成績評価の方法と基準も変更することになります。具体的な方法と基準は、授業開始日以降に「学習支援システム」上で公開しますので、ご確認ください。
なお、以下の評価は、対面授業の実施を前提とした従来の評価方法であるので、ご注意ください。】
・以下の項目を総合的に判断して評価する。
1）30 %：平常点（コメントシート等）
2）70 %：期末レポート

【学生の意見等からの気づき】
・初年度においては歴史的要素の説明が多くなってしまったため、もう少し他の社会文化的要素の説明にも時間をさけるように心がけたい。

【その他の重要事項】
・フランス共和国、フランコフォニー、フランス語などに関する予備知識は、受講の前提条件とはしない。

【Outline and objectives】
This course is an introduction to the different cultures and societies having in common French as a lingua franca (la francophonie), including the French Republique. Students taking this course will acquire basic knowledge regarding the geography, history, (regional) languages, literature, and media of all the regions on the syllabus. The first semester will focus on France and the second semester on other French-speaking communities.

ARSa200LA

フランス語の世界ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

コルベイユ　スティーブ

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1～4 年※定員制

他学部公開：○　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は「フランス語」を介して、フランス的世界の拡がりを知ることを主たる目的とする。フランス語を話す人々の共同体や彼らの住む領域は、一般に「フランコフォニー（フランス語圏）」と呼ばれる。本授業ではそのような（フランス共和国を含めた）広い地域をも対象としつつ、各地域圏・地域・国にどのような地理・歴史的背景、言語状況、各種の文化（歴史建造物、習慣、食生活など）が存在するのかについて検討する。

「フランス的なるもの」がどのような要素で成り立っているのかを広く紹介しながら、フランス語学習の基礎作りを行うだけでなく、新たな視点から「フランス語の世界」を把握できるようにすることを目指す。

なお、秋学期はフランス共和国本土以外の「地域圏」、そしてフランス共和国以外の「フランコフォニー」について扱い、それぞれの地域の特性について紹介・解説する。特に、様々な「メディア」媒体におけるフランス語圏の地域の描写を分析する。
*** この科目はオンラインで実施。

【到達目標】

1）フランス共和国の各地域の紹介を介して、その差異と共通性の大枠を理解できる。
2）フランコフォニー（フランス語圏）の紹介を介して、フランス語の世界的拡がりについて理解できる。
3）「フランス的なるもの」が現在どのような要素によって成り立っているのかについて、簡単に説明ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】

授業については、主に講義形式で進める。各回において一つの地域または国の歴史・地理・文化を概説しながら、フランス語の世界の多様性・複雑性を解説する。また、講義形式に加えて、映像資料や音楽の視聴も取り入れることで、少しでも具体的に各地域・国を想像できるように授業を進める。

毎回の授業において学生にはコメントシートを提出してもらうことで、予習・復習のきっかけとしてもらう。期末レポートでは一つの地域または国について、選択したテーマから調査結果をまとめてもらうが、そのためにできるだけ参考資料の提示に努める。
基本的に授業時間内にフィードバックを行うが、LMS などを活用する場合もある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション：フランス共和国外にある地域圏、フランコフォニーの成立経緯	・本授業の流れについて説明 ・フランス共和国外にある県・地域圏について簡単に紹介 ・フランコフォニーの地理・歴史について簡単に紹介
2	カリブ海域の地域圏 Martinique et Guadeloupe	・カリブ海域の地域圏に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
3	南米大陸の地域圏 Guyane française	・南米大陸の地域圏に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
4	インド洋の地域圏 Réunion et Mayotte	・インド洋の地域研に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
5	太平洋の海外領土 Nouvelle-Calédonie	・太平洋の海外領土に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
6	北米大陸のフランス語圏① Québec (Canada)	・北米大陸カナダにおけるフランコフォニーに関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
7	北米大陸のフランス語圏② Louisiane	・北米大陸アメリカ合衆国におけるフランコフォニーに関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
8	北アフリカのフランス語圏① Algérie	・マグレブ中央部のフランコフォニーに関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
9	北アフリカのフランス語圏② Maroc et Tunisie	・マグレブ西部および東部のフランコフォニーに関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
10	サハラ以南のフランス語圏① Sénégal	・サハラ以南アフリカのフランコフォニー（旧仏領）に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
11	サハラ以南のフランス語圏② Congo-Kinshasa et Congo-Brazzaville	・サハラ以南アフリカのフランコフォニー（旧仏領およびベルギー領）に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
12	サハラ以南のフランス語圏③ Rwanda	・サハラ以南アフリカのフランコフォニー（旧ベルギー領）に関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
13	ヨーロッパのフランス語圏① Belgique	・西ヨーロッパのフランコフォニーに関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など
14	ヨーロッパのフランス語圏② Suisse まとめ	・西ヨーロッパのフランコフォニーに関する解説：地理・歴史・言語・諸文化など ・秋学期授業のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

1）各地域圏に関する情報を、主に学術書や論文（場合によっては各地域圏サイト）を参照しつつ、予習・復習を行って欲しい。
2）映像資料については、多くの場合、授業内で全てを見ることができるわけではないため、できるだけ個人的に視聴して欲しい。
3）期末レポートの執筆に向けて、各地域圏を調べる際の「きっかけ」となる「テーマや関心領域」を早めに決定して欲しい（或る程度、自分の「テーマや関心領域」を特定しないと、レポート執筆だけでなく、その準備も難しいと思われるため。）
4）期末レポートの執筆に向けて、レポート執筆の方法・手続き・注意点（特に引用の仕方、参考文献の書き方）について確りと学習しておいて欲しい。
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

・教科書は、特になし
・原則、各回において資料を配布する予定

【参考書】

Ⅰ．以下の 4 冊の参考書は、フランス共和国やフランコフォニーについて基礎知識が得られるため、簡単にでも参照するようにしてほしい。
1）剣持久木編著『よくわかるフランス近現代史』ミネルヴァ書房，2018 年．本体 2600 円＋税
2）ジャック・レヴィ編（土居佳代子訳）『地図で見るフランスハンドブック』原書房，2018 年．本体 2800 円＋税
3）ジャン＝ブノワ・ナドー，ジュリー・バーロウ著（立花英裕監修・中尾ゆかり訳）『フランス語のはなし：もうひとつの国際共通語』大修館書店，2008 年．本体 2400 円＋税
4）鳥羽美鈴著『多様性の中のフランス語：フランコフォニーについて考える』関西学院大学出版会，2012 年．本体 3400 円＋税
Ⅱ．以下の 2 冊の参考書はフランス語教科書であるが、比較的情報が充実しているため、フランス語学習者は参照してみて欲しい。

５）Fabienne Guillemin 著『Tour de France（フランス，地方を巡る旅)』駿河台出版社，2017 年．本体 1900 円＋税
６）小松祐子，Gilles Delmaire 著『Destination francophoneie: nouvelle édition（フランコフォニーへの旅：改訂版)』駿河台出版社，2019 年．本体 2300 円＋税

【成績評価の方法と基準】
・以下の項目を総合的に判断して評価する。
１）30 %：平常点（コメントシート等）
２）70 %：期末レポート

【学生の意見等からの気づき】
・初年度においては歴史的要素の説明が多くなってしまったが、もう少し他の社会文化的要素の説明にも時間をさけるように心がけたい。

【その他の重要事項】
・フランス共和国、フランコフォニー、フランス語などに関する予備知識は、受講の前提条件とはしない。

【Outline and objectives】
This course is an introduction to the different cultures and societies having in common French as a lingua franca (la francophonie), including the French Republique. Students taking this course will acquire basic knowledge regarding the geography, history, (regional) languages, literature, and media of all the regions on the syllabus. The first semester will focus on France and the second semester on other French-speaking communities.

LANf200LA
フランス語コミュニケーション (初級) Ⅰ
2017 年度以降入学者

ニコラ　ガイヤール

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 1〜4 年※定員制

他学部公開：○　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか)】
初心者向けの会話の授業です。フランス人の日常生活に触れながら、フランス語のコミュニケーションの基礎を学ぶことができます。
原則として、教室における対面授業を予定しています。ただし、 大学から対面授業方針の変更が伝えられた場合はこの限りではありません。ま た、東京および日本全国における感染拡大状況を考慮に入れつつ、教室で行う対 面授業の回数とオンラインで行う遠隔授業の回数は学期開始後に調整します。

【到達目標】
この授業の目的はフランス語でのベーシックコミュニケーション能力とフランスに対する好奇心や興味を高めることです。日常生活に必要な表現を取得することができます。その上、フランス語圏の文化や社会の面白いテーマを取り上げます。聞く、読む、話す、書くの４つの能力も鍛えます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
音声で聞き取りをし、文法の練習問題を行います。その後、ペアーになり会話のロールプレーをします。また、フランス文化に関するテーマについてディスカッションをし、フランス語で文章をまとめます。基本的に授業時間内にフィードバックを行うが、LMS などを活用する場合もある

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Demander des articles	買い物する　パン屋で
2	À la poste	買い物する　郵便局で
3	Parler des quantités	量のことを話す　朝市で
4	Parler des quantités	量のことを話す　スーパーで
5	Demander le prix	値段をたずねる　文房具屋で
6	Passer une commande	注文する　魚屋さんで
7	Passer une commande	注文する　カフェで
8	Faire une réservation	予約する　ホテルで
9	Faire une réservation	予約する　駅で
10	Faire des achats	買い物する　服屋で
11	Faire des achats	買い物する　靴屋で
12	Hésiter	買い物する　花屋で
13	Prendre rendez-vous	アポを取る　歯医者で
14	Prendre rendez-vous	アポを取る　病院で

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等)】
前の授業の勉強したことを生かし会話を書いて提出します。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Communication progressive du français - Niveau débutant 出版社： CLE International 作者： Claire Miquel ISBN : 978-2-09-038445-1

【参考書】
仏和・和仏の辞書があると便利です。

【成績評価の方法と基準】
平常点 100 % (授業中の発言 50%や宿題の提出 50 %)。この授業は 5 回以上欠席する者は評価の対象外になりますので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】
フランス人の生活の話をもっとします。

【学生が準備すべき機器他】
CD プレヤー

【Outline and objectives】
In this class, students will study French conversation and culture at a beginner level. Students will improve their speaking, listening and writing skills.

LANf200LA
フランス語コミュニケーション (初級) Ⅱ
2017 年度以降入学者

ニコラ　ガイヤール

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 1〜4 年※定員制

他学部公開：○　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
初心者向けの会話の授業です。フランス人の日常生活に触れながら、フランス語のコミュニケーションの基礎を学ぶことができます。

【到達目標】
この授業の目的はフランス語でのベーシックコミュニケーション能力とフランスに対する好奇心や興味を高めることです。日常生活に必要な表現を取得することができます。その上、フランス語圏の文化や社会の面白いテーマを取り上げます。聞く、読む、話す、書くの４つの能力も鍛えます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
音声で聞き取りをし、文法の練習問題を行います。その後、ペアーになり会話のロールプレーをします。また、フランス文化に関するテーマについてディスカッションをし、フランス語で文章をまとめます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Demander des renseignements	情報を尋ねる　地下鉄で
2	Demander des renseignements	情報を尋ねる　スポーツクラブで
3	Demander des renseignements	情報を尋ねる　観光局で
4	Exprimer une obligation	義務を伝える 役所で
5	Autoriser et interdire	許す・禁じる　スキー所で
6	Vérifier	確かめる　海水浴所で
7	Protester	クレームを言う　キャンプ所で
8	Exprimer des intentions, des projets + Test	意図と計画を言う 自転車レンタル所で + 中間テスト
9	Exprimer des intentions, des projets	意図と計画を言う　銀行で
10	Localiser	位置を説明する　デパートで
11	Localiser	位置を説明する　地方で
12	Localiser	位置を説明する　紛失したものを探す
13	S'informer par téléphone	電話で問い合わせる　貸し家の賃貸
14	Comparer + Examen final	比較する　バカンスについて 期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
前の授業の勉強したことを生かし会話を書いて、提出します。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Communication progressive du français - Débutant 出版社 ： CLE International 作者： Claire Miquel ISBN：978-2-09-038445-1

【参考書】
仏和・和仏の辞書があると便利です。

【成績評価の方法と基準】
平常点 (授業中の発言 50%や宿題の提出 50 %)。この授業は 5 回以上欠席する者は評価の対象外になりますので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】
フランス人の生活をもっと話します。

【学生が準備すべき機器他】
CD プレヤー

【Outline and objectives】
In this class, students will study French conversation and culture at a beginner level. Students will improve their speaking, listening and writing skills.

LANf200LA

時事フランス語 I

2017 年度以降入学者

大中　一彌

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火 2**/Tue.2
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 1〜4 年※定員制

他学部公開：○　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Ce cours a pour but d'aider les étudiants à améliorer la compréhension sur les sociétés, la politique et les médias francophones. L'accent est mis sur la communication orale et l'utilisation de vocabulaire spécialisé. En participant aux activités proposées, ils se familiariseront avec les sites Web francophones d'actualités.

【到達目標】
Les objectifs à atteindre diffèrent selon le niveau de départ de l'étudiant.e.
* Objectif d'apprentissage pour les faux-débutants et les apprenants au niveau intermédiaire : l'étudiante ou l'étudiant sera en mesure d'acquérir, à l'issue des deux semestres de « Jiji-Furansugo » , une aptitude linguistique équivalente au niveau A2 du cadre européen de référence pour les langues ou au Futsuken jun 2 kyû.
* Objectif pédagogique pour ceux qui maîtrisent déjà plus ou moins bien la langue française (les apprenants au niveau supérieur ainsi que les étudiants internationaux francophones) : l'étudiante ou l'étudiant sera capable de formuler des commentaires pertinents qui témoignent d'une compréhension solide des enjeux locaux et mondiaux traités par les médias francophones.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
À chaque séance de cours, l'enseignant propose des matériaux disponibles sur internet. Les apprenants seront invités à en dégager les éléments essentiels. Pour ce faire, ils ont le droit de consulter les ouvrages et les dictionnaires rédigés dans leur première langue (langue dite "maternelle") respective. Tous les participants doivent néanmoins s'exprimer en langue française, et contribuer à analyser ce qui se dit dans les matériaux.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Séance 1	Pourquoi vous inscrire au cours « Jiji-Furansugo » ?	Exposer l'intérêt de cours ; engager une conversation dans un français simple; Devinettes sonores - les transports; Nos langues et le français
Séance 2	Présenter le planning du semestre	Devinettes sonores - des sons étranges; Nadine se présente.

Séance 3	Parler comme une étudiante étrangère; Les symboles de la République française	« Le métro : avec qui ? » ; « Ici, en République »
Séance 4	Parler comme un étudiant étranger; Mondialisation et produits « made in France »	« Les catacombes : avec qui ? » ; « Nous allons vivre à la française »
Séance 5	Connaître le monde francophone; s'intéresser à la mode de vie française.	« En terrasse : avec qui ? » ; « Guadeloupe, couleurs Caraïbes »
Séance 6	Culture Hip-hop et le français; manger c'est important.	« La brasserie Mollard : avec qui ? » ; « Youtubeurs et engagés »
Séance 7	Découvrir une architecture dans une ville; Namur, c'est où ?	« L'église Saint-Eustache : avec qui ? » ; « La maison »
Séance 8	Que veulent dire les titres d'un journal ? ; Comprendre les différentes fonctions dans un monde professionnel - journalisme	« Les titres du journal (2 janvier 2019) » ; « Les professions »
Séance 9	Expressions typiques dans une émission d'information (rejoindre, l'Une, etc.); Région Rhône-Alpes	« Les titres du journal en français facile du 04 février 2019 » ; « Grammaire : le présent de l'indicatif »
Séance 10	S'intéresser aux régions du monde que vous ne connaissez pas bien (Asie du sud, etc.) ; Vocabulaire informatique	« Les titres du journal en français facile du 1er mars 2019 » ; « Comment stopper la haine sur les réseaux ? »
Séance 11	Rwanda, Palestine et Paris Saint-Germain; égalité des genres	« Les titres du journal en français facile du 07 avril 2019 » ; « Droits des femmes : à quand l'égalité ? »
Séance 12	Festival de Cannes ; Canada et coronavirus	« En direct de la Croisette » ; « Canada : la pandémie aggrave la crise sociale »
Séance 13	Regarder le Japon de l'extérieur; Guerres au Moyen-Orient	« Être jeune à Damas » ; « Destination Japon »
Séance 14	Crise sanitaire mondiale; mobilisation des citoyens	« L'évolution du coronavirus » ; « Des bénévoles mobilisés au Maroc »

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- Consacrez au moins une heure par semaine pour votre travail personnel (révision et préparation) en dehors du cours.
- Assimilez la prononciation en répétant des phrases employées dans les matériaux.
- Informez-vous régulièrement sur les actualités francophones dans le monde, en regardant une émission d'information telle que « Catch ! Sekai no Top News » (NHK-BS1) URL https://www.nhk.or.jp/kokusaihoudou/catch/archive/list.html

Nota Bene : Regarder une émission d'information accompagnée d'une traduction ne remplace pas votre travail personnel sur les langues. Apprendre une langue et s'informer sur l'actualité, ce sont deux types d'entraînement tout à fait distincts.

【テキスト（教科書）】

1. Radio France Internationale - RFI Savoirs https://savoirs.rfi.fr/fr
2. TV5Monde - Apprendre le français https://apprendre.tv5monde.com/fr

【参考書】

1. Nexis Unis (Hosei University Library - E Database : Overseas Newspapers)
2. PressReader (Hosei University Library - E Database : Overseas Newspapers)
3. Cairn.info (Hosei University Library - E Database : Overseas articles)
4. Encyclopædia Universalis (Hosei University Library - E Database : Dictionaries/Encyclopedias)
5. Shogakukan Robert Grand Dictionnaire Français-Japonais (Hosei University Library - E Database : Dictionaries/Encyclopedias - « JapanKnowledge »)

Nota Bene : L'accès hors campus à ces bases de données requiert une connexion via un réseau virtuel privé (« VPN » en anglais). Consultez le site Web du service informatique de Hôsei pour savoir comment vous connecter au VPN universitaire. URL https://netsys.hosei.ac.jp/

【成績評価の方法と基準】

L'évaluation se fait en contrôle continu. À chaque séance, elle sera effectuée en deux temps : préparation de la session en amont (40%) et participation en cours (40%). L'investissement de l'étudiant.e pendant le semestre ainsi que les remarques sur les fautes commises par l'enseignant seront toujours les bienvenues et prises en compte en notation (20%).

【学生の意見等からの気づき】

Un changement majeur apporté pour l'année 2021 consiste à rédiger ce syllabus en langue française. Depuis quelques années, je constate que parmi les étudiants qui s'inscrivent à ce cours il y a de plus en plus de personnes pour qui la langue japonaise n'est pas nécessairement la langue qu'ils maîtrisent le mieux. La plupart d'entre eux n'épreuve pas de difficulté pour la communication orale en japonais, alors que la langue écrite peut parfois leur poser des problèmes. C'est pourquoi je propose le français non seulement comme « langue cible » (celle que l'étudiant.e souhaite apprendre) mais aussi comme « langue médiatrice » (celle qu'on utilise en classe), alors qu'il s'agit d'un cours de français enseigné par un non-natif.

【学生が準備すべき機器他】

La connexion internet stable et illimité ainsi qu'un support informatique personnalisé comme ordinateur, tablette ou smartphone sont nécessaires. On utilise deux plateformes (« LMS » en anglais) dont (1) Google Classroom sert principalement à partager les documents et que (2) les apprenants peuvent consulter une partie de notes sur le site Hoppii. En cas de cours en distanciel, on se servira de systèmes de visioconférence comme Zoom ou Google Meet pour assurer la continuité de l'enseignement.

【その他の重要事項】

1. 【「難しそうだし…」とこの科目の受講を迷っている方へ：プレイスメント・テスト】Si vous n'êtes pas sûr de votre niveau linguistique, essayez de passer un « test de placement » au niveau A1 sur le site Web de la RFI URL https://savoirs.rfi.fr/fr/apprendre-enseigner/langue-francaise/test-de-placement-a1/1 Inscrivez-vous à ce cours si vous pouvez répondre correctement à plus de la moitié des questions.
2. Le planning communiqué ci-dessus est encore sujet à évolution.

【Outline and objectives】
This course aims to promote students' understanding of French society, politics, and news media. An emphasis is placed on oral communication and using specialized vocabulary. By participating in proposed activities, students will become familiar with French-speaking news websites.

LANf200LA

時事フランス語Ⅱ

2017 年度以降入学者

大中　一彌

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**火** 2/Tue.2
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 1〜4 年※定員制

他学部公開：○　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
Ce cours a pour but d'aider les étudiants à améliorer la compréhension sur les sociétés, la politique et les médias francophones. L'accent est mis sur la communication orale et l'utilisation de vocabulaire spécialisé. En participant aux activités proposées, ils se familiariseront avec les sites Web francophones d'actualités.

【到達目標】
Les objectifs à atteindre diffèrent selon le niveau de départ de l'étudiant.e.
* Objectif d'apprentissage pour les faux-débutants et les apprenants au niveau intermédiaire : l'étudiante ou l'étudiant sera en mesure d'acquérir, à l'issue des deux semestres de « Jiji-Furansugo » , une aptitude linguistique équivalente au niveau A2 du cadre européen de référence pour les langues ou au Futsuken jun 2 kyû.
* Objectif pédagogique pour ceux qui maîtrisent déjà plus ou moins bien la langue française (les apprenants au niveau supérieur ainsi que les étudiants internationaux francophones) : l'étudiante ou l'étudiant sera capable de formuler des commentaires pertinents qui témoignent d'une compréhension solide des enjeux locaux et mondiaux traités par les médias francophones.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
À chaque séance de cours, l'enseignant propose des matériaux disponibles sur internet. Les apprenants seront invités à en dégager les éléments essentiels. Pour ce faire, ils ont le droit de consulter les ouvrages et les dictionnaires rédigés dans leur première langue (langue dite "maternelle") respective. Tous les participants doivent néanmoins s'exprimer en langue française, et contribuer à analyser ce qui se dit dans les matériaux.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
Séance 1	Pourquoi vous inscrire au cours « Jiji-Furansugo » ?	Exposer l'intérêt de cours ; engager une conversation dans un français simple; Devinettes sonores : les animaux; Les langues de la classe (atelier 2 - français langue maternelle)
Séance 2	Présenter le planning du semestre	Devinettes sonores : les lieux; Sous le ciel de Paris - Zaz

Séance 3	Parler comme une étudiante étrangère; jouer au journaliste en classe	« La mode : avec qui ? » ; « Flash infos (12/16) »
Séance 4	Parler comme un étudiant étranger; s'interroger sur les stéréotypes	« Le fromage : avec qui ? » ; « Un travail d'homme et de femme »
Séance 5	La vie à l'école - Cantine; parler comme une étudiante étrangère	« Les puces : avec qui ? » ; « À table (10/16) »
Séance 6	Parler comme un étudiant étranger; comment mange-t-on le midi ?	« La Poste : avec qui ? » ; « Les Français à table »
Séance 7	Raisonner par analogie; Internationaux de France de tennis	« Faire un portrait chinois de la Joconde » ; « Tennis : le stade Roland-Garros »
Séance 8	Danse et combat; profiter d'une visite guidée dans un monument architectural	« Un fan de capoeira » ; « Le Paris des grands magasins »
Séance 9	Cultiver des légumes dans un jardin; essayer de comprendre les gros titre d'une émission d'information	« Les titres du journal (11 novembre 2020) » ; « Un potager de champion »
Séance 10	Vocabulaires de base pour le journalisme politique (referendum, etc.); Le numérique à Abidjan	« Les titres du journal (01 juillet 2020) » ; « La presse et les médias »
Séance 11	Vaccinations contre le Covid-19; Construire des maisons en Afrique	« Les titres du journal (2 décembre 2020) » ; « Burkina Faso : des toits en terre »
Séance 12	Armée française et soldats africains; Populisme au Brésil	« Rendre justice aux tirailleurs sénégalais » ; « Manifestations anti-confinement à Rio »
Séance 13	Connaissez-vous le rodéo ?; La Macédoine et Albert Londres	« « Yi ha ! » » ; « Destination Les Balkans »
Séance 14	Hydroxychloroquine et George Floyd; Politique de puissance ou démocratie entre les peuples ?	« Les titres du journal (3 juin 2020) » ; « La procédure de nomination du secrétaire général de l'ONU »

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- Consacrez au moins une heure par semaine pour votre travail personnel (révision et préparation) en dehors du cours.
- Assimilez la prononciation en répétant des phrases employées dans les matériaux.
- Informez-vous régulièrement sur les actualités francophones dans le monde, en regardant une émission d'information telle que « Catch ! Sekai no Top News » (NHK-BS1) URL https://www.nhk.or.jp/kokusaihoudou/catch/archive/list.html

Nota Bene : Regarder une émission d'information accompagnée d'une traduction ne remplace pas votre travail personnel sur les langues. Apprendre une langue et s'informer sur l'actualité, ce sont deux types d'entraînement tout à fait distincts.

【テキスト（教科書）】

1. Radio France Internationale - RFI Savoirs https://savoirs.rfi.fr/fr
2. TV5Monde - Apprendre le français https://apprendre.tv5monde.com/fr

【参考書】

1. Nexis Unis (Hosei University Library - E Database : Overseas Newspapers)
2. PressReader (Hosei University Library - E Database : Overseas Newspapers)
3. Cairn.info (Hosei University Library - E Database : Overseas articles)
4. Encyclopædia Universalis (Hosei University Library - E Database : Dictionaries/Encyclopedias)
5. Shogakukan Robert Grand Dictionnaire Français-Japonais (Hosei University Library - E Database : Dictionaries/Encyclopedias - « JapanKnowledge »)

Nota Bene : L'accès hors campus à ces bases de données requiert une connexion via un réseau virtuel privé (« VPN » en anglais). Consultez le site Web du service informatique de Hôsei pour savoir comment vous connecter au VPN universitaire. URL https://netsys.hosei.ac.jp/

【成績評価の方法と基準】

L'évaluation se fait en contrôle continu. À chaque séance, elle sera effectuée en deux temps : préparation de la session en amont (40%) et participation en cours (40%). L'investissement de l'étudiant.e pendant le semestre ainsi que les remarques sur les fautes commises par l'enseignant seront toujours les bienvenues et prises en compte en notation (20%).

【学生の意見等からの気づき】

Un changement majeur apporté pour l'année 2021 consiste à rédiger ce syllabus en langue française. Depuis quelques années, je constate que parmi les étudiants qui s'inscrivent à ce cours il y a de plus en plus de personnes pour qui la langue japonaise n'est pas nécessairement la langue qu'ils maîtrisent le mieux. La plupart d'entre eux n'épreuve pas de difficulté pour la communication orale en japonais, alors que la langue écrite peut parfois leur poser des problèmes. C'est pourquoi je propose le français non seulement comme « langue cible » (celle que l'étudiant.e souhaite apprendre) mais aussi comme « langue médiatrice » (celle qu'on utilise en classe), alors qu'il s'agit d'un cours de français enseigné par un non-natif.

【学生が準備すべき機器他】

La connexion internet stable et illimité ainsi qu'un support informatique personnalisé comme ordinateur, tablette ou smartphone sont nécessaires. On utilise deux plateformes (« LMS » en anglais) dont (1) Google Classroom sert principalement à partager les documents et que (2) les apprenants peuvent consulter une partie de notes sur le site Hoppii. En cas de cours en distanciel, on se servira de systèmes de visioconférence comme Zoom ou Google Meet pour assurer la continuité de l'enseignement.

【その他の重要事項】

1. 【「難しそうだし…」とこの科目の受講を迷っている方へ：プレイスメント・テスト】Si vous n'êtes pas sûr de votre niveau linguistique, essayez de passer un « test de placement » au niveau A1 sur le site Web de la RFI URL https://savoirs.rfi.fr/fr/apprendre-enseigner/langue-francaise/test-de-placement-a1/1 Inscrivez-vous à ce cours si vous pouvez répondre correctement à plus de la moitié des questions.
2. Le planning communiqué ci-dessus est encore sujet à évolution.

【Outline and objectives】
This course aims to promote students' understanding of French society, politics, and news media. An emphasis is placed on oral communication and using specialized vocabulary. By participating in proposed activities, students will become familiar with French-speaking news websites.

ARSa200LA

フランスの文化と社会ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

鈴木　正道

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 2/Wed.2
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年※定員制
他学部公開：○　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では、音楽を通して、フランスの社会の様々な面について考えます。フランスは世界有数の観光立国ですが、人々は堅実な日常生活を営み、様々な問題を抱えています。フランス革命を通して人権宣言を発布した国でもあり、移民の長い伝統も持っています。そのような国を誰もが知っている、あるいは知る人ぞ知る曲を通して考えていきます。
フランスに関心のある学生を対象としています。フランス語を履修している必要はありません。

【到達目標】
フランスの社会についての具体的な知識を得ることが第一の目標です。そこから、日本さらには他の国との違いや共通点について考え、なぜそのような違いがあるのか、なぜ同じようなことになるのかを考えます。また音楽という言語以外の感性に訴える要素が強い媒体に込められた実社会の問題や課題を自ら探知する力を養います。
「文化論」のようなものは「実用性がない」ように言われがちですが、「衣食足りて」「モノ」から「コト」へと消費が移ってきた現在において、「文化大国」であるフランスに関する知識を身に着けることで、今後の職業生活で必要な「ネタ」を蓄え、さらには自ら探り当てる習慣を身に着けます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
誰もが知っているポップな曲からかつての世界的なヒット曲、そしてこれぞフランスと言うシャンソン、知る人ぞ知るフランスのロック、変わりゆく移民の音楽、これもフランスだったの？ と思う古典から近代の音楽、誰でも聞いたことのあるあの人気オペラまでを扱います。各回でテーマとして取り上げる曲を聴いて、歌詞や作曲の背景に関する情報から見て取れる課題、問題点を取り出します。皆さんはまた自分が製作にかかわったらという立場でいろいろ考えて見てください。
教室での授業もしくは Zoom による授業、あるいはその組み合わせによる授業を予定しています。
いずれのやり方を取ったにせよ、皆さんは学習支援システムを通して課題を 4-5 回出すことになります。私はやはり学習支援システムを通してお返しします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	授業の説明； 『オー、シャンゼリゼ』	・「オー」は「oh!」ではない／誤訳か意訳か、洋モノタイトルの翻訳 ・この歌は替え歌だった／元歌について ・なぜこの通りはかくも広く美しいのか。

2	フレンチ・ポップス	・ミシェル・ポルナレフ：スキャンダラスな反抗児; Tout tout pour ma chérie『シェリーに口づけ』？？？「シェリーとは君の事だよマイ・ダーリン」誤訳か意訳か（続） ・シルヴィ・ヴァルタン：アイドル ・フランシス・ギャル： もう一人のアイドル
3	シャンソン	・エディット・ピアフ：フランスの美空ひばり？ ・イヴ・モンタン 『枯葉』： Les Feuilles mortes から Autumn Leaves へ： しっとりピーターソンとぱさぱさエヴァンス ・シャルル・トレネ：フランスの加山雄三？
4	ロック	・ジョニー・アリデー：宇崎竜童というよりもフレンチ・どロックン・ローラー ・タイ・フォン、アトール、ゴングなど：いわゆるプログレ ・テレフォヌ：ポップ・ロック ・ダフトパンク：テクノ
5	移民の歌	・スリマヌ・アゼム：『アルジェリア、僕の美しい国』故国アルジェリアへの想い ・ダジュー：『パパ、どこなの』移民 2 世の叫び ・ザ・シンセカイ：『東京物語』フレンチヒップホップは世界にぶっ飛ぶ？
6	17 世紀ルイ王朝の音楽家たち	リュリ：イタリアから来た御前音楽家 マレ：わりと耳にすることの多い絶対王政下の音楽家
7	19 世紀の二人の移民音楽家 ショパンはポーランド人？ リストはハンガリー人？ ?	ショパン： 映画、ドラマ、街中至る所で耳にする音楽。 ピアノの詩人の一生は小説よりも奇なり。
8	宿命の？ ライヴァル ショパン：リスト＝紫式部：清少納言？	リスト： やはり映画、ドラマ、街中至る所で耳にする音楽。 大見得を切る威風堂々の大スターは手が 4 本？？
9	音の色	・ドビュッシー： CM でもおなじみの音楽。フラット 6 つで亜麻色？ 5つだと月光色？？ Gm ／ C の系譜：月の光はベルガモから秋の夢想を駆け抜け天国の階段を上って月の裏側で狂ったダイヤモンドにそそぐ。 ・ラヴェル：展覧会の絵も白黒からカラーへ シンセサイザー（画家のパレット：冨田勲）にぴったり？ ・サティ：彼も定番。シュールとポップ
10	前衛	・シンセサイザーのお父さんオンド・マルトゥノとメシアン ・具体音楽：アナログの cut and paste ・IRCAM ：今は老舗となった電子音楽の研究所
11	フランスのオペラ『カルメン』	原作はメリメの中編小説。書いたのは役人。
12	ジョルジュ・ビゼーのオペラ『カルメン』 Femme fatale（運命の／致命的な女） VS 清純派	序曲と冒頭 「ハバネラ」 「ミカエラの歌」
13	『カルメン』 スペインという異郷	「アルカラの竜騎兵」：ロマの踊りが圧巻 歌手も踊る（というよりも踊れない歌手はお呼びでない）：「鈴を打ち鳴らす」
14	『カルメン』 闘牛場の外で	「闘牛士の歌」 「行進曲」 最終場面：中の祝祭と外の破局

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
各回、予定されている曲を検索して聞いておいてください。
1-2 ：フランスや他の国の歌で日本語訳が原題と異なるものを探してなぜそうなのかを考える。
3 ：いわゆる「スタンダード」となった曲を探して、なぜそうなったのかを考える。
4 ：日仏および英米のロックを比べる。
5 ：フランスの「移民」の歌の変遷とその背景について調べる。
6-9 ：フランスのバロックから近代までの音楽を鑑賞し、その特徴についてまとめる。
10 ：フランスの「前衛」音楽をドイツなど他の国のものと比べてその特徴についてまとめる。
11 ：メリメの小説『カルメン』を読む。
12-13 ：ビゼーのオペラ『カルメン』の音楽の特徴についてまとめる。
14 ：さまざまなオペラの演出の最終場面を比べてそれぞれの特徴について考える。
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
指定した教科書はありません。学習支援システムに資料を載せます。

【参考書】
『大学生のためのレポート・論文術』小笠原喜康、講談社現代新書 1603.
『論文レポートの文章作法』古郡廷治、有斐閣新書 C164
『著作権とは何か』、福井建策、集英社新書 0924A
その他随時紹介します。

【成績評価の方法と基準】
テーマごとの作品の鑑賞と分析が一区切りついた時点で、600 字ほどの書き物を学習支援システムの「課題」を通して出していただき、その評価の合計で成績を出します（100 %）。4 -5 回出していただくことになる予定です。

【学生の意見等からの気づき】
昨年度は、課題を出していただくのが頻繁過ぎたこともあり、私のほうでもなかなかお返しすることができませんでした。今年度は絞り込んだうえでなるべく早く見たいと思います。

【Outline and objectives】
In this course students will reflect on a variety of aspects of French society with the aid of music. Although France is one of the most popular countries for tourists, people are making their living, trying to resolve different problems, just as those in other countries. France is the country where the declaration of human rights was proclaimed, she has a long history as a host country for immigrants. The students will study well-known or almost unknown musical works which will tell us these aspects of this country. This course is designed for all students who are interested in France; the knowledge of the French language is not indispensable.

ARSa200LA

フランスの文化と社会ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

鈴木　正道

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 2/Wed.2
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1～4 年※定員制

他学部公開：○　**グローバル：**　**成績優秀：**○　**実務教員：**

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では、映画を通して、フランスの社会の様々な面について考えます。フランスは世界有数の映画大国です。特に国家は映画製作に多額の補助を出しています。こうした映画を通して、フランスの人々の生活の様々な面、問題、喜びや悲しみ、苦しみが見えてきます。この授業では、フランス映画の特徴や歴史とともに、これら様々な面について考えます。
フランスに関心のある学生を対象としています。フランス語を履修している必要はありません。

【到達目標】
フランスの映画に関する知識を増やし、アメリカや日本の映画、他のヨーロッパ映画やほかの地域の映画との違いに関して考えることを目標とします。さらに映画作品から見て取れる、フランスで暮らす人々（フランス国籍を持つとは限りません）の生活、諸問題に関して考えることを目指します。そこから、日本さらには他の国との違いや共通点について考え、なぜそのような違いがあるのか、なぜ同じようなことになるのかを考えます。
「文化論」のようなものは「実用性がない」ように言われがちですが、「衣食足りて」「モノ」から「コト」へと消費が移ってきた現在において、「文化大国」であるフランスに関する知識を身に着けることで、今後の職業生活で必要な「ネタ」を蓄え、さらには自ら探り当てる習慣を身に着けます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
21 世紀に入って大ヒットした二つのいかにもフランスらしい？ 映画、アメリカのミュージカルのアンチテーゼのようなミュージカル映画、そして戦時中に創られた不朽の名作、さらに人気ナンバーワンのヒーローの映画化作品を扱います。テーマとなっている作品を鑑賞し、監督や製作者がそこに込めた意図、もしくは意識していないが見て取れる問題について考えます。また自分が製作者になった立場で場面の演出を考えてみましょう。
教室での授業もしくは Zoom による授業、あるいはその組み合わせによる授業を予定しています。
いずれのやり方を取ったにせよ、皆さんは学習支援システムを通して課題を 4-5 回出すことになります。私はやはり学習支援システムを通してお返しします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	授業の説明、 『最強のふたり』１： 2011 年のヒット作 フランス映画の特徴とは？	アメリカ映画はアクション豊富で白黒はっきり、フランス映画は曖昧で考えさせる映画？ 「ふたり」とはどんなひとたち？
2	『最強のふたり』２： 格差社会と移民	パリの郊外とは？ 富裕層の多い区域は？
3	『最強のふたり』３： 北の海岸での出会い	「介護者」とパートナー：助ける人とお膳立てする人
4	『シェルブールの雨傘』1 フランスのミュージカル； 原題そのままの邦題は何を意味しているのか	誰もが聞いたことのあるミシェル・ルグランの音楽； 1960 年代のフランスの地方都市：やはり北の港町
5	『シェルブールの雨傘』2 フランスにとっての 1960 年代はじめ	アルジェリア戦争：様々な分断
6	『シェルブールの雨傘』3 *Westside Story* の向こうを張った？	「曖昧な」結末：雪のクリスマスでの再会と別れ
7	『天井桟敷の人々』1 1945 年の大作 19 世紀のパリの下町という空間	伝説的名優勢ぞろい 「犯罪大通り」
8	『天井桟敷の人々』2 庶民にとっての劇場	「言葉」の俳優とパントマイム役者
9	『天井桟敷の人々』3 カーニバルという空間	またしても「曖昧な」結末：追いかけても追いつけない悪夢
10	『アメリ』1 2001 年の大ヒット作 パリという空間： モンマルトルからあちこちへ	空想に駆られる主人公： 他人の幸せのために
11	『アメリ』2 ・なぜヒットしたか。 ・トトゥとカソヴィッツ	・空想から現実へ ・刑事とシャネル／監督と俳優
12	『シラノ』１： 17 世紀の実在の人物をモデルにした 19 世紀末の芝居	フランスのヒーロー人気ナンバーワン：剣にすぐれて弁もたつが、思いを打ち明けられない
13	『シラノ』2 ： 17 世紀の宮廷と社会状況	préciosité とアラスの包囲
14	『シラノ』3 ： 普遍的な価値	「型破り」と自己犠牲、「身を引く」美学

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
取り上げる映画作品は授業内ではさわりの部分しか紹介できないので、興味のある人は AV ライブラリなどで借りて全体を観ておくといいかと思います。
1 ：フランス映画に関する一般的なイメージについてまとめる。
2 ：フランスの社会階層について調べる。
3 ：なぜ『最強のふたり』がヒットしたのか考える。
4 ：「ミュージカル」とは何であるかまとめる。
5 ：アルジェリア戦争について調べる。
6 ：『シェルブールの雨傘』の結末を他の作品の結末と比べて、その意味合いについて考える。
7 ：『天井桟敷の人々』が公開された 1945 年ごろのフランスの状況について調べる。
8-9 ： 19 世紀前半のパリについて調べる。
10 ：『アメリ』で紹介されるパリとその周辺の区域の特徴について調べる。
11 ：主人公を演じた俳優たちの経歴について調べる。
12 ：『シラノ・ド・ベルジュラック』の主人公のモデルとなった 17 世紀の人物について調べる。
13 ： 17 世紀当時のフランスの宮廷や社会の状況について調べる。
14 ：なぜシラノという人物が人々を惹き付けるのかを考える。
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
指定した教科書はありません。学習支援システムに資料を載せます。

【参考書】
『かしこい旅のパリガイド』（CD 付）、田中成和、渡辺隆司　著　駿河台出版社

『大学生のためのレポート・論文術』小笠原喜康、講談社現代新書 1603.
『論文レポートの文章作法』古郡廷治、有斐閣新書 C164
『著作権とは何か』、福井建策、集英社新書 0924A
その他随時紹介します。

【成績評価の方法と基準】
テーマごとの作品の鑑賞と分析が一区切りついた時点で、600 字ほどの書き物を学習支援システムの「課題」を通して出していただき、その評価の合計で成績を出します（100 %）。4 -5 回出していただくことになる予定です。

【学生の意見等からの気づき】
昨年度は、課題を出していただくのが頻繁過ぎたこともあり、私のほうでもなかなかお返しすることができませんでした。今年度は絞り込んだうえでなるべく早く見たいと思います。

【Outline and objectives】
This course deals with a variety of aspects of lives in France with the aide of the movies. France is one of the most movie-loving countries. The French government gives a large sum of subsidies to movie-makers. Through films we see different aspects of lives in France, problems, people's joys, sorrows, and pains. In this course, the students not only learn characteristics and history of French movies but reflect on these subjects which we can find in films.
This course is designed for all students who are interested in France; the knowledge of the French language is not indispensable.

ARSa200LA

フランス生活文化論ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：18-19 **世紀フランスの観光・風景・建築**

河村　英和

開講時期：**サマーセッション**/Summer Session ｜ 曜日・時限：**集中・その他**/intensive・other courses
単位数：2 **単位**
法文営国環キ 1〜4 年※定員制
他学部公開：○　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では、フランス語圏（フランスだけでなく、スイス、ベルギーも）の観光資源の歴史を学ぶ。山、海、森、川、湖、温泉といった自然風景のジャンル・地域別での観光リゾート地の派生、その発展期である 19 世紀ベル・エポックに好まれた建築様式や、愛国的なナショナリズムの高揚とともに増加する偉人像・モニュメントの数々、最後に余暇の発想源でもあるロクス・アモエヌス（心地良い場所）や幸福な島々、そして表裏一体としてのカタストロフ（破壊的事象）的風景についても考える。

【到達目標】
フランスの観光リゾート地の派生・発展からみた文化史を、当時の社会思想を踏まえつつ、関連する芸術作品（絵画、文学、音楽、建築）の事例から理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義形式。図像資料を紹介するためパワーポイントを使う。学期期間中、都内の美術館で開催されているフランス風景画展の見学を推奨する。意見や質問、提出物（リアクションペーパー）に対するフィードバックは、基本的に次の授業時間内に行うが、LMS などを活用することもある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	フランス観光旅行のイメージと歴史的背景	イントロダクションとして、本講義のテーマであるフランス観光旅行の現状イメージを確認しつつ、その史的背景と全体像を概観する。
第 2 回	山へ	パルナッソス、ヴァントゥー山、プロヴァンスの山々
第 3 回	アルプスへ	シャモニーとモンブラン、グリオン、コー、レザン、モンタナ
第 4 回	レマン湖	著名人たちゆかりのレマン湖畔の町（ジュネーヴ、ローザンヌ、モントルー、ヴヴェ、ヴィルヌーヴ）
第 5 回	田園・田舎・牧歌的風景	フェット・シャンペートル、ミルク小屋、スイス風シャレー、アルカション
第 6 回	森と岩	ファンテーヌブローの森とバルビゾン派、芸術家たちを惹きつけた岩場の風景
第 7 回	学外授業、展覧会見学	フランス風景に関する展覧会の見学を予定

第 8 回	海へ：ノルマンディーとコート・ダジュール	芸術家たちの題材となった海の風景と海浜リゾート・ノルマンディーと冬の避寒・結核転地療養地から夏の海水浴リゾートへの転身するコート・ダジュール
第 9 回	水辺と温泉	画家の題材となった川辺の風景、温泉リゾート（スパ、ヴィシー、エヴィアン）
第 10 回	中世復興、歴史主義と折衷主義のパリ	文化財保護の誕生、中世趣味の流行（トゥルバドゥール様式絵画、ネオ・ロマネスク建築、ゴシック大聖堂の再評価）、古代ローマ風、ネオ・ルネサンス、ネオ・バロック建築で溢れる 19 世紀パリ大改造とグランド・ホテル
第 11 回	学外授業、展覧会見学	フランス風景に関する展覧会の見学を予定
第 12 回	マリアンヌ、ジャンヌ、ヴィエルジュ	ナショナリズムが台頭する 19 世紀に、愛国のシンボルとして急増したマリアンヌ、ジャンヌ・ダルク、聖母（ヴィエルジュ）像について
第 13 回	国家の記念碑	ナポレオン像、偉人たちの墓、エッフェル塔など国家の威信をかけたモニュメント
第 14 回	楽園とカタストロフ	ロクス・アモエヌスとしての島々と破壊的事象（カタストロフ）的風景への関心

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
気になる（なった）ことを調べたり、授業で出てきた場所を、グーグルストリートヴューで歩いてみる。
本授業の準備・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
毎講義ごとにプリント資料を配布する。オンライン授業のさいは、google classroom（予定）にて pdf 版を配信。

【参考書】
河村英和『観光大国スイスの誕生－「辺境」から「崇高なる美の国」へ』平凡社新書、2013 年
河村英和『タワーの文化史』丸善出版、2013 年

【成績評価の方法と基準】
授業参加で 30 点、レポート 70 点による総合評価。

【学生の意見等からの気づき】
講師はこの講義をはじめて担当するため、過去の意見はありません。

【その他の重要事項】
講義期間中に行う美術館見学は 2 種の展覧会（各講義 1 回分相当、合計 2 回分相当で、現地集合現地解散）があり、一部観覧料（1,000 円程度）の実費がかかります。事情により展覧会見学に参加できない方には、代替レポート課題を授業中に指示します。

【Outline and objectives】
In this course, we will study the history of tourism in French-speaking countries (not only in France, but also in Switzerland, and Belgium), including the tourist spot in the different genres of the natural landscape: mountains, seas, forests, rivers, lakes, and hot springs. Finally, we will consider the origin of the leisure idea, as locus amoenus: the Fortunate Isles, until its antithesis: the catastrophic landscapes.

ARSa200LA

フランス生活文化論ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**古（いにしえ）のフランス人のイタリア旅行**

河村　英和

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年※定員制
他学部公開：○　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
「芸術の都パリ」という言い回しが普及する以前、ヨーロッパ人にとっての芸術の都はローマであり、ローマ留学を支援するフランス政府の権威ある奨学制度の「ローマ賞」は芸術家の登竜門だった。イタリア各地を旅したフランス人たちはその体験を数々の芸術作品（絵画、彫刻、文学、音楽、建築）に反映させてきた。この授業では、おもに 18〜19 世紀のフランス人たちがいかにイタリアの風景や芸術・文化に魅せられ、影響を受けていたかを、絵画、彫刻、建築、音楽、文学といった複数のジャンルから学んでゆく。

【到達目標】
フランス文化に多大なる影響を与えたイタリアの風景・芸術・建築を、フランス人芸術家（文人、画家、彫刻家、建築家、作曲家）たちのイタリア滞在体験と関連作品を知ることによってその理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義形式。図像資料を紹介するためパワーポイントを使う。意見や質問、提出物（リアクションペーパー）に対するフィードバックは、基本的に次の授業時間内に行うが、LMS などを活用することもある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	18〜19 世紀のフランス人がイメージする旅行先としてのイタリアとは？
第 2 回	理想郷（アルカディア）	ローマ平原をモデルに理想風景を描く在ローマのフランス人画家たちとその作品
第 3 回	ローマの廃墟	ローマの廃墟に魅せられたフランス人芸術家たちとその作品
第 4 回	サド侯爵のイタリア	小説『ジュリエット、あるいは悪徳の栄え』で知られるサド侯爵が、イタリア旅行中に訪れたところと作品に生かされたスポット
第 5 回	ローマ平原とチョチャリーア地方	ローマ平原とチョチャリーア地方の風景と美しい民族衣装を描く 19 世紀のフランス人画家たちとその作品、この地を舞台にしたフランスオペラやバレエ
第 6 回	スタール夫人とスタンダールのイタリア	当時はイタリア観光ガイドブックのように読まれたスタール夫人の小説『コリンヌ』に描かれるローマとナポリ、『パルムの僧院』で知られるスタンダールのイタリア滞在中のオペラ通いやローマ散歩について

第 7 回	ヴェスヴィオ噴火とナポリの漁師	ヴェスヴィオ火山の噴火シーンを専門とするフランス人画家、オペールのオペラ『ポルティチの唖娘』、若きナポリの漁師を描くフランス人画家や彫刻家
第 8 回	デュマのナポリ	ナポリに滞在していたアレクサンドル・デュマの旅行記『コリッコロ』、歴史小説『寵愛された女性の思い出』など、数々の著作に描かれる当時のナポリとは
第 9 回	幸あるカンパーニア	イスキア、プロチダ、カプリ、ソレント、アマルフィの海浜風景と民族衣装の娘に魅せれたフランス人芸術家たちとその作品
第 10 回	ヴェネツィア	ジョルジュ・サンド、アルフレード・ミュセ、プルースト、レニエ、モネなど、水都ヴェネツィアに魅せられた文人・芸術家とその作品、オッフェンバックのオペラ『ホフマン物語』など
第 11 回	中世・ルネサンスの再発見－ローマ・フィレンツェ	ダンテやルネサンス時代のイタリア美術をテーマにしたフランス人による芸術作品、ベルリオーズのオペラ『ベンベヌート・チェッリーニ』など
第 12 回	ローマ賞とフランスのイタリア風建築	ローマ留学あるいはイタリア旅行経験のあるフランス人建築家がフランスに残したイタリア風建築について
第 13 回	ゾラ、ロマン・ロラン、ジイドのイタリア	エミール・ゾラ『ローマ』、ロマン・ロラン『ローマの春』、アンドレ・ジイド『背徳者』『法王庁の抜け穴』に描かれるイタリア（とくにローマ）とは
第 14 回	総括	過去の講義のテーマに沿った類似・追加事例を各自で紹介

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
気になる（なった）ことを調べたり、授業で出てきた場所を、グーグルストリートヴューで歩いてみる。

【テキスト（教科書）】
毎講義ごとにプリント資料を配布する。オンライン授業のさいは、google classroom（予定）にて pdf 版を配信。

【参考書】
河村英和『イタリア旅行－「美しい国」の旅人たち』中公新書、2011 年
河村英和『カプリ島－地中海観光の文化史』白水社、2008 年
佐藤直樹編『ローマ (西洋近代の都市と芸術 1)』竹林舎、2013 年

【成績評価の方法と基準】
平常点３０点、レポートあるいは試験７０点による総合評価

【学生の意見等からの気づき】
講師はこの講義をはじめて担当するため、過去の意見はありません。

【Outline and objectives】
Before the Paris reputation as the "City of Art" became widespread, the city of art for Europeans was Rome, and the "Prix de Rome", the prestigious scholarship system of the French government to support studying in Rome, was the gateway to become a great artist. French artists who have traveled through Italy have reflected their Italian experiences in their masterpieces (paintings, sculptures, literature, music, architecture). In this course, we will learn how French people of the 18th and 19th centuries were fascinated by and influenced by the Italian landscape, art and culture.

ARSa200LA

フランス生活文化論ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**近代フランスの食文化**

梶谷　彩子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火 4**/Tue.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1～4 年※定員制
他学部公開：○　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では、19 世紀～20 世紀フランスの食文化を中心に、そのあり方を学びます。「フランスの食文化」という表現から、どのようなことをイメージするでしょうか。「華やか・おしゃれ」、あるいは「特別な日の料理」など様々な印象があると思いますが、実は、現代の私たちがフランス料理に対して持つイメージのルーツの多くは、近代のフランスにあります。空腹を満たす以上の価値を自国の食に見出していったフランス。なぜそうなったのか？ その背景を知って、フランス文化への理解を深めていきましょう。

【到達目標】
フランスの食文化について、歴史の流れとともに理解できるようになること。また、意見の記述やディスカッションを通して資料を自分なりに考察し、知見をまとめることができるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義形式。イメージを描きやすいようできるだけ図像を用意して進めていきます。映像資料も見る予定です。
毎回最後にコメントカードを提出していただき、そこで出た質問には次回の授業でできる限りフィードバックします。授業中に皆さんの率直な意見を聞く時間も設けますので、小さなことでも、気づきはぜひ言葉にして表現してみましょう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業の進め方、参考資料の紹介。日本においてフランスの食文化はどのように紹介されているかについても解説。
第 2 回	テーブルに「映える」料理	テーブルに「映える」料理はなぜ必要だったか？ ／宮廷料理について
第 3 回	「華やかな食卓」の特徴の変遷	「映える」料理から「味で魅せる」料理へ／ 18 世紀までの価値観と、19 世紀からの価値観
第 4 回	美食を支える背景	パリの美食を支えた市場／給仕の変化
第 5 回	「美食」は誰のものか：レストラン	「おいしい」が皆のものになる時代：レストラン興隆史
第 6 回	「美食」は誰のものか：「おいしい」の基準の誕生	「おいしい」を評価するということ：ガストロノミー (前編)
第 7 回	「美食」は誰のものか：情報が生み出す「美食」	「おいしい」の評価の変遷：ガストロノミー (後編)

第 8 回	資料で見るフランスの美食	フランスの美食についての映像資料を視聴し、その後自由に意見をまとめてもらいます。
第 9 回	ディスカッション	第 8 回の映像資料についての意見を全員に発表してもらいます。疑問に感じたことも互いに交換しましょう。
第 10 回	高級料理の変遷	ヌーヴェル・キュイジーヌの誕生と、その後
第 11 回	文化としての「郷土料理」	フランスにおける郷土料理の位置／郷土料理＝文化的遺産という視点の原点
第 12 回	映像資料で見るフランスの美食その２	映像資料の視聴 (第 2 回) その後、感想や意見を書く時間を設け、提出。
第 13 回	まとめ・レポート作成の手引き	現代から見た、近代フランスの食文化の重要性 皆さんの意見もうかがいます。
第 14 回	試験日 (レポート)	フランスの食文化をテーマとした小レポート作成

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。下記参考書のうち、①を読み切ること。

【テキスト（教科書）】
教科書は使用しませんが、適宜、資料を主に Hoppii を通じて配信します。授業開始までに、各自手元に用意してきてください。

【参考書】
①池上俊一『お菓子でたどるフランス史』、岩波書店、岩波ジュニア新書、2013 年。
②ジャン・ピエール＝プーラン、エドモン・ネランク『プロのためのフランス料理の歴史　時代を変えたスーパーシェフと食通の系譜』、山内秀文訳、学習研究社、2005 年。
③北山晴一『世界の食文化⑯　フランス』、農村漁村文化協会、2008 年。

【成績評価の方法と基準】
平常点 50%、期末レポート 50%による総合評価

【学生の意見等からの気づき】
講義形式であるため、どうしても教員から伝えることが多くなってしまいますが、可能な限り皆さんからのご質問にお答えすることを心掛けてきました。この機会を活用してくれた学生が多いので、今年度も継続していきます。

【学生が準備すべき機器他】
資料は配信による事前配布が主となりますので、授業開始までに各自対応してください。対面授業実施時は、必要に応じて印刷した資料か、資料をダウンロードした PC、タブレット等を持参すること。

【Outline and objectives】
The purpose of this course is to study the gastronomic culture of modern France.

ARSa200LA

フランス生活文化論ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：**フランスの食文化史**

梶谷　彩子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**火** 4/Tue.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年※定員制
他学部公開：○　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では、フランスの食文化史を学びます。「美食の国」として名高いフランスはどのようにその食生活を営んできたのでしょうか。古代からの料理術の変遷を中心に、歴史の動きと連動させながら学びます。後半には、日本がフランスの食に与えた影響についても触れてゆきます。

【到達目標】
フランスの食文化について理解を深めること。また、意見の記述やディスカッションを通して資料を自分なりに考察し、知見をまとめることができるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義形式。イメージを描きやすいようできるだけ図像を用意して進めていきます。
毎回最後にコメントカードを提出していただき、そこで出た質問には次回の授業でできる限りフィードバックします。授業中に皆さんの意見を聞く時間も設けますので、レポート作成に向け、小さなことでも、気づきはぜひ言葉にして表現してみましょう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業の進め方、参考資料の紹介／現在のフランス食文化の最前線についての解説
第 2 回	古代から中世まで	何をどのように食べてきたのか／香辛料について
第 3 回	ルネサンス	マナーの確立／イタリアとの関わり
第 4 回	17 世紀	グランド・キュイジーヌの誕生／「過剰」からの脱却と洗練
第 5 回	18 世紀	宮廷料理の最盛期／「豪勢な料理」とは？
第 6 回	フランス革命〜19 世紀初頭	「レストラン」とは何か／「ガストロノミー」の誕生／「スターシェフ」の出現
第 7 回	19 世紀後半〜19 世紀末	19 世紀後半〜世紀末のレストラン／現代フランス料理の基礎の時代
第 8 回	20 世紀初頭	第一次世界大戦とフランスの食文化／新しい「ガストロノミー」
第 9 回	20 世紀半ば	全国の美食を求めて―ガストロノミーとツーリズム／「美食ガイドブック」の誕生
第 10 回	20 世紀半ば〜20 世紀末	ヌーヴェル・キュイジーヌ―健康と美食

第 11 回	日本食文化のフランス食文化への影響	美しさを求めるということ／日本的味覚の広がり
第 12 回	フランス食文化の日本食文化への影響	「洋食」誕生物語
第 13 回	まとめ・レポート作成の手引き	「美食の国　フランス」のイメージはいかにして形成されたか
第 14 回	試験日 (レポート)	フランスの食文化をテーマとした小レポート作成

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。参考書のうち③を授業期間中に読み切ること。授業中にも、おすすめの図書を紹介します。

【テキスト（教科書）】
教科書は使用しませんが、適宜、資料を主に Hoppii を通じて配信します。授業開始までに、各自手元に用意してきてください。

【参考書】
①池上俊一『お菓子でたどるフランス史』、岩波書店、岩波ジュニア新書、2013 年。
②ジャン・ピエール＝プーラン、エドモン・ネランク『プロのためのフランス料理の歴史　時代を変えたスーパーシェフと食通の系譜』、山内秀文訳、学習研究社、2005 年。
③北山晴一『世界の食文化⑯　フランス』、農村漁村文化協会、2008 年。

【成績評価の方法と基準】
平常点 50%、期末レポート 50%による総合評価

【学生の意見等からの気づき】
講義形式であるため、どうしても教員から伝えることが多くなってしまいますが、可能な限り皆さんからのご質問にお答えすることを心掛けてきました。この機会を活用してくれた学生が多いので、今年度も継続していきます。

【学生が準備すべき機器他】
資料は配信による事前配布が主となりますので、授業開始までに各自対応してください。対面授業実施時は、必要に応じて印刷した資料か、資料をダウンロードした PC、タブレット等を持参すること。

【Outline and objectives】
The purpose of this course is to learn the historical background of the gastronomic culture of France.

LANr200LA

ロシア語３Ｉ

2017 年度以降入学者

木部　敬

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 1/Mon.1
単位数：**1 単位**
文 2 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
初級で学習した文法事項を前提としつつ、基本的な文法を一通り終える。その上で、ロシア語の文章を読解する基礎を養うことを目指す。

【到達目標】
学習した文法事項を的確に運用することによって、やや複雑な構造のロシア語の文章を理解し、正しい日本語に訳せる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
文法学習のポイントとなるのは、動詞の「体」、関係代名詞、仮定法です。
文法事項を解説し、練習問題で理解を定着させる実習型の授業となります。
学習支援システムで課題を提示し、授業時間内に小テストを行います。また、これらの答案を採点の上返却したり、解説を加えながら正解を示したりすることによって、各自で自身の理解の程度を確認できるようにします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	既習文法の復習	名詞の性・数・格、動詞の時制、運動の動詞など
2	動詞の体（その 1）	動詞の体（不完了体／完了体）の解説と練習問題
3	動詞の体（その 2）	練習問題の続き
4	動詞の体（その 3）	文章の読解
5	関係代名詞と関係副詞（その 1）	関係代名詞と関係副詞の解説と練習問題
6	関係代名詞と関係副詞（その 2）	練習問題の続き
7	関係代名詞と関係副詞（その 3）	文章の読解
8	数詞を含む表現（その 1）	個数詞と名詞の結合および時間の表現の解説と練習問題
9	数詞を含む表現（その 2）	年月日の表現・年齢の表現・値段の表現の解説と練習問題
10	数詞を含む表現（その 3）	文章の読解
11	比較級と最上級、仮定法（その 1）	形容詞・副詞の比較級と最上級の説明と練習問題
12	比較級と最上級、仮定法（その 2）	仮定法の説明と練習問題
13	比較級と最上級、仮定法（その 3）	文章の読解
14	期末試験	文法問題、露文和訳、和文露訳

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は 2 時間を標準とします。
ロシア語を声に出す準備学習と復習に加えて、辞書で単語を引き、ロシア語の文章の意味を自分の力で理解する練習をしましょう。

【テキスト（教科書）】
『初級ロシア語　法政大学ロシア語担当教員編』。
辞書を持参すること。

【参考書】
和久利誓一『入門ロシア語文法（改訂版）』白水社。

【成績評価の方法と基準】
平常点（課題、小テスト）40 %、期末試験 60 %。適宜、既習の内容を復習するために課題を提示し、小テストを行います。期末試験はこれら課題や小テストを総括するテストです。
特にロシア語は、文法学習の積み上げが大事な言語です。一歩一歩確実にマスターしながら前進することが高い評価につながります。

【学生の意見等からの気づき】
音声教材をより一層活用する。

【Outline and objectives】
This is a course for students who mastered the Russian elementary grammar for the first grade. The aim of this course is to finish learning all the elementary grammar, and also to develop the basics to read and understand Russian texts.

LANr200LA

ロシア語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

木部　敬

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**月** 1/Mon.1
単位数：**1 単位**
文 2 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
初級文法の総復習。既習の文法事項を短期間で全面的に見直し、ロシア語の文章を読解する力をさらに高める。

【到達目標】
学習した文法事項を的確に運用することによって、複雑な構造のロシア語の文章を理解し、正しい日本語に訳せる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
練習問題を数多く解き、一つ一つのテキストを各自で読解し、それらに対して教師が解説やコメントを加える実習形式の授業となります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	第 1 課「知り合う」、第 2 課「私の世界」	人称代名詞、イントネーション、名詞の性、名詞の複数形、所有代名詞、動詞の現在形、名詞の対格
2	第 3 課「職業」その 1	動詞の過去形、名詞の前置格
3	第 3 課「職業」その 2	人称代名詞と疑問代名詞の対格、ｃ я 動詞
4	第 4 課「趣味」その 1	名詞の生格、所有の表現
5	第 4 課「趣味」その 2	動詞の体
6	第 5 課「私の 1 日」その 1	不完了体動詞の未来形、名詞の造格、疑問代名詞と人称代名詞の前置格
7	第 5 課「私の 1 日」その 2	完了体動詞の未来形、名詞の与格、時刻の表現
8	第 6 課「買い物」その 1	運動の動詞
9	第 6 課「買い物」その 2	接頭辞＋運動の動詞
10	第 7 課「旅行」その 1	無人称述語
11	第 7 課「旅行」その 2	「～できる」、「～しなければならない」、無人称述語、命令形
12	第 8 課「私の夢」その 1	比較級、関係代名詞
13	第 8 課「私の夢」その 2	最上級、仮定法、年齢の表現、年月日の表現
14	期末試験	文法問題、和文露訳、露文和訳

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は 2 時間を標準とします。
練習問題もテキストも事前に各自で取り組む。
復習の際には、テキストを音読するのみならず、暗記するよう努力する。

【テキスト（教科書）】
青島陽子、シュラフトフ・ヤロスラヴ、中野悠希『ロシア語の世界へ！ 初心者の旅』朝日出版、2021 年、2,200 円＋税。

【参考書】
『初級ロシア語　法政大学ロシア語担当教員編』。

和久利誓一『入門ロシア語文法』白水社。

【成績評価の方法と基準】
準備学習の提出 40 %、期末試験 60 %。

【学生の意見等からの気づき】
本年度より担当。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to review, in a short term, the elementary grammar totally, and to develop the ability to understand Russian texts more.

LANr200LA

ロシア語３Ｉ

2017 年度以降入学者

上野　理恵

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：**1 単位**
法 2 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
１年次にロシア語を学んだ学生を対象とする授業です。ロシア語１と２で学んだ文法事項を復習してから、教科書にそって未習の文法事項を学びます。基礎文法をひととおり学習し、その定着をはかりながら、ロシア語の文章の読解に必要な力を養います。

【到達目標】
学んだ文法事項を正確に理解し、運用できるようになること、比較的平易なロシア語の文章を読解し、日本語に訳せるようになること目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
教科書を用いて、文法事項の解説、練習問題の答え合せと解説、テキストや対話の読解と解説、というかたちで授業を進めます。また知識の定着や習熟度の確認のために、定期的に課題や小テストを課します。添削したものは、次回の授業時に返却しますが、場合によっては「学習支援システム」を通して返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	既習文法の復習	既習文法の確認と復習
2	動詞の体の用法①	動詞の不完了体、完了体の練習
3	動詞の体の用法②	動詞の体を意識したテキストの読解
4	関係代名詞	関係代名詞の説明と練習
5	関係副詞	関係代名詞、関係副詞が含まれるテキストの読解
6	数詞を含む表現①	数詞と名詞の結びつきの説明、時間の表現
7	数詞を含む表現②	年齢と年月日の表現の練習
8	数詞を含む表現③	数詞が含まれるテキストの読解
9	形容詞、副詞の比較級	形容詞、副詞の比較級の用法
10	形容詞、副詞の最上級	形容詞・副詞の最上級の用法
11	仮定法	仮定法の説明と用法
12	形容詞・副詞のまとめ	形容詞、副詞関連の総復習
13	まとめと練習	既習事項のまとめと練習
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
語学は予習・復習が大切です。事前に新出単語を調べ、授業で学んだことを復習しましょう。格変化形は格変化表を繰り返し見て覚えるようにしましょう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて１時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『初級ロシア語』法政大学ロシア語担当教員編

【参考書】
和久利誓一『入門ロシア語文法』（改訂版）白水社
露和辞典（博友社ロシア語辞典、コンサイス露和辞典等）

【成績評価の方法と基準】
平常点（授業参加態度、小テスト、課題提出などを含む）50 %、期末試験 50 %の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】
個々の学生の習熟度を念頭においた授業を心がけます。

【その他の重要事項】
授業計画は、授業の進度によって若干の変更があり得ます。

【Outline and objectives】
This is a course for students who finished learning Russian for the first grade. The aim of this course is to finish basic grammar. And also strengthen the foundations for reading and understanding Russian texts.

LANr200LA

ロシア語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

上野　理恵

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：**1 単位**
法 2 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
基礎文法の学習を終えた学生を対象とした授業です。ロシア語の文章を構文を把握しながらじっくりと読んでいきます。その過程で、これまでに学んだ文法事項を確認し、さらに未習の文法事項を学びます。語彙を増やし読解力を身につけることで、自分の力でロシア語の情報を得られるようになることを目指します。

【到達目標】
辞書を用いて文章を読解し、日本語に翻訳する作業を通して、ロシア語の文章に慣れ親しむこと、また語彙を増やし、構文を正確に把握できるようになることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
プリント教材を用いて、文章読解、文法解説、というかたちで授業を進めますが、未習の文法事項についてはあらかじめ説明や練習を行います。各自の日本語訳をチェックするので、事前準備が必要となります。また知識の定着や習熟度の確認のために、定期的に課題や小テストを課します。添削したものは、次回の授業時に返却しますが、場合によっては「学習支援システム」を通して返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	復習	春学期に学んだことの復習
2	ロシア語文の読解	配布テキストの和訳のチェックと文法解説（格変化の復習）
3	ロシア語文の読解	配布テキストの和訳のチェックと文法解説（関係代名詞の復習）
4	運動の動詞と接頭辞	文法解説と練習
5	ロシア語文の読解	配布テキストの和訳と文法解説（運動の動詞の復習）
6	副動詞	文法解説と練習 動詞の体の用法の復習
7	ロシア語文の読解	配布テキストの和訳のチェックと文法解説（副動詞の復習）
8	能動形動詞	文法解説と練習
9	ロシア語文の読解	配布テキストの和訳のチェックと文法解説（能動形動詞の復習）
10	被動形動詞	文法解説と練習
11	ロシア語文の読解	配布テキストの和訳のチェックと文法解説（被動形動詞の復習）
12	ロシア語文の読解	配布テキストの和訳のチェックと文法解説（時間表現の復習）
13	総復習	これまでに学んだことの確認と復習
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業内で示される課題（日本語訳等）は必ずやってくること。格変化の形は何度も復習して定着させましょう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて１時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
プリント教材を授業で配布します。
『初級ロシア語』（法政大学ロシア語教員編）を持参すること。

【参考書】
和久利誓一『入門ロシア語文法』（改訂版）白水社
露和辞典（博友社ロシア語辞典、コンサイス露和辞典等）

【成績評価の方法と基準】
平常点（授業参加態度、小テスト、課題提出などを含む）50 %、期末試験 50 %の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】
皆さんが質問や発言をしやすい授業を心がけます。

【その他の重要事項】
授業計画は、授業の進度によって若干の変更があり得ます。

【Outline and objectives】
This is a course for students who have completed learning basic grammar of Russian. We read Russian texts carefully, understanding the syntax. Through reading comprehension, we review what we have learned so far and learn grammar that we haven't learned yet. We aim to
increase vocabulary and reading skills in order to get information in Russian by ourselves.

LANr200LA

ロシア語３Ｉ

2017 年度以降入学者

小西　昌隆

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
営 2 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ロシア語の基本的な文法の学習を終え、かんたんなロシア語テクストの講読を行う。

【到達目標】
新聞やネットなどのロシア語短文にも挑戦できる力をつける。辞書を用いて読解できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
テクストを通じロシア語を読み、書き、そして簡単な会話ができるように、音読に力を入れます。適宜小テストを行い、採点の上、次回授業で返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	復習 1	これまでの復習（運動の動詞、名詞の前置格、対格、生格）
2	復習２	これまでの復習（名詞の与格と造格）
3	第１２課　動詞の完了体、不完了体	完了体と不完了体の文法説明
4	第１２課　動詞の体と時制	第 12 課の「体と時制」、テキストの解読と文法説明
5	第１２課	会話の読解と練習問題の答え合わせ、文法の復習
6	第１３課　関係代名詞、関係副詞	関係代名詞と関係副詞の文法説明
7	第１３課	テキストと会話の読解
8	第 14 課　数詞と時間	文法：数詞と名詞の結びつき、個数詞と順序数詞を覚える
9	第 14 課　数詞と時間（年月日の表現、年齢の表現など）	年月日の表現、年齢の表現などの文法説明、テキストの読解
10	第 14 課　会話と練習問題	会話の読解、練習問題の答え合わせ、文法説明
11	第 15 課　比較級、最上級、仮定法	比較級、最上級、仮定法の文法説明
12	第 15 課　テキスト、会話、練習問題	テキスト、会話の読解、練習問題の答え合わせ、文法説明
13	春期の総復習	春期に学んだ範囲の総復習
14	春学期試験	教場試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
ネットなどを用いてロシア語に関する新聞・雑誌等の記事を読み、ロシア語だけでなく、ロシアのことに関心を持ちましょう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『初級ロシア語』法政大学ロシア語担当教員編

【参考書】
『入門ロシア語文法』和久利誓一著、白水社

【成績評価の方法と基準】
平常点（授業参加態度、予習、復習、課題提出、小テスト等）40 %、学期末試験 60 %の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】
みなさんが積極的に参加できる授業にしたいと思います。

【Outline and objectives】
In this class, we'll complete the basic Russian grammar and read various simple texts in Russian.

LANr200LA

ロシア語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

小西　昌隆

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
営 2 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
基本的な文法を終えたので、配布するテクストの講読に入ります。今まで学んだ文法を復習しつつ、より高度な文法事項を学びます。

【到達目標】
新しい単語や文法の学習。会話にも慣れる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
辞書を用いてテクストの読みと訳を確実にできるようにするため、多くのテクストを精読していきます。適宜小テストを行い、採点の上、次回授業で返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	復習 1	春学期の復習（12 課～13 課）数詞と順序数詞の復習
2	復習 2	春学期の復習（14 課～15 課）数詞と順序数詞の復習・暗記
3	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説
4	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説
5	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説、形動詞について
6	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説。能動形動詞現在と過去
7	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説。被動形動詞の現在と過去
8	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説。被動形動詞過去単語尾形について
9	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説。副動詞について
10	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説
11	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説
12	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説
13	秋学期の総復習	もう一度困難な文章などを復習する
14	秋学期試験	教場試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
ロシア語に関する新聞・雑誌等の記事に慣れ親しむ。ロシアのニュースや文化に関心を持つ。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
プリントを配布します。

【参考書】
『入門ロシア語文法』和久利誓一著、白水社

【成績評価の方法と基準】
平常点（授業参加態度、予習、復習、課題提出、小テスト等）40 %、学期末試験 60 %の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】
みなさんが積極的に参加できる授業にしたいと思います。

【Outline and objectives】
Having completed basic Russian grammar, we'll learn advanced grammar through reading more difficult texts.

LANr200LA

ロシア語４Ｉ

2017 年度以降入学者

木部　敬

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 3/Wed.3
単位数：**1 単位**
法文営環 2 年（※環は旧カリ生のみ）

他学部公開：○　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
初級文法では扱わなかったの文法事項を学習する。それらを基礎に、簡単なロシア語の文章を読み、語彙力や読解力を養うために文章の暗唱を行う。

【到達目標】
辞書等を用いながら、自分自身の力で、相当程度複雑な構造のロシア語の文章を理解できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
テキストを各自で読解し、それに関して教師が解説やコメントを与える実習型の授業となります。テキストの意味が分かるだけでなく、それを暗記して語彙力や読解力を養いましょう。
学習支援システムで課題を提示し、授業時間内に小テストを行います。また、これらの答案を採点の上返却したり、解説を加えながら正解を示したりすることによって、各自で自身の理解の程度を確認できるようにします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	「アーニャとユーラが話しています」その１	前置格（単数形と複数形）
2	「アーニャとユーラが話しています」その２	テキストの暗記
3	「ユーラとお母さんのニーナが話しています」その１	対格（単数形と複数形）
4	「ユーラとお母さんのニーナが話しています」その２	テキストの暗記
5	「文夫がサモワールについて尋ねています」その１	生格（単数形と複数形）
6	「文夫がサモワールについて尋ねています」その２	テキストの暗記
7	「文夫と美紀の多忙な毎日」その１	形容詞の短語尾形
8	「文夫と美紀の多忙な毎日」その２	テキストの暗記
9	「ニーナとイーゴリの夫妻が話しています」その１	与格（単数形と複数形）、無人称述語
10	「ニーナとイーゴリの夫妻が話しています」その２	テキストの暗記
11	「夏休みの計画」その１	無人称文
12	「夏休みの計画」その２	テキストの暗記

13	復習	期末試験の想定問題
14	期末試験	文法問題、露文和訳

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備・復習時間は、1 回につき 2 時間を標準とする。
テキスト読解に関しては、自分で辞書を引き、文法的な事項を勘案しながら、文章の意味を正確に探り当てるよう準備しなければならない。
この準備を前提に、理解したテキストを暗記する復習を行う。
その上で、文法ないし暗記の小テストを毎回受ける。

【テキスト（教科書）】
『ロシア語初級　法政大学ロシア語教員編』。
また、別のテキストをプリントで配布する。

【参考書】
和久利誓一『入門ロシア語文法』白水社。

【成績評価の方法と基準】
平常点 40 %、文法の知識と読解力を問う期末テスト 60 %。
平常点は課題の提出、小テストの評価。

【学生の意見等からの気づき】
より一層音声教材を活用する。

【Outline and objectives】
Russian Reading Part1. The aim of this course is to develop the ability to read and understand easy Russian texts, and also to memorize them in order to increase vocabulary and reading skills.

LANr200LA

ロシア語４Ⅱ

2017 年度以降入学者

木部　敬

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 3/Wed.3
単位数：**1 単位**
法文営環 2 年（※環は旧カリ生のみ）

他学部公開：○　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本格的にテキスト読解の練習に取り組む。既習の文法事項の知識を駆使し、さらに新たな文法を学びながら、正確な読解力を養う。

【到達目標】
書籍、新聞や雑誌、ネット上の文章から、最低限の情報を得ることができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
テキストを各自で読解し、それに関して教師が解説やコメントを与える実習型の授業となります。テキストの意味が分かるだけでなく、それを暗記して語彙力や読解力を養いましょう。
学習支援システムで課題を提示し、授業時間内に小テストを行います。また、これらの答案を採点の上返却したり、解説を加えながら正解を示したりすることによって、各自で自身の理解の程度を確認できるようにします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	「イワンがおなかをこわしたようです」その１	否定生格
2	「イワンがおなかをこわしたようです」その２	テキストの暗記
3	「ニキーチン先生の問わず語り」その１	造格（単数形と複数形）
4	「ニキーチン先生の問わず語り」その２	テキストの暗記
5	「美紀がナターシャとメッセージを交換しています」その１	動詞の不完了体と完了体
6	「美紀がナターシャとメッセージを交換しています」その２	テキストの暗記
7	「学生たちの会話」その１	関係代名詞および形容詞の比較級
8	「学生たちの会話」その２	テキストの暗記
9	「コートを買いに」その１	数詞の表現
10	「コートを買いに」その２	テキストの暗記
11	「ニーナが映画監督に電話しています」その１	仮定法
12	「ニーナが映画監督に電話しています」その２	テキストの暗記
13	復習	期末試験の想定問題

14	期末試験	文法問題、露文和訳、和文露訳

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備・復習時間は 2 時間を標準とする。
自分で辞書を引き、文法的な事項を勘案しながら、文章の意味を正確に探り当てるよう準備しなければならない。
この準備を前提に、理解したテキストを暗記するための復習をする。
その上で、文法ないし暗記の小テストを適宜受ける。

【テキスト（教科書）】
『ロシア語初級　法政大学ロシア語教員編』。
また、別のテキストをプリントで配布する。

【参考書】
和久利誓一『入門ロシア語文法』白水社 。

【成績評価の方法と基準】
平常点 40 %、文法の知識と読解力を問う期末テスト 60 %。
平常点は課題の提出、小テストの評価。

【学生の意見等からの気づき】
より一層音声教材を利用する。

【Outline and objectives】
Russian Reading Part2. The aim of this course is to learn to read easy Russian texts, and also to memorize them in order to increase your vocabulary and reading skills.

LANr200LA

ロシア語４Ｉ

2017 年度以降入学者

上野　理恵

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**1 単位**
法文営環 2 年（※環は旧カリ生のみ）
他学部公開：○　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
１年次のロシア語学習を終えた学生を対象とする授業です。既習の文法事項を復習してから、教科書やプリント教材を用いて、未習の文法事項を学びます。基礎文法をひととおり学習し、その定着をはかりながら、ロシア語の文章の読解に必要な力を養います。要望があれば、ロシア語能力検定試験に対応する勉強も行います。

【到達目標】
学んだ文法事項を正確に理解し、運用できるようになること、比較的平易なロシア語の文章を読解し、日本語に訳せるようになることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
教科書やプリント教材を用いて、文法事項の解説、練習問題の答え合せと解説、テキストや対話の読解と解説、というかたちで授業を進めます。また知識の定着や習熟度の確認のために、定期的に課題や小テストを課します。添削したものは、次回の授業時に返却しますが、場合によっては「学習支援システム」を通して返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	既習文法の復習（1）	格変化の復習（名詞）
2	既習文法の復習（2）	格変化の復習（所有代名詞、形容詞など）
3	動詞（1）	動詞関連の文法事項の確認
4	動詞（2）	動詞の完了体・不完了体
5	複文（1）	関係代名詞を含む複文の読解
6	複文（2）	接続詞を含む複文の読解
7	数詞（1）	数詞と時間の表現
8	数詞（2）	年齢の表現など
9	数詞（3）	年月日の表現
10	数詞（4）	数詞を含むその他の表現
11	形容詞・副詞の比較級	形容詞・副詞の比較級
12	形容詞・副詞の最上級	形容詞・副詞の最上級
13	仮定法	仮定法を用いた表現
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
新出単語は事前に辞書で意味を確認し、授業で学んだことは復習しましょう。格変化形や動詞の活用は意識して覚えましょう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて１時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『初級ロシア語』法政大学ロシア語担当教員編
その他、適宜プリント教材を配布します。

【参考書】
和久利誓一『入門ロシア語文法』（改訂版）白水社
露和辞典（博友社ロシア語辞典、コンサイス露和辞典等）

【成績評価の方法と基準】
平常点（授業参加態度、小テスト、課題提出などを含む）50 %、期末試験 50 %の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】
個々の学生の習熟度を念頭においた授業を心がけます。

【その他の重要事項】
授業計画は、授業の進度によって若干の変更があり得ます。

【Outline and objectives】
This is a course for students who finished learning Russian for the first grade. The aim of this course is to finish basic grammar. And also strengthen the foundations for reading and understanding Russian texts.

LANr200LA

ロシア語４Ⅱ

2017 年度以降入学者

上野　理恵

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**1 単位**
法文営環 2 年（※環は旧カリ生のみ）

他学部公開：○　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
基礎文法の学習を終えた学生を対象とした授業です。さまざまなテーマのテキストの読解を通して、既習の文法事項を復習しながら、未習の文法事項を学びます。ロシア語の文章に慣れ親しみ、基礎文法の応用レベルでの定着を目指します。また、学期の後半には視聴覚教材を用いて、生のロシア語に触れる機会を作ります。教材を通してロシアに対する理解を深めることも目的の一つです。要望があれば、ロシア語能力検定試験に対応する勉強も行います。

【到達目標】
辞書を用いて文章を読解し、日本語に翻訳する作業を通して、ロシア語の文章に慣れ親しむこと、また語彙を増やし、構文を正確に把握できるようになることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
プリント教材を用いて、文章読解、文法解説、というかたちで授業を進めますが、未習の文法事項についてはあらかじめ説明と練習を行います。各自の日本語訳をチェックするので、事前準備が必要となります。視聴覚教材を用いる場合は、音読、書き取り、リスニングなどを行います。また知識の定着や習熟度の確認のために、定期的に課題や小テストを課します。添削したものは、次回の授業時に返却しますが、場合によっては「学習支援システム」を通して返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	文法事項の確認	既習文法事項の確認
2	文章読解（1）	副動詞が含まれる文章の読解
3	文章読解（2）	能動形動詞が含まれる文章の読解
4	文章読解（3）	被動形動詞が含まれる文章の読解
5	文章講読（1）	歴史に関する文章を読む
6	文章講読（2）	社会に関する文章を読む
7	文章講読（3）	文化に関する文章を読む
8	文章講読（4）	ロシアの昔話を読む
9	視聴覚教材（1）	テキストの音読と書き取り
10	視聴覚教材（2）	テキストの音読と書き取り
11	視聴覚教材（3）	リスニングの問題に挑戦する
12	視聴覚教材（4）	スキットのセリフを聞き取る
13	まとめ	これまでに学んだことの確認と復習
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業内で示される課題（日本語訳等）は必ずやってくること。格変化形や動詞の活用は意識して覚えましょう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて１時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
プリント教材を授業で配布します。
『初級ロシア語』（法政大学ロシア語担当教員編）を持参すること。

【参考書】
和久利誓一『入門ロシア語文法』（改訂版）白水社
露和辞典（博友社ロシア語辞典、コンサイス露和辞典等）

【成績評価の方法と基準】
平常点（授業参加態度、小テスト、課題提出などを含む）50 %、期末試験 50 %の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】
皆さんが質問や発言をしやすい授業を心がけます。

【その他の重要事項】
授業計画は、授業の進度によって若干の変更があり得ます。

【Outline and objectives】
This is a course for students who have completed learning basic grammar of Russian. Through reading comprehension, we review what we have learned so far and learn grammar that we haven't learned yet. We aim to get used to Russian texts with various themes and master Russian basic grammar.

LANr200LA

ロシア語５Ｉ

2017 年度以降入学者

エレーナ　三神

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 2〜4 **年**

他学部公開：○ **グローバル：** **成績優秀：** **実務教員：**

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
日常的に使われるロシア語を場面ごとに学び、ロシア語のコミュニケーション能力を高める授業です。ロシア語の文法知識を口頭表現、聴解、作文などの練習をとおして実践的な能力として定着させます。

【到達目標】
日常場面においてロシア語の簡単な会話ができることを目指します。ロシア旅行などの場合にロシア語を使って、ロシア人とのコミュニケーションをとれることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
一年に通じて日常的なコミュニケーションに使う文型・語彙・表現を学びます。テキストのもとで表現を学習し、聞き取り練習と会話の実践を行います。ロシア語を使うことによって単語、表現、文法も覚えます。
本授業はリアルタイム Zoom 授業になります。
宿題提出や単語学習などのために学習支援システムと各オンライン学習アプリケーションを使います。課題などに対する教員のフィードバックは、課題内容によって授業時や学習支援支援システム経由や提出した課題につけたコメントのリンク送信などの方法で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	紹介：名前	リスニング、会話練習
2	紹介：出身、職業	リスニング、会話練習
3	家族の話	リスニング、会話練習
4	趣味	リスニング、会話練習
5	一日の流れ	リスニング、会話練習
6	時間、スケジュール	リスニング、会話練習
7	国、言語、国籍	リスニング、会話練習
8	天気、季節	リスニング、会話練習
9	行ったことがある所	リスニング、会話練習
10	休暇の過し方	リスニング、会話練習
11	週の予定	リスニング、会話練習
12	好きな事、好きなもの	リスニング、会話練習
13	春学期の復習	リスニング、会話練習
14	春学期末テスト	（聴解・筆記）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回宿題があります。単語の暗記も必要です。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
学習支援システムにてプリント教材を配布します。プリント教材はロシア語のみですが、その和訳文も別紙で配布します。

【参考書】
『初級ロシア語』法政大学

【成績評価の方法と基準】
学期末テスト　50 %、　出席、宿題、授業への取り組み　50 %

【学生の意見等からの気づき】
オンライン授業の記録・配信を行います。

【学生が準備すべき機器他】
学習支援システムにアクセスできる端末（PC やタブレットなど）、WiFi 通信環境

【その他の重要事項】
実際の授業状況や履修者の能力に応じて授業のペースやスケジュールは変更できます。ご質問などは elena.mikami.66@hosei.ac.jp までお問い合わせください。

【Outline and objectives】
The main objective of the course is to enable students to develop the basic ability to communicate in Russian in everyday situations. The students will develop an understanding of practical Russian grammar and widely improve their Russian listening and conversation skills.

LANr200LA

ロシア語５Ⅱ

2017 年度以降入学者

エレーナ　三神

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 2〜4 **年**

他学部公開：○ **グローバル：** **成績優秀：** **実務教員：**

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
日常的に使われるロシア語を場面ごとに学び、ロシア語のコミュニケーション能力を高める授業です。ロシア語の文法知識を口頭表現、聴解、作文などの練習をとおして実践的な能力として定着させます。

【到達目標】
日常場面においてロシア語の簡単な会話ができることを目指します。ロシア旅行などの場合にロシア語を使って、ロシア人とのコミュニケーションをとれることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
一年に通じて日常的なコミュニケーションに使う文型・語彙・表現を学びます。テキストのもとで表現を学習し、聞き取り練習と会話の実践を行います。ロシア語を使うことによって単語、表現、文法も覚えます。
対面授業と、感染状況に応じてリアルタイム Zoom 授業を実施します。
宿題提出や単語学習などのために学習支援システムと各オンライン学習アプリケーションを使います。課題などに対する教員のフィードバックは、課題内容によって授業時や学習支援支援システム経由や提出した課題につけたコメントのリンク送信などの方法で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	興味がある話	リスニング、会話練習
2	私の街	リスニング、会話練習
3	買い物	リスニング、会話練習
4	食べ物、お食事	リスニング、会話練習
5	家と部屋	リスニング、会話練習
6	映画	リスニング、会話練習
7	いつも通う所	リスニング、会話練習
8	乗り物で行く	リスニング、会話練習
9	空港で	リスニング、会話練習
10	学習	リスニング、会話練習
11	ToDo リスト	リスニング、会話練習
12	電話、メール	リスニング、会話練習
13	秋学期の復習	リスニング、会話練習
14	秋学期末テスト	（聴解・筆記）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回宿題があります。単語の暗記も必要です。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
授業時および学習支援システムにてプリントを配布します。プリント教材はロシア語のみですが、その和訳文も別紙で配布します。

【参考書】
『初級ロシア語』法政大学

【成績評価の方法と基準】
学期末テスト　50 %、　出席、宿題、授業への取り組み　50 %

【学生の意見等からの気づき】
ロシア語のみの教材に和文解説をつけるようになりました。

【学生が準備すべき機器他】
学習支援システムにアクセスできる端末（PC やタブレットなど）、Zoom 授業になる場合に WiFi 通信環境が必要になります。

【その他の重要事項】
実際の授業状況や履修者の能力に応じて授業のペースやスケジュールは変更できます。ご質問などは elena.mikami.66@hosei.ac.jp までお問い合わせください。

【Outline and objectives】
The main objective of the course is to enable students to develop the basic ability to communicate in Russian in everyday situations. The students will develop an understanding of practical Russian grammar and widely improve their Russian listening and conversation skills.

LANr200LA

ロシア語７

2017 年度以降入学者

佐藤　千登勢

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**1 単位**
国 2 年 SA

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
1 年次に学んだロシア語文法を復習しながら、新たな文法事項（形動詞・副動詞など）を学んでいき、ロシア語文法の基礎をひととおり完成させることになります。

【到達目標】
辞書があればロシア語の文章を読めるようになるレベルを目指すべく長文を読む機会を多くもうけて、文法の基礎力の充実と語彙力の増大に努めます。コミュニケーションの上でも、文法力と語彙力は不可欠です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
まだ学習していないロシア語文法のいくつかの事項を練習問題を重ねつつ、学んでいきます。その後、ロシアの生活習慣や行事、文化をテーマとした長文の読解に入っていきます。ロシア語の文法、文章の構造を確認しながら読み進め、同時に、ロシアの文化についても知識を得て、読解の楽しみを味わいましょう。課題と小テストのフィードバックは次回の授業で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンスとロシア語文法の復習	既習文法の復習を練習問題を通して行う。
第 2 回	副動詞	副動詞（現在と過去）の概説。練習問題を通して形動詞に慣れる。
第 3 回	副動詞・形動詞	副動詞の復習と形動詞の概説。能動形動詞（不完了体）のつくりかたと練習問題。
第 4 回	形動詞	能動形動詞（完了体）のつくりかたと練習問題。
第 5 回	形動詞	受動形動詞（不完了体と完了体）のつくりかたと練習問題。
第 6 回	形動詞	受動形動詞（完了体）のつくりかたと練習問題。
第 7 回	形動詞	受動形動詞（完了体）のつくりかたと練習問題。
第 8 回	長文読解：ロシアの祝日について (1)	ロシアの国民の祝日や宗教行事について知る文章を文法、文の構造、語彙に留意しながら丁寧に読んでいく。
第 9 回	長文読解：ロシアの祝日について (2)	ロシアの国民の祝日や宗教行事について知る文章を文法、文の構造、語彙に留意しながら丁寧に読んでいく。
第 10 回	長文読解：ロシアの祝日について (3)	ロシアの国民の祝日や宗教行事について知る文章を文法、文の構造、語彙に留意しながら丁寧に読んでいく。

第 11 回	長文読解：ロシア人のマナーや慣習について（1）	ロシア人のマナーや慣習について知る文章を文法、文の構造、語彙に留意しながら丁寧に読んでいく。
第 12 回	長文読解：ロシア人のマナーや慣習について（2）	ロシア人のマナーや慣習について知る文章を文法、文の構造、語彙に留意しながら丁寧に読んでいく。
第 13 回	長文読解：ロシア人のマナーや慣習について（3）	ロシア人のマナーや慣習について知る文章を文法、文の構造、語彙に留意しながら丁寧に読んでいく。
第 14 回	学期末試験	ロシア語文法の総復習をかねて、試験を行う。まとめと解説。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
配付プリントの予習。適宜、課題も出すので必ず提出してください。また、長文読解に際しては、辞書を引く労を惜しまずに「自分の単語帳」を作って語彙力の増大に励んで下さい。本授業の予習・復習時間は、1 回につき 1 時間半を標準とします。

【テキスト（教科書）】
学習支援システムを介してプリントを配付します。

【参考書】
和久利誓一　『入門ロシア語文法』（改訂版）白水社
木村彰一　他編『博友社ロシア語辞典』博友社

【成績評価の方法と基準】
平常点（50%）、期末試験（25%）、小テスト（25%）。この成績評価をもとに本授業の到達目標の 60%以上を達成した学生を合格とします。

【学生の意見等からの気づき】
習得に困難な文法事項を学び、文法の総仕上げをする授業となりますが、平易に教えるよう努めます。

【Outline and objectives】
This course proceeds in close contact with course: Russian 8. In this course, we will acquire basics of Russian grammar: participial construction. We will be able to read easy texts and have simple conversations in Russian. We will complete the basic grammar of Russian.

LANr200LA

ロシア語８

2017 年度以降入学者

上野　理恵

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**木** 4/Thu.4
単位数：**1 単位**
国 2 年 SA

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ロシア語の基礎文法の学習を終えた人を対象にした授業です。練習問題を解きながら、これまでに学んだ文法事項を復習し、知識の定着をはかります。基礎文法では学ばなかった文法事項の説明と練習も行います。また、そうした学習と同時に、最重要単語の習得も目指します。

【到達目標】
ロシア語の基礎文法を着実に身につけるとともに、基礎文法を学ぶ際には採り上げられることが少ない、細かい文法事項についても習得することを目指します。文法に関しては、ロシア語能力検定試験の４級・３級レベルを軽くこなせる力をつけましょう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
毎回の授業で単語テストを行います。授業は、基本的に、単語テスト、練習問題の答え合せと解説、あるいは未習の文法事項の説明と練習、というかたちで行います。また必要に応じて課題を課します。添削した単語テストや課題は、次回の授業時に返却しますが、場合によっては「学習支援システム」を通して返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	格の用法（1）	格の用法と形の復習
2	格の用法（2）	格の用法と形の復習
3	形容詞と副詞	形容詞と副詞、比較級・最上級の復習
4	運動の動詞	定動詞／不定動詞の復習
5	運動の動詞と接頭辞	文法説明と練習
6	動詞の体の用法	動詞の体の用法の復習
7	関係代名詞、関係副詞	関係代名詞、関係副詞の復習
8	能動形動詞	文法解説と練習
9	被動形動詞	文法解説と練習
10	被動形動詞短語尾形副動詞	文法解説と練習
11	数詞を伴う表現	数詞を伴う表現の復習
12	時間表現	時間表現の復習
13	まとめ	これまでに学んだことの確認と復習
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
単語テストの範囲については前の週の授業で指定するので、覚えておくようにしてください。授業内で提示される課題は必ずやってきてください。本授業の準備学習・復習時間は、各 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
プリント教材を授業で配布します。
『初級ロシア語』（法政大学ロシア語担当教員編）を持参すること。

【参考書】
和久利誓一『入門ロシア語文法』（改訂版）白水社
露和辞典（博友社ロシア語辞典、コンサイス露和辞典等）

【成績評価の方法と基準】
平常点（授業参加態度、小テスト、課題提出などを含む）50 %、期末試験 50 %の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】
皆さんが質問や発言をしやすい授業を心がけます。

【その他の重要事項】
授業計画は、授業の進度によって若干の変更があり得ます。

【Outline and objectives】
This is a course for students who have completed learning basic grammar of Russian. Through answering Russian practice exercises, we review what we have learned so far and learn grammar that we haven't learned yet. We aim to master Russian basic grammar and increase vocabulary.

LANr200LA

ロシア語３－Ⅰ

2017 年度以降入学者

木部　敬

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
環 2 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
1 年次に学んだロシア語文法を復習しながら、新たな文法事項（動詞の体／関係代名詞／比較級・最上級など）を学んでいき、ロシア語文法の基礎（ロシア語能力検定試験３級レベル）を完成させることになります。

【到達目標】
この授業を履修することで、学生のみなさんはロシア語文法の基礎を終えることとなり、ロシア語能力検定試験３級取得が可能なレベルに到達します。文法の基礎固めができたら、この授業では３級の過去問題を扱い、試験対策を行います。３級取得を目指して頑張りましょう。そうすることで、ロシア語の「読む、話す、書く、聴く」力もバランスよく身に付くはずです。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
まだ学習していないロシア語文法のいくつかの事項を練習問題を重ねつつ学んでいき、教科書を終えます。その後、ロシア語能力検定試験３級の過去問題を扱い、解説を丁寧にしていきます。みなさんは、課題に出された問題にしっかりと取り組んでください。課題と小テストについては教場で確認するかたちでフィードバックします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンスとロシア語文法の復習	既習文法の復習を練習問題を通して行う。
第 2 回	動詞の体と時制	動詞の体について解説。練習問題。
第 3 回	動詞の体と時制	練習問題とテクスト読解。
第 4 回	関係代名詞	文法説明。練習問題。３級の過去問題。
第 5 回	関係代名詞	練習問題とテクスト読解。３級の過去問題。
第 6 回	関係副詞、目的を示す接続詞	関係副詞、目的を示す接続しを使った文章の概説。３級の過去問題。
第 7 回	比較級・最上級	比較級の作り方と使い方。練習問題。３級の過去問題。
第 8 回	比較級・最上級	練習問題とテクスト読解。３級の過去問題。
第 9 回	数詞を使った表現	練習問題とテクスト読解。３級の過去問題。
第 10 回	数詞を使った表現	練習問題とテクスト読解。３級の過去問題。
第 11 回	ロシア語検定３級の問題	格変化の復習。複数形の格変化。リスニング。
第 12 回	ロシア語検定３級の問題	定向動詞と不定向動詞。リスニング。
第 13 回	ロシア語検定３級の問題	長文読解。リスニング。
第 14 回	学期末試験	ロシア語文法の総復習をかねて、試験を行う。まとめと解説。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
教科書の予習。適宜、課題も出します。予習と課題は１回につき１時間半程度を要します。

【テキスト（教科書）】
法政大学ロシア語担当教員　編『初級　ロシア語』2020/2021 年度版
その他、学習支援システムを介してプリントを配付します。

【参考書】
和久利誓一『入門ロシア語文法』（改訂版）白水社
木村彰一　他編『博友社ロシア語辞典』博友社

【成績評価の方法と基準】
平常点（50%）、期末試験（25%）、小テスト（25%）。この成績評価をもとに本授業の到達目標の 60%以上を達成した学生を合格とします。

【学生の意見等からの気づき】
担当教員変更によりフィードバックできません。

【Outline and objectives】
In this course, we will acquire basics of Russian grammar: relative adverb, comparative degree, superlative degree and participial construction. We will be able to read easy texts and have simple conversations in Russian. We will complete the basic grammar of Russian.

LANr200LA

ロシア語３－Ⅱ

2017 年度以降入学者

木部　敬

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
環 2 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期に学んだロシア語文法を踏まえて、ロシア語能力検定試験３級レベルの読解と作文、そして聴解の力を身に付けていきます。

【到達目標】
春学期に引き続き、この授業では３級の過去問題を扱い、試験対策を行います。３級取得を目指して頑張りましょう。そうすることで、ロシア語の「読む、話す、書く、聴く」力もバランスよく身に付くはずです。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
ロシア語能力検定試験３級の過去問題を扱い、解説を丁寧にしていきます。リスニングや音読も３級の過去問題に準じて授業内に行います。みなさんは、課題に出された問題にしっかりと取り組んでください。課題と小テストについては教場で確認するかたちでフィードバックします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンスとロシア語文法の復習	既習文法の復習を練習問題を通して行う。
第 2 回	ロシア語検定３級の問題	作文対策。リスニング。
第 3 回	ロシア語検定３級の問題	作文対策。リスニング。
第 4 回	ロシア語検定３級の問題	読解対策
第 5 回	ロシア語検定３級の問題	ロシア語能力検定試験の答え合わせ。
第 6 回	ロシア語でロシアの文化を知る	長文読解：形動詞や副動詞を学ぶ
第 7 回	ロシア語でロシアの文化を知る	長文読解：形動詞や副動詞を学ぶ
第 8 回	ロシア語でロシアの文化を知る	長文読解：形動詞や副動詞を学ぶ
第 9 回	ロシア語でロシアの文化を知る	長文読解：形動詞や副動詞を学ぶ
第 10 回	ロシア語でロシアの文化を知る	長文読解：形動詞や副動詞を学ぶ
第 11 回	ロシア語でロシアの文化を知る	長文読解：形動詞や副動詞を学ぶ
第 12 回	ロシア語でロシアの文化を知る	長文読解：形動詞や副動詞を学ぶ
第 13 回	ロシア語でロシアの文化を知る	長文読解：形動詞や副動詞を学ぶ
第 14 回	学期末試験	ロシア語文法の総復習をかねて、試験を行う。まとめと解説。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
教科書の予習。適宜、課題も出します。予習と課題は１回につき１時間半程度を要します。

【テキスト（教科書）】
法政大学ロシア語担当教員　編『初級　ロシア語』2020/2021 年度版
その他、学習支援システムを介してプリントを配付します。

【参考書】
和久利誓一『入門ロシア語文法』（改訂版）白水社
木村彰一　他編『博友社ロシア語辞典』博友社

【成績評価の方法と基準】
平常点（50%）、期末試験（25%）、小テスト（25%）。この成績評価をもとに本授業の到達目標の 60%以上を達成した学生を合格とします。

【学生の意見等からの気づき】
担当教員変更によりフィードバックできません。

【Outline and objectives】
In this course, we will acquire basics of Russian grammar. We will be able to read easy texts and have simple conversations in Russian. We will complete the basic grammar of Russian.

ARSa200LA

ロシア語の世界ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

木部　敬

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年※定員制
他学部公開：○　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ロシアの歴史、言語、民族、宗教などを概観し、また文化のうちとりわけ 19 世紀の文学と思想に注目する。それによって、ロシア語の背景をなす「レアリア」の基本を獲得する。
ロシア語を履修していなくても受講可能。

【到達目標】
一般の日本人にとっては理解しにくいロシアという国について、明確なイメージを持つことができる。
また、そうしたロシアの歴史や文化に関する理解を背景知識として利用することで、ロシア語の学習をより効果的に進めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義型の授業となる。
毎回授業に関する感想や質問を提出してもらい、それらに対しては学習支援システムを通じて回答したり、授業中にテーマとして取り上げたりする。
学期末に、授業で取り上げたテーマに関するレポートを作成する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	9 世紀半ばから 16 世紀の歴史	建国伝説、キエフ・ルーシ、タタールの軛、ツァーリ専制（リューリク朝）
第 2 回	17 世紀から 18 世紀の歴史	「動乱」、ロマノフ朝、ピョートル大帝、エカテリーナ二世
第 3 回	19 世紀前半の歴史	ナポレオン戦争、デカブリストの乱、クリミア戦争
第 4 回	19 世紀後半の歴史	農奴解放、ナロードニキ、ロシア・マルクス主義
第 5 回	20 世紀初めの歴史	第 1 次革命、レーニン、ロシア革命、ソ連
第 6 回	20 世紀前半の歴史	スターリン主義
第 7 回	20 世紀後半の歴史	「停滞」、ペレストロイカ、ソ連崩壊
第 8 回	21 世紀初めの歴史	ロシア連邦、プーチン
第 9 回	言語	旧ソ連の言語、ロシア語話者数、スラヴ諸語、ロシア語史
第 10 回	民族	旧ソ連の民族、ロシア人人口、スラヴ民族
第 11 回	宗教	旧ソ連の宗教、ロシア正教、スラヴ民族の宗教
第 12 回	19 世紀ロシアの文学と思想（世紀前半）	デカプリスト、プーシキン、ゴーゴリ、チャーダーエフ、スラヴ派と西欧派

第 13 回	19 世紀ロシアの文学と思想（世紀後半の思想）	ゲルツェン、ニヒリスト、ナロードニキ、ソロヴィヨフ、マルクス主義者
第 14 回	19 世紀ロシアの文学と思想（世紀後半の文学）	トゥルゲーネフ、ドストエフスキー、トルストイ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。
参考文献を事前に読む。授業後数日以内に感想や質問を書く。
学期末には、授業で取り上げたテーマに関するレポートを準備する。

【テキスト（教科書）】
プリントを配布する。

【参考書】
『新版　ロシアを知る事典』平凡社、2004 年。
『ロシア文化事典』丸善出版、2019 年。
『新版世界各国史 22 ロシア史』山川出版社、2002 年。
『民族の世界史 10 スラヴ民族と東欧ロシア』山川出版社、1986 年。

【成績評価の方法と基準】
平常点（感想や質問の提出）40 %、期末レポート 60 %。

【学生の意見等からの気づき】
本年度より担当。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to survey history and culture (languages, nations religions, etc.) of Russia, as the background of Russian language.
And we will particularly pay attention to Russian literature and thought of the 19th century.

ARSa200LA

ロシア語の世界ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

木部　敬

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年※定員制
他学部公開：○　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ロシアおよびその他の旧ソ連圏の国々の地理や歴史を概観することによって、ロシア語の背景をなす「レアリア」の基本を獲得する。
ロシア語を履修していなくても受講可能。

【到達目標】
一般の日本人にとってなじみのないロシアおよび旧ソ連圏の国々について、明確なイメージを持つことができる。
また、そうした国々の歴史や地理に関する理解を背景知識として利用することで、ロシア語の学習をより効果的に進めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義型の授業となる。
毎回授業に関する感想や質問を提出してもらい、それらに対しては学習支援システムを通じて回答したり、授業中にテーマとして取り上げたりする。
学期末に、授業で取り上げたテーマに関するレポートを作成する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ロシア（ヨーロッパ・ロシア）	ヨーロッパ・ロシアの自然、地形、歴史、都市
第 2 回	ロシア（モスクワ）	モスクワの歴史、都市構造、名所
第 3 回	ロシア（ペテルブルグ）	ペテルブルグの歴史、都市構造、名所
第 4 回	ロシア（シベリア）	シベリアの自然、地形、歴史、都市
第 5 回	ロシア（極東）	極東の自然、地形、歴史、都市、中国・朝鮮半島・日本との関係
第 6 回	ウクライナ	ウクライナの自然、地形、歴史、言語、宗教、都市
第 7 回	ベラルーシ	ベラルーシの自然、地形、歴史、言語、宗教、都市
第 8 回	モルドヴァ	モルドヴァの自然、地形、歴史、言語、宗教、都市、ルーマニア・ロシア・イスラームとの関係
第 9 回	コーカサス（ジョージア）	ジョージアの自然、地形、歴史、言語、宗教、都市
第 10 回	コーカサス（アルメニア、アゼルバイジャン）	アルメニアとアゼルバイジャンの自然、地形、歴史、言語、宗教、都市、アゼルバイジャンを含むトルコ系諸国とアルメニアの関係
第 11 回	中央アジア（トルクメニスタン、ウズベキスタン、カザフスタン）	トルクメニスタン、ウズベキスタン、カザフスタンの自然、地形、歴史、言語、宗教、都市

第 12 回	中央アジア（キルギスタン、タジキスタン）	キルギスタン、タジキスタンの自然、地形、歴史、言語、宗教、都市、タジキスタンとアフガニスタン等ペルシア系諸国の関係
第 13 回	バルト三国（エストニア、ラトヴィア）	エストニア、ラトヴィアの自然、地形、歴史、言語、宗教、都市
第 14 回	バルト三国（リトアニア）	リトアニアの自然、地形、歴史、言語、宗教、都市、ポーランドとの関係

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。
参考文献を事前に読む。授業後数日以内に感想や質問を書く。
学期末には、授業で取り上げたテーマに関するレポートを準備する。

【テキスト（教科書）】
プリントを配布する。

【参考書】
『新版　ロシアを知る事典』平凡社、2004 年。
『ロシア文化事典』丸善出版、2019 年。

【成績評価の方法と基準】
平常点（感想や質問の提出）40 %、期末レポート 60 %。

【学生の意見等からの気づき】
本年度より担当。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to survey geography and history of countries of the former Soviet Union area, as the background of Russian language.

ARSa200LA

ロシアの文化と社会ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

佐藤　千登勢

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：2 **単位**
法文営国環キ 2〜4 年※定員制
他学部公開：○　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
ロシアに興味をもつ学生であれば、ロシア語を学習していなくとも履修できます。なお、SA ロシアの２年生は必ず履修してください。ロシアは、峻厳で美しい自然、深くて豊かな芸術（文学、音楽、美術、映画、アニメ、演劇、バレエ、建築など）に満ちた国、また、繊細で優美、神秘的でありながら素朴でパワフルという両極端な感覚に引き裂かれた、なんとも魅力溢れる国です。また、アジアとヨーロッパの文化的融合、社会主義から資本主義へのイデオロギー的・体制的移行、多民族の共生など、複雑で多面的な様相も興味深いものです。こうしたロシアのさまざまな側面を映像・レジュメ資料・概説を通して紹介していくのがこの授業ですが、これら多様な側面を統合して、ロシアの像を結んでいく作業を行うのはみなさん一人ひとりです。

【到達目標】
この授業は、受動的に講義を聴いたり映像を鑑賞するのではなく、多数の情報から自身の感想や見解を導くこと、そして教員が提起した問題に対して意見を短時間のうちに適切な文章でまとめる力を、コメントシートを通して養うことも目的としています。つねに問題意識や批判的観点を抱きながら、授業に臨んでほしいと思います。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
オンライン授業の場合は、毎回のテーマに基づき、授業時間までにレジュメを学習支援システムにアップします。これをよく読んで、参考資料や映画やドキュメンタリー、音楽などの視聴すべき動画の URL を示すので、次週までに必ず視聴の上、コメントを学習支援システムに提出すること。対面授業の場合には、教場で資料を配付し映像資料を共有しながら講義を行います。オンラインによるか対面授業となるかは、初回の授業までにゆとりを持って学習支援システムにて告知します。コメントシートについては、興味深い視点を示したものを選択して次週の授業でみなさんと共有し、教員からコメントを加えるかたちでフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス：ロシアについて	ガイダンス。今日のロシア社会、地理的環境、歴史的キーワードなどを通してロシアの概略を示す。
第 2 回	モスクワ観光スポット（美術館、博物館、教会、劇場、世界遺産）	ロシアの首都モスクワ。歴史、地理を概観するとともに、世界遺産や街並み、地下鉄、美術館、建築、観光スポットを紹介。
第 3 回	サンクト・ペテルブルクの名所（美術館、劇場、博物館、教会）	ロシア第２の都市サンクト・ペテルブルグ。歴史、地理を概観するとともに、世界遺産や街並み、美術館、観光スポットを紹介。

第 4 回	民俗文化とロシア正教、国民の祝日	ロシア正教を国教とするロシア。その影響力は再び絶大なものとなっているが、キリスト教受容以前の異教との習合現象としての二重信仰の伝統もロシアに独特の文化を育んできた。異教、正教、社会主義というイデオロギーなど常に信仰の対象を抱き続ける信心深いロシア人の民俗文化やこれに基づく祝祭、宗教的行事、祝日について紹介。
第 5 回	ロシア・バレエの世界１	バレエ・リュスからソ連時代のバレエ史に名を残すダンサー、そして現代の国際的ダンサーまで、ロシア・バレエの粋を紹介すると同時に、政治的に抑圧を受けたバレエ界の事象、亡命したダンサーについて概観。
第 6 回	ロシア・バレエの世界２	前回の授業を踏まえて、政治とバレエの問題を考える。
第 7 回	ロシアの音楽：グリンカ、チャイコフスキー、ムソルグスキー	ロシア・クラシック音楽の歴史を概観。グリンカからムソルグスキーまでの音楽を、指揮者ゲルギエフ、国際的に活躍する現代ロシアのソリストのパフォーマンスを通して紹介。
第 8 回	ロシアの音楽：政治と音楽（ショスタコーヴィチ、ラフマニノフ）	19 世紀末からロシア革命時の音楽を概観。また、ショスタコーヴィチ、ストラヴィンスキー、ラフマニノフらを通して音楽と政治の問題を考える。
第 9 回	ロシアの音楽：政治と音楽（テルミン、肋骨レコード）	反体制派と呼ばれたソリスト、抑圧された音楽について。
第 10 回	ロシア文学：イーゴリ軍記から 19 世紀前半	『イーゴリ軍記』における異教性、カラムジンの感傷主義、プーシキンのロマン主義とリアリズムの融合について。《余計者》の確立。
第 11 回	ロシア文学： 19 世紀半ば～（ゴーゴリ、ドストエフスキー）	ゴーゴリのグロテスクな手法、《小さな人間》について、ドストエフスキーの超人思想、神人について。
第 12 回	ロシア文学： 19 世紀後半～ 20 世紀（トルストイ、チェーホフ、アヴァンギャルド、フォルマリズム）	トルストイの「性愛・肉欲の否定」と聖愚者の賞揚。チェーホフの創作方法について。《異化》の概念について。政治と文学について。
第 13 回	ロシア文学：亡命作家から現代（ソルジェニーツィン、ブロツキー、ペレーヴィン）／日本文学との影響関係	亡命作家を通してみる政治と文学の問題。検閲から自由になった現代作家の営みを概観。ロシア文学と日本文学との影響関係について。
第 14 回	民族問題とナショナリズムの歴史と現代の民族問題（学生は期末レポート提出）	ロシアの領土拡大とオリエンタリズムについて。ソ連時代の民族統合が現代に残した問題。チェチェン紛争、グルジア紛争、現代ロシアで高まるナショナリズム。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業でとりあげたテーマについて、ネットや文献、映像資料、映画などを通して調べましょう。ソ連・ロシア映画の鑑賞に際しては、AV ライブラリーの活用を勧めます。期末レポートの作成には 1 週間程度の時間が必要となります。

【テキスト（教科書）】
教科書は使用しません。教場で教員が作成する資料を配付します。

【参考書】
参考文献については教場もしくは学習支援システムで紹介します。

【成績評価の方法と基準】
平常点（25%）、コメントシート（25%）、期末レポート（50%）として総合的に判断します。本授業の到達目標の 60%以上を達成した学生は合格となります。

【学生の意見等からの気づき】
みなさんとロシアの多様な魅力を新たに発見するような気持ちで、時事的な話題も含めながら講義を進めたいと思います。

【Outline and objectives】
In this course, we will know about the culture and arts of Russia through the lecture and visual materials. Themes of this lecture: Tourist spots Moscow and Saint Peter's burg, Russian ballet, music and literature.

ARSa200LA

ロシアの文化と社会ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

佐藤　千登勢

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 2〜4 年※定員制

他学部公開：○　**グローバル：**　**成績優秀：**○　**実務教員：**

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期の授業に引き続き、ロシアの文化の多様性を見ていきます。春学期に得た情報を基に、さらにそこに新たな領域・ジャンルの知識を積み重ねていくことになりますので、各自がロシアのイメージを整理しつつ、吸収していってほしいと思います。

【到達目標】
この授業は、受動的に講義を受けたり映像を鑑賞するのではなく、多数の情報から自身の感想や見解を導き、教員が提起した問題に対して能動的に意見や主張をまとめる力を養うことを目標としています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
オンライン授業の場合は、毎回のテーマに基づき、授業時間までにレジュメを学習支援システムにアップします。これをよく読んで、参考資料や映画やドキュメンタリー、音楽などの視聴すべき動画の URL を示すので、次週までに必ず視聴の上、コメントを学習支援システムに提出すること。対面授業の場合には、教場で資料を配付し映像資料を共有しながら講義を行います。オンラインによるか対面授業となるかは、初回の授業までにゆとりを持って学習支援システムにて告知します。コメントシートについては、興味深い視点を示したものを選択して次週の授業でみなさんと共有し、教員からコメントを加えるかたちでフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス／ロシアの歴史１：キエフルーシ、タタールの軛、イワン雷帝	ロシアの歴史：キエフルーシ、タタールの軛、イワン雷帝の治世について。
第 2 回	ロシアの歴史２	ピョートル大帝、エカテリーナ女帝、大黒屋光太夫、祖国戦争について映像資料を交えて概観。
第 3 回	ロシアの歴史３	農奴解放、近代化、テロリズム、日露戦争について映像資料を交えて概観。
第 4 回	ロシアの歴史４	ロマノフ王朝の崩壊、ロシア革命、スターリニズムについて映像資料を交えて概観。
第 5 回	ロシアの歴史５	雪解けから停滞へ、ペレストロイカ、チェルノブイリ原発事故、ソ連邦崩壊、新生ロシアまでを映像資料を交えて概観。
第 6 回	ソ連映画１	映画黎明期からモンタージュ派（エイゼンシュテイン、ヴェルトフ）、文芸映画を鑑賞しつつ、とりわけ政治的背景と映画の手法について着目する。
第 7 回	ソ連映画２	雪解け期から停滞の時代までに制作された文芸映画を、社会的背景、政治的体制、手法の観点から見ていく。
第 8 回	ソ連映画３	反体制の烙印を押された監督（タルコフスキー、パラジャーノフ、イオセリアーニら）の作家性、手法、映像美を堪能する。また、SF 映画を概観するとともに、ペレストロイカ期に多く制作された不条理作品、諷刺コメディを通して、政治と映画の問題を確認する。
第 9 回	ロシア映画４	検閲から自由になった映画として、芸術性と映像実験を重ねるソクーロフの作品、また、大国ロシアを再び謳い上げる戦争映画、エンターテインメント、社会派ドラマと多様化する映画界の現状を概観する。
第 10 回	ロシア映画５	前回に引き続き、戦争映画、エンターテインメント、社会派ドラマと多様化する映画界の現状と傾向を概観する。
第 11 回	ロシア美術１	イコン（聖像画）の機能について、移動展派の営み、パトロンの役割について。
第 12 回	ロシア美術２	マレーヴィチ、カンディンスキー、シャガールの絵画について。ロシア・アヴァンギャルド期の建築について紹介。
第 13 回	ロシア・アニメ１	黎明期からプロパガンダ・アニメ、児童アニメ（タレーヴィチ、アタマノフ、ヒトルーク、カチャーノフ）の概説と作品の鑑賞。
第 14 回	ロシア・アニメ２	アート・アニメ（ノルシュテイン、ペトロフらの作品）の概説と作品鑑賞。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業でとりあげたテーマについて、ネットや文献、映像資料、映画などを通して調べましょう。ソ連・ロシア映画の視聴には、AV ライブラリーの利用を勧めます。期末レポートの作成には 1 週間程度の時間を要することになります。

【テキスト（教科書）】
教科書は使用しません。教員が作成した資料を学習支援システムにアップします。

【参考書】
教場で適宜、紹介します。

【成績評価の方法と基準】
平常点（25%）、コメントシート（25%）、期末レポート（50%）として、総合的に判断します。本授業の到達目標の 60%以上を達成した学生が合格となります。

【学生の意見等からの気づき】
今学期はロシアの歴史、映画が中心となりますが、時事的な話題もとりこみながらレジュメを作成します。

【Outline and objectives】
In this course, we will know about the culture and arts of Russia through the lecture and visual materials. Themes of this lecture: Russian history, and films, pictures and animations.

LANc200LA

中国語３Ⅰ

2017 年度以降入学者

王　翠莉

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**火 4**/Tue.4
単位数：**1 単位**
法 2 年 G

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、中国語 1、中国語２を一通り終えた学生を対象にする授業です。
本授業では、中国語１と中国語２で学んだ基礎文法文型を生かし、教科書「優しいビジネス中国語」の内容を勉強することにより、中国語の応用表現を覚えます。
本講義の目的は、ビジネス上で必要な中国語の基本会話と文章表現を勉強し覚えることにより、中国語の応用力の向上を目指すことにあります。

【到達目標】
本授業で使用する教科書「優しいビジネス中国語」は、ビジネス関係の中国語会話文を中心にし、内容は銀行、財務、商談、宴会のセッティング、労働待遇、アフタサービス、国際入札、コンテナ輸送など幅広い分野をカバーしていて、とても実用的で充実している内容です。
中国語の基礎勉強を終えた後、このようなビジネス上で必要な基本会話と文章表現を勉強し覚えることにより、中国語の語学力特に応用力の向上ができます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
本授業の進め方と方法は、基本的には教科書を中心に授業を進めます。教科書の各課は、会話本文、文法と作文、書き換え練習、ヒアリング練習と参考表現からなっています。
授業の進め方は、まず、教科書の文法を説明の上、受講生たちと一緒に会話本文を読んだり翻訳したりします。難しい中国語の表現がある場合、例文を挙げて説明したりします。その次、書き換え練習、ヒアリング練習、参考表現を練習します。時間の余裕がある時、音読と短文作りの練習をします。
二回の授業で 1 回単語小テストをします。小テストの点数を平常点に計上します。
授業中の練習方法としては、毎回の授業では音読と翻訳の練習をするから、時間の制限で全員はできないので、4，5 人ずつグループを作り、交代で音読と翻訳の発表をします。毎回の授業では、学生全員に練習のチャンスを与えます。
課題等へのフィードバックは基本的には授業時間を通じて行います。
本授業はハイブリッド（オンラインと対面を併用）で行います。授業についての詳細は学習支援システムでお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回目	①オリエンテーション ②復習と練習	本授業の目標・内容、授業の進め方、成績評価の方法などについて説明し、使用教科書を紹介する。
2 回目	発音の復習と練習	1 年生の教科書「ポイント学習中国語」第 4 課のポイント 4・1「二音節語の声調 20 パタン」を繰り返して発音の練習をする。 受講生全員の発音をチェックする。
3 回目	第 1 課「オフィスを訪ねる」を勉強する。	①第 1 課の会話本文「オフィスを訪ねる」を勉強する。 ②下記の「文法と作文」を学ぶ。 文法 1 ：「疑問詞+☒」構文； 文法 2 ：動詞の重ね方 ③置き換え練習 ④ヒヤリング練習
4 回目	第 2 課　レストランに食事に行く	①第 2 課の会話本文「レストランに食事に行く」を勉強する。 ②下記の文法を勉強する。 文法 3 ：「形容詞+了」構文 文法 4 ：選択疑問文「A ☒是 B？」 ③置き換え練習 ④ヒアリング練習
5 回目	第 1 課、第 2 課の音読練習と質問応答	①第 1 課、第 2 課の音読練習 ②第 1 課、第 2 課の質問解答
6 回目	第 3 課 銀行に行く	①第 3 課の会話本文「銀行に行く」を勉強する。 ②下記の文法を勉強する。 文法 5 ：助動詞「想」の用法 文法 6 ：結果補語「好」の用法 ③置き換え練習 ④ヒアリング練習
7 回目	第 4 課　商談をする	①第 4 課の会話本文「商談をする」を勉強する。 ②下記の文法を勉強する。 文法 7 ：結果補語「到」 文法 8 ：程度補語 ③置き換え練習 ④ヒアリング練習
8 回目	第 3 課、第 4 課の音読練習と質問応答	①第 3 課、第 4 課の音読練習 ②第 3 課、第 4 課の質問解答
9 回目	第 5 課　宴会のセッティングする	①第 5 課の会話本文「宴会のセッティング」を勉強する。 ②下記の文法を勉強する。 文法 9 ：数量述語文 文法 10 ：「把」+目的語+動詞」の構文 ③置き換え練習 ④ヒアリング練習
10 回目	第 6 課　有給休暇を取る	①第 6 課の会話本文「有給休暇をとる」を勉強する。 ②下記の文法を勉強する。 文法 3 ：「形容詞+了」構文 文法 11 ：助動詞「可以」の用法 文法 12 ：「快～了」の用法 ③置き換え練習 ④ヒアリング練習
11 回目	第 5 課、第 6 課の音読練習と質問応答	①第 5 課、第 6 課の音読練習 ②第 5 課、第 6 課の質問解答
12 回目	授業のまとめ	春学期の授業内容をまとめて復習する。
13 回目	授業内口頭試験	音読を練習の上音読録音を提出
14 回目	筆記試験、まとめと解説	教室で対面形式で筆記試験を行う。 試験後、まとめと解説をする

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回の授業内容と宿題をしっかり練習しましょう。
特に外国語の勉強にとっては、音読練習はとても重要なので、楽しく練習すれば、上手になります。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
オンライン授業を実施する場合、ちゃんと ZOOM 授業に参加し、毎回のレポート課題をしっかりやりましょう。

【テキスト（教科書）】
『やさしいビジネス中国語』三潴正道他著、朝日出版社、2007 年、2,200 ＋税

【参考書】
中国語辞書
『商経学部生のための読む中国語』大羽りん・趙青著、白水社

【成績評価の方法と基準】
成績評価は、平常点と期末試験の点数により構成されます。
平常点は 30 %で、期末試験は 70 %。
平常点には、受講態度、小テスト、課題の完成度、口頭試問等を含みます。
期末試験の 70 %には、口頭試験は 20 %、筆記試験は 50 %。

【学生の意見等からの気づき】
授業の終了時間をオーバーしないように気を付けます。

【学生が準備すべき機器他】
オンライン授業を受講するための通信環境、PC などを準備してください。

【Outline and objectives】
This course is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners. This course is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners to acquire the basic grammer and to learn how to use Chinese by the Book of “Friendly Business”. The aim of this courseWe will improve the Chinese basic speaking, writing and applying ability.

LANc200LA

中国語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

王　翠莉

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**火** 4/Tue.4
単位数：**1 単位**
法 2 年 G

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、中国語３Ｉの続きで、中国語 1、中国語２を一通り終えた学生を対象とする授業です。
本授業では、中国語１と中国語２で学んだ基礎文法文型を生かし、教科書「優しいビジネス中国語」を勉強することにより、中国語の応用表現を覚えます。
本講義の目的は、ビジネス上で必要な中国語の基本会話と文章表現を勉強し覚えることにより、中国語の応用力の向上を目指すことにあります。

【到達目標】
本授業は、中国語３Ｉの続きです。
春学期に使用した教科書「やさしいビジネス中国語」を引き続き勉強し、第 7 課から勉強します。第 7 課からの内容は、空港待合室、アフタサービス、流通業のコンテナ輸送、就職面接＆待遇、病院で診察を受ける、国際入札、財務関係など、幅広く各分野にわたっていて、とても実用的で充実している内容です。これらのビジネス上で必要な中国語の表現を勉強することにより、自分の中国語の表現力と応用力が向上することができます。
教科書の本文は会話形式なので、ビジネス上で必要な基本会話とビジネス関係の中国語文章の翻訳ができるようになることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
本授業は、基本的には教科書を中心に授業を進めます。
教科書の各課は、会話本文、文法と作文、書き換え練習、ヒアリング練習と参考表現からなっています。
授業の進め方は、まず、教科書の文法を説明の上、受講生たちと一緒に会話本文を読んだり翻訳したりします。難しい中国語の表現がある場合、例文を挙げて説明したりします。本文と文法を勉強した後、書き換え練習、ヒアリング練習、参考表現を練習します。時間の余裕がある場合、音読と短文作りの練習をします。
二回の授業で 1 回単語小テストをします。小テストの点数を平常点に計上します。
授業中の練習方法としては、毎回の授業では音読と翻訳の練習をするから、時間の制限で全員はできないので、4，5 人ずつグループを作り、交代で音読と翻訳の発表をしてもらいます。毎回の授業では、学生全員に練習のチャンスを与えます。
課題等へのフィードバックは基本的には授業時間を通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回目	①オリエンテーション ②総合復習	①後期の授業の目標・内容、授業の進め方、成績評価の方法などについて説明する。 ②中国語で自己紹介文を書いて提出する。

2 回目	第 7 課　フライトを待つ	①第 7 課のポイントを説明する 文法 13 ：時間量を表す言葉の位置 文法 14 ：「被」の用法 ②会話本文「フライトを待つ」を勉強する。 ③書き換え練習 ④ヒアリング練習、 ⑤参考表現を説明する。
3 回目	第 8 課　アフターサービス	①第 8 課のポイントを解説する 文法 15 ：「吧」の用法 文法 16 ：「V ⊠～」の用法 ②会話本文「アフターサービス」を勉強する ③書き換え練習 ④ヒアリング練習、 ⑤参考表現を説明する。
4 回目	第 7 課、第 8 課の音読練習と質問解答	①第 7 課、第 8 課の音読練習 ②質問解答 ③単語小テスト
5 回目	第 9 課　コンテナ輸送	①第 9 課のポイントを説明する 文法 17 ：「一～就…」の構文 文法 18 ：「既～又…」の構文 ②会話本文「コンテナ輸送」を勉強する。 ③書き換え練習 ④ヒアリング練習、 ⑤参考表現を説明する。
6 回目	第 10 課　待遇	①第 10 課のポイントを説明する 文法 19 ：「（只有）～、才能…」の用法 文法 20 ：「作⊠～」の用法 ②会話本文「待遇」を勉強する。 ③書き換え練習 ④ヒアリング練習、 ⑤参考表現を説明する。
7 回目	第 9 課、第 10 課の音読練習と質問解答	①第 9 課、第 10 課の音読練習 ②質問解答 ③単語小テスト
8 回目	第 11 課　病院にて	①第 11 課のポイントを説明する 文法 21 ：「先～、然后…」の構文 文法 22 ：「不是～、而是…」の構文 ②会話本文「病院にて」を勉強する。 ③書き換え練習 ④ヒアリング練習、 ⑤参考表現を説明する。
9 回目	第 12 課　国際入札	①第 12 課のポイントを説明する 文法 23 ：「听～⊠/听⊠～」の構文 文法 24 ：「有」を伴う 2 音節動詞 ②会話本文「国際入札」を勉強する。 ③書き換え練習 ④ヒアリング練習、 ⑤参考表現を説明する。
10 回目	第 13 課　財務	①第 13 課のポイントを説明する 文法 25 ：様態補語と可能補語 文法 26 ：助詞「地」の用法 ②会話本文「財務」を勉強する。 ③書き換え練習 ④ヒアリング練習、 ⑤参考表現を説明する。
11 回目	第 11 課、第 12 課、第 13 課の音読練習と質問解答	①第 11 課、第 12 課、第 13 課の音読練習 ②質問解答 ③単語小テスト
12 回目	総合復習練習	①授業内容のまとめと復習 ②質問解答
13 回目	音読テスト	音読テスト
14 回目	秋学期授業内試験	授業内試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業内容を復習することはとても大事なことなので、宿題又は課題がある場合、ちゃんとやりましょう。
また、外国語の勉強にとっては、音読がとても重要なので、楽しく練習すればお上手になります。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『やさしいビジネス中国語』三潴正道他著、朝日出版社、2007 年、2,200 円＋税

【参考書】
『商経学部生のための読む中国語』大羽りん・趙青著、白水社、2019 年 2 月

【成績評価の方法と基準】
成績評価は、平常点と期末試験の点数により総合評価を出す。
平常点は 30%、期末試験は 70%。
平常点には、出席、授業中の小テストと練習および学習態度等を含む。
期末試験には、音読テストは 20%、筆記試験は 50%占める。
中国語検定試験 4 級以上の合格者には、期末筆記試験を免除する。
中国語検定試験の取得点数と期末口頭試験と平常点により評価をする。
＊無断欠席 4 回以上の受講生は評価対象にならない可能性がある。

【学生の意見等からの気づき】
授業中の私語と中国語学習以外の携帯使用を禁止する！
授業の終了時間をオーバーしないように気を付ける。

【Outline and objectives】
This course is Chinese Ⅰ of Ⅲ which is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners. This course is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners to acquire the basic grammer and to learn how to use Chinese by the Book of “Friendly Business Chinese. The aim of this courseWe will improve the Chinese basic speaking, writing and applying ability.

LANc200LA

中国語３Ⅰ

2017 年度以降入学者

祝　振媛

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**1 単位**
法 2 年 H

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
中国語１、中国語２で学習した内容を基礎とし、次のステップへ進む。

【到達目標】
・中国語による基本的な日常会話を聞いて理解できる。
・基礎的な中国語を使って自分の意思を伝えることができる。
・ 中国の歴史、文化に対する関心を養う。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
本講義は授業の形態として、原則には面接授業を実施する。状況に応じて時には zoom の授業をも行う。進度として１課を２回の授業で進める。毎回の授業は概ねに次のように進める。１）小テスト（約２５分）　２）テキストの学習（約４０分）　３）文法に関する問題演習、会話の練習など（約３５分）。　外国語を身につけるために継続的な学習が必要なので、毎回授業の始めに小テストを設ける。またこの授業は教室の中での学習と自宅での学習を組み合わせて展開することができる。課題等へのフィードバックは授業時間またはメールをも通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業概要の説明
2	第一課　『北京に到着』 連動文	1 原因、結果の表現 2 動詞句主語 3 数字に関して
3	第一課　『北京に到着』 本文暗唱	文法問題の演習
4	第二課　『道を尋ねる』 疑問文の使い方	１動詞の完了表現 ２反復疑問文
5	第二課　『道を尋ねる』 本文暗唱	文法問題の演習/会話
6	第三課　『買い物』 数量補語	形容詞と比較の表現に関して
7	第三課　『買い物』 本文の暗唱	文法問題の演習/会話
8	文法問題の演習	第一課～第三課の勉強した内容の復習、確認
9	第四課『バスに乗る』 １名詞の修飾語 ２副詞に関して	１結果補語 ２人民元に関して
10	第四課『バスに乗る』 本文の暗唱	文法問題の演習/会話
11	第五課『新しい友達』 様態補語	１完了の「了」に関して ２変化の「了」に関して
12	第五課『新しい友達』 本文の暗唱	文法問題の演習/会話
13	第六課　『外食』 １ 経験に関する助詞 ２　依頼に関する動詞	１主述述語文 ２能願動詞
14	第六課　『外食』 本文暗唱	第一課～第六課勉強した内容の復習、文法問題の演習、確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
語学は復習が重要なので、授業後は音声を聞いたり、単語帳を作ったりするなど既習した内容をしっかり復習してほしい。また、付属の教材 CD や http://fic.xsrv.jp/hosei/ を活用し、習った内容をしっかり身につけるように努めてほしい。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
課題等へのフィードバックは授業時間またはメールをも通じて行う。

【テキスト（教科書）】
『２年生のコミュニケーション中国語』
塚本慶一　劉穎　著
白水社

【参考書】
中国語辞書を必ず１冊用意すること（電子辞書可）
『ポイント学習中国語初級』東方書店

【成績評価の方法と基準】
毎回授業の最初に行う小テスト及び授業の参加度は成績評価の 60 %とし、中間と期末の試験はそれぞれ成績の 20 %とします。平均点数が 60 点以上の人を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】
学生とコミュニケーションを取りながら授業を展開することが評価されたので、今後も続けて行く。

【学生が準備すべき機器他】
中国語の発音を聞く必要があるので、PC や CD を用意してほしい。

【その他の重要事項】
本講義は面接授業、あるいは zoom の授業を実施しますので、全回の出席が成績評価の前提である。原則として欠席は認めない。やむ得ない事情（健康不良など）があれば、各種の証明書の提出など、各自で然るべき対応を取ること。尚、毎回の授業の最初に小テストをするので、遅刻は厳禁。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

祝　振媛

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**1 単位**
法 2 年 H

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
中国語１、中国語２で学習した内容を基礎とし、次のステップへ進む。

【到達目標】
・中国語による基本的な日常会話を聞いて理解できる。
・基礎的な中国語を使って自分の意思を伝えることができる。
・ 中国の歴史、文化に対する関心を養う。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
本講義は授業の形態として、原則には面接授業を実施する。状況に応じて時には zoom の授業をも行う。進度として１課を２回の授業で進めていく。単語などの小テストを行う。新出単語・文法事項を確認しながら、本文の和訳、中訳、発音練習などを行う。毎回会話練習をする。課題等へのフィードバックは授業時間またはメールをも通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	復習	第一課～第六課の復習
2	第七課　『約束』 伝聞に関する動詞	「可～了」に関して 能願動詞：打算
3	第七課　『約束』 本文の暗唱	文法、表現、語彙に関する練習/会話
4	第八課　『友達に電話する』 方向補語	使役文、兼語
5	第八課　『友達に電話する』 本文の暗唱	文法、表現、語彙に関する練習/会話
6	第九課　『郵便局』 慣用句： 「如果～」	方向補語の「到」
7	第九課　『郵便局』 本文の暗唱	文法、表現、語彙に関する練習/会話
8	まとめ、復習	第七課～第九課の復習、勉強した内容の確認
9	第十課　『医者に行く』 １「有一点」に関して	１能願動詞の「要」 ２一～就
10	第十課　『医者に行く』 本文の暗唱	文法、表現、語彙に関する練習/会話
11	第十一課『家庭訪問』 １助動詞「用」 ２進行形	「就是」の使い方
12	第十一課『家庭訪問』 本文の暗唱	文法、表現、語彙に関する練習/会話
13	第十二課　『謝恩会』 可能補語	１変化を表す「了」 ２「就要～了」
14	第十二課『謝恩会』 本文の暗唱	第七課～第十二課の復習、勉強した内容の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・付属の CD を繰り返して聴く。
・単語の意味を必ず事前に調べる。
・本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。課題等へのフィードバックは授業時間またはメールをも通じて行う。

【テキスト（教科書）】
『二年生のコミュニケーション中国語』
塚本慶一　劉頴　著
白水社

【参考書】
中国語辞書を必ず１冊用意すること（電子辞書可）
『ポイント学習中国語初級』東方書店

【成績評価の方法と基準】
毎回授業の最初に行う小テスト及び授業の参加度は成績評価の 60 %とし、中間と期末の試験はそれぞれ成績の 20 %とします。平均点数が 60 点以上の人を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】
学生とコミュニケーションを取りながら授業を展開することが評価されたので、今後も続けて行く。

【学生が準備すべき機器他】
中国語の発音を聞く必要があるので、PC や CD を用意してほしい。

【その他の重要事項】
本講義は面接授業、あるいは zoom の授業を実施しますので、全回の出席が成績評価の前提である。原則として欠席は認めない。やむ得ない事情（健康不良など）があれば、各種の証明書の提出など、各自で然るべき対応を取ること。尚、毎回の授業の最初に小テストをするので、遅刻は厳禁。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３Ｉ

2017 年度以降入学者

劉　渴氷

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**木** 1/Thu.1
単位数：**1 単位**
法２年Ｉ・Ｊ

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
教科書には、会話体の文章が集められています。これらの文章を読解しながら、初級文法の復習を行うとともに、中級レベルより高度な文法と語彙を学習します。更に中国への関心と理解も深めるために、教科書で触れているトピックスに関連させながら中国の社会や文化についても紹介を行います。

【到達目標】
学んだ基礎的な中国語運用能力を伸ばし、とくに中国語の「音」に慣れ、リスニング力を向上させることが目標です。中検３級 を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
音読、ヒアリング、会話、暗唱などの練習を繰り返し行い、中国語によるコミュニケーション能力を磨きます。
課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う。
本授業はハイブリッド（オンラインと対面を併用）で行います。授業についての詳細は学習支援システムでお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業イントロダクション
2	第１課	文法・本文
3	第１課	応用練習
4	第２課	文法・本文
5	第２課	応用練習
6	第３課	文法・本文
7	第３課	応用練習
8	第４課	文法・本文
9	第４課	応用練習
10	第５課	文法・本文
11	第５課	応用練習
12	第６課	文法・本文
13	第６課	応用練習
14	授業の総まとめとテスト	授業の総まとめと期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
「もっと話そう　異文化おもしろ体験　中級中国語」　陳淑梅・胡興智・劉渴氷
（朝日出版社）

【参考書】
必要に応じて指示する。

【成績評価の方法と基準】
課題提出　授業への参加度 ６０％　期末レポート課題試験 ４０％

【学生の意見等からの気づき】
特に無し。

【学生が準備すべき機器他】
オンライン授業を受講するための通信環境、PC 等を準備して下さい。

【Outline and objectives】
Textbooks are a collection of conversational texts. While reading these sentences, you will review beginner grammar and learn more advanced grammar and vocabulary than the intermediate level. In order to deepen interest and understanding in China, we will also introduce Chinese society and culture in relation to the topics mentioned in the textbook.

LANc200LA

中国語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

劉　渴氷

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**木** 1/Thu.1
単位数：**1 単位**
法２年Ｉ・Ｊ

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
教科書には、会話体の文章が集められています。これらの文章を読解しながら、初級文法の復習を行うとともに、中級レベルより高度な文法と語彙を学習します。更に中国への関心と理解も深めるために、教科書で触れているトピックスに関連させながら中国の社会や文化についても紹介を行います。

【到達目標】
学んだ基礎的な中国語運用能力を伸ばし、とくに中国語の「音」に慣れ、リスニング力を向上させることが目標です。中検３級 を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
音読、ヒアリング、会話、暗唱などの練習を繰り返し行い、中国語によるコミュニケーション能力を磨きます。
課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業イントロダクション
2	第７課	文法・本文
3	第７課	応用練習
4	第８課	文法・本文
5	第８課	応用練習
6	第９課	文法・本文
7	第９課	応用練習
8	第１０課	文法・本文
9	第１０課	応用練習
10	第１１課	文法・本文
11	第１１課	応用練習
12	第１２課	文法・本文
13	第１２課	応用練習
14	授業のまとめとテスト	授業のまとめと期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
「もっと話そう　異文化おもしろ体験　中級中国語」　陳淑梅・胡興智・劉渴氷
(朝日出版社)

【参考書】
必要に応じて指示する。

【成績評価の方法と基準】
課題提出　授業への参加度 ６０％　期末レポート課題 試験４０％

【学生の意見等からの気づき】
特に無し。

【Outline and objectives】
Textbooks are a collection of conversational texts. While reading these sentences, you will review beginner grammar and learn more advanced grammar and vocabulary than the intermediate level. In order to deepen interest and understanding in China, we will also introduce Chinese society and culture in relation to the topics mentioned in the textbook.

LANc200LA

中国語３Ｉ

2017 年度以降入学者

木村　佳代子

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
法 2 年 K

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、「中国語１」で学修した基礎文法の要点を復習しながら、より実践的な語学力を身に付けつけます。「読む、話す、書く、訳す」技術の向上と、ことばの背景にある中国文化、中国事情の知識を深めることで、発信力と受信力を蓄えてゆきます。

【到達目標】
１．中国語の中級レベルの語彙、文法を学修し、運用することができる。
２．ことばの背景にある中国文化、中国事情について学び、自国との比較を通じて、正しく日中対訳ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
中国社会を反映した全 12 課のテキストを使用し、一つの課を複数回に分け、本文の発音練習、訳文練習、会話練習、作文練習、テキスト内の練習問題の解答を行います。課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行います。第 1 回目はオンライン授業です。また，通学に不安がある方は事前に申し出をお願いします。リモートで授業に参加できるようにします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	第１課（動詞 “上” の用法、“対～”「～について」の用法）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 2 回	第１課　（複合方向補語、存在文）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 3 回	第２課（進行表現、結果補語）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 4 回	第２課（禁止表現、“把” 構文）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 5 回	第３課（方位詞、“不但～而且” の表現）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 6 回	第３課（仮定表現）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 7 回	第１課～第３課の復習	ヒヤリングを中心とした練習
第 8 回	第４課（伝聞表現、形容詞の重ね型）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 9 回	第４課（条件関係の表現）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 10 回	第５課（強調表現）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 11 回	第５課（受身表現、確認表現）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 12 回	総合練習（第１課～第３課）	期末試験に向けた復習と練習。
第 13 回	総合練習（第４課、第５課）	期末試験に向けた復習と練習。
第 14 回	試験・まとめと解説	朗読試験、ヒヤリング・筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。事前学修、事後学修は、音声ファイルをダウンロードし、発音練習や書き取り練習を繰り返しおこなってください。

【テキスト（教科書）】
『準中級中国語会話編』奥村佳代子・塩山正純・張軼欧　金星堂
2300 円＋税
ISBN978-4-7647-0711-5

【参考書】
『準中級中国語講読篇』　奥村佳代子・塩山正純・張軼欧　金星堂
2300 円＋税
ISBN978-4-7647-0712-2

【成績評価の方法と基準】
平常点 60 %、期末試験 40 %を総合して評価します。

【学生の意見等からの気づき】
授業では、学生の個別指導を強化して到達度チェックを図ってゆきます。

【学生が準備すべき機器他】
音声教材を聞くことができる機器が必要です。

【Outline and objectives】
・To review important point of Chinese grammar.
・Improve reading,speaking,writing,and translating skills.
・Learning Chinese clutures and social changes to enable to express thoughts and opinions in Chinese.

LANc200LA

中国語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

木村　佳代子

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
法 2 年 K

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、引き続き、「中国語１」で学修した基礎文法の要点を復習しながら、より実践的な語学力を身に付けつけます。「読む、話す、書く、訳す」技術の向上と、ことばの背景にある中国文化、中国事情の知識を深めることで、発信力と受信力を蓄えてゆきます。

【到達目標】
１．中国語の中級レベルの語彙、その用法を学修し、運用することができる。
２．ことばの背景にある中国文化、中国事情について学び、自国との比較を通じて、正しく日中対訳ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
中国社会を反映した全 12 課のテキストを使用し、一つの課を複数回に分け、本文の発音練習、訳文練習、会話練習、作文練習、テキスト内の練習問題の解答を行います。課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	第６課（強調表現）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 2 回	第６課（様態補語、疑問詞の不定詞用法）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 3 回	第７課（使役）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 4 回	第７課（離合詞）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 5 回	第８課（“会～的”）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 6 回	第８課（“向～” の用法）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 7 回	第６課～第８課の復習	ヒヤリングを中心とした練習
第 8 回	第９課（結果補語）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 9 回	第９課（動量詞）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 10 回	第 10 課（“是～的” 構文）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 11 回	第 10 課（結果補語、方向補語）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 12 回	総合練習（第６課～第８課）	期末試験に向けた復習と練習。
第 13 回	総合練習（第９課、第 10 課）	期末試験に向けた復習と練習。
第 14 回	試験・まとめと解説	朗読試験、ヒヤリング、筆記試験。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。事前学修、事後学修は、音声ファイルをダウンロードし、発音練習や書き取り練習を繰り返し行ってください。

【テキスト（教科書）】
『準中級中国語会話編』奥村佳代子・塩山正純・張軼欧　金星堂
2300 円＋税
ISBN978-4-7647-0711-5

【参考書】
『準中級中国語講読篇』　奥村佳代子・塩山正純・張軼欧　金星堂
2300 円＋税
ISBN978-4-7647-0712-2

【成績評価の方法と基準】
平常点 60 %、期末試験 40 パーセントを総合して評価します。

【学生の意見等からの気づき】
授業では、学生の個別指導を強化して到達度チェックを図ってゆきます。

【学生が準備すべき機器他】
音声教材を聞くことができる機器が必要です。

【Outline and objectives】
This corse is continued from Spring semester.
・To review important point of Chinese grammar.
・Improve reading,speaking,writing,and translating skills.
・Learning Chinese clutures and social changes to enable to express thoughts and opinions in Chinese.

LANc200LA

中国語３Ｉ

2017 年度以降入学者

黄　海萍

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**1 単位**
法 2 年 L

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、中国語中級レベルの読解力 UP をめざすための授業です。中国語の基礎を一通り学んだ学生を対象として、初級レベルの知識の確認及び定着を進めつつ、中国語に関する知識をさらに高度なレベルにまで引き上げることを目的とします。授業では中国語のまとまった文章を精読することによって中級程度の中国語読解力を養い、「聞く、話す、読む、書く、訳す」技術の向上を目指します。同時に、中国の文化、社会、歴史及び日本と中国の歴史的関係などに対する理解を深めることを目標とします。

【到達目標】
1、中国語の中級レベルの語彙、文法を学習し、運用することができます。
2、読解を通して中級程度の文法知識や読み解く要領をマスターし、最終的にはピンインのないテキストを独力で音読できるようになります。
3、様々な文章を吟味することを通して中国の歴史・社会・文化への理解をいっそう深めます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業は指定したテキストに従い、第一課から順次進めていきます。毎回 1 課分ずつ進行する予定です。春学期は前半部分（第一～第十二課）を行い、秋学期は引き続き後半部分（第十三～第二十四課）を行いますので、できれば通年で履修することが望ましいです。
課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う予定です。
本授業は対面実施を基本としますが、第一週目（初回授業）はオンラインとなります。詳細は学習支援システムでお知らせします。また、必要に応じてオンラインの回も適宜導入する可能性があります。変更する場合、事前に学習支援システム等で提示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス、発音の復習	①ガイダンス②声調、単母音、複母音、発音のポイント、無気音と有気音、子音、声調の変化、発音のまとめ③小テストの例を示す
第 2 回	【城市篇】第一☒　北京	関連基礎知識、語彙と文法の解説、本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。
第 3 回	【城市篇】第二☒　上海	第一課を復習するための小テスト、関連基礎知識、語彙と文法の解説、本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。
第 4 回	【城市篇】第三☒　西安	第二課を復習するための小テスト、関連基礎知識、語彙と文法の解説、本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。
第 5 回	【城市篇】第四☒　广州	第三課を復習するための小テスト、関連基礎知識、語彙と文法の解説、本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。
第 6 回	【社会・世☒篇】第五☒　☒一部分人先富起来	第四課を復習するための小テスト、関連基礎知識、語彙と文法の解説、本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。
第 7 回	【社会・世☒篇】第六☒　☒傲的 GDP 的背后	第五課を復習するための小テスト、関連基礎知識、語彙と文法の解説、本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。
第 8 回	【社会・世☒篇】第七☒　互☒网在改☒中国	第六課を復習するための小テスト、関連基礎知識、語彙と文法の解説、本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。
第 9 回	【社会・世☒篇】第八☒　房奴、☒奴和卡奴	第七課を復習するための小テスト、関連基礎知識、語彙と文法の解説、本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。
第 10 回	【☒史☒☒篇】第九☒　万里☒城	第八課を復習するための小テスト、関連基礎知識、語彙と文法の解説、本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習、期末試験に向けた復習と練習（第一～三課）。
第 11 回	【☒史☒☒篇】第十☒　泰山	第九課を復習するための小テスト、関連基礎知識、語彙と文法の解説、本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習、期末試験に向けた復習と練習（第四～六課）。
第 12 回	【☒史☒☒篇】第十一☒　秦始皇陵及兵☒俑坑	第十課を復習するための小テスト、関連基礎知識、語彙と文法の解説、本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習、期末試験に向けた復習と練習（第七～九課）。
第 13 回	【☒史☒☒篇】第十二☒　客家与 “福建土楼” 建筑群	関連基礎知識、語彙と文法の解説、本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習、期末試験に向けた復習と練習（第十～十二課）。
第 14 回	期末試験	春学期に学んだ部分についての朗読試験と筆記試験を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【準備】標準中国語の発音表記である「ピンイン」の基礎的な運用（ピンイン記号を正しく発音できること）を習得しておくことが、この授業を受講する前提条件です。
【予習】テキストを数行ずつ、各受講者に音読、日本語訳してもらった後、講師が文法および内容について解説しながら読み進めます。したがって、わからない語句や文法事項などがあれば発音および意味を調べ、文章の意味を訳出して授業に臨むこと。また、音源を活用して本文の朗読を繰り返してください。
【復習】授業で履修した箇所を音読練習しながら意味を再度確認し、表現や語彙をしっかり定着するようにしてもらいたいです。できれば HSK や中国語検定など各種検定試験を積極的に受験してほしいです。

【テキスト（教科書）】
村松恵子・前田光子・董紅俊 著（2017）『新版　中国之窗 —真実の隣国を知ろう』白帝社。
2500 円＋税
ISBN-13 ： 978-4863982680

【参考書】
中国語辞書を必ず 1 冊用意すること（電子辞書可）
瀬戸口 律子 (2015)『完全マスター中国語の文法』[改訂版] 語研。
ISBN-13:978-4876152971
2400 円＋税
『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店
ISBN-13 ： 9784497210036
2900 円＋税

【成績評価の方法と基準】
1、平常点 60 %（出席状況と毎回授業の最初に行う復習テスト）、期末試験 40 %を総合的に評価します。総合得点が 60 点以上の人を合格とします。
2、欠席が授業時間数の 3 分の 1 を超えた場合には不合格としますので注意してください。毎回の授業参加を重視してください。30 分以上遅れた場合、出席としてカウントしません。2 回の遅刻を 1 回の欠席とします。

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】
音声教材を聞くことができる機器が必要です。

【その他の重要事項】
オフィスアワーは特に設けませんが、質問などについては、メールなどで対応します。
毎回の授業の最初に小テストをしますので、遅刻はないように努力してください。
授業内小テストの範囲、予習内容については授業中に指示します。
授業以外に予習、復習のための時間を必ず確保してください。

【Outline and objectives】
This class aims to improve reading comprehension at the intermediate level of Chinese. It is intended for students who have learned all the basics of Chinese.

LANc200LA

中国語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

黄　海萍

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**1 単位**
法 2 年 L

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、春学期に引き続き、授業で中級レベルの中国語読解力 UP を強化し、かつ語彙・文法などの運用力を高めることを目的とします。授業では中国語のまとまった文章を精読することによって中級程度の中国語読解力を養い、「聞く、話す、読む、書く、訳す」技術の向上を目指します。同時に、中国の文化、社会、歴史及び日本と中国の歴史的関係などに対する理解を深めることを目標とします。春学期と同じく毎回の授業の最初に復習小テストを行う予定です。

【到達目標】
1、中国語の中級レベルの語彙、文法を学習し、運用することができます。
2、読解を通して中級程度の文法知識や読み解く要領をマスターし、最終的にはピンインのないテキストを独力で音読できるようになります。
3、様々な文章を吟味することを通して中国の歴史・社会・文化への理解をいっそう深めます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業は指定したテキストに従い、第一課から順次進めていきます。毎回 1 課分ずつ進行する予定です。春学期は前半部分（第一課～第十二課）を行い、秋学期は引き続き後半部分（第十三課～第二十四課）を行いますので、できれば通年で履修することが望ましいです。課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う予定です。
対面授業を予定していますが、変更の可能性があります。変更する場合、事前に学習支援システム等で提示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス、春学期の復習	①ガイダンス ②指定した教科書の前半部分の復習（第一課～第十二課） ③ピンインが付いていない短文の読解練習を行う。
第 2 回	【☒史人物篇】第十三 ☒　孔子	関連基礎知識、語彙と文法の解説、本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。
第 3 回	【☒史人物篇】第十四 ☒　屈原	第十三課を復習するための小テスト、関連基礎知識、語彙と文法の解説、本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。
第 4 回	【☒史人物篇】第十五 ☒　秦桧	第十四課を復習するための小テスト、関連基礎知識、語彙と文法の解説、本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。
第 5 回	【☒史人物篇】第十六 ☒　☒迅	第十五課を復習するための小テスト、関連基礎知識、語彙と文法の解説、本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。

第 6 回	【成⊠篇】第十七⊠ 卧薪⊠胆	第十六課を復習するための小テスト、関連基礎知識、語彙と文法の解説、本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。
第 7 回	【成⊠篇】第十八⊠ 破釜沉舟	第十七課を復習するための小テスト、関連基礎知識、語彙と文法の解説、本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。
第 8 回	【成⊠篇】第十九⊠ 班门弄斧	第十八課を復習するための小テスト、関連基礎知識、語彙と文法の解説、本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。
第 9 回	【成⊠篇】第二十⊠ 塞翁失⊠	第十九課を復習するための小テスト、関連基礎知識、語彙と文法の解説、本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。
第 10 回	【中日交流⊠史篇】第二十一⊠　遣隋使与遣唐使	第二十課を復習するための小テスト、関連基礎知識、語彙と文法の解説、本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習、期末試験に向けた復習と練習（第十三～十五課）。
第 11 回	【中日交流⊠史篇】第二十二⊠　⊠真和尚与荣睿、普照	第二十一課を復習するための小テスト、関連基礎知識、語彙と文法の解説、本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習、期末試験に向けた復習と練習（第十六～十八課）。
第 12 回	【中日交流⊠史篇】第二十三⊠　清末到民国⊠期的来日留学生	第二十二課を復習するための小テスト、関連基礎知識、語彙と文法の解説、本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習、期末試験に向けた復習と練習（第十九～二十一課）。
第 13 回	【中日交流⊠史篇】第二十四⊠　1972 年的中日邦交正常化	関連基礎知識、語彙と文法の解説、本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習、期末試験に向けた復習と練習（第二十二～二十四課）。
第 14 回	期末試験	秋学期に学んだ部分についての朗読試験と筆記試験を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【準備】春学期履修した前半部分（第一～第十二課）の復習をしっかりと行ってください。
【予習】テキストを数行ずつ、各受講者に音読、日本語訳してもらった後、講師が文法および内容について解説しながら読み進めます。したがって、わからない語句や文法事項などがあれば発音および意味を調べ、文章の意味を訳出して授業に臨むこと。また、音源を活用して本文の朗読を繰り返してください。
【復習】授業で履修した箇所を音読練習しながら意味を再度確認し、表現や語彙をしっかり定着するようにしてもらいたいです。できれば HSK や中国語検定など各種検定試験を積極的に受験してほしいです。

【テキスト（教科書）】
村松恵子・前田光子・董紅俊 著（2017）『新版　中国之窗 —真実の隣国を知ろう』白帝社。
2500 円＋税
ISBN-13 ： 978-4863982680

【参考書】
中国語辞書を必ず 1 冊用意すること（電子辞書可）
瀬戸口 律子 (2015)『完全マスター中国語の文法』[改訂版] 語研。
ISBN-13:978-4876152971
2400 円＋税
『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店
ISBN-13 ： 9784497210036
2900 円＋税

【成績評価の方法と基準】
1、平常点 60 %（出席状況と毎回授業の最初に行う復習テスト）、期末試験 40 %を総合的に評価します。総合得点が 60 点以上の人を合格とします。
2、欠席が授業時間数の 3 分の 1 を超えた場合には不合格としますので注意してください。毎回の授業参加を重視してください。30 分以上遅れた場合、出席としてカウントしません。2 回の遅刻を 1 回の欠席とします。

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】
音声教材を聞くことができる機器が必要です。

【その他の重要事項】
オフィスアワーは特に設けませんが、質問などについては、メールなどで対応します。
毎回の授業の最初に小テストをしますので、遅刻はないように努力してください。
授業内小テストの範囲、予習内容については授業中に指示します。
授業以外に予習、復習のための時間を必ず確保してください。

【Outline and objectives】
Continuing from the spring semester, this class aims to strengthen intermediate-level Chinese reading comprehension and improve vocabulary and grammar proficiency.

LANc200LA

中国語３Ⅰ

2017 年度以降入学者

耿　函

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**1 単位**
法 2 年 U

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
中国語（現代漢語）の基礎を固めながら、学生生活や日常生活の様々な場面における実用性の高い中国語を学ぶと同時に、中国の文化や習慣などについて理解を深める。

【到達目標】
テキストに出ている身の回りの様々な場面の会話の学習と練習を通して、中国語の語彙を増やすとともに文法の仕組みを理解し、様々な場面に相応しい中国語の会話ができる能力が身につくように訓練する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
基本的に１課を２回にわたって進めていく。１回目は本文に出ている語彙や文法要点や文型を学習・理解する。２回目は主に聞く・話す・読む・書くなどの応用練習を通じて、語彙や文法・文型の定着・応用力の向上に重点を置く。
なお、授業の形態については、ハイブリッド型（オンラインと対面を併用）で行うが、授業実施についての詳細は学習支援システムで知らせる。また、課題等へのフィードバックは授業時間または「学習支援システム」やメールを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション 第１課・第２課	発音と基礎文法の復習
2	第３課（1）	会話文と短文の学習・文法の確認・読みの練習
3	第３課（2）	応用練習・課題の発表
4	第４課（1）	会話文と短文の学習・文法の確認・読みの練習
5	第４課（2）	応用練習・課題の発表
6	第５課（1）	会話文と短文の学習・文法の確認・読みの練習
7	第５課（2）	応用練習・課題の発表
8	中間復習 第６課（1）	中間小テスト 会話文と短文の学習・文法の確認・読みの練習
9	第６課（2）	応用練習・課題の発表
10	第７課（1）	会話文と短文の学習・文法の確認・読みの練習
11	第７課（2）	応用練習・課題の発表
12	第８課（1）	会話文と短文の学習・文法の確認・読みの練習
13	第８課（2）	応用練習・課題の発表
14	授業の総まとめと期末試験	期末試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。テキストについている CD を十分に活用し、通学時間にも音楽の代わりにヘッドホンステレオで何度も聴くなどの努力を重ね、例文・会話文・短文の音読・暗記・暗唱を行い、フレーズが自然に口について出てくるくらいになることが望ましい。また、与えられた課題についても真面目に取り込んでほしい。

【テキスト（教科書）】
「話そう！ 実践中国語」宮本大輔・温琳著　朝日出版社　2012 年　2200 円＋税

【参考書】
「やさしく　くわしい　中国語文法の基礎」守屋宏則著　東方書店　2000 円＋税

【成績評価の方法と基準】
期末筆記テストを 50 %、中間テストや会話の小テストをそれぞれ 20 %、また平常
点を 10 %にし、総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】
学生の学習意欲を引き出し、使える中国語の習得を目指して様々な工夫を重ね、また、万が一に備えオンライン授業についても学生も教師も満足できるようにいろいろとトライしていきたい。

【学生が準備すべき機器他】
オンライン授業を受講するための通信環境・PC 等を準備してください。

【Outline and objectives】
This is a semi-intermediate Chinese course. We will learn highly practical Chinese in various situations of student life and daily life.
The aim of this course is to strengthen the basics of Chinese, and acquire daily conversation ability, and deepen understanding of Chinese culture and customs.

LANc200LA

中国語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

耿　函

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**1 単位**
法 2 年 U

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
中国語（現代漢語）の基礎を固めながら、学生生活や日常生活の様々な場面における実用性の高い中国語を学ぶと同時に、中国の文化や習慣などについて理解を深める。

【到達目標】
テキストに出ている身の回りの様々な場面の会話の学習と練習を通して、中国語の語彙を増やすとともに文法の仕組みを理解し、様々な場面に相応しい中国語の会話ができる能力が身につくように訓練する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
基本的に１課を２回にわたって進めていく。１回目は本文に出ている語彙や文法要点や文型を学習・理解する。２回目は主に聞く・話す・読む・書くなどの応用練習を通じて、語彙や文法・文型の定着・応用力の向上に重点を置く。
なお、授業の形態については、ハイブリッド型（オンラインと対面を併用）で行うが、授業実施についての詳細は学習支援システムで知らせる。また、課題等へのフィードバックは授業時間または「学習支援システム」やメールを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	復習	春学期末試験の総括・既習の内容の復習
2	第９課（1）	会話文と短文の学習・文法の確認・読みの練習
3	第９課（2）	応用練習・課題の発表
4	第１０課（1）	会話文と短文の学習・文法の確認・読みの練習
5	第１０課（2）	応用練習・課題の発表
6	第１１課（1）	会話文と短文の学習・文法の確認・読みの練習
7	第１１課（2）	応用練習・課題の発表
8	中間復習	中間小テスト
	第１２課（1）	会話文と短文の学習・文法の確認・読みの練習
9	第１２課（2）	応用練習・課題の発表
10	第１３課（1）	会話文と短文の学習・文法の確認・読みの練習
11	第１３課（2）	応用練習・課題の発表
12	第１４課（1）	会話文と短文の学習・文法の確認・読みの練習
13	第１４課（2）	応用練習・課題の発表
14	授業の総まとめと期末試験	期末試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。テキストについている CD を十分に活用し、通学時間にも音楽の代わりにヘッドホンステレオで何度も聴くなどの努力を重ね、例文・会話文・短文の音読・暗記・暗唱を行い、フレーズが自然に口について出てくるくらいになることが望ましい。また、与えられた課題についても真面目に取り込んでほしい。

【テキスト（教科書）】
「話そう！ 実践中国語」宮本大輔・温琳著　朝日出版社　2012 年　2200 円＋税

【参考書】
「やさしく　くわしい　中国語文法の基礎」守屋宏則著　東方書店　2000 円＋税

【成績評価の方法と基準】
期末筆記テストを 50 %、中間テストや会話の小テストをそれぞれ 20 %、また平常
点を 10 %にし、総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】
学生の学習意欲を引き出し、使える中国語の習得を目指して様々な工夫を重ね、また、万が一に備えオンライン授業についても学生も教師も満足できるようにいろいろとトライしていきたい。

【学生が準備すべき機器他】
オンライン授業を受講するための通信環境・PC 等を準備してください。

【Outline and objectives】
This is a semi-intermediate Chinese course. We will learn highly practical Chinese in various situations of student life and daily life.
The aim of this course is to strengthen the basics of Chinese, and acquire daily conversation ability, and deepen understanding of Chinese culture and customs.

LANc200LA

中国語３Ⅰ

2017 年度以降入学者

余　瀾

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**火** 5/Tue.5
単位数：**1 単位**
法 2 年 V

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
準中級レベルの中国語の授業です。教材の内容は、中国と日本の文化や社会の違いをテーマ にした長文で構成されています。教材を学習し、一年次で勉強した基礎中国語文法をかため、さらに複文を含む３０の新しい文型と３００個の新しい単語を学習します。

【到達目標】
学生が 1 年次で学んだ中国語の基礎を踏まえ、読む、書く、聞く、話す力を伸ばすことを目標にします。具体的には、日常生活にまつわる簡単な会話ができて、また２００～３００文字の文章が読めるように目指します。一方、教材の内容は、中国と日本の文化、慣習、生活などの違いをテーマにしていますので、中日両国の理解への促進も目標の一つとします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
　基本的に演習の形式です。本文、単語、文法の説明と練習問題から構成されているテキストに 沿って進行します。学生が本文の内容を理解するために、DVD や音楽の鑑賞など、また、グループ ディスカッションや、プレゼンテーションによって、内容の理解を一層深めたいです。
　課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行います。
　zoom でのオンライン授業と教室での対面授業という形で行います。新学期からは、まず zoom で授業をやります。期末テストは対面授業で行う予定。新コロナウイルスの感染状況が改善されてから、教室での対面授業を取り入れることがあります。その都度お知らせします。zoom の URL はをクラスの掲示板でお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	第１課	本文：「鬼」のイメージについて 文法：複文「既～又～」 複文「除了～以外，☒～」
2	第１課	練習問題
3	第２課	本文：歌手や芸能人の学歴について 文法：複文「～。是因☒～」 複文「只有～才～」 複文「即使～也～」
4	第２課	練習問題
5	第３課	本文：美意識について 文法： 前置詞「跟/和～有关」 前置詞「按照～」 複文「因☒～所以～」 複文「但是～」
6	第３課	練習問題
7	プレゼンテーション予備時間	学生が発表する
8	第４課	本文：友人に求めることについて 文法：前置詞「在～看来」 前置詞「从～来☒」 連体修飾語「～的☒候」 複文「是～而不是～」
9	第４課	練習問題
10	第５課	本文：親子の関係について 文法：複文「不☒～也/都～」
11	第５課	練習問題
12	第 6 課	本文：大学生のアルバイドについて 文法：副詞「☒☒」 複文「只要～就～」 複文「与其～不如～」 動詞「☒☒／☒得／感到／想」
13	第 6 課	練習問題
14	授業内　期末テスト	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『日中異文化の出会い　ー中級へのステップアップー』　三修社　中桐典子・余瀾・芳沢ひろこ・黄暁恵著　2018 年　2000 円

【参考書】
『ポイント学習中国語初級 [新装版]』（東方書店）
ほかは授業中に適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】
成績は 100 点満点とし、60 点以上が合格となります。
配分は、 毎回授業中に行う小テストあるいは発表などは 50 %で、期末テストは 50 %です。欠席と遅刻をすると小テストができませんので、必ず注意してください。

【学生の意見等からの気づき】
2020 年の授業では、学生によるプレゼンテーションが好評だったため、2021 年にも行います。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

余　瀾

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**火** 5/Tue.5
単位数：**1 単位**
法 2 年 V

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
準中級レベルの中国語の授業です。教材の内容は、中国と日本の文化や社会の違いをテーマ にした長文で構成されています。教材を学習し、一年次で勉強した基礎中国語文法をかた め、さらに複文を含む３０の文型と３００個の新しい単語を学習します。

【到達目標】
1 年次で学んだ中国語の基礎を踏まえ、学生が読む、書く、聞く、話す力を伸ばすことを目標にします。具体的には、日常生活にまつわる簡単な会話ができて、また２００～３００文字の文章 が読めるように目指します。 一方、教材の内容は、中国と日本の文化、慣習、生活などの違いをテーマにしていますの で、中日両国の理解への促進も目標の一つとします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
　課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行います。基本的に演習の形式で、本文、単語、文法の説明と練習問題から構成されているテキストに 沿って進行します。学生が本文の内容を理解するために、DVD や音楽の鑑賞など、また、グループ ディスカッションや、プレゼンテーションによって、内容をの理解を一層深めたいです。
　課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	第 7 課	本文：ご馳走をするときされるとき 文法：複文「⊠～都～」 複文「如果／要是～的⊠，就～」 複文 「虽然～，但是～」 方向補語の派生義
2	第 7 課	練習問題
3	第 8 課	本文：家に中を全部見せる中国人 文法：複文「先～然后再～」
4	第８課	練習問題
5	第９課	本文：色のいろいろ 文法： 複文「～，要不然～」複文「不是～，而是～」 「一定会～的」
6	第９課	練習問題
7	プレゼンテーション予備時間	学生が発表
8	第 10 課	本文：席は譲るべきなのか 文法：副詞「就」と「才」 複文「不但～而且～」
9	第 10 課	練習問題
10	第 11 課	本文：七夕は八月の行事 文法：「相当于」 「来」 接続詞「以」の用法
11	第 11 課	練習問題
12	第 12 課　文法	文法総復習
13	日本の女将・中国の女将 翻訳して提出	解説
14	授業内期末テスト	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備・復習時間はあわせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『日中異文化の出会い』　三修社　中桐典子・余瀾・芳沢ひろ子・黄暁恵著

【参考書】
『ポイント学習中国語初級 [新装版]』（東方書店）
ほかは授業中に適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】
成績は 100 点満点とし、60 点以上が合格となります。
配分は、毎回授業中に行う小テストあるいは発表などは 50 %で、期末テストは 50 %です。 欠席と遅刻をすると小テストができませんので、必ず注意してください。

【学生の意見等からの気づき】
2020 年度の授業では、学生によるプレゼンテーションが好評だったために、2021 年度にも行います。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３Ⅰ

2017 年度以降入学者

黄　海萍

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**月** 1/Mon.1
単位数：**1 単位**
文 2 年 B〜G

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、中国語中級レベルの読解力 UP をめざすための授業です。中国語の基礎を一通り学んだ学生を対象として、初級レベルの知識の確認及び定着を進めつつ、中国語に関する知識をさらに高度なレベルにまで引き上げることを目的とします。授業では中国語のまとまった文章を精読することによって中級程度の中国語読解力を養い、「聞く、話す、読む、書く、訳す」技術の向上を目指します。同時に、中国の文化、社会、歴史及び日本と中国の歴史的関係などに対する理解を深めることを目標とします。

【到達目標】
1、中国語の中級レベルの語彙、文法を学習し、運用することができます。
2、読解を通して中級程度の文法知識や読み解く要領をマスターし、最終的にはピンインのないテキストを独力で音読できるようになります。
3、様々な文章を吟味することを通して中国の歴史・社会・文化への理解をいっそう深めます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業は指定したテキストに従い、第一課から順次進めていきます。毎回 1 課分ずつ進行する予定です。春学期は前半部分（第一〜第十二課）を行い、秋学期は引き続き後半部分（第十三〜第二十四課）を行いますので、できれば通年で履修することが望ましいです。
課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う予定です。
本授業は対面実施を基本としますが、第一週目（初回授業）はオンラインとなります。詳細は学習支援システムでお知らせします。また、必要に応じてオンラインの回も適宜導入する可能性があります。変更する場合、事前に学習支援システム等で提示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス、発音の復習	①ガイダンス ②声調、単母音、複母音、発音のポイント、無気音と有気音、子音、声調の変化、発音のまとめ。 ③小テストの例を示す。
第 2 回	【城市篇】第一☒　北京	関連基礎知識、語彙と文法の解説、本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。
第 3 回	【城市篇】第二☒　上海	第一課を復習するための小テスト、関連基礎知識、語彙と文法の解説、本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。
第 4 回	【城市篇】第三☒　西安	第二課を復習するための小テスト、関連基礎知識、語彙と文法の解説、本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。
第 5 回	【城市篇】第四☒　广州	第三課を復習するための小テスト、関連基礎知識、語彙と文法の解説、本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。
第 6 回	【社会・世☒篇】第五☒　☒一部分人先富起来	第四課を復習するための小テスト、関連基礎知識、語彙と文法の解説、本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。
第 7 回	社会・世☒篇】第六☒　☒傲的 GDP 的背后	第五課を復習するための小テスト、関連基礎知識、語彙と文法の解説、本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。
第 8 回	【社会・世☒篇】第七☒　互☒网在改☒中国	第六課を復習するための小テスト、関連基礎知識、語彙と文法の解説、本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。
第 9 回	【社会・世☒篇】第八☒　房奴、☒奴和卡奴	第七課を復習するための小テスト、関連基礎知識、語彙と文法の解説、本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。
第 10 回	【☒史☒☒篇】第九☒　万里☒城	第八課を復習するための小テスト、関連基礎知識、語彙と文法の解説、本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習、期末試験に向けた復習と練習（第一〜三課）。
第 11 回	【☒史☒☒篇】第十☒　泰山	第九課を復習するための小テスト、関連基礎知識、語彙と文法の解説、本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習、期末試験に向けた復習と練習（第四〜六課）。
第 12 回	【☒史☒☒篇】第十一☒　秦始皇陵及兵☒俑坑	第十課を復習するための小テスト、関連基礎知識、語彙と文法の解説、本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習、期末試験に向けた復習と練習（第七〜九課）。
第 13 回	【世界☒☒篇】第十二☒　客家与 “福建土楼” 建筑群	関連基礎知識、語彙と文法の解説、本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習、期末試験に向けた復習と練習（第十〜十二課）。
第 14 回	期末試験	春学期に学んだ部分についての朗読試験と筆記試験を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【準備】標準中国語の発音表記である「ピンイン」の基礎的な運用（ピンイン記号を正しく発音できること）を習得しておくことが、この授業を受講する前提条件です。
【予習】テキストを数行ずつ、各受講者に音読、日本語訳してもらった後、講師が文法および内容について解説しながら読み進めます。したがって、わからない語句や文法事項などがあれば発音および意味を調べ、文章の意味を訳出して授業に臨むこと。また、音源を活用して本文の朗読を繰り返してください。
【復習】授業で履修した箇所を音読練習しながら意味を再度確認し、表現や語彙をしっかり定着するようにしてもらいたいです。できれば HSK や中国語検定など各種検定試験を積極的に受験してほしいです。

【テキスト（教科書）】
村松恵子・前田光子・董紅俊 著（2017）『新版　中国之窗 —真実の隣国を知ろう』白帝社。
2500 円＋税
ISBN-13 ： 978-4863982680

【参考書】
中国語辞書を必ず 1 冊用意すること（電子辞書可）
瀬戸口 律子 (2015)『完全マスター中国語の文法』[改訂版] 語研。
ISBN-13:978-4876152971
2400 円＋税
『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店
ISBN-13 ： 9784497210036
2900 円＋税

【成績評価の方法と基準】
1、平常点 60 %（出席状況と毎回授業の最初に行う小テスト）、期末試験 40 %を総合的に評価します。総合得点が 60 点以上を合格とします。
2、欠席が授業時間数の 3 分の 1 を超えた場合には不合格としますので注意してください。毎回の授業参加を重視してください。30 分以上遅れた場合、出席としてカウントしません。2 回の遅刻を 1 回の欠席とします。

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】
音声教材を聞くことができる機器が必要です。

【その他の重要事項】
オフィスアワーは特に設けませんが、質問などについては、メールなどで対応します。
毎回の授業の最初に小テストをしますので、遅刻はないように努力してください。
授業内小テストの範囲、予習内容については授業中に指示します。
授業以外に予習、復習のための時間を必ず確保してください。

【Outline and objectives】
This class aims to improve reading comprehension at the intermediate level of Chinese. It is intended for students who have learned all the basics of Chinese.

LANc200LA

中国語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

黄　海萍

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 1/Mon.1
単位数：**1 単位**
文 2 年 B～G

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、春学期に引き続き、授業で中級レベルの中国語読解力 UP を強化し、かつ語彙・文法などの運用力を高めることを目的とします。授業では中国語のまとまった文章を精読することによって中級程度の中国語読解力を養い、「聞く、話す、読む、書く、訳す」技術の向上を目指します。同時に、中国の文化、社会、歴史及び日本と中国の歴史的関係などに対する理解を深めることを目標とします。春学期と同じく毎回の授業の最初に復習小テストを行う予定です。

【到達目標】
1、中国語の中級レベルの語彙、文法を学習し、運用することができます。
2、読解を通して中級程度の文法知識や読み解く要領をマスターし、最終的にはピンインのないテキストを独力で音読できるようになります。
3、様々な文章を吟味することを通して中国の歴史・社会・文化への理解をいっそう深めます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業は指定したテキストに従い、第一課から順次進めていきます。毎回 1 課分ずつ進行する予定です。春学期は前半部分（第一課～第十二課）を行い、秋学期は引き続き後半部分（第十三課～第二十四課）を行いますので、できれば通年で履修することが望ましいです。課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う予定です。
対面授業を予定していますが、変更の可能性があります。変更する場合、事前に学習支援システム等で提示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス、春学期の復習	①ガイダンス ②指定した教科書の前半部分の復習（第一課～第十二課） ③ピンインが付いていない短文の読解練習を行う。
第 2 回	【☒史人物篇】第十三 ☒　孔子	関連基礎知識、語彙と文法の解説、本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。
第 3 回	【☒史人物篇】第十四 ☒　屈原	第十三課を復習するための小テスト、関連基礎知識、語彙と文法の解説、本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。
第 4 回	【☒史人物篇】第十五 ☒　秦桧	第十四課を復習するための小テスト、関連基礎知識、語彙と文法の解説、本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。
第 5 回	【☒史人物篇】第十六 ☒　☒迅	第十五課を復習するための小テスト、関連基礎知識、語彙と文法の解説、本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。

第 6 回	【成⊠篇】第十七⊠ 卧薪⊠胆	第十六課を復習するための小テスト、関連基礎知識、語彙と文法の解説、本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。
第 7 回	【成⊠篇】第十八⊠ 破釜沉舟	第十七課を復習するための小テスト、関連基礎知識、語彙と文法の解説、本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。
第 8 回	【成⊠篇】第十九⊠ 班门弄斧	第十八課を復習するための小テスト、関連基礎知識、語彙と文法の解説、本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。
第 9 回	【成⊠篇】第二十⊠ 塞翁失⊠	第十九課を復習するための小テスト、関連基礎知識、語彙と文法の解説、本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習。
第 10 回	【中日交流⊠史篇】第二十一⊠　遣隋使与遣唐使	第二十課を復習するための小テスト、関連基礎知識、語彙と文法の解説、本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習、期末試験に向けた復習と練習（第十三～十五課）。
第 11 回	【中日交流⊠史篇】第二十二⊠　⊠真和尚与荣睿、普照	第二十一課を復習するための小テスト、関連基礎知識、語彙と文法の解説、本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習、期末試験に向けた復習と練習（第十六～十八課）。
第 12 回	【中日交流⊠史篇】第二十三⊠　清末到民国⊠期的来日留学生	第二十二課を復習するための小テスト、関連基礎知識、語彙と文法の解説、本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習、期末試験に向けた復習と練習（第十九～二十一課）。
第 13 回	【中日交流⊠史篇】第二十四⊠　1972 年的中日邦交正常化	関連基礎知識、語彙と文法の解説、本文の音読、訳文、会話と聞き取り練習、期末試験に向けた復習と練習（第二十二～二十四課）。
第 14 回	期末試験	秋学期に学んだ部分についての朗読試験と筆記試験を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
【準備】春学期履修した前半部分（第一～第十二課）の復習をしっかりと行ってください。
【予習】テキストを数行ずつ、各受講者に音読、日本語訳してもらった後、講師が文法および内容について解説しながら読み進めます。したがって、わからない語句や文法事項などがあれば発音および意味を調べ、文章の意味を訳出して授業に臨むこと。また、音源を活用して本文の朗読を繰り返してください。
【復習】授業で履修した箇所を音読練習しながら意味を再度確認し、表現や語彙をしっかり定着するようにしてもらいたいです。できれば HSK や中国語検定など各種検定試験を積極的に受験してほしいです。

【テキスト（教科書）】
村松恵子・前田光子・董紅俊 著（2017）『新版　中国之窗 —真実の隣国を知ろう』白帝社。
2500 円＋税
ISBN-13 ： 978-4863982680

【参考書】
中国語辞書を必ず 1 冊用意すること（電子辞書可）
瀬戸口 律子 (2015)『完全マスター中国語の文法』[改訂版] 語研。
ISBN-13:978-4876152971
2400 円＋税
『ポイント学習中国語初級改訂版』東方書店
ISBN-13 ： 9784497210036
2900 円＋税

【成績評価の方法と基準】
1、平常点 60 %（出席状況と毎回授業の最初に行う復習テスト）、期末試験 40 %を総合的に評価します。総合得点が 60 点以上の人を合格とします。
2、欠席が授業時間数の 3 分の 1 を超えた場合には不合格としますので注意してください。毎回の授業参加を重視してください。30 分以上遅れた場合、出席としてカウントしません。2 回の遅刻を 1 回の欠席とします。

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】
音声教材を聞くことができる機器が必要です。

【その他の重要事項】
オフィスアワーは特に設けませんが、質問などについては、メールなどで対応します。
毎回の授業の最初に小テストをしますので、遅刻はないように努力してください。
授業内小テストの範囲、予習内容については授業中に指示します。
授業以外に予習、復習のための時間を必ず確保してください。

【Outline and objectives】
Continuing from the spring semester, this class aims to strengthen intermediate-level Chinese reading comprehension and improve vocabulary and grammar proficiency.

LANc200LA

中国語３Ｉ

2017 年度以降入学者

耿　函

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**火** 1/Tue.1
単位数：**1 単位**
文２年Ｈ・Ｉ

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
中国語（現代漢語）の基礎を固めながら、学生生活や日常生活の様々な場面における実用性の高い中国語を学ぶと同時に、中国の文化や習慣などについて理解を深める。

【到達目標】
テキストに出ている身の回りの様々な場面の会話の学習と練習を通して、中国語の語彙を増やすとともに文法の仕組みを理解し、様々な場面に相応しい中国語の会話ができる能力が身につくように訓練する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
基本的に１課を２回にわたって進めていく。１回目は本文に出ている語彙や文法要点や文型を学習・理解する。２回目は主に聞く・話す・読む・書くなどの応用練習を通じて、語彙や文法・文型の定着・応用力の向上に重点を置く。
なお、授業の形態については、ハイブリッド型（オンラインと対面を併用）で行うが、授業実施についての詳細は学習支援システムで知らせる。また、課題等へのフィードバックは授業時間または「学習支援システム」やメールを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション 第１課・第２課	発音と基礎文法の復習
2	第３課（1）	会話文と短文の学習・文法の確認・読みの練習
3	第３課（2）	応用練習・課題の発表
4	第４課（1）	会話文と短文の学習・文法の確認・読みの練習
5	第４課（2）	応用練習・課題の発表
6	第５課（1）	会話文と短文の学習・文法の確認・読みの練習
7	第５課（2）	応用練習・課題の発表
8	中間復習 第６課（1）	中間小テスト 会話文と短文の学習・文法の確認・読みの練習
9	第６課（2）	応用練習・課題の発表
10	第７課（1）	会話文と短文の学習・文法の確認・読みの練習
11	第７課（2）	応用練習・課題の発表
12	第８課（1）	会話文と短文の学習・文法の確認・読みの練習
13	第８課（2）	応用練習・課題の発表
14	授業の総まとめと期末試験	期末試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。テキストについている CD を十分に活用し、通学時間にも音楽の代わりにヘッドホンステレオで何度も聴くなどの努力を重ね、例文・会話文・短文の音読・暗記・暗唱を行い、フレーズが自然に口について出てくるくらいになることが望ましい。また、与えられた課題についても真面目に取り込んでほしい。

【テキスト（教科書）】
「話そう！ 実践中国語」宮本大輔・温琳著　朝日出版社　2012 年　2200 円＋税

【参考書】
「やさしく　くわしい　中国語文法の基礎」守屋宏則著　東方書店　2000 円＋税

【成績評価の方法と基準】
期末筆記テストを 50 %、中間テストや会話の小テストをそれぞれ 20 %、また平常
点を 10 %にし、総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】
学生の学習意欲を引き出し、使える中国語の習得を目指して様々な工夫を重ね、また、万が一に備えオンライン授業についても学生も教師も満足できるようにいろいろとトライしていきたい。

【学生が準備すべき機器他】
オンライン授業を受講するための通信環境・PC 等を準備してください。

【Outline and objectives】
This is a semi-intermediate Chinese course. We will learn highly practical Chinese in various situations of student life and daily life.
The aim of this course is to strengthen the basics of Chinese, and acquire daily conversation ability, and deepen understanding of Chinese culture and customs.

LANc200LA

中国語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

耿　函

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**火** 1/Tue.1
単位数：**1 単位**
文２年 H・I

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
中国語（現代漢語）の基礎を固めながら、学生生活や日常生活の様々な場面における実用性の高い中国語を学ぶと同時に、中国の文化や習慣などについて理解を深める。

【到達目標】
テキストに出ている身の回りの様々な場面の会話の学習と練習を通して、中国語の語彙を増やすとともに文法の仕組みを理解し、様々な場面に相応しい中国語の会話ができる能力が身につくように訓練する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
基本的に１課を２回にわたって進めていく。１回目は本文に出ている語彙や文法要点や文型を学習・理解する。２回目は主に聞く・話す・読む・書くなどの応用練習を通じて、語彙や文法・文型の定着・応用力の向上に重点を置く。
なお、本授業の形態はハイブリッド型（オンラインと対面を併用）で行うが、授業実施についての詳細は学習支援システムで知らせる。また、課題等へのフィードバックは授業時間または「学習支援システム」やメールを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	復習	春学期末試験の総括・既習の内容の復習
2	第９課（１）	会話文と短文の学習・文法の確認・読みの練習
3	第９課（２）	応用練習・課題の発表
4	第１０課（１）	会話文と短文の学習・文法の確認・読みの練習
5	第１０課（２）	応用練習・課題の発表
6	第１１課（１）	会話文と短文の学習・文法の確認・読みの練習
7	第１１課（２）	応用練習・課題の発表
8	中間復習	中間小テスト
	第１２課（１）	会話文と短文の学習・文法の確認・読みの練習
9	第１２課（２）	応用練習・課題の発表
10	第１３課（１）	会話文と短文の学習・文法の確認・読みの練習
11	第１３課（２）	応用練習・課題の発表
12	第１４課（１）	会話文と短文の学習・文法の確認・読みの練習
13	第１４課（２）	応用練習・課題の発表
14	授業の総まとめと期末試験	期末試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。テキストについている CD を十分に活用し、通学時間にも音楽の代わりにヘッドホンステレオで何度も聴くなどの努力を重ね、例文・会話文・短文の音読・暗記・暗唱を行い、フレーズが自然に口について出てくるくらいになることが望ましい。また、与えられた課題についても真面目に取り込んでほしい。

【テキスト（教科書）】
「話そう！ 実践中国語」宮本大輔・温琳著　朝日出版社　2012 年　2200 円＋税

【参考書】
「やさしく　くわしい　中国語文法の基礎」守屋宏則著　東方書店　2000 円＋税

【成績評価の方法と基準】
期末筆記テストを 50 %、中間テストや会話の小テストをそれぞれ 20 %、また平常
点を 10 %にし、総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】
学生の学習意欲を引き出し、使える中国語の習得を目指して様々な工夫を重ね、また、万が一に備えオンライン授業についても学生も教師も満足できるようにいろいろとトライしていきたい。

【学生が準備すべき機器他】
オンライン授業を受講するための通信環境・PC 等を準備してください。

【Outline and objectives】
This is a semi-intermediate Chinese course. We will learn highly practical Chinese in various situations of student life and daily life.
The aim of this course is to strengthen the basics of Chinese, and acquire daily conversation ability, and deepen understanding of Chinese culture and customs.

LANc200LA

中国語３Ⅰ

2017 年度以降入学者

木村　佳代子

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
文 2 年 L～P

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、「中国語１」で学修した基礎文法の要点を復習しながら、より実践的な語学力を身に付けつけます。「読む、話す、書く、訳す」技術の向上と、ことばの背景にある中国文化、中国事情の知識を深めることで、発信力と受信力を蓄えてゆきます。

【到達目標】
１．中国語の中級レベルの語彙、文法を学修し、運用することができる。
２．ことばの背景にある中国文化、中国事情について学び、自国との比較を通じて、正しく日中対訳ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
中国社会を反映した全 12 課のテキストを使用し、一つの課を複数回に分け、本文の発音練習、訳文練習、会話練習、作文練習、テキスト内の練習問題の解答を行います。課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行います。第 1 回目はオンライン授業です。また，通学に不安がある方は事前に申し出をお願いします。リモートで授業に参加できるようにします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	第１課（動詞 “上” の用法、“対～”「～について」の用法）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 2 回	第１課　（複合方向補語、存在文）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 3 回	第２課（進行表現、結果補語）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 4 回	第２課（禁止表現、“把” 構文）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 5 回	第３課（方位詞、“不但～而且” の表現）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 6 回	第３課（仮定表現）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 7 回	第１課～第３課の復習	ヒヤリングを中心とした練習
第 8 回	第４課（伝聞表現、形容詞の重ね型）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 9 回	第４課（条件関係の表現）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 10 回	第５課（強調表現）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 11 回	第５課（受身表現、確認表現）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 12 回	総合練習（第１課～第３課）	期末試験に向けた復習と練習。
第 13 回	総合練習（第４課、第５課）	期末試験に向けた復習と練習。
第 14 回	試験・まとめと解説	朗読試験、ヒヤリング・筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。事前学修、事後学修は、音声ファイルをダウンロードし、発音練習や書き取り練習を繰り返しおこなってください。

【テキスト（教科書）】
『準中級中国語会話編』奥村佳代子・塩山正純・張軼欧　金星堂
2300 円＋税
ISBN978-4-7647-0711-5

【参考書】
『準中級中国語講読篇』　奥村佳代子・塩山正純・張軼欧　金星堂
2300 円＋税
ISBN978-4-7647-0712-2

【成績評価の方法と基準】
平常点 60 %、期末試験 40 %を総合して評価します。

【学生の意見等からの気づき】
授業では、学生の個別指導を強化して到達度チェックを図ってゆきます。

【学生が準備すべき機器他】
音声教材を聞くことができる機器が必要です。

【Outline and objectives】
・To review important point of Chinese grammar.
・Improve reading,speaking,writing,and translating skills.
・Learning Chinese clutures and social changes to enable to express thoughts and opinions in Chinese.

LANc200LA

中国語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

木村　佳代子

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
文 2 年 L～P

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、引き続き、「中国語１」で学修した基礎文法の要点を復習しながら、より実践的な語学力を身に付けつけます。「読む、話す、書く、訳す」技術の向上と、ことばの背景にある中国文化、中国事情の知識を深めることで、発信力と受信力を蓄えてゆきます。

【到達目標】
１．中国語の中級レベルの語彙、その用法を学修し、運用することができる。
２．ことばの背景にある中国文化、中国事情について学び、自国との比較を通じて、正しく日中対訳ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
中国社会を反映した全 12 課のテキストを使用し、一つの課を複数回に分け、本文の発音練習、訳文練習、会話練習、作文練習、テキスト内の練習問題の解答を行います。
課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	第６課（強調表現）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 2 回	第６課（様態補語、疑問詞の不定詞用法）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 3 回	第７課（使役）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 4 回	第７課（離合詞）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 5 回	第８課（“会～的”）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 6 回	第８課（“向～” の用法）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 7 回	第６課～第８課の復習	ヒヤリングを中心とした練習
第 8 回	第９課（結果補語）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 9 回	第９課（動量詞）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 10 回	第 10 課（“是～的” 構文）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 11 回	第 10 課（結果補語、方向補語）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 12 回	総合練習（第６課～第８課）	期末試験に向けた復習と練習。
第 13 回	総合練習（第９課、第 10 課）	期末試験に向けた復習と練習。
第 14 回	試験・まとめと解説	朗読試験、ヒヤリング、筆記試験。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。事前学修、事後学修は、音声ファイルをダウンロードし、発音練習や書き取り練習を繰り返しおこなってください。

【テキスト（教科書）】
『準中級中国語会話編』奥村佳代子・塩山正純・張軼欧　金星堂
2300 円＋税
ISBN978-4-7647-0711-5

【参考書】
『準中級中国語講読篇』　奥村佳代子・塩山正純・張軼欧　金星堂
2300 円＋税
ISBN978-4-7647-0712-2

【成績評価の方法と基準】
平常点 60 %、期末試験 40 パーセントを総合して評価します。

【学生の意見等からの気づき】
授業では、学生の個別指導を強化して到達度チェックを図ってゆきます。

【学生が準備すべき機器他】
音声教材を聞くことができる機器が必要です。

【Outline and objectives】
This corse is continued from Spring semester.
・To review important point of Chinese grammar.
・Improve reading,speaking,writing,and translating skills.
・Learning Chinese clutures and social changes to enable to express thoughts and opinions in Chinese.

LANc200LA

中国語３Ⅰ

2017 年度以降入学者

王　安

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**1 単位**
文２年Ｑ

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
中国語初級～中級レベルに必要な語彙・文法・表現を総合的に習得し，中国の文化・習慣における基本知識を理解する。授業では、各課の内容を巡って、グループで会話をしたり、重要文法項目について作文をしたり、様々な練習問題をしたりすることによって、学んだ知識を確実に身につけていく。

【到達目標】
初級中国語を終えた学習者を対象に、初級中国語の内容を実際に運用できるように練習し、中級中国語の語彙、文法、構文を身に着けることを目標とする。読解力のみならず、「話す」「聞く」「書く」などの能力もバランスよく訓練し、中国語総合能力の向上を目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業では先生と一緒に単語と本文を音読し、中国語の正しい発音を覚えていく。また、重要単語の意味と用法、文法項目及び関連知識を学習し、作文練習や補足練習を通して確実に身に着ける。さらに、各課のトピックに合わせて、グループで会話練習を行う。このように、授業は中国語の総合能力の向上を意識して進めていく。
課題などに対するフィードバックは授業時間内で行います。
本授業は対面を基本とし、オンラインを併用する場合もあります。第 1 週目（初回授業）はオンラインとなります。詳しくは学習支援システムでお知らせします。なお、大學の行動方針レベルが２となった場合、授業は原則としてオンラインで行います。詳細は学習支援システムでお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	ガイダンス	発音の復習、中国語初級文法、構文などの復習
2 回	第 1 課　自我介☒	①自己紹介に関する重要表現、言い方を学習する。 ②重要文法項目：前置詞 “在、跟” などの用法、動詞の重ね型。
3 回	第 1 課　自我介☒	実践練習： 自己紹介の仕方 (自分の名前、故郷、家族構成、専攻、など)
4 回	第 2 課　李☒有很多☒好	①趣味を紹介する際に使う重要表現、言い方を学習する。 ②重要文法項目：前置詞 “对”“从” の用法、助動詞 “打算” の用法。
5 回	第 2 課 李☒有很多☒好	実践練習：様々な趣味の中国語の言い方を身に着け、自分や友人の趣味を人に紹介する。
6 回	第 3 課 ☒大☒的一天	①一日の行動を述べる際の構文、表現を学ぶ。 ②重要文法項目： 連動文、様態補語、時間副詞の用法。
7 回	第 3 課 ☒大☒的一天	実践練習： 連動文や時間副詞を用いて、自分の一日の行動を中国語で表現する。
8 回	第 4 課 ☒芳的☒☒	①人の性格、特徴や仕事に関する言い方、表現を学習する。 ②重要文法項目：助動詞 “能” の用法、方向補語、中国語の感情動詞など。
9 回	第 4 課 ☒芳的☒☒	実践練習：中国語で自分の友人の性格、特徴などを紹介する。
10 回	第 5 課 我☒是去年☒☒的	①過去の出来事を述べる際に使用する表現、構文などを学ぶ。 ②重要文法項目：“是…的” 構文、因果関係の複文、中国語の離合動詞。
11 回	第 5 課 我☒是去年☒☒的	実践練習： 中国語の “是…的” 構文の機能、使い方を正しく理解し、“是…的” 構文を使えるように練習する。
12 回	第 6 課 你知道 “☒☒☒” ☒？	①情報や知識を人に伝える際に使う表現、構文を学ぶ ②重要文法項目： 前置詞、逆接接続詞の使い方、“快要…了” の使い方、助動詞 “要” の用法
13 回	第 6 課 你知道 “☒☒☒” ☒？	実践練習： 中国語である情報やニュースまたは知識を人に紹介する。
14 回	期末試験	筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
１、事前に教科書を音読し，「warming up」を予習してください。
２、授業で補足された内容を必ずメモし，授業後整理してください。
３、授業後，復習を通してその日の語彙と構文を知識として定着させる。
本授業の準備学習・復習時間は各４ 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『標準中国語読解力 UP 編』王安・楊川・王欣・孫樹林　朝日出版
2200 円＋税
ISBN978-4-255-45215-9C1087

【参考書】
『WHY？ にこたえるはじめての中国語の文法書』相原茂・石田知子・戸沼市子著　2,500 円（同学社）
その他の資料は授業で随時紹介する。

【成績評価の方法と基準】
平常点（課題 45 %）＋総合まとめ課題（55 %/2 回）＝１００点で評価します。
注意点：①課題の未提出は８点減点/一回
②課題提出の遅れは４点減点/一回
（提出が締め切りより遅れた場合、期間は締め切り日から一週間以内
と限定します。一週間過ぎてからの提出は成績評価しません）

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】
音声教材を日常的に聴くことができる機器が必要です。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

王　安

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**1 単位**
文２年Ｑ

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
前期に引き続き、中国語中級レベルに必要な語彙・文法・表現を総合的に習得し，中国の文化・習慣への理解を深める。授業では、各課の内容を巡って、グループで会話をしたり、重要文法項目について作文をしたり、様々な練習問題をしたりすることによって、学んだ知識を確実に身につけていく。

【到達目標】
初級～中級中国語を終えた学習者を対象に、これまで学んできた内容を実際に運用できるように練習し、中級中国語の語彙、文法、構文を身に着けることを目標とする。読解力のみならず、「話す」「聞く」「書く」などの能力もバランスよく訓練し、中国語総合能力の向上を目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業では先生と一緒に単語と本文を音読し、中国語の正しい発音を覚えていく。また、重要単語の意味と用法、文法項目及び関連知識を学習し、作文練習や補足練習を通して確実に身に着ける。さらに、各課のトピックに合わせて、グループで会話練習を行う。このように、授業は中国語の総合能力の向上を意識して進めていく。
課題などに対するフィードバックは授業時間内で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	第７課	①前期復習 ②中国語の外来語 ③重要表現、文法の説明
2 回	第７課	実践練習： 中国語の外来語や日中両言語の表記体系、外来語の相違を紹介する。
3 回	第８課	①中国の大学や大学生の生活に関する表現を学ぶ。 ②重要文法項目の説明
4 回	第８課	実践練習： 中国語で自分の大学や大学生活を紹介する。
5 回	第９課	①中国の若者文化、若者の生活に関する中国語表現を学ぶ。 ②重要文法項目の説明。
6 回	第９課	実践練習： 中国の若者言葉を紹介し、日本語や日本の文化が中国の若者に与えた影響を紹介する。
7 回	第１０課	①日本の “動漫” に関する中国語表現を学ぶ ②重要文法項目の説明。
8 回	第１０課	実践練習： 日本の “動漫” が中国に与えた影響を紹介し、映画やアニメに関する中国語表現を紹介する。
9 回	第１１課	①北京に関する知識、北京生活に関する表現を学ぶ。 ②重要文法項目の説明。
10 回	第１１課	実践練習： 北京の言葉、生活、文化などに関連する中国語表現を練習する。
11 回	第１２課	①中国の飲食文化を紹介し、それに関連する表現を学ぶ。 ②重要文法項目の説明。
12 回	第１２課 第１３課	①飲食に関する中国語表現を用いて練習する。 ②中国の民族に関連する知識を紹介する
13 回	第１４課	①中国の旧正月に関する知識、表現を学ぶ。 ②重要文法項目の説明。 ③まとめ
14 回	期末試験	筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
１、事前に教科書を音読し，「warming up」を予習してください。
２、授業で補足された内容を必ずメモし，授業後整理してください。
３、授業後，復習を通してその日の語彙と構文を知識として定着させる。
本授業の準備学習・復習時間は各４ 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『標準中国語読解力 UP 編』王安・楊川・王欣・孫樹林　朝日出版
2200 円＋税
ISBN978-4-255-45215-9C1087

【参考書】
『WHY？ にこたえるはじめての中国語の文法書』相原茂・石田知子・戸沼市子著　2,500 円（同学社）
その他の資料は授業で随時紹介する。

【成績評価の方法と基準】
平常点（課題 45 %）＋総合まとめ課題（55 %/2 回）＝１００点で評価します。
注意点：①課題の未提出は８点減点/一回
②課題提出の遅れは４点減点/一回
（提出が締め切りより遅れた場合、期間は締め切り日から一週間以内と限定します。一週間過ぎてからの提出は成績評価しません）

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】
音声教材を聴くことができる機器が必要です。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３Ⅰ

2017 年度以降入学者

柯　明

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**火 4**/Tue.4
単位数：**1 単位**
文２年 U・V

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、「中国語１」で学修した基礎文法の要点を復習しながら、より実践的な語学力を身に付けつけます。「読む、話す、書く、訳す」技術の向上と、ことばの背景にある中国文化、中国事情の知識を深めることで、発信力と受信力を蓄えてゆきます。

【到達目標】
１．中国語の中級レベルの語彙、文法を学修し、運用することができる。
２．ことばの背景にある中国文化、中国事情について学び、自国との比較を通じて、正しく日中対訳ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
中国社会を反映した全 12 課のテキストを使用し、一つの課を複数回に分け、本文の発音練習、訳文練習、会話練習、作文練習、テキスト内の練習問題の解答をおこないます。
フィードバック：課題等へのフィードバックは授業時間または学習支援システムを通じて行う。
対面授業を基本としたハイブリッ ド型授業 (対面授業とオンライン授業 [Zoom 等のリアルタイム型/オンデマンド型] の組み合わせ) を予定しております。
*大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達します。
なお、第 1 週目の授業は、オンラインで実施します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	第１課（動詞 “上” の用法、“対～”「～について」の用法）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 2 回	第１課　（複合方向補語、存在文）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 3 回	第２課（進行表現、結果補語）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 4 回	第２課（禁止表現、“把” 構文）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 5 回	第３課（方位詞、“不但～而且” の表現）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 6 回	第３課（仮定表現）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 7 回	第１課～第３課の復習	ヒヤリングを中心とした練習
第 8 回	第４課（伝聞表現、形容詞の重ね型）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 9 回	第４課（条件関係の表現）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 10 回	第５課（強調表現）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 11 回	第５課（受身表現、確認表現）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 12 回	総合練習（第１課～第３課）	期末試験に向けた復習と練習。
第 13 回	総合練習（第４課、第５課）	期末試験に向けた復習と練習。
第 14 回	試験・まとめと解説	朗読試験、ヒヤリング・筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。事前学修、事後学修は、音声ファイルをダウンロードし、発音練習や書き取り練習を繰り返しおこなってください。

【テキスト（教科書）】
『準中級中国語会話編』奥村佳代子・塩山正純・張軼欧　金星堂
2300 円＋税
ISBN978-4-7647-0711-5

【参考書】
『準中級中国語講読篇』　奥村佳代子・塩山正純・張軼欧　金星堂
2300 円＋税
ISBN978-4-7647-0712-2

【成績評価の方法と基準】
平常点 60 %、期末試験 40 %を総合して評価します。

【学生の意見等からの気づき】
授業では、学生の個別指導を強化して到達度チェックを図ってゆきます。

【学生が準備すべき機器他】
音声教材を聞くことができる機器が必要です。

【Outline and objectives】
・To review important point of Chinese grammar.
・Improve reading,speaking,writing,and translating skills.
・Learning Chinese clutures and social changes to enable to express thoughts and opinions in Chinese.

LANc200LA

中国語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

柯　明

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**火** 4/Tue.4
単位数：**1 単位**
文２年 U・V

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、引き続き、「中国語１」で学修した基礎文法の要点を復習しながら、より実践的な語学力を身に付けつけます。「読む、話す、書く、訳す」技術の向上と、ことばの背景にある中国文化、中国事情の知識を深めることで、発信力と受信力を蓄えてゆきます。

【到達目標】
１．中国語の中級レベルの語彙、その用法を学修し、運用することができる。
２．ことばの背景にある中国文化、中国事情について学び、自国との比較を通じて、正しく日中対訳ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
中国社会を反映した全 12 課のテキストを使用し、一つの課を複数回に分け、本文の発音練習、訳文練習、会話練習、作文練習、テキスト内の練習問題の解答をおこないます。
フィードバック：課題等へのフィードバックは授業時間または学習支援システムを通じて行う。
対面授業を基本としたハイブリッ ド型授業 (対面授業とオンライン授業 [Zoom 等のリアルタイム型/オンデマンド型] の組み合わせ) を予定しております。
*大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	第６課（強調表現）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 2 回	第６課（様態補語、疑問詞の不定詞用法）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 3 回	第７課（使役）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 4 回	第７課（離合詞）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 5 回	第８課（“会～的”）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 6 回	第８課（“向～” の用法）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 7 回	第６課～第８課の復習	ヒヤリングを中心とした練習
第 8 回	第９課（結果補語）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 9 回	第９課（動量詞）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 10 回	第 10 課（“是～的” 構文）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第 11 回	第 10 課（結果補語、方向補語）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第 12 回	総合練習（第６課～第８課）	期末試験に向けた復習と練習。
第 13 回	総合練習（第９課、第 10 課）	期末試験に向けた復習と練習。
第 14 回	試験・まとめと解説	朗読試験、ヒヤリング、筆記試験。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。事前学修、事後学修は、音声ファイルをダウンロードし、発音練習や書き取り練習を繰り返しおこなってください。

【テキスト（教科書）】
『準中級中国語会話編』奥村佳代子・塩山正純・張軼欧　金星堂
2300 円＋税
ISBN978-4-7647-0711-5

【参考書】
『準中級中国語講読篇』　奥村佳代子・塩山正純・張軼欧　金星堂
2300 円＋税
ISBN978-4-7647-0712-2

【成績評価の方法と基準】
平常点 60 %、期末試験 40 %で総合して評価します。

【学生の意見等からの気づき】
授業では、学生の個別指導を強化して到達度チェックを図ってゆきます。

【学生が準備すべき機器他】
音声教材を聞くことができる機器が必要です。

【Outline and objectives】
This corse is continued from Spring semester.
・To review important point of Chinese grammar.
・Improve reading,speaking,writing,and translating skills.
・Learning Chinese clutures and social changes to enable to express thoughts and opinions in Chinese.

LANc200LA

中国語３Ⅰ

2017 年度以降入学者

ショウ　イクテイ

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**木** 5/Thu.5
単位数：**1 単位**
文 2 年 X

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
一年次の既習内容をベースにして、さらに基礎を固め、レベルアップにつながる読解力、表現力などを培うことを目的とする。

【到達目標】
基礎的な文法に関するスキルを身に付ける。
一般的な会話ができる。
簡単な文書の内容を理解できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
教科書に沿って、履修者のレベルに合わせつつ、内容への理解をチェックしながら授業を進める。
課題などへのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
①	復習	一年次に習った主な文法事項などの復習
②	第１課	助動詞「可以」、「要」 主述述語文 目的語が主述句のとき
③	第１課	本文：中国に行こう！
④	第２課	「的」の用法 原因、理由を表す「因为」 文末の助詞「吧」、「呢」
⑤	第２課	本文：ジャスミン茶を飲もう！
⑥	第３課	連動文 「是～的」の文 疑問詞「怎么」
⑦	第３課	本文：友達を作ろう！
⑧	第４課	「了」の三つの用法 副詞「就」
⑨	第４課	本文：長城に登ろう！
⑩	第５課	様態補語 可能性の予測を表す「会」 仮定を表す「要是」
⑪	第５課	本文：卓球を楽しもう！
⑫	第６課	結果補語 1 副詞「有点儿」
⑬	第６課	本文：漢字を覚えよう！
⑭	復習、試験、まとめ	第１～６課の復習と確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業前に必ず復習と予習をすること。毎課の新出単語と文法事項を確実に理解したかを必ず自己チェックをすること。
毎日最低 20 分テキストの CD を聞きながら、発音練習を行うこと。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
尹景春、竹島毅著『中国語つぎへの一歩』　白水社

【参考書】
必要なものは授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】
期末テストを主に（50 %）、学習態度や学習意欲（20 %）、課題や小テスト（20 %）、平常点なども（10 %）勘案して、総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】
前年度の学生のご意見やご要望が反映されるよう更なる改善を模索していく。

【学生が準備すべき機器他】
電子辞書を用意することを勧める。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

ショウ　イクテイ

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 5/Thu.5
単位数：**1 単位**
文 2 年 X

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
文法事項の基礎を固めつつ、中国語のさらなるスキルアップを目標とする。

【到達目標】
日常会話ができる。
簡単な文章を書ける。
読解力や表現力などの更なるスキルアップを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
発音および読解の練習を中心としつつ、徐々に習熟度を高めるよう授業を進めていく。
課題などへのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
①	復習	春学期期末テストの解説と復習
②	第７課	存現文 主語がフレーズの時 「～了～了」の用法
③	第７課	本文：街を歩こう！
④	第８課	状態の持続を表す「着」 副詞「在」 疑問詞の不定用法
⑤	第８課	本文：中国映画を見よう！
⑥	第９課	方向補語 使役を表す「让」
⑦	第９課	本文：チャイナドレスを買おう！
⑧	第 10 課	可能補語 強調表現
⑨	第 10 課	本文：中華を食べよう！
⑩	第 11 課	結果補語（二） 受身を表す「被」
⑪	第 11 課	本文：西遊記を読もう！
⑫	第 12 課	「快～了」の用法 「把」の構文
⑬	第 12 課	本文：春節を祝おう！
⑭	復習、試験、まとめ	第７～12 課の復習と確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業前に必ず復習と予習をすること。毎課の新出単語と文法事項を確実に理解したかを必ず自己チェックをすること。
毎日最低 20 分テキストの CD を聞きながら、発音練習を行うこと。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
尹景春、竹島毅著『中国語つぎへの一歩』 白水社

【参考書】
必要なものは授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】
期末テストを主に（50 %）、学習態度や学習意欲（20 %）、課題や小テスト（20 %）、平常点なども（10 %）勘案して、総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】
前年度の学生のご意見やご要望が反映されるよう更なる改善を模索していく。

【その他の重要事項】
電子辞書を用意することを勧める。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３Ｉ

2017 年度以降入学者

王　翠莉

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**火** 5/Tue.5
単位数：**1 単位**
営 2 年 D

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、中国語 1、中国語２を一通り終えた学生を対象にする授業です。
本授業では、中国語１と中国語２で学んだ基礎文法文型を生かし、教科書「優しいビジネス中国語」の内容を勉強することにより、中国語の応用表現を覚えます。
本講義の目的は、ビジネス上で必要な中国語の基本会話と文章表現を勉強し覚えることにより、中国語の応用力の向上を目指すことにあります。

【到達目標】
本授業で使用する教科書「優しいビジネス中国語」は、ビジネス関係の中国語会話文を中心にし、内容は銀行、財務、商談、宴会のセッティング、労働待遇、アフタサービス、国際入札、コンテナ輸送など幅広い分野をカバーしていて、とても実用的で充実している内容です。
中国語の基礎勉強を終えた後、このようなビジネス上で必要な基本会話と文章表現を勉強し覚えることにより、中国語の語学力特に応用力の向上ができます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
本授業の進め方と方法は、基本的には教科書を中心に授業を進めます。教科書の各課は、会話本文、文法と作文、書き換え練習、ヒアリング練習と参考表現からなっています。
授業の進め方は、まず、教科書の文法を説明の上、受講生たちと一緒に会話本文を読んだり翻訳したりします。難しい中国語の表現がある場合、例文を挙げて説明したりします。その次、書き換え練習、ヒアリング練習、参考表現を練習します。時間の余裕がある時、音読と短文作りの練習をします。
二回の授業で 1 回単語小テストをします。小テストの点数を平常点に計上します。
授業中の練習方法としては、毎回の授業では音読と翻訳の練習をするから、時間の制限で全員はできないので、4，5 人ずつグループを作り、交代で音読と翻訳の発表をします。毎回の授業では、学生全員に練習のチャンスを与えます。
課題等へのフィードバックは基本的には授業時間を通じて行います。
本授業はハイブリッド（オンラインと対面を併用）で行います。授業についての詳細は学習支援システムでお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回目	①オリエンテーション ②復習と練習	本授業の目標・内容、授業の進め方、成績評価の方法などについて説明し、使用教科書を紹介する。
2 回目	発音の復習と練習	1 年生の教科書「ポイント学習中国語」第 4 課のポイント 4・1「二音節語の声調 20 パタン」を繰り返して発音の練習をする。 受講生全員の発音をチェックする。
3 回目	第 1 課「オフィスを訪ねる」を勉強する。	①第 1 課の会話本文「オフィスを訪ねる」を勉強する。 ②下記の「文法と作文」を学ぶ。 文法 1 ：「疑問詞+☒」構文； 文法 2 ：動詞の重ね方 ③置き換え練習 ④ヒヤリング練習
4 回目	第 2 課　レストランに食事に行く	①第 2 課の会話本文「レストランに食事に行く」を勉強する。 ②下記の文法を勉強する。 文法 3 ：「形容詞+了」構文 文法 4 ：選択疑問文「A ☒是 B？」 ③置き換え練習 ④ヒアリング練習
5 回目	第 1 課、第 2 課の音読練習と質問応答	①第 1 課、第 2 課の音読練習 ②第 1 課、第 2 課の質問解答
6 回目	第 3 課 銀行に行く	①第 3 課の会話本文「銀行に行く」を勉強する。 ②下記の文法を勉強する。 文法 5 ：助動詞「想」の用法 文法 6 ：結果補語「好」の用法 ③置き換え練習 ④ヒアリング練習
7 回目	第 4 課　商談をする	①第 4 課の会話本文「商談をする」を勉強する。 ②下記の文法を勉強する。 文法 7 ：結果補語「到」 文法 8 ：程度補語 ③置き換え練習 ④ヒアリング練習
8 回目	第 3 課、第 4 課の音読練習と質問応答	①第 3 課、第 4 課の音読練習 ②第 3 課、第 4 課の質問解答
9 回目	第 5 課　宴会のセッティングする	①第 5 課の会話本文「宴会のセッティング」を勉強する。 ②下記の文法を勉強する。 文法 9 ：数量述語文 文法 10 ：「把」+目的語+動詞」の構文 ③置き換え練習 ④ヒアリング練習
10 回目	第 6 課　有給休暇を取る	①第 6 課の会話本文「有給休暇をとる」を勉強する。 ②下記の文法を勉強する。 文法 3 ：「形容詞+了」構文 文法 11 ：助動詞「可以」の用法 文法 12 ：「快～了」の用法 ③置き換え練習 ④ヒアリング練習
11 回目	第 5 課、第 6 課の音読練習と質問応答	①第 5 課、第 6 課の音読練習 ②第 5 課、第 6 課の質問解答
12 回目	授業のまとめ	春学期の授業内容をまとめて復習する。
13 回目	授業内口頭試験	音読を練習の上音読録音を提出
14 回目	筆記試験、まとめと解説	教室で対面形式で筆記試験を行う。 試験後、まとめと解説をする

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回の授業内容と宿題をしっかり練習しましょう。
特に外国語の勉強にとっては、音読練習はとても重要なので、楽しく練習すれば、上手になります。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
オンライン授業を実施する場合、ちゃんと ZOOM 授業に参加し、毎回のレポート課題をしっかりやりましょう。

【テキスト（教科書）】
『やさしいビジネス中国語』三潴正道他著、朝日出版社、2007 年、2,200 ＋税

【参考書】
中国語辞書
『商経学部生のための読む中国語』大羽りん・趙青著、白水社

【成績評価の方法と基準】
成績評価は、平常点と期末試験の点数により構成されます。
平常点は 30 %で、期末試験は 70 %。
平常点には、受講態度、小テスト、課題の完成度、口頭試問等を含みます。
期末試験の 70 %には、口頭試験は 20 %、筆記試験は 50 %。

【学生の意見等からの気づき】
授業の終了時間をオーバーしないように気を付けます。

【学生が準備すべき機器他】
オンライン授業を受講するための通信環境、PC などを準備してください。

【Outline and objectives】
This course is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners. This course is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners to acquire the basic grammer and to learn how to use Chinese by the Book of “Friendly Business”. The aim of this courseWe will improve the Chinese basic speaking, writing and applying ability.

LANc200LA

中国語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

王　翠莉

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**火** 5/Tue.5
単位数：**1 単位**
営 2 年 D

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、中国語３Ｉの続きで、中国語 1、中国語２を一通り終えた学生を対象とする授業です。
本授業では、中国語１と中国語２で学んだ基礎文法文型を生かし、教科書「優しいビジネス中国語」を勉強することにより、中国語の応用表現を覚えます。
本講義の目的は、ビジネス上で必要な中国語の基本会話と文章表現を勉強し覚えることにより、中国語の応用力の向上を目指すことにあります。

【到達目標】
本授業は、中国語３Ｉの続きです。
春学期に使用した教科書「やさしいビジネス中国語」を引き続き勉強し、第 7 課から勉強します。第 7 課からの内容は、空港待合室、アフタサービス、流通業のコンテナ輸送、就職面接＆待遇、病院で診察を受ける、国際入札、財務関係など、幅広く各分野にわたっていて、とても実用的で充実している内容です。これらのビジネス上で必要な中国語の表現を勉強することにより、自分の中国語の表現力と応用力が向上することができます。
教科書の本文は会話形式なので、ビジネス上で必要な基本会話とビジネス関係の中国語文章の翻訳ができるようになることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
本授業は、基本的には教科書を中心に授業を進めます。
教科書の各課は、会話本文、文法と作文、書き換え練習、ヒアリング練習と参考表現からなっています。
授業の進め方は、まず、教科書の文法を説明の上、受講生たちと一緒に会話本文を読んだり翻訳したりします。難しい中国語の表現がある場合、例文を挙げて説明したりします。本文と文法を勉強した後、書き換え練習、ヒアリング練習、参考表現を練習します。時間の余裕がある場合、音読と短文作りの練習をします。
二回の授業で 1 回単語小テストをします。小テストの点数を平常点に計上します。
授業中の練習方法としては、毎回の授業では音読と翻訳の練習をするから、時間の制限で全員はできないので、4，5 人ずつグループを作り、交代で音読と翻訳の発表をしてもらいます。毎回の授業では、学生全員に練習のチャンスを与えます。
課題等へのフィードバックは基本的には授業時間を通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回目	①オリエンテーション ②総合復習	①後期の授業の目標・内容、授業の進め方、成績評価の方法などについて説明する。 ②中国語で自己紹介文を書いて提出する。

2 回目	第 7 課　フライトを待つ	①第 7 課のポイントを説明する 文法 13 ：時間量を表す言葉の位置 文法 14 ：「被」の用法 ②会話本文「フライトを待つ」を勉強する。 ③書き換え練習 ④ヒアリング練習、 ⑤参考表現を説明する。
3 回目	第 8 課　アフターサービス	①第 8 課のポイントを解説する 文法 15 ：「吧」の用法 文法 16 ：「V ⊠～」の用法 ②会話本文「アフターサービス」を勉強する ③書き換え練習 ④ヒアリング練習、 ⑤参考表現を説明する。
4 回目	第 7 課、第 8 課の音読練習と質問解答	①第 7 課、第 8 課の音読練習 ②質問解答 ③単語小テスト
5 回目	第 9 課　コンテナ輸送	①第 9 課のポイントを説明する 文法 17 ：「一～就…」の構文 文法 18 ：「既～又…」の構文 ②会話本文「コンテナ輸送」を勉強する。 ③書き換え練習 ④ヒアリング練習、 ⑤参考表現を説明する。
6 回目	第 10 課　待遇	①第 10 課のポイントを説明する 文法 19 ：「（只有）～、才能…」の用法 文法 20 ：「作⊠～」の用法 ②会話本文「待遇」を勉強する。 ③書き換え練習 ④ヒアリング練習、 ⑤参考表現を説明する。
7 回目	第 9 課、第 10 課の音読練習と質問解答	①第 9 課、第 10 課の音読練習 ②質問解答 ③単語小テスト
8 回目	第 11 課　病院にて	①第 11 課のポイントを説明する 文法 21 ：「先～、然后…」の構文 文法 22 ：「不是～、而是…」の構文 ②会話本文「病院にて」を勉強する。 ③書き換え練習 ④ヒアリング練習、 ⑤参考表現を説明する。
9 回目	第 12 課　国際入札	①第 12 課のポイントを説明する 文法 23 ：「听～⊠/听⊠～」の構文 文法 24 ：「有」を伴う 2 音節動詞 ②会話本文「国際入札」を勉強する。 ③書き換え練習 ④ヒアリング練習、 ⑤参考表現を説明する。
10 回目	第 13 課　財務	①第 13 課のポイントを説明する 文法 25 ：様態補語と可能補語 文法 26 ：助詞「地」の用法 ②会話本文「財務」を勉強する。 ③書き換え練習 ④ヒアリング練習、 ⑤参考表現を説明する。
11 回目	第 11 課、第 12 課、第 13 課の音読練習と質問解答	①第 11 課、第 12 課、第 13 課の音読練習 ②質問解答 ③単語小テスト
12 回目	総合復習練習	①授業内容のまとめと復習 ②質問解答
13 回目	音読テスト	音読テスト
14 回目	秋学期授業内試験	授業内試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業内容を復習することはとても大事なことなので、宿題又は課題がある場合、ちゃんとやりましょう。
また、外国語の勉強にとっては、音読がとても重要なので、楽しく練習すればお上手になります。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『やさしいビジネス中国語』三潴正道他著、朝日出版社、2007 年、2,200 円＋税

【参考書】
『商経学部生のための読む中国語』大羽りん・趙青著、白水社、2019 年 2 月

【成績評価の方法と基準】
成績評価は、平常点と期末試験の点数により総合評価を出す。
平常点は 30%、期末試験は 70%。
平常点には、出席、授業中の小テストと練習および学習態度等を含む。
期末試験には、音読テストは 20%、筆記試験は 50%占める。
中国語検定試験 4 級以上の合格者には、期末筆記試験を免除する。
中国語検定試験の取得点数と期末口頭試験と平常点により評価をする。
＊無断欠席 4 回以上の受講生は評価対象にならない可能性がある。

【学生の意見等からの気づき】
授業中の私語と中国語学習以外の携帯使用を禁止する！
授業の終了時間をオーバーしないように気を付ける。

【Outline and objectives】
This course is Chinese Ⅰ of Ⅲ which is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners. This course is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners to acquire the basic grammer and to learn how to use Chinese by the Book of “Friendly Business Chinese. The aim of this courseWe will improve the Chinese basic speaking, writing and applying ability.

LANc200LA

中国語３Ⅰ

2017 年度以降入学者

周　重雷

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**火** 1/Tue.1
単位数：**1 単位**
営 2 年 E

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
比較的平易な文章で書かれた中国語を通じて、聞く、読む、訳す、書くなど総合的能力を高めると同時に、中国語及び中国事情を知る。より高度な語学力を身に付けるために段階的にレベルアップを図る。

【到達目標】
・中国語の発音と聞き取りの能力を高める。
・文法をきちんと理解し、中国語の文章を自然な日本語に訳せるようにする。
・簡単な会話と作文ができるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
１、単語
２、文法の確認
３、聞き取りの練習
４、短文の読解
課題などのフィードバックは授業時間に、もしくはメールにて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	諸事情の確認	シラバスの配布、注意事項の伝達、初級文法の復習。
2	第 1 課　中国概況	単語と文法
3	第 1 課　中国概況	聞き取り練習、会話文訳の確認
4	第 1 課　中国概況	短文の読解
5	第 2 課　中国人の食生活	単語と文法
6	第 2 課　中国人の食生活	聞き取り練習、会話文訳の確認
7	第 2 課　中国人の食生活	短文の読解
8	第 3 課　中国の祝祭日	単語と文法
9	第 3 課　中国の祝祭日	聞き取り練習、会話文訳の確認
10	第 3 課　中国の祝祭日	短文の読解
11	第 4 課　家族間のあいさつ	単語と文法
12	第 4 課　家族間のあいさつ	聞き取り練習、会話文訳の確認
13	第 4 課　家族間のあいさつ	短文の読解
14	まとめ	第１～４課の筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
各課の練習問題を解く。
毎週１時間を目途に復習する。

【テキスト（教科書）】
『新・中国ってこんな国　～日々是変化～』池上貞子・張国路著　朝日出版社

【参考書】
日中・中日辞書（電子辞書も可）

【成績評価の方法と基準】
期末試験： 60 %
小テスト： 40 %

【学生の意見等からの気づき】
基本は対面授業ですが、参加できない人には講義をオンデマンド配信した上、SNS 等を使って個別指導を行います。
出勤のピーク時を避けるために、授業開始時間を 9 時 20 分とします。

【学生が準備すべき機器他】
スマートフォンは必須

【その他の重要事項】
特になし。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

周　重雷

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**火** 1/Tue.1
単位数：**1 単位**
営 2 年 E

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
比較的平易な文章を通じて、聞く、読む、訳す、書くなど総合的能力を高めると同時に、中国語及び中国事情を知る。より高度な語学力を身に付けるために段階的なレベルアップを図る。

【到達目標】
・中国語の発音と聞き取りの能力を向上させる。
・文法をきちんと理解し、中国語の文章を自然な日本語に訳せるようにする。
・簡単な会話と作文ができるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
１、単語
２、文法の確認
３、聞き取りの練習
４、会話文と短文の読解
課題などのフィードバックは授業時間に、もしくはメールにて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	第 5 課　交際上のマナー	単語と文法
2	第 5 課　交際上のマナー	聞き取りの練習、会話文訳の確認
3	第 5 課　交際上のマナー	短文の読解
4	第 6 課　通過儀礼	単語と文法
5	第 6 課　通過儀礼	聞き取りの練習、会話文訳の確認
6	第 6 課　通過儀礼	短文の読解
7	第 7 課　８０後と９０後	単語と文法
8	第 7 課　８０後と９０後	聞き取りの練習、会話文訳の確認
9	第 7 課　８０後と９０後	短文の読解
10	第 8 課　今どきの大学生	単語と文法
11	第 8 課　今どきの大学生	聞き取りの練習、会話文訳の確認
12	第 8 課　今どきの大学生	短文の読解
13	復習	第５～８課の総復習
14	まとめ	口頭試験をする

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
各課の練習問題を解く。
毎週１時間を目途に復習する。

【テキスト（教科書）】
『新・中国ってこんな国　～日々是変化～』池上貞子・張国路著　朝日出版社

【参考書】
日中・中日辞書（電子辞書も可）

【成績評価の方法と基準】
期末テスト： 60 %
小テスト： 40 %

【学生の意見等からの気づき】
基本は対面授業ですが、参加できない人には講義をオンデマンド配信した上、SNS 等を使って個別指導を行います。
出勤ピーク時を避けるために、授業開始時間を 9 時 20 分とします。

【学生が準備すべき機器他】
スマートフォンは必須

【その他の重要事項】
特になし。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３Ⅰ

2017 年度以降入学者

李　維涛

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**土** 1/Sat.1
単位数：**1 単位**
営 2 年 F

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
初級で学んだ基礎知識を織り交ぜてそれを復習しながら中級の学習を進めて行く。
「聞く」「読む」「話す」「書く」の四つのスキルのバランスを考慮し、実戦活動などを通して、中国語によるコミュニケーション能力の向上を図る。

【到達目標】
初級で学んだ、基礎となる知識を、ただ「知っている」のではなく、「使える」ものにすべく、中級の学習項目に織り交ぜて復習しながら授業を進めて行く。
たくさん学ぶのではなく、少しでも学んだ知識を活かして応用できるように、様々な場面を想定して実戦活動を行い、学んだ知識のアウトプットによる円滑なコミュニケーションを行えることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
　授業の進め方と方法については、基本的に、教室にて対面形式で授業を行うことを想定して、具体的に下記通りの行い方で進めて行きます。
　状況によってオンライン形式で行うことを余儀なくされる場合、状況に即して具体的に対応し、授業内容によって資料配信・オンデマンド動画配信・双方向同時型と複数の授業形式を使い分けて行うことにします。具体的な行い方とスケジュールなどは事前に、「授業支援システム」を利用して提示し、周知します。
　具体的に授業は以下の進め方と方法で行うものとする。
　授業は、教科書を使っての勉強、コミュニケーション活動、課題と、３つのブロックに分けて行なう。
【教科書】
　初回はレベルチェックテストを行い、その結果に応じて、初級で学んだ基礎知識の復習・練習を、最初の 3 回にわたって行なう。4 回目以後教材を使っての学習に入る。
　基本的に 1 課を 2 回に分けて、1 回目は主に言葉の学習と文法の解説や練習・応用などを、2 回目は本文の会話文の学習をベースに、シナリオプレイ・ロールプレイなどの応用・実戦活動を行い、既習文型を活かしての実際のコミュニケーション能力の向上を目指して、授業を進めて行く。
　課毎に、語彙・文法テストを行う。
　予習・復習は必須。
【コミュニケーション活動】
　グループまたはペアによるコミュニケーション活動を行なう。
　活動中に能動的且つ積極的に参加し、自己表現することを望む。
【課題】
　春学期の課題は自由作文。
　テーマ決め → 執筆 → 提出 → リライト → プレゼンテーションという流れで行なう。
課題等へのフィードバックは、課題が実施した直後の授業時間内か、添削が必要な場合は、次回返却時に授業時間内か、授業支援システムなどのツールを利用して行う。
授業スケジュールは、状況に応じて、変更する場合がある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション レベルチェックテスト	①授業目標、教材、授業の進め方、スケジュール、履修上の注意事項などについて説明。 ②授業用語と挨拶 ③授業アンケート ④レベルチェックテスト
第 2 回	• 初級基礎復習Ⅰ • コミュニケーション活動 (1)	①初級基礎知識点検・復習・練習Ⅰ ②活動 (1) 私、そして、私の家族
第 3 回	• 初級基礎復習Ⅱ • コミュニケーション活動 (2)	①チェックテスト [初級復習Ⅰ] ②初級基礎知識点検・復習・練習Ⅱ ③活動 (2) 私の一日、あなたの一日
第 4 回	• 初級基礎復習Ⅲ • コミュニケーション活動 (3)	①チェックテスト [初級復習Ⅱ] ②初級基礎知識点検・復習・練習Ⅲ ③活動 (3) 趣味について ④語彙導入 [1 課]
第 5 回	声をかける・挨拶をする [1 課]。	①チェックテスト [初級復習Ⅲ・1 課語彙] ②■方位詞 ■動作・行為の同伴者 ■動詞の重ね型
第 6 回	声をかける・挨拶をする [1 課]。	①チェックテスト [1 課文法] ②既習文型応用・実戦練習 ③語彙導入 [2 課]
第 7 回	初対面の自己表現 [2 課]。	①チェックテスト [2 課語彙] ②■推測・判断 ■行為の積極性 ■様態補語
第 8 回	初対面の自己表現 [2 課]。	①チェックテスト [2 課文法] ②既習文型応用・実戦練習 ③コミュニケーション活動 (4) 声をかける・自己紹介する ④語彙導入 [3 課]
第 9 回	伝聞による話題について話す [3 課]。	①チェックテスト [3 課語彙] ②■伝聞 ■全否定 ■結果補語
第 10 回	伝聞による話題について話す [3 課]。	①チェックテスト [3 課文法] ②可能補語 ③既習文型応用・実戦練習 ④課題作文について説明
第 11 回	• 伝聞による話題について話す。 • 課題作文	①コミュニケーション活動 (5) 伝聞による話題について話す ②課題作文：テーマ決め・ストーリー作り ③語彙導入 [4 課]
第 12 回	買物について話す [4 課]。	①チェックテスト [4 課語彙] ②■動詞文：現在進行形 ■目的を表現する ■原因・理由についての訊ね方 ③課題作文提出
第 13 回	買物について話す [4 課]。	①チェックテスト [4 課文法] ②既習文型応用・実戦練習 ③コミュニケーション活動 (6) 買物情報を交換する
第 14 回	• 春学期学習内容の復習・質疑応答 • 期末試験	①課題作文リライト提出 ②期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
課毎に、言葉クイズ、文法クイズを行う。
授業で学習した内容をしっかりと復習・予習することが必須。
復習と予習はそれぞれ 1-1.5 時間を要する。
授業外の課題を課された場合、作業時間は授業時間外になるが、きちんと締め切りを守って提出する。

【テキスト（教科書）】
『中国語へのアプローチⅡ』
楊凱栄・張麗群　著
朝日出版社　2010 年
ISBN978-4-255-45142-8

【参考書】
- 中日・日中辞典類 [紙媒体、電子辞書、APP の何れも可。電子辞書を推奨する]
- 『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書』　相原茂など　同学社
- 『中国語生活図解辞典』　遠藤雅裕　　小学館

【成績評価の方法と基準】
授業貢献度・参加態度なども考慮しながら、主にテスト・活動・課題によって評価する。
チェックテスト [語彙・文法]　35%
期末テスト　20%
活動・口頭表現　25%
課題　10%
授業貢献度・学習態度など　10%
※上記テストについて、授業形式が遠隔になった場合、オンラインテストか課題に切り替えることにする。
※評価方法は、教員によって変更する場合がある。

【学生の意見等からの気づき】
■授業では口頭練習と活動がたくさん行われるが、どうしても耳だけでは不安で随一板書して欲しいとの学生からの意見があった。今後の授業では、口頭活動の内容を、なるべく文字でも提示するように心掛けてみる。
■昨年度はコロナ禍によって授業形式は遠隔となり、課題の提出について、提出方法の操作などテクニカルな問題が出ており、操作方法に関しては、可能な限り授業時間で実演し、説明することを念頭に置く。

【学生が準備すべき機器他】
学習内容に応じて、教室に備えてある機器、または PC などを使う。また、学内授業支援システムなどを利用して、学生とのコミュニケーションを図る。

【その他の重要事項】
授業中、学習用具類以外、机上に置かないこと。
特に、携帯電話、飲み物類は、鞄等にしまうこと。
教科書を持参せずの受講は欠席と見なし、必ず教科書、授業関連資料を持って授業に臨むこと。

【授業に臨む心構え】
其の一　勉強する意欲と意識を高く持つこと
其の二　しっかり予習・復習してくること。
其の二　教科書は勿論のこと、ノート、筆記具、辞書も必ず持ってくること。

【Outline and objectives】
I interweave the basic knowledge I have learned in elementary level and review progress and advance intermediate level learning.
Considering the balance of the four skills "listen" "read" "talk" "write", improve communication skills by Chinese through actual battle activities etc.

LANc200LA

中国語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

李　維涛

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**土** 1/Sat.1
単位数：**1 単位**
営 2 年 F

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
初級と中級前半で学んだ基礎知識を織り交ぜて復習しながら中上級を目指して学習を進めて行く。
「聞く」「読む」「話す」「書く」の四つのスキルのバランスを考慮し、実戦活動などを通して、中国語によるコミュニケーション能力の向上を図る。

【到達目標】
初級と中級前半で学んだ、基礎となる知識を、ただ「知っている」のではなく、「使える」ものにすべく、中級後半の学習項目に織り交ぜて復習しながら授業を進めて行く。
たくさん学ぶのではなく、少しでも学んだ知識を活かして応用できるように、学んだ知識のアウトプットを重視し、様々な場面を想定して実戦活動を行なう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
　授業の進め方と方法については、基本的に、教室にて対面形式で授業を行うことを想定して、具体的に下記通りの行い方で進めて行きます。
状況によってオンライン形式で行うことを余儀なくされる場合、状況に即して具体的に対応し、授業内容によって資料配信・オンデマンド動画配信・双方向同時型と複数の授業形式を使い分けて行うことにします。具体的な行い方とスケジュールなどは事前に、「授業支援システム」を利用して提示し、周知します。

授業は、教科書を使っての勉強、コミュニケーション活動、課題と、３つのブロックに分けて行なう。
【教科書】
　初回は初級と中級前半で学んだ知識をチェックするテストを行い、その結果に応じて、既習基礎知識の復習・練習を、最初の 2 回にわたって行なう。3 回目以後教材を使っての学習に入る。
基本的に 1 課を 2 回に分けて、1 回目は主に文法の解説や練習や応用などを、2 回目は本文の会話文の学習をベースに、シナリオプレイ・ロールプレイなどの応用・実戦活動を行い、既習文型を活かしての実際のコミュニケーション能力の向上を目指して、授業を進めて行く。
課毎に、語彙・文法テストを行う。
予習・復習は必須。
【コミュニケーション活動】
　グループまたはペアによるコミュニケーション活動を行なう。
活動中には能動的に参加し、積極的に中国語による自己表現をすることを望む。
【課題】
　秋学期の課題は二つ。作文と当該年度の中国語の新語・流行語のリサーチレポート。
何れも下記の流れで行なう。
テーマ決め → 執筆 → 提出 → リライト → プレゼンテーション
課題等へのフィードバックは、課題が実施した直後の授業時間内か、添削が必要な場合は、次回返却時に授業時間内か、授業支援システムなどのツールを利用して行う。
授業スケジュールは、状況に応じて、変更する場合がある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	■春学期学習内容を確認・復習 ■コミュニケーション活動 (1)	①中級春学期学習内容チェックテスト ②秋学期授業内容・進め方・スケジュールなどについて説明 ③活動 (1) 絵と言葉で表現する私の夏休み [前半]
第 2 回	■春学期学習内容を確認・復習。後期学習への準備。 ■コミュニケーション活動で新学期のウォームアップをする。	• チェックテストを返却・FB ①春学期学習内容を総括・復習 ②活動 (1) 絵と言葉で表現する私の夏休み [後半] ③語彙導入 [5 課]
第 3 回	天気について話す [5 課]	①チェックテスト [5 課語彙] ②■確認 ■比較 [否定] ■能願動詞:可能性や見込み
第 4 回	天気について話す [5 課]	①チェックテスト [5 課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③活動 (2):天気について話す ④語彙導入 [6 課]
第 5 回	初めての経験について話す [6 課]	①チェックテスト [6 課語彙] ②■感想・考え・意見を述べる表現 ■能願動詞:「喜んで～する」 ③課題 (1) 課題作文について説明
第 6 回	初めての経験について話す [6 課]	①チェックテスト [6 課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③活動 (3) カフェでおしゃべり ④語彙導入 [7 課]
第 7 回	買物について話す [7 課]	①チェックテスト [7 課語彙] ②■選択：二者択一 ■能願動詞：「～しなければならない」 ③課題 (1) 提出
第 8 回	買物について話す [7 課]	①チェックテスト [7 課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③課題 (1) を返却・FB
第 9 回	書いた物を、声に出して表現する。	①課題 (2) 課題 (1) をプレゼンテーション ②語彙導入 [8 課]
第 10 回	会食をプランニングする [8 課]	①チェックテスト [8 課語彙] ②■全否定/全肯定 ■例外の表し方 ■既定条件
第 11 回	会食をプランニングする [8 課]	①チェックテスト [8 課文法] ②能願動詞:総括・復習 既習文型の応用練習
第 12 回	日常生活における食事の場面でのコミュニケーションを学ぶ。	①活動 (4):食事の誘い、食事をする ②語彙導入 [9 課] ③課題 (3) 中国語の新語・流行語をリサーチ
第 13 回	二つのものを比べて表現する [9 課]	①チェックテスト [9 課語彙] ②■動詞文:持続形 ■推測・判断 [肯定] ③課題 (3) ピア活動
第 14 回	■期末テスト前復習・質疑応答 ■期末テスト [筆記]	①授業アンケート ②期末テスト前復習・質疑応答 ③期末テスト [筆記]

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
課毎に言葉クイズ・文法クイズを行う。
授業で学習した内容をしっかりと復習・予習すること。
復習と予習はそれぞれ 1-1.5 時間を要する。
課題などの準備は授業時間外の作業となるが、提出締切など時間を守ること。

【テキスト（教科書）】
『中国語へのアプローチⅡ』
楊凱栄・張麗群　著
朝日出版社　2010 年
ISBN978-4-255-45142-8

【参考書】
• 中日・日中辞典類 [紙媒体、電子辞書、App の何れも可。電子辞書を奨める]
• 『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書』　相原茂など　同学社
• 『中国語生活図解辞典』　遠藤雅裕　　小学館

【成績評価の方法と基準】
授業参加度・参加態度なども考慮しながら、主にテスト・活動・課題によって評価する。
チェックテスト [語彙・文法]　35%
期末テスト　20%
活動・口頭表現　25%
課題　10%
授業貢献度・学習態度など　10%
＊上記テストについて、授業形式が遠隔になった場合、オンラインテストか課題に切り替えることにする。
＊評価方法は、教員によって調整し、変更する場合がある。

【学生の意見等からの気づき】
■授業中に、コミュニケーション活動など、口頭表現する活動が多く行われて来た。学生から、口頭表現の内容を板書して提示して欲しいとの要望があった。今後の授業では、これらの口頭活動の内容を、なるべく文字資料ででも提示するように心掛ける。
■昨年度はコロナ禍によって授業形式は遠隔となり、課題の提出について、提出方法の操作などテクニカルな問題が出ており、操作方法に関しては、可能な限り授業時間で実演し、説明することを念頭に置く。

【学生が準備すべき機器他】
学習内容に応じて、教室に備えてある機器、または PC などを使う。また、学内授業支援システムなどを利用して、学生とのコミュニケーションを図る。

【その他の重要事項】
授業中、学習用具類以外、机上に置かないこと。
特に、携帯電話、飲み物類は、鞄等にしまうこと。
教材 [教科書、授業関連資料] を持参せずの受講は欠席と見なすこと。

【授業に臨む心構え】
其の一　勉強する意欲と意識を高く持つこと
其の二　しっかり予習・復習してくること。
其の二　教科書は勿論のこと、ノート、筆記具、辞書も必ず持ってくること。

【Outline and objectives】
While interwoven with the basic knowledge learned in the first half and intermediate class, we review progress and aim for middle advanced class while going forward with learning.
Considering the balance of the four skills "listen" "read" "talk" "write", improve communication skills by Chinese through actual battle activities etc.

LANc200LA

中国語３Ｉ

2017 年度以降入学者

三田村　圭子

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
営２年Ｌ

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
中国語の発音の基礎と基本文型、初級レベルの文法を復習しながら、文法項目の更なる基礎固めを行う。基礎の中国語で学習した事項をもとに、聞く・話す・読む・書くをバランスよく練習する。それによって、中級以上の中国語を学習する際に必要な事項を学習する。

【到達目標】
春学期終了時には、中国語検定４級程度の能力を習得し、生活中で必要な表現を正確な文法を用いて書くことができ、口頭でも表現できることを到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
第 1 週目（初回授業）はオンラインで行います。詳細は学習支援システムでお知らせします。また「大学の行動方針レベルが２」となった場合、この授業は原則としてオンラインで行います。この場合も詳細は学習支援システムで伝達します。
　はじめの 3 回については基礎で学んだ事項について復習する。毎回、授業の始めに簡単な発音とヒアリングの練習を行い、本文へ進む。教科書は、文法の解説、発音練習、本文の訳といった順序で進める。その後、教科書付属の練習問題を行う。
【課題へのフィードバック】文法問題に関しては授業時間に、まとめた回答を参考に解説する。音声ファイルは、発音の誤りが多い部分に関して授業開始時に復習をする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	基礎で学習した発音に関する復習①	自己紹介。特にピンインと発音の確認と練習。
第 2 回	基礎で学習した文型と時制に関する復習②	基礎文法事項（文型と時制）の練習。
第 3 回	基礎で学習した補語表現に関する復習③	簡単な自己紹介と通学について、介詞の復習表現を使い練習と発音練習。
第 4 回	趣味の聞き方と答え方。	動作の出来や程度と助動詞に関する練習。
第 5 回	アルバイトや仕事について話す。	伝聞・比較と簡単な構文の練習。比較表現と数字に関する表現の復習も兼ねて。
第 6 回	小テスト	第１課から第３課までの復習と到達度の確認。
第 7 回	時に関する表現	スケジュールに関連する表現、予定をたずねたり、招待したりする文例を学習する。
第 8 回	補語表現と少し複雑な表現	新しく学習した補語表現のまとめと指定した部分の暗誦とヒアリング問題を行う。
第 9 回	レストランでの表現	順番を表す表現と「把」構文に関しての練習。
第 10 回	料理を注文する。実際の状況を想定しての表現練習。	スケジュールを調整するところから、仕事で使用する表現のまとめ。
第 11 回	把構文と補語表現を用いての応用練習。	外部の試験問題の文法部分を実際に行ってみる。
第 12 回	春学期全体の復習。小テスト	特に第４課から第６課の仕事上で必要な日程調整、約束、場所に設定などに関する表現練習。
第 13 回	教科書付属のヒアリングと発音の復習と暗誦	第４課から第６課の総合練習問題と補充問題から行う。
第 14 回	基礎から中級文法事項の復習・期末試験	補語表現や把構文を主に復習し到達度の確認を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
時間のないときは音声教材だけでもよく聴いてくること。【予習】授業時に分担して日訳してもらうので翻訳は各自で行うこと。また自分の状況に合わせて答える問題を書いておくこと。【復習】文法での疑問や誤答をした部分の確認。その回の音声教材をよく聴くこと。【課題】音声教材付属のヒアリングの問題や自分の状況に合わせての問題を行う。

【テキスト（教科書）】
『しゃべくり中国語～場面による中国語会話』内田慶市・張軼欧著 金星堂　2200 円（税別）ISBN978-4-7647-0689-7 また随時、補充プリントを配布

【参考書】
授業開始以降に辞典や参考書について詳しく紹介する。

【成績評価の方法と基準】
期末試験 40 %、小テスト 30 %、課題（課題提出や暗誦）・平常点 30 %を総合して評価する。また、春学期においては HSK ３・４級・中国語検定試験４級合格者には 10 %を上限として加点をする。点数が極めて良好な場合は期末試験の一部を免除する。

【学生の意見等からの気づき】
昨年度は全てオンラインでした。今年度は教科書も変わります。まず、昨年度は開講が遅れましたので前半は大学で特別公開した HSK の問題を一律行いました。今年度は、それに変わるような練習を用意する予定です。また教科書の本文が長く、訳すのに時間がとられた問題に関しては、口頭練習も含まれる教科書に変更しましたので、実際の練習時間を確保できるようになるかと思います。

【学生が準備すべき機器他】
各自が最もヒアリング練習に便利な音声教材をダウンロードできる機器

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

三田村　圭子

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
営２年Ｌ

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
文法に関しては長めの会話文の学習を通じ、さまざまな中国語の表現を身につける。また、実際に作文や口頭の練習を行うことによって、新たに学習した構文の定着をはかり、HSK や中国語検定試験に対応しうる能力を養成する。

【到達目標】
より複雑な構文を習得し、自分の生活に関する事柄や仕事でも使用できる表現を明瞭に安定して運用できるようになる。文法に関しては中国語検定３級程度の能力を習得することを到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
春学期よりも授業進行が、若干速めになる。基本的には、春学期の授業進行と同様、文法の解説、発音の練習、本文の訳の順番だが、途中で、中国語検定問題や応用問題を行う時間をとる。また、比較的難解な文法事項についてはプリントを使用しながら学習する。
【課題へのフィードバック】文法問題に関しては授業時間に回答を一覧にまとめたもので解説する。発音に関しては各回の授業開始時に誤りが多かったフレーズを練習する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第１回	第１課から第６課までの復習と発音練習	発音練習と春学期に学習した事項と数字に関連する表現の復習。
第２回	健康状態を伝える表現。	すでに起こったことについて尋ねる表現。時制と「才」「就」の練習。
第３回	診察のときの表現。	動作・行為・状況の結果の表現と練習問題。
第４回	買い物に関連する表現。	相手の意見を求める表現と限度・限界の表現。本文の翻訳の確認と文法の解説。
第５回	復習	第１回から４回までの総合練習とヒアリング問題の確認。
第６回	小テスト	食事・病院・買い物にかんする表現のまとめ。残りの時間は外部の試験問題を行う。
第７回	旅行について。	強調構文と近未来の表現のまとめ。
第８回	結果補語・反語・使役の表現。	補語表現の総合復習②
第９回	髪型について。	本文の訳と文法解説。褒めたり謙遜したりする定型フレーズの確認。
第10回	方向補語と「了」の復習	検定試験の補語についての問題を行う。
第11回	小テスト	第７回から１０回までの指定部分暗誦とヒアリングも行う。
第12回	ファッション。	本文の翻訳と文法の解説。条件の追加を示す構文を使った表現練習。
第13回	新しい構文を使った表現練習のまとめ。ホテルでの表現。	やり残した問題や誤りの多かった発音について確認して練習。
第14回	応用表現の総合復習 期末試験	第 10 課から第 12 回までを中心に。ホテルを予約するときに役立つ表現の暗誦。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
秋学期は内容も難しくなるので音声教材をよく聴くこと。また授業以外でも DVD を観るなど、幅広く興味を持ってほしい。【予習】授業では翻訳の確認を行うので各自、日訳を作成することと本文の音声をあらかじめ聴いておくこと。【復習】自分のことに置き換えて表現する問題を行う。【課題】自分のことに置き換えて表現する練習問題は、筆記あるいは音声ファイルの提出で授業内で指定する。

【テキスト（教科書）】
『しゃべくり中国語～場面による中国語会話』内田慶市・張軼欧著 金星堂　2200 円（税別） 随時、補助プリントを配布。

【参考書】
秋学期授業時開始以降に再度、辞典や参考書について紹介する。

【成績評価の方法と基準】
期末試験 40 %、小テスト 30 %、課題。平常点 30 %を総合して評価する。3 分の 1 以上欠席した学生は評価の対象としない。また、遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。特に各自が行う課題に関しては採点の比重を重く置く。外部試験の点数が極めて良好な場合は期末試験の一部を免除し、中検３級合格者と HSK4 級以上の合格者は試験を免除し S の評価を与える。

【学生の意見等からの気づき】
秋以降は進行に余裕のある学生には問題を追加し補充練習を行いたい。昨年度はオンラインということで、毎回課題はあったもののレベルに応じた問題の準備がなく、進行の順調な学生には不十分であった。また課題の全てにコメントを付けて返却するということもできなかったので、問題数なども調整し、この点については根本的改善を行うつもりでいる。

【学生が準備すべき機器他】
音声をダウンロードできる機器

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３Ⅰ

2017 年度以降入学者

薄　宏

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 4/Thu.4
単位数：**1 単位**
営２年 M・N

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
一年次の既習内容をベースにして、さらに基礎を固め、レベルアップにつながる読解力、表現力などを培うことを目的とする。　中国語１と２で学んできた基本語彙、初級文法、基本会話等を復習しながら、要点をしっかりチェックし、その内容をよく確認した上、ユニット１、及び２に沿って、中級文法を学習しながら、「書ける」・「話せる」・「読める」・「聞ける」中国語の習得を更に充実し、平述文と会話文によりバランスよく身につけることを目標とする。

【到達目標】
中国語１と２で取得された学習成果を活かしながら、発音の矯正・中級中国 語にあった自己紹介スピーチと日常用語の暗記・翻訳練習などを兼ねて、「話 せる」・「読める」・「聞ける」、そして「書ける」中国語の習得を授業の到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
教科書に沿って、履修者のレベルに合わせつつ、内容への理解をチェックしながら授業を進める。なお、授業の中では、一人ずつ発音のチェック、正しい文章表現の確認、正確な 文法の応用、明白な発音で自己紹介やスピーチの演習、翻訳要領や日常会話 の実習を行う。課題等へのフィードバックは授業内またはメールなどで行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
①	復習	一年次に習った主な文法事項などの復習
②	第１課	その① １、動詞＋「着」＋動詞句 ２、方向補語 ３、「因果」関係
③	第１課	その② １、「来」の用法Ⅰ ２、目的語になる動詞句と主述句
④	第２課	その① １、比較表現 ２、仮定文中の「就」 ３、逆接を表わす「但是」
⑤	第２課	その② １、「対～来説」 ２、二重否定Ⅰ：「不～不～」
⑥	第３課	その① １、名詞＋「上」 ２、結果補語 ３、疑問詞＋「都／也」
⑦	第３課	その② １、二重目的語 ２、「好」＋形容詞
⑧	第４課	その① １、選択疑問文：「是～、還是～。」 ２、「要是～的話、～。」 ３、可能補語
⑨	第４課	その② １、動詞の重ね型Ⅱ ２、「～好了。」
⑩	第５課	その① １、「就」と「才」 ２、連用修飾語：「～地」 ３、肯定表現の「的」の語気助詞
⑪	第５課	その② １、「把」の構文Ⅰ ２、抽象的な意味を持つ方向補語：「起来」
⑫	第６課	その① １、主語になる動詞句 ２、「一邊～、一邊～。」 ３、「当～的時候」
⑬	第６課	その② １、人民元の表現し方 ２、「又～、又～。」 ３、「行？」 ４、第１課～第６課まとめ
⑭	復習、まとめ、到達度チェック。	第１課～第６課の復習、到達度チェック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業前に必ず復習と予習をすること。毎課の新出単語と文法事項を確実に理解したかを必ず自己チェックをすること。
毎日 30 分～テキストの CD を聞きながら、教科書に沿って発音練習を行うこと。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
「みんなの中国語Ⅱ」（ＣＤ付）
　林　文男著　隆美出版
　２，６００円＋消費税

【参考書】
＊『日中辞典』（小学館）
＊『中日辞典』（小学館）
＊中国語辞書（電子辞書も可）
＊必要なものは授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】
学期末学習成績評価：
１　学習成果到達度チェック評価　　（１００点）
２　授業態度；宿題・発音完成度；出欠席等（　２０点）
総合評価：
１＋２＝　総合点（１２０点満点）とする。
評価基準：
大学の学習評価基準に準ずる。

【学生の意見等からの気づき】
往年度の授業アンケートの結果が反映されるよう更なる改善を模索していく

【学生が準備すべき機器他】
辞書や参考書の使用は無論のこと、電子辞書の使用も認める。

【その他の重要事項】
学習向上のため、予習や復習等を必ず行うこと。

【Outline and objectives】
The aim is to further solidify the foundation based on the content of the first year's learning, and to cultivate reading comprehension and expressiveness that will lead to a level up. While reviewing basic vocabulary, basic grammar, basic conversation, etc. learned in Chinese 1 and 2, carefully check the points and confirm the contents well, then learn intermediate grammar along Units 1 and 2. In addition, the aim is to further enhance the ability to write, speak, read, and listen in Chinese, and to gain a better balance between plain and sentence sentences.

LANc200LA

中国語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

薄　宏

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**木** 4/Thu.4
単位数：**1 単位**
営２年 M・N

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期で学んだ語彙、文法、会話等を復習しながら、要点をしっかりチェックし、その内容を把握し、基本的な応用が出来るようにする。正確な発音のチェックを随時行い・本文の内容や自己紹介スピーチ、そして日常用語の応用、暗記、翻訳練習等をよく行い、中国語に対し、自信を持てるようになること。

【到達目標】
春学期に引き続き、ユニット３、及び４に沿って、これまで学んできた基本語彙、中級文法を復習しながら、「書ける」・「話せる」・「読める」・「聞ける」中国語の習得を更に充実し、全面的にバランスよく身につけることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
中国の基礎文法と会話表現を良く整理し、テキストに組み立てた本文内容、会話練習、重要表現、練習問題の４つの部分を活かし、授業の中では、一人ずつ発音のチェック、正しい文章表現の確認、正確な文法の応用、明白な発音で自己紹介やスピーチの演習、翻訳要領や日常会話の実習を行う。課題等へのフィードバックは授業内またはメールなどで行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
第１回	第１課～第６課 春学期に学習した全般の復習	春学期の学習内容についての復習、重点の確認、発音、整理、練習等。
第２回	第７課	その① １、「除了～以外、還～。」 ２、「由于～、因此～。」 ３、「有点児」と「一点児」
第３回	第７課	その② １、「連～也／都～。」 ２、「是不是？」
第４回	第８課	その① １、疑問詞の不特定の用法 ２、「把」の構文Ⅱ ３、使役表現Ⅰ「讓／叫」
第５回	第８課	その② １、「好」＋動詞 ２、使役表現Ⅱ「有」
第６回	第９課	その① １、「不但～、」 ２、「越～越～」 ３、存現文
第７回	第９課	その② １、受け身の表現 ２、動詞肯定形＋「了、来、去、過」等＋「没有？」
第８回	第１０課	その① １、形容詞の重ね型Ⅱ ２、使役の表現Ⅲ「請」 ３、「毎～都～」
第９回	第１０課	その② １、時間量＋「没有」＋動詞句＋「了」 ２、「被」を用いない受け身の表現
第10回	第１１課	その① １、「是何的～」 ２、様態補語 ３、抽象的な意味を持つ方向補語：「～下去」
第11回	第１１課	その② １、「Ａ是Ａ、可是～」 ２、「只要～就～」
第12回	第１２課	その① １、「不管～都～」 ２、「一」＋動詞 ３、「有」の連動式用法
第13回	第１２課	その② １、「即～又～」 ２、「就是～也～」 ３、第７課～第１２課の内容を全面的に復習
第14回	秋学期のまとめ	第７課～第１２課の到達度チェック。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回授業の内容を良く復習予習することにより、練習問題の宿題を欠かさず回答し、次回授業の答え合わせに参加できるように。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
「みんなの中国語Ⅱ」
　林　文男著（ＣＤ付）　隆美出版
　２，６００円＋消費税

【参考書】
１、辞書や参考書の使用は無論のこと、電子辞書の使用も認める。
２、その必要性に応じて指示する

【成績評価の方法と基準】
秋学期成績評価：
１　学習成果到達度チェック評価　　（１００点）
２　授業態度・宿題完成度・平常点・出欠席等（　２０点）
総合評価：
１＋２＝　総合点（１２０点満点）とする。
評価基準：
大学の学習評価基準に準ずる。

【学生の意見等からの気づき】
春学期の進行により、学生の授業に対する詳細を把握し、一層の改善できるよう心掛ける。

【学生が準備すべき機器他】
辞書や参考書の使用は無論のこと、電子辞書の使用も認める。

【その他の重要事項】
学習向上のため、予習や復習を必ず行うこと。

【Outline and objectives】
While reviewing the vocabulary, grammar, conversation, etc. learned in the spring semester, carefully check the points, grasp the contents, and be able to apply basic applications. Check the correct pronunciation from time to time. · Become confident in Chinese by practicing the contents of the text, giving self-introduction speeches, applying everyday terms, memorizing, and practicing translation.

LANc200LA

中国語３Ⅰ

2017 年度以降入学者

王　翠莉

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**水** 3/Wed.3
単位数：**1 単位**
営２年Ｏ・Ｑ

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、中国語 1、中国語２を一通り終えた学生を対象にする授業です。
本授業では、中国語１と中国語２で学んだ基礎文法文型を生かし、教科書「優しいビジネス中国語」の内容を勉強することにより、中国語の応用表現を覚えます。
本講義の目的は、ビジネス上で必要な中国語の基本会話と文章表現を勉強し覚えることにより、中国語の応用力の向上を目指すことにあります。

【到達目標】
本授業で使用する教科書「優しいビジネス中国語」は、ビジネス関係の中国語会話文を中心にし、内容は銀行、財務、商談、宴会のセッティング、労働待遇、アフタサービス、国際入札、コンテナ輸送など幅広い分野をカバーしていて、とても実用的で充実している内容です。
中国語の基礎勉強を終えた後、このようなビジネス上で必要な基本会話と文章表現を勉強し覚えることにより、中国語の語学力特に応用力の向上ができます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
本授業の進め方と方法は、基本的には教科書を中心に授業を進めます。教科書の各課は、会話本文、文法と作文、書き換え練習、ヒアリング練習と参考表現からなっています。
授業の進め方は、まず、教科書の文法を説明の上、受講生たちと一緒に会話本文を読んだり翻訳したりします。難しい中国語の表現がある場合、例文を挙げて説明したりします。その次、書き換え練習、ヒアリング練習、参考表現を練習します。時間の余裕がある時、音読と短文作りの練習をします。
二回の授業で 1 回単語小テストをします。小テストの点数を平常点に計上します。
授業中の練習方法としては、毎回の授業では音読と翻訳の練習をするから、時間の制限で全員はできないので、4，5 人ずつグループを作り、交代で音読と翻訳の発表をします。毎回の授業では、学生全員に練習のチャンスを与えます。
課題等へのフィードバックは基本的には授業時間を通じて行います。
本授業はハイブリッド（オンラインと対面を併用）で行います。授業についての詳細は学習支援システムでお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回目	①オリエンテーション ②復習と練習	本授業の目標・内容、授業の進め方、成績評価の方法などについて説明し、使用教科書を紹介する。
2 回目	発音の復習と練習	1 年生の教科書「ポイント学習中国語」第 4 課のポイント 4・1「二音節語の声調 20 パタン」を繰り返して発音の練習をする。 受講生全員の発音をチェックする。
3 回目	第 1 課「オフィスを訪ねる」を勉強する。	①第 1 課の会話本文「オフィスを訪ねる」を勉強する。 ②下記の「文法と作文」を学ぶ。 文法 1 ：「疑問詞+☒」構文； 文法 2 ：動詞の重ね方 ③置き換え練習 ④ヒヤリング練習
4 回目	第 2 課　レストランに食事に行く	①第 2 課の会話本文「レストランに食事に行く」を勉強する。 ②下記の文法を勉強する。 文法 3 ：「形容詞+了」構文 文法 4 ：選択疑問文「A ☒是 B？」 ③置き換え練習 ④ヒアリング練習
5 回目	第 1 課、第 2 課の音読練習と質問応答	①第 1 課、第 2 課の音読練習 ②第 1 課、第 2 課の質問解答
6 回目	第 3 課 銀行に行く	①第 3 課の会話本文「銀行に行く」を勉強する。 ②下記の文法を勉強する。 文法 5 ：助動詞「想」の用法 文法 6 ：結果補語「好」の用法 ③置き換え練習 ④ヒアリング練習
7 回目	第 4 課　商談をする	①第 4 課の会話本文「商談をする」を勉強する。 ②下記の文法を勉強する。 文法 7 ：結果補語「到」 文法 8 ：程度補語 ③置き換え練習 ④ヒアリング練習
8 回目	第 3 課、第 4 課の音読練習と質問応答	①第 3 課、第 4 課の音読練習 ②第 3 課、第 4 課の質問解答
9 回目	第 5 課　宴会のセッティングする	①第 5 課の会話本文「宴会のセッティング」を勉強する。 ②下記の文法を勉強する。 文法 9 ：数量述語文 文法 10 ：「把」+目的語+動詞」の構文 ③置き換え練習 ④ヒアリング練習
10 回目	第 6 課　有給休暇を取る	①第 6 課の会話本文「有給休暇をとる」を勉強する。 ②下記の文法を勉強する。 文法 3 ：「形容詞+了」構文 文法 11 ：助動詞「可以」の用法 文法 12 ：「快～了」の用法 ③置き換え練習 ④ヒアリング練習
11 回目	第 5 課、第 6 課の音読練習と質問応答	①第 5 課、第 6 課の音読練習 ②第 5 課、第 6 課の質問解答
12 回目	授業のまとめ	春学期の授業内容をまとめて復習する。
13 回目	授業内口頭試験	音読を練習の上音読録音を提出
14 回目	筆記試験、まとめと解説	教室で対面形式で筆記試験を行う。 試験後、まとめと解説をする

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回の授業内容と宿題をしっかり練習しましょう。
特に外国語の勉強にとっては、音読練習はとても重要なので、楽しく練習すれば、上手になります。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
オンライン授業を実施する場合、ちゃんと ZOOM 授業に参加し、毎回のレポート課題をしっかりやりましょう。

【テキスト（教科書）】
『やさしいビジネス中国語』三潴正道他著、朝日出版社、2007 年、2,200 ＋税

【参考書】
中国語辞書
『商経学部生のための読む中国語』大羽りん・趙青著、白水社

【成績評価の方法と基準】
成績評価は、平常点と期末試験の点数により構成されます。
平常点は 30 %で、期末試験は 70 %。
平常点には、受講態度、小テスト、課題の完成度、口頭試問等を含みます。
期末試験の 70 %には、口頭試験は 20 %、筆記試験は 50 %。

【学生の意見等からの気づき】
授業の終了時間をオーバーしないように気を付けます。

【学生が準備すべき機器他】
オンライン授業を受講するための通信環境、PC などを準備してください。

【Outline and objectives】
This course is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners. This course is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners to acquire the basic grammer and to learn how to use Chinese by the Book of “Friendly Business”. The aim of this courseWe will improve the Chinese basic speaking, writing and applying ability.

LANc200LA

中国語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

王　翠莉

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 3/Wed.3
単位数：**1 単位**
営２年Ｏ・Ｑ

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、中国語３Ｉの続きで、中国語 1、中国語２を一通り終えた学生を対象とする授業です。
本授業では、中国語１と中国語２で学んだ基礎文法文型を生かし、教科書「優しいビジネス中国語」を勉強することにより、中国語の応用表現を覚えます。
本講義の目的は、ビジネス上で必要な中国語の基本会話と文章表現を勉強し覚えることにより、中国語の応用力の向上を目指すことにあります。

【到達目標】
本授業は、中国語３Ｉの続きです。
春学期に使用した教科書「やさしいビジネス中国語」を引き続き勉強し、第 7 課から勉強します。第 7 課からの内容は、空港待合室、アフタサービス、流通業のコンテナ輸送、就職面接＆待遇、病院で診察を受ける、国際入札、財務関係など、幅広く各分野にわたっていて、とても実用的で充実している内容です。これらのビジネス上で必要な中国語の表現を勉強することにより、自分の中国語の表現力と応用力が向上することができます。
教科書の本文は会話形式なので、ビジネス上で必要な基本会話とビジネス関係の中国語文章の翻訳ができるようになることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
本授業は、基本的には教科書を中心に授業を進めます。
教科書の各課は、会話本文、文法と作文、書き換え練習、ヒアリング練習と参考表現からなっています。
授業の進め方は、まず、教科書の文法を説明の上、受講生たちと一緒に会話本文を読んだり翻訳したりします。難しい中国語の表現がある場合、例文を挙げて説明したりします。本文と文法を勉強した後、書き換え練習、ヒアリング練習、参考表現を練習します。時間の余裕がある場合、音読と短文作りの練習をします。
二回の授業で 1 回単語小テストをします。小テストの点数を平常点に計上します。
授業中の練習方法としては、毎回の授業では音読と翻訳の練習をするから、時間の制限で全員はできないので、4，5 人ずつグループを作り、交代で音読と翻訳の発表をしてもらいます。毎回の授業では、学生全員に練習のチャンスを与えます。
課題等へのフィードバックは基本的には授業時間を通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回目	①オリエンテーション ②総合復習	①後期の授業の目標・内容、授業の進め方、成績評価の方法などについて説明する。 ②中国語で自己紹介文を書いて提出する。

2 回目	第 7 課　フライトを待つ	①第 7 課のポイントを説明する 文法 13 ：時間量を表す言葉の位置 文法 14 ：「被」の用法 ②会話本文「フライトを待つ」を勉強する。 ③書き換え練習 ④ヒアリング練習、 ⑤参考表現を説明する。
3 回目	第 8 課　アフターサービス	①第 8 課のポイントを解説する 文法 15 ：「吧」の用法 文法 16 ：「V ☒～」の用法 ②会話本文「アフターサービス」を勉強する ③書き換え練習 ④ヒアリング練習、 ⑤参考表現を説明する。
4 回目	第 7 課、第 8 課の音読練習と質問解答	①第 7 課、第 8 課の音読練習 ②質問解答 ③単語小テスト
5 回目	第 9 課　コンテナ輸送	①第 9 課のポイントを説明する 文法 17 ：「一～就…」の構文 文法 18 ：「既～又…」の構文 ②会話本文「コンテナ輸送」を勉強する。 ③書き換え練習 ④ヒアリング練習、 ⑤参考表現を説明する。
6 回目	第 10 課　待遇	①第 10 課のポイントを説明する 文法 19 ：「（只有）～、才能…」の用法 文法 20 ：「作☒～」の用法 ②会話本文「待遇」を勉強する。 ③書き換え練習 ④ヒアリング練習、 ⑤参考表現を説明する。
7 回目	第 9 課、第 10 課の音読練習と質問解答	①第 9 課、第 10 課の音読練習 ②質問解答 ③単語小テスト
8 回目	第 11 課　病院にて	①第 11 課のポイントを説明する 文法 21 ：「先～、然后…」の構文 文法 22 ：「不是～、而是…」の構文 ②会話本文「病院にて」を勉強する。 ③書き換え練習 ④ヒアリング練習、 ⑤参考表現を説明する。
9 回目	第 12 課　国際入札	①第 12 課のポイントを説明する 文法 23 ：「听～☒/听☒～」の構文 文法 24 ：「有」を伴う 2 音節動詞 ②会話本文「国際入札」を勉強する。 ③書き換え練習 ④ヒアリング練習、 ⑤参考表現を説明する。
10 回目	第 13 課　財務	①第 13 課のポイントを説明する 文法 25 ：様態補語と可能補語 文法 26 ：助詞「地」の用法 ②会話本文「財務」を勉強する。 ③書き換え練習 ④ヒアリング練習、 ⑤参考表現を説明する。
11 回目	第 11 課、第 12 課、第 13 課の音読練習と質問解答	①第 11 課、第 12 課、第 13 課の音読練習 ②質問解答 ③単語小テスト
12 回目	総合復習練習	①授業内容のまとめと復習 ②質問解答
13 回目	音読テスト	音読テスト
14 回目	秋学期授業内試験	授業内試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業内容を復習することはとても大事なことなので、宿題又は課題がある場合、ちゃんとやりましょう。
また、外国語の勉強にとっては、音読がとても重要なので、楽しく練習すればお上手になります。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『やさしいビジネス中国語』三潴正道他著、朝日出版社、2007 年、2,200 円＋税

【参考書】
『商経学部生のための読む中国語』大羽りん・趙青著、白水社、2019 年 2 月

【成績評価の方法と基準】
成績評価は、平常点と期末試験の点数により総合評価を出す。
平常点は 30%、期末試験は 70%。
平常点には、出席、授業中の小テストと練習および学習態度等を含む。
期末試験には、音読テストは 20%、筆記試験は 50%占める。
中国語検定試験 4 級以上の合格者には、期末筆記試験を免除する。
中国語検定試験の取得点数と期末口頭試験と平常点により評価をする。
＊無断欠席 4 回以上の受講生は評価対象にならない可能性がある。

【学生の意見等からの気づき】
授業中の私語と中国語学習以外の携帯使用を禁止する！
授業の終了時間をオーバーしないように気を付ける。

【Outline and objectives】
This course is Chinese Ⅰ of Ⅲ which is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners. This course is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners to acquire the basic grammer and to learn how to use Chinese by the Book of “Friendly Business Chinese. The aim of this courseWe will improve the Chinese basic speaking, writing and applying ability.

LANc200LA

中国語３Ⅰ

2017 年度以降入学者

康　鴻音

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**土** 1/Sat.1
単位数：**1 単位**
営 2 年 R

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
初級で学んだ中国語基礎を固め、正しい声調で、自然なリズムで話せること、そして中国語の文章が読めることと、簡単な文章が書けることを指導する。

【到達目標】
中国語の基礎を学んだ学生を対象に、習った文法、文型を復習しながら、さらに中国語のレベルアップを目指す。そして現代中国への理解を深められるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
新しい内容を予習してもらい、授業中にチェックします。必要に応じて授業後の指導もできます。
社会情勢に合わせてオンデマンドとオンライン授業（リアルタイム）を実施する場合もあります。その時、お知らせします。
課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	第〇課	一年次の文法の復習
2 回	第一課	前置詞、動詞句による連体修飾語、様態補語などの勉強、本文と会話文への読解
3 回	第一課	本文と会話文への読みチェック、リスニングの訓練。練習問題の解答。
4 回	第二課	第二課副詞、逆説の表現、数量補語など、本文と会話文への読解
5 回	第二課	本文と会話文への読みチェック、リスニングの訓練。練習問題の解答。
6 回	第三課	前置詞、複文など、本文と会話文への読解
7 回	第三課	本文と会話文への読みチェック、リスニングの訓練。練習問題の解答。
8 回	第四課	形容詞句による連体修飾語、仮定条件文など、本文と会話文への読解
9 回	第四課	本文と会話文への読みチェック、リスニングの訓練。練習問題の解答。
10 回	第五課	結果補語、可能補語など、本文と会話文への読解
11 回	第五課	本文と会話文への読みチェック、リスニングの訓練。練習問題の解答。
12 回	第六課	因果関係文、追加・排他を表す表現、本文と会話文への読解
13 回	第六課	本文と会話文への読みチェック、リスニングの訓練。練習問題の解答。
14 回	総復習など	いままでの復習・期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
復習、予習するよう。発音練習をたくさんしてください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『学ぶ中国語』初中級編　王亜新　劉素英　朝日出版社　2016 年　2200 円

【参考書】
辞書を用意すること。

【成績評価の方法と基準】
対面授業の場合には期末試験を 40 %にし、ふだんの練習や課題、小テストなど 60 %にします。オンラインの場合は、毎回の課題の実施状況によって評価します。

【学生の意見等からの気づき】
しっかりと読解できて、きれいに発音できることを目標にしたい。

【学生が準備すべき機器他】
オンライン授業を受講するため通信環境･PC の準備をしてください。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

康　鴻音

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**土** 1/Sat.1
単位数：**1 単位**
営 2 年 R

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
中国語の基礎を学んだ学生を対象に、習った文法、文型を復習しながら、さらにレベルアップを目指す。

【到達目標】
中国語の文章を流暢に読むことができること、簡単な文章を書くことができること、教科書の内容についての質問が聞き取れることを目標にする。また、中国についての知識を増やすことによって中国への理解を深めよう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
各課の新出単語をきれいに発音でき、文法を理解して読解を進めて行く。教科書の内容について聞き取りの練習をし、練習問題を解いて、着実に力をつけていけるようにする。そして習った文法で簡単な文章が書けるように指導する。
本授業はオンラインを基本（主）とします。授業実施に関する詳細は学習支援システムでお知らせします。
課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	復習	前期内容に対する復習、会話の練習とリスニングの練習
2 回	第七課	“是…的” の構文、動詞 + “着” の用法など、本文と会話文への読解
3 回	第七課	本文と会話文への読みチェック、リスニングの訓練。練習問題の解答。
4 回	第八課	使役の表現、複文など、本文と会話文への読解
5 回	第八課	本文と会話文への読みチェック、リスニングの訓練。練習問題の解答。
6 回	第九課	疑問詞＋副詞、慣用型など、本文と会話文への読解
7 回	第九課	本文と会話文への読みチェック、リスニングの訓練。練習問題の解答。
8 回	第十課	助動詞、副詞など、本文と会話文への読解
9 回	第十課	本文と会話文への読みチェック、リスニングの訓練。練習問題の解答。
10 回	第十一課	受動表現、反語表現など、本文と会話文への読解
11 回	第十一課	本文と会話文への読みチェック、リスニングの訓練。練習問題の解答。
12 回	第十二課	引用を表す表現、目的実現を表す言葉など、本文と会話文への読解
13 回	第十二課	本文と会話文への読みチェック、リスニングの訓練。練習問題の解答。
14 回	総復習	後期習った内容への復習・期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
必ず復習・予習してくること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『学ぶ中国語』（朝日出版社）初中級編　王亜新　劉素英

【参考書】
辞書を用意すること。

【成績評価の方法と基準】
対面授業が再開された場合には期末試験を 40 %にし、ふだんの練習、課題などは 60 %にします。
社会情勢に合わせてオンデマンドとオンライン授業（リアルタイム）を実施する場合、毎回の課題の出来具合によって評価します。

【学生の意見等からの気づき】
しっかりと読解でき、きれいに発音できることを目標にしたい。

【学生が準備すべき機器他】
オンライン授業を受講するため通信環境・PC の準備をしてください。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３Ｉ

2017 年度以降入学者

王　安

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**水** 2/Wed.2
単位数：**1 単位**
営２年Ｔ

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
中国語初級～中級レベルに必要な語彙・文法・表現を総合的に習得し，中国の文化・習慣における基本知識を理解する。授業では、各課の内容を巡って、グループで会話をしたり、重要文法項目について作文をしたり、様々な練習問題をしたりすることによって、学んだ知識を確実に身につけていく。

【到達目標】
初級中国語を終えた学習者を対象に、初級中国語の内容を実際に運用できるように練習し、中級中国語の語彙、文法、構文を身に着けることを目標とする。読解力のみならず、「話す」「聞く」「書く」などの能力もバランスよく訓練し、中国語総合能力の向上を目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業では先生と一緒に単語と本文を音読し、中国語の正しい発音を覚えていく。また、重要単語の意味と用法、文法項目及び関連知識を学習し、作文練習や補足練習を通して確実に身に着ける。さらに、各課のトピックに合わせて、グループで会話練習を行う。このように、授業は中国語の総合能力の向上を意識して進めていく。
課題などに対するフィードバックは随時授業時間内で行う。
本授業は対面を基本とし、オンラインを併用する場合もあります。第 1 週目（初回授業）はオンラインとなります。詳しくは学習支援システムでお知らせします。なお、大學の行動方針レベルが２となった場合、授業は原則としてオンラインで行います。詳細は学習支援システムでお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	ガイダンス	発音の復習、中国語初級文法、構文などの復習
2 回	第 1 課　自我介☒	①自己紹介に関する重要表現、言い方を学習する。 ②重要文法項目：前置詞 “在、跟” などの用法、動詞の重ね型。
3 回	第 1 課　自我介☒	実践練習： 自己紹介の仕方 (自分の名前、故郷、家族構成、専攻、など)
4 回	第 2 課　李☒有很多☒好	①趣味を紹介する際に使う重要表現、言い方を学習する。 ②重要文法項目：前置詞 “对”“从” の用法、助動詞 “打算” の用法。
5 回	第 2 課 李☒有很多☒好	実践練習：様々な趣味の中国語の言い方を身に着け、自分や友人の趣味を人に紹介する。
6 回	第 3 課 ☒大☒的一天	①一日の行動を述べる際の構文、表現を学ぶ。 ②重要文法項目： 連動文、様態補語、時間副詞の用法。
7 回	第 3 課 ☒大☒的一天	実践練習： 連動文や時間副詞を用いて、自分の一日の行動を中国語で表現する。
8 回	第 4 課 ☒芳的☒☒	①人の性格、特徴や仕事に関する言い方、表現を学習する。 ②重要文法項目：助動詞 “能” の用法、方向補語、中国語の感情動詞など。
9 回	第 4 課 ☒芳的☒☒	実践練習：中国語で自分の友人の性格、特徴などを紹介する。
10 回	第 5 課 我☒是去年☒☒的	①過去の出来事を述べる際に使用する表現、構文などを学ぶ。 ②重要文法項目：“是…的” 構文、因果関係の複文、中国語の離合動詞。
11 回	第 5 課 我☒是去年☒☒的	実践練習： 中国語の “是…的” 構文の機能、使い方を正しく理解し、“是…的” 構文を使えるように練習する。
12 回	第 6 課 你知道 “☒☒☒” ☒？	①情報や知識を人に伝える際に使う表現、構文を学ぶ ②重要文法項目： 前置詞、逆接接続詞の使い方、“快要…了” の使い方、助動詞 “要” の用法
13 回	第 6 課 你知道 “☒☒☒” ☒？	実践練習： 中国語である情報やニュースまたは知識を人に紹介する。
14 回	期末試験	筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
１、事前に教科書を音読し，「warming up」を予習してください。
２、授業で補足された内容を必ずメモし，授業後整理してください。
３、授業後，復習を通してその日の語彙と構文を知識として定着させる。
本授業の準備学習・復習時間は各４ 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『標準中国語読解力 UP 編』王安・楊川・王欣・孫樹林　朝日出版
2200 円＋税
ISBN978-4-255-45215-9C1087

【参考書】
『WHY？ にこたえるはじめての中国語の文法書』相原茂・石田知子・戸沼市子著　2,500 円（同学社）
その他の資料は授業で随時紹介する。

【成績評価の方法と基準】
平常点（課題 45 %）＋総合まとめ課題（55 %/2 回）＝１００点で評価します。
注意点：①課題の未提出は８点減点/一回
②課題提出の遅れは４点減点/一回
（提出が締め切りより遅れた場合、期間は締め切り日から一週間以内と限定します。一週間過ぎてからの提出は成績評価しません）

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】
音声教材を日常的に聴くことができる機器が必要です。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

王　安

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 2/Wed.2
単位数：**1 単位**
営２年Ｔ

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
前期に引き続き、中国語中級レベルに必要な語彙・文法・表現を総合的に習得し，中国の文化・習慣への理解を深める。授業では、各課の内容を巡って、グループで会話をしたり、重要文法項目について作文をしたり、様々な練習問題をしたりすることによって、学んだ知識を確実に身につけていく。

【到達目標】
初級～中級中国語を終えた学習者を対象に、これまで学んできた内容を実際に運用できるように練習し、中級中国語の語彙、文法、構文を身に着けることを目標とする。読解力のみならず、「話す」「聞く」「書く」などの能力もバランスよく訓練し、中国語総合能力の向上を目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業では先生と一緒に単語と本文を音読し、中国語の正しい発音を覚えていく。また、重要単語の意味と用法、文法項目及び関連知識を学習し、作文練習や補足練習を通して確実に身に着ける。さらに、各課のトピックに合わせて、グループで会話練習を行う。このように、授業は中国語の総合能力の向上を意識して進めていく。
課題などに対するフィードバックは随時授業時間内で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	第７課	①前期復習 ②中国語の外来語 ③重要表現、文法の説明
2 回	第７課	実践練習： 中国語の外来語や日中両言語の表記体系、外来語の相違を紹介する。
3 回	第８課	①中国の大学や大学生の生活に関する表現を学ぶ。 ②重要文法項目の説明
4 回	第８課	実践練習： 中国語で自分の大学や大学生活を紹介する。
5 回	第９課	①中国の若者文化、若者の生活に関する中国語表現を学ぶ。 ②重要文法項目の説明。
6 回	第９課	実践練習： 中国の若者言葉を紹介し、日本語や日本の文化が中国の若者に与えた影響を紹介する。
7 回	第１０課	①日本の “動漫” に関する中国語表現を学ぶ ②重要文法項目の説明。
8 回	第１０課	実践練習： 日本の “動漫” が中国に与えた影響を紹介し、映画やアニメに関する中国語表現を紹介する。
9 回	第１１課	①北京に関する知識、北京生活に関する表現を学ぶ。 ②重要文法項目の説明。
10 回	第１１課	実践練習： 北京の言葉、生活、文化などに関連する中国語表現を練習する。
11 回	第１２課	①中国の飲食文化を紹介し、それに関連する表現を学ぶ。 ②重要文法項目の説明。
12 回	第１２課 第１３課	①飲食に関する中国語表現を用いて練習する。 ②中国の民族に関連する知識を紹介する
13 回	第１４課	①中国の旧正月に関する知識、表現を学ぶ。 ②重要文法項目の説明。 ③まとめ
14 回	期末試験	筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
１、事前に教科書を音読し，「warming up」を予習してください。
２、授業で補足された内容を必ずメモし，授業後整理してください。
３、授業後，復習を通してその日の語彙と構文を知識として定着させる。
本授業の準備学習・復習時間は各４ 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『標準中国語読解力 UP 編』王安・楊川・王欣・孫樹林　朝日出版
2200 円＋税
ISBN978-4-255-45215-9C1087

【参考書】
『WHY？ にこたえるはじめての中国語の文法書』相原茂・石田知子・戸沼市子著　2,500 円（同学社）
その他の資料は授業で随時紹介する。

【成績評価の方法と基準】
平常点（課題 45 %）＋総合まとめ課題（55 %/2 回）＝１００点で評価します。
注意点：①課題の未提出は８点減点/一回
②課題提出の遅れは４点減点/一回（提出が締め切りより遅れた場合、期間は締め切り日から一週間以内と限定します。一週間過ぎてからの提出は成績評価しません）

【学生の意見等からの気づき】
本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】
音声教材を聴くことができる機器が必要です。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３Ⅰ

2017 年度以降入学者

王　翠莉

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
営 2 年 B・C

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、中国語 1、中国語２を一通り終えた学生を対象にする授業です。
本授業では、中国語１と中国語２で学んだ基礎文法文型を生かし、教科書「優しいビジネス中国語」の内容を勉強することにより、中国語の応用表現を覚えます。
本講義の目的は、ビジネス上で必要な中国語の基本会話と文章表現を勉強し覚えることにより、中国語の応用力の向上を目指すことにあります。

【到達目標】
本授業で使用する教科書「優しいビジネス中国語」は、ビジネス関係の中国語会話文を中心にし、内容は銀行、財務、商談、宴会のセッティング、労働待遇、アフタサービス、国際入札、コンテナ輸送など幅広い分野をカバーしていて、とても実用的で充実している内容です。
中国語の基礎勉強を終えた後、このようなビジネス上で必要な基本会話と文章表現を勉強し覚えることにより、中国語の語学力特に応用力の向上ができます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
本授業の進め方と方法は、基本的には教科書を中心に授業を進めます。教科書の各課は、会話本文、文法と作文、書き換え練習、ヒアリング練習と参考表現からなっています。
授業の進め方は、まず、教科書の文法を説明の上、受講生たちと一緒に会話本文を読んだり翻訳したりします。難しい中国語の表現がある場合、例文を挙げて説明したりします。その次、書き換え練習、ヒアリング練習、参考表現を練習します。時間の余裕がある時、音読と短文作りの練習をします。
二回の授業で 1 回単語小テストをします。小テストの点数を平常点に計上します。
授業中の練習方法としては、毎回の授業では音読と翻訳の練習をするから、時間の制限で全員はできないので、4，5 人ずつグループを作り、交代で音読と翻訳の発表をします。毎回の授業では、学生全員に練習のチャンスを与えます。
課題等へのフィードバックは基本的には授業時間を通じて行います。
本授業はハイブリッド（オンラインと対面を併用）で行います。授業についての詳細は学習支援システムでお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回目	①オリエンテーション ②復習と練習	本授業の目標・内容、授業の進め方、成績評価の方法などについて説明し、使用教科書を紹介する。
2 回目	発音の復習と練習	1 年生の教科書「ポイント学習中国語」第 4 課のポイント 4・1「二音節語の声調 20 パタン」を繰り返して発音の練習をする。 受講生全員の発音をチェックする。
3 回目	第 1 課「オフィスを訪ねる」を勉強する。	①第 1 課の会話本文「オフィスを訪ねる」を勉強する。 ②下記の「文法と作文」を学ぶ。 文法 1 ：「疑問詞+☒」構文； 文法 2 ：動詞の重ね方 ③置き換え練習 ④ヒヤリング練習
4 回目	第 2 課　レストランに食事に行く	①第 2 課の会話本文「レストランに食事に行く」を勉強する。 ②下記の文法を勉強する。 文法 3 ：「形容詞+了」構文 文法 4 ：選択疑問文「A ☒是 B？」 ③置き換え練習 ④ヒアリング練習
5 回目	第 1 課、第 2 課の音読練習と質問応答	①第 1 課、第 2 課の音読練習 ②第 1 課、第 2 課の質問解答
6 回目	第 3 課 銀行に行く	①第 3 課の会話本文「銀行に行く」を勉強する。 ②下記の文法を勉強する。 文法 5 ：助動詞「想」の用法 文法 6 ：結果補語「好」の用法 ③置き換え練習 ④ヒアリング練習
7 回目	第 4 課　商談をする	①第 4 課の会話本文「商談をする」を勉強する。 ②下記の文法を勉強する。 文法 7 ：結果補語「到」 文法 8 ：程度補語 ③置き換え練習 ④ヒアリング練習
8 回目	第 3 課、第 4 課の音読練習と質問応答	①第 3 課、第 4 課の音読練習 ②第 3 課、第 4 課の質問解答
9 回目	第 5 課　宴会のセッティングする	①第 5 課の会話本文「宴会のセッティング」を勉強する。 ②下記の文法を勉強する。 文法 9 ：数量述語文 文法 10 ：「把」+目的語+動詞」の構文 ③置き換え練習 ④ヒアリング練習
10 回目	第 6 課　有給休暇を取る	①第 6 課の会話本文「有給休暇をとる」を勉強する。 ②下記の文法を勉強する。 文法 3 ：「形容詞+了」構文 文法 11 ：助動詞「可以」の用法 文法 12 ：「快～了」の用法 ③置き換え練習 ④ヒアリング練習
11 回目	第 5 課、第 6 課の音読練習と質問応答	①第 5 課、第 6 課の音読練習 ②第 5 課、第 6 課の質問解答
12 回目	授業のまとめ	春学期の授業内容をまとめて復習する。
13 回目	授業内口頭試験	音読を練習の上音読録音を提出
14 回目	筆記試験、まとめと解説	教室で対面形式で筆記試験を行う。 試験後、まとめと解説をする

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回の授業内容と宿題をしっかり練習しましょう。
特に外国語の勉強にとっては、音読練習はとても重要なので、楽しく練習すれば、上手になります。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
オンライン授業を実施する場合、ちゃんと ZOOM 授業に参加し、毎回のレポート課題をしっかりやりましょう。

【テキスト（教科書）】
『やさしいビジネス中国語』三潴正道他著、朝日出版社、2007 年、2,200 ＋税

【参考書】
中国語辞書
『商経学部生のための読む中国語』大羽りん・趙青著、白水社

【成績評価の方法と基準】
成績評価は、平常点と期末試験の点数により構成されます。
平常点は 30 %で、期末試験は 70 %。
平常点には、受講態度、小テスト、課題の完成度、口頭試問等を含みます。
期末試験の 70 %には、口頭試験は 20 %、筆記試験は 50 %。

【学生の意見等からの気づき】
授業の終了時間をオーバーしないように気を付けます。

【学生が準備すべき機器他】
オンライン授業を受講するための通信環境、PC などを準備してください。

【Outline and objectives】
This course is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners. This course is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners to acquire the basic grammer and to learn how to use Chinese by the Book of “Friendly Business”. The aim of this courseWe will improve the Chinese basic speaking, writing and applying ability.

LANc200LA

中国語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

王　翠莉

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
営 2 年 B・C

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、中国語３Ｉの続きで、中国語 1、中国語２を一通り終えた学生を対象とする授業です。
本授業では、中国語１と中国語２で学んだ基礎文法文型を生かし、教科書「優しいビジネス中国語」を勉強することにより、中国語の応用表現を覚えます。
本講義の目的は、ビジネス上で必要な中国語の基本会話と文章表現を勉強し覚えることにより、中国語の応用力の向上を目指すことにあります。

【到達目標】
本授業は、中国語３Ｉの続きです。
春学期に使用した教科書「やさしいビジネス中国語」を引き続き勉強し、第 7 課から勉強します。第 7 課からの内容は、空港待合室、アフタサービス、流通業のコンテナ輸送、就職面接＆待遇、病院で診察を受ける、国際入札、財務関係など、幅広く各分野にわたっていて、とても実用的で充実している内容です。これらのビジネス上で必要な中国語の表現を勉強することにより、自分の中国語の表現力と応用力が向上することができます。
教科書の本文は会話形式なので、ビジネス上で必要な基本会話とビジネス関係の中国語文章の翻訳ができるようになることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
本授業は、基本的には教科書を中心に授業を進めます。
教科書の各課は、会話本文、文法と作文、書き換え練習、ヒアリング練習と参考表現からなっています。
授業の進め方は、まず、教科書の文法を説明の上、受講生たちと一緒に会話本文を読んだり翻訳したりします。難しい中国語の表現がある場合、例文を挙げて説明したりします。本文と文法を勉強した後、書き換え練習、ヒアリング練習、参考表現を練習します。時間の余裕がある場合、音読と短文作りの練習をします。
二回の授業で 1 回単語小テストをします。小テストの点数を平常点に計上します。
授業中の練習方法としては、毎回の授業では音読と翻訳の練習をするから、時間の制限で全員はできないので、4，5 人ずつグループを作り、交代で音読と翻訳の発表をしてもらいます。毎回の授業では、学生全員に練習のチャンスを与えます。
課題等へのフィードバックは基本的には授業時間を通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回目	①オリエンテーション ②総合復習	①後期の授業の目標・内容、授業の進め方、成績評価の方法などについて説明する。 ②中国語で自己紹介文を書いて提出する。

2 回目	第 7 課　フライトを待つ	①第 7 課のポイントを説明する 文法 13 ：時間量を表す言葉の位置 文法 14 ：「被」の用法 ②会話本文「フライトを待つ」を勉強する。 ③書き換え練習 ④ヒアリング練習、 ⑤参考表現を説明する。
3 回目	第 8 課　アフターサービス	①第 8 課のポイントを解説する 文法 15 ：「吧」の用法 文法 16 ：「V ⊠～」の用法 ②会話本文「アフターサービス」を勉強する ③書き換え練習 ④ヒアリング練習、 ⑤参考表現を説明する。
4 回目	第 7 課、第 8 課の音読練習と質問解答	①第 7 課、第 8 課の音読練習 ②質問解答 ③単語小テスト
5 回目	第 9 課　コンテナ輸送	①第 9 課のポイントを説明する 文法 17 ：「一～就…」の構文 文法 18 ：「既～又…」の構文 ②会話本文「コンテナ輸送」を勉強する。 ③書き換え練習 ④ヒアリング練習、 ⑤参考表現を説明する。
6 回目	第 10 課　待遇	①第 10 課のポイントを説明する 文法 19 ：「（只有）～、才能…」の用法 文法 20 ：「作⊠～」の用法 ②会話本文「待遇」を勉強する。 ③書き換え練習 ④ヒアリング練習、 ⑤参考表現を説明する。
7 回目	第 9 課、第 10 課の音読練習と質問解答	①第 9 課、第 10 課の音読練習 ②質問解答 ③単語小テスト
8 回目	第 11 課　病院にて	①第 11 課のポイントを説明する 文法 21 ：「先～、然后…」の構文 文法 22 ：「不是～、而是…」の構文 ②会話本文「病院にて」を勉強する。 ③書き換え練習 ④ヒアリング練習、 ⑤参考表現を説明する。
9 回目	第 12 課　国際入札	①第 12 課のポイントを説明する 文法 23 ：「听～⊠/听⊠～」の構文 文法 24 ：「有」を伴う 2 音節動詞 ②会話本文「国際入札」を勉強する。 ③書き換え練習 ④ヒアリング練習、 ⑤参考表現を説明する。
10 回目	第 13 課　財務	①第 13 課のポイントを説明する 文法 25 ：様態補語と可能補語 文法 26 ：助詞「地」の用法 ②会話本文「財務」を勉強する。 ③書き換え練習 ④ヒアリング練習、 ⑤参考表現を説明する。
11 回目	第 11 課、第 12 課、第 13 課の音読練習と質問解答	①第 11 課、第 12 課、第 13 課の音読練習 ②質問解答 ③単語小テスト
12 回目	総合復習練習	①授業内容のまとめと復習 ②質問解答
13 回目	音読テスト	音読テスト
14 回目	秋学期授業内試験	授業内試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業内容を復習することはとても大事なことなので、宿題又は課題がある場合、ちゃんとやりましょう。
また、外国語の勉強にとっては、音読がとても重要なので、楽しく練習すればお上手になります。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『やさしいビジネス中国語』三潴正道他著、朝日出版社、2007 年、2,200 円＋税

【参考書】
『商経学部生のための読む中国語』大羽りん・趙青著、白水社、2019 年 2 月

【成績評価の方法と基準】
成績評価は、平常点と期末試験の点数により総合評価を出す。
平常点は 30%、期末試験は 70%。
平常点には、出席、授業中の小テストと練習および学習態度等を含む。
期末試験には、音読テストは 20%、筆記試験は 50%占める。
中国語検定試験 4 級以上の合格者には、期末筆記試験を免除する。
中国語検定試験の取得点数と期末口頭試験と平常点により評価をする。
＊無断欠席 4 回以上の受講生は評価対象にならない可能性がある。

【学生の意見等からの気づき】
授業中の私語と中国語学習以外の携帯使用を禁止する！
授業の終了時間をオーバーしないように気を付ける。

【Outline and objectives】
This course is Chinese Ⅰ of Ⅲ which is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners. This course is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners to acquire the basic grammer and to learn how to use Chinese by the Book of “Friendly Business Chinese. The aim of this courseWe will improve the Chinese basic speaking, writing and applying ability.

LANc200LA

中国語３Ⅰ

2017 年度以降入学者

李　維涛

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**土** 2/Sat.2
単位数：**1 単位**
法 2 年 F

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
初級で学んだ基礎知識を織り交ぜてそれを復習しながら中級の学習を進めて行く。
「聞く」「読む」「話す」「書く」の四つのスキルのバランスを考慮し、実戦活動などを通して、中国語によるコミュニケーション能力の向上を図る。

【到達目標】
初級で学んだ、基礎となる知識を、ただ「知っている」のではなく、「使える」ものにすべく、中級の学習項目に織り交ぜて復習しながら授業を進めて行く。
たくさん学ぶのではなく、少しでも学んだ知識を活かして応用できるように、様々な場面を想定して実戦活動を行い、学んだ知識のアウトプットによる円滑なコミュニケーションを行えることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
　授業の進め方と方法については、基本的に、教室にて対面形式で授業を行うことを想定して、具体的に下記通りの行い方で進めて行きます。
状況によってオンライン形式で行うことを余儀なくされる場合、状況に即して具体的に対応し、授業内容によって資料配信・オンデマンド動画配信・双方向同時型と複数の授業形式を使い分けて行うことにします。具体的な行い方とスケジュールなどは事前に、「授業支援システム」を利用して提示し、周知します。
　具体的に授業は以下の進め方と方法で行うものとする。
　授業は、教科書を使っての勉強、コミュニケーション活動、課題と、３つのブロックに分けて行なう。
【教科書】
　初回はレベルチェックテストを行い、その結果に応じて、初級で学んだ基礎知識の復習・練習を、最初の 3 回にわたって行なう。4 回目以後教材を使っての学習に入る。
基本的に 1 課を 2 回に分けて、1 回目は主に言葉の学習と文法の解説や練習・応用などを、2 回目は本文の会話文の学習をベースに、シナリオプレイ・ロールプレイなどの応用・実戦活動を行い、既習文型を活かしての実際のコミュニケーション能力の向上を目指して、授業を進めて行く。
課毎に、語彙・文法テストを行う。
予習・復習は必須。
【コミュニケーション活動】
　グループまたはペアによるコミュニケーション活動を行なう。
活動中に能動的且つ積極的に参加し、自己表現することを望む。
【課題】
　春学期の課題は自由作文。
　テーマ決め → 執筆 → 提出 → リライト → プレゼンテーションという流れで行なう。
課題等へのフィードバックは、課題が実施した直後の授業時間内か、添削が必要な場合は、次回返却時に授業時間内か、授業支援システムなどのツールを利用して行う。
授業スケジュールは、状況に応じて、変更する場合がある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション レベルチェックテスト	①授業目標、教材、授業の進め方、スケジュール、履修上の注意事項などについて説明。 ②授業用語と挨拶 ③授業アンケート ④レベルチェックテスト
第 2 回	• 初級基礎復習Ⅰ • コミュニケーション活動 (1)	①初級基礎知識点検・復習・練習Ⅰ ②活動 (1) 私、そして、私の家族
第 3 回	• 初級基礎復習Ⅱ • コミュニケーション活動 (2)	①チェックテスト [初級復習Ⅰ] ②初級基礎知識点検・復習・練習Ⅱ ③活動 (2) 私の一日、あなたの一日
第 4 回	• 初級基礎復習Ⅲ • コミュニケーション活動 (3)	①チェックテスト [初級復習Ⅱ] ②初級基礎知識点検・復習・練習Ⅲ ③活動 (3) 趣味について ④語彙導入 [1 課]
第 5 回	声をかける・挨拶をする [1 課]。	①チェックテスト [初級復習Ⅲ・1 課語彙] ②■方位詞 ■動作・行為の同伴者 ■動詞の重ね型
第 6 回	声をかける・挨拶をする [1 課]。	①チェックテスト [1 課文法] ②既習文型応用・実戦練習 ③語彙導入 [2 課]
第 7 回	初対面の自己表現 [2 課]。	①チェックテスト [2 課語彙] ②■推測・判断 ■行為の積極性 ■様態補語
第 8 回	初対面の自己表現 [2 課]。	①チェックテスト [2 課文法] ②既習文型応用・実戦練習 ③コミュニケーション活動 (4) 声をかける・自己紹介する ④語彙導入 [3 課]
第 9 回	伝聞による話題について話す [3 課]。	①チェックテスト [3 課語彙] ②■伝聞 ■全否定 ■結果補語
第 10 回	伝聞による話題について話す [3 課]。	①チェックテスト [3 課文法] ②可能補語 ③既習文型応用・実戦練習 ④課題作文について説明
第 11 回	• 伝聞による話題について話す。 • 課題作文	①コミュニケーション活動 (5) 伝聞による話題について話す ②課題作文：テーマ決め・ストーリー作り ③語彙導入 [4 課]
第 12 回	買物について話す [4 課]。	①チェックテスト [4 課語彙] ②■動詞文：現在進行形 ■目的を表現する ■原因・理由についての訊ね方 ③課題作文提出
第 13 回	買物について話す [4 課]。	①チェックテスト [4 課文法] ②既習文型応用・実戦練習 ③コミュニケーション活動 (6) 買物情報を交換する
第 14 回	• 春学期学習内容の復習・質疑応答 • 期末試験	①課題作文リライト提出 ②期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
課毎に、言葉クイズ、文法クイズを行う。
授業で学習した内容をしっかりと復習・予習することが必須。
復習と予習はそれぞれ 1-1.5 時間を要する。
授業外の課題を課された場合、作業時間は授業時間外になるが、きちんと締め切りを守って提出する。

【テキスト（教科書）】
『中国語へのアプローチⅡ』
楊凱栄・張麗群　著
朝日出版社　2010 年
ISBN978-4-255-45142-8

【参考書】
• 中日・日中辞典類 [紙媒体、電子辞書、APP の何れも可。電子辞書を推奨する]
• 『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書』　相原茂など　同学社
• 『中国語生活図解辞典』　遠藤雅裕　　小学館

【成績評価の方法と基準】
授業貢献度・参加態度なども考慮しながら、主にテスト・活動・課題によって評価する。
チェックテスト [語彙・文法]　35%
期末テスト　20%
活動・口頭表現　25%
課題　10%
授業貢献度・学習態度など　10%
※上記テストについて、授業形式が遠隔になった場合、オンラインテストか課題に切り替えることにする。
※評価方法は、教員によって調整し、変更する場合がある。

【学生の意見等からの気づき】
■授業では口頭練習と活動がたくさん行われるが、どうしても耳だけでは不安で随一板書して欲しいとの学生からの意見があった。今後の授業では、口頭活動の内容を、なるべく文字でも提示するように心掛けてみる。
■昨年度はコロナ禍によって授業形式は遠隔となり、課題の提出について、提出方法の操作などテクニカルな問題が出ており、操作方法に関しては、可能な限り授業時間で実演し、説明することを念頭に置く。

【学生が準備すべき機器他】
学習内容に応じて、教室に備えてある機器、または PC などを使う。また、学内授業支援システムなどを利用して、学生とのコミュニケーションを図る。

【その他の重要事項】
授業中、学習用具類以外、机上に置かないこと。
特に、携帯電話、飲み物類は、鞄等にしまうこと。
教科書を持参せずの受講は欠席と見なし、必ず教科書、授業関連資料を持って授業に臨むこと。

【授業に臨む心構え】
其の一　勉強する意欲と意識を高く持つこと
其の二　しっかり予習・復習してくること。
其の二　教科書は勿論のこと、ノート、筆記具、辞書も必ず持ってくること。

【Outline and objectives】
I interweave the basic knowledge I have learned in elementary level and review progress and advance intermediate level learning.
Considering the balance of the four skills "listen" "read" "talk" "write", improve communication skills by Chinese through actual battle activities etc.

LANc200LA

中国語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

李　維涛

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**土** 2/Sat.2
単位数：**1 単位**
法 2 年 F

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
初級と中級前半で学んだ基礎知識を織り交ぜて復習しながら中上級を目指して学習を進めて行く。
「聞く」「読む」「話す」「書く」の四つのスキルのバランスを考慮し、実戦活動などを通して、中国語によるコミュニケーション能力の向上を図る。

【到達目標】
初級と中級前半で学んだ、基礎となる知識を、ただ「知っている」のではなく、「使える」ものにすべく、中級後半の学習項目に織り交ぜて復習しながら授業を進めて行く。
たくさん学ぶのではなく、少しでも学んだ知識を活かして応用できるように、学んだ知識のアウトプットを重視し、様々な場面を想定して実戦活動を行なう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業の進め方と方法については、基本的に、教室にて対面形式で授業を行うことを想定して、具体的に下記通りの行い方で進めて行きます。
状況によってオンライン形式で行うことを余儀なくされる場合、状況に即して具体的に対応し、授業内容によって資料配信・オンデマンド動画配信・双方向同時型と複数の授業形式を使い分けて行うことにします。具体的な行い方とスケジュールなどは事前に、「授業支援システム」を利用して提示し、周知します。

授業は、教科書を使っての勉強、コミュニケーション活動、課題と、３つのブロックに分けて行なう。
【教科書】
　初回は初級と中級前半で学んだ知識をチェックするテストを行い、その結果に応じて、既習基礎知識の復習・練習を、最初の 2 回にわたって行なう。3 回目以後教材を使っての学習に入る。
基本的に 1 課を 2 回に分けて、1 回目は主に文法の解説や練習や応用などを、2 回目は本文の会話文の学習をベースに、シナリオプレイ・ロールプレイなどの応用・実戦活動を行い、既習文型を活かしての実際のコミュニケーション能力の向上を目指して、授業を進めて行く。
課毎に、語彙・文法テストを行う。
予習・復習は必須。
【コミュニケーション活動】
　グループまたはペアによるコミュニケーション活動を行なう。
活動中には能動的に参加し、積極的に中国語による自己表現をすることを望む。
【課題】
　秋学期の課題は二つ。作文と当該年度の中国語の新語・流行語のリサーチレポート。
　何れも下記の流れで行なう。
　テーマ決め → 執筆 → 提出 → リライト → プレゼンテーション
課題等へのフィードバックは、課題が実施した直後の授業時間内か、添削が必要な場合は、次回返却時に授業時間内か、授業支援システムなどのツールを利用して行う。
授業スケジュールは、状況に応じて、変更する場合がある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	春学期学習内容を確認・復習	①中級春学期学習内容チェックテスト ②秋学期授業内容・進め方・スケジュールなどについて説明 ③活動 (1) 絵と言葉で表現する私の夏休み [前半]
第 2 回	■春学期学習内容を確認・復習。後期学習への準備。 ■コミュニケーション活動で新学期のウォームアップをする。	• チェックテストを返却・FB ①春学期学習内容を総括・復習 ②活動 (1) 絵と言葉で表現する私の夏休み [後半] ③語彙導入 [5 課]
第 3 回	天気について話す [5 課]	①チェックテスト [5 課語彙] ②■確認 ■比較 [否定] ■能願動詞:可能性や見込み
第 4 回	天気について話す [5 課]	①チェックテスト [5 課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③活動 (2):天気について話す ④語彙導入 [6 課]
第 5 回	初めての経験について話す [6 課]	①チェックテスト [6 課語彙] ②■感想・考え・意見を述べる表現 ■能願動詞:「喜んで～する」 ③課題 (1) 課題作文について説明
第 6 回	初めての経験について話す [6 課]	①チェックテスト [6 課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③活動 (3) カフェでおしゃべり ④語彙導入 [7 課]
第 7 回	買物について話す [7 課]	①チェックテスト [7 課語彙] ②■選択：二者択一 ■能願動詞：「～しなければならない」 ③課題 (1) 提出
第 8 回	買物について話す [7 課]	①チェックテスト [7 課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③課題 (1) を返却・FB
第 9 回	書いた物を、声に出して表現する。	①課題 (2) 課題 (1) をプレゼンテーション ②語彙導入 [8 課]
第 10 回	会食をプランニングする [8 課]	①チェックテスト [8 課語彙] ②■全否定/全肯定 ■例外の表し方 ■既定条件
第 11 回	会食をプランニングする [8 課]	①チェックテスト [8 課文法] ②能願動詞:総括・復習 既習文型の応用練習
第 12 回	日常生活における食事の場面でのコミュニケーションを学ぶ。	①活動 (4):食事の誘い、食事をする ②語彙導入 [9 課] ③課題 (3) 中国語の新語・流行語をリサーチ
第 13 回	二つのものを比べて表現する [9 課]	①チェックテスト [9 課語彙] ②■動詞文:持続形 ■推測・判断 [肯定] ③課題 (3) ピア活動
第 14 回	■期末テスト前復習・質疑応答 ■期末テスト [筆記]	①授業アンケート ②期末テスト前復習・質疑応答 ③期末テスト [筆記]

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
課毎に言葉クイズ・文法クイズを行う。
授業で学習した内容をしっかりと復習・予習すること。
復習と予習はそれぞれ 1-1.5 時間を要する。
課題などの準備は授業時間外の作業となるが、提出締切など時間を守ること。

【テキスト（教科書）】
『中国語へのアプローチⅡ』
楊凱栄・張麗群　著
朝日出版社　2010 年
ISBN978-4-255-45142-8

【参考書】
• 中日・日中辞典類 [紙媒体、電子辞書、App の何れも可。電子辞書を奨める]
• 『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書』　相原茂など　同学社
• 『中国語生活図解辞典』　遠藤雅裕　　小学館

【成績評価の方法と基準】
授業参加度・参加態度なども考慮しながら、主にテスト・活動・課題によって評価する。
チェックテスト [語彙・文法]　35%
期末テスト　20%
活動・口頭表現　25%
課題　10%
授業貢献度・学習態度など　10%
＊上記テストについて、授業形式が遠隔になった場合、オンラインテストか課題に切り替えることにする。
＊評価方法は、教員によって調整し、変更する場合がある。

【学生の意見等からの気づき】
■授業中に、コミュニケーション活動など、口頭表現する活動が多く行われて来た。学生から、口頭表現の内容を板書して提示して欲しいとの要望があった。今後の授業では、これらの口頭活動の内容を、なるべく文字資料ででも提示するように心掛ける。
■昨年度はコロナ禍によって授業形式は遠隔となり、課題の提出について、提出方法の操作などテクニカルな問題が出ており、操作方法に関しては、可能な限り授業時間で実演し、説明することを念頭に置く。

【学生が準備すべき機器他】
学習内容に応じて、教室に備えてある機器、または PC などを使う。また、学内授業支援システムなどを利用して、学生とのコミュニケーションを図る。

【その他の重要事項】
授業中、学習用具類以外、机上に置かないこと。
特に、携帯電話、飲み物類は、鞄等にしまうこと。
教材 [教科書、授業関連資料] を持参せずの受講は欠席と見なすこと。

【授業に臨む心構え】
其の一　勉強する意欲と意識を高く持つこと
其の二　しっかり予習・復習してくること。
其の二　教科書は勿論のこと、ノート、筆記具、辞書も必ず持ってくること。

【Outline and objectives】
While interwoven with the basic knowledge learned in the first half and intermediate class, we review progress and aim for middle advanced class while going forward with learning.
Considering the balance of the four skills "listen" "read" "talk" "write", improve communication skills by Chinese through actual battle activities etc.

LANc200LA

中国語３Ⅰ

2017 年度以降入学者

後藤　淳一

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
営 2 年 G〜K

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
一年次に学んだ初級中国語の基礎を再確認しつつ、新たな単語・文法事項の学習を通して、各自の中国語運用能力を中級レベルに向上させる。

【到達目標】
・反復練習を通して、初級中国語の学習内容をしっかり定着させる。
・中国語のヒアリング能力を高める。
・ピンインに頼らずに中国語を読む習慣を身につけ、文章読解能力を高める。
・中国の文化について理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
指定テキストの内容に沿って授業を進める。多くの練習問題（リスニングを含む）をこなすことを通じて、各単語及び文法事項の運用パターンを身に付けてもらう。課題等へのフィードバックは授業時間を通じて行う。また、折に触れて授業内小テストを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション・ガイダンス	一年間の授業の進め方・方針・約束事などを説明し、併せて現在の華語圏の状況等を解説する。
2	第 12 課　你是什么⊠候回来的？ Step1・2	強調構文、様態補語、疑問詞の不定・任意用法など
3	第 12 課　你是什么⊠候回来的？ Step3・4	その他の不定・任意用法、本文のリスニングと解釈
4	第 13 課　我正在写⊠告呢　Step1・2	結果補語、動作の進行、連勝修飾語「地」など
5	第 13 課　我正在写⊠告呢　Step3・4	その他の結果補語、本文のリスニングと解釈
6	第 14 課　下雨了 Step1・2	無主語文、動作・状態の持続、複合方向補語など
7	第 14 課　下雨了 Step3・4	「不能不〜」・「除了〜以外……」、本文のリスニングと解釈
8	第 15 課　我⊠⊠来得及看⊠ Step1・2	兼語文 (1)、可能補語、禁止文など
9	第 15 課　我⊠⊠来得及看⊠ Step3・4	その他の可能補語、本文のリスニングと解釈
10	第 16 課　把以前的考⊠做一做 Step1・2	形容詞の重ね形、完了の「⊠」、処置文など
11	第 16 課　把以前的考⊠做一做 Step3・4	「越〜越……」、「不管〜」、本文のリスニングと解釈
12	第 17 課　小心！ 后面来了一⊠⊠ Step1・2	存現文、疑問詞の呼応など
13	第 17 課　小心！ 后面来了一⊠⊠ Step3・4	「差 (一) 点儿」、積極性を示す「来」と「去」、本文のリスニングと解釈
14	授業の総まとめと期末試験	授業の総まとめと筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習は必須。毎回、各課に出て来る単語・課文・例文の意味を、事前に調べておく。また、宿題として課される練習問題は付属 CD を何度も聴いて事前にやっておく。その際に未習の単語が出て来た場合は、必ず各漢字のピンインも調べて記しておく。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 2 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】
『４技能対応　ベーシック・チャイニーズ②』（早稲田中国語教育研究会編著、三修社、2018、2700 円＋税）。また、一年時に使用した『ポイント学習中国語初級（改訂版）』（東方書店）を必ず授業時に持参すること。

【参考書】
中日辞典を必ず用意すること（どこの出版社のものでも良い。電子辞書も可とする）。

【成績評価の方法と基準】
平常点（出席状況・授業内小テスト）２０％
期末試験８０％

【学生の意見等からの気づき】
特に無し。

【その他の重要事項】
第一週目の授業は、大学側からの通達により、「zoom」によるオンライン授業を行う。それ故、大学キャンパスに来る必要はない。授業開始の直前に、学習支援システム内の「授業内掲示板」の「zoom 入り口」の欄にリンク及びパスコードを記載しておくので、それを頼りに自宅等からオンライン授業に参加すること。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

後藤　淳一

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
営 2 年 G〜K

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
一年次に学んだ初級中国語の基礎を再確認しつつ、新たな単語・文法事項の学習を通して、各自の中国語運用能力を中級レベルに向上させる。

【到達目標】
・反復練習を通して、初級中国語の学習内容をしっかり定着させる。
・中国語のヒアリング能力を高める。
・ピンインに頼らずに中国語を読む習慣を身につけ、文章読解能力を高める。
・中国の文化について理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
指定テキストの内容に沿って授業を進める。多くの練習問題（リスニングを含む）をこなすことを通じて、各単語及び文法事項の運用パターンを身に付けてもらう。課題等へのフィードバックは授業時間を通じて行う。また、折に触れて授業内小テストを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	第 18 課　他的自行⊠被人撞坏了　Step1・2	受身文、意味上の受身文など
2	第 18 課　他的自行⊠被人撞坏了　Step3・4	「比」と様態補語、結果補語の「⊠」「成」、本文のリスニングと解釈
3	第 19 課　“⊠⊠” 和 “打工” 的性⊠不同 Step1・2	「算」、複合方向補語の派生義など
4	第 19 課　“⊠⊠” 和 “打工” 的性⊠不同 Step3・4	「不但〜而且……」、本文のリスニングと解釈
5	第 20 課　有人告⊠我他生病了　Step1・2	兼語文 (2)、「只有〜才……」など
6	第 20 課　有人告⊠我他生病了　Step3・4	「有的〜有的……」、本文のリスニングと解釈
7	第 21 課　“胡同” 像迷⊠一⊠　Step1・2	さまざまな可能補語、「既然〜就……」など
8	第 21 課　“胡同” 像迷⊠一⊠　Step3・4	「比」と動詞フレーズ、本文のリスニングと解釈
9	第 22 課　春⊠的⊠票既不便宜又不好⊠ Step1・2	「就是/即使〜也……」、「既〜又……」など
10	第 22 課　春⊠的⊠票既不便宜又不好⊠ Step3・4	「并不」、「白」、本文のリスニングと解釈
11	第 23 課　学分没有白修的 Step1・2	復習 (その 1) 動詞述語文・形容詞述語文など
12	第 23 課　学分没有白修的 Step3・4	復習 (その 2) 疑問文・アスペクト、本文のリスニングと解釈
13	第 24 課　下次再会 Step3・4	復習 (その 3) 補語・さまざまな文型など
14	授業の総まとめと期末試験	授業の総まとめと筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習は必須。毎回、各課に出て来る単語・課文・例文の意味を、事前に調べておく。また、宿題として課される練習問題は付属 CD を何度も聴いて事前にやっておく。その際に未習の単語が出て来た場合は、必ず各漢字のピンインも調べて記しておく。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 2 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】
『４技能対応　ベーシック・チャイニーズ②』（早稲田中国語教育研究会編著、三修社、2018、2700 円＋税）。また、一年時に使用した『ポイント学習中国語初級（改訂版）』（東方書店）を必ず授業時に持参すること。

【参考書】
中日辞典を必ず用意すること（どこの出版社のものでも良い。電子辞書も可とする）。

【成績評価の方法と基準】
平常点（出席状況・授業内小テスト）２０％
期末試験８０％

【学生の意見等からの気づき】
特に無し。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３Ｉ

2017 年度以降入学者

劉　渇氷

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**水** 3/Wed.3
単位数：**1 単位**
営 2 年 S

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
教科書には、会話体の文章が集められています。これらの文章を読解しながら、初級文法の復習を行うとともに、中級レベルより高度な文法と語彙を学習します。更に中国への関心と理解も深めるために、教科書で触れているトピックスに関連させながら中国の社会や文化についても紹介を行います。

【到達目標】
学んだ基礎的な中国語運用能力を伸ばし、とくに中国語の「音」に慣れ、リスニング力を向上させることが目標です。中検３級 を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
音読、ヒアリング、会話、暗唱などの練習を繰り返し行い、中国語によるコミュニケーション能力を磨きます。
課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う。
本授業はハイブリッド（オンラインと対面を併用）で行います。授業についての詳細は学習支援システムでお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業イントロダクション
2	第１課	文法・本文
3	第１課	応用練習
4	第２課	文法・本文
5	第２課	応用練習
6	第３課	文法・本文
7	第３課	応用練習
8	第４課	文法・本文
9	第４課	応用練習
10	第５課	文法・本文
11	第５課	応用練習
12	第６課	文法・本文
13	第６課	応用練習
14	授業の総まとめとテスト	授業の総まとめと期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
「もっと話そう　異文化おもしろ体験　中級中国語」　陳淑梅・胡興智・劉渇氷
（朝日出版社）

【参考書】
必要に応じて指示する。

【成績評価の方法と基準】
課題提出　授業への参加度 ６０％　期末レポート課題試験 ４０％

【学生の意見等からの気づき】
特に無し。

【学生が準備すべき機器他】
オンライン授業を受講するための通信環境、PC 等を準備して下さい。

【Outline and objectives】
Textbooks are a collection of conversational texts. While reading these sentences, you will review beginner grammar and learn more advanced grammar and vocabulary than the intermediate level. In order to deepen interest and understanding in China, we will also introduce Chinese society and culture in relation to the topics mentioned in the textbook.

LANc200LA

中国語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

劉　渴氷

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 3/Wed.3
単位数：**1 単位**
営 2 年 S

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
教科書には、会話体の文章が集められています。これらの文章を読解しながら、初級文法の復習を行うとともに、中級レベルより高度な文法と語彙を学習します。更に中国への関心と理解も深めるために、教科書で触れているトピックスに関連させながら中国の社会や文化についても紹介を行います。

【到達目標】
学んだ基礎的な中国語運用能力を伸ばし、とくに中国語の「音」に慣れ、リスニング力を向上させることが目標です。中検３級 を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
音読、ヒアリング、会話、暗唱などの練習を繰り返し行い、中国語によるコミュニケーション能力を磨きます。
課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業イントロダクション
2	第７課	文法・本文
3	第７課	応用練習
4	第８課	文法・本文
5	第８課	応用練習
6	第９課	文法・本文
7	第９課	応用練習
8	第１０課	文法・本文
9	第１０課	応用練習
10	第１１課	文法・本文
11	第１１課	応用練習
12	第１２課	文法・本文
13	第１２課	応用練習
14	授業のまとめとテスト	授業のまとめと期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
「もっと話そう　異文化おもしろ体験　中級中国語」　陳淑梅・胡興智・劉渴氷
（朝日出版社）

【参考書】
必要に応じて指示する。

【成績評価の方法と基準】
課題提出　授業への参加度 ６０％　期末レポート課題 試験４０％

【学生の意見等からの気づき】
特に無し。

【Outline and objectives】
Textbooks are a collection of conversational texts. While reading these sentences, you will review beginner grammar and learn more advanced grammar and vocabulary than the intermediate level. In order to deepen interest and understanding in China, we will also introduce Chinese society and culture in relation to the topics mentioned in the textbook.

LANc200LA

中国語３Ⅰ

2017 年度以降入学者

耿　函

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**火** 2/Tue.2
単位数：**1 単位**
営 2 年 U

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
中国語（現代漢語）の基礎を固めながら、学生生活や日常生活の様々な場面における実用性の高い中国語を学ぶと同時に、中国の文化や習慣などについて理解を深める。

【到達目標】
テキストに出ている身の回りの様々な場面の会話の学習と練習を通して、中国語の語彙を増やすとともに文法の仕組みを理解し、様々な場面に相応しい中国語の会話ができる能力が身につくように訓練する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
基本的に１課を２回にわたって進めていく。１回目は本文に出ている語彙や文法要点や文型を学習・理解する。２回目は主に聞く・話す・読む・書くなどの応用練習を通じて、語彙や文法・文型の定着・応用力の向上に重点を置く。
なお、授業の形態については、ハイブリッド型（オンラインと対面を併用）で行うが、授業実施についての詳細は学習支援システムで知らせる。また、課題等へのフィードバックは授業時間または「学習支援システム」やメールを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション 第１課・第２課	発音・基礎文法の復習
2	第３課（1）	会話文と短文の学習・文法の確認・読みの練習
3	第３課（2）	応用練習・課題の発表
4	第４課（1）	会話文と短文の学習・文法の確認・読みの練習
5	第４課（2）	応用練習・課題の発表
6	第５課（1）	会話文と短文の学習・文法の確認・読みの練習
7	第５課（2）	応用練習・課題の発表
8	中間復習 第６課（1）	中間小テスト 会話文と短文の学習・文法の確認・読みの練習
9	第６課（2）	応用練習・課題の発表
10	第７課（1）	会話文と短文の学習・文法の確認・読みの練習
11	第７課（2）	応用練習・課題の発表
12	第８課（1）	会話文と短文の学習・文法の確認・読みの練習
13	第８課（2）	応用練習・課題の発表
14	授業の総まとめと期末試験	期末試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。テキストについている CD を十分に活用し、通学時間にも音楽の代わりにヘッドホンステレオで何度も聴くなどの努力を重ね、例文・会話文・短文の音読・暗記・暗唱を行い、フレーズが自然に口について出てくるくらいになることが望ましい。また、与えられた課題についても真面目に取り込んでほしい。

【テキスト（教科書）】
「話そう！ 実践中国語」宮本大輔・温琳著　朝日出版社　2012 年　2200 円＋税

【参考書】
「やさしく　くわしい　中国語文法の基礎」守屋宏則著　東方書店　2000 円＋税

【成績評価の方法と基準】
期末筆記テストを 50 %、中間テストや会話の小テストをそれぞれ 20 %、また平常
点を 10 %にし、総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】
学生の学習意欲を引き出し、使える中国語の習得を目指して様々な工夫を重ね、また、万が一に備えオンライン授業についても学生も教師も満足できるようにいろいろとトライしていきたい。

【学生が準備すべき機器他】
オンライン授業を受講するための通信環境・PC 等を準備してください。

【Outline and objectives】
This is a semi-intermediate Chinese course. We will learn highly practical Chinese in various situations of student life and daily life.
The aim of this course is to strengthen the basics of Chinese, and acquire daily conversation ability, and deepen understanding of Chinese culture and customs.

LANc200LA

中国語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

耿　函

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**火** 2/Tue.2
単位数：**1 単位**
営 2 年 U

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
中国語（現代漢語）の基礎を固めながら、学生生活や日常生活の様々な場面における実用性の高い中国語を学ぶと同時に、中国の文化や習慣などについて理解を深める。

【到達目標】
テキストに出ている身の回りの様々な場面の会話の学習と練習を通して、中国語の語彙を増やすとともに文法の仕組みを理解し、様々な場面に相応しい中国語の会話ができる能力が身につくように訓練する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
基本的に１課を２回にわたって進めていく。１回目は本文に出ている語彙や文法要点や文型を学習・理解する。２回目は主に聞く・話す・読む・書くなどの応用練習を通じて、語彙や文法・文型の定着・応用力の向上に重点を置く。
なお、本授業の形態はハイブリッド型（オンラインと対面を併用）で行うが、授業実施についての詳細は学習支援システムで知らせる。また、課題等へのフィードバックは授業時間または「学習支援システム」やメールを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	復習	春学期末試験の総括・既習の内容の復習
2	第９課（1）	会話文と短文の学習・文法の確認・読みの練習
3	第９課（2）	応用練習・課題の発表
4	第 10 課（1）	会話文と短文の学習・文法の確認・読みの練習
5	第 10 課（2）	応用練習・課題の発表
6	第 11 課（1）	会話文と短文の学習・文法の確認・読みの練習
7	第 11 課（2）	応用練習・課題の発表
8	中間復習	中間小テスト
	第 12 課（1）	会話文と短文の学習・文法の確認・読みの練習
9	第 12 課（2）	応用練習・課題の発表
10	第 13 課（1）	会話文と短文の学習・文法の確認・読みの練習
11	第 13 課（2）	応用練習・課題の発表
12	第 14 課（1）	会話文と短文の学習・文法の確認・読みの練習
13	第 14 課（2）	応用練習・課題の発表
14	授業の総まとめと期末試験	期末試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。テキストについている CD を十分に活用し、通学時間にも音楽の代わりにヘッドホンステレオで何度も聴くなどの努力を重ね、例文・本文の音読・暗記・暗唱を行い、フレーズが自然に口について出てくるくらいになることが望ましい。また、与えられた課題についても真面目に取り込んでほしい。

【テキスト（教科書）】
「話そう　実践中国語」宮本大輔・温琳著 朝日出版社　2012 年 2200 円+税

【参考書】
「やさしく　くわしい　中国語文法の基礎」守屋宏則著　東方書店 2000 円＋税

【成績評価の方法と基準】
期末筆記テストを 50 %、中間テストや会話の小テストをそれぞれ 20 %、また平常
点を 10 %にし、総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】
学生全員に高い意欲をもって授業に参加してもらうように工夫し、また、万が一に備えオンライン授業についても学生も教師も満足できるようにいろいろとトライしていきたい。

【学生が準備すべき機器他】
オンライン授業を受講するための通信環境・PC 等を準備してください。

【Outline and objectives】
This is a semi-intermediate Chinese course. We will learn highly practical Chinese in various situations of student life and daily life.
The aim of this course is to strengthen the basics of Chinese, and acquire daily conversation ability, and deepen understanding of Chinese culture and customs.

LANc200LA

中国語４Ⅰ

2017 年度以降入学者

三田村　圭子

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**水** 3/Wed.3
単位数：**1 単位**
法文営環 2 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期は中国語の基礎を集中的に復習し定着させる。中国語検定試験４級に照準をあてて「話す」･「読解できる」･「聴き取れる」の中国語中級への基礎事項の習得を目指す。また補語表現を使用した応用表現を獲得する。

【到達目標】
春学期は中国語検定試験４級の合格（６月末)、同程度の中国語運用能力の習得を到達目標とする。終了時には簡単な中国語で基本的な文法を踏まえながら、中国と日本の文化の違いについて読解でき、自分の生活や習慣・文化などについて具体的に話せるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
第 1 週目（初回授業）はオンラインで行います。詳細は学習支援システムでお知らせします。また、大学の「行動方針レベル２」となった場合、この授業は原則としてオンラインで行います。この場合も詳細は学習支援システムで伝達します。
　教科書に沿って読解、聴き取り、発音練習を行う。授業開講時に数回に分けて簡単な自己紹介を行う。毎回の授業では、一人ずつ発音をチェックしたうえでその後、学習した文法を使いながら、中国語で本文に関した表現を反復練習する。最後に中心となる文法を使用して簡潔な文章を作成する。【課題へのフィードバック】文法に関しては授業時間に回答を例に挙げて解説する。各自が自由に書く課題については添削後、返却する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	基礎文法と発音（ピンイン）の復習	ピンインの復習と今まで学習した内容を踏まえての簡単な自己紹介。基礎文法事項の確認。
第 2 回	ホテルから車に乗る、交通に関して表現	「都」と「也」の用法。呼応関係で「都」「也」が使われる構文を学習する。
第 3 回	交通事情に関しての質疑応答と閲読	交通手段を利用しての移動の際につかう表現を口頭で練習する。
第 4 回	インターネットに関しての表現	「都」と「才」、「就」と「才」の用法。「また～」を表現する言葉の区別と練習。
第 5 回	自分がどのようにインターネットを使用しているかについて	時制に関する表現の復習と併せて「就」「才」の練習を行う。
第 6 回	もてなしの表現	兼語文に関しての復習と命令表現について学習する。
第 7 回	誕生日や一緒にお茶を飲む場面での表現	使役・受身表現を復習し、具体的な場面での使い分け方を修得する。
第 8 回	小テスト 中国語検定４級程度の問題の解説	呼応関係にある副詞のまとめと、兼語文に関しての総合練習。
第 9 回	仕事場での表現	「不是」「哪儿」「怎么」「什么」「難道」などの様々な反語表現について学習する。
第 10 回	自分の専門や新技術用語を使って仕事に関することを説明する	仕事に関する言葉を覚え、聴き取り応対できるための練習を行う。
第 11 回	自分が好きなことや物についての表現	存現文に特化した練習。 存在の「着」・出現の「完了」・消失の「了」との組み合わせについて学習する。
第 12 回	基礎的な補語表現について	存現文の中でも、方向補語との組み合わせになる場合を特に練習する。
第 13 回	学習した部分までのヒアリングの補充練習	質問文を書き取り、それに対しての答えを書く、或いは口頭で返答する練習。
第 14 回	筆記試験と総合復習	中級の前半に学習する構文のまとめと最終到達度の確認。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等)】
【予習】授業時に分担して翻訳してもらうので、教科書の本文・例文の翻訳は各自で行うこと。また作文も担当をあらかじめ決める回があるので、担当者は準備すること。
【復習】文法上での疑問点を確認すること。音声教材をよく聴いて発音を練習すること。【課題】音声ファイルの提出を主とし、簡単な作文を課題とすることもある。

【テキスト（教科書)】
『総合中級中国語教程　改訂版』上野恵司監修・李錚強著　白帝社
2400 円+税
ISBN978-4-86398-263-5　　CD-ROM 付き

【参考書】
中日辞典を持っていることが望ましいが授業開始時に詳しく紹介するので、辞典などの購入は説明の後からで構わない。

【成績評価の方法と基準】
期末試験 40 %、小テスト 30 %、課題 (暗誦や各課にある練習問題の提出) と平常点 30 %を総合して評価する。中国語検定試験４級・HSK ３・４級合格者は大きく加点する。中国語外部能力試験の点数によっては試験を免除とする。

【学生の意見等からの気づき】
このクラスは基礎を習得した学生が履修するが、各学生の習得度はさまざまであるので短いフレーズでの会話練習を通して、口頭での表現力も習得できるよう進行したい。昨年度は教科書本文が長いもので翻訳に時間をとられることが多かったので、今年度は会話・閲読がバランス良く学習できる教科書にした。中国語での会話練習を充実させることと、中国語での造句の解説を丁寧に行いたい。また、作文に時間が取られる傾向にあるので数回に一度は課題にするなどの効率よくできる方法を工夫したい。

【学生が準備すべき機器他】
各自が便利な方法で辞典が利用できることと、付属の音声教材を日常的にヒアリングできる機器を準備して欲しい。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition

LANc200LA

中国語４Ⅱ

2017 年度以降入学者

三田村　圭子

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 3/Wed.3
単位数：**1 単位**
法文営環 2 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
中級の文法の確立と応用練習を行う。中国語検定試験３級に照準をあてて春学期よりも長めの会話文を聴き取り、それに関しての簡単な質疑応答ができる中国語の力を養成する。また、現代中国の日常に関する比較的短い閲読も並行して行う。

【到達目標】
秋学期は中国語検定試験３級の合格（11 月末）、あるいはＨＳＫ４級程度の能力習得を目標とし、進行の速い学生は HSK5 級の基礎文法を習得することを到達目標とする。教科書の内容では、より複雑な時制の表現や構文の修得を目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
始めに発音の練習をし已学習した例文を確認する。その後、各課の文法を解説し会話文・閲読・実践問題と進行する。１ヶ月に１度は検定問題の一部などを使用しながら実践練習を行う。【課題へのフィードバック】文法は各自担当してもらった回答を一覧にし、授業時に解説を行う。発音に関しても音声ファイルの提出でチェックした不明瞭な部分を授業時に確認する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	春学期の復習事項の確認とまとめ	中検４級程度の文法とヒアリングの復習。
第 2 回	料理を注文する表現	疑問詞の連用。「拿～来説」「先～再～」「要是～就～」の表現練習。
第 3 回	食文化について。中華料理の分類についての文章の閲読	仮定法の練習を行い、教科書の内容の冠婚葬祭のときに使う表現も併せて修得する。
第 4 回	コンビニで	「如」と「不如」の練習。「不但～而且～」、「値得～」、接続詞「可見」の用法を学習する。
第 5 回	コンビニで買い物をするときの表現練習	自分自身の生活中で、どのようにコンビニやを商店を利用しているかを表現する練習を行う。
第 6 回	寒暖晴雨について	「総之～」「有時～有時～」「反正～」「当～時～」などを使う表現練習を行う。
第 7 回	天候に関する表現	自分の好きな季節や中国と日本の気候の違いなどを簡潔に口頭で答える練習を行う。
第 8 回	小テストと暗誦 HSK・中国語検定のヒアリング	前半で学習した構文の確認と指定の文章の暗誦を行う。
第 9 回	色の象徴的な意味について	「把」構文と「在～方面」「在～下」の在を使った応用練習。特に「把」構文の総合練習を行う。
第 10 回	色が含まれる日常よく使われる語彙の確認	中国語での色彩の意味をテーマにした比較的難しい文章を読む。閲読後、質問に答える。
第 11 回	漢方医学に関して	接続詞「而」の用法。介詞「以」の用法の整理。「一方面～一方面～」「按照～」の練習。
第 12 回	西洋医学と東洋医学の違いについて	自分が病気になった場合、どのように医師に告げるのか、薬や治療に関する表現を修得する。
第 13 回	全体の復習	特に補語表現と時制に関するより複雑な表現を整理し練習する。
第 14 回	最終到達度の確認	秋学期に学習した文法事項と聴き取り。時間があれば部分的に HSK や中国語検定の問題を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
まず基礎段階を終了しての応用練習なので、夏休みを利用して既習の内容を把握・予習していることが望ましい。【予習】授業では翻訳の確認を行うので各自で日訳を作成すること。作文も担当者を決めることがあるので、その場合は回答を準備すること。【復習】練習で行った疑問・問題を確認すること。音声教材・場合によっては教科書付属のヒアリングの問題を行う。【課題】音声ファイルの提出と教科書の練習問題。

【テキスト（教科書）】
『総合中級中国語教程　改訂版』上野恵司監修・李錚強著　白帝社
2400 円+税
ISBN978-4-86398-263-5　CD-ROM 付き。

【参考書】
授業進行時に紹介してゆく予定なので、それから個々に適したものを選ぶと良いかと思う。

【成績評価の方法と基準】
期末試験 40 %・小テスト 30 %・課題（授業時に指定した部分の朗読・作文の提出）・平常点 30 %の総合評価。中国語検定試験３級・HSK4 級以上の合格者は、期末試験を免除し評価を S とする。

【学生の意見等からの気づき】
昨年度はオンラインということで課題が毎回あった。文法は授業時間に担当者の具体的な回答例を挙げて解説できたものの、音声ファイルにコメントを付けて毎回、各自に返却することができなかった。今年度は教科書も変更したので、音声の課題返却については根本的な改善したい。この段階になると十分な予習なしでは円滑な進行が難しくなるので、翻訳部分の担当者を決めるなどして聴く・話す・読むをバランス良く練習できる時間を確保するよう努めたい。

【学生が準備すべき機器他】
各自が一番便利な方法で辞典を参照できるように。また、教科書付属のヒアリングの練習問題ができるよう音声機器を準備すること。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition

LANc200LA

中国語４Ⅰ

2017 年度以降入学者

薬　会

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**火** 5/Tue.5
単位数：**1 単位**
法文営環 2 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
これまで学んできた基本語彙、初級文法を復習しながら、中国語検定試験４級に照準をあてて「話せる」･「読める」･「聞ける」中国語の習得を目指します。発音の矯正（スピーチ）･基礎単語と日常用語の暗記・文法理解（翻訳練習）などを授業内容とします。

【到達目標】
春学期は中国語検定試験４級の合格（６月末、しっかり授業について来てくれれば楽に合格できる。2018 年度の合格者は 10 名）を到達目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
毎回の授業では、一人ずつ発音をチェックしたうえ、自己紹介スピーチの実演、リスニング（翻訳練習と日常用語）の練習を行なう。小テストのフィードバックは授業の中で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	発音の復習	ピンインの復習と自己紹介スピーチ。単語 20 語。日常用語５語。翻訳練習 15 文。
第 2 回	発音の復習	ピンインの復習と自己紹介スピーチ。単語 20 語。日常用語５語。翻訳練習 15 文。
第 3 回	単語・文法	ピンインの復習と自己紹介スピーチ。単語 20 語。日常用語５語。翻訳練習 20 文。
第 4 回	単語・文法	自己紹介スピーチ。単語 20 語。日常用語５語。翻訳練習 15 文。
第 5 回	復習とテスト	第１回から第４回までの復習とテスト
第 6 回	単語・文法	自己紹介スピーチ。単語 20 語。日常用語５語。翻訳練習 10 文。４級過去問１回目
第 7 回	単語・文法	自己紹介スピーチ。単語 20 語。日常用語５語。翻訳練習 20 文。４級過去問２回目
第 8 回	単語・文法	自己紹介スピーチ。単語 20 語。日常用語５語。翻訳練習 20 文。４級過去問３回目
第 9 回	単語・文法	自己紹介スピーチ。単語 20 語。日常用語５語。翻訳練習 20 文。
第 10 回	復習とテスト	第５回から第９回までの復習とテスト
第 11 回	単語・文法	自己紹介スピーチ。単語 20 語。日常用語５語。翻訳練習 10 文。
第 12 回	単語・文法	自己紹介スピーチ。単語 20 語。日常用語５語。翻訳練習 10 文。
第 13 回	総合復習	単語 200 語。日常用語 50 語。翻訳練習 50 文。
第 14 回	期末試験（口頭試験と筆記試験）	期末試験（口頭試験と筆記試験）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業中に集中して授業に参加すれば、授業時間外に予習や復習する必要がありません。中国語検定試験４級を受験する場合は多少単語を覚え、リスニングをトレーニングする必要があります（４級受験勉強のための資料を配布）。

【テキスト（教科書）】
オリジナルプリントをテキストとして使用します。検定試験４級の関連資料を配布します。

【参考書】
指定はありません。

【成績評価の方法と基準】
スピーチテスト（15 %）と小テストの平常点（15 %）、期末試験の成績（70 %）などを総合して評価する

【学生の意見等からの気づき】
特にありません。

【その他の重要事項】
特にありません。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition

LANc200LA

中国語４Ⅱ

2017 年度以降入学者

薬　会

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**火** 5/Tue.5
単位数：**1 単位**
法文営環 2 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
これまで学んできた基本語彙や文法を復習しながら、中国語検定試験３級という挑戦的なレベルに照準をあてて「話せる」･「読める」･「聞ける」中国語の習得を目指します。発音の矯正（長文暗記）・基礎単語と日常用語の暗記・文法理解（翻訳練習）などを授業内容とします。

【到達目標】
秋学期は中国語検定試験３級の合格を到達目標とします。（少し挑戦的な目標ですが、しっかりと授業に付いてくれれば合格できる）

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
毎回の授業では、一人ずつ発音をチェックしたうえ、長文暗記、リスニング（翻訳練習と日常用語）の小テストを行なう。小テストのフィードバックは授業の中で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	春学期の復習とまとめ	自己紹介スピーチ。プリントⅡ①（単語 20 語・日常用語 5 語・翻訳練習 20 文）。
第 2 回	春学期の復習とまとめ	自己紹介スピーチ。プリントⅡ①（単語 20 語・日常用語 5 語・翻訳練習 20 文）。
第 3 回	長文理解（累加関係・逆接関係の複文）	自己紹介スピーチ。プリントⅡ②（単語 20 語・日常用語 5 語・翻訳練習 20 文）。
第 4 回	長文理解（条件関係・譲歩関係の複文）	自己紹介スピーチ。プリントⅡ②（単語 20 語・日常用語 5 語・翻訳練習 20 文）。
第 5 回	復習とテスト	プリントⅡ①とプリントⅡ②の復習とテスト。
第 6 回	聞き取りと翻訳	３級練習問題①（単語 100 語・翻訳練習 40 文）
第 7 回	聞き取りと翻訳	３級練習問題②（リスニング練習と翻訳練習 40 文）
第 8 回	長文理解（因果関係と仮定関係の複文）	自己紹介スピーチ。プリントⅡ③（単語 20 語・日常用語 5 語・翻訳練習 20 文）。
第 9 回	長文理解（因果関係と仮定関係の複文）	自己紹介スピーチ。プリントⅡ③（単語 20 語・日常用語 5 語・翻訳練習 20 文）。
第 10 回	長文理解（いろいろの表現）	自己紹介スピーチ。プリントⅡ④（単語 20 語・日常用語 5 語・翻訳練習 20 文）。
第 11 回	長文理解（いろいろの表現）	自己紹介スピーチ。プリントⅡ④（単語 20 語・日常用語 5 語・翻訳練習 20 文）。
第 12 回	復習とテスト	プリントⅡ③とプリントⅡ④の復習とテスト。
第 13 回	総合復習	期末試験範囲の確認と練習
第 14 回	授業の総まとめと期末試験（口頭試験と筆記試験）	授業の総まとめと期末試験（口頭試験と筆記試験）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業中に集中して授業に参加すれば、必要がありません。中国語検定試験 3 級を受験する場合は多少単語を覚え、リスニングをトレーニングすることが必要です（3 級試験の関連資料を配る）。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
オリジナルプリントをテキストとして使用します。検定試験 3 級の関連資料を配布します。

【参考書】
指定しません。

【成績評価の方法と基準】
スピーチテスト（15 %）と小テストの平常点（15 %）、期末試験の成績（70 %）などを総合して評価する

【学生の意見等からの気づき】
特にありません。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition

LANc200LA

中国語４Ⅰ

2017 年度以降入学者

渋井　君也

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**1 単位**
法文営環 2 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
一年生で学んだ中国語から一歩進んで、教科書に沿って重要なポイントをくり返し練習しながら、自分のことや日本のことを中国語で伝えられるようになるための訓練をします。教科書の内容を通して、中国、台湾、香港等の中華圏とそこに住む人たちの生活や文化等についても学習します。
※コロナウイルス感染の拡大に鑑み、対面授業を基本としつつも、オンライン授業を併用する場合があります。
※第１週目は、Zoom によるオンライン授業を実施します。

【到達目標】
準中級から中級レベルの中国語能力を身につけることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
毎回の授業で中国語による文法表現を反復練習し、テキストの日本語訳や中国語の文法・語彙について、全員に発言を求めます。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	第１課	新出単語とポイント（「一…就～」など６項目）の説明
2	第１課	「大学生的周末」本文の解説と練習問題
3	第２課	新出単語とポイント（「每…都～」など６項目）の説明
4	第２課	「⊠食⊠⊠」本文の解説と練習問題
5	第３課	新出単語とポイント（「“多/少” ＋動詞」など６項目）の説明
6	第３課	「北京的交通」本文の解説と練習問題
7	中間試験	第１課～第３課の内容の定着度チェック
8	第４課	新出単語とポイント（「兼語 “有”」など６項目）の説明
9	第４課	「⊠数字的喜好」本文の解説と練習問題
10	第５課	新出単語とポイント（「疑問詞の不定用法」など６項目）の説明
11	第５課	「大学生的打工⊠状」本文の解説と練習問題
12	第６課	新出単語とポイント（「无⊠…都/也～」など６項目）の説明
13	第６課	「集体生活的好⊠」本文の解説と練習問題
14	期末試験	前期の内容の定着度チェック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

【テキスト（教科書）】
吉田泰謙・相原里美・葛婧『知っておきたい中国事情（改訂版・CD 付）』、白水社

【参考書】
教場で指示します。

【成績評価の方法と基準】
平常点（授業中の態度や小テスト等）30 %、中間試験 30 %、期末試験 40 %

【学生の意見等からの気づき】
特になし。

【Outline and objectives】
Outline and objectives

LANc200LA

中国語４Ⅱ

2017 年度以降入学者

渋井　君也

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**1 単位**
法文営環 2 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
一年生で学んだ中国語から一歩進んで、教科書に沿って重要なポイントをくり返し練習しながら、自分のことや日本のことを中国語で伝えられるようになるための訓練をします。教科書の内容を通して、中国、台湾、香港等の中華圏とそこに住む人たちの生活や文化等についても学習します。

【到達目標】
準中級から中級レベルの中国語能力を身につけることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
毎回の授業で中国語による文法表現を反復練習し、テキストの日本語訳や中国語の文法・語彙について、全員に発言を求めます。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	第７課	新出単語とポイント（「只要…就～」など６項目）の説明
2	第７課	「⊠价⊠价」本文の解説と練習問題
3	第８課	新出単語とポイント（「疑問詞の連用」など６項目）の説明
4	第８課	「送礼的⊠究」本文の解説と練習問題
5	第９課	新出単語とポイント（「⊠…了」など６項目）の説明
6	第９課	「中国式⊠婚」本文の解説と練習問題
7	中間試験	第７課～第９課の内容の定着度チェック
8	第１０課	新出単語とポイント（「好在」など６項目）の説明
9	第１０課	「双⊠工家庭」本文の解説と練習問題
10	第１１課	新出単語とポイント（「不是…而是～」など６項目）の説明
11	第１１課	「中国人的称呼」本文の解説と練習問題
12	第１２課	新出単語とポイント（「随着～」など６項目）の説明
13	第１２課	「理想⊠⊠」本文の解説と練習問題
14	期末試験	後期の内容の定着度チェック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

【テキスト（教科書）】
吉田泰謙・相原里美・葛婧『知っておきたい中国事情（改訂版・CD付）』、白水社

【参考書】
教場で指示します。

【成績評価の方法と基準】
平常点（授業中の態度や小テスト等）30 %、中間試験 30 %、期末試験 40 %

【学生の意見等からの気づき】
特になし。

【Outline and objectives】
Outline and objectives

LANc200LA

中国語４Ⅰ

2017 年度以降入学者

余　瀾

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
法文営環 2 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
1 年次に学んだ中国語の基礎知識を土台とし、中国語会話の実践力を養成する。基本的な日常会話で構成されるテキストを用い、ネイティブ教師との会話練習を中心に授業を進めていく。
毎回、2～3 個の基本的な文法を学習し、それが含まれている 4 行会話を覚え、その会話の置き換え練習や聴き取り練習などを通して、言葉がすんなり口から出てくるよう指導していく。簡単なフレーズや文を繰り返し練習することによって基本的な表現がしっかり身につくこと、またネイティブ教師の発音をたくさん聞くことによって耳が中国語に慣れることをこの講義の目的とする。

【到達目標】
学生の到達目標は次の 4 点とする。
①中国語の常用表現が聞き取れる力を身につけます。
②中国語の初級会話において的確な表現ができる力を身につけます。
③反応速度を上げる訓練を通し、既習項目に関して、中国語で聞かれたら、すぐに中国語で答えられるようにします。
④簡単な日常会話において、中国人と意思疎通ができるような会話力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
　演習方式。単語、基本文型、置き換えなど幾つかのパターンを用いて、授業を進める。ロールプレと寸劇などにより、楽しく会話力を身につけていく。
　課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行います。
　zoom でのオンライン授業と教室での対面授業という形で行います。新学期からは、まず zoom で授業をやります。期末テストは対面授業で行う予定。新コロナウイルスの感染状況が改善されてから、教室での対面授業を取り入れることがあります。その都度お知らせします。zoom の URL はをクラスの掲示板でお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	第１課	会話を学習する 文法を学習する 年月日の言い方 曜日の言い方
2 回	第２課	会話を学習する 文法を学習する 人称代名詞 ＜～の～＞
3 回	第３課	会話を学習する 文法を学習する 時刻の言い方 変化する言い方
4 回	第４課	会話を学習する 文法を学習する 値段の言い方 数量表現 動詞述語文
5 回	第５課	会話を学習する 文法を学習する ＜是＞の文 電話番号の言い方
6 回	第６課	会話を学習する 文法を学習する 指示代名詞 疑問詞＜なに＞
7 回	第７課	会話を学習する 文法を学習する 選択疑問文 連動文 前置詞＜～で＞
8 回	第８課	会話を学習する 文法を学習する ＜～が好きだ＞ ＜この～＞の言い方
9 回	第９課	会話を学習する 文法を学習する 形容詞述語文 前置詞＜～に＞
10 回	第 10 課	会話を学習する 文法を学習する 比較文 ＜少しも～しない＞の言い方
11 回	第 11 課	会話を学習する 文法を学習する 省略疑問文 ＜来＋数量＞の言い方
12 回	第 12 課	会話を学習する 文法を学習する 主述述語文
13 回	授業内期末筆記テスト	第 1 課～12 課を範囲に筆記テスト・まとめと解説
14 回	授業内期末口頭テスト	第 1 課～12 課を範囲に口頭テスト・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備・復習時間は、1 時間を標準とする。授業の前と後は必ず CD を繰り返し聞き、まねして発音を練習すること。

【テキスト（教科書）】
『あなたが主役　演じる入門中国語』余瀾・中桐典子著、朝日出版社　2019 年　2300 円

【参考書】
参考書は授業中に適宜指示する。

【成績評価の方法と基準】
成績評価は 100 点満点とし、60 点以上が合格となる。
配分は、毎回行なう小テスト（単語テスト、書き取りテスト、会話の発表など）が 40 %、期末口頭テストが 20 %、筆記テストが 40 % です。

【学生の意見等からの気づき】
特にありません。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition

LANc200LA

中国語４Ⅱ

2017 年度以降入学者

余　瀾

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
法文営環 2 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
1 年間で学んだ中国語の基礎知識を土台とし、中国語会話の実践力を養成する。基本的な日常会話で構成されるテキストを用い、ネイティブ教師との会話練習を中心に授業を進めていく。「中国語会話Ⅰ」より少し難度の高い会話文を学ぶ。
授業の流れは「中国語会話Ⅰ」と同様で、基本的な文法、4 行会話、置き換え練習、聴き取り練習…と学習を進めていく。簡単なフレーズや文を繰り返し練習することによって基本的な表現がしっかり身につくこと、またネイティブ教師の発音をたくさん聞くことによって耳が中国語に慣れることをこの講義の目的とする。中国人との簡単な会話において、相手の言っていることを正確に聴き取り、的確に言葉が返せるレベルにまで到達できるよう指導していく。

【到達目標】
〔到達目標〕
学生の到達目標は次の 4 点とする。
①中国語の常用表現が聞き取れる力を身につけます。
②中国語の初級会話において的確な表現ができる力を身につけます。
③反応速度を上げる訓練を通し、既習項目に関して、中国語で聞かれたら、すぐに中国語で答えられるようにします。
④簡単な日常会話において、中国人と意思疎通ができるような会話力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
　演習方式。単語、基本文型、置き換えなど幾つかのパターンを用いて、授業を進める。ロールプレイと寸劇などにより、楽しく会話力を身につけていく。
　課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	第 13 課	会話を学習する 文法を学習する 助動詞＜～したい＞ 存在を現す＜有＞
2 回	第 14 課	会話を学習する 文法を学習する 存在を現す＜在＞ ＜有＞と＜在＞の区別
3 回	第 15 課	会話を学習する 文法を学習する 所有を現す＜有＞ 疑問詞＜どうですか＞
4 回	第 16 課	会話を学習する 文法を学習する 疑問詞＜どうやって＞ ＜好＋動詞＞
5 回	第 17 課	会話を学習する 文法を学習する 進行を現す言い方 禁止する言い方
6 回	第 18 課	会話を学習する 文法を学習する 疑問詞＜なぜ＞ 結果補語
7 回	第 19 課	会話を学習する 文法を学習する 完了を現す言い方 前置詞＜～から＞
8 回	第 20 課 会話を学習する 文法を学習する	経験を現す言い方 ＜ちょっと＞の言い方
9 回	第 21 課	会話を学習する 文法を学習する 方向補語 使役を現す言い方
10 回	第 22 課	会話を学習する 文法を学習する 連体修飾語 助動詞＜できる＞
11 回	第 23 課	会話を学習する 文法を学習する 様態補語
12 回	第 24 課	会話を学習する 文法を学習する 助動詞＜できる＞ 時量補語 ＜～するつもりだ＞
13 回	授業内期末筆記テスト	第 13 課～24 課を範囲に筆記テスト・まとめと解説
14 回	授業内期末口頭テスト	試第 13 課～24 課を範囲に口頭テスト・まとめと解説験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備・復習時間は 1 時間を標準とする。授業の前と後は必ず CD を繰り返し聞き、まねして発音を練習すること。

【テキスト（教科書）】
『あなたが主役　演じる入門中国語』余瀾・中桐典子著、朝日出版社

【参考書】
授業中に適宜指示する。

【成績評価の方法と基準】
毎回行なう小テスト（単語テスト、書き取りテスト、会話の発表など）が 40 %、期末口頭テスト 20 %、筆記テストが 40 %。

【学生の意見等からの気づき】
特にありません。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition

LANc200LA

中国語４Ｉ

2017 年度以降入学者

ショウ　イクテイ

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**1 単位**
法文営環 2 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
中国語の発音及び基礎的な文法事項を固めつつ、中国語のコミュニケーションに必要な知識を養成する。

【到達目標】
発音を固める。
読解力を培う。
日常会話ができる。
簡単な文章を書ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
教科書に沿って、履修者のレベルを確認の上、内容への理解をチェックしながら、効果的に授業を進めていく。
課題などへのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	復習	一年次に習った文法を復習する
第 2 回	第１課	名詞の前に置く “的”、動詞の前に置く “地”、助動詞 “要”、連動文
第 3 回	第１課	第 1 課のチャレンジ・スキット
第 4 回	第２課	動態助詞の “了”、語気助詞の “了”、語気助詞の “吗” と “吧”
第 5 回	第２課	第 2 課のチャレンジ・スキット
第 6 回	第３課	経験・経過を表わす “过”、“怎么” の２つの用法、副詞 “才” の用法
第 7 回	第３課	第 3 課のチャレンジ・スキット
第 8 回	第４課	動作の進行、動作・状態の持続を表わす “着”、動作を行う時間の長さ・動作の回数、“因为～所以…”
第 9 回	第４課	第 4 課のチャレンジ・スキット
第 10 回	第５課	近い未来 “要～了”・“快～了”、反語の表現、副詞 “就” の用法、“要是～就…”
第 11 回	第５課	第 5 課のチャレンジ・スキット
第 12 回	第６課	結果補語、感嘆文、副詞 “还” の用法、“虽然～但是…”
第 13 回	第６課	第 6 課のチャレンジ・スキット
第 14 回	復習、試験、まとめ	ここまで習った内容を復習、確認する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業に出るまでに必ず復習と予習してくること。毎課の新出単語と文法をしっかり記憶し、理解したかどうかチェックすること。
毎日最低 20 分テキストの CD を聞きながら、発音練習を行うこと。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
本間史・孟広学『２年めの中国語ポイント４５』白水社

【参考書】
必要なものは授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】
期末テストを主に（50 %）、学習態度や学習意欲（20 %）、課題や小テスト（20 %）、平常点なども（10 %）勘案して、総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】
よりよい授業を目指すため、前年度の学生のご意見やご要望が反映されるようさらなる改善を模索していく。

【学生が準備すべき機器他】
電子辞書を用意することを勧める。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition

LANc200LA

中国語４Ⅱ

2017 年度以降入学者

ショウ　イクテイ

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**1 単位**
法文営環 2 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
中国語の基礎的な文法事項の基礎を固めつつ、中国語のコミュニケーションに必要な知識を養成する。

【到達目標】
読解力や、表現力などのさらなるスキルアップを目指す。
日常の中国語のコミュニケーションが取れる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
教科書に沿って、履修者のレベルに合わせつつ、内容への理解をチェックしながら、授業を進める。
課題などへのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	解説と復習	春学期の学習内容の復習
第 2 回	第７課	様態補語、比較の表現、形容詞の重ね方、“不但～而且…”
第 3 回	第７課	第 7 課のチャレンジ・スキット
第 4 回	第８課	方向補語、複合方向補語、強調表現 “连～也…”、“一～就…”
第 5 回	第８課	第 8 課のチャレンジ・スキット
第 6 回	第９課	“把” 構文、受身の表現、副詞 “再” と “又”、“只要～就…”
第 7 回	第９課	第 9 課のチャレンジ・スキット
第 8 回	第 10 課	可能補語、“是～的” の構文、“只有～才…”
第 9 回	第 10 課	第 10 課のチャレンジ・スキット
第 10 回	第 11 課	“～得了” ／ “～不了” の可能補語、兼語文、“不是～而是…”
第 11 回	第 11 課	第 11 課のチャレンジ・スキット
第 12 回	第 12 課	存現文、同じ疑問詞の呼応、“不管～都…”
第 13 回	第 12 課	第 12 課のチャレンジ・スキット
第 14 回	復習、まとめ、試験	第７～12 課の復習と試験、確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業に出るまでに必ず復習と予習してくること。
毎課の新出単語と文法をしっかり記憶し、理解したかどうかチェックすること。
毎日最低 20 分テキストの CD を聞きながら、発音練習を行うこと。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
本間史・孟広学『２年めの中国語ポイント４５』白水社

【参考書】
必要なものは授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】
期末テストを主に（50 %）、学習態度や学習意欲（20 %）、課題や小テスト（20 %）、平常点なども（10 %）勘案して、総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】
よりよい授業を目指すため、前年度の学生のご意見やご要望が反映されるようさらなる改善を模索していく。

【学生が準備すべき機器他】
電子辞書を用意することを勧める。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition

LANc200LA

中国語４Ⅰ

2017 年度以降入学者

祝　振媛

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
法文営環２年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
中国語１、中国語２で学習した内容を基礎とし、次のステップへ進む。

【到達目標】
・中国語による基本的な日常会話を聞いて理解できる。
・基礎的な中国語を使って自分の意思を伝えることができる。
・ 中国の歴史、文化に対する関心を養う。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
本講義は授業の形態として、原則には面接授業を実施する。状況に応じて時には zoom の授業をも行う。進度として、１課を２回の授業で進める。毎回の授業は概ねに次のように進める。１）小テスト（約２５分）　２）テキストの学習（約４０分）　３）文法に関する問題演習、会話の練習など（約３５分）。　外国語を身につけるために継続的な学習が必要なので、毎回授業の始めに小テストを設ける。またこの授業は教室の中での学習と自宅での学習を組み合わせて展開することができる。課題等へのフィードバックは授業時間またはメールをも通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業概要の説明
2	第一課　『换钱』 結果補語： 「看到，吃到」	1 慣用句：挺+形容☒+的 2 助動詞：「 要 」 3 副詞：「点儿」 文法問題の演習/会話
3	第一課　『换钱』 慣用句： 「除了 不用」	1「太+形容☒」 2「就是」 文法問題の演習
4	第二課　『小学校门前』 存☒文： ☒所+☒☒+出☒/存在	１「什么的」 ２「等等」 文法問題の演習/会話
5	第二課　『小学校门前』 家族の称呼に関して： 「☒☒」「姥☒」 「奶奶」「姥姥」	１「着」：場所+動詞+着 ２「在」：在+動詞 文法問題の演習/会話
6	第三課　『早上的公园』 感嘆文： 「多～啊」	健康についての諺を紹介、説明 文法問題の演習/会話
7	第三課　『早上的公园』 １「動詞+的」の名詞化 ２「多+形容詞」	１「数詞+多」 ２「怎么」 文法問題の演習/会話
8	文法問題の演習	第一課～第三課の勉強した内容の復習、確認
9	第四課『年☒人的就☒☒』 １「了」：変化を表す ２「又」：状況、動作の累加	「☒☒」/「☒得」：人や事物に対する見方 文法問題の演習/会話
10	第四課『年☒人的就☒☒』 仮定を表す表現： 「如果」	部分的な否定を表す慣用句「不都是」
11	第五課　『相☒』 １解釈、説明する語彙：「就是」 ２体験を表す：「☒」	１能願動詞：「☒☒」 ２推測の表現：「听☒」
12	第五課　『相☒』 慣用句： 「无☒是～☒是」	1「就」の使い方 2「很」の使い方 文法問題の演習/会話
13	第六課　『外甥的婚房』 １ 副詞： 「☒竟」 ２慣用句：「就要～了」	１「☒」の使い方 ２「本」の使い方 ３「支」の使い方 文法問題の演習/会話
14	第六課『外甥的婚房』復習	第一課～第六課勉強した内容の復習、文法問題の演習、確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
語学は復習が重要なので、授業後は音声を聞いたり、単語帳を作ったりするなど既習した内容をしっかり復習してほしい。また、付属の教材 CD や http://fic.xsrv.jp/hosei/ を活用し、習った内容をしっかり身につけるように努めてほしい。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『日中いぶこみ１２景』相原茂・蘇明　朝日出版社

【参考書】
中国語辞書を必ず１冊用意すること（電子辞書可）
『ポイント学習中国語初級』東方書店
康玉華　『漢語３０１句』北京言語大学出版社
佐藤富士雄　『中国語初級テキスト 緑さんの留学生活』白帝社

【成績評価の方法と基準】
毎回授業の最初に行う小テスト及び授業の参加度は成績評価の 60 %とし、中間と期末の試験はそれぞれ成績の 20 %とします。平均点数が 60 点以上の人を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】
学生とコミュニケーションを取りながら授業を展開することが評価されたので、今後も続けて行く。

【学生が準備すべき機器他】
中国語の発音を聞く必要があるので、PC や CD を用意してほしい。

【その他の重要事項】
本講義は面接授業、あるいは zoom の授業を実施しますので、全回の出席が成績評価の前提である。原則として欠席は認めない。やむ得ない事情（健康不良など）があれば、各種の証明書の提出など、各自で然るべき対応を取ること。尚、毎回の授業の最初に小テストをするので、遅刻は厳禁。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition

LANc200LA

中国語４Ⅱ

2017 年度以降入学者

祝　振媛

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
法文営環 2 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学習した内容を基礎とし、次のステップへ進む。

【到達目標】
・中国語による基本的な日常会話を聞いて理解できる。
・基礎的な中国語で自分の意思を伝えることができる。
・ 中国の歴史、文化に対する関心を養う。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
本講義は授業の形態として、原則には面接授業を実施する。状況に応じて時には zoom の授業をも行う。進度として、１課を２回の授業で進めていく。毎回の授業を概ねに次のように進める。１）小テスト（約２５分）　２）テキストの学習（約４０分）　３）文法に関する問題演習、会話の練習など（約３５分）。外国語を身につけるためには、継続的な学習が必要なので、毎回授業の始めに小テストを設ける。またこの授業は教室の中での学習と自宅での学習を合わせて展開することができる。課題等へのフィードバックは授業時間またはメールをも通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	復習	第一課～第六課の復習
2	第七課　『婆媳关系』 不特定的な表現： 「哪儿～⊠？」	口語的な表現：『照』 書面的な表現：『按照』
3	第七課　『婆媳关系』 気持ちを表す語彙： １「幸福」 ２「愉快」 ３「⊠心」	前置詞： １「从」 ２「到」
4	第八課　『川菜』 慣用句： １「既～又」 ２「是⊠⊠啊」	１　連詞：「就是」 ２　複合方向補語： 「出来」と「⊠去」
5	第八課　『川菜』 量詞： 「家」の使う場合	語彙の説明： 「排出去」の使い方
6	第九課　『中⊠医⊠』 慣用句： 「在～之中」	１　比較と選択の表現： 「是～⊠是」 ２　否定の表現： 「没有」
7	第九課　『中⊠医⊠』 仮定の表現： 「～的⊠」	解釈： １「只是」 ２「⊠是」
8	文法のまとめ	第七課～第九課の復習、勉強した内容の確認
9	第十課　『九九重阳⊠』 １前置詞「⊠」の使い方 ２慣用句「跟～一起」	副詞： １「将」の使い方 ２「尽快」の意味
10	第十課　『九九重阳⊠』 １「三世同堂」の意味 ２「孝⊠」の語彙にに内在する意味	常用副詞のまとめ １「或者」 ２「早就」 ３「尽快」
11	第十一課　『旅游』 １副詞の「⊠」について ２慣用句の「⊠～都」について	仮定の表現： 「如果～的⊠」の使い方
12	第十一課　『旅游』 １動詞の重ね「看看」 ２慣用句「是～的」	パソコン関係の語彙 １「⊠⊠」 ２「网址」 ３「短信」
13	第十二課　『除夕夜』 お祝いの言葉に関する紹介、説明	１疑問詞の「怎么」 ２前置詞としての「⊠」
14	第十二課 『除夕夜』 １副詞「才」 ２慣用句としての「有的」 文法に関するまとめ、演習	「年夜⊠」に関する説明 第七課～第十二課の復習、勉強した内容の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
語学は復習が重要なので、授業後は音声を聞いたり、単語帳を作ったりするなど既習した内容をしっかり復習してほしい。また、付属の教材 CD や http://fic.xsrv.jp/hosei/ を活用し、習った内容をしっかり身につけるように努めてほしい。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。課題等へのフィードバックは授業時間またはメールをも通じて行う。

【テキスト（教科書）】
『日中いぶこみ１２景』相原茂・蘇明　朝日出版社

【参考書】
中国語辞書を必ず１冊用意すること（電子辞書可）
『ポイント学習中国語初級』東方書店
康玉華　『漢語３０１句』北京言語大学出版社
佐藤富士雄　『中国語初級テキスト 緑さんの留学生活』白帝社

【成績評価の方法と基準】
毎回授業の最初に行う小テスト及び授業の参加度は成績評価の 60 %とし、中間と期末の試験はそれぞれ成績の 20 %とします。平均点数が 60 点以上の人を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】
学生とコミュニケーションを取りながら授業を展開することが評価されたので、今後も続けて行く。

【学生が準備すべき機器他】
中国語の発音を聞く必要があるので、PC や CD を用意してほしい。

【その他の重要事項】
本講義は面接授業、あるいは zoom の授業を実施しますので、全回の出席が成績評価の前提である。原則として欠席は認めない。やむ得ない事情（健康不良など）があれば、各種の証明書の提出など、各自で然るべき対応を取ること。尚、毎回の授業の最初に小テストをするので、遅刻は厳禁。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition

LANc200LA

中国語４Ⅰ

2017 年度以降入学者

渋井　君也

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：**1 単位**
法文営環 2 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
一年生で学んだ中国語から一歩進んで、教科書に沿って重要なポイントをくり返し練習しながら、自分のことや日本のことを中国語で伝えられるようになるための訓練をします。教科書の内容を通して、中国、台湾、香港等の中華圏とそこに住む人たちの生活や文化等についても学習します。
※コロナウイルス感染の拡大に鑑み、対面授業を基本としつつも、オンライン授業を併用する場合があります。
※第１週目は、Zoom によるオンライン授業を実施します。

【到達目標】
準中級から中級レベルの中国語能力を身につけることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
毎回の授業で中国語による文法表現を反復練習し、テキストの日本語訳や中国語の文法・語彙について、全員に発言を求めます。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	第１課	新出単語とポイント（「一…就～」など６項目）の説明
2	第１課	「大学生的周末」本文の解説と練習問題
3	第２課	新出単語とポイント（「每…都～」など６項目）の説明
4	第２課	「⊠食⊠⊠」本文の解説と練習問題
5	第３課	新出単語とポイント（「“多/少” ＋動詞」など６項目）の説明
6	第３課	「北京的交通」本文の解説と練習問題
7	中間試験	第１課～第３課の内容の定着度チェック
8	第４課	新出単語とポイント（「兼語 “有”」など６項目）の説明
9	第４課	「⊠数字的喜好」本文の解説と練習問題
10	第５課	新出単語とポイント（「疑問詞の不定用法」など６項目）の説明
11	第５課	「大学生的打工⊠状」本文の解説と練習問題
12	第６課	新出単語とポイント（「无⊠…都/也～」など６項目）の説明
13	第６課	「集体生活的好⊠」本文の解説と練習問題
14	期末試験	前期の内容の定着度チェック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

【テキスト（教科書）】
吉田泰謙・相原里美・葛婧『知っておきたい中国事情（改訂版・CD 付）』、白水社

【参考書】
教場で指示します。

【成績評価の方法と基準】
平常点（授業中の態度や小テスト等）30 %、中間試験 30 %、期末試験 40 %

【学生の意見等からの気づき】
特になし。

【Outline and objectives】
Outline and objectives

LANc200LA

中国語４Ⅱ

2017 年度以降入学者

渋井　君也

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：**1 単位**
法文営環 2 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
一年生で学んだ中国語から一歩進んで、教科書に沿って重要なポイントをくり返し練習しながら、自分のことや日本のことを中国語で伝えられるようになるための訓練をします。教科書の内容を通して、中国、台湾、香港等の中華圏とそこに住む人たちの生活や文化等についても学習します。

【到達目標】
準中級から中級レベルの中国語能力を身につけることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
毎回の授業で中国語による文法表現を反復練習し、テキストの日本語訳や中国語の文法・語彙について、全員に発言を求めます。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	第７課	新出単語とポイント（「只要…就～」など６項目）の説明
2	第７課	「⊠价⊠价」本文の解説と練習問題
3	第８課	新出単語とポイント（「疑問詞の連用」など６項目）の説明
4	第８課	「送礼的⊠究」本文の解説と練習問題
5	第９課	新出単語とポイント（「⊠…了」など６項目）の説明
6	第９課	「中国式⊠婚」本文の解説と練習問題
7	中間試験	第７課～第９課の内容の定着度チェック
8	第１０課	新出単語とポイント（「好在」など６項目）の説明
9	第１０課	「双⊠工家庭」本文の解説と練習問題
10	第１１課	新出単語とポイント（「不是…而是～」など６項目）の説明
11	第１１課	「中国人的称呼」本文の解説と練習問題
12	第１２課	新出単語とポイント（「随着～」など６項目）の説明
13	第１２課	「理想⊠⊠」本文の解説と練習問題
14	期末試験	後期の内容の定着度チェック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

【テキスト（教科書）】
吉田泰謙・相原里美・葛婧『知っておきたい中国事情（改訂版・CD付）』、白水社

【参考書】
教場で指示します。

【成績評価の方法と基準】
平常点（授業中の態度や小テスト等）30 %、中間試験 30 %、期末試験 40 %

【学生の意見等からの気づき】
特になし。

【Outline and objectives】
Outline and objectives

LANc200LA

中国語（3）Ⅰ

2017 年度以降入学者

薬　進

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**水** 2/Wed.2
単位数：**1 単位**
法 2 年 Y

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
一年生で習った初級をしっかり復習しながら、日常をコミュニケーションできる中級レベルの中国語を目指しましょう。

【到達目標】
基礎段階を終えた学習者を対象に、より複雑な中国語の表現で日常の生活における交流場面に対応できるように、読む・聞く・話す・書く能力を身につけることを目標とする。到達レベルは、中国語検定試験の 3 級合格可能な程度である。3 級合格者は、成績評価が A+ となる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科： DP1

【授業の進め方と方法】
この授業の目的は、架空の中国生活ではなく、日本での日常について質問し、答えられるようにすることです。中国語のコミュニケーションは、他のコミュニケーションと同様に、送受信＝質問と答えのやり取りを基本としている。問いと答えを繰り返せば必ず話せるようになる。一年生で発音の基礎と基本的な表現を習得した学習者が、複文や接続詞などより複雑な表現を学び、日常の生活における交流場面に対応する、比較的高度な中国語のコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。
授業形態はハイブリッド型授業（対面授業とオンライン授業の組み合わせ）となります。『学習支援システム』において、各授業日における学習内容（テキスト及び説明（音声、ビデオ））は、『課題』フォルダで授業日別に提示し、学習終了後に課題が必要です。
対面授業では、課題の要点解説や文法事項の詳細な解釈及び質疑応答を行います。
会話練習、本文の朗読指導は zoom にて行います。
課題等へのフィードバックは以下のようになります。
（1）対面授業時に説明します。
（2）「授業内掲示板」で随時受け付けして回答します。
（3）個別相談等は shin.yaku.56@hosei.ac.jp で随時受け付けして回答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	第一課	初級の復習（1）
2 回	第一課	初級の復習（2）
3 回	第二課	初級の復習（1）
4 回	第二課	初級の復習（2）
5 回	第三課	ある動作を行う目的や方式を説明する表現
6 回	第四課	好き嫌い・心配の表現
7 回	復習	第一課～第四課の復習
8 回	第五課	動作の程度・状態を説明する表現
9 回	第六課	能力と可能性の表現
10 回	第七課	動作の結果を説明する表現
11 回	第八課	動作の方向を説明する表現
12 回	第九課	動作の結果と方向の可能性を表す表現
13 回	第十課	使役の表現
14 回	復習	Ⅰ期のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
語学力は短期間で身につけられない。日々の積み重ねこそ大切である。初級に比べより高度な内容となるので、放課後の予習・復習を怠らないこと。付属の CD と DVD を活用して、また初級復習用に配布したフリントに基づく問答ができるよう（試験範囲内）、練習を繰り返し行い、毎回授業の初めに聞かれる質問に即答できるようにしていただきたい。

【テキスト（教科書）】
『日常のコミュニケーションができる中国語中級』株式会社シーエスピー出版部,、PDF 版無償提供。
各授業日に使用される文字、音声、映像資料は『課題』の授業日別フォルダに記載または添付します。
あるいは授業内容を提示する文中においてリンクを貼る。

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
評価基準は、平常点 65 %、最終課題 35 %とする。
1）平常点について（1 回～13 回）
オンライで提出する課題を対象に次の採点基準を採用します。
①提出期限内に提出し、必要な項目をすべて解答した場合の得点：満点
②提出期限内に提出したが、解答していない必要な項目があった場合：配点の 6 割程度
③提出期限切れて（期限過ぎて一週間まで受理）提出したが、必要な項目をすべて解答した場合の得点：配点の 5 割程度
④提出期限切れて（期限過ぎて一週間まで受理）提出したが、解答していない必要な項目があった場合の得点：配点の 2.5 割程度
＊対面授業または zoom によるオンライン授業に出席した場合、その日に設定される課題の提出はしなくても結構です。
2）最終課題（14 回目）
当日提出、35 点分。
検定試験 4 級合格者：Ⅰ期終了時合格は 15 点プラス。
検定試験 3 級合格者：Ⅰ期終了時合格は 100 点プラス。

【学生の意見等からの気づき】
書く練習をより多くしたいとの要望に応えていきたい。

【学生が準備すべき機器他】
PDF 版テキストは、授業支援システムより各自ダウンロードし、印刷する必要があります。
附属 CD・DVD も授業支援システムにて提供されます。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語（3）Ⅱ

2017 年度以降入学者

薬　進

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 2/Wed.2
単位数：**1 単位**
法 2 年 Y

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
一年生で習った初級をしっかり復習しながら、日常をコミュニケーションできる中級レベルの中国語を目指しましょう。

【到達目標】
基礎段階を終えた学習者を対象に、より複雑な中国語の表現で日常の生活における交流場面に対応できるように、読む・聞く・話す・書く能力を身につけることを目標とする。到達レベルは、中国語検定試験の 3 級合格可能な程度である。3 級合格者は、成績評価が A+ となる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科： DP1

【授業の進め方と方法】
この授業の目的は、架空の中国生活ではなく、日本での日常について質問し、答えられるようにすることです。中国語のコミュニケーションは、他のコミュニケーションと同様に、送受信＝質問と答えのやり取りを基本としている。問いと答えを繰り返せば必ず話せるようになる。一年生で発音の基礎と基本的な表現を習得した学習者が、複文や接続詞などより複雑な表現を学び、日常の生活における交流場面に対応する、比較的高度な中国語のコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。
授業形態はハイブリッド型授業（対面授業とオンライン授業の組み合わせ）となります。『学習支援システム』において、各授業日における学習内容（テキスト及び説明（音声、ビデオ））は、『課題』フォルダで授業日別に提示し、学習終了後に課題が必要です。
対面授業では、課題の要点解説や文法事項の詳細な解釈及び質疑応答を行います。
会話練習、本文の朗読指導は zoom にて行います。
課題等へのフィードバックは以下のようになります。
（1）対面授業時に説明します。
（2）「授業内掲示板」で随時受け付けして回答します。
（3）個別相談等は shin.yaku.56@hosei.ac.jp で随時受け付けして回答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	総括	Ⅰ期期末試験の解説
2 回	復習	春学期の復習
3 回	第十一課	受身の表現
4 回	第十二課	存在と出現を説明する表現
5 回	第十三課	対象への処理・処分を表す表現
6 回	第十四課	二つの動作の前後順・時間順の表現
7 回	復習	第十一課～第十四課の復習
8 回	第十五課	仮定の表現
9 回	第十六課	因果関係を表す表現
10 回	第十七課	逆接関係を表す表現
11 回	第十八課	付け加えの表現
12 回	第十九課	除外の表現
13 回	第二十課	何でもどこでも誰でも
14 回	復習	Ⅱ期のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
語学力は短期間で身につけられない。日々の積み重ねこそ大切である。初級に比べより高度な内容となるので、放課後の予習・復習を怠らないこと。付属の CD と DVD を活用して、また初級復習用に配布したプリントに基づく問答ができるよう（試験範囲内）、練習を繰り返し行い、毎回授業の初めに聞かれる質問に即答できるようにしていただきたい。

【テキスト（教科書）】
『日常のコミュニケーションができる中国語中級』株式会社シーエスピー出版部、PDF 版無償提供
各授業日に使用されるテキストは『課題』の授業日別フォルダに記載または添付します。あるいは授業内容を提示する文中においてリンクを貼る。

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
評価基準は、平常点 65 %、最終課題 35 %とする。
1）平常点について（1 回～13 回）
オンライで提出する課題を対象に次の採点基準を採用します。
①提出期限内に提出し、必要な項目をすべて解答した場合の得点：満点
②提出期限内に提出したが、解答していない必要な項目があった場合：配点の 6 割程度
③提出期限切れて（期限過ぎて一週間まで受理）提出したが、必要な項目をすべて解答した場合の得点：配点の 5 割程度
④提出期限切れて（期限過ぎて一週間まで受理）提出したが、解答していない必要な項目があった場合の得点：配点の 2.5 割程度
＊対面授業または zoom によるオンライン授業に出席した場合、その日に設定される課題の提出はしなくても結構です。
2）最終課題（14 回目）
当日提出、35 点分。

【学生の意見等からの気づき】
書く練習をより多くしたいとの要望に応えていきたい。

【学生が準備すべき機器他】
PDF 版テキストは、授業支援システムより各自ダウンロードし、印刷する必要があります。
附属 CD・DVD も授業支援システムにて提供されます。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語（3）Ⅰ

2017 年度以降入学者

渡部　れい子

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**1 単位**
法 2 年 Y

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
一年時に学習した中国語から一歩進んで、教科書の本文の読解、練習問題を通じ、中級レベルの中国語を身につける。また、学習した内容に基づいて、自分について紹介したり、会話をする訓練を行う。

【到達目標】
テキストを学習することにより、中国語の語彙を増やし、文法事項の理解を一年時より深め、中級レベルの文章を正しく理解でき、また、自分の考えを中国語で伝えられるようになることを目標とする。発音は、単語レベルではなく、正しい発音で会話ができるようになることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科： DP1

【授業の進め方と方法】
本文を文法的にしっかり理解する。この時、一年時に学習した事項に関しても適宜復習する。次にテキストの問題を通じて中国語による表現の練習をし、学習した内容に基づいた会話練習、自己紹介などを行う。会話文の聴き取り練習も行う予定。
オンライン授業となった場合、文法事項は講義ファイルで学習し、zoom などを利用して学習した文法事項のアウトプットを行う。
また、課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	一年時の復習	本授業の授業の進め方、成績評価の方法などについて説明し、一年時に習った中国語文法を総復習する。
第 2 回	第一課	ポイント（動詞の「上」など）の説明と本文の読解、発音練習
第 3 回	第一課	本文ついての練習問題、聴き取り、自己紹介の練習。
第 4 回	第二課	ポイント（進行表現、結果補語など）の説明と本文の読解、発音練習。
第 5 回	第二課	本文ついての練習問題、聴き取り、会話の練習。
第 6 回	第三課	ポイント（方位詞「上」など）の説明と本文の読解、発音練習。
第 7 回	第三課	本文ついての練習問題、聴き取り、会話の練習。
第 8 回	第四課	ポイント（伝聞の表現、複文など）の説明と本文の読解、発音練習
第 9 回	第四課	本文ついての練習問題、聴き取り、会話の練習。
第 10 回	第五課	ポイント（反復疑問文、受け身表現など）の説明と本文の読解、発音練習。
第 11 回	第五課	本文ついての練習問題、聴き取り、会話の練習。
第 12 回	第六課	ポイント（様態補語、疑問詞の不特定用法など）の説明と本文の読解、発音練習。
第 13 回	第六課	本文ついての練習問題、聴き取り、会話の練習。定期試験についての説明。
第 14 回	前期の総まとめ	総復習・期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
テキストの「この課の語句」などを用いて分からない単語などは調べて授業に臨んでください。定期的に小テストを行いますので、ＣＤを聴いて本文を書き取るなど、授業内容を毎回復習してください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『準中級中国語　講読編』
著者：奥村佳代子、塩山正純、張軼欧
出版社：金星堂　２０１９年１月出版

【参考書】
必要に応じて授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】

春学期に対面授業が可能な場合、
各期末テストに加え、授業内での小テスト、平常点（積極的に発言しているか、熱心に課題に取り組んでいるか、など）を総合的に判断し、評価します。
（期末テスト７０％、平常点（小テスト含む）３０％）となります。
対面授業が春学期中行われなかった場合は、毎回の課題の実施状況、zoom による授業の平常点、小テストなどで評価することになります。
成績評価に関しては、授業の実施状況、学生の皆さんの受講環境などを考慮して決定し、変更があった場合はその都度お知らせします。

【学生の意見等からの気づき】
オンライン授業において、発音に不安を感じているという意見が多かったので、
春学期がオンライン授業となった場合は zoom を用いて発音矯正や会話練習などを
行いたいと考えています。

【学生が準備すべき機器他】
特にありません。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate level. By reading the textbooks and composition exercise and so on,we aim to acquire the intermediate communication skills of Chinese.

LANc200LA

中国語（３）Ⅱ

2017 年度以降入学者

渡部　れい子

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**1 単位**
法 2 年 Y

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
一年時に学習した中国語から一歩進んで、教科書の本文の読解、練習問題を通じ、中級レベルの中国語を身につける。また、学習した内容に基づいて、自分について紹介したり、会話をする訓練を行う。

【到達目標】
テキストを学習することにより、中国語の語彙を増やし、文法事項の理解を一年時より深め、中級レベルの文章を正しく理解でき、また、自分の考えを中国語で伝えられるようになることを目標とする。発音は、単語レベルではなく、正しい発音で会話ができるようになることを目標とする

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科： DP1

【授業の進め方と方法】
本文を文法的にしっかり理解する。この時、一年時に学習した事項に関しても適宜復習する。次にテキストの問題を通じて中国語による表現の練習をし、学習した内容に基づいた会話練習、自己紹介などを行う。会話文の聴き取り練習も行う予定。
オンライン授業となった場合、文法事項は講義ファイルで学習し、zoom などを利用して学習した文法事項のアウトプットを行う。
また、課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	前期の総復習。	前期の学習事項の総復習を行う。
第 2 回	第７課	ポイント（使役表現、離合詞など）の説明と本文の読解、発音練習。
第 3 回	第７課	本文ついての練習問題、聴き取り、夏休みの過ごし方を紹介する。
第 4 回	第８課	ポイント（動作の対象を表す介詞など）の説明と本文の読解、発音練習。
第 5 回	第８課	本文ついての練習問題、聴き取り、会話の練習。
第 6 回	第９課	ポイント（結果補語「成」、動量詞「遍」など）の説明と本文の読解、発音練習。
第 7 回	第９課	本文ついての練習問題、聴き取り、会話の練習。
第 8 回	第１０課	ポイント（強調表現、結果補語「好」など）の説明と本文の読解、発音練習。
第 9 回	第１０課	本文ついての練習問題、聴き取り、会話の練習。
第 10 回	第１１課	本文ついての練習問題、聴き取り、会話の練習。
第 11 回	第１１課	ポイント（反語表現など）の説明と本文の読解、発音練習、「春節」の紹介など。
第 12 回	第１２課	ポイント（可能補語、様態補語など）の説明と本文の読解、発音練習。
第 13 回	第１２課	本文ついての練習問題、聴き取り、自己紹介の練習。定期試験についての説明など。
第 14 回	総復習	総復習・期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
テキストの「この課の語句」などを用いて分からない単語などは調べて授業に臨んでください。定期的に小テストを行いますので、ＣＤを聴いて本文を書き取るなど、授業内容を毎回復習してください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『準中級中国語　講読編』
著者名：奥村佳代子、塩山正純、張軼欧
出版社名：金星堂　２０１９年１月発行

【参考書】
必要に応じて授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】
秋学期に対面授業が可能な場合、
各期末テストに加え、授業内での小テスト、平常点（積極的に発言しているか、熱心に課題に取り組んでいるか、など）を総合的に判断し、評価します。
（期末テスト７０％、平常点（小テスト含む）３０％）となります。
対面授業が春学期中行われなかった場合は、毎回の課題の実施状況、zoom による授業の平常点、小テストなどで評価することになります。
成績評価に関しては、授業の実施状況、学生の皆さんの受講環境などを考慮して決定し、変更があった場合はその都度お知らせします。

【学生の意見等からの気づき】
オンライン授業において、発音に不安を感じているという意見が多かったので、
秋学期がオンライン授業となった場合は zoom を用いて発音矯正や会話練習などを
行いたいと考えています。

【学生が準備すべき機器他】
特にありません。

【その他の重要事項】
特にありません。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate level. By reading the textbooks and composition exercise and so on,we aim to acquire the intermediate communication skills of Chinese.

LANc200LA

中国語７

2017 年度以降入学者

曽　士才

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**水** 2/Wed.2
単位数：**1 単位**
国 2 年 SA

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
中国語１～６で学んだことを基礎にして、中国語の読解能力と聞き取り能力を並行してトレーニングする。

【到達目標】
半年後の上海外国語大学での授業にスムーズに入れることを目標としている。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
ＳＡでの授業を念頭に置き、素材の対話文、長文だけでなく、解説もすべて中国語の音声教材を用いる。教材の内容は中国の社会、歴史、民族、文化、風俗習慣、故事来歴など多彩である。毎回の授業では、中国語の朗読練習、語句の使い方の説明と練習、日本語への翻訳を行う。
課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	イントロダクション	授業の進め方と準備学習の説明と心構え、WEB 版教材の紹介をする。
第 2 回	素材 1（1）の聞き取りと読解	上海事情に関する教材を用い、対話形式の課文とその解説部分を読み、聞き取れるようにする。
第 3 回	素材 1（2）の聞き取りと読解	引き続き課文とその解説を読み、聞き取れるようにする。
第 4 回	素材 1（3）の聞き取りと読解	残りの課文とその解説を読み、聞き取れるようにする。最後に全文を頭から再度聞き通す。
第 5 回	素材 2（1）の聞き取りと読解	社会に関する課文とその解説を読み、聞き取れるようにする。
第 6 回	素材 2（2）の聞き取りと読解	引き続き課文とその解説を読み、聞き取れるようにする。
第 7 回	素材 2（3）の聞き取りと読解	残りの課文とその解説を読み、聞き取れるようにする。最後に全文を頭から再度聞き通す。
第 8 回	素材 3（1）の聞き取りと読解	風俗習慣に関する課文とその解説を読み、聞き取れるようにする。
第 9 回	素材 3（2）の聞き取りと読解	引き続き課文とその解説を読み、聞き取れるようにする。
第 10 回	素材 3（3）の聞き取りと読解	残りの課文とその解説を読み、聞き取れるようにする。最後に全文を頭から再度聞き通す。
第 11 回	素材 4（1）の聞き取りと読解	ことわざに関する課文とその解説を読み、聞き取れるようにする。
第 12 回	素材 4（2）の聞き取りと読解	引き続き課文とその解説を読み、聞き取れるようにする。
第 13 回	素材 4（3）の聞き取りと読解	残りの課文とその解説を読み、聞き取れるようにする。最後に全文を頭から再度聞き通す。
第 14 回	テストと講評	聞く力と読解力を測定するテストの実施と講評を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回の授業までに、WEB 版教材の音声を文字に起こし、日本語訳をつけておく。なお、予習の進捗状況、理解度などを事前に担当教員が把握できるシステムになっている。
WEB 版教材の利用方法については、初回の授業で説明する。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
愛漢語播客 2010 年集（iMandarin Pod.com）からセレクトした音声教材を使用。

【参考書】
各自使い慣れている辞書と文法書を持参する。

【成績評価の方法と基準】
準備学習（20 %）と期末に行うテスト（80 %）によって評価する。出席は成績評価の大前提である。

【学生の意見等からの気づき】
準備学習の状況を把握するシステムにより、授業ではよりきめ細やかな説明をするようにしたい。

【Outline and objectives】
This course aims to develop students'skills in the areas of both reading and hearing,on the basis of their abilities trained in Chinese 1～6 .
The goal of this course is to let Pre-SA students develop their Chinese communication skills in order to apply themselves to the class in Shanghai International Studies University smoothly.

LANc200LA

中国語８

2017 年度以降入学者

鈴木　靖

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**1 単位**
国 2 年 SA

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

HSK の過去問のディクテーションを通じて、4 級合格に必要な 1200 語の語彙力と語法知識、リスニング力を身につけていく。

また、過去問のシミュレーターによる模擬試験によって、HSK の問題形式に慣れ、確実な合格をめざす。

【到達目標】

HSK4 級の合格に必要な 1200 語の語彙力と語法知識、リスニング力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】

授業は、自宅での e-Learning による予習と教室での授業を組み合わせたブレンド型学習によって行う。具体的な授業の進め方は次のとおり。

〔授業前の事前学習〕

授業前にパソコンまたはスマートフォンを使い、HSK のリスニング問題のディクテーションを行う

〔授業の進め方と方法〕

①小テスト（前回の学習内容の復習テスト）
②リスニング問題の解説の後、解答の作文練習
③過去問を使った模擬試験（期間中 2 回実施）

課題等に対するフィードバックの方法としては、受講生全員が参加する LINE のグループを用意し、これを通じて全員または個別に指導を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	はじめに	授業の目標と学習方法の解説
第 2 回	HSK3 級リスニング対策①	HSK3 級リスニング問題の第一部分の解説と解答の作文練習
第 3 回	HSK3 級リスニング対策②	HSK3 級リスニング問題の第二部分の解説と解答の作文練習
第 4 回	HSK3 級リスニング対策③	HSK3 級リスニング問題の第三部分の解説と解答の作文練習
第 5 回	HSK3 級リスニング対策④	HSK3 級リスニング問題の第四部分（前半）の解説と解答の作文練習
第 6 回	HSK3 級リスニング対策⑤	HSK3 級リスニング問題の第四部分（後半）の解説と解答の作文練習
第 7 回	HSK3 級リスニング対策⑥	HSK3 級模擬試験
第 8 回	HSK4 級リスニング対策①	HSK4 級リスニング問題の第一部分（前半）の解説と解答の作文練習
第 9 回	HSK4 級リスニング対策②	HSK4 級リスニング問題の第一部分（後半）の解説と解答の作文練習
第 10 回	HSK4 級リスニング対策③	HSK4 級リスニング問題の第二部分（前半）の解説と解答の作文練習
第 11 回	HSK4 級リスニング対策④	HSK4 級リスニング問題の第二部分（後半）の解説と解答の作文練習
第 12 回	HSK4 級リスニング対策⑤	HSK4 級リスニング問題の第三部分（後半）の解説と解答の作文練習
第 13 回	HSK4 級リスニング対策⑥	HSK4 級リスニング問題の第三部分（後半）の解説と解答の作文練習
第 14 回	HSK4 級リスニング対策⑦	HSK4 級模擬テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の前に下記の事前学習を行うこと。

パソコンまたはスマートフォンを使い、HSK リスニング問題のディクテーションを行う。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

文部科学省平成 24 年度グローバル人材育成推進事業の補助を受け開発した e-Learning 教材と HSK（漢語水平考試）の過去問データを使用する。

【参考書】

・劉月華ほか『実用現代漢語語法』（外語教学与研究出版社）

【成績評価の方法と基準】

【修正 2020-06-30】成績評価の方法の変更について

新型コロナウィルスの感染拡大により、今学期は教室での対面授業からオンラインでの遠隔授業へ変更になりました。これにより小テストなどの実施が難しくなったため、成績評価の方法を下記のように変更しました。

①ディクテーション教材により宿題の実施状況（60 %）
② 3 級および 4 級の模擬試験の成績（40 %）

【学生の意見等からの気づき】

自宅にパソコンがない学生のため、スマートフォンでも利用できるよう教材を修正した。

【Outline and objectives】

Chinese 8 is a Chinese course designed especially for the students who are going to study abroad in China in the next semester. In this course, we are going to learn:
Vocabulary:
We will learn 1200 words required for the HSK, Chinese Proficiency Test, level 4.
Grammar:
We will learn the intermediate grammar required for the HSK level 4.
Skills work:
We will expand vocabulary and improve listening skills through the use of e-Learning.
Through the use of a test simulator, we will do mock examinations of the HSK, Chinese proficiency test, to prepare students to take, the HSK proficiency test.

LANc200LA

中国語３－Ⅰ

2017 年度以降入学者

日原　傳

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
環 2 年 G～I

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
一年次に学んだ初級中国語の基礎を固めつつ、中国語能力を中級レベルに向上させる。中国語の時事資料を読み、現代中国に対する理解を深める。

【到達目標】
・初級中国語の基礎をしっかり定着させる。
・少し長めの中国語の文章に慣れる。
・中国語の書面語（文語）の表現に慣れる。
・中国語の文章を独力で読みこなす力つける。
・時事資料の読解を通して、現代中国への理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
テキストに沿って授業を進める。各課ごとに、単語の確認 → 課文（音読・訳）→ 解読の手がかり（文法の確認）→ 練習問題の順で進めてゆく。
※対面授業を基本にし、状況によってオンライン授業を組み合わせる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。
※課題等へのフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行なう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション・ガイダンス	一年間の授業の進め方の説明。テキスト・辞書の説明。
第 2 回	第一課　『武漢封城日記』	コロナ禍で閉鎖された武漢の街
第 3 回	第二課　『三体』	中国のＳＦ小説
第 4 回	練習（第一課・第二課）	文法の確認・応用問題
第 5 回	第三課　民法典	中国独自の民法典の成立
第 6 回	第四課　Ｂサイトと若者	インターネットの発展
第 7 回	練習（第三課・第四課）	文法の確認・応用問題
第 8 回	第五課　「北斗」システム	中国の衛星測位システム
第 9 回	第六課　単身経済	一人暮らしの若者の増加
第 10 回	練習（第五課・第六課）	文法の確認・応用問題
第 11 回	第七課　都市こぼれ話	新型コロナ禍による生活スタイルの変更
第 12 回	第八課　西夏文書	西夏文書の修復
第 13 回	練習（第七課・第八課）	文法の確認・応用問題
第 14 回	授業の総まとめと期末試験	筆記・ヒアリング試験　まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・予習は必須です。分からない単語は辞書で調べ、テキストの本文と文法の例文を訳してから授業に臨んでください。
・テキストに付いているＣＤを繰り返し聴く。
・テキストの本文をスラスラ読めるまで音読の練習を繰り返す。
・本授業の準備・復習時間は、各１時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『時事中国語の教科書　2021 年度版』（三潴正道・陳祖蓓・古屋順子著、朝日出版社、2021、1900 円＋税）。また、
※一年時に使用した『ポイント学習中国語初級（改訂版）』（東方書店）を必ず授業時に持参すること。

【参考書】
中日辞典を必ず用意すること（どこの出版社のものでも良い。電子辞書も可）。

【成績評価の方法と基準】
平常点（授業中の取り組み姿勢）30 %
期末試験　70 %

【学生の意見等からの気づき】
新規担当科目につき該当なし。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３－Ⅱ

2017 年度以降入学者

日原　傳

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
環 2 年 G～I

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
一年次に学んだ初級中国語の基礎を固めつつ、中国語能力を中級レベルに向上させる。中国語の時事資料を読み、現代中国に対する理解を深める。

【到達目標】
・初級中国語の基礎をしっかり定着させる。
・少し長めの中国語の文章に慣れる。
・中国語の書面語（文語）の表現に慣れる。
・中国語の文章を独力で読みこなす力つける。
・時事資料の読解を通して、現代中国への理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
テキストに沿って授業を進める。各課ごとに、単語の確認 → 課文（音読・訳）→ 解読の手がかり（文法の確認）→ 練習問題の順で進めてゆく。
※対面授業を基本にし、状況によってオンライン授業を組み合わせる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。
※課題等へのフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行なう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	第九課　屋台経済	ポストコロナ時代の経済
第 2 回	第十課　都会の人、田舎の人	都市戸籍と農村戸籍
第 3 回	練習（第九課・第十課）	文法の確認・応用問題
第 4 回	第十一課　中国人の声はなぜ大きいのか	異文化理解
第 5 回	第十二課　取り残される老人たち	急激な通信革命
第 6 回	練習（第十一課・第十二課）	文法の確認・応用問題
第 7 回	第十三課　白湯	中国の伝統療法
第 8 回	第十四課　本当の豊かさ	価値観の変化
第 9 回	第十五課　《好久不⊠，武⊠》	過去に学ぶ
第 10 回	練習（第十三課・第十四課・第十五課）	文法の確認・応用問題
第 11 回	プリント教材①	中国の環境問題（水の汚染・水不足）
第 12 回	プリント教材②	中国の環境問題（大気汚染）
第 13 回	プリント教材③	中国の環境問題（砂漠化・森林消失）
第 14 回	授業の総まとめと期末試験	筆記・ヒアリング試験　まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・予習は必須です。分からない単語は辞書で調べ、テキストの本文と文法の例文を訳して授業に臨んでください。
・テキストに付いているＣＤを繰り返し聴く。
・テキストの本文をスラスラ読めるまで音読の練習を繰り返す。
・本授業の準備・復習時間は、各１時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『時事中国語の教科書　2021 年度版』（三潴正道・陳祖蓓・古屋順子著、朝日出版社、2021、1900 円＋税）
※一年時に使用した『ポイント学習中国語初級（改訂版）』（東方書店）を必ず授業時に持参すること。

【参考書】
中日辞典を必ず用意すること（どこの出版社のものでも良い。電子辞書も可）。

【成績評価の方法と基準】
平常点（授業中の取り組み姿勢）30 %
期末試験　70 %

【学生の意見等からの気づき】
新規担当科目につき該当なし。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３－Ⅰ

2017 年度以降入学者

王　翠莉

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
環 2 年 J～L

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、中国語 1、中国語２を一通り終えた学生を対象にする授業です。
本授業では、中国語１と中国語２で学んだ基礎文法文型を生かし、教科書「優しいビジネス中国語」の内容を勉強することにより、中国語の応用表現を覚えます。
本講義の目的は、ビジネス上で必要な中国語の基本会話と文章表現を勉強し覚えることにより、中国語の応用力の向上を目指すことにあります。

【到達目標】
本授業で使用する教科書「優しいビジネス中国語」は、ビジネス関係の中国語会話文を中心にし、内容は銀行、財務、商談、宴会のセッティング、労働待遇、アフタサービス、国際入札、コンテナ輸送など幅広い分野をカバーしていて、とても実用的で充実している内容です。
中国語の基礎勉強を終えた後、このようなビジネス上で必要な基本会話と文章表現を勉強し覚えることにより、中国語の語学力特に応用力の向上ができます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
本授業の進め方と方法は、基本的には教科書を中心に授業を進めます。教科書の各課は、会話本文、文法と作文、書き換え練習、ヒアリング練習と参考表現からなっています。
授業の進め方は、まず、教科書の文法を説明の上、受講生たちと一緒に会話本文を読んだり翻訳したりします。難しい中国語の表現がある場合、例文を挙げて説明したりします。その次、書き換え練習、ヒアリング練習、参考表現を練習します。時間の余裕がある時、音読と短文作りの練習をします。
二回の授業で 1 回単語小テストをします。小テストの点数を平常点に計上します。
授業中の練習方法としては、毎回の授業では音読と翻訳の練習をするから、時間の制限で全員はできないので、4，5 人ずつグループを作り、交代で音読と翻訳の発表をします。毎回の授業では、学生全員に練習のチャンスを与えます。
課題等へのフィードバックは基本的には授業時間を通じて行います。
本授業はハイブリッド（オンラインと対面を併用）で行います。授業についての詳細は学習支援システムでお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回目	①オリエンテーション ②復習と練習	本授業の目標・内容、授業の進め方、成績評価の方法などについて説明し、使用教科書を紹介する。
2 回目	発音の復習と練習	1 年生の教科書「ポイント学習中国語」第 4 課のポイント 4・1「二音節語の声調 20 パタン」を繰り返して発音の練習をする。 受講生全員の発音をチェックする。
3 回目	第 1 課「オフィスを訪ねる」を勉強する。	①第 1 課の会話本文「オフィスを訪ねる」を勉強する。 ②下記の「文法と作文」を学ぶ。 文法 1 ：「疑問詞+☒」構文； 文法 2 ：動詞の重ね方 ③置き換え練習 ④ヒヤリング練習
4 回目	第 2 課　レストランに食事に行く	①第 2 課の会話本文「レストランに食事に行く」を勉強する。 ②下記の文法を勉強する。 文法 3 ：「形容詞+了」構文 文法 4 ：選択疑問文「A ☒是 B？」 ③置き換え練習 ④ヒアリング練習
5 回目	第 1 課、第 2 課の音読練習と質問応答	①第 1 課、第 2 課の音読練習 ②第 1 課、第 2 課の質問解答
6 回目	第 3 課 銀行に行く	①第 3 課の会話本文「銀行に行く」を勉強する。 ②下記の文法を勉強する。 文法 5 ：助動詞「想」の用法 文法 6 ：結果補語「好」の用法 ③置き換え練習 ④ヒアリング練習
7 回目	第 4 課　商談をする	①第 4 課の会話本文「商談をする」を勉強する。 ②下記の文法を勉強する。 文法 7 ：結果補語「到」 文法 8 ：程度補語 ③置き換え練習 ④ヒアリング練習
8 回目	第 3 課、第 4 課の音読練習と質問応答	①第 3 課、第 4 課の音読練習 ②第 3 課、第 4 課の質問解答
9 回目	第 5 課　宴会のセッティングする	①第 5 課の会話本文「宴会のセッティング」を勉強する。 ②下記の文法を勉強する。 文法 9 ：数量述語文 文法 10 ：「把」+目的語+動詞」の構文 ③置き換え練習 ④ヒアリング練習
10 回目	第 6 課　有給休暇を取る	①第 6 課の会話本文「有給休暇をとる」を勉強する。 ②下記の文法を勉強する。 文法 3 ：「形容詞+了」構文 文法 11 ：助動詞「可以」の用法 文法 12 ：「快～了」の用法 ③置き換え練習 ④ヒアリング練習
11 回目	第 5 課、第 6 課の音読練習と質問応答	①第 5 課、第 6 課の音読練習 ②第 5 課、第 6 課の質問解答
12 回目	授業のまとめ	春学期の授業内容をまとめて復習する。
13 回目	授業内口頭試験	音読を練習の上音読録音を提出
14 回目	筆記試験、まとめと解説	教室で対面形式で筆記試験を行う。 試験後、まとめと解説をする

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回の授業内容と宿題をしっかり練習しましょう。
特に外国語の勉強にとっては、音読練習はとても重要なので、楽しく練習すれば、上手になります。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。
オンライン授業を実施する場合、ちゃんと ZOOM 授業に参加し、毎回のレポート課題をしっかりやりましょう。

【テキスト（教科書）】
『やさしいビジネス中国語』三潴正道他著、朝日出版社、2007 年、2,200 ＋税

【参考書】
中国語辞書
『商経学部生のための読む中国語』大羽りん・趙青著、白水社

【成績評価の方法と基準】
成績評価は、平常点と期末試験の点数により構成されます。
平常点は 30 %で、期末試験は 70 %。
平常点には、受講態度、小テスト、課題の完成度、口頭試問等を含みます。
期末試験の 70 %には、口頭試験は 20 %、筆記試験は 50 %。

【学生の意見等からの気づき】
授業の終了時間をオーバーしないように気を付けます。

【学生が準備すべき機器他】
オンライン授業を受講するための通信環境、PC などを準備してください。

【Outline and objectives】
This course is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners. This course is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners to acquire the basic grammer and to learn how to use Chinese by the Book of “Friendly Business”. The aim of this courseWe will improve the Chinese basic speaking, writing and applying ability.

LANc200LA

中国語３－Ⅱ

2017 年度以降入学者

王　翠莉

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
環 2 年 J～L

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業は、中国語３Ｉの続きで、中国語 1、中国語２を一通り終えた学生を対象とする授業です。
本授業では、中国語１と中国語２で学んだ基礎文法文型を生かし、教科書「優しいビジネス中国語」を勉強することにより、中国語の応用表現を覚えます。
本講義の目的は、ビジネス上で必要な中国語の基本会話と文章表現を勉強し覚えることにより、中国語の応用力の向上を目指すことにあります。

【到達目標】
本授業は、中国語３Ｉの続きです。
春学期に使用した教科書「やさしいビジネス中国語」を引き続き勉強し、第 7 課から勉強します。第 7 課からの内容は、空港待合室、アフタサービス、流通業のコンテナ輸送、就職面接＆待遇、病院で診察を受ける、国際入札、財務関係など、幅広く各分野にわたっていて、とても実用的で充実している内容です。これらのビジネス上で必要な中国語の表現を勉強することにより、自分の中国語の表現力と応用力が向上することができます。
教科書の本文は会話形式なので、ビジネス上で必要な基本会話とビジネス関係の中国語文章の翻訳ができるようになることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
本授業は、基本的には教科書を中心に授業を進めます。
教科書の各課は、会話本文、文法と作文、書き換え練習、ヒアリング練習と参考表現からなっています。
授業の進め方は、まず、教科書の文法を説明の上、受講生たちと一緒に会話本文を読んだり翻訳したりします。難しい中国語の表現がある場合、例文を挙げて説明したりします。本文と文法を勉強した後、書き換え練習、ヒアリング練習、参考表現を練習します。時間の余裕がある場合、音読と短文作りの練習をします。
二回の授業で 1 回単語小テストをします。小テストの点数を平常点に計上します。
授業中の練習方法としては、毎回の授業では音読と翻訳の練習をするから、時間の制限で全員はできないので、4，5 人ずつグループを作り、交代で音読と翻訳の発表をしてもらいます。毎回の授業では、学生全員に練習のチャンスを与えます。
課題等へのフィードバックは基本的には授業時間を通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回目	①オリエンテーション ②総合復習	①後期の授業の目標・内容、授業の進め方、成績評価の方法などについて説明する。 ②中国語で自己紹介文を書いて提出する。

2 回目	第 7 課　フライトを待つ	①第 7 課のポイントを説明する 文法 13 ：時間量を表す言葉の位置 文法 14 ：「被」の用法 ②会話本文「フライトを待つ」を勉強する。 ③書き換え練習 ④ヒアリング練習、 ⑤参考表現を説明する。
3 回目	第 8 課　アフターサービス	①第 8 課のポイントを解説する 文法 15 ：「吧」の用法 文法 16 ：「V ⊠～」の用法 ②会話本文「アフターサービス」を勉強する ③書き換え練習 ④ヒアリング練習、 ⑤参考表現を説明する。
4 回目	第 7 課、第 8 課の音読練習と質問解答	①第 7 課、第 8 課の音読練習 ②質問解答 ③単語小テスト
5 回目	第 9 課　コンテナ輸送	①第 9 課のポイントを説明する 文法 17 ：「一～就…」の構文 文法 18 ：「既～又…」の構文 ②会話本文「コンテナ輸送」を勉強する。 ③書き換え練習 ④ヒアリング練習、 ⑤参考表現を説明する。
6 回目	第 10 課　待遇	①第 10 課のポイントを説明する 文法 19 ：「（只有）～、才能…」の用法 文法 20 ：「作⊠～」の用法 ②会話本文「待遇」を勉強する。 ③書き換え練習 ④ヒアリング練習、 ⑤参考表現を説明する。
7 回目	第 9 課、第 10 課の音読練習と質問解答	①第 9 課、第 10 課の音読練習 ②質問解答 ③単語小テスト
8 回目	第 11 課　病院にて	①第 11 課のポイントを説明する 文法 21 ：「先～、然后…」の構文 文法 22 ：「不是～、而是…」の構文 ②会話本文「病院にて」を勉強する。 ③書き換え練習 ④ヒアリング練習、 ⑤参考表現を説明する。
9 回目	第 12 課　国際入札	①第 12 課のポイントを説明する 文法 23 ：「听～⊠/听⊠～」の構文 文法 24 ：「有」を伴う 2 音節動詞 ②会話本文「国際入札」を勉強する。 ③書き換え練習 ④ヒアリング練習、 ⑤参考表現を説明する。
10 回目	第 13 課　財務	①第 13 課のポイントを説明する 文法 25 ：様態補語と可能補語 文法 26 ：助詞「地」の用法 ②会話本文「財務」を勉強する。 ③書き換え練習 ④ヒアリング練習、 ⑤参考表現を説明する。
11 回目	第 11 課、第 12 課、第 13 課の音読練習と質問解答	①第 11 課、第 12 課、第 13 課の音読練習 ②質問解答 ③単語小テスト
12 回目	総合復習練習	①授業内容のまとめと復習 ②質問解答
13 回目	音読テスト	音読テスト
14 回目	秋学期授業内試験	授業内試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業内容を復習することはとても大事なことなので、宿題又は課題がある場合、ちゃんとやりましょう。
また、外国語の勉強にとっては、音読がとても重要なので、楽しく練習すればお上手になります。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『やさしいビジネス中国語』三潴正道他著、朝日出版社、2007 年、2,200 円＋税

【参考書】
『商経学部生のための読む中国語』大羽りん・趙青著、白水社、2019 年 2 月

【成績評価の方法と基準】
成績評価は、平常点と期末試験の点数により総合評価を出す。
平常点は 30%、期末試験は 70%。
平常点には、出席、授業中の小テストと練習および学習態度等を含む。
期末試験には、音読テストは 20%、筆記試験は 50%占める。
中国語検定試験 4 級以上の合格者には、期末筆記試験を免除する。
中国語検定試験の取得点数と期末口頭試験と平常点により評価をする。
＊無断欠席 4 回以上の受講生は評価対象にならない可能性がある。

【学生の意見等からの気づき】
授業中の私語と中国語学習以外の携帯使用を禁止する！
授業の終了時間をオーバーしないように気を付ける。

【Outline and objectives】
This course is Chinese Ⅰ of Ⅲ which is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners. This course is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners to acquire the basic grammer and to learn how to use Chinese by the Book of “Friendly Business Chinese. The aim of this courseWe will improve the Chinese basic speaking, writing and applying ability.

LANc200LA

中国語３－Ⅰ

2017 年度以降入学者

三田村　圭子

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
環 2 年 A～C

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
中国語の発音の基礎と基本文型、初級レベルの文法を復習しながら、文法項目の更なる基礎固めを行う。基礎の中国語で学習した事項をもとに、聞く・話す・読む・書くをバランスよく練習する。それによって、中級以上の中国語を学習する際に必要な事項を学習する。

【到達目標】
春学期終了時には、中国語検定４級程度の能力を習得し、生活の中で必要な表現を正確な文法を用いて書くことができ、口頭でも表現できることを到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
第 1 週目（初回授業）はオンラインで行います。詳細は学習支援システムでお知らせします。また、大学の「行動方針レベル２」となった場合、この授業は原則としてオンラインで行います。この場合も詳細は学習支援システムで伝達します。
　はじめの 3 回については基礎で学んだ事項について復習する。毎回、授業の始めに簡単な発音とヒアリングの練習を行い、本文へ進む。教科書は、文法の解説、発音練習、本文の訳といった順序で進める。その後、教科書付属の練習問題を行う。【課題へのフィードバック】文法問題に関しては授業時間に、まとめた回答を参考に解説する。音声ファイルは、発音の誤りが多い部分に関して授業開始時に復習をする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	基礎で学習した発音に関する復習①	自己紹介。特にピンインと発音の確認と練習。
第 2 回	基礎で学習した文型と時制に関する復習②	基礎文法事項（文型と時制）の練習。
第 3 回	基礎で学習した補語表現に関する復習③	簡単な自己紹介と通学について、介詞の復習表現を使い練習と発音練習。
第 4 回	趣味の聞き方と答え方。	動作の出来や程度と助動詞に関する練習。
第 5 回	アルバイトや仕事について話す。	伝聞・比較と簡単な構文の練習。比較表現と数字に関する表現の復習も兼ねて。
第 6 回	小テスト	第１課から第３課までの復習と到達度の確認。
第 7 回	時に関する表現	スケジュールに関連する表現、予定をたずねたり、招待したりする文例を学習する。
第 8 回	補語表現と少し複雑な表現	新しく学習した補語表現のまとめと指定した部分の暗誦とヒアリング問題を行う。
第 9 回	レストランでの表現	順番を表す表現と「把」構文に関しての練習。
第 10 回	料理を注文する。実際の状況を想定しての表現練習。	スケジュールを調整するところから、仕事で使用する表現のまとめ。
第 11 回	把構文と補語表現を用いての応用練習。	外部の試験問題の文法部分を実際に行ってみる。
第 12 回	春学期全体の復習。小テスト	特に第４課から第６課の仕事上で必要な日程調整、約束、場所に設定などに関する表現練習。
第 13 回	教科書付属のヒアリングと発音の復習と暗誦	第４課から第６課の総合練習問題と補充問題から行う。
第 14 回	基礎から中級文法事項の復習・期末試験	補語表現や把構文を主に復習し到達度の確認を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
時間のないときは音声教材だけでもよく聴いてくること。【予習】授業時に分担して日訳してもらうので翻訳は各自で行うこと。また自分の状況に合わせて答える問題を書いておくこと。【復習】文法での疑問や誤答をした部分の確認。その回の音声教材をよく聴くこと。【課題】音声教材付属のヒアリングの問題や自分の状況に合わせての問題を行う。

【テキスト（教科書）】
『しゃべくり中国語～場面による中国語会話』内田慶市・張軼欧著 金星堂　2200 円（税別）ISBN978-4-7647-0689-7 また随時、補充プリントを配布

【参考書】
授業開始以降に辞典や参考書について詳しく紹介する。

【成績評価の方法と基準】
期末試験 40 %、小テスト 30 %、課題（課題提出や暗誦）と平常点 30 %を総合して評価する。また、春学期においては HSK ３・４級・中国語検定試験４級合格者には 10 %を上限として加点をする。点数が極めて良好な場合は期末試験の一部を免除する。

【学生の意見等からの気づき】
昨年度は全てオンラインでした。開講が遅くなったため、前半は大学で特別公開した HSK の問題を一律行いました。今年度は教科書も変え、昨年度初めに十分に行えなかった口頭での練習を用意する予定です。本文が長く翻訳の確認時間がとられた問題に関しては、教科書に変更に伴い実践練習を確保できるようになるかと思います。

【学生が準備すべき機器他】
各自が最もヒアリング練習に便利な音声教材をダウンロードできる機器

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３－Ⅱ

2017 年度以降入学者

三田村　圭子

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
環 2 年 A～C

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
文法に関しては長めの会話文の学習を通じ、さまざまな中国語の表現を身につける。また、実際に作文や口頭の練習を行うことによって、新たに学習した構文の定着をはかり、HSK や中国語検定試験に対応しうる能力を養成する。

【到達目標】
より複雑な構文を習得し、自分の生活関する事柄や仕事でも使用できる表現を明瞭に安定して運用できるようになる。文法に関しては中国語検定３級程度の能力を習得することを到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
春学期よりも授業進行が、若干速めになる。基本的には、春学期の授業進行と同様、文法の解説、発音の練習、本文の訳の順番だが、途中で、中国語検定問題や応用問題を行う時間をとる。また、比較的難解な文法事項についてはプリントを使用しながら学習する。【課題へのフィードバック】文法問題に関しては授業時間に回答を一覧にまとめたもので解説する。発音に関しては各回の授業開始時に誤りが多かったフレーズを練習する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	第１課から第６課までの復習と発音練習	発音練習と春学期に学習した事項と数字に関連する表現の復習。
第 2 回	健康状態を伝える表現。	すでに起こったことについて尋ねる表現。時制と「才」「就」の練習。
第 3 回	診察のときの表現。	動作・行為・状況の結果の表現と練習問題。
第 4 回	買い物に関連する表現。	相手の意見を求める表現と限度・限界の表現。本文の翻訳の確認と文法の解説。
第 5 回	復習	第１回から４回までの総合練習とヒアリング問題の確認。
第 6 回	小テスト	食事・病院・買い物にかんする表現のまとめ。残りの時間は外部の試験問題を行う。
第 7 回	旅行について。	強調構文と近未来の表現のまとめ。
第 8 回	結果補語・反語・使役の表現。	補語表現の総合復習②
第 9 回	髪型について。	本文の訳と文法解説。褒めたり謙遜したりする定型フレーズの確認。
第 10 回	方向補語と「了」の復習	検定試験の補語についての問題を行う。
第 11 回	小テスト	第７回から１０回までの指定部分暗誦とヒアリングも行う。
第 12 回	ファッション。	本文の翻訳と文法の解説。条件の追加を示す構文を使った表現練習。
第 13 回	新しい構文を使った表現練習のまとめ。ホテルでの表現。	やり残した問題や誤りの多かった発音について確認して練習。
第 14 回	応用表現の総合復習期末試験	第 10 課から第 12 回までを中心に。ホテルを予約するときに役立つ表現の暗誦。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
秋学期は内容も難しくなるので音声教材をよく聴くこと。また授業以外でも DVD を観るなど、幅広く興味を持ってほしい。【予習】授業では翻訳の確認を行うので各自、日訳を作成することと本文の音声をあらかじめ聴いておくこと。【復習】自分のことに置き換えて表現する問題を行う。【課題】自分のことに置き換えて表現する練習問題は、筆記あるいは音声ファイルの提出で授業内で指定する。

【テキスト（教科書）】
『しゃべくり中国語～場面による中国語会話』内田慶市・張軼欧著 金星堂　2200 円（税別） 随時、補助プリントを配布。

【参考書】
秋学期授業時開始以降に再度、辞典や参考書について紹介する。

【成績評価の方法と基準】
期末試験 40 %、小テスト 30 %、課題。平常点 30 %を総合して評価する。3 分の 1 以上欠席した学生は評価の対象としない。また、遅刻 3 回で欠席 1 回とみなす。特に各自が行う課題に関しては採点の比重を重く置く。外部試験の点数が極めて良好な場合は期末試験の一部を免除し、中検３級合格者と HSK4 級以上の合格者は試験を免除し S の評価を与える。

【学生の意見等からの気づき】
昨年度はオンラインということで、毎回課題はあったもののレベルに応じた問題の準備ができず、進行の速い学生には不十分であった。課題の提出状況は極めて良好であったにもかかわらず、課題の全てにコメントを付けて返却することはできなかった問題があったので、今年度は問題数なども調整し、根本的な改善を行うつもりでいる。

【学生が準備すべき機器他】
音声をダウンロードできる機器

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３－Ⅰ

2017 年度以降入学者

薬　進

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
環 2 年 D～F

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
一年生で習った初級をしっかり復習しながら、日常をコミュニケーションできる中級レベルの中国語を目指しましょう。

【到達目標】
基礎段階を終えた学習者を対象に、より複雑な中国語の表現で日常の生活における交流場面に対応できるように、読む・聞く・話す・書く能力を身につけることを目標とする。到達レベルは、中国語検定試験の 3 級合格可能な程度である。3 級合格者は、成績評価が A+ となる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
この授業の目的は、架空の中国生活ではなく、日本での日常について質問し、答えられるようにすることです。中国語のコミュニケーションは、他のコミュニケーションと同様に、送受信＝質問と答えのやり取りを基本としている。問いと答えを繰り返せば必ず話せるようになる。一年生で発音の基礎と基本的な表現を習得した学習者が、複文や接続詞などより複雑な表現を学び、日常の生活における交流場面に対応する、比較的高度な中国語のコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。
授業形態はハイブリッド型授業（対面授業とオンライン授業の組み合わせ）となります。『学習支援システム』において、各授業日における学習内容（テキスト及び説明（音声、ビデオ））は、『課題』フォルダで授業日別に提示し、学習終了後に課題が必要です。
対面授業では、課題の要点解説や文法事項の詳細な解釈及び質疑応答を行います。
会話練習、本文の朗読指導は zoom にて行います。
課題等へのフィードバックは以下のようになります。
（1）対面授業時に説明します。
（2）「授業内掲示板」で随時受け付けして回答します。
（3）個別相談等は shin.yaku.56@hosei.ac.jp で随時受け付けして回答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	第一課	初級の復習（1）
2 回	第一課	初級の復習（2）
3 回	第二課	初級の復習（1）
4 回	第二課	初級の復習（2）
5 回	第三課	ある動作を行う目的や方式を説明する表現
6 回	第四課	好き嫌い・心配の表現
7 回	復習	第一課～第四課の復習
8 回	第五課	動作の程度・状態を説明する表現
9 回	第六課	能力と可能性の表現
10 回	第七課	動作の結果を説明する表現
11 回	第八課	動作の方向を説明する表現
12 回	第九課	動作の結果と方向の可能性を表す表現
13 回	第十課	使役の表現
14 回	復習	Ⅰ期のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
語学力は短期間で身につけられない。日々の積み重ねこそ大切である。初級に比べより高度な内容となるので、放課後の予習・復習を怠らないこと。付属の CD と DVD を活用して、また初級復習用に配布したフリントに基づく問答ができるよう（試験範囲内）、練習を繰り返し行い、毎回授業の初めに聞かれる質問に即答できるようにしていただきたい。

【テキスト（教科書）】
『日常のコミュニケーションができる中国語中級』株式会社シーエスピー出版部,、PDF 版無償提供。
各授業日に使用される資料（音声、ビデオ、文字）は『課題』の授業日別フォルダに記載または添付します。

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
評価基準は、平常点 65 %、最終課題 35 %とする。
1）平常点について（1 回～13 回）
オンライで提出する課題を対象に次の採点基準を採用します。
①提出期限内に提出し、必要な項目をすべて解答した場合の得点：満点
②提出期限内に提出したが、解答していない必要な項目があった場合：配点の 6 割程度
③提出期限切れて（期限過ぎて一週間まで受理）提出したが、必要な項目をすべて解答した場合の得点：配点の 5 割程度
④提出期限切れて（期限過ぎて一週間まで受理）提出したが、解答していない必要な項目があった場合の得点：配点の 2.5 割程度
＊対面授業または zoom によるオンライン授業に出席した場合、その日に設定される課題の提出はしなくても結構です。
2）最終課題（14 回目）
当日提出、35 点分。

【学生の意見等からの気づき】
書く練習をより多くしたいとの要望に応えていきたい。

【学生が準備すべき機器他】
PDF 版テキストは、授業支援システムより各自ダウンロードし、印刷する必要があります。
附属 CD・DVD も授業支援システムにて提供されます。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語３－Ⅱ

2017 年度以降入学者

薬　進

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
環 2 年 D～F

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
一年生で習った初級をしっかり復習しながら、日常をコミュニケーションできる中級レベルの中国語を目指しましょう。

【到達目標】
基礎段階を終えた学習者を対象に、より複雑な中国語の表現で日常の生活における交流場面に対応できるように、読む・聞く・話す・書く能力を身につけることを目標とする。到達レベルは、中国語検定試験の 3 級合格可能な程度である。3 級合格者は、成績評価が A+ となる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
この授業の目的は、架空の中国生活ではなく、日本での日常について質問し、答えられるようにすることです。中国語のコミュニケーションは、他のコミュニケーションと同様に、送受信＝質問と答えのやり取りを基本としている。問いと答えを繰り返せば必ず話せるようになる。一年生で発音の基礎と基本的な表現を習得した学習者が、複文や接続詞などより複雑な表現を学び、日常の生活における交流場面に対応する、比較的高度な中国語のコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。
授業形態はハイブリッド型授業（対面授業とオンライン授業の組み合わせ）となります。『学習支援システム』において、各授業日における学習内容（テキスト及び説明（音声、ビデオ））は、『課題』フォルダで授業日別に提示し、学習終了後に課題が必要です。
対面授業では、課題の要点解説や文法事項の詳細な解釈及び質疑応答を行います。
会話練習、本文の朗読指導は zoom にて行います。
課題等へのフィードバックは以下のようになります。
（1）対面授業時に説明します。
（2）「授業内掲示板」で随時受け付けして回答します。
（3）個別相談等は shin.yaku.56@hosei.ac.jp で随時受け付けして回答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	総括	Ⅰ期期末試験の解説
2 回	復習	春学期の復習
3 回	第十一課	受身の表現
4 回	第十二課	存在と出現を説明する表現
5 回	第十三課	対象への処理・処分を表す表現
6 回	第十四課	二つの動作の前後順・時間順の表現
7 回	復習	第十一課～第十四課の復習
8 回	第十五課	仮定の表現
9 回	第十六課	因果関係を表す表現
10 回	第十七課	逆接関係を表す表現
11 回	第十八課	付け加えの表現
12 回	第十九課	除外の表現
13 回	第二十課	何でもどこでも誰でも
14 回	復習	Ⅱ期のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
語学力は短期間で身につけられない。日々の積み重ねこそ大切である。初級に比べより高度な内容となるので、放課後の予習・復習を怠らないこと。付属の CD と DVD を活用して、また初級復習用に配布したフリントに基づく問答ができるよう（試験範囲内）、練習を繰り返し行い、毎回授業の初めに聞かれる質問に即答できるようにしていただきたい。

【テキスト（教科書）】
『日常のコミュニケーションができる中国語中級』株式会社シーエスピー出版部、PDF 版無償提供。
各授業日に使用される資料（音声、ビデオ、文字）は『課題』の授業日別フォルダに記載または添付します。

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
評価基準は、平常点 65 %、最終課題 35 %とする。
1）平常点について（1 回～13 回）
オンライで提出する課題を対象に次の採点基準を採用します。
①提出期限内に提出し、必要な項目をすべて解答した場合の得点：満点
②提出期限内に提出したが、解答していない必要な項目があった場合：配点の 6 割程度
③提出期限切れて（期限過ぎて一週間まで受理）提出したが、必要な項目をすべて解答した場合の得点：配点の 5 割程度
④提出期限切れて（期限過ぎて一週間まで受理）提出したが、解答していない必要な項目があった場合の得点：配点の 2.5 割程度
＊対面授業または zoom によるオンライン授業に出席した場合、その日に設定される課題の提出はしなくても結構です。
2）最終課題（14 回目）
当日提出、35 点分。
検定試験 3 級合格者：Ⅱ期終了時合格は 90 点プラス。

【学生の意見等からの気づき】
書く練習をより多くしたいとの要望に応えていきたい。

【学生が準備すべき機器他】
PDF 版テキストは、授業支援システムより各自ダウンロードし、印刷する必要があります。
附属 CD・DVD も授業支援システムにて提供されます。

【Outline and objectives】
This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

LANc200LA

中国語コミュニケーション初級Ⅰ　2017 年度以降入学者

周　重雷

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**火** 2/Tue.2
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 2〜4 年※定員制

他学部公開：○　**グローバル：**　**成績優秀：**○　**実務教員：**

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
中国語の発音及び基礎的な文法事項を固めつつ、中国語のコミュニケーションに必要な知識を養成する。

【到達目標】
構文をしっかり覚える。
発音を正確にする。
日常会話ができるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
履修者のレベルを確認した上、様々な会話パターンを作って練習していく。
課題などのフィードバックは授業時間に、もしくはメールにて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	ガイダンス	シラバスの配布と説明。
第 2 回	ピンイン	ピンインの復習
第 3 回	あいさつ	あいさつなどの日常用語の練習をする
第 4 回	会話（1）	自己紹介の練習をする
第 5 回	授業内発表（1）	自己紹介を発表する
第 6 回	基本構文（1） 自由会話	１、主語・述語・目的語２、疑問文
第 7 回	基本構文（2） 自由会話	１、連体修飾語 ２、連用修飾語
第 8 回	基本構文（3） 自由会話	１、「着」、「了」、「過」 ２、補語
第 9 回	会話（2）	レストランでの会話
第 10 回	授業内発表（2）	講師と一対一でレストランでの会話をする
第 11 回	会話（3）	買い物する時の会話パターン
第 12 回	授業内発表（3）	講師と一対一で買い物のシミュレーションをする
第 13 回	復習	文法の復習をする
第 14 回	まとめ	口頭テストを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
宿題や発表の準備など、毎回 1 時間ほどの復習をする。
また、HSK や中国語検定の受験も推奨される。

【テキスト（教科書）】
教員によるプリント配布

【参考書】
日中・中日辞書（電子機器も可）

【成績評価の方法と基準】
期末テスト： 60 %
発表： 40 %

【学生の意見等からの気づき】
基本は対面授業ですが、参加できない人には講義をオンデマンド配信した上、SNS 等を使って個別指導を行います。
またそれぞれのレベルの差に配慮をする。

【学生が準備すべき機器他】
スマートフォンは必須

【その他の重要事項】
特になし。

【Outline and objectives】
This is the Chinese conversation course for intermediate learners. The aim of this course is to master intermediate level conversation skill. We will study basic vocabulary and grammar, and improve Chinese speaking skill.

LANc200LA

中国語コミュニケーション初級Ⅱ　2017 年度以降入学者

周　重雷

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**火** 2/Tue.2
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 2〜4 年※定員制

他学部公開：○　**グローバル：**　**成績優秀：**○　**実務教員：**

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
中国語の基礎的な文法事項の基礎を固めつつ、中国語のコミュニケーションに必要な知識を養成する。

【到達目標】
「読む、書く、聞く、話す」を全体的にスキルアップを図る。
日常の中国語のコミュニケーションが取れるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
履修者のレベルに合わせ、文法を復習しつつ、会話の練習を強化していく。
課題などのフィードバックは授業時間に、もしくはメールにて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	復習	春学期の授業内容の復習
第 2 回	文法（1） 自由会話	複文のさまざま
第 3 回	文法（2）	プリントにある文法に関する問題を解く
第 4 回	会話（1）	待ち合わせ
第 5 回	授業内発表（1）	待ち合わせの会話を発表
第 6 回	会話（2）	病院での会話パターン
第 7 回	授業内発表（2）	講師と一対一で病院でのやり取りを練習する
第 8 回	会話（3）	道を尋ねる/教える
第 9 回	授業内発表（3）	講師と一対一で道順に関するやり取りをする
第 10 回	会話（4）	スピーチやものの語り方
第 11 回	授業内発表（4）	スピーチ/ものを語る
第 12 回	作文	作文の練習
第 13 回	授業内発表（5）	作文の発表
第 14 回	まとめ	口頭による試験を行う　まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎週 1 時間を目途に復習する。
単語を調べて、オリジナルの長文及び会話文を作る。
また、HSK や中国語検定の受験も推奨される。

【テキスト（教科書）】
教員によるプリント配布

【参考書】
日中・中日辞書（電子機器も可）

【成績評価の方法と基準】
期末テスト： 60 %
発表： 40 %

【学生の意見等からの気づき】
基本は対面授業ですが、参加できない人には講義をオンデマンド配信した上、SNS 等を使って個別指導を行います。

【学生が準備すべき機器他】
スマートフォンは必須

【その他の重要事項】
特になし。

【Outline and objectives】
This is the Chinese conversation course for intermediate learners. The aim of this course is to master intermediate level conversation skill. We will study basic vocabulary and grammar, and improve Chinese speaking skill.

LANc200LA

中国語作文初級 I

2017 年度以降入学者

康　鴻音

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 2〜4 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本講義は初級で学んだ中国語の基礎を固め、読解力や翻訳力の向上を図ります。そして正しい声調で、自然なリズムで話せるようにも指導します。

【到達目標】
中国語の基礎文法を一通り学ぶことによって一応の文章も読解でき、翻訳ができる段階まで力を付けることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
プリントを事前に配り、予習してもらいます。授業中にチェックします。必要に応じて授業後の指導もできます。
社会情勢に合わせてオンデマンドとオンライン授業（リアルタイム）を実施する場合もあります。その時、お知らせします。
課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	オリエンテーション	レベルチェック
2 回	数字の使い方（一）	例文解説
3 回	数詞の使い方（二）	翻訳の練習
4 回	「是」の使い方（一）	例文解説
5 回	「是」の使い方（二）、一日の行動	翻訳の練習
6 回	連体修飾語＋的＋被修飾語	例文解説、翻訳の練習
7 回	「有」構文、「在」構文	例文解説、翻訳の練習
8 回	疑問詞の使い方	例文解説、翻訳の練習
9 回	介詞の使い方	例文解説、翻訳の練習
10 回	「比較」の表現	例文解説、翻訳の練習
11 回	程度補語の使い方	例文解説、翻訳の練習
12 回	アスペクト（一）	例文解説
13 回	アスペクト（二）	翻訳の練習
14 回	総復習	補足説明・期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
必ず予習すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
授業にてプリント配布

【参考書】
辞書を必ず用意すること。

【成績評価の方法と基準】
対面授業が再開された場合には期末試験を実施し 40 %にします。ふだんの成績は 60 %にします。再開されなかった場合には、毎回の課題の実施状況によって評価します。

【学生の意見等からの気づき】
発音の指導を徹底的にやるつもりです。

【学生が準備すべき機器他】
オンライン授業を受講するため通信環境・PC の準備をしてください。

【その他の重要事項】
学生の様子によって、内容を調整する場合があります。

【Outline and objectives】
In this course, we will improve the writing skill of Chinese through reviewing the basic grammar.

LANc200LA

中国語作文初級Ⅱ

2017 年度以降入学者

康　鴻音

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 2〜4 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本講義は初級で学んだ中国語の基礎を固め、読解力や翻訳力の向上を図ります。

【到達目標】
中国語の基礎文法を一通り学ぶことによって一応の文章も読解でき、翻訳できる段階まで力を付けることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
まず中国語作文の基礎を理解してもらい、基本的な文法事項や重要な文型について詳しく説明します。それを基に、単文を中心とした練習問題を解くことによって基礎的な作文能力を高めていきます。必要に応じて授業後の指導もできます。
社会情勢に合わせてオンデマンドとオンライン授業（リアルタイム）を実施する場合もあります。その時、学習支援システムでお知らせします。
課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	能願動詞の使い方	例文解説、翻訳の練習
2 回	方向補語	例文解説、翻訳の練習
3 回	結果補語	例文解説、翻訳の練習
4 回	可能補語	例文解説、翻訳の練習
5 回	兼語文	例文解説、翻訳の練習
6 回	受身文	例文解説、翻訳の練習
7 回	「是……的」構文	例文解説、翻訳の練習
8 回	存現文	例文解説、翻訳の練習
9 回	介詞の使い方	例文解説、翻訳の練習
10 回	「比較」の表現	例文解説、翻訳の練習
11 回	「把」構文	例文解説、翻訳の練習
12 回	動量補語・時量補語	例文解説、翻訳の練習
13 回	複文・「了」の使い方	例文解説、翻訳の練習
14 回	総復習	補足説明・期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
必ず予習すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
プリント添付

【参考書】
辞書を必ず用意すること。

【成績評価の方法と基準】
対面授業が再開された場合には期末試験を実施し、40 %にし、ふだんの成績は 60 %にする。再開されなかった場合には、毎回の課題の出来具合によって評価する。

【学生の意見等からの気づき】
学生から高く評価された。続けてこのやり方でやります。

【学生が準備すべき機器他】
オンライン授業を受講するため通信環境・PC の準備をしてください。

【その他の重要事項】
学生の様子によって内容を調整することがあります。

【Outline and objectives】
In this course, we will improve the writing skill of Chinese through reviewing the basic grammar.

LANc200LA

中国語視聴覚初級Ⅰ

2017 年度以降入学者

劉　渴氷

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 2〜4 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
中国の様子を紹介する映像を見ながら、会話文や読解文を学習します。聞き取り・書き取り練習を通して、リスニング力を鍛えることを目的とします。同時に、中国文化への理解も深めます。

【到達目標】
1 年生で学んだ基礎的な中国語運用能力を伸ばし、とくに中国語の「音」に慣れ、リスニング力を向上させることが目標です。中検３級を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
単語を習得し、文法を理解する。
DVD 教材を観ながら、聞き取り・書き取り練習を行う。
簡単な中国語作文・会話練習を行う。
課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う。
本授業はハイブリッド（オンラインと対面を併用）で行います。授業についての詳細は学習支援システムでお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容に関するガイダンス
2	第１課	文法理解と応用
3	第１課	会話と応用
4	第１課	読解文の理解と応用
5	第２課	文法理解と応用
6	第２課	会話と応用
7	第２課	読解文の理解と応用
8	第３課	文法理解と応用
9	第３課	会話と応用
10	第３課	読解文の理解と応用
11	第４課	文法理解と応用
12	第４課	会話と応用
13	第４課	読解文の理解と応用
14	授業の総まとめと試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業前に単語の意味を調べる。教材の予習復習をする。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
洪潔清著『チャイニーズアドベンチャー〜DVD で学ぶ中国文化〜』金星堂

【参考書】
授業中に指示。

【成績評価の方法と基準】
課題提出　授業への参加度 ６０％　期末レポート試験４０％

【学生の意見等からの気づき】
特に無し。

【学生が準備すべき機器他】
オンライン授業を受講するための通信環境、PC 等を準備して下さい。

【Outline and objectives】
In this course, we will use the basic audio-visual materials and improve the listening skill of Chinese.

LANc200LA

中国語視聴覚初級Ⅱ

2017 年度以降入学者

劉　渴氷

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 2〜4 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
中国の様子を紹介する映像を見ながら、会話文や読解文を学習します。聞き取り・書き取り練習を通して、リスニング力を鍛えることを目的とします。同時に、中国文化への理解も深めます。

【到達目標】
1 年生で学んだ基礎的な中国語運用能力を伸ばし、とくに中国語の「音」に慣れ、リスニング力を向上させることが目標です。中検３級を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
単語を習得し、文法を理解する。
DVD 教材を観ながら、聞き取り・書き取り練習を行う。
簡単な中国語作文・会話練習を行う。
課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス復習	授業内容に関するガイダンスと復習
2	第５課	文法理解と応用
3	第５課	会話と応用
4	第５課	読解文の理解と応用
5	第６課	文法理解と応用
6	第６課	会話と応用
7	第６課	読解文の理解と応用
8	第７課	文法理解と応用
9	第７課	会話と応用
10	第７課	読解文の理解と応用
11	第８課	文法理解と応用
12	第８課	会話と応用
13	第８課	読解文の理解と応用
14	授業の総まとめと試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業前に単語の意味を調べる。教材の予習復習をする。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
洪潔清著『チャイニーズアドベンチャー〜DVD で学ぶ中国文化〜』金星堂

【参考書】
授業中に指示。

【成績評価の方法と基準】
課題提出　授業への参加度 ６０％　期末レポート試験４０％

【学生の意見等からの気づき】
特に無し。

【Outline and objectives】
In this course, we will use the basic audio-visual materials and improve the listening skill of Chinese.

LANc200LA

資格中国語初級Ⅰ

2017 年度以降入学者

青木　正子

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 2〜4 年※定員制

他学部公開：○　**グローバル：**　**成績優秀：**○　**実務教員：**

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
HSK（⊠⊠水平考⊠）１級〜３級合格レベルの中国語を身につけることが、この授業の目的です。春学期中に２級、秋学期中に３級に合格できるよう指導します。
ただ、HSK のリスニングは難しいので、中国検定準 4 級程度からトレーニングを始めていきます。
向上心のある学生の参加を歓迎します。単位のためだけの履修は向きません。
中国語が好きな人が集まりますので、情報交換もできて、いつも楽しいクラスです。

【到達目標】
HSK ２級に合格できるリスニング力と読解力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
HSK の過去問プリントを使って学習します。必要な単語と文法を学び、実際の過去問を解いて実践力を養います。今年度は特にリスニング練習を強化したいと考えています。中国語検定準４級程度の簡単なものからトレーニングを始めます。繰り返し練習して、リスニング力を養います。
フィードバックは授業内に行います。
緊急時はメールで対応します。
masako.aoki.xm@hosei.ac.jp

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	レベルチェックテスト	メンバーのレベルをチェックします。
2	HSK １級単語	HSK １級単語を学びます。リスニング練習をします。
3	HSK １級単語復習	HSK １級単語リスニングテスト
4	HSK １級単語	HSK １級単語を学びます。リスニング練習をします。
5	HSK １級単語復習	HSK １級単語リスニングテスト
6	HSK １級過去問	HSK １級過去問を解きます。
7	HSK １級過去問	HSK １級過去問を解きます。
8	HSK ２級単語	HSK ２級単語を学びます。
9	HSK ２級単語	HSK ２級単語リスニングテスト。
10	HSK ２級	HSK ２級単語を学びます。
11	HSK ２級単語	HSK ２級単語リスニングテスト
12	HSK ２級単語	HSK2 級単語を学びます
13	HSK ２級単語	HSK ２級単語リスニングテスト
14	春学期復習	復習テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
良く復習すること。覚えた単語は忘れないようにすること。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
プリント教材を配布

【参考書】
HSK 過去問、単語集

【成績評価の方法と基準】
授業内テストの合計点で評価します。
積極的な学生には加点します。

【学生の意見等からの気づき】
リスニング教材を充実させます。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to pass 1st~2nd grade of HSK (Hanyu Shuiping Kaoshi) test. To achieve this aim, we will review the basic Chinese grammar and vocabulary, and do past HSK questions.

LANc200LA

資格中国語初級Ⅱ

2017 年度以降入学者

青木　正子

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 2〜4 年※定員制

他学部公開：○　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
HSK ３級合格レベルの中国語を身につけることが目的です.
この授業は春学期から継続しています。秋学期からの参加も歓迎します。
中国語が好きな、意欲的な学生の参加を歓迎します。
いつも楽しいクラスです。
ほぼ全員が 3 級に合格しています。

【到達目標】
HSK ３級合格以上を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
プリント教材を使って、HSK ３級の単語と文法を学びます。リスニング練習を重視します。
フィードバックは授業内に行います。
緊急時はメールで対応します。
masako.aoki.xm@hosei.ac.jp

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	HSK ３級過去問	HSK ３級過去問
2	HSK ３級過去問	HSK ３級過去問
3	HSK ３級過去問	HSK ３級過去問
4	HSK ３級過去問	HSK ３級過去問
5	HSK ３級過去問	HSK ３級過去問
6	HSK ３級過去問	HSK ３級過去問
7	HSK ３級過去問	HSK ３級過去問
8	HSK ３級過去問	HSK ３級過去問
9	HSK ３級過去問	HSK ３級過去問
10	HSK ３級過去問	HSK ３級過去問
11	HSK ３級過去問	HSK ３級過去問
12	HSK ３級過去問	HSK ３級過去問
13	HSK ３級過去問	HSK ３級過去問
14	授業の総まとめと期末テスト	期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業で学んだことを忘れないように、よく復習すること。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
プリント教材を配布します。

【参考書】
HSK3 級過去問、単語集

【成績評価の方法と基準】
期末テストで評価します。4 回以上欠席の者は不合格です。

【学生の意見等からの気づき】
リスニング教材を充実させ、総合的な力がつくように工夫します。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to pass 1st~2nd grade of HSK (Hanyu Shuiping Kaoshi) test. To achieve this aim, we will review the basic Chinese grammar and vocabulary, and do past HSK questions.

ARSe200LA

中国語の世界ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

渡辺　大

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1～4 年※定員制

他学部公開：○　**グローバル：**　**成績優秀：**○　**実務教員：**

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
中国語ということばを通して、中国文化、また、中国という国について考えます。

【到達目標】
中国語そのものを学ぶ授業ではありませんが、中国語ということばを通してみえる世界が、日本語を通してみる世界とはいかに違うか、を実感してもらえればと思います。また、ことばについて知ることで、我々自身についても新しい発見をしたり、新しいものの見方ができるような授業を心がけます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
対面とオンラインのハイブリット型を予定しています。
教員が作成、配布する資料をもとに講義をおこない、トピック毎に講義内容のまとめや課題に取り組み提出してもらいます。
質疑応答、課題等へのフィードバックは随時授業時におこなうほか、大学の学修支援システムやメールを利用します。
受講生と相談しながらよりよい進め方を模索していきたいとおもいます。
なお、感染状況によって、大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンラインで行うこととします。
詳細は学習支援システムで伝達します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
①	ことばとは何か	あまりにも身近すぎて気づきにくいことばのはたらきについて考えます。
②	類型論からみた中国語	英語や日本語と比較した中国語の特徴
③	中国語の音韻体系－その１	声調・韻母・声母
④	中国語の音韻体系－その２	有声音・無声音等
⑤	中国語文法概説－その１	品詞分類
⑥	中国語文法概説－その２	形態素・単語・フレーズ・センテンス
⑦	中国語文法概説－その３	承前
⑧	中国語の語彙－その１	語彙からみる中国的発想法
⑨	中国語の語彙－その２	外来語・新語・流行語
⑩	中国語の語彙－その３	中国語になった日本語と日本語になった中国語
⑪	文語と白話	書き言葉と話し言葉
⑫	中国語の方言	言語の変化－その１
⑬	大陸の中国語と台湾の中国語	言語の変化－その２
⑭	まとめと試験	論述式の試験をおこないます。まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業のまとめや課題をトピック毎に提出してもらいます。
一般的に大学の基準では、授業時間のほか、準備・復習、合わせて 4 時間が標準的学習時間とされています。
本授業もそれを前提におこないます。

【テキスト（教科書）】
教員が作成した教材を印刷して授業時に配布します。
また学修支援システムにも PDF を UP します。

【参考書】
・牛島徳次ほか,『中国文化叢書 1　言語』, 大修館, 1967 年
・朱德熙著/中川正之・木村英樹編訳,『文法のはなし』, 光生館, 1986 年
・木村英樹,『中国語はじめの一歩』, ちくま新書, 1996 年
・藤堂明保,『漢字とその文化圏』（中国語研究学習双書 3）, 光生館, 1971 年
・阿辻哲次,『図説漢字の歴史』（普及版）, 1989 年
・林四郎/松岡栄志『日本の漢字・中国の漢字』, 三省堂, 1995 年

【成績評価の方法と基準】
まとめと課題（30 %）、期末試験（70 %）
まとめは講義の内容を理解しているかを確認するためのもので基本的にトピック毎に提出してもらいます。
期末試験としてレポート（3200 字程度）を提出してもらいます。
レポートの題目は自身で設定してください。
ただし、以下の 3 点、すべてについて具体例をあげながら考察すること。
　①「中国語ということば」
　②「外国語を学ぶということ」
　③「人間にとってことばとは」
評価の基準は、
　⑴講義の内容をふまえているか、
　⑵ことばをめぐる問題を多様な角度から捉えているか、
　⑶自身の考えをもち、それを自身のことばで表現しているか、
の 3 点です。
レポートは「まとめ」や「課題」を利用して作成できるよう、普段から心がけておいてください。

【学生の意見等からの気づき】
毎年、受講者の中には、中国語を履修していない人もいれば、中国語を母語とする人もいます。受講理由は様々でしょうが、中国語を学ぼうとする人にはもちろん、どのような受講者にも、「ことばって面白い」と感じてもらえる授業をしたいと思います。

【その他の重要事項】
※ 4 月 30 日（木）に最初の資料をアップロードする予定です。
※それまでは参考文献にあげた文献を読むなどしてください。
（かなり難しいものも含まれていますのでかならずしも挙げたものでなくともかまいません。
　また書籍以外でも中国語に関するものであればなんでもかまいません）
※それまでの連絡は掲示板、もしくはメールにてどうぞ。
今年は対面での授業ができずに残念ですが、その分、より丁寧に、より分かりやすい授業となるよう心がけたいと思います。
このような形式での授業は初めてですので色々試行錯誤するとおもいますがどうぞよろしくお願いします。

【Outline and objectives】
Through Chinese language, we will think about Chinese culture and view of the world.

ARSe200LA

中国語の世界ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

渡辺　大

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1～4 年※定員制

他学部公開：○　**グローバル：**　**成績優秀：**○　**実務教員：**

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
中国語を表記する文字体系である漢字にまつわることがらを通して、中国的思考法について考えます。

【到達目標】
中国語そのものを学ぶ授業ではありませんが、漢字という文字体系が、中国語や中国的思考法といかに結びついているのか、を理解してもらえればと思います。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
対面とオンラインのハイブリット型を予定しています。
教員が作成、配布する資料をもとに講義をおこない、トピック毎に講義内容のまとめや課題に取り組み提出してもらいます。
質疑応答、課題等へのフィードバックは随時授業時におこなうほか、大学の学修支援システムやメールを利用します。
受講生と相談しながらよりよい進め方を模索していきたいとおもいます。
なお、感染状況によって、大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンラインで行うこととします。
詳細は学習支援システムで伝達します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
①	中国文化の思考基底－その１	中国的世界観・人間観の特徴
②	中国文化の思考基底－その２	儒家思想と中国の歴史・文化
③	中国文化の思考基底－その３	中国文化における道家思想の役割
④	中国文化の思考基底―その４	古い中国と新しい中国
⑤	漢字学の伝統－その１	中国の伝統的学問分類と漢字学の位置づけ
⑥	漢字学の伝統－その２	許慎と『説文解字』
⑦	漢字学の伝統－その３	漢字の分類法と字書の変遷
⑧	漢字学の伝統―その４	日本における漢字研究
⑨	漢字の歴史－その１	甲骨文・金文・戦国文字
⑩	漢字の歴史－その２	小篆・隷書・楷書
⑪	漢字の歴史－その３	文字の社会的機能の変遷
⑫	漢字の歴史―その４	新中国における文字改革
⑬	日本人と漢字	日本における漢字の受容
⑭	まとめと試験	論述形式の試験をおこないます。まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
課題を適宜出します。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 4 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
授業時にプリントを配布します。

【参考書】
・牛島徳次ほか，『中国文化叢書 1　言語』，大修館，1967 年
・朱德熙著/中川正之・木村英樹編訳,『文法のはなし』, 光生館, 1986 年
・木村英樹，『中国語はじめの一歩』，ちくま新書，1996 年
・藤堂明保，『漢字とその文化圏』（中国語研究学習双書 3），光生館，1971 年
・阿辻哲次，『図説漢字の歴史』（普及版），1989 年
・林四郎/松岡栄志『日本の漢字・中国の漢字』，三省堂，1995 年

【成績評価の方法と基準】
小テスト（30 %）、期末試験（70 %）
小テストは講義の内容を理解しているかを確認するためのもので基本的に毎授業おこないます。
期末試験は論述式でおこないます。評価の基準は、①講義の内容をふまえているか、②漢字という文字、書写言語と音声言語との違い、人間にとって文字とは、というような問題を多様な角度から捉えているか、③自身の考えをもち、それを自身のことばで表現しているか、の 3 点です。

【学生の意見等からの気づき】
毎年、受講者の中には、中国語を履修していない人もいれば、中国語を母語とする人もいます。受講理由は様々でしょうが、中国語を学ぼうとする人にはもちろん、どのような受講者にも、「ことばって面白い」と感じてもらえる授業をしたいと思います。

【Outline and objectives】
Through learning characteristics of Chinese characters, we will understand Chinese thinking process and view of the world.

ARSe200LA

中国の文化と社会ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

山本　律

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 2〜4 年※定員制

他学部公開：○　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
近年、台湾は日本人の旅行先として人気となっています。
日本と台湾は長い歴史の中で深いかかわりを持っています。
本授業では映像資料を用いて日本と台湾の文化的関係についてみていきます。

【到達目標】
日本と台湾との文化的関係についての理解を深めます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
講義形式で授業を行います。
毎回コメントペーパーを出してもらいます。
最終回にはレポートを提出してもらいます。
課題等のフィードバックは授業時間またはメールで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	授業の進め方について
第 2 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 1	映画『あの頃、君を追いかけた』（第 1 回）
第 3 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 1	映画『あの頃、君を追いかけた』（第 2 回）
第 4 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 1	映画『あの頃、君を追いかけた』（第 3 回）
第 5 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 2	映画『私の少女時代』（第 1 回）
第 6 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 2	映画『私の少女時代』（第 2 回）
第 7 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 2	映画『私の少女時代』（第 3 回）
第 8 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 3	映画『海角七号』（第 1 回）
第 9 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 3	映画『海角七号』（第 2 回）
第 10 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 3	映画『海角七号』(第 3 回)
第 11 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 4	映画『KANO』（第 1 回）
第 12 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 4	映画『KANO』（第 2 回）
第 13 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 4	映画『KANO』（第 3 回）
第 14 回	授業の総まとめとレポート	授業の総まとめと試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
特になし。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 4 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
使用しない。
必要に応じて資料を配布する。

【参考書】
特になし。

【成績評価の方法と基準】
平常点（出席、授業態度、コメントペーパー）60 %、レポート 40 %

【学生の意見等からの気づき】
特になし。

【Outline and objectives】
In this course, we will learn about Chinese culture and society by using various materials such as movies.

ARSe200LA

中国の文化と社会ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

山本　律

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 2〜4 年※定員制

他学部公開：○　**グローバル：**　**成績優秀：**○　**実務教員：**

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
中国の文化と社会について、中国映画や中国の映像資料を用い学んでいきます。
映画は、その国の文化と社会を映し出します。
今期では、2008 年に公開されて以降、人気を博しシリーズ化されたカンフーアクション映画を軸として中国文化についてみていきます。

【到達目標】
中国の文化と社会についての理解を深めます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
毎回講義形式で行います。
毎回課題としてコメントペーパーを出してもらいます。
最終回にはレポートを提出してもらいます。
課題等のフィードバックは授業時間またはメールで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション	授業の進め方について
第 2 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 2	映画『イップマン　序章』（第 1 回）
第 3 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 2	映画『イップマン　序章』（第 2 回）
第 4 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 2	映画『イップマン　序章』（第 3 回）
第 5 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 2	映画『イップマン　葉問』（第 1 回）
第 6 回	レポート映画で学ぶ中国の文化と社会 2	映画『イップマン　葉問』（第 2 回）
第 7 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 2	映画『イップマン　葉問』（第 3 回）
第 8 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 3	映画『イップマン　継承』（第 1 回）
第 9 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 3	映画『イップマン　継承』（第 2 回）
第 10 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 3	映画『イップマン　継承』（第 3 回）
第 11 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 4	映画『イップマン　外伝』（第 1 回）
第 12 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 4	映画『イップマン　外伝』（第 2 回）
第 13 回	映画で学ぶ中国の文化と社会 4	映画『イップマン　外伝』（第 3 回）
第 14 回	授業の総まとめと試験	授業の総まとめと試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
特になし。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 4 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
使用しない。
必要に応じて資料を配布する。

【参考書】
特になし。

【成績評価の方法と基準】
平常点（課題提出）60 %、レポート 40 %

【学生の意見等からの気づき】
特になし。

【Outline and objectives】
In this course, we will learn about Chinese society and culture by using various materials such as movies.

LANs200LA

スペイン語３Ｉ

2017 年度以降入学者

若林　大我

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**土** 2/Sat.2
単位数：**1 単位**
法 2 年 I・J

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、1 年次の学習内容を踏まえ、中級のスペイン語文法を学んでいく。

【到達目標】
履修生は今学期終了時までに、スペイン語の直説法未来形及び直説法過去未来形の文を理解し、また作文できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
受講生各自による復習と予習を踏まえ、所定のテキストに基づいて、毎週の講義で少しずつスペイン語の文法構造を学んでいく。講義のあと、学んだことの確認、および会話の練習のため、口頭での質疑応答も行なう。授業はできる限りゆっくり、かつ丁寧に進行するよう心がけるが、効果的な学習のためには各自の予習と復習、特に後者が必須である。このため学期の途中で一度、理解度の確認のための中間テストを行う。ただし初回の授業は予習の必要はない。受講にあたっては、下記のテキストの他、西和辞典も持参すること。
課題が出題された場合は、学習支援システムを通じて提出するものとする。課題に対するフィードバックも、学習支援システムを通じて行う。
感染拡大予防措置を講じながら教室内での対面授業を行うことが困難であることから、本授業の形態は Zoom を通じたリアルタイムでのオンライン形式とする。授業形態の詳細や注意点は、学期開始に先立って学習支援システム上で公開するので、初回授業の前に必ず目を通しておくこと。
ただし以下の点は特に重要であるため、予め留意すること。
【下記の「授業計画」のうち、8 回目に予定している中間試験、及び 14 回目に予定している期末試験については、感染拡大予防措置を十分に講じること（マスクまたはフェイスシールドの着用徹底、教室内での会話の禁止等）を前提として、教室内での筆記試験を実施する。従って 8 回目及び 14 回目のみ、教室に来て受験することを必須とし、他の形での受験は認めない。】

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション 1 年次の復習（ser、estar、hay）	本授業のガイダンス 動詞 ser の用法 動詞 estar の用法 hay 存在文の用法 （テキスト: 第 1 課）
2	1 年次の復習（動詞の現在形、不定詞、現在分詞）	動詞の直説法現在形 動詞の不定詞の用法 動詞の現在分詞の用法 （テキスト: 第 1 課）
3	1 年次の復習（再帰動詞①）	再帰動詞の意味と用法 （テキスト: 第 2 課）
4	1 年次の復習（再帰動詞②）	再帰動詞の意味と用法 （テキスト: 第 2 課）
5	現在完了	直説法現在完了の活用と用法 （テキスト: 第 3 課）
6	点過去の活用① 現在完了と点過去	直説法点過去の活用① 現在完了と点過去の違い （テキスト: 第 3 課）
7	点過去の活用② 線過去の活用	直説法点過去の活用② 直説法線過去の活用 （テキスト: 第 4 課）
8	中間試験 点過去と線過去①	中間試験 点過去と線過去の違い① （テキスト: 第 4 課）
9	点過去と線過去②	点過去と線過去の違い② （テキスト: 第 4 課）
10	過去完了	直説法過去完了の活用と用法 （テキスト: 第 5 課）
11	受身表現	受身表現の作り方 （テキスト: 第 5 課）
12	未来形	直説法未来形の活用と用法 （テキスト: 第 6 課）
13	過去未来形	直説法過去未来形の活用と用法 （テキスト: 第 6 課）
14	授業内期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
語学学習の性質上、自宅での予習や復習が必要となる。特に授業で言及した単語については、辞書を用いて各自反復学習すること。
また時間の都合上、授業中に教科書内の全ての練習問題に取り組むことはできない。このため、授業の進行に合わせて各自が自主的に問題に取り組み、理解度を把握することが必須となる。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】
二宮哲『一歩進んだスペイン語（Un paso más）』（同学社）、2,400 円+税

【参考書】
外国語学習にあたっては、辞書が不可欠の要素である。本授業では特定の西和辞典の購入を義務付けないが、単語の正確な理解のためには『西和中辞典』（小学館）をお勧めする。真剣にスペイン語を身に付けたい受講生は、和西辞典も併用すると効果的である。また単語をスピーディに検索するには電子辞書も有用である。
上記以外の西和辞典は、下記のウェブサイトでも探すことができる。
http://gaikoku.info/spanish/dictionary.htm

【成績評価の方法と基準】
平常点 30 %、中間テスト 30 %、期末テスト 40 %として総合的に評価する。
ただし新型コロナウィルスの感染状況の推移によっては、中間試験及び期末試験を教室内での筆記形式で実施することが不可能となる場合も考えられるため、成績評価方法も変更の可能性がある。変更の場合は学習支援システムで速やかに通知するので、こまめに確認すること。

【学生の意見等からの気づき】
履修生諸君の理解度に合わせ、上記の授業計画は多少変更される可能性がある。

【学生が準備すべき機器他】
本授業はリアルタイムでのオンライン形式で実施するので、パソコンおよびインターネット環境を必須とする。

【Outline and objectives】
Intermediate grammar of Spanish.

LANs200LA

スペイン語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

若林　大我

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**土** 2/Sat.2
単位数：**1 単位**
法 2 年 I・J

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
本授業では、1 年次の学習内容を踏まえ、中級のスペイン語文法を学んでいく。

【到達目標】
履修生は今学期終了時までに、スペイン語の接続法現在完了形の文及び条件文を理解し、また作文できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
受講生各自による復習と予習を踏まえ、所定のテキストに基づいて、毎週の講義で少しずつスペイン語の文法構造を学んでいく。講義のあと、学んだことの確認、および会話の練習のため、口頭での質疑応答も行なう。授業はできる限りゆっくり、かつ丁寧に進行するよう心がけるが、効果的な学習のためには各自の予習と復習、特に後者が必須である。このため学期の途中で一度、理解度の確認のための中間テストを行う。ただし初回の授業は予習の必要はない。受講にあたっては、下記のテキストの他、西和辞典も持参すること。
課題が出題された場合は、学習支援システムを通じて提出するものとする。課題に対するフィードバックも、学習支援システムを通じて行う。
感染拡大予防措置を講じながら教室内での対面授業を行うことが困難であることから、本授業の形態は Zoom を通じたリアルタイムでのオンライン形式とする。授業形態の詳細や注意点は、学期開始に先立って学習支援システム上で公開するので、初回授業の前に必ず目を通しておくこと。
ただし以下の点は特に重要であるため、予め留意すること。
【下記の「授業計画」のうち、8 回目に予定している中間試験、及び 14 回目に予定している期末試験については、感染拡大予防措置を十分に講じること（マスクまたはフェイスシールドの着用徹底、教室内での会話の禁止等）を前提として、教室内での筆記試験を実施する。従って 8 回目及び 14 回目のみ、教室に来て受験することを必須とし、他の形での受験は認めない。】

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション 春学期の復習	イントロダクション 春学期の復習
2	関係代名詞	関係代名詞の用法 （テキスト: 第 7 課）
3	関係副詞 関係形容詞	関係副詞と関係形容詞の用法 （テキスト: 第 7 課）
4	接続法現在形① 接続法現在形②	接続法現在形の活用① 接続法現在形の活用② （テキスト: 第 8 課、第 9 課）
5	名詞節の接続法	名詞節での接続法の使い方 （テキスト: 第 8 課）
6	形容詞節の接続法 副詞節の接続法	形容詞節及び副詞節での接続法の使い方 （テキスト: 第 8 課、第 9 課）
7	その他の接続法	接続法のその他の使い方 （テキスト: 第 9 課）
8	中間試験 肯定命令形	中間試験 肯定命令文の作り方 （テキスト: 第 10 課）
9	否定命令形 代名詞と命令形	否定命令文の作り方 命令文における代名詞の扱い （テキスト: 第 10 課）
10	接続法過去①	接続法過去形の活用 （テキスト: 第 11 課）
11	接続法過去②	接続法過去形の用法 （テキスト: 第 11 課）
12	接続法現在完了	接続法現在完了の活用と用法 （テキスト: 第 12 課）
13	条件文	条件文の作り方 （テキスト: 第 12 課）
14	授業内期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
語学学習の性質上、自宅での予習や復習が必要となる。特に授業で言及した単語については、辞書を用いて各自反復学習すること。
また時間の都合上、授業中に教科書内の全ての練習問題に取り組むことはできない。このため、授業の進行に合わせて各自が自主的に問題に取り組み、理解度を把握することが必須となる。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】
二宮哲『一歩進んだスペイン語（Un paso más）』（同学社）、2,400 円+税

【参考書】
外国語学習にあたっては、辞書が不可欠の要素である。本授業では特定の西和辞典の購入を義務付けないが、単語の正確な理解のためには『西和中辞典』（小学館）をお勧めする。真剣にスペイン語を身に付けたい受講生は、和西辞典も併用すると効果的である。また単語をスピーディに検索するには電子辞書も有用である。
上記以外の西和辞典は、下記のウェブサイトでも探すことができる。
http://gaikoku.info/spanish/dictionary.htm

【成績評価の方法と基準】
平常点 30 %、中間テスト 30 %、期末テスト 40 %として総合的に評価する。
ただし新型コロナウィルスの感染状況の推移によっては、中間試験及び期末試験を教室内での筆記形式で実施することが不可能となる場合も考えられるため、成績評価方法も変更の可能性がある。変更の場合は学習支援システムで速やかに通知するので、こまめに確認すること。

【学生の意見等からの気づき】
履修生諸君の理解度に合わせ、上記の授業計画は多少変更される可能性がある。

【学生が準備すべき機器他】
本授業はリアルタイムでのオンライン形式で実施するので、パソコンおよびインターネット環境を必須とする。

【Outline and objectives】
Intermediate grammar of Spanish.

LANs200LA

スペイン語３Ｉ

2017 年度以降入学者

杉下　由紀子

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：**1 単位**
法 2 年 K・L

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スペイン語のコミュニケーション能力を高める

【到達目標】
基礎文法を習得し語彙を強化して、読む・書く・聴く・話す力を高める。スペイン語圏のさまざまな祝祭を通じて、地理・自然・歴史・宗教・文化等に関する知識を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
すべて対面で行う。対面が不可になった場合は Zoom によるリアルタイム双方向式で行う。講師が文法事項を説明し、履修生は、音声を聴いて発音練習、テキスト記載のスペイン語文の和訳、練習問題、グループで会話を行う。時々、テーマに関連した映像資料を鑑賞する。グループアクティビティや試験返却時に講評・解説をする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	自己紹介とオリエンテーション	スペイン語で自己紹介、授業の進め方や学習方法の説明、既修文法の確認
2	聖週間	名詞の性数、冠詞、疑問詞、カトリックの習慣
3	コルドバのパティオ祭り（文法と語彙）	形容詞、動詞 ser,estar,hay
4	コルドバのパティオ祭り（読解と応用）	スペインのイスラム文化
5	太陽の祭り（文法と語彙）	形容詞の語順、不定詞
6	太陽の祭り（読解と応用）	インカ帝国
7	中間試験、ふりかえり	春学期前半の学習事項に関する試験とふりかえり
8	牛追い祭り（文法と語彙）	現在分詞
9	牛追い祭り（読解と応用）	バスクの言葉と文化
10	花祭り（文法と語彙）	現在完了、否定語
11	花祭り（読解と応用）	コロンビアの社会経済
12	独立の叫び（文法と語彙）	不定語、gustar 型動詞
13	独立の叫び（読解と応用）	メキシコの歴史
14	期末試験、ふりかえり	春学期後半の学習事項に関する試験とふりかえり

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
テキストに出てくる不明な単語や熟語は必ずあらかじめ辞書で調べ、スペイン語文の和訳と練習問題も自分で解いて授業に臨むこと。舞台となっている地域の場所は地図で確認し、その歴史や特徴なども調べて積極的な姿勢で取り組んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて２時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
村上陽子／ナカガワ・マルガリータ『フィエスタ！ フィエスタ！ ―解きながら読むスペイン語圏の１２ケ月』朝日出版社、2017 年

【参考書】
小林一宏・清水憲男ほか『詳解スペイン語』上智大学出版会
西川喬『わかるスペイン語文法』同学社
その他、授業中に適宜紹介。

【成績評価の方法と基準】
平常点（50 %）、中間試験（25 %）、期末試験（25 %）から総合的に評価。

【学生の意見等からの気づき】
他の学生の発言や質問から学ぶことも多いので、対面でグループアクティビティも取り入れ、双方向・多方向のコミュニケーションができるようにしたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】
対面授業ができなくなった場合、パソコンと安定したインターネット環境が必要。

【その他の重要事項】
授業には辞書を必ず持参してください。スマートフォン・携帯電話の操作は禁止します。電子辞書は可。
家で勉強する時は、紙媒体の辞書をお薦めします。西和辞典は白水社、三省堂、小学館、研究社など、和西辞典は白水社、三省堂などから出版されている中規模以上のものがよいと思います。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to help students improve the communication skill of Spanish.

LANs200LA

スペイン語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

杉下　由紀子

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：**1 単位**
法 2 年 K・L

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スペイン語のコミュニケーション能力を高める

【到達目標】
基礎文法を習得し語彙を強化して、読む・書く・聴く・話す力を高める。スペイン語圏のさまざまな祝祭を通じて、地理・自然・歴史・宗教・文化等に関する知識を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
すべて対面で行う。対面が不可になった場合は Zoom によるリアルタイム双方向式で行う。講師が文法事項を説明し、履修生は、音声を聴いて発音練習、テキスト記載のスペイン語文の和訳、練習問題、グループで会話を行う。時々、テーマに関連した映像資料を鑑賞する。グループアクティビティや試験返却時に講評・解説をする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	民族の日（文法と語彙）	点過去・線過去・過去完了
2	民族の日（読解と応用）	大航海時代の歴史、ナショナルデー
3	死者の日（文法と語彙）	関係詞、過去分詞
4	死者の日（読解と応用）	先住民の宗教とカトリックの融合
5	クリスマス（文法と語彙）	比較級・最上級
6	クリスマス（読解と応用）	さまざまな国のクリスマスと新年の風習
7	中間試験、ふりかえり	秋学期前半の学習事項に関する試験とふりかえり
8	主の御公現の祝日（文法と語彙）	受動文、不定人称文
9	主の御公現の祝日（読解と応用）	聖書に基づくカトリックの習慣
10	オルロのカーニバル（文法と語彙）	未来、主格補語と目的格補語
11	オルロのカーニバル（読解と応用）	ボリビアの歴史と社会
12	ブドウ収穫祭（文法と語彙）	過去未来
13	ブドウ収穫祭（読解と応用）	アルゼンチンの歴史と社会
14	期末試験、ふりかえり	秋学期後半の学習事項に関する試験とふりかえり

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
テキストに出てくる不明な単語や熟語は必ずあらかじめ辞書で調べ、スペイン語文の和訳と練習問題も自分で解いて授業に臨むこと。舞台となっている地域の場所は地図で確認し、その歴史や特徴なども調べて積極的な姿勢で取り組んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて２時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
村上陽子『フィエスタ！ フィエスタ！ —解きながら読むスペイン語圏の１２ケ月』朝日出版社、2017 年

【参考書】
小林一宏・清水憲男ほか『詳解スペイン語』上智大学出版会
西川喬『わかるスペイン語文法』同学社
その他、授業中に適宜紹介。

【成績評価の方法と基準】
平常点（50 %）、中間試験（25 %）、期末試験（25 %）から総合的に評価。

【学生の意見等からの気づき】
他の学生の発言や質問から学ぶことも多いので、対面でグループアクティビティも取り入れ、双方向・多方向のコミュニケーションができるようにしたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】
対面授業ができなくなった場合、パソコンと安定したインターネット環境が必要。

【その他の重要事項】
授業には辞書を必ず持参してください。スマートフォン・携帯電話の操作は禁止します。電子辞書は可。
家で勉強する時は、紙媒体の辞書をお薦めします。西和辞典は白水社、三省堂、小学館、研究社など、和西辞典は白水社、三省堂などから出版されている中規模以上のものがよいと思います。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to help students improve the communication skill of Spanish.

LANs200LA

スペイン語３Ｉ

2017 年度以降入学者

コルメナ　ロメロ　ロベルト

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 1/Mon.1
単位数：**1 単位**
法 2 年 M

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
同講義の目的は、会話を通じてスペイン語圏の人々と簡単な意思の伝達が出来る様に学んでいくと同時に、前年度から更に進んだ複雑な文章の構成、ヒアリングのレベルアップを図ります。

【到達目標】
この授業では、前年度に学んだポイントの復習も兼ねて、一段階上のレベルの表現が出来る様に教科書に従ってダイアログ・単語を学びながら文化についても習得していきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業の最初に会話の意図を説明した上で、文法や文脈を解読し、実際に会話を行います。提出や課題等に対するフィードバック方法は Google Classroom で行います。
大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	新年度	自己紹介する、クラスメートについて知る。
2 回	新年度	スペイン語を学習への興味、目的、学習方法について話す。
3 回	私の家族と友人。	家族や友達のような人間関係について話す。
4 回	私の家族と友人。	ある人が昔どのようだったか記述する。
5 回	私の町。	大学生活と以前の生活に比べて、その違いについて話す。 過去の習慣について話す。
6 回	私の町	ある場所の位置とそこへの行き方について、質問する、尋ねる。
7 回	中間テスト	中間テスト
8 回	休みの時	過去に行った事柄について話す、質問する。
9 回	休みの時	過去の記述をする、原因や結果について表現する。
10 回	前の旅行。	過去の旅行について、質問をする、話す。
11 回	前の旅行。	旅行した時の色々な状況について話す、場所について記述する。 旅行に関して人に何かを進める。
12 回	食物	食習慣について話す。 近い過去の経験や行為について質問する、話す。
13 回	食物	料理の材料について話すそして人に勧める。
14 回	期末テスト	期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・一年次で学んだことをかならずしっかり復習しておく。単語の意味調べを行い、授業に出る。授業中に出る宿題を必ず行うこと。毎回学んだことを確実にし復習しておくこと。努めて語彙を増やしていくこと。スペイン語圏のニュースに注意している。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
いいね！ スペイン語２ 朝日出版

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
平常点 15 %・授業参加 15%、中間テスト 30 %と学期末試験 40 %で総合評価します

【学生の意見等からの気づき】
なるべく生徒の意見を授業に取り入れる

【学生が準備すべき機器他】
西和和西辞典

【Outline and objectives】
The objective of this class is to communicate simple intentions to Spanish-speaking people. And, at the same time, try to improve the composition of more complicated sentences and improve the level of listening comprehension of the previous course.

LANs200LA

スペイン語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

コルメナ　ロメロ　ロベルト

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 1/Mon.1
単位数：**1 単位**
法 2 年 M

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
同講義の目的は、会話を通じてスペイン語圏の人々と簡単な意思の伝達が出来る様に学んでいくと同時に、前年度から更に進んだ複雑な文章の構成、ヒアリングのレベルアップを図ります。

【到達目標】
この授業では、前年度に学んだポイントの復習も兼ねて、一段階上のレベルの表現が出来る様に教科書に従ってダイアログ・単語を学びながら文化についても習得していきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業の最初に会話の意図を説明した上で、文法や文脈を解読し、実際に会話を行います。提出や課題等に対するフィードバック方法は Google Classroom で行います。
大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	大学を卒業後、仕事をし始めるでしょう。	将来何をしたいか、どうなりたいかについて話す。
2 回	大学を卒業後、仕事をし始めるでしょう。	仕事についての意見交換する。
3 回	家に来ませんか。	希望を述べる、相手にアドバイスをする。
4 回	家に来ませんか。	パーティで会話する。 社会の出来事や社会生活について質問する、話す。
5 回	海外留学	希望や好みを述べる、意見を言う、人に何かを進める。
6 回	海外留学	ある国でやるべきではないことや、その国の習慣について、質問する、話す。
7 回	復習課題	復習課題
8 回	スペインやイスパノアメリカの社会変化。	重要な社会の変化や問題点について質問する、答える。
9 回	スペインやイスパノアメリカの社会変化。	解決方法を提案する。
10 回	スポッツ	様々な種類のスポッツやスポッツ選手について、質問する、答える。
11 回	スポッツ	過去の出来事や行為について感情を示す評価判断を表現する。 現在あるいは未来で、可能性の低いあるいは全くない条件を使って話す。
12 回	学年が終わる。	学期中に行ったとこについて、質問する、話す。
13 回	学年が終わる。	クラスメートに別れの挨拶のメッセジを書く。
14 回	復習課題	復習課題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・一年次で学んだことをかならずしっかり復習しておく。
・単語の意味調べを行い、授業に出る。
・授業中に出る宿題を必ず行うこと。
・毎回学んだことを確実にし復習しておくこと。
・努めて語彙を増やしていくこと。
・スペイン語圏のニュースに注意している。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
いいね！ スペイン語２
朝日出版

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
平常点 15 %・授業参加 15%、中間テスト 30 %と学期末試験 40 %で総合評価します

【学生の意見等からの気づき】
なるべく生徒の意見を授業に取り入れる

【学生が準備すべき機器他】
西和和西辞典

【Outline and objectives】
The objective of this class is to communicate simple intentions to Spanish-speaking people. And, at the same time, try to improve the composition of more complicated sentences and improve the level of listening comprehension of the previous course.

LANs200LA

スペイン語３Ｉ

2017 年度以降入学者

塩﨑　公靖

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：**1 単位**
法 2 年 N～V

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スペイン語初級文法の完成。応用力をつけること。

【到達目標】
スペイン語の基礎的な会話の習得。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
本授業は対面形式でなく、学習支援システムを通じたオンデマンド形式（資料型）にて行う。※初回の講義案内・資料配布は 4/15(月)を予定。
これまでの授業で使ってきた教科書、および進度にばらつきがあると思うので、まずはそれを確認し、できるだけ多数の学生に満足してもらえるような方法をとりたい。
その他、授業を通じてスペイン語圏の文化を紹介する。
各回テーマは飽くまで目安。
学習支援システムを通じたヒアリングや各回実施する練習問題を通じて、
理解度を把握し、内容/進め方を適宜修正する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	点過去形規則活用	ar 動詞 er/ir 動詞
2	点過去系不規則活用	不規則活用の種類
3	線過去形	線過去の用法
4	点過去・線過去の違い	考え方、使い方の整理
5	未来形	未来形活用・用法
6	過去未来形	過去未来形活用・用法
7	さまざまな時制の完了形	現在完了／過去完了／未来完了／過去未来完了
8	練習問題	1~7 まとめ
9	命令形	肯定文（tu/vosotros）
10	疑問詞	用法、内容確認
11	関係詞	用法、内容確認
12	仮定法 si	用法、内容確認
13	テスト前確認・質疑応答	講義内容復習
14	テスト	授業内試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習は不要。復習をしっかりと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
受講学生が今まで使っていた教科書を調査してから決める。

【参考書】
特になし。

【成績評価の方法と基準】
期末テスト 65%、平常点 35% で判定。

【学生の意見等からの気づき】
会話やメールなど、実際のコミュニケーションで使用できる表現を、自身の経験も結びつけながら逐次紹介したい。
また、練習問題を多く取り入れることも検討する。

【Outline and objectives】
Master basic-intermediate grammar of Spanish. Practical skill is required.

LANs200LA

スペイン語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

塩﨑　公靖

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：**1 単位**
法 2 年 N～V

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スペイン語初級文法の完成。応用力をつけること。
スペイン語圏の文化に親しむこと。

【到達目標】
スペイン語の基礎的な会話の習得。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
本授業は対面形式でなく、学習支援システムを通じたオンデマンド形式（資料型）にて行う。
これまでの授業で使ってきた教科書、および進度にばらつきがあると思うので、まずはそれを確認し、できるだけ多数の学生に満足してもらえるような方法をとりたい。
その他、授業を通じてスペイン語圏の文化を紹介する。
各回テーマは飽くまで目安。
学習支援システムを通じたヒアリングや各回実施する練習問題を通じて、
理解度を把握し、内容/進め方を適宜修正する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	接続法現在	考え方
2	接続法現在規則活用	活用、用法
3	接続法現在不規則活用	活用、用法
4	接続法現在完了	活用、用法
5	練習問題	授業内演習
6	接続法過去	活用、用法
7	接続法過去完了	活用、用法
8	仮定法 si(2) 接続法使用	用法、練習問題
9	接続法文法 応用	実際の文章の中での使われ方
10	練習問題（接続法過去、仮定法ほか）	授業内演習
11	文書読解（ニュースサイト）	最新のニュースなど
12	文書読解（SNS）	SNS で見られるスペイン語の紹介
13	テスト前、質疑応答	秋学期授業復習
14	テスト	授業内試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習不要。復習をしっかりと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
学生が使ってきた教科書を調査して決定。

【参考書】
特になし。

【成績評価の方法と基準】
期末テスト 65%、平常点 35% で判定。

【学生の意見等からの気づき】
会話やメールなど、実際のコミュニケーションで使用できる表現を、自身の経験も結びつけながら逐次紹介したい。
また、練習問題を多く取り入れることも検討する。

【Outline and objectives】
Master basic-intermediate grammar of Spanish. Practical skill is required.

LANs200LA

スペイン語３Ｉ

2017 年度以降入学者

OSNO I DE SASAKUBO H

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**1 単位**
法 2 年 W

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では初級スペイン語を終了した学生が、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを通してスペイン語でコミュニケーションすることを学ぶ。また、スペイン語圏の文化や社会の現状を踏まえた会話の上達を目指す。

【到達目標】
スペイン語での日常会話ができるようになる。また、辞書を使用しながら、少し長めのテキストを読解できることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業はテキストに沿って実習形式で進められる。必要に応じて教員が説明を行うが、基本的には学生が会話をしたり、練習問題を解いたりして積極的に授業に参加することが期待される。毎回の授業開始時に、課題やリアクションペーパーへのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	スペイン語	南米にスペイン語を話す国々
2	スペイン語で自己紹介	目的人称代名詞、再帰代名詞
3	生活習慣、スペイン語圏の家族	現在進行形　/ 現在分詞のその他の用法
4	人一生　/ 家族	復習:直説法点過去。過去を表す副詞句。
5	中南米諸国への日本人移民	関係詞Ｉ：関係詞代名詞
6	町で	SER. ESTAR. HABER. TENER 直説法線過去:活用 / -mente で終わる副詞
7	昔と今	直説法線過去の用法　/　品質形容詞
8	旅行	直説法点過去と線過去　/ 旅行：活動と携行品
9	天候	色々な副詞節
10	余暇活動	過去分詞　/　直説法現在完了：活用　/ 余暇生活　/　勧誘表現
11	社会生活	直説法現在完了の用法 / 過去分詞のその他用法
12	未来を表す副詞	直説法未来：活用　/ 直説法未来の用法
13	推測	直説法未来完了：活用と用法
14	確実性を示す表現	直説法過去未来：活用

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
復習をしっかりやること、十分な準備をすること。本授業の宿題・復習時間は、あわせて１時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Entre Amigos2, 2a.Edición. (総合スペイン語コース中級・改訂版)
Editorial Asahi

【参考書】
授業の進行によって随時提示。

【成績評価の方法と基準】
授業内での口頭試験 50 %
小テスト 20 %
期末試験の結果 30 %
毎回、新しい事を学び、それらは連続しているので欠席することは致命的となる。原則として遅刻は認めない。

【学生の意見等からの気づき】
新規の担当科目のため、学生からの意見は今後授業改善に反映する。

【Outline and objectives】
In this lesson, students who have finished Spanish for beginners learn to communicate in Spanish through speaking, listening, reading, and writing skills. In addition, our goal is to improve conversation based on the current state of culture and society in the Spanish-speaking world.

LANs200LA

スペイン語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

OSNO I DE SASAKUBO H

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**1 単位**
法 2 年 W

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では初級スペイン語を終了した学生が、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを通してスペイン語でコミュニケーションすることを学ぶ。また、スペイン語圏の文化や社会の現状を踏まえた会話の上達を目指す。

【到達目標】
自分の住環境、学習環境，労働環境について、評価または願望などをスペイン語で述べることができるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業はテキストに沿って進められる。必要に応じて教員が説明を行うが、会話練習や練習問題への取り組みが主要な時間を占める。毎回の授業開始時に、課題やリアクションペーパーへのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	家具	家具と調度品 / 直説法過去完了：活用と用法
2	調度品	直説法の時制：まとめ/関係詞 II
3	命令形	命令形 I: tu / vosotros に対する肯定命令 / 命令形の用法命令形と目的人称代名詞 / 再帰代名詞
4	食べ物/スポーツ	無人称表現　/ 直説法過去未来の用法 II
5	意見	接続法現在：活用　/　接続法の用法 I:名詞節過去形 II ：usted/ustedes に対する肯定命令
6	命令	否定命令 /　願望、依頼、命令表す表現
7	数	接続法の用法 II ：副詞節
8	環境問題	接続法の用法 III:形容詞節/
9	自然と人間	接続法現在完了:　活用と用法
10	願望表現	接続法の用法ＩＶ：独立文 / 接続法過去：活用
11	スペイン語国々の映画	接続法過去/ 条件文 I
12	会話で用いられる表現	接続法過去完了:活用 / 接続法過去完了の用法　/　直説法過去未来完了:活用と用法
13	後悔	条件文 II
14	丁寧な依頼	接続法の時制：まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
復習をしっかりやること、十分な準備をすること。本授業の宿題・復習時間は、あわせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Entre Amigos2, 2a. edición. (総合スペイン語コース中級 改訂版)
Editorial Asahi

【参考書】
授業の進行によって随時提示。

【成績評価の方法と基準】
授業内での口頭試験 50 %
小テスト 20 %
期末試験の結果 30 %
毎回、新しい事を学び、それらは連続しているので欠席することは致命的となる。原則として遅刻は認めない。

【学生の意見等からの気づき】
新規担当科目のため、学生からの意見は今後反映させる。

【Outline and objectives】
In this lesson, students who have finished Spanish for beginners learn to communicate in Spanish through speaking, listening, reading, and writing skills. In addition, our goal is to improve conversation based on the current state of culture and society in the Spanish-speaking world.

LANs200LA

スペイン語３Ⅰ

2017 年度以降入学者

コルメナ　ロメロ　ロベルト

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
文 2 年 B〜I

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
同講義の目的は、会話を通じてスペイン語圏の人々と簡単な意思の伝達が出来る様に学んでいくと同時に、前年度から更に進んだ複雑な文章の構成、ヒアリングのレベルアップを図ります。

【到達目標】
この授業では、前年度に学んだポイントの復習も兼ねて、一段階上のレベルの表現が出来る様に教科書に従ってダイアログ・単語を学びながら文化についても習得していきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業の最初に会話の意図を説明した上で、文法や文脈を解読し、実際に会話を行います。提出や課題等に対するフィードバック方法は Google Classroom で行います。
大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	新年度	自己紹介する、クラスメートについて知る。
2 回	新年度	スペイン語を学習への興味、目的、学習方法について話す。
3 回	私の家族と友人。	家族や友達のような人間関係について話す。
4 回	私の家族と友人。	ある人が昔どのようだったか記述する。
5 回	私の町。	大学生活と以前の生活に比べて、その違いについて話す。 過去の習慣について話す。
6 回	私の町	ある場所の位置とそこへの行き方について、質問する、尋ねる。
7 回	中間テスト	中間テスト
8 回	休みの時	過去に行った事柄について話す、質問する。
9 回	休みの時	過去の記述をする、原因や結果について表現する。
10 回	前の旅行。	過去の旅行について、質問をする、話す。
11 回	前の旅行。	旅行した時の色々な状況について話す、場所について記述する。 旅行に関して人に何かを進める。
12 回	食物	食習慣について話す。 近い過去の経験や行為について質問する、話す。
13 回	食物	料理の材料について話すそして人に勧める。
14 回	期末テスト	期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・一年次で学んだことをかならずしっかり復習しておく。
・単語の意味調べを行い、授業に出る。
・授業中に出る宿題を必ず行うこと。
・毎回学んだことを確実にし復習しておくこと。
・努めて語彙を増やしていくこと。
・スペイン語圏のニュースに注意している。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
いいね！ スペイン語２
朝日出版

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
平常点 15 %・授業参加 15%、中間テスト 30 %と学期末試験 40 %で総合評価します

【学生の意見等からの気づき】
なるべく生徒の意見を授業に取り入れる

【学生が準備すべき機器他】
西和和西辞典

【Outline and objectives】
The objective of this class is to communicate simple intentions to Spanish-speaking people. And, at the same time, try to improve the composition of more complicated sentences and improve the level of listening comprehension of the previous course.

LANs200LA

スペイン語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

コルメナ　ロメロ　ロベルト

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
文 2 年 B〜I

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
同講義の目的は、会話を通じてスペイン語圏の人々と簡単な意思の伝達が出来る様に学んでいくと同時に、前年度から更に進んだ複雑な文章の構成、ヒアリングのレベルアップを図ります。

【到達目標】
この授業では、前年度に学んだポイントの復習も兼ねて、一段階上のレベルの表現が出来る様に教科書に従ってダイアログ・単語を学びながら文化についても習得していきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業の最初に会話の意図を説明した上で、文法や文脈を解読し、実際に会話を行います。提出や課題等に対するフィードバック方法は Google Classroom で行います。
大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	大学を卒業後、仕事をし始めるでしょう。	将来何をしたいか、どうなりたいかについて話す。
2 回	大学を卒業後、仕事をし始めるでしょう。	仕事についての意見交換する。
3 回	家に来ませんか。	希望を述べる、相手にアドバイスをする。
4 回	家に来ませんか。	パーティで会話する。 社会の出来事や社会生活について質問する、話す。
5 回	海外留学	希望や好みを述べる、意見を言う、人に何かを進める。
6 回	海外留学	ある国でやるべきではないことや、その国の習慣について、質問する、話す。
7 回	復習課題	復習課題
8 回	スペインやイスパノアメリカの社会変化。	重要な社会の変化や問題点について質問する、答える。
9 回	スペインやイスパノアメリカの社会変化。	解決方法を提案する。
10 回	スポッツ	様々な種類のスポッツやスポッツ選手について、質問する、答える。
11 回	スポッツ	過去の出来事や行為について感情を示す評価判断を表現する。 現在あるいは未来で、可能性の低いあるいは全くない条件を使って話す。
12 回	学年が終わる。	学期中に行ったとこについて、質問する、話す。
13 回	学年が終わる。	クラスメートに別れの挨拶のメッセジを書く。
14 回	復習課題	復習課題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・一年次で学んだことをかならずしっかり復習しておく。
・単語の意味調べを行い、授業に出る。
・授業中に出る宿題を必ず行うこと。
・毎回学んだことを確実にし復習しておくこと。
・努めて語彙を増やしていくこと。
・スペイン語圏のニュースに注意している。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
いいね！ スペイン語２
朝日出版

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
平常点 15 %・授業参加 15%、中間テスト 30 %と学期末試験 40 %で総合評価します

【学生の意見等からの気づき】
なるべく生徒の意見を授業に取り入れる

【学生が準備すべき機器他】
西和和西辞典

【Outline and objectives】
The objective of this class is to communicate simple intentions to Spanish-speaking people. And, at the same time, try to improve the composition of more complicated sentences and improve the level of listening comprehension of the previous course.

LANs200LA

スペイン語３Ｉ

2017 年度以降入学者

杉下　由紀子

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**木** 1/Thu.1
単位数：**1 単位**
文２年Ｍ・Ｎ

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スペイン語のコミュニケーション能力を高める

【到達目標】
基礎文法を習得し語彙を強化して、読む・書く・聴く・話す力を高める。スペイン語圏のさまざまな祝祭を通じて、地理・自然・歴史・宗教・文化等に関する知識を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
すべて対面で行う。対面が不可になった場合は Zoom によるリアルタイム双方向式で行う。講師が文法事項を説明し、履修生は、音声を聴いて発音練習、テキスト記載のスペイン語文の和訳、練習問題、グループで会話を行う。時々、テーマに関連した映像資料を鑑賞する。グループアクティビティや試験返却時に講評・解説をする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	自己紹介とオリエンテーション	スペイン語で自己紹介、授業の進め方や学習方法の説明、既修文法の確認
2	聖週間	名詞の性数、冠詞、疑問詞、カトリックの習慣
3	コルドバのパティオ祭り（文法と語彙）	形容詞、動詞 ser,estar,hay
4	コルドバのパティオ祭り（読解と応用）	スペインのイスラム文化
5	太陽の祭り（文法と語彙）	形容詞の語順、不定詞
6	太陽の祭り（読解と応用）	インカ帝国
7	中間試験、ふりかえり	春学期前半の学習事項に関する試験とふりかえり
8	牛追い祭り（文法と語彙）	現在分詞
9	牛追い祭り（読解と応用）	バスクの言葉と文化
10	花祭り（文法と語彙）	現在完了、否定語
11	花祭り（読解と応用）	コロンビアの社会経済
12	独立の叫び（文法と語彙）	不定語、gustar 型動詞
13	独立の叫び（読解と応用）	メキシコの歴史
14	期末試験、ふりかえり	春学期後半の学習事項に関する試験とふりかえり

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
テキストに出てくる不明な単語や熟語は必ずあらかじめ辞書で調べ、スペイン語文の和訳と練習問題も自分で解いて授業に臨むこと。舞台となっている地域の場所は地図で確認し、その歴史や特徴なども調べて積極的な姿勢で取り組んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて２時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
村上陽子／ナカガワ・マルガリータ『フィエスタ！ フィエスタ！ ―解きながら読むスペイン語圏の１２ケ月』朝日出版社、2017 年

【参考書】
小林一宏・清水憲男ほか『詳解スペイン語』上智大学出版会
西川喬『わかるスペイン語文法』同学社
その他、授業中に適宜紹介。

【成績評価の方法と基準】
平常点（50 %）、中間試験（25 %）、期末試験（25 %）から総合的に評価。

【学生の意見等からの気づき】
他の学生の発言や質問から学ぶことも多いので、対面でグループアクティビティも取り入れ、双方向・多方向のコミュニケーションができるようにしたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】
対面授業ができなくなった場合、パソコンと安定したインターネット環境が必要。

【その他の重要事項】
授業には辞書を必ず持参してください。スマートフォン・携帯電話の操作は禁止します。電子辞書は可。
家で勉強する時は、紙媒体の辞書をお薦めします。西和辞典は白水社、三省堂、小学館、研究社など、和西辞典は白水社、三省堂などから出版されている中規模以上のものがよいと思います。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to help students improve the communication skill of Spanish.

LANs200LA

スペイン語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

杉下　由紀子

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**木** 1/Thu.1
単位数：**1 単位**
文２年 M・N

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スペイン語のコミュニケーション能力を高める

【到達目標】
基礎文法を習得し語彙を強化して、読む・書く・聴く・話す力を高める。スペイン語圏のさまざまな祝祭を通じて、地理・自然・歴史・宗教・文化等に関する知識を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
すべて対面で行う。対面が不可になった場合は Zoom によるリアルタイム双方向式で行う。講師が文法事項を説明し、履修生は、音声を聴いて発音練習、テキスト記載のスペイン語文の和訳、練習問題、グループで会話を行う。時々、テーマに関連した映像資料を鑑賞する。グループアクティビティや試験返却時に講評・解説をする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	民族の日（文法と語彙）	点過去・線過去・過去完了
2	民族の日（読解と応用）	大航海時代の歴史、ナショナルデー
3	死者の日（文法と語彙）	関係詞、過去分詞
4	死者の日（読解と応用）	先住民の宗教とカトリックの融合
5	クリスマス（文法と語彙）	比較級・最上級
6	クリスマス（読解と応用）	さまざまな国のクリスマスと新年の風習
7	中間試験、ふりかえり	秋学期前半の学習事項に関する試験とふりかえり
8	主の御公現の祝日（文法と語彙）	受動文、不定人称文
9	主の御公現の祝日（読解と応用）	聖書に基づくカトリックの習慣
10	オルロのカーニバル（文法と語彙）	未来、主格補語と目的格補語
11	オルロのカーニバル（読解と応用）	ボリビアの歴史と社会
12	ブドウ収穫祭（文法と語彙）	過去未来
13	ブドウ収穫祭（読解と応用）	アルゼンチンの歴史と社会
14	期末試験、ふりかえり	秋学期後半の学習事項に関する試験とふりかえり

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
テキストに出てくる不明な単語や熟語は必ずあらかじめ辞書で調べ、スペイン語文の和訳と練習問題も自分で解いて授業に臨むこと。舞台となっている地域の場所は地図で確認し、その歴史や特徴なども調べて積極的な姿勢で取り組んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて２時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
村上陽子『フィエスタ！ フィエスタ！ —解きながら読むスペイン語圏の１２ケ月』朝日出版社、2017 年

【参考書】
小林一宏・清水憲男ほか『詳解スペイン語』上智大学出版会
西川喬『わかるスペイン語文法』同学社
その他、授業中に適宜紹介。

【成績評価の方法と基準】
平常点（50 %）、中間試験（25 %）、期末試験（25 %）から総合的に評価。

【学生の意見等からの気づき】
他の学生の発言や質問から学ぶことも多いので、対面でグループアクティビティも取り入れ、双方向・多方向のコミュニケーションができるようにしたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】
対面授業ができなくなった場合、パソコンと安定したインターネット環境が必要。

【その他の重要事項】
授業には辞書を必ず持参してください。スマートフォン・携帯電話の操作は禁止します。電子辞書は可。
家で勉強する時は、紙媒体の辞書をお薦めします。西和辞典は白水社、三省堂、小学館、研究社など、和西辞典は白水社、三省堂などから出版されている中規模以上のものがよいと思います。

【Outline and objectives】
The aim of this course is to help students improve the communication skill of Spanish.

LANs200LA

スペイン語３Ｉ

2017 年度以降入学者

塩﨑　公靖

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 1/Thu.1
単位数：**1 単位**
文 2 年 R～T

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スペイン語初級文法の完成。応用力をつけること。

【到達目標】
スペイン語の基礎的な会話の習得。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
本授業は対面形式でなく、学習支援システムを通じたオンデマンド形式（資料型）にて行う。※初回の講義案内・資料配布は 4/15(月)を予定。
これまでの授業で使ってきた教科書、および進度にばらつきがあると思うので、まずはそれを確認し、できるだけ多数の学生に満足してもらえるような方法をとりたい。
その他、授業を通じてスペイン語圏の文化を紹介する。
各回テーマは飽くまで目安。
学習支援システムを通じたヒアリングや各回実施する練習問題を通じて、
理解度を把握し、内容/進め方を適宜修正する。
リアクションペーパーでのヒアリングや各回実施する練習問題を通じて、理解度を把握し、内容/進め方を適宜修正する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	点過去形規則活用	ar 動詞 er/ir 動詞
2	点過去系不規則活用	不規則活用の種類
3	線過去形	線過去の用法
4	点過去・線過去の違い	考え方、使い方の整理
5	未来形	未来形活用・用法
6	過去未来形	過去未来形活用・用法
7	さまざまな時制の完了形	現在完了／過去完了／未来完了／過去未来完了
8	練習問題	1~7 まとめ
9	命令形	肯定文（tu/vosotros）
10	疑問詞	用法、内容確認
11	関係詞	用法、内容確認
12	仮定法 si	用法、内容確認
13	テスト前確認・質疑応答	講義内容復習
14	テスト	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習は不要。復習をしっかりと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
受講学生が今まで使っていた教科書を調査してから決める。

【参考書】
特になし。

【成績評価の方法と基準】
期末テスト 65%、平常点 35% で判定。

【学生の意見等からの気づき】
会話やメールなど、実際のコミュニケーションで使用できる表現を、自身の経験も結びつけながら逐次紹介したい。
また、練習問題を多く取り入れることも検討する。

【Outline and objectives】
Master basic-intermediate grammar of Spanish. Practical skill is required.

LANs200LA

スペイン語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

塩﨑　公靖

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**木** 1/Thu.1
単位数：**1 単位**
文 2 年 R～T

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スペイン語初級文法の完成。応用力をつけること。
スペイン語圏の文化に親しむこと。

【到達目標】
スペイン語の基礎的な会話の習得。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
本授業は対面形式でなく、学習支援システムを通じたオンデマンド形式（資料型）にて行う。
これまでの授業で使ってきた教科書、および進度にばらつきがあると思うので、まずはそれを確認し、できるだけ多数の学生に満足してもらえるような方法をとりたい。
その他、授業を通じてスペイン語圏の文化を紹介する。
各回テーマは飽くまで目安。
学習支援システムを通じたヒアリングや各回実施する練習問題を通じて、
理解度を把握し、内容/進め方を適宜修正する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	接続法現在	考え方
2	接続法現在規則活用	活用、用法
3	接続法現在不規則活用	活用、用法
4	接続法現在完了	活用、用法
5	練習問題	授業内演習
6	接続法過去	活用、用法
7	接続法過去完了	活用、用法
8	仮定法 si(2) 接続法使用	用法、練習問題
9	接続法文法 応用	実際の文章の中での使われ方
10	練習問題（接続法過去、仮定法ほか）	授業内演習
11	文書読解（ニュースサイト）	最新のニュースなど
12	文書読解（SNS）	SNS で見られるスペイン語の紹介
13	テスト前、質疑応答	秋学期授業復習
14	テスト	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習不要。復習をしっかりと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
学生が使ってきた教科書を調査して決定。

【参考書】
特になし。

【成績評価の方法と基準】
期末テスト 65%、平常点 35% で判定。

【学生の意見等からの気づき】
会話やメールなど、実際のコミュニケーションで使用できる表現を、自身の経験も結びつけながら逐次紹介したい。
また、練習問題を多く取り入れることも検討する。

【Outline and objectives】
Master basic-intermediate grammar of Spanish. Practical skill is required.

LANs200LA

スペイン語３Ｉ

2017 年度以降入学者

大貫　良史

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**火** 5/Tue.5
単位数：**1 単位**
文 2 年 U～X

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スペイン語の初級文法を復習しながら、中級レベルの文法へのステップアップを目指し、構文などの応用的な表現を学んでいく。

【到達目標】
初級から一歩進んだ文法を習得し、読み書きのレベルを高めていく。また語学だけでなく、スペイン語圏諸国の歴史、文化などの理解も深めていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
スペイン語の基礎を終えた学生を対象とし、基本的にはテキストに添って文法事項などを説明しながら進める。
また、映像などを用い、スペイン語圏文化の紹介も可能な限り行っていく。
状況により、学生の理解度を考慮し、授業進度を調整する可能性がある。
授業では、辞書を必ず持参すること。
＜課題に対するフィードバックの方法＞
リアクションペーパーの質問や重要な意見に対し、次回授業で解説・講評を行う。
大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	第１課　グラナダ（スペイン）　文法説明	ser,estar,hay の活用と用法、直説法現在の活用、直説法現在の用法、指示形容詞・指示代名詞
第 2 回	第１課　グラナダ（スペイン）　会話文・読解	ser,estar,hay の活用と用法、直説法現在の活用、直説法現在の用法、指示形容詞・指示代名詞
第 3 回	第２課　セビリア（スペイン）　文法説明	再帰動詞、目的格人称代名詞、不定詞と弱い代名詞
第 4 回	第２課　セビリア（スペイン）　会話文・読解	再帰動詞、目的格人称代名詞、不定詞と弱い代名詞
第 5 回	第３課　ハバナ（キューバ）　文法説明	現在分詞、進行形、現在分詞を用いた分詞構文、所有形容詞
第 6 回	第３課　ハバナ（キューバ）　会話文・読解	現在分詞、進行形、現在分詞を用いた分詞構文、所有形容詞
第 7 回	第４課　テオティワカン（メキシコ）　文法説明	過去分詞、受動態、結果状態、点過去
第 8 回	第４課　テオティワカン（メキシコ）　会話文・読解	過去分詞、受動態、結果状態、点過去
第 9 回	第５課　ティカル（グァテマラ）　文法説明	線過去、点過去と線過去の使い分け、時間の経過を示す hace、比較表現、絶対最上級
第 10 回	第５課　ティカル（グァテマラ）　会話文・読解	線過去、点過去と線過去の使い分け、時間の経過を示す hace、比較表現、絶対最上級
第 11 回	第６課　マチュ・ピチュ（ペルー）　文法説明	直説法現在完了、直説法過去完了、不定語と否定語、無人称表現
第 12 回	第６課　マチュ・ピチュ（ペルー）　会話文・読解	直説法現在完了、直説法過去完了、不定語と否定語、無人称表現
第 13 回	前期の総復習	テストに向けた前期の総復習、文法ポイントの確認
第 14 回	試験	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
わからない単語を辞書で調べておくこと
特に復習に時間を割くこと。語学の習得においては、復習と反復練習が何よりも重要である
本授業の準備・復習時間は、あわせて１時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】
『―初級～中級スペイン語―　世界遺産を訪ねて　―改訂版―』　禪野美穂他著、朝日出版社、2,300 円（+税）

【参考書】
辞書：『西和中辞典』（小学館）
文法書：『わかるスペイン語』西川喬　(同学社)
授業中の携帯電話およびノートパソコンを使用してのオンライン辞書の利用は認められない

【成績評価の方法と基準】
授業への参加度など平常点 40%、試験 60%とし、総合的に評価する。また、授業に積極的に取り組む姿勢も評価に加える。反対に、授業中の消極的態度は減点の対象となることがある。
授業中の携帯電話の使用は欠席とみなす。

【学生の意見等からの気づき】
授業理解度を考慮し、丁寧な解説だけではなく、必要に応じ授業進度のスピードアップも図っていく

【その他の重要事項】
学習障害等、何らかの配慮を希望する場合は、遠慮なくその旨申し出てください。

【Outline and objectives】
Basic to middle level Spanish grammar and conversation

LANs200LA

スペイン語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

大貫　良史

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**火** 5/Tue.5
単位数：**1 単位**
文 2 年 U～X

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スペイン語の初級文法を復習しながら、中級レベルの文法へのステップアップを目指し、構文などの応用的な表現を学んでいく。

【到達目標】
初級から一歩進んだ文法を習得し、読み書きのレベルを高めていく。また語学だけでなく、スペイン語圏諸国の歴史、文化などの理解も深めていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
スペイン語の基礎を終えた学生を対象とし、基本的にはテキストに添って文法事項などを説明しながら進める。
また、映像などを用い、スペイン語圏文化の紹介も可能な限り行っていく。
状況により、学生の理解度を考慮し、授業進度を調整する可能性がある。
授業では、辞書を必ず持参すること。
＜課題に対するフィードバックの方法＞
リアクションペーパーの質問や重要な意見に対し、次回授業で解説・講評を行う。
大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	第７課　メキシコ市（メキシコ）　文法説明	直説法未来、直説法過去未来、関係詞（1）
第 2 回	第７課　メキシコ市（メキシコ）　会話文・読解	直説法未来、直説法過去未来、関係詞（1）
第 3 回	第８課　クスコ（ペルー）　文法説明	直説法未来完了、直説法過去未来完了、間接話法
第 4 回	第８課　クスコ（ペルー）　会話文・読解	直説法未来完了、直説法過去未来完了、間接話法
第 5 回	第９課　ポトシ（ボリビア）　文法説明	接続法現在の活用、接続法の用法（1）独立文、知覚、使役の表現
第 6 回	第９課　ポトシ（ボリビア）　会話文・読解	接続法現在の活用、接続法の用法（1）独立文、知覚、使役の表現
第 7 回	第１０課　ラ・サンティシマ・トリニダードとヘスス・デ・タバランゲ（パラグアイ）　文法説明	命令文、再帰前置詞格人称代名詞
第 8 回	第１０課　ラ・サンティシマ・トリニダードとヘスス・デ・タバランゲ（パラグアイ）　会話文・読解	命令文、再帰前置詞格人称代名詞
第 9 回	第１１課　ガラパゴス諸島（エクアドル）　文法説明	接続法の用法（2）、名詞説、形容詞節、副詞節
第 10 回	第１１課　ガラパゴス諸島（エクアドル）　会話文・読解	接続法の用法（2）、名詞説、形容詞節、副詞節
第 11 回	第１２課　ラパ・ヌイ国立公園（チリ）　文法説明	接続法過去の活用と用法、条件文
第 12 回	第１２課　ラパ・ヌイ国立公園（チリ）　会話文・読解	接続法過去の活用と用法、条件文
第 13 回	後期の総復習	テストに向けた後期の総復習、文法ポイントの確認
第 14 回	試験	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
わからない単語を辞書で調べておくこと
特に復習に時間を割くこと。語学の習得においては、復習と反復練習が何よりも重要である。
本授業の準備・復習時間は、あわせて１時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】
『―初級～中級スペイン語―　世界遺産を訪ねて　―改訂版―』　禪野美穂他著、朝日出版社、2,300 円（+税）

【参考書】
辞書：『西和中辞典』（小学館）
文法書：『わかるスペイン語』西川喬　(同学社)
授業中の携帯電話およびノートパソコンを使用してのオンライン辞書の利用は認められない。

【成績評価の方法と基準】
授業への参加度など平常点 40%、試験 60%とし、総合的に評価する。また、授業に積極的に取り組む姿勢も評価に加える。反対に、授業中の消極的態度は減点の対象となることがある。
授業中の携帯電話の使用は欠席とみなす。

【学生の意見等からの気づき】
授業理解度を考慮し、丁寧な解説だけではなく、必要に応じ授業進度のスピードアップも図っていく。

【その他の重要事項】
学習障害等、何らかの配慮を希望する場合は、遠慮なくその旨申し出てください。

【Outline and objectives】
Basic to middle level Spanish grammar and conversation

LANs200LA

スペイン語３Ｉ

2017 年度以降入学者

コルメナ　ロメロ　ロベルト

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
営２年Ｄ・Ｅ

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
同講義の目的は、会話を通じてスペイン語圏の人々と簡単な意思の伝達が出来る様に学んでいくと同時に、前年度から更に進んだ複雑な文章の構成、ヒアリングのレベルアップを図ります。

【到達目標】
この授業では、前年度に学んだポイントの復習も兼ねて、一段階上のレベルの表現が出来る様に教科書に従ってダイアログ・単語を学びながら文化についても習得していきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業の最初に会話の意図を説明した上で、文法や文脈を解読し、実際に会話を行います。提出や課題等に対するフィードバック方法は Google Classroom で行います。
大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	新年度	自己紹介する、クラスメートについて知る。
2 回	新年度	スペイン語を学習への興味、目的、学習方法について話す。
3 回	私の家族と友人。	家族や友達のような人間関係について話す。
4 回	私の家族と友人。	ある人が昔どのようだったか記述する。
5 回	私の町。	大学生活と以前の生活に比べて、その違いについて話す。 過去の習慣について話す。
6 回	私の町	ある場所の位置とそこへの行き方について、質問する、尋ねる。
7 回	中間テスト	中間テスト
8 回	休みの時	過去に行った事柄について話す、質問する。
9 回	休みの時	過去の記述をする、原因や結果について表現する。
10 回	前の旅行。	過去の旅行について、質問をする、話す。
11 回	前の旅行。	旅行した時の色々な状況について話す、場所について記述する。 旅行に関して人に何かを進める。
12 回	食物	食習慣について話す。 近い過去の経験や行為について質問する、話す。
13 回	食物	料理の材料について話すそして人に勧める。
14 回	期末テスト	期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・一年次で学んだことをかならずしっかり復習しておく。
・単語の意味調べを行い、授業に出る。
・授業中に出る宿題を必ず行うこと。
・毎回学んだことを確実にし復習しておくこと。
・努めて語彙を増やしていくこと。
・スペイン語圏のニュースに注意している。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
いいね！ スペイン語２
朝日出版

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
平常点 15 %・授業参加 15%、中間テスト 30 %と学期末試験 40 %で総合評価します

【学生の意見等からの気づき】
なるべく生徒の意見を授業に取り入れる

【学生が準備すべき機器他】
西和和西辞典

【Outline and objectives】
The objective of this class is to communicate simple intentions to Spanish-speaking people. And, at the same time, try to improve the composition of more complicated sentences and improve the level of listening comprehension of the previous course.

LANs200LA

スペイン語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

コルメナ　ロメロ　ロベルト

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 4/Mon.4
単位数：**1 単位**
営２年 D・E

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
同講義の目的は、会話を通じてスペイン語圏の人々と簡単な意思の伝達が出来る様に学んでいくと同時に、前年度から更に進んだ複雑な文章の構成、ヒアリングのレベルアップを図ります。

【到達目標】
この授業では、前年度に学んだポイントの復習も兼ねて、一段階上のレベルの表現が出来る様に教科書に従ってダイアログ・単語を学びながら文化についても習得していきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業の最初に会話の意図を説明した上で、文法や文脈を解読し、実際に会話を行います。提出や課題等に対するフィードバック方法は Google Classroom で行います。
大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	大学を卒業後、仕事をし始めるでしょう。	将来何をしたいか、どうなりたいかについて話す。
2 回	大学を卒業後、仕事をし始めるでしょう。	仕事についての意見交換する。
3 回	家に来ませんか。	希望を述べる、相手にアドバイスをする。
4 回	家に来ませんか。	パーティで会話する。 社会の出来事や社会生活について質問する、話す。
5 回	海外留学	希望や好みを述べる、意見を言う、人に何かを進める。
6 回	海外留学	ある国でやるべきではないことや、その国の習慣について、質問する、話す。
7 回	復習課題	復習課題
8 回	スペインやイスパノアメリカの社会変化。	重要な社会の変化や問題点について質問する、答える。
9 回	スペインやイスパノアメリカの社会変化。	解決方法を提案する。
10 回	スポッツ	様々な種類のスポッツやスポッツ選手について、質問する、答える。
11 回	スポッツ	過去の出来事や行為について感情を示す評価判断を表現する。 現在あるいは未来で、可能性の低いあるいは全くない条件を使って話す。
12 回	学年が終わる。	学期中に行ったとこについて、質問する、話す。
13 回	学年が終わる。	クラスメートに別れの挨拶のメッセジを書く。
14 回	復習課題	復習課題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・一年次で学んだことをかならずしっかり復習しておく。
・単語の意味調べを行い、授業に出る。
・授業中に出る宿題を必ず行うこと。
・毎回学んだことを確実にし復習しておくこと。
・努めて語彙を増やしていくこと。
・スペイン語圏のニュースに注意している。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
いいね！ スペイン語２
朝日出版

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
平常点 15 %・授業参加 15%、中間テスト 30 %と学期末試験 40 %で総合評価します

【学生の意見等からの気づき】
なるべく生徒の意見を授業に取り入れる

【学生が準備すべき機器他】
西和和西辞典

【Outline and objectives】
The objective of this class is to communicate simple intentions to Spanish-speaking people. And, at the same time, try to improve the composition of more complicated sentences and improve the level of listening comprehension of the previous course.

LANs200LA

スペイン語３Ｉ

2017 年度以降入学者

BARRIENTOS R J DAVID

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**1 単位**
営 2 年 G

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スペイン語で話し、聞き、書き、読むことを強化することを目標とする。日本の文化と比較し、スペイン語圏の文化の理解も深める。

【到達目標】
スペイン語で基本的なこと、更に自分の興味や関心事について、意思疎通ができるようになるよう目指す。また、スペイン語圏の文化に関する理解を深めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
この授業は対面で行う。授業は教科書に沿って進める。特にスペイン語の発音に重点を置き、コミュニケーションをはかる際に必要な会話の基本構造を学び練習する。課題等に対するフィードバックは授業時に口頭で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introducción:¡ Vamos a saludar a los compañeros!	スペイン語の読み方を復習し、クラスメートとあいさつをし、自己紹介する
2	¡ Vamos a presentarnos!	名前、職業、国籍や出身地について話す
3	¡ Vamos a hablar de las cosas que haces! (1)	基本的な動詞を使って毎日の生活を話す（1）
4	¡ Vamos a hablar de las cosas que haces! (2)	基本的な動詞を使って毎日の生活を話す（2）
5	¡ Vamos a hablar de la familia!(1)	自分の家族のこと、名前、年齢、性格、容姿等を話す（1）
6	¡ Vamos a hablar de la familia!(2)	自分の家族のこと、名前、年齢、性格、容姿等を話す（2）
7	¿ Dónde está tu casa? ¿ Cómo es tu habitación? (1)	自分の部屋、家、住んでいるところについて話す（1）
8	¿ Dónde está tu casa? ¿ Cómo es tu habitación? (2)	自分の部屋、家、住んでいるところについて話す（2）
9	Examen. ¿ Qué te gusta? ¿ Qué no te gusta? (1)	中間試験、自分の好きなものやこと、嫌いなものやことを話す（1）
10	¿ Qué te gusta? ¿ Qué no te gusta? (2)	自分の好きなものやこと、嫌いなものやことを話す（2）天気の説明をする
11	¡ Vamos a invitar a un amigo!(1)	友達を誘ったり、頼む表現を覚え、買い物や食事の際の会話を学ぶ（1）
12	¡ Vamos a invitar a un amigo!(2)	友達を誘ったり、頼む表現を覚え、買い物や食事の際の会話を学ぶ（2）
13	¡ Vamos a hablar de lo que haces en un día o en una semana!	時間や曜日の表現を覚え、1 日、一週間のスケジュールを話す
14	Repaso y examen	今までのまとめを行い、理解度の確認をする。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。復習、もしくは予習として、授業時に指定するテキストの文章を辞書を使って読む、または練習問題を解いておくこと。また、言語習得に音読は欠かせないため、テキストに載っている会話文や例文を音読すること。

【テキスト（教科書）】
浦眞佐子、フランシスコ・パルティダ『¡ Imagínatelo! Nueva edición —イラストで楽しもう、スペイン語！ 改訂版』朝日出版社、2500 円

【参考書】
授業時に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】
試験（50%）、スピーキングテスト（25%）、授業参加および課題（25%）で評価する。

【学生の意見等からの気づき】
特になし。

【Outline and objectives】
The main aim of this course is to reinforce your Spanish skills (speaking, listening, writing and reading). Furthermore, you are going to get a glimpse of cultural diversity in Spanish-speaking countries.

LANs200LA

スペイン語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

BARRIENTOS R J DAVID

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**1 単位**
営 2 年 G

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スペイン語で話し、聞き、書き、読むことを強化することを目標とする。日本の文化と比較し、スペイン語圏の文化の理解も深める。

【到達目標】
スペイン語で基本的なこと、更に自分の興味や関心事について、意思疎通ができるようになるよう目指す。また、スペイン語圏の文化に関する理解を深めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
この授業は対面で行う。授業は教科書に沿って進める。特にスペイン語の発音に重点を置き、コミュニケーションをはかる際に必要な会話の基本構造を学び練習する。課題等に対するフィードバックは授業時に口頭で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	¡ Vamos a repasar!	春学期の復習（テキストの Lección 1 － 7）
2	¿ Qué le regalamos?(1)	誕生日やクリスマスに友達にプレゼントを贈る際の会話やカードの書き方を学ぶ（1）
3	¿ Qué le regalamos?(2)	誕生日やクリスマスに友達にプレゼントを贈る際の会話やカードの書き方を学ぶ（2）
4	¿ Qué te pasa? ¿ Te sientes mal? (1)	痛み、病気、体調が悪い時の表現を覚え、症状について話す（1）
5	¿ Qué te pasa? ¿ Te sientes mal? (2)	痛み、病気、体調が悪い時の表現を覚え、症状について話す（2）
6	Perdón, ¿ puede enseñarme...? (1)	行ったことがある、食べたことがある等、経験を話し、道順や料理の作り方等について話す（1）
7	Perdón, ¿ puede enseñarme...? (2)	行ったことがある、食べたことがある等、経験を話し、道順や料理の作り方等について話す（2）
8	Examen. ¡ Vamos hablar del pasado!(1)	中間試験、過去にしたことや旅行について話す（1）
9	¡ Vamos hablar del pasado!(2)	過去にしたことや旅行について話す（2）
10	¡ Vamos a contar sobre la vida de un familiar!	身近な人物の一生について話す
11	¡ Hablamos de recuerdos!(1)	子供の頃のことや旅行の思い出を話す（1）
12	¡ Hablamos de recuerdos!(2)	子供の頃のことや旅行の思い出を話す（2）
13	¡ Hablamos de recuerdos!(3)	子供の頃のことや旅行の思い出を話す（3）
14	Repaso y examen	今までのまとめを行い、理解度の確認をする。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。復習、もしくは予習として、授業時に指定するテキストの文章を辞書を使って読む、または練習問題を解いておくこと。また、言語習得に音読は欠かせないため、テキストに載っている会話文や例文を音読すること。

【テキスト（教科書）】
浦眞佐子、フランシスコ・パルティダ『¡ Imagínatelo! Nueva edición —イラストで楽しもう、スペイン語！ 改訂版』朝日出版社、2500 円

【参考書】
授業時に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】
試験（50%）、スピーキングテスト（25%）、授業参加および課題（25%）で評価する。

【学生の意見等からの気づき】
特になし。

【Outline and objectives】
The main aim of this course is to reinforce your Spanish skills (speaking, listening, writing and reading). Furthermore, you are going to get a glimpse of cultural diversity in Spanish-speaking countries.

LANs200LA

スペイン語３Ｉ

2017 年度以降入学者

日高　憲三

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
営 2 年 F・H～J

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スペイン語はスペインのみならず南北アメリカ諸国でも話されており、その話者人口は４億人を超えています。このクラスではスペイン語の基本を学びつつ、魅力あふれるスペイン語圏の世界に皆さんを誘います。

【到達目標】
スペイン語の試験で最終的に「良い点」を取っても、それが単に試験で良い点を取るための勉強の結果だったり、卒業の「単位のため」だったら、少々むなしいですね。まあ、その気持ちはわかりますが...。まずは授業を通して「スペイン語を身につけて〇〇国に行ってみたい、〇〇をしてみたい」など主体的な目的意識が芽生えることを願っています。そうすれば、スペイン語の実力は自然と身につくものです。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
このクラスの皆さんはスペイン語履修２年目になりますが、新たに使用する教科書に沿って文法事項や会話表現など、基礎的なことを復習をしながら、ゆっくり学んでいきます。同時にスペイン語が話されている国々の文化や社会、そこで暮らす人々に対する理解を深め、社会や文化の多様性を実感しながら、グローバルな感覚を養成していきたいと思います。また授業終了後はリアクションペーパーを提出し、適宜フィードバックを行います。
授業の形式：ハイブリッド型

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション、スペイン語世界の魅力再発見！	スペイン語はどんな言語か、スペイン語を学ぶと、どんな世界が広がるか、どんな楽しいことが待っているか。
第 2 回	教科書第１課	アファベット、母音、子音
第 3 回	教科書第１課	音節の分け方、アクセントのルール
第 4 回	教科書第２課	名詞の性、名詞の数
第 5 回	教科書第２課	冠詞、形容詞
第 6 回	教科書第３課	主格人称代名詞、ser 動詞
第 7 回	教科書第３課	文の構造、指示語
第 8 回	教科書第４課	estar 動詞、所有形容詞
第 9 回	教科書第４課	Hay の用法、Hay と Estar の比較
第 10 回	教科書第５課	直説法現在形・規則動詞
第 11 回	教科書第５課	直説法現在形・規則動詞
第 12 回	教科書第６課	現在形不規則動詞１
第 13 回	教科書第６課	直接目的格人称代名詞
第 14 回	教科書第７課	現在形不規則動詞２

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
昨年度のオンライン授業では NHK のテレビ語学講座「旅するためのスペイン語」を活用し、これまでにない大きな学習効果がありました。今年は対面授業を行いつつも、NHK の「旅するためのスペイン語」も教材として利用したいと思います（番組の視聴及び自主的調べ学習を含め、大学の規定に添って毎週約１時間の学習時間を確保）。当スペイン語クラスの受講を希望する人は、４月の第１回目の放送（４月７日、午前０時）から視聴するように準備してください（可能であれば３月の前年度の番組から視聴するのもおすすめです）。

【テキスト（教科書）】
「エスピギータ-実りのスペイン語」岡田敦美、那須まどり著、朝日出版社（２０１７年）２３００円

【参考書】
授業の中で適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】
期末試験１００％

【学生の意見等からの気づき】
昨年度のオンライン授業では NHK のテレビ語学講座「旅するためのスペイン語」を活用しつつ、独自の課題を出して調べ学習をしてもらいました。これまでの対面授業の時よりも積極的に、また主体的にスペイン語に取り組むケースが多く見受けられ、私自身びっくりしました。「英語は苦手で好きではないが、スペイン語に大きな魅力を感じた」、「これまで知らなかったスペイン語圏の世界を知ることで自分の視野が確実に広がった」、「コロナが終息したら絶対にスペイン語圏に行く！」など、スペイン語、スペイン語圏の文化や社会に対するポジティブな意見が多く寄せられました。今後も皆さんの目線に立ちながら、より良い授業ができるよう私自身も研鑽を積んでいきたいと思います。

【Outline and objectives】
This is a Basic Spanish class for Global education.
Spanish is used widely in Latin America and English in not a common language.Learning Spanish can help you expand your vision of the world!

LANs200LA

スペイン語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

日高　憲三

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 4/Wed.4
単位数：**1 単位**
営 2 年 F・H～J

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スペイン語はスペインのみならず南北アメリカ諸国でも話されており、その話者人口は４億人を超えています。このクラスでは、スペイン語の初歩を学びつつ、魅力あふれるスペイン語圏の世界に皆さんを誘います。

【到達目標】
スペイン語の試験で最終的に「良い点」を取っても、それが単に試験で良い点を取るための勉強の結果だったり、卒業の「単位のため」だったら、少々むなしいですね。まあ、その気持ちはわかりますが...。まずは授業を通して「スペイン語を身につけて〇〇国に行ってみたい、〇〇をしてみたい」など主体的な目的意識が芽生えることを願っています。そうすれば、スペイン語の実力は自然と身につくものです。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
前期に引き続き基礎的な文法事項や会話表現などを復習をしながら、ゆっくり学んでいきます。またスペイン語が話されている国々の文化や社会、そこで暮らす人々に対する理解をさらに深め、社会や文化の多様性を実感しながら、グローバルな感覚を養成していきたいと思います。授業終了後はリアクションペーパーを提出し、適宜フィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	教科書第８課	gustar 動詞
第 2 回	教科書第８課	前置詞格人称代名詞
第 3 回	教科書第９課	再帰動詞
第 4 回	教科書第９課	無人称文、接続詞
第 5 回	教科書第１０課	点過去１（規則動詞）
第 6 回	教科書第１０課	点過去２（規則動詞）
第 7 回	教科書第１１課	点過去（不規則動詞）
第 8 回	教科書第１１課	関係代名詞 所有形容詞
第 9 回	教科書第１２課	現在分詞
第 10 回	教科書第１２課	不定語、否定語
第 11 回	教科書第１３課	過去分詞、現在完了
第 12 回	教科書第１３課	受動態
第 13 回	教科書第１４課	比較級
第 14 回	まとめ	総復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
前期に引き続き NHK の「旅するためのスペイン語」も教材として利用しますので、毎週視聴するようにしてください（番組の視聴及び自主的調べ学習を含め、大学の規定に添って毎週約１時間の学習時間を確保）。また自分の興味のある国や地域、関心のあるテーマ（世界遺産、音楽、ダンス、民族衣装、食文化など）について積極的に調べたり体験、体感することをおすすめします。

【テキスト（教科書）】
「エスピギータ-実りのスペイン語」岡田敦美、那須まどり著、朝日出版社（２０１７年）２３００円

【参考書】
授業の中で適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】
期末試験１００％

【学生の意見等からの気づき】
昨年度のオンライン授業では NHK のテレビ語学講座「旅するためのスペイン語」を活用しつつ、独自の課題を出して調べ学習をしてもらいました。これまでの対面授業の時よりも積極的に、また主体的にスペイン語に取り組むケースが多く見受けられ、私自身びっくりしました。「英語は苦手で好きではないが、スペイン語に大きな魅力を感じた」、「これまで知らなかったスペイン語圏の世界を知ることで自分の視野が確実に広がった」、「コロナが終息したら絶対にスペイン語圏に行く！」など、スペイン語、スペイン語圏の文化や社会に対するポジティブな意見が多く寄せられました。今後も皆さんの目線に立ちながら、より良い授業ができるよう私自身も研鑽を積んでいきたいと思います。

【Outline and objectives】
This is a Basic Spanish class for Global education.
Spanish is used widely in Latin America and English in not a common language.Learning Spanish can help you expand your vision of the world!

LANs200LA

スペイン語３Ｉ

2017 年度以降入学者

日高　憲三

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**水** 3/Wed.3
単位数：**1 単位**
営２年Ｋ

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スペイン語はスペインのみならず南北アメリカ諸国でも話されており、その話者人口は４億人を超えています。このクラスではスペイン語の基本を学びつつ、魅力あふれるスペイン語圏の世界に皆さんを誘います。

【到達目標】
スペイン語の試験で最終的に「良い点」を取っても、それが単に試験で良い点を取るための勉強の結果だったり、卒業の「単位のため」だったら、少々むなしいですね。まあ、その気持ちはわかりますが...。まずは授業を通して「スペイン語を身につけて〇〇国に行ってみたい、〇〇をしてみたい」など主体的な目的意識が芽生えることを願っています。そうすれば、スペイン語の実力は自然と身につくものです。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
このクラスの皆さんはスペイン語履修２年目になりますが、新たに使用する教科書に沿って文法事項や会話表現など、基礎的なことを復習をしながら、ゆっくり学んでいきます。同時にスペイン語が話されている国々の文化や社会、そこで暮らす人々に対する理解を深め、社会や文化の多様性を実感しながら、グローバルな感覚を養成していきたいと思います。また授業終了後はリアクションペーパーを提出し、適宜フィードバックを行います。
授業の形式：ハイブリッド型

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第１回	オリエンテーション、スペイン語世界の魅力再発見！	スペイン語はどんな言語か、スペイン語を学ぶと、どんな世界が広がるか、どんな楽しいことが待っているか。
第２回	教科書第１課	アファベット、母音、子音
第３回	教科書第１課	音節の分け方、アクセントのルール
第４回	教科書第２課	名詞の性、名詞の数
第５回	教科書第２課	冠詞、形容詞
第６回	教科書第３課	主格人称代名詞、ser 動詞
第７回	教科書第３課	文の構造、指示語
第８回	教科書第４課	estar 動詞、所有形容詞
第９回	教科書第４課	Hay の用法、Hay と Estar の比較
第10回	教科書第５課	直説法現在形・規則動詞
第11回	教科書第５課	直説法現在形・規則動詞
第12回	教科書第６課	現在形不規則動詞１
第13回	教科書第６課	直接目的格人称代名詞
第14回	教科書第７課	現在形不規則動詞２

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
昨年度のオンライン授業では NHK のテレビ語学講座「旅するためのスペイン語」を活用し、これまでにない大きな学習効果がありました。今年は対面授業を行いつつも、NHK の「旅するためのスペイン語」も教材として利用したいと思います（番組の視聴及び自主的調べ学習を含め、大学の規定に添って毎週約１時間の学習時間を確保）。当スペイン語クラスの受講を希望する人は、４月の第１回目の放送（４月７日、午前０時）から視聴するように準備してください（可能であれば３月の前年度の番組から視聴するのもおすすめです）。

【テキスト（教科書）】
「エスピギータ-実りのスペイン語」岡田敦美、那須まどり著、朝日出版社（２０１７年）２３００円

【参考書】
授業の中で適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】
期末試験１００％

【学生の意見等からの気づき】
昨年度のオンライン授業では NHK のテレビ語学講座「旅するためのスペイン語」を活用しつつ、独自の課題を出して調べ学習をしてもらいました。これまでの対面授業の時よりも積極的に、また主体的にスペイン語に取り組むケースが多く見受けられ、私自身びっくりしました。「英語は苦手で好きではないが、スペイン語に大きな魅力を感じた」、「これまで知らなかったスペイン語圏の世界を知ることで自分の視野が確実に広がった」、「コロナが終息したら絶対にスペイン語圏に行く！」など、スペイン語、スペイン語圏の文化や社会に対するポジティブな意見が多く寄せられました。今後も皆さんの目線に立ちながら、より良い授業ができるよう私自身も研鑽を積んでいきたいと思います。

【Outline and objectives】
This is a Basic Spanish class for Global education.
Spanish is used widely in Latin America and English in not a common language.Learning Spanish can help you expand your vision of the world!

LANs200LA

スペイン語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

日高　憲三

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 3/Wed.3
単位数：**1 単位**
営 2 年 K

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スペイン語はスペインのみならず南北アメリカ諸国でも話されており、その話者人口は４億人を超えています。このクラスでは、スペイン語の初歩を学びつつ、魅力あふれるスペイン語圏の世界に皆さんを誘います。

【到達目標】
スペイン語の試験で最終的に「良い点」を取っても、それが単に試験で良い点を取るための勉強の結果だったり、卒業の「単位のため」だったら、少々むなしいですね。まあ、その気持ちはわかりますが…。まずは授業を通して「スペイン語を身につけて〇〇国に行ってみたい、〇〇をしてみたい」など主体的な目的意識が芽生えることを願っています。そうすれば、スペイン語の実力は自然と身につくものです。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
前期に引き続き基礎的な文法事項や会話表現などを復習をしながら、ゆっくり学んでいきます。またスペイン語が話されている国々の文化や社会、そこで暮らす人々に対する理解をさらに深め、社会や文化の多様性を実感しながら、グローバルな感覚を養成していきたいと思います。授業終了後はリアクションペーパーを提出し、適宜フィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	教科書第８課	gustar 動詞
第 2 回	教科書第８課	前置詞格人称代名詞
第 3 回	教科書第９課	再帰動詞
第 4 回	教科書第９課	無人称文、接続詞
第 5 回	教科書第１０課	点過去１（規則動詞）
第 6 回	教科書第１０課	点過去２（規則動詞）
第 7 回	教科書第１１課	点過去（不規則動詞）
第 8 回	教科書第１１課	関係代名詞 所有形容詞
第 9 回	教科書第１２課	現在分詞
第 10 回	教科書第１２課	不定語、否定語
第 11 回	教科書第１３課	過去分詞、現在完了
第 12 回	教科書第１３課	受動態
第 13 回	教科書第１４課	比較級
第 14 回	まとめ	総復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
前期に引き続き NHK の「旅するためのスペイン語」も教材として利用しますので、毎週視聴するようにしてください（番組の視聴及び自主的調べ学習を含め、大学の規定に添って毎週約１時間の学習時間を確保）。また自分の興味のある国や地域、関心のあるテーマ（世界遺産、音楽、ダンス、民族衣装、食文化など）について積極的に調べたり体験、体感することをおすすめします。

【テキスト（教科書）】
「エスピギータ-実りのスペイン語」岡田敦美、那須まどり著、朝日出版社（２０１７年）２３００円

【参考書】
授業の中で適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】
期末試験１００％

【学生の意見等からの気づき】
昨年度のオンライン授業では NHK のテレビ語学講座「旅するためのスペイン語」を活用しつつ、独自の課題を出して調べ学習をしてもらいました。これまでの対面授業の時よりも積極的に、また主体的にスペイン語に取り組むケースが多く見受けられ、私自身びっくりしました。「英語は苦手で好きではないが、スペイン語に大きな魅力を感じた」、「これまで知らなかったスペイン語圏の世界を知ることで自分の視野が確実に広がった」、「コロナが終息したら絶対にスペイン語圏に行く！」など、スペイン語、スペイン語圏の文化や社会に対するポジティブな意見が多く寄せられました。今後も皆さんの目線に立ちながら、より良い授業ができるよう私自身も研鑽を積んでいきたいと思います。

【Outline and objectives】
This is a Basic Spanish class for Global education.
Spanish is used widely in Latin America and English in not a common language.Learning Spanish can help you expand your vision of the world!

LANs200LA

スペイン語３Ｉ

2017 年度以降入学者

コルメナ　ロメロ　ロベルト

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**1 単位**
営 2 年 M〜Q

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
同講義の目的は、会話を通じてスペイン語圏の人々と簡単な意思の伝達が出来る様に学んでいくと同時に、前年度から更に進んだ複雑な文章の構成、ヒアリングのレベルアップを図ります。

【到達目標】
この授業では、前年度に学んだポイントの復習も兼ねて、一段階上のレベルの表現が出来る様に教科書に従ってダイアログ・単語を学びながら文化についても習得していきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業の最初に会話の意図を説明した上で、文法や文脈を解読し、実際に会話を行います。提出や課題等に対するフィードバック方法は Google Classroom で行います。
大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	新年度	自己紹介する、クラスメートについて知る。
2 回	新年度	スペイン語を学習への興味、目的、学習方法について話す。
3 回	私の家族と友人。	家族や友達のような人間関係について話す。
4 回	私の家族と友人。	ある人が昔どのようだったか記述する。
5 回	私の町。	大学生活と以前の生活に比べて、その違いについて話す。 過去の習慣について話す。
6 回	私の町	ある場所の位置とそこへの行き方について、質問する、尋ねる。
7 回	中間テスト	中間テスト
8 回	休みの時	過去に行った事柄について話す、質問する。
9 回	休みの時	過去の記述をする、原因や結果について表現する。
10 回	前の旅行。	過去の旅行について、質問をする、話す。
11 回	前の旅行。	旅行した時の色々な状況について話す、場所について記述する。 旅行に関して人に何かを進める。
12 回	食物	食習慣について話す。 近い過去の経験や行為について質問する、話す。
13 回	食物	料理の材料について話すそして人に勧める。
14 回	期末テスト	期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・一年次で学んだことをかならずしっかり復習しておく。
・単語の意味調べを行い、授業に出る。
・授業中に出る宿題を必ず行うこと。
・毎回学んだことを確実にし復習しておくこと。
・努めて語彙を増やしていくこと。
・スペイン語圏のニュースに注意している。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
いいね！ スペイン語２
朝日出版

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
平常点 15 %・授業参加 15%、中間テスト 30 %と学期末試験 40 %で総合評価します

【学生の意見等からの気づき】
なるべく生徒の意見を授業に取り入れる

【学生が準備すべき機器他】
西和和西辞典

【Outline and objectives】
The objective of this class is to communicate simple intentions to Spanish-speaking people. And, at the same time, try to improve the composition of more complicated sentences and improve the level of listening comprehension of the previous course.

LANs200LA

スペイン語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

コルメナ　ロメロ　ロベルト

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**1 単位**
営 2 年 M〜Q

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
同講義の目的は、会話を通じてスペイン語圏の人々と簡単な意思の伝達が出来る様に学んでいくと同時に、前年度から更に進んだ複雑な文章の構成、ヒアリングのレベルアップを図ります。

【到達目標】
この授業では、前年度に学んだポイントの復習も兼ねて、一段階上のレベルの表現が出来る様に教科書に従ってダイアログ・単語を学びながら文化についても習得していきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業の最初に会話の意図を説明した上で、文法や文脈を解読し、実際に会話を行います。提出や課題等に対するフィードバック方法は Google Classroom で行います。
大学の行動方針レベルが２となった場合、この授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1 回	大学を卒業後、仕事をし始めるでしょう。	将来何をしたいか、どうなりたいかについて話す。
2 回	大学を卒業後、仕事をし始めるでしょう。	仕事についての意見交換する。
3 回	家に来ませんか。	希望を述べる、相手にアドバイスをする。
4 回	家に来ませんか。	パーティで会話する。 社会の出来事や社会生活について質問する、話す。
5 回	海外留学	希望や好みを述べる、意見を言う、人に何かを進める。
6 回	海外留学	ある国でやるべきではないことや、その国の習慣について、質問する、話す。
7 回	復習課題	復習課題
8 回	スペインやイスパノアメリカの社会変化。	重要な社会の変化や問題点について質問する、答える。
9 回	スペインやイスパノアメリカの社会変化。	解決方法を提案する。
10 回	スポッツ	様々な種類のスポッツやスポッツ選手について、質問する、答える。
11 回	スポッツ	過去の出来事や行為について感情を示す評価判断を表現する。 現在あるいは未来で、可能性の低いあるいは全くない条件を使って話す。
12 回	学年が終わる。	学期中に行ったとこについて、質問する、話す。
13 回	学年が終わる。	クラスメートに別れの挨拶のメッセジを書く。
14 回	復習課題	復習課題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
・一年次で学んだことをかならずしっかり復習しておく。
・単語の意味調べを行い、授業に出る。
・授業中に出る宿題を必ず行うこと。
・毎回学んだことを確実にし復習しておくこと。
・努めて語彙を増やしていくこと。
・スペイン語圏のニュースに注意している。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
いいね！ スペイン語２
朝日出版

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
平常点 15 %・授業参加 15%、中間テスト 30 %と学期末試験 40 %で総合評価します

【学生の意見等からの気づき】
なるべく生徒の意見を授業に取り入れる

【学生が準備すべき機器他】
西和和西辞典

【Outline and objectives】
The objective of this class is to communicate simple intentions to Spanish-speaking people. And, at the same time, try to improve the composition of more complicated sentences and improve the level of listening comprehension of the previous course.

LANs200LA

スペイン語３Ｉ

2017 年度以降入学者

OSNO I DE SASAKUBO H

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
営 2 年 T・U

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では初級スペイン語を終了した学生が、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを通してスペイン語でコミュニケーションすることを学ぶ。また、スペイン語圏の文化や社会の現状を踏まえた会話の上達を目指す。

【到達目標】
スペイン語での日常会話ができるようになる。また、辞書を使用しながら、少し長めのテキストを読解できることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業はテキストに沿って実習形式で進められる。必要に応じて教員が説明を行うが、基本的には学生が会話をしたり、練習問題を解いたりして積極的に授業に参加することが期待される。毎回の授業開始時に、課題やリアクションペーパーへのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	スペイン語	南米にスペイン語を話す国々
2	スペイン語で自己紹介	目的人称代名詞、再帰代名詞
3	生活習慣、スペイン語圏の家族	現在進行形　/ 現在分詞のその他の用法
4	人一生　/ 家族	復習:直説法点過去。過去を表す副詞句。
5	中南米諸国への日本人移民	関係詞Ｉ：関係詞代名詞
6	町で	SER. ESTAR. HABER. TENER 直説法線過去:活用 / -mente で終わる副詞
7	昔と今	直説法線過去の用法　/　品質形容詞
8	旅行	直説法点過去と線過去　/ 旅行：活動と携行品
9	天候	色々な副詞節
10	余暇活動	過去分詞　/　直説法現在完了：活用　/ 余暇生活　/　勧誘表現
11	社会生活	直説法現在完了の用法 / 過去分詞のその他用法
12	未来を表す副詞	直説法未来：活用　/ 直説法未来の用法
13	推測	直説法未来完了：活用と用法
14	確実性を示す表現	直説法過去未来：活用

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
復習をしっかりやること、十分な準備をすること。本授業の宿題・復習時間は、あわせて１時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Entre Amigos2,2a. (総合スペイン語コース中級ー改訂版ー)
Edición. Editorial Asahi

【参考書】
授業の進行によって随時提示。

【成績評価の方法と基準】
授業内での口頭試験 50 %
小テスト 20 %
期末試験の結果 30 %
毎回、新しい事を学び、それらは連続しているので欠席することは致命的となる。原則として遅刻は認めない。

【学生の意見等からの気づき】
新規の担当科目のため、学生からの意見は今後授業改善に反映する。

【Outline and objectives】
In this lesson, students who have finished Spanish for beginners learn to communicate in Spanish through speaking, listening, reading, and writing skills. In addition, our goal is to improve conversation based on the current state of culture and society in the Spanish-speaking world.

LANs200LA

スペイン語３Ⅱ

2017 年度以降入学者

OSNO I DE SASAKUBO H

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
営 2 年 T・U

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では初級スペイン語を終了した学生が、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを通してスペイン語でコミュニケーションすることを学ぶ。また、スペイン語圏の文化や社会の現状を踏まえた会話の上達を目指す。

【到達目標】
自分の住環境、学習環境，労働環境について、評価または願望などをスペイン語で述べることができるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
授業はテキストに沿って進められる。必要に応じて教員が説明を行うが、会話練習や練習問題への取り組みが主要な時間を占める。毎回の授業開始時に、課題やリアクションペーパーへのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	家具	家具と調度品 / 直説法過去完了：活用と用法
2	調度品	直説法の時制：まとめ/関係詞 II
3	命令形	命令形 I: tu / vosotros に対する肯定命令 / 命令形の用法命令形と目的人称代名詞 / 再帰代名詞
4	食べ物/スポーツ	無人称表現　/ 直説法過去未来の用法 II
5	意見	接続法現在：活用　/　接続法の用法 I:名詞節過去形 II ：usted/ustedes に対する肯定命令
6	命令	否定命令 /　願望、依頼、命令表す表現
7	数	接続法の用法 II ：副詞節
8	環境問題	接続法の用法 III:形容詞節/
9	自然と人間	接続法現在完了:　活用と用法
10	願望表現	接続法の用法ＩＶ：独立文 / 接続法過去：活用
11	スペイン語国々の映画	接続法過去/ 条件文 I
12	会話で用いられる表現	接続法過去完了:活用 / 接続法過去完了の用法　/　直説法過去未来完了:活用と用法
13	後悔	条件文 II
14	丁寧な依頼	接続法の時制：まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
復習をしっかりやること、十分な準備をすること。本授業の宿題・復習時間は、あわせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Entre Amigos2, 2a. edición. (総合スペイン語コース中級ー改訂版ー)
Editorial Asahi

【参考書】
授業の進行によって随時提示。

【成績評価の方法と基準】
授業内での口頭試験 50 %
小テスト 20 %
期末試験の結果 30 %
毎回、新しい事を学び、それらは連続しているので欠席することは致命的となる。原則として遅刻は認めない。

【学生の意見等からの気づき】
新規担当科目のため、学生からの意見は今後反映させる。

【Outline and objectives】
In this lesson, students who have finished Spanish for beginners learn to communicate in Spanish through speaking, listening, reading, and writing skills. In addition, our goal is to improve conversation based on the current state of culture and society in the Spanish-speaking world.

LANs200LA

スペイン語４Ｉ

2017 年度以降入学者

OSNO I DE SASAKUBO H

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火** 2/Tue.2
単位数：**1 単位**
法文営環 2 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では初級スペイン語を終了した学生が、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを通してスペイン語でコミュニケーションすることを学ぶ。また、スペイン語圏の文化や社会の現状を踏まえた会話の上達を目指す。

【到達目標】
スペイン語での日常会話ができるようになる。また、辞書を使用しながら、少し長めのテキストを読解できることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
授業はテキストに沿って実習形式で進められる。必要に応じて教員が説明を行うが、基本的には学生が会話をしたり、練習問題を解いたりして積極的に授業に参加することが期待される。毎回の授業開始時に、課題やリアクションペーパーへのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	スペイン語	南米にスペイン語を話す国々
2	スペイン語で自己紹介	目的人称代名詞、再帰代名詞。
3	生活習慣、スペイン語圏の家族	現在進行形　/ 現在分詞のその他の用法。
4	人の一生、家族	復習:直説法点過去。過去を表す副詞句。
5	中南米諸国への日本人移民	関係詞Ｉ：関係詞代名詞
6	町で	SER. ESTAR. HABER. TENER 直説法線過去:活用 / -mente で終わる副詞
7	昔と今	直説法線過去の用法　/　品質形容詞
8	旅行	直説法点過去と線過去　/ 旅行：活動と携行品
9	天候	色々な副詞節
10	余暇活動	過去分詞　/　直説法現在完了：活用　/ 余暇生活　/　勧誘表現
11	社会生活	直説法現在完了の用法 / 過去分詞のその他用法
12	未来を表す副詞	直説法未来：活用　/ 直説法未来の用法
13	推測	直説法未来完了：活用と用法
14	確実性を示す表現	直説法過去未来：活用

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
復習をしっかりやること、十分な準備をすること。本授業の宿題・復習時間は、あわせて１時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Entre amigos 2, 2da. edición,(総合スペイン語コース中級ー改訂版ー)
Editorial Asahi

【参考書】
授業の進行によって随時提示。

【成績評価の方法と基準】
授業内での口頭試験 50 %
小テスト 20 %
期末試験の結果 30 %
毎回、新しい事を学び、それらは連続しているので欠席することは致命的となる。原則として遅刻は認めない。

【学生の意見等からの気づき】
新規の担当科目のため、学生からの意見は今後授業改善に反映する。

【Outline and objectives】
In this lesson, students who have finished Spanish for beginners learn to communicate in Spanish through speaking, listening, reading, and writing skills. In addition, our goal is to improve conversation based on the current state of culture and society in the Spanish-speaking world.

LANs200LA

スペイン語４Ⅱ

2017 年度以降入学者

OSNO I DE SASAKUBO H

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**火** 2/Tue.2
単位数：**1 単位**
法文営環 2 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では初級スペイン語を終了した学生が、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを通してスペイン語でコミュニケーションすることを学ぶ。また、スペイン語圏の文化や社会の現状を踏まえた会話の上達を目指す。

【到達目標】
自分の住環境、学習環境，労働環境について、評価または願望などをスペイン語で述べることができるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
授業はテキストに沿って進められる。必要に応じて教員が説明を行うが、会話練習や練習問題への取り組みが主要な時間を占める。毎回の授業開始時に、課題やリアクションペーパーへのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	家具	家具と調度品 / 直説法過去完了：活用と用法
2	調度品	直説法の時制：まとめ/関係詞 II
3	命令形	命令形 I: tu / vosotros に対する肯定命令 / 命令形の用法命令形と目的人称代名詞 / 再帰代名詞
4	食べ物/スポーツ	無人称表現　/ 直説法過去未来の用法 II
5	意見	接続法現在：活用　/　接続法の用法 I:名詞節過去形 II ：usted/ustedes に対する肯定命令
6	命令	否定命令 /　願望、依頼、命令表す表現
7	数	接続法の用法 II ：副詞節
8	環境問題	接続法の用法 III:形容詞節/
9	自然と人間	接続法現在完了:　活用と用法
10	願望表現	接続法の用法ＩＶ：独立文 / 接続法過去：活用
11	スペイン語圏の映画	接続法過去/ 条件文 I
12	会話で用いられる表現	接続法過去完了:活用 / 接続法過去完了の用法　/　直説法過去未来完了:活用と用法
13	後悔	条件文 II
14	丁寧な依頼	接続法の時制：まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
復習をしっかりやること、十分な準備をすること。本授業の宿題・復習時間は、あわせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Entre amigos 2, 2da. edición,(総合スペイン語コース中級ー改訂版ー)
Editorial Asahi

【参考書】
授業の進行によって随時提示。

【成績評価の方法と基準】
授業内での口頭試験 50 %
小テスト 20 %
期末試験の結果 30 %
毎回、新しい事を学び、それらは連続しているので欠席することは致命的となる。原則として遅刻は認めない。

【学生の意見等からの気づき】
新規担当科目のため、学生からの意見は今後反映させる。

【Outline and objectives】
In this lesson, students who have finished Spanish for beginners learn to communicate in Spanish through speaking, listening, reading, and writing skills. In addition, our goal is to improve conversation based on the current state of culture and society in the Spanish-speaking world.

LANs200LA

スペイン語４Ｉ

2017 年度以降入学者

OSNO I DE SASAKUBO H

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
法文営環 2 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では初級スペイン語を終了した学生が、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを通してスペイン語でコミュニケーションすることを学ぶ。

【到達目標】
スペイン語での日常会話ができるようになる。また、辞書を使用しながら、少し長めのテキストを読解できることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
授業はテキストに沿って実習形式で進められる。必要に応じて教員が説明を行うが、基本的には学生が会話をしたり、練習問題を解いたりして積極的に授業に参加することが期待される。毎回の授業開始時に、課題やリアクションペーパーへのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Introducción al curso	スペイン語で紹介、挨拶、授業の説明
2	Elena se prepara para ir a verle	再帰動詞・代名詞
3	Elena se prepara para ir a verle	日常生活、習慣、日課
4	Ya ha llegado a Valencia	現在完了形・頻度を表す副詞・
5	Ya ha llegado a Valencia	近い過去・習慣について話す
6	Iremos a Peñíscola	未来形、関係代名詞、副詞
7	Iremos a Peñíscola	友人を紹介する、仮定の話をする、他’
8	El partido de fútbol. ¿ Qué está pasando?	比較級と最上級、現在進行形
9	El partido de fútbol. ¿ Qué está pasando?	アドバイス、同時進行する言動、今行っていることを話す
10	Antes todo era diferente	線過去、旅行しながら過去を思い出す
11	Antes todo era diferente	過去の状態, 行動、日常について述べる
12	El año pasado fui a...	点過去、時を表す副詞
13	El año pasado fui a...	過去のある時点での出来事, 過去の重要事項について話す
14	期末テスト	まとめ、テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
復習をしっかりやること、十分な準備をすること。本授業の宿題・復習時間は、あわせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Te Veo,nivel intermedio. Editorial DTP
楽しく覚えるスペイン語「改訂版」
スペイン語中級

【参考書】
授業の進行によって随時提示。

【成績評価の方法と基準】
授業内での口頭試験 50 %
小テスト 20 %
期末試験の結果 30 %
毎回、新しい事を学び、それらは連続しているので欠席することは致命的となる。原則として遅刻は認めない。

【学生の意見等からの気づき】
新規の担当科目のため、学生からの意見は今後授業改善に反映する。

【Outline and objectives】
In this lesson, students who have finished Spanish for beginners learn to communicate in Spanish through speaking, listening, reading, and writing skills. In addition, our goal is to improve conversation based on the current state of culture and society in the Spanish-speaking world

LANs200LA

スペイン語４Ⅱ

2017 年度以降入学者

OSNO I DE SASAKUBO H

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
法文営環 2 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では初級スペイン語を終了した学生が、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを通してスペイン語でコミュニケーションすることを学ぶ。

【到達目標】
自分の住環境、学習環境，労働環境について、評価または願望などをスペイン語で述べることができるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
授業はテキストに沿って進められる。必要に応じて教員が説明を行うが、会話練習や練習問題への取り組みが主要な時間を占める。毎回の授業開始時に、課題やリアクションペーパーへのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	¿ Dónde nos conocimos?	時を表す語句とそれに合った 3 つの過去（現在完了形・線過去・点過去）
2	¿ Dónde nos conocimos?	歴史上の出来事と伝記、レシピ、料理
3	La paella.Enséñame	命令法
4	La paella.Enséñame	命令・アドバイス・指示の仕方、待ち合わせをする、他
5	Ya había estado aquí.	過去完了形、時を表す副詞
6	Ya había estado aquí.	過去・大過去の出来事について話す、時の表現の復習
7	映像	ラテンアメリカの映画
8	Quiero que venga mucha gente	接続法現在
9	Quiero que venga mucha gente	願望・要求・許可・禁止
10	Un regalo para mi madre. ¿ Qué le comprarías?	過去未来形、接続法過去形
11	Un regalo para mi madre. ¿ Qué le comprarías?	願い・憧れ・夢について話す、洋服・プレゼントを買う
12	La fiesta. ¡ Dice que saques unas cervezas!	間接語法、金言・名言集
13	La fiesta. ¡ Dice que saques unas cervezas!	他者の言葉を再現する、他者のメッセージを伝える
14	期末テスト	まとめ、テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
復習をしっかりやること、十分な準備をすること。本授業の宿題・復習時間は、あわせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Te Veo. Nivel intermedio.
Editorial DTP
スペイン語中級
楽しく覚えるスペイン語

【参考書】
授業の進行によって随時提示。

【成績評価の方法と基準】
授業内での口頭試験 50 %
小テスト 20 %
期末試験の結果 30 %
毎回、新しい事を学び、それらは連続しているので欠席することは致命的となる。原則として遅刻は認めない。

【学生の意見等からの気づき】
新規担当科目のため、学生からの意見は今後反映させる。

【Outline and objectives】
In this lesson, students who have finished Spanish for beginners learn to communicate in Spanish through speaking, listening, reading, and writing skills. In addition, our goal is to improve conversation based on the current state of culture and society in the Spanish-speaking world.

LANs200LA

スペイン語４Ｉ

2017 年度以降入学者

宮田　絵津子

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**水** 2/Wed.2
単位数：**1 単位**
法文営環 2 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
１年生で学んだスペイン語の復習とさらに進んだ文法の習得とならんで、スペイン語圏の文化について、各国の文化遺産を通してに学ぶ。初級、中級の文法を使って、「話す」「聞く」「理解する」「書く」ことを目標とする。

【到達目標】
スペイン語を用いて自分の意見を表現することを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
テキストを使用して文法の学びを基本とし、練習問題を解いていくことでスペイン語を身につける。同時にスペイン語圏の文化についての理解を深める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	一年を通じてどのように授業を進めていくのか、授業の紹介、スペイン語の導入。
2	１課	１年で学んだ文法の復習。ser,estar,hay の使い分けおよび直説法現在の動詞の活用。グラナダ（スペイン）について知る。
3	１課	１年で学んだ直説法現在の用法、指示形容詞、指示代名詞を学び、この、その、あの、これ、それ、あれ、という言い方の復習。グラナダ（スペイン）について知る。
4	２課	再帰動詞、目的格人称代名詞。セビーヤ（スペイン）について知る。
5	２課	不定詞と「弱い代名詞」。セビーヤ（スペイン）について知る。
6	３課	現在分詞、進行形。ハバナ（キューバ）について知る。
7	３課	現在分詞を用いた分詞構文、所有形容詞。ハバナ（キューバ）について知る。
8	４課	過去分詞、受動態。テオティワカン（メキシコ）について知る。
9	４課	結果状態、点過去。テオティワカン（メキシコ）について知る。
10	５課	線過去、点過去と線過去の使い分け。ティカル（グアテマラ）について知る。
11	５課	時間の経過を示す、比較表現、絶対最上級。ティカル（グアテマラ）について知る。
12	６課	直説法現在完了、直説法過去完了。マチュ・ピチュ（ペルー）について知る。
13	６課	不定語と否定語、無人称表現。マチュ・ピチュ（ペルー）について知る。
14	期末試験	春学期に学んだことの確認として期末テストを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Conociendo el Patrimonio de la Humanidad Segunda edición
初級～中級スペイン語世界遺産を訪ねて　改訂版　朝日出版社

【参考書】
『西和中辞典』(小学館)
『わかるスペイン語』西川喬　(同学社)

【成績評価の方法と基準】
試験（６０％）平常点（４０％）。携帯電話の使用は減点の対象とする。欠席は３回まで。３回欠席した学生は単位を取得できないので注意すること。期末テストで６０％取得しないと単位は取れない。

【学生の意見等からの気づき】
適宜リアクションペーパーを配布し、学生からの質問や要望に応える方針。特にわからない単元や確認したい文法について記入してください。質問などについては授業内で復習するなどの対応を行います。

【Outline and objectives】
To be able to communicate in Spanish especially using basic and intermediate level vocabularies. The goal is to be able to express each opinion on varios subjects in Spanish.

LANs200LA

スペイン語４Ⅱ

2017 年度以降入学者

宮田　絵津子

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 2/Wed.2
単位数：**1 単位**
法文営環 2 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
１年生で学んだスペイン語の復習とさらに進んだ文法の習得とならんで、スペイン語圏の文化について、各国の文化遺産を通してに学ぶ。初級、中級の文法を使って、「話す」「聞く」「理解する」「書く」ことを目標とする。

【到達目標】
スペイン語を用いて自分の意見を表現することを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
テキストを使用して文法の学びを基本とし、練習問題を解いていくことでスペイン語を身につける。同時にスペイン語圏の文化についての理解を深める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	復習	春学期の復習
2	復習	春学期の復習
3	７課	直説法未来、直説法過去未来。メキシコ市（メキシコ）
4	７課	直説法未来・過去未来の不規則活用。関係詞。メキシコ市（メキシコ）
5	８課	直説法未来完了。クスコ（ペルー）について知る。
6	８課	直説法過去未来完了、間接話法。クスコ（ペルー）について知る。
7	９課	接続法現在の活用。ポトシ（ボリビア）について知る。
8	９課	接続法の用法：独立分、知覚、使役の表現。ポトシ（ボリビア）について知る。
9	１０課	命令文（肯定命令）。ラ・サンティシマ・トリニダードとヘスス・デ・タバランゲ（パラグアイ）について知る。
10	１０課	命令文（否定命令）、再帰前置詞各人称代名詞。ラ・サンティシマ・トリニダードとヘスス・デ・タバランゲ（パラグアイ）について知る。
11	１１課	接続法の用法：名詞節。ガラパゴス諸島（エクアドル）について知る。
12	１１課	接続法の用法：形容詞節、接続法の用法：副詞節。ガラパゴス諸島（エクアドル）について知る。
13	１２課	接続法過去の活用と用法、条件文。ラパ・ヌイ国立公園（チリ）を知る
14	期末試験	秋学期に学んだことを確認。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Conociendo el Patrimonio de la Humanidad Segunda edición
初級～中級スペイン語世界遺産を訪ねて　改訂版　朝日出版社

【参考書】
中級スペイン語文法　山田善郎著　白水社

【成績評価の方法と基準】
試験６０％、平常点４０％。
携帯電話の使用は減点の対象とする。欠席は３回まで。３回欠席した学生は単位を取得できないので注意すること。
期末テストで６０％取得しないと単位は取れない。

【学生の意見等からの気づき】
適宜配布するリアクションペーパーに疑問点、要望などがあれば対応。質問したい単元や確認したい文法などを記入してください。質問などについては授業内で復習するなどの対応を行います。

【Outline and objectives】
To be able to communicate in Spanish especially using basic and intermediate level vocabularies. The goal is to be able to express each opinion on varios subjects in Spanish.

LANs200LA

スペイン語（３）Ｉ

2017 年度以降入学者

宮田　絵津子

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**火** 2/Tue.2
単位数：**1 単位**
法 2 年 Y

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
１年生で学んだスペイン語の復習とさらに進んだ文法の習得とならんで、スペイン語圏の文化について、各国の文化遺産を通してに学ぶ。初級、中級の文法を使って、「話す」「聞く」「理解する」「書く」ことを目標とする。

【到達目標】
スペイン語を用いて自分の意見を表現することを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科： DP1

【授業の進め方と方法】
テキストを使用して文法の学びを基本とし、練習問題を解いていくことでスペイン語を身につける。同時にスペイン語圏の文化についての理解を深める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	一年を通じてどのように授業を進めていくのか、授業の紹介、スペイン語の導入。
2	１課	１年で学んだ文法の復習。ser,estar,hay の使い分けおよび直説法現在の動詞の活用。グラナダ（スペイン）について知る。
3	１課	１年で学んだ直説法現在の用法、指示形容詞、指示代名詞を学び、この、その、あの、これ、それ、あれ、という言い方の復習。グラナダ（スペイン）について知る。
4	２課	再帰動詞、目的格人称代名詞。セビーヤ（スペイン）について知る。
5	２課	不定詞と「弱い代名詞」。セビーヤ（スペイン）について知る。
6	３課	現在分詞、進行形。ハバナ（キューバ）について知る。
7	３課	現在分詞を用いた分詞構文、所有形容詞。ハバナ（キューバ）について知る。
8	４課	過去分詞、受動態。テオティワカン（メキシコ）について知る。
9	４課	結果状態、点過去。テオティワカン（メキシコ）について知る。
10	５課	線過去、点過去と線過去の使い分け。ティカル（グアテマラ）について知る。
11	５課	時間の経過を示す、比較表現、絶対最上級。ティカル（グアテマラ）について知る。
12	６課	直説法現在完了、直説法過去完了。マチュ・ピチュ（ペルー）について知る。
13	６課	不定語と否定語、無人称表現。マチュ・ピチュ（ペルー）について知る。
14	期末試験	春学期に学んだことの確認として期末テストを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Conociendo el Patrimonio de la Humanidad Segunda edición
初級～中級スペイン語世界遺産を訪ねて　改訂版　朝日出版社

【参考書】
『西和中辞典』(小学館)
『わかるスペイン語』西川喬　(同学社)

【成績評価の方法と基準】
試験（６０％）平常点（４０％）。携帯電話の使用は減点の対象とする。欠席は３回まで。３回欠席した学生は単位を取得できないので注意すること。期末試験で 60 %取得できないと単位は取れない。

【学生の意見等からの気づき】
適宜リアクションペーパーを配布し、学生からの質問や要望に応える方針。質問したい単元や確認したい文法について記入してください。質問などについては授業内で復習するなどの対応を行います。

【Outline and objectives】
To be able to communicate in Spanish especially using basic and intermediate level vocabularies. The goal is to be able to express each opinion on varios subjects in Spanish.

LANs200LA

スペイン語（３）Ⅱ

2017 年度以降入学者

宮田　絵津子

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**火** 2/Tue.2
単位数：**1 単位**
法 2 年 Y

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
１年生で学んだスペイン語の復習とさらに進んだ文法の習得とならんで、スペイン語圏の文化について、各国の文化遺産を通してに学ぶ。初級、中級の文法を使って、「話す」「聞く」「理解する」「書く」ことを目標とする。

【到達目標】
スペイン語を用いて自分の意見を表現することを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科： DP1

【授業の進め方と方法】
テキストを使用して文法の学びを基本とし、練習問題を解いていくことでスペイン語を身につける。同時にスペイン語圏の文化についての理解を深める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	復習	春学期の復習
2	復習	春学期の復習
3	７課	直説法未来、直説法過去未来。メキシコ市（メキシコ）
4	７課	直説法未来・過去未来の不規則活用。関係詞。メキシコ市（メキシコ）
5	８課	直説法未来完了。クスコ（ペルー）について知る。
6	８課	直説法過去未来完了、間接話法。クスコ（ペルー）について知る。
7	９課	接続法現在の活用。ポトシ（ボリビア）について知る。
8	９課	接続法の用法：独立分、知覚、使役の表現。ポトシ（ボリビア）について知る。
9	１０課	命令文（肯定命令）。ラ・サンティシマ・トリニダードとヘスス・デ・タバランゲ（パラグアイ）について知る。
10	１０課	命令文（否定命令）、再帰前置詞各人称代名詞。ラ・サンティシマ・トリニダードとヘスス・デ・タバランゲ（パラグアイ）について知る。
11	１１課	接続法の用法：名詞節。ガラパゴス諸島（エクアドル）について知る。
12	１１課	接続法の用法：形容詞節、接続法の用法：副詞節。ガラパゴス諸島（エクアドル）について知る。
13	１２課	接続法過去の活用と用法、条件文。ラパ・ヌイ国立公園（チリ）を知る
14	期末試験	秋学期に学んだことを確認。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Conociendo el Patrimonio de la Humanidad Segunda edición
初級～中級スペイン語世界遺産を訪ねて　改訂版　朝日出版社

【参考書】
中級スペイン語文法　山田善郎著　白水社

【成績評価の方法と基準】
試験６０％、平常点４０％。
携帯電話の使用は減点の対象とする。欠席は３回まで。３回欠席した学生は単位を取得できないので注意すること。期末試験では６０％取得しないと単位を取れない。

【学生の意見等からの気づき】
適宜配布するリアクションペーパーに疑問点、要望などがあれば対応。質問したい単元や確認したい文法があれば記入して下さい。質問などについては授業内で復習を行うなどの対応をします。

【Outline and objectives】
To be able to communicate in Spanish especially using basic and intermediate level vocabularies. The goal is to be able to express each opinion on varios subjects in Spanish.

LANs200LA

スペイン語（3）Ⅰ

2017 年度以降入学者

塩﨑　公靖

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**土** 2/Sat.2
単位数：**1 単位**
法 2 年 Y

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スペイン語初級文法の完成。応用力をつけること。

【到達目標】
スペイン語の基礎的な会話の習得。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科： DP1

【授業の進め方と方法】
本授業は対面形式でなく、学習支援システムを通じたオンデマンド形式（資料型）にて行う。※初回の講義案内・資料配布は 4/15(月)を予定。
これまでの授業で使ってきた教科書、および進度にばらつきがあると思うので、まずはそれを確認し、できるだけ多数の学生に満足してもらえるような方法をとりたい。
その他、授業を通じてスペイン語圏の文化を紹介する。
各回テーマは飽くまで目安。
学習支援システムを通じたヒアリングや各回実施する練習問題を通じて、
理解度を把握し、内容/進め方を適宜修正する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	点過去形規則活用	ar 動詞 er/ir 動詞
2	点過去系不規則活用	不規則活用の種類
3	線過去形	線過去の用法
4	点過去・線過去の違い	考え方、使い方の整理
5	未来形	未来形活用・用法
6	過去未来形	過去未来形活用・用法
7	さまざまな時制の完了形	現在完了／過去完了／未来完了／過去未来完了
8	練習問題	1~7 まとめ
9	命令形	肯定文（tu/vosotros）
10	疑問詞	用法、内容確認
11	関係詞	用法、内容確認
12	仮定法 si	用法、内容確認
13	テスト前確認・質疑応答	講義内容復習
14	テスト	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習は不要。復習をしっかりと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
受講学生が今まで使っていた教科書を調査してから決める。

【参考書】
特になし。

【成績評価の方法と基準】
期末テスト 65%、平常点 35% で判定。

【学生の意見等からの気づき】
会話やメールなど、実際のコミュニケーションで使用できる表現を、自身の経験も結びつけながら逐次紹介したい。
また、練習問題を多く取り入れることも検討する。

【Outline and objectives】
Master basic-intermediate grammar of Spanish. Practical skill is required.

LANs200LA

スペイン語（3）Ⅱ

2017 年度以降入学者

塩﨑　公靖

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**土** 2/Sat.2
単位数：**1 単位**
法 2 年 Y

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スペイン語初級文法の完成。応用力をつけること。
スペイン語圏の文化に親しむこと。

【到達目標】
スペイン語の基礎的な会話の習得。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科： DP1

【授業の進め方と方法】
本授業は対面形式でなく、学習支援システムを通じたオンデマンド形式（資料型）にて行う。
これまでの授業で使ってきた教科書、および進度にばらつきがあると思うので、まずはそれを確認し、できるだけ多数の学生に満足してもらえるような方法をとりたい。
その他、授業を通じてスペイン語圏の文化を紹介する。
各回テーマは飽くまで目安。
学習支援システムを通じたヒアリングや各回実施する練習問題を通じて、
理解度を把握し、内容/進め方を適宜修正する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	接続法現在	考え方
2	接続法現在規則活用	活用、用法
3	接続法現在不規則活用	活用、用法
4	接続法現在完了	活用、用法
5	練習問題	授業内演習
6	接続法過去	活用、用法
7	接続法過去完了	活用、用法
8	仮定法 si(2) 接続法使用	用法、練習問題
9	接続法文法 応用	実際の文章の中での使われ方
10	練習問題（接続法過去、仮定法ほか）	授業内演習
11	文書読解（ニュースサイト）	最新のニュースなど
12	文書読解（SNS）	SNS で見られるスペイン語の紹介
13	テスト前、質疑応答	秋学期授業復習
14	テスト	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習不要。復習をしっかりと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
学生が使ってきた教科書を調査して決定。

【参考書】
特になし。

【成績評価の方法と基準】
期末テスト 65%、平常点 35% で判定。

【学生の意見等からの気づき】
会話やメールなど、実際のコミュニケーションで使用できる表現を、自身の経験も結びつけながら逐次紹介したい。
また、練習問題を多く取り入れることも検討する。

【Outline and objectives】
Master basic-intermediate grammar of Spanish. Practical skill is required.

LANs200LA

スペイン語７

2017 年度以降入学者

大西　亮

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 1/Mon.1
単位数：**1 単位**
国 2 年 SA

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業は、SA に参加する 2 年生を対象とする授業である。1 年次に学んだスペイン語文法の知識を生かしながら、長文読解や作文、リスニング、スピーキングなどの技能の習得をめざす。また、おもにスペインの新聞記事や小説など、さまざまなジャンルの読み物に挑戦し、文章理解力の向上に努める。

【到達目標】
長文読解では、おもにスペインの新聞記事や小説など、さまざまなジャンルの読み物に挑戦し、文章理解力の向上に努める。そのほか、複雑な時制を含む和文西訳や、視聴覚教材を用いたリスニングなどにも取り組む。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
あらかじめ配布された講読資料をもとに、内容について詳しく見ていく。指名された学生は、スペイン語の文章の和訳を行なう。それについて、討議などを通じて全員で議論し、内容理解に努める。課題等に対するフィードバックは授業内で行い、必要に応じて「学習支援システム」も活用する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	直説法現在形	直説法現在形を用いた文章の読解を行なう。
2	直説法現在形（不規則）	直説法現在形（不規則）を用いた文章の読解を行なう。
3	直説法点過去	直説法点過去を用いた文章の読解を行なう。
4	直説法線過去	直説法線過去を用いた文章の読解を行なう。
5	直説法現在完了	直説法現在完了形を用いた文章の読解を行なう。
6	直説法未来形	直説法未来形を用いた文章の読解を行なう。
7	直説法過去未来形	直説法過去未来形を用いた文章の読解を行なう。
8	直説法過去完了	直説法過去完了形を用いた文章の読解を行なう。
9	接続法現在	接続法現在形を用いた文章の読解を行なう。
10	接続法現在完了	接続法現在完了を用いた文章の読解を行なう。
11	接続法過去	接続法過去形を用いた文章の読解を行なう。
12	仮定法	仮定法を用いた文章の読解を行なう。
13	接続法独立用法	接続法（独立用法）を用いた文章の読解を行なう。
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業で用いる教材について予習と復習の励行に努めること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
初回授業時に指示する。

【参考書】
初回授業時に指示する。

【成績評価の方法と基準】
平常点 (20%)、小テスト (20 %)、期末試験 (60 %) を総合的に勘案して評価する。

【学生の意見等からの気づき】
学生参加型の授業を心がける。

【その他の重要事項】
この授業は基本的に対面形式で行われるが、場合によってはオンライン形式へ変更となることがある。その場合は「学習支援システム」上で通知するので、こまめなチェックを怠らないこと。

【Outline and objectives】
This course is intended for second-year students to participate in SA program. We will aim to improve students' reading, writing, listening and speaking skills in Spanish, by making the most of grammar they learned in their previous year. A further goal is to increase students' awareness and understanding of Spanish vocabulary and sentence-patterns, by reading newspaper-accounts, novels and other sundry books of all kinds.

LANs200LA

スペイン語８

2017 年度以降入学者

久木　正雄

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**1 単位**
国 2 年 SA

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
SA スペインに参加する２年次の学生を対象とするこの授業では、1 年次に学んだスペイン語の文法・語彙・表現の知識を活かしながら、「読む」「書く」「聞く」「話す」の４技能を総合的に修得する。

【到達目標】
スペイン語の運用能力を高め、SA スペインにおけるさまざまなシチュエーションに対応できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
教員による文法等の説明を踏まえて、さまざまなテーマやジャンルのスペイン語の文章を講読し、そこで用いられている表現を活かした作文に取り組む。また、視聴覚教材を併用しながら、スペイン語による会話の訓練を行う。課題等に対するフィードバックは授業内で行い、必要に応じて「学習支援システム」も活用する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	直説法現在形（規則活用）	直説法現在形の規則活用に焦点を当てたスペイン語文の講読・作文・会話を行う。
2	直説法現在形（不規則活用）	直説法現在形の不規則活用に焦点を当てたスペイン語文の講読・作文・会話を行う。
3	直説法点過去形	直説法点過去形に焦点を当てたスペイン語文の講読・作文・会話を行う。
4	直説法線過去形	直説法線過去形に焦点を当てたスペイン語文の講読・作文・会話を行う。
5	直説法現在完了形	直説法現在完了形に焦点を当てたスペイン語文の講読・作文・会話を行う。
6	直説法未来形	直説法未来形に焦点を当てたスペイン語文の講読・作文・会話を行う。
7	直説法過去未来形	直説法過去未来形に焦点を当てたスペイン語文の講読・作文・会話を行う。
8	直説法過去完了形	直説法過去完了形に焦点を当てたスペイン語文の講読・作文・会話を行う。
9	接続法現在形	接続法現在形に焦点を当てたスペイン語文の講読・作文・会話を行う。
10	接続法現在完了形	接続法現在完了に焦点を当てたスペイン語文の講読・作文・会話を行う。
11	接続法過去形	接続法過去形に焦点を当てたスペイン語文の講読・作文・会話を行う。
12	仮定法	仮定法に焦点を当てたスペイン語文の講読・作文・会話を行う。
13	接続法独立用法	接続法独立用法に焦点を当てたスペイン語文の講読・作文・会話を行う。
14	試験・まとめと解説	学期末試験を実施し、今学期の学習事項のまとめと解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
テキストの指定範囲および配布資料の準備学習と復習とともに、提出・非提出の別を問わず宿題に取り組むこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】
初回授業時に指示する。

【参考書】
初回授業時に指示する。

【成績評価の方法と基準】
宿題および授業時間内の課題： 20 %、小テスト： 20 %、学期末試験： 60 %。

【学生の意見等からの気づき】
学習事項の着実な修得のために、受講者一人ひとりの理解度をこまめに確認する。

【学生が準備すべき機器他】
特になし。

【その他の重要事項】
辞書の活用を怠らないこと。

【Outline and objectives】
This course is intended for second-year students to participate in the SA-Program in Spain. We will aim to improve students' reading, writing, listening and speaking skills in Spanish, by making the most of grammar they learned in their previous year.

LANs200LA

スペイン語３- Ⅰ

2017 年度以降入学者

日高　憲三

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
環 2 年 G～L

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スペイン語はスペインのみならず南北アメリカ諸国でも話されており、その話者人口は４億人を超えています。このクラスではスペイン語の基本を学びつつ、魅力あふれるスペイン語圏の世界に皆さんを誘います。

【到達目標】
スペイン語の試験で最終的に「良い点」を取っても、それが単に試験で良い点を取るための勉強の結果だったり、卒業の「単位のため」だったら、少々むなしいですね。まあ、その気持ちはわかりますが...。まずは授業を通して「スペイン語を身につけて〇〇国に行ってみたい、〇〇をしてみたい」など主体的な目的意識が芽生えることを願っています。そうすれば、スペイン語の実力は自然と身につくものです。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
このクラスの皆さんはスペイン語履修２年目になりますが、新たに使用する教科書に沿って文法事項や会話表現など、基礎的なことを復習をしながら、ゆっくり学んでいきます。同時にスペイン語が話されている国々の文化や社会、そこで暮らす人々に対する理解を深め、社会や文化の多様性を実感しながら、グローバルな感覚を養成していきたいと思います。また授業終了後はリアクションペーパーを提出し、適宜フィードバックを行います。
授業の形式：ハイブリッド型

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	オリエンテーション、スペイン語世界の魅力再発見！	スペイン語はどんな言語か、スペイン語を学ぶと、どんな世界が広がるか、どんな楽しいことが待っているか。
第 2 回	教科書第１課	アファベット、母音、子音
第 3 回	教科書第１課	音節の分け方、アクセントのルール
第 4 回	教科書第２課	名詞の性、名詞の数
第 5 回	教科書第２課	冠詞、形容詞
第 6 回	教科書第３課	主格人称代名詞、ser 動詞
第 7 回	教科書第３課	文の構造、指示語
第 8 回	教科書第４課	estar 動詞、所有形容詞
第 9 回	教科書第４課	Hay の用法、Hay と Estar の比較
第 10 回	教科書第５課	直説法現在形・規則動詞
第 11 回	教科書第５課	直説法現在形・規則動詞
第 12 回	教科書第６課	現在形不規則動詞１
第 13 回	教科書第６課	直接目的格人称代名詞
第 14 回	教科書第７課	現在形不規則動詞２

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
昨年度のオンライン授業では NHK のテレビ語学講座「旅するためのスペイン語」を活用し、これまでにない大きな学習効果がありました。今年は対面授業を行いつつも、NHK の「旅するためのスペイン語」も教材として利用したいと思います（番組の視聴及び自主的調べ学習を含め、大学の規定に添って毎週約１時間の学習時間を確保）。当スペイン語クラスの受講を希望する人は、４月の第１回目の放送（４月７日、午前０時）から視聴するように準備してください（可能であれば３月の前年度の番組から視聴するのもおすすめです）。

【テキスト（教科書）】
「エスピギータ-実りのスペイン語」岡田敦美、那須まどり著、朝日出版社（２０１７年）２３００円

【参考書】
授業の中で適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】
期末試験１００％

【学生の意見等からの気づき】
昨年度のオンライン授業では NHK のテレビ語学講座「旅するためのスペイン語」を活用しつつ、独自の課題を出して調べ学習をしてもらいました。これまでの対面授業の時よりも積極的に、また主体的にスペイン語に取り組むケースが多く見受けられ、私自身びっくりしました。「英語は苦手で好きではないが、スペイン語に大きな魅力を感じた」、「これまで知らなかったスペイン語圏の世界を知ることで自分の視野が確実に広がった」、「コロナが終息したら絶対にスペイン語圏に行く！」など、スペイン語、スペイン語圏の文化や社会に対するポジティブな意見が多く寄せられました。今後も皆さんの目線に立ちながら、より良い授業ができるよう私自身も研鑽を積んでいきたいと思います。

【Outline and objectives】
This is a Basic Spanish class for Global education.
Spanish is used widely in Latin America and English in not a common language.Learning Spanish can help you expand your vision of the world!

LANs200LA

スペイン語３-Ⅱ

2017 年度以降入学者

日高　憲三

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
環 2 年 G～L

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
スペイン語はスペインのみならず南北アメリカ諸国でも話されており、その話者人口は４億人を超えています。このクラスでは、スペイン語の初歩を学びつつ、魅力あふれるスペイン語圏の世界に皆さんを誘います。

【到達目標】
スペイン語の試験で最終的に「良い点」を取っても、それが単に試験で良い点を取るための勉強の結果だったり、卒業の「単位のため」だったら、少々むなしいですね。まあ、その気持ちはわかりますが…。まずは授業を通して「スペイン語を身につけて〇〇国に行ってみたい、〇〇をしてみたい」など主体的な目的意識が芽生えることを願っています。そうすれば、スペイン語の実力は自然と身につくものです。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
前期に引き続き基礎的な文法事項や会話表現などを復習をしながら、ゆっくり学んでいきます。またスペイン語が話されている国々の文化や社会、そこで暮らす人々に対する理解をさらに深め、社会や文化の多様性を実感しながら、グローバルな感覚を養成していきたいと思います。授業終了後はリアクションペーパーを提出し、適宜フィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	教科書第８課	gustar 動詞
第 2 回	教科書第８課	前置詞格人称代名詞
第 3 回	教科書第９課	再帰動詞
第 4 回	教科書第９課	無人称文、接続詞
第 5 回	教科書第１０課	点過去１（規則動詞）
第 6 回	教科書第１０課	点過去２（規則動詞）
第 7 回	教科書第１１課	点過去（不規則動詞）
第 8 回	教科書第１１課	関係代名詞 所有形容詞
第 9 回	教科書第１２課	現在分詞
第 10 回	教科書第１２課	不定語、否定語
第 11 回	教科書第１３課	過去分詞、現在完了
第 12 回	教科書第１３課	受動態
第 13 回	教科書第１４課	比較級
第 14 回	まとめ	総復習

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
前期に引き続き NHK の「旅するためのスペイン語」も教材として利用しますので、毎週視聴するようにしてください（番組の視聴及び自主的調べ学習を含め、大学の規定に添って毎週約 1 時間の学習時間を確保）。また自分の興味のある国や地域、関心のあるテーマ（世界遺産、音楽、ダンス、民族衣装、食文化など）について積極的に調べたり体験、体感することをおすすめします。

【テキスト（教科書）】
「エスピギータ-実りのスペイン語」岡田敦美、那須まどり著、朝日出版社（２０１７年）２３００円

【参考書】
授業の中で適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】
期末試験１００％

【学生の意見等からの気づき】
昨年度のオンライン授業では NHK のテレビ語学講座「旅するためのスペイン語」を活用しつつ、独自の課題を出して調べ学習をしてもらいました。これまでの対面授業の時よりも積極的に、また主体的にスペイン語に取り組むケースが多く見受けられ、私自身びっくりしました。「英語は苦手で好きではないが、スペイン語に大きな魅力を感じた」、「これまで知らなかったスペイン語圏の世界を知ることで自分の視野が確実に広がった」、「コロナが終息したら絶対にスペイン語圏に行く！」など、スペイン語、スペイン語圏の文化や社会に対するポジティブな意見が多く寄せられました。今後も皆さんの目線に立ちながら、より良い授業ができるよう私自身も研鑽を積んでいきたいと思います。

【Outline and objectives】
This is a Basic Spanish class for Global education.
Spanish is used widely in Latin America and English in not a common language.Learning Spanish can help you expand your vision of the world!

LANs200LA

スペイン語３- Ⅰ

2017 年度以降入学者

宮田　絵津子

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
環 2 年 A～F

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
１年生で学んだスペイン語の復習とさらに進んだ文法の習得とならんで、スペイン語圏の文化について、各国の文化遺産を通してに学ぶ。初級、中級の文法を使って、「話す」「聞く」「理解する」「書く」ことを目標とする。

【到達目標】
スペイン語を用いて自分の意見を表現することを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
テキストを使用して文法の学びを基本とし、練習問題を解いていくことでスペイン語を身につける。同時にスペイン語圏の文化についての理解を深める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	一年を通じてどのように授業を進めていくのか、授業の紹介、スペイン語の導入。
2	１課	１年で学んだ文法の復習。ser,estar,hay の使い分けおよび直説法現在の動詞の活用。グラナダ（スペイン）について知る。
3	１課	１年で学んだ直説法現在の用法、指示形容詞、指示代名詞を学び、この、その、あの、これ、それ、あれ、という言い方の復習。グラナダ（スペイン）について知る。
4	２課	再帰動詞、目的格人称代名詞。セビーヤ（スペイン）について知る。
5	２課	不定詞と「弱い代名詞」。セビーヤ（スペイン）について知る。
6	３課	現在分詞、進行形。ハバナ（キューバ）について知る。
7	３課	現在分詞を用いた分詞構文、所有形容詞。ハバナ（キューバ）について知る。
8	４課	過去分詞、受動態。テオティワカン（メキシコ）について知る。
9	４課	結果状態、点過去。テオティワカン（メキシコ）について知る。
10	５課	線過去、点過去と線過去の使い分け。ティカル（グアテマラ）について知る。
11	５課	時間の経過を示す、比較表現、絶対最上級。ティカル（グアテマラ）について知る。
12	６課	直説法現在完了、直説法過去完了。マチュ・ピチュ（ペルー）について知る。
13	６課	不定語と否定語、無人称表現。マチュ・ピチュ（ペルー）について知る。
14	期末試験	春学期に学んだことの確認として期末テストを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Conociendo el Patrimonio de la Humanidad Segunda edición
初級～中級スペイン語世界遺産を訪ねて　改訂版　朝日出版社

【参考書】
『西和中辞典』(小学館)
『わかるスペイン語』西川喬　(同学社)

【成績評価の方法と基準】
試験（６０％）平常点（４０％）。携帯電話の使用は減点の対象とする。欠席は３回まで。３回欠席した学生は単位を取得できないので注意すること。期末テストでは６０％取得しないと単位は取れない。

【学生の意見等からの気づき】
適宜リアクションペーパーを配布し、学生からの質問や要望に応える方針。質問したい単元や確認したい文法について記入してください。授業内で復習するなど質問に対する対応をします。

【Outline and objectives】
To be able to communicate in Spanish especially using basic and intermediate level vocabularies. The goal is to be able to express each opinion on varios subjects in Spanish.

LANs200LA

スペイン語３-Ⅱ

2017 年度以降入学者

宮田　絵津子

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
環 2 年 A～F

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
１年生で学んだスペイン語の復習とさらに進んだ文法の習得とならんで、スペイン語圏の文化について、各国の文化遺産を通してに学ぶ。初級、中級の文法を使って、「話す」「聞く」「理解する」「書く」ことを目標とする。

【到達目標】
スペイン語を用いて自分の意見を表現することを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
テキストを使用して文法の学びを基本とし、練習問題を解いていくことでスペイン語を身につける。同時にスペイン語圏の文化についての理解を深める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	復習	春学期の復習
2	復習	春学期の復習
3	７課	直説法未来、直説法過去未来。メキシコ市（メキシコ）
4	７課	直説法未来・過去未来の不規則活用。関係詞。メキシコ市（メキシコ）
5	８課	直説法未来完了。クスコ（ペルー）について知る。
6	８課	直説法過去未来完了、間接話法。クスコ（ペルー）について知る。
7	９課	接続法現在の活用。ポトシ（ボリビア）について知る。
8	９課	接続法の用法：独立分、知覚、使役の表現。ポトシ（ボリビア）について知る。
9	１０課	命令文（肯定命令）。ラ・サンティシマ・トリニダードとヘスス・デ・タバランゲ（パラグアイ）について知る。
10	１０課	命令文（否定命令）、再帰前置詞各人称代名詞。ラ・サンティシマ・トリニダードとヘスス・デ・タバランゲ（パラグアイ）について知る。
11	１１課	接続法の用法：名詞節。ガラパゴス諸島（エクアドル）について知る。
12	１１課	接続法の用法：形容詞節、接続法の用法：副詞節。ガラパゴス諸島（エクアドル）について知る。
13	１２課	接続法過去の活用と用法、条件文。ラパ・ヌイ国立公園（チリ）を知る
14	期末試験	秋学期に学んだことを確認。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
Conociendo el Patrimonio de la Humanidad Segunda edición
初級～中級スペイン語世界遺産を訪ねて　改訂版　朝日出版社

【参考書】
中級スペイン語文法　山田善郎著　白水社

【成績評価の方法と基準】
試験６０％、平常点４０％。
携帯電話の使用は減点の対象とする。欠席は３回まで。３回欠席した学生は単位を取得できないので注意すること。期末テストでは６０％取得しないと単位は取れない。

【学生の意見等からの気づき】
適宜配布するリアクションペーパーに疑問点、要望などがあれば対応。質問したい単元や確認したい文法があれば記入してください。授業内で復習するなど対応します。

【Outline and objectives】
To be able to communicate in Spanish especially using basic and intermediate level vocabularies. The goal is to be able to express each opinion on varios subjects in Spanish.

LANs200LA

スペイン語コミュニケーションⅠ　2017 年度以降入学者

瓜谷　アウロラ

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**水** 2/Wed.2
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 3〜4 年※定員制

他学部公開：○　**グローバル：**　**成績優秀：**○　**実務教員：**

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この講座はオンラインで実施する。Zoom を通じてリアルタイムで行う。身近な話題を相手に伝える練習をする。、モデル文章を作って重要な表現解説と置き換え練習も行う。モデル文章を元に表現を置き換えて、自分の文章を書けるようになるのが目標である。

【到達目標】
身近な話題について、文章で書き表し、それをベースに簡単なプレゼンテーションができるようになることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
モデルの重要な表現解説と置き換え練習後、学んだ表現を暗記し、Break Out Room で仲間と練習する。次に暗記した表現を利用してモデル文章を書き換えて Break Out Room で発表する。最後にその日に学習した内容の理解度を確認んするためにリスニングの小テストを行う。授業後提出する宿題がない。自分で書き換え文章のフィードバックは毎回 Break Out Room の練習中の時にその場で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Mi nombre 1	リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
2	Mi nombre 2	リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
3	Mi familia 1	リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
4	Mi familia 2	リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
5	Mi ciudad 1	リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
6	Mi ciudad 2	リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
7	Mi universidad 1	リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
8	Mi universidad 2	リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
9	Un día normal 1	リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
10	Un día normal 2	リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
11	Descripciones 1	リスニング練習、読解練習、発音練習、語彙練習、発話練習、再構築練習
12	Descripciones 2	リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
13	まとめ	リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
14	期末理解度の確認	リスニングと発話

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
前の週の復習から始まる。履修者は Break Out Room で練習を行うので、予習をしっかり行い、積極的に授業に参加することが求められる。事前学習として毎回送られてくるモデル文章とその日本語訳をよく理解しておくこと。事後学習は講義で暗記した短文を次回の講義までに確認し、完璧に暗記すること。次回の授業で確認のための簡単な口頭試験を行う。学習の目安は毎回 60 分程度である。

【テキスト（教科書）】
なし

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
1. 授業内で指された時の返事に基づく点数。又, 授業での態度や積極的な参加度など。
出席点ではありません　→ 30 %
2. 毎回の小テストに基づく点数　30 % →
3. 期末の理解度確認テストに基づく点数　→　40 %

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【学生が準備すべき機器他】
ZOOM を使って授業を行うので、ZOOM に滞りなく参加ができるように機器環境を整えること。

【その他の重要事項】
なし

【Outline and objectives】
This course will be conducted online in real time through Zoom. You will practice communicating familiar topics to the other party, make model sentences and practice important expression explanations and replacements. The goal is to be able to write your own sentences by replacing expressions based on model sentences.

LANs200LA

スペイン語コミュニケーションⅡ　2017 年度以降入学者

瓜谷　アウロラ

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 2/Wed.2
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 3〜4 年※定員制

他学部公開：○　**グローバル：**　**成績優秀：**○　**実務教員：**

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この講座はオンラインで実施する。Zoom を通じてリアルタイムで行う。身近な話題を相手に伝える練習をする。、モデル文章を作って重要な表現解説と置き換え練習も行う。モデル文章を元に表現を置き換えて、自分の文章を書けるようになるのが目標である。

【到達目標】
身近な話題について文章で書き表し、それをベースに簡単なプレゼンテーションができるようになることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
モデルの重要な表現解説と置き換え練習後、学んだ表現を暗記し、Break Out Room で仲間と練習する。次に暗記した表現を利用してモデル文章を書き換えて Break Out Room で発表する。最後にその日に学習した内容の理解度を確認んするためにリスニングの小テストを行う。授業後提出する宿題がない。自分で書き換え文章のフィードバックは毎回 Break Out Room の練習中の時にその場で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	Mi mejor viaje 1	リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
2	Mi mejor viaje 2	リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
3	Mis gustos 1	リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
4	Mis gustos 2	リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
5	Mi mejor regalo 1	リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
6	Mi mejor regalo 2	リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
7	Mi personaje preferido 1	リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
8	Mi personaje preferido 2	リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
9	Después de mi graduación 1	リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
10	Después de mi graduación 2	リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
11	Navidad 1	リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
12	Navidad 2	リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
13	Mi opinión	リスニング練習、発音練習、語彙練習、再構築練習、発話練習
14	Examen	リスニングと発話

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
前の週の復習から始まる。履修者は Break Out Room を使ってペアで練習を行うので、予習をしっかり行い、積極的に授業に参加することが求められる。事前学習として毎回送られてくるモデル文章とその日本語訳をよく理解しておくこと。事後学習は講義で暗記した２０個程度の短文を次回の講義までに確認し、完璧に暗記すること。次回の授業で確認のための簡単な口頭試験を行う。学習の目安は毎回 60 分程度である。

【テキスト（教科書）】
なし

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
1. 授業内で指された時の返事に基づく点数。又, 授業での態度や積極的な参加度など。
出席点ではありません　→ 30 %
2. 毎回の小テストに基づく点数　30 % →
3. 期末の理解度確認テストに基づく点数　→　40 %

【学生の意見等からの気づき】
特になし

【学生が準備すべき機器他】
ZOOM に滞りなく参加ができるように機器環境を整えること。

【その他の重要事項】
なし

【Outline and objectives】
In this course, you will practice communicating familiar topics to the other party. Make model sentences and practice important expression explanations and replacements. The goal is to be able to write your own sentences by replacing expressions based on model sentences.

LANs200LA

現代のスペイン語Ⅰ

2017 年度以降入学者

大西　亮

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 2〜4 年※定員制

他学部公開：○　**グローバル：**　**成績優秀：**○　**実務教員：**

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
初級の授業で習ったスペイン語文法の知識を生かしながら、まとまった長さの文章が読める程度の読解力を身につけることを目的とする。随時、初級文法の復習をおりまぜていく。また、この授業では、スペイン語圏の文化や社会にも光をあてつつ、その歴史と現状について学んでゆく。スペイン語初級をすでに受講したことのある学生が対象となる。

【到達目標】
スペイン語圏の文化や社会に関する文章を、辞書を引きながら読解することのできるレベルをめざす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
教科書の内容に沿って、文法事項の復習を中心に見ていく。随時小テストを行なうことによって、学生の理解度の把握に努める。採点済みの答案用紙は返却し、答え合わせをしながら基本的な文法事項のふりかえりに努める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	春学期の授業の進め方に関する説明を行う。
2	初級文法の復習	過年度までにスペイン語初級の各クラスで学んだ文法事項の復習を行う。
3	直説法現在	直説法現在を使った文章を読解する。
4	再帰動詞	再帰動詞を使った文章を読解する。
5	現在分詞および進行形	現在分詞と進行形を使った文章を読解する。
6	過去分詞および点過去	過去分詞と点過去を使った文章を読解する。
7	線過去	線過去を使った文章を読解する。
8	直説法現在完了および過去完了	直説法現在完了と直説法過去完了を使ったペルーの古代遺跡マチュ・ピチュに関する文章を読解する。
9	指示詞と所有詞の復習	指示詞と所有詞を使った文章を読解する。
10	受動表現の復習	受動表現を使った文章を読解する。
11	比較表現の復習	比較表現を使った文章を読解する。
12	無人称表現の復習	無人称表現を使った文章を読解する。
13	春学期のまとめ	春学期に学んだ文法事項の復習を行う。
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
授業で用いるテキストの予習と復習は必須である。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
初回授業時に指示する。

【参考書】
初回授業時に指示する。

【成績評価の方法と基準】
平常点 30 %、期末試験 50 %、随時行う小テスト 20 %

【学生の意見等からの気づき】
学生参加型の授業を心がける。

【その他の重要事項】
この授業は基本的に対面形式で行われるが、場合によってはオンライン形式へ変更となることがある。その場合は「学習支援システム」上で通知するので、こまめなチェックを怠らないこと。

【Outline and objectives】
A further goal is for students to improve their reading-ability, by enjoying rather long books through the use of their grammatical knowledge. This course is, therefore, designed for students who have completed elementary Spanish class.

LANs200LA

現代のスペイン語Ⅱ

2017 年度以降入学者

久木　正雄

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 2〜4 年※定員制

他学部公開：○　**グローバル：**　**成績優秀：**○　**実務教員：**

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
初級の授業で習ったスペイン語文法の知識を活かしながら、まとまった長さの文章が読める程度の読解力を身につけることを目的とする。特に、この授業では、現代のスペイン語圏の文化や社会といった諸相について、その歴史も踏まえながら学んでゆく。スペイン語初級をすでに受講したことのある学生が対象となる。

【到達目標】
スペイン語圏の文化や社会に関する文章を、辞書を引きながら読解することのできるレベルをめざす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
教員が各回のテーマに関する概説と文法事項の解説を織りまぜながら、順番に指名された受講生が訳読を行う。課題等に対するフィードバックは授業内で行い、必要に応じて「学習支援システム」も活用する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	秋学期の授業の進め方に関する説明を行う。
2	春学期の文法の復習	春学期で学んだ文法事項の復習を行う。
3	直説法未来	直説法未来を使った文章を読解する。
4	直接法過去未来	直接法過去未来を使った文章を読解する。
5	直説法未来完了と直説法過去未来完了	直説法未来完了と直説法過去未来完了を使った文章を読解する。
6	接続法現在（名詞節）	接続法現在（名詞節）を使った文章を読解する。
7	接続法現在（形容詞節・副詞節）	接続法現在（形容詞節・副詞節）を使った文章を読解する。
8	命令法	命令法を使った文章を読解する。
9	接続法過去	接続法過去を使った文章を読解する。
10	間接話法	間接話法を使った文章を読解する。
11	知覚・使役の表現	知覚・使役の表現を使った文章を読解する。
12	時制の復習	さまざまな時制を網羅的に使った文章を読解する。
13	法の復習	直説法と接続法を対比的に使った文章を読解する。
14	試験・まとめと解説	学期末試験を実施し、今学期の学習事項のまとめと解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
テキストの指定範囲の準備学習と復習とともに、提出・非提出の別を問わず宿題に取り組むこと。なお、本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】
禪野美帆ほか『世界遺産を訪ねて　改訂版』朝日出版社、2014 年、ISBN9784255550688、本体定価 2,300 円。

【参考書】
授業内で適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】
平常点： 30 %、小テスト： 20 %、学期末試験： 50 %。

【学生の意見等からの気づき】
学習事項の着実な修得のために、受講者一人ひとりの理解度をこまめに確認する。

【学生が準備すべき機器他】
特になし。

【その他の重要事項】
辞書の活用を怠らないこと。

【Outline and objectives】
This course will focus on various current topics in Spanish-speaking countries. A further goal is for students to improve their reading-ability, by enjoying rather long books through the use of their grammatical knowledge. This course is, therefore, designed for students who have completed elementary Spanish class.

ARSa200LA

スペイン語の世界ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

塩﨑　公靖

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：2 **単位**
法文営国環キ 1〜4 年※定員制

他学部公開：○　**グローバル：**　**成績優秀：**○　**実務教員：**

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
学生の興味関心を聞きながら、スペイン語圏の社会や文化について学ぶことで、それまでの角度とは異なる新たな視野を養える場としたい。

【到達目標】
本講義では、スペインおよびスペイン語圏の文化と社会について、講義や自らのプレゼンを通じて理解を深めることを目的とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
本授業は対面形式でなく、学習支援システムを通じたオンデマンド形式（資料型）にて行う。※初回の講義案内・資料配布は 4/15(月)を予定。
初回講義案内において講義概要を説明したのち、学生から関心のあるテーマを聞き、担当者を決定、その後は各回の担当者がそのテーマを調べ、定期的に簡易レポート形式で提出してもらう。
※各回に例としてあげたプレゼン内容はあくまで一例。自身が調べたいと思えるテーマを探してもらう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション（プレゼン担当決定）	スペイン語圏についての概説。各回の担当者を決定。
2	講義：スペイン概説①	地域から考える
3	講義：スペイン概説②	言語から考える
4	プレゼンテーション①	担当者によるプレゼンテーション（例：スペインの絵画）
5	プレゼンテーション②	担当者によるプレゼンテーション（例：スペインのスポーツ）
6	プレゼンテーション③	担当者によるプレゼンテーション（例：スペインの言語）
7	プレゼンテーション④	担当者によるプレゼンテーション（例：食事に見られる地域性）
8	プレゼンテーション⑤	担当者によるプレゼンテーション（例：スペインの観光業）
9	プレゼンテーション⑥	担当者によるプレゼンテーション（例： EU とスペイン）
10	プレゼンテーション⑦	担当者によるプレゼンテーション（例： Brexit のスペインへの余波）
11	プレゼンテーション⑧	担当者によるプレゼンテーション（例：スペイン語とポルトガル語の違い）
12	プレゼンテーション⑨	担当者によるプレゼンテーション（例：カタルーニャ州について）
13	プレゼンテーション⑩	担当者によるプレゼンテーション（例：フラメンコの歴史）
14	総括	ディスカッション

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
事前に資料が指定された場合には、授業内での議論参加のため必ず目を通しておくこと。
また、映画や展覧会など課外活動に出かけることを指示することもある。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
開講時に受講生各自の関心に従って決定。

【参考書】
テーマにそって授業内で指示する。

【成績評価の方法と基準】
授業内プレゼンは必須。その上で、プレゼンの内容 (70%) と平常点 (30%) で総合評価する。

【学生の意見等からの気づき】
本講義は、こちらから何かを教えるというよりも、皆さんの興味関心を十分に聞き取り、その関心に沿ったテーマについて学べるように、よりよい授業づくりをしていきたいと考えています。

【Outline and objectives】
This class aims at improving ability to understand how the world is, through learning hispanophone countries.
Wish the students in this course to have ambition to achieve new field of view.

ARSa200LA

スペイン語の世界ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

塩﨑　公靖

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 1〜4 年※定員制

他学部公開：○　**グローバル：**　**成績優秀：**○　**実務教員：**

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
学生の興味関心を聞きながら、スペイン語圏の社会や文化について学ぶことで、それまでの角度とは異なる新たな視野を養える場としたい。

【到達目標】
本講義では、スペインおよびスペイン語圏の文化と社会について、講義や自らのプレゼンを通じて理解を深めることを目的とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
本授業は対面形式でなく、学習支援システムを通じたオンデマンド形式（資料型）にて行う。
初回講義案内において講義概要を説明したのち、学生から関心のあるテーマを聞き、担当者を決定、その後は各回の担当者がそのテーマを調べ、定期的に簡易レポート形式で提出してもらう。
※各回に例としてあげたプレゼン内容はあくまで一例。自身が調べたいと思えるテーマを探してもらう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション（プレゼン担当決定）	スペイン語圏についての概説。各回の担当者を決定。
2	講義：スペイン概説①	国際関係の中のスペイン
3	講義：スペイン概説②	スペインと日本
4	プレゼンテーション①	担当者によるプレゼンテーション（例：メキシコの映画産業）
5	プレゼンテーション②	担当者によるプレゼンテーション（例：アルゼンチンのスポーツ事情）
6	プレゼンテーション③	担当者によるプレゼンテーション（例：キューバの現在）
7	プレゼンテーション④	担当者によるプレゼンテーション（例：ラテンアメリカの文学）
8	プレゼンテーション⑤	担当者によるプレゼンテーション（例：フィリピンに残るスペイン語）
9	プレゼンテーション⑥	担当者によるプレゼンテーション（例：日本のスペイン語話者）
10	プレゼンテーション⑦	担当者によるプレゼンテーション（例：スペインのスタートアップ企業）
11	プレゼンテーション⑧	担当者によるプレゼンテーション（例：スペイン語圏の中の日本企業）
12	プレゼンテーション⑨	担当者によるプレゼンテーション（例：コスタリカについて）
13	プレゼンテーション⑩	担当者によるプレゼンテーション（例：スペイン語圏での日本発サブカルチャーの受容）
14	総括	ディスカッション

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
事前に資料が指定された場合には、授業内での議論参加のため必ず目を通しておくこと。
また、映画や展覧会など課外活動に出かけることを指示することもある。本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
開講時に受講生各自の関心に従って決定。

【参考書】
テーマにそって授業内で指示する。

【成績評価の方法と基準】
授業内プレゼンは必須。その上で、プレゼンの内容 (70%) と平常点 (30%) で総合評価する。

【学生の意見等からの気づき】
本講義は、こちらから何かを教えるというよりも、皆さんの興味関心を十分に聞き取り、その関心に沿ったテーマについて学べるように、よりよい授業づくりをしていきたいと考えています。

【Outline and objectives】
This class aims at improving ability to understand how the world is, through learning hispanophone countries.
Wish the students in this course to have ambition to achieve new field of view.

LANk200LA

朝鮮語３ＡＩ

2017 年度以降入学者

内山　政春

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 1/Mon.1
単位数：**1 単位**
法文営 2 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
１年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に，「読む，書く，聞く，話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします．

【到達目標】
授業で学んだ文の読み書きができ，声に出して言えるほか，自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
「朝鮮語３Ａ」と「朝鮮語４Ａ」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます．前者は日本語を母語とする教員が，後者は朝鮮語を母語とする教員が，それぞれの特徴を生かした授業を行います．またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します．必要に応じて到達度を確認する小テストも行ないます．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	第 1 課	語基の復習，ピウプ不規則用言
2	第 1 課	「やりもらい」と尊敬語・謙譲語
3	第 2 課	「～している」の２つの形，禁止形
4	第 2 課	長い不可能形，助詞「～に」の用法
5	第 3 課	文中の疑問形，強調表現
6	第 3 課	存在詞と語尾の組み合わせ，方向をあらわす動詞
7	第 4 課	もうひとつの意思・推量形，シオッ不規則用言
8	第 4 課	動詞のこそあどことば，副詞をつくる方法
9	第 5 課	用言の名詞形，「～することはする」
10	第 5 課	いくつかの助詞，「～という」の短縮形
11	第 6 課	動作の反復，推量表現
12	第 6 課	大過去，ヘヨ体の命令形
13	復習	春学期の総復習を行ないます．
14	テスト	テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習は不要ですが，なるべく復習の時間を多く取ってください．与えられた課題はかならずやるようにしてください．授業中でも家での復習でも，恥ずかしがらずに声を出して読んでみることが，ことばを覚えることにもなり，「話す」第一歩となるのです．
本授業の準備・復習時間は，各 1 時間を標準とします．

【テキスト（教科書）】
共通テキストとして『しくみで学ぶ中級朝鮮語〔私家版〕』を用います．

【参考書】
教科書によって文法の説明方式が異なるので，テキストに集中してください．辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお薦めします．

【成績評価の方法と基準】
期末テストの成績によります．

【学生の意見等からの気づき】
やむを得ない事情以外での欠席を避けてください．

【その他の重要事項】
「朝鮮語３Ａ」と「朝鮮語４Ａ」はそれぞれ３クラスあります．リレー授業を行ないますので，指定された組み合わせどおりに履修してください．また受講者のレベルによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください．

【Outline and objectives】
This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

LANk200LA

朝鮮語３ＡⅡ

2017 年度以降入学者

内山　政春

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**月** 1/Mon.1
単位数：**1 単位**
法文営 2 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期に引き続き，「読む，書く，聞く，話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします．

【到達目標】
授業で学んだ文の読み書きができ，声に出して言えるほか，自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
「朝鮮語３Ａ」と「朝鮮語４Ａ」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます．前者は日本語を母語とする教員が，後者は朝鮮語を母語とする教員が，それぞれの特徴を生かした授業を行います．またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します．必要に応じて到達度を確認する小テストも行ないます．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	第 7 課	「～して」をあらわすふたつの形
2	第 7 課	「～しながら」，指定詞の第Ⅲ語基
3	第 8 課	移動をあらわす合成動詞，用言の「である」形
4	第 8 課	間接話法１，反語表現
5	第 9 課	ハンダ体，間接話法２
6	第 9 課	「～しはじめる」，受身形
7	第 10 課	概数の表現，間接話法と第Ⅲ語基
8	第 10 課	「～について」，「～しやすい／しにくい」
9	第 11 課	手段・状況をあらわす「～して」，理由をあらわす表現
10	第 11 課	各種の濃音化，パンマル疑問文のもうひとつの形
11	第 12 課	「～と思う／考える」，「～して」の話しことば
12	第 12 課	「やりもらい」の間接話法，助詞の尊敬形
13	復習	春学期の総復習を行ないます．
14	テスト	テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習は不要ですが，なるべく復習の時間を多く取ってください．与えられた課題はかならずやるようにしてください．授業中でも家での復習でも，恥ずかしがらずに声を出して読んでみることが，ことばを覚えることにもなり，「話す」第一歩となるのです．
本授業の準備・復習時間は，各 1 時間を標準とします．

【テキスト（教科書）】
共通テキストとして『しくみで学ぶ中級朝鮮語〔私家版〕』を用います．

【参考書】
教科書によって文法の説明方式が異なるので，テキストに集中してください．辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお薦めします．

【成績評価の方法と基準】
期末テストの成績によります．

【学生の意見等からの気づき】
やむを得ない事情以外での欠席を避けてください．

【その他の重要事項】
「朝鮮語３Ａ」と「朝鮮語４Ａ」はそれぞれ３クラスあります．リレー授業を行ないますので，指定された組み合わせどおりに履修してください．また受講者のレベルによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください．

【Outline and objectives】
This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the spring semester.

LANk200LA

朝鮮語３ＡＩ

2017 年度以降入学者

内山　政春

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**1 単位**
法文営 2 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
１年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に，「読む，書く，聞く，話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします．

【到達目標】
授業で学んだ文の読み書きができ，声に出して言えるほか，自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
「朝鮮語３Ａ」と「朝鮮語４Ａ」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます．前者は日本語を母語とする教員が，後者は朝鮮語を母語とする教員が，それぞれの特徴を生かした授業を行います．またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します．必要に応じて到達度を確認する小テストも行ないます．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	第 1 課	語基の復習，ピウプ不規則用言
2	第 1 課	「やりもらい」と尊敬語・謙譲語
3	第 2 課	「～している」の２つの形，禁止形
4	第 2 課	長い不可能形，助詞「～に」の用法
5	第 3 課	文中の疑問形，強調表現
6	第 3 課	存在詞と語尾の組み合わせ，方向をあらわす動詞
7	第 4 課	もうひとつの意思・推量形，シオッ不規則用言
8	第 4 課	動詞のこそあどことば，副詞をつくる方法
9	第 5 課	用言の名詞形，「～することはする」
10	第 5 課	いくつかの助詞，「～という」の短縮形
11	第 6 課	動作の反復，推量表現
12	第 6 課	大過去，ヘヨ体の命令形
13	復習	春学期の総復習を行ないます．
14	テスト	テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習は不要ですが，なるべく復習の時間を多く取ってください．与えられた課題はかならずやるようにしてください．授業中でも家での復習でも，恥ずかしがらずに声を出して読んでみることが，ことばを覚えることにもなり，「話す」第一歩となるのです．
本授業の準備・復習時間は，各 1 時間を標準とします．

【テキスト（教科書）】
共通テキストとして『しくみで学ぶ中級朝鮮語〔私家版〕』を用います．

【参考書】
教科書によって文法の説明方式が異なるので，テキストに集中してください．辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお薦めします．

【成績評価の方法と基準】
期末テストの成績によります．

【学生の意見等からの気づき】
やむを得ない事情以外での欠席を避けてください．

【その他の重要事項】
「朝鮮語３Ａ」と「朝鮮語４Ａ」はそれぞれ３クラスあります．リレー授業を行ないますので，指定された組み合わせどおりに履修してください．また受講者のレベルによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください．

【Outline and objectives】
This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

LANk200LA

朝鮮語３ＡⅡ

2017 年度以降入学者

内山　政春

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 5/Mon.5
単位数：**1 単位**
法文営 2 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期に引き続き，「読む，書く，聞く，話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします．

【到達目標】
授業で学んだ文の読み書きができ，声に出して言えるほか，自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
「朝鮮語３Ａ」と「朝鮮語４Ａ」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます．前者は日本語を母語とする教員が，後者は朝鮮語を母語とする教員が，それぞれの特徴を生かした授業を行います．またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します．必要に応じて到達度を確認する小テストも行ないます．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	第 7 課	「～して」をあらわすふたつの形
2	第 7 課	「～しながら」，指定詞の第Ⅲ語基
3	第 8 課	移動をあらわす合成動詞，用言の「である」形
4	第 8 課	間接話法１，反語表現
5	第 9 課	ハンダ体，間接話法２
6	第 9 課	「～しはじめる」，受身形
7	第 10 課	概数の表現，間接話法と第Ⅲ語基
8	第 10 課	「～について」，「～しやすい／しにくい」
9	第 11 課	手段・状況をあらわす「～して」，理由をあらわす表現
10	第 11 課	各種の濃音化，パンマル疑問文のもうひとつの形
11	第 12 課	「～と思う／考える」，「～して」の話しことば
12	第 12 課	「やりもらい」の間接話法，助詞の尊敬形
13	復習	春学期の総復習を行ないます．
14	テスト	テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習は不要ですが，なるべく復習の時間を多く取ってください．与えられた課題はかならずやるようにしてください．授業中でも家での復習でも，恥ずかしがらずに声を出して読んでみることが，ことばを覚えることにもなり，「話す」第一歩となるのです．
本授業の準備・復習時間は，各 1 時間を標準とします．

【テキスト（教科書）】
共通テキストとして『しくみで学ぶ中級朝鮮語〔私家版〕』を用います．

【参考書】
教科書によって文法の説明方式が異なるので，テキストに集中してください．辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお薦めします．

【成績評価の方法と基準】
期末テストの成績によります．

【学生の意見等からの気づき】
やむを得ない事情以外での欠席を避けてください．

【その他の重要事項】
「朝鮮語３Ａ」と「朝鮮語４Ａ」はそれぞれ３クラスあります．リレー授業を行ないますので，指定された組み合わせどおりに履修してください．また受講者のレベルによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください．

【Outline and objectives】
This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the spring semester.

LANk200LA

朝鮮語３ＡＩ

2017 年度以降入学者

内山　政春

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
法文営 2 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
１年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に，「読む，書く，聞く，話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします．

【到達目標】
授業で学んだ文の読み書きができ，声に出して言えるほか，自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
「朝鮮語３Ａ」と「朝鮮語４Ａ」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます．前者は日本語を母語とする教員が，後者は朝鮮語を母語とする教員が，それぞれの特徴を生かした授業を行います．またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します．必要に応じて到達度を確認する小テストも行ないます．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	第 1 課	語基の復習，ピウプ不規則用言
2	第 1 課	「やりもらい」と尊敬語・謙譲語
3	第 2 課	「～している」の２つの形，禁止形
4	第 2 課	長い不可能形，助詞「～に」の用法
5	第 3 課	文中の疑問形，強調表現
6	第 3 課	存在詞と語尾の組み合わせ，方向をあらわす動詞
7	第 4 課	もうひとつの意思・推量形，シオッ不規則用言
8	第 4 課	動詞のこそあどことば，副詞をつくる方法
9	第 5 課	用言の名詞形，「～することはする」
10	第 5 課	いくつかの助詞，「～という」の短縮形
11	第 6 課	動作の反復，推量表現
12	第 6 課	大過去，ヘヨ体の命令形
13	復習	春学期の総復習を行ないます．
14	テスト	テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習は不要ですが，なるべく復習の時間を多く取ってください．与えられた課題はかならずやるようにしてください．授業中でも家での復習でも，恥ずかしがらずに声を出して読んでみることが，ことばを覚えることにもなり，「話す」第一歩となるのです．
本授業の準備・復習時間は，各 1 時間を標準とします．

【テキスト（教科書）】
共通テキストとして『しくみで学ぶ中級朝鮮語〔私家版〕』を用います．

【参考書】
教科書によって文法の説明方式が異なるので，テキストに集中してください．辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお薦めします．

【成績評価の方法と基準】
期末テストの成績によります．

【学生の意見等からの気づき】
やむを得ない事情以外での欠席を避けてください．

【その他の重要事項】
「朝鮮語３Ａ」と「朝鮮語４Ａ」はそれぞれ３クラスあります．リレー授業を行ないますので，指定された組み合わせどおりに履修してください．また受講者のレベルによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください．

【Outline and objectives】
This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

LANk200LA

朝鮮語３ＡⅡ

2017 年度以降入学者

内山　政春

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
法文営 2 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期に引き続き，「読む，書く，聞く，話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします．

【到達目標】
授業で学んだ文の読み書きができ，声に出して言えるほか，自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
「朝鮮語３Ａ」と「朝鮮語４Ａ」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます．前者は日本語を母語とする教員が，後者は朝鮮語を母語とする教員が，それぞれの特徴を生かした授業を行います．またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します．必要に応じて到達度を確認する小テストも行ないます．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	第 7 課	「～して」をあらわすふたつの形
2	第 7 課	「～しながら」，指定詞の第Ⅲ語基
3	第 8 課	移動をあらわす合成動詞，用言の「である」形
4	第 8 課	間接話法１，反語表現
5	第 9 課	ハンダ体，間接話法２
6	第 9 課	「～しはじめる」，受身形
7	第 10 課	概数の表現，間接話法と第Ⅲ語基
8	第 10 課	「～について」，「～しやすい／しにくい」
9	第 11 課	手段・状況をあらわす「～して」，理由をあらわす表現
10	第 11 課	各種の濃音化，パンマル疑問文のもうひとつの形
11	第 12 課	「～と思う／考える」，「～して」の話しことば
12	第 12 課	「やりもらい」の間接話法，助詞の尊敬形
13	復習	春学期の総復習を行ないます．
14	テスト	テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習は不要ですが，なるべく復習の時間を多く取ってください．与えられた課題はかならずやるようにしてください．授業中でも家での復習でも，恥ずかしがらずに声を出して読んでみることが，ことばを覚えることにもなり，「話す」第一歩となるのです．
本授業の準備・復習時間は，各 1 時間を標準とします．

【テキスト（教科書）】
共通テキストとして『しくみで学ぶ中級朝鮮語〔私家版〕』を用います．

【参考書】
教科書によって文法の説明方式が異なるので，テキストに集中してください．辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお薦めします．

【成績評価の方法と基準】
期末テストの成績によります．

【学生の意見等からの気づき】
やむを得ない事情以外での欠席を避けてください．

【その他の重要事項】
「朝鮮語３Ａ」と「朝鮮語４Ａ」はそれぞれ３クラスあります．リレー授業を行ないますので，指定された組み合わせどおりに履修してください．また受講者のレベルによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください．

【Outline and objectives】
This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the spring semester.

LANk200LA

朝鮮語３ＢＩ

2017 年度以降入学者

梁　禮先

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：**1 単位**
法 2 年 A〜I

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
1 年次で学んだ朝鮮語の基礎の定着を図りつつ、それを活用して会話に導いていきます。また、発音にも力をいれて、きれいな発音で自信を持って会話ができるように反復します。

【到達目標】
ハングル検定 4 級のレベルに合わせて、文法、単語、会話に力を入れます。身近な会話ができることが学習到達目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
テキストに沿って進めていきます。その他に、朝鮮語での作文や発音練習、会話などに力を入れて練習を繰り返すことで、定着をはかります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	授業の進め方についての説明	授業の進め方について説明します
第 2 回	韓国語上手になりましたか?	読む練習と文型についての説明
第 3 回	韓国語上手になりましたか?	練習問題を解く
第 4 回	今日の授業は何限まであります か?	読む練習と文型についての説明
第 5 回	今日の授業は何限まであります か?	練習問題を解く
第 6 回	趣味は何ですか?	読む練習と文型についての説明
第 7 回	趣味は何ですか?	練習問題を解く
第 8 回	趣味は何ですか?	会話練習をする
第 9 回	今日韓国へ来てから一年になりますよね?	読む練習と文型についての説明
第 10 回	今日韓国へ来てから一年になりますよね?	練習問題を解く
第 11 回	今日韓国へ来てから一年になりますよね?	会話練習をする
第 12 回	家族は日本にいらっしゃいますよね?	読む練習と文型についての説明
第 13 回	家族は日本にいらっしゃいますよね?	練習問題を解く
第 14 回	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回復習をすること。
毎回作文課題を出します。

【テキスト（教科書）】
教室用教材「中級韓国語ーハングル 4 級基準」　梁禮先

【参考書】
授業中に教示します

【成績評価の方法と基準】
平常点（小テスト、課題など）30%、期末試験 70%

【学生の意見等からの気づき】
発音と会話をもっとやることなど。

【学生が準備すべき機器他】
特にありません。

【その他の重要事項】
いろいろな事情により授業の内容や進め方が変更されることがある。

【Outline and objectives】
We will make sure to establish a foundation on the content covered in the first year as well as using it to guide the conversation in Korean. We will also pay close attention to pronunciation to be able to confidently have a conversation with correct pronunciation through repetition.

LANk200LA

朝鮮語３ＢⅡ

2017 年度以降入学者

梁　禮先

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：**1 単位**
法 2 年 A〜I

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期に続き、朝鮮語 1・2 で学んだ知識を利用し、実践的な練習を繰り返すことで朝鮮語を確実に身に付けることを目標にします。朝鮮語の会話をもっと自信を持って話すことができることです。

【到達目標】
できれば、希望者はハングル検定 4 級〜3 級に合格することも目標にしていきたいです。また、日常の簡単的会話ができることです。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
テキストに沿って進行します。秋学期も春学期と同じ方法で、発音練習、作文練習、会話練習、読む練習などを毎回繰り返しながら授業を進めていきますが、ある程度自分の意志が伝えられることに力を入れたいと思います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	秋学期授業の進め方などについて	春学期の復習と本文の説明をします
第 2 回	電話について	読む練習と文型についての説明
第 3 回	電話について	文型についての説明
第 4 回	電話について	会話と練習問題
第 5 回	夏休みには日本へ帰りますか?	読む練習と文型についての説明
第 6 回	夏休みには日本へ帰りますか?	文型について説明
第 7 回	夏休みには日本へ帰りますか?	会話と練習問題
第 8 回	語学研修に行こうかと思います	読む練習と文型についての説明
第 9 回	語学研修に行こうかと思います	文型について説明
第 10 回	語学研修に行こうかと思います	会話と練習問題
第 11 回	この頃天気がいいですね	読む練習と文型についての説明
第 12 回	この頃天気がいいですね	文型について説明
第 13 回	この頃天気がいいですね	会話と練習問題
第 14 回	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回復習をしてください。
毎回作文の課題を出します。

【テキスト（教科書）】
教室用教材『中級朝鮮語ーハングル検定 4 級基準』(梁禮先)

【参考書】
教室で教示します。

【成績評価の方法と基準】
平常点（小テスト、課題など）30%、期末試験 70%

【学生の意見等からの気づき】
会話練習をもっとやりたいなど。

【学生が準備すべき機器他】
特にありません。

【その他の重要事項】
諸事情により、授業内容や進め方は変更することがあります。

【Outline and objectives】
Following the spring semester, We aim to use the knowledge learned in Korean 1 and 2 to make sure to acquire solid Korean language skills through practice. It is important to have Korean conversations with confidence.

LANk200LA

朝鮮語３ＢＩ

2017 年度以降入学者

新谷　あゆり

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**1 単位**
法 2 年 U〜W、文 2 年 A〜I

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
初級後半から中級の語彙・文型を学び、話し・読み・聞き・書く能力を総合的に向上させる。
学生の様子を見て内容を適宜変更する。

【到達目標】
native speaker（韓国人留学生）と簡単な会話ができるようになる。
語彙・文型の知識が増強できる。
正しい発音ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
1 単語と文型を予習する。
2 文型練習をする。
3 会話練習をする。
4 自宅で作文、暗誦などの課題をする。
5 暗唱や文法などのテスト。
授業は Zoom で行う予定なので、スマホ・タブレットの学生は zoom のアプリを入れておくこと。
hoppi に詳しい授業予定、Zoom URL などを載せるので毎週確認すること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	一年次の復習　第 1 課 文型・会話練習	自己紹介
2	第 1 課 文型・会話練習	ましょうか・てください
3	第 1・2 課 歌	ましょう・たい、たがる・から、てくて
4	第 2 課 文型・会話練習	ウ不規則活用・できない
5	第 2 課 文型・会話練習	ことにする・電話番号
6	第 3 課 文型・会話練習	ば、たら、と
7	第 3 課 文型・会話練習	てみる・ますね、ですね
8	第 3・4 課 文型・会話練習	連体形
9	第 4 課 文型・会話練習	ようと・ばいい
10	第 4 課 文型・会話練習	でしょうか、ましょうか・んですよ
11	韓国人留学生との会話	ネイティブと会話
12	第 4 課 文型・会話練習	たあと・ますよ、ますからね
13	第 5 課 文型・会話練習	ピウップ不規則活用・んですが
14	期末試験	期末試験　まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
教科書に出てくる語彙・文の意味を授業の前に調べておくこと。
辞書を使って読解プリントを訳してくること。
本文の暗記・発音・作文の練習をすること。

【テキスト（教科書）】
『韓国語を学ぼう　中級』李昌圭　朝日出版社 2300 円+税

【参考書】
朝鮮語辞書（韓日辞典）　小学館　など

【成績評価の方法と基準】
テスト 60 %、課題 20 %、平常点 20 %（zoom 参加度、積極性など）
欠席 4 回以上は落第

【学生の意見等からの気づき】
エンタメに興味がある学生が多いので取り上げます。韓国人留学生との会話が有意義だったという意見が多かったので行う予定です。

【学生が準備すべき機器他】
パソコンかタブレットかスマホ。パソコンかタブレットが望ましい。

【Outline and objectives】
This class is designed for lower intermediate Korean learners. Students study grammar and vocabulary. It aims to enhance overall Korean.

LANk200LA

朝鮮語３ＢⅡ

2017 年度以降入学者

新谷　あゆり

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**1 単位**
法 2 年 U〜W、文 2 年 A〜I

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
初級後半から中級の語彙・文型を学び、話し・読み・聞き・書く能力を向上させる。
。
学生の様子を見て内容を適宜変更する。

【到達目標】
語彙・文型の知識が増強できる。
正しい発音ができるようになる。
native speaker（韓国人留学生・中国朝鮮族留学生など）と簡単な会話ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
1 単語と文型を予習する。
2 文型練習をする。
3 会話練習をする。
4 自宅で作文、暗誦、読解の宿題をする。
5 暗唱と文法の小テスト。
・Zoom で行う予定なので、スマホ・タブレットの学生は zoom のアプリを入れておくこと。
・hoppi に詳しい授業予定、Zoom URL などを載せるので毎週確認すること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	復習 第 5 課 文型・会話練習	夏休みの話 が、けれども・シオッ不規則活用
2	第 5 課 読解 文型・会話練習	ことができる・しない
3	第 6 課 文型・会話練習	するつもりです・でも
4	第 6 課 歌	ながら・まだしていな・にくい
5	第 6 課 文型・会話練習	するようだ・しそうだ
6	第 7 課 文型・会話練習	いようだ（推測）・そうだ（伝聞）
7	第 7 課 文型・会話練習	ますか（意志）・くなる
8	第 7・8 課 読解 文型・会話練習	仕方を知っている・したことがある・ティグッ不規則活用
9	第 8 課 文型・会話練習	するから (意思)・ばいいと思う
10	韓国人留学生との会話	ネイティブと会話する
11	第 8 課 文型・会話練習	ていて、する途中で
12	第 9 課 文型・会話練習	なければならない・てはいけない
13	第 9 課 文型・会話練習 ドラマ	ので・ている、てもいい、ますが
14	期末試験	期末試験　まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
教科書に出てくる語彙・文の意味を授業の前に調べておくこと。
辞書を使って読解プリントを訳してくること。
本文の暗記・発音・作文の練習をすること。

【テキスト（教科書）】
『韓国語を学ぼう　中級』李昌圭　朝日出版社　2300+税

【参考書】
韓日辞典（朝鮮語辞典）小学館　等

【成績評価の方法と基準】
テスト 60 %、課題 20 %、平常点（zoom 参加度、積極性など）20 %
欠席 4 回以上は落第

【学生の意見等からの気づき】
韓国人留学生との会話が有意義だったという意見が多かったので行う予定です。
韓国エンタメに興味がある学生が多いため、授業で教材として取り上げる予定です。

【Outline and objectives】
This class is designed for lower intermediate Korean learners. Students study grammar and vocabulary. It aims to enhance overall Korean.

LANk200LA

朝鮮語３ＢＩ

2017 年度以降入学者

吉良　佳奈江

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**木** 5/Thu.5
単位数：**1 単位**
文 2 年 P～X

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
1 年次に学んだ内容を復習しながら、語彙、文法を積み上げていきます。
既習の　　体や　　体に加えて　　体を学び、メールや SNS など短い文章を読みます。
テキストの文章を自分や身近な人に置き換え、簡単な文章を書きます。

【到達目標】
テキストで学んだ内容を生かして、実際のメールや SNS などを読み、発信できるようになります。
朝鮮・韓国文学に触れる朝鮮語 5A（講読）の前段階として、書き言葉を読み、また自分で簡単な文章を書くことを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
この授業は Zoom を利用したオンライン授業です。
課題の提出など、学習支援システムを利用して行うので確認してください。
授業の進め方は以下の通りです。
原則として予習なし、復習型で進みます。
・本文の音読を聞いて、どの程度理解できたか口頭で確認します。
・語彙と文法を学び、本文を確認して音読練習をします。
・本文の内容について、内容理解をチェックします。
・練習を通じて、学習事項を身につけます。
・2 課につき 1 度の確認テストを行います。
・学期中に数回、自分で書いた短作文を発表します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の進め方
	第 1 課　学生生活	逆説と並列
2	第 1 課　学生生活	～んです
		～しようと
3	第 2 課　アルバイト	～ので／～くて
		～のせいで
4	第 2 課　アルバイト	～することにする
		～できない
5	1，2 課確認テスト	1，2 課確認テスト
	第 3 課　私の一日	～すれば
		～しに（行く／来る）
6	第 3 課　私の一日	～してあげる／くれる
		～や、～でも
7	第 4 課　プレゼント	～でしょ？
		～じゃないですか／～でしょう？
8	第 4 課　プレゼント	パンマル
		～ですね／ますね
9	3，4 課確認テスト	3，4 課確認テスト
	第 5 課　風邪	～く／～くように
		～する？ ／～しますか？
10	第 5 課　風邪	～しない／～するのをやめる
		～だったらいいな
11	第 6 課　休日	～している／～していらっしゃる
		～しますから
12	第 6 課　休日	～してみる
		～しよう
13	体	体を学ぶ
	第 7 課　夏休み	～しなければ／～しよう
		～しても
14	第 7 課　夏休み	～することができる
		～してこそ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本文の内容は繰り返し音読してください。
テキストの練習コーナーあるいは短作文を課題とします。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『読んでみよう韓国語　中級読解コース』
金京子著、白水社、2018

【参考書】
朝鮮語辞書　小学館　など

【成績評価の方法と基準】
授業の出席・参加度、課題提出、確認テストの内容から総合的に評価します。
無断欠席が 4 回以上の学生は評価対象外とします。

【学生の意見等からの気づき】
特になし。

【学生が準備すべき機器他】
テキストの音声をダウンロードしておくこと。
スマホやパソコンでハングルの入力ができることが望ましい。

【その他の重要事項】
作文に関して、翻訳機を使ったと判断した場合は課題提出と見なしません。
テキストを参考に自分の力で書いてみてください。

【Outline and objectives】
While reviewing what we learned in the first year, You will build up much vocabulary and grammar.
And read short sentences such as emails and social media.
You will practice writing some simple text using the sentence in the textbook.

LANk200LA

朝鮮語３ＢⅡ

2017 年度以降入学者

吉良　佳奈江

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**木** 5/Thu.5
単位数：**1 単位**
文 2 年 P～X

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
1 年次に学んだ内容を復習しながら、語彙、文法を積み上げていきます。
既習の　　体や　　体に加えて　　体を学び、メールや SNS など短い文章を読みます。
テキストの文章を自分や身近な人に置き換え、簡単な文章を書きます。

【到達目標】
テキストで学んだ内容を生かして、実際のメールや SNS などを読み、発信できるようになります。
朝鮮・韓国文学に触れる朝鮮語 5A（講読）の前段階として、書き言葉を読み、また自分で簡単な文章を書くことを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
この授業は Zoom を利用したオンライン授業です。
課題の提出など、学習支援システムを利用して行うので確認してください。
授業の進め方は以下の通りです。
原則として予習なし、復習型で進みます。
・本文の音読を聞いて、どの程度理解できたか口頭で確認します。
・語彙と文法を学び、本文を確認して音読練習をします。
・本文の内容について、内容理解をチェックします。
・練習を通じて、学習事項を身につけます。
・2 課につき 1 度の確認テストを行います。
・学期中に数回、自分で書いた短作文を発表します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	体復習	～（だ）と
	第 8 課　趣味	～そうだ
		動詞の現在連体形
2	第 8 課　趣味	形容詞の連体形
		～のだ
3	第 9 課　大学祭	動詞の過去連体形
		～したことがある／ない
4	第 9 課　大学祭	～した後で
		～していた（＋名詞）
5	8,9 課確認テスト	8.9 課確認テスト
	第 10 課　仕事	動詞の未来連体形
		～だろう／～つもりだ
6	第 10 課 仕事	形容詞の過去連体形
		～すると
7	第 11 課　日記	～だが／のに
		～く／になる
8	第 11 課　プレゼント	～したら／～すると
		～ようだ
9	10，11 課確認テスト	10，11 課確認テスト
	第 12 課　外国語の勉強	意志、推量
		～でも
10	第 12 課　外国語の勉強	～（するかの）ように
		～（する）のに
11	第 13 課　天気	～しないで／～せずに
		～する前に
12	第 13 課　休日	～するために／～するゆえに
		～しそうだ
13	第 14 課　人生相談	～してから
		～したほうがいい
14	第 14 課　人生相談	～だから／～ので
		～するには／したければ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本文の内容は繰り返し音読してください。
テキストの練習コーナーあるいは短作文を課題とします。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『読んでみよう韓国語　中級読解コース』
金京子著、白水社、2018

【参考書】
朝鮮語辞書　小学館　など

【成績評価の方法と基準】
授業の出席・参加度、課題提出、確認テストの内容から総合的に評価します。
無断欠席が 4 回以上の学生は評価対象外とします。

【学生の意見等からの気づき】
特になし。

【学生が準備すべき機器他】
テキストの音声をダウンロードしておくこと。
スマホやパソコンでハングルの入力ができることが望ましい。

【その他の重要事項】
作文に関して、翻訳機を使ったと判断した場合は課題提出と見なしません。
テキストを参考に自分の力で書いてみてください。

【Outline and objectives】
While reviewing what we learned in the first year, You will build up much vocabulary and grammar.
And read short sentences such as emails and social media.
You will practice writing some simple text using the sentence in the textbook.

LANk200LA

朝鮮語３ＢＩ

2017 年度以降入学者

富所　明秀

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**火** 1/Tue.1
単位数：**1 単位**
営 2 年 A～L

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
１年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に，「読む，書く，聞く，話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします.
到達目標として TOPIK（韓国語能力試験）Ｉレベルの合格を目指します.

【到達目標】
授業で学んだ文の読み書きができ，声に出して言えるほか，自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）を習得します.
課題や試験の勉強に取り組むことで，平易な小説が読めるようになります.
また到達目標として TOPIK（韓国語能力試験）Ｉレベルの合格を目指します.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
小テストを実施します.
授業では教科書の語彙と文法の説明の後で各自練習問題を解き，音読と聞き取りをおこないます.
授業形態（対面 or オンライン）については初回から Hoppii の「お知らせ」で告知しますので，必ず登録のうえ，読んでください.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	第１課	語基の復習，ピウプ不規則用言
2	第１課	語基の復習，ピウプ不規則用言
3	第１課	「やりもらい」と尊敬語・謙譲語
4	第２課	「～している」の２つの形，禁止形
5	第２課	長い不可能形，助詞「～に」の用法
6	中間試験	中間試験
7	第３課	文中の疑問形，強調表現
8	第３課	存在詞と語尾の組み合わせ，方向をあらわす動詞
9	第４課	もうひとつの意思・推量形，シオッ不規則用言
10	第４課	動詞のこそあどことば，副詞をつくる方法
11	第５課	用言の名詞形，「～することはする」
12	第５課	いくつかの助詞，「～という」の短縮形
13	春学期のまとめ	春学期のまとめ
14	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の課題は，指定された教科書の練習問題を解いて Hoppii に提出します.
課題と小テストのための復習時間は１回につき１時間以上が標準となります.

【テキスト（教科書）】
授業で配布します

【参考書】
『コスモス朝和辞典』

【成績評価の方法と基準】
小テスト：20%
課題提出：20%
中間試験：30%
期末試験：30%

【学生の意見等からの気づき】
CD の活用

【学生が準備すべき機器他】
特にありません.

【その他の重要事項】
Hoppii に登録してください.
課題の提出は Hoppii で行います.
また，シラバスは状況によって変更される場合がありますので，Gmail と Hoppii の「お知らせ」を必ず読んでください.
繰り返しますが，授業形態（対面 or オンライン）については初回から Hoppii の「お知らせ」で告知しますので，必ず登録のうえ，読んでください.

【Outline and objectives】
It aims to comprehensively improve each ability of "reading, writing, listening, talking" on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.
Students aim to pass TOPIK (Korean Language Proficiency Test) I level as an achievement goal.

LANk200LA

朝鮮語３ＢⅡ

2017 年度以降入学者

富所　明秀

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**火** 1/Tue.1
単位数：**1 単位**
営 2 年 A～L

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期に引き続き，「読む，書く，聞く，話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします.
到達目標として TOPIK（韓国語能力試験）Ⅰレベルの合格を目指します.

【到達目標】
授業で学んだ文の読み書きができ，声に出して言えるほか，自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）を習得します.
課題や試験の勉強に取り組むことで，平易な小説が読めるようになります.
また到達目標として TOPIK（韓国語能力試験）Ⅰレベルの合格を目指します.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
小テストを実施します.
授業では教科書の語彙と文法の説明の後で各自練習問題を解き，音読と聞き取りをおこないます.
授業形態（対面 or オンライン）については初回から Hoppii の「お知らせ」で告知しますので，必ず登録のうえ，読んでください.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	第６課	動作の反復，推量表現
2	第６課	大過去形
3	第６課	ヘヨ体の命令形
4	第７課	「～して」をあらわすふたつの形
5	第７課	「～しながら」，指定詞の第Ⅲ語基
6	中間試験	中間試験
7	第８課	移動をあらわす合成動詞，用言の「である」形
8	第８課	間接話法１，反語表現
9	第９課	ハンダ体，間接話法２
10	第９課	「～しはじめる」，受身形
11	第１０課	概数の表現，間接話法と第Ⅲ語基
12	第１０課	「～について」，「～しやすい／しにくい」
13	秋学期のまとめ	秋学期のまとめ
14	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の課題は，指定された教科書の練習問題を解いて Hoppii に提出します.
課題と小テストのための復習時間は１回につき１時間以上が標準となります.

【テキスト（教科書）】
授業で配布します.

【参考書】
『コスモス朝和辞典』

【成績評価の方法と基準】
小テスト：20%
課題提出：20%
中間試験：30%
期末試験：30%

【学生の意見等からの気づき】
CD の活用

【学生が準備すべき機器他】
特にありません.

【その他の重要事項】
Hoppii に登録してください.
課題の提出は Hoppii で行います.
また，シラバスは状況によって変更される場合がありますので，
Gmail と Hoppii の「お知らせ」を必ず読んでください.
繰り返しますが，授業形態（対面 or オンライン）については初回から Hoppii の「お知らせ」で告知しますので，必ず登録のうえ，読んでください.

【Outline and objectives】
Continuing from the spring semester, it aims to comprehensively improve each ability of "Reading, Writing, Listening, Talking".
Students aim to pass TOPIK (Korean Language Proficiency Test) I level as an achievement goal.

LANk200LA

朝鮮語３ＢＩ

2017 年度以降入学者

吉良　佳奈江

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**木** 4/Thu.4
単位数：**1 単位**
営 2 年 M～U

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
1 年次に学んだ内容を復習しながら、語彙、文法を積み上げていきます。
既習の　　体や　　体に加えて　　体を学び、メールや SNS など短い文章を読みます。
テキストの文章を自分や身近な人に置き換え、簡単な文章を書きます。

【到達目標】
テキストで学んだ内容を生かして、実際のメールや SNS などを読み、発信できるようになります。
朝鮮・韓国文学に触れる朝鮮語 5A（講読）の前段階として、書き言葉を読み、また自分で簡単な文章を書くことを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
この授業は Zoom を利用したオンライン授業です。
課題の提出など、学習支援システムを利用して行うので確認してください。
授業の進め方は以下の通りです。
原則として予習なし、復習型で進みます。
・本文の音読を聞いて、どの程度理解できたか口頭で確認します。
・語彙と文法を学び、本文を確認して音読練習をします。
・本文の内容について、内容理解をチェックします。
・練習を通じて、学習事項を身につけます。
・2 課につき 1 度の確認テストを行います。
・学期中に数回、自分で書いた短作文を発表します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の進め方
	第 1 課　学生生活	逆説と並列
2	第 1 課　学生生活	～んです
		～しようと
3	第 2 課　アルバイト	～ので／～くて
		～のせいで
4	第 2 課　アルバイト	～することにする
		～できない
5	1，2 課確認テスト	1，2 課確認テスト
	第 3 課　私の一日	～すれば
		～しに（行く／来る）
6	第 3 課　私の一日	～してあげる／くれる
		～や、～でも
7	第 4 課　プレゼント	～でしょ？
		～じゃないですか／～でしょう？
8	第 4 課　プレゼント	パンマル
		～ですね／ますね
9	3，4 課確認テスト	3，4 課確認テスト
	第 5 課　風邪	～く／～くように
		～する？ ／～しますか？
10	第 5 課　風邪	～しない／～するのをやめる
		～だったらいいな
11	第 6 課　休日	～している／～していらっしゃる
		～しますから
12	第 6 課　休日	～してみる
		～しよう
13	体	体を学ぶ
	第 7 課　夏休み	～しなければ／～しよう
		～しても
14	第 7 課　夏休み	～することができる
		～してこそ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本文の内容は繰り返し音読してください。
テキストの練習コーナーあるいは短作文を課題とします。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『読んでみよう韓国語　中級読解コース』
金京子著、白水社、2018

【参考書】
朝鮮語辞書　小学館　など

【成績評価の方法と基準】
授業の出席・参加度、課題提出、確認テストの内容から総合的に評価します。
無断欠席が 4 回以上の学生は評価対象外とします。

【学生の意見等からの気づき】
特になし。

【学生が準備すべき機器他】
テキストの音声をダウンロードしておくこと。
スマホやパソコンでハングルの入力ができることが望ましい。

【その他の重要事項】
作文に関して、翻訳機を使ったと判断した場合は課題提出と見なしません。
テキストを参考に自分の力で書いてみてください。

【Outline and objectives】
While reviewing what we learned in the first year, You will build up much vocabulary and grammar.
And read short sentences such as emails and social media.
You will practice writing some simple text using the sentence in the textbook.

LANk200LA

朝鮮語３ＢⅡ

2017 年度以降入学者

吉良　佳奈江

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**木** 4/Thu.4
単位数：**1 単位**
営 2 年 M～U

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
1 年次に学んだ内容を復習しながら、語彙、文法を積み上げていきます。
既習の　　体や　　体に加えて　　体を学び、メールや SNS など短い文章を読みます。
テキストの文章を自分や身近な人に置き換え、簡単な文章を書きます。

【到達目標】
テキストで学んだ内容を生かして、実際のメールや SNS などを読み、発信できるようになります。
朝鮮・韓国文学に触れる朝鮮語 5A（講読）の前段階として、書き言葉を読み、また自分で簡単な文章を書くことを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
この授業は Zoom を利用したオンライン授業です。
課題の提出など、学習支援システムを利用して行うので確認してください。
授業の進め方は以下の通りです。
原則として予習なし、復習型で進みます。
・本文の音読を聞いて、どの程度理解できたか口頭で確認します。
・語彙と文法を学び、本文を確認して音読練習をします。
・本文の内容について、内容理解をチェックします。
・練習を通じて、学習事項を身につけます。
・2 課につき 1 度の確認テストを行います。
・学期中に数回、自分で書いた短作文を発表します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	体復習	～（だ）と
	第 8 課　趣味	～そうだ
		動詞の現在連体形
2	第 8 課　趣味	形容詞の連体形
		～のだ
3	第 9 課　大学祭	動詞の過去連体形
		～したことがある／ない
4	第 9 課　大学祭	～した後で
		～していた（＋名詞）
5	8,9 課確認テスト	8.9 課確認テスト
	第 10 課　仕事	動詞の未来連体形
		～だろう／～つもりだ
6	第 10 課 仕事	形容詞の過去連体形
		～すると
7	第 11 課　日記	～だが／のに
		～く／になる
8	第 11 課　プレゼント	～したら／～すると
		～ようだ
9	10，11 課確認テスト	10，11 課確認テスト
	第 12 課　外国語の勉強	意志、推量
		～でも
10	第 12 課　外国語の勉強	～（するかの）ように
		～（する）のに
11	第 13 課　天気	～しないで／～せずに
		～する前に
12	第 13 課　休日	～するために／～するゆえに
		～しそうだ
13	第 14 課　人生相談	～してから
		～したほうがいい
14	第 14 課　人生相談	～だから／～ので
		～するには／したければ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本文の内容は繰り返し音読してください。
テキストの練習コーナーあるいは短作文を課題とします。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『読んでみよう韓国語　中級読解コース』
金京子著、白水社、2018

【参考書】
朝鮮語辞書　小学館　など

【成績評価の方法と基準】
授業の出席・参加度、課題提出、確認テストの内容から総合的に評価します。
無断欠席が 4 回以上の学生は評価対象外とします。

【学生の意見等からの気づき】
特になし。

【学生が準備すべき機器他】
テキストの音声をダウンロードしておくこと。
スマホやパソコンでハングルの入力ができることが望ましい。

【その他の重要事項】
作文に関して、翻訳機を使ったと判断した場合は課題提出と見なしません。
テキストを参考に自分の力で書いてみてください。

【Outline and objectives】
While reviewing what we learned in the first year, You will build up much vocabulary and grammar.
And read short sentences such as emails and social media.
You will practice writing some simple text using the sentence in the textbook.

LANk200LA

朝鮮語３ＢＩ

2017 年度以降入学者

富所　明秀

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**1 単位**
法 2 年 J～T

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
１年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に，「読む，書く，聞く，話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします.
到達目標として TOPIK（韓国語能力試験）Ｉレベルの合格を目指します.

【到達目標】
授業で学んだ文の読み書きができ，声に出して言えるほか，自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）を習得します.
課題や試験の勉強に取り組むことで，平易な小説が読めるようになります.
また到達目標として TOPIK（韓国語能力試験）Ｉレベルの合格を目指します.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
小テストを実施します.
授業では教科書の語彙と文法の説明の後で各自練習問題を解き，音読と聞き取りをおこないます.
授業形態（対面 or オンライン）については初回から Hoppii の「お知らせ」で告知しますので，必ず登録のうえ，読んでください.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	第１課	語基の復習，ピウプ不規則用言
2	第１課	語基の復習，ピウプ不規則用言
3	第１課	「やりもらい」と尊敬語・謙譲語
4	第２課	「～している」の２つの形，禁止形
5	第２課	長い不可能形，助詞「～に」の用法
6	中間試験	中間試験
7	第３課	文中の疑問形，強調表現
8	第３課	存在詞と語尾の組み合わせ，方向をあらわす動詞
9	第４課	もうひとつの意思・推量形，シオッ不規則用言
10	第４課	動詞のこそあどことば，副詞をつくる方法
11	第５課	用言の名詞形，「～することはする」
12	第５課	いくつかの助詞，「～という」の短縮形
13	春学期のまとめ	春学期のまとめ
14	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の課題は，指定された教科書の練習問題を解いて Hoppii に提出します.
課題と小テストのための復習時間は１回につき１時間以上が標準となります.

【テキスト（教科書）】
授業で配布します

【参考書】
『コスモス朝和辞典』

【成績評価の方法と基準】
小テスト：20%
課題提出：20%
中間試験：30%
期末試験：30%

【学生の意見等からの気づき】
CD の活用

【学生が準備すべき機器他】
特にありません.

【その他の重要事項】
Hoppii に登録してください.
課題の提出は Hoppii で行います.
また，シラバスは状況によって変更される場合がありますので，Gmail と Hoppii の「お知らせ」を必ず読んでください.
繰り返しますが，授業形態（対面 or オンライン）については初回から Hoppii の「お知らせ」で告知しますので，必ず登録のうえ，読んでください.

【Outline and objectives】
It aims to comprehensively improve each ability of "reading, writing, listening, talking" on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.
Students aim to pass TOPIK (Korean Language Proficiency Test) I level as an achievement goal.

LANk200LA

朝鮮語３ＢⅡ

2017 年度以降入学者

富所　明秀

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**1 単位**
法 2 年 J～T

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期に引き続き，「読む，書く，聞く，話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします.
到達目標として TOPIK（韓国語能力試験）Ⅰレベルの合格を目指します.

【到達目標】
授業で学んだ文の読み書きができ，声に出して言えるほか，自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）を習得します.
課題や試験の勉強に取り組むことで，平易な小説が読めるようになります.
また到達目標として TOPIK（韓国語能力試験）Ⅰレベルの合格を目指します.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
小テストを実施します.
授業では教科書の語彙と文法の説明の後で各自練習問題を解き，音読と聞き取りをおこないます.
授業形態（対面 or オンライン）については初回から Hoppii の「お知らせ」で告知しますので，必ず登録のうえ，読んでください.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	第６課	動作の反復，推量表現
2	第６課	大過去形
3	第６課	ヘヨ体の命令形
4	第７課	「～して」をあらわすふたつの形
5	第７課	「～しながら」，指定詞の第Ⅲ語基
6	中間試験	中間試験
7	第８課	移動をあらわす合成動詞，用言の「である」形
8	第８課	間接話法１，反語表現
9	第９課	ハンダ体，間接話法２
10	第９課	「～しはじめる」，受身形
11	第１０課	概数の表現，間接話法と第Ⅲ語基
12	第１０課	「～について」，「～しやすい／しにくい」
13	秋学期のまとめ	秋学期のまとめ
14	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の課題は，指定された教科書の練習問題を解いて Hoppii に提出します.
課題と小テストのための復習時間は１回につき１時間以上が標準となります.

【テキスト（教科書）】
授業で配布します.

【参考書】
『コスモス朝和辞典』

【成績評価の方法と基準】
小テスト：20%
課題提出：20%
中間試験：30%
期末試験：30%

【学生の意見等からの気づき】
CD の活用

【学生が準備すべき機器他】
特にありません.

【その他の重要事項】
Hoppii に登録してください.
課題の提出は Hoppii で行います.
また，シラバスは状況によって変更される場合がありますので，
Gmail と Hoppii の「お知らせ」を必ず読んでください.
繰り返しますが，授業形態（対面 or オンライン）については初回から Hoppii の「お知らせ」で告知しますので，必ず登録のうえ，読んでください.

【Outline and objectives】
Continuing from the spring semester, it aims to comprehensively improve each ability of "Reading, Writing, Listening, Talking".
Students aim to pass TOPIK (Korean Language Proficiency Test) I level as an achievement goal.

LANk200LA

朝鮮語３ＢＩ

2017 年度以降入学者

新谷　あゆり

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**月** 1/Mon.1
単位数：**1 単位**
文 2 年 L～N

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
初級後半から中級の語彙・文型を学び「話す・読む・聞く・書く」能力を総合的に向上させる。
学生の様子を見て内容を適宜変更する。

【到達目標】
native speaker（韓国人留学生）と簡単な会話ができるようになる。
語彙・文型の知識が増強できる。
正しい発音ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
1 単語と文型を予習する。
2 文型練習をする。
3 会話練習をする。
4 自宅で作文、暗誦などの課題をする。
5 暗唱や文法などの小テスト。
授業は Zoom で行う予定なので、スマホ・タブレットの学生は zoom のアプリを入れておくこと。
hoppi に詳しい授業予定、Zoom URL などを載せるので毎週確認すること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	一年次の復習　第 1 課 文型・会話練習	自己紹介
2	第 1 課 文型・会話練習	ましょうか・てください
3	第 1・2 課 歌	ましょう・たい、たがる・から、てくて
4	第 2 課 文型・会話練習	ウ不規則活用・できない
5	第 2 課 文型・会話練習	ことにする・電話番号
6	第 3 課 文型・会話練習	ば、たら、と
7	第 3 課 文型・会話練習	てみる・ますね、ですね
8	第 3・4 課 文型・会話練習	連体形
9	第 4 課 文型・会話練習	ようと・ばいい
10	第 4 課 文型・会話練習	でしょうか、ましょうか・んですよ
11	韓国人留学生との会話	ネイティブと会話
12	第 4 課 文型・会話練習	たあと・ますよ、ますからね
13	第 5 課 文型・会話練習	ピウップ不規則活用・んですが
14	期末試験	期末試験　まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
教科書に出てくる語彙・文の意味を授業の前に調べておくこと。
辞書を使って読解プリントを訳してくること。
本文の暗記・発音・作文の練習をすること。

【テキスト（教科書）】
『韓国語を学ぼう　中級』李昌圭　朝日出版社 2300 円+税

【参考書】
朝鮮語辞書（韓日辞典）　小学館　など

【成績評価の方法と基準】
テスト 60 %、課題 20 %、平常点 20 %（zoom 参加度、積極性など）
欠席 4 回以上は落第

【学生の意見等からの気づき】
韓国人留学生との会話が有意義だったという意見が多かったので行う予定です。
エンタメに興味がある学生が多いので取り上げる予定です。

【学生が準備すべき機器他】
パソコンかタブレットかスマホ。パソコンかタブレットが望ましい。

【Outline and objectives】
This class is designed for lower intermediate Korean learners. Students study grammar and vocabulary. It aims to enhance overall Korean.

LANk200LA

朝鮮語３ＢⅡ

2017 年度以降入学者

新谷　あゆり

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**月** 1/Mon.1
単位数：**1 単位**
文 2 年 L～N

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
初級後半から中級の語彙・文型を学び「話す・読む・聞く・書く」能力を向上させる。
。
学生の様子を見て内容を適宜変更する。

【到達目標】
語彙・文型の知識が増強できる。
正しい発音ができるようになる。
native speaker（韓国人留学生・中国朝鮮族の留学生など）と簡単な会話ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3

【授業の進め方と方法】
1 単語と文型を予習する。
2 文型練習をする。
3 会話練習をする。
4 自宅で作文、暗誦、読解の宿題をする。
5 暗唱と文法の小テスト。
・Zoom で行う予定なので、スマホ・タブレットの学生は zoom のアプリを入れておくこと。
・hoppi に詳しい授業予定、Zoom URL などを載せるので毎週確認すること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	復習	夏休みの話
	第 5 課 文型・会話練習	が、けれども・シオッ不規則活用
2	第 5 課 読解 文型・会話練習	ことができる・しない
3	第 6 課 文型・会話練習	するつもりです・でも
4	第 6 課 歌	ながら・まだしていな・にくい
5	第 6 課 文型・会話練習	するようだ・しそうだ
6	第 7 課 文型・会話練習	いようだ（推測）・そうだ（伝聞）
7	第 7 課 文型・会話練習	ますか（意志）・くなる
8	第 7・8 課 文型・会話練習	仕方を知っている・したことがある・ティグッ不規則活用
9	第 8 課 文型・会話練習	するから (意思)・ばいいと思う
10	韓国人留学生との会話	ネイティブと会話する
11	第 8 課 文型・会話練習	ていて、する途中で
12	第 9 課 文型・会話練習	なければならない・てはいけない
13	第 9 課 文型・会話練習 ドラマ	ので・ている、てもいい、ますが
14	期末試験	期末試験　まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
教科書に出てくる語彙・文の意味を授業の前に調べておくこと。
辞書を使って読解プリントを訳してくること。
本文の暗記・発音・作文の練習をすること。

【テキスト（教科書）】
『韓国語を学ぼう　中級』李昌圭　朝日出版社　2300+税

【参考書】
韓日辞典（朝鮮語辞典）小学館　等

【成績評価の方法と基準】
テスト 60 %、課題 20 %、平常点（zoom 参加度、積極性など）20 %
欠席 4 回以上は落第

【学生の意見等からの気づき】
韓国人留学生との会話が有意義だったという意見が多かったので行う予定です。
韓国エンタメに興味がある学生が多いため、授業で教材として取り上げる予定です。

【Outline and objectives】
This class is designed for lower intermediate Korean learners. Students study grammar and vocabulary. It aims to enhance overall Korean.

LANk200LA

朝鮮語４ＡＩ

2017 年度以降入学者

梁　禮先、内山　政春

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
法文営 2 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
１年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に，「読む，書く，聞く，話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします．

【到達目標】
授業で学んだ文の読み書きができ，声に出して言えるほか，自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
「朝鮮語３Ａ」と「朝鮮語４Ａ」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます．前者は日本語を母語とする教員が，後者は朝鮮語を母語とする教員が，それぞれの特徴を生かした授業を行います．またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します．必要に応じて到達度を確認する小テストも行ないます．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	第 1 課	語基の復習，ピウプ不規則用言
2	第 1 課	「やりもらい」と尊敬語・謙譲語
3	第 2 課	「～している」の２つの形，禁止形
4	第 2 課	長い不可能形，助詞「～に」の用法
5	第 3 課	文中の疑問形，強調表現
6	第 3 課	存在詞と語尾の組み合わせ，方向をあらわす動詞
7	第 4 課	もうひとつの意思・推量形，シオッ不規則用言
8	第 4 課	動詞のこそあどことば，副詞をつくる方法
9	第 5 課	用言の名詞形，「～することはする」
10	第 5 課	いくつかの助詞，「～という」の短縮形
11	第 6 課	動作の反復，推量表現
12	第 6 課	大過去，ヘヨ体の命令形
13	復習	春学期の総復習を行ないます．
14	テスト	テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習は不要ですが，なるべく復習の時間を多く取ってください．与えられた課題はかならずやるようにしてください．授業中でも家での復習でも，恥ずかしがらずに声を出して読んでみることが，ことばを覚えることにもなり，「話す」第一歩となるのです．
本授業の準備・復習時間は，各 1 時間を標準とします．

【テキスト（教科書）】
共通テキストとして『しくみで学ぶ中級朝鮮語〔私家版〕』を用います．

【参考書】
教科書によって文法の説明方式が異なるので，テキストに集中してください．辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお薦めします．

【成績評価の方法と基準】
期末テストの成績によります．

【学生の意見等からの気づき】
やむを得ない事情以外での欠席を避けてください．

【その他の重要事項】
「朝鮮語３Ａ」と「朝鮮語４Ａ」はそれぞれ３クラスあります．リレー授業を行ないますので，指定された組み合わせどおりに履修してください．また受講者のレベルによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください．

【Outline and objectives】
This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

LANk200LA

朝鮮語４ＡⅡ

2017 年度以降入学者

梁　禮先、内山　政春

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 5/Fri.5
単位数：**1 単位**
法文営 2 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期に引き続き，「読む，書く，聞く，話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします．

【到達目標】
授業で学んだ文の読み書きができ，声に出して言えるほか，自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
「朝鮮語３Ａ」と「朝鮮語４Ａ」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます．前者は日本語を母語とする教員が，後者は朝鮮語を母語とする教員が，それぞれの特徴を生かした授業を行います．またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します．必要に応じて到達度を確認する小テストも行ないます．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	第 7 課	「～して」をあらわすふたつの形
2	第 7 課	「～しながら」，指定詞の第Ⅲ語基
3	第 8 課	移動をあらわす合成動詞，用言の「である」形
4	第 8 課	間接話法１，反語表現
5	第 9 課	ハンダ体，間接話法２
6	第 9 課	「～しはじめる」，受身形
7	第 10 課	概数の表現，間接話法と第Ⅲ語基
8	第 10 課	「～について」，「～しやすい／しにくい」
9	第 11 課	手段・状況をあらわす「～して」，理由をあらわす表現
10	第 11 課	各種の濃音化，パンマル疑問文のもうひとつの形
11	第 12 課	「～と思う／考える」，「～して」の話しことば
12	第 12 課	「やりもらい」の間接話法，助詞の尊敬形
13	復習	春学期の総復習を行ないます．
14	テスト	テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習は不要ですが，なるべく復習の時間を多く取ってください．与えられた課題はかならずやるようにしてください．授業中でも家での復習でも，恥ずかしがらずに声を出して読んでみることが，ことばを覚えることにもなり，「話す」第一歩となるのです．
本授業の準備・復習時間は，各 1 時間を標準とします．

【テキスト（教科書）】
共通テキストとして『しくみで学ぶ中級朝鮮語〔私家版〕』を用います．

【参考書】
教科書によって文法の説明方式が異なるので，テキストに集中してください．辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお薦めします．

【成績評価の方法と基準】
期末テストの成績によります．

【学生の意見等からの気づき】
やむを得ない事情以外での欠席を避けてください．

【その他の重要事項】
「朝鮮語３Ａ」と「朝鮮語４Ａ」はそれぞれ３クラスあります．リレー授業を行ないますので，指定された組み合わせどおりに履修してください．また受講者のレベルによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください．

【Outline and objectives】
This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the spring semester.

LANk200LA

朝鮮語４ＡＩ

2017 年度以降入学者

梁　禮先、内山　政春

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 1/Thu.1
単位数：**1 単位**
法文営 2 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
１年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に，「読む，書く，聞く，話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします．

【到達目標】
授業で学んだ文の読み書きができ，声に出して言えるほか，自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
「朝鮮語３Ａ」と「朝鮮語４Ａ」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます．前者は日本語を母語とする教員が，後者は朝鮮語を母語とする教員が，それぞれの特徴を生かした授業を行います．またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します．必要に応じて到達度を確認する小テストも行ないます．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	第 1 課	語基の復習，ピウプ不規則用言
2	第 1 課	「やりもらい」と尊敬語・謙譲語
3	第 2 課	「～している」の２つの形，禁止形
4	第 2 課	長い不可能形，助詞「～に」の用法
5	第 3 課	文中の疑問形，強調表現
6	第 3 課	存在詞と語尾の組み合わせ，方向をあらわす動詞
7	第 4 課	もうひとつの意思・推量形，シオッ不規則用言
8	第 4 課	動詞のこそあどことば，副詞をつくる方法
9	第 5 課	用言の名詞形，「～することはする」
10	第 5 課	いくつかの助詞，「～という」の短縮形
11	第 6 課	動作の反復，推量表現
12	第 6 課	大過去，ヘヨ体の命令形
13	復習	春学期の総復習を行ないます．
14	テスト	テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習は不要ですが，なるべく復習の時間を多く取ってください．与えられた課題はかならずやるようにしてください．授業中でも家での復習でも，恥ずかしがらずに声を出して読んでみることが，ことばを覚えることにもなり，「話す」第一歩となるのです．
本授業の準備・復習時間は，各 1 時間を標準とします．

【テキスト（教科書）】
共通テキストとして『しくみで学ぶ中級朝鮮語〔私家版〕』を用います．

【参考書】
教科書によって文法の説明方式が異なるので，テキストに集中してください．辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお薦めします．

【成績評価の方法と基準】
期末テストの成績によります．

【学生の意見等からの気づき】
やむを得ない事情以外での欠席を避けてください．

【その他の重要事項】
「朝鮮語３Ａ」と「朝鮮語４Ａ」はそれぞれ３クラスあります．リレー授業を行ないますので，指定された組み合わせどおりに履修してください．また受講者のレベルによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください．

【Outline and objectives】
This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

LANk200LA

朝鮮語４ＡⅡ

2017 年度以降入学者

梁　禮先、内山　政春

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 1/Thu.1
単位数：**1 単位**
法文営 2 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期に引き続き，「読む，書く，聞く，話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします．

【到達目標】
授業で学んだ文の読み書きができ，声に出して言えるほか，自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
「朝鮮語３Ａ」と「朝鮮語４Ａ」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます．前者は日本語を母語とする教員が，後者は朝鮮語を母語とする教員が，それぞれの特徴を生かした授業を行います．またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します．必要に応じて到達度を確認する小テストも行ないます．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	第 7 課	「～して」をあらわすふたつの形
2	第 7 課	「～しながら」，指定詞の第Ⅲ語基
3	第 8 課	移動をあらわす合成動詞，用言の「である」形
4	第 8 課	間接話法１，反語表現
5	第 9 課	ハンダ体，間接話法２
6	第 9 課	「～しはじめる」，受身形
7	第 10 課	概数の表現，間接話法と第Ⅲ語基
8	第 10 課	「～について」，「～しやすい／しにくい」
9	第 11 課	手段・状況をあらわす「～して」，理由をあらわす表現
10	第 11 課	各種の濃音化，パンマル疑問文のもうひとつの形
11	第 12 課	「～と思う／考える」，「～して」の話しことば
12	第 12 課	「やりもらい」の間接話法，助詞の尊敬形
13	復習	春学期の総復習を行ないます．
14	テスト	テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習は不要ですが，なるべく復習の時間を多く取ってください．与えられた課題はかならずやるようにしてください．授業中でも家での復習でも，恥ずかしがらずに声を出して読んでみることが，ことばを覚えることにもなり，「話す」第一歩となるのです．
本授業の準備・復習時間は，各 1 時間を標準とします．

【テキスト（教科書）】
共通テキストとして『しくみで学ぶ中級朝鮮語〔私家版〕』を用います．

【参考書】
教科書によって文法の説明方式が異なるので，テキストに集中してください．辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお薦めします．

【成績評価の方法と基準】
期末テストの成績によります．

【学生の意見等からの気づき】
やむを得ない事情以外での欠席を避けてください．

【その他の重要事項】
「朝鮮語３Ａ」と「朝鮮語４Ａ」はそれぞれ３クラスあります．リレー授業を行ないますので，指定された組み合わせどおりに履修してください．また受講者のレベルによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください．

【Outline and objectives】
This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the spring semester.

LANk200LA

朝鮮語４ＡＩ

2017 年度以降入学者

梁　禮先、内山　政春

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
法文営 2 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
１年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に，「読む，書く，聞く，話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします．

【到達目標】
授業で学んだ文の読み書きができ，声に出して言えるほか，自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
「朝鮮語３Ａ」と「朝鮮語４Ａ」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます．前者は日本語を母語とする教員が，後者は朝鮮語を母語とする教員が，それぞれの特徴を生かした授業を行います．またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します．必要に応じて到達度を確認する小テストも行ないます．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	第 1 課	語基の復習，ピウプ不規則用言
2	第 1 課	「やりもらい」と尊敬語・謙譲語
3	第 2 課	「～している」の２つの形，禁止形
4	第 2 課	長い不可能形，助詞「～に」の用法
5	第 3 課	文中の疑問形，強調表現
6	第 3 課	存在詞と語尾の組み合わせ，方向をあらわす動詞
7	第 4 課	もうひとつの意思・推量形，シオッ不規則用言
8	第 4 課	動詞のこそあどことば，副詞をつくる方法
9	第 5 課	用言の名詞形，「～することはする」
10	第 5 課	いくつかの助詞，「～という」の短縮形
11	第 6 課	動作の反復，推量表現
12	第 6 課	大過去，ヘヨ体の命令形
13	復習	春学期の総復習を行ないます．
14	テスト	テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習は不要ですが，なるべく復習の時間を多く取ってください．与えられた課題はかならずやるようにしてください．授業中でも家での復習でも，恥ずかしがらずに声を出して読んでみることが，ことばを覚えることにもなり，「話す」第一歩となるのです．
本授業の準備・復習時間は，各 1 時間を標準とします．

【テキスト（教科書）】
共通テキストとして『しくみで学ぶ中級朝鮮語〔私家版〕』を用います．

【参考書】
教科書によって文法の説明方式が異なるので，テキストに集中してください．辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお薦めします．

【成績評価の方法と基準】
期末テストの成績によります．

【学生の意見等からの気づき】
やむを得ない事情以外での欠席を避けてください．

【その他の重要事項】
「朝鮮語３Ａ」と「朝鮮語４Ａ」はそれぞれ３クラスあります．リレー授業を行ないますので，指定された組み合わせどおりに履修してください．また受講者のレベルによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください．

【Outline and objectives】
This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

LANk200LA

朝鮮語４ＡⅡ

2017 年度以降入学者

梁　禮先、内山　政春

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 4/Fri.4
単位数：**1 単位**
法文営 2 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期に引き続き，「読む，書く，聞く，話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします．

【到達目標】
授業で学んだ文の読み書きができ，声に出して言えるほか，自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です．

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
「朝鮮語３Ａ」と「朝鮮語４Ａ」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます．前者は日本語を母語とする教員が，後者は朝鮮語を母語とする教員が，それぞれの特徴を生かした授業を行います．またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します．必要に応じて到達度を確認する小テストも行ないます．

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	第 7 課	「～して」をあらわすふたつの形
2	第 7 課	「～しながら」，指定詞の第Ⅲ語基
3	第 8 課	移動をあらわす合成動詞，用言の「である」形
4	第 8 課	間接話法１，反語表現
5	第 9 課	ハンダ体，間接話法２
6	第 9 課	「～しはじめる」，受身形
7	第 10 課	概数の表現，間接話法と第Ⅲ語基
8	第 10 課	「～について」，「～しやすい／しにくい」
9	第 11 課	手段・状況をあらわす「～して」，理由をあらわす表現
10	第 11 課	各種の濃音化，パンマル疑問文のもうひとつの形
11	第 12 課	「～と思う／考える」，「～して」の話しことば
12	第 12 課	「やりもらい」の間接話法，助詞の尊敬形
13	復習	春学期の総復習を行ないます．
14	テスト	テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
予習は不要ですが，なるべく復習の時間を多く取ってください．与えられた課題はかならずやるようにしてください．授業中でも家での復習でも，恥ずかしがらずに声を出して読んでみることが，ことばを覚えることにもなり，「話す」第一歩となるのです．
本授業の準備・復習時間は，各 1 時間を標準とします．

【テキスト（教科書）】
共通テキストとして『しくみで学ぶ中級朝鮮語〔私家版〕』を用います．

【参考書】
教科書によって文法の説明方式が異なるので，テキストに集中してください．辞書は小学館の『朝鮮語辞典（韓日辞典）』をお薦めします．

【成績評価の方法と基準】
期末テストの成績によります．

【学生の意見等からの気づき】
やむを得ない事情以外での欠席を避けてください．

【その他の重要事項】
「朝鮮語３Ａ」と「朝鮮語４Ａ」はそれぞれ３クラスあります．リレー授業を行ないますので，指定された組み合わせどおりに履修してください．また受講者のレベルによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください．

【Outline and objectives】
This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the spring semester.

LANk200LA

朝鮮語（3）Ⅰ

2017 年度以降入学者

李　英美

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**月** 1/Mon.1
単位数：**1 単位**
法 2 年 Y

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
このクラスでは基本文型の例文を増やし、新しい単語を習得することによって語彙力を養成します。また口頭による発音の直接伝授を繰り返し行います。

【到達目標】
朝鮮語の文法と語彙の知識を確かなものにし、正確な発音を身につけることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法法学部・国際政治学科： DP1

【授業の進め方と方法】
テキストに沿って進めますが、本文内容の理解を助けるために韓国の文化などを紹介する映像を適宜用います。
各課の「テーマ」を表現するために、「内容」にある文型を学んでいきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	自己紹介	連体形と時制
第 2 回	出会い	用言の縮約形、－してから、－になる、－だろう（か）・だよ・なさい
第 3 回	外国語	－くなる、－すること、－であること
第 4 回	学籍番号	数字の読み方と発音、－から・ので、－しても・でも。－する・するよ
第 5 回	食べ物	－みたいだ・ようだ、－くて・なので、－できない
第 6 回	学生生活	－けれど（も）・から・のに・ね・か、－できる・できない、－する
第 7 回	小テスト	「語彙力の確認」
第 8 回	タクシー	－ねばならない、－かも知れない、－するか？・だろうか？
第 9 回	遅刻	－ようだ・そうだ・みたいだ・－していて・する途中で、－し（て）・で
第 10 回	コーヒーショップ	－か？・かな？・かい？。－からだ・ならば、－するが・だが
第 11 回	これまでの復習	「連体形と不規則用言のまとめ」
第 12 回	招待	－したところ。したと思ったら・だったが、－する、－だ、－すると・だと・からといって
第 13 回	礼儀	－したらすぐ・するままに、－するように・く・に、－してはじめて・してこそ・しなければ
第 14 回	まとめとテスト	これまでに学習してきたことのまとめと期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
復習に重点をおいて毎課の単語をその都度暗記すること
テキスト付属の CD を毎日１５分ずつ聞くこと

【テキスト（教科書）】
高島淑郎『書いて覚える中級朝鮮語』白水社

【参考書】
随時必要な資料を配布
辞書は授業中に紹介

【成績評価の方法と基準】
平常点（出席率・小テスト）５０％・期末試験５０％を総合して評価

【学生の意見等からの気づき】
板書をきれいにすること

【学生が準備すべき機器他】
なし

【その他の重要事項】
授業を３分の１以上欠席すると、原則として期末試験は受けられないものとする。
期末試験を受けないと、単位はとれない。

【Outline and objectives】
In this class, you will develop your vocabulary by increasing the number of basic sentence patterns and learning new word.In addition, direct oral pronunciation will be repeatedly taught.
In addition, direct oral pronunciation will be repeatedly taught.
In this class, you will develop your vocabulary by increasing the number of basic sentence patterns and learning new words.
In addition, direct oral pronunciation will be repeatedly taught.

LANk200LA

朝鮮語（３）Ⅱ

2017 年度以降入学者

李　英美

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**月** 1/Mon.1
単位数：**1 単位**
法 2 年 Y

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期に続き秋学期を通しては、主に漢数詞と固有数詞・助詞などの品詞の使い方、用言の語尾の基本的変化（現在と過去、普通語と敬語、意志・推量・控え目と命令）について学びます。

【到達目標】
以上の授業内容を用いた基本文型をマスターし、簡単な文が作れることと基礎会話ができることを授業目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法法学部・国際政治学科： DP1

【授業の進め方と方法】
テキストに沿って毎回１課ずつ進めます。本文内容の理解を助けるために韓国の文化などを紹介する映像を適宜用います。
各課の「テーマ」を表現するために、「内容」にある文型を学んでいきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	露天街	− く見える、− とは・なんて、− いたす
第 2 回	植民地時代	− だろうよ・と思うよ、− として
第 3 回	仲直り	−ことで・で、− するならば・ならば。− しようかと思う・だろうかという
第 4 回	寝不足	− するのかと・のかと、− しようってば
第 5 回	ぞんざいな言葉	− するのか・なのか、− よ・さ・なの？・なのか？
第 6 回	占い	− することは〜する・であることは〜である、− することができる・できない、− であり得る・であり得ない、− するって・だって
第 7 回	俗語	− ね・な、− しに
第 8 回	小テスト	「語彙力のテスト」
第 9 回	思い出	− よ・ね・だったよ・だったね、− して・で
第 10 回	ベトナム	− しろって（さ）・するからって（さ）・かって（さ）・しようって（さ）
第 11 回	準備	− でも、− するつもりだから・だろうから・するはずだから・するから
第 12 回	軍隊	− するのか・なのか、− することになる・になる
第 13 回	日記	短い文の日本語訳、朗読
第 14 回	まとめとテスト	変速用言のまとめと期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
復習に重点をおいて毎課の単語をその都度暗記すること
テキスト付属の CD を毎日１５分ずつ聞くこと

【テキスト（教科書）】
高島淑郎『書いて覚える中級朝鮮語』白水社

【参考書】
随時必要な資料を配布
辞書は授業中に紹介

【成績評価の方法と基準】
平常点（出席率・小テスト）５０％、期末試験５０％を総合して評価

【学生の意見等からの気づき】
板書をきれいにすること

【学生が準備すべき機器他】
なし

【その他の重要事項】
授業を３分の１以上欠席すると、原則として期末試験を受けられないものとする

【Outline and objectives】
Throughout the fall semester following the spring semester, mainly how to use parts of speech such as Chinese numerals and proper numbers / particles, and basic changes in the ending of words (present and past, ordinary words and honorifics, will / guess / modesty and command)Learn about.

LANk200LA

朝鮮語７

2017 年度以降入学者

内山　政春

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**木** 2/Thu.2
単位数：**1 単位**
国 2 年 SA

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
１年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に，「読む，書く，聞く，話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします.
２年次秋学期の SA に備えます。

【到達目標】
ＳＡに通用する語学力の習得，具体的には韓国外国語大「韓国語文化教育センター」の「３級」に編入できることを目標とします.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
「朝鮮語７」「朝鮮語８」「朝鮮語コミュニケーションⅢ」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます．一方でそれぞれの授業で独自の教材も併用します.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	導入	前学期の復習と今学期の方針の説明をします.
2	第 9 課	ハンダ体，間接話法２
3	第 10 課	間接話法と第Ⅲ語基
4	口頭練習	復習を兼ねた口頭練習を行ないます.
5	第 11 課	理由をあらわす表現，各種の濃音化
6	第 12 課	「やりもらい」の間接話法，助詞の尊敬形
7	口頭練習	復習を兼ねた口頭練習を行ないます.
8	第 13 課	使役形，２ケタの固有数字
9	第 14 課	「～して」のさまざまな用法
10	口頭練習	復習を兼ねた口頭練習を行ないます.
11	第 15 課	漢字の読み方，南北のことばの違い
12	第 16 課	話者の体験をあらわす語尾，年月日と週の言い方
13	口頭練習	復習を兼ねた口頭練習を行ないます.
14	テスト	テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
語彙力を高めるよう自主的に努力してください.
BT20 階の国際文化学部資料室には、検定試験の問題集や、韓国で出版されている各大学の語学テキストなどを多数取り揃えていますので、活用してみましょう。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
共通テキストとして『しくみで学ぶ中級朝鮮語〔私家版〕』を用います.

【参考書】
初歩の内容で不十分な箇所があったら、１年次の内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語』（白水社）に立ち返ってください。
さらに進んだ学習には、たとえば白峰子『韓国語文法辞典』（三修社）、韓国国立国語院『韓国語学習者のためのやさしい韓韓辞典』（アルク）などが参考になります。

【成績評価の方法と基準】
期末テストの成績によります.

【学生の意見等からの気づき】
語学の勉強は授業時間内だけで完結するものではありません．日常生活のなかで「朝鮮語ではどう表現するのか？」ということを考える習慣をつけましょう.

【Outline and objectives】
This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

LANk200LA

朝鮮語８

2017 年度以降入学者

髙柳　俊男、内山　政春

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 2/Fri.2
単位数：**1 単位**
国 2 年 SA

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
１年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に，「読む，書く，聞く，話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします.
２年次秋学期の SA に備えます。

【到達目標】
ＳＡに通用する語学力の習得，具体的には韓国外国語大「韓国語文化教育センター」の「３級」に編入できることを目標とします.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部： DP1

【授業の進め方と方法】
「朝鮮語７」「朝鮮語８」「朝鮮語コミュニケーションⅢ」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます．一方でそれぞれの授業で独自の教材も併用します.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	導入	前学期の復習と今学期の方針の説明をします.
2	第 9 課	ハンダ体，間接話法２
3	第 10 課	間接話法と第Ⅲ語基
4	口頭練習	復習を兼ねた口頭練習を行ないます.
5	第 11 課	理由をあらわす表現，各種の濃音化
6	第 12 課	「やりもらい」の間接話法，助詞の尊敬形
7	口頭練習	復習を兼ねた口頭練習を行ないます.
8	第 13 課	使役形，２ケタの固有数字
9	第 14 課	「～して」のさまざまな用法
10	口頭練習	復習を兼ねた口頭練習を行ないます.
11	第 15 課	漢字の読み方，南北のことばの違い
12	第 16 課	話者の体験をあらわす語尾，年月日と週の言い方
13	口頭練習	復習を兼ねた口頭練習を行ないます.
14	テスト	テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
語彙力を高めるよう自主的に努力してください.
BT20 階の国際文化学部資料室には、検定試験の問題集や、韓国で出版されている各大学の語学テキストなどを多数取り揃えていますので、活用してみましょう。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
共通テキストとして『しくみで学ぶ中級朝鮮語〔私家版〕』を用います.

【参考書】
初歩の内容で不十分な箇所があったら、１年次の内山政春『しくみで学ぶ初級朝鮮語』（白水社）に立ち返ってください。
さらに進んだ学習には、たとえば白峰子『韓国語文法辞典』（三修社）、韓国国立国語院『韓国語学習者のためのやさしい韓韓辞典』（アルク）などが参考になります。

【成績評価の方法と基準】
期末テストの成績によります.

【学生の意見等からの気づき】
語学の勉強は授業時間内だけで完結するものではありません．日常生活のなかで「朝鮮語ではどう表現するのか？」ということを考える習慣をつけましょう.

【Outline and objectives】
This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

LANk200LA

朝鮮語３-Ⅰ

2017 年度以降入学者

新谷　あゆり

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
環 2 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
初級後半から中級の語彙・文型を学び「話す・読む・聞く・書く」能力を総合的に向上させる。
学生の様子を見て内容を適宜変更する。

【到達目標】
native speaker（韓国人留学生）と簡単な会話ができるようになる。
語彙・文型の知識が増強できる。
正しい発音ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
1 単語と文型を予習する。
2 文型練習をする。
3 会話練習をする。
4 自宅で作文、暗誦などの課題をする。
5 暗唱や文法などの小テスト。
授業は Zoom で行う予定なので、スマホ・タブレットの学生は zoom のアプリを入れておくこと。
hoppi に詳しい授業予定、Zoom URL などを載せるので毎週確認すること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	一年次の復習　第 1 課 文型・会話練習	自己紹介
2	第 1 課 文型・会話練習	ましょうか・てください
3	第 1・2 課 歌	ましょう・たい、たがる・から、てくて
4	第 2 課 文型・会話練習	ウ不規則活用・できない
5	第 2 課 文型・会話練習	ことにする・電話番号
6	第 3 課 文型・会話練習	ば、たら、と
7	第 3 課 文型・会話練習	てみる・ますね、ですね
8	第 3・4 課 文型・会話練習	連体形
9	第 4 課 文型・会話練習	ようと・ばいい
10	第 4 課 文型・会話練習	でしょうか、ましょうか・んですよ
11	韓国人留学生との会話	ネイティブと会話
12	第 4 課 文型・会話練習	たあと・ますよ、ますからね
13	第 5 課 文型・会話練習	ピウップ不規則活用・んですが
14	期末試験	期末試験　まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
教科書に出てくる語彙・文の意味を授業の前に調べておくこと。
辞書を使って読解プリントを訳してくること。
本文の暗記・発音・作文の練習をすること。

【テキスト（教科書）】
『韓国語を学ぼう　中級』李昌圭　朝日出版社 2300 円+税

【参考書】
朝鮮語辞書（韓日辞典）　小学館　など

【成績評価の方法と基準】
テスト 60 %、課題 20 %、平常点 20 %（zoom 参加度、積極性など）
欠席 4 回以上は落第

【学生の意見等からの気づき】
韓国人留学生との会話が有意義だったという意見が多かったので行う予定です。
エンタメに興味がある学生が多いので取り上げる予定です。

【学生が準備すべき機器他】
パソコンかタブレットかスマホ。パソコンかタブレットが望ましい。

【Outline and objectives】
This class is designed for lower intermediate Korean learners. Students study grammar and vocabulary. It aims to enhance overall Korean.

LANk200LA

朝鮮語３-Ⅱ

2017 年度以降入学者

新谷　あゆり

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**水** 5/Wed.5
単位数：**1 単位**
環 2 年

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
初級後半から中級の語彙・文型を学び「話す・読む・聞く・書く」能力を向上させる。
。
学生の様子を見て内容を適宜変更する。

【到達目標】
語彙・文型の知識が増強できる。
正しい発音ができるようになる。
native speaker（韓国人留学生・中国朝鮮族の留学生など）と簡単な会話ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部： DP2

【授業の進め方と方法】
1 単語と文型を予習する。
2 文型練習をする。
3 会話練習をする。
4 自宅で作文、暗誦、読解の宿題をする。
5 暗唱と文法の小テスト。
・Zoom で行う予定なので、スマホ・タブレットの学生は zoom のアプリを入れておくこと。
・hoppi に詳しい授業予定、Zoom URL などを載せるので毎週確認すること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	復習	夏休みの話
	第 5 課 文型・会話練習	が、けれども・シオッ不規則活用
2	第 5 課 読解 文型・会話練習	ことができる・しない
3	第 6 課 文型・会話練習	するつもりです・でも
4	第 6 課 歌	ながら・まだしていな・にくい
5	第 6 課 文型・会話練習	するようだ・しそうだ
6	第 7 課 文型・会話練習	いようだ（推測）・そうだ（伝聞）
7	第 7 課 文型・会話練習	ますか（意志）・くなる
8	第 7・8 課 文型・会話練習	仕方を知っている・したことがある・ティグッ不規則活用
9	第 8 課 文型・会話練習	するから (意思)・ばいいと思う
10	韓国人留学生との会話	ネイティブと会話する
11	第 8 課 文型・会話練習	ていて、する途中で
12	第 9 課 文型・会話練習	なければならない・てはいけない
13	第 9 課 文型・会話練習 ドラマ	ので・ている、てもいい、ますが
14	期末試験	期末試験　まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
教科書に出てくる語彙・文の意味を授業の前に調べておくこと。
辞書を使って読解プリントを訳してくること。
本文の暗記・発音・作文の練習をすること。

【テキスト（教科書）】
『韓国語を学ぼう　中級』李昌圭　朝日出版社　2300+税

【参考書】
韓日辞典（朝鮮語辞典）小学館　等

【成績評価の方法と基準】
テスト 60 %、課題 20 %、平常点（zoom 参加度、積極性など）20 %
欠席 4 回以上は落第

【学生の意見等からの気づき】
韓国人留学生との会話が有意義だったという意見が多かったので行う予定です。
韓国エンタメに興味がある学生が多いため、授業で教材として取り上げる予定です。

【Outline and objectives】
This class is designed for lower intermediate Korean learners. Students study grammar and vocabulary. It aims to enhance overall Korean.

LANk200LA

朝鮮語 3C Ⅰ（コミュニケーション） 2017 年度以降入学者

富所　明秀

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**火** 4/Tue.4
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 2〜4 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
１年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に，「読む，書く，聞く，話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします.
到達目標として TOPIK（韓国語能力試験）Ⅰレベルの合格を目指します.

【到達目標】
授業で学んだ文の読み書きができ，声に出して言えるほか，自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）を習得します.
課題や試験の勉強に取り組むことで，平易な小説が読めるようになります.
また到達目標として TOPIK（韓国語能力試験）Ⅰレベルの合格を目指します.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
小テストを実施します.
授業では教科書の語彙と文法の説明の後で各自練習問題を解き，音読と聞き取りをおこないます.
授業形態（対面 or オンライン）については初回から Hoppii の「お知らせ」で告知しますので，必ず登録のうえ，読んでください.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	第１課	語基の復習，ピウプ不規則用言
2	第１課	語基の復習，ピウプ不規則用言
3	第１課	「やりもらい」と尊敬語・謙譲語
4	第２課	「〜している」の２つの形，禁止形
5	第２課	長い不可能形，助詞「〜に」の用法
6	中間試験	中間試験
7	第３課	文中の疑問形，強調表現
8	第３課	存在詞と語尾の組み合わせ，方向をあらわす動詞
9	第４課	もうひとつの意思・推量形，シオッ不規則用言
10	第４課	動詞のこそあどことば，副詞をつくる方法
11	第５課	用言の名詞形，「〜することはする」
12	第５課	いくつかの助詞，「〜という」の短縮形
13	春学期のまとめ	春学期のまとめ
14	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の課題は，指定された教科書の練習問題を解いて Hoppii に提出します.
課題と小テストのための復習時間は１回につき１時間以上が標準となります.

【テキスト（教科書）】
授業で配布します

【参考書】
『コスモス朝和辞典』

【成績評価の方法と基準】
小テスト：20%
課題提出：20%
中間試験：30%
期末試験：30%

【学生の意見等からの気づき】
CD の活用

【学生が準備すべき機器他】
特にありません.

【その他の重要事項】
Hoppii に登録してください.
課題の提出は Hoppii で行います.
また，シラバスは状況によって変更される場合がありますので，Gmail と Hoppii の「お知らせ」を必ず読んでください.
繰り返しますが，授業形態（対面 or オンライン）については初回から Hoppii の「お知らせ」で告知しますので，必ず登録のうえ，読んでください.

【Outline and objectives】
It aims to comprehensively improve each ability of "reading, writing, listening, talking" on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.
Students aim to pass TOPIK (Korean Language Proficiency Test) I level as an achievement goal.

LANk200LA

朝鮮語 3C Ⅱ（コミュニケーション） 2017 年度以降入学者

富所　明秀

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**火** 4/Tue.4
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 2〜4 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
春学期に引き続き，「読む，書く，聞く，話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします.
到達目標として TOPIK（韓国語能力試験）Ⅰレベルの合格を目指します.

【到達目標】
授業で学んだ文の読み書きができ，声に出して言えるほか，自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）を習得します.
課題や試験の勉強に取り組むことで，平易な小説が読めるようになります.
また到達目標として TOPIK（韓国語能力試験）Ⅰレベルの合格を目指します.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
小テストを実施します.
授業では教科書の語彙と文法の説明の後で各自練習問題を解き，音読と聞き取りをおこないます.
授業形態（対面 or オンライン）については初回から Hoppii の「お知らせ」で告知しますので，必ず登録のうえ，読んでください.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	第６課	動作の反復，推量表現
2	第６課	大過去形
3	第６課	ヘヨ体の命令形
4	第７課	「〜して」をあらわすふたつの形
5	第７課	「〜しながら」，指定詞の第Ⅲ語基
6	中間試験	中間試験
7	第８課	移動をあらわす合成動詞，用言の「である」形
8	第８課	間接話法１，反語表現
9	第９課	ハンダ体，間接話法２
10	第９課	「〜しはじめる」，受身形
11	第１０課	概数の表現，間接話法と第Ⅲ語基
12	第１０課	「〜について」，「〜しやすい／しにくい」
13	秋学期のまとめ	秋学期のまとめ
14	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の課題は，指定された教科書の練習問題を解いて Hoppii に提出します.
課題と小テストのための復習時間は１回につき１時間以上が標準となります.

【テキスト（教科書）】
授業で配布します.

【参考書】
『コスモス朝和辞典』

【成績評価の方法と基準】
小テスト：20%
課題提出：20%
中間試験：30%
期末試験：30%

【学生の意見等からの気づき】
CD の活用

【学生が準備すべき機器他】
特にありません.

【その他の重要事項】
Hoppii に登録してください.
課題の提出は Hoppii で行います.
また，シラバスは状況によって変更される場合がありますので，Gmail と Hoppii の「お知らせ」を必ず読んでください.
繰り返しますが，授業形態（対面 or オンライン）については初回から Hoppii の「お知らせ」で告知しますので，必ず登録のうえ，読んでください.

【Outline and objectives】
Continuing from the spring semester, it aims to comprehensively improve each ability of "Reading, Writing, Listening, Talking".
Students aim to pass TOPIK (Korean Language Proficiency Test) I level as an achievement goal.

LANk200LA

朝鮮語４ＢＩ（視聴覚）

2017 年度以降入学者

新谷　あゆり

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 2〜4 年※定員制

他学部公開：○　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
さまざまな映像・音声を通じ、聞く能力・読む能力を向上させる。
語彙・文型・表現の知識を増強する。
韓国人留学生との会話も行う予定。
一定の能力のある学生を対象とします。

【到達目標】
1 韓国の小説・ドラマ・歌・アナウンスなどの聞き取りを通し、音から朝鮮語を理解することに慣れる。
2 スクリプトの翻訳を通じ、語彙・文型・表現の知識を増強する。
3 発音練習・暗唱を行うことで自然で美しい発音をめざす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
1 小説・ドラマの一場面を聞き、日本語訳する。
2 スクリプトを読み、日本語訳する。
3 文型・表現を学び、発音練習をする。
4 翻訳・暗唱等の課題をする。
5 単語と暗唱の小テストをする。
Zoom で行う予定なので、tablet の学生は zoom のアプリを入れておくこと。
hoppi に詳しい授業予定、Zoom URL などを載せるので毎週確認すること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	サランバンのお客さんとオモニ　①② シークレットガーデン１	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
2	サランバンのお客さんとオモニ　③④ シークレットガーデン２ 歌	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
3	サランバンのお客さんとオモニ　⑤⑥ シークレットガーデン３	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
4	サランバンのお客さんとオモニ　⑦⑧ アナウンス	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
5	サランバンのお客さんとオモニ　⑨⑩ シークレットガーデン４	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
6	歌など 小テスト	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
7	サランバンのお客さんとオモニ　⑪⑫ シークレットガーデン５	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
8	サランバンのお客さんとオモニ　⑬⑭ テスト	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
9	サランバンのお客さんとオモニ　⑮⑯ シークレットガーデン６	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
10	サランバンのお客さんとオモニ　⑰⑱ 会話練習	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
11	留学生との会話	韓国人留学生と会話
12	サランバンのお客さんとオモニ　⑲⑳ シークレットガーデン７	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
13	サランバンのお客さんとオモニ　最終回 シークレットガーデン８	スクリプト聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
14	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎週、聞き取り・読解・暗記等の課題を行うこと。
本授業の準備・復習時間は各 1-2 時間を要する。

【テキスト（教科書）】
プリント配布

【参考書】
川口義一監修『耳から入る韓国語１』学研
シークレットガーデン　ＤＶＤ

【成績評価の方法と基準】
平常点（参加度、積極性、課題）40 %、テスト 60 %
4 回欠席の場合、落第。

【学生の意見等からの気づき】
留学生との会話が大変有意義だったという意見が多かったため今学期も留学生との会話の時間を設けます。

【学生が準備すべき機器他】
pc あるいは tablet

【その他の重要事項】
一定の能力のある学生を対象とします。
課題が多いのでやる気のある学生の受講を希望します。
定員制のため履修希望者が多い場合は初回に抽選をします。初回の授業には必ず出席してください。

【Outline and objectives】
This class is designed for intermediate Korean learners. Students watch videos, listen to CDs, and translate scripts. It aims to improve listening comprehension skills and increase vocabulary.

LANk200LA

朝鮮語４ＢⅡ（視聴覚）

2017 年度以降入学者

新谷　あゆり

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**木** 3/Thu.3
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 2〜4 年※定員制

他学部公開：○　**グローバル：**　**成績優秀：**○　**実務教員：**

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
さまざまな映像・音声を通じ、聞く能力・読む能力を向上させる。語彙・文型・表現の知識を増強する。
韓国人留学生との会話も行う予定。
一定の能力のある学生を対象とします。

【到達目標】
1 韓国のドラマ・歌・アナウンス・スピーチなどの聞き取りを通し、音から理解することに慣れる。
2 スクリプトの翻訳を通じ、語彙・文型・表現の知識を増強する。
3 発音練習・音読を行うことで自然で美しい発音をめざす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
1 ドラマ・ニュースなどを聞き、日本語訳する。
2 スクリプトを読み、日本語訳する。
3 文型・表現を学び、発音練習をする。
4 翻訳・暗唱等の課題をする。
5 単語と暗唱の小テストをする。
Zoom で行う予定なので、tablet の学生は zoom のアプリを入れておいてください。
hoppi に詳しい授業予定、Zoom URL などを載せるので毎週確認してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	会話　自己紹介 華麗なる遺産１	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
2	華麗なる遺産２ 歌	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
3	アナウンスなど	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
4	華麗なる遺産３	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
5	華麗なる遺産４ 小テスト	小テスト 聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
6	アナウンスなど	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
7	華麗なる遺産５ テスト	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
8	華麗なる遺産６	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
9	アナウンスなど	小テスト 聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
10	華麗なる遺産７ 会話練習	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
11	留学生との会話	韓国人留学生と会話
12	華麗なる遺産８ 小テスト	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
13	華麗なる遺産９	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
14	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎週、スクリプト読解・音読・暗唱等の課題を行うこと。
本授業の準備・復習時間は 1-2 時間を要する。

【テキスト（教科書）】
プリント配布

【参考書】
なし

【成績評価の方法と基準】
平常点（参加度、積極性、課題）40 %、テスト 60 %
４回欠席の場合、落第。

【学生の意見等からの気づき】
留学生との会話が有意義だったという意見が多かったので今学期も会話の時間を設けます。

【学生が準備すべき機器他】
☒か tablet

【その他の重要事項】
一定の能力のある学生を対象とします。
課題が多いのでやる気のある学生の受講を希望します。
定員制のため履修希望者が多い場合は初回授業参加者の中から抽選をします。初回の授業には必ず出席してください。

【Outline and objectives】
This class is designed for intermediate Korean learners. Students watch videos, listen to CDs, and translate scripts. It aims to improve listening comprehension skills and increase vocabulary.

LANk200LA

朝鮮語５ＡＩ（講読）

2017 年度以降入学者

吉良　佳奈江

開講時期：**春学期授業**/Spring　｜　曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 3〜4 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では、朝鮮語の基礎を身につけた学習者が現代の韓国文学に触れ、辞書を使って一人で読めるようになることを目的とする。短いエッセイから、短編までさまざまな作家の文章を幅広く読むとともに、作品の背景となっている現代の韓国社会や韓国の文化についても考察する。
日本で翻訳されている韓国文学と合わせ授業中に自ら原書のテキストを読むことで、各学習者が好きな韓国文学に出会えることを目標とする。

【到達目標】
1. 書き言葉と間接話法が用いられた朝鮮語の文章を正確に理解することができる
2. エッセイや小説などの様々なジャンルの朝鮮語の文章を、辞書を引きながら読解できる能力を身につける
3. 授業で扱うテキストの内容について議論しながら、韓国の社会問題や韓国文化についての理解を深める

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
この授業は Zoom を利用したオンライン授業です。
課題の提出など、学習支援システムを利用して行うので確認してください。
授業の進め方は以下の通りです。
指定したエッセイや短編小説を、文法内容や関連語彙を確認しながら読み解いていきます。原則として、各自日本語訳した文章を授業内で確認する予習型です。
初回の授業では、韓国文学の文献リストを配布するとともに、韓国文学に関する互いの関心を共有します。
第 2・3 回の授業ではハムニダ体の文章を題材として、ストーリーのある文章を読みます。
第 4 回以降、エッセイや短編作品を中心に韓国語の文章を読みます。授業で取り上げた教材については、原書および同じ作家の日本語で読める作品も紹介し、韓国文学についての知識を深めます。
第 14 回（最終授業）では、アクティブラーニングとして各履修者が印象に残った文章を音読、翻訳して発表します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の進め方、韓国文学の文献リストの配布
2	ハムニダ体の講読（1）	ストーリーのある文章を読んで、読解に慣れる。
3	ハムニダ体の講読・ディスカッション（2）	ストーリーのある文章を読んで、読解に慣れる。
4	エッセイの講読・ディスカッション（1）	エッセイを読んで、内容について議論する
5	エッセイの講読・ディスカッション（2）	エッセイを読んで、内容について議論する
6	エッセイの講読・ディスカッション（3）	エッセイを読んで、内容について議論する
7	小説の講読・ディスカッション（1）	小説を読んで、内容について議論する
8	小説の講読・ディスカッション（2）	小説を読んで、内容について議論する
9	小説の講読・ディスカッション（3）	小説を読んで、内容について議論する
10	小説の講読・ディスカッション（4）	小説を読んで、内容について議論する
11	小説の講読・ディスカッション（5）	小説を読んで、内容について議論する
12	小説の講読・ディスカッション（6）	小説を読んで、内容について議論する
13	小説の講読・ディスカッション（7）	小説を読んで、内容について議論する
14	アクティブ・ラーニング　発表	課題・関心の共有

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。指定されたテキストの予習と復習を必ず行うこと。

【テキスト（教科書）】
パク・ミンギュ、チェ・ウニョン、キム・エラン、チャン・ガンミョン、ペク・スリンなど日本でも翻訳されている作家を中心に、エッセイ、短編を扱う。
講読テキスト・参考資料はプリントで配布する。

【参考書】
『完全版　韓国・フェミニズム・日本』斎藤真理子編集　（2019、河出書房新社）
『カステラ』パク・ミンギュ著、ヒョン・ジェフン、斎藤真理子訳　（2014、クレイン）
『どきどき僕の人生』キム・エラン著、きむふな訳　（2013、クオン）
『マイスイートソウル』チョン・イヒョン著、清水由希子訳　（2007、講談社）
『韓国が嫌いで』チャン・ガンミョン著、吉良佳奈江訳　（2020、ころから）
『ショウコの微笑』チェ・ウニョン著、吉川 凪監修、
牧野 美加 、横本 麻矢、小林 由紀 翻訳（2018、クオン）

【成績評価の方法と基準】
授業の出席・参加度、課題の発表、アクティブラーニングを総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】
テキストだけでなく、映画やドラマの原作なども取り上げる。

【学生が準備すべき機器他】
授業時に講読テキストに関連した朝鮮語の文章を配布し、読解の練習をしてもらう場合もあるため、辞書は必ず持参すること。

【その他の重要事項】
長い文章の講読は少しハードルが高いかもしれませんが、韓国で話題になっている本やエッセイを読むことは、韓国社会や韓国文化に対するより深い理解へとつながります。
初級・中級レベルの朝鮮語の学習を終えてエッセイや小説の読解に挑戦してみたいという学生の他に、韓国に留学したことがあって読解力をもっと高めたいという学生や、文学作品の翻訳に関心がある韓国の留学生の履修も歓迎します。

【Outline and objectives】
In the class, intermediate learners of Korean use dictionaries to read modern Korean literature.
The ultimate goal is to find out what Korean literature each learner likes by reading various Korean textbooks.

LANk200LA

朝鮮語５ＡⅡ（講読）

2017 年度以降入学者

吉良　佳奈江

開講時期：**秋学期授業**/Fall　｜　曜日・時限：**月** 3/Mon.3
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 3〜4 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では、朝鮮語の基礎を身につけた学習者が現代の韓国文学に触れ、辞書を使って一人で読めるようになることを目的とする。ドラマの原作や映画のシナリオなども扱い、さまざまな作家の文章を幅広く読むとともに、作品の背景となっている現代の韓国社会や韓国の文化についても考察する。

【到達目標】
1. 書き言葉と間接話法が用いられた朝鮮語の文章を正確に理解することができる
2. エッセイや小説などの様々なジャンルの朝鮮語の文章を、辞書を引きながら読解できる能力を身につける
3. 授業で扱うテキストの内容について議論しながら、韓国の社会問題や韓国文化についての理解を深める

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
この授業は Zoom を利用したオンライン授業です。
課題の提出など、学習支援システムを利用して行うので確認してください。
指定したエッセイや短編小説、長編小説の一部を、文法内容や関連語彙を確認しながら読み解いていきます。原則として、各自日本語訳した文章を授業内で確認する予習型です。
初回の授業では、春学期に読んだテキストを踏まえて、韓国文学に関する互いの関心を共有します。
第２回以降、短編作品を中心に韓国語の文章読解を進めますが、授業で取り上げた教材については、原書および同じ作家の日本語で読める作品も紹介し、韓国文学についての知識を深めます。
第 14 回（最終授業）では、アクティブラーニングとして各履修者が印象に残った文章を音読、翻訳して発表します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	イントロダクション エッセイの講読	関心の共有 エッセイを読んで、内容について議論する
2	小説の講読・ディスカッション（1）	小説を読んで、内容について議論する
3	小説の講読・ディスカッション（2）	小説を読んで、内容について議論する
4	小説の講読・ディスカッション（3）	小説を読んで、内容について議論する
5	小説の講読・ディスカッション（4）	小説を読んで、内容について議論する
6	小説の講読・ディスカッション（5）	小説を読んで、内容について議論する
7	小説の講読・ディスカッション（6）	小説を読んで、内容について議論する
8	小説の講読・ディスカッション（7）	小説を読んで、内容について議論する
9	小説の講読・ディスカッション（8）	小説を読んで、内容について議論する
10	小説の講読・ディスカッション（9）	小説を読んで、内容について議論する
11	小説の講読・ディスカッション（10）	小説を読んで、内容について議論する
12	小説の講読・ディスカッション（11）	小説を読んで、内容について議論する
13	小説の講読・ディスカッション（12）	小説を読んで、内容について議論する
14	アクティブ・ラーニング　発表	課題・関心の共有

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。指定されたテキストの予習と復習を必ず行うこと。

【テキスト（教科書）】
日本でも翻訳されている現代作家を中心に、エッセイ、短編、長編小説の一部を扱います。

【参考書】
『モンスーン』ピョン・ヘヨン著、姜信子訳（2019、白水社）
『遠足』チョン・ソンテ著　小山内園子訳（2018、クオン）
『惨憺たる光』ペク・スリン著、カン・パンファ訳（2019、書肆侃侃房）
『保健室のアン・ウニョン先生』チョン・セラン著、斎藤真理子訳（2020、亜紀書房）
その他、適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】
・授業の出席・参加度、課題の発表、アクティブラーニングを総合的に評価します。
・課題提出とアクティブラーニングでは、完成度ではなく、問題への取り組みと積極性を評価します。

【学生の意見等からの気づき】
テキストだけでなく、映画やドラマの原作なども取り上げる。

【学生が準備すべき機器他】
授業時に予習なしで購読する場合もあるため、辞書は必ず持参すること。
ハングル入力ができることが望ましい。

【その他の重要事項】
大学で朝鮮語を学んでいない学生も履修は可能です。レベルについては事前に教員に相談してください。
文学作品に関心のある留学生の履修も歓迎します。

【Outline and objectives】
In the class, intermediate learners will try to understand Korean society by reading Korean literature.
The ultimate goal is to find out the favorite Korean literature for each learner.

LANk200LA

朝鮮語５ＢＩ（表現法）

2017 年度以降入学者

神谷　丹路

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 3〜4 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
朝鮮語で「聞く力」「話す力」「読む力」「書く力」の伸長を目指す。これまで学習してきた文法や語彙の定着を図り、簡単な日常会話がスムーズにできるように練習をする。
韓国の時事ニュースに触れ、時事単語、リスニング力、漢字語の力をつける。中級レベルの新しい語彙、表現を増やし、会話の幅を広げる。学生のレベルに合わせ、導入用に朝鮮韓国の昔話など簡単な読み物を読み、伝統文化への理解も深めたりする。中級向けの授業である。

【到達目標】
実際にコミュニケーションの手段として使える朝鮮語の「聞く力」「話す力」を獲得し、また身のまわりの出来事を書いたりできるようにする。自らの体験や考えを朝鮮語で発表できるようにする。言語の背景に広がる文化的社会的な理解も深めていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
本授業は、オンライン授業（ZOOM によるリアルタイム授業）です。本授業の開始日は 4 月 9 日とし、前日までに ZOOM の URL を学習支援システムの「お知らせ」に掲示します。
基本的な流れは、以下の通りである。毎回、ウォーミングアップとして、授業のはじめに、身の回りの出来事について、簡単な日常会話を交わす練習をすることで、話すことに慣れていく。慣れてきたら、PPT を作成してプレゼンテーションの練習も随時していきたい。後半は昔話や時事ニュースのテキストに沿って、聞く力の伸長、読む力、語彙力のアップを図り、隣国への幅広い理解へとつなげていく。質問は授業内、掲示板で対応し、発表については授業内で講評する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	・授業の進め方の説明 ・レベルチェック ・自己紹介
2	「おひさまおつきさま」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
3	「トラと干し柿」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
4	『時事韓国語』BTS、KPOP 再燃なるか。	会話、リスニング、リーディング、内容理解
5	『時事韓国語』韓国映画 1000 万人、	会話、リスニング、リーディング、内容理解
6	『時事韓国語』正月番組特集	会話、リスニング、リーディング、内容理解
7	『時事韓国語』南北合同チーム初登場	会話、リスニング、リーディング、内容理解
8	『時事韓国語』「シェアハウス人気」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
9	『時事韓国語』「無人化加速」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
10	『時事韓国語』「小 1 保護者 10 時出勤」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
11	『時事韓国語』「二つの母国語」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
12	『時事韓国語』「高齢者 10 人に 1 人認知症」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
13	『時事韓国語』「変わる採用試験場」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
14	学習のまとめ	プレゼンテーション

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回、読み物課題を予習・復習すること。知らない単語を確認しておく。毎回、身近な話題について韓国語で話しますので、話題を準備すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『KBS ニュースで学ぶ時事韓国語』浜之上幸監修、白帝社、2019 年、2400 円+税。昔話は授業時にプリントを配布。

【参考書】
日韓・韓日辞書。

【成績評価の方法と基準】
平常点 80 %、プレゼンテーション 20 %。

【学生の意見等からの気づき】
話すことに抵抗感がなくなるように、簡単な単語を駆使して伝える技術を身に着けられるようにします。

【その他の重要事項】
学生のレベルに合わせ、順序や内容に若干の変更のある場合があります。

【Outline and objectives】
This course deals with Korean intermediate level. It also enhances the development of students' skill in reading, writing, listening and talking.

LANk200LA

朝鮮語５ＢⅡ（表現法）

2017 年度以降入学者

神谷　丹路

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**金** 3/Fri.3
単位数：**1 単位**
法文営国環キ 3〜4 年※定員制

他学部公開：　グローバル：　成績優秀：○　実務教員：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
朝鮮語で「聞く力」「話す力」「読む力」「書く力」の伸長を目指す。これまで学習してきた文法や語彙の定着を図り、簡単な日常会話がスムーズにできるように練習をする。朝鮮韓国の昔話など簡単な読み物を読みながら、伝統文化についての理解を深めたり、時事ニュースに触れ、リスニング力、漢字語の力をつける。中級レベルの新しい語彙、表現を増やし、会話の幅を広げる。中級レベル向けの授業である.

【到達目標】
実際にコミュニケーションの手段として使える朝鮮語の「聞く力」「話す力」を獲得し、また身のまわりの出来事を書いたりできるようにする。自らの体験や考えを朝鮮語で発表できるようにする。言語の背景に広がる文化的社会的な理解も深めていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
毎回、ウォーミングアップとして、授業のはじめに、身の回りの出来事について、簡単な日常会話を交わす練習をする。言葉がすぐ出てくるよう、とにかく話すことに慣れること。その後は、時事ニュースのテキストに沿って、聞く力の伸長、読む力、語彙力のアップを図り、隣国への幅広い理解へとつなげていく。質問は授業内、掲示板で対応し、発表については授業内で講評する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション 『時事韓国語』 11「政府、原発新設白紙化問題」	・授業の進め方の説明 ・レベルチェック ・自己紹介
2	『時事韓国語』 12「はじめて呼ぶお父さん、お母さん」、 13「国政の安定化、協力と統合」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
3	『時事韓国語』 14「南北 65 年ぶり終戦宣言」 15「気候変動とウミガメ」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
4	『時事韓国語』 16「日本の公衆トイレ」 17「米朝 70 年の対立に終止符」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
5	18「監視カメラ」 19「５ G 先取り競争」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
6	20「気象ニュース」 21「ヨイドの桜」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
7	22「珍道犬」 23「仮想通貨」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
8	『時事韓国語』 24「変わる採用試験現場」 25「不動産事情、ソウル、地方」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
9	『時事韓国語』 26「経済成長と就業者の増加」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
10	『時事韓国語』 31「ワールドカップ韓国サッカー旋風」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
11	『時事韓国語』 32「野球ニュースロッテ 5 連勝中」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
12	『時事韓国語』 33「ニュース解説、巨大な壁を打ち破った英雄」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
13	『時事韓国語』 34「ドラマの名所ソウル桂洞」 35「蚊を追い払う方法、ご存知？」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
14	36「そば粉パスタ、干しだらのカルグクス」 ●学習のまとめ	内容理解、プレゼンテーション

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
毎回、身近な話題について、簡単な会話をしますので、話題を準備をしておくこと。毎回、課題の復習を十分すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
『KBS ニュースで学ぶ時事韓国語』浜之上幸監修、白帝社、2400 円+税。
「

【参考書】
日韓・韓日辞書。

【成績評価の方法と基準】
平常点 80 %、プレゼンテーション 20 %。

【学生の意見等からの気づき】
話すことに抵抗感がなくなるように、簡単な単語を駆使して伝える技術を身に着けられるようにします。

【その他の重要事項】
学生のレベルに合わせ、順序や内容に若干の変更のある場合があります。

【Outline and objectives】
This course deals with Korean intermediate level. It also enhances the development of students' skill in reading, writing, listening and talking.

ARSe200LA

朝鮮の文化と社会ＬＡ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

李　英美

開講時期：**春学期授業**/Spring ｜ 曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：**2 単位**
法文営国環キ 2〜4 年※定員制

他学部公開：○　**グローバル：**　**成績優秀：**○　**実務教員：**

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では韓国の映画をとおして朝鮮・韓国の文化と社会全般について学ぶ。
韓国の映画に描かれている韓国社会の特徴や変化を通じて、韓国の文化と社会に対する理解を深めることが授業の目的である。

【到達目標】
様々なテーマを取り扱う韓国映画から韓国・朝鮮の文化と社会について何を読み取るか、その力を養うことが本授業の目標となる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は５月１１日とし、この日まで具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで掲示する。
(※旧：基本的にはテキストの順に沿って進める。
ひとつのテーマについて講義したあとに、２週連続で関連映像の解説上映といった形で進める。毎回授業の最後に解説と映像に対する感想文を書いて提出する。)

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	授業の目標と進め方の説明	授業の目的と進め方について説明し、テキストや参考書の使い方について説明する。
第 2 回	解説と映画鑑賞①ー朝鮮半島の南北分断について	南北対立から理解へー南北分断のリアル DMZ
第 3 回	解説と映画鑑賞②ー朝鮮半島の南北分断について	新しい観点から南北分断を想像するー南北兵士の心理描写
第 4 回	韓国映画史ー時代区分と特徴	韓国映画史について、全体的な流れと時代別の特徴を概観する。
第 5 回	解説と映画鑑賞③ー激動の韓国現代史を生きる	激動の韓国現代史を個人史で綴るー「最も平凡な父の最も偉大な話」
第 6 回	解説と映画鑑賞④ー激動の韓国現代史を生きる	「産業化世代」ー朝鮮戦争後の韓国再建の主役であった家族愛の父親
第 7 回	韓国近現代史と映画ー日本統治下の韓国・朝鮮	韓国近現代史における日本統治時代を抜きにして韓国映画史を語ることはできない。韓国映画の創成期に当たる当時について解説する。
第 8 回	解説と映画鑑賞⑤ー日本統治下の韓国・朝鮮	上海、京城（現ソウル）を舞台にした朝鮮人の朝鮮人暗殺を描写ー親日派暗殺作戦
第 9 回	解説と映画鑑賞⑥ー日本統治下の韓国・朝鮮	当時の街並み、ファッション、経済活動、居住空間、社交場など「モダン」の再現
第 10 回	最近の韓国の若者の恋愛観・結婚観と映画	時代の変化を反映する若者の恋愛観・結婚観を垣間見て、日本の若者との間の比較をとおして、韓国社会と日本社会の比較を試みる。
第 11 回	解説と映画鑑賞⑦ー青春の思い出	初恋のロマンス、青春の思い出
第 12 回	解説と映画鑑賞⑧ー青春の思い出	青春の多様な感情の描写、現代韓国社会の中で大人に成長していく過程を描写
第 13 回	映画と講義について	映画は学習手段のひとつとして有効かー韓国の文化、社会、歴史上の事象、特に抽象的な事柄を、より明確に理解可能なものにしてくれる。
第 14 回	春学期のまとめと筆記テストの実施	筆記テストの実施

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
指定されたテキストと参考書を事前に読んでおくこと。　本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
韓国映画で学ぶ韓国の社会と歴史、秋月望、キネマ旬報ムック、２０１５年、３６８０円

【参考書】
韓国映画１００年史ーその誕生からグローバル展開まで、鄭ゾンファ著、野崎充彦・加藤知恵訳、明石書店、２０１７年、３５２０円

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。
(※旧：筆記テスト５０％、平常点５０％をもって総合的に評価する。)

【学生の意見等からの気づき】
授業の進む順番が前後する場合がある。

【学生が準備すべき機器他】
なし

【その他の重要事項】
初回の授業には必ず出席する。
毎回短い感想文を提出する。

【Outline and objectives】
In this class, we will learn about Korean and Korean culture and society
through Korean films.
The purpose of the class is to deepen the understanding of Korean societ ｙ
through the characteristics of Korean society and changes in the times depicted
in Korean movies.

ARSe200LA

朝鮮の文化と社会ＬＢ

2017 年度以降入学者

サブタイトル：

李　英美

開講時期：**秋学期授業**/Fall ｜ 曜日・時限：**月** 2/Mon.2
単位数：2 **単位**
法文営国環キ 2〜4 年※定員制

他学部公開：○　**グローバル：**　**成績優秀：**○　**実務教員：**

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】
この授業では韓国の映画をとおして朝鮮・韓国の文化と社会全般について学ぶ。
韓国の映画に描かれている韓国社会の特徴や変化を通じて、韓国の文化と社会に対する理解を深めることが授業の目的である。

【到達目標】
様々なテーマを取り扱う韓国映画から韓国・朝鮮の文化と社会について何を読み取るか、その力を養うことが本授業の目標となる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科： DP3・DP4、法学部・政治学科： DP1、法学部・国際政治学科： DP1、文学部： DP1、経営学部： DP3、国際文化学部： DP1、人間環境学部： DP2、キャリアデザイン学部： DP1

【授業の進め方と方法】
春学期の少なくとも前半はオンラインでの開講となる。それにともなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。本授業の開始日は５月１１日とし、この日まで具体的なオンライン授業の方法などを、学習支援システムで掲示する。
(※旧：基本的にはテキストに沿って進めていく。
ひとつのテーマについて講義したあとに、２週連続で関連映像の解説と上映といった形で進める。毎回授業の最後に解説と映像に対する感想文を書いて提出する。)

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】

回	テーマ	内容
第 1 回	授業の進め方に関する説明、テキストや参考書の使い方に関する説明。	授業の目的と進め方に関する説明、テキストや参考書の使い方について説明。
第 2 回	解説と映画鑑賞①ー外国原作の小説・漫画の韓国映画化	映画の中の人物を韓国人から人類へー究極な状態に置かれた人々の動き
第 3 回	解説と映画鑑賞②ー外国原作の小説・漫画の韓国映画化	映画の中の人類における各差と不平等、階級化をとおして韓国社会をみる
第 4 回	現代韓国社会と映画ー高齢化	現代韓国社会の特徴のひとつである高齢化社会をどのように描くか
第 5 回	解説と映画鑑賞③ー老いに対する考え方	現代韓国社会の諸特徴ー老いをどのように受け入れるか、どのように生きるか
第 6 回	解説と映画鑑賞④ー老いに対する考え方	現代韓国社会の諸特徴ー家族の愛情と世代間の価値観のギャップ
第 7 回	現代韓国社会と映画ー犯罪被害者を描く	神に罪を告白し、許しを得た殺人犯についてー被害者の家族は救われない。宗教、法、人間の関係を映画に投影する。
第 8 回	解説と映画鑑賞⑤ー最高の価値は人間愛	人間愛は最高の価値ー人間は人間を救うことができる。子供殺人被害者の母親。
第 9 回	解説と映画鑑賞⑥ー宗教とは	宗教とは何か、人間とは何かー人間を救えない残酷な神の姿。神の許しとは。
第 10 回	映画に移る国家像	国家の危機管理能力についてー２０１０年代韓国政府を実例に
第 11 回	解説と映画鑑賞⑦ードキュメンタリー映画	国家とは何か。国家の存在理由ー国民の生命・財産の保護。
第 12 回	解説と映画鑑賞⑧ーードキュメンタリー映画	真実究明と記者・言論の役割と力
第 13 回	韓国映画史を振り返るー１００年史	創成期〜ルネサンス期まで
第 14 回	秋学期のまとめと筆記テストの実施	筆記テストの実施

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
指定されたテキストと参考書を事前に読んでおくこと。　本授業の準備学習・復習時間は、各 2 時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】
韓国映画１００年史ーその誕生からグローバル展開まで、鄭ゾンファ著、野崎充彦・加藤知恵訳、明石書店、２０１７年、３５２０円

【参考書】
韓国映画で学ぶ韓国の社会と歴史、秋月望、キネマ旬報ムック、２０１５年、３６８０円

【成績評価の方法と基準】
春学期の少なくとも前半がオンラインでの開講となったことにともない、成績評価の方法と基準も変更する。具体的な方法と基準は、授業開始日に学習支援システムで提示する。
(※旧：筆記テスト５０％、平常点５０％をもって総合的に評価する。)

【学生の意見等からの気づき】
授業の進む順番が前後する場合がある。

【学生が準備すべき機器他】
なし

【その他の重要事項】
初回の授業に必ず出席すること。
映像を用いた授業お時は、毎回短い感想文を提出する。

【Outline and objectives】
In this class, we will learn about Korean and Korean culture and society
through Korean films.
The purpose of the class is to deepen the understanding of Korean societ ｙ
through the characteristics of Korean society and changes in the times depicted
in Korean movies.

法政大学
HOSEI University